

目 录

医方类聚卷之一——二十六(第一分册)

总论 (原书卷之一)	1	纪用备论	14
千金方	1	脏府配天地论	15
论大医习业	1	三因论	15
论大医精诚	1	外所因论	16
论治病略例	2	琐碎录	16
论诊候	3	服饵	16
论处方	4	修制	16
论用药	4	辨伪	17
论合和	4	反恶	18
论服饵	5	简易方	18
论药藏	6	男女动静说	18
圣惠方	6	四大奥论	18
叙为医	6	五常大论	19
论形气盛衰法	7	直指方	21
论女子盛衰	7	诸阴诸阳论	21
论丈夫盛衰	7	问病论	22
论处方法	7	论易简方	22
论合和	8	证治提纲	22
论服饵	8	得病有因	22
论用药	9	治病当先救急	23
和剂局方	9	治病如操舟	23
论服药食忌	9	用药中病不必尽剂	23
论炮炙三品药石类例	9	经常用药自有奇功	23
玉石部	9	论肝脾主病	23
草部	10	病人尺脉洪大	23
木部	11	水气肾气血气风毒擒纵治法	23
兽部	11	退热	23
禽鱼虫部	11	柴胡退热不及黄芩	23
果菜部	12	退热有法	24
简要济众方	12	滞血发热	24
论五方治病用药砭灸所宜之法	12	下后大肠热肿坠重	24
太医业习	12	肚皮痛	24
五科凡例	13	胸堂气膈	24

朱氏集验方	24	大寒子上初之气	34
煮胶法	24	春分卯上二之气	34
丸药法	24	小满巳上三之气	35
儒门事亲	25	大暑未上四之气	35
七方十齐绳墨订	25	秋分酉上五之气	35
服药一差转成他病说	27	小雪亥上终之气	35
偶有所遇厥疾获瘳记	28	肝之经足厥阴风乙木	35
水解	29	胆之经足少阳风甲木	35
总论 二 (原书卷之二)	31	心之经手少阴暑丁火	35
杂记九门	31	小肠经手太阳暑丙火	35
临变不惑	31	脾之经足太阴湿己土	35
涌法	31	胃之经足阳明湿戊土	35
涌嗽	31	心包络手厥阴为母血	35
当禁不禁	31	三焦经手少阳为父气	35
病愈后犯禁而死	31	大肠经手阳明燥庚金	36
高技常孤	31	肺之经手太阴燥辛金	36
群言难正	32	肾之经足少阴寒癸水	36
谤吐	32	膀胱经足太阳寒壬水	36
谤三法	32	风门独治于内者	36
谤峻药	32	暑门独治于外者	36
病人负德愈后吝财	32	湿门兼治于内者	36
同类妒才 群口诬戴人	32	火门兼治于外者	36
撮要图	33	燥门先治于内后治于外者	37
风木郁之病	33	寒门先治于外后治于内者	37
暑火郁之病	33	六门病症药方之图(删)	37
湿土郁之病	33	内经湿变五泄	37
燥金郁之病	33	胃泄风湿	37
寒水郁之病	34	脾泄暑湿	37
初之气	34	大肠泄燥湿	37
二之气	34	小肠泄热湿	37
三之气	34	大瘕泄寒湿	37
四之气	34	金匱十全之图	37
五之气	34	治病百法	38
终之气	34	扁鹊华佗察声色定死生诀要	38
风木肝酸 建针	34	十形三疗	39
暑火心苦 发汗	34	火形	39
湿土脾甘 夺针	34	笑不止	39
燥金肺辛 清针	34	热形	39
寒水肾咸 折针	34	二阳病	39

痿	39
失笑	40
内伤形	40
因忧结块	40
病怒不食	40
不寐	40
惊	40
怀恐胁痛	40
肠澼下血	40
伏惊	41
东垣试效方	41
药象门	41
标本阴阳论	41
用药法象	42
用药升降浮沉补泻法	42
五方之正气味	42
药象气味主治法度	44
七方	44
十剂	45
阳盛拒阴	45
得效方	45
集病说	45
集证说	47
集治说	48
卫生宝鉴一	50
春服宣药辨	50
革春服宣药歌	51
无病服药辨	51
古方名实辨	52
方成弗约之失	53
灸之不发	53
脱营	54
下工绝气危生	54
冬藏不固	55
用药无据反为气贼	55
主不明则十二官危	55
戒妄下	56
轻易服药戒	56
妄投药戒	56

福医治病	57
总论三(原书卷之三)	58
卫生宝鉴二	58
药类法象	58
咬咀药类	58
升降者天地之气交	63
药性要旨	63
脏气法时补泻法	63
治法纲要	63
抑举辨	64
用药用方辨	64
药味专精	64
病有远近治有缓急	64
阳证治验	65
用热远热从乎中治	65
病宜早治	65
澹寮方	66
医功报应门	66
医以救人为心	66
许学士	66
聂医善士(删)	66
医不贪色(删)	66
用诡道以劫流俗	66
段承务	67
下胎果报(删)	67
拔粹方	67
本草十剂	67
百病在气在血	69
治病必须求责	70
王氏集验方	70
雪楼程学士赠序	70
永类铃方	71
灵宝度人经法(删)	71
经验良方	71
烟霞圣效方	72
神农药食反误方	72
六陈	72
十八反	72
药食相反	72

诸物误杀人方	72	服药忌例	78
饮食相反方	72	备预百要方	78
寿亲养老书	72	病源	79
饮食调治	73	服药法并通忌三十	79
形证脉候	73	修合法	79
医药扶持	73	五藏门——(原书卷之四)	81
食治养老序	74	五脏论	81
服药	74	六神配五脏	81
贮药	74	五劳	82
煨药	74	七伤者	82
施圆端效方	75	六极者	82
汤液前造式	75	九候者	82
事林广记	75	五败者	82
医学发明	75	十绝者	82
论治病法	75	五气不足歌	82
用药效验	75	医人	83
寿域神方	75	夫五脏重斤两	84
论寿夭大略	75	金匱方	85
论遣疾	76	脏腑经络先后病脉证	85
观人心善恶(删)	76	五脏风寒积聚病脉证并治	86
论神不足	76	巢氏病源	87
论病相	76	五脏六腑病诸候	87
观色大略	76	肝病候	87
察于未病	76	心病候	87
察于已病	76	脾病候	87
察色验病人生死法	77	肺病候	88
辨五中	77	肾病候	88
辨五晕	77	胆病候	89
辨伤风伤寒	77	小肠病候	89
医避传染法	78	胃病候	89
天医神位(删)	78	大肠病候	89
神光验证法(删)	78	膀胱病候	89
占病(删)	78	三焦病候	89
占孕(删)	78	五脏横病候	89
一法铸司命告斗验证(删)	78	脾胀病候	89
验米吉凶(删)	78	五脏及身体热候	89
本命所属(删)	78	千金方	90
延生秘诀(删)	78	肝脏脉论	90
卫生易简方	78	胆腑脉论	93

心脏脉论	94
小肠腑脉论	98
五藏门 <small>二(原书卷之五)</small>	100
千金方 <small>二</small>	100
脾脏脉论	100
胃腑脉论	103
肺脏脉论	104
大肠腑脉论	108
肾脏脉论	108
膀胱腑脉论	112
三焦脉论	113
诊五脏六腑气绝证候	113
五脏六腑图	113
肺脏图	113
相肺脏病法	114
心脏图	114
相心脏病法	115
心病证	116
肝脏图	116
相肝脏病法	117
脾脏图	117
相脾脏病法	118
脾病证	118
肾脏图	118
相肾脏病法	119
肾病证	119
胆脏图	119
相胆脏病法	120
圣惠方	120
肝脏论	120
心脏论	120
脾脏论	121
肺脏论	121
肾脏论	121
简要济众方	122
辨五脏积聚法	122
辨五脏七神为病法	122
辨四时五脏脉太过不及所主病法	122
三因方	123

内所因论	123
简易方	123
五脏象位	123
六腑象位	124
五脏平脉	125
五脏病脉	125
五脏死脉	125
五脏真脉	125
五脏色候	125
五脏声音	125
五脏臭味	126
五脏主配	126
五脏门 <small>三(原书卷之六)</small>	127
简易方 <small>二</small>	127
五脏相涉	127
病属五脏	129
直指方	129
五脏所主论	129
五脏病证虚实论	130
儒门事亲	131
五虚五实攻补悬绝法	131
圣济总录	132
心统论	132
肺脏统论	132
永类铃方	133
脾胃虚实	133
肺大肠虚实	133
肾膀胱虚实	133
肝胆虚实	134
心小肠实热	134
胆	134
三焦	134
肾三焦虚实	135
金匮方	135
五脏风寒积聚	135
麻子仁丸 (135) 甘草乾姜茯苓白术汤 (135)	
千金方	135
肝虚实	135
肝实热	135

竹沥泄热汤(135) 前胡汤(135) 防风散(136)	脾胃俱实	141
远志散(136) 地黄煎(136)	大黄泻热汤(141)	
肝胆俱实	脾虚冷	142
肝虚寒	槟榔散(142) 温脾圆(142) 麻豆散(142)	
补肝汤(136) 补肝散(136) 松膏酒(136)	脾胃俱虚	142
枸杞酒(136) 防风煎(137) 槟榔汤(137)	白术散(142) 平胃圆(142) 平胃圆(142)	
肝胆俱虚	脾劳	143
肝劳	半夏汤(143) 消食膏酒(143)	
猪膏酒(137) 虎骨酒(137)	肉虚实	143
胆虚实	五加酒(143) 半夏汤(143)	
胆实热	胃虚实	143
半夏汤(137)	胃实热	143
胆虚寒	泻胃热汤(143)	
温胆汤(137) 千里流水汤(137) 酸枣汤(137)	胃虚冷	143
梔子汤(138)	补胃汤(143) 人参散(143)	
髓虚实	肺虚实	144
羌活补髓圆(138) 柴胡发泄汤(138)	肺实热	144
心虚实	橘皮汤(144) 泻肺散(144)	
心实热	肺与大肠俱实	144
石膏汤(138) 泻心汤(138)	煮散(144)	
心小肠俱实	肺虚冷	144
竹沥汤(139) 茯神散(139) 泻心汤(139)	酥蜜膏酒(145) 补肺汤(145) 麻子汤(145)	
安心散(139)	汤煎(145)	
心虚寒	肺与大肠俱虚	146
茯苓补心汤(139) 半夏补心汤(139) 牛髓	小建中汤(146)	
圆(139)	肺劳	146
心小肠俱虚	麻黄引气汤(146) 半夏汤(146) 厚朴汤(146)	
大补心汤(140) 补心圆(140)	大肠虚实	146
心劳	大肠实热	146
大黄泄热汤(140)	生姜泄肠汤(146)	
脉虚实	大肠虚冷	146
防风圆(140) 升麻汤(140) 麻黄汤(140)	黄连补汤(146)	
小肠虚实	皮虚实	146
小肠实热	蒴藿蒸汤(146) 梔子煎(147)	
柴胡泽泻汤(140) 大黄圆(141)	肾虚实	147
小肠虚寒	肾实热	147
脾虚实	泻肾汤(147)	
脾实热	肾膀胱俱实	147
泻热汤(141) 射干煎(141)	肾虚寒	147

肾膀胱俱虚 148
 肾劳 148
 梔子汤(148) 麻黄根粉(148) 煮散(148)
 骨虚实 148
 虎骨酒(148)
 膀胱虚实 149
 膀胱实热 149
 膀胱虚冷 149
 龙骨圆(149)
 五藏六腑图 150
 治肺藏病方 150
 排风散(150)
 治心藏病法 150
 五参丸(150)
 肝病证 150
 升麻散(150)
 治脾藏病方 150
 诃梨勒丸(150)
 治肾苦病方 150
 八味肾气丸(150)
 五脏门 四(原书卷之七) 151
 圣惠方一 151
 治肝虚补肝诸方 151
 补肝柏子仁散(151) 补肝白茯苓散(151)
 补肝细辛散(151) 补肝防风散(151) 补肝
 薯蓣散(151) 补肝甘菊花散(152) 补肝柏
 子仁丸(152)
 治肝实泻肝诸方 152
 泻肝前胡散(152) 泻肝防风散(152) 泻肝
 柴胡散(152) 泻肝黄芩散(152) 泻肝升
 麻散(152) 泻肝散(152)
 治肝气不足诸方 153
 防风散(153) 白茯苓散(153) 酸枣仁散(153)
 覆盆子丸(153)
 治肝藏中风诸方 153
 赤茯苓散(153) 麦门冬散(153) 秦艽散(154)
 枸杞子散(154) 薏苡仁散(154) 羚羊角散(154)
 附子散(154) 犀角散(154) 羌活散(155)
 牛黄散(155) 龙脑丸(155) 赤箭丸(155)

治肝风筋脉拘挛诸方 155
 羚羊角散(155) 酸枣仁散(156) 羚羊角
 散(156) 汉防己散(156) 草薢散(156) 侧
 子散(156) 防风散(156) 薏苡仁浸酒(156)
 茵芋浸酒(157) 酸枣仁煎(157) 天麻丸(157)
 防风丸(157) 白芥子丸(157) 乌犀角丸(157)
 桃仁朱砂煎酒(157)
 治肝风筋脉抽掣疼痛诸方 157
 薏苡仁散(158) 羌活散(158) 柏子仁散(158)
 芎藭散(158) 麻黄散(158) 羚羊角散(158)
 酸枣仁散(158) 侧子散(158) 天麻丸(158)
 治肝壅热头目不利诸方 159
 石膏散(159) 羚羊角散(159) 前胡丸(159)
 大黄丸(159) 升麻丸(159)
 治肝气逆面青多怒诸方 159
 龙骨散(159) 羚羊角散(159) 沙参散(159)
 治肝藏风毒流注脚膝筋脉疼痛
 诸方 160
 海桐皮散(160) 羚羊角散(160) 槟榔散(160)
 五加皮散(160) 薏苡仁散(160) 酸枣仁
 散(160) 豆淋酒煎侧子丸(161) 野葛膏(161)
 治肝风冷转筋诸方 161
 附子散(161) 鸡舌香散(161) 桂心散(161)
 白豆蔻散(161) 木瓜丸(162) 高良姜汤(162)
 治胆虚冷诸方 162
 茯神散(162) 酸枣仁散(162) 人参散(162)
 薯蓣丸(162) 决明丸(163)
 治胆实热诸方 163
 泻热麦门冬散(163) 梔子散(163) 人参
 散(163) 甘菊花散(163) 胡黄连丸(163)
 治胆虚不得睡诸方 163
 茯神散(163) 酸枣仁丸(163) 鳖甲丸(164)
 酸枣仁煎(164)
 治胆热多睡诸方 164
 羚羊角散(164) 茯神散(164) 人参散(164)
 远志丸(164)
 治心虚补心诸方 164
 远志散(165) 熟乾地黄散(165) 白术散(165)
 紫石英散(165) 白茯苓散(165) 薯蓣丸(165)

治心实泻心诸方165
沙参散(165) 黄连散(165) 赤茯苓散(166)
石膏散(166) 茯神散(166) 犀角散(166)
大黄散(166) 远志散(166)
治心气不足诸方166
人参散(166) 熟乾地黄散(166) 紫石英
散(167) 麦门冬散(167) 紫石英散(167)
远志丸(167) 人参丸(167)
治心脏中风诸方167
麻黄散(167) 茯神散(167) 犀角散(168)
羚羊角散(168) 沙参散(168) 茯神散(168)
葳蕤散(168) 牛黄散(168) 防风丸(169)
朱砂丸(169) 犀角丸(169)
治心脏风邪诸方169
人参散(169) 茯神散(169) 柏子仁散(169)
杨上寄生散(169) 防葵散(170) 菖蒲散(170)
虎睛散(170) 牛黄散(170) 禹馀粮散(170)
牛黄丸(170) 真珠丸(170)
治心风狂言诸方171
茯神散(171) 朱砂散(171) 升麻散(171)
真珠散(171) 镇心丸(171) 七宝镇心丸(171)
犀角丸(171)
治心风恍惚诸方172
龙齿散(172) 沙参散(172) 黄耆散(172)
大定心散(172) 镇心丸(172)
治心脏风虚惊悸诸方172
白茯苓散(172) 龙齿散(173) 茯神散(173)
紫石英散(173) 铁精丸(173) 茯神丸(173)
远志丸(173) 人参丸(173) 镇心熟乾地黄
丸(173) 虎睛丸(174)
治心脏风热诸方174
升麻散(174) 牛黄散(174) 龙齿散(174)
犀角散(174) 铁粉散(174) 牛黄丸(174)
朱砂丸(175)
治心热多汗诸方175
犀角散(175) 麦门冬散(175) 地骨皮丸(175)
石膏丸(175) 牡蛎散(175)
治心胸烦热诸方175
地骨皮散(175) 羚羊角散(175) 麦门冬

散(176) 黄芩散(176) 人参散(176) 真珠
散(176) 含化玉液丸(176) 甘露散(176)
治小肠虚冷诸方176
吴茱萸散(176) 沉香散(176) 厚朴散(177)
附子丸(177) 鹿茸丸(177)
治小肠实热诸方177
郁金散(177) 黄连散(177) 赤茯苓散(177)
犀角散(177) 木通散(177) 升麻散(177)
海蛤丸(178)
治脾虚补脾诸方178
补脾人参散(178) 补脾白术散(178) 补脾
河梨勒散(178) 补脾白豆蔻散(178) 补脾
肉豆蔻丸(178) 补脾黄耆丸(179) 补脾神
曲丸(179)
五脏门 五(原书卷之八)180
圣惠方 :180
治脾实泻脾诸方180
泻脾大黄散(180) 泻脾赤茯苓散(180) 泻
脾升麻散(180) 石膏散(180) 前胡散(180)
羚羊角丸(180) 麦门冬煎(181)
治脾气不足诸方181
黄耆散(181) 白术散(181) 厚朴散(181)
河梨勒散(181) 白豆蔻丸(181)
治脾脏中风诸方182
防风散(182) 麻黄散(182) 独活散(182)
赤茯苓散(182) 羚羊角散(182) 细辛散(182)
七圣散(182) 羚羊角丸(183) 天麻丸(183)
治脾脏风壅多涎诸方183
前胡散(183) 旋复花散(183) 半夏散(183)
赤茯苓散(183) 牛黄丸(184) 前胡丸(184)
坏涎丸(184)
治脾胃冷热气不和诸方184
草豆蔻散(184) 藿香散(184) 丁香散(184)
大腹皮散(184) 白术散(184) 桔梗丸(185)
神曲丸(185) 人参丸(185) 河梨勒丸(185)
白豆蔻丸(185)
治脾气虚腹胀满诸方185
厚朴散(185) 陈橘皮散(185) 草豆蔻散(185)
人参散(186) 益智子散(186) 槟榔散(186)

治脾胃气虚冷水谷不化诸方……………186

丁香散(186) 吴茱萸散(186) 草澄茄散(186) 人参散(187) 丁香散(187) 白术丸(187) 厚朴丸(187) 神曲丸(187)

治脾胃气虚弱不能饮食诸方……………187

红豆蔻散(187) 木香散(187) 厚朴散(188) 人参散(188) 沉香散(188) 草豆蔻拨刀方(188) 生姜煎(188) 白术丸(188)

治脾实热咽喉不利诸方……………188

柴胡散(188) 射干散(188) 升麻散(188) 枳壳散(189) 犀角散(189) 地骨皮散(189) 犀角丸(189)

治脾胃气虚弱呕吐不下食诸方……………189

白茯苓散(189) 白术散(189) 薤白汤(190) 草豆蔻散(190) 人参饮子(190) 半夏散(190) 草澄茄散(190) 白豆蔻丸(190) 厚朴汤(190) 丁香丸(190) 芩麦丸(190)

治脾藏冷气攻心腹疼痛诸方……………191

京三棱散(191) 肉豆蔻散(191) 木香散(191) 吴茱萸散(191) 木香散(191) 红豆蔻散(191) 阿魏丸(191) 芩麦丸(192) 硃砂煎丸(192) 诃梨勒丸(192) 京三棱丸(192)

治脾藏冷气腹内虚鸣诸方……………192

赤茯苓散(192) 桔梗散(192) 白术丸(193) 吴茱萸丸(193) 诃梨勒丸(193) 厚朴丸(193)

治脾胃壅热呕哕诸方……………193

枇杷叶散(193) 陈橘皮散(193) 芦根饮子(193) 麦门冬散(194) 茅香散(194) 芦根散(194) 人参饮子(194)

治脾胃气虚弱肌体羸瘦诸方……………194

草豆蔻散(194) 思食补益人参散(194) 诃梨勒散(195) 人参散(195) 丁香散(195) 黄耆散(195) 白术丸(195) 补益黄耆丸(195) 附子丸(195)

治脾藏虚冷泄痢诸方……………196

厚朴散(196) 木香散(196) 白术散(196) 阿胶散(196) 诃梨勒散(196) 厚朴散(196) 木香丸(196) 厚朴丸(197)

治胃虚冷诸方……………197

补胃黄耆散(197) 人参散(197) 熟乾地黄散(197) 厚朴散(197) 人参丸(197)

治胃实热诸方……………197

泻热梔子散(197) 子芩散(198) 泄热芦根散(198) 黄连丸(198) 犀角散(198)

治肺虚补肺诸方……………198

补肺白石英散(198) 补肺阿胶散(198) 补肺黄耆散(198) 补肺人参散(199) 补肺杏仁散(199) 补肺锤乳丸(199)

治肺实泻肺诸方……………199

泻肺大麻仁散(199) 泻肺散(199) 泻肺大黄煎(199) 泻肺丸(199) 牵牛子丸(200) 葶苈丸(200)

治肺气不足诸方……………200

白石英散(200) 白术散(200) 紫菀散(200) 五味子散(200)

治肺藏中风诸方……………200

防风散(201) 芎藭散(201) 独活散(201) 白蒺藜散(201) 犀角散(201) 麻黄散(201) 牛黄丸(202)

治肺藏风毒皮肤生疮瘙痒诸方……………202

牛黄散(202) 羚羊角散(202) 五参散(202) 枫香散(202) 白花蛇散(202) 独活散(203) 枳实散(203) 玄参丸(203) 犀角丸(203) 乌蛇丸(203) 白花蛇丸(203) 皂荚煎丸(203) 大麻仁丸(204) 五参丸(204) 黄连丸(204)

治肺藏伤风冷多涕诸方……………204

桂心散(204) 细辛散(204) 白术散(204) 前胡散(205) 厚朴散(205) 人参散(205) 当归散(205)

治肺气头面四肢浮肿诸方……………205

郁李仁散(205) 泽漆散(205) 赤茯苓散(205) 陈橘皮散(206) 大腹皮散(206) 马兜铃散(206) 葶苈丸(206) 汉防己丸(206)

治肺气喘急诸方……………206

马兜铃散(206) 大腹皮散(207) 紫苏散(207) 麻黄散(207) 阿胶膏(207) 桔梗散(207) 朴消丸(207) 牛黄丸(207) 汉防己丸(207) 葶苈丸(208) 猪胰酒(208)

五脑门六(原书卷之九) 209

圣惠方三 209

治肺伤风冷声嘶不出诸方 209

半夏散(209) 五味子散(209) 附子散(209)

麻黄散(209) 紫苑散(209) 贝母丸(209)

温肺顺气通声含化菖蒲煎(210) 生地黄煎(210)

治肺脏痰毒壅滞诸方 210

半夏散(210) 甘菊花散(210) 旋复花散(210)

桑白皮散(210) 人参散(210) 前胡散(211)

治肺脏壅热吐血诸方 211

红蓝花散(211) 刺薊散(211) 天竹黄散(211)

蒲黄散(211) 补肺百花煎(211)

治肺脏壅热诸方 211

枳壳散(212) 柴胡散(212) 紫苑散(212)

汉防己散(212) 黄耆散(212) 麦门冬散(212)

麻黄散(212) 赤茯苓散(212) 天门冬丸(213)

天门冬煎(213) 犀角丸(213)

治肺萎诸方 213

紫苑散(213) 百部散(213) 桑根白皮散(213)

生乾地黄散(214) 白前散(214) 赤芍药散(214)

阿胶散(214) 桔梗散(214)

治大肠虚冷诸方 214

附子散(214) 诃梨勒散(215) 吴茱萸散(215)

草豆蔻散(215) 木香丸(215)

治大肠实热诸方 215

赤茯苓散(215) 杏仁散(215) 羚羊角散(215)

大腹皮散(216) 柴胡散(216) 槟榔丸(216)

治肾虚补肾诸方 216

补肾磁石散(216) 补肾熟乾地黄散(216) 补肾石斛散(216)

春季补肾肾沥汤(216) 夏季补肾肾沥汤(217)

秋季补肾肾沥汤(217) 冬季补肾肾沥汤(217)

补肾肾沥汤(217) 补肾肉苁蓉丸(218)

补肾膈肭脐丸(218) 补肾巴戟丸(218)

治肾实泻肾诸方 218

泻肾生乾地黄散(218) 泻肾大黄散(218) 泻肾玄参散(218)

泻肾赤茯苓散(219) 泻肾泽泻散(219)

泻肾槟榔散(219) 榆皮散(219)

治肾气不足诸方 219

磁石散(219) 熟乾地黄散(219) 肉苁蓉散(219)

石龙芮丸(220) 天雄丸(220)

治肾脏中风诸方 220

独活散(220) 天雄散(220) 侧子散(220)

草薢散(221) 蜘蛛丸(221) 天麻丸(221)

治肾脏风冷气诸方 221

木香散(221) 沉香散(221) 附子丸(222)

硃砂丸(222) 茴香丸(222) 蜘蛛丸(222)

治肾脏风虚耳鸣诸方 222

附子散(222) 菖蒲散(222) 肾沥汤(222)

肾沥汤(223) 肾沥汤(223) 肉苁蓉丸(223)

鹿茸丸(223) 桑螵蛸丸(223)

治肾脏积冷气攻心腹疼痛诸方 223

白豆蔻散(223) 木香煎(223) 沉香散(224)

硃砂散(224) 木香散(224) 蜘蛛丸(224)

硫黄丸(224) 硃砂丸(224) 阿魏丸(224)

绿玉丹(225) 雄黄丸(225) 麝香丸(225)

治肾脏风毒流注腰脚疼痛诸方 225

葶藶散(225) 羌活散(225) 牛膝丸(225)

杜仲丸(225) 石斛丸(225) 沉香丸(226)

虎骨浸酒(226) 薏苡仁浸酒(226)

治肾脏冷气卒攻脐腹疼痛诸方 226

沉香散(226) 蜘蛛散(226) 木香散(226)

桃仁丸(226) 阿魏丸(227) 硫黄丸(227)

胡椒丸(227) 硃砂丸(227) 阿魏丸(227)

硃砂丸(227) 定痛丸(227)

治肾脏虚冷气攻腹胁疼痛胀满诸方 227

沉香散(228) 槟榔散(228) 草澄茄散(228)

沉香丸(228) 草澄茄丸(228) 硫黄丸(228)

葫芦巴丸(228) 茴香丸(229)

治肾脏虚损多唾诸方 229

人参散(229) 半夏散(229) 前胡散(229)

泽泻散(229) 白术丸(229) 赤茯苓丸(229)

治肾气虚损骨萎羸瘦诸方 230

石斛丸(230) 磁石丸(230) 紫石英丸(230)

熟乾地黄丸(230) 牛膝丸(231)

治肾脏虚损阳气萎弱诸方 231

天雄散(231) 肉苁蓉散(231) 助阳补虚硫
黄散(231) 鹿茸散(231) 天雄散(231) 兔
丝子丸(231) 四雄丸(232) 鹿茸丸(232)
保寿丸(232) 阳起石丸(232) 菟丝子丸(232)
助阳气神效钟乳丸(232) 附子丸(233)
治育肠气诸方 233
茴香散(233) 沉香散(233) 革澄茄散(233)
八仙丸(233) 磁石丸(233) 桃仁丸(233)
五丹(233) 蛭螂丸(234)
治膀胱虚冷诸方 234
磁石散(234) 杜仲散(234) 沉香散(234)
石斛散(235) 鹿茸丸(235) 革澄茄丸(235)
茴香子丸(235)
治膀胱实热诸方 235
梔子散(235) 榆皮散(235) 赤茯苓散(235)
大黄散(236) 汉防己散(236)
治膀胱虚冷小便滑数白浊诸方 236
菝葜散(236) 韭子散(236) 鸡臍脰散(236)
兔丝子散(236) 桑螵蛸散(236) 肾沥汤(236)
肉苁蓉丸(237) 牡蛎丸(237) 黄耆丸(237)
五脏门七(原书卷之十) 238
简要济众方 238
论肝脏病 238
白茯苓丸(238) 独活散(238) 柴胡散(238)
磁石丸(238) 补肝散(238) 覆盆子丸(238)
补骨脂散(238) 木瓜丸(238) 茯神丸(239)
酸枣仁散(239) 人参散(239) 囊萤丸(239)
乳香散(239)
论心脏病候 239
茯苓散(239) 麦门冬散(239) 远志散(239)
朱砂散(239) 镇心丸(239) 人参丸(240)
地骨皮散(240) 朱砂散(240) 薯蓣丸(240)
人参散(240) 生地黄散(240) 车前子散(240)
川楝子散(240) 鹿茸丸(240) 厚朴散(240)
论脾脏病候 240
前胡散(240) 红芍药散(241) 草豆蔻散(241)
沉香散(241) 厚朴丸(241) 厚朴丸(241)
顺气散(241) 肉豆蔻散(241) 白豆蔻丸(241)
厚朴散(241) 子芩散(241) 黄连丸(242)

肉豆蔻丸(242) 人参散(242) 平胃散(242)
论肺脏病候 242
地骨皮散(242) 白鲜皮散(242) 百部散(242)
玉润华盖散(242) 桑白皮散(242) 马兜铃
散(242) 葶苈丸(242) 汉防己丸(242) 石
菖蒲丸(243) 紫苑散(243) 大黄丸(243)
丹参散(243) 槟榔散(243) 草豆蔻散(243)
河梨勒丸(243)
论肾脏病候 243
巴戟天丸(244) 天雄丸(244) 胡芦巴散(244)
楮实丸(244) 巴戟天丸(244) 附子丸(244)
鹿茸丸(244) 补骨脂丸(244) 磁石丸(244)
茴香散(244) 巴戟天散(245) 桂心散(245)
茴香丸(245) 川楝子丸(245)
大全本草 245
三因方 245
肝胆经虚实寒热证治 245
泻肝汤(245) 泻胆汤(245) 温胆汤(245)
心小肠经虚实寒热证治 246
清脉汤(246) 茯苓补心汤(246) 分气补心
汤(246) 温脾汤(246)
脾胃经虚实寒热证治 246
清脾汤(246) 平胃散(246) 补脾汤(246)
养胃汤(246)
肺大肠经虚实寒热证治 247
清肺汤(247) 泻白汤(247) 补肺汤(247)
固肠汤(247)
肾膀胱经虚实寒热证治 247
青原汤(247) 泻浮汤(247) 温肾散(247)
补浮汤(247)
神巧万全方 248
治肝虚方 248
补肝散(248) 益肝双补丸(248) 芎藭丸(248)
山茱萸散(248)
治肝实方 248
泻肝散(248) 半夏丸(248)
治胆虚冷方 248
决明丸(248) 酸枣仁丸(249)
治胆实方 249

麦门冬散(249) 胡黄连丸(249) 地黄散(249)
 治心虚方 249
 远志散(249) 柏子仁丸(249) 朱砂散(249)
 治心实方 249
 地黄散(249)
 治小肠虚方 250
 盐煎散(250) 槟榔散(250) 硃砂丸(250)
 治小肠实方 250
 郁金散(250) 地黄饮子(250)
 治脾虚方 250
 补脾丸(250) 人参散(250) 萝卜子散(251)
 芡澄茄散(251) 生姜煎(251) 硃砂煎(251)
 诃梨勒散(251) 消食丸(251)
 治脾实方 251
 石膏煎(251) 人参丸(251)
 治胃虚方 252
 厚朴散(252)
 治胃实方 252
 犀角散(252) 生姜汤(252)
 治肺虚方 252
 补肺款冬花散(252) 紫苑丸(252) 桔梗丸(252)
 治肺实方 253
 泻肺麦门冬煎(253) 地黄散(253)
 治肺萎方 253
 紫苑散(253)
 治大肠虚方 253
 厚朴散(253)
 治大肠实方 253
 治肾虚方 253
 木瓜煎丸(253) 补肾肉苁蓉丸(254) 补骨脂煎(254) 硃砂煎(254) 茴香丸(254)
 治肾实方 254
 泻肾黑参散(254) 泻肾泽泻散(254)
 治膀胱虚方 254
 沉香散(254) 肾沥散(255)
 严氏济生方 255
 肝胆虚实论治 255
 柏子仁汤(255) 柴胡散(255) 茯神汤(255)

酸枣仁圆(255)
 心小肠虚实论治 255
 补心圆(256) 心丹(256) 导赤散(256) 椒附圆(256)
 脾胃虚实论治 256
 进食散(256) 六君子汤(256) 芡澄茄圆(257)
 附子建中汤(257) 生胃丹(257) 壮脾圆(257)
 胃丹(257) 补真圆(257) 泻黄散(257) 枳壳圆(257) 橘皮竹茹汤(257)
 肺大肠虚实论治 258
 白石英汤(258) 泻白散(258) 紫苑茸汤(258) 人参荆芥散(258) 诃梨勒圆(258) 槟榔圆(258)
 肾膀胱虚实论治 258
 上补圆(259) 鹿茸圆(259) 冷补圆(259)
 玄参汤(259) 阳起石圆(259) 韭子圆(259)
 葵子汤(259)
 圣济总录 260
 心虚 260
 石膏汤(260) 丹砂茯神丸(260) 紫石英汤(260) 菖蒲散(260) 人参远志丸(260)
 应真丸(260) 沉香散(260) 茯苓菖蒲丸(260)
 山茱萸丸(260) 益心气人参汤(261) 菖蒲散(261) 山芋丸(261) 龙齿汤(261) 茯苓散(261) 茯神丸(261) 黄耆汤(261) 镇心丸(261) 人参远志散(261) 人参汤(261)
 补心汤(261) 杏仁丸(261) 牛髓丸(262) 茯神汤(262) 石膏汤(262) 泻心汤(262)
 犀角汤(262) 抑心气汤(262) 人参汤(262) 茯神丸(262) 通心汤(262) 加减小府丸(263)
 镇心丸(263) 山栀子汤(263) 冰壶丸(263) 柴胡汤(263) 羚羊角汤(263) 犀角汤(263)
 通心汤(263) 至宝丹(263) 牛黄散(263)
 大定志丸(263) 定心丸(264)
 五脏门 八(原书卷之十一) 265
 圣济总录 265
 心热多汗 265
 小麦汤(265) 犀角汤(265) 石膏丸(265)
 羚羊角汤(265) 黄连散(265) 熟乾地黄汤(265) 七宝汤(265) 柴胡饮(265) 降

气汤(265) 泻心汤(266)

心中寒 266

姜附丸(266) 赤石脂丸(266) 吴茱萸汤(266)

乌头丸(266) 桔梗散(266) 茱萸丸(266)

当归汤(266) 大腹皮散(266) 瓜蒂散(266)

心烦热 266

远志汤(267) 麦门冬汤(267) 乌犀汤(267)

黄耆汤(267) 铁粉丸(267) 瞿麦汤(267)

黑豆汤(267) 地黄散(267) 凉心丸(267)

黄芩汤(267)

善笑 267

玄参汤(267) 龙胆丸(268) 丹砂丸(268)

龙齿丸(268) 升麻汤(268) 丹砂酒(268)

噎病 268

石菖蒲丸(268) 肉苁蓉丸(268) 牛髓丸(268)

茯苓钟乳丸(268) 万金丸(269) 五味子丸(269)

小肠虚 269

沉香汤(269) 牡蛎丸(269) 益智丸(269)

蓬莪术散(269) 茴香子丸(269) 乾姜汤(269)

牛膝丸(269) 断弓弦散(269) 温肠丸(269)

小肠实 270

麦门冬汤(270) 射干汤(270) 瞿麦汤(270)

滑石散(270) 地黄汤(270) 胡荽汤(270)

郁金散(270)

小肠有寒 270

乾姜黄连汤(270) 厚朴散(270) 木香汤(270)

乌梅丸(271) 木香丸(271) 阿胶汤(271)

脾虚 271

养脾散(271) 豆蔻汤(271) 大理中丸(271)

厚朴丸(271) 大养脾丸(271) 乌药沉香丸(271)

诃梨勒汤(272) 白术散(272) 豆蔻丸(272)

厚朴丸(272) 荜拔丸(272) 白术汤(272)

补脾汤(272) 藿香汤(272) 温气煮散(272)

香橘汤(273) 人参汤(273) 温中散(273)

附子汤(273) 荜澄茄饮(273) 厚朴散(273)

脾实 273

半夏汤(273) 槟榔丸(273)

脾藏虚冷泄痢 273

白术汤(273) 保安丸(274) 白石脂丸(274)

荜拔丸(274) 鸡舌香散(274) 肉豆蔻丸(274)

肉豆蔻丸(274) 诃梨勒丸(274) 厚朴散(274)

人参汤(274) 附子散(274) 木香汤(274)

白术散(275) 诃梨勒散(275) 建脾汤(275)

乌头丸(275) 石亭脂丸(275) 草豆蔻散(275)

厚朴煮散(275) 人参豆蔻煮散(275) 肉豆蔻散(275)

宿食不消 275

沉香煎丸(275) 京三棱丸(276) 磨滞丸(276)

胜金丸(276) 温白丸(276) 礞石丸(276) 木香丸(276)

金液丸(276) 煎陆香丸(277) 大丁香丸(277)

阿魏丸(277) 乳香煎丸(277) 丁香丸(277)

大应丸(277) 五香丸(277) 丹砂丸(277)

小三棱煎丸(278) 木香枳实丸(278) 人参柴胡汤(278)

小磨香丸(278) 陈曲丸(278) 吴茱萸丸(278) 磨脾丸(278)

脾痺 278

兰草汤(278) 赤芍药汤(278) 葛根汤(279)

竹叶汤(279) 麦门冬汤(279) 知母汤(279)

前胡汤(279) 茯苓汤(279) 三和饮子(279)

谷劳 279

沉香汤(279) 丁沉丸(279) 人参散(279)

槟榔散(279) 沉香汤(280) 木香汤(280)

京三棱汤(280) 豆蔻丸(280) 木香汤(280)

分气丸(280)

脾胃冷热不和 280

沉香阿魏丸(280) 丁香散(280) 大腹皮汤(280)

藿香汤(280) 和中丸(281) 匀气汤(281)

脾胃气虚冷水谷不化 281

八味厚朴丸(281) 谷神丸(281) 温白丸(281)

和胃丸(281) 白豆蔻丸(281) 七枣汤(281)

豆蔻汤(281) 半夏汤(282) 胡椒丸(282)

大厚朴丸(282) 半夏饮(282)

脾胃气虚弱呕吐不下食 282

藿香汤(282) 枇杷叶汤(282) 藿香厚朴汤(282)

京三棱丸(282) 参香散(282) 白

术藿香汤(283) 白豆蔻汤(283) 白豆蔻丸(283) 人参藿香汤(283) 平胃丸(283) 人参丸(283) 建中散(283) 桔梗丸(283) 白术汤(283) 革拨丸(283) 覆盆饮(284) 人参汤(284) 人参汤(284) 厚朴汤(284) 辛香散(284) 五灵脂丸(284)
脾脏冷气攻心腹疼痛 284
 丁香丸(284) 吴茱萸丸(284) 抵圣丸(284) 乳香丸(284) 沉香丸(285) 盐煎散(285) 戎盐丸(285) 正元革澄茄汤(285) 麝香草澄茄丸(285) 鳖甲煎丸(285) 附子丸(285) 丁香散(285) 厚朴丸(286) 青木香丸(286) 参苓散(286) 沉香丸(286) 集圣汤(286) 吴茱萸汤(286) 肉豆蔻丸(286)
脾脏冷气腹内虚鸣 286
 肉豆蔻丸(286) 橘皮煮散(287) 丁香丸(287) 益智煮散(287) 乌头丸(287) 补脾散(287) 趁气丸(287) 太白汤(287) 温脾丸(287) 陈橘皮汤(287) 草豆蔻丸(288) 厚朴汤(288) 人参散(288)
脾气虚腹胀满 288
 大腹木香汤(288) 茱萸丸(288) 紫桂大丸(288) 增损理中散(288) 小沉香丸(288) 白术丸(288) 七气汤(289) 育神汤(289) 异效散(289) 黑散子(289) 豆蔻散(289) 革澄茄煮散(289) 桔梗丸(289) 京三棱鳖甲丸(289) 人参汤(289) 白术散(290) 补脾汤(290) 橘红散(290) 丁香汤(290)
脾胃气虚弱肌体羸瘦 290
 沉香丸(290) 黄耆煮散(290) 山芋丸(290) 调中思食丸(290) 粟附丸(291) 肉豆蔻丸(291) 厚朴散(291) 香朴丸(291) 蜀椒丸(291) 人参汤(291) 团参丸(291) 陈橘皮煎丸(291) 椒朴丸(291)
五脏门 九(原书卷之十二) 293
圣济总录 三 293
脾胃不和不能饮食 293
 木香煮散(293) 建中丸(293) 和胃丸(293) 紫苏丸(293) 七宝汤(293) 沉香汤(293)

大腹汤(293) 半夏饮(294) 木瓜散(294) 高良姜散(294) 白术丸(294) 草豆蔻汤(294)
脾胃气虚弱不能饮食 294
 人参大丸(294) 山芋丸(294) 二橘散(294) 调中丸(294) 沉香陈曲丸(294) 藿香汤(295) 人参饮(295) 黄耆汤(295) 姜蜜煎(295)
胃虚冷 295
 硃砂丸(295) 丁香丸(295) 厚朴丸(295) 乌头汤(295) 厚朴丸(296) 顺气汤(296) 诃梨勒汤(296) 革拨丸(296) 丁香汤(296) 厚朴汤(296) 丁香汤(296) 半夏散(296) 温胃煮散(296) 人参附子汤(296) 茯苓汤(296) 豆蔻汤(296)
胃实热 297
 赤芍药汤(297) 黄芩汤(297) 黄芩梔子汤(297) 地骨皮汤(297) 葛根汤(297) 前胡汤(297)
食亦 297
 乾地黄汤(297)
胃寒肠热 297
 诃梨勒汤(297) 香橘丸(297) 当归黄连丸(298) 大腹皮木香汤(298) 和胃丸(298) 调气温胃丸(298) 厚朴丸(298) 妙应丸(298)
胃热肠寒 298
 芍药丸(298) 立通丸(298) 沉香散(298) 乾地黄汤(299) 调中汤(299) 京三棱煎丸(299) 黄耆汤(299) 前胡木香汤(299) 麦门冬汤(299) 半夏汤(299)
肺虚 299
 补肺汤(299) 人参汤(300) 补肺丸(300) 桑白皮汤(300) 钟乳丸(300) 补虚汤(300) 补肺阿胶散(300) 人参茯苓丸(300) 厚朴汤(300) 九味汤(300) 定喘疑气丸(300) 橘皮汤(300) 麻子汤(301) 地黄煎(301) 杜仲汤(301) 三味丸(301) 补正汤(301) 五味子汤(301) 紫苑汤(301) 补肺汤(301) 麦门冬丸(301)
肺实 301
 黄耆煮散(301) 麻黄汤(302) 地骨皮汤(302)

葶苈丸(302) 桔梗汤(302) 枸杞汤(302)
 马兜铃汤(302) 黄芩汤(302)
肺胀 302
 越婢加半夏汤(302) 麻黄汤(302) 小青龙
 加石膏汤(303) 半夏饮(303) 槟榔汤(303)
 紫苑汤(303) 石膏汤(303) 皱肺丸(303)
 杏仁丸(303)
肺消 303
 黄耆汤(303) 菟丝子散(303) 黄耆汤(303)
 乾姜甘草汤(304)
肺中寒 304
 华盖汤(304) 白石英丸(304) 紫苏子汤(304)
 麻黄汤(304) 五味子汤(304) 款冬花汤(304)
 温肺散(304) 橘皮汤(304) 参附散(304)
 桂心汤(305) 麻黄饮(305)
肺气喘急 305
 鸡腕脰丸(305) 通膈汤(305) 泽漆汤(305)
 紫苑汤(305) 蜀椒丸(305) 润肺汤(305)
 如圣饮(305) 泻肺汤(305) 麻黄生姜汤(306)
 甘草桔梗汤(306) 黄芩汤(306) 葶苈丸(306)
 四神汤(306) 水蓼散(306) 桂皮散(306)
 猪胆散(306) 清肺散(306)
肾虚多唾 306
 五味子丸(306) 乾地黄汤(306) 半夏丸(306)
 前胡汤(307) 诃梨勒丸(307) 茯苓汤(307)
骨虚实 307
 补骨脂汤(307) 苁蓉汤(307) 地黄散(307)
 芍药虎骨散(307) 地黄酒(307) 四物汤(307)
 地骨皮汤(307) 秦艽汤(307) 人参饮(308)
髓虚实 308
 地黄煎(308) 温髓汤(308) 枳实汤(308)
 地骨皮汤(308)
膀胱虚冷 308
 五味子丸(308) 葶苈散(308) 鹿茸丸(308)
 补骨脂散(308) 石斛汤(308) 钟乳丸(309)
 乾地黄散(309)
膀胱实热 309
 石膏汤(309) 瞿麦饮(309) 车前子散(309)
 槟榔饮(309) 猪苓散(309) 芒硝散(309)

升麻饮(309) 梔子仁汤(309)
拔粹方 310
五邪相干 310
 芎藭汤(310)
医方大成 311
五脏内外所因证治 311
 枳壳煮散(311) 枳实散(311) 桂枝散(311)
 清心圆(311) 玄参升麻汤(312) 桂花散(312)
 良姜拈痛散(312) 枣膏圆(312) 升麻汤(312)
 葶苈散(312) 桔梗汤(312) 排脓散(312)
 椒附圆(312)
袖珍方 313
五脏内外所因证治 313
 桔梗饮子(313) 子芩散(313) 茯神散(313)
永类铃方 313
脾胃 313
 胃丹(313) 枳壳元(313) 烧脾散(313) 枣
 肉元(313) 思食调中元(313) 木香调中
 元(313) 八珍汤(314) 豆蔻橘红散(314)
 沉香磨脾散(314) 八味汤(314) 七珍散(314)
 曲术元(314) 白术汤(314) 温脾散(314)
 桂曲元(314) 厚朴煎元(314) 八味理中
 元(314) 大藿香散(314) 椒附建脾散(314)
 大建脾散(315) 大建脾元(315) 木香顿
 散(315) 通膈元(315) 天下受拜平胃散(315)
 小橘皮煎元(315) 茯苓分气饮(315) 扶老
 强中元(315) 思食元(315) 凝神散(315)
 安中汤(315) 温中元(315) 丁香半夏元(316)
 和中散(316) 小甘露饮(316) 白术饮(316)
肺 316
 泻白散(316) 人参荆芥散(316) 桔梗汤(316)
 葶苈散(316) 紫苑茸汤(316) 团参饮子(316)
 二母汤(316) 温肺汤(316) 扁豆散(316)
 升麻汤(316)
肾 316
肝 316
心 316
 升麻饮(316)
新效方 316

五补汤(316)			
五脏食治	317	治心虚方	322
千金方	317	治心实方	322
序论	317	治小肠虚方	322
神巧万全方	318	治小肠实方	322
食治方	318	治脾虚方	322
寿亲养老书	319	治脾实方	322
五脏禁忌	319	治胃虚方	322
千金方	319	治胃实方	323
五脏六腑图	320	治肺虚方	323
肺脏	320	治肺实方	323
心脏	320	治肺萎方	323
肝脏	320	治大肠虚方	323
脾脏	320	治大肠实方	323
肾脏	320	五脏导引	323
五脏针灸	320	巢氏病源	323
千金方	320	肝病候	323
筋极	320	心病候	323
胆实热	320	脾病候	323
脉极	320	肺病候	323
脉虚实	321	肾病候	323
小肠实热	321	膀胱病候	324
脾脏	321	五脏横病候	324
脾实热	321	五脏六腑图	324
胃实热	321	肺脏修养法	324
肺脏	321	治肺脏吐纳用咽法	324
肺实热	321	肺脏导引法	324
肺虚冷	321	心脏修养法	324
肺劳	321	治心脏吐纳用呵法	324
气极	321	心脏导引法	324
大肠实热	321	肝脏修养法	324
骨极	321	治肝脏吐纳用嘘法	325
骨虚实	321	肝脏导引法	325
胞囊	321	脾脏修养法	325
神巧万全方	322	治脾脏吐纳用呼法	325
治肝虚方	322	脾脏导引法	325
治肝实方	322	肾脏修养法	325
治胆虚冷方	322	治肾脏吐纳用吹法	325
治胆实方	322	肾脏导引法	325
		胆脏修养法	325

胆脏导引法	325	论诸风小便不通	334
治胆脏吐纳用嘻法	325	论风湿脚气候	334
五脏六腑图文备记	325	论诸风头目昏眩	334
诸风门一（原书卷之十三）	327	论诸风搔痒癩疹	334
巢氏病源	327	论诸风头痛目晕	334
风病诸候	327	论诸风恍惚惊悸	334
中风候	327	论诸风挫枕转筋	335
风身体手足不随候	327	论诸风痰逆呕吐	335
风痹手足不随候	327	论诸风脚膝缓弱	335
风不仁候	327	论破伤风证	335
风湿候	327	论缠喉风证	335
蛊风候	327	三因方	335
风热候	327	叙中风论	335
风气候	327	五脏中风证	335
风冷失声候	328	料简类例	336
中冷声嘶候	328	历节论	336
恶风须眉堕落候	328	大风叙论	336
恶风候	328	神巧万全方	337
风瘙痒候	328	风总论	337
风痒候	328	简易方	337
诸癩候	328	中风论	337
白癩候	329	直指方	339
被损久瘀血候	329	风论	339
腕折中风痉候	329	中风恶证	339
腕折中风肿候	329	朱氏集验方	339
刺伤中风水候	329	中风评	339
千金方	330	管见大全良方	341
论杂风状	330	中风证治	341
恶疾大风	332	卒中风疾证候未分首先用药法	342
圣惠方	332	卒中涎潮昏塞急当吐之证治	342
中风论	332	中风热证治	342
和剂指南	333	五脏中风证治	342
论中风证候	333	刚柔二痉证治	342
论诸风之由	333	破伤风破伤湿相类痙病证治	342
论诸风气中	333	中风无汗证治	343
论中风半身不遂	334	中风自汗证治	343
论诸风骨节疼痛	334	失音不语证治	343
论风湿证候	334	痰涎壅盛证治	343
论诸风大便不通	334	手足缓纵不仁半身不遂口眼喎	

斜证治	343	不内外因	355
白虎历节走注骨节疼痛及麻木		白虎历节	356
证治	343	医方集成	356
身体倦痛中夜后腰背疼痛不能		风	356
转侧证治	343	经验良方	357
拘急脚弱口噤证治	343	论中风病及诸风证	357
瘫痪手足不随证治	343	医林方	357
偏风筋脉拘急挛痛证治	343	中风杂说	357
诸风身体疼痛证治	343	施圆端效方	357
诸风头目昏晕证治	343	诸风	357
诸般头痛八般头风证治	344	事林广记	357
诸风便秘证治	344	用药效验	357
打扑坠堕伤损出血破伤风肿证		半身不遂	357
治	344	诸风寒温	357
儒门事亲	344	诸风	358
指风痹痿厥近世差互说	344	卒中	358
证口眼喎斜是经非窍辩	347	中风	358
诸风门二 (原书卷之十四)	349	玉机微义	358
治病百法	349	中风门	358
风	349	中风叙论之始	358
十形三疗	349	中风脉法	358
风形	349	中风不治证	358
因惊风搐	349	风分在脏在腑在经之异	358
风搐反张	349	治风不可下论	359
因风鼻塞	350	治风不可利小便	359
癰	350	湿病似中风论	359
肾风	350	中风先调气说	359
劳风	350	中气论	359
中风	350	四肢不举有虚有实	359
治方杂论	350	论风非外来乃本气病	359
风	350	风本于热论	359
澹寮方	351	治风用汗吐下三法	360
中风	351	论中风不当与痿证同治	360
卫生宝鉴	353	内因似中风论	360
中风论	353	叙痼风为病	361
永类钤方	353	痼风治法	362
中风	353	论痼风属肺生虫属木皆血热	
气中	355	之病	362
内因	355	论痼风宜汗宜下宜出血	362

- 论痲风所因 362
- 论大风有上下之分 362
- 论破伤风表里中治法 363
- 论破伤风所因不同 363
- 金匱方 364
- 中风历节病脉证并治 364
- 侯氏黑散(364) 风引汤(364) 防己地黄汤(364) 头风摩散(364) 桂枝芍药知母汤(365) 乌头汤(365) 矾石汤(365) 续命汤(365) 三黄汤(366) 术附子汤(366) 八味丸(366) 越婢加术汤(366)
- 千金方一 366
- 诸风 366
- 小续命汤(366) 小续命汤(368) 大续命汤(369) 大续命散(369) 续命煮散(369) 排风汤(369) 大八风汤(370) 八风散(370) 小八风散(370) 乌头汤(371) 藁耳散(371) 地黄煎(371) 大防风汤(371) 大戟洗汤(372) 金牙酒(372) 马灌酒(372) 蚩夷酒(372) 鲁王酒(373) 独活酒(373)
- 贼风 373
- 桂枝酒(373) 大定心汤(374) 乾姜附子汤(374) 侧子酒(374) 芎藭汤(374) 荆沥汤(374) 白术酒(374) 麻黄汤(374) 半夏汤(374) 当归圆(374) 麻黄续命汤(374) 八风防风散(374) 温中生姜汤(375) 肾沥汤(375) 茵芋酒(375) 乾地黄圆(375) 大岩蜜汤(375) 小岩蜜汤(375) 排风汤(375) 乌头汤(375)
- 诸风门三(原书卷之十五) 377
- 千金方二 377
- 防风汤(377) 羌活汤(377) 防己汤(377) 大枣汤(377) 犀角汤(377) 松节酒(377) 石膏汤(378)
- 偏风 378
- 防风汤(378) 葛根汤(378) 麻子汤(378) 白敛薤苳汤(379) 独活寄生汤(379) 菊花酒(379) 杜仲酒(379)
- 风痲 379
- 竹沥汤(379) 荆沥汤(380) 独活煮散(380) 五补圆(380)
- 风懿 381
- 独活汤(381) 石南汤(381) 桂汤(381) 附子散(381) 甘草汤(382) 枳茹酒(382)
- 角弓反张 382
- 八风续命汤(382) 当归汤(382) 秦艽散(383) 吴秦艽散(383)
- 风痹 383
- 铁精汤(383) 黄耆汤(383) 白敛散(383) 附子酒(384) 麻子酒(384)
- 头面风 384
- 芎藭酒(384) 防风汤(384) 茵芋汤(384) 鸱头酒(384) 大三五七散(385) 小三五七散(385) 茯神汤(385) 防风散(385) 摩头散(386) 入顶散(386) 杏仁膏(386) 大豆酒(386) 薯蕷散(386) 菊花散(386) 沐头汤(387) 犀角汤(387) 防风散(387)
- 风眩 387
- 续命汤(388) 赧豚汤(388) 防己地黄汤(388) 薯蕷汤(388) 防风汤(388) 薯蕷煎(388) 薯蕷圆(389) 天雄散(389) 人参圆(389) 九江散(389)
- 恶疾大风 390
- 神圣散(390) 狼毒散(390) 石灰酒(390)
- 千金月令 391
- 造椹煎(392)
- 海上仙方 392
- 头风头痛 392
- 破伤风 392
- 圣惠方一 392
- 治中风失音不语诸方 392
- 防风散(392) 附子散(393) 羌活饮子(393) 竹沥饮子(393) 荆沥饮子(393) 乌金煎(393) 桂心散(393) 独活散(393) 天麻散(393)
- 治中风口噤不开诸方 393
- 汉防己散(394) 羚羊角散(394) 枳壳散(394) 防风散(394) 独活散(394) 消梨饮子(394) 备急膏(394)

- 治中风不得语诸方 395
麻黄散(395) 独活散(395) 醋石榴饮子(395)
生地黄汁饮子(395) 天麻散(395) 桑枝饮
子(395) 天南星散(395) 牛黄丸(395) 返
魂丹(395)
- 治风瘕诸方 396
麻黄散(396) 桂心散(396) 防风散(396)
羚羊角散(396)
- 治风痉诸方 396
羚羊角散(396) 当归散(396) 天麻散(397)
白附子丸(397) 天麻丸(397) 牛黄丸(397)
- 治风痺诸方 397
麻黄散(397) 芎藭散(397) 葛根散(397)
独活散(398) 羚羊角散(398) 白鲜皮散(398)
天麻散(398)
- 治中风口面喎斜诸方 398
防风散(398) 羌活散(398) 麻黄散(398)
茵芋散(399) 独活散(399) 天麻散(399)
酸枣仁散(399) 肉桂熨法(399)
- 治风痹诸方 400
细辛散(400) 麻黄散(400) 白花蛇散(400)
羌活散(400) 独活散(400) 天麻丸(400)
蛭螂丸(401) 乌蛇丸(401) 羌活丸(401)
- 治风湿痺不仁诸方 401
麻黄散(401) 侧子散(401) 狗脊散(401)
茵芋散(402) 麻黄散(402) 石斛散(402)
侧子散(402) 蛭螂散(402) 白花蛇丸(402)
天雄丸(402) 附子丸(402) 天蓼木丸(403)
草薢丸(403)
- 治风寒湿痺身体手足不遂诸方 403
当归散(403) 防风散(403) 天麻散(403)
仙灵脾丸(403) 草薢丸(403)
- 治风血痺诸方 404
防风散(404) 侧子散(404) 麻黄散(404)
茵芋散(404) 地黄丸(404)
- 诸风门四(原书卷之十六) 405
圣惠方二 405
治摊缓风诸方 405
秦艽散(405) 防风散(405) 生地黄饮子(405)
- 侧子散(405) 羌活散(405) 麻黄煎丸(406)
黑龙丹(406) 踟躞丸(406) 牛黄丸(406)
- 治卒中风诸方 407
独活散(407) 杏仁散(407) 桂心散(407)
天麻散(407) 虎掌丸(407) 乌头丸(407)
白朮丸(407) 龙脑丸(408)
- 治贼风诸方 408
麻黄散(408) 桂心散(408) 茵芋散(408)
汉防己散(408) 羚羊角散(408) 秦艽散(409)
侧子散(409) 大续命汤(409) 小续命汤(409)
追风散(409)
- 治风入腹拘急切痛诸方 409
乌头散(409) 桂心散(409) 乾姜散(409)
赤芍药散(410) 茵芋散(410) 附子散(410)
天雄散(410)
- 治风邪诸方 410
菖蒲散(410) 桂心散(410) 人参散(410)
杨上寄生散(411) 远志散(411) 羚羊角
散(411) 芎藭散(411) 金箔丸(411)
- 治风恍惚诸方 411
茯神散(411) 防风散(422) 羚羊角散(412)
牛黄散(412) 铁粉丸(412)
- 治风头痛诸方 412
石膏散(412) 芎藭散(412) 防风散(413)
山茱萸散(413) 木乳散(413) 乌金煎(413)
吹鼻散(413) 摩膏(413)
- 治风痰诸方 414
前胡散(414) 旋复花散(414) 羚羊角散(414)
防风散(414) 枇杷叶散(414) 细辛散(415)
半夏散(415) 白朮丸(415) 皂荚煎丸(415)
天南星丸(415) 皂荚丸(415) 半夏丸(415)
秦艽散(415)
- 治风冷失声诸方 416
五味子散(416) 人参散(416) 石菖蒲散(416)
杏仁煎(416)
- 治偏风诸方 416
独活散(416) 天麻散(416) 侧子散(416)
防风散(417) 羚羊角散(417) 五加皮散(417)
茵芋散(417) 麻黄散(417) 防风散(417)

枳壳丸(417) 草薢丸(418) 海桐皮丸(418)
仙灵脾浸酒(418)

治风角弓反张诸方 418
麻黄散(418) 续命散(418) 犀角散(418)
薏苡仁散(418) 羚羊角散(419) 威灵仙
散(419) 麻黄散(419) 天雄散(419) 龙脑
丸(419) 天麻丸(419)

治风身体疼痛诸方 419
附子散(419) 羚羊角散(420) 独活散(420)
芎藭散(420) 防风散(420) 五加皮散(420)
茵芋散(420)

治风走注疼痛诸方 420
虎骨散(420) 乌头散(421) 汉椒散(421)
桂心散(421) 仙灵脾散(421) 虎骨散(421)
海桐皮煎丸(421) 虎骨丸(421) 骨碎补
丸(422) 狼毒丸(422) 神效膏(422)

治热毒风诸方 422
羚羊角散(422) 黄耆散(422) 前胡散(423)
青羊角散(423) 汉防己散(423) 犀角散(423)
防风散(423) 牛蒡子散(423) 天竹黄丸(423)
枳壳丸(423) 红雪(424) 摩顶膏(424) 陵
零香油(424) 摩顶油(424)

治破伤风诸方 424
朱砂散(424) 羌活散(424) 赤箭散(424)
槐胶散(424) 附子散(425) 防风散(425)
独活散(425) 天麻散(425) 追风散(425)
天南星散(425) 阿胶散(425) 牛黄丸(425)
羌活丸(426) 追风丸(426) 辟宫子丸(426)
天南星丸(426) 鹿角霜丸(426) 乌头丸(426)

治风腰脚疼痛冷痹诸方 426
草薢散(427) 羌活散(427) 虎骨散(427)
仙灵脾散(427) 安息香散(427) 虎骨丸(427)
牛膝丸(427) 浸酒(427) 乌头散(427)

治风顽麻诸方 428
乌蛇散(428) 白头翁丸(428) 乌头丸(428)
天南星丸(428) 乌蛇丸(428) 皂荚膏(428)

治风脚软诸方 428
独活散(428) 天雄散(429) 仙灵脾散(429)
侧子丸(429) 仙灵脾煎丸(429) 蒺藜煎

丸(429) 海桐皮浸酒(429) 乌金煎(429)
桑枝煎(430) 天雄煎丸(430)

诸风门五(原书卷之十七) 431

圣惠方三 431

治急风诸方 431

牛黄散(431) 附子散(431) 蛭螂散(431)
乌蛇散(431) 阿胶散(431) 腊鸦散(431)
天南星散(432) 乾蝎散(432) 雄黄散(432)
天麻散(432) 雄黄散(432) 白花蛇丸(432)
龙脑丸(432) 牛黄丸(433) 土蜂丸(433)
乳香丸(433) 玳瑁丸(433) 牛黄丸(433)
铅霜丸(433) 麝香丸(433) 天雄丸(434)
半夏丸(434) 白荆花丸(434) 蛭螂丸(434)
赤箭丸(434)

治风痺曳诸方 434

当归散(434) 独活散(434) 防风散(435)
小八风散(435) 赤箭丸(435) 犀角丸(435)
仙灵脾丸(435) 侧子丸(435)

治柔风诸方 436

羌活散(436) 大续命散(436) 当归散(436)
独活散(436) 麻黄散(436) 防风散(436)
葛根散(436) 草薢散(437) 天雄丸(437)
乌金煎丸(437) 牛蒡酒(437)

治白虎风诸方 437

羌活散(437) 虎杖散(437) 赤芍药散(437)
虎骨散(437) 酸枣仁散(438) 当归散(438)
没药散(438) 白头翁煎(438) 麝香丸(438)
地龙散(438) 防风散(438) 雄黄散(439)
地龙粪散(439) 燕窠土丸(439) 葱白熨(439)
皂荚散(439)

治刺风诸方 439

火麻仁散(439) 薏苡仁散(439) 羌活散(439)
天麻丸(440) 白蒺藜丸(440)

治头面风诸方 440

山茱萸散(440) 蔓荆散(440) 赤箭散(440)
乌蛇散(440) 藁本散(440) 薯蓣散(441)
甘菊花丸(441) 白蒺藜丸(441) 皂荚煮
丸(441)

治风头旋诸方 441

汉防己散(441) 前胡散(441) 蔓荆子散(441)
羚羊角散(441) 白术散(442) 甘菊花散(442)
芎藭散(442) 远志散(442) 独活散(442)
山茱萸散(442) 天雄散(442) 鸱头丸(442)
旋复花丸(442) 摩顶细辛膏(443) 蝉壳
散(443) 菊花酩酒(443) 松花浸酒(443)
治头风目眩诸方 443
杜若散(443) 防风散(443) 前胡散(443)
汉防己散(443) 芎藭散(444) 赤茯苓散(444)
旋复花散(444) 甘菊花散(444) 天雄散(444)
茯神散(444) 薯蓣散(444) 白芷散(444)
踟躅散(444) 青莲摩顶膏(445)
治中风半身不遂诸方 445
麻黄散(445) 附子散(445) 独活散(445)
牛膝散(445) 天麻散(445) 草薢丸(446) 乌
犀丸(446) 牛黄丸(446) 赤箭丸(446) 天
雄丸(446) 仙灵脾浸酒(446)
治中风偏枯不遂诸方 447
独活散(447) 竹沥饮子(447) 桂心散(447)
乌蛇散(447) 麻黄散(447) 天雄散(447)
山茱萸散(447) 川乌头丸(448) 牛黄丸(448)
龙脑丸(448) 三灵丹(448) 独活浸酒(448)
天蓼木浸酒(448) 皂荚丸(449)
治历节风诸方 449
桂心散(449) 茯神散(449) 草薢散(449)
赤芍药散(449) 海桐皮散(449) 肉桂散(449)
酸枣仁散(450) 松脂散(450) 虎骨散(450)
天雄散(450) 仙灵脾煎(450) 虎骨丸(450)
雄黄丸(450) 川乌头丸(450) 茵芋丸(451)
治风虚多汗诸方 451
防风散(451) 牡蛎散(451) 石膏散(451)
秦艽散(451) 石斛散(451) 人参散(451)
麻黄根散(451)
治风热诸方 451
羚羊角散(452) 麦门冬散(452) 茯神散(452)
丹砂散(452) 牛黄散(452) 真珠丸(452)
犀角丸(452) 人参丸(452)
治风冷诸方 452
巴戟散(453) 天麻散(453) 雄黄丸(453)

牛膝丸(453) 安息香丸(453) 草薢丸(453)
祛风补益蚬蛭丸(453) 附子丸(453)
治腰腿风诸方 454
芎藭饮子(454) 防风散(454) 侧子散(454)
独活散(454) 赤箭丸(454) 薏苡仁丸(455)
苍耳子汤(455)
治中风手脚不遂诸方 455
五加皮散(455) 犀角散(455) 醋石榴煎(455)
附子散(455) 仙灵脾散(455) 丹砂丸(456)
石斛浸酒(456)
治风四肢拘挛诸方 456
防风散(456) 薏苡仁散(456) 当归散(456)
独活散(456) 羚羊角散(457) 羌活散(457)
天麻丸(457) 牛黄丸(457) 酸枣仁丸(457)
草薢丸(457) 乳香丸(457) 蜂儿丸(457)
治大肠风热秘涩不通诸方 458
犀角散(458) 秦艽散(458) 槟榔散(458)
诸风门六(原书卷之十八) 459
圣惠方四 459
治大风疾诸方 459
朱砂散(459) 杏仁丸(459) 苦参丸(459)
石榴浸酒(459) 柳枝煎防风丸(459) 黑虎
丹(460) 乌蛇丸(460) 白花蛇散(460) 乳
香散(460) 雄黄散(460) 天蓼散(460) 赤
箭丸(461) 桂枝浸酒(461) 茵芋酒(461)
紫茄子根散(461) 百花煎(461) 乳香煎(461)
狼毒散(462) 摩勒香(462) 天蓼粥(462)
宣泻皂荚丸(462)
治大风鬓眉堕落诸方 462
雷丸散(463) 莽草散(463) 乳香丸(463)
青盐散(463) 松叶浸酒(463) 侧柏叶丸(463)
百灵藤粥(464)
治大风癩诸方 464
千金散(464) 白僵蚕丸(464) 苦参丸(465)
丹砂丸(465) 苦参酿酒(465) 何首乌散(465)
桃枝汤(465)
治乌癩诸方 465
蛭皮丸(465) 雄黄涂药(465) 硫黄散(466)
大黑神膏(466) 蜂房酿酒(466)

治白癩诸方 466
 鲛鲤甲丸(466) 苦参酹酒(466) 天麻煎(466)
治大风出虫诸方 467
 阿魏雷丸散(467) 朱砂散(467) 水银雷丸
 散(467) 独活散(467)
治风瘙痒诸方 468
 天麻散(468) 乌蛇散(468) 苦参散(468)
 乌金丸(468) 枳壳浸酒(468) 防风浴汤(468)
治风痞瘰诸方 469
 羚羊角散(469) 枳壳散(469) 乌蛇散(469)
 荆芥散(469) 沙参散(469) 枳壳丸(469)
 蒺藜丸(470) 垂柳汤(470) 莽草膏(470)
 丹参汤(470) 柳枝汤(470)
治风身体如虫行诸方 470
 莽草散(470) 柏子仁散(470) 防风散(470)
 莽草丸(470) 白蒺藜丸(471) 天南星丸(471)
 枳壳丸(471) 雄黄丸(471)
治白癩风诸方 471
 苦参散(471) 乌蛇散(471) 白敛散(472)
治紫癩风诸方 472
 白花蛇散(472) 醋石榴丸(473) 代赭丸(473)
 硫黄膏(473) 桑枝煎(473)
治痲风诸方 473
 乌蛇散(473) 女娄膏(473) 蜀水花膏(474)
 炊帚散(474) 苍耳丸(474)
治风白驳诸方 474
治一切风通用丸药诸方 475
 灵宝丹(475) 大黑神丸(476) 黑神丸(477)
 大通丸(477) 黑星丹(477) 拯圣大通丸(477)
 黑神丸(478) 走马丹(478) 龙脑丸(478)
 雄朱丹(478) 太一丹(479) 牛黄丸(479)
 香汗丸(479) 乌犀丸(479) 麝香丸(479)
 天麻丸(480) 白花蛇丸(480) 龙脑丸(480)
 雄黄丸(480) 玄英丹(480) 狐肝丸(480)
 无比牛黄丸(480) 天南星丸(481) 白丸
 子(481) 大白丹(481) 龙脑丸(481)
治一切风通用散药诸方 481
 大排风散(481) 赤箭散(482) 大莽草散(482)
 小莽草散(482) 羌活散(482) 天南星散(482)

 藁本散(482) 龙脑散(483) 白花蛇散(483)
 秦艽散(483)

治一切风通用煎药诸方 483
 天麻煎(483) 仙灵脾煎(483) 五枝煎(483)
 百灵藤牛膝煎(483) 天蓼木煎(484) 石榴
 煎(484) 酸枣仁煎(484) 花桑枝煎(484)
 乌金煎(484) 菊花煎(484) 桤叶煎(485)
 桤枝煎(485) 乌头煎(485) 百灵藤煎(485)
 南烛煎(485)

治一切风通用浸酒药诸方 485
 茄子根浸酒(485) 海桐皮浸酒(485) 乌鸡
 酿酒(486) 茯苓菊花浸酒(486) 茵芋浸
 酒(486) 列节浸酒(486) 牛膝浸酒(486)
 五粒松叶浸酒(487) 鼠粘根浸酒(487) 白
 花蛇浸酒(487) 乌蛇浸酒(487) 乌金浸
 酒(487) 桑枝浸酒(487) 牛蒡子浸酒(487)
 百灵藤酿酒(488) 天蓼木浸酒(488) 附子
 浸酒(488) 枳壳浸酒(488)

诸风门七(原书卷之十九) 489

 圣惠方五 489

治风腰脚疼痛通用浸酒药诸方 489
 牛膝浸酒(489) 草薢浸酒(489) 石斛浸
 酒(489) 虎骨浸酒(489) 杜仲浸酒(489)
 仙灵脾浸酒(489) 酸枣仁浸酒(490) 茄子
 根浸酒(490) 五加皮浸酒(490) 菊花浸
 酒(490) 海桐皮浸酒(490)

治一切风通用摩风膏药诸方 490
 摩风膏(490) 乌头摩风膏(491) 摩风白芷
 膏(491) 摩风膏(491) 神验膏(491) 神
 验摩风毒膏(491) 雄黄摩风膏(492) 乌头
 摩风膏(492) 踞蹠摩风膏(492) 乌头摩风
 膏(492)

治一切风攻手足疼痛通用淋醢
 诸方 492
 桑枝汤(492) 附子汤(493) 川乌头汤(493)

药茶诸方 493

四时纂要 493
 续命汤(493)

和剂局方 494

治诸风	494
至宝丹(494) 润体圆(494) 乌犀圆(494)	
牛黄清心圆(495) 摩挲圆(495) 透冰丹(496)	
龙脑天麻煎(496) 牛黄小乌犀圆(496) 萎	
金圆(496) 龙虎丹(497) 麝香天麻圆(497)	
龙脑芎犀圆(497) 银液丹(498) 牛黄圆(498)	
碧霞丹(498) 雄朱丹(498) 八风丹(498)	
牛黄生犀圆(498) 辰砂天麻圆(498) 青州	
白圆子(499) 辰砂圆(500) 牛黄金虎丹(500)	
防风圆(500) 川芎圆(500) 薄荷煎圆(500)	
天南星圆(500) 犀角圆(501) 皂角圆(501)	
防风汤(501) 大通圣白花蛇散(501) 消风	
散(501) 羌活散(502) 八风散(502) 清	
神散(502) 虎骨散(502) 骨碎补圆(502)	
乌荆圆(503) 太阳丹(503) 如圣饼子(503)	
没药降圣丹(503) 乳香没药圆(503) 七圣	
散(503) 白龙圆(503) 活血应痛丸(503)	
四生散(504) 通关散(504) 四斤圆(504)	
铁弹圆(504) 大圣一粒金丹(504) 乳香应	
痛圆(505) 省风汤(506) 追风散(506) 乳	
香圆(506) 黑神圆(506) 拒风丹(506) 急	
风散(506) 三生饮(507) 大醒风汤(508)	
五痹汤(508) 寿星圆(509) 左经圆(509)	
活络丹(509) 七生圆(509) 川芎茶调散(509)	
黑龙圆(509) 惊气圆(509) 乳香宣经圆(510)	
换腿圆(510) 四生圆(510) 轻脚圆(510)	
大防风汤(510) 经进地仙丹(511) 伏虎	
丹(511) 乌药顺气散(511) 换腿圆(512)	
左经圆(512) 木瓜圆(512) 追风应痛圆(512)	
磁石圆(513) 胡麻散(513) 黑神圆(513)	
追风散(513) 苦参圆(513)	
大全本草	513
不一散(513) 驱风散(514) 小金牙酒(514)	
麻黄杏仁薏苡仁汤(514) 摩膏(515) 茵芋	
酒(516) 稀莖丸(516) 大麻仁酒(518) 风	
引汤(519)	
诸风门八(原书卷之二十)	521
三因方	521
中风治法	521

生姜生附汤(521) 白散子(521) 红龙散(521)	
神异温风丹(521) 独活丹(521) 小竹沥	
汤(521) 烧竹沥法(521) 独活散(522) 仁	
寿圆(522) 铁弹圆(522) 活络通经丸(522)	
舒筋保安散(522) 松节散(522) 芎桂散(522)	
趁风膏(523) 小黄芪酒(523) 仙酒(523)	
不内外因中风凡例	523
麝衔汤(523) 附子汤(524)	
历节治法	524
乌头汤(524) 附子八物汤(524) 独活寄生	
汤(524)	
痙叙例治法	524
栝蒌桂枝汤(524) 葛根麻黄汤(524) 大承	
气汤(524) 参桂汤(524) 当归酒(525)	
破伤风湿治法	525
防风散(525) 牡蛎散(525) 香胶散(525)	
大风治法	525
换骨丹(525) 遇仙丹(526) 疏风散(526)	
佛手膏(526) 去毒丹(526) 甘草散(526)	
解毒丸(526) 福神丹(526) 水膏药(526)	
通天再造散(526) 三济丸(527) 八叶汤(527)	
料简	527
卫生十全方	527
壮心丸(528)	
神巧万全方	529
治急风诸方论	529
大驱风散(529) 小驱风散(529) 四神散(529)	
五藏中风方论	529
犀角散(529) 决明子丸(530) 镇心丸(530)	
茯神散(530) 细辛散(530) 乌蛇丸(530)	
坏涎丸(530) 独活散(530) 皂荚煎丸(530)	
天麻丸(530) 独活散(531)	
瘫痪风方论	531
大铁弹丸(531) 白术散(531) 鹿茸丸(531)	
治中风半身不遂方论	531
海桐皮丸(531)	
风痺方论	531
竹沥饮子(532) 竹沥汤(532) 独活散(532)	
治风痙方论	532

石膏散(532) 天南星丸(532) 铜屑酒(532)
风寒热候方论 533
荆沥汤(533)
风眩方论 533
神白散(533) 白龙丸(533) 旋复花散(533)
神圣散(533)
大风方论 533
风诸杂候方论 534
附子散(534) 小乌犀丸(534) 四生丸(534)
藏灵仙丸(534) 苦参散(534)
助道方 534
治中风气逆证 534
治年深恶毒疮 535
治风中半身不遂病 535
治中风口眼喎斜证 535
是斋医方 535
中风 535
三建汤(535) 白附子散(535) 顺元散(535)
三圣散(536) 醒风汤(536) 龙骨丹(536)
大圣丹(536) 灵效丸(537) 锡磷脂丸(537)
除湿汤(537) 蠲痹汤(537) 回阳汤(538)
十味如神元(538) 香油(538) 四神散(538)
神仙退风丹(539) 神应元(539)
琐碎录 539
中风 539
大风 540
头风 540
简易方 540
清神散(540) 清气散(540) 清凉丹(540)
人参顺气散(540) 通顶散(541) 天仙膏(541)
解语汤(541) 神柏散(542) 救急稀涎散(542)
胜金圆(542) 虎骨散(542) 活血丹(542)
太乙神精丹(542) 天香散(543) 拒风圆(543)
定风饼子(543) 玉真元(543) 钩藤散(543)
回阳汤(543) 回阳丹(543) 星附散(543)
万金散(544) 十味锉散(544) 黑龙圆(544)
大通圆(545) 灵宝丹(545) 乌龙丹(545)
麝香圆(546) 麻黄散(546) 茵芋圆(546)
芎附散(546) 续断圆(546) 增损续断圆(546)

枳实酒(546)
诸风门九(原书卷之二十一) 547
王氏易简方 547
如圣饼子(547) 木香橘皮丸(547) 白龙丸(548)
卢氏诸风例 548
大圣一粒金丹(548) 星附汤(548) 三建汤(548) 大省风汤(548) 小省风汤(548) 大紫豆汤(548)
直指方 548
诸风 548
省风汤(549) 铁骨丹(549) 增味五痹汤(549) 瓜蒂散(549) 归荆汤(549)
风缓方论 549
排风汤(550) 续命汤(550) 苏合香圆(550) 大铁弹圆(550) 蝎附散(550) 虎骨酒(550) 铁骨丹(550) 铁弹圆(550)
历节风论 550
虎骨散(550) 雄麝圆(550) 海桐皮散(551) 独活寄生汤(551) 麝香圆(551) 虎骨酒(551) 硫黄酒(551) 返魂追命再造散(551) 神授圆(551)
头风方论 551
消风散(552) 川芎茶调散(552) 究原抽刀散(552) 芎芷散(552) 香芷散(552) 三陈汤(552) 如圣饼子(552) 芎辛汤(552) 葛根汤(552) 桂枝葛根汤(552)
癫风方论 553
神效追命散(553) 皂棘汤(553) 皂角圆(553) 硫黄酒(553) 黑虎丹(553) 乌蛇圆(553) 雄朱散(553) 雷圆散(554) 虾蟆圆(554) 蔓荆圆(554) 返魂追命再造散(554) 蜡矾圆(554)
癩风 554
朱氏集验方 554
诸风 554
八生饮子(554) 舒筋圆(554) 八宝回春汤(554) 五虎汤(555) 十八味流气饮(555) 省风散(555) 二妙散(555) 酒浸饮子(555)

四君丸(555) 醒风汤(555) 小防风汤(555)
附子大独活汤(555) 人参南星圆(556) 附
子煎(556) 紫金圆(556) 防风汤(556) 黄
耆六一汤(556) 麝香轻骨丹(556) 驹马
丹(556) 温络汤(556) 密陀僧散(557)
省风汤(557) 乌犀圆(557) 乌药散(557) 正舌
散(557) 川芎散(557) 十二味正气散(557)
小金丹(557) 芎辛散(557) 青龙膏(557) 果
皮圆(558) 赶痛圆(558) 圣验黑神圆(558)
宿州红饼子(558) 防风汤(558) 消风散(559)
仙茅散(559) 黄柏散(559) 唾调散(559)
严氏济生方 559
 中风论治 559
 八味顺气散(559) 星附汤(559) 虎胥骨
 酒(560) 蠲痛圆(560) 青龙妙应圆(560)
 加减地仙丹(560) 二香三建汤(560)
 白虎历节论治 560
 羌活汤(560) 虎骨散(561) 蠲痛圆(561)
严氏济生续方 561
 风评治 561
 搐鼻法(561) 稀涎散(561) 星香散(561)
 省风汤(561) 稀荳圆(561) 换肌圆(562)
管见大全良方 562
 治诸风 562
 三倍汤(562) 控涎丹(562) 大豆紫汤(562)
 木香煮散(562) 续命煮散(562) 独活汤(563)
 牛黄圆(563) 通关散(563) 神仙解语丹(563)
 细辛散(563) 芎羌散(563) 雄朱蝎附散(563)
 柏子仁圆(563) 茯苓圆(563) 白芥子散(563)
 舒经汤(564) 调气散(564)
修月鲁般经后录 564
 蟬花饼子(564)
三法六门 564
 风门 564
 防风天麻散(564) 防风汤(564) 祛风丸(564)
 消风散(565) 川芎散(565) 搜风丸(565)
 当归川芎散(565) 愈风饼子(565) 疏风
 丸(565) 通顶散(565) 胃风汤(565) 香
 芎散(565) 铁弹丸(565)

宣明论 565
 风论 565
 防风通圣散(566) 通圣散(568) 通圣散(568)
 通圣散(568) 犀角丸(568) 搜风丸(569)
 川芎石膏汤(569) 川芎神功散(569) 换骨
 丹(569) 麻黄膏(570) 茯苓半夏汤(570)
 仙术芎散(570) 铃红散(570) 神芎散(570)
 万灵丸(570) 蜘蛛丸(571) 舒筋散(571)
 胜金丸(571) 比金散(571) 神白丹(571)
 桃仁丸(571) 瓜蒂神妙散(571) 清风散(571)
 灵砂丹(571) 天麻散(572) 薄荷白檀汤(572)
 菊叶汤(572)
东垣试效方 572
 脉风成厉 572
 补气泻荣汤(572)
御药院方一 572
 风药 572
 活命金丹(572) 大辰砂丸(573) 龙脑川芎
 丸(573) 生朱丹(573) 独活续命汤(573)
 芎术汤(573) 通顶散(573) 木瓜虎骨丸(573)
 上清白附子丸(574) 石膏丸(574) 四物附
 子汤(574) 骐驎竭散(574) 蛇蝎续命汤(574)
 不换金丹(574) 乳香消风散(574) 生犀
 丸(574) 龙麝紫芝煎(575) 透空丸(575)
 虎骨丸(575) 换骨丹(575) 清神散(575)
诸风门十(原书卷之二十二) 576
 御药院方二 576
 金砂丹(576) 百全丸(576) 辟风丹(576)
 灵犀丹(576) 犀角搜风丸(576) 旋复花
 丸(577) 独活丸(577) 如圣散(577) 茵
 芋散(577) 青金丹(577) 七宝膏(577) 分
 涎丸(577) 分涎散(577) 银粉丸(577) 龙
 脑安神丸(577) 牛黄铁粉丹(578) 灵砂
 丹(578) 加减薄荷煎丸(578) 四蒸木瓜
 丸(578) 大木香丸(578) 清膈汤(578) 增
 损防风通圣散(578) 加脑子白豆蔻薄荷煎
 丸(579) 天麻丸(579) 芎枳丸(579) 薄
 荷煎(579) 祛涎丸(579) 至灵散(579) 二
 圣散(579) 石膏散(579) 芎莠散(579) 神

圣散(580) 上清散(580) 王瓜散(580) 没药丸(580) 轻骨丹(580) 浸酒(580) 龙脑清胆汤(580) 虚风丸(580) 芎藭天麻丸(581) 透开丸(581) 八仙丹(581) 太白丸(581) 太白丹(581) 太一散(581) 芎黄汤(581) 旋复花汤(581) 人参附子汤(581) 龙香散(582) 蝎梢半夏丸(582) 通关散(582) 胡麻丸(582) 川芎石膏汤(582) 甘菊花荆芥汤(583) 羌活丸(583) 芎辛汤(583) 虎骨木瓜丸(583) 菊花散(583) 木香保命丹(583) 乌蛇丸(584)

得效方 584

风科 584

虚证 584

通气驱风汤(584) 加减续命汤(584) 大省风汤(584) 顺元散(584) 二香三建汤(584) 一粒金丹(584) 万金汤(584) 八宝回春汤(584) 真珠圆(584) 御风膏(584) 虎骨酒(584)

热证 585

金沸草散(585) 人参羌活散(585) 星香饮(585) 防风通圣散(585) 三黄汤(585) 小省风汤(585) 洗心散(585) 四顺清凉饮(585) 小通圣散(585) 清神散(585) 茶调散(585) 川芎石膏汤(585) 消风散(585) 透冰丹(585) 解毒雄黄圆(585) 大秦艽散(586) 通关散(586)

通治 586

解语汤(586) 加味寿星圆(586) 排风汤(586) 蝎蝎白圆子(586) 稀涎散(586) 苦丁香散(586) 禹功散(586) 神柏散(587) 去风丹(587) 豆淋酒法(587) 枳皮酒(587) 莱菔膏(587) 一得散(587) 独行散(587) 趁风膏(587) 乳灵圆(587) 追风独活散(587) 仙桃圆(588) 乌褐圆(588) 四神圆(588) 肾沥汤(588) 乳香寻痛圆(588) 牛黄清心圆(588) 乌荆圆(588) 青州白圆子(588) 苏青圆(589) 蛇黄散(589) 琥珀圆(589) 辰砂圆(589) 大九宝饮(589) 乌附圆(589) 藏灵仙圆(590) 猿肝圆(590) 皂角六一

圆(590) 金汞灵丹(590) 香附汤(590) 正舌散(590) 仙茅散(590) 活络丹(590) 黑龙圆(590) 左经圆(590) 川芎散(590) 枳实酒(591) 羌花散(591) 天仙膏(591) 烧竹沥法(591)

疔风 591

解毒雄黄圆(591) 浴法(591) 换骨丹(591) 遇仙丹(591) 疏风散(591) 佛手膏(591) 去毒丹(591) 甘草散(591) 解毒圆(591) 福神丹(591) 水膏药(591) 通天再造散(591) 三济圆(591) 八叶汤(591)

痰风 591

排风汤(591) 加减续命汤(591) 苏合香圆(591) 不换金正气散(591) 一粒金丹(591) 大铁弹圆(591) 大四斤圆(591)

历节风 591

羌活汤(591) 趁痛圆(591) 附子八物汤(592) 乌头汤(592) 虎骨散(592) 麝香圆(592) 独活寄生汤(592) 麻黄散(592) 神授圆(592) 摄风酒(592)

癜风 592

何首乌散(592) 如圣膏(592)

破伤风 593

急风散(593)

舒筋法 593

澹轩方 593

头风 593

癩秃 593

赤游风肿 593

肘后方 593

治中风诸急方 593

龙脑甘露丸(594) 松节酒(595)

治卒风暗不得语方 595

莽草膏(595)

卫生宝鉴 596

中风 596

小续命汤(596) 大秦艽汤(597) 三化汤(597) 羌活愈风汤(597) 四白丹(598) 二丹丸(598)

中风杂说 598

天麻丸(598)	
中风见证	598
泻青丸(598) 独圣散(599)	
风中血脉治验	599
秦艽升麻汤(599) 犀角升麻汤(599)	
风中腑兼中脏	600
加减冲和汤(600) 当归连翘汤(600) 玄参升麻汤(600) 牢牙散(600) 清肺饮子 (601) 润肠丸(601) 益气调荣汤(601)	
风中腑诸方	601
大通圣白花蛇散(601) 犀角防风汤(601) 木香丸(601) 续命丹(601) 疏风汤(602) 趁风膏(602)	
风中脏诸方	602
活命金丹(602) 至宝丹(602) 至圣保命金丹(602) 牛黄通膈汤(602) 呵子汤(602) 正舌散(602) 茯神散(602) 胜金丹(602) 分涎散(603)	
风邪入肝.....	603
真珠丸(603) 独活汤(603)	
中脏治验	603
治风杂方	603
祛风丸(603) 轻骨丹(603) 当归龙胆丸(604) 圣饼子(604) 乌荆丸(604) 搜风润肠丸(604) 澡洗药(604) 拈痛散(604)	
破伤风诸方	604
乌梢散(604) 朱砂丸(604) 天麻丸(605)	
痲风证	605
桦皮散(605) 凌霄散(605) 四圣保命丹(605) 祛风散(605) 柏叶汤(605) 乌龙散(605) 天麻汤(605) 换肌散(605) 如圣散(606) 醉仙散(606) 加减何首乌散(606) 补气泻荣汤(606)	
头风论并方	606
人参消风散(606) 龙脑芎犀丸(606) 清神散(606)	
雷头风	606
清震汤(606)	
诸风门十一(原书卷之三十三)	608

澹寮方	608
中风	608
星香饮(608) 附香饮(608) 大星附汤(608) 三公散(608) 小续命汤(608) 皂角煎(608) 趁痛圆(608) 定痛圆(609) 养肾散(609) 天南星散(609) 追风散(609) 醒风汤(609)	
居家必用	609
麝香膏(609) 愈风丹(609)	
必用全书	610
诸风证	610
加减青州白圆子(610)	
头风	610
八味顺气散(610) 珍珠散(610)	
必用之书	610
杂类	610
王氏集验方	610
治诸风	610
全蝎散(610) 乌术丸(610) 神圣饼(610) 神仙解语丹(610) 皂角膏(611) 乌头丸(611) 青州白丸子(611) 苍茸散(611) 革拨散(611) 芎辛汤(611)	
拔粹方	612
天麻丸(612)	
破伤风证	612
白术汤(612) 江鲮丸(612) 羌活防风汤(612) 白术防风汤(612) 芎黄汤(612) 大芎黄汤(612) 羌活汤(612) 防风汤(613) 蜈蚣散(613) 左龙丸(613) 羌活汤(613) 当归地黄汤(613) 祛风至宝丹(613) 起死神应丹(613) 独圣散(613)	
痲风证	614
桦皮散(614) 二圣散(614) 七圣丸(614) 七宣丸(614)	
头风证	614
雷头风证	614
大头风证	614
黑白散(614) 消毒丸(614)	
瑞竹堂方	615
诸风	615

匀气散(615) 真珠散(615) 麝香散(615)
 脑麝祛风丸(615) 圣灵丹(615) 七乌丸(616)
 活络丹(616) 甜瓜子丸(616) 愈风丹(616)
 飞步丸(616) 复春丸(616) 黑弩箭丸(616)
 刷马丹(617) 草灵宝丹(617) 换骨丹(617)
 搐药不卧散(617) 如神散(617) 麝香虎骨
 散(617) 乳香应痛丸(618) 慈苡仁汤(618)
 遇仙如意丸(618) 甘露散(618) 加味三生
 丸(618) 神效地仙丹(618) 白花蛇造
 酒(618) 追风丹(618) 白丸子(619) 如神救
 苦散(619) 龙虎丹(619) 透骨膏(619) 接
 骨丹(619) 四圣紫金丹(619) 祛风导气
 化痰丸(619) 敷药(620)
 医方大成 620
 风 620
 夺命散(620) 人参顺气散(620) 雄附醒风
 汤(620) 羌活散(620) 牵正散(620) 加减
 青州白元子(620) 附子汤(621) 防风汤(621)
 太白散(621) 黄石散(621) 乌头汤(621)
 木瓜煎(621) 侧子散(621) 独活散(621)
 防风散(621) 荆芥圆(621) 甘菊圆(621)
 南北经验方 622
 千金保命丹(622) 解风散(622) 大川芎
 圆(622)
 袖珍方 622
 风 622
 羌活散(622) 天南星膏(622) 防风汤(622)
 无名丹(623) 搜风顺气丸(623) 御风丹(624)
 防风汤(624) 定风散(624) 清气散(624)
 如圣散(624) 大乌药顺气散(624) 补气
 汤(624) 防风汤(624) 清阳汤(624) 胃风
 汤(625) 乌龙丸(625) 镇风丹(625) 神仙
 飞步丹(625) 保命丹(625) 一字散(625)
 如圣散(625) 犀角饮子(625) 如圣散(626)
 永类铃方 626
 大风 626
 洗药(626) 选奇神效散(626)
 经验秘方 626
 三军上马无敌丸(626) 三军上马无敌丸(626)

乌犀丸(627) 牛犀散(627) 祛风顺气丸(627)
 加减顺气散(627) 乳香趁痛丸(627) 赤龙
 丸(627) 三宝散(628) 仙酒方(628) 肺风
 散(628) 加减愈风汤(628) 玉液汤(628)
 背药(628) 匀气散(629) 熏洗(629) 万金
 散(629) 浸虎骨酒(629) 冲和汤(629) 犀
 角退热饮子(630) 祛风丸(630) 温胆
 汤(630) 镇心汤(630) 牛犀丸(630) 禹余
 粮散(630) 上清川芎丸(630) 迎风丹(631)
 中风 631
 头风 631
 盏落汤(631)
 破伤风 631
 经验良方 632
 加味青州白圆子(632) 四宝丹(632) 小续
 命元(632)
 医林方 633
 金凤丹(633) 越桃散(633) 祛痰丸(633)
 半天丸(633) 乳香趁痛疼丸(633) 乌龙
 丸(634) 追命散(634) 乌龙散(634) 换骨
 丹(634) 趁痛丸(634) 虎骨散(634) 黑虎
 散(634)
 诸风门十二(原书卷之二十四) 635
 烟霞圣效方 635
 诸风 635
 歙墨丸(635) 苦参丸(635) 通应散(635) 神
 力散(635) 蜈蚣散(635) 金花一字散(635)
 螭蜡丸(635) 急救丸(635) 胜金散(635) 卜
 物独活汤(635) 必胜散(636) 祛风散(636)
 怪花散(636) 木郁丹(636) 白嚼丸(636)
 立圣散(636)
 寿亲养老书 636
 旋覆花散(636) 羌活元(636) 藁本散(636)
 续断散(637) 乌犀圆(637) 神白散(637)
 施圆端效方 637
 诸风 637
 白龙丸(637) 乌龙丸(637) 化风丹(637)
 蒜涂法(637) 螭蛸一字散(638) 小消风
 散(638) 小追风散(638) 大紫苑丸(638)

- 小灵脂丸(638) 当归酒(638) 夺命还真丹(638) 玉饼子(638) 小灵宝三倍丸(638) 乌姜丸(639) 乌龙丸(639)
- 吴氏集验方 639
- 诸风 639
- 乳香圆(639) 二圣圆(639) 天麻散(639) 焦鸣散(639)
- 神效名方 639
- 破伤风邪 639
- 辰砂夺命丹(639) 蜈蚣散(640)
- 诸风疾证 639
- 不老丹(640) 四仙丹(640) 愈风丹(640) 五九散(640) 苦参散(640)
- 事林广记 640
- 山居四要 641
- 诸风 641
- 新效方 641
- 黄精丸(641)
- 外科精义 641
- 防风散(641)
- 急救仙方 641
- 救急死 641
- 如神丹(641) 三灵散(641) 头风丹(641) 如圣散(641)
- 治大风偏然子论 642
- 消风散(642) 追风散(642) 磨风圆(642) 洗药(643) 敷药(643)
- 玉机微义 643
- 中风 643
- 发表之剂 643
- 续命汤(643) 大续命汤(643) 小续命汤(643) 排风汤(644) 秦艽升麻汤(644) 不换金丹(644)
- 攻里之剂 644
- 三化汤(644) 搜风丸(644)
- 发表攻里之剂 644
- 防风通圣散(644) 川芎石膏汤(644)
- 调血养血之剂 644
- 大秦艽汤(644) 羌活愈风汤(644) 天麻丸(644)
- 理气之剂 644
- 乌药顺气散(644) 八味顺气散(644)
- 理血之剂 645
- 治风六合汤(645) 愈风汤(645)
- 通关透肌骨之剂 645
- 至宝丹(645) 牛黄清心丸(645)
- 治痰通经诸方 645
- 青州白丸子(645) 三生饮(645) 省风汤(645) 导痰汤(645) 地黄煎(645) 竹沥汤(645) 荆沥汤(645) 小竹沥汤(645)
- 杂方 645
- 稀涎散(645) 分涎散(645) 藁耳散(645) 稀荳丸(645) 防风天麻散(645) 如圣散(645)
- 痲风 646
- 驱风之剂 646
- 桦皮散(646) 凌霄散(646) 换肌散(646)
- 去风养血之剂 646
- 祛风丸(646) 四神丹(646)
- 破血泻热补气之剂 646
- 补气泻营汤(646)
- 取涎之剂 646
- 醉仙散(646)
- 攻下之剂 646
- 二圣散(646) 通天再造散(646)
- 杂方 646
- 生眉散(646) 漂洗药(646) 蓖麻法(646)
- 破伤风 647
- 治表之剂 647
- 羌活防风汤(647) 防风汤(647) 蜈蚣散(647) 蜈蚣散(647) 发表雄黄散(647) 天麻雄黄散(647) 防风散(647) 香胶散(647)
- 治半表里之剂 647
- 羌活汤(647) 地榆防风散(647)
- 治里之剂 647
- 大芎黄汤(647) 江鲮丸(647)
- 治汗之剂 647
- 白术防风汤(647) 白术汤(647)
- 理血之剂 647

当归地黄散(647)	
杂方	647
如圣散(647)	
曜仙活人心	647
辟巽锭子(647) 捉虎丹(647)	
寿域神方	648
诸风部	648
中风部	648
破伤风部	648
瘫痪部	648
赤白痢部	648
大风痢部	649
卫生易简方	649
诸风	649
愈风散(651)	
头风	652
紫白痢风	652
大风	652
破伤风	653
金匱钩玄	654
御医撮要	655
大灵宝丹(655) 愈风丹(655) 碧琳丹(655)	
饼子急风丹(655) 宣补大黄丸(655) 灵宝	
丸(655) 七圣丸(656) 香犀丸(656) 菊花	
汤(656) 防风浴汤(656)	
备预百要方	656
诸风	656
诸风食治	657
千金月令	657
食医心鉴	657
论中风疾状食治诸方	657
葛粉索饼(657) 粟米粥(657) 冬麻子粥(658)	
薏苡仁粥(658) 薏苡仁粥(658) 蒸驴头(658)	
蒸乌驴皮(658) 蒸羊头肉(658) 熊肉嗜	
腊(658) 大豆炒(658) 乌雌鸡羹(658) 蒸鹿	
蹄(659) 蒸苍耳菜(659) 蒸牛蒡叶(659)	
浸酒茶叶诸方	659
驴头酒(659) 牛膝浸酒(659) 虎胫骨浸	
酒(659) 乌粘子浸酒(659) 石英磁石浸	

酒(659) 野驼脂酒(659) 雁脂酒(659) 薯	
蕷酒(659) 巨胜酒(659) 槐叶茶(660)	
圣惠方	660
食治中风诸方	660
豉粥(660) 冬麻子粥(660) 豉粥(660) 葛	
粉拨刀方(660) 薏苡仁粥(660) 酸枣仁	
粥(660) 醍醐酒(660) 薯蕷拨粥(660) 天	
蓼木粥(660)	
食治风热烦闷诸方	661
酸枣仁煎饼(661) 淡竹沥粥(661) 茯苓	
粥(661) 大枣粥(661) 煮梨汤(661) 煮	
天门冬(661) 木通粥(661) 豉粥(661) 蒸	
牛蒡(661)	
必用全书	661
食治诸风方	661
大豆酒(661) 乌鸡臙(662) 蒜煎(662) 补	
肾地黄酒(662)	
经验秘方	662
经验良方	662
寿亲养老书	662
食治诸风方	662
荆芥粥(662) 炙熊肉(662) 牛蒡博托(662)	
苍耳叶羹(662) 甘草豆方(663)	
运化玄枢	663
卫生易简方	663
诸风	663
备预百要方	663
诸风	663
诸风禁忌	663
巢氏病源	663
风失音不语候	663
风口喎候	663
风痹候	663
刺风候	663
头面风候	663
诸癰候	664
千金方	664
风眩	664
千金月令	664

谷之禁	664
山居四要	664
诸风针灸	664
千金方	664
风痺	664
风眩	664
风病	665
神巧万全方	665
五脏中风	665
风痺	665
直指方	665
心中风	665
肝中风	665
肾中风	665
肺中风	666
脾中风	666
胃中风	666
得效方	666
风科通治	666
卫生宝鉴	666
中风针法	666
医林方	666
经验秘方	666
寿域神方	667
诸风导引	667
巢氏病源	667
风偏枯候	667
风四肢拘挛不得屈伸候	667
风身体手足不随	667
风痺手足不随候	668
偏风候	668
风不仁候	668
风湿痺候	668
风湿候	668
风痺候	668
风冷候	669
风气候	670
头面风候	670
风头眩候	670

风邪候	670
鬼邪候	671
诸寒门 (原书卷之二十五)	672
三因方	672
叙中寒论	672
五藏中寒证	672
简易方	672
寒证论	672
直指方	673
中寒论	673
严氏济生方	673
中寒论	673
管见大全良方	673
中寒证治	673
治病百法	673
寒	673
治法杂论	674
寒门	674
宣明论	674
诸寒	674
拔粹方	674
诸脉按之无力所生病证	674
医方大成	674
寒	674
永类铃方	675
中寒	675
金匱钩玄	675
三因方	675
中寒治法	675
附子理中汤(675) 乾姜附子汤(675)	
助道方	676
治中寒中气证	676
直指方	676
中寒证治	676
不换金正气散(676) 养胃汤(676) 姜桂散(676) 沉附汤(677) 附子散(677) 五丹圆(677) 应梦人参散(677) 败毒散(677)	
严氏济生方	677
中寒	677

姜附汤(677)	
三法六门	677
寒	677
四逆汤(677) 二姜汤(677) 术附汤(677)	
大己寒丸(677) 理中丸(677) 平胃散(678)	
养脾丸(678)	
拔粹方	678
姜附汤(678) 沉香桂附丸(678) 十全大补汤(678)	
医方大成	678
寒	678
生料五积散(678) 理中汤(678)	
南北经验方	678
寒	678
正气散(678)	
永类铃方	679
诸寒	679
五积交加散(679) 十味芎苏散(679) 冲和散(679) 温胆汤(679) 十味和解散(679)	
增损白术散(679) 竹叶汤(679) 鹧石散(679) 柴胡散(679)	
寿域神方	679
寒部	679
卫生易简方	680
诸寒	680
诸寒针灸	680
寿域神方	680
诸暑门一	680
巢氏病源	680
冒热困乏候	680
和剂指南	681
论伤暑证候	681
论伤暑吐泻	681
三因方	681
中暑论	681
中暑凡例	681
伤暑叙论	681
简易方	681
暑证论	681

直指方	682
中暑论	682
管见大全良方	682
中喝证治	682
伏暑证治	682
治病百法	683
暑	683
十形三疗	683
暑形	683
卫生宝鉴	683
中暑霍乱吐利治验	683
澹寮方	684
中暑	684
圣济总录	684
中喝统论	684
医方大成	684
暑	684
永类铃方	685
中暑	685
伤暑	685
经验良方	686
中暑	686
玉机微义	686
诸经叙暑热脉证	686
论中暑中热受病不同	686
论暑伤五脏为证不同	686
论暑热伤气为痿厥诸证	687
论暑为疟痢	687
论暑为吐泻霍乱	687
论中暑宜补真气	687
论暑火证治大法	688
金匱方	688
白虎人参汤(688) 一物瓜蒂汤(688)	
千金方	689
海上仙方	689
暑月伤寒	689
圣惠方	689
治热喝诸方	689
和剂局方	690

中暑	690
大顺散(690) 香薷圆(690) 枇杷叶散(690)	
桂苓圆(690) 解暑三百散(690) 消暑圆(691)	
缩脾饮(691) 黄龙圆(691) 冰黄散(692)	
水浸丹(692)	
大全本草	692
三因方	692
中暑治法	692
大黄龙圆(692)	
伤暑证治	693
五苓散(693) 桂苓圆(693) 消毒圆(694)	
助道方	694
治中暑方	694
是斋医方	694
中暑	694
水瓢元(694) 黄龙元(694) 冷香汤(694)	
十味香薷饮(694) 龙须散(695) 玉壶元(695)	
水葫芦元(695) 地榆散(695)	
琐碎录	695
中暑	695
水瓢元(696) 小柴胡汤(696) 平胃散(696)	
简易方	696
暑证	696
香薷散(696) 香薷散(697)	
直指方	697
中暑证治	697
五物香薷汤(697) 香薷缩脾饮(697) 香薷	
铤散(697) 五苓散(697) 小柴胡汤(697)	
竹叶石膏汤(697) 六和汤(698) 二陈汤(698)	
小半夏茯苓汤(698) 来复丹(698) 大黄龙	
圆(698)	
朱氏集验方	698
中暑	698
水沉汤(698)	
严氏济生方	698
中暑	698
二气丹(698) 冷香饮子(698) 加味香薷	
饮(699)	
管见大全良方	699

橘皮汤(699)	
易简方	699
缩脾饮(699)	
三法六门	699
暑	699
化痰玉壶丸(699) 玉露散(699) 石膏散(700)	
东垣试效方	700
暑热伤气	700
人参益气汤(700) 芍药补气汤(700) 导气	
汤(700) 茯苓燥湿汤(700)	
诸暑门二(原书卷之二十六)	701
得效方	701
伤暑	701
桂苓甘露散(701) 来复丹(701) 通苓散(701)	
中暑	701
益元散(701) 来复丹(702) 白虎汤(702)	
橘皮竹茹汤(702) 竹叶石膏汤(702) 五苓	
散(702) 香薷散(702) 小柴胡汤(702) 白	
虎加人参汤(702)	
王氏易简方	702
伤暑	702
五苓散(702) 七气汤(702) 香薷饮(703)	
澹轩方	703
中暑	703
夏日代冰	703
澹寮方	703
卫生宝鉴	703
长夏湿热胃困	703
消暑十全饮(703)	
圣济总录	703
中热喝	703
白虎汤(704) 小香薷汤(704) 解毒丸(704)	
竹茹汤(704) 小抱龙丸(704) 香薷散(704)	
消暑散(704) 槟榔饼(704) 甘露散(704)	
菝葜散(704) 解毒散(704) 大黄丸(704)	
甘露丸(705) 抱龙丸(705) 不灰木散(705)	
救生散(705) 冰壶散(705)	
中喝闷绝	705
陈橘皮汤(705) 备急救生丸(705) 黄连	

散(706) 凝水石丸(706) 万金散(706) 玉珠散(706)	
南北经验方	706
暑	706
桂苓甘露散(706) 五苓汤(706)	
袖珍方	706
暑	706
二香散(706) 香朴饮子(706) 桂苓白术散(706) 加味五苓散(706)	
经验秘方	707
中暑	707
醍醐汤(707) 破暑汤(707) 甘露散(707)	
曲术丸(707) 十全香薷饮(707) 加味香薷饮(707) 香薷汤(707)	
经验良方	707
中暑	707
加减十味香薷汤(708)	
必用全书	708
中暑	708
山居四要	708
新效方	708
玉龙丸(708)	
玉机微义	708
暑	708
清暑之剂	708
香薷饮(708) 黄连香薷饮(709)	
益气之剂	709
人参白虎汤(709) 竹叶石膏汤(709) 人参益气汤(709)	
清暑益气之剂	709
益元散(709) 十味香薷散(709) 清暑益气汤(709)	
温散之剂	709
五苓散(709) 桂苓丸(709) 缩脾饮(709)	
消暑十全饮(709) 消毒丸(709) 大顺散(709)	
冷香饮子(709) 来复丹(709)	
治湿热之剂	709
桂苓甘露饮(709) 桂苓甘露饮(709) 辰砂五苓散(709)	

治火之剂	709
黄连解毒汤(709) 大金花丸(710) 神芎丸(710)	
寿域神方	710
暑部	710
卫生易简方	710
诸暑	710
金匱钩玄	710
暑	710
黄连香茹饮(710)	
御医撮要	710
白虎汤(710)	
备预百要方	710
食治	711
运化玄枢	711
诸湿门	711
三因方	711
中湿论	711
伤湿叙论	711
简易方	711
湿证论	711
直指方	712
中湿论	712
严氏济生方	712
中湿论	712
管见大全良方	713
中湿证治	713
感湿证治	713
治病百法	713
湿	713
治法杂论	713
湿门	713
宣明论	714
诸湿	714
澹寮方	714
中湿门	714
医方大成	714
湿	714
永类铃方	714

中湿	714
伤湿	715
玉机微义	715
湿门	715
内经叙湿为诸证	715
脉法	715
论湿为痿为痹为痛为肿所挟寒	
热不同	716
论中湿为脾虚所致	716
论湿生痰饮	716
论湿为泻痢咳疟等证	716
论湿病似中风	716
论湿为脚气	717
治湿大法	717
金匱方	717
湿	717
麻黄加术汤(717) 麻黄杏仁薏苡甘草汤(717)	
防己黄芪汤(717) 桂枝附子汤(718) 白术附子汤(718) 甘草附子汤(718)	
三因方	719
中湿治法	719
白术酒(719)	
四气兼中证论	719
四气兼中治法	719
附子汤(719) 防风汤(719) 生附白术汤(719)	
附子麻黄汤(719) 苓术汤(719)	
伤湿证治	720
肾著汤(720) 渗湿汤(720)	
寒湿证治	720
麻黄白术汤(720)	
风湿证治	720
桂枝附子汤(720)	
风湿寒证治	721
防己黄芪汤(721)	
风湿温证治	721
白术茯苓干姜汤(721)	
暑湿风湿证治	721
茯苓白术汤(721) 萎蕤汤(721)	
助道方	721

治湿气腿脚酸疼痛	721
是斋医方	722
除湿汤(722) 蠲痹汤(722)	
直指方	722
中湿证治	722
加剂除湿汤(722) 黄耆建中汤(722) 不换金正气散(723) 神术圆(722) 生附除湿汤(722) 术附汤(722) 五苓散(722) 茵陈汤(722)	
严氏济生方	723
中湿	723
抚芎汤(723) 渗湿汤(723) 羌附汤(723)	
三法六门	723
湿	723
五苓散(723) 葶苈木香散(723) 白术木香散(723) 大橘皮汤(723) 神助散(723) 桂苓白术丸(723) 桂苓白术散(724) 白术调中汤(724)	
得效方	724
伤湿	724
香苏散(724) 瓜蒂搐鼻法(724)	
中湿	724
加味术附汤(724)	
澹寮方	724
中湿	724
七味除湿汤(724) 牡蛎散(724)	
医方大成	724
湿	724
五苓散(724) 生附汤(725) 薏苡仁散(725) 四物附子汤(725) 芎术除眩汤(725)	
南北经验方	725
湿	725
麒麟竭散(725) 赤茯苓丸(725)	
袖珍方	725
湿	725
清燥汤(725) 除湿丹(725) 羌活胜湿汤(726) 二仙散(726) 木瓜虎骨丸(726) 虎骨丸(726) 独活寄生汤(726) 五皮散(726) 枳术导滞丸(726) 导水丸(727) 天脉散(727)	

永类铃方	727
玉机微义	727
湿	727
解表之剂	727
防己黄芪汤(727) 桂枝附子汤(727) 甘草附子汤(727) 麻黄加术汤(727) 加味五苓散(727) 五积散(727) 羌活汤(727)	
温散之剂	727
真武汤(727) 附子汤(727) 渗湿汤(728)	
治热散郁之剂	728
茵陈五苓散(728) 桂苓甘露饮(728) 大橘皮汤(728) 葶苈木香散(728) 清燥汤(728) 当归拈痛汤(728)	
宣剂	728
瓜蒂散(728)	

攻下之剂	728
三花神佑丸(728) 舟车丸(728) 浚川散(728) 导水丸(728) 禹功散(728) 除湿丹(728) 海金沙散(728) 圣灵丹(728) 续随子丸(728)	
升散渗利之剂	729
白术芍药汤(729) 白术汤(729) 茯苓汤(729) 升阳除湿汤(729) 升阳除湿防风汤(729) 导滞通经汤(729) 五苓散(729) 平胃散(729) 对金饮子(729) 越鞠丸(729)	
寿域神方	729
湿部	729
卫生易简方	729
诸湿	729
金匱钩玄	730
湿	730

总 论

千 金 方

论大医习业

凡欲为大医，必须谙素问、甲乙、黄帝针经、明堂流注、十二经脉、三部九候、五脏六腑、表里孔穴、本草、药对，张仲景、王叔和、阮河南、范东阳、张苗、靳邵等诸部经方，又须妙解阴阳禄命、诸家相法，及灼龟五兆、周易六壬并须精熟，如此乃得为大医；若不尔者，如无目夜游，动致颠殒。次须熟读此方，寻思妙理，留意钻研，始可与言于医道者矣。又须涉猎群书。何者？若不读五经，不知有仁义之道；不读三史，不知有古今之事；不读诸子，睹事则不能默而识之；不读内经，则不知有慈悲喜舍之德；不读庄老，不能任真体运，则吉凶拘忌，触涂而生。至于五行休王、七耀天文，并须探赜。若能具而学之，则于医道无所滞碍，尽善尽美哉。

论大医精诚

张湛曰：夫经方之难精，由来尚矣。今病有内同而外异，亦有内异而外同，故五脏六腑之盈虚，血脉荣卫之通塞，固非耳目之所察，必先诊候以审之。而寸口关尺有浮沉弦紧之乱，俞穴流注有高下浅深之差，肌肤筋骨有厚薄刚柔之异，唯用心精微者，始可与言于兹矣。今以至精至微之事，求之于至粗至浅之思，岂不殆哉。若盈而益之，虚而损之，通而彻之，塞而壅之，寒而冷之，热而温之，是重加其疾而望其生，吾见其死矣。故医方卜筮，艺能之难精者也，既非神

授，何以得其幽微。世有愚者读方三年，便谓天下无病可治；及治病三年，乃知天下无方可用。故学者必须博极医源，精勤不倦，不得道听途说而言医道已了，深自误哉。凡大医治病，必当安神定志，无欲无求，先发大慈惻隐之心，誓愿普救含灵之苦。若有疾厄来求救者，不得问其贵贱贫富，长幼妍蚩，怨亲善友，华夷愚智，普同一等，皆如至亲之想；亦不得瞻前顾后，自虑吉凶，护惜身命。见彼苦恼，若己有之，深心凄怆，勿避险巇、昼夜、寒暑、饥渴、疲劳，一心赴救，无作工夫形迹之心。如此可为苍生大医，反此则是含灵巨贼。自古名贤治病，多用生命以济危急，虽曰贱畜贵人，至于爱命人畜一也，损彼益己，物情同患，况于人乎。夫杀生求生，去生更远，吾今此方所以不用生命为药者，良由此也。其虻虫水蛭之属，市有先死者则市而用之，不在此例。只如鸡卵一物，以其混沌未分，必有大段要急之处，不得已，隐忍而用之，能不用者斯为大哲，亦所不及也。其有患疮痍下痢，臭秽不可瞻视，人所恶见者，但发惭愧凄怜忧恤之意，不得起一念蒂芥之心，是吾之志也。夫大医之体，欲得澄神内视，望之俨然，宽裕汪汪，不皎不昧，省病诊疾，至意深心，详察形候，纤毫勿失，处判针药，无得参差，虽曰病宜速救，要须临事不惑，唯当审谛覃思，不得于性命之上，率尔自逞俊快，邀射名誉，甚不仁矣。又到病家，纵绮罗满目，勿左右顾盼，丝竹凑耳，无得似有所娱，珍羞迭荐，食如无味，醯醢兼陈，看有若无。所以尔者，夫

一人向隅，满堂不乐，而况病人苦楚，不离斯须，而医者安然欢娱，傲然自得，兹乃人神之所共耻，至人之所不为，斯盖医之本意也。夫为医之法，不得多语调笑，谈谑喧哗，道说是非，议论人物，诋耀声名，訾毁诸医，自务^①己德，偶然治瘥一病，则昂头戴面而有自许之貌，谓天下无双，此医人之膏肓也。老君曰：人行阳德，人自报之；人行阴德，鬼神报之。人行阳恶，人自报之；人行阴恶，鬼神害之。寻此二途，阴阳报施，岂诬也哉。所以医人不得恃己所长，专心经略财物，但作救苦之心，于冥运道中，自感多福者耳。又不得以彼富贵，处以珍贵之药，令彼难求，自诩功能，谅非忠恕之道。志存救济，故亦曲碎论之，学者不可耻言之鄙俚也。

论治病略例

夫天布五行以植万类，人禀五常以为五脏，经络腑输，阴阳会通，玄冥幽微，变化难极。易曰：非天下之至赜，其孰能与于此。观今之医，不念思求经旨，以演其所知，各承家伎，始终循旧，省病问疾，务在口给，相对斯须，便处汤药，按寸不及尺，握手不及足，人迎趺阳，三部不参，动数发息，不满五十，短期未知决诊，九候曾无仿佛，明堂阙庭，尽不见察，所谓窥管而已。夫欲视死别生，固亦难矣。此皆医之深戒，病者可不谨以察之而自防虑也。古来医人皆相嫉害，扁鹊为秦太医令李醯所害，即其事也。一医处方，不得使别医和合，脱或私加毒药，令人增疾，渐以致困，如此者非一，特须慎之，宁可不服其药以任天真，不得使愚医相嫉，贼人性命，甚可哀伤。

夫百病之本，有中风伤寒，寒热温疟，中恶霍乱，大腹水肿，肠澼下痢，大小便不通，贲豚上气，欬逆呕吐，黄疸消渴，留饮癖食，坚积癥瘕，惊邪癲痾鬼疟，喉痹齿痛，耳聋目盲，金疮痿折，痈肿恶疮，痔瘻瘤瘰，男子五劳七伤，虚乏羸瘦，女子带下崩中，血

闭阴蚀，虫蛇蛊毒所伤，此皆大略宗兆，其间变动枝叶，各依端绪以取之。又有冷热劳损，伤饱房劳，惊悸恐惧，忧恚怵惕；又有产乳落胎，堕下瘀血；又有贪饵五石，以求房中之乐。此皆病之根源为患，生诸枝叶也。不可不知其本末，但向医说男女长幼之病，有半与病源相附会者，便可服药也。男子者众阳所归，常居于燥，阳气游动，强力施泄，便成劳损损伤之病，亦以众矣。若比之女人，则十倍易治。凡女子十四已上则有月事，月事来日，得风冷湿热四时之病相协者，皆自说之，不尔与治，误相触动，更增困也。处方者亦应问之。凡用药皆随土地所宜。江南岭表，其地暑湿，其人肌肤薄脆，腠理开疎，用药轻省。关中河北，土地刚燥，其人皮肤坚硬，腠理闭塞，用药重复。世有少盛之人，不避风湿，触犯禁忌，暴竭精液，虽得微疾，皆不可轻以利药下之，一利大重，竭其精液，困滞著床，动经年月也。凡长宿病，宜服利汤，不须尽剂，候利之足则止；病源未除者，于后更合耳。稍有气力堪尽剂，则不论也。病源须服利汤取除者，服利汤后，宜将丸散时时助之。

凡病服利汤得瘥者，此后慎不中服补汤也。若得补汤，病势还复成也。更重泻之，则其人重受弊也。若初瘥气力未甚平复者，但消息之，须服药者，当以平药和之。夫常患之人，不妨行走。气力未衰，欲将补益冷热随宜丸散者，可先服利汤泻除胸腹中拥积痰实，然后可服补药也。夫极虚劳应服补汤者，不过三剂即止。若治风病应服治风汤者，皆非三五剂可知也，自有滞风洞虚，即服十数剂乃至百余日可瘥也。故曰实即泻之，虚则补之。

夫二仪之内，阴阳之中，唯人最贵。人者禀受天地中和之气，法律礼乐莫不由人。人始生先成其精，精成而脑髓生，头圆法天，足方象地，眼目应日月，五脏法五星，六腑

^① 务：备急千金要方作“矜”。

法六律，以心为中极，大肠长一丈二尺以应十二时，小肠长二丈四尺以应二十四气，身有三百六十五络以应一岁，人有九窍以应九州。天有寒暑，人有虚实；天有刑德，人有爱憎；天有阴阳，人有男女；月有大小，人有长短。所以服食五谷不能将节，冷热咸苦更相桡触，共为攻击，变成疾病，凡医诊候，固是不易。又问而知之，别病深浅，名曰巧医。仲景曰：凡欲和汤合药针灸之法，宜应精思，必通十二经脉，辨三百六十孔穴，荣卫气行，知病所在，宜治之法不可不通。古者上医相色，色脉与形不得相失，黑乘赤者死，赤乘青者生。中医听声，声合五音，火闻水声，烦闷^①惊，木闻金声，恐惧相刑，脾者土也，生育万物，回助四傍，善者不见，死则归之，太过则四肢不举，不及则九窍不通，六识闭塞，犹如醉人，四季运转，终而复始。下医诊脉，知病源由，流转移动，四时逆顺，相害相生，审知脏腑之微，此乃为妙也。

论 诊 候

夫欲理病，先察其源，候其病机。五脏未虚，六腑未竭，血脉未乱，精神未散，服药必活；若病已成，可得半愈；病势已过，命将难全。

夫诊候之法，常以平旦，阴气未动，阳气未散，饮食未进，经脉未盛，络脉调均，气血未乱，精取其脉，知其逆顺，非其时不用也，深察三部九候而明告之。古之善为医者，上医医国，中医医人，下医医病。又曰上医听声，中医察色，下医诊脉。又曰上医医未病之病，中医医欲病之病，下医医已病之病。若不加心用意，于事混淆，即病者难以救矣。何谓三部？寸关尺也，上部为天，肺也；中部为人，脾也；下部为地，肾也。何谓九候？部各有三，合为九候。上部天，两额动脉，主头角之气也；上部地，两颊动脉，主口齿之气也；上部人，耳前动脉，主耳目之气也。

中部天，手太阴，肺之气也；中部地，手阳明，胃中之气也；中部人，手少阴，心之气也。下部天，足厥阴，肝之气也；下部地，足少阴，肾之气也；下部人，足太阴，脾之气也，合为九候。夫形盛脉细，少气不足以息者死；形瘦脉大，胸中多气者死；形气相得者生；参五不调者病；三部九候皆相失者死。愚医不通三部九候及四时之经，或用汤药倒错，针灸失度，顺方治病，更增他疾，遂致灭亡，哀哉蒸民，枉死者半，可谓世无良医，为其解释。经说：地水火风，和合成人。凡人火气不调，举身蒸热；风气不调，全身强直，诸毛孔闭塞；水气不调，身体浮肿，气满喘粗；土气不调，四肢不举，言无音声。火去则身冷，风止则气绝，水竭则无血，土散则身裂。然愚医不思脉道，反治其病，使藏中五行共相克切，如火炽燃重加其油，不可不慎。凡四气合德，四神安和；一气不调，百病一^②生；四神动作，四百四病同时具发。又云：一百一病，不治自愈；一百一病，须治而愈；一百一病，虽治难愈；一百一病，真死不治。

张仲景曰：欲疗诸病，当先以汤，荡涤五脏六腑，开通诸脉，治道阴阳，破散邪气，润泽枯朽，悦人皮肤，益人气血，水能净万物，故用汤也。若四肢病久，风冷发动，次当用散，散能逐邪，风气湿痹，表里移走，居无常处者，散当平之。次当用丸，丸药者，能逐风冷，破积聚，消诸坚癖，进饮食，调和荣卫。能参合而行之者，可诸^③上工，故曰医者意也。又曰：不须汗而强汗之者，出其津液，枯竭而死；须汗而不与汗之者，使诸毛孔闭塞，令人闷绝而死。又不须下而强下之者，令人开肠洞泄不禁而死；须下而不与下之者，使人心内懊恼，胀满烦乱，浮肿而死。又不须灸而强与灸者，令人火邪入腹，

① 干：备急千金要方作“干”。

② 病一：备急千金要方作“一病”。

③ 诸：备急千金要方作“谓”。

干错五脏，重加其烦而死；须灸而不与灸之者，令人冷结重凝，久而弥固，气上冲心，无地消散，病笃而死。

黄帝问曰：淫邪泮衍奈何？岐伯对曰：正邪从外袭内，而未有定舍，及淫于藏，不得定处，与荣卫俱行，而与魂魄飞扬，使人卧不得安而喜梦也。凡气淫于腑，则有余于外，不足于内；气淫于脏，则有余于内，不足于外。问曰：有余不足有形乎？对曰：阴盛则梦涉大水而恐惧，阳盛则梦蹈大火而燔灼，阴阳俱盛则梦相杀毁伤，上盛则梦飞扬，下盛则梦堕坠，甚饱则梦与，巢源云梦行。甚饥则梦取，巢源云梦卧。肝气盛则梦怒，肺气盛则梦恐惧哭泣，心气盛则梦喜笑及恐畏，脾气盛则梦歌乐体重手足不举，肾气盛则梦腰脊两解而不属。凡此十二盛者，至而泻之立已。厥气客于心则梦见丘山烟火；客于肺则梦飞扬，见金铁之器奇物；客于肝则梦见山林树木；客于脾则梦见丘陵大泽，坏屋风雨；客于肾则梦见临渊，没居水中；客于膀胱则梦见游行；客于胃则梦见饮食；客于大肠则梦见田野；客于小肠则梦见聚邑街衢；客于胆则梦见斗讼自刳；客于阴器则梦交接斗内；客于项则梦见斩首；客于跨则梦见行走而不能前进，及池渠阱窞中居；客于股则梦见礼节拜跪；客于胞膜则梦见溲溺便利。凡此十五不足者，至而补之立已。善诊候者，亦可深思此意，乃尽善尽美矣。

史记曰：病有六不治：骄恣不论于理，一不治也；轻身重财，二不治也；衣食不能适，三不治也；阴阳并藏气不定，四不治也；形羸不能服药，五不治也；信巫不信医，六不治也。生候尚存，形色未改，病未入腠理，针药及时，能将节调理，委以良医，病无不愈。

论 处 方

夫疗寒以热药，疗热以寒药，饮食不消以吐下药，鬼疰蛊毒以蛊毒药，痈肿疮瘤以

疮瘤药，风湿以风湿药，风劳气冷各随其所宜。雷公云：药有三品，病有三阶。药有甘苦、轻重不同。病有新久、寒温亦异。重热腻滑咸酢药石饮食等，于风雨圣惠方、和剂指南作风病为治，余病非对。轻冷粗涩甘苦药草圣惠方、指南药草石。饮食等，于热病为治，余病非对。轻热辛苦淡药饮食等，于冷病为治，余病非对。其大纲略显其源流，自余睹状可知，临事制宜，当识斯要。

论 用 药

或曰古人用药至少，分两亦轻，瘥病极多；观君处方非不烦重，分两亦多，而瘥病不及古人者，何也？答曰：古者日月长远，药在土中，自养经久，气味真实，百姓少欲，禀气中和，感病轻微，易为医疗。今时日月短促，药力轻虚，人多巧诈，感病厚重，难以为医。病轻用药须少，病重用药即多，此则医之一隅，何足怪也。又古之医者自解^①采取，阴乾曝乾，皆悉如法，用药必依土地，所以治十得九。今之医者，但知诊脉处方，不委采药时节，至于出处土地，新陈虚实，一皆不悉，所以治十不得五六者，实由于此。夫处方者常须加意，重复用药，药乃有力，若学古人，徒自误耳，方来学者，须详熟之。

凡紫石英、白石英、朱砂、雄黄、硫黄等，皆须光明映彻，色理鲜净者为佳；不然，令人身体乾燥，发热口乾而死。

凡草石药，皆须土地坚实，气味浓烈；不尔，治病不愈。

论 合 和

问曰凡和合汤药，治诸草石虫兽，用水升数，消杀之法则云何？答曰：凡草有根茎枝叶皮骨花实，诸虫有毛翅皮甲头足尾骨之属，有须烧炼炮炙，生熟有定，一如后法，顺方者福，逆之者殃。或须皮去肉，或去皮须肉，或须根茎，或须花实，依方炼治，圣惠

^① 者自解：备急千金要方作“有自将”。

方、和剂指南依方拣炼事，理削。极令净洁，然后升合秤两，勿令参差。药有相生相杀，气力有强有弱，君臣相理，佐使相持。若不广通诸经，则不知有好有恶，或医自以意加减，不依方分指南分两，使诸草^{圣惠方、指南作药}、石，强弱相欺，入人腹中，不能治病，更加斗争，草石相反，使人迷乱，力甚刀剑。若调和得所，虽未能治病，犹得安利五脏，于病无所增剧。

论服饵

凡服丸散，不云酒水饮者，本方如此，是可通用也。

凡服利汤，欲得侵早。凡服汤欲得稍热，服之即易消下不吐，若冷则吐呕不下，若太热即破人咽喉，务在用意。汤必须澄清，若浊令人心闷不解。中间相去，如步行十里久再服，若太促数，前汤未消，后汤来冲，必当吐逆，仍问病者腹中药消散，乃可进服。

凡服汤法，大约皆分为三服，取三升，然后乘病人谷气强进，一服最须多，次一服渐少，后一服最须少，如此即甚安稳，所以病人于后气力渐微，故汤须渐少。凡服补汤，欲得服三升半，昼三夜一，中间间食，则汤气溉灌百脉，易得药力。凡服汤不得太缓太急也，又须左右仰覆卧各一食顷，即汤势徧行腹中，又于室中行，皆可一百步许，一日勿出外，即大益。凡服汤三日常忌酒，缘汤忌酒故也。凡服治风汤，第一服厚覆取汗，若得汗即须薄覆，勿令大汗。中间亦须间食，不尔，令人无力，更益虚羸。

凡丸药皆如梧桐子大，补者十丸为始，^{圣惠方、和剂指南}凡服丸药补者，皆如梧桐子大，以二十丸为始。从一服渐加不过四十丸，过亦损人。云一日三度服，^{圣惠方、指南再服}欲得引日多时不阙，药气渐渍熏蒸五脏，积久为佳，不必顿服，早尽为善，徒弃^{圣惠方、指南作饵}名药，获益甚少。凡人四十已下，有病可服泻药，不甚须服补药，必若有所损，不在此限；四十已上，则不可服泻药，须服补药；五十已上，四时勿阙补药。

如此乃可延年，得养生之术耳，其方备在第二十七卷中。素问曰：实即泻之，虚即补之，不虚不实，以经调之，此其大略也。凡有脏腑积聚，无问少长，须泻则泻；凡有虚损，无问少长，须补即补，以意量度而用之。凡服痔漏疳蠹等药，皆慎猪鸡鱼油等味，至老^①。

凡服泻药，不过以利为度，慎勿过多，令人下利无度，大损人也。

凡诸恶疮瘰后，皆百日慎口味，不尔即疮发也。

凡服酒药，欲得使酒气相接，无得断绝，绝则不得药力；多少皆以知为度，不可令至醉及吐，则大损人也。

凡服药，皆断生冷酢滑猪犬鸡鱼油面蒜及果实等。其大补丸散，切忌陈臭宿滞之物。有空青忌食生血物，天门冬忌鲤鱼，白术忌桃李及雀肉、胡荽、大蒜、青鱼鲙等物，地黄忌芜荑，甘草忌菰菜、海藻，细辛忌生菜，菟丝子忌兔肉，牛膝忌牛肉，黄连、桔梗忌猪肉，牡丹忌胡荽，藜芦忌狸肉，半夏、菖蒲忌饴糖及羊肉，恒山、桂心忌生葱、生菜，商陆忌犬肉，茯苓忌醋物，柏子仁忌湿面，巴豆忌芦笋羹及猪肉，鳖甲忌苋菜。

凡服药，忌见死尸及产妇秽污触之，兼及忿怒忧劳。

凡饵汤药，其粥食肉菜皆须大熟，熟即易消，与药相宜；若生则难消，复损药力。仍须少食菜及硬物，于药为佳；亦少进盐醋乃善；亦不得苦心用力及房室喜怒。是以治病用药力，惟在食治将息得力，太半于药有益。所以病者，务在将息节慎，节慎之至，可以长生，岂惟愈病而已。

凡服泻汤及诸丸散酒等，至食时须食者，皆先与一口冷醋饭，须臾乃进食为佳。

凡人忽遇风发，身心顿恶，或不能言。有如此者，当服大小续命汤及西州续命、排风、越婢等汤，于无风处密室之中，日夜四五服，勿计剂数多少，亦勿虑虚，常使头面

① 老：备急千金方作“差”。

手足腹背汗出不绝为佳。服汤之时，汤消即食粥，粥消即服汤，亦少与羊肉臠将补。若风大重者，相续五日五夜服汤不绝，即经二日停汤，以羹臠自补，将息四体；若小瘥，即当停药，渐渐将息；如其不瘥，当更服汤攻之，以瘥为度。

凡患风服汤，非得大汗，其风不去，所以诸风方中皆有麻黄，至如西州续命即用八两，越婢六两，大小续命或用一两、三两、四两，故知非汗不瘥，所以治风非密室不得，辄服汤药，徒自误耳，惟更加增，未见损减矣。

凡人五十已上大虚者，服三石更生，慎勿用五石也。四时常以平旦服一二升，暖饮，终身勿绝，及一时勿食蒜、油、鱼、猪、牛、马、鸡、鹅、鸭等肉，即无病矣。

论药藏

存不忘亡，安不忘危，大圣之至教；求民之瘼，恤民之隐，贤人之用心。所以神农鸠集百药，黄帝纂录针经，皆备预之常道也。且人疴瘵多起仓卒，不与人期，一朝婴己，岂遑知救。想诸好事者，可贮药藏用，以备不虞，所谓起心虽微，所救惟广。见诸世禄之家，有善养马者，尚贮马药数十斤；不见养身者，有蓄人药一锱铢。以此类之，极可愧矣；贵畜而贱身，诚可羞矣；伤人乎不问

马，此言安用哉。至如人或公私使命，行迈边隅，地既不毛，药物焉出，忽逢瘴疠，素不资贮，无以救疗，遂拱手待毙，以致夭殁者，斯为自致，岂是枉横，何者？既不能深心以自卫，一朝至此，何叹惜之晚哉。故置药藏法，以防危殆云尔。

石药、灰土药、水药、根药、茎药、叶药、花药、皮药、子药、五谷、五果、五菜，诸兽齿、牙、骨、角、蹄、甲、皮、毛、尿、屎等药，酥、髓、乳、酪、醍醐、石密、沙糖、饴糖、酒、醋、胶、曲蘖、豉等药。

右件药，依时收采以贮藏之，虫豸之药不收采也。

秤、斗、升、合、铁臼、木臼、绢罗、纱罗、马尾罗、刀、砧、玉槌、瓷钵，大、小铜铤、铛、釜、铜、铁匙等。

右合药所须，极当预备。

凡药皆不欲数数晒曝，多见风日，气力即薄歇，宜熟知之。诸药未即用者，候天大晴时，于烈日中曝令大乾，以新瓦器贮之，泥头密封，须用开取，即急封之，勿令中风湿之气，虽经年亦如新也。其丸散以瓷器贮，密蜡封之，勿令泄气，则三十年不坏。诸杏仁及子等药，瓦器贮之，则鼠不能得之也。凡贮药法，皆须去地三四尺，则土湿之气不中也。

圣惠方

叙为医

夫清浊形分，阴阳位设，四时序矣，万物生焉，滋味既兴，疾恙斯作。神农尝之百草，黄帝立以九针，岐伯雷公备论诊脉，华佗扁鹊广著群书。分弦钩毛石之功，定君臣佐使之用，立神圣功巧，判虚实浮沉。迨后伎士分镳，名医接踵，皆穷玄奥，尽播声光。自古迄今，更相祖述，道符济国，志在救人

也。夫为医者，先须识甲乙素问，明堂针经，俞穴流注，本草药对，三部九候，五脏六腑，表里虚实，阴阳盛衰，诸家方论，并须精熟。然后涉猎诗书，该博释老，全之四教，备以五常，明希夷恬淡之门，达喜舍慈悲之旨，倘尽穷其大体，即自得其重玄，譬犹测影用圭，乾坤不能逃其数，宣疑设卦，倚伏洞可究其源，奚异通神，无殊造圣。是以学者必须傍采典籍，邈审妍媸，服勤以求，探赜无

猷，勿恣道听，自恃己长，衒耀声称，泛滥名誉，心中未了，指下难明，欲别死生，深为造次。故曰医者意也，非常之意尔。是以上医医国，中医医人，下医医病。又曰上医听声，中医察色，下医诊脉。又曰上医疗未病，中医疗欲病，下医疗已病。夫如是则须洞明物理，晓达人情，悟造化之变通，定吉凶之机要，视表知里，诊候处方，常怀拯物之心，普救含灵之苦，苟用药有准，则厥疾必瘳，若能留心于斯，具而学之，则为医之道，尽善尽美，触事皆通矣。

论形气盛衰法

凡人生十岁，五藏始定，血气已通，其气在下，故好走。二十岁，血气始盛，肌肉方长，是以好趋。三十岁，五藏大定，肌肉坚固，气血盛溢，故好步。四十岁，五脏六腑十二经脉其盛已平，腠理始薄，荣华渐落，鬓发斑白，气血平减而不摇动，故好坐。五十岁，肝气衰，肝叶始薄，胆汁减少，目则不明。六十岁，心气衰，喜多悲忧，血气懈堕，故多卧。七十岁，脾气衰，肌肉枯槁，饮食减少。八十岁，肺气衰，魄神始离，其言多误。九十岁，肾气焦竭，根本萎枯，经脉空虚，是以不听。百岁，五藏俱绝，神气不守，魂魄皆去，形骸独居而终矣。又有不尽天寿，未满百年而终者，皆由藏腑不坚，肌肉不实，数中风邪，气血不通，真邪相攻，根叶相乱，是以不寿而终矣。

论女子盛衰

凡女子七岁肾气盛，更齿发长。二七而天癸至，任脉通，冲脉盛，月事以时下，故有子。三七肾气平均，故真牙生而长极。四七筋骨坚，发长极，身体盛壮。五七阳明脉衰，面始焦，发始堕。六七三阳脉衰于上，面焦，发始白。七七任脉虚，冲脉衰，天癸竭，地道不通，故形坏而无子也。

论丈夫盛衰

凡丈夫八岁肾气实，发长齿更。二八肾气盛，天癸至，精气溢泻，阴阳和，故有子。三八肾气平均，筋骨劲强，故真牙生而长极。四八筋骨隆盛，肌肉充满。五八肾气衰，发堕齿槁。六八阳气衰竭于上，面焦，发鬓白。七八肝气衰，筋不能动，天癸竭，精少，肾藏衰，形体皆极。八八则齿发去。肾者主水，受五藏六腑之精而藏之，故五藏盛乃写。今藏腑皆衰，精髓津液已竭，筋骨懈堕，天癸尽矣。故鬓发白，身体重，行步不正而无子也。

论处方法

夫处方疗疾，当先诊知病源，察其盈虚而行补泻。辨土地寒暑，观男女盛衰，深明草石甘辛，细委君臣冷热，或正经自病，或外邪所伤，或在阴在阳，或在表在里，当须审其形候各异，虚实不同，寻彼邪由，知疾所起。表实则泻表，里实则泻里，在阳则治阳，在阴则治阴，以五藏所纳之药，于四时之用所宜，加減得中，利汗无误，则病无不差矣。若不洞明损益，率自胸襟，畏忌不分，反恶同用，或病在表而却泻里，病在里而却宣表，在阴则泻阳，在阳则泻阴，不能晓了，自昧端由，疾既不瘳，遂伤患者，深可戒也。故为医者，必须澄心用意，穷幽造微，审疾状之浅深，明药性之紧缓，制方有据，与病相符，要妙之端，其在于此。凡疗诸病，当先以汤，荡除五藏六腑，开通诸脉，理顺阴阳，令中破邪，润泽枯朽，悦人皮肤，益人气力，水能净万物，故用汤也。若四肢病久，风冷发动，次当用散，散能逐邪，风气湿痹，表里移走，居无常处，散当平之。次当用丸，丸药者，能逐风冷，破积聚，消诸坚癥，进饮食，调和荣卫。能参合而行之者，可谓上工，故曰医者意也。大抵养命之药则多君，养性之药则多臣，疗病之药则多使，审而用

之，则百不失一矣。

论合和

凡合和汤药，务在情^①专，甄别新陈，辩明州土，修制合度，分两无差，用得宜，病无不愈。若真假非类，冷熟^②相乖，草石昧其甘辛，炮炙失其体性，筛罗粗恶，分剂差殊，虽有疗疾之名，永无必愈之效。是以医者必须殷勤注意，再四留心，不得委以他人，令其修合，非但多少不等，兼亦失本方^③意，捣和之后，妍丑难明，众口尝之，众鼻嗅之，药之精气一切都尽，而将疗病固难得效，此盖是合和之盈虚，不得咎医方之浅拙，熟宜思慎之也。又古方药味多以铢两，及用水皆言升数，年代绵历浸远，传写转见乖讹，或分两少而水数多，或水数多^④而分两少^⑤，轻重不等，器量全殊，若不别其精粗，何以明其取舍。今则加减合度，分两得中，削旧方之参差，治今时之行用。其方中凡言分者，即二钱半为一分也。凡言两者，即四分为一两也。凡言斤者，即十六两为一斤也。和剂指南此下云：凡言等分者，非分两之分，即诸药斤两多少皆同为等分也。凡煮汤，云用水一大盏者，约一升也。一中盏者，约五合也。一小盏者，约三合也。务从简易，庶免参差，俾令修合煎调，临病济急，不更冗繁，易为晓了也。

凡煮汤，当以井华水，极令净洁，其水数依方多少，不得参差。常令文火小沸，令药味出，煮之调和，必须用意。然则利汤欲生，少水而多取；补汤欲熟，多水而少取。用新布绞之。服汤宁小热，即易消下，若冷即令人呕逆。云分再服三服者，要令势力相及，并视人之强羸，病之轻重，以为进退增减之，不必悉依方说也。凡捣罗丸药，用重密绢令细，于蜜中和则易熟。若罗草药为散，以轻细绢，于酒中调服则不泥。其石药亦用细绢罗，然后研理数百过，视色理和同为佳也。

凡汤酒中用诸石药，皆细捣之如粟米，

亦可以葛筛令调，并新绵裹，内汤酒中同煎。凡合丸散药，先细切曝燥乃捣之，有各捣者，有合捣者，并随方所言，其润湿和剂指南作泽药，如天门冬、乾地黄之类，皆先切曝，独捣令徧碎，更出细擘曝乾。若逢阴雨，亦以微火烘之，既燥小停，冷乃捣之。凡湿药燥皆大耗，当先增分两，须得屑乃秤之为正，其汤酒中不须如此也。

凡合膏药，初以酒或醋渍令淹浹，不用多汁，密覆勿泄，从今旦至明旦，亦有止一宿者。微火煎之，令三上三下以泄其热势，令药味得出，上之使匝匝沸，乃下之使沸静，良久乃止，宁欲小小生。其中有薤白者，以两头微焦黄为候；有白芷、附子者，亦令小黄色也。猪肪皆勿令经水，腊月弥佳。绞膏以新布绞之。若是可服之膏，膏滓亦可酒煮饮之；可摩之膏，膏滓则宜以傅病上。此盖欲兼尽其药力故也。膏中用雄黄、朱砂、麝香之辈，皆别研如粉，候绞膏毕乃可投中，以物疾搅至于凝，强勿使沉聚在下不调。有水银、胡粉者，于凝膏中研令消散。

凡修炼神仙延年丸散，皆须先净其室，烧香洒扫，勿得浪语。当使童子捣之，务令细熟，杵数可至千万过，以多为佳。勿令妇女、小儿、丧孝、产妇及痼疾、六根不具之人及六畜见之，皆不效也。其逐急诸小汤散，则不在此限尔。

论服饵

夫药有君臣，人有虚实，服饵之法，轻重不同，少长殊途，强羸各异，或宜补宜泻，或可汤可丸，加减不失其宜，药病相投必愈。若病在胸膈已上者，先食后服药；病在心腹已下者，先服药而后食；病在四肢血脉者，

① 情：太平圣惠方作“精”。
② 熟：太平圣惠方作“热”。
③ 方：太平圣惠方此下有“之”字。
④ 多：太平圣惠方作“少”。
⑤ 少：太平圣惠方作“多”。

宜空腹而在旦；病在骨髓者，宜饱满而在夜。凡药势与食气不欲相逢，食气消即进药，药气散即进食，如此消息，即得五脏安和，非但药性之多方，其节适早晚复须调理，今所云先食后食，盖此义也。

凡服药毒治病，先起和剂指南此下有如字黍粟，病去即止，不去倍之，不去十之，取去为度。今药中单行一两种有毒之药，只如巴豆、甘遂之辈，不可令至尽剂尔。如经所说：一味一毒，服一丸如细麻；二味一毒，服二丸如大麻；三味一毒，服三丸如胡豆；四味一毒，服四丸如小豆；五味一毒，服五丸如大豆；六味一毒，服六丸如梧桐子。以数为丸，而毒中又有轻重，只如狼毒、钩吻，岂同附子、芫花之辈耶，凡此之类，皆须量用也。

和剂局方

论服药食忌

有术，勿食桃、李，及雀肉、胡荽、大蒜、青鱼鲙等物。有藜芦，勿食狸肉。有巴豆，勿食芦笋羹及野猪肉。有黄连、桔梗，勿食猪肉。有半夏、菖蒲，勿食饴糖及羊肉。有地黄，勿食茺萸。有细辛，勿食生菜。有天门冬，勿食鲤鱼。有甘草，勿食菰菜及海藻。有牡丹，勿食生胡荽。有商陆，勿食犬肉。有常山，勿食生葱、生菜。有空青、朱砂，勿食生血物。有茯苓，勿食醋物。有鳖甲，勿食菹菜。

服药，不可多食生胡荽及蒜杂生菜，又不可食诸滑物、果实等，又不可多食肥猪犬肉，油腻肥羹，鱼鲙腥臊物。

论炮炙三品药石类例

〔玉石部〕

丹砂、雄黄、雌黄凡使，先打碎研细水飞过，灰碗内铺纸渗干，始入药用。如别有煅炼，各依本方。石钟

论用药

夫济时之道，莫大于医；去疾之功，无先于药。人居五行四气，病生暑湿风寒，药分三品七情，性有温平冷热，凡于行用，不得差殊，庶欲立方，便须凭据，疗之合理，病无不痊。若自昧新陈，莫分真假，用之偏僻，使之稀疏，著以别名，求于奇异，未识体性，妄说功能，率自胸襟，深为造次。是以医不三世，不服其药，斯言信有之矣，岂不慎思者哉。又不得用土地所无，贵价难市，珠珍诸宝，稀罕所闻，纵富贵而无处搜求，设贫下而寡财不及，或于远邦求药，或则确执古方，不能变通，稽于致辨，病既深矣，药何疗焉。由是医者必须舍短从长，去繁就简，卷舒有自，盈缩随机，斟酌其宜，增减允当，察病轻重，用药精微，则可谓上工矣。

乳凡使，先依法煮，候日数足，入水研细不碍，方可入药服食。

白矾凡使，用光明者，先于铁铤子内或刀上，火中煅过，方研

细入药用。如生用者，各依本方。赤石脂、白石脂凡使，须

于炭火中煅通赤，取出放冷，研细水飞过，方入药用。如缓

急则研令极细，不飞亦得。硫黄凡使，先细研水飞过，方

入药用。如别有煅炼，各依本方用。阳起石凡使，先以炭

火烧通赤，好酒内淬七遍，如只以好酒煮半日亦得，并研细水飞

过，方入药用。磁石凡使，先以炭火烧通赤，醋内淬九遍，捣

碎罗过，细研水飞，方入药用。如入汤剂，即杵，水淘去赤汁

使。黑铅凡使，先以铁铤炭火熔开，取出泻于新瓦上，滤去滓

脚，如此一两番，取净铅秤用。如或结砂子，各依本方煅炼。

黄丹凡使，先炒令色变，研令极细，再罗过，方入药用。硝

石凡使，先研令极细，以瓷瓶子盛，于炭火中煅令通赤，方入药

用。如缓急，只炒过研细使亦得。食盐凡使，先须炒过研细，方

入药用。石灰凡使，须用风化为末者佳，先以醋浸一宿，漉

出候乾，用火煅令腥秽气尽，候冷研细，方入药用。如别有煅

炼，各依本方。伏龙肝即灶中对釜月下土也。凡使，先火烧

赤，研细水飞，方入药用。如急用，只烧过研使亦得。百草

霜村庄者良。凡使，须研令极细，再罗过，方入药用。滑石

凡使，先以刀刮下，以牡丹皮同煮一伏时，取出用东流水研飞过，

日中晒乾，方入药用。如急用，只研细亦得。**禹余粮**、**紫石英**、**石膏**、**寒水石**、**代赭石**、**石燕**等 凡使，并用火煅，醋淬七遍，捣研水飞令极细，方入药用。**太阴玄精石** 凡使用，捣碎细研水飞过晒乾，方入药用。**白垩**即白善土也。凡使，每修事一两，用盐一分，投于斗水中，用铜器中煮十余沸，然后用此沸了水飞过，方入药用，免结涩人肠也。**自然铜** 凡使，用火烧令通赤，以醋淬九遍，细研罗过用。**花蕊石** 凡使，当以大火煅过。如缓急，不煅亦得。

〔草部〕

菖蒲用石上生节者佳。凡使，须锉碎微炒用，或只焙乾亦得。**菊花** 凡使，须去枝梗，焙乾，方入药用。**人参** 凡使，先去芦头，锉，焙乾，方入药用。不去芦令人吐，慎之。**天门冬**、**麦门冬** 凡使，先以汤微润，抽去心，焙乾，方入药用。**甘草** 用大者。凡使，先破开，火上微炙黄赤色，方入药用。如稍多，只煨炒亦得。或生用，亦依本方。**熟乾地黄** 凡使，须洗净洗过，以酒浸一日夜，漉出，蒸三两炊，焙乾，方入药用。如急用，只以酒洒蒸过使，不蒸亦得，不若酒浸蒸过为佳。生乾者只生用，不用酒浸。**苍术** 凡使，先以米泔浸，春五、夏三、秋七、冬十，逐日换水，日足刮去皮，焙乾，方入药用。如缓急，不浸亦得，但稍燥尔。**兔丝子** 凡使，先以水洗，澄汰去沙土了，却以好酒浸一昼夜，漉出蒸过，乘热杵为粗末，焙乾，然后入药同捣，捣之不尽者，更以酒渍，经三五日乃出，更晒微乾捣之，须更悉尽。熟即易碎。**川牛膝** 凡使，先洗去芦头，锉碎，以酒浸一日夜，焙乾方用。如急切，用酒浸蒸过便使，不蒸亦得。**柴胡**、**前胡**等 凡使，先去芦头，洗锉焙乾，方入药用。**白术**、**独活**、**羌活**等 凡使，须锉焙乾，方入药用。**车前子** 凡使，须微炒燥，方入药用，如只焙乾亦得。**木香** 凡使，不见火，须细锉，日乾用。如为细末，薄切，微火焙乾使亦不妨，然不若晒乾之为妙也。**山药**、**川芎**等 凡使，须锉碎焙乾用。**薏苡仁** 凡使，须以糯米同焙乾用。**远志** 凡使，先须去心焙乾，方入药用。如不去心，令人烦闷。更能以甘草汤浸一宿，漉出焙乾用尤妙。**草龙胆** 凡使，先去芦，锉碎，用甘草浸一宿，漉出曝乾用。如缓急，不浸亦得。**泽泻** 凡使，用酒浸一宿，漉出焙乾用，不浸亦得，或有炮制，各依本方。**石斛** 凡使，先洗去根土，用酒浸一宿，漉出蒸过曝乾，方入药用。如急用，不蒸亦得。如别有炮制，各依本方。**巴戟天** 凡使，先去心，以酒浸一昼夜，锉焙乾使。如急用，不浸亦得。**黄连** 凡使，先洗净去须，锉碎，用蜜拌，慢火炒乾，方入药用。**蒺藜子** 凡使，须净拣择，蒸一伏时，晒乾，于木臼中春令刺尽，用酒拌再

蒸，取出曝乾用。**黄耆** 凡使，先须用擘开，涂蜜炙微赤色，却薄切，焙乾，方入药用。**肉苁蓉** 凡使，先须以温汤洗，刮去上粗鳞皮，切碎，以酒浸一日夜，漉出焙乾使。如缓急要用，即酒浸煮过研如膏，或焙乾使亦得。**防风** 凡使，先须去芦及叉头叉尾者，洗锉焙乾，方入药用。叉头者令人发狂，叉尾者令人发痼疾，切宜慎之。**蒲黄** 即是蒲上黄花，须仔细认，勿误用松黄。凡使，须用隔三重纸焙令色黄，蒸半日，却焙令乾用之妙。破血消肿即生使，补血止血即炒用之。**续断** 凡使，先锉碎，用酒浸一伏时，漉出焙乾，方入药用。如急用，不浸亦得。**细辛** 凡使，先去土并苗，焙乾，方入药用。**五味子** 凡使，先须净拣去枝梗方用。如入汤剂用，搗碎使之。**蛇床子** 凡使，先须慢火微炒过，方入药用。**山茵陈** 凡使，先须去根土，细锉焙乾，方入药用，勿令犯火。**王不留行** 凡使，须先浑蒸一伏时，却下浆水浸一宿，至明漉出焙乾，方入药用。**乾姜** 凡使，先须炮令裂，方可入药用。**苦参** 凡使，不拘多少，先须用浓糯米泔浸一宿，漉出蒸一伏时，却细切焙乾用之为妙。**当归** 凡使，先须去尘并芦头尖硬处一分已来，用酒浸一宿，漉出焙乾方用，或微炒用，各依本方。若要补血，即使头一节。若要止痛破血，即用尾。若一时用，不若不使，服食无效也。**麻黄** 凡使，先去根节，寸锉令理通，别煮十数沸，掠去其沫，却取出碎锉过，焙乾用。不尽去之，令人烦闷。如用急，只去根节亦得。**木通** 凡使，先须锉去节，方入药用。**芍药** 凡使，须锉碎焙乾，方可入药用。**瞿麦** 凡使，只用蕊壳，不用茎叶。若一时使，即令人气咽及小便不禁。**仙灵脾** 凡使，用羊脂拌炒过，候羊脂尽为度，每修事一斤，用羊脂四两。**黄芩** 凡使，先须锉碎，微炒过，方入药用。**狗脊** 凡使，先以猛火燎去毛令净，以酒浸一宿，蒸过焙乾用。如缓急，不须酒浸亦得。**紫苑** 凡使，先须洗净去土，微炒过，方入药用。**石韦** 凡使，先以粗布拭去黄毛，用羊脂炒乾，方入药用。如缓急，微炙过使亦得。**葶藶** 凡使，先须洗净，以酒浸一日夜，焙乾使为妙。如缓急，不在此限。**白薇** 凡使，先去苗，用糯米泔浸一宿，漉出蒸过用。**艾叶** 凡使，先去枝梗，杵成茸，以稀糯米粥拌匀，焙乾用，或慢火炒使，恐难捣。**牛蒡子** 凡使，要净拣，勿令有杂子，然后用酒拌蒸一伏时，取出焙乾，别捣如粉，方入药用。**天麻** 凡使，先以纸包浸湿，于热灰中煨熟，取出以酒浸一宿，却焙乾，入药用。**阿魏** 凡使，先于净钵中研如粉了，却于热酒器上炙过，任入药用。**高良姜** 凡使，先锉碎，以麻油少许拌匀炒过用。**百部根** 凡使，用竹刀劈开去心，酒浸一宿，漉出细锉焙乾用。**茴香** 凡使，用舶上者，淘洗令净，却以酒浸一宿，漉出曝乾炒过

用。如缓急，只炒过用亦得。**牡丹皮** 凡使，须净拣，酒拌蒸，细锉晒干，方入药用。**京三棱、蓬莪术** 凡使，先以醋点，锉碎焙乾用，或只煨灰中炮熟用亦得。**补骨脂** 性本大燥毒热，凡使，用酒浸一宿漉出，却用东流水浸三日夜，再蒸过曝乾，入药用。如缓急，只以盐同炒令香，去盐用亦得。**缩砂** 凡使，先和皮慢火炒令熟透，去皮取仁入药用。**附子、天雄等** 凡使，先炮裂令熟，去皮脐，焙乾，方入药用。**乌头** 凡使，先炮裂令熟，去皮脐，方入药用。或阴制，以东流水浸七日夜，去皮脐尖，切片焙乾用亦得。**肉豆蔻** 凡使，先以面裹，于煨灰中炮，以面熟为度，去面锉焙乾用。**半夏** 凡使，先以沸汤浸，候温洗去滑，如此七遍方用。如入汤剂，切片完用，或尚乾入咽喉，可杵为末，以生姜等分捣研和为剂，淹一宿，捏作饼子，焙乾使。如更杵为末，再以姜和剂淹之，焙乾尤佳，此用合汤妙。**大黄** 凡使，或蒸过用，或煨灰中炮熟用。若取猛利，即生焙乾用。**旋覆花** 一名金沸草。凡使，须蒸过入药用，缓急不蒸亦得。**常山** 凡使，锉碎，酒浸一昼夜，蒸过方入药用。**天南星、白附子** 凡使，于热灰中炮裂，方入药用。或别有制度，各依本方。**马兜零** 凡使，须微炙过，方入药用。**骨碎补** 凡使，用刀刮去上翼皮毛令尽，细锉，用酒拌蒸一日，取出晒干用。缓急，只焙乾，不蒸亦得。**葫芦巴** 凡使，微炒过，入药用。**使君子** 凡使，先于热灰中和皮炮，却去皮取仁，焙乾入药用。**桔梗、大戟、延胡索、葶苈子、牵牛子等** 凡使，并微炒过，方入药用。**川芎、白芷** 凡使，并锉碎焙乾，方入药用。

〔木部〕

肉桂 凡使，不见火，先去粗皮。令见心中有味处，锉，方入药用。如妇人妊娠药中，仍微炒用为佳。**茯苓、猪苓** 凡使，须先去黑皮，锉碎焙乾用。**茯神** 凡使，先去粗皮并中心所抱木，锉碎焙乾入药用。**酸枣仁** 凡使，先以慢火炒令十分香熟，方研破用。**黄柏** 凡使，先去粗皮，蜜涂炙，方入药用。**乾漆** 凡使，须捣碎炒熟入药用，不尔损人肠胃。**蔓荆实** 凡使，用酒浸蒸一伏时，取出焙乾用。**杜仲** 凡使，先去上粗皮令净，以生姜汁涂，炙令香熟，令无丝为度。或只锉碎，以姜汁拌炒，令丝绝亦得。**沉香、檀香** 凡使，先别锉碎，捣罗为细末，方入药用。**桑白皮** 凡使，先锉碎，微炒过，方入药用。**吴茱萸** 凡使，先以沸汤浸洗七次，焙乾微炒过，方入药用。若治外病不入口者，不洗亦得。**槟榔** 凡使，须取存坐端正坚实者，先以刀刮去底，细切，勿经火，恐无力效。若熟使，不如不用。**梔子** 凡使，先去皮、鬚、子，用甘草水浸一宿，漉出焙

乾，入药用。**枳实、枳壳** 凡使，要陈者，先以汤浸，磨去穰，焙乾，以麸炒焦，候香熟为度。**厚朴** 凡使，先刮去粗皮，令见赤心，以生姜汁炙三次，取令香熟为度。或只锉碎使，姜汁炒亦得。**山茱萸** 凡使，先须捣碎焙乾用，或只和核使亦得。**大腹皮** 凡使，先须以酒洗，再以大豆汁洗过，锉碎焙乾方可用。**巴豆** 凡使，先去壳并心膜，烂捣，以纸裹压去油，取霜入药用。又一法去壳心膜了，以水煮，五度换水，各煮一沸，研，不尔令人闷。**蜀椒** 凡使，先去枝梗并口及闭口者，微炒过，隔纸铺在地上，以盞盖，令出汗，方入药用。**皂角** 凡使，要拣肥大无蛀者，削去皮、弦并子，涂酥炙令焦黄，方入药用。**诃梨勒** 凡使，先于煨灰中炮，去核取肉，酒浸蒸一伏时，取出焙乾，方入药用。**楝实** 凡使，先以酒浸润，待上皮软，剥去虚皮，焙乾以麸炒，入木臼内，杵为粗末，罗过去核，方入药用。**芫荽** 凡使，先须微炒过，方可用。**龙脑、麒麟竭、乳香、松脂等** 凡使，并须别研，令极细，方可入药用。

〔兽部〕

龙骨 凡使，要粘舌者，先以酒浸一宿，焙乾，细捣罗研如粉了，以水飞过三度，日中晒干用之。如缓急，只以酒煮焙乾用亦得。他有炮制，各依本方。**麝香、牛黄** 凡使，先用别研令细，然后入药用之。**阿胶及诸胶** 凡使，先捣碎炒，候沸燥如珠子，方可入药用。**鹿茸** 凡使，用茄苳连顶骨者，先燎去毛令净，约三寸已来截断，酒浸一日慢火炙令脆方用。或用酥涂炙，各依本方炮制。**虎骨** 凡使，先斫开，取出内中髓，却涂酒及酥等，反覆炙令黄赤色，方用。**肭脐** 凡使，先用酒浸，慢火反覆炙令熟，方入药用。

〔禽鱼虫部〕

夜明砂 即伏翼屎也。凡使，须微炒过，方入药用。**白蜜** 凡使，先以火煎，掠去沫，令色微黄，则经久不坏，掠之多少，随蜜精粗。**牡蛎** 凡使，用火煨令通赤，候冷细研如粉，方可用。**真珠** 凡使，要取新净未曾伤破及钻透者，于臼中捣令细，绢罗重重筛过，却更研一二万下了，任用之。**桑螵蛸** 凡使，先用炙过，或蒸过亦得。**鳖甲、龟甲** 凡使，先用醋浸三日，去裙，慢火中反覆炙，令黄赤色为度。如急用，只蘸醋炙候黄色便可用。**露蜂房** 凡使，先炙过方可用，或炒亦得。**蝉蜕** 凡使，先去嘴足，汤浸润，洗去泥土，却曝乾，微炒过，任用之。**白僵蚕** 凡使，要白色条直者，先去丝嘴，微炒过方用。或有只生用者，各依本方。**原蚕蛾** 凡使，去翅足，微炒过，方入药用。蚕沙亦用炒。**蛤蟆** 凡使，先以酥涂或酒浸，慢火中反覆炙，令焦黄为度。或烧灰存性用。他有炮制，各依本方。

蛇蛻 凡使，先须炙过方可用。或烧成灰，入药用。各依本方炮制。 乌蛇、白花蛇 凡使，先以酒浸三日夜，慢火上反覆炙，令黄赤乾燥，去皮骨，取肉入药用。 地龙 凡使，先搓去土，微炒过方用。 蜈蚣 凡使，先要炙过，方可入药用。 斑蝥 凡使，先去足翼，用糯米同炒熟，方可入药用，生即吐泻人。 天浆子 凡使，须微炒过用之。 蛭螂 凡使，先去头翅足，炙过用之。 五灵脂 凡使，先以酒研飞炼，淘去沙石，晒乾，方入药用。

〔果菜部〕

草豆蔻 凡使，须去皮，取仁焙乾用。或只和皮煨灰中炮

熟，去皮用亦得。 陈皮、青皮 凡使，先以汤浸，磨去穢，曝乾麸炒入药用。或急用，只焙乾亦得。 乌梅 凡使，先洗穢去核取肉微炒过用之。 木瓜 凡使，先去穢并硬子，锉碎焙乾，入药用。 杏仁、桃仁 凡使，先以汤浸去皮尖及双仁者，控乾用麸炒，令黄赤色为度。 胡桃 凡使，去壳，以汤浸去皮，却研，入药用之。 韭子 凡使，先须微炒过用之，亦有生用者。 胡麻 即黑油麻也。凡使，先炒过用，或九蒸九曝用亦得。 黑豆、赤小豆、大豆黄卷、麦蘖、神曲、白扁豆、绿豆等 凡使，并用炒过，方入药用。

凡有修合，依法炮制，分两无亏，胜也。

简要济众方

论五方治病用药砭灸所宜之法

古之医病，一病而治各不同，皆愈者何也？谓地势使然。故东方之域，天地之法始生也。鱼盐之地，海滨傍水，其民食鱼而嗜咸，皆安其处，美其食。鱼者使人热中，盐者胜血，故其民皆黑色疎理，其病皆为痈疡，其治宜砭石。故砭石者，亦从东方来。

西方者，金玉之域，沙石之处，天地之所收引。其民陵居而多风，水土刚强，其民不衣而褐荐，其民华食而脂肥，故邪不能伤其形体，其病皆生于内，其治宜毒药。故毒药者，亦从西方来。

北方者，天地闭藏之域。其地高陵居，风寒冰冽，其民乐野处而乳食，藏寒生满病，其治宜灸炳。故灸炳者，亦从北方来。

南方者，天地所养长，阳之所盛处也。其地下，水土弱，雾露之所聚。其民嗜酸而食附，故其民皆致理而赤色，其病挛痹，其治宜微针。故九针者，亦从南方来。

中央者，其地平以湿，天地所生万物也众。其民食杂而不劳，故其病多痿厥寒热，其治宜导引按跷。故导引按跷者，亦从中央出也。

故圣人杂合以治，各得其所宜，故治所以异而病皆愈者，得病之情，知治之大体也。

太医业习

国家以文武医入官，盖为养民设，未有不自学古而得之者。学古之道，虽别而同。为儒必读五经、三史、诸子、百家，方称学者。医者之经，素问、灵枢是也。史书，即诸家本草是也。诸子，难经、甲乙、太素、中藏是也。百家，鬼遗、龙树、金铍、刺要、铜人、明堂、幼幼新书、产科保庆等是也。儒者不读五经，何以明道德性命，仁义礼乐；医不读灵素，何以知阴阳运变，德化政令。儒不读诸史，何以知人材贤否，得失兴亡；医不读本草，何以知名德性味，养生延年。儒不读诸子，何以知崇正卫教，学识醇疵；医不读难素，何以知神圣工巧，妙理奥义。儒不读百家，何以知律历制度，休咎吉凶；医不读杂科，何以知脉穴骨空，奇病异证。然虽如是，犹未为博。况经史之外，又有文海类集，如汉之班马，唐之韩柳，及宋文物最盛，难以概举。医文，汉亦有张仲景、华佗，唐则有孙思邈、王冰等，动辄千百卷；其如宋有太平圣惠、乘闲集效、神巧万全，备见崇文名医别录，岂特汗牛充栋而已哉。使学者一览无遗，博则博矣，倘未能反约，则何以适从。予今所述，乃收拾诸经筋髓，其亦反约之道也。读医方者，当推上圣养民

设教为意，庶不负于先觉也。

五科凡例

凡学医，必识五科七事。五科者，脉、病、证、治及其所因。七事者，所因复分为三。故因脉以识病，因病以辨证，随证以施治，则能事毕矣。故经曰：有是脉而无是证者，非也。究明三因，内外不滥；参同脉证，尽善尽美。

凡学脉，须先识七表、八里、九道，名体证状，了然分别，然后以关前一分应动相类，分别内外及不内外。又须知二十四脉以四脉为宗，所谓浮沉迟数，分风寒暑湿，虚实冷热，交结诸脉，随部说证，不亦约乎。

凡审病，先须识名，所谓中伤寒暑风湿，瘟疫时气，皆外所内^①。藏府虚实，五劳六极，皆内所因。其如金疮痿折，虎狼毒虫，涉不内外。更有三因备具，各有其名。所谓名不正则言不顺，言不顺则事不成，学不可不备。

凡学审证，须知外病自经络入，随六经所出，并^②、营^③、输、源^④、经、合各有穴道，起没流传，不可不别。内病自五藏郁发，证候各有部分，溢出诸脉各有去处。所谓上竟上，头、项、胸、喉中事也。下竟下，腹、肚、腰、足中事也。

凡用药，须熟读本草，广看方书，雷公炮炙，随方过制，汗下补吐，轻重涩滑燥润等性，量病浅深，饮服多寡，五德五味，七情八反，升合分两，朝代不同，一一备学，将欲对治须识前后。故经曰：先去新病，病当在后。

凡治病，先须识因；不知其因，病源无目。其因有三：曰内，曰外，曰不内外。外^⑤则七情，内^⑥则六淫，不内不外，乃背经常。金匱之言实为要道。巢氏病源具列一千八百余件，盖为示病名也。以此三条，病源都尽，不亦反约乎。

凡学医，既明五科，每科须识其要。脉

有浮沉迟数，病有风劳气冷，证有虚实寒热，治有汗下补吐。若于三因推明，外曰寒热风湿，内曰喜怒忧思，不内外曰劳逸作强，各有证候，详而推之，若网在纲，有条不紊。

凡看古方类例，最是朝代沿革，升合分两差殊。若数味皆用分两，不足较也。第中间有用升合枚数，大段不同。升斗秤尺本自积黍，黍自不可见，度量衡卒亦难明。今以钱谱推测，粗知梗概。

凡度者，分、寸、尺、丈、引。本以一黍之广为分，十分为寸，十寸为尺，十尺为丈，十丈为引。观今之尺，数等不同。如周尺长八尺，京尺长一尺六寸，淮尺长一尺二寸，乐尺长一尺二寸五分，并以小尺为率，小尺既自三微起，却自可准。唐武德年铸开元钱，八分，当十二钱半得一尺。排钱比之，十一个已及一尺，又不知唐用何尺。顾汉唐龠量，并用尺寸分布，尺寸如是不齐，将何凭据，博古君子必有说矣。

凡量者，龠、合、升、斗、斛。本以黄钟龠容十二铢，合龠为合，重二十四铢。今以钱准，则六铢钱四个，比开元钱三个重。升、斗、斛皆垒而成数，汉唐同用。至宋绍兴，升容千二百铢，则古文六铢钱二百个，开元二百二十个，以绍兴一升得汉五升。其余私用，不足计也。

凡衡者，铢、两、斤、钧、石。亦以黄钟龠所容重十二铢，两之为两，二十四铢为两，十六两为斤，三十斤为钧，四钧为石。每两则古文六铢钱四个，开元钱三个。至宋广秤，以开元钱十个为两。今之三两，得汉唐十两明矣。千金、本草皆以古三两为今一两，以古三升为今一升。诸药类例，尤为难

① 内：三因极一病证方论作“因”。

② 并：三因极一病证方论作“井”。

③ 营：灵枢经作“荣”。

④ 源：灵枢经作“原”。

⑤ 外：三因极一病证方论作“内”。

⑥ 内：三因极一病证方论作“外”。

辨，且如半夏一升准五两，不知用何升何两，此修合制度之要务，不可不知。汉铜钱质如周钱，文曰半两，重如其文。孝文五年，钱益多而轻，乃更铸四铢，其文为半两，杂以铅、铁、锡。非淆杂为巧，则不得赢，而奸或盗，磨钱质取熔。有司言钱轻重，请郡国铸五铢钱，周郭有质，令不得磨取熔。则知汉以二半两钱为两，重十铢明矣。汉唐例以二十四铢为一两，抑未知修史人改作唐例，亦不可知。观钱谱汉无六铢钱，至唐方有。今以五铢钱十六个，正得开元钱十个重；又以六铢钱十二个，正得开元钱九个重。则知开元钱每个以重八铢。唐武德四年铸开元通宝，径八分，重二铢四累，积十钱为两，似难考据，明食货者必有说焉。

按药书，汉方汤液，大齐三十余两，小齐十有余两，用水六升或七升，多煎取二升、三升，并分三服。若以古龠量水七升，煎今之三十两，未淹得过。况散末药只服方寸刀圭匕，圆子如梧桐子大，极至三十粒，汤液岂得如此悬绝。又如风引汤一剂计五十五两，每两只用三指撮，水三升，煮三沸，去滓温服一升。看其煮制，每只三指撮，未应料齐如此之多，此又可疑也。今以臆说，汉方当用半两钱二枚为一两。且以术附汤方较，若用汉两计一百八十铢，得开元钱二十二个半重，若分三服，已是今之七钱半重一服。若以唐方准计，三百三十六铢，得开元钱四十二个重，每服计今之十四钱重，大略可知。若以开元钱准得一百单五个重，分三服，每服计三十五钱重。此犹是小齐，况有大齐名件两数之多者，未易概举，留心此道，幸少详焉。

凡古书所论，不出脉、病、证、治四科，而撰述家有不知此，多致显晦，文义重复，要当以四字类明之。四字者，即名、体、性、用也。如脉，浮则为名，举有余按不足为体，为风为虚曰性，可补可汗曰用。如病，太阳伤风为名，感已啬啬为体，恶风自汗为性，

传变经络为用。如证，太阳风证为名，头项疼腰脚痛为体，不与诸经滥为性，候其进退为用。如治，药桂则为名，出处形色为体，德味备缺为性，汗下补吐为用。以此推之，读脉经，看病源，推方证，节本草，皆用此法，无余蕴矣。

纪用备论

夫阴阳运五气，行乎天地之间，则神明为之纪，故有德化、政令、变眚之异；物类禀五行，孕于八方之内，则生灵赖其资，故有功能、气味、性用之殊。苟气运之失常，非药石则不疗。所谓功夺造化，恩备财^①成者，无逾于药石也。故敷和、彰显、溽蒸、清洁、凄沧者，五气之德也；安魂、育神、益气、定魄、守志者，百药之功也。生荣、蕃茂、丰备、紧敛、清谧者，五气之化也；通润、悦怿、轻身、润泽、益精者，百药之能也。舒启、明曜、安静、劲切、凝肃者，五气之政也；开明、利脉、滑肤、坚肌、强骨者，百药之气也。风、热、湿、燥、寒者，五气之令也；酸、苦、甘、辛、咸者，百药之味也。顾兹气运，与万物虽种种不齐，其如成象效法，无相夺伦，一一主对，若合符契。至于胜复盛衰，不能相多；往来升降，不能相无。故各从其动而兴灾变，亦不相加也。于是有振发、销铄、骤注、肃杀、凛冽者，五气之变也；在药则有收敛、乾焦、甜缓、敛涩、滋滑者，百药之性也。散落、燔炳、霜溃、苍陨、水^②雪者，五气之眚也；在药则有魮衄、溢汗、呕吐、涎涌、泄利者，百药之用也。德化者气之祥，功能者药之良，政令者气之章，气味者药之芳。古之治法，遇岁主藏害，虽平治之不同，必以所胜而命之。故经曰：上淫于下，所胜平之，平天气也；下淫于内，所胜治之，治气^③气也。故

① 财：三因极一病证方论作“裁”。

② 水：三因极一病证方论作“冰”。

③ 气：三因极一病证方论作“地”。

司天之气，风淫所胜，平以辛凉；诸气在泉，风淫于内，治以辛凉，此之谓也。至于折抑主客，郁发胜复，治之亦莫越于功能气味，盖从其德化政令之所为也。今则不然，惟取其性用之所利，而治其灾变之所伤，寒者热之，热者寒之，温者清之，清者温之，散者收之，收者散之，滑者涩之，涩者滑之，燥者润之，急者缓之，坚者软之，脆者柔之，衰者补之，强者泻之。故略去功能气味，随其性用，以备治法之总目，合和修制之大纲，备禦灾变之要略尔；卫生明哲之士，当不拘于此也。夫五味各随其所喜攻，酸先入肝，苦先入心，甘先入脾，辛先入肺，咸先入肾，久而增气则藏气偏胜，偏胜则有偏害，偏害则致偏绝，夭之由也。是以政理观化，药集商量。服饵云：药不具五味五气而久服之，虽且获胜，久必暴夭，此之谓也。近世庸俗为治，使人单服附子，为害滋多，可不谨乎。

脏府配天地论

韩子曰：形而上者谓之天，形而下者谓之地，介于其两间者谓之人。人受天地之中以生，莫不禀二气以成形。是以六气纬空，五行丽地，人则默而象之。故足厥阴肝居于巳，手厥阴右肾居于亥，巳亥为天地之门户，故风木化焉。足少阴肾居于子，手少阴心居于午，子午得天地之正中，故君火位焉。足少阴脾居于未，手太阴肺居于丑，丑未为归藏之标本，故湿土守焉。足少阳胆居于寅，手少阳三焦居于申，寅申握生化之始终，故相火丽焉。足阳明胃居于酉，手阳明大肠居于卯，卯酉为日月之道路，故燥金行焉。足太阳膀胱居于辰，手太阳小肠居于戌，辰戌为七政之魁罡，故寒水注焉。此三才应奉，二气相须，不刊之说，如指诸掌。至于五行六气，第相资生，亦莫不有自然之序。如厥阴风木生少阴君火，君火生太阴湿土，湿土生少阳相火，相火生阳明燥金，燥金生太阳寒水，顺天道而右旋，所谓运行也。或问：

君火生土，土复能生相火，火复生金，其义何在？此生成之道也。相火既已发焰，晕晕灰灭，非土不成，未见虚空能聚火。金在矿，非火不能煅出，所以河图火七居西室，金九居南室，盖互显其成能也。若以一性而推之，无所不备。故木焚则为火，绞则为水；石击则为火，熔则为水。洲渚之内，江河竞注；大海之中，火光常起。此皆性之本有也。又何疑土中火，火中金。夫木、火、土、金、水，此乃常度，人皆知之；至于风、暑、湿、燥、寒，谓之揆度，鲜有能明其状者。故以木比风，以火比暑，以土比湿，以金比燥，以水比寒，仍以上下二气而配手足三阴三阳，则谓之奇度。又况五行各各不同，有正气，有太过，有不及，天地气化既然，人之脏府亦然，感而为病，或外邪，或本气，或禀赋，必当推类，随三度而调之。非究心明道之士，孰能与此。

三因论

夫人禀天地阴阳而生者，盖天有六气，人以三阴三阳而上奉之；地有五行，人以五藏五府而下应之。于是资生皮肉、筋骨、精髓、血脉、四肢、九窍、毛发、齿牙、唇舌，总而成体。外则气血循环，流注经络，喜伤六淫；内则精、神、魂、魄、志、意、思，喜伤七情。六淫者，寒、暑、燥、湿、风、热是；七情者，喜、怒、忧、思、悲、恐、惊^②。若将护得宜，怡然安泰，役冒非理，百病生焉。病诊既成，须寻所自，故前哲示教，谓之病源。经不云乎，治之极于二者因得之，闭户塞牖，击之病者，数问其经，以从其意，是欲知致病之本也。然六淫天之常气，冒之则先自经络流入，内合于腑脏，为外所因；七情人之常性，动之则先自藏府郁发，外形于肢体，为内所因；其如饮食饥饱，叫呼伤气，尽神度量，疲极筋力，阴阳违逆，

① 少：三因极一病证方论作“太”。

② 惊：三因极一病证方论此下有“是”字。

乃至虎狼毒虫，金疮痿折，疰忤附著，畏压溺等，有背常理，为不内外因。金匱有言：千般灾难，不越三条，以此详之，病源都尽。如欲救疗，就中寻其类例，别其三因，或内外兼并，淫情交错，惟其深浅，断以所因为病源，然后配合诸证，随因施治，药石针艾，无施不可。

外 所 因 论

夫六淫者，寒、暑、燥、湿、风、热是也。以暑热一气，燥湿同源，故上经收而为四。即冬伤寒，春温病；春伤风，夏飧泄；夏伤暑，秋疟疾；秋伤湿，冬咳嗽。此乃因四时而序者。若其触冒，则四气皆能交结以病人。且如温病，憎寒发热，不特拘伤寒也，冒风、暑、湿，皆有是证。但风散气，故有汗；暑消气，故倦怠；湿溢血，故重着。虽

折伤诸证不同，经络传变咸尔，不可不知，飧泄亦然。经曰：寒甚为肠癖，又热湿久客肠胃，滑而下利，亦不止于伤风。疟疾诸证，亦以寒暑风湿互络而为病因，初不偏胜于暑也。咳论以微寒为咳，热在上焦，咳为肺痿，厉风所吹，声嘶发咳，岂犹^①拘于湿也。以是观之，则知四气本乎六化，六化本乎一气，以运变而分阴阳，反则为六淫。故经曰：阴为之主，阳与之正。逆之则为病，乃乱生化之常矣^②，常则天地四塞矣。治之必求其本，当随交络互织而推之，所谓风寒、风温、风湿、寒湿、湿温五者为并，风湿寒、风湿温二者为合，乘前四单，共十一变。倘有所伤，当如是而推之。又兼三阳经络亦有并合，能所简辨，甄别脉证，毫厘不滥，乃可论治。非通明淫化邪正之精微，其孰能与于此。

琐 碎 录

服 饵

凡服补药或丹药，须隔夜进一服。青州白元子下胸膈痰气，则来日服补药，坠下有力。

金液丹，硫黄炼成，乃纯阳之物，夏至人多服之，反为大患，有痼冷者则宜服之。

麋茸补阳，鹿茸补阴。

修 制

凡合贵细药，须逐味各碾为细末，却用末子逐味等分两合和一处，庶得停匀作效。

凡暴当归、附子、肉豆蔻、泽泻、枣子、白皂等，暖则愈生虫，宜略蒸少时暴收，即无虫患。

凡暴湿药，如枸杞子、乾山药之属。置盆水上即易乾。薄亦然。

欲通灵救急药，须是甲子日阳时方灵。

五月上辰、端午、腊日并腊月晦日前三

两日合药，久不喝。

甘草水中蘸过，炙令透，捣末如粉无滓，试之良验。

蓬莪朮最难末，惟湿纸裹在灰中央中熟煨，取出急捣，应手如粉。

乳香寻常用指爪、灯草、糯米之类同研，及水浸钵研之，皆费力；惟纸裹置壁隙中，良久取研即粉碎。

炒乾漆以无烟为度，每炒时一见烟盛，即取下候冷再炒，如见烟盛，又取下放地上，如此三四次即无烟。

兔丝子酒浸令肥，用纸筋缠，捏成小饼，微乾带湿，碾则易碎，以其余者，再如此碾之。但只酒浸烂而碾成膏，却焙而再碾之，必碎。

牡蛎须先为细末，以米饮团之，入火煅则不爆。

① 犹：三因极一病证方论作“独”

② 矣：按文义此下应有“乱”字

研乳香点痛¹，玄胡索三字则易细。

以醋炒铅丹，以盐炒铅，成粉。

通草，拌糯米粥焙乾研之，即为细末。

灯心同云母石欲成末，须益母草捌汁浸一宿，研则易细。

熟艾欲成末，当入白茯苓少许同碾。

犀角用人肉暖久之，捣则成末。

灯心欲末，入磁瓦末少许同碾。

生金能杀人。凡金银箔，用手涓滴胶水于瓷器内细研如泥，然后以水飞过，就瓷焙乾入药。令人用金箔贴药上者，不宜多服。

取橘红法：橘皮不拘多少，水浸令软，用粗稻糠拌和，轻手揉之，其白尽去。

凡碾兔丝子默念老鹰不辍即易细。

凡炙黄芪大头写官字小头写人字碾易细。

牡蛎有雌雄，入药多用雄者，左顾也，极有力效。

嘉禾散用枇杷叶，须是先刷去叶上毛尽炙入药，不然动人脏腑。一云：入肺经，令人发喘嗽。

乳香用乳钵下著水，轻研自然成末。

紫花术如鸡腿者为佳，用乾麦麸和之，可以致远。

用盐拌兔丝子，碾则易碎。

研乳香以纸裹，火上略烘之。

煅牡蛎，先以京墨末涂之。

黄芪用纸包，席下卧一夜，次日即不成滓。

白胶香碾为细末，就热熨斗摊在纸上，作膏药妙。

碾五灵脂，入麻油三五滴，即易成末。

凡用茯苓细末，以水浸，搅之澄之，去其浮筋，取沉者晒乾最佳，东坡茯苓赋言之详矣。

大麻子欲取仁，须先炒令十分热，急包起悬井水面上，少顷其壳自脱。

淘洗钟乳末时，用细绢袋盛水淘洗，浮在面者则皆钵末，当去之。

艾以糯米饮拌和焙，则研成末。

研麝香须著少水，自然细不必罗也。

凡制汤，末子一两，炒盐三钱重和之则不蒸。凡汤中用盐者，不可入铁碾，候成末却入盐。

辨 伪

血竭多以降真伪为，不可不辨，以针刺手见血，用药糝之立止，则真也。

安息香烧之，以厚纸覆其上，烟透者真。

假附子，法以川乌去皮为末，糯米薄糊搜，入模匣内，印成一二十样，用白及糊夹纸灰拌匀刷上阴乾，炮之则裂，缘白及性紧，炮则裂。以汤浸少时，白及见汤则溶化，乃辨真伪也。

广州番药多有伪者，好乳香多是白胶香搅糖为之，但烧之烟散多吒声者，伪也。

没药以五灵脂作，但以乳香与茯苓共嚼，成水者是真。

青州蝎比他处者紧小，而尾梢多一节。

肉苁蓉最难辨，唯咀之即化都无滓者是真。

许彦博云：曾至雷州黄唐驿阻水，因问土人乌药。云：今州县所取者，皆乌药之老根也，结硬不堪用。其好者有根中引一条，根细如筋，长几尺，乃生一根，两头尖，此根真乌药也。经年又生，别为一本矣。其未生苗当年者，断之如粉。因引其人寻得一本，掘之如其说。

半夏于黑卓上书字，乃真齐州者。

辨虎睛真者，以犬闻则卷尾而去。

肉苁蓉以刀切，肉有细煤沙而无滓者是。

辨血竭，少许放香匙上近火，少时如血色者则是真，如假者黑色。

阳起石投于水碗中，勃泡起者为真。

用地龙，须是如钱者佳。

辨腥臊脐放卧犬鼻边，犬闻惊跳如狂者是。

辨芦荟，用一碗汤，以两小块对点碗缘

¹ 痛：按文义此下应有“入”字

上，少间两路金色如线下相合者是真。

辨白花蛇，蕲州出者，两眼如蝉壳。庐州者，右眼枯左眼金黄，左眼枯右眼金黄，头方背花方胜，身白蟠，不用竹插串尾，有白爪是。

辨犀角，镑屑在掌中少时易碎研成末，如牛角蹠蹄，研则软。

皖山石乳香，玲珑而有蜂巢者为真，先热之，次热沉檀之属，则香气为乳香烟罩定难散，否则白胶香也。

反 恶

药十八反：藜芦反人参、丹参、沙参、

玄参、苦参、细辛及芍药。甘草反甘遂、大戟、海藻、芫花。乌头反半夏、瓜蒌、贝母、白敛。

服茯苓，如吃醋则前功俱废。

服何首乌散，不可吃茶。

服黄连多，反为心热，苦助心也。

常服川乌草乌头者，不可食合葷，令人呕血，合葷与二药相反。

今时治嗽并痢，多用罌粟壳为主，若不去蒂内膜，服之能令人恶心头重眼晕。

患脚气人不可吃鲫鱼，甚验。

有风病者不可吃胡桃，能发风。

凡患疮疥者，切须忌茶。

简 易 方

男女动静说

予观常清静经云：天清地浊，男动女静，降本流末，而生万物。又读周子太极图，则曰：阳动阴静，动极复静，静极复动，一动一静，互为其根。则知清浊者，天地之位；动静者，男女之机也。男子为阳，阳主动，动中有静；女子为阴，阴主静，静中有动。是以上古天真论：女子二七，天癸至，任脉通，太冲脉盛，月事以时下；至七七则任脉虚，太冲脉衰少，地道不通，形坏而无子。丈夫二八，肾气盛，精气溢写，阴阳和，故有子；至八八则齿发去。以此知男女阴阳之质不同，天癸精血之形亦异。阴静血满，月溢则行，静极复动也；阳动气合，时泄而止，动极复静也。倘或当行而不行，不当泄而泄，则吾恐静非其所当静，动非其所当动，无病者几希矣，其可不致察于斯。

四 大 奥 论

予尝历览诸家方论，深求医之妙理。复读佛书，见经中多引医为喻。有云：医善巧方便，普救一切人。则知医之心，即佛之心

也。诊之疗际，可不明其所以乎。盖人之有生，寓形宇内，假合四大以为身。四大者何？地、水、火、风也。其生也由此而成，其死也由此而灭，从本不实故也。人之死生既系乎此，则为医者正当明死生之理，以究其疾痛之原可也。夫发、毛、爪、齿、皮、肉、筋、骨、髓、脑、垢、色皆属乎地，若地大不和，则发焦、毛拔、爪枯、齿槁、皮缓、肉脱、筋急、骨痠、髓竭、脑转、面垢、色败，此病之原于地大者也。唾、涕、脓、血、津液、涎沫、痰、泪、精、气、大小便利皆属乎水，若水大不和，则多唾、鼾涕、脓溃、血溢、津液不收、涎沫流出、痰壅、泪盈、精走、气泄、大小不净盈流于外，此病之原于水大者也。至于暖气则归火，动转则归风。若火大不和，为烦，为热，为焦渴，为痈疡，为狂走，为癰闭。若风大不和，为偏枯不随，为四肢瘫痪，为口眼喎斜，为筋脉挛急，为痒，为痛，为痹，为癩。火大风大，病各不同。四者和合则一身安荣，有一不和，皆能为病，况于离散者乎。矧乎四大之身，人所均有而不自觉，知医之圣师亦秘而不示于人，唯佛书则言之详矣。盖佛为大医王，了达生

死，故能洞明此理。予因得以经中所说，一贯乎医。后之来者，毋以予言为迂；若以予言为迂，是亦以佛氏为迂。

五常大论

太和絪縕，天地设位，化生万物而人位乎其中，三才立矣。夫人之一身与天地同流，上部法天，主胸已上至头之有疾；中部法人，主膈下至脐之上有疾；下部法地，主脐以下至足之有疾。昔黄帝兴问于前，而秦越人演义于后，理意宏深，卒难明晓。爰及贤哲间生，互相祖述，载之方册，班班可考。然措辞立说，各显其能，未免彼是而此非，甲可而乙否，后学宁无惑焉。予尝伏读圣经，探赜玄微，参以诸家之善，立为五常大论，法先圣之遗文，为后人之龟鉴。其文自顶至踵，四末五官，由中及外，五脏六腑，区分类析；至于经络之循环，气脉之交涉，粲然靡所不载。揆之于前，颇焉详备，非曰能之，愿共学焉。

髓者，精之根，命之元也。精者，血之本，神之苗也。萃五味之英，集五气之和，融结而为之。夫五脏皆有精，而内舍于肾，以育百骸；诸骨皆有髓，而上属于脑，以镇诸阳。故肾为精之舍，脑为髓之海也。

头者，诸阳之会，上丹产于泥丸内，则百神之所辑，为一身之元首也。手之三阳，从手至头，足之三阳，从头走足，六阳之脉会于头间，是以头痛多属于阳也。阴病亦有头痛者乎？盖诸阴之脉皆行至颈、胸中而还，不上循头。独厥阴肝脉上入颞颥，连目系，上出额，与督脉会于巅。内经曰：头痛巅疾，过在足少阳、厥阴，甚则入肝。又有病头痛连齿，时发时止，数岁不已者，由寒气内至骨髓，骨髓者以脑为主，脑逆故令头痛齿亦痛，此肾所生病也。诸阴经并无头痛，唯肝肾二经有者，由此故也。

面者，人神之牖也。上布五岳，分列五官，以属五藏。目者肝之官，主鉴辨五色；

鼻者肺之官，主吸引五臭；口者脾之官，主嗜食五谷；舌者心之官，主品尝五味；耳者肾之官，主分别五音。五官既具，则一身之精神皆备于面矣。内经云：女子六七面皆焦，丈夫六八面始焦，由阳明气衰于上也。以其手阳明支脉，直而上颈贯颊，入下齿缝中，还出侠口，交人中，左之右，右之左，上夹鼻孔。足阳明之脉，起于鼻交颞中，傍约太阳之脉，下循鼻外，上入齿缝中，还出侠口环唇，下交承浆，却循颐后下廉，出大迎，循颊车，上耳前，过客主人，循发际，至额颅。难经云：人面独能耐寒者，以其诸阳之脉皆上至头耳。黄帝于面焦发堕独言阳明而不言诸阳者，盖诸阳之脉虽上循头，而不若阳明之脉维络于面也。合二经而考之，可识经脉之循环，验气血之消长也。苟情动于中，邪淫于外，形色有变，皆见于面，不可概举。

颈项者，诸阳辐凑之地。六阳之脉，皆自肩颈出入缺盆，下络五藏。所以古人取人迎动脉于颈间，以候五脏六腑之气有馀不足也。其为病则不一，或颈项强痛不可回转，或颈项痛而嗑乾，或颈项痛连入缺盆，则各随其经脉所属而为病焉。至于九痿、癰疽、瘰癧多生于颈项者，亦由经脉之所聚也。

肩者，六阳之脉与阳维之会皆走于肩而相交会，循肩上下。因知肩为诸阳之道途，筋骨之枢会，故能任重负载。

背脊中，胸中之府，诸阳受气于胸中而转行于背。经云：人身之阴阳者，背为阳，腹为阴。故五脏六腑之腧皆在于背也。

臑者，臂节也，穴名曰天府。肘者，手腕也，穴名曰尺泽。臂者，从肩至掌，统而言之也。夫手之三阴三阳，皆循臂前后廉上下往来，或由中而行，故为病大同而小异，用药亦可以兼理，灸之刺之则各随其经也。

腋者，掖也。手三阴之脉与足少阳之脉循腋上，故下为病则腋多肿痛。灵枢经曰：

1 中：按文义应作“者”

手太阴之脉，从肺系横出腋下；手少阴之脉，从心系却上肺，出腋下；手厥阴之脉，循胸出胁上，出腋下；足少阳之脉，则从缺盆下腋，循胸中，过季肋。凡此四经，或横出腋下，或循腋上下别行，各有其道也。人有患胡臭漏腋者，古方共为一病，以理考之，其证不一。胡臭者，多因劳逸汗渍，以手摸而嗅，致清气道中受此宿秽，吸上泥丸，散入百脉，多相沾染，忌之为得。漏腋者，由食啖五辛太过而有所发，致腠理不密，其汗则自腋下泄出，浥¹而又²而湿，污衣数重皆透，臭不可近。夫胡臭漏腋皆腋中之疾，虽不伤人命而害人身，奉亲事君乃至交游皆非所宜，脩身之士务为清洁者，偶得此患，不可不思有以去之。

肋者，左右腋下也。肋者，肋骨也。肝胆二经交会于此，是以肋痛多属肝胆也。难经云：脏会季肋。季肋在软肋之际，其端有穴，名曰章门，直脐傍二寸八分，是脾之募，足少阴、厥阴所会也。凡热病在内者，则取其穴之所会，以去其疾也。

膈者，革也。自心肺之下，有膜与脊、肋、腹周回相着如幕，以遮蔽浊气不上熏于心肺。所谓膈中者臣使之官，喜乐出焉。膈中在两乳间，为气之海，以分布阴阳，志和气达则喜乐由生。又云：膈育之下，中有父母。膜育之上者，气海居焉。气者生之原，命之主，故气海为人之父母。育膜谓心肺之间也。

脐者，齐也。根源本始生成之处，冲和凝结之气通而禀受生焉，有生生不穷之义。及其形质已具，分诞有期，则如匏瓜桃李，脐乾而蒂脱矣。是以号为神阙，前当肠胃，后直肾俞，为天地中分。黄庭云：两部水王对生门。又云：后有密户前生门。生门者，脐也。婴儿在母腹中，取气于脐管，母呼亦呼，母吸亦吸，正与密户相对，所谓脐者如此。况脐之上下左右，乃肠胃盘曲会聚之所，经所以言五脏之动气发于脐之上下左右也。

足阳明冲脉皆侠脐，而督脉贯脐中央。脐或凸出者，水气积于脾元。脐腹疼痛者，寒邪伤于下脏。不可不知。

腰挟脊而居，前与脐平，为前后分。足少阴之脉贯脊，足太阳之脉抵腰，故腰者肾之外候。腰半以上同天之阳，腰半以下同地之阴，腰为阴阳之界也。腰当人身之中，任罄折俯仰之劳，设或气郁于内，邪干于外，皆致腰痛，当以脉之与证验之。至于房劳疲力，耗竭精气，坠堕恶血，留滞经络，与正气冲击，伛偻重肿，痛引季肋，谓之暨²腰痛。或作劳汗出，衣里冷湿，久久得之，腰冷如水，身重不渴，小便自利，食饮如故，腰以下如带五千钱，谓之肾着腰痛。治之各有法。内经云：腰者肾之府，转摇不能，肾将惫矣。呜呼，腰痛属外候，犹有不可治者，深可叹矣。

二阴者，前后便也。难经云：大肠小肠会为阑门。言阑约水谷，从其泌别者也。其谷自小肠承受于阑门以分别也，其水则渗灌入于膀胱上口而为溲便，若谷之滓秽则自阑门而传道于大肠，故曰下焦在膀胱上口以分别清浊也。内经云：北方黑色，入通于肾，开窍于二阴。二阴者，肾之外窍也。前曰溲便，精血亦自此道出。故男子水令居下，火令居上；女子水令居上，火令居下。所以男子由此分而为水火未济之卦，女子由此分而为水火既济之卦也。后曰肛门，肛门犹车之轳也，为肺下口，号为通事吏。难经云：下极为魄门。魄门者，轳门也。重十二两，大八寸，径二寸大半，长二尺八寸，受谷九升三合八分合之一。热则肛门肿缩，闭塞不通；寒则肛门脱出，肠鸣洞泄。狐惑，伤寒证云：虫食其肛，下唇有疮。诸证不同，学者宜审之。

髀股者，足胫也。膝者，胫头也。膈者

1 又：按文义应作“浥”

2 暨：诸病源候论作“臂”

足腕也。腠者，足肚也，一名腓肠。趺者，足面也。足之六经流注之地。足之三阳，从头走足；足之三阴，从足至目¹。三阳之脉行足外廉，皆循股也；三阴之脉行足内廉，皆循髀也。唯膕中腠内，阴阳上下行乎其间。至于膝，则太阴阳明之脉皆循股而入膝，少阳之脉则出膝外廉也。足趺者，足面系鞋之所，骨间动脉应指名曰冲阳，足阳明胃脉气之所发也。伤寒必诊此者，以察其胃之有无也。肝胆之脉虽亦循趺上下，但所行各异其

道。夫十二经脉，包罗一身，无所不至矣。昔纣妃妲己冬月见二少年朝涉，谓纣曰：一老生之子，一少生之子。纣曰：何以知之？妲己曰：少生者耐寒，髓满胫也；老生者畏寒，髓不满胫也。纣断其胫而观之，信然。因知人之虚实，由禀受之各异也。内经曰：肾生髓，髓生肺。子母之义。孙真人以髓应肝胆，盖不失其本也。夫髓为精之根，精为血之本、命之元、身之主也，岂可不持盈守成而保其有我哉。

直指方

诸阴诸阳论

禀五行之气，而为万物之最灵者，人也。人禀五行之气而生，曰阴与阳，谁独无是哉。心为手少阴，肾为足少阴，肺为手太阴，脾为足太阴，肝为足厥阴，心包络为手厥阴，此手三阴足三阴之经也。小肠曰手太阳，膀胱曰足太阳，大肠曰手阳明，胃曰足阳明，胆曰足少阳，三焦曰手少阳，此手三阳足三阳之经也。阴六阳六，合而为人身之十二经。是经者，所以周环一身，自上至下，往来流通，而无间断也。其脉，则于两手三部应焉。故自其身者言之：腑为阳，脏为阴；外为阳，内为阴；上为阳，下为阴；头戴阳，足履阴；背负阳，腹抱阴；气属阳而阳为卫，血属阴而阴为荣；阳根于阴，阴根于阳，阴阳互根，荣卫不息；阳动所以为阴之役使，阴静所以为阳之镇守；呼出心与肺，吸入肝与肾；呼者因阳出，吸者随阴入，呼吸之间，脾受谷味，是则一身之阴阳也。自其脉者推之：关前为阳，阳得九分；关后为阴，阴得一寸。所以有主治之分。浮之实大，沉之损小，曰阳盛阴虚；沉之实大，浮之损小，曰阴盛阳虚。所以有表里之别。脉居阳部而阴脉形，脉居阴部而阳脉见。阳虚则阴出而乘之，阴虚则阳入而乘之，及所以见寒暑，则变之机。

至若阳生于尺，动于寸；阴生于寸，动于尺。牢、长、促、数之为阳，虚、短、结、代、动、细之为阴。浮、芤、滑、实、弦、紧、洪之为表，微、沉、缓、涩、迟、伏、濡、弱之为里。阴病见阳脉者生，阳病见阴脉者死。是则六脉之阴阳也。自其病者求之：寸口浮疾，阳中之阳，病主身热头痛，烦满内热；寸口沉细，阳中之阴，病主少气汗出，悲伤不聊；尺脉浮滑，阴中之阳，病主小腹痛满，大小便难；尺脉沉细，阴中之阴，病主两股酸疼，阴痒遗沥。阴出于阳其病怒，阳入于阴其病静。腑病欲得寒，掀衣气粗，又欲见人者，为阳；脏病欲得温，恶闻人声，闭户独处者，为阴。腑病属阳，阳主动，故其痛多走注而不止；脏病属阴，阴主静，故其痛有常处而不移。阳病旦静，阴病夜宁。阳虚暮乱，阴虚夜争。阴胜则寒，阳胜则热。阴动则发热，阳动则有汗。贼风客邪阳受之，饮食居室阴受之。阳受风气，伤风者先于上；阴受湿气，伤湿者先于下。其或邪居阳脉之间，则四肢热盛而为狂；邪入阴脉之内，则六经凝涩而为痹。无阳即厥，无阴即呕。阳微不能呼，阴微不能吸。阳病不能俯，阴病不能仰。重阳者狂，重阴者颠。脱阳者见鬼，脱阴者目盲。是则诸病之阴阳也。噫！是固

¹ 全目：灵枢经作“走腹”

然矣。抑古人所谓阴阳维跷覆溢关格者，又何如哉？曰：脉有阳维、阴维、阳跷、阴跷、冲、督、任、带，凡此奇经八脉，别道而行，如设沟渠，以备水潦之溢，病非自生，盖诸经溢出而流入之也。维者，总持诸脉之纲维。阴阳不相维则依然失志。跷者，健足行走之关要。督言其都，阳脉之会也。任取其妊，生养之原也。冲者阴脉之通，自足至头，通受诸经之气血。带者回绕于身，总束诸脉，取束带之义焉。故阳维之病苦寒热，阴维之病苦心痛，阳跷之病阳急而狂奔，阴跷之病阴急而足直，冲病则气逆而里急，督病则脊强而折厥，任病则男疝气而女带瘕，带病则腹胀满而腰溶溶，其冲任二经，是又妇人乳血月候之所从出，奇经之脉，其如是乎。关前为阳脉，当九分而浮，若连并而上至鱼际者为溢，溢则外关内隔，是为阴乘；关后为阴脉，当一寸而沉，若连并而下入尺泽者为覆，覆则内关外隔，是为阳乘。寸脉皆虚为阳亏，尺脉皆虚为阴亏。寸脉下不至关为阳绝，尺脉上不至关为阴绝。亏犹庶几，绝与关隔，真危脉也。覆溢亏绝，其如是乎。虽然，人事不可不知也。暴喜伤阳，暴怒伤阴，忧愁不意，气多厥逆，七情所发，病家谨焉。甘辛之剂，以之助阳，酸苦之剂，以之助阴，有志活人者，又当识此。

问 病 论

东坡先生尝曰：吾平生求医，盖于平时默验其工拙至于有疾，必先尽告以所患而后

诊视，使医者了然知厥疾之所在，虚实冷热先定于中，则脉之疑似不能惑也，故虽中医疗疾常愈，吾求疾愈而已，岂以困医为事哉。诚哉斯言，真警迷济世之砭剂也。何者？脉之与证相依而行，脉者所以剖其证之未明，证者所以索其脉之犹隐。据脉以验证，所谓得手应心者是尔；问证以参脉，所谓医者意也是尔。乌可举一而废一哉。私窃怪夫近世以来，多秘所患以求诊，以此验医者之能否。医亦不屑下问，孟浪一诊，以自挟其所长。甚者病家从前误药，或饮食居处有所违海，虽问之而不以尽告，遂至索病于冥漠之间，辨虚实冷热于疑似之顷，毫厘千里，宁不委命一掷，与人试伎乎。此余于终篇，所以特举前辈格言，以解世俗之惑。不然，难经有谓，问其所欲五味，以知其病之所起所在者，又果何意邪。大人小儿诸病瘥后，饮食且须旋进，常若不足，毋使食气伤胃，其病复来。大热方退，尤不可饱，小儿伤乳，热复则同。

论 易 简 方

易简方论，前后活人不知其几；近世之士，类以春秋之法绳之，曰易简绳愆，曰增广易简，曰续易简论，借古人之盛名，以自伸其臆说。吁！王氏何负于人哉。余谓易简方论，后学指南；四时治要，议论似之，自有人心权度存焉耳。况王氏晚年，剂量更定者不一，日月薄蚀，何损于明。若夫索瘢洗垢，矫而过焉，或者公论之所不予也。

证 治 提 纲

得 病 有 因

治病活法，虽贵于辨受病之证，尤贵于问得病之因。风则走注，寒则拘挛，暑则烦渴，湿则重滞，此受病之证然尔。或耗于交淫，或触于惊怒，或伤于酒食，或深居简出

而受暑，自非委曲寻问其因，则以意治病，岂不缪耶。有人喉间麻痒，医问其平日所嗜，曰常吃鸽子，乃知鸽食半夏苗，以生姜治之而愈。有人痰热，昏迷不醒，医问其喜食者何？有曰酷好煎炙飞禽，乃用红圆子、小七香圆末之，而入朱砂膏为小圆，薄荷泡汤灌

下，须臾即苏。有人暑月深藏不出，因客至于窗下，忽尔倦怠力疲，自作补汤，得之反剧，医问其由，连进两服香薷散作效。举此为例，其他可推。古云医者意也，不苟！究其得病之因，其何以为意会。

治病当先救急

治病如奕棋，当先救急。急者何？救其重而略其轻也。假如病人发热经日，服通利之剂，泄泻不止，呕吐大作，粥药不入，而热犹未已。治法略去发热一节，且以定呕进食为先。惟人参、生姜入些炙甘草煎汤，调苏合香圆，咽下养正丹，斟酌圆数与之。进剂以还，呕吐自定，饮食渐进，泄泻亦自不作。是元气既正，纵在微热，特假热耳，人参、川芎、柴胡、甘草调理之。

治病如操舟

操舟在手，当风波震荡之冲，一有转移，则舟覆矣。医权药衡，主持在我，不可偏徇病家所欲，尤不可张皇，使病人惊。间有病家粗识皮肤，辨难反覆，万勿惑焉。又有瘥后触犯再复，隐讳不言，须诘问其由，庶得对病施药。

用药中病不必尽剂

治寒以温，治热以凉，但中病即止，矫枉则过正也。盖凉药频施，必至于呕恶沉冷，温药频施，必至于烦躁烘热，所贵酌量权度，一毫无过用焉，是为活法。

经常用药自有奇功

人有中年以上，素挟风痰，腹中时痛，忽尔感冒，虽已发散寒邪，无复发热头疼之苦，奈何风痰呕吐俱作，诸药罔功。但用茯苓二陈汤加南木香、白豆蔻作剂，入生姜、乌梅同煎，调苏合香圆貳粒，咽下白圆子貳拾圆，连续两服，呕止痰消，自然思食，继是以北参、川芎、橘皮、白豆蔻、炙甘草调

之。若通小便，则于内加麦门冬；若通大便，则于内加枳壳，以咽神保圆肆伍圆，大小腑一通，顿遂勿药之喜。

论肝脾主病

经曰：人迎紧盛伤于寒，气口紧盛伤于食。盖肝脉可以知风寒之出入，脾脉可以验饮食之盈亏。肝亦主血，脾亦主痰。以其脉之虚实而益损之，以其病之关系而对治之，君请择斯二者。

病人尺脉洪大

此病在下部也，当疏利而出之。脉洪大主热，多是大小便不通；或小腹结急，脐下蓄血；或肾气攻刺，发作奔豚；或下焦停水，外肾虚肿；或风邪攻肾，脚痹腰疼；或肾脏风毒，身下疮痒。当随证体认，以对病之剂主之，大概通利为第一义，临诊精思而熟审焉。

水气肾气血气风毒擒纵治法

此等证候，先以青皮、陈皮、枳壳、北梗、半夏、紫苏、生姜、甘草，解其寒邪，调其卫气，然后斟酌用十枣汤吞养正丹，轻者却只用神保圆夹青木香圆，以五灵脂入乌梅、浓蜜煎汤咽下钱氏宣风散，亦可以疏利风毒。俟大便通快流行，其痛已减，继是二陈汤加当归、川芎、木香、缩砂辈调理之。

退 热

退热用凉药，不可十分尽。或余热些少未去，不足关心，自然无事。否则热去则寒起，古人戒之。一方多用川芎、茯苓、甘草，少用白术，粗末水煎，病后和胃，收敛浮阳，屡试得效。

柴胡退热不及黄芩

若药弗瞑眩，厥疾弗瘳。世俗治热，例

1 不苟。按文义应作“苟不”

用柴胡，最为稳当。至若黄芩一辈，则指为大寒，不敢用之。不思药病不相当，鲜克有济。继今退热而热不去者，须用黄芩。

退热有法

凡壮热烦躁，用柴胡、黄芩、大黄解利之。其热乍轻而不退，盍用黄芩、川芎、甘草、乌梅作剂，或用黄连、生地黄、赤茯苓同煎，临熟入灯心壹捻主之，其效亦速。盖川芎、生地黄皆能调血，心血一调，其热自退。

滞血发热

其人脉涩，必有漱水之证，必有呕恶痰涎之证，必有两脚厥冷之证，亦必有小腹结急之证，或唾红，或鼻衄，此皆滞血作热之明验也。用药不止于柴胡、黄芩，当以川芎、白芷、桃仁、五灵脂、甘草佐之。大便秘结者，于中更加大黄、浓蜜，使滞血一通，黑物流利，则热不复作。

下后大肠热肿坠重

诸有里热，法当通利大便，然下后肠头

热肿而坠重者，此更有热，有瘀血挟气，而蓄在下焦也。更用黄连、黄芩、大黄辈下之于内，以炒阿胶、炒枳壳、百药煎为佐，多入浓蜜并乌梅同煎，姜钱四五片可也。

肚皮痛

肾虚不能行水，加之酒面无度，醉后辄睡，酒与水交聚于腹中，而面毒复缠滞其气，是以水渗于肚皮而作痛矣。治法：钱氏宣风散用蜜水煎，咽下神保圆，俟其大便流利，然后以青木香圆壹分，安肾圆倍之，用二陈汤入少盐并生姜同煎，空心咽下，脾肾气复，自然向安。

胸膛气隔

有肺经伏热而气隔者，有痰水在上而气隔者，大概以茯苓、半夏、枳壳、桔梗为治法。其肺热者，如圣汤加桑白皮佐之。心下水气者，小半夏茯苓汤效。胸烦，活人书用山栀子。

朱氏集验方

煮胶法 梁国佐传

鹿角不以多少，先用瓦缸盛水浸三日，漉出用江中沙子揩洗，要见黄色，然后用锯二寸长一块，别换江水再入缸浸三日。用一大瓦钵有盖者，用盐泥和陈壁土作泥固济，随钵大小作一灶，用第二次所浸水入钵内和鹿角煮。常以铁瓶烧水在灶门口，如钵内水耗一寸，又添一寸，断不可添冷水。须用纯栳炭，凡三日三夜不可断火，以煮尽水为度，第四日早漉出用。乘热修去皮，便成鹿角霜。钵内所馀汁，须要熬取十分稠粘，却用竹筒溜出，挂在阴冻处，隔宿即凝结破开竹筒，用布线锯成饼子收顿。

又煮胶法，须用两锅，一锅常要温汤，准备添用。

又法：鹿角不用自死者，不以多少，三寸许截断，去粗皮，将鹿角于河水内浸七日，其水每日一易，候日足洗净，锅中煮。每鹿角五斤，用桑白皮半斤、楮实一斤、舶上硫磺二两、朱砂二两同煮之。如水尽，旋添汤，及一伏时，自然已软；或火不相继未软，再煮一伏时。如软，放冷取出于当风处挂起，便可入药。用煮角水滤去诸药，慢火再熬，便可为胶。

丸药法

蜜剂，每药壹斤，用蜜壹斤。

面糊剂，每药末壹斤，用面四两。米粉

亦如之。

儒 门 事 亲

七方十齐绳墨订

方有七，齐有十，旧矣。虽有说者，辨其名而已。敢申昔人已创之意而为之订。夫方者，犹方术之谓也。易曰：方以类聚。是药之为方，类聚之义也。或曰：方谓五方也，其用药也各据其方。如东方濒海卤斥而为痈疡，西方陵居华食而多癰腫贅癭，南方瘴雾卑湿而多瘰癧，北方乳食而多脏寒满病，中州食杂而多九疸、食癆、中满、留饮、吐酸、腹胀之病。盖中州之地，土之象也，故脾胃之病最多。其食味居处情性寿夭，兼四方而有之。其用药也，亦杂诸方而疗之。如东方之藻蒂，南方之丁木，西方之姜附，北方之参苓，中州之麻黄、远志，莫不辐凑而参尚^①。故方不七，不足以尽方之变；齐不十，不足以尽齐之用。齐者和也，方者合也；故方如瓦之合，齐犹羹之和也；方不对病则非方，齐不蠲疾则非齐也。七方者，大、小、缓、急、奇、偶、复也。十齐者，宣、通、补、泻、轻、重、滑、涩、燥、湿也。

夫大方之说有二：有君一、臣三、佐九之大方，有分两大而顿服之大方。盖治肝及在下而远者，宜顿服而数少之大方；病有兼证而邪不专，不可以一二味治者，宜君一、臣三、佐九之大方。王太仆以人之身三折之，上为近，下为远，近为心、肺，远为肾、肝，中为脾、胃，胞、膻、胆亦有远近。以予观之，身半以上其气三，天之分也；身半以下其气三，地之分也；中脘，人之分也。又手之三阴阳亦天也，其气高；足之三阴阳亦地也，其气下；戊己之阴阳亦人也，其气犹中州。故肝之三服，可并心之七服；肾之二服，可并肺之七^②服也。

小方之说亦有二：有君一臣二之小方，

有分两微而频服之小方。盖治心肺及在上而近者，宜分两微而少服而频之小方，徐徐而呷之是也。病无兼证邪气专，可一二味而治者，宜君一臣二之小方。故肾之二服，可分为肺之九服，及肝之三服也。

缓方之说有五：有甘以缓之之缓方，糖、蜜、枣、葵、甘草之属是也，盖病在胸膈，取甘能恋也。有丸以缓之之缓方，盖丸之比汤散，其气力宣行迟故也。有品件群众之缓方，盖药味众，则各不得驶其性也，如万病丸，七八十味遽相抱^③制也。有无毒治病之缓方，盖性无毒则功自缓矣。有气味薄药之缓方，盖药气味薄，则长于补上治上，比至其下，药力已衰，故补上治上，制之以缓，缓则气味薄也。故王太仆云：治上补上方若迅急，则上不任而迫走于下，制缓方而气味厚，则势与急同。

急方之说有五^④：有急病急攻之急方，如心腹暴痛，两阴溲便闭塞不通，借备急丹以攻之，此药用不宜恒，盖病不容俟也。又如中风牙关紧急，浆粥不入，用急风散之属亦是也。有汤散荡涤之急方，盖汤散之比丸，下咽易散而施用速也。有药性有毒之急方，盖有毒之药，能上涌下泄，可以夺病之大势也。有气味厚药之急方，药之气味厚者，直趣于下而气力不衰也。故王太仆云：治下补下方之缓慢，则滋道路而力又微，制急方而气味薄，则力与缓等。

奇方之说有二：有古之单方之奇方，独用一物是也，病在上而近者宜奇方也。有数合阳数之奇方，谓一、三、五、七、九皆阳

① 尚：儒门事亲作“向”。

② 七：儒门事亲作“九”。

③ 抱：儒门事亲作“拘”。

④ 五：儒门事亲作“四”。

之数也，以药味之数皆单也；君一臣三，君三臣五，亦合阳之数也。故奇方宜下不宜汗。

偶方之说有三：有两味相配之偶方。有古之复方之偶方，盖方之相合者是也，病在下而远者宜偶方也。有数合阴数之偶方，谓二、四、六、八、十也，皆阴之数也；君二臣四，君四臣六，亦合阴之数也。故偶方宜汗不宜下。

复方之说有二：有二方、三方相合之复方，如桂枝^①越婢一汤，如调胃承气汤方芒硝、甘草、大黄外，参以连翘、薄荷、黄芩、栀子以为凉膈散，是本方之外别加余味者皆是也。有分两均齐之复方，如胃风汤各等分是也。以内经^②放^③之，其奇偶四则，反以味数奇者为奇方，味数偶者为偶方。下复云：汗者不以奇，下者不以偶。及观仲景之制方，桂枝汤汗药也，反以三味为奇；大承气汤下药也，反以四味为偶。何也？岂临事制宜复有增损者乎。放^④其大旨，王太仆所谓汗药如不以偶，则气不足以外发；下药如不以奇，则药毒攻而致过。必如此言，是奇则单行偶则并行之谓也。意^⑤者，下本易行故宜单，汗或难出故宜并，盖单行则力孤而微，并行则力齐而大，此王太仆之意也。然太仆又以奇方为古之单方，偶为复方。今此七方之中，已有偶又有复者，何也？岂非偶方者二方相合之谓也，复方者二方四方相合之方欤。不然，何以偶方之外又有复方者欤。此复字非重复之复，乃反覆之复。何以言之？盖内经既言奇偶之方，不言又有重复之方，惟云奇之不去则偶之，是为重方，重方者即复方也，下又云偶之不去则反佐以取之，听谓寒热温凉反从其病也，由是言之，复之为方反复，亦不远内经之意也。

所谓宣齐者，俚人皆以宣为泻齐，抑不知十齐之中已有泻齐；又言宣为通者，抑不知十齐之中已有通齐；举世皆曰春宜宣，以为下夺之药，抑不知仲景曰大法春宜吐，以春则人病在头故也，况十齐之中独不见涌齐，

岂非宣齐即所谓涌齐者乎。内经曰：高者因而越之。木郁则达之。宣者升而上也，以君召臣曰宣，义或同此。伤寒邪气在上宜瓜蒂散，头痛葱根豆豉汤，伤寒懊憹宜栀子豆豉汤，精神昏愤宜栀子厚朴汤，自瓜蒂以下皆涌齐也，乃仲景不传之妙，今人皆作平齐用之，未有发其秘者，予因发之，然则为涌明矣。故风痼中风，胸中诸实、痰饮，寒结胸中，热蔚化上，上而不下，久则嗽喘满胀水肿之病生焉，非宣齐莫能愈也。

所谓通齐者，流通之谓也。前后不得洩便，宜木通、海金沙、大黄、琥珀、八正散之属；里急后重，数至圊而不便，宜通因通用。虽通与泻相类，大率通为轻而泻为重也。凡痹麻蔚滞，经隧不湍^⑤，非通齐莫能愈也。

所谓补齐者，补其不足也。俚人皆知山药丸、鹿茸丸之补齐也，然此乃衰老下脱之人方宜用之；今往往于少年之人用之，其舛甚矣。古之甘平、甘温、苦温、辛温皆作补齐，岂独硫黄、天雄然后为补哉。况五脏各有补泻，肝实泻心，肺虚补肾。经曰：东方实，西方虚；泻南方，补北方。大率虚有六：表虚、里虚、上虚、下虚、阴虚、阳虚。设阳虚则以乾姜、附子，阴虚则补以大黄、硝石。世传以热为补，以寒为泻，讹非一日，岂知酸、苦、甘、辛、咸各补其藏。内经曰：精不足者补之以味。善用药者使病去而五谷进者，真得补之道也。若大邪未去，方满方闷，心火方实，肾水方耗，而骤言鹿茸、附子，庸詎知所谓补齐者乎。

所谓泻齐者，泄泻之谓也。诸痛为实，痛随利减。经曰：实则泻之，实则散而泻之。中满者泻之于内，大黄、牵牛、甘遂、巴豆之属皆泻齐也，惟巴豆不可不慎焉，盖巴豆其性燥热，留毒不去，变生他疾，纵不得已

① 枝：儒门事亲此下有“二”字。

② 放：儒门事亲作“考”。

③ 放：儒门事亲作“考”。

④ 意：儒门事亲作“急”。

⑤ 湍：儒门事亲作“流”。

而用之，必以他药制其毒，盖百千证中或可一二用之，非有暴急之疾，大黄、牵牛、甘遂、芒硝足矣。今人往往以巴豆热而不畏，以大黄寒而反畏，庸詎知所谓泻齐者哉。

所谓轻齐者，风寒之邪始客皮肤，头痛身热，宜轻齐消风散，升麻、葛根之属也。故内经曰：因其轻而扬之。发扬所谓解表也。疥癣痤疮宜解表，汗以泄之，毒以薰之，皆轻齐也。故桂枝、麻黄、防风之流亦然，设伤寒冒风，头痛身热，三日内用双解散及嚏药，解表出汗，皆轻齐之云耳。

所谓重齐者，镇坠之谓也。其药则朱砂、水银、沉香、水石、黄丹之伦，以其体重故也。久病咳嗽，涎潮于上，咽喉不利，形羸不可峻攻，以此坠之。故内经曰：重者因而减之。贵其渐也。

所谓滑齐者，周礼曰滑以养窍，大便燥结，小便淋涩，皆宜滑齐。燥结者，其麻仁、郁李之类乎；淋涩者，其葵子、滑石之类乎。前后不通者，前后两阴俱闭也，此名曰三焦约也，约犹束也，宜先以滑齐润养其燥，然后攻之，则无失矣。

所谓涩齐者，寝汗不禁，涩以麻黄根、防己；滑泄不已，涩以豆蔻、枯白矾、木贼、乌鱼骨、罌粟壳。凡酸味亦同乎涩者，收敛之义也。喘嗽上奔，以藿汁乌梅煎，宁肺者，皆酸涩齐也。然此数种，当先论其本，以攻去其邪，不可执一以涩，便为万全也。

所谓燥齐者，积寒久冷，食已不饥，吐利腥秽，屈伸不便，上下所出水液澄澈清冷，此为大寒之故，宜用乾姜、良姜、附子、胡椒辈以燥之，非积寒之病不可用也。若久服则变血溢血泄、大枯大涸、洩便癯、聋瞽痿弱之疾，设有久服而此疾不作者，慎勿执以为是，盖疾不作者或一二，误死者百千也。若病湿者，则白术、陈皮、木香、防己、苍术等皆能除湿，亦燥之平齐也。若黄连、黄蘗、梔子、大黄，其味皆苦，苦属火，皆能燥湿，此内经之本旨也，与世相违久矣。呜

呼！岂独姜附之俦方为燥齐乎。

所谓湿齐者，润湿之谓也。虽与滑相类，其间少有不同。内经曰：辛以润之。盖辛能走气，能化液故也。若夫硝性虽咸，本属真阴之水，诚濡枯之上药也。人有枯涸皴揭之病，非独金化为然，盖有火以乘之，非湿齐莫能愈也。

服药一差转成他病说

语云：子之所慎，斋、战、疾。又曰：丘未达，不敢尝。此言服药不可不畏慎也。然世有百十年相袭之蔽至今不除者，敢略数一二，使后车改辙，不蹈前覆。夫伤寒、瘟疫、时气、中暑、风温、风疟与中酒、伤食者，其初相类，此最误人。或先一日头痛，曾伤酒便归过于酒，曾伤食便归过于食，初觉满闷，医者不察其脉，不原其始，径用备急丹、缠积丹、软金丸、酒癖丸，此药犯巴豆，或出油不尽，大热大毒，走泄五、七行或十馀行，其人必津液枯涸，肠胃转燥，发黄瘀热，目赤口乾，恍惚潮热，昏愤惑狂，诸热交作，如此误死者不可胜举。差^①其人或本因酒食致过，亦能头痛身热，战慄恶寒，医者不察其脉，不究其原，反作伤食发之，桂枝、麻黄、升麻之属以汗解之，汗而不解，转转疑惑，反生他证，如此误死者可胜计哉。又如久病咳嗽，形体羸瘦，食饮减少，旦静夜剧，医者不察，便与乌梅、罌粟壳、紫苑、枯矾，如此峻攻，嗽疾未除，涩滞之病作矣。嗽加之涩，饮食弥减，医者不察，更以热齐养胃，温齐和脾，致令头面汗出，燥热潮发，形容瘦瘁，涎液上出，流如涌泉，若此死者不可胜数。又如妇人产馀之疾，皆是败血恶物，发作寒热，脐腹撮痛，乳涌枯涸，食饮消减，医者不察，便谓产后血出数斗，气血俱虚，便用温热之剂养血补虚，止作寒治，举世皆然。岂知妇人之孕，如天地之孕物也，

① 十：儒门事亲作“千”。

② 差：儒门事亲作“若”。

物以阴阳和合而后生，人亦以阴阳和合而后孕，偏阴偏阳岂有孕乎。此与禾黍瓜果之属何异哉，若水旱不时，则华之与实俱痿落矣，此又与孕而不育者复何异哉，七月立秋后十八日寸草不结者，犹天寒故也，今妇人妊娠终十月无难而生，反谓之寒，何不察其理之甚也。窃譬之治砖者，炎火在下，以水沃其窑之巔，遂成砖矣，砖既出窑，窑顿寒耶。世俗竟传黑神散之属治产后一十八证，非徒其不愈，则经脉酒闭，前后淋闭，呕吐嗽疾，凡百热证生矣，若此误死者不可计之。曷若四物汤与凉膈散对停，大作汤剂而下之，利以数行，恶物俱尽，后服淡甘之剂自愈矣。又如小儿腹满喘嗽，痰涎不利，医者不察，便用白饼子之属，夫白饼子，巴豆大热有大毒，兼用膩粉，其后必生口疮、上喘咳嗽、呕吐不嗜饮食之疾，然此治贫家小儿犹或可效，膏粱之家必生他病，又何疑哉。又如泻利之疾岁岁有之，医者不察，便用圣散子之属，乾姜、赤石脂、乌梅、罌粟囊、官桂、石榴皮、龙骨、牡蛎之属，变生小便癃闭，甚者为胀，又甚者水肿之疾生矣，间有愈者病之微者也，甚则必不愈矣。又如人病停饮，或因夏月伤冷过多，皆为脾胃客气有馀也，宜逐而去之，医者不可以为脾衰而补之，则痞者更痞，满者更满，复有巴豆丸下之者，病虽少解，必不嗜食，上燥之病生矣。又如人因闪肭膝踝，肘腕大痛，医者不察，便用铍针出血，如未愈者，再三刺血，出血既多，遂成跛躄。内经曰：足得血而能步，血尽安得步哉。若余治闪肭则不然，以禹功散或通经二、三钱，下神祐丸或除湿丹百馀丸，峻写一、二十行，则痛出当痒发，痛属夏，痒属秋，秋出则夏衰矣，此五行胜复之理也。故凡腰胯胁痛，杖疮落马，坠堕打扑，莫不同然。盖此痛得之于外，非其先元虚元弱。古人云：痛随利减。宜峻泻一、二十行毕，但忌热酒，可一药而愈，勿谓峻泻，轻侮此法。昔有齿痛连月不止，以铁钤钮取之，血

不止而死。又有人因上下齿痛，凡百痛者辄取，不数年上下齿尽，至五十岁生硬之物皆不能食。夫上下齿痛，皆由手足阳明二经风热甚而痛矣，可用大小承气汤、藏用丸、祛风丸等药泻之，则痛当自止。内经曰：诸痛痒疮疡皆属心火。启玄子云：百端之起皆自心生，心者火也，火生土之故也。出牙之误，不可不知。又如治水肿痛者，多用水银、轻粉、白丸子大毒之药下之，水肿未消而牙齿落，牙齿落而不进食，水尽而立毙；复有人于两足针之，水出如泉，水尽亦毙。

偶有所遇厥疾获瘳记

余昔过夏邑西，有妇人病腹胀如鼓，饮食乍进乍退，寒热更作而时吐呕，且三载矣，师覈符咒无所不至，惟俟一死。会十月农隙，田夫聚猎，一犬役死，磔于大树根盘，遗腥在其上。病妇偶至树根，顿觉昏愤眩瞀不知人，枕于根侧，口中虫出，其状如蛇，口眼皆具，以舌舐其遗腥。其人惊见长虫，两袖裹其手，按虫头极力而出之，且二尺许，重几斤，剖而视之，以示诸人，其妇遂愈，虫亦无名，此正与华元化治法同，盖偶得吐法耳。又有一书生疟间日一作，将秋试，及试之日乃疟之期，书生忧甚，误以葱蜜合食，大吐涎数升，瘀血宿食皆尽，同室惊畏，至来日入院，疟亦不发，亦偶得吐法耳。正隆间有圣旨取汴梁诸匠氏，有木匠赵作头、铁匠杜作头，行次失路，迷至大宅乞宿。主人不纳，曰：家中有人重病，不敢纳君。杜作头给曰：此赵公乃汴梁太医之家，今蒙上司见召，迷路至此，盖病者当愈而遇此公也。主人默而入，良久复出，将邀二人入室，与之食已，主人起请曰：烦太医看病何如。赵见而笑曰：一药可愈。二人窃议曰：来时所携熟药，寄他车上，此中实无奈何？杜曰：此甚易耳。潜出门，得牛粪一块，作三十粒，下以温水，少顷，病人觉胸中如虫行，一涌而出，状若小蛭螂一二升，以手探之，又约

一升，顿觉病去。明日主人出谢曰：百岁老人未尝见此神效之药也。礼饯二人遂归。呜呼！此二子小人也，欲苟一时之寝，遂以秽物治人，亦偶得吐法耳。又有一妇病风痼，从六七岁因惊风得之，自后三二年间一二作，至五七年五七作，逮三十馀岁至四十岁，日作或一日十馀作，以至昏痴健忘，求死而已。会兴定岁大饥，遂采百草而食，于水濒采一种草，状若葱属，炮蒸而食之，食讫，向五更觉心中不安，吐涎如胶，连日不止，约一二斗，汗出如洗，初昏困，后三日轻健非曩之比，病去食进，百脉皆和。省其所食，不知何物，访问诸人，乃葱苗也，葱苗者本草所谓藜芦苗是也。图经云：藜芦苗吐风病。此亦偶得吐法耳。又有一妇年三十馀，病滑泄经年，皆云虚中有积，以无忧散五七日一服，至二十服不效，又服缠积丹、软金丸诸药皆不效，其人服药愈速，病势愈甚，食饮日减。人或谓曰：此休息痢也，宜灸中脘及左右穴，脐下气海及膀胱穴，以三里引之，每年当冬至、夏至日灸之。前后仅万余壮。忽门外或者曰：此病我屡谙，盖大伤饮之故，即目桃花正开，俟其落时，以长棘针刺之，得数十萼，勿犯人手，以白面和作饼子，文武火烧令熟，嚼烂，以米饮汤下之。病人如其言服之，不一二时泻如倾，前后泻六、七日，仅数百行，昏困无所知觉，惟索冷水徐徐而饮，至六七日少省，尔后食日进，神日昌，气血日和，不数年生二子，此人本不知桃花萼有取积之神效，亦偶得泻法耳。余昔过株林，见一童子误吞铜铁之物，成疾而羸，足不胜身。会六七月淫雨不止，无薪作食，过饥数日，一旦邻牛死，闻作葵羹粳饭，病人乘饥顿食之，良久泄注如倾，觉肠中痛，遂下所吞之物。余因悟内经中肝苦急，急食甘以缓之，牛肉、大枣、葵菜皆甘物也，故能宽缓肠胃，且肠中久空，又遇甘滑之物，此铜铁所以下也，亦偶得泻法耳。顷有老人年八十岁，脏腑涩滞，数日不便，每临后时，

目前星飞，头目昏眩，鼻塞腰痛，积渐食减，纵得少便，结燥如弹。一日友人命食血脏葵羹、油渫菠稊菜，遂顿食之，日日不乏，前后皆利，食进神清，年九十岁无疾而终。图经云：菠菜寒，利肠胃。芝麻油炒而食之，利大便。葵宽肠利小溲。年老之人大小便不利最为急切。此亦偶得泻法耳。昔一士人赵仲温赴试，暴病两目赤肿，睛翳不能识路，大痛不任，欲自寻死。一日与同侪释闷坐于茗肆中，忽钩窗脱钩，其下正中仲温额上，发际裂长三四寸，紫血流数升，血止自怪能通路而归，来日能辨屋背^①，次见瓦沟，不数日复故，此不药不针，误出血而愈矣。夫出血者乃发汗之一端也，亦偶得出血法耳。呜呼！世人欲论治大病，舍汗下吐三法，其余何足言哉。此一说读之者当大笑耳，今之医者宜熟察之可也，人能谨察其真中之误，精究其误中之真，反覆求之，无病不愈。余之所以书此者，庶后之君子知余之用心非一日也。又有病目不睹者，思食苦苣，顿顿不阙。医者以为有虫，曾不周岁，两目微痛如虫行，大眦渐明，俄然大见。又如北方贵人，爱食乳酪、牛酥、羊、生鱼脍、鹿脯、猪腊、海味、甘肥之物，皆虫之萌也，然而不生虫者，盖筵会中多胡荽、茺荑酱、卤汁皆能杀九虫。此二者亦偶得服食法耳，智者读此当触类而长之。

水 解

余昔访灵台问太史，见铜壶之漏水焉。太史召司水者曰：此水已三环周，水滑则漏迅，漏迅则刻差，当易新水。余划然而悟曰：天下之水，用之灭火则同，濡槁则同；至于性从地变，质与物迁，未尝同焉。故蜀江濯锦则鲜，济源烹楮则温。南阳之潭渐于菊，其人多者^②，辽东之涧通于参，其人多发。晋之山产矾石，泉可愈疸；戎之麓伏硫黄，汤可浴疔。杨子宜菹，淮莱宜醪。沧卤能盐，

① 背：儒门事亲作“脊”。

② 者：儒门事亲作“寿”。

阿井能胶。澡垢以污，茂田以苦。瘰消于藻带之波，痰破于半夏之沍。冰水咽而霍乱息，流水饮而癰閼通。雪水洗目而赤退，咸水濯肌而癆乾。菜之以为齏，铁之以为浆。麴之以为酒，麴之以为醋。千派万种，言不容尽。至于井之水一也，尚数名焉，况其他者乎？反酌而倾曰倒流，出甃未放曰无根，无时初出曰新汲，将旦首汲曰井花。夫一井之水而功用不同，岂烹煮之间，将行药势，独不

择夫水哉！昔有患小溲澁者，众工不能差，予易之长川之急流，取前药而沸之，一饮立溲。九畴闻之曰：精乎哉论也，近读灵枢经，有半夏汤治不眠，以流水千里外者八升，扬之万遍，取其清五升，炊以苇水火，正与此论合。乃知子和之于医，触一事一物皆成治法，如张长史草书妙天下，得之公孙剑器。吁！用心亦劳矣。后之用水者，当以子和之言为制，余于是乎作水解。

总 论 二

杂记九门

临 变 不 惑

涌法

戴人在西华夏公宅，其仆郑驴病，法当吐，命女僮下药，药失不制，又用之太多，涌之不出，反闷乱不醒，乃告戴人，戴人令以薪实马槽，既平，昇郑驴卧其上，倒垂其头，须臾大吐，吐讫而快。戴人曰：先宜少进，不涌旋加。

西华一老夫病，法当吐，令门人栾景先下药。景先初学，其人不吐，反下走二行，乃告戴人，戴人令取温齏汁饮二碗，再下涌药一钱，以鸡翎探之乃吐，既药行，方大吐，吐讫又安。戴人曰：凡用吐药，先以齏汁一碗横截之，药既咽下，待少顷，其鸡翎勿令离口，酸苦咸虽能吐人，然不擦何由出也？

李仲安宅四妇人病同，日下涌剂，置煨室中火两盆，其一妇发昏，众人皆惊。戴人笑曰：内火见外火故然。昇之门外，使饮冰雪水立醒，时正雪晴。戴人曰：热见寒则醒。众由是皆服。非老手谪^①练，必不能镇众人之惊也。

涌嗽

杨寿之妻病嗽十余年，法当吐之，一日不止，以麝香汤止之，夜半犹不定，再止之，明旦，颇觉恶心，更以人参汤止之，二日稍宁。自下药凡三，来问戴人，不顾，谓栾景先曰：病久嗽，药已擒病，自然迟解，涌后调理数日乃止。戴人常言：涌后有顿快者，有徐快者，有反闷闷者，病未尽也；有反热者，不可不下也。大抵三日后无不快者。凡

下不止者，以冰水解之，凡药热则行，寒则止^②。

当 禁 不 禁

病愈后犯禁而死

孟太亨病肿既平，当节食及盐血房室等，不慎病再，适戴人归家，无救之者，乃死。

郾城董德固病劳嗽，戴人曰：愈后当戒房事。其病愈，恃其安，触禁而死。死后妻生一子，正当病瘥之日也。董初坚讳，至是乃彰。

高 技 常 孤

戴人常曰：人言我不接众工，戴人曰余岂不欲接人，但道不同不相为谋。医之善，惟素问一经为祖，有平生不识其面者，有看其文不知其义者，此等虽曰^③相亲，欲何说，止不过求一二药方而已矣。大凡药方，前人所以立法，病有百变，岂可执方？设于富贵之家，病者数工同治，戴人必不能从众工，众工亦不能从戴人，以此常孤。惟书生高士，推者复来，日不离门。戴人又曰：我之术止可以教书生，不能受医者。忽授老书生曰：我是书生，岂不知书生，书生固多许可，以易慢戴人，问之，曰：彼未尝见予治病，故有是言。若亲见予治病数十人，自反思矣。凡谤我者，皆望风取信于群医之口也。孔子

① 谪：儒门事亲作“识”。

② 止：儒门事亲此下有“矣”字。

③ 曰：儒门事亲作“日”。

曰：浸润之潜^①，肤受之愬，不行焉，可谓明也已矣！

群言难正

谤吐

或言：人有病不可吐，人身骨节皆有涎，若吐出骨节间涎，令人偏枯。戴人问之曰：我之药止是吐肠胃间久积，或膜盲间宿沫，皆是胃膈中溢出者，天下与一理也，但病有上下，故用药有逆顺耳。

谤三法

或曰：戴人汗下吐三法，欲该天下之医者，非也。夫古人医法未备，故立此三法，后世医法皆备，自有成说，岂可废后世之法，而从远古？譬犹上古结绳，今日可废书契而从结绳乎？戴人问之，曰：易之法虽多，不离八卦五行；刑章虽多，不过笞杖徒流。歧伯曰：知其要者，一言而终。然则歧伯亦诳人乎。大抵举纲则简，计目则繁。

谤峻药

或言：戴人用医^②皆峻激，乃本草中下品药也，岂可服哉？戴人曰：甚矣！人之不读书，本草言上药为君，中品为臣，下品为佐使者，所以辨其性刚柔也。内经言所谓君臣佐使者，非本草中三品之谓也，主治之为君，次君之谓臣，应臣之为佐使。假如大黄能治此病，则大黄为君；甘遂能治此病，则甘遂为君矣。若专以人参、黄耆，治人之邪气，此庸工所以常误人命也。李嗣荣言：京中闲人云，戴人医杀二妇，遂辞太医之职而去；又有人云：昔曾医杀颖守，私遁而去。麻知几初闻亦疑之，乃载见戴人于潞^③阳，观其用药，百发百中，论议该贍，应变无穷，其所治之疾，则不三二十年，即十年或五六年，应手辄愈。群医之领袖，无以养生，及其归也，谤言满市，皆曰戴人医杀仓使耿四而去。时仓使以病卒，与余未尝通姓名，耿曰：病嗽咯血，曾问戴人，戴人曰：公病消困，不可峻攻，宜以调养。戴人已去后而卒

矣。麻先生乃肖李嗣荣所言皆诬也。凡余所治之病，皆众坏之证，将危且死而治之，死则当怨于戴人。又戴人所论，按经切理，众误皆露，以是嫉之。又戴人治病，多用峻激之药，将愈未愈之间，适戴人去，群医毁之曰：病为戴人攻损，急补之。遂用相反之药，如病愈，则我药可久服，攻疾之药可暂用，我方攻疾岂欲常服哉？疾去则止药。若果欲养气，五谷、五肉、五菜，非上药耶？亦安在枯草死木之根核哉！

病人负德愈后吝财

南乡刀镊工卫氏病风，半身无汗，已再中矣。戴人以三法疗之，寻愈。恐其求报，乃给曰：余夜梦一长髯人，针余左耳，故愈。巫者武媪年四十，病劳三年，羸瘦不足观，诸医技绝，适五六月间求治，愿奉白金五两，戴人治之，五六日而安，止答曰白金三两，乃曰：一道士投我一符，焚而吞之乃痊。如此等人，不可胜计，若病再作，何以求治？至有耻前言，而不敢复求治疗而杀其身者，此所以世之庸工当正病时，以犀、珠、龙、麝、丁、沉、木、乳，乘其急而巧取之，然君子博爱，贤愚亦不当效若辈也。

同类妒才 群口诬戴人

有扶救之功，如死我则有攻击之罪，明者不可不察也。麻先生常见他医言戴人，能治奇病，不能治常病；能治杂病，不能治伤寒。他日见戴人，问以伤寒事，超然独出仲景言外之意。谓余曰：公慎勿殢仲景纸上语，惑杀世人。余他日再读仲景，方省其旨。戴人云：人常见伤寒疫气动时辄避，曰：夫伤寒多变，须朝夕再视，若十人病，已不能给，况阖郡之中皆亲故人乎？其死生常在六七日

① 潜：儒门事亲作“潛”。

② 医：儒门事亲作“药”。

③ 潞：儒门事亲作“潞”。

④ 曰：儒门事亲作“四”。

撮要图¹

难素撮要究治识病用药之图																							
太易 未见气也		太初 气之始也		太 极				太始 形之始也		太素 质之始也													
甲胆		乙肝		丙小肠		丁心		戊胃		己脾		庚大肠		辛肺		壬膀胱		癸肾					
三焦 寅相火 手少阳		大肠 卯燥金 手阳明		小肠 辰寒水 手太阳		包络 巳风木 手厥阴		心 午君火 手少阴		肺 未湿土 手太阴		胆 申相火 足少阳		胃 酉燥金 足阳明		膀胱 戌寒水 足太阳		肝 亥风水 足厥阴		肾 子君火 足少阴		脾 丑湿土 足太阴	
从 其 气 则 和												违 其 气 则 病											
是动则病者 气之所感也		天之邪，感则害人五脏，肝心脾肺肾，实而不满，可下之而已也				水谷之寒热，感则害人六腑，胆胃三焦膀胱大肠小肠，满而不实，可吐之而已也				地之湿气，感则害人皮肉筋脉肌肤，从外而入，可汗之而已也				所生病者，血之所成也									

之间，稍不往视别变矣。以此他医咸谓之，以为不能治伤寒，盖未尝窥其涯涘，浪为之訾云。

外有风寒暑湿、属天之四令³，无形也。

内有饥饱劳逸，属天之四令，有形也。

一者始因气动而内有所成者，谓积聚、癥瘕、瘤气、瘰起、结核、狂瞽、癩痢。疏曰：癥，坚也，积也，瘕，气血也。

二者始因气动而外有所成者，谓痈肿、疮疡、疥癣、疽痔、掉痈、浮肿、目赤、燔瘿、附肿、痛痒之类是也。

三者不因气动而病生于内者，谓留饮、癖食、饥饱、劳损、宿食、霍乱、悲、恐、喜、怒、想、暴、忧结之类是也。

四者不因气动而病生于外者，谓瘴气、贼魅、虫蛇、蛊毒、伏尸、鬼击、冲薄坠堕、风、寒、暑、湿、斫射、割刺之类是也。

风木郁之病

故民病胃脘当心而痛，四肢两胁咽膈不

通，饮食不下，甚则耳鸣眩转，目不识人，善僵仆，筋骨强直而不用，卒倒而无所知也。

暑火郁之病

故民病少气，疮疡痈肿、胁肋、胸背、首面、四肢腠腧胀，痲痺呕逆，痲痲，骨痛节疼，及有动泄注下，温疟、腹中暴痛，血溢流注，精液衰少，目赤心热⁴，甚则昏闷懊恼，善暴死也。

湿土郁之病

故民病心腹胀，腹鸣而为数后，甚则心痛胁满，呕逆霍乱，饮发注下，肘肿身重，脾热之生也。

燥金郁之病

故民病咳逆，心腹满引少腹，善暴痛不

¹ 撮要图：原书无此标题，据儒门事亲补。

² 汗：儒门事亲作“下”。

³ 外有风寒暑湿，属天之四令：自此句至“小指不用”句止，原书系图表，为了便于阅读，据儒门事亲改为文字。

⁴ 热：儒门事亲作“痛”。

可反侧，嗑乾面尘色恶，金胜而木病也。

寒水郁之病

故民病寒客心痛，腰椎痛，大关节不利，屈伸不便，善厥，痞坚腹满，阴乘阳故也。

初之气

自大寒至立春、春分，厥阴风木之位，阳用事而气微，故曰少阳，得甲子，元头常准，以大寒交初之气，分也。以六周甲子以应六气，下微一月，正月、二月少阳，三阴三阳亦同。

二之气

春分至小满，少阴君火之位，阳气清明之间，文^②阳明之位。

三之气

小满至大暑，少阳相火之位，阳气废^③万物俱成，故亦云太阳旺，其脉洪大而长，天气并万物，人脉盛衰，造物造化亦同。

四之气

大暑至秋分，太阴湿土之位，天气告^④感，夏后阴已用事，故曰太阳^⑤王，此三阴三阳与天气标本阴阳异矣，脉缓大而长，燥金王，紧细短涩，以万物干燥，明可见矣。

五之气

秋分至小雪，阳明燥金之位，气衰阴盛，故云金气王，其脉细而微。

终之气

小雪至大寒，太阳寒水之位，阴极而尽，天气所收，故曰厥阴王，厥者尽也，其脉沉短。以土敦厚，万物收藏在内，寒气闭塞，而肤腠气液不能散越，故脉微而丸^⑥。

风木肝酸 建^⑦针

与胆为表里，东方木也，色青，外应目，主治血。芍药味酸微寒，泽泻咸平，乌梅酸热。诸风掉眩皆属于肝，木主动，治法曰建^⑧者吐也，其高者因而越之，可刺大敦，灸亦同。

暑火心苦 发汗

与小肠为表里，南方火也，色赤外应舌，主血运诸经。大黄苦寒，木香苦温，黄连苦凉，

没药苦热。诸痛痒疮疡皆属于心火，治法曰热者汗之，令其疏散也，可刺少冲，灸之亦同。

湿土脾甘 夺针

与胃为表里，中央土也，色黄应唇，主肌肉，应四时。蜜甘凉，甘草甘平。诸湿肿满皆属于脾土，治法曰夺者泻也，分阴利水道，可刺隐白，灸亦同。

燥金肺辛 清针

与大肠为表里，西方金也，色白外应皮毛鼻，亦行气。乾姜辛热，生姜辛温，薄荷辛凉。诸气愤郁皆属于肺金，治法曰清者，清膈利小便解表，可刺少商，灸亦同。

寒水肾咸 折针

与膀胱为表里，北方水也，色黑外应耳，主骨髓。牡蛎咸寒，水蛭咸寒。诸寒收引皆属于肾水，治法曰折之，谓抑之制其冲逆，可刺涌泉，灸之亦同。

大寒 子上初之气

初之气为病，多发咳嗽风痰风厥，涎留痹塞，口喎，半身不遂，失音，风癫风中，妇人胸中留饮，两脐腹微痛，呕逆恶心，旋运惊悸，狂阳^⑨心风，搐搦颤掉。初之气病，宜以瓜蒂散吐之，在下泄之。

春分 卯上二之气

二之气为病，多发风温风热，经曰风伤于阳，湿伤于阴，微头痛身热，发作风温之候。风伤于荣血^⑩也，湿伤于脾气也。是以风温为病，阴阳俱浮，自汗出，身重，多眠，鼻息语言难出，此已上二证不宜下，若与巴豆大毒丸药，热证并生，重者必死。二之气病，

① 也：儒门事亲无此字。

② 文：儒门事亲作“义”。

③ 废：儒门事亲作“发”。

④ 告：儒门事亲作“吉”。

⑤ 阳：儒门事亲作“阴”。

⑥ 丸：按文义疑作“沉”。

⑦ 建：儒门事亲作“达”。

⑧ 建：儒门事亲作“达”。

⑨ 阳：儒门事亲作“惕”。

⑩ 荣血：儒门事亲作“卫气”。

宜以桂枝麻黄汤发汗而已。

小满 巳上三之气

三之气为病，多发热，皆传足经者多矣，太阳、阳明、少阳、太阴、少阴、厥阴。太阳者发热恶寒，头项痛，腰脊强；阳明者，身热目疼，鼻乾不得卧；少阳者，胸胁痛，耳聋口苦，寒热往来而呕。此三阳属热。太阴者，腹满咽乾，手足自温，自利不渴，或腹满时痛；少阴者，故口燥舌乾而渴；厥阴者，腹满囊缩，喘热闷乱，四肢厥冷，爪甲青色。三之气病，宜以清凉，上温下养，不宜用巴豆丸下。

大暑 未上四之气

四之气为病，多发暑气，头痛身热，发渴，不宜作热病治，宜以白虎汤。得此病不传染，次发脾泄、胃泄、大肠泄、小肠泄、大瘕泄，霍乱吐泻，脏白^①及赤白相杂，米^②谷不分消，肠鸣切痛，面浮足肿，目黄口乾，胀满气痞，手足无力，小儿亦如此。四之气病，宜渗泄，五苓散之类也。

秋分 酉上五之气

五之气为病，多发喘息呕逆咳嗽，及妇人寒热往来，瘧症痹痔，消渴中满，小儿斑隐疮疱。五之气病，宜以大小柴胡汤，宜解治表里之类。

小雪 亥上终之气

终之气为病，多发风痰，风寒湿痹四肢，收秋^③多冬水复旺，水湿相搏，肺气又衰，冬寒甚，故发则收，则痿厥弱，无以运用，水液澄清冷，大寒之疾，积滞瘕块，寒疝血瘕，九气之疾。终之气病，宜破积发汗之类。

肝之经 足厥阴 风 乙木

是动则病腰痛不可以俯仰，丈夫溃疝，妇人少腹肿，甚则嗌乾面尘脱色。是主肝所生病者，胸满呕逆，飧泄狐疝，遗溺闭癃。

胆之经 足少阳 风 甲木

是动则病口苦，善太息，心胁痛不能转侧，甚则面微尘，体无膏泽，足外反热，是为阳厥，是主骨所生病者，头痛，目内

眦痛，缺盆中肿痛，腋肿痛，马刀侠瘦，汗出振寒疝^④。

心之经 手少阴 暑 丁火

是动则病嗌乾，心痛，渴而欲饮，是为臂厥。主心所生病者，目黄胁痛，臑臂内后廉痛厥，掌中热。

小肠经 手太阳 暑 丙火

是动则病嗌痛颌肿，不可回顾，肩似拔，臑似折。主液所生病者，耳聋目黄，颊颌肿，肩臑肘臂外后廉痛。

脾之经 足太阴 湿 己土

是动则病舌本强，食则呕吐，胃脘痛，腹胀善噫，后得出余气则快然而衰，身体皆动^⑤。是主脾所生病者^⑥，体不能动摇，食不下，烦心，心下急痛，寒疟，溏瘕泄，水下^⑦黄疸，不能卧，强立股膝内肿厥^⑧大指不用。

胃之经 足阳明 湿 戊土

是动则病痿惨^⑨振寒，善呻数欠，颜黑，病^⑩则恶人与火，闻木声则惕然而惊，心动欲闭门独处，甚则欲登高而歌，弃衣而走，者奔豚^⑪腹胀，是为肝厥^⑫。

心包络 手厥阴 为母血

是动则病手心热，附臂^⑬挛急，腋肿，甚则胸胁支满，心中愴愴大动，面赤目黄，善笑不休。主心包脉所生病者，烦心，心痛，掌中热。

三焦经 手少阳 为父气

是动则病耳聋耳鸣^⑭，嗌肿喉痹。主

① 脏白：儒门事亲作“下痢”。

② 米：儒门事亲作“水”。

③ 收秋：儒门事亲作“秋收”。

④ 疝：儒门事亲此下有“胸胁肋脾膝外至胫绝骨外踝前及诸节皆痛，小指次指不用”等句。

⑤ 动：儒门事亲作“重”。

⑥ 者：儒门事亲此下有“舌本痛”三字。

⑦ 下：儒门事亲作“闭”。

⑧ 厥：儒门事亲此下有“足”字。

⑨ 痿惨：儒门事亲作“洒洒”。

⑩ 病：儒门事亲此下有“至”字。

⑪ 者奔豚：儒门事亲作“贲响”。

⑫ 厥：儒门事亲此下有“是主血所生病者，狂疟，温淫汗出，鼈衄，口喎，唇疹项肿，喉痹，大腹水肿，膝腠肿痛，循应乳气冲股伏兔外廉足跗上皆痛，中指不用，气盛则身以前皆热，其有余于胃，则消谷善饥，溺色黄，气不足则身以前皆寒慄，胃中寒则胀满。”等句。

⑬ 附臂：儒门事亲作“臂肘”。

⑭ 耳鸣：儒门事亲作“浑浑惺惺”。

气所生病者，汗出目锐眦痛，耳后肩膊肘臂外廉皆痛，小指次指不用。

大肠经 手阳明 燥庚金

是动则病齿痛，颈肿。主津液所生病者，目黄口乾，𩈶衄喉痹，肩前臑痛，大指次指痛不用¹。

肺之经 手太阴 燥 辛金

是动则病肺胀满，膨膨而喘咳，缺盆中痛，甚则交两手而督，此为臂厥。主肺所生病者，咳嗽上气喘噎²，烦心胸满，臑臂内前廉痛，掌中热，气感实肾皆³痛风，汗出中风，小便数而欠，气虚则肩背痛寒，少气不足以息，溺血⁴。

肾之经 足少阴 寒 癸水

是动则病饥不欲食，面黑如漆⁵，唾则有血，喉鸣而喘，坐而欲起，目眈眈如无所见，心如悬若饥，气不足则善恐⁶，如人将捕，是为骨厥。主肾所生病者，口热舌乾，噤肿上气，噤乾及痛，烦心心痛，黄疸肠澼，脊臀骨肉⁷后廉痛⁸，嗜卧，足下热而痛。

膀胱经 足太阳 寒 壬水

是动则病⁹头痛¹⁰，似脱、项如拔，脊痛腰似折，髀不可以曲，腠如结，臑¹¹如裂，是为踝厥。主筋所生病者，痔疟狂癲疾，头目烦痛，目黄泪出，𩈶衄，项背腰尻臑¹²脚皆痛，小指不用。

风治法¹³ 风淫于内治以辛凉，佐以甘¹⁴，以甘缓之，以辛散之。

防风通圣散 天麻散 防风汤 祛风丸 小续命汤 消风散 排风汤

暑治法 热淫于内治以咸寒，佐以甘苦，以酸收之，以苦发之。

白虎汤 桂苓汤 玉壶丸 碧玉散 玉露散 石膏汤

湿治法 湿淫于内治以苦热，佐以咸淡，以苦燥之，以淡泄之。

白术木香散 桂苓白术丸 五苓散 葶苈木香散 益元散 神助散 橘皮白术散

桂苓白术丸¹⁵

火治法 火淫于内治以咸寒，佐以甘辛¹⁶以酸收之，以苦发之。

凉膈散 解毒丸 神功丸 八正散 调胃散 大小承气汤

燥治法 燥淫于内治以苦温，佐以甘辛，以辛润之，以苦下之。

神功丸 麻仁丸 脾约丸 润体丸 润肠丸 四生丸 葶苈散

寒治法 寒淫于内治以甘热，佐以苦辛，以辛散之。以苦坚之。

姜附汤 四逆汤 二姜汤 术附汤 大已寒丸¹⁷ 附子理中汤

风门独治于内者

承气汤 陷胸汤 神芎丸 大黄丸 备急丹

暑门独治于外者

拔毒散 水澄膏 鱼胆散 生肌散

湿门兼治于内者

大柴胡汤 小柴胡汤 柴胡饮子 防风通圣散 当归饮子¹⁸

火门兼治于外者

桂枝汤¹⁹ 麻黄汤 小建中汤 升麻汤

① 用：儒门事亲此下有“气有余则当脉所过者热肿，虚则寒栗不复”等句。

② 噎：儒门事亲作“渴”。甲乙经卷二第一上作“喝”。

③ 感实肾皆：儒门事亲作“盛有余则肩背”。

④ 血：儒门事亲作“色变”。

⑤ 黑如漆：儒门事亲作“如漆柴”，此下并有“咳”字。

⑥ 恐：儒门事亲此下有“心惕惕”三字。

⑦ 臀骨肉：儒门事亲作“股内”。

⑧ 痛：儒门事亲此下有“痿厥”二字。

⑨ 病：儒门事亲此下有“冲”字。

⑩ 痛：儒门事亲此下有“目”字。

⑪ 臑：儒门事亲作“臑”。

⑫ 臑：儒门事亲作“臑”。

⑬ 风治法：自此句至“但攻里用寒药”句止，原文系图表，为了便于阅读，据儒门事亲改为文字。

⑭ 甘：儒门事亲此下有“苦”字。

⑮ 橘皮白术散、桂苓白术丸：儒门事亲无此二方，尚有“大橘皮汤”一方。

⑯ 辛：儒门事亲作“苦”。

⑰ 大已寒丸：儒门事亲作“大戊己丸”。

⑱ 当归饮子：儒门事亲作“防风当归饮子”。

⑲ 桂枝汤：儒门事亲作“桂苓汤”。

五积散

燥门先治于内后治于外者

谓寒药先攻里，大黄、芒硝、黑牵牛之类；热药后攻表，桂枝、麻黄、升麻之类。

寒门先治于外后治于内者

谓热药后攻里^①，寒药攻其表^②。但攻表用热药，但攻里用寒药^③。

六门病症药方之图^④(删)

内经湿变五泄^⑤

六气属天、无形，风、暑、湿、火、燥、寒。

五形湿属戊己，湿入肺经为实。

六味属地，有质，酸、苦、甘、辛、咸、淡。

五脏湿属脾胃，湿入大肠为虚。

胃泄风湿

夫胃泄者，饮食不化，完谷出，色黄，风乘胃也，宜化剂之类。

脾泄暑湿

夫脾泄者，腹胀，满注，实则生呕逆，三证宜和剂、淡剂、甘剂、清剂之类。

大肠泄燥湿

夫大肠泄者，肠鸣切痛，先宜寒剂夺之，次以甘剂分其阴阳也。

小肠泄热湿

夫小肠泄者，溲而便脓血，少腹痛，宜寒剂夺之，次以酸剂收之^⑥，淡剂、甘剂分之。

大瘕泄寒湿

夫里急后重者，数至窘^⑦而不能便，先宜清剂、寒剂夺之，后以淡剂、甘剂分之，或茎中痛亦同。

金匱十全之图^⑧

飧泄 春伤于风，夏必飧泄；暮食不化，亦成飧泄。风而飧泄者，先宜发剂，次宜淡剂、甘剂、分剂之类。

洞泄 春伤于风，邪气留连，乃为洞泄，泻下褐色。治法同上。又宜灸水分穴；湿气在下，又宜以苦剂越之。

洞泄寒中 洞泄寒中俗呼曰休息痢，洞泄属甲乙风木，可灸气海、水分、三里，慎勿服峻热之药。小便涩则生，足肿腹^⑩满之病，死于庚辛之日。如尸臭者不治。

霍乱 吐泻水谷不化，阴阳错乱，可服淡剂调以冰水，令顿服之则愈。

注下 火气太过，宜凉剂，又宜淡剂、甘剂^⑪调以冰水令顿服之则愈。此为暴下不止也。

肿蛊 三焦闭溢^⑫，水道不行，水满皮肤，身体痞肿，宜越剂、发剂、夺剂。

臌胀 浊气在上不散，可服木香槟榔丸，青皮、陈皮之属。大肠下^⑬浊气逆，肺金为清气逆，气化则愈矣。

肠鸣 燥湿相搏为肠鸣，中有湿亦为肠鸣，火湿相攻亦为肠鸣，治法同上，治之大效。

支满鹜溏 上满而后泄，下泄而后复上满，治法同上，久则反寒，治法同寒中。如鹜溏而肠寒者，亦同斯义，风湿亦有支满者。

肠澼 大小便脓血，治法同上，又宜不二丸、地榆散、驻车丸及车前子等药，次宜淡剂、甘剂、分剂之类。

脏毒 下血，治法同上，又宜苦剂、夺剂，以苦燥之。如酒毒下血同。

大小便血 大便血治法同上，血温身热者死。火之成数七，至七日而死。如尸臭者

① 后攻里：儒门事亲作“攻其表”

② 表：儒门事亲作“里”。

③ 但攻表用热药，但攻里用寒药；儒门事亲无此二句。

④ 六门病症药方之图：按此即系前文之内容，为免重复故删。

⑤ 内经湿变五泄：此下原书系图表，为了便于阅读，据儒门事亲改为文字。

⑥ 次以酸剂收之：儒门事亲无此句。

⑦ 窘：儒门事亲作“圜”。

⑧ 金匱十全之图：此下原书系图表，为了便于阅读，

⑨ 据儒门事亲改为文字。

⑩ 腹：儒门事亲此下有“胀”字。

⑪ 甘剂：儒门事亲无此二字。

⑫ 溢：儒门事亲作“湿”。

⑬ 下：儒门事亲作“为”。

不治。

脱肛 大肠热甚也，用酸浆水煎三五沸，稍热濯洗三五度，次以苦剂坚之则愈。

广肠痛 治法同上，又大黄牵牛丸散夺之法，燥涩亦同。痔漏广肠痛，肠风下血，

皆同脏毒治法。

乳痔肠风 肛门左右有核。内经曰：因而饱食，筋脉横解，肠澼为痔。属大肠经，可服枳壳之属，大癖生肠风乳痔相连。

治病百法

扁鹊华佗察声色定死生诀要

病人五脏已夺，神明不守，声嘶者，死。病人循衣缝，谵语者，不可治。病人阴阳俱绝，掣衣撮空妄言者，死。病人妄语错乱及不能言者，不治；热病者，可治。病人阴阳俱绝，失音不能言者，三日半死。病人两目皆有黄色起者，其病方愈。病人面黄目青者，不死¹；青如草滋者，死²。病人面黄目赤，不死；赤如衄血者，死。病人面黄目白者，不死；白如枯骨者，死。病人面黄目黑者，不死；黑如炭，死。病人面黑目青者，不死。病人面目俱黄者，不死。病人面青目白者，死。病人面黑目白者，不死。病人面赤目青者，六日死。病人面黄目青者，九日必死，是谓乱经，饮酒当风，邪入胃经，胆气妄难⁴，目则为青，跖⁵以天救，亦不⁶□□。病人面赤目白者，十日死，忧患思虑⁷，心气内索，面色反好，急求⁸棺槨。病人面白目黑者死，此谓荣华已去，血脉空索。病人面黑目白，八日死，肾气内伤，病因留损⁹。病人面青目白，五日死。病人着床，心痛短气，脾气¹⁰竭，日¹¹日复愈，能起傍徨，因坐于地，其上倚床，能治此谓□¹²。病人耳目鼻口有黑色起，入于口者，必死。病人目无精光若土色，不受食饮¹³者，四日死。病人目¹⁴精光及牙齿黑色者，不治。病人耳目及颧颊赤者，死在五日内。病人黑色，出于额上发际，直鼻脊两颧上者等¹⁵死在五日内¹⁶。病人黑色出天中，下至□上¹⁷颧上者，

死。病人及健人黑色，若白色起，入目及鼻口¹⁸，死在三日内¹⁹。病人及健人面怒²⁰如马肝色，望之如青，迫²¹之如黑者，死²²。病人面黑，直视恶风者，死。病人面黑唇青者，死。病人面青唇黑者，死。病人面黑，两胁下满，不能自转反者，死。病人目回²³回，直视者，一日死。病人头目久痛，卒视无所见者，死。病人阴结阳绝，目睛脱，恍惚者，死。病人阴阳竭绝，目眶陷者，死。病人眉系倾者，七日死。病人口如鱼口，不能复闭，而气此²⁴多不反者，死。病人口张者，三日死。病人唇青，人中反，三日死。病人唇反及中满者，死。病人唇口忽乾者，不治。病人唇肿齿焦者，死。病人阴阳俱竭，其齿如熟小豆，其脉²⁵□者，死。病人齿忽变黑者，十三日死。病人指拳挛缩者，必死。病人汗出不流，舌卷黑者死。病人发直，十五日死。病人发如乾麻，善

1 皆：儒门事亲作“臆”。
2 不死：儒门事亲作“至期而死”。
3 青如草滋者死：儒门事亲作“电出在下文”。
4 难：儒门事亲作“泄”。
5 跖：儒门事亲作“虽”。
6 不：此下脱字。儒门事亲作“可生”。
7 度：儒门事亲无此字。
8 求：儒门事亲无此字。
9 损：儒门事亲作“积”。
10 气：儒门事亲此下有“内”字。
11 日：儒门事亲作“后日”。
12 谓□：儒门事亲作“者也”。
13 食饮：儒门事亲作“饮食”。
14 目：儒门事亲此下有“无”字。
15 等：儒门事亲作“亦”。
16 中：儒门事亲此下有“矣”字。
17 下至□上：儒门事亲作“下至上”。
18 口：儒门事亲此下有“者”字。
19 中：儒门事亲此下有“矣”字。
20 怒：儒门事亲作“忽”。
21 迫：儒门事亲作“近”。
22 死：儒门事亲作“必死矣”。
23 回：儒门事亲作“不”。
24 此：儒门事亲作“出”。
25 脉：此下脱字。备急千金要方作“躁”。

怒者死。病人发与眉冲起者，死。病人爪甲青者，死；白者，亦不治。病人爪甲下肉黑者，八日死。病人荣卫竭绝，面浮肿者，死。病人卒肿，其面苍黑者，死。病人掌肿无纹者，死。病人脐肿反出者，死。病人阴囊茎俱肿者，死。病人脉绝口张足肿、五日死。病人足趺肿，呕吐头重者，死。病人足趺上肿，两膝大如斗者，十日死。病人卧，遗尿¹不觉者，死。病人尸臭者，不可治。肝病皮黑²，肺之日庚辛死。心病目黑，肾之日壬癸死。脾病唇青，肝之日甲乙死。肺病颊赤目肿，心之日丙丁死。肾病面肿唇黄，脾之日戊己死。青欲如苍壁³之泽，不欲如蓝。赤欲如帛裹朱，不欲如赭。白欲如鹅羽，不欲

如坐⁴。黑欲如重⁵漆，不欲如炭。黄欲如罗裹雄黄，不欲如黄⁶土。目赤色者病在心，白在肺，黑在肾，黄在脾，青在肝，黄色不可名者，病在胸中。诊目病，赤脉从上下者，太阳病也；从下上者，阳明病也；从外入内者，少阳病也。诊寒热瘰癧，目中有赤脉，从上下至瞳子，见一脉，一岁死；见一脉半，一岁半死；见二脉，二岁死；见二脉半，二岁半死；见三脉，三岁死。诊龔⁷齿痛，按其阳明之脉来有⁸过者，独热在右，右热；热在左，左热；热在上，上热；热在下，下热。诊血者，脉多赤多热，多青多痛，多黑多为久⁹痹，多赤，多黑多青皆见者，寒热身痛，面色微黄，齿垢黄，爪甲上黄，黄疸也；安卧，少黄赤，脉小而涩者，不嗜食。

十形三疗

火形

笑不止

戴人路经古亳，逢一妇，病喜笑不止，已半年矣，众医治者皆无¹⁰术矣，求治于戴人。戴人曰：此易治也。以沧盐成块者二两余，用火烧令通赤，放冷研细，以河水一大碗，同煎至三五沸，放温分三次啜之，以钗探于咽中，吐去热痰五升，次服火¹¹剂，大主苦¹²解毒汤是也，不数日而笑定矣。内经曰：神有余者，笑不休也¹³，所谓神者，心火是也，火得风而成焰，故笑之象也，五行之中，惟火有笑矣。

热形

二阳病

常仲明病寒热往来，时咳一二声，面黄无力，懒思饮食，夜多寝汗，日渐变¹⁴削，诸医作虚损治之，用二十四味烧肝散，鹿茸、牛膝，补养二年，口中痰出，下部转虚。戴人断之曰：上实也。先以涌剂吐痰三二升，次以柴胡饮子降火益水，不月余复旧。

此证名何？乃内经中曰二阳病也，二阳之病发心脾，不得隐曲，心受之则血不流，故女子不月，脾受之则味不化，故男子少精，此二证名异而实同，仲明之病，味不化也。

痿

宛丘营军校三人，皆病痿，积年不差，腰已下肿痛不举，遍身疮赤，两目昏暗，唇乾舌燥，求疗于戴人。戴人欲投泻剂，二人不从，为他医温补之药所惑，皆死。其同病有宋子玉者，俄省曰：彼已热死，我其改之。敬邀戴人。戴人曰：公之疾，服热药久矣，先去其药邪，然后及病邪，可下三百行。子

1 尿：儒门事亲作“尿”。

2 黑：儒门事亲作“白”。

3 壁：儒门事亲作“璧”。

4 坐：儒门事亲作“枯骨”。

5 重：儒门事亲作“黑”。

6 黄：儒门事亲无此字。

7 龔：儒门事亲作“牙”。脉经卷五作“龔”。

8 有：儒门事亲作“太”。

9 为久：儒门事亲作“黄多”。

10 无：儒门事亲此下有“药”字。

11 火：儒门事亲作“大”。

12 大主苦：儒门事亲作“黄连”。

13 也：儒门事亲“此”。

14 变：儒门事亲作“瘦”。

玉曰：敬从教！先以舟车丸、濬川散大下一盆许，明日减三分，两足旧不仁，是日觉痛痒，累至三百行始安。戴人曰：诸痿独取阳明，阳明者，胃与大肠也。此言不止谓针也，针与药同也。

失笑

戴人之次子，自出妻之后，日瘦，语如瓮中，此病在中也；常捻第三指失笑，此心火也。约半载，日饮冰雪，更服凉剂。戴人曰：恶雪则愈矣。其母惧其太寒。戴人骂曰：汝亲也，吾用药如鼓之应桴，尚恶凉药，宜乎世俗之谤我也。至七月，厌冰不饮，病日解矣。

内 伤 形

因忧结块

息城司候，闻父死于贼，乃大悲哭之，罢，便觉心痛，日增不已，月余成块，状若覆杯，大痛不任^①，药皆无功，议用燔针炷艾，病人恶之，乃求于戴人。戴人至，适巫者在其傍，乃学巫者，杂以狂言以谗病者，至是大笑，不忍回，面向壁，一二日，心下结块皆散。戴人曰：内经言忧则气结，喜则百脉舒和，又云喜胜悲，内经自有此法治之，不知何用针灸哉？适足增其痛耳！

病怒不食

项开^②令之妻病食，不欲食，常好叫呼怒骂，欲杀左右，恶言不辍，众医皆处药，几半载尚尔，其夫命戴人视之。戴人曰：此难以药治。乃使二娼，各涂丹粉，作令^③人状，其妇大笑；次日，又令作角抵，又大笑。其旁常以两个能食之妇，夸其食美。其妇亦索其食，而为一尝之，不数日，怒减食增，不药而差后得一子。夫医贵有才，若无才，何足应变无穷？

不寐

一富家妇人，伤思虑过甚，二年不寐，无药可疗，其夫求戴人治之。戴人曰：两手

脉俱缓，此脾受之也，脾主思故也。乃与其夫，以怒激之，多取其财，饮酒数日，不处一法而去。其人大怒汗出，是夜困眠，如此者，八九日不寤，自是而食进，脉得其平。

惊

卫德新之妻，旅中宿于楼上，夜值盗劫人烧舍，惊堕床下。自后，每闻有响，则惊倒不知人，家人辈蹑足而行，莫敢冒触有声，岁余不痊，诸医作心病治之，人参、珍珠及定志丸，皆无效。戴人见而断之曰：惊者为阳，从外入也，恐者为阴，从内出；惊者，为自不知故也，恐者，自知也。足少阳胆经属肝木，胆者敢也，惊怕则胆伤矣。乃命二侍女执其两手，于高椅之上，当面前，下置一小几。戴人曰：娘子当视此。一木猛击之，其妇大惊。戴人曰：我以木击几，何必惊乎？伺少定击之，惊少^④缓，又斯须，连击三五次，又以杖击门，又暗遣人画背后之窗，徐徐惊定而笑曰：是何治法！戴人曰：内经云惊者平之，平者常也，平常见之必无惊。是夜使人击其门窗自夕达曙。夫惊者，神上越也，从下击几，使之下视，所以收神也。一二日，虽闻雷亦不惊。德新素不喜戴人，至是终身厌服，如有人言戴人不知医者，执戈以逐之。

怀恐胁痛

洛阳孙伯英，因诬狱，妻子被系，逃于故人，是夜觉胃胁痛，托故人求药。故人曰：有名医张戴人适在焉，当与公同往。时戴人宿酒未醒，强呼之。故人曰：吾有一亲人，病欲求诊。戴人隔窗望见伯英曰：此公伏大惊恐。故人曰：何以知之？戴人曰：面青脱色，胆受怖也。后会赦乃出，方告戴人。

肠癖下血

① 任：儒门事亲作“住”。

② 开：儒门事亲作“关”。

③ 令：儒门事亲作“伶”。

④ 于：儒门事亲作“按”。

⑤ 少：儒门事亲作“也”。

棠溪栾彥刚，病下血，医者以药下之，默默而死。其子企，见戴人而问之曰：吾父之死，竟无人知是何证。戴人曰：病挫其心也，心主行血，故被挫则血不禁，若血温身热者死，火数七，死必七日，治不当下，柿^①下之，不满数。企曰：四日死，何谓痛^②挫心？戴人曰：智不足而强谋，力不足而强举^③，心安得不挫也？栾初与邢争屋不胜，遂得此病。企由是大服，拜而学医。

伏惊

上渠卜家一男子，年二十八，病身弱，四肢无力，面色苍黄，左胁下身侧，上下如臂状，每发则痛无时，食不减，大便如常，小便微黄。已二三载矣。诸医计穷，求戴人治之，视其部分，乃足厥阴肝经，兼足少阳胆经也。张曰：甲胆乙肝故青，其黄者脾也，诊胆脉小，此因惊也，惊则胆受邪，腹中当有惊涎绿水。病人曰：昔曾屯军被火，自是而疾。戴人夜以舟车百五十丸，濬川散四五钱，加生姜自然汁。平旦，果下绿水四五行。

或问：大加生姜何也？答曰：辛能伐木也。下后觉微痛，令再下之，比前药减三之一，又下绿水三四行，痛止思食，反有力。戴人谓卜曰：汝妻亦当病。卜曰：太医未见吾妻，何以知之？曰：尔感此惊几年矣？卜省曰：当被火时，我正在草堂中熟寐，人惊唤，我睡中惊不能言，火已塞门，我父拽出我火中，今五年矣。张曰：汝胆伏火惊，甲木^④乘脾土，是少阳相火乘脾，脾中有热，故能食而杀谷，热虽能化谷，其精气不完，汝必无子，盖败经^⑤反损妇人，汝妻必手足热，四肢无力，经血不时。卜曰：吾妻实如此，亦已五年矣。他日，门人因观内经，言先泻所不胜，次泻所胜之论，其法何如？以问张。张曰：且如胆木乘胃土，此土不胜木也，不胜之气，寻救于子，己土能生庚金，庚为大肠，味辛者为金，故大加生姜使伐木；然先不开脾，土无由行也，遂用周^⑥车丸先通其闭塞之路，是先泻其所不胜，后用姜汁调濬川散大下之，次泻其所胜也。大抵阳干克阳干，腑克腑，脏克脏。

东垣试效方

药象门

标本阴阳论

天、阳、无、圆、气、上、外、生、浮、升、昼、动、轻、燥、六府。

地、阴、有、方、血、下、内、杀、沉、降、夜、静、重、湿、五脏。

夫治病者，当知标本。以身论之，则外为标，内为本，阳为标，阴为本，故六府属阳为标，五藏属阴为本，此藏府之标本也。又五藏六府，在内为本，各藏府之经络，在外为标，此藏府经络之标本也。更人身之藏府阴阳，气血经络，各有标本也。以病论之，先受病为本，后传流病为标。凡治病者，必先治其本，后治其标。若先治其标，后治其本，邪气滋甚，其病益蓄；若先治其本，后

治其标，虽病有十数证皆去矣。谓如先生轻病，后滋生重病，亦先治轻病，后治重病，如是则邪气乃服^⑦，盖先治本故也。若有中满，无问标本，先治中满，谓其急也。若中满，后有大小便不利，亦无问标本，先利大小便，次治中满，谓尤急也。除大小便不利及中满三者之外，皆治其本，不可不慎也。

从前来者为实邪，从后来者为虚邪，此子能令母实，母能令子虚是也。治法云：虚则补其母，实则泻其子。假令肝受心火之邪，是从前来者，为实邪也，当泻其子火也。然

① 柿：儒门事亲作“若”。

② 痛：儒门事亲作“病”。

③ 举：儒门事亲作“与”。

④ 木：儒门事亲作“乙”。

⑤ 经：按文义应作“精”。

⑥ 周：儒门事亲作“舟”。

⑦ 服：东垣试效方作“伏”。

非直泻其火，十二经中，各有金水木火土，当木之分泻其火也。故标本论云：本而标之，先治其本，后治其标。既肝受火邪，先于肝经五穴中泻荣火，行间穴是也。后治其标者，于心经五穴内泻荣火，少府穴是也。以药论之，入肝经药为引，用泻心火药为君，是治实邪病也。假令肝受肾邪，是从后来者为虚邪，当虚则补其母。故标本论云：标而本之，先治其标，后治其本。既受水邪，当先于肾经涌泉穴中补木，是治其标；后于肝经曲泉穴中泻水，是治其本。此先治标者，推其至理，亦是治其本也。以药论之，入肾经药为引，用补肝经药为君是也。

用药法象

天有阴阳，风、寒、暑、湿、燥、火，三阴三阳上奉之。

此温、凉、寒、热四气是也。温热者天之阳也，凉寒者天之阴也，此乃天之阴阳也。

地有阴阳，金、水、木、火、土，生、长、化、收、藏下应之。

此辛、甘、淡、酸、苦、咸五味是也，皆象于地。辛、甘、淡者，地之阳也，酸、苦、咸者，地之阴也，此乃地之阴阳也。

味之薄者，为阴中之阳，味薄则通，酸、苦、咸、平是也。气之厚者，为阳中之阳，气厚则发热，辛、甘、温、热是也。气之薄者为阳中之阴，气薄则发泄，辛、甘、淡、平、寒、凉是也。味之厚者，为阴中之阴，味厚则泄，酸、苦、咸、气寒是也。

轻清成象味之薄者茶之类。本乎天者亲上。

重浊成形味之厚者大黄之类。本乎地者亲下。

气味辛甘发散为阳，酸苦涌泄为阴。

阴中有阴，阳中有阳。

平旦至日中，天之阳，阳中之阳也。

日中至黄昏，天之阳，阳中之阴也。

合夜至鸡鸣，天之阴，阴中之阴也。

鸡鸣至平旦，天之阴，阴中之阳也。

故人亦应之，言人之阴阳，则外为阳，内为阴；言人身之阴阳，则背为阳，腹为阴；

言人藏府中之阴阳，则藏为阴，府为阳；肝、心、脾、肾、肺，五藏皆为阴，胆、胃、大肠、小肠、膀胱、三焦，六府皆为阳。所以欲知阴中之阴，阳中之阳者，何也？如冬病在阴，夏病在阳，春病在阴，秋病在阳，皆视其所为施针石也。

背为阳，阳中之阳，心也；背为阳，阳中之阴，肺也；腹为阴，阴中之阴，肾也；腹为阴，阴中之阳，肝也；腹为阴，阴中之至阴，脾也。

此皆阴阳表里内外雌雄相输应，故以应天之阴阳也。

用药升降浮沉补泻法

肝胆味辛补酸泻，气温补凉泻。肝胆之经，前后寒热不同，逆顺互换入求法。

心小肠味咸补甘泻，气热补寒泻。

脾胃味甘补苦泻，气温凉寒热补泻各从其宜。逆从互换入求法。

肺大肠味酸补辛泻，气凉补温泻。

肾膀胱味苦补咸泻，气寒补热泻。

五脏更相平也，一藏不平，所胜平之，此之谓也。故云：安谷则昌，绝谷则亡。水去则荣散，谷消则卫亡，荣散卫亡，神无所居。又仲景云：水入于经，其血乃成；谷入于胃，脉道乃行。故血不可不养，卫不可不温，血温卫和，荣卫将行，常有天命矣。

五方之正气味

东方甲风、乙木，其气温，其味甘，在人以胆、肝应之。

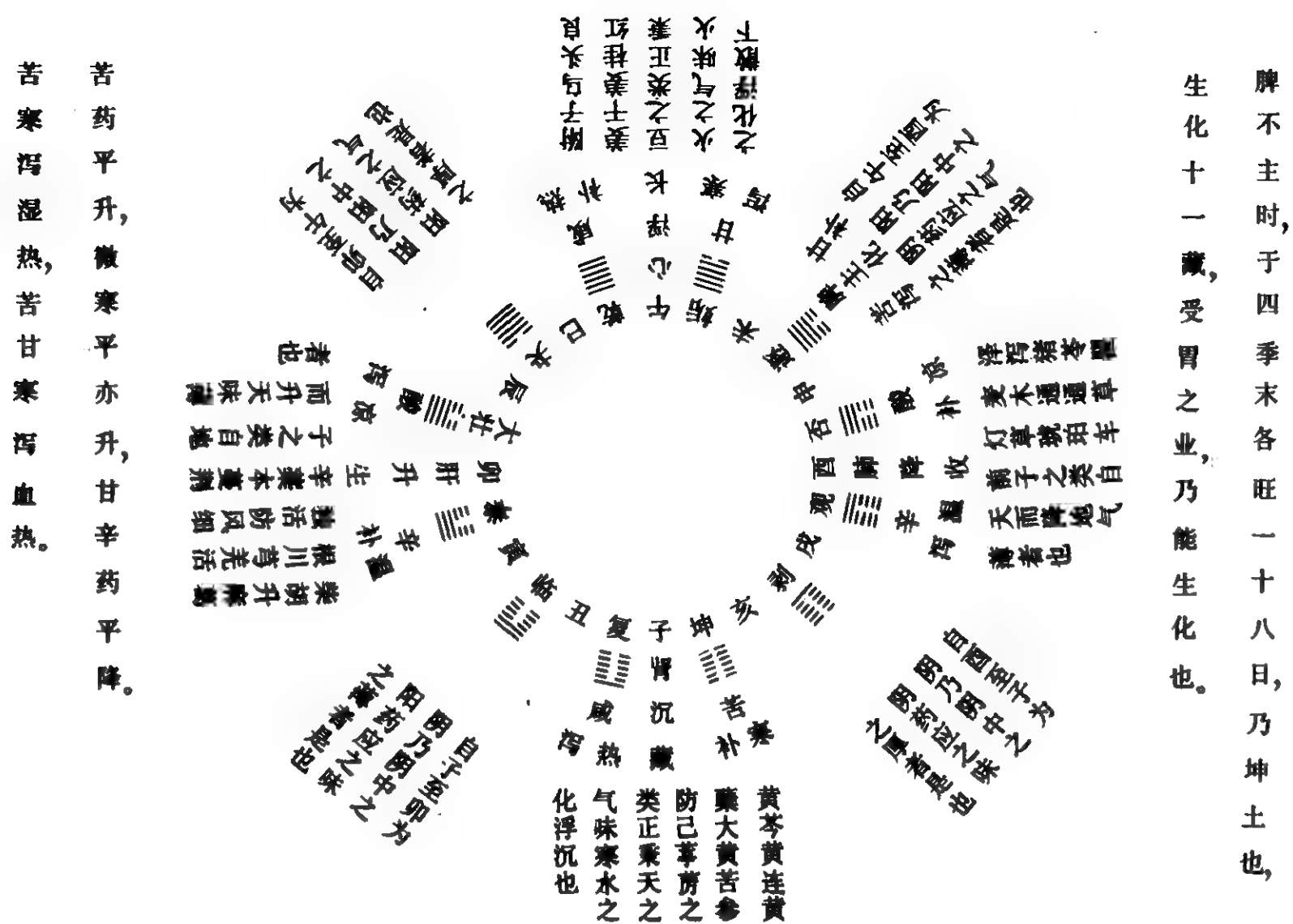
南方丙热、丁火，其气热，其味辛，相火包络重之，在人以小肠、心、三焦、包络应之。

中方戊湿，故其本气平，其兼气温凉寒热，在人以胃应之；己土，其本味咸，其兼味辛甘酸苦，在人以脾应之。

西方庚燥、辛金，其气凉，其味酸，在人以大肠、肺应之。

北方壬寒、癸水，其气寒，其味苦，在人以膀胱、肾应之。

药 象 阴 阳 补 泻 之 图



人乃万物中一也，独阳不生，独阴不长，须禀两仪之气而生化也。圣人垂世立教，不能浑说，必当分析。以至理而言，则阴阳相附不相离，其实一也。呼则因阳出，吸则随阴入。天以阳生阴长，地以阳杀阴藏。此上说明补泻用药之一也。故曰：主病者为君。用药之机会，要明轻清成象，重浊成形，本乎天者亲上，本乎地者亲下，则各从其类也。清中清者，清肺以助其天真；清中浊者，荣华腠理；浊中清者，荣养于神；浊中浊者，坚强骨髓。故至真要略大论①云：五味阴阳之用，辛甘发散为阳，酸苦涌泄为阴，淡味渗泄为阳，咸味涌泄为阴，六者或收或散，或缓或急，或燥或润，或软或坚，各以所利而行之，调其气使其平也。帝曰：非调气而得者，治之奈何，有毒无毒，何先何后，愿闻其道。曰：有毒无毒，所治为主，适大小为

制也云云，君一臣二，制之小也；君一臣三佐五，制之中也；君一臣三佐九，制之大也。

寒者热之	热者寒之	微者逆之
甚者从之	坚者削之	客者除之
劳者温之	结者散之	留者行之
燥者润之	急者缓之	散者收之
损者温之	逸者行之	惊者平之
上之下之	摩之浴之	薄者劫之
开之发之	适事为故	逆者正治
从者反治	从少从多	观其事也

各安其气，必清必静，则病气衰去，归其所宗，此治之本体也。

帝曰：反治何谓？岐伯曰：热因寒用，寒因热用，塞因塞用，通因通用，必伏其所主，而先其所因，其始则同，其终则异，可

① 至真要略大论：素问作“至真要大论”。

使破积，可使溃坚，可使气和，可使必已。方制君臣，何谓也？曰：主病之为君，佐君之谓臣，应臣之谓使，非上下三品之谓也。帝曰：三品何谓？岐伯曰：以明善恶之殊贯也。卫生宝鉴此下云：凡药之所用者，皆以气味为主，补泻在味，随时换气，主病者为君。假令治风者，防风为君；治上焦热，黄芩为君；中焦热，黄连为君；下焦湿热，防己为君；治寒，附子之类为君。看兼见何证，以佐使药分治之。此制方之要也。本草说上品药为君，各从其宜。

药象气味主治法度

升麻苦平微寒。此足阳明胃、足太阴脾行经药也。若补其脾非此药为引用，行其本经，不能补此二经。若得葱白、香白芷之类，亦能走手阳明、太阴，非此四经，不可用也。能解肌肉间热，此手足阳明经伤风之的药也。

槐实微苦寒。和①胸中气，消膈上疾。

天南星苦平。治形寒饮冷伤肺，风寒痰嗽。

石膏大寒甘辛。治足阳明经中热，发热恶热，燥热，日晡潮热，自汗，小便滑赤，大渴引饮，身体肌肉壮热、苦头痛之药，白虎汤是也。善治本经头疼，若无已上证勿服。多有脾胃虚劳形体病证，初得之时，与此有余证同，医者不识而误与之，不可胜救也。

知母又辛寒大苦寒②。泻足阳明经火热圣药也，之寒，益肾水膀胱，除烦热，止消渴，治胸热劳热，补中益气，止嗽，润心肺，镇惊悸。

郁李仁甘润。治大便气结燥，涩滞不通，七圣元中用专治气燥。

大麻子仁辛甘润。治风燥大便不通。

皂角子仁辛燥润。其性得湿则滑，亦治风在肠中，为燥结不通。

玄参微苦寒。足少阴肾经之君药也，治本经须用。

天麻甘平。治风痰眩晕头痛。

薄荷叶辛苦。疗贼风伤寒发汗，主清利头目，破血利关节，治中风失音，小儿风痰，新病差人，不可服之，令虚汗不止。

秦艽苦辛微温。疗风湿痹，寒热邪气，下利小水，治五种黄病，解酒毒。

麻黄苦微温。若去节，发太阳少阴汗；不去节，止太阳少阳经汗。

荆芥穗辛温。清利头目。

蜀椒辛温大热。主咳逆上气，散风邪，温中明目，下乳汁。

茴香辛平。主诸痿③霍乱，治脚气，补命门不足，并肾劳疝气，止膀胱及阴痛，开胃下食，助阳道，理小肠气。

良姜辛大热。主暴冷，胃中冷逆，霍乱腹痛，解酒毒。

蓬莪术苦辛温。除积聚。

当归稍甘辛温。主癥瘕，破恶血，妇人产后，恶物上冲，去诸疮疡，疗金疮恶血，温中润燥止痛。

诃黎勒苦温。主心腹胀满，不下饮食，消痰下气，通利津液，破胸结气，治久痢，疗肠风泻血。

生甘草甘微寒。补脾胃不足，能大泻心火，须用之。

京三棱苦平。主老癥瘕瘕块，妇人血脉不调，心腹刺痛，破瘀血，消气胀。

地榆苦甘酸微寒。治月经不止，小儿疳痢，疗诸疮，正④脓血。衍义云：性沉寒，入下焦，治血热痢疾。

连翘苦寒。治寒热，鼠瘻癰疽，痈疽肿焮，恶疮瘤，结热虫毒，去白虫，主通利五淋，除心脏客热，排脓止痛。

地骨皮苦寒，根大寒，子微寒。治表有风实热邪，自汗。

七方大小缓急奇偶复

大君一臣三佐九，制之大也。又云：远而奇偶，制其大服也。大则数少，少则二之。肾肝位远，服汤散不厌频而多。

小君一臣二，制之小也。又云：近而奇偶，其制小服也。少则数多，多则久之。心肺位近，服汤散不厌频而多。

① 和：东垣试效方作“利”。

② 又辛寒大苦寒：东垣试效方作“大辛寒又苦寒”。

③ 痿：东垣试效方作“瘥”。

④ 正：东垣试效方作“止”。

缓 补上治上制以缓，缓则气味薄。又云：治主以缓，缓则治其本。

急 补下治下制以急，急则气味厚。又云：治客以急，急则治其标。

奇 君一臣二，奇之制也。又云：君二臣三，奇之制也。阳数奇。

偶 君二臣四，偶之制也。又云：君二臣六，偶之制也。阴数偶。

复 奇之不去则偶之，是为重方也。七方乃互为体用。

十 剂 宣通补泻轻重滑涩燥湿

宣 可以去壅，姜、橘之属是也。

通 可以去滞，木通、防己之属是也。

补 可以去弱，人参、羊肉之属是也。

泻 可以去闭，葶苈、大黄之属是也。

轻 可以去实，麻黄、葛根之属是也。

重 可以去怯，磁石、铁浆之属是也。

滑 可以去着，冬葵子、榆白皮之属是也。

涩 可以去脱，牡蛎、龙骨之属是也。

燥 可以去湿，桑白皮、赤小豆之属是也。

湿 可以去枯，白石英、紫石英之属是也。

只如此体皆有所属，所用 药者 审而 详之，则靡所失矣。陶隐居云：药有宣、通、补、泻、轻、重、滑、涩、燥、湿，此十种

今详之，惟寒热二种何独见遗？如：

寒 可以去热，大黄、朴硝之属是也。

热 可以去寒，附子、官桂之属是也。

今特补此二种，以尽厥旨。

阳盛拒阴

中书粘合公年三十二岁，病脚膝痿弱，脐下尻臀皆冷，阴汗臊臭，精滑不固。有医黄道宁注以鹿茸圆，十旬不减，至戊申春，具录前证，始求于先师。先师遂诊其脉，沉数而有力。乃曰：公饮醇酒，以膏粱滋火于内，逼阴于外，医见其证，盖不知阳强阴不能密，以致肤革冷而溢泄，以为内实有寒，投以热剂，欲泻其阴而补真阳，真所谓实实虚虚也，其不增剧者为幸矣，复何获效欤？即处以滋肾圆大苦寒之剂，制之以急，寒因热用，引入下焦，适其病所，泻命门相火之胜，再服而愈。公以厚礼，更求前药，先师固辞，竟以不受。或问曰：物不受，义也，药既大验，不复与何也？曰：夫大寒大热之药，非久服者，惟从权可也。今公之疾，相火炽盛，以乘阴位，故用此大寒之剂，以泻相火而助真阴，阴既复其位，则皮表之寒自消矣。内经云：阴平阳秘，精神乃治。如过用之，则故病未已，新病复起矣。此予之意也。

得效方

集病说

传曰：名不正则言不顺。病之名状，其类至多，原其所由，似是而非者尤多。若体认之，明辨其所因之的，则何患其多也。夫伤寒六经之病：足太阳膀胱经，头项强，腰脊痛，无汗；足阳明胃经，身热，目痛^①，鼻干；足少阳胆经，胸胁痛，耳聋；足太阴脾经，自利，不渴，腹痛；足少阴肾经，口燥，舌干，背恶寒；足厥阴肝经，烦满，寒热，甚则囊缩。传变不一，或愈或死，愈者多出旬

日之外，死则在六七日之间。独寒独热亦难治，世号为大病。阳毒之为病，乃阳气独盛，阴气暴绝。阴毒之为病，本因肾气虚寒，或因冷物伤脾胃，内既伏阴，外又感寒所致。阳厥，初病身热头痛，至二三日、四五日方发厥，半日却身热，盖热深方能发厥。阴厥，初得病便四肢厥冷，乃阴胜于阳也。厥者阴阳不相顺接，厥少热多者，其病当愈，厥多热少者，其病为进，或加以上气脚缩，则为六腑气先绝于外也。至于下利清谷，不可攻

^① 痛：世医得效方作“疼”。

表，汗出必胀满，下利有微热而渴自愈，中之者，皆因下虚气弱，凌犯霜露，及冒风雪中行所致。伤风之病在表，在经络中，循经流注，以日传变，中之者，非正顺长养万物之风，乃八方偏邪之风，肥伟人多得之。盖风性紧暴，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，激人涎浮，昏人神乱，所以推为百病长。伤暑乃三伏时月，炎热大行，草萎河涸，血消气沮之人，偶或伤之，病在顷刻，中之则名中喝，轻则为伤，重则为中。伤湿乃坐卧卑湿，或为雨露所袭，或汗出衣里，渐渍染之，其有中者，乃脾元久虚，或为泄疾，土不制水，因兹而得。复有四气伏于人身，隐微而不知觉，作为百端之病，绵延岁月不已，必须深思，求其所以为病之因。然人之平居，神静则宁，情动则乱，故喜则气缓，怒则气上，悲则气下，忧则气沉，思则气结，恐则气怯，惊则气乱，故有所谓七情之病也。若真气既微，胃气不实，复啖生冷冰雪之属，致肠胃虚寒，或大病未复，便合阴阳，或疲极筋力，饥饱失节，或刻意苦思，尽神度量，叫呼走气，而虚损病所由生也。精血既衰，脏腑多燥，三焦烦壅，复饵丹石酒醢炙燔，致肠胃蕴毒，而实热病所由生也。以诸病总而论之，中气有类中风，中风而以中气治之，亦无所伤；中气而以中风药投之，莫不旋踵告毙。先代医师许学士、张子和以亲故，痛念医之不明，所以惩其弊而见于著述也。若疟症之病，未有不由隔季所感风寒暑湿，及饮食劳役瘴疠之气为之。赤白痢疾，古人所谓滞下者是也，究疾之原，无非外感五邪之气，内伤生硬冷热之食，不能克化，致令积滞而成，亦有久虚传变而成，下之不禁，甚者手足不仁，则五脏气将绝于内也。失血之病十种，走失莫重于此，皆因四气所伤，或调养失宜所致。时疫流行，则当审其春合暖而寒，夏合热而冷，秋当凉而热，冬当寒而暖，是皆六气愆和，而生斯疾，大则流毒天下，小则蔓延一乡一家，必辨其各季所因，

不可以寻常微病目之，故重则祸至灭门，轻则病至危笃。外此观形候听声，而知病之可治不可治。经中所谓视精明者，盖五脏精明聚于目，目精全则目明，神定则视审，审视不了，精明败矣。又云：目赤色者，病在心，白在肺，黑在肾，黄在脾，青在肝，黄色不可明，病在胸中。所谓五色者，乃气之华也。赤欲如帛裹朱，不欲如赭；白欲如白璧之泽，不欲如垩；青欲如苍璧之泽，不欲如蓝；黄欲如罗裹雄黄，不欲如黄土；黑欲如漆重泽，不欲如炭。五脏精败，寿不久矣。五声者，脏之音，中之守也。中盛则气盛，中衰则气衰。声如从室中言者，气涩也；言微，终日乃复言，是气之夺也；谵妄不避善恶，神明之乱也；郑声言意不相续，阴阳失守也，得守者生，失守者死。六府强弱，以候形之盛衰。头者，精明之府，头倾视深，精神夺矣；背者，胸之府，背曲肩随，胸将坏矣；腰者，肾之府，转摇不能，肾将惫矣；膝者，筋之府，屈伸不能，筋将惫矣；骨者，髓之府，行则振掉，骨将惫矣。仓廪不藏者，肠胃不固也；水泉不止者，膀胱不藏也。得强者生，失强者死。宜^①兼而明之。又如五脏已夺，神明不守，声嘶身冷，循衣谵语撮空。面赤如衄血，白如枯骨，黑如烟煤；面青目白，面黑目白，面黄目青，面赤目白；耳鼻有黑色起入口；耳目颧颊赤者；黑色出于额上发际，直鼻脊两颧上；黑色出天中，下至鼻上颧上；面忽如马肝色，望之如青，近之如黑。目直视，恶风，面黑唇青；面青唇黑，面黑，两胁下满，不能自反转；头目久痛，卒视无所见，阴结阳绝；目精光脱，恍惚，阴阳竭绝。目眶陷，口如鱼口，不能复闭，气出不返；唇反，齿龈干枯；天柱骨倒；指拳挛缩；汗出不流，舌卷黑，发直，发如干麻，善怒；发与眉冲起；爪甲青；大腑自遗不觉；身热，喘息，脐下硬如铁；唇裂，鼻黑，舌根焦；四肢逆冷，汗出如油不流；尸臭不可近。目睛直视

① 宜：世医得效方作“必”。

不回，一日；病人健人黑色或白色起入目及口鼻，二日；阴阳俱绝，失音不能言，三日半；口张，唇青，人中满，三日；目无精光^①，若土色，不受饮食，四日；面赤目青，六日；面黑目白，爪甲下黑，八日；齿忽变黑，十三日。肝病皮黑，庚辛日；心病目黑，壬癸日；脾病唇青，甲乙日；肺病颊赤目肿，丙丁日；肾病面肿唇黄，戊己日。以上俱不可治也。面目黄色起，其病方愈。面黄目青，面黄目赤，面黄目白，面黄目黑，面黑目青，面目俱黄，面黑目白，均可治也。大抵言病，动以百计，虽积万言，莫能尽述，但当留心殷勤学之，博通乃得，不可以粗解一二为是，果某疾而正某名，庶不误投汤剂，则何患病之不瘳矣。

集 证 说

古之医者有云：外病自经络入，内病自五脏郁发。然当求所以证验，庶无差失。如伤寒有阴阳表里，阳证多语，阴证无声；阳证则昼剧，阴证则夜争。阳证似阴，粪黑而脉滑；阴证似阳，面赤而脉微矣。身重背疼，烦闷狂言，奔走咽痛，身斑斑若锦文，或下利赤黄，多因妄服燥药热味，阳毒是也。背强，腹中绞痛，身如被杖，燥渴呕泄，冷汗郑声，多因脾胃虚寒，重感于寒，阴毒明矣。阴阳二厥：若阳厥则指爪时温，或畏热，或饮水，或扬手掷足，躁烦不得眠，大便秘，小便赤，外证多昏愦；阴厥则指爪常冷，足多挛卧，恶寒自引衣盖覆，不饮水，或下利，或清便如常，小便数，外证惺惺而静。表证多恶寒不渴，发热而身体痛；里证多渴，只恶热而喘满，口燥咽干，手心腋下濺濺汗出，大便鞭，涎赤谵语。复有伤寒初证，发热恶寒无汗，其色凄惨，复见风则多寒，手足微厥，发热下利，手足温暖者生，手足厥逆，灸不温，证之极矣。中寒则口噤，四肢强直，失音不语，或卒然晕倒，吐逆涎沫，手足挛搐，状如暗风。或复燥热伤风，有汗恶风，面色

光而不惨。复见寒，手足微温，发热多烦。其或中者，半身不遂，手足瘫痪，涎潮昏塞，口眼喎斜，肌肤麻痹。归于六腑者，特为偏缓，犹可苟延岁月；归于五脏者，眼闭口开手散，声如鼾睡，遗尿，恶证迭出，朝不及夕。伤暑，身热恶寒头痛，或烦而渴，眩晕，背寒面垢，或呕或泄。其中入心，使人噎闷，昏不知人；入肝则眩晕顽痹；入脾则昏睡不觉；入肺则喘满痿痹；入肾则消渴利小便。至于伤湿身重，关节重痛，发热恶寒，大便泄而小便涩，腰脚冷而腿膝浮，或自利不渴。若气不平，中之亦使人半身不遂，口眼喎斜，涎潮昏塞。又如七情：喜伤心者，不可疾行，不可久立；怒伤肝者，上气不可忍，热来荡心，短气欲绝不得息；忧伤肺者，心系急，上焦^②荣卫不通，夜卧不安；思伤脾者，气留不行，积聚中脘，不得饮食，腹胀满，四肢怠惰^③；悲伤心胞者，善忘不识人，置物在处，还取不得，筋挛，四肢浮肿；恐伤肾者，上焦气闭不行，下焦回还不散，犹豫不决，呕逆恶心；惊伤胆者，神无所归，虑无所定，说物不意而迫^④。凡此七者，证虽不同，本乎一气。脏气不行，郁而不舒，结成痰涎，随气积聚，坚大如块，在心腹间，或塞咽喉，如粉絮梅核样，咯不出，咽不下，每发欲绝，逆害饮食。若诸虚损证，则眩晕眼花，鼻多清涕，漩浊遗精，冷滑洞泄，水谷不化，洒淅自汗，呕吐清痰，皆阳虚阴盛也。诸实热，则五脏积热，口苦咽干，唇裂生疮，肠胃干涩，烦躁喜冷，涎唾稠实，眵泪眼赤，或遍体痈疡。至于总说则痲症证惟多，先寒后热名寒症，先热后寒名温症，但热不寒名暑症，寒热身重烦疼胀满名湿症，寒多不热名牝症。若一日一发则易愈，二日一发犹可，三日一发则难痊。且斯疾俗在忌医之列，然

1. 光：世医得效方此下有“面”字。

② 焦：世医得效方此下有“闭”字。

③ 情：世医得效方作“惰”。

④ 迫：世医得效方作“道”。

得其所因，何忌其难？时疫证杂^①发热，腰痛强急，脚缩不伸，脐中欲折，目中生花。或漉漉^②憎寒复热，名曰温疫；身体颤掉，不能自禁，或肉热口干舌破，咽塞声嘶，名曰燥疫；头重颈直，皮肉强痹，或蕴而结核，起于咽喉颈项之侧，布热毒于皮肤分肉之中，名曰寒疫；乍寒乍热，损肺伤气，暴嗽呕逆，或体热发斑，喘咳引气，名曰湿疫。四时之感，其证百端，皆当因其时而详辨则得之。喘急为患，吐痰续续则生；自汗谵语，目直视则亡。失血诸证，有暴吐、鼻衄、泄出或一二升至斗余者，因感四气，流传经络，阴阳相胜，或怒气伤肝，风入肠胃，故血得寒则凝泣，得热则淖溢，各随脏腑经络涌溢，凝停胸胃，因即满闷，或吐或衄或泄下。复有咳嗽中见红丝者为难愈，无故忽然泻下黑血名心绝。癆瘵之证，得之者多讳而未肯求医，殊不知其根有虫啮其心肺，可不深忧。中蛊毒之候，令人心腹绞痛，如物啮状，吐下血如烂肉。若欲验其证状，先令病人睡于水中，若沉即其实矣。痼渴与漩浊为邻，慎莫作疽疮等证，鲜有安之日矣。至于下痢，身凉，能食，小便通，易安；体热多汗，渴甚小便不利，或手足厥冷，灸不温，兼微喘不食者，死。二便秘涩之证，暂秘，小漩还有点滴利者易愈，若秘日久，膨上心胸切痛，气促身冷，面色黑，前后俱无，名曰气实，转盼而殒^③。胀满得之未久，或胀或消，腹皮稍软，不泄不喘，随治随瘥；若脐心突起，利后复胀急，久病羸乏，喘息不得安，名曰脾肾俱败，无有愈期。肿满善证，男从上肿下，女从下肿上，所患未久，利漩退肿定喘则愈矣；若证不善，则手足盘骨肿，脐与掌心俱凸，嗽咳失声，青筋纹横肚上，及爪甲青^④卒肿，头面苍黑，呕吐头重，岂复能救？霍乱一证犹为卒暴之最，盖人之起居无常，摄调不善，挥霍之至，便至变乱，闷绝不救，甚为可畏，临深履薄，纵蹈虎尾，不足以喻其危。其如厉风，名大风恶疾，故其色败皴

裂，疡溃眉面，白皮如蛇蛻，久则鼻梁闾坏，又名风癰，十无一生。若癰瘕之为病，癰者坚也，坚则难破；瘕者假也，假物成形，能动者是。至于蛟龙蛇螫肉发虱米之证，初非定名，偶因食物相感，而致斯患。梦寐不祥，多生恐怖，为祟^⑤惑证矣。吁！内外之证，其发万端，皆须细辨，且顷刻之变无定，一有所作，其可忽诸。

集 治 说

尝谓用药如用刑，一有所误，人命系焉。故书曰：言之非艰，行之惟艰。如张仲景伤寒一百一十三方，犹缺其一；三百九十七法，倭指未即周知，盖谓此也。夫处方大法，则有七方十剂。七方者，奇方、偶方、大方、小方、缓方、急方、复方；十剂者，宣、通、补、泻、轻、重、涩、滑、燥、湿。然积学而用之则可矣。伤寒之病，太阳属膀胱，非发汗则不愈，必用麻黄之类，盖其性能通阳气、却外寒也；阳明属胃，非通泄不能愈，须用大黄芒硝以利之；少阳属胆，无出入道，柴胡、半夏能利能汗，佐以黄芩则解矣；太阴属脾，性恶寒湿，非干姜、白术不能燥；少阴属肾，性畏寒燥，非附子不能温；厥阴属肝，藏血养筋，非温中之药不能润。外此有汗、下、吐三法，毫厘不可差误。经云：桂枝下咽，阳盛则毙；承气入胃，阴盛以亡。故在表宜汗，在里宜下，在胸宜吐，半表半里宜和解，表里俱见，随证渗泄，无表里证，则宜下之。下利清谷，身体痛，急当救里；身体疼痛，清便自调，急当救表。身热不渴为表有热，渴而烦闷为里有热。伤寒见风，大青龙汤为治之最。阳毒内外结热，轻则白虎汤，重则承气汤之属，阳厥亦用。舌卷焦

① 杂：世医得效方作“惟”。

② 漉漉：按文义疑作“齧齧”。

③ 殒：世医得效方作“殒”。

④ 青：世医得效方无此字。

⑤ 祟：世医得效方作“崇”。

黑，鼻中如烟煤，非水渍法不可。阴毒疾势困重，面黑四肢厥冷，则理中汤、四逆汤投之，未效则灼艾法惟良，复以葱熨法佐之，阴厥同此法治之。发热下利，白头翁汤、黄连阿胶圆，最为的切。中寒则急捍置暖室，燃以薪火向之，令通身暖透，或置于热炕上，令有力人扶策，仍以手附火或入怀令热，亟摩病人手足胸腹间，续用姜附汤并服，若犹未省，则依上法灸^①。伤风主治之法，汗出恶风者当解其肌，里证虽具，恶风未罢，亦须先解其外也。伤风见寒，大青龙汤均为调理。中风昏闷，先须通关散探鼻，令喷嚏，次以苏合香圆行其气，仍须分辨冷热为治，不可混滥。五脏正中者，迅雷不及掩耳；手足偏中者，但徐服顺气疏风豁痰等药，不宜用大风药，急治则不得尽其天年；其有牙关紧闭，亦用通关散搐鼻，喷嚏即开矣。伤暑者，暑气耗血，消气生痰，速用解暑之剂，仍啜热汤，得汗即苏。若中之者，急扶在阴凉处，不可与冷，当以布巾衣物，蘸热汤熨脐中及气海。以汤淋布上令透彻，脐腹暖即渐醒矣。如仓卒无汤处，则掬道上热土置脐上，以多为佳，冷即易之。古方：道途无汤，即掬热土于脐中，仍拨开作窝，令人溺其中以代汤淋。续与解暑毒药，并急嚼生姜一大块，冷水送下。如已迷闷，则嚼大蒜一二瓣，冷水送下。如不能嚼，即用水研灌之立苏。但遇无汤处，则嚼生葱二寸许，津咽下，可抵饮水二升。伤湿中湿，只宜利小便，忌不得以火攻，并转利之。若湿家下之，额上汗出、微喘、小便不利者死，下利不止者亦死。治湿不利小便，非其治也。七情之患，惟当利气豁痰，宽中进食，仍须怡养，以温平之药调之。如宿血滞气停凝，结为癥瘕，腹中坯^②块坚硬作楚，当以破气药伐之，或以类相从，如败梳治虱瘕，铜屑治龙瘕，曲蘖治米瘕，石灰治发瘕等类，所谓医者意也。气积膨痛至甚，或有热痞结聚，须宣泄之。虚损为治，宜大作汤剂，峻补者，乌、附、

天雄、姜、桂之属不可无，润补者，鹿茸、当归、苁蓉之类安可缺？清补则天门冬、麦门冬、人参、地黄之类宜用也。至于诸热为治，有泛热，有实热。泛热者，荆芥、薄荷、梔子、黄芩等投之，正其所宜；实热者，非大黄、芒硝则不能效。若夫总说为治之备要，如南北风土之殊，人物厚薄之异。北方土厚水深，水性沉下，人体多实而少虚，且所餐无非肉面，寒则衣重裘，坐暖炕，若有所治，则宜多以清凉之剂。如南方用大黄、巴豆之属，其分两皆当倍而用之，或用水渍法，或寻甜水一二瓯饮之即苏。间有所禀稍弱，不自保惜，劳役致虚，则亦但当润补之，无有不愈。南方属火，火性轻炎，人体多虚而少实，况所食不过蔬食而已，必须投以温和之药以调之。其有习尚北方之风，置酒终日，非至醉不已，烧燔肥鲜，恣其厌饫，偶有所患，亦须以平昔所禀，施以凉剂，然虚者亦不可妄施。痲症热多者，投以半冷半热解散，分阴阳减寒热之剂，度其所作之日，先一时进以抵截之药，去其痰水，则收效矣。寒多者，投以半生半熟壮脾进食之剂，次以抵截之药，则痰癖去而疾愈矣。犹须令其戒慎饮食，谨起居，则无复攻之患。若久症而复作，虚浮不食者，未之有瘳。时疫之治，须以时斟酌，不可偏执，治之者须辨其所因，而投之以药，不可以日满自差，遂至枉亡，良可太息。至于病愈，必须汤食竞进，折其毒势，不可令病气攻人，则屏息矣。或有云：斯疾之召，或沟渠不泄，秽恶不修，熏蒸而成者；或地多死气，郁发而成者。……喘急，虚者，升降镇坠，热者清心凉肺，未有不愈。下痢感于四气者，先须随其所感解散，分利阴阳，次须辨其冷热，手足和暖则为阳，中和之剂可用；手足厥冷则为阴，温燥之药可行，无不切效。大法虚者补之，实者泻之，滑者涩之，闭者通之，有积者推之，热则凉之，冷

1 灸：世医得效方作“灸”。

2 坯：世医得效方作“痞”。

则温之，冷热不调者平之。失血，明其所因，辨其冷热，如血下鲜红，则治以清和，纯下瘀色，则当温养。二便秘则须润滑以行之，胀满则须正气，以虚实平治之。肿满实者利水，虚者壮脾元，兼用消浮等剂，自有奇效，仍须戒咸断欲，庶不再复。霍乱，须明辨虚实所因，亟治无迟，迟则殒命，至于乾霍乱，则犹为难治也。三痛，治法滋肾为主，抑心火兼之，然须多服汤丸，俾水升火降，而引饮无度，莫之见矣。真心痛者，手足青至节，不在治疗之数。真头痛者，上穿风府，陷入泥丸，非药能愈。金疮主治，备见后科，用药之工，诚可嘉叹。中蛊毒之法，以败鼓皮烧灰为末，饮服一匕，……。瘵疾一染人，当其未深入之时，则宜先取其虫，不尔，则损于心肺。盖心主血，肺主气，人身舍气血之本，其能生乎？取虫而后，相忘世虑，和以润养药食，庶几可瘳，伤晚则不及也。魔寐、产乳、自缢、压溺诸暴绝，须平时熟记后所载治法，并产蓐一科，临用庶不仓惶，应验在顷刻间，不然，则世无良医，枉死者半是也。厉风，初发则宜宣泄，风毒去而病渐愈矣^①，久之，惟当幽隐林泉，依法亟治，庶乎可愈，不惟愈疾，亦或可因此而至仙道矣。或为崇^②害，若移精变气，祝由不可，则宜外寻禁避厌禳法以除之。外此病有六不治：骄恣不论于理，一不治也；轻身重财，二不治也；衣食不能适，三不治也；阴阳并，脏气不定，四不治也；形羸不能服药，五不治也；信巫不信医，六不治也。生候尚存，形色不改，

病未深入腠里，针药及时，能将息调理，委以良医，病无不愈。至于五味，亦可对治五脏之病，肝酸、心苦、脾甘、肺辛、肾咸，用之中病则止，过则酸走筋，咸走血，辛走气，苦走骨，甘走肉，则无益矣。又如以所宜而治者，肺燥咳嗽，嚼芝麻，啗油饼；疟疾脾冷，糟鲤鱼、糟藏瓜；久冷痢，野鸡芫^③饨等类是也。瓜果亦可随冷热施之，愈疾必矣。若夫炮制之法，又当以相需、相合、相反、相恶^④者，以桂得葱而软；相合者，磁石引针；相反者，大戟、芫花等反甘草之类也；相恶者，如牛黄忌龙骨是也。且方中各有避忌，此亦举其略。或以甘草击起芫花之性而用者，犹在斟酌。更须甄别药味新陈，选择州土所生，采取时月，分君臣佐使，俾分两无差，炙煨炮燻，精度不苟，斯为治之善矣。其有自恃己长，不肯访问，以意臆度，攻寒以寒，疗热以热，妄施一匕^⑤，邀为己功，偶或中之，实非的见，不过侥幸于万一。其或不中，则十手所指，十目所视，所谓一瓿之药误入于咽，五脏俱裂，生可再复？可不戒之！况医者人之司命，有病急召，慎勿以远近寒暑而拒之。若至病家，尤须敬谨，勿为他务，以败正事，给药亦量其多寡，表汗宜四；吐下宜一，加二极矣；补药愈多愈效；余则随证为之轻重。明批汤引。病若未愈，囑其再来，庶病可瘳而治有方矣。仆少而学之，长而行之，所谓治病之道，尽在此矣。古云：凡曰治病，推其所因，生死预定，方为医人。敬之！

卫生宝鉴一

春服宣药辨

戊申春，先师东垣老人论春月奉生之道，月令云：是月也，不可以称兵，称兵必天殃，毋杀孩虫胎夭飞鸟，毋伐山林。又云：祭先脾，孟春行冬令，则首种不入，行秋令则民

大疫。故国有春分停刑之禁，十二经有取决于胆之戒。仲景云：大法春宜吐。故少阳证

1. 矣：世医得效方此下有“长”字。
2. 崇：世医得效方作“崇”。
3. 芫：世医得效方作“馄”。
4. 恶：世医得效方作“需”。
5. 匕：世医得效方作“二”。

禁下，宜小柴胡汤和解之。少阳用事，万物方生，折之则绝生化之源，此皆奉生之道也。有假者反之，且春初服宣药者，乃伐天和而损脾胃，非徒无益而又害之。予因演先师之论，著为此论。

世传宣药，以牵牛、大黄之类，或丸或散，自立春后，无病之人服之，辄下数行。云：凡人于冬三月，厚衣暖食，又近于火，致积热于内，春初若不宣泄，必生热疾。又云：解三焦积热，去五脏余毒，殆无此理。方冬严气凝寒，厚衣暖食近火，所以敌天气之寒也。冬裘夏葛，冬饮汤而夏饮水，皆自然之道，何积热于内而生疾乎？且阴阳偏胜则疾，果三焦积热，是阳亢阴绝，岂有得生之理哉？故难经云：腑病易治，脏病难愈。邪气中脏，病之极矣。今言五脏，俱有邪毒，则神将何依？内经亦曰：春三月，此谓发陈，天地俱生，万物以荣，夜卧早起，广步于庭，被发缓形，以使志生，生而勿杀，予而勿夺，赏而勿罚，此春气之应，养生之道也，逆之则伤肝，夏为寒变，奉长者少。又曰：必先岁气，无伐天和。故智者之养生也，必顺四时，适寒温，和喜怒而安居处，节阴阳而调刚柔，如是则邪僻不至。又曰：苍天之气，清净则志气治，顺之则阳气固，虽有贼邪，弗能害也。失之则内闭九窍，外壅肌肉，卫气散解，此谓自伤，气之削也。当少阳用事，万物向荣，生发之时，惟当先养脾胃之气，助阳退阴，应乎天道，以使之平。今反以北方寒水所化，气味俱厚，苦寒之剂投之，是行肃杀之令于奉生之月，当升反降，伐脾胃而走津液，使营运之气减削，其不能输精皮毛经络必矣。奉长之气，从何而生？脏腑何所以禀受？脾胃一衰，何病不起，此诛罚无过，是谓大惑，无病生之，有病甚之。所谓春服宣药者，自轩岐而下，历代明医俱无是说。呜呼！此理明白，非难知也，世多雷同，莫革其弊，深可痛哉！凡有志保生者，但以圣贤之言为准，则可免疑误

之悔，夭折之祸矣！

革春服宣药歌

天与圣人同一体，长养万物不言利。黄帝内经福万世，惟恐生民触邪气；调神四气谨依行，身体康强无病滞。去圣逾远医道衰，谁解非非而是是；初春宣药服寒凉，无故令人遭疫疠。肠鸣腹痛下数行，脾土既衰复损胃；用^①身百脉失经常，安乐身中强生事。少阳用事物向荣，一夜风霜反凋弊；春不生荣秋不收，奉养之气从何至？四时失序化难成，血气一衰神不炽；主明下安养生昌，心不明时灾患继。哀哉此理久不明，故以言理革其弊；保生君子勿他求，当向内经求圣意。

无病服药辨

谚曰：无病服药，如壁里安柱，此无稽之说，为害甚大。夫天之生物，五味备焉，食之以调五脏，过则生疾。故经云：阴之所生，本在五味；阴之五官，伤在五味。又曰：五味入胃，各遂^②其所喜，攻酸先入肝，辛先入肺，苦先入心，甘先入脾，咸先入肾。久而增气，气增而久，夭身之由也。又云：酸走筋，辛走气，苦走骨，咸走血，甘走肉。五味口嗜而欲食之，必自裁制，勿使过焉。至于五谷为养，五果为助，五畜为益，五菜为充，气味合而食之，补精益气；倘用之不时，食之不节，犹或生疾，况药乃攻邪之物，无病而可服焉。圣济经曰：彼脩真者，蔽于补养，轻饵药石。阳剂刚胜，积若燎原，为消狂痼疽之属，则天癸竭而劳^③涸；阴剂柔胜，积若凝冰，为洞泄寒中之属，则真火微而卫散。一味偏胜，一脏偏伤，一脏既伤，四脏安得不病？唐孙思邈言：药势有所偏胜，令人脏气不平。裴潏谏唐宪宗曰：夫药以攻疾，非朝夕常用之物，况金石性酷烈有毒，

① 用：卫生宝鉴作“周”。

② 遂：卫生宝鉴作“归”。

③ 劳：卫生宝鉴作“荣”。

又加炼以火气，非人五脏所能禁。至于张皋谿穆宗曰：神虑清则气血和，嗜欲多而疾疚作。夫药以攻疾，无疾不可饵，故昌黎伯铭李子之墓曰：余不知服食说自何世起，杀人不可计，而世慕尚之益至，此其惑也。今直取目见亲与之游，而以药败者六七公，以为世诫：工部尚书归登、殿中御史李虚中、刑部尚书李逊弟、刑部侍郎建、襄阳节度使工部尚书孟简、东川节度使御史大夫卢植、金吾将军李道古。今又复取目见者言之：僧闾仲章服火炼丹砂二粒，项出小疮，肿痛不任，牙痒不能嚼物，服凉膈散半斤始缓，后饮酒辄发，药以寒凉之剂则缓，终身不愈。镇人李润之身体肥盛，恐生风疾，至春，服搜风丸月余，便下无度，饮食减少，舌不知味，口干气短，脐腹痛，足胫冷，眩运欲倒，面色青黄不泽，日加困笃。乃告亲知曰：妄服药祸，悔将何及。后添烦躁喘满，至秋而卒。张秀才者，亦听方士之说，服四生丸推陈致新，服月余，大便或溏或泻，饮食妨阻，怠随嗜卧，目见黑花，耳闻蝉声，神虚头旋，飘飘然身不能支，至是方知药之误也，遂调饮食，慎起居，谨于保养，三二年间，其证犹存，逾十年后方平复。刘氏子闻人言腊月晨，饮凉水一杯，一月，至春而无目疾，遂饮之，旬余，觉腹中寒痛不任，咳嗽²吐，全不思食，恶水而不欲见，足胫寒而逆，医以除寒燥热之剂急救之，终不能效。此皆无故求益生之祥，反生病焉，或至于丧身殒命，壁里安柱果如何哉！且夫高堂大厦，梁栋安，基址固，坏涂毁壁，柱于壁中，甚不近人情。洁古老人云：无病服药乃无事生事，此诚不易之论。人之养身，幸五脏之安泰，六府之和平，谨于摄生，春夏奉以生长之道，秋冬奉以收药³之理，饮食之有节，起居而有常，少思寡欲，恬憺虚无，精神内守，此无病之时，不药之药也。噫！彼数人者，既往不咎矣，后人当以此为龟鉴乎！

古方名实辨

仲景以小柴胡治少阳证口苦舌干，往来寒热而呕。盖柴胡味苦平，行少阳经；黄芩味苦寒为佐，治发热口苦；生姜辛温，半夏辛热，治发寒而呕；人参甘温，安胃和中；大枣甘平温，和阴阳，调荣卫，生津液，使半表半里之邪而自解矣。大承气汤，治阳明本实，痞满燥实。枳实苦微寒，泄痞；厚朴苦温，除满；芒硝辛寒，润燥；邪入于府而作热实，以大黄苦寒下之，酒制者为因用，热散气升而作汗解矣，因以承气名之。钱仲阳以升麻汤治小儿寒暄不时，阳明经受邪，身热目疼鼻干，不得卧，及疮疹未发，发而不匀。升麻苦平，葛根甘平，解散外邪；甘草甘温，芍药酸微寒，调和中气，拒邪不能伤其里。白术散治小儿阳明本虚，阴阳不和，吐利后而亡津液，虚热口干。人参、甘草、白术甘温，和中补胃；藿香、木香，辛温芳馨，可以助脾；茯苓甘平，分阴阳而导其湿；葛根甘平，倍于众药，其气轻浮，鼓舞胃气上行，生津液而解肌热。局方中四物汤，调荣养卫，益气滋血。当归辛温，熟地黄甘温，能滋血；川芎辛温，白芍药味酸微寒，能养气。盖血为荣，气为卫，四物相合，故有调益滋养之实。黄芪建中汤治面色痿黄，脐腹急痛，脾胃不足者，肝木乘之也，木胜其中，土走于外，故痿黄见于面。难经曰：其平和不可得见，衰乃见耳。黄芪、甘草甘温，能补脾土；芍药之酸，能泻肝木；水挟木势，亦来侮土，故作脐腹急痛，官桂辛热，散其寒水；生姜、大枣、饴糖，辛甘大温，益气缓中，又与脾胃行其津液，以养四脏，建脾制水，补子泻鬼，使四脏各安其气，必清必净，则病气衰去，建中之名，亦不诬矣。右数方，药证相对，名实相辅，可垂法于世。

1 随：卫生宝鉴作“情”。

2 呕：卫生宝鉴作“嘔”。

3 药：卫生宝鉴作“藏”。

近世用双解散治风寒暑湿，饥饱劳逸，殆无此理。且如风邪伤卫，必自汗而恶风；寒邪伤荣，必无汗而恶寒。又云：伤寒伤风，其证不同。中暑自汗，必身热而气虚；中湿自汗，必体疼而沉重。且四时之气，更伤五脏，一往一来，未有齐至者也。饥则损气，饱则伤胃，劳则气耗，逸则气滞，其证不同，治法亦异。盖劳者温之，损者补之，逸者行之，内伤者消导之。今内外八邪，一方治之，有此理乎？内经云：调气之方，必别阴阳。内者内治，外者外治。故仲景云：且除其表，又攻其里，言巧^①似是，其理实违，其是之谓欤！如搜风丸、祛风丸，有搜风祛风之名，无搜风祛风之实，百解散亦此类也。谚云：看方三年，无病可医；疗病三年，无药可用。此亦名实不相辅故也。噫！去圣逾远，其术晦昧，人自为法，无可考评^②。昔在圣人，垂好生之德，著本草，作内经，仲景遵而行之以立方，号群方之祖。后之学者，以仲景之心为心，庶得制方之旨。

方成弗约之失

丁巳冬十月，予从军回至汴梁，有伶人李人爱谓予曰：大儿自今岁七月间，因劳役渴饮凉茶及食冷饭，觉心下痞，请医治之，医投药一服，下利两行，其证遂减。不数日，又伤冷物，心腹复痞满，添呕吐恶心，饮食无味，且不欲食，四肢困倦，懒于言语，复请前医诊视。曰：此病易为，更利几行即快矣。遂以无忧散对，加牵牛末，白汤服。至夕，腹中雷鸣而作阵痛，少焉，既吐又泻，烦渴不止，饮冷无度，不复能禁，时发昏愤。再命前医视之，诊其脉不能措手而退。顷之冷汗如洗，口鼻气渐冷而卒矣。小人悔恨无及，敢以为问？予曰：未尝亲见，不知所以然。既去，或曰：予亲见之，果药之罪欤而非欤？对曰：此非药之罪，乃失其约量之过也。夫药用之无据，反为气贼。内经云：约方犹约囊也，囊满弗约则输泄，方成弗约则

神与气弗俱。故仲景以桂枝汤治外伤风邪，则曰若一服汗出病差停后服，不必尽剂；大承气汤下大满大实，则曰得更衣止后服，不必尽剂。其慎如此，此为大戒，盖得圣人约囊之旨也。治病必求其本，盖李人以俳優杂剧为戏，劳神损气而其中疹然，因时暑热，渴饮凉茶，脾胃气弱，不能运化而作痞满，以药下之，是重困也，加以不慎，又损其阳，虚而复伤，伤而复下，阴争于内，阳扰于外，魄汗未藏，四逆而起，此仲景所谓一逆尚引日，再逆促命期。如是则非失约量之过而何？故内经戒云：上工平气，中工乱脉，下工绝气危生，下工不可不慎也。

灸之不发

国信副使覃郎中，四十九岁，至元丙寅春，病脐腹冷疼，完谷不化，足跖寒而逆，皮肤不仁，精神困弱，诊其脉，沉细而微，遂投以大热甘辛之剂，及灸气海百壮，三里二穴各三七壮，阳辅各二七壮。三日后，以葱熨灸疮，皆不发，复灸前穴，依前壮数，亦不发。十日后，疮亦更不作脓，疮口皆干。癸丑岁初，予随朝承应，冬屯于瓜忽都地面，学针于窆子声先生，因询穴腧。曰：凡用针者，气不至而不效，灸之亦不发，大抵本气空虚，不能作脓，夫^③其所养故也。更加不慎，邪气加之，病必不退。异日因语针灸科忽教授，亦以为然。至元戊辰春，副使除益都府判，到任未几时，风疾，半身麻木，自汗恶风，妄喜笑，又多健忘，语言微涩。医以续命汤复发其汗，津液重竭，其证愈甚。因求医还家，日久神气昏愤，形容羸瘦，饮食无味，便溺遗失，扶而后起，屡易医药，皆不能效。因思内经云：阳气者，若天与日，失其所则折寿而不彰。今因此病，而知子声先生之言矣。或云：副使肥甘足于口，轻暖

1 巧：卫生宝鉴作“仍”。

2 评：卫生宝鉴作“证”。

3 夫：卫生宝鉴作“失”。

足于体，使令足于前，所为无不如意，君言失其所养何也？予曰：汝言所养，养口体者也；予论所养，养性命者也。且覃氏壮年得志，不知所养之正，务快于心，精神耗散，血气空虚，因致此疾。灵枢经云：人年十岁，五脏始定，血气已通，其气在下，故好走；二十岁血气始盛，肌肉方长，故好趋；三十岁五脏大定，肌肉坚，血气盛满，故好步；四十岁五脏六腑十二经脉皆大盛以平定，腠理始疏，华荣颓落，发颇斑白，平盛不摇，故好坐；五十岁肝气始衰，肝叶始薄，胆汁始减，目始不明；六十岁心气始衰，善忧悲，血气懈惰，故好卧；七十岁脾气始衰，皮肤已枯；八十岁肺气衰，魄魂散离，故言善误；九十岁肾气焦，脏枯，经脉空虚；百岁五脏皆虚，神气皆去，形骸独居而终矣。盖精神有限，嗜欲无穷，轻丧性命，一失难复，其覃氏之谓欤！

脱 营

疏五过论云：尝贵后贱，虽不中邪，病从内生，名曰脱营。镇阳有一士人，躯干魁梧而意气雄豪，喜交游而有四方之志，年逾三旬，已入任至五品，出入从骑塞途，姬侍满前，饮食起居，无不如意。不三年，以事罢去，心思郁结，忧虑不已，以致饮食无味，精神日减，肌肤渐至瘦弱，无如之何，遂耽嗜于酒，久而中满，始求医。医不审得病之情，辄以丸药五粒，温水送之，下二十余行。时值初秋，暑热犹盛，因而烦渴，饮冷过多，遂成肠鸣腹痛而为痢疾，有如鱼脑，以至困笃。命予治之，诊其脉，乍大乍小，其证反覆闷乱，兀兀欲吐，叹息不绝。予料曰：此病难治，启玄子云：神屈故也。以其贵之尊荣，贱之屈辱，心怀慕眷，志结忧惶，虽不中邪，病从内生，血脉虚减，名曰脱营。或曰：愿闻其理。黄帝针经有曰：宗气之道，内谷为宝。谷入于胃，乃传之脉，流溢于中，布散于外，精专者行于经隧，终而复始，常

营无已，是为天地之纪。故气始从手太阴起，注于阳明，传流而终于足厥阴，循腹里，入缺盆，下注肺中，于是复注手太阴，此营气之所行也。故日夜气行五十营，漏水下百刻，凡一万三千五百息。所谓交^①通者，并行一数也。故五十营备，得尽天地之寿矣。今病者始乐后苦，皆伤精气，精气竭绝，形体毁阻，暴喜伤阳，暴怒伤阴，喜怒不能自节。盖心为君主，神明出焉；肺为相辅，主行营卫，制节由之。主贪人欲，天理不明，则十二官相使，各失所司，使道闭塞而不通，由是则经营之气脱去，不能灌溉周身，百脉失其天度，形乃大伤，以此养生则殃，何疑之有焉。

下工绝气危生

丁巳予从军至开州，夏月，有千户高国用谓予曰：父亲年七十有三，于去岁七月间，因内伤饮食，又值霖雨，泻痢暴下数行，医以药止之，不数日，又伤又泻，止而复伤，伤而复泄，至十月间，肢体瘦弱，四肢倦怠，饮食减少，腹痛肠鸣，又以李医治之，处以养脏汤，治之数日，泻止，后添呕吐，又易以王医，用丁香、藿香、人参、去白橘皮、甘草同为细末，煎生姜数服而呕吐止，延至今正月间，饮食不进，扶而后起，又数日，不见大便。予问医曰：父亲数日不见大便，何以治之？医曰：老官人年过七旬，气血衰弱，又况泻痢半载，脾胃久^②虚，津液耗少，以麻仁丸润之可也。众亲商议，一亲知曰：冯村牛山人，见证不疑，有果决。遂请治之，诊其脉，问其病证，曰：此是风结也。以搜风丸百余丸服之，利下数行而死。予悔恨不已，敢以为问，予曰：未尝亲见，将何以言。高千户退而去。或者曰：予亲见之，细说其证。予曰：人以水谷为本，今年高老人久泻，胃中津液耗少，又重泻之，神将何依？灵枢

① 交：卫生宝鉴作“变”。

② 久：卫生宝鉴作“又”。

经云：形气不足，病气不足，此阴阳俱不足也，不可泻之，泻之则重不足，重不足则阴阳俱竭，血气皆尽，五脏空虚，筋骨髓枯，老者绝灭，少者不复矣。又曰：上工平气，中工乱脉，下工绝气危生。绝气危生，其牛山人之谓欤！

冬藏不固

刑部侍郎王立甫之婿，年二十五岁，至元丁卯十一月间，因劳役忧思烦恼、饮食失节而病，时发躁热，肢体困倦，盗汗湿透其衾，不思饮食，气不足一息，面色青黄不泽，请予治之，具说前证。诊其脉，浮数而短涩，两寸极小。予告曰：此危证也，治虽粗安，至春必死，当令亲家知之。夫人不以为然，遂易医，至正月躁热而卒。异日，立甫同外郎张介夫来，谓予曰：吾婿果如君言，愿闻其理。予曰：此非难知也，内经曰：主胜逆，客胜从，天之道也。盖时令为客，人身为主，冬三月人皆惧寒，独渠躁热盗汗，是令不固其阳，时不胜其热，天地时令，尚不能制，药何能为？冬乃闭藏之月，阳气当伏于九泉之下，至春发为雷，动为风，鼓拆^①万物，此奉生之道也。如冬藏不固，则春生不茂，又有疫疠之灾。且人身阳气，亦当伏潜于内，不敢妄扰，无泄皮肤，使气亟夺，此冬藏之应也。令婿汗出于闭藏之月，肾水已涸，至春何以生木？阳气内绝，无所滋荣，不死何待。二君乃难^②息而去。

用药无据反为气贼

北京按察书吏李仲宽，年逾五旬，至元己巳春，患风证，半身不遂，四肢麻痹，言语謇涩，精神昏愤。一友处一法，用大黄半斤，黑豆三升，水一斛，同煮豆熟，去大黄，新汲水淘净黑豆，每日服二三合，则风热自去，服之过半。又一友云：通圣散、四物汤、黄连解毒汤，相合服之，其效尤速。服月余，精神愈困，遂还真定，归家养病，亲旧献方

无数，不能悉录。又增喑哑不能言，气冷手足寒。命予诊视，细询前由，尽得其说。予诊之，六脉如蛛丝细。予谓之曰：夫病有表里虚实寒热不等，药有君主^③佐使大小奇偶之制，君所服药无考凭，故病愈甚，今为不救，君自取耳！未几而死。有曹通甫外郎妻萧氏，六旬有余，孤寒无依，春月忽患风疾，半身不遂，语言謇涩，精神昏愤，口眼喎斜，与李仲宽证同。予刺十二经井穴，接其经络不通，又灸肩井、曲池，详病时月，处药服之，减半。予曰：不须服药，病将自愈。明年春，张子敬郎中家见行步如故。予叹曰：夫人病全得不乱服药之力。由此论李仲宽乱服药，终身不救；萧氏贫困，恬憺自如获安。内经云：用药无据，反为气贼，圣人戒之。一日，姚雪斋举许先生之言曰：富贵人有二事，反不如贫贱人，有过恶不能匡救，有病不能医疗。噫！其李氏之谓欤！

主不明则十二官危

癸丑春，槁城令张君，年三十有余，身体丰肥，精神康健，饮食倍于常人。太医王彦实^④曰：君肥盛如此，若不预服凉药，恐生热病。张君从之，遂服三一承气汤二两，下利三十余行，异日觉阴阴腹痛，且不欲食，食而无味，心下痞满，精神困倦，次添胸膈闭塞，时作如刀割之痛，稍多食则醋心腹胀，不能消化，以此告予。予曰：昔君康强，饮啖如常，血气周流，循其天度，十二脏之相使，各守所司，神气冲和，身体太平；君自戕贼，冲气败乱而致病如此，虽悔何及。予遂以四君子汤甘温之剂，补脾安胃，更加人参、黄芪、升麻，升阳补气，戒以慎起居，节饮食，服之月余，胸中快利而痛止，病气虽去，终不复旧矣。未几五旬，中风而死。

① 拆：卫生宝鉴作“圻”。

② 难：卫生宝鉴作“叹”。

③ 主：卫生宝鉴作“臣”。

④ 实：卫生宝鉴作“宝”。

灵兰秘典云：主不明则十二官危，形乃大伤，以此养生则殃，以为天下者，其宗大危，戒之戒之！启玄子云：心不明邪正一，邪正一则损益不分，损益不分，则动之凶咎，陷身于羸瘠矣，故形乃大伤。夫主不明则委于左右，委于左右，则权势妄行，权势妄行则吏不奉法，吏不奉法，则人民失所而皆受枉曲矣。且民维邦本，本固邦宁，本不获安，国将何有？宗庙之主，安得不至于倾危乎？故曰：戒之戒之！张君安危不察，损益不分，妄加治疗，以召其祸，可痛也哉！此既往不可咎，后人当以此为明鉴。

戒 妄 下

真定钞库官李提举，年逾四旬，体干魁梧，肌肉丰盛。其僚友师君告之曰：肥人多风证，君今如此，恐后致中风，搜风丸其药推陈致新化痰，宜服之。李从其言，遂合一料，每日服之，至夜下五行，如是半月，觉气短而促，至一月余，添怠惰嗜卧，便白脓，小便不禁，足至膝冷，腰背沉痛，饮食无味，仍不欲食，心胸痞满，时有躁热，健忘，恍惚不安。凡三易医皆无效，因陈其由，请予治之。予曰：孙真人云药势有所偏助，令人脏气不平。药本攻疾，无病不可饵。平人谷入于胃，脉道乃行，水入于经，其血乃成。水去则荣散，谷消则卫亡，荣散卫亡，神无所依。君本身体康强，五脏安泰，妄以小毒之剂，日下数行，初服一日，且推陈下行，陈积已去，又何推焉？今饮食不为肌肤，水谷不能运化精微，灌溉五脏六腑，周身百脉，神将何依？故气短而促者，真气损也；怠惰嗜卧者，脾气衰也；小便不禁者，膀胱不藏也；便下脓血者，胃气下脱也；足胫寒而逆者，阳气微也；时有躁热，心下虚痞者，胃气不能上荣也；恍惚健忘者，神明乱也。金匱要略云：不当下而强下之，令人开肠洞泄，便溺不禁而死。前证所生非天也，君自取之。治虽粗安，促君命期矣。李闻之惊恐，汗浹

于背，起谓予曰：妄下之过，悔将何及！虽然，君当尽心救其失。予以谓病势过半，命将难痊，固辞而退。至秋疾甚作，医以夺命散下之，躁热喘满而死。内经云：诛罚无过，是谓大惑。知^①李君者，盖内经所谓大惑之人也，卫生君子，可不戒哉！

轻易服药戒

何秀才一女子病，其父谓予曰：年十三时，五月间，因伤冷粉，腹中作痛，遂于市药铺中，賤得神芎丸服之，脐腹渐加冷痛，时发时止，今逾七八年不已，何也？答曰：古人云：寒者热之。治寒以热，良医不能废其绳墨而更其道也。据所伤之物，寒也，所攻之药，亦寒也，重寒伤胃，其为冷痛，岂难知哉！凡人之脾胃，喜温而恶冷，况女子幼小，血气尚弱，不任其寒，故阳气潜伏，寒毒留连，久而不除也。治病必先求其本，当用温中养气之药，以救前失，服之月余方愈。呜呼！康子馈药，孔子拜而受之，以未达不敢尝，此保生之重者也。奈何常人命医，拱默而令切脉，以谓能知病否。且脉者，人之血气，附行于经络之间，热胜则脉疾，寒胜则脉迟，实则有力，虚则无力，至于所伤何物，岂能别其形象乎？医者不可不审其病源，而主家不可不说其病源。如何氏女子，不以病源告医，而求药于市铺；发药者亦不审其病源，而以药付之，以致七八年之病，皆昧此理也。孙真人云：未诊先问，最为有准。东坡云：只图愈疾，不图困医。二公之语，其有功于世大矣。

妄投药戒

高郎中家好收方书，及得效药方，家人有病，自为处治，亦曾有效。中统庚申五月间，弟妇产未满月，食冷酪饭^②苦苣及新李数枚，渐觉腹中痛，太夫人以自合槟榔丸七

① 知：卫生宝鉴作“如”。

② 饭：卫生宝鉴无此字。

十丸服之，至夜，痛尤甚，恐药力未达，又进五十丸，须臾间，大吐且泻，其痛增极，肢体渐冷，口鼻气亦冷，急求医疗，未至而卒。后太夫人见予，诉其由，曰：天命耶？药之过耶？君试裁之。予曰：非难知也，凡医治病，虚则补之，实则泻之，此定法也。人以血气为本，今新产血气皆损，胃气虚弱，不能腐熟生硬物，故满而痛也，复以寒剂攻之，又况夏月阴气在内，重寒相合，是大^①气入腹，使阴盛阳绝，其死何疑？难经曰：实实虚虚，损不足而益有余。如此死者，医杀之耳，非天命也。太夫人然其言。噫！曲礼谓医不三世，不服其药，其慎如此。彼祸^②已往而不可咎，后之用药者，当以此为戒之。

福医治病

丙辰秋，楚丘县贾君次子，二十七岁，病四肢困倦，躁热自汗，气短，饮食减少，咳嗽痰涎，胸膈不利，大便秘，形容羸削，一岁间更数医不愈。或曰：明医不如福医，某处某医，虽不精方书，不明脉候，看证极多，治无不效，人目之曰福医，谚云：饶你读得王叔和，不如我见过病证多。颇有可信，试命治之。医至，诊其脉曰，此病予饱谙矣，治之必效。于肺膈各灸三七壮，以蠲饮枳实丸消痰导滞，不数服，大便溏泄无度，加腹痛，食不进，愈添困笃。其子谓父曰：病久瘦弱，不任其药。病剧遂卒。冬，予从军回，其父以告予。予曰：思内经云：形气不足，病气不足，此阴阳俱不足，泻之则重不足，

此阴阳俱竭，血气皆尽，五脏空虚，筋骨髓枯，老者绝灭，壮者不复矣。故曰不足补之，此其理也。令嗣久病羸瘦，乃形不足，气短促，乃气不足，病潮作，时嗜卧，四肢困倦，懒言语，乃气血皆不足也，补之惟恐不及，反以小毒之剂泻之，虚之愈虚，损之又损，不死何待？贾君叹息而去。予感其事，略陈其理。夫高医愈疾，先审岁时太过不及之运，察人之血食布衣^③勇怯之殊，病有虚实浅深，在经在脏之别，药有君臣佐使，大小奇偶之制，治有缓急因用，引用返正之则。孙真人云：凡为太医，必须谙甲乙、素问、黄帝内经、明堂流注、十二经、三部九候、五脏六腑、表里孔穴、本草、药对、仲景、叔和诸部经方，又须妙解五行阴阳，精熟周易，如此方可为太医。不尔，则无目夜游，动致颠损。正五音者，必取师旷之律吕，而后五音得以正；为方员者以^④取公输之规矩，而后方员得以成。五音方员，特末技耳，尚取精于其事者，况医者人之司命，列于四科，非五音方员之比，不精于医，不通于脉，不观诸经本草，赖以命通运达，而号为福医，病家遂委命于庸人之手，岂不痛哉！噫！医者之福，福于渠者也，渠之福安能消病者之患焉。世人不明此理，而委命于福医，至于伤生丧命，终不能悟，此惑之甚者也，悲夫！

① 大：卫生宝鉴此下有“寒”字。

② 祸：卫生宝鉴作“过”。

③ 血食布衣：卫生宝鉴作“血气饮食”。

④ 以：卫生宝鉴作“必”。

总 论 三

卫 生 宝 鉴 二

药 类 法 象

咬咀药类

古人用药治病，择净口咀嚼，水煮服，谓之咬咀。后人用铡刀细锉，桶内锉过，以竹筛齐之。药有气味厚薄，升降、浮沉、补泻，各各不同，今详录之，及拣择制度修合之法，具列于后：

风升生 味之薄者，阴中之阳，味薄则通，酸、苦、咸、平是也。

防风 气温，味辛。疗风，通用泻肺实，散头目中滞气，除上焦风邪之仙药也。误服，泻人上焦元气。去芦并叉股，铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

升麻 气平，味微苦。此足阳明胃^①太阴脾行经药也，若补其脾胃，非此为引用不能补。若得葱白、香白芷之类，亦能走手阳明太阴，能解肌肉间热，此手足阳明伤风之的药也。刮去黑皮并^②腐烂，里白者佳。铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

羌活 气温，味苦、甘、平。治肢节疼痛，利诸节，手足太阳风药也。加川芎，治太阳、少阳^③头痛，透关利节。去黑皮并腐烂，铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

独活 气温，味苦、甘、平。足少阴肾行经药也。若与细辛同用，治少阴经头痛。一名独摇草，得风不摇，无风自摇动。去皮净，铡碎锉^④，锉过，竹筛齐之，用。

柴胡 气平，味微苦。除虚劳烦热，解肌热，去早晨潮热，此少阳、厥阴行经药也。妇人产前产后必用之药，善除本经头痛，非他药能

止。治心下痞，胸膈痛。去芦，铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

前胡 气温，味苦。主痰满，胸胁中痞，心腹强气。治伤寒热实，明目益精，推陈致新，半夏为使，铡锉用。

葛根 气平，味甘。治脾胃虚而渴，除胃热，解酒毒，通行足阳明之经。去皮，铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

葳灵仙 气温，味甘，一作苦。主诸风湿冷，宣通五脏，腹内癰滞，腰膝冷疼，及治折伤。铁足者佳，去芦，铡细用。

细辛 气温，味大辛。治少阴头痛如神，当少用独活为使。去芦并叶，华州者佳，铡细用。

香白芷 气温，味大辛。治手阳明头痛，中风寒热，解利药也。以四味升麻汤中加之，通行手足阳明经。先铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐之，用。

桔梗 气温，味辛、苦。治咽喉痛，利肺气。去芦，米泔浸一宿，焙干，铡碎锉，桶内锉过，竹筛齐，用。

黍粘子 气平，味辛。主风毒肿，利咽膈，吞一枚可出疮疽头。捣细用。

藁本 气温，味大辛。此太阳经风药，治寒气郁结于本经，头痛脑痛^⑤，大寒犯脑，令人脑痛、齿亦痛。东垣试效方亦治风通用，气力雄壮也。铡细用。

川芎 气温，味辛。补血，治血虚头痛之圣药

① 胃：卫生宝鉴此下有“足”字。

② 并：卫生宝鉴作“兼”。

③ 阳：卫生宝鉴作“阴”。

④ 碎锉：卫生宝鉴作“锉碎”，此下并有“桶”字。

⑤ 脑痛：卫生宝鉴无此二字。

也。妊妇胎动数月，加当归，二味各二钱，水二盏，煎至一盏，服之神效。捣细，以纱罗罗过^①用。

蔓荆子气清，味辛，温。治太阳头痛、昏闷，除头昏目暗，散风邪之药也。胃虚人不可服，恐生痰。拣捣用。

秦艽气微寒，味苦。主寒热邪气，寒湿风痹，下水，利小便，疗黄病骨蒸，治口噤及肠风泻血。去芦头，铡碎锉，桶内锉，竹筛齐之，用。

天麻气平，味苦。治头风，诸风湿痹，四肢拘挛，小儿风痫惊气，利腰膝，强筋骨。铡用。苗谓之定风草。

麻黄气温，味苦。发太阳少阴经汗。去芦，铡，微捣碎，煮^②三、二沸，掠去上沫，不然，令人心烦。

荆芥穗气温，味辛、苦。辟邪毒，利血脉，宣通五脏不足气，能发汗，除劳冷。捣和醋，封毒肿。去枝，手搓碎用。

薄荷气温，味苦、辛。能发汗，通关节，解劳乏。与薤相宜。新病人不可多食，令人虚汗不止。去枝茎及黄叶，搓碎用之。

热浮长气之厚者，阳中之阳，气厚则发热，辛、甘、温，热是也。

黑附子气热，味大辛。其性走而不守，亦能除肾东垣试效方作胃。中寒甚。白术为佐，谓之术附汤，除寒湿之圣药。温药中少加之，通行诸经，引用药也。及治经闭。慢火炮裂，铡细用。

川乌头气热，味大辛。疗风痹、血痹，东垣试效方此下有寒痹二字。半身不遂，行经药也。先以慢火炮裂，刮去皮脐，铡细用。

肉桂气热，味大辛。补下焦热^③火不足，治沉寒痼冷之病，及表虚自汗；春夏为禁药也。去皴，捣用。

桂枝气热，味甘辛。仲景伤寒论发汗用桂枝，桂枝者，乃桂条也，非身幹也，取其轻薄而能发散。今又有一种柳桂，乃嫩小桂条也，尤宜入治上焦药用也。以铡碎用。

木香气热，味辛、苦。除肺中滞气。若疗中下焦气结滞，须用槟榔为使。广州者佳，铡细用。

丁香气温，味辛。温脾胃，止霍乱，消痃癖，气胀反胃，腹内冷痛，壮阳，暖腰膝，杀酒毒。捣细用。

白豆蔻气热，味大辛。荡散肺中滞气，主积冷气，宽膈，止反胃吐逆，消谷下气进食。去皮，捣细用。

草豆蔻气热，味大辛。治风寒邪客在于胃口上，善去脾胃客寒，令人心胃痛。面裹煨熟，捣细用。

益智仁气热，味大辛。治脾胃中受寒邪，和中益气，治多唾，于补中药内兼用，不可多服。去皮，捣细用。

川椒气热，味辛。主邪气，温中，除寒痹，坚齿发，明目，利五脏。凡用炒去汗及合口者，手搓细用。

缩砂仁气温，味辛。治脾胃气结滞不散，主虚劳、冷泻、心腹痛，下气，消食。捣细用。

乾姜气热，味大辛。治沉寒痼冷，肾中无阳，脉气欲绝。黑附子为引，用水同煎，姜附汤是也，亦治中焦有寒。水洗，慢火炮裂后，锉细用。

玄胡气温，味辛。破血，治气，妇人月水不调，小腹痛，温暖腰膝，破散痼瘕。捣细用。东垣试效方主破血，止少腹痛，产后诸疾，妇人月事不调。

乾生姜气温，味辛。主伤寒头痛鼻塞，上气痰嗽，止呕吐，生姜同治。与半夏等分，治心下急痛。铡用。

良姜气热，味辛。主胸中冷、霍乱、腹痛、反胃呕食、转筋、泻利、下气、消宿食。铡细用。

吴茱萸气热，味苦辛。治寒^④在咽嗑，噎塞胸中。经言咽膈不通，食不下，食则呕，令人

① 过：卫生宝鉴作“细”。

② 煮：卫生宝鉴作“煮”。

③ 热：卫生宝鉴作“相”。

④ 寒：卫生宝鉴作“寒”。

口开目瞪，寒邪所结，气不得上下，此病不已，令人寒中，腹满膨胀，下利寒气，用之如神，诸药不可代也。洗出苦味，晒乾捣用。

厚朴气温，味辛。能除腹胀，若虚弱人，虽腹胀宜斟酌用之。寒胀是也，大热药中兼用，结者散之，神药也。误服脱人元气，切禁之。紫色者佳。去皮，铡碎，姜制，微炒锉，桶锉，竹筛齐，用。

茴香气平，味辛。破一切臭气，调中止呕，下食。炒黄，捣细用。

红花气温，味甘、辛。主产后口噤，血运¹腹内恶血不尽绞痛，破留血神验。手搓碎用。

神面²消食，治脾胃食不化，须用于脾胃药中少加之。微炒黄用。

湿化成中方³

戊湿，其本气平。其兼气温、凉、寒、热，在人以胃应之。

己土，其本味咸。其兼味辛、甘、咸、苦，在人以脾应之。

人参气温，味甘。治脾肺阳气不足及肺气促、短气，非升麻为引用，不能补上升之气，升麻一分，人参三分，可为相得也。若补下焦元气，泻肾中火邪，茯苓为之使，甘草梢子生用为君。此药能补中缓中，短气少气，泻肺脾胃火邪，善去茎中痛，或加苦练⁴酒煮玄胡为主，尤好尤效。去芦，铡细用。

黄芪气温，甘平。治虚劳自汗，补肺气，实皮毛，泻肺中火，脉弦自汗，善治脾胃虚弱，血脉不行，疮疡内托，阴证疮疡必用之。去芦皴，铡碎锉，桶锉，竹筛齐之，用。

甘草气平，味甘。生用大凉，泻热火，炙则温，能补上中下三焦元气，调和诸药，共为力而不争，性缓，善解诸急，故有国老之称。去皮，铡碎锉，桶锉，竹筛齐之，用。

当归气温，味甘。和血补血。尾，破血；身，和血。用以温水洗去土，酒制焙晒乾，去芦，铡细用。

熟地黄气寒，味苦。酒晒蒸如乌金，假酒力则微温，大补血虚，虚损血衰人须用，善黑

鬓髦。忌萝卜。铡用。

半夏气微寒，味辛、平。东垣试效方辛、苦、热。治寒痰及形寒饮冷伤肺而咳，大和胃气，除胃寒，进饮食，太阳试效方作阴。痰厥头痛，非此药不能除也。汤泡七次，铡细用。

白术气温，味甘。能除湿益燥，和中益气，利腰膝东垣试效方作腹脐。间血，除胃中热。捣碎，纱罗子罗过用。

苍术气温，味甘。主治与白术同，若除上湿、发汗功最大；若补中焦、除湿力少。如白术泔浸，刮去皮，捣细用。

橘红气温，味微苦。能益气。加青皮减半，去气滞，推陈致新。若补脾胃，不去白；理胸中肺气，去白。捣细用。

青皮气温，味辛。主气滞，消食，破积气结膈。去穰，捣细用。

藿香气微温，味甘、平⁵。疗风水，去恶气，治脾胃吐逆，霍乱心痛。去枝茎，用叶，以手搓细用。

槟榔气温，味辛。治后重如神，性如铁石之沉重，能坠诸药至于下极。捣细用。

广茂气温，味苦、平。主心膈痛，饮食不消，破痞癖气最良。火炮，铡开捣细，纱罗罗过用。

京三稜气辛，味苦。主老癖瘕瘕结块，妇人血脉不调，心腹刺痛。火炮，铡开捣细，纱罗罗过用。

阿胶气微温，味甘、平。主心腹痛，血崩，补虚安胎，坚筋骨，和血脉，益气，止痢。慢火炮，肥搓细用。

诃子气温，味苦。主腹胀满，饮食不下，消痰下气，通利津液，破胸膈结气，治久痢，赤白肠风。东垣试效方疗肠风泻血。去核，铡用。

桃仁气温，味甘、苦。治大便血结、血秘、血燥，通润大便。七宣丸中用之，专疗血结，

1 运：卫生宝鉴作“晕”。

2 面：卫生宝鉴作“曲”。此下并注有“气温，味甘辛”五字。

3 方：卫生宝鉴作“央”。

4 练：卫生宝鉴作“慄”。

5 平：卫生宝鉴作“辛”。

破血。汤退^①去皮尖，研如泥用。

杏仁气温，味甘、苦。除肺燥，治气燥在胸膈。麸炒，去皮尖用。

大麦蘖气温，味咸。补脾胃虚，宽肠胃。先捣细，炒黄色，取面用。

紫草气寒，味苦。主心腹邪气，五疸，补中益气，利九窍，通水道，疗腹胀满。去土，用茸，侧细用之。

苏木气平，味甘、咸。主破血，产后血胀满欲死，排脓止痛，消痈肿瘀血，月经不调，及血运^②口噤。侧细用。

燥降收气之薄者，阳中之阴，气薄则发泄，辛、甘、淡、平、寒、凉是也。

茯苓气平，味甘。能止渴，利小便除湿益燥，和中益气，利腰脐间血，为主治小便不通，溺黄或赤而不利。如小便利或数，服之则大损人目。如汗多人服之，损元气，夭人寿。医云，赤利白补，上古无此说。去皮捣细，纱罗过用。

猪苓气平，味甘。大燥，除湿，比诸淡渗药大燥亡津液，无湿证勿服。去黑皮，里^③白者佳，捣罗过用。

琥珀气平，味甘。安五脏，定魂魄，消瘀血，通五淋。捣细，纱罗^④过用。

泽泻气平，味甘。除湿之圣药也，治小便淋沥，去阴间汗。无此疾服之，令人目盲。捣碎，纱罗过用。

滑石气寒，味甘。性沉重，能泄气，上^⑤令下行，故曰滑则利窍。治前阴窍涩不利，利窍不比与渗淡诸药同。白者佳，捣，水飞，用。

瞿麦气寒，味甘^⑥。主关格诸癰结，小便不通，治肿痈排脓，明目去翳，破胎堕子，下闭血，逐膀胱邪热。去枝用穗，侧细用。

车前子气寒，味甘。主气癰闭，利水道，通小便，除湿痹，肝中风热冲目赤痛。捣细，纱罗过，用。

木通气平，味甘。主小便不通，导小肠中热。去粗皮，侧碎锉，桶锉，竹筛齐，用。

灯草、通草气平，味甘。通阴窍涩不利，利小水，除水肿，治五淋闭。东垣试效方此下有与琥珀同四字。侧细，生用。

五味子气温，味酸。大益五脏之气。孙真人云：五月常服，补五脏气。遇夏月季月间，人困乏无力，乃无气以动也，以黄芪、人参、麦门冬，东垣试效方此下有五味子三字。少加黄柏，锉，煎汤服，使人精神、神气两足，筋力涌出。生用。

白芍药气微寒，味酸。补中焦之药。得炙甘草为辅，治腹中痛；如夏月腹痛，少加黄芩；若恶寒腹痛，加肉桂一分，白芍药二^⑦钱，炙甘草一钱半，此仲景神品药也。如冬月大寒腹中痛，加桂一钱半，水二盏，煎一盏，去粗。侧碎锉，桶锉，竹筛齐，用。东垣试效方云：补中焦之药。得炙甘草为辅，治腹中疼之圣药也。如夏中热，腹痛，少加黄芩，其痛立止；若病人春夏秋三时腹痛，亦少加黄芩；若恶寒腹痛，只少加肉桂一钱，白芍药三钱，炙甘草一钱半，此三味为治寒腹痛，此仲景神品药也。如深秋腹痛，更加桂二钱；如冬月大寒，腹中冷痛，加桂作二钱半，水二盏煎服。

桑白皮气寒，味苦、酸。东垣试效方甘、寒。主伤中五劳试效方此下有六极二字。羸瘦，补虚益气，除肺中水气，止唾血、热渴，消水肿，利水道。去皮，侧碎^⑧锉，桶内锉，竹筛齐之，用。

天门冬气寒，味微苦。保肺气，治血热侵肺，上喘气促，加黄芪、人参用之为主，如神。汤浸去心，晒乾用。

麦门冬气寒，味微苦。治肺中伏火，脉气欲绝。加五味子、人参三^⑨味，东垣试效方水煎服。谓之生脉散，补肺中元气不足。汤浸去心用。

犀角气寒，味苦、酸。主伤寒、温疫头痛，安心神，止烦乱，明目镇肝，治中风失音，小

① 退：卫生宝鉴作“泡”。

② 运：卫生宝鉴作“晕”。

③ 里：卫生宝鉴无此字。

④ 罗：卫生宝鉴此下有“子罗”二字。

⑤ 上：卫生宝鉴作“且”。

⑥ 甘：卫生宝鉴作“苦”。

⑦ 二：卫生宝鉴作“三”。

⑧ 碎：卫生宝鉴无此字。

⑨ 三：卫生宝鉴作“二”。

儿麸豆风热惊痫。镑为末用之。

乌梅气平，味酸。主下气，除热烦满，安心调中，治痢止渴。以盐鼓为白梅，亦入除痰药。去核，侧细用。

牡丹皮气寒，味苦。治肠胃积血及衄血、吐血之要药，犀角地黄汤中之一味也。侧细用。

地骨皮气寒，味苦。解骨蒸肌热^①，主消渴，去风湿痹，坚筋骨。去骨用皮，锉细用。

连翘气平，味苦。主寒热瘰癧，诸恶疮肿，除心中客热，去胃^②虫，通五淋。以手搓碎^③用。

枳壳气寒，味苦。治胃^④中痞塞，泄肺气。麸炒去穰，捣细，纱罗^⑤过用。

枳实气寒，味苦、酸、咸。除寒热，破结实，消痰癖，治心下痞、逆气、胁痛。麸炒去穰，捣，罗过用。

寒沉藏味之厚者，阴中之阴，味厚则泄，酸、苦、咸、气寒^⑥是也。

大黄气寒，味苦。其性走而不守，泻诸实热，大肠不通，荡肠胃热，专治不大便。去皮，侧碎，竹筛齐，用。

黄柏气寒，味苦。治肾水^⑦膀胱不足，诸痿厥腰脚无力，于黄芪汤中少加用之，使两足膝中气力涌出，痿软即时去也。蜜炒为细末，治口疮、痢疾必用药也。去皮，侧碎锉，桶锉，竹筛齐，用。

黄芩气寒，味微苦。治肺中湿热，疗上热、目中赤肿、瘀肉壅盛必用之药，泄肺受火邪，上逆于膈上，补膀胱之寒水不足，乃滋其化源。去皮并黑腐，侧细锉，桶锉，竹筛齐，用。

黄连气寒，味苦。泻心火，除脾胃中湿热，治炼^⑧恶心，郁热在中焦，兀兀欲吐，治心下痞满。仲景云：治九种心下痞，泻心汤皆用之。去须，侧碎用之。

石膏气寒，味甘、辛^⑨。治足阳明经发热、恶热、躁热、潮热，自汗，小便浊赤，大渴引饮，身体肌肉壮热，苦头痛，白虎汤是也，善治本经头痛。若无此证，医者误用，有不

可胜救也。捣细，罗用。

草龙胆气寒，味大苦。治赤目肿痛睛胀，瘀肉高起，痛不可忍，以柴胡为主，治眼疾必用之药也。去芦，侧碎锉，桶锉，竹筛齐，用。

生地黄气寒，味苦。凉血，补东垣试效方此下有血字。益肾水真阴不足。此药大寒，宜斟酌用，恐伤人胃气。侧细用。

知母气寒，味大辛。治足阳明火热，大补益肾水膀胱之寒。刮去黑皮苗，里白者佳，侧细用。

汉防己气寒，味大苦。疗腰以下至足湿热肿盛，脚气，补膀胱，去留热，行十二经。去皮，侧细锉。桶锉，竹筛齐，用。

茵陈蒿气微寒，味苦、平。除烦热，主风湿寒热邪气，热结黄疸，通身发黄，小便不利。去枝用叶，手搓碎用。

朴硝气寒，味苦、辛。除寒热邪气，逐六腑积聚，结固血癖，胃中食饮，热结血闭，去停痰痞满，消毒。生用。

瓜蒌根气寒，味苦。主消渴身热，烦满太^⑩热，补虚安中，通月水，消肿毒瘀血，及热狂疮疖。捣细，罗过用。

牡蛎气微寒，味寒^⑪、平。主伤寒、寒热、温疟，女子带下赤白，止汗，心痛气结，涩大小肠，治心胁下痞。烧白，捣罗用。

苦参气寒，味微苦。足少阴肾经之君药也，治本经须用。侧细锉，桶锉，竹筛齐之，用。

地榆气微寒，味甘、酸。主产乳七伤，带下，月经不止，血崩之病，除恶血，止痛，治肠风泄血，小儿疳痢。性沉寒，入下焦，治热

① 热：卫生宝鉴无此字。

② 胃：卫生宝鉴作“白”。

③ 碎：卫生宝鉴作“细”。

④ 胃：卫生宝鉴作“胸”。

⑤ 罗：卫生宝鉴此下有“子罗”二字。

⑥ 气寒：卫生宝鉴作“寒”。

⑦ 水：卫生宝鉴作“下”。

⑧ 治炼：卫生宝鉴作“烦燥”。

⑨ 辛：卫生宝鉴作“苦”。

⑩ 太：卫生宝鉴作“大”。

⑪ 寒：卫生宝鉴作“咸”。

血痢用。

川楝子气寒，味苦、平。主伤寒大热烦躁，杀三虫，疥痒，通利大便小便。捣细用。

山梔子气寒，味微苦。治心烦懊恼，烦不得眠，心神颠倒欲绝，血滞，小便不利。捣细用。

香豉气寒，味苦。主伤寒头痛，烦躁满闷。生用之。

气味厚薄寒热阴阳升降之图



升降者天地之气交

茯苓：淡，为在天之阳，阳也，阳当上行，何为利水而泄下？经云：气之薄者，乃阳中之阴。所以茯苓利水而泄下，然而泄下亦不离乎阳之体，故入手太阳也。

麻黄：苦，为在地之阴，阴也，阴当下行，何谓发汗而升上？经云：味之薄者，乃阴中之阳。所以麻黄发汗而升上，亦不离乎阴之体，故入手太阴也。

附子：热，气之厚者，乃阳中之阳，故经云发热。

大黄：苦，味之厚者，乃阴中之阴，故

经云泄下。

粥：淡，为阳中之阴，所以利小便。

茶：苦，为阴中之阳，所以清头目。

清阳发腠理，清之清者也。

清阳实四肢，清之浊者也。

浊阴归六腑，浊之浊者也。

浊阴走五脏，浊之清者也。

药性要旨

苦药平升，微寒平亦升，甘辛药平降。

甘寒泻火，苦寒泻湿热，苦甘寒泻血热。

脏气法时补泻法

肝苦急，急食甘以缓之。心苦缓，急食酸以收之。

肺苦气上逆，急食苦以泄之。脾苦湿，急食苦以燥之。

肾苦燥，急食辛以润之。开腠理，致津液，通气也。

肝欲散，急食辛以散之。以辛补之，以酸泻之。

心欲软，急食咸以软之。以咸补之，以甘泻之。

脾欲缓，急食甘以缓之。以甘补之，以苦泻之。

肺欲收，急食酸以收之。以酸补之，以辛泻之。

肾以^①坚，急食苦以坚之。以苦补之，以咸泻之。

此五者，有辛、酸、甘、苦、咸，各有所利，或散、或收，或缓、或急，或软、或坚，四时五脏，病随五味所宜也。

治法纲要

气交变论，说五运太过不及云云。夫五运之政，犹权衡也，高者抑之，下者举之，化者应之，变者复之，此生长化^②收藏之理，

① 以：卫生宝鉴作“欲”。

② 化：卫生宝鉴此下有“成”字。

气之常也，失常则天地四塞矣。

失常之理，则天地四时之气而^①所运行，故动必有静，胜必有复，乃天地阴阳之道也。

抑 举 辨

假令高者抑之，非高者固当抑也，以其本下而失之太高，故抑之而使下，若本高何抑之有。

假令下者举之，非下者固当举也，以其本高而失之太下，故举之而使高，若本下何举之有。

用药用方辨

仲景^②表虚，制桂枝汤，桂枝味辛热发散^③□阳体轻，本乎天者亲上，故桂枝为君，芍药、甘草佐之。阳脉涩，阴脉弦，法当腹中急痛，仲景制小建中汤，芍药味酸寒，主收补中，本乎地者亲下，故芍药为君，官桂、甘草佐之。一则治表虚，一则治里虚，各言其主用也。后之人用古方者，触类而长之，则知其本而不至于差误矣。

药 味 专 精

至元庚辰六月中，许伯威五旬有四，中气本弱，病伤寒八九日，医者见其热甚，以凉剂下之，又食梨三四枚，伤脾胃，四肢冷，时昏愤，请予治之。诊其脉，动而中止，有时自还，乃结脉也。亦心动悸，吃^④噫不绝，色青黄，精神减少，目不欲开，踰卧恶人语。予以炙甘草汤治之。成无己云：补可去弱。人参、大枣甘，补不足之气；桂枝、生姜辛，益正气；五脏痿弱，荣卫涸流，湿以润之，麻仁、阿胶、麦门冬、地黄之甘，润经益血，复脉通心；加桂枝、人参，急扶正气；减生地黄，恐损阳气；锉一两服之，不效。予再思脉病对，莫非药陈腐而不效乎。再于市铺选尝气味厚者，再煎服之，其病减半，再服而愈。凡药昆虫草木，生之有地，根叶花实，采之有时，失其地，性味少异，失其时，气

味不全，又况新陈不同，精粗不等，倘不择用，用之不效，医之过也。内经云：司岁备物，气味之专精也。修合之际，宜加意焉。

病有远近治有缓急

征南元帅不潏吉歹，辛酉八月初三戌时生，年七旬，丙辰春东征，南回至楚丘，诸路迎迓，多献酒礼^⑤，因而过饮，遂腹痛肠鸣，自利日夜约五十余行，咽嗝肿痛，耳前后赤肿，舌本强，涎唾稠粘，欲吐不能出，以手曳之方出，言语艰难，反侧闷乱，夜不得卧。使来命予，诊得脉浮数，按之沉细而弦，即谓中书粘公曰：仲景言下利清谷，身体疼痛，急当救里，后清便自调，急当救表，救里四逆汤，救表桂枝汤。总师今胃气不守，下利清谷，腹中疼痛，虽宜急治之，比之咽嗝，犹可少待。公曰：何谓也？答曰：内经云：疮发于咽嗝，名曰猛疽。此疾治迟则塞咽，塞咽则气不通，气不通则半日死，故宜急治。于是遂砭刺肿上，紫黑血出，顷时肿势大消。遂用桔梗、甘草、连翘、黍粘、酒制黄芩、升麻、防风等分，哎咀，每服约五钱，水煮清，令热漱，冷吐去之，咽之恐伤脾胃，自利转甚。再服涎清肿散，语言声出。后以神应丸辛热之剂，以散中寒，解化宿食，而燥脾湿。丸者，取其不即施化，则不犯其上热，至其病所而后化，乃治主以缓也。不数服，利止痛定。后胸中闭塞，作阵而痛，予思灵枢有云：上焦如雾，宣五谷味，薰肤充身泽毛，若雾露之溉，是为气也。今相公年高气弱，自利无度，致胃中生发之气，不能滋养于心肺，故闭塞而痛。经云：上气不足，推而扬之。脾不足者，以甘补之。再以异功散甘辛微温之剂，温养脾胃，加升麻、人参，上升以顺正气，不数服而胃^⑥中快利

① 而：卫生宝鉴作“无”。

② 景：卫生宝鉴此下有“治”字。

③ 散：此下脱字，卫生宝鉴作“助”。

④ 吃：卫生宝鉴作“呃”。

⑤ 礼：卫生宝鉴作“醴”。

⑥ 胃：卫生宝鉴作“胸”。

而痛止。内经云：调气之方，必别阴阳，内者内治，外者外治，微者调之，其次平之，胜者夺之，随其攸利，万举万全。又曰：病有远近，治有缓急，无越其制度。又曰：急则治其标，缓则治其本。此之谓也。

阳证治验

真定府赵吉夫，约年三旬有余，至元丙寅五月间，因劳役饮食失节，伤损脾胃，时发烦躁而渴，又食冷物过度，遂病身体困倦，头痛，四肢逆冷，呕吐而心下痞。医者不审，见其四肢逆冷，呕吐心下痞，乃用桂末三钱匕^①热酒调服，仍以绵衣覆之，作阴毒伤寒治之，须臾汗大出，汗后即添口乾舌涩，眼白睛红，项强硬，肢体不柔和，小便淋赤，大便秘涩，循衣摸床，如发狂状，问之则言语错乱，视其舌则赤而欲裂，朝轻暮剧，凡七八日，家人辈^②自谓危殆，不望生全。邻人吉仲元举予治之，诊其脉六七至，知其热证明矣，遂用大承气汤苦辛大寒之剂一两，作一服服之，利下三行，折其胜势。翌日，以黄连解毒汤大苦寒之剂二两，使徐徐服之，以去余热。三日后，病十分中减之五六，更与白虎加人参汤约半斤服之，泻热补气，前证皆退。戒以慎起居，节饮食，月余渐得平复。内经曰：凡用药者，无失天时，无逆气宜，无翼其胜，无赞其复，是谓至治。又云：必先岁气，无伐天和。当暑气方盛之时，圣人以寒凉药，急救肾水之原，补肺金之不足。虽有客寒伤人，仲景用麻黄汤内加黄芩、知母、石膏之类，发黄发狂，又有桂枝汤之戒。况医者用桂末热酒调服，此所谓差之毫厘，谬之千里，此逆仲景之治法。经云：不伐天和，不赞其复，不翼其胜，不失气宜。不然，则故病未已，新病复起矣。

用热远热从乎中治

郝道宁友人刘巨源，时年六十有五，至元戊寅夏月，因劳倦饮食不节，又伤冷饮得

疾。医者往往皆以为四时证，治之不愈。逮十日，道宁请太医罗谦甫治之。诊视曰：右手三部脉沉细而微，太阴证也，左手三部脉微浮而弦，虚阳在表也。大抵阴多而阳少，今所苦身体沉重，四肢逆冷，自利清谷，引衣自覆，气虽^③布息，懒语言，此脾受寒湿，中气不足故也。仲景言下利清谷，急当救里，宜四逆汤温之。内经复有用热远热之戒。口乾但欲漱水，不欲咽，早晨身凉而肌生粟，午后烦躁不欲去衣，昏昏睡而面赤，隐隐红斑见于皮肤，此表实里虚故也。内虚则外证随时而变。详内外之证，乃饮食劳倦，寒伤于脾胃，非四时之证明矣。治病必察其下，今适当大暑之时，而得内寒之病，以标本论之，时令^④标也，病为本也，用寒则顺时而违本，用热则从本而逆时，此乃寒热俱伤，必当从乎中治，中治者，温之是也。遂以钱氏白术散加升麻，就本方^⑤葛根、甘草以解其斑，少加白术、茯苓，以除湿而利其小便也，人参、藿香、木香，安脾胃，进饮食，咬咀，每服一两，煎服。再服，斑退而身温，利止而神出。次服异功散、治中汤辛温之剂一、二服，五日得平，止药。主人曰：病虽少愈，勿药可乎？罗君曰：药攻邪也，内经曰：治病以平为期，邪气既去，强之以药，变证随起。不若以饮食调养，待其真气来复，此不药而药，不治而治之理存焉。从之，旬日良愈。噫！谦甫之为医，深究内经之旨，以为据依，不为浮议之所摇，胸中了然，而无所滞，岂验方而用药者比也。巨源友旧，朝夕往视之，故得其详，不可不录之以为戒。五月廿五日，郝道宁谨题。

病宜早治

仲景伤寒论曰：凡人有疾，不时即治，

① 匕：卫生宝鉴作“以”。
② 辈：卫生宝鉴无此字。
③ 虽：卫生宝鉴作“难”。
④ 令：卫生宝鉴作“为”。
⑤ 方：卫生宝鉴此下有“加”字。

隐忍冀差，以成痼疾，小儿女子，益以滋甚，时气不和，便当早言。若不早治，真气失所。邪方萌动，无惮劬劳，不避晨夜而即治之，则药饵针艾之效，必易为之。不然，患人忍之数日乃说，邪气极盛而病极，成而后施治，必难为力。内经曰：其善治者治皮毛，其次治肌肤，其次治六腑，其次治五脏，治五脏者，半死半生矣。正以谓此。昔桓侯怠以皮肤之微疾，以至骨髓之病，虽悔何及。戊午

春，桃李始华，雨雪厚寸许，一园叟遽令举家执挺击树，尽堕其雪，又焚束草于其下，以散其寒，使冲和之气未伤而复。是年，他家果皆不成熟，独此园大熟，噫！果水^①之病，治之尚有不损，况人之有病，可不早治乎？故金匱玉函云：生候长存，形色未病，未入腠理，针药及时，服^②浮调节，委以良医，病无不愈者矣。

澹 寮 方

医功报应门

医以救人为心

医者当自念云：人身疾苦，与我无异，凡来请召，急去无迟，或止求药，宜即发付，勿问贵贱，勿择贫富，专以救人为心，……自有祐之者。乘人之急，故意求财，用心不仁，……自有祸之者。吾乡有张彦明，善医。僧道贫士军兵及贫者，求药皆不较钱，或反以钱米与之，人来请召，虽至贫下亦去，富者以钱求药，不问多寡，必多与药，期于必愈，未尝萌再携钱来求药之心，病若危笃，亦多以好药以慰其心，终不肯较钱，予与处其久，详知其人，为医而口终不言钱，可谓医人中第一等人矣。一日城中火灾，周回熬尽，烟焰中独存其居。一岁牛灾尤甚，而其庄上独全……。其子读书，乃预魁荐，孙二三人皆庞厚俊爽，……然使其孜孜以钱物为心，夫此数者，所得不足以偿所失矣。同门之人，不可鉴哉！张季明医说。

许 学 士

许叔微少尝以登科为祷。一夕梦神告曰：汝欲登科，须凭阴德。叔微自念家贫无力，惟医乃可，于是精意方书，久乃通妙，人无高下，皆急赴之，既而所活愈多，声名益著。复梦其神，受以一诗曰：药有阴功，陈楼间处，堂上呼卢，喝六作五。是年登第六名进

士第，上一名陈祖言，下一名楼材，及注闕用升甲恩如第五名，授职官以归，与诗中之言，无一字差，此则济人之病急者也。叔微有本事方传于世。同上。

聂 医 善 士

（文删）

医 不 贪 色

（文删）

用谗道以劫流俗

王居安秀才，久苦痔疾，闻萧山有善工，力不能招，遂命舟自乌程走钱塘，舍于静邸中，使人迎医，鬻绝，江至杭，既见，欣然为治药饵，且云请以五日为期，可以除根本，初以药放下大肠数寸，又以一药洗之，徐用药线结痔，信宿痔脱，其大如桃，复以药饵调养，数日遂安。此工初无难色，但放下大肠了，方议报谢之物，病者知命悬其手，尽许行囊所有为酬，方肯治疗。又玉山周仅，调官京师，旧患膀胱气，外肾偏坠，有货药人云：只立谈间可使之正，约以万钱及三缣之报，相次入室中，施一针，所苦果平，周大喜，即如数负金帛而去。后半月，其疾如故，使人访医者，已不见矣。古之贤人，或在医卜之中；今之医者，急于声利，率用诡道，以劫流俗，殆与穴坯挟刃之徒无异。予

① 水：卫生宝鉴作“木”。

② 服：卫生宝鉴作“脉”。

目击二事，今书之以以为世警。泊宅编。

段 承 务

宜兴段承务，医术精高，然贪顾财贿，非大势力者不能屈致，翟忠惠公，居常熟，欲见之不可。倭平江守梁尚书邀之始来。既回平江，适一富人病来谒医，段曰：此病

不过汤药数剂可疗，然非五百千为谢不可，其家始许半酬，拂衣去，竟从其请，别奉银五十两为药资，段求益至百两乃出药为治，数日愈，所获而归……还家未几而死。已志。

下 胎 果 报

（文删）

拔 粹 方

本 草 十 剂

宣可以去壅，姜橘之属是也，此大略言之。盖外感六淫之邪，欲传入里，三阴尚实而不受逆，邪气干胸中，窒塞不通，而或嘔、或呕，所谓壅也。仲景云：呕多虽有阳明证，不可攻之，况乾嘔者乎？三阴者，脾也。故单用生姜宣散必愈。若呕者，有声而有物，邪在胃系，未深入胃中，以生姜、橘皮治之，或以藿香、丁香、半夏，亦此之类，投之必愈。此天分、气分虚无处，一无所受，今乃窒塞。仲景谓鬲之上属上焦，悉属于表。或有形质之物，因而越之则可，若气壅则不可越之者吐也，亦无下之理。破气药也。辛泻气。若阴虚，移气逆上，窒塞、呕嘔，不足之病，此地道不通也。止当用生地黄、当归、桃仁、红花之类，和血、凉血、润血，兼用甘药以补其气，微加大黄、芒硝以通其闭，大便利，邪气去，则气逆呕嘔自不见矣。复有胃中虚热，谷气久虚，发而为呕、嘔者，但得五谷之阴以和之，五谷皆属阴，或食或饮白汤，皆止呕、嘔。则呕、嘔自止。且如小儿斑后，餘热不退，痲不收敛，大便不行，是谓血燥，则当以阴药治血，因而补之，用清凉饮子，通利大便而泻其热也。洁古云：凉风至而草木实。夫清凉饮子，乃秋风彻热之剂。伤寒家邪入于里，日晡潮热，大渴引饮，谵语躁狂，不大便，是谓胃实，乃可攻之。夫胃气为湿热所伤，以承气汤泻其土实，元气乃得周流，承气之名于此见矣。今哀世人以苦泻火，故备陈之。除热泻火，

非甘寒不可，以苦寒泻火，非徒无益，而反害之，故谆谆及此。至如孙真人言：生姜呕家之圣药，谓上焦气壅表实而言之，非以泻气而言之也。若脾胃虚弱，谷气不行，荣卫下流，清气不上，胸中闭塞，惟益胃推阳谷气而已，不宜泻也。若妄以泻气、泻血药下之，下之则转增闭塞疼痛，或变作结胸复下其鬲，由此致危者多矣。针经说呵欠、嘔、唏、振寒、噫、噎、噦、涕泪出、太息、涎下、耳中鸣、自啮舌颊唇，视生病者补之。此十二邪者，皆奇邪之走空窍者也。凡邪之所在，皆为不足，宜补而不宜泻。空窍者，胃之清气能通也。胃既虚则谷气不上行，是气路不利。经云：廉泉、玉英者，津液之道路也。津液不上，胸中气路不开，亦令人嘔，勿作外实，以辛药生姜之类，泻其壅滞。盖肺气已虚，而反泻之，是重泻其气，必胸中如刀割之痛，与正结胸无异，亦声闻于外，用药之际，可不慎哉。

通可以去滞，通草、防己之属是也。防己大苦寒，能泻血中大热之滞也，亦能泻大便。与大黄气味同者，皆可泻血滞，岂止防己而已。通草甘淡，能助西方秋气下降，利小便，专泻气滞也。小便气化，若热绝津液之源于肺经，源绝则寒水断流，故膀胱受湿热，津液癰闭约缩，小便不通，宜以此治之。其脉右寸洪缓而数，左尺亦然，其证胸中烦热，口燥舌乾，咽嗑亦乾，大渴引饮，小便淋沥，或闭塞不通，胫痠脚热，此通草主之。凡与通草同者，茯苓、泽泻、灯草、

猪苓、琥珀、瞿麦、车前子之类，皆可以渗泄利其滞也。此虽泄气滞，小便不利，于肺中有所未尽尔。予昔寓长安，有王善夫病小便不通，渐成中满，腹大坚硬如石，壅塞之极，脚腿坚胀，破裂出黄水，双睛凸出，昼夜不得眠，饮食不下，痛苦不可名状，其亲戚辈求治。病人始病不渴，近添呕啰，所服治中满、利小便之药甚多。细思素问云：无阳者阴无以生，无阴者阳无以化，膀胱津液之府，气化乃能出矣。此病小便癃闭，是无阴阳气不化者也。凡利小便之药，皆淡味渗泄为阳，止是气药，谓禀西方燥金之化，自天降地，是阳中之阴，生^①北方寒水阴中之阴所化者也。此盖奉养大过，膏粱积热，损北方之阴，肾水不足，膀胱肾之室，久而乾涸，小便不化，火又逆上而为呕啰，非膈上所生也，独为关，非膈病也。洁古曰：热在下焦，填塞不便，是治关格之法。今病者内关外格之证悉具，死在旦夕，但治下焦乃可愈。遂处以禀北方之寒水所化，大苦寒气味者，黄柏、知母各二两。酒洗之，以肉桂为之引用，所谓寒因热用者也，同为极细末，煎熟水为丸，如桐子大，焙乾，空腹令以沸汤下二百丸。少时来报，药之须臾，如刀刺前阴火烧之痛，溺如瀑泉涌出，卧具尽湿，床下成流，顾盼之间，肿胀消散，故因记之。或曰：防己之性若何？曰：防己大苦寒，能泄血中之湿热，通血中之滞塞，补阴泻阳，助秋冬、泻春夏药也。比之于人，则险而健者也。险健之小人，幸灾乐祸，遇风尘之警则首为乱阶，然而见善亦喜，逢恶亦怒，如善用之，亦可以敌凶暴之人，保险固之地。此瞑眩之药，圣人有所存而不废耳。大抵闻其真^②则可恶，下咽则令人身心为之烦乱，饮食为之减少；至于十二经有湿热，壅塞不通，及治下疳脚气，除膀胱积热而底其基本，非此药不可，真行经之仙药，无可代之者。复有不可用者数事：若遇饮食劳倦，阴虚生内热，元气、谷气已亏之病，以防己泄大便则

重亡其血，此不可用一也；如人大渴引饮，是热在上焦肺经气分，宜淡渗之，此不可用二也；若人久病，津液不行，上焦虚渴，宜补以人参、葛根之甘温，用苦寒之剂则速危，此不可用三也。若下焦有湿热，流入十二经，致二阴不通，然后可审而用之耳。

补可以去弱，人参、羊肉之属是也。夫人参之甘温，能补气之虚；羊肉之甘热，能补血之虚。羊肉有形之物也，能补有形肌肉之气。凡气味与人参、羊肉同者，皆可以补之，故云属也。人参补气，羊肉补形，形气者，有无之象也。以大言之，具天地两仪者也；以小言之，则人之阴阳气血也。以之养生，则莫重于斯。以天地物类论之，则形者坤土也，人之脾胃也，乃生长万物也。地欲静，静则万物安，坤元一正之土，亘古不迁者也。耕种之土，乃五行运用者也，动之有时，春耕是也；若冬时动之，令天气闭藏者泄，地气凝聚者散，精气竭绝，万化不安。亦如人之劳役形体，则大病生焉。故曰不妄作劳则明。当静之时，若劳役妄作，则百脉争张，血脉沸腾，精气竭绝，则九窍闭塞，卫气散解。夫以人参、甘草之类，治其已病，曷若救其未病，为拔本塞源之计哉？内经云：志闲少欲，饮食有节，起居有常，减其思虑，省语养气，庶几于道，何病之有？如或不慎，病形已彰，若能调其脾胃，使营气旺，清气上升，则四脏各得其所。以气论之，天地人三焦之气各异，损其脾者益其气，损其脾胃，调其饮食，适其寒温。黄耆之甘温，能补皮毛之气；人参之甘温，能补肺之气；甘草之甘温，能补脾胃之中经营之气。肺主诸气，气旺则精自生，形自盛，血气以平，故曰阳生则阴长，此之谓也。血不自生，须得生阳气之药，血自旺矣，是阳主生也。若阴虚单补血，血无由而生，无阳故也。仲景以人参为补血药，其以此欤。乃补气、补血之大略

① 生：按文义应作“非”。

② 真：按文义应作“臭”。

也。

泄可以去闭，葶苈、大黄之属是也。此二味，皆大苦寒，气味俱厚^①。不减大黄，又性过于诸药，以泄阳分肺中之闭也，亦能泄大便，为体轻象阳故也。大黄之苦寒，能走而不守，泄血闭也。血闭者，谓胃中粗秽有形之物闭塞者也。阳明病，胃家实是也，日晡潮热，大渴躁作，有形之热，故泄其大便，使通和汗出而愈矣。一治血病，泄大便；一治泄气闭，利小便。若经络中及皮毛分肉间，但有疼痛，一概用牵牛、大黄下之，乖戾甚矣。通则不痛，痛作不通，痛随利减，当通其经络，则疼痛去矣，如轻可以去实，麻黄、葛根之属是也。谓如头痛，当以细辛、川芎之类通之，则无所凝滞，即痛随利减也。臂痛有六道经络，究其痛在何经络之闭，以行本经，行其气血，气血通利则愈矣。若表上诸疼痛，便下之则不可，当详细而辨之也。

轻可以去实，麻黄、葛根之属是也。夫六淫有馀之邪，客于阳分皮毛之间，腠理闭拒，谓之实也。实者，荣卫气血不行之谓也，宜以轻利开腠理，致津液通气也，皮毛、经络寒邪之实去矣。故二药之体轻清成象，象气之轻浮也，寒邪为实，轻可以去之。然大同而小异，盖麻黄微苦，为阴之阳，可入足太阳寒水之经，其经循背下行，本寒而又受外寒，汗出乃愈，当以发之。葛根味甘温，可以发足阳明燥火之经，身已前所受寒邪也，非止发汗之药，谓阳明禁发汗，利小便，但解去经络、肌肉间寒邪，其气和，汗自出矣。麻黄专发汗，去皮毛气分寒邪，葛根和解血分寒邪，乃一阴一阳，能泻表实，不能泻里实。若饮食劳倦杂病，自汗表虚之证，认作有馀，便用麻黄发之，汗大出则表益虚，此盖不知表虚宜补其亡阳，闭其自汗，秋冬用桂枝，春夏用黄耆代之，黄耆者，能治虚劳自汗，阳明标病者也。阳明胃主自汗、小便数，若以人参、甘草之类补之，脾胃实，脾

胃实则卫气行，卫气行则表自实，表既实，自汗何由而出？清气上行，虽飧泄亦止矣，此治其本也。葛根虽为和解之药，亦不可用，用之则重虚其表，仲景所论内外不足自汗之证，大禁发汗、利小便。若已经发汗，寒邪未去，虽发汗数多，不可禁也。寒邪已去，重发其汗，则脱人元气。若多汗、小便赤涩，不得利小便，为汗夺津液故也。汗家不得重发汗，小便多不得发汗，汗多不得利小便，小便多不得重利小便，圣人所以切禁此者，为津液乃气血之基本也。一云亡阳，一云脱血，病人重发汗、重利小便，必脱元气，七神无依，则必危困矣。因辨麻黄、葛根之宜禁，故兼及之。

百病在气在血

夫百病昼则增剧，遇夜安静，是阳病有馀，乃气病而血不病也。百病夜则增剧，昼则安静，是阴病有馀，乃血病而气不病也。昼则发热，夜则安静，是阳气自旺于阳分也。昼则安然，夜则发热烦躁，是阳气下陷入阴中也，名曰热入血室。昼则发热烦躁，夜则发热烦躁，是重阳无阴也，当亟泻其阳，峻补其阴。夜则恶寒，昼则安静，是阴血自旺于阴分也。夜则恶寒，昼则恶寒，是重阴无阳也，当亟泻其阴，峻补其阳。夜则安静，昼则恶寒，是阴气上溢于阳中也。

夫五脏有邪，各有身热，其状各异，以手扪摸有三法：以轻手扪之则热，重按之则不热，是热在皮毛血脉也；重按之至筋骨之分，则热蒸手极甚，轻手则不热，是邪在筋骨之间也；轻手扪之不热，重加力以按之不热，不轻不重按之而热，是在筋骨之上、皮毛血脉之下，乃热在肌肉也。此为三法，以三黄丸通治之，细分之为五等。

肺热者，轻手乃得，但微按全无，是瞥瞥然见于皮毛之上，日西尤甚，乃皮毛之热，

^① 厚：按文义此下应有“葶苈”两字。

其证必见喘咳，洒淅寒热，轻者泻白散，重者宜凉膈散、白虎汤、地骨皮散。

心热者，心主血脉，微按至皮肤之下、肌肉之上，轻手乃得，微按至皮毛之下则热，少加力按之则全不热，是热在血脉也，日中大甚，乃心之热也。其证烦心、心痛，掌中热而嘞，以黄连泻心汤、导赤散、朱砂安神丸、清凉饮子。

脾热者，轻手扪之不热，重按至筋骨又不热，不轻不重，在轻手重手其间，热在肌肉，遇夜尤甚。证必怠惰嗜卧，四肢不收，无气以动，泻黄散。

肝热者，重按之肌肉之下、至骨之上，乃肝之热，寅卯间尤甚。其脉弦，四肢满闷，

便难转筋，多怒多惊，四肢困热，筋痿不能起于床，泻青丸、柴胡饮子。

肾热者，轻手重手俱不热，如重手按手^①骨分，其热蒸手如火。其人骨苏苏如虫蚀，其骨困热不任，亦不能起于床，滋肾丸、六味地黄丸。

治病必须求责

假令治病，无问伤寒、畜血、结胸、发黄等诸证，并一切杂证等，各当于六经中求责之。谓如黄证，或头痛、腰脊强、恶寒，即有太阳证也，或身热、目痛、鼻乾、不得卧，即有阳明证也。馀皆仿此。

王氏集验方

又尝与徽政院官王平章处疏风顺气散方，平章服之，风热痰气皆散。平章尝言：服此药，自觉风从面部七孔洒洒而出。后尝索此药，与他人服，皆称其美。平章官至辽阳右丞，又复遣人索此药自服，并与同寮服之，皆曰伟。其药乃防风通圣散加乌药、香附子、紫苏叶、槟榔、陈皮、半夏、茯苓各等分，每用一分，则防风通圣散用二分，拌和停匀煎服。盖其药中具香苏散、二陈汤、小乌沉汤等药，此又治风痰气之有热者。余非好辩，亦非好用热药而然。大抵治风，当在临期随证斟酌，验其寒热，审其虚实，而处治之，则万举万全矣。

雪楼程学士赠序

卢陵王君东野善为方，繇郡官医提领入为兴圣宫太医，诸贵戚近侍公卿大人皆以老谨，争相延致，君亦辄能以效自见。延祐二年，春二月，余暴得末疾，几不知人。君入诊曰：脉大浮盛，得之气虚而风乘之，宜服三生饮，间投以小续命汤，数日疾可已。嘉兴徐元善复入诊，一如君言。服之三日，手可

举，足可履，服之五日，手可至发际，足可因人而行；服之七日，手可至颞，足可因杖而行；服之十日，手可举物，足可去杖与人矣；惟舌本微强，害于言。以问君。君曰：脾脉络胃侠咽，上连舌本，散舌下，心之别脉上系舌本，此心脾受风未除也，宜服解语丹。服之十日，舌不强，语不害。若君之医，可谓良矣。而徐君不立异以为功，亦可尚也。夫始余之疾，闻君之言而喜，及得徐君益信。然当是时君诚贤，徐君一立异，众必茫然不知为计矣，余有弗病矣乎！赖二君子皆良医，其识同，其心又同，是天以赐余也。嗟夫！方今之受病，有甚于余者众矣，不知皆能得良医，如东野同心如元善治之否乎？彼嚚嚚然忌功而害能，专欲而擅利，危人之身，绝人之命而不顾。余甚惧君之不常遇徐君以成其功也，其必审所以自处哉。他日天子诏具上所验，幸并以愚言为对。是岁秋八月望日，广平程矩夫书。

芎辛汤治验方见大方科诸风门。

至大三年庚戌，永新军官李镇抚，病头

^① 手：按文义应作“至”。

目昏晕欲倒，痰涎气喘，项筋疼痛，鼻流清涕，诊之脉息沉伏。医有僧无尘及龙启宗者，皆以无脉，用三建参附治之，无效，命余诊治。余曰：非无脉也，此乃体虚感风寒，而邪气不得发泄，其脉伏而不出。遂用局方大

芎辛汤，不数服而证退，脉现病愈。大抵芎辛汤中有乌、附，佐以川芎、细辛、南星等，风去痰化，其病自愈。所谓差之毫厘，谬至千里，司命之士，可不入思。漫书方末，或可为后学之矜式也。

永类铃方

灵宝度人经法（文删）

经验良方

一、小儿豆疮及诸疾，按之古方，多用温凉之剂，是以备述于后。近世有用天雄、乌、附、丹砂、热药而愈，此又全在名医审察时之气运，儿之禀受虚实，明辨其证，临期通变而救疗之。

一、大凡用药、服药俱要得其中，如用砒、巴、草乌、斑茅虫等药。如用药要察受病之源，决不可自执己见，加添前药，宁可减少，探其病势，详在临时裁处，且要至诚修合。用药等分，方中所载一字者，以小铜钱四字为则，用药在一字上多于内，有用一分者，谓如以一两为则，一分该二钱半。如此计算而用，庶无误差也。

一、君子服药，须是依方而服，切不可嫌药少自行加服。本欲救生，若不依方恣意多服，反速求祸，慎宜依方次第而服，必可收效。

一、近世有一僧，请到疰药一服，嫌少，并二服吞之而死。又有辛苦之人，为其有损，赍损药，并三服吞下，于中药味有草乌，以致麻吐，无人救疗，死于途中。慎宜戒之！

一、服斑茅多者，病虽去，有大小腑秘，用葱、赤茯苓、滑石末、麦门冬去心，但得一味煎汤，亦可更加枳壳煎汤，大小腑即行也。琥珀磨水吃，亦通。

一、蟾酥疗丁疮，救人命须臾。若取，止合取一眼上，若二眼俱取，此蟾不见不能食死，若取蟾一眼，隔久又生蟾酥，取者宜信之，各得其利也。得之行医说，取尽其酥，或杀之，用药亦不应效。

一、药名马屁李，即灰茹。尘乌，即火塘煤，又名乌龙尾。伏龙肝，即灶心下对锅下土。

一、药名黄芦，即是芦竹根，又名苇子根。

一、胡粉，名国丹，又黄丹，又用水银锻成升鼎，即胡粉，及福建卖名轻粉，亦名胡粉，用之详见本草。

一、有服砒过者，匆忙间偶无他药可解，用生蒿蒂子搗水灌解，无生者收得乾蒿蒂子搗新水灌，呕吐即解。服草乌麻倒，米醋解，或生老姜连皮搗自然汁，灌之亦解。

烟霞圣效方

神农药食反误方

六陈

枳实麻黄并半夏，橘皮狼毒及茺莢，
莫辞经岁空陈滞，入用逢知效自殊。

十八反

半萎贝芩忌乌头，半夏、白芩、萎、贝母，以上并反
乌头。海戟芫遂甘草鹺，海藻、甘遂、大戟、芫花，以上
并反甘草。芍药五参细辛类，芍药、丹参、人参、苦
参、玄参、沙参、细辛，以上并反藜芦。藜芦更是不相投。
以上十八味不得同用，并相反也。

药食相反

食狐狸肉，反藜芦。食猪肉，反黄连、
桔梗。食菰菜，反甘草。食芦笋，反巴豆。
食生菜，反细辛。食葫荑，反牡丹。食茺莢，
反地黄。食饴糖、羊肉，反半夏、菖蒲。食
生葱，反常山。食犬肉，反商陆。食醋物，
反茯苓。食苋菜，反鳖甲。食鲤鱼，反天门
冬。食鱼脍，反空青并朱砂。

诸物误杀人方

盛蜜瓶作鲊，食之杀人。乾脯烧不软
者，食之杀人。鸡生六指者，食之杀人。
瓜于水中沉者，食之杀人。鸡生五色者，
食之杀人。瓜生二脐二蒂，食之杀人。
鲤鱼痈痕者，食之杀人。鸡黑身白头者，
食之杀人。诸鱼无胆者，食之杀人。鱼

无腮者，食之杀人。河鲀鱼出血不尽，食
之杀人。祭祀肉自动者，食之杀人。

饮食相反方

食蜜不可食生葱，令人吐血。食蟹肉不
可食苋菜，腹中生小鳖儿。乳酪鱼脍同食，
令人患息痢。食粟米不可食杏仁，令人吐泻。
食猪肉不可食生姜，令人患大风疾。红柿不
可与酒同食，令人吐血。黍米不可与荠菜同
食，令人生痼疾。豆黄不可与猪肉同食，令
人气闷致死。赤小豆不可与鲤鱼鲙同食，令
人成消渴病。小麦、醋、酱不可与鲤鱼同食，
令人喉咽生疮。白苣与乳酪同食，令人生蠱
虫。薤不可与牛肉同食，令人生痼。生苏不
可与青鱼同食，令人腹中生疮，又成痛气。
生枣、李不可与蜜同食，令人五脏不和。自
死马肉不可与仓米同食，令发百病。患伤寒
及疟疾不可食羊肉，令人发热困致死。羊肝
不可与生椒同食，伤人五脏。桑柴不可烧牛
肉食，令人生寸白虫。兔肉不可与乾姜同食，
令人霍乱。妊娠妇人不可食兔肉及生羊肉、
鳝鱼、鸡肉，令子失音。鸡不可与葫荑同食，
令人气滞。兔肉不可与白鸡肉同食，令人发
黄。诸禽兽鱼油不可点灯，烟入眼令人目盲。
鲫鱼不可与芥菜同食，令人黄肿。自死禽肉
不可与甜物同食，令人睡死。独肝牛，生病
疾。

寿亲养老书

一、年老丰肥之人，承暑胃热，腹内火
烧，遍身汗流，心中焦渴，忽遇冰雪冷浆，
尽力而饮，承凉而睡，久而停滞，秋来不痊
则痢。

一、年老丰肥之人，不可骑马，恐有坠
堕，宜别置乘座器具，稳当无失。

一、老人目暗耳聋，肾水衰而心火盛也。
若峻补之，则肾水弥涸，心火弥茂。

一、老人肾虚无力，夜多小溲。肾主足，
肾水虚而火不下，故足痿。心火上乘肺而不
入脬囊，故夜多小溲。若峻补之，则火益上
行，脬囊亦寒矣。

一、老人喘嗽，火乘肺也。若温补之则甚，峻补之则危。

一、老人脏腑结燥，大便秘涩，可频服猪羊血或葵菜血脏羔，皆能疏利。

一、老人可常服杏汤、杏仁板儿、炒熟麻子，芝麻作汤服之，亦能通利。

饮食调治

主身者神，养气者精，益精者气，资气者食。食者，生民之天，活人之本也。故饮食进则谷气充，谷气充则气血盛，气血盛则筋力强。故脾胃者，五脏之宗也，四脏之气，皆禀于脾，故四时皆以胃气为本。生气通天论云：气味辛甘发散为阳，酸苦涌泄为阴。是以一身之中，阴阳运用，五行相生，莫不由于饮食也。若少年之人，真元气壮，或失于饥饱，食于生冷，以根本强盛，未易为患。其高年之人，真气耗竭，五脏衰弱，全仰饮食以资气血。若生冷无节，饥饱失宜，调停无度，动成疾患。凡人疾病，未有不因八邪而感，所谓八邪者，风、寒、暑、湿、饥、饱、劳、逸也，为人子者，得不慎之！若有疾患，且先详食医之法，审其疾状，以食疗之，食疗未愈，然后命药，贵不伤其脏腑也。凡百饮食，必在人子躬亲调治，无纵婢使慢其所食。老人之食，大抵宜其温热熟软，忌其粘硬生冷。每日晨朝，宜以醇酒先进平补下元药一服，女人则平补血海药一服，无燥热者良，寻以猪羊肾粟米粥一杯压之，五味葱薤鹑膂等粥皆可。至辰时，服人参平胃散一服，然后次第以顺四时软熟饮食进之，食后引行一二百步，令运动消散。临卧时，进化痰利膈人参半夏丸一服。尊年之人，不可顿饱，但频频与食，使脾胃易化，谷气长存。若顿令饱食，则多伤满，缘衰老人肠胃虚薄，不能消纳，故成疾患。为人子者，深宜体悉，此养老人之大要也。日止可进前药三服，不食^①多饵。如无疾患，亦不须服药，但只调停饮食，自然无恙矣。

形证脉候

上古天真论曰，女子之数七，丈夫之数八。女子七七四十九，任脉虚，冲脉衰，天癸竭，地道不通。丈夫八八六十四，五脏皆衰，筋骨解堕，天癸尽，脉弱形枯。女子过六十之期，丈夫逾七十之年，越天常数。上寿之人，若衣食丰备，子孙勤养，承顺慈亲，参行孝礼，能调其饮食，适其寒温，上合神灵，下契人理，此顺天之道也。高年之人，形羸气弱，理自当然。其有丈夫、女子，年逾七十，面色红润，形气康强，饮食不退，尚多秘热者，此理何哉？且年老之人，痿痺为常，今反此者，非真阳血海气壮也，但诊左右手脉，须大紧数，此老人延永之兆也。老人真气已衰，此得虚阳气盛，充于肌体，则两手脉大，饮食倍进，双脸常红，精神强健，此皆虚阳气所助也。须时有烦渴鬲热，大府秘结，但随时以常平汤药，微微消解，三五日间，自然平复，常得虚阳气存，自然饮食得进，此天假其寿也。切不得为有小热，频用转泻之药也^②利，苦冷之药疏解。若虚阳气退，复归真体，则形气羸羸，藏府衰弱，多生冷疾，无由补复。若是从来无虚阳之气，一向急乏之人，全在斟酌汤剂，常加温补，调停饘粥，以为养治，此养老之先也。

医药扶持

常见世人治高年之人疾患，将同年少，乱投汤药，妄行针灸，以攻其疾，务欲速愈。殊不知上寿之人，血气已衰，精神减耗，危若风烛，百疾易攻，至于视听不至聪明，手足举动不随，其身体劳倦，头目昏眩，风气不顺，宿疾时发，或秘或泄，或冷或热，此皆老人之常态也。不顺治之，紧用针药，务求痊瘥，往往因此别致危殆。且攻病之药，或吐或汗，或解或利，缘衰老之人，不同年

^① 食：寿亲养老新书作“可”。

^② 也：寿亲养老新书作“通”。

小^①，真气壮盛，虽汗吐转利，未至危困。其老弱之人，若汗之则阳气泄，吐之则胃气逆，泻之则元气脱，立致不虞，此养老之大忌也。大体老人药饵，止是扶持之法，只可用温平顺气、进食补虚、中和之药治之，不可用市肆賤买、它人惠送、不知方味及狼虎之药与之服饵，切宜审详。若身有宿疾，或时发动，则随其疾状，用中和汤药调顺，三朝五日，自然无事，然后调停饮食，依食医之法，随食性变饌治之，此最为良也。

食治养老序

昔圣人论置药石，疗诸疾病者，以其五藏本于五行，五行有相生胜之理也；荣卫本于阴阳，阴阳有逆顺之理也。故万物皆禀阴阳五行而生，有五色焉，有五味焉，有寒热焉，有良毒焉。人取其色、味、冷、热、良、毒之性，归之五行，处以为药，以治诸疾。顺五行之气者，以相生之物为药以养之，逆五行之气者，以相胜之物为药以攻之，或泻母以利子，或益子以补母，此用药之奇法也。经曰：天地万物之盗，人万物之盗。人所以盗万物为资养之法，其水陆之物为饮食者不啻千品，其五色五味冷热补泻之性，亦皆禀于阴阳五行，与药无殊。大体用药之法，以冷治热，以热治冷，实则泻之，虚则补之，此用药之大要也。人若能知其食性，调而用之，则倍胜于药也。缘老人之性，皆厌于药而喜于食，以食治疾，胜于用药。况是老人之疾，慎于吐利，尤宜用食以治之。凡老人有患，宜先以食治，食治未愈，然后命药，此养老人之大法也。是以善治病者不如善慎疾，善治药者不如善治食。今以食医心镜、食疗本草、论食要法诸家治饌，洎太平圣惠方食治诸法，类成养老食治方，各开门目，用治诸疾，具列于左，为人子者，宜留意焉。

服 药

沈存中云：人非金石，况犯寒暑雾露，

既不调理，必生疾病，常宜服药，辟外气、和脏腑也。平居服七宣元、钟乳元，量其性冷热虚实，自求好方，常服红雪三黄元、青木香元、理中元、神明膏、陈元膏。春初冰解散，天行茵陈元散，皆宜先贮之以防疾发，忽有卒急，不备难求。其防危救急不可阙者，伏火丹砂，保精养魄，尤宜长服；伏火硫黄，益气，除冷癖，理腰膝，能食有力；小还丹愈疾去风；伏火磁石明目坚骨；伏火水银压热镇心；金银膏养精神，去邪气。如上方药，固宜留心，其余丹火须冀神助，不可卒致，有心者亦宜精愚，或遇其真。

贮 药

圆散皆以深笋沙合盛之，勿用有油即受湿。外为漆椳，椳笋亦欲深，深则湿气难入。椳中挟灰净磨之，勿漆则不受润。更集绘纆为袱厚袱之，更以毡冒椳口，纵有润气自缝中入，亦为毡纆所收。暑月三焙之，遇雨则入焅室。贮茶如此亦善。药璞新瓷罌盛，蜡纸裹之，悬东檐楣上，令常得晨日，勿令沾雨，久阴则一焙，移置深室，晴复出之，数品同一罌可也。喜蛀勿^②用旧曾贮油麻罐净拭，置药其中，即不蛀。

焅 阁

南方暑雨时，茶药、图籍、皮毛、胶糊物、弓剑、色衣、笔墨之类，皆恶蒸溽，悉可置在阁中。若山居即依山为阁，其高去地一丈，则不复有蒸润。阁中循壁为厨，厨三层，壁仍板弥之。前后开窗。梁上为长笏，物可悬者，悬于笏，余悉置板^③上。天日明燥，即大开门窗，令纳风日。阴晦则密闭，中设焅炉，常令火气郁郁然。

又法：焅阁中布卧床，床下新出窑炭实之，乃置物床上，永不蒸润，更不须著火。

① 小：寿亲养老新书作“少”。

② 勿：寿亲养老新书作“物”。

③ 板：寿亲养老新书作“格”。

其炭至秋供烧，明年复易新炭。床上慎不可

卧，卧者多病暗，屡有验，盖为火气所烁也。

施圆端效方

汤液前^①造式

病必择医，治必择药，临煎造制，切在恭诚，宜令亲信至意心明者煎造，忖度最为的确。煎药铍器，除油垢腥秽，量水盞器，

大小斟酌，用深小净铍，内下新净甜水，药末引物一切都足，浸匀后，诣火上慢慢煎熬，合得分数，搅括周傍，勿令进转，药熟用稀疏纱绢，滤去滓取汁。寒冷热饮，热渴冷饮，标本逆从，临时详度。

事林广记

医学发明

自神农使岐伯尝味百草，典医疗疾，尧时巫咸以鸿术焉^②医，春秋秦有医和、医缓，战国有扁鹊兄弟，后汉有华佗，皆以医名于世，自是医学之传，流派益远，然而医未可以易言也，天之命寄焉。昔扁鹊见齐桓侯曰：君疾在腠理，不治将深。桓侯曰：寡人无疾。后五日复见，曰：君疾在血脉，不治将深。后五日复见，曰：君疾在肠胃间，不治将深。后五日望见桓侯，退走，曰：疾居腠理，汤熨之所及也；在血脉，针石之所及也；在肠胃间，酒醪之所及也；今在骨髓，虽司命无奈之何。后五日，桓侯召之，扁鹊逃去，桓侯遂死。然则学未至于扁鹊，医可易言哉。

论治病法

夫病之所主，有中风、伤寒、伤暑、寒

疟，诸气、脚气、小肠气、气块，脾胃霍乱，痰饮咳嗽，诸虚积热，泄泻痢疾，眼、目、口、齿、咽喉，痈疽、疮癣，肠风痔漏，妇人带下、崩中、血闭、胎产，小儿诸疾，此其大略尔。今按药之所主，说病之一端，假令中风有数十种，伤寒亦二十馀条，更复就中求其类例，然后配合诸证以用其药，疾伏之变，不可一概言之。

用药效验

夫用药如用刑，刑不可误，误即杀人，用药亦然，一有不谨，性命系焉，可不慎诸！今人才到病家，便以所见轻易投药，不知病证之源流，不审药饵之当否，具不误人者几希。故方以经验为良，药以详订为贵，庶十病九瘳，取十全之功必矣。

寿域神方

凡治人之疾，先要观其寿夭，察其气色，听其声音，则知人之吉凶，病之所在，方可治也，则万无一失，是为神医之术也。

论寿夭大略

山根隆起有梁而不断，印堂光明如镜，耳厚而坚，耳中有毫，两耳红白，眉长过眼，

眉有半白，项下有条痕，人中分明长而掩齿，法令过于承浆，地阁高起，胸前肉厚而润形如龟形，瘦不露骨，肥不露肉，神色清爽，声音清圆。此数者，寿考之相也。……

骨为阳，肉为阴，不宜骨耸。面皮虚薄，

^① 煎：按文义应作“煎”。

^② 焉：按文义应作“为”。

急如绷鼓。人中短促，其文不明，人中浅狭而斜，人中短而露齿，唇向上吊，上唇高厚，法令不分。耳小而薄，双睛斗露，神昏气杂，肥人项短，赤脉贯睛，巨骨卓起，肥人乍瘦，瘦人乍肥，色如尘埃，目无光彩，神色如醉，声音破散，睛黄脉赤斗露，眉毛如钉，眉生两样，男忌女相，面光细白，女忌面如羊脂，又忌眼阔。此数者，夭亡之相也。……

论 谴 疾

葛仙翁曰：居官恃势，僭用过度，为臣不忠，为子不孝，宗亲反噬，毁灭天常，将杀降卒，及屠城杀人，与刑官之谴有加，必生谴疾不治。凡问刑之官，用刑太重，冤屈平人，害人至死，伤其天心者，如觉一时忽然忘事，昏悸呵欠，身体困倦，是谴将至，而病将临也。夜卧不安，神惊色惨，忽闻人唤，举事失措，是神将离而死将至也。必有恶疾生焉，若己身无恙，子孙必有传尸劳瘵之证，三纪嗣绝，故曰：医不入于刑官之家，药不疗于不仁之疾。其法官受谴，及心怀不仁，不行方便，享福过分，贪赃害人，商贾负骗，人命冤债，损人利己，害众成家，已上皆主谴疾，难治。

观人心善恶（文删）

论 神 不 足

不醉如醉，不愁如愁，容恶颜忧，神昏如睡，视眇若痴，指间不密，节上粗疏，手冷如冰，眉毛曲小。凡有此者，有病愈迟。

论 病 相

如印堂有紫气，山根有暗黑，山根低陷，鼻梁弯斜，鼻角有纹，虽富多病，此皆骨法，命中一生当有病患。

观 色 大 略

凡察气色，当于平旦鸡鸣，未洗面时，

于灯下观之，务在师传，今之所载者，乃大略耳，智者得之。

春 青旺，赤相，黑休，白囚，黄否。

夏 赤旺，黄相，青休，黑囚，白否。

秋 白旺，黑相，黄休，赤囚，青否。

冬 黑旺，青相，白休，黄囚，赤否。

旺、相者吉，休、囚、否者疾也。

察 于 未 病

观其面之色黄者，一月有喜；紫六十日有喜，又妨害官灾，美中不足；青六十日有孝或公讼，不宜远出，眼下青主十日内有虚惊；黑百日内有不测灾疾；赤主有非横；白主凶有孝，防百日内灾忌。

印堂文痕低陷，骨格尖斜，平生多疾；黑气如烟雾者，将有疾至，须防暴卒。准头与兰台黑者，一旬而亡。五穴黑色者凶。观孕妇面青色者是男，三阳之下却要红润；红色者是女，三阴之下却要黑色；若三阴三阳之下，黑白相间，产凶。如孕未及其时而乳出者，谓之乳哭，产凶。

凡人掌之色，……。若有青黑色，为游官白虎，主疾厄，凶灾。黑气起于掌之四畔者，旬日凶，先须防疾。

察 于 已 病

声轻者，气弱也。重浊者，痛也，风也。高喊者，热将狂也。哑者，肺之疾也。声急者，神惊也。声塞者，痰也。声战者，寒也。声噎者，气不顺也。喘者，气促也。喷嚏者，知其风，呵欠者，知其倦，阴阳相离也，又主风。要知常日所为何事，好吃何物，则知病之所来矣。若能听其音而察之，则吉凶可知矣。此所谓闻而知之也。

凡病人，先要问其常日好吃何物，所作何事，何日得病，如何起初觉病，身上如何，则知其病之源矣。此所谓问而知之也。

凡切脉，务在神气定息，忌酒后不可诊脉，备见后脉诀。此所谓切而知之也。

若气色清明而神不散者，吉。神昏气馁，色青黑如烟雾者，凶。色依其时而见者，无恙；逆其时者，知有疾也。青病在肝，红病在心，白病在肺，黑病在肾，黄病在脾。若青又兼红者，是肝与心二脏之疾也。余皆仿此。

面色青者，痛也；红者，热也；白者，寒也；黑者，肾气败也；黄者，脾气弱也。哭者病在肝，汗者主心，笑者主脾而多涎，涕者主肺有风，唾者主肾有亏。

肝喜酸，心喜苦，脾喜甘，肺喜辛，肾喜咸。

察色验病人生死法

面上紫赤，心绝，五日亡。面赤目陷，肝绝，三日亡。面黄，四肢肿，脾绝，九日亡。爪黑，筋绝，八日亡。面白，鼻入奇伦，肺绝，三日亡。齿如黄熟豆，骨绝，一日亡。面黑，耳黄，呻吟，肾绝，四日亡。口张，唇青，毛枯，脉绝，五日亡。

大凡病人，足趺肿，身重，大小便不禁，目无转睛，皆死。

若病将愈者，面目皆黄，此生意也。

若面色黄而目青，其人伤酒，有风邪在胃也。若疾将危者，眼胞陷，耳目口鼻黑色入口。

面白目黑，妄语多，及不语，久病两颊赤，口张直气，脚膝肿满，体肿溺出，面色青而变黑，面赤眼白，面青目黄，目无光而齿龈黑，尸臭，口不能合，出气不返，人中无痕，兼背青掇肩，喘而直视，唇青、体冷、遗尿、背面食，发直如麻，循衣摸领，项筋舒展，掌内无文，手足爪青黑，是筋绝也。脊疼腰痛，此是骨绝，面黑目白者，命门败，唇焦，面肿，苍黑。凡大病之人有此者，不治，已上皆望而知之也。

辨五中

中风，卒然僵仆倒地，口眼喎斜，牙关

紧急是也。其脉浮洪。

中气，因怒至气，面青，四肢厥冷，手指筋强，或口吐痰沫是也。其脉沉细。

中恶，身体冷，肚腹胀，口出沫，浑身皆青是也。其脉沉绝。

中暑，昏晕恶心，两手僵硬，有自汗是也。其脉沉。

中湿，四肢麻痹，脚手软弱是也。其脉沉缓。

辨五晕

风晕，头目昏眩，恶心眼黑，如在空中是也。其脉弦数。

气晕，心腹胀满，呕吐酸水，眩晕长嘘是也。其脉沉微弱死。

痰晕，因痰堵塞，胸中痰响，即痰厥，面色浮是也。其脉沉伏。

热晕，头旋眼黑，心中恍惚是也。其脉虚浮。

虚晕，耳鸣眼黑，四肢厥冷，表里俱虚是也。其脉微弱。

辨伤风伤寒

若脉浮紧涩而面惨色，头疼身痛项强，恶寒发热，此是伤寒也，须宜发汗。若伤寒又感风者，手足微厥，脉浮。

若脉浮缓，面光不惨色，头目昏眩，自汗，鼻塞声重，恶风发热，是伤风也，亦宜汗解。若伤风又感寒，手足微温，恶风发热，心闷，脉浮紧是也，宜汗解之。

忽因病后交接，脉短涩，手足厥冷，甲黑唇青眼花，小肠绞痛，阴微肿痛，名曰阴阳易。若平昔元气怯弱，交接精脱就死者，名曰脱阳。

其他之证，以理详推，不能备录。

一、凡治病，要先看人之虚实，病在上者当吐，在下者当泻，在表者当汗。如北方人禀气厚实，多宜下；南方人禀气虚薄，多汗。务在临期看得脉息停当，方可用汗下吐三法。

.....

一、医者治病，先以病人岁数为定，次将得病日期为数，随之先以三因，后以九除，余三则吉，余六则重，余九则危。

医避传染法

凡医至人家看病，恐有瘟疫劳瘵传染之疾，其法：凡人未至其病家，先须浣口洗手，望空祝白，方至其家，且要至诚，立不中门，坐不靠壁，卧不解衣，盖被不可近口，凡有饮食，务要自己气吹过方吃，不可对日月星辰下小遗，忌起淫念，休起贪心，勿生嫉妒，专要方便心，此是阴鹭，邪气先不敢近矣。凡接病家所谢之物，务要先举手叩齿谢天，然后以左手接之，如出门回家，便地下拾一叶或草，挽做两段，分去两处，或至长流水边，浣口洗手，望天地太阳默祝，某至

某家治某病，回得何物，并无惹带，祸随水去，转身便行，不可回头，即无传染矣。

天医神位(文删)

神光验证法(文删)

占病(文删)

占孕(文删)

一法祷司命告斗验证(文删)

验米吉凶(文删)

本命所属(文删)

延生秘诀(文删)

卫生易简方

服药忌例

有牡丹，勿食生胡荽。有地黄、何首乌，勿食萝卜，令人髭发白。有黄精，勿食梅实。凡服一切药，不可多食生胡荽及蒜杂生菜，又不可食诸滑物果实，又不可多食肥猪犬肉、油腻肥羹、鱼鲙腥臊等物。凡服药，通忌见

死尸及产妇厌秽事。凡服药，病在胸膈以上者，先食后服药；病在心腹以下者，先服药而后食。病在四肢血脉者，宜空腹而在旦；病在骨髓者，宜饱满而在夜。有风疾，勿食樱桃、芥菜、丹黍。小儿勿与蓬实、芡实食，食之不长。

备预百要方

夫天地生于大空，人物生于天地之间，承稟五行，衰王有时，相克而胎，相生而成，平则为和，胜则为害，天地随人而变，故心气一偏，则诸气皆从。是以五窍之用，邪正则小应，悲喜忧欢形之，平病生于身体；五星之变，喜怒则大应，风雷水旱兆之，安危至于国家。是以人犹先作，天乃后变。故上医治天下之师，中医治国家之师，下医治人物之师，能全未兆未萌之纪，难治已病已乱

之令，故所由来事渐矣，辨之及早，何有后悔。至于所有用物，无非天地间，用则山丘田野、城墙道路、庭园阶砌、堂舍户壁、衣裳褥席、败器朽物、远结凝块、久堆尘垢无所不有，故一病才起，百药俱前。如此则但存临深履薄之慎，不作轻重取舍之用，则虽尘土，岂无一验矣。今撮万中之一二单用者，每一甲子，除其平岁，其余天府、太一

① 府：按文义应作“符”。

岁会之年，胜者自静，畏者可危，故预期未兆，兼附于下：

义变伤仁，天之太白，犯岁星之变同。目赤疼痛，百翳生疮，或痒或刺，瞋怒不已，多作庚辰、戌、子、午、丁、丑、未、卯、酉之岁。余岁发者，肝之受气不足者也。先治其肺，后补于肝。

智变伤体^①，天之辰星，犯荧惑星之变同。心热闷劣，手足逆冷，唇裂口燥，少腹结瘕，热食不下，冷食逆心，眩懊喜眠，多忘错误，肩背脊四肢烦疼，体蒸壮热，伤寒疾疰，消中消渴。多作丙辰、戌子、癸午、卯、酉之岁。余岁发者，心气不足者也。先治其肾，后补于心。

礼变伤义，天之荧惑，犯太白之变同。肺胀胸满，肩胁重痛，头项拘急，喘息粗大，唯出不入，遍体生疮，喉肿牙强，鼻血目暗，多作戊子、午、寅、申，乙巳、亥之岁。余岁发者，肺之受气不足者也。先治其心，后补于肺。

信变伤智，天之镇星，犯辰星之变同。气血拥滞，百节疼痛，耳聋鼻塞，腰痛背强，胀满上气，四肢沉重，胞急淋沥，脚膝逆冷，多作甲辰、戌、寅、申、子、午，辛丑、未之岁。余岁发者，肾之受气不足者也。先治其脾，后补于胃^②。

仁变伤信，天之岁星，犯镇星之变同。头面风痒，遍体瘙痒，四体懒重，嗜卧。多作壬辰、戌，己巳、亥之岁。余岁发者，脾之受气不足者也。先治于肝，后补于脾。四大病生，五藏内感，五气外侵，五味内伤，遂成百病，治有轻重，病有深浅。故病虽重，新发者，可以轻法治之；疾虽轻，久则重药难治。是故仓皇之际，住^③取眼前之物，以一二之甲，可防七八之害，名之曰百要，以类于左。

病源

肝病发于庚丁年，痛于秋，甚于晡；心

病发于丙癸之年，痛于冬，甚于人定；脾病发于壬己之年，痛于春，甚于平旦；肺病发于戊乙之年，痛于夏，甚于禺中；肾病发于甲辛之年，痛于季夏，甚于鸡鸣、食时、日昃、黄昏。东风伤肝，外伤筋；南风伤心，外伤血；坤风伤脾，外伤肉；西风伤肺，外伤皮肤；北风伤肾，外伤骨。酸味伤脾，忌春，又忌壬年；苦味伤肺，忌夏，又忌戊年；甘味伤肾，忌季夏，又忌甲年；辛味伤肝，忌秋，又忌庚年；咸味伤心，忌冬，又忌丙年。甘宜春，又宜壬年；苦宜冬；又宜丙年；酸宜秋，又宜庚年；咸宜季夏，又宜甲年；辛宜夏，又宜戊年。年则周年，时则周时，以养衰废。

服药法并通忌三十

凡病在上者，食后服，谓头疼咳嗽等。病在膈已下者，空腹服之。服药时忌临死人及产妇秽恶之物，房室劳动等。凡服药通忌生、冷、油、滑。生，谓不煮熟之物；冷，谓性冷，莴苣、荞麦之类；油，谓胡麻等；滑，谓葵、蕤之类。又忌牛、猪、鸡、肉等，无鳞鱼、肥腻脍、鹿肉、腥膻物，又大蒜、薤苢、芥苳、胡荽、藜藿、萝卜、葵芋、大小豆、果实、生菜、海藻、面等，已上触之无验，杀药力，故忌之。

修合法

炮者，置药于煇灰中转转令微拆而用，或以湿纸裹入煇灰令热通而用。炒者，置药于器中，火上热，令香气出，或令色黄或焦黑。熬者，置药于器中，用小水逼乾，于火上或令色黄或至赤黑。煨者，用生药入火煨之，亦以湿纸裹而煨之。焙者，高置火上令乾也。熅者，与炒同也。凡药不云炮炙者，皆洗去泥土，或日乾，或焙乾，或阴乾。切

① 体：按文义应作“礼”。

② 胃：按文义应作“肾”。

③ 住：按文义应作“任”。

者，断切而用。锉者，细切而用，或有粗锉而用者。又此方内斤两轻重皆依药秤而用，于丝绵称一分俗云一目。准，药秤一两，用生大

枣三枚。又一升准小茶碗，虽未至的，庶几不至大误也。方内大两大秤者，常用斗升及秤尔。

五 藏 门

五 藏 论

夫天地之精气，化万物之形。父之精气为魂，魂则黑；母之精气为魄，魄则白也。以分昼夜。一月怀其胎，如酪。二月成其果，而果李相似。三月有形像。四月男女分。五月筋骨成。六月发鬓具生。七月游其魂而能动右手，是男于母左，是女于母右。八月游其魄而能动左手。九月三转身。十月满足，母子分解讫。其中亦有延月者，有相富贵；而有月不足者，下贱而贫穷。子生经六十日，瞳子成，能喜笑。二百一十日，掌骨成而能匍匐。三百日，髀骨成而能独立。三百六十日为一岁，膝骨成而能行动。若不能依此者，男女不安，必有疾病。又儿女三十二日为一变，六十四日为再变。父母三年之中，回乾就湿，咽苦吐甘，始得离父母之怀抱，割损母之形像，毁伤母之筋骨，以成其身。夫内有五藏，外应五行，头圆象天，足方象地，因缘而生。因依足根，以拄踝骨，以拄胫骨。因依胫骨，以拄膝骨，以拄腿骨。因依腿骨，以拄髀骨、胯骨、腰脊骨、胸骨、项骨、头骨、髑髅骨、肩骨、臂骨、肘骨、腕骨、掌骨、指骨。

已上指①骨，都共有三百六十五骨节，以应天三百六十五度。身上有五百筋脉，复有八万毛孔，复有八万户此户字合是尸。虫，户中八万种，譬如窟中无所不成，名字各异。

五藏者：心 肝 脾 肺 肾上是阴阳也。

六府者：大肠 小肠 胆 胃 膀胱是三焦也。

肝合于胆，胆者中精之腑。心合于小肠，肠②受盛之腑。脾合于胃，胃者水谷

之腑。肺合于大肠，大肠者传导之腑。肾合于膀胱，膀胱者津液之腑。

三焦者，中腑水道出于膀胱，膀胱者即为三焦之腑。血气之津液皆出于血，血海有余，自然无疾；血海不足，身少颜色，面无精光。气海有余，胸面具③赤；气海不足，少气力，不多言。水谷之海有余，则消食肠满；水谷之海不足，则多饥，不消食。髓海有余，轻便多力；髓海不足，则肝④转耳鸣。

肝属东方甲乙木，外应于眼。心属南方丙丁火，外应于舌。肺属西方庚辛金，外应于鼻。肾属北方壬癸水，外应于耳。脾属中央戊己土，外应于唇。

六神配五藏

胆为滕蛇 心为帝王 监领四方。肺为将军应四方。肝为尚书有流泪。肾为列女命主之门。脾为大夫王在四时。

夫五藏象天，六腑象地，上下相对，以合阴阳之气，外有耳、鼻、舌、口、眼，内有五藏六腑。

心病则口焦，肝病则目暗，脾病呕逆不下食，肝⑤病则鼻塞不通，肾病则耳聋。心主於血，肺主於涕，肝生⑥於泪，肾生⑦於津液，脾生⑧於涎。心是神，肺是魄，肝是

① 指：按文义应作“诸”。

② 肠：按文义应作“小肠者”。

③ 具：按文义应作“俱”。

④ 肝：按文义应作“头”。

⑤ 肝：按文义应作“肺”。

⑥ 生：按文义应作“主”。

⑦ 生：按文义应作“主”。

⑧ 生：按文义应作“主”。

魂，肾是志，脾是意。色脉为心，毛发为肺，爪甲为肝，脂肉为肾，化食为脾。心逆则忧，肺逆则满，肝逆则怒，肾逆则蹇，脾逆则呕。心顺面赤，肺顺面白，肝顺目明，肾顺耳目精明，脾顺则变化饮食。久坐湿地，强力入水，伤肾；愁忧必^①虑，伤心；形寒饮冷，伤肺；恚怒逆不可食，伤肝；饮食劳倦，伤脾。

夫五劳、七伤、六极、五藏败、九候、十绝及妇人产后余疾，悉缘内积风冷所致。

五 劳

一、忽喜怒，大便苦难，口内生疮，此为心劳；二、气短面肿，鼻不闻香，咳嗽余痰，两胁胀痛，喘息不定，此为肺劳；三、面目乾黑，口中复苦，精神不定，不能独卧，目视不明，如隔罗幕，频频下泪，此为肝劳；四、口苦，舌卷强直，不得呕逆，醋心气胀，唇焦，此为脾劳；五、小便黄赤，兼有余沥，腰痛耳鸣，夜间多梦，此为肾劳。

七 伤 者

一阴汗；二精寒；三精清；四精少；五囊下湿痒；六小便数；七夜梦阴人。

六 极 者

筋、骨、血、肉、精、气。筋极则数转筋，十指爪甲皆痛；骨极则牙齿痛，手足疼，不能久立；血极则令人面无颜色，头发堕悲^②；肉极则令人身上往往如鼠走，体上乾黑；精极则令人气少无力，渐渐内虚，身上无润泽，翕翕羸瘦，眼无精光，立不能定，身中若痒，搔之生疮；气极则令人胸胁逆满，邪气冲胸，恒欲大怒，气少不能言。此为六极。

九 候 者

一手足青；二手足久肿；三脉枯齿噤；四语声散，鼻虚张；五唇寒冷宣露；六唇肿齿焦；七手顺衣缝；八汗出不流；九舌卷卵

缩。

五 败 者

手足肿，无交文，心败；唇反黑无文，肺败；面黑有疮，肝败；阴肿囊缩，肾败；脐肿满，脾败。

十 绝 者

气短，目视亭亭无精光，心绝；口鼻虚张，气复短，肺绝；面青，眼视人不具^③数出泪，肝绝；面黑，眼睛黄，素汁^④流，肾绝；泄涎唾不觉，时时忘^⑤语，脾绝；手上爪甲青黑，恶骂不休，筋绝；背脊酸疼，腰中复重，骨绝；面无精光，头发目^⑥落，血绝；舌卷卵缩如红丹，咽唾不得，足踝小肿，肉绝；发直如竿，汗出不止，肠绝。

五气不足歌^{五言}

心气若不足，衄血眼中黄。悲愁及喜怒，烦闷即荒^⑦忙。梦寐不自觉，心热须水浆。咽喉中满痛，舌强口夸张。冷汗出不止，忘^⑧语忽惊忙。此为损心气，不疗转加伤。

肺气若不足，肚胀不能安。呕逆及上气，悲思数多端。形寒似饮冷，肺损唾痰涎。皮毛不觉起，恚怒数千般。肩脊背强痛，梦里鬼相牵。鼻中不觉气，寻常骨膈乾。此为肺不足，不疗病成难。

肝气若不足，远视目失力。两胁气胀满，上下连胸臆。四肢热复冷，肚痛不能食。眼前见火生，冷泪频频拭。不疗恐失明，此为肝不足。

肾气若不足，腰胯收摄难。恍惚心少力，重听不闻言。眼前如艳水，冷气在腰间。身

① 必：按文义应作“思”。
② 悲：按文义应作“落”。
③ 具：按文义应作“重”。
④ 汁：按文义应作“汗”。
⑤ 忘：按文义应作“妄”。
⑥ 目：按文义应作“自”。
⑦ 荒：按文义应作“慌”。
⑧ 忘：按文义应作“妄”。

中悉皆痒，骨痛不能安。坐复身拘急，气乏咽喉乾。状似洋胶汁，腰胯强如寒。此为肾不足，于身不自安。

脾气若不足，令人面目黄。食即欲呕逆，唇乾复口疮。气胀四支重，意相并悼惶。不欲闻人语，脾渴即须浆。此为脾不足，急疗可为良。

医 人

药名之部，所出医王。黄帝造针经历有千卷。药姓^①名品，若匪神仙，何能备著？且神农本草，辩土地而显君臣，岐伯经方，说酸咸而陈冷热。雷公妙典，略述炮炙之宜，弘景奇方，备说根茎之用。只如犀角抵触之义，故能逐汪^②驱邪。牛黄坏鸩之功，是以安魂，蓝田玉屑，可以镇压精神，中条麝香，堪将辟邪除鬼。河内牛膝，去膝冷而止腰疼。防风除头风而抽胁痛。半夏有消痰之力，制毒要用生姜；当归有止痛之能，会须白芷。晋地龙齿偏差颠痫，太山茯苓延年却老。仁参、薯蓣能令耳目聪明，远志、菖蒲妙能开心益智。甘草安和诸药，随得国老之名；大黄宣引众功，乃得将军之号。秦胶结罗纹之状，乾漆作蜂巢之形。丹砂会取光明，升麻破求青绿。秦椒须汗，朴硝、矾石须熬。杜仲削去粗皮，桂心还求肉味。石英须研似面，杏仁别捣如膏。兔丝得酒乃良，矾石烧之力好。防葵唯轻唯上，狼毒唯重弥佳。黄芩以腐烂为精，蒹茹蚰头为上。石南采叶，甘菊收花。五茄剥取其皮，牡丹要须去骨。鬼箭破血，乃有射鬼之灵，神屋除温，非无保神之验。呕吐汤煎乾葛，转筋酒煮木瓜。目赤宜点黄连，口疮宜含石胆。木兰皮能除点齕，硫黄妙去死瘵。茺草杀齿内之虫，藜芦烂鼻中宿肉。赤油宜涂鸡子，白癩偏服越桃。火烧多占水茱，杖打须加松实。琥珀拾芥乃辩其真，磁石引针将知不谬。石得鸩粪乃烂如泥，漆遇蟹黄便化为水。三棱破癖，本出行从，刘寄奴疗疮起于田猎。牡蛎助柏仁之力，地黄

益天门冬之功。藜苳反乌头之精，梔子解踰躅之毒。苦参、酸枣以味为名，白术、黄连将色为号。蜈蚣、蜀漆，陆地标名，狗脊、狼牙，因形为记。只如八味肾气，补六极而差五劳；四色神丹，荡千痼而除万病。槟榔下虫除气，玉壶丸去积冷消坚。李子预有杀鬼之方，刘涓有遣鬼之录。耆婆童子，妙述千端，喻父医王，神方万品。是以有命者必差，虢太子死而更苏；无命者难理，晋公生而致死。此^③之养病，如积薪投火而薪存，人若有病，去病而人活，不去火而薪被焚，病不除而徒丧命。是以神方千卷，药名八百。中黄丸能差千痼，底野迦善除万病。扁鹊论乃摠君臣，冷热不调，酸咸各异。

夫五常之体，因暑湿而结百疾。头风目眩须好菊花，脚弱行迟多添石斛。卒中霍乱宜服茅香之汤，久患脊痠急内蚰蛇之胆。痹湿挛痛须用茵芋，皮肤瘙痒宜加蒺藜。伤寒发汗要用麻黄，壮热不调^④宜加竹叶。恒山、鳖甲疗疟之功，枳实、芍药善除心家之闷。卒患鬼注须用雄黄，忽而惊邪时须龙齿。当归、芍药去肚痛之病，款冬、紫苑除嗽^⑤之疾。槟榔、白术理宿食不消，硃硝、大黄泻癥瘕之病。黄连、阿胶善能止痢，通草有发声之能。水蛭、虻虫善能破血。蕤仁明目，秦皮、决明去翳，牛膝止膝痛风冷，鹅脂善治耳聋，蜂房能消毒肿，蟹黄善去漆疮，芜荑、狼牙杀白虫，桔梗、藜蘆善除蛊毒，乱发灰能止血汗，滑石通淋沥之疾。茺草定其牙疼，海藻能除瘰气。知母、栝蒌止渴，麦门冬、石膏除温。暑预补骨，泽泻能治膀胱，远志、菖蒲聪明益智。胁中乏痛宜用防风，当归、艾叶、阿胶善治动^⑥，连翘止痢，矾石疗耳内之脓，小便不利宜服葶苈，杏仁益气身

① 姓：按文义应作“性”。

② 汪：按文义应作“疔”。

③ 此：按文义应作“比”。

④ 调：按文义应作“解”或“去”。

⑤ 嗽：按文义应作“嗽”。

⑥ 动：按文义此下应有“胎”字。

体轻肥。妇人产后羸弱宜服黄精、酸枣、紫花、白薇、生葛。人参治五藏虚热，麦门、钟乳补肺安心，紫苑、柴胡疗人上气，雄黄、薤白能止狂风，犀角、升麻、乌梅偏医热肿，独活理人面上游风，茵芋、茺苢治人髭落。天行温病宜服芍药生姜，壮热口乾宜下大青、知母。甘草宜补五藏，人参好定精神。丹参养魂安魄，地黄能通血脉，黄精定长肌肤。

夫以三焦为性，处用不同；五味酸咸，其根各异。只如天有五星，地有五岳，而运五藏。所以肺为丞相，肝为尚书，心为帝王，脾为大夫，肾为列女。肝与胆合，脾与胃通，小肠连心，大肠连肺，膀胱合肾。是以肝藏盛则目赤，心热即舌乾，肾虚即耳鸣，肺风即鼻塞。目是肝候，舌是心官，耳作肾司，鼻为肺应。心主血，肺主皮肤，肝主于筋，肾主于骨。骨假筋立，筋籍肉行，肉假皮存，皮因骨长。故骨患从肾，筋患出肝，肉患伤脾，皮患由肺。只如十二经脉，上下巡还，入八脉异倾，内外流转。三焦六腑，四海七神，胸膈咽喉，唇齿臂肋，股肱腠腧，指腕爪甲，九窍八廓，三阴五会，小肠胃口，脐胁脊膂，项颊曲须^①，颌额鼻柱，唇断牙齿，掌腋^②发，已上但有患处，皆有所因，莫不内积虚劳，外缘风湿。察其颜色，即辩寒温；听声音，便知损益。只如戏惊者心疾，多笑者肾邪，呻吟者患脾，啼哭者损肺。声细者是冷，声绝者患风，声轻者患虚，声粗者患热。肤白是冷，皮青是风，颜黑者是温，面黄即热。心虚忘，脾患饥，肾冷腰疼，肝实多怒。视毛知血，见爪知筋，看目知肝，举齿知骨。骨伤齿黑，损焦^③，筋绝爪乾，气少声短，声声气促。发是血余，是患之意，原见之可作医疗，即如此委细，乃是良医。又须用医方，妙闲药性，应病与药，性不羗者是以代无良医，枉死者半。天地之内，以

人为贵，头圆象天，足方象地。天有四时，人有四支；天有五行，人有五藏；天有六律，人有六腑；天有九星，人有九窍；天有八风，人有八节；天有十二时，人有十二经脉；天有二十四气，人有二十四俞；天有三百六十五度，人有三百六十五骨；天有日月，人有眼目；天有昼夜，人有寐寤；天有雷电，人有喜怒；天有雨露，人有啼泣；天有阴阳，人有寒暑。地有九州，人有九窍；地有泉水，人有血脉；地有草木，人有毛发；地有金石，人有牙齿。是以经云皆稟四大五常，假合成身。夫阴阳之气，情有喜怒哀乐之性，人有礼义智信。故天圆地方，四时八节，五藏六腑，荣卫之气，九窍呼吸，寒暑皮毛骨齿，经脉表里虚实。男子阴阳相系，为之五劳；冷热相冲，遂为七伤之疾。厥气入膀胱，梦游走。阴气沉而梦大水，兼之恐惧；阳气发上，梦见大火而烦。上盛则梦飞空，下盛梦见沉水。中渴，渴^④即是热也。

夫五藏重斤两

心为帝王，监领四方，重十二两，中有七孔，孔有三毛，盛精汁三合，主藏神。肝为尚书，有五叶，应五常，重三斤十两。胆为将军决曹吏，在肝短叶下，重九两，精汁四合。脾为谏议大夫，重二斤三两，阔三寸，长五寸，有膏半斤，主囊湿血温，主藏意，在胃下，助胃气，主化谷食也。胃重二斤十四两，盛谷三斗五升。肺为丞相，有四叶，应四时，重二斤十二两，主藏魄，出音声。肾为列女，在后宫，有两枚，重二斤一两，主藏末^⑤，灌注诸脉也。

① 须：按文义应作“鬚”。

② 腋：按文义此下应有“毛”字。

③ 损焦：按文义应作“直损毛焦”。

④ 渴渴：按文义应作“喝喝”。

⑤ 末：按文义应作“志”。

金 匱 方

脏腑经络先后病脉证

问曰：上工治未病，何也？师曰：夫治未病者，见肝之病，知肝传脾，当先实脾，四季脾王不受邪，即勿补之；中工不晓相传，见肝之病，不解实脾，惟治肝也。夫肝之病，补用醋^①，助用焦苦，益用甘味之药调之。酸入肝，焦苦入心，甘入脾，脾能伤肾，肾气微弱，则水不行；水不行，则心火气盛，则伤肺；肺被伤，则金气不行；金气不行，则肝气盛，则肝自愈。此治肝补脾之要妙也。肝虚则用此法，实则不在用之。经曰：虚虚实实，补不足，损有余，是其义也。余藏准此。

夫人禀五常，因风气而生长，风气虽能生万物，亦能害万物，如水能浮舟，亦能覆舟，若五脏元真通畅，人即安和，客气、邪风中人多死，千般灾难，不越三条：一者，经络受邪入脏腑，为内所因也；二者四肢、九窍，血脉相传，壅塞不通，为外皮肤所中也；三者房室、金刃、虫、兽所伤，以此详之、病由都尽。若人能养慎，不令邪风干忤经络；适中经络，未流传腑脏，即医治之。四肢才觉重滞，即导引吐纳^②，针灸膏摩，勿令九窍闭塞；更能无犯王法，禽兽灾伤，房室勿令竭乏，服食节其令^③、热、苦、酸、辛、甘，不遗形体有衰，病则无由入其腠理，腠者，是三焦通会元真之处，为血气所注；理者，是皮肤脏腑之文理也。

问曰：病人有气色见于面部，愿闻其说？

师曰：鼻头色青，腹中痛，苦冷者死。

一云腹中冷，苦痛者死。鼻头色微黑者，有水气；色黄者胸上有寒；色白者，亡血也。设微赤，非时者，死。其目正圆者瘥，不治。又色青为痛；色黑为劳；色赤为风；色黄者便难；色鲜饮^④者有留饮。

师曰：病人语声寂^⑤然，喜惊呼者，骨节间病；语声喑暗然不彻者，心膈间病；语声啾啾然细而长者，头中病。一作痛

师曰：息摇肩者，心中坚；息引胸中上气者，咳；息张口短气者，肺痿唾沫。

师曰：吸而微数，其病^⑥中焦实也，当下之即愈；虚者不治。在上焦者，其吸促；在下焦者，其吸远，此皆难治，呼吸动摇振振者，不治。

师曰：寸口脉动者，因其王时而动，假令肝王色青，四时各随其色，肝色青而反色白，非其时色脉，皆当病。

问曰：有未至而至，有至而不至，有至而不去，有至而太过，何谓也？

师曰：冬至之后，甲子夜半，少阳起。少阳之时，阳始生，天得温和，以未得甲子，天因温和，此为未至而至也。以得甲子，而天未温和，此为至而不至也。以得甲子，而天大寒不解，此为至而不去也。以得甲子，而天温如盛夏五六月时，此为至而太过也。

师曰：病人脉浮者在前，其病在表；浮者在后，其病在里，腰痛背强不能行，必短气而极也。问曰：经云厥阳独行何谓也？师曰：此为有阳无阴，故称厥阳。

问曰：寸脉沉大而滑，沉则为实，滑则为气，实气相搏，血气入脏即死，入腑即愈，此为卒厥，何谓也？师曰：唇口青，身冷，为入脏即死；如身和，汗自出，为入腑即愈。

问曰：脉脱入脏即死，入腑即愈，何谓

① 醋：金匱作“酸”。

② 约：金匱作“纳”。

③ 令：金匱作“冷”。

④ 饮：金匱作“明”。

⑤ 寂：金匱此下有“寂”字。

⑥ 病：金匱此下有“在”字。

也？师曰：非为一病，百病皆然。譬如浸淫疮，从口起流向四肢者，可治；从四肢流来入口者，不可治；病在外者可治，入里者即死。

问曰：阳病十八，何谓也？师曰：头痛，项、腰、脊、臂、脚掣痛。阴病十八，何谓也？师曰：咳、上气、喘、哕、咽、肠鸣、胀满、心痛、拘急。五藏病各有十八，合为九十病。人又有六微，微有十八病，合为一百八病，五^①七伤、六极，妇人三十、六病，不在其中。青^②邪居上，浊邪居下，大邪中表，小邪中里，紧饪之邪，从口入者，宿食也。五邪中人，各有法度，风中于前，寒中于暮，湿伤于下，雾伤于上，风令脉浮，寒令脉急，雾伤皮肤，湿流关节，食伤脾胃，极寒伤经，极热伤络。

问曰：病有急当救里救表者，何谓也？师曰：病，医下^③，得续^④下利清谷不之^⑤，一^⑥身体疼痛者，急当救里；后身体疼痛，清便自调者，急当救表也。夫病痼疾，加以卒病，当先治其卒病，后乃治其痼疾也。

师曰：五藏病，各有得者愈，五藏病各有所恶，各随其所不喜者为病，病者素不应食，而反暴思之，必发热也。夫诸病在藏欲攻之，当随其所得而攻之。如渴者，与猪苓汤，余皆仿此。

五藏风寒积聚病脉证并治

肺中风者，口燥而喘，身运而重，冒而肿胀。肺中寒，吐浊涕。肺死藏，浮之虚，按之弱如葱叶，下无根者死。

肝中风者，头目眩两胁痛，行常伛，令人嗜甘。肝中寒者，两臂小^⑦举，舌本燥，喜太息，胸中痛，不得转侧，食则吐而汗出也。脉经、千金云：时盗汗，咳，食已吐其汁。肝死藏，浮之弱，按之如索不来，或曲如蛇行者死。肝著，其人常欲蹈其胸上，先未苦时，但欲饮热，旋复花汤主之。

心中风者，翕翕发热，不能起，心中饥，食即呕吐。心中寒者，其人苦病心如啖蒜状，

剧者心痛彻背，背痛彻心，譬如蛊注，其脉浮者，自吐乃愈。心伤者，其人劳倦，即头面赤而下重，心中痛而自烦，发热，当脐跳，其脉弦，此为心藏伤所致也。心死藏，浮之实，如麻豆，按之益躁疾者死。邪哭，使魂魄不安者，血气少也。血气少者属于心，心气虚者其人则畏，合目欲眠，梦远行，而精神离散，魂魄妄行。阴气衰者为癫，阳气衰者为狂。

脾中风者，翕翕发热，形如醉人，腹中烦重，皮目眴眴而短气。脾死藏，浮之大坚，按之如覆杯洁洁，状如摇者死。

肾死藏，浮之坚，按之乱如转丸，益下入尺中者死。

问曰：三焦竭部，上焦竭，善噫，何谓也？师曰：上焦受中焦气未和，不能消谷，故能噫耳。下焦竭，即遗溺失便，其气不和，不能自禁制，不须治，久则愈。

师曰：热在上焦者，因咳为肺痿；热在中焦者，则为坚；热在下焦者，则尿血，亦令淋秘不通。大肠有寒者多鹜溇，有热者便肠垢，小肠有寒者，其人下重便血，有热者，必痔。

问曰：病有积，有聚，有瘕气，何谓也？师曰：积者，藏病也，终不移。聚者，府病也，发作有时，展转痛移^⑧，可治。瘕气者，胁下痛，按之则愈，复发，为瘕气。诸积大法，脉来细而附骨者，乃积也。寸口，积在胸中；微出寸口，积在喉中；关上，积在脐傍；上关上，积在心下；微下关，积在少腹；尺中，积在气冲；脉出左，积在左；脉出右，积在右；脉两出，积在中央，各以其部处之。

① 五：金匱此下有“秀”字。

② 青：金匱作“清”。

③ 下：金匱此下有“之”字。

④ 得续：金匱作“续得”。

⑤ 之：金匱作“止”。

⑥ 一：金匱无此字。

⑦ 小：金匱作“不”。

⑧ 移：金匱此下有“为”字。

巢氏病源

五藏六腑病诸候

肝病候

肝象木，王于春，其脉弦，其神魂，其候目，其华在爪，其充在筋，其声呼，其臭臊，其味酸，其液泣，其色青，其藏血，足厥阴其经也。与胆合为府而主表，肝为藏而主里。肝气盛为血有余，则病目赤，两胁下痛引小腹，善怒，气逆则头眩，耳聋不聪，颊肿，是肝气之实也，则宜泻之。肝气不足，则病目不明，两胁拘急筋挛，不得太息，爪甲枯，面青，善悲恐，如人将捕之，是肝气之虚也，则宜补之。于四时，病在肝，愈于夏；夏不愈，甚于秋；秋不死，待于冬，起于春。于日，愈在丙丁；丙丁不愈，加于庚辛；庚辛不死，待于壬癸，起于甲乙。于时，平旦慧，下晡甚，夜半静。禁当风。肝部，左手关上是也。平肝脉来绰绰如按琴瑟之弦，如揭长竿。春以胃气为本，春肝木王，其脉弦细而长，是平脉也。反得微涩而短者，是肺之乘肝，金之克木，大逆，十死不治。反得浮大而洪者，是心乘肝，子之乘母，虽病当愈。反得沉濡滑者，是肾乘肝，母之归子，虽病当愈。反得大而缓者，是脾之乘肝，为土之陵木，土之畏木，虽病不死。肝脉来盛实而滑，如循长竿曰平。肝病脉来急，益劲如新张弓弦，曰肝死。真肝脉至，中外急如循刀刃，颀颀然如新张弓弦，色青白不泽，毛折乃死。

心病候

心象火，王于夏，其脉如钩而洪大，其候舌，其声言，其臭焦，其味苦，其液汗，其养血，其色赤而藏神，手少阴其经也。与小肠合，小肠为府而主表，心为藏而主里。心气盛为神有余，则病胸内痛，胁支满，胁下痛，膺背转脾^①间痛，两臂内痛，喜笑不

休，是心气之实也，则宜写之。心气不足，则胸腹大，胁下与腰背相引痛，惊悸恍惚，少颜色，舌本强，善忧悲，是为心气之虚也，则宜补之。于四时，病在心，愈于长夏；长夏不愈，甚于冬；冬不死，待于春，起于夏。于日，愈在戊己；戊己不愈，加于壬癸；壬癸不死，待于甲乙，起丙丁。于时，日中慧，夜半甚，平旦静。禁温衣热食。心部，在左手寸口是也。寸口脉来累累如连珠，如循琅玕曰平心。夏以胃气为本，夏心火王，其脉浮洪大而散，名曰平脉也。反得沉濡滑者，肾之乘心，水之克火，为大逆，十死不治。反得弦而长，是肝乘心，母归子，虽病当愈。反得大而缓，是脾乘心，子之乘母，虽病当愈。反得微涩而短，是肺之乘心，金之陵火，为微邪，虽病不死。病心脉来，喘喘连属，其中微曲，曰心病，死。心脉前曲后倨，如操带钩，曰心死。真心脉至，牢而搏，如循薏苡，累累然，其色赤黑不泽，毛折乃死。

脾病候

脾象土，王于长夏，其脉缓，其候口，其声歌，其臭香，其味甘，其液涎，其养形肉，其色黄而藏意，足太阴其经也。与胃合，胃为府主表，脾为藏主里。脾气盛为形有余，则病腹胀，溲不利，身重苦饥，足萎不收，行善痠，脚下痛，是为脾气之实也，则宜写之。脾气不足，则四支不用，后泄食不化，呕逆，腹胀肠鸣，是为脾气之虚也，则宜补之。于四时，病在脾，愈在秋；秋不愈，甚于春；春不死，待^②于长夏。于日，愈于庚辛；庚辛不愈，加于甲乙；甲乙不死，待于丙丁，起于戊己。于时，日昃慧，平旦甚，下晡静。脾欲缓，急食甘以缓之，用苦以写之，甘以补之，禁温食饱食，湿地濡衣。脾

① 转脾：诸病源候论作“膈脾”。

② 待：诸病源候论作“待”。

部，在右手关上是也。六月脾土王，其脉大，阿阿而缓，名曰平脉也。长夏以胃气为本，反得弦而急，是肝之乘脾，木之乘土，为大逆，十死不治。反得微涩而短，是肺之乘脾，子之克母，不治自愈。反得浮而洪者，是心乘脾，母之归子，当瘥不死。反得沉濡而滑者，是肾之乘脾，水之陵土，为微邪，当瘥。脾脉长，长而弱，来疏去稠，再至曰平，三至曰离经，四至曰夺精，五至曰死，六至曰命尽。病脾脉来实而盛数，如鸡举足，曰脾病。死。脾脉来，坚锐如乌之喙，如鸟之距，如屋之漏，如水之溜，曰脾死。真脾脉弱而乍数乍疏然，其色青黄不泽，毛折乃死。

肺病候

肺象金，王于秋，其脉如毛而浮，其候鼻，其声哭，其臭腥，其味辛，其液涕，其养皮毛，其藏气，其色白，其神魄，手太阴其经。与大肠合，大肠为府，主表，肺为藏，主里。肺气盛为气有余，则病喘咳上气，肩背痛，汗出，尻阴股膝腠胫足皆痛，是为肺气之实也，则宜泻之。肺气不足，则少气不能报息，耳聋啞乾，是为肺气之虚也，则宜补之。于四时，病在肺，愈在冬；冬不愈，甚于夏；夏不死，待于长夏，起于秋。于日，愈在壬癸；壬癸不愈，加于丙丁；丙丁不死，待于戊己，起于庚辛。禁寒饮食、寒衣。于时，下晡慧，夜半静，日中甚。肺欲收，急食酸以收之，用辛泻之。肺部，在右手关前寸口是也。平肺脉微短涩如毛。秋以胃气为本，病肺脉来上下如循鸡羽，曰病。肺病，其色白，身体但寒无热，时时欲咳，其脉微迟为可治。秋金肺王，其脉浮涩而短，是曰平脉也。反得浮大而洪者，是心之乘肺，火之克金，为大逆，十死不治也。反得沉濡而滑者，是肾之乘肺，子之乘母，病不治自愈。反得缓大而长阿阿者，是脾之乘肺，母之归子，虽病当愈。反得弦而长者，是肝之乘肺，木之陵金，为微邪，虽病当愈。肺脉来泛泛而轻，如微风吹鸟背上毛，再至曰平，三至

曰离经，四至曰夺精，五至曰死，六至曰命尽，死。肺脉来，如物之浮，如风吹毛，曰肺死。秋胃微毛曰平，胃气少毛多曰肺病，但如毛无胃气曰死。毛有弦曰春病，弦甚曰今病。真肺脉至，大如虚，如毛羽中人肤然，其色赤白不泽，毛折乃死。

肾病候

肾象水，王于冬，其脉如石而沉，其候耳，其声呻，其臭腐，其味咸，其液唾，其养骨，其色黑，其神志，足少阴其经也。与膀胱为府，主表，肾为藏主里。肾气盛为志有余，则病腹胀飧泄，体肿喘咳，汗出憎风，面目黑，小便黄，是为肾气之实也，则宜泻之。肾气不足则厥，腰背冷，胸内痛，耳鸣苦聾，是为肾气之虚也，则宜补之。肾病者，腹大体肿，喘咳，汗出憎风，虚则胸中痛。于四时，病在肾，愈在春，春不愈，甚于长夏，长夏不死，待于秋，起于冬。于日，愈于甲乙，甲乙不愈，甚于戊己，戊己不死，待于庚辛，起于壬癸，无犯尘垢，无衣炙衣。于时，夜半慧，日乘，四季甚，下晡静。肾欲坚，急食苦以坚之，咸以泻之，苦亦补之。肾部，在左手关后尺中是也。肾脉来如引葛，按之益耑，曰肾病，肾风水，其脉大索①，身无痛，形不瘦，不能食，善惊，惊以心萎者死。冬肾水王，其脉沉濡而滑，名曰平脉也；反得浮大而缓者，是脾之乘肾，土之克水，为大逆，十死不治；反得浮涩而短者，是肺之乘肾，母之归子，为虚邪，虽病易可治；反得弦细长者，是肝之乘肾，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得浮大而洪者，是心之乘肾，火之陵水，虽病，治之不死也。肾死脉来，发如夺索，辟辟如弹石，曰肾死。冬胃微石曰平，胃少石多曰肾病，但石无胃曰死。石而有钩，曰夏病，钩甚曰今病。藏真下於肾，肾藏骨髓之气，真②脉至，搏而绝，如弹石辟辟然，其色黄黑不泽，毛折，

① 索：诸病源候论作“紧”。

② 真：诸病源候论此下有“肾”字。

乃死。诸真藏见者，皆死不治。

胆病候

胆象木，王于春，足少阳其经也，肝之府也，谋虑出焉。诸府藏皆取决断于胆，其气盛为有余，则病腹内冒冒不安，身軀习习，是为胆气之实也，则宜泻之。胆气不足，其气上溢而口苦，善太息，呕宿汁，心下澹澹，如人将捕之，噎中介介，数唾，是为胆气之虚也，则宜补之。

小肠病候

小肠象火，王于夏，手太阳其经也，心之府也。水液之下行为溲便者，流于小肠，其气盛为有余，则病小肠热，焦渴乾涩，小肠腹胀，是为小肠之气实也，则宜泻之。小肠不足，则寒气客之。肠病，惊跳不言，乍来乍去，是为小肠气之虚也，则宜补之。

胃病候

胃象土，王于长夏，足阳明其经也，脾之府也，为水谷之海。诸藏府皆受水谷之气于胃，气盛为有余，则病腹腹胀气满，是为胃气之实也，则宜泻之。胃气不足，则饥而不受水谷，飧泄呕逆，是为胃气虚也，则宜补之。胃脉实则胀，虚则泄，关脉滑，胃内有寒，脉滑为实，气满不欲食，关脉浮，积热在胃内。

大肠病候

大肠象金，王于秋，手阳明其经也，肺之府也，为传导之官，变化糟粕出焉。其气盛为有余，则病肠内切痛，如锥刀刺为①休息，腰背寒痹挛急，是为大肠气之实，则宜泻之。大肠气不足，则寒气客之，善泄，是大肠之气虚也，则宜补之。诊其右手寸口脉，手阳明经也，脉浮则为阳，阳实者大肠实也，苦肠切痛如锥刀刺，无休息时。

膀胱病候

膀胱象水，王于冬，足太阳其经也，肾之府也。五谷五味之津液，悉归于膀胱，气化分入血脉，以成骨髓也。而津液之余者，入胞则为小便。其气盛为有余，则病热，胞涩

小便不通，小腹偏肿痛，是为膀胱气之实也，则宜泻之。膀胱气不足，则寒气客之，胞滑小便数而多也，面色黑，是膀胱气之虚也，则宜补之。

三焦病候

三焦者，上焦、中焦、下焦是也。上焦之气出于胃上口，并咽以贯鬲，布胸内，走掖，循太阴之分而行，上至舌，下至足阳明，常与荣卫俱行，主内而不出也。

中焦之气亦并于胃口，出上焦之后，此受气者，泌糟粕，承津液，化为精微，上注于②肺脉，乃化而为血，主不上不下也。

下焦之气别回肠，注于膀胱而渗入焉，主出而不内，故水谷常并居于胃，成糟粕而俱下于大肠也。谓此三气，焦乾水谷，分别清浊，故名三焦。三焦为水谷之道路，气之所终始也。三焦气盛为有余，则胀气满于皮肤内，轻轻然而不牢，或小便涩，或大便难，是为三焦之实也，则宜泻之。三焦之气不足，则寒气客之，病遗尿，或泄利，或胸满，或食不消，是三焦之气虚也，则宜补之。诊其寸口脉迟，上焦有寒；尺脉迟，下焦有寒；尺脉浮者，客阳在下焦。

五藏横病候

夫五藏者，肝象木，心象火，脾象土，肺象金，肾象水，其气更休更王，互虚互实，自相乘克，内生于病，此为正经自病，非外邪伤之也。若寒温失节，将适乖理，血气虚弱，为风湿阴阳毒气所乘，则非正经自生，是外邪所伤，故名横病也。其病之状，随邪所伤之藏而形证见焉。

脾胀病候

脾胀病者，有是脾虚，为风邪所乘，正气与邪气交结，令脾气不宣调，拥聚而胀也。其病喜嘔，四支急，体重不能胜置也。

五藏及身体热候

荣卫不调，阴阳否隔，若阳气虚，阴气

① 为：诸病源候论作“无”。

② 于：诸病源候论无此字。

盛，则生寒冷之病，令阴气虚，阳气实，故身体五藏皆生热，其状嗡嗡而热，唇口乾，

小便赤也。

千金方

肝藏脉论

夫人禀天地而生，故内有五脏、六腑、精气、骨髓、筋脉，外有四肢、九窍、皮毛、爪齿、咽喉、唇舌、肛门、胞囊，以此总而成躯，故将息得理，则百脉安和，役用非宜，即为五劳、七伤、六极之患，有方可救，虽病无他，无法可凭，奄然永往，所以此之中秩，卷卷备述，五脏六腑等血脉根源，循环流注，与九窍应会处所，并论五脏六腑等轻重大小，长短阔狭，受盛多少，仍列对治方法，丸散酒煎，汤膏摩熨及灸针孔穴并穷于此矣。其能留心于医术者，可考而行之，其冷热虚实风气，准药性而用之，则内外百病无所逃矣。凡五脏，在天为五星，在地为五嶽，约时为五行，在人为五脏，五脏者，精神魂魄意也。论阴阳，察虚实，知病源，用补泻，应禀三百六十骨节^①，终会通十二经焉^②。肝主魂，为郎官，随神行^③来谓之魂，魂者肝之藏也，目者肝之官，肝气通于目，目和则能辨五色矣，左目甲，右目乙，循环紫宫，荣华于爪，外主筋，内主血，肝重四斤四两，左三叶，右四叶，凡七叶，有六童子三玉女守之，神名蓝蓝，主藏魂，号为魂藏，随节应会，故云肝藏血，血舍魂，在气为语，在液为泪。肝气虚则恐，实则怒，肝气虚则梦见园花^④，生草得其时，梦伏树下不敢起，肝气盛则梦怒，厥气客于肝，则梦山林树木。

凡人寝^⑤卧，血归于肝，肝受血而能视，足受血而能步，掌受血而能握，指受血而能摄。

凡肝脏象木，与胆合为腑，其经足厥阴，与少阳为表里，其脉弦，相于冬，王于春，

春时万物始生，其气来濡而弱，宽而虚，故脉为弦濡，即不可发汗，弱则不可下，宽者开，开者通，通者利，故名曰宽而虚。春脉如弦，春脉肝也。东方木也，万物之所以始生也。故其气来濡弱轻虚而滑，端直以长，故曰弦，反此者病，何如而反？其气来实而弦，此谓太过，病在外；其气来不实而微，此谓不及，病在内。太过则令人善忘，忘当作怒。忽忽眩冒而癡疾；不及则令人胸痛引背，两胁胀满。肝脉来濡弱，招招如揭竿末梢曰平，
巢源作绰绰如按瑟琴之弦，如揭长竿。春以胃气为本，肝来盈实而滑，如循长竿，曰肝病，肝脉来急而益劲，如新张弓弦，曰肝死。

真肝脉至，内外急，如循刀刃责责然，

巢源作瞤瞤然。如按琴瑟弦，巢源作如新张弓弦。色青白不泽，毛折乃死。

春胃微弦曰平，弦多胃少曰肝病，但弦无胃曰死，胃而有毛曰秋病，毛甚曰金病。

肝藏血，血舍魂，悲哀动中则伤魂，魂伤则狂妄，其精不守，
一作狂妄不精不敢正当人。令人阴缩而挛筋，两胁肋骨举，一作不举。毛悴色夭，死于秋。

足厥阴气绝则筋缩引卵与舌，厥阴者，肝脉也。肝者，筋之合也，筋者，聚于阴器，而脉络于舌本，故脉弗营则筋缩急，筋缩急则引卵与舌，故唇青，舌卷卵缩则筋先死，庚笃辛死，金胜木也。

肝死藏浮之弱按之中如索不来，或曲如蛇行者死。

春肝木王，其脉弦细而长，曰平，反得

① 三百六十骨节：备急千金要方作“三百六十五节”。

② 焉：备急千金要方此下有“论曰”。

③ 行：备急千金要方作“往”。

④ 花：备急千金要方作“苑”。

⑤ 寝：备急千金要方无此字。

沉濡而滑者，是肾之乘肝，母之归子，为虚邪，虽病易治；反得浮大而洪者，是心之乘肝，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得微涩而短，千金翼云：微浮而短涩者，是肺之乘肝，金之克木，为贼邪，大逆，十死不治；反得大而缓者，是脾之乘肝，土之陵木，为微邪，虽病即瘥。心乘肝必吐利，肺乘肝即为痈肿。

左手关上阴绝者，无肝脉也。苦癰遗溺，难言，胁下有邪气，善吐，刺足少阳治阳。

左手关上阴实者，肝实也，苦肉中痛动，善转筋，吐，刺足厥阴治阴。

肝脉来濯濯如倚竿，如琴瑟弦，再至曰平，三至曰离经病，四至脱精，五至死，六至命尽，足厥阴脉也。

肝脉急甚为恶言，一作妄言，微急为肥气，在胁下如覆杯，缓甚为呕，微缓为水瘕痹，大甚为内痛，善呕衄，微大为肝痹缩，咳引小①腹，小甚为多饮，微小为消瘴，滑甚颊疝，微滑为遗溺，涩甚为淡饮，微涩为痙筋挛。

肝脉搏坚而长，色不青，当病坠，若搏因血在胁下，令人喘逆，其濡而散色泽者，当病溢饮，溢饮者，渴暴多饮，而溢入肌肤肠胃之外也。素问溢入作易入。

青脉之至也，长而左右弹，有积气在心下，支胠，名曰肝痹，得之寒湿，与疝同法，腰痛足冷②头痛。

扁鹊云：肝有病则目夺，精虚则寒，寒则阴气壮，壮则梦山树等，实则热，热则阳气壮，壮则梦怒。

肝在声为呼，在变动为握，在志为怒，怒伤肝，精气并于肝则忧，肝虚则恐，实则怒，怒而不已亦生忧矣。

色主春，病变于色者，取之荣。

病先发于肝者，头目眩，胁痛支满，脾一日之③闭塞不通，身痛体重，二日之胃而腹胀，三日之肾，小④腹腰脊痛胫痠，十日不已死，冬日入夏早食。

病在肝，平旦慧，下哺甚，夜半静。

假令肝病西行，若食鸡肉，得之当以秋时，发病以庚辛日也，家有血腥，死，女子见之以明要为灾，不者，若感金银物得之。

凡肝病之状，必两胁下痛引少腹，令人善怒，虚则目眈眈无所见，耳无所闻，善恐，如人将捕之，若欲治之，当取其经，足厥阴与少阳。气逆则头目痛，耳聋不聪，颊肿，取血者。

肝脉沉之而急，浮之⑤然，苦胁痛有气，支满引小⑥腹痛，时小便难，苦目眩，头痛，腰脊痛，足为寒，时癰，女人月事不来，时无⑦时有，得之少年⑧，有所堕坠。

肝病其色青，手足拘急，胁下苦满，或时眩冒，其脉弦长，此为可治，宜服防风竹沥汤、秦艽散，春常⑨刺大敦，夏刺行间，冬刺曲泉，皆补之。季夏刺太冲，秋刺中郄，皆泻之，又当灸期门百壮，背第九椎五十壮。

邪在肝，则两胁中痛，寒中，恶血在内，肝善痙，节时肿，取之行间，以引胁下，补三里以温胃中，取血脉以散恶血，取耳间青脉以去其痙。凡有所堕坠，恶血留内，若有所大怒，气上而不能下，积于左胁下，则伤肝。

肝中风者，头目眈，两胁痛，行常伛，令人嗜甘，如阻妇状。

肝中寒者，其人洗洗恶寒，翕翕发热，面翕然赤，淅淅有汗，胸中烦热。

肝中寒者，其人两臂不举，舌本又作大燥，善太息，胸中痛，不得转侧，时盗汗，咳，食已吐其汁。肝主胸中，喘、怒骂，其脉沉，胸中又⑩窒，欲令人推按之，有热鼻窒。

肝伤，其人脱肉，又卧，口欲得张，时

① 小：备急千金要方作“少”。

② 冷：备急千金要方作“青”。

③ 脾一日之：备急千金要方作“一日之脾”。

④ 小：备急千金要方作“少”。

⑤ 之：备急千金要方此下有“亦”字。

⑥ 小：备急千金要方作“少”。

⑦ 无：备急千金要方作“亡”。

⑧ 年：备急千金要方作“时”。

⑨ 常：备急千金要方作“当”。

⑩ 又：备急千金要方作“又”，普济方卷十四肝脏门作“闭”。

时手足青，目瞑，瞳人痛，此为肝脏伤所致也。

肝水者，其人腹大，不能自转侧，而胁下腹中痛，时时津液微生，小便续通。

肝胀者，胁下满而痛引小^①腹。

肝著，其病人常欲蹈其胸上，先未苦时，但欲饮热。

诊得肝积，脉弦而细，两胁下痛，邪气走心下，足胫寒，胁痛引小^②腹，男子积疝，女子瘕淋，身无膏泽，善转筋，爪甲枯黑，春痿秋剧，色青也。肝之积名曰肥气，在左胁下，如覆杯，有头足如龟鳖状，久久不愈，发咳逆，瘕瘕，连岁月不已，以季夏戊己日得之何也？肺病传肝，肝当传脾，脾适以季夏王，王者不受邪，肝复欲还肺，肺不肯受，因留结为积，故知肥气，以季夏得之。

肝病胸满胁胀，善悲怒叫呼，身体有热而复恶寒，四肢不举，面白身体滑，其脉当弦长而急，今反短涩，其色当青，而反白者，此是金之克木，为大逆，十死不治。

襄公问扁鹊曰：吾欲不诊脉，察其音，观其色，知其病生死，可得闻乎？答曰：乃圣道之大要，师所不传，黄帝贵之过于金玉，入门见病，观其色，闻其呼吸，则知往来出入，吉凶之相。角音人者，主肝声也，肝声呼，其音琴，其志怒，其经足厥阴。厥逆少阳则荣卫不通，阴阳交杂，阴气外伤，阳气内击，击则寒，寒则虚，虚则卒然喑哑不声，此为厉风入肝，续命汤^③主之。方见诸风门。但踞坐不得低头，面目青黑，四肢缓弱，遗失便利，甚则不可治，除则旬月之内，桂枝酒^④主之。方见诸风门。又呼而哭，哭而反吟，此为金克木，阴击阳，阴气起而阳气伏，伏则实，实则热，热则喘，喘则逆，逆则闷，闷则恐惧，目视不明，语声切急，谬说有人，此为邪热伤肝，甚则不可治，若唇色虽青，向眼不应可治，地黄煎^⑤主之。方见下肝虚实篇中。

肝病为疟者，令人色苍苍然，太息，其状若死者，乌梅丸^⑥主之。方见诸疟门。若其人本来少于悲恚，忽尔嗔怒，出言反常，乍宽

乍急，言未竟，以手向眼，如有所畏，若不即病，祸必至矣，此肝病声之候也。若其人虚则为寒风所伤，若实则为热气所损，阳则泻之，阴则补之。青为肝，肝合筋，青如翠羽者吉。肝主目，目是肝之余，其人木形，相比于上角，苍色，小头长面，大肩平背，直身，小手足，有材，好劳心，少^⑦力，多忧劳于事，耐春夏不耐秋冬，秋冬感而生病，足厥阴他他然。胁广合坚脆倾正则肝应之正。青色，小理者，则肝小，小则寢安，无胁下之病；粗理者，则肝大，大则虚，虚则寒逼胃迫咽，善膈中且胁下痛。广胁反散者，则肝高，高则实，实则肝热，上支贲，加胁下急为息贲。合胁危^⑧一作兔骹者，则肝下，下则逼胃，胁下空空，则易受邪。胁骨坚者，则肝坚^⑨，则脏安难伤；胁骨弱者，则肝脆，脆则善病消瘕易伤。胁腹好相者，则肝端正，端正则和利难伤。胁骨偏举者，则肝偏倾，偏倾则胁下偏痛。凡人分部陷起者，必有病生。胆少阳为肝之部，而藏气通于内，外部亦随而应之。沉浊为内，浮清为外，若色从外走内者，病从外生，部处起。若色从内出外者，病从内生，部处陷。内病前治阴，后治阳，外病前治阳，后治阴，阳主外，阴主内。凡人死生休否，则藏神前变形于外。人肝前病，目则为之无色，若肝前死，目则为之脱精。若天中等分，墓色应之，必死不治。看应增损斟酌除促，除则不出四百日内，促则不延旬月之间。肝病少愈而卒死，何以知之？曰：青白色如拇指大，廕点见颜颊上，此必卒死。肝绝八日死，何以知之？面青目赤，但欲伏眠，目^⑩视而不见人，汗出

① 小：备急千金要方作“少”。

② 小：备急千金要方作“少”。

③ 续命汤：方见本书卷十四诸风门二。

④ 桂枝酒：方见本书卷十四诸风门二。

⑤ 地黄煎：方见本书卷六五脏门三。

⑥ 乌梅丸：方见本书卷一百二十一诸疟门一。

⑦ 少：备急千金要方作“小”。

⑧ 危：针灸甲乙经卷一五脏大小六腑应候篇第五作“脆”。

⑨ 坚：备急千金要方此下有“坚”字。

⑩ 目：备急千金要方无此字。

如水不止，一日二日死。面黑目青者，不死。青如草滋，死。吉凶之色，在于分部顺顺而见。青白入目必病，不出其年，若年上不应，三年之中，祸必应也。

春木肝脉色青，主足少阳脉也，春取络脉分肉。春者木始治，肝气始生，肝气急，其风疾，经脉常深，其气少不能深入，故取络脉分肉之间，其脉根本并在窍阴之间，应在窗笼之前，窗笼者，耳前上下脉，以手按之动者是也。

其筋起于小指次指之上，结外踝，上循腓外廉，结于膝外廉，其支者，别起于外辅骨，上走髀，前者结伏兔之上，后者结于尻，其直者，上眇乘季胁上走腋前廉，侠于膺乳结于缺盆，直者上出掖，贯缺盆，出太阳之前，循耳后上额角交巅上，下走额上结于眦，其支者结于目外眦为外维。

其脉起于目兑眦，上抵头角，下耳后，循颈行手少阳之前，至肩上却交出手少阳之后，入缺盆。其支者，从耳后入耳中，出走耳前，至兑眦后。其支者别兑眦，下大迎，合手少阳于颧下，加颊车，下颈合缺盆以下胸中，贯膈络肝属胆，循胁里，出气街，绕毛际，横入髀厌中。其直者从缺盆下腋循胸，过季胁下合髀厌中，以下循髀阳出膝外廉，下外辅骨之前，直下抵绝骨之端，下出外踝之前，循足跗上，出小指次指之端。其支者别跗上，入大指之间，循大指岐内出其端，还贯入爪甲，出三毛合足厥阴为表里。厥阴之本在行间上五寸，应在背输，同会于手太阴。

其足少阳之别名曰光明，去踝半寸是也。别走厥阴，下络足趺，主肝生病。病实则胆热，热则厥，厥则阳病，阳脉反逆大于寸口一倍，病则胸中有热，心胁头颌痛，缺盆腋下肿。虚则胆寒，寒则痿痹，痹则阴病，阴脉反小于寸口，病则胸中有寒，少气口苦，身体无膏泽，外至腓绝骨外踝前及诸节皆痛。若阴阳俱静与其俱动，如引绳俱顿者病也。

此尽是足少阳胆经筋脉支别为病，今取足厥阴肝经附于后。

足厥阴之脉，起于大指聚毛之际，上循足趺上廉，去内踝一寸，上踝八寸，交出太阴之后，上腓内廉，循股阴入毛中，环阴器，抵小^①腹，侠胃属肝络胆，上贯膈，布胁肋，循喉咙之后，上入颞颥，连目系，上出额，与督脉会于巅。一本云：其支者，从小^②腹与太阴少阳结于腰髀下第三第四骨空中。其支者，从目系下颊里，环唇内，其支者，复从肝别贯膈，上注肺中。是动则病腰痛，不可以俯仰，丈夫颓疝，妇人小^③腹肿，甚则嗌乾，面尘脱色。是主肝所生病者，胸满呕逆，洞泄，狐疝，遗溺闭癃。盛者则寸口大一倍于人迎，虚者则寸口反小于人迎也。

足厥阴之别名曰蠡沟，去内踝上五寸，别走少阳，其别者，循经上臑结于茎，其病气逆则臑肿卒疝，实则挺长热，虚则暴痒，取之所别。足厥阴之筋，起于大指之上，上结于内踝之前，上循腓上，结内辅之上，下循阴股，结于阴器，络诸筋。

春三月者，主肝胆，青筋牵病也。其源从少阴而涉足少阳，少阳之气始发，少阴之气始衰，阴阳怫郁于腠理，皮毛之病俱生，表里之病因起，从少阳发动反少阴，气则脏腑受病而生，其病相反，若腑虚则为阴邪所伤，腰背强急，脚缩不伸，肝中欲折，目中生花，若脏实则阳毒所损，涩涩前寒而后热，颈外双筋牵不得屈伸，颈直背强，眼赤黄，若欲转动合身回侧，故曰青筋牵病。方见伤寒门。

胆腑脉论

胆腑者，主肝也。肝合气于胆，胆者中清之腑也。难经云：胆者清净之腑。甲乙云：中精之腑。号将军，决曹吏。重三两三铢，长三寸三分，在肝短叶间下，贮水精汁二合，^①难经作三合。能

① 小：备急千金要方作“少”

② 小：备急千金要方作“少”

③ 小：备急千金要方作“少”

怒能喜，能刚能柔。目下果大，其胆乃横。凡胆、脑、髓、骨、脉、女子胞，此六者，地气之所生也，皆藏于阴而象于地，故藏而不泻，名曰奇恒之腑。若胃、大肠、小肠、三焦、膀胱，此五者，天气之所生也，其气象天，故泻而不藏，此受五脏浊气，名曰传化之腑，此不能久留输泻者也。所谓五脏者，藏精气^{甲乙作神}而不泻，故满而不能实；六腑者，传化物而不藏，故实而不能满，所以然者，水谷入口，则胃实而肠虚，食下则肠实而胃虚，故曰实而不满，满而不实也。

左手关上阳绝者，无胆脉也。若¹膝疼，口中苦，眯目善畏如见鬼，多惊，少力，刺足厥阴治阴，在足大趾间或刺三毛中。

左手关上阳实者，胆实也。若²腹中不安，身軀习习也，刺足少阳治阳，在足上第二趾本节后一寸是。

胆病者，善太息，口苦呕宿汁，心澹澹恐如人将捕之，咽中介介然数唾，候在足少阳之本末，亦见其脉之陷下者灸之，其寒热刺阳陵泉。若善呕有苦，长太息，心中澹澹善悲恐，如人将捕之，邪在胆，逆在胃，胆液则口苦，胃气逆则呕苦、汁，故曰呕胆，刺三里以下，胃气逆刺足少阳血络以闭胆，却调其虚实以去其邪也。

胆胀者，胁下痛胀，口苦太息。

肝前受病，移于胆，肝咳不已，则呕胆汁。

厥气客于胆，则梦闾讼。^{甲乙云：梦闾讼自例。}

胆应筋，爪厚色黄者胆厚，爪薄色红者胆薄，爪坚色青者胆急，爪软色赤者胆缓，爪直色白无约者胆直，爪恶色黑多败者胆结。

扁鹊云：足厥阴与少阳为表里，表清里浊，其病若实极则伤热，热则惊动精神而不守，卧起不定。若虚则伤寒，寒则恐惧，头眩不能独卧，发于玄水，其根在胆，先从头面起肿至足。^{方见水肿门^③。}

胆有病，则眉为之倾，病人眉系倾者，七日

死。

足少阳之脉，是动则病口苦，善太息，心胁痛不能反侧，甚则面微尘，体无膏泽，足外反热，是为阳厥。是主骨所生病者，头痛，角颌痛，目兑眦痛，缺盆中肿痛、腋下肿，马刀夹瘰，汗出振寒疟，胸中胁肋脾膝外至胫绝骨外踝前及诸节皆痛，小指次指不用。盛者则人迎大一倍于寸口；虚者则人迎反小于寸口也。^{其经脉经筋支别已具前肝藏部中。}

心脏脉论

心主神，神者五脏专精之本也，为帝王监领四方，夏王七十二日，位在南方，离宫火也。有生之来谓之精，两精相搏谓之神，所以任物谓之心。神者，心之藏也。舌者，心之官，故心气通于舌，舌和则能审五味矣。心在窍为耳，夫心者火也，肾者水也，水火相济。心气通于舌，舌非窍也，其通于窍者，寄见于耳，左耳丙，右耳丁，循环炎宫，上出唇，口知味，荣华于耳，外主血，内主五音。心重十二两，中有三毛七孔，盛精汁三合，神名响响，主藏神，号五神居，随节应会，故云心藏脉，脉舍神。在气为吞，在液为汗。心气虚则悲不已，实则笑不休。心气虚则梦救火，阳物得其时则梦燔灼；心气盛则梦喜笑及恐惧，厥气客于心则梦丘山烟火。凡心脏象火，与小肠合为腑，其经手少阴，与太阳为表里，其脉洪，相于春，王于夏，夏时万物洪盛，垂枝布叶，皆下垂如曲，故名曰钩，心脉洪大而长，洪则卫气实，实则气无从出，大则荣气萌，萌洪相薄，可以发汗，故名曰长，长洪相得，即引水浆，溉灌经络，津液皮肤。太阳洪大皆是母躯，幸得戊己，用牢根株，阳气上出，汗见于头，五内乾枯，胞中空虚，医反下之，此为重虚，脉浮有表无里，阳无所使，不但危身，并中其母。

① 若：备急千金要方作“苦”。

② 若：备急千金要方作“苦”。

③ 方见水肿门。本书卷一百二十七水肿门二治玄水方名中军候黑圆，方见本书卷一百十五咳嗽门二。

夏脉如钩，夏脉心也，南方火也，万物之所以盛长也，故其气来盛去衰，故曰钩，反此者病，何如而反？其气来盛去亦盛，此谓太过，病在外；其来不盛去反盛，此谓不及，病在内。太过则令人身热而肤痛为浸淫；不及则令人烦心，上见咳唾，下为气泄。

心脉来，累累如连珠，如循琅玕，曰平，夏以胃气为本。心脉来，喘喘连属，其中微曲，曰心病。心脉来，前曲后居，如操带钩，曰心死。

真心脉至，坚而搏，如循薏苡子累累然。色赤黑不泽，毛折乃死。

夏胃微钩曰平，钩多胃少曰心病，但钩无胃曰死，胃而有石曰冬病，石甚曰今病。

心藏脉，脉舍神，怵惕思虑则伤神，神伤则恐惧自失，破胭脱肉，毛悴色夭，死于冬。

手少阴气绝则脉不通，少阴者，心脉也。心者脉之合也，脉不通则血不流，则发色不泽，面黑如漆叶^①者，血先死，壬笃癸死，水胜火也。心死藏，浮之实，如豆麻击手，按之益躁疾者死。夏心火王，其脉浮大而散，一作弦^②。曰平，反得弦细而长者，是肝之乘心，母之归子，为虚邪，虽病易治；反得大而缓者，是脾之乘心，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得沉濡而滑者，是肾之乘心，水之克火，为贼邪，大逆十死不治；反得微涩而短者，是肺之乘心，金之陵火，为微邪，虽病即瘥。肾乘心，必癯。

左手关前寸口阴绝者，无心脉也。若^③心下热痛，掌中热，时时善呕，口中伤烂，刺手少阳治阳。左手关前寸口阴实者，心实也。若心下有水气，忧患发之，刺手心主治阴。

心脉来，累累如贯珠，滑利再至，曰平，三至曰离经病，四至脱精，五至死，六至命尽，手少阴脉也。

心脉急甚为瘈瘲；微急为心痛引背，食不下；缓甚为狂笑；微缓为伏梁在心下，上

下行，有时唾血；大甚为喉介；微大为心痹引背，善汨出；小甚为善嘔；微小为消瘴；滑甚为善渴；微滑为心疝引脐，小^④腹鸣；涩甚为痞；微涩为血溢维厥耳鸣癰疾。

心脉搏坚而长，当病舌卷不能言；其濡而散者，当病消渴自己。^⑤渴一作环。

赤脉之至也喘而坚，论^⑥曰：有积气在中，时害于食，名心痹，得之外疾思虑而心虚，故邪从之。扁鹊曰：心有病则口生疮腐烂。

心在声为笑，在变动为忧，在志为喜，喜伤心，精气并于心则喜，心虚则悲，悲则忧，实则笑，笑则喜。

时主夏病者，时间时甚，知其源，取其输，观其应，审其害。

病先发于心者，心痛一日之肺，喘咳；三日之肝，胁痛支满；五日之脾，闭塞不通，身痛体重。三日不已，死冬夜半，夏日中，病在心，日中慧，夜半甚，平旦静。

假令心病北行，若食豚鱼得之，不者，当以冬时发，得病以壬癸日方^⑦。

凡心病之状，胸内痛，胁支满，两胁下痛，膺背肩甲间痛，两臂内痛，虚则胸腹大，胁下与腰背相引而痛，取其经手少阴太阳，舌下血者，其变病，刺郄中血者。

心脉沉之小而紧，浮之不喘，苦心下聚气而痛，食不下，喜咽唾，时手足热烦满，时忘不乐，喜太息，得之忧思。

心病其色赤，心痛短气，手掌烦热，或啼笑骂詈，悲思愁虑，面赤身热，其脉实火两^⑧数，此为可治，宜服^⑨宜服者药。春当刺中冲，夏刺劳宫，季夏刺大陵，皆补之，秋刺间使，冬刺曲泽，皆泻之，^⑩此是手心主心胞络经。又当灸巨阙五十壮，背第五椎百壮。邪在心则病心

① 叶：备急千金要方作“柴”。

② 弦：备急千金要方作“洪”。

③ 若：备急千金要方作“苦”。

④ 小：备急千金要方作“少”。

⑤ 论：备急千金要方作“诊”。

⑥ 方：备急千金要方作“也”。

⑦ 火两：备急千金要方作“大而”。

痛善悲，时眩仆，视有餘不足而调其输。

愁忧思虑则伤心，心伤则苦惊喜忘善怒。

心中风者，翕翕发热不能起，心中饥则饮食，食则呕。

心中寒者，其人病心如啖蒜薤状，剧者心痛彻背，背痛彻心如蛊注，其脉浮者，自吐乃愈。心伤其人劳倦，头面赤而下重，心中痛彻背，自烦发热，当脐跳手，其脉弦，此为心脏伤所致也。

邪哭使魂魄不安者，血气少也，血气少者，属于心，心气虚者，其人即畏，合目欲眠，梦远行而精神离散，魂魄妄行。阴气衰者，即为癡；阳气衰者，即为狂。五藏者，魂魄之宅舍，精神之所依托也。魂魄飞扬者，其五脏空虚也，即邪神居之，神灵所使鬼而下之，脉短而微。其藏不足，则魂魄不安，魂属于肝，魄属于肺，肺主津液，即为涕泣出。肺气衰者，即泣出。肺^①气衰者，魂则不安，肝主善怒，其声呼。

心水者，其人身体肿^{一作重}。而少气，不得卧，烦而躁，其阴大肿，真心痛，手足清至节，心痛甚者，旦发夕死，夕发旦死。

心腹痛懊侬，发作肿聚，往来上下行，痛有休作，心腹中热，善渴，涎出者，虻咬也。以手聚而坚持之，无令得移，以大针刺之，久持之，虫不动乃出针，肠中有虫虻咬，皆不可取以小针。

心胀者，烦心短气，卧不安。

凡心脉急，名曰心疝，小腹当有形，其以心为壮^②藏，小肠为之使，故小腹当有形。诊得心积沉而扎，时上下无常处，病胸满悸，腹中热，面赤，咽乾，心烦，掌中热，甚则唾血，身痠痲，主血厥，夏差冬剧，色赤也。

心之积名曰伏梁，起于脐上，上至心，大如臂，久久不愈，病烦心，心痛，以秋庚辛日得之何也？肾病传心，心当传肺，肺适以秋王，王者不受邪，心复欲还肾，肾不肯受，因留结为积，故知伏梁，以秋得之。

心病烦闷少气大热，热上汤心，呕咳吐逆，狂语，汗出如珠，身体厥冷，其脉当浮，今反沉濡而滑，其色当赤，而反黑者，此是水之克火，为大逆，十死不治。

徵音人者，主心声也^③。声笑，其音竿，其志喜，其经手少阴。厥逆太阳则荣卫不通，阴阳反错，阳气外击，阴气内伤，伤则寒，寒则虚，虚则惊悸心悸，定心汤^④主之。方见惊悸门。语声前宽后急，后声不续，前混后浊，口喎冒昧好自笑，此为厉风入心，荆沥汤^⑤主之。方见诸风门。心虚风寒，半身不遂，骨节离解，缓弱不收，便利无度，口面喎邪，姜附汤^⑥主之，方见诸风门。此病不盈旬日，宜急治之。又笑而呻呻而反忧，此为水克火，阴击阳，阴起而阳伏，伏则实，实则伤热，热则狂^⑦乱，冒昧，言多谬误，不可采听，此心已伤。若其人口唇正赤，可疗，青黄白黑，不可疗也。心病为疟者，令人心烦甚，欲得清水，反寒多不甚热。方见诸疟门^⑧。若其人本来心性和雅，而忽弊急反于常，白术酒^⑨主之，方见诸风门。或言未竟便住，以手剔脚爪，此人必死，祸虽未及，名曰行尸，此心病声之候也。虚则补之，实则泻之，不可治者，明以察之。

赤为心，心合脉，赤如鸡冠者吉。心主舌，舌是心之餘，其人火形相比，于上徵赤色，广眦，兑面，小头，好肩背脾腹，小手足行安地，疾行摇肩背，肉满有气，轻财，少信多虑，见事明了，好顾急心，不寿暴死，耐春夏不耐秋冬，秋冬感而生病，主手少阴窆窆然，髆髀长短倾正则心应之。正赤色小

① 肺：备急千金要方作“肝”。

② 壮：备急千金要方作“牡”。

③ 也：备急千金要方此下有“心”字。

④ 定心汤：方见本书卷一百五十八惊悸门。

⑤ 荆沥汤：方见本书卷十四诸风门二。

⑥ 姜附汤：方见本书卷十诸风门二，名乾姜附子汤。

⑦ 狂：备急千金要方此下有“闷”字。

⑧ 方见诸疟门：方在本书卷一百二十一诸疟门一，引千金方“治心热为疟不止，或止后热不歇，乍来乍去，令人烦心甚，欲饮清水反寒多不甚热者方”。

⑨ 白术酒：方见本书卷十四诸风门二。

理者，则心小，小则邪弗能伤，易伤以忧；粗理者则心大，大则虚，虚则寒，寒则忧不能伤。易伤于邪，无髑髀者则心高，高则实，实则热，热则满于肺中，闷而善忘，难开以言，髑髀小短举者则心下，下则藏外，易伤于寒，易恐以言；髑髀长者则心坚，坚则藏安守固；髑髀弱以薄者则心脆，脆则善病消瘴热中；髑髀直下不举者则心端正，端正则和利难伤；髑髀向一方者则心偏倾，偏倾则操持不一，无守司也。下云：若髑髀小短薄弱而下则心下，下则虚，虚则伤寒，病忧患内损，心暴痛而好唾清涎，口臭，虫齿，痛侵唇齿；若髑髀高起则心高，高则实，实则热，热则满于心，闷而善忘，恐悸，喉燥，口痛，牙痛，舌伤，小儿则便秘，口重舌，鹅口声嘶。方见头面门。凡人部分陷起者，必有病生，小肠太阳为心之部，其处陷起，即病生矣。藏舍内外，部亦内外，沉浊属内，浮清居外，若外病内入，小腹满起，内病里出；所部陷没，外入内；前治阳，后补阴，内出外，前补阴，后泻阳，阳则实热；阴则虚寒，在阳主外；在阴主内。凡人死生休咎，则藏神前变形于外，人心前病，则口为之开张。若心前死，则枯黑，语声不转。若天中等分墓色应之，卯^①死不治。看应增损，斟酌除促，除则不出四百日内，促则不^②旬月之间。心病少愈而卒死，何以知之？曰：赤黑色黯点颜即若^③见颜度年上，此必卒死。心绝一日死，何以知之？两目回回直视肩息，立死。凡面赤目白，忧患思虑，心气内索，面色反好，急求棺槨，不过十日死。又面黄目赤不死，赤如衄血死，吉凶之色，若在于分部，眊眊而见，赤黑入口，此必死，不出其年，名曰行尸。若年上无应，三年之中病必死矣。

夏火心脉色赤，主手太阳也，夏取盛经分脉，夏者火始治，心气始长，脉瘦气弱，阳气留溢，热熏分脉，内至于经，故取盛经分脉绝肤而病去者，邪居浅也。所谓盛经者，阳脉也，其脉本在外踝之后，应在命门之上三寸，命门者，在心上一寸也，脉根在少泽，少泽在手小指端。

其筋起于小指之上，结于腕上，循臂内廉，结肘内兑骨之后，弹之应小指之上，入结腋下。其支者，后走腋后廉，上绕肩甲，循颈出足太阳之筋前，结于耳后完骨。其支者，入耳中，直出耳上，下结于颌上，属目外眦。

其脉起于小指之端，循手外侧上腕，出踝中直上循臂骨下廉，出肘内侧两骨之间，上循臑外后廉，出肩解绕肩甲，交肩上，入缺盆，向腋络心，循咽下膈抵胃属小肠，其支者从缺盆循颈上颊，至目兑眦，却入耳中。其支者别颊上颞抵鼻，至目内眦斜络于颧，合手少阴为表里。少阴本在兑骨之端，应在背后，同会于手太阴。

其手太阳之别名曰支正，上腕五寸，内注少阴，其别者上走肘络肩髃，主心生病，病实则小肠热，热则节弛，弛则阳病，阳脉大反逆于寸口再倍，病则噬痛颌肿，耳聋目黄，卧不能言，闷则急坐，虚则小肠寒，寒则生疣，疣则阴病，阴脉反小于寸口过一倍，病则短气，百节痛，筋急颈痛不能转顾。此尽是手太阳小肠经筋脉支别为病，今取心主胞络，少阴心经附于后。

手心主之别名曰内关，去腕五寸，甲乙作^④寸。出于两筋间，循经以上系于心包络心系。气实则心痛，虚则为烦心，取之两筋间。

手心主之脉起于胸中，出属心包，下膈历络三焦。其支者循胸出胁，下腋三寸上抵腋，下循臑内，行太阴少阴之间，入肘中下臂，行两筋之间，入掌中循中指出其端。其支者别掌中，循小指次指出其端也^①。动则病手心热，肘臂挛急，腋肿，甚则胸胁支满，心中澹澹大动，面赤目黄，善笑不休。是主脉所生病者，烦心心痛，掌中热。为此诸病，盛则泻之，虚则补之，热则疾之，寒则留之，陷下则灸之，不盛不虚，以经取之。盛者则

① 卯：备急千金要方作“必”

② 膝：备急千金要方作“延”

③ 颜即若：备急千金要方作“如博棋”

④ 也：备急千金要方作“是”

寸口大一倍于人迎,虚者则寸口反小于人迎。手少阴之别名曰通理,在腕后一寸,别而上行,循经入咽中,系舌本,属目系。其实则大^①膈,虚则不能言,取之掌后一寸,别走太阳。

手少阴之脉,起于心中,出属心系,上膈络小肠。其支者从心系上侠咽,系目系。系目系一作循胸出肋其直者复从心系却上肺,出腋下,下循臑内后廉,行太阴心主之后,下肘内廉,循臂内后廉,抵掌后兑骨之端,入掌后内廉,循小指之内出其端。是动则病嗑乾心痛,渴而欲饮,是为臂厥。是主心所生病者,目黄,胁满痛,臑臂内后廉痛厥,掌中热痛。为此诸病,盛则泻之,虚则补之,盛者则寸口大再倍于人迎,虚者则寸口反小于人迎。

手少阴之脉独无输何也?曰:少阴者,心脉也。心者,五脏六腑之大主也,为帝王精神之所舍,其藏坚固,邪不能容^②,容^③之则伤心,心伤则神去,神去则身死矣。故诸邪在于心者,皆在心之包络,包络者,心主之脉也,故少阴无输也。少阴无输,心不病乎?曰:其外经腑病,脏不病,故独取其经于掌后兑骨之端也。

夏三月,主心小肠,赤脉搏病也。其源从少阴太阳之气相搏而停,则荣卫不通,皮内^④痛,起太阳动发少阴,淫邪之气因而作,则脏腑随时受夏疫病也。其病相若,腑虚则为阴邪气所伤,身战脉掉捉所不禁,脏实则为阳毒所侵,肉热口开舌破咽塞声嘶,故曰赤脉搏病。方见伤寒门^⑤。

小肠腑脉论

小肠腑者,主心也,舌是其候也。心合于小肠,小肠者受盛之腑也,号监仓吏,重二斤十四两,长二丈四尺,广二寸四分,难经、甲乙云:长三丈二尺,大二寸半,径八分,分之少半。后附脊,左回叠积,其注于回肠者,外傅脐上,回运环反十六曲,常留水谷二斗四升,其一斗二升是水,一斗二升是谷,应主二十四气也。难经云:十六曲盛谷二斗四升,水六升三合,合之太半。甲乙云:受三斗

三合,合之太半。唇厚,人中长,以候小肠。小肠病者,小腹痛,腰脊控睾而痛时窘之,复耳前热,若寒甚独肩上热,及手小指次指之间热,若脉滑者,脉经作陷,甲乙同。此其候也。小腹控睾引腰脊,上冲心,邪在小肠者,连睾系属于脊,贯肝肺络心系,气盛则厥逆上冲肠胃,动肝肺,散于育,结于脐,故取之育原以散之,刺太阴以与之,取厥阴以下之,取巨虚下廉以去之,按其所过之经以调之。

左手关前寸口阳绝者,无小肠脉也,若脐痹,小腹中有疝瘕,王^⑥月即冷上抢心,刺手心主,治阴,心主在掌后横文中入一分。

左手关前寸口阳实者,小肠实也,苦心下急热痹,小肠内热,小便赤黄,刺手太阳,治阳,手太阳在手小指外侧本节陷中。

小肠有寒,其心下重,便脓血有热,必痔。

小肠有宿食,常暮发热,明日复止。

小肠胀者,小腹膜胀,引腹痛。

心前受病移于小肠,心咳不已则气与咳俱出。

厥气客于小肠,梦聚邑街衢。

心应皮,皮厚者脉厚,脉厚者小肠厚;皮薄者脉薄,脉薄者小肠薄;皮缓者小肠大而长;皮薄而脉冲小者,小肠小而短。诸阳经脉皆多纤屈者小肠结。

扁鹊云:手少阴与太阳为表里,所以表清里浊,清实浊虚,故食下肠实而胃虚,故腑实而不满,实则伤热,热则口张,口为之生疮,虚则伤寒,寒则便泄脓血,或发里水,其根在小肠,先从腹起。方见水肿门^⑦。

① 大:备急千金要方同。灵枢·经脉篇、针灸甲乙经卷之二均作“支”。

② 容:太素卷九作“害”,此下并有“也”字。

③ 容:太素卷九作“客”。

④ 内:备急千金要方作“肉”。

⑤ 方见伤寒门:方见本书卷四十五伤寒门十九,引千金方“治心脾脏温病阴阳毒战掉不定惊动方”。

⑥ 王:备急千金要方作“主”。

⑦ 方见水肿门:方见本书卷一百二十七水肿门二,引千金方“治小肠水,小腹满暴肿、口苦乾燥方”。

小肠绝不治，六日死，何以知之？发直如乾麻，不得屈伸，白汗不止。

手太阳之脉，是动则嗌痛颌肿，不可以

顾，肩似拔，臑似折，是主液所生病者，耳聋目黄，颊颌肿，颈肩臑肘臂外后廉痛。经脉支别已见心藏部中。

五 藏 门_二

千 金 方_二

脾 藏 脉 论

脾主意，脾脏者，意之舍，意者，存忆之志也，为谏议大夫，并四脏之所受。心有所忆，谓之意，意之所存，谓之志，因志而存变，谓之思。因思而远慕，谓之虑，因虑而处物，谓之智。意者，脾之藏也。口唇者，脾之官，脾气通于口，口和则能别五谷味矣。故云口为戊，舌唇为己，循环中宫，上出颐颊，次候于唇，下回脾中，荣华于舌，外主肉，内主味。脾重二斤三两，扁广三寸，长五寸，有散膏半斤。主裹血，温五藏，神名俾，俾主藏营，一作意。秩禄号为意藏，随节应会，故曰脾藏营，营舍意，在气为噫，在液为涎。脾气虚则四肢不用，五脏不安；实则腹胀，泾溲不利。脾气虚则梦食饮不足，得其时则梦筑垣盖屋；脾气盛则梦歌乐，体重手足不举；厥气客于脾，则梦丘陵大泽，坏屋风雨。凡脾藏象土，与胃合为腑，其经足太阴与阳明为表里，其脉缓，相于夏，王于季夏。脾者土也，敦而福，敦者厚也，万物众色不同，故名曰得福者广，万物悬根住茎，其叶在巅，蛭蜚蠕动，蚊蠓喘息，皆蒙土恩，德则为缓，恩则为迟，故令太阴缓而迟，尺寸不同，酸咸苦辛，大妙而生，互行其时，而以各行，皆不群行，尽可常服。土寒则温，土热则凉，土有一子，名之曰金，怀挟抱之，不离其身，金乃畏火，恐热来薰，遂弃其母，逃于水中，水为金子，而藏火神，闭门塞户，内外不通，此谓冬时。土失其子，其气衰微，水为洋溢，浸渍其地，走击皮肤，

面目浮肿，归于四肢。愚医见水，直往下之，虚脾空胃，水遂居之，肺为喘浮，肝反畏肺，故下沉没，下有荆棘，恐伤其身，避在一边，以为水流。心衰则伏，肝微则沉，故令脉伏而沉。上医远一作来占，因转孔穴，利其溲便，遂通水道，甘液下流，停其阴阳，喘息则微，汗出正流，肝著其根，心气因起，阳行四肢，肺气亭亭，喘息则安，肾为安声，其味为咸，倚坐母败，污臭如腥，土得其子，即成为山，金得其母，名曰丘矣。

四时之序，逆顺之变异也。然脾脉独何主？脾脉者土也，孤藏以灌四旁者也。其善者不可得见，恶者可见。恶者何如？其来如水之流者，此谓太过，病在外；如鸟之喙者，此谓不及，病在中。太过则令人四肢沉重不举，不及则令人九窍壅塞不通，名曰重强。

脾脉来而和柔相离，如鸡践地，曰平。长夏以胃为本。脾脉来实而盈数，如鸡举足，曰脾病。脾脉来坚锐如鸡之啄、鸡一作鸟。如鸟之距、如屋之漏、如水之流，曰脾死。

真脾脉至，弱而乍蹶乍散，一作数。色黄青不泽，毛折乃死。

长夏胃微濡弱曰平，弱多胃少曰脾病，但代无胃曰死，濡弱有石曰冬病，石甚曰今病。

脾脏营，营舍意，愁忧不解则伤意，意伤则闷乱，四肢不举，毛悴色夭，死于春。

足太阴气绝，则脉不营其口唇，口唇者，肌肉之本也。脉弗营则肌肉濡，肌肉濡则人中满，人中满则唇反，唇反者肉先死。甲笃

① 一：备急千金要方作“正”。

乙死，木胜土也。

脾死脏浮之入^①缓，一作坚。按之中如覆杯，絮絮状如摇者死。六月季夏建未也。坤未之间，土之位，脾王之时，其脉大，阿阿而缓曰平。反得浮大而洪者，是心之乘脾，母之归子，为虚邪，虽病易治；反得微涩而短者，是肺之乘脾，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得弦而长者，是肝之乘脾，木之克土，为贼邪，大逆，十死不治；反得沉濡而滑者，是肾之乘脾，水之陵土，为微邪，虽病即瘥。

右手关上阴绝者，无脾脉也。若^②少气下利，腹满身重，四肢不欲动，善欧^③，刺足阳明治阳。

入而右手关上阴实者，脾实也。若^④肠中伏伏如坚状，大便难，刺足太阴治阴。

脾脉长长而弱，来踈去穉，一作数。再至曰平，三至曰离经病，四至脱精，五至死，六至命尽，足太阴脉也。

脾脉急甚为痙痙，微急为膈中满，饮食还出，后沃沫。缓甚为痿厥，微缓为风痿，四肢不用，心慧然若无疾。大甚为击仆，微大为脾疝，气裹大脓血^⑤，在肠胃之外。小甚为寒热，微小为消瘴。滑甚为癰瘕；微滑为虫毒虺肠鸣热。涩甚为肠癰；微涩为内溃，多下脓血。

脾脉搏坚而长，其色黄，当病少气；其软而散，色不泽者，当病足胗肿若水状。

黄脉之至也，大而虚，有积气，在腹中有厥气，名曰厥疝。女子同法，得之疾使四肢汗出当风。

扁鹊曰：脾有病则色痿黄，实则舌本强直，虚则多癖，善吞注，利其实，若阳气壮则梦饮食之类。

脾在声为歌，在变动为噫，在志为思，思伤脾。精气并于脾则饥，音在^⑥长夏，病变于音者取之经，恐惧而不解则伤精，精伤则骨痠痿厥，精时自下则病精，是故五藏主藏精者也，不可伤，伤则守失而阴虚，虚则无气，无气则死。病先发于脾，闭塞不通，

身痛体重，一日之胃而腹胀，二日之肾，少腹腰痛，胫痠，三日之膀胱，背脊筋痛，小便闭，十日不已，死。冬人定，夏晏食。

病在脾，日昃慧，平旦甚，日中持，下哺静。素问作日出甚。王冰云：日中持者，续也。假令脾病东行，若食雉兔肉及诸木果实得之，不者，当以春时发，得病以甲乙日也。

凡脾病之状，必身重善饥，足痿不收。

素问作善肌肉痿足不收。甲乙作苦饥，肌肉痿，足不收。行善痠，脚下痛，虚则腹满，肠鸣飧泄，食不化，取其经足太阴阳明少阴血者。

脾脉沉之而濡，浮之而虚，苦腹胀烦满，胃中有热，不嗜食，食而不化，大便难，四肢苦脾^⑦，时不仁，得之房内，月使不来，来而频并。

脾病其色黄，饮食不消，腹苦胀满，体重节痛，大便不利，其脉微缓而长，此为可治，宜服平胃丸，泻脾丸，茺莢丸，附子汤。春当刺隐白，冬刺阴陵泉，皆泻之。夏刺大都，季夏刺公孙，秋刺商丘，皆补之。又当灸章门五十壮，背第十一椎百壮。

邪在脾胃，肌肉痛。阳气有余，阴气不足，则热中善饥；阳气不足，阴气有余，则寒中肠鸣腹痛；阴阳俱有余，若俱不足，则有寒有热，皆调其三里。

有所击扑，若醉饱入房，汗出当风，则伤脾，脾伤则中气阴阳离别，阳不从阴，故以三分候死生。

脾中风者，翕翕发热，形如醉人，腹中烦重，皮肉瞤瞤而短气也，脾中寒。

脾水者，其人腹大，四肢苦重，津液不生，但苦少气，小便难。脾胀者，善哕，四

① 入：备急千金要方作“大”。

② 若：备急千金要方作“苦”。

③ 欧：普济方卷二十脾脏门作“呕”。

④ 若：备急千金要方作“苦”。

⑤ ：备急千金要方作“正”。

⑥ 微大为脾疝气裹大脓血：灵枢经邪气脏腑病形篇作“微大为疝气，腹里大脓血”。

⑦ 在：备急千金要方作“主”。

⑧ 脾：备急千金要方作“瘕”。

肢急，一作实 体重不能衣。一作收。

趺阳脉浮而涩，浮则胃气强，涩则小便数，浮涩相搏，大便则坚，其脾为约。脾约者，其人大便坚，小便利，而反不渴。

脾气弱，病利下白，肠垢，大便坚不能更衣，汗出不止，名曰脾气弱。或五液注下青黄赤白黑。

寸口脉弦而滑，弦则为痛，滑则为实，痛即为急，实即为踊，痛踊相搏，即胸胁抢急。

趺阳脉浮而涩，浮即胃气微，涩即脾气衰，微衰相搏，即呼吸不得，此为脾家失度。

寸口脉双紧即为入，其气不出，无表有里，心下痞坚。

趺阳脉微而涩，微即无胃气，涩则伤脾，寒在于膈而反下之，寒积不消，胃微脾伤，谷气不行，食已自噎，寒在胸膈，上虚下实，谷气不通，为秘塞之病。

寸口脉缓而迟，缓则为阳，其气长，迟则为阴，荣气促。一云不足。荣卫俱和，刚柔相得，三焦相承，其气必强。

趺阳脉滑而紧，滑即胃气实；紧即脾气伤，得食而不消者，此脾不治也。能食而腹不满，此为胃气有余；腹满而不能食，心下如饥，此为胃气不行；心气虚也，得食而满者，此为脾家¹不治。病人鼻下平者胃病也，微赤者病发痛，微黑者有热，青者有寒，白者不治。唇黑者，胃先病，微燥而渴者可治，不渴者，不可治。脐反出者，此为脾先落。

一云先终

凡人病脉已解，而反暮微烦者，人见病者差安，而强与谷，脾胃气尚弱，不能消谷，故令微烦，损谷则愈。

诊得脾积脉浮大而长，饥则减，饱则现²，臌起与谷争减，心下累累如桃李起见于外，腹满呕泄肠鸣，四肢重，足胫肿，厥不能卧，是主肌肉损色黄也。

脾之积名曰痞气，在胃管覆大如盘，久久不愈，病四肢不收，黄瘿，食饮不为肌肤，

以冬壬癸日得之。肝病传脾，脾当传肾，肾适以冬王，王者不受邪，脾复欲还肝，肝不肯受，因留结为积，故知痞气以冬得之。

脾病，其色黄，体青失瘦，直视，唇反张，爪甲青，饮食吐逆，体重节痛，四肢不举，其脉当浮大而缓，今反强³急，其色当黄，而反青者，此是木之克土，为大逆，十死不治。

宫音人者，主脾声也。脾声歌，其音鼓⁴，其志愁，其经足太阴。厥逆阳明则荣卫不通，阴阳翻祚，阳气内击，阴气外伤，伤则寒，寒则虚，虚则举体消瘦，语言沉涩，如破鼓之声，舌强不转，而好咽唾，口噤唇黑，四肢不举，身重如山，便利无度，甚者不可治，依源麻黄汤⁵主之。方见诸风门。又言声忧惧，舌本卷缩，此是木克土，阳击阴，阴气伏，阳气起，起则实，实则热，热闷乱，体重不能转侧，语声拖，声气深不转而心急，此为邪热伤脾，甚则不可治。若唇虽萎黄，语音若转，可治。

脾病为疟者，令人寒，腹中痛，热则肠中鸣，鸣已汗出，恒山丸⁶主之。方见诸疟门。若其人本来少于瞋怒，而忽反常，瞋喜无度，正言而鼻笑不答于人，此脾病声之候也。不盈旬月，祸必至矣！阴阳之疾，经络之源，究寻其病，取其所理，然后行治，万无遗一也。

黄为脾，脾合肉，黄如衄腹者吉。脾主口唇，唇是脾之余，其人土形，相比于上宫，黄色，大头，圆面，美肩背，大腹好股肱，小手足，多肉，上下相称，行安地，举足，心平，好利人，不喜权势，喜附人。耐秋冬不耐春夏，春夏感而生病，主足太阴敦敦然。脾应月，月有亏盈，脾小大随人唇大小。上

1 豕：备急千金要方作“豕”。

2 现：备急千金要方作“见”。

3 强：备急千金要方作“弦”。

4 鼓：备急千金要方作“鼓”。

5 依源麻黄汤：方见本书卷十四诸风门。

6 恒山丸：方见本书卷一百二十一诸疟门。

唇厚，下唇薄，无腭断，唇缺破，此人脾不正；揭声唇者则脾高，高则实，实则热，热则季胁痛满；唇垂而大不坚者，则脾下，下则虚，虚则危，危则寒，寒则身重不能行步；唇坚者，则脾坚，坚则脏安，安则不病；唇上下好者则脾端正，端正则脾胃和，利人无病；唇偏举者，则脾偏痛好胀。凡人分部中陷起者，必有病生，胃阳明为脾之部，而藏气通于内，外部亦随而应之。沉浊为内，浮清为外，若表病外入，所部则起，起则前泻阳，后补阴；若里病内出，所部则陷，陷则前治阴，后治阳。阳则实热，阴则虚寒；寒主外，热主内。凡人死生休否，则藏神前变形于外，人脾前病，唇则焦枯无润。若脾前死，唇则乾青白渐缩急，齿噤不开。若天中等分墓色应之，必死不治。看色厚薄，决判断除促。除则不盈四百日内，促则旬朔之间。瘳¹病少愈而卒死，何以知之？曰：青黑如拇指黧点见颜颊上，此必卒死。脾绝十二日死，何以知之？口冷足肿，腹热臌胀，泄利不觉其出时。一日，五日死。面青目黄者，五日死。病人着床，心痛气短，脾竭内伤，百日复愈，欲起徬徨，因坐于地，其亡倚床，能治此者，可谓神良。又面黄目赤不死，黄如枳实死。吉凶之色，在于分部，霏霏而见黑黄入唇必病，不出其年。其穴在鼻上，当两眼是其分部位也。若年上不应，三年之内祸必应也。季夏土，脾脉色黄，主足太阴脉也。其脉本在中封前上四寸之中，应在背输与舌本，中封在内踝前一寸大筋里宛宛中，脉本从中封上四寸是也，其脉根于隐白，隐白在足大指端内侧是也。

其筋起于足大指之端内侧，上结于内踝，其直者，上结于膝内辅骨上，循阴股结于髀，聚于阴器，上腹，结于脐，循腹里，结于胁，散于胸中，其内者著于脊。

其脉起于足大指之端，循指内侧白肉际，过核骨后，上内踝前廉，上臑内，循肱骨后，交出厥阴之前，上循膝股内前廉入腹，属脾络胃，上膈侠咽，连舌本，散舌下，其支者，

复从胃别上膈，注心中，合足阳明为表里，阳明之本，在厉兑，足趺上大指间上三寸骨解中也，同会于手太阴。

其足太阴之别，名曰公孙，去本节后一寸。别走阳明，其别者入络肠胃，主脾生病。实则胃热，热则腹中切痛，痛则阳病，阳脉反大于寸口三倍，病则舌强筋转卵缩，牵阴股，引脾痛，腹胀身重，饮食不下，烦心，心下急，注脾，脾病虚则胃寒，寒则腹中鼓胀，胀则阴病，阴脉反小于寸口一倍，病则泄水，不能卧而烦，强立股膝内痛。若筋折纽之，纽之者，脉时缀缀动也，发动甚者，死不治。

四季之月，各余十八日，此为四季之余日，主脾胃，黄肉随病也。^①一作内阳病。其源从太阴阳明相格，节气相移，三焦寒湿不调，四时关格而起，则藏腑伤病，随时受病，阳气外泄，阴气内伏，其病相反；若腑虚则阴邪所加，头重颈直，皮肉强痹；若藏实则阳疫所伤，蕴而结核，起于喉颈之侧，布毒热于皮肤分肉之中，上散入发际，下贯颧颧，隐隐而热，不相断离，故曰黄肉随病也。

胃腑脉论

胃腑者，主脾也。口唇者，是其候也。脾合气于胃，胃者，水谷之腑也，号仓库守、内啬吏。重二斤十四两，迂曲屈伸，长一^②尺六寸，大一尺五寸，径五寸，受水谷三斗五升，其中当留谷二斗，水一斗五升，广胁大颈张胸，五谷乃容而满。上焦泄气，出其精微，慄悍滑疾；下焦下溉，泄诸小肠，此肠胃所受水谷之数也。平人则不然，胃满则肠虚，肠满则胃虚，更满更虚，气得上下，五藏安定，血脉和利，精神乃居。故神者，水谷精气也。五藏不足调于胃。故肠胃之中，当留谷二斗四升，水一斗一升，故人一日再至后，^③甲乙作圆。后二升半。一日中五升，七日，

¹ 瘳：备急千金要方作“脾”。

^② 一：备急千金要方作“二”。

五七三斗五升，而留水谷尽，故平人不饮不食，七日而死者，水谷精气津液皆尽，故七日而死矣。

右手关上阳绝者，无胃脉也。若吞酸头痛，胃中有冷，刺足太阴治阴，在足大指本节后一寸。

右手关上阳实者，胃实也。若肠中伏伏^{一作慱慱}，不思食，得食不能消，刺足阳明治阳，在足上动脉。脉浮而芤，浮则为阳，芤则为阴，浮芤相搏，胃气生热，其阳则绝。

趺阳脉浮大者，此胃家微。虚烦，圜必日再行，动作头痛重，热气朝者属胃。

胃脉搏坚而长，其色赤，当病折髀，其软而散者，当病食痹髀痛。病先发于胃胀满。五日之肾，少腹腰痛胫痠；三日之膀胱，背脊筋痛小便闭；五日上之心脾，心痛闭塞不通，身痛体重，灵枢云：上之心。三日不已死。冬夜半后，夏日晡。胃病者，腹腹胀，胃管当心而痛，上支两胁，膈咽不通，饮食不下，下取三里。

饮食不下，膈塞不通，邪在胃管，在上管则抑而刺之，在下管则散而去之。

胃胀者，腹满胃管痛，鼻闻焦臭，妨于食，大便难。

胃疟，令人旦病也，善饥而不能食，食而支满腹大，刺足阳明太阴横脉出血。

胃中有癖食冷物者，痛不能食，食热则能食，脾前受病移于胃，脾咳不已，呕吐长虫。

厥气客于胃，则梦饮食。

诊得胃脉病形何如？曰：胃脉实则胀，虚则泄。脾应肉脘，肉脘坚大者胃厚；肉脘么者胃薄；肉脘小而么者胃不坚；肉脘不称其身者胃下，胃下者脘约；肉脘不坚者胃缓；肉脘无小果累累标紧者胃急；肉脘多小果累累者胃结。胃结者，胃上脘约不利。

扁鹊云：足太阴与阳明为表里，脾胃若病，实则伤热，热则引水浆，常渴；虚则伤寒，寒则苦饥常痛。发于风水，其根在胃，

先从四肢起，腹满大，通身肿。^{方在水肿门。}

胃绝不治五日死，何以知之？舌肿溺血，大便赤泄。

足阳明之脉，起于鼻，交頞中，旁约太阳之脉，下循鼻外，入上齿中，还出侠口环唇，下交承浆，却循颐后下廉，出大迎，循颊车，上耳前，过客主人，循发际，至额颅；其支者，从大迎前下人迎，循喉咙，入缺盆，下膈属胃络脾。其直者，从缺盆下乳内廉，下挟脐，入气街中。其支者，起胃下口，循腹里，下至气街中而合，以下髀关，抵伏兔，下膝入腓中，下循胫外廉，下足跗，入中指内间。其支者，下膝三寸而别，以下入中指外间。其支者，跗上，入大指间，出其端也^①。动则病凄凄振寒，善伸数欠颜黑，病至恶人与火，闻木音则惕然而惊，心动，欲独闭户牖而处，甚则欲上高而歌，弃衣而走，贲向腹胀，是为飧厥。是主血所生病者，狂疟温淫汗出，鼽衄，口喎唇紧，颈肿喉痹，大腹水肿，膝腘肿痛，循膺、乳、街、股、伏兔、胫外廉、足跗上皆痛，中指不用。气盛则身以前皆热，其有余于胃，则消谷善饥，溺色黄；气不足则身以前皆寒慄，胃中寒则胀满。盛者则人迎大三倍于寸口，虚者则人迎反小于寸口。

肺脏脉论

肺主魄，魄藏者，任物之精也。为上将军，使在上行，所以肺为五脏之华盖。并精出入谓之魄，魄者肺之藏也。鼻者肺之官，肺气通于鼻，鼻和则能知香臭矣。循环紫宫，上出于颊，候于鼻下，回肺中，荣华^③于发，外主气，内主胸，与乳相当。左乳庚，右乳辛。肺重三斤三两，六叶两耳，凡八叶，有十四童子、七女子守之，神名鸿鸿^④。主藏魄，号为魄藏，随节应会，故云肺藏气，气舍魄，

① 通：备急千金要方此下有“身”字。

② 也：备急千金要方作“是”。

③ 华：备急千金要方作“叶”。

④ 鸿鸿：备急千金要方作“鸟鸟”。

在气为咳，在液为涕。肺气虚则鼻息利少；气实则喘喝胸凭仰息。肺气虚则梦见白物，见人斩血藉藉，得其时则梦见兵战；气盛则梦恐惧哭泣；厥气客于肺，则梦飞扬，见金铁之器及¹奇物。

凡肺藏象金，与大肠合为腑。其经手太阴与阳明为表里。其脉浮，相于季夏，王于秋。秋时万物之所终宿，叶落柯萋萋，枝条²机³然独在。其脉为微浮，卫气迟，荣气数，数则在上，迟则在下，故名曰毛。阳当陷而不陷，阴当升而不升，为邪所中，二气感激，故为风寒所中。阳中邪则卷，阴中邪则紧，卷则恶寒，紧则为慄，寒慄相薄，故名曰疟。弱则发热，浮乃来出，旦中旦发，暮中暮发。藏有远近，脉有迟疾，周有度数，行有漏刻，迟在上伤毛采，数在下伤下焦。中焦有恶则见，有善则匿，阳气下陷，阴气则温，阳反在下，阴反在巅，故名曰长而且留。秋脉如浮，秋脉肺也。西方金也，万物之所以收成也。故其气来轻虚而浮，来急去散，故曰浮。反此者病，何如而反，其气来，毛而中央坚，两旁虚，此谓太过，病在外；其气来，毛而微，此谓不及，病在中。太过则令人气逆而背痛，愠愠然，不及则令人喘，呼吸少气而咳，上气见血，下闻病音。

肺脉来，厌厌聂聂如落榆莢，曰肺平。秋以胃气为本，肺脉来，不上不下，如循鸡羽，曰肺病。巢源无不字。

肺脉来如物之浮，如风吹毛，曰肺死。

真肺脉至大而虚，如以毛羽中人，肤色白赤不泽，毛折乃死。秋胃微毛曰平。毛多胃少曰肺病；但毛无胃曰死；毛而有弦曰春病，弦甚曰今病。

肺藏气，气舍魄，喜乐无极则伤魄，魄伤则狂，狂者意不存人，皮革焦，毛悴色夭，死于夏。

手太阴气绝，则皮毛焦，太阴者，行气温皮毛者也。气弗营则皮毛焦，皮毛焦则津液去，津液去则皮节伤，皮节伤者则爪^{一作皮}。

枯毛折，毛折者，则气先死，丙笃丁死，火胜金也。肺死藏浮之虚，按之弱如葱叶，下无根者死。秋金肺王，其脉微涩而短曰平，反得大而缓者，是脾之乘肺，母之归子，为虚邪，虽病易治；反得沉濡而滑者，是肾之乘肺，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得浮大而洪者，是心之乘肺，火之克金，为贼邪，大逆，十死不治；反得弦细而长者，是肝之乘肺，木之陵金，为微邪，虽病即瘥。肝乘肺，必作虚。

右手关前寸口阴绝者，无肺脉也。若⁴短气咳逆，喉中塞，噫逆，刺手阳明治阳。

右手关前寸口阴实者，肺实也。若⁵少气，胸中满膨膨，与肩相引，刺手太阴治阴。

肺脉来，泛泛轻如微风吹鸟背上毛，再至曰平，三至曰离经病，四至脱精，五至死，六至命尽，手太阴脉也。

肺脉急甚为癰疾；微急为肺寒热，息惰，咳唾血，引腰背胸，若鼻息肉不通。缓甚为多汗；微缓为痿漏风，^{一作偏风}。头已下汗出不可止。大甚为胫肿；微大为肺痹，引胸背，起腰内。小甚为飧泄；微小为消瘵。滑甚为息贲上气；微滑为上下出血。涩甚为呕血，微涩为鼠痿，在颈腋之间，下不胜其上，其能喜酸。

肺脉搏坚而长，当病唾血，其濡而散者，当病漏^{一作灌}汗，至今不复发散⁶。

白脉之至也，喘而浮，上虚下实，惊有积气在胸中，喘而虚，名曰肺痹寒热，得之醉而使内也。

黄帝问曰：经脉十二，而手太阴之脉，独动不休何也？手太阴本在寸口中。岐伯对曰：足阳明胃脉也。胃者，五脏六腑之海，胃脉在足趺

1 及：备急千金要方无此字。

2 条：备急千金要方此下有“其”字。

3 机：备急千金要方作“机”。

4 若：备急千金要方作“苦”。

5 若：备急千金要方作“苦”。

6 发散：备急千金要方作“散发”。

上大趾间上行三寸骨解中是。其精气上清注于肺，肺气从太阴而行之，其行之也，以息往来，故人一呼，脉再动，一吸，脉亦再动，呼吸不已，脉动不止。

黄帝问曰：气口何以独为五脏主？岐伯曰：胃者，水谷之海，六腑胃居其大，五味入于口，藏于胃，以养五藏气。气口者，太阴是也，藏腑之气味，皆出于胃，变见于气口，气口属腑藏主，即呼寸口者也。

扁鹊曰：肺有病则鼻口张，实热则喘逆，胸凭仰息，其阳气壮则梦恐惧等，虚寒则咳息下利，少气，其阴气壮则梦涉水等。肺在声为哭，在变动为咳，在志为忧。忧伤肺，精气并于肺则悲。味主秋，结满而血者病在胸，及以饮食不节得病者取之合，故命曰味主合。

病先发于肺喘咳。三日之肝，胁痛支满；一日之脾，闭塞不通，身痛体重；五日之胃，腹胀；十日不已，死。冬日入，夏日出。病在肺，下晡慧，日中甚，夜半静。

假令肺病南行，若食马肉及獐肉得之，不者当以夏时发，得病以丙丁日也，宜^①赤药。

凡肺病之状，必喘咳逆气，肩息背痛，汗出，尻阴股膝挛，髀腠胫足皆痛，虚则少气不能报息，耳聋嗑乾，取其经手太阴，足太阳之外，厥^②内，少阴血者。

肺脉沉之而数，浮之而喘，苦洗洗寒热，腹满肠中热，小便赤，肩背痛，从腰已上汗出，得之房内汗出当风。

肺病其色白，身体但寒无热，时时咳，其脉微迟为可治，宜服五味子大补肺汤、泻肺散。春当刺少商，夏刺鱼际，皆泻之；季夏刺大渊，秋刺经渠，冬刺尺泽，皆补之。又当灸膺中百壮，背第三椎二十五壮。

邪在肺则皮肤痛，发寒壮^③上气，气喘汗出，咳动肩背，取之膺中外输背第三椎之傍，以手痛按之快然，乃刺之，取之缺盆中以越之。

形寒寒饮则伤肺，以其两寒相感，中外皆伤，故气逆而上行，肺伤，其人劳倦则咳唾血，其脉细紧浮数皆吐血。此为躁扰嗔怒得之，肺伤气拥所致也。

肺中风者，口燥而喘，身运而重，冒而肿胀。

肺中寒者，其人吐浊涕。

肺水者，其人身体肿而小便难，时时大便鸭溏。

肺胀者，虚而满，喘咳，目如脱状，其脉浮大。

趺阳脉浮缓，少阳脉微紧，微为血虚，紧为微寒，此为鼠乳。诊得肺积脉浮而毛^④，按之辟易，胁下时时痛逆，背相引痛，少气善忘，目瞑结痛，皮肤寒，秋愈夏剧，主皮中时痛，如虱缘之状，甚者如针刺之状，时痒，色白也。

肺之积，名曰息贲。在右肋下，覆大如杯，久久不愈，病洒洒寒热，气逆喘咳，发肺痛，以春甲乙日得之，何也？心病传肺，肺当传肝，肝适以春王，王者，不受邪，肺复欲还心，心不肯受，因留结为积，故知息贲以春得之。

肺病身当有热，咳嗽短气，唾出脓血。其脉当短涩，今反浮大，其色当白，而反赤者，此是火之克金，为大逆，十死不治。

商音人者，主肺声也。肺声哭，其音磬，其志乐，其经手太阴。厥逆阳明，则荣卫不通，阴阳反祚，阳气内击，阴气外伤，伤则寒，寒则虚，虚则厉风所中，嘘吸战掉，语声嘶塞而散，下气息短急，四肢僻弱，面色青葩，遗失便利，甚则不可治。依源麻黄续命汤^⑤主之。方见诸风门。

又言音喘急，短气好唾，此为火克金。

① 宜：备急千金要方同。普济方卷二十六肺脏门此下有“服”字。

② 厥：备急千金要方此下有“阴”字。

③ 壮：备急千金要方作“热”。

④ 毛：备急千金要方作“手”。

⑤ 依源麻黄续命汤：方见本书卷十四诸风门二。

阳击阴，阴气沉，阳气升，升则实，实则热，热则狂，狂则闭眼悸言，非常所说，口赤而张，饮无时度，此热伤肺，肺化为血，不治。若面赤而鼻不斂，可治也。

肺病为疟者，令人心寒，寒甚则热，热间善惊，如有所见者，恒山汤^①主之。方见诸疟门。若其人本来语声雄烈，忽尔不亮，拖^②气用力，方得出言，而反于常，人呼共语，直视不应，虽曰未病，势当不久，此则肺病声之候也。察观疾病，表里相应，依源审治，乃不失也。

白为肺，肺合皮，白如豕膏者吉。肺主鼻，鼻是肺之余。其人金形，相比于上商。白色，小头，方面，小肩背，小腹，小手足，发动身轻，精廉^③急心，静悍，性喜为吏。耐秋冬不耐春夏，春夏感而生病，主手太阴廉廉然。肩膺厚薄正竦则肺应之。正白色小理者，则肺小，小则少饮，不病喘喝；粗理者，则肺大，大则虚，虚则寒喘鸣，多饮善病胸喉痹，逆气；巨肩反膺陷喉者，则肺高，高则实，实则热，上气，肩息^④咳逆；合腋张胁者，则肺下，下则逼贲迫肝。善胁下痛，鼻塞或壅而涕生息肉；好肩背厚者，则肺坚，坚则不病咳上气；肩背薄者，则肺脆，脆则易伤于热，喘息鼻衄；肩膺好者，则肺端正，端正则和利难伤；膺偏斂者，则肺偏倾，偏倾则病胸偏痛，鼻亦偏疾。凡人分部陷起者，必有病生，大肠阳明为肺之部，而藏气通于内，外部亦随而应之。沉浊为内，浮清为外。若外病内入，则所部起，内病里出则所部陷。外入前治阳后治阴；内出前治阴后治阳。实泻虚补。阳主外，阴主内。凡人死生休否，则藏神前变形于外。人肺前病，鼻则为之孔开焦枯；若肺前死，鼻则为之梁折、孔闭、青黑色。若天中等分墓色应之，必死不治。看色深浅，斟酌臬促，远不出一二年，促不延时月，肺疾少愈而卒死，何以知之？曰：赤黑如拇指黯点，见颜颊上，此必卒死。肺绝三日死，何以知之？口张但气出

而不还，面白目青，是谓乱经。饮酒当风，风入肺经，胆气妄泄，目则为青，虽有天救，不可复生，面黄目白如枯骨死。吉凶之色，在于分部顺，顺而^⑤见赤白入鼻，必病不出其年。若年^⑥不应，三年之中，祸必应也。

秋金肺，脉色白，主手太阴脉也。秋取经输。秋者，金始治，肺将收杀，金将胜火，阳气在合，阴气初胜，湿气及体，阴气未盛，未能深入，故取输以泻阴邪，取合以虚阳邪。阳气始衰，故取于合。其脉本在寸口之中，掌后两筋间二寸中，应在腋下动脉，其脉根于太仓，太仓在脐上三寸，一夫是也。

其筋起于手大指之上，循指上行，结于鱼后，行寸口外侧，上循臂，结肘中，上膈内廉，入腋下，上出缺盆，结肩髃前，上结缺盆，下结胸里，散贯贲下抵季胁。

其脉起于中焦，下络大肠，还循胃口，上膈属肺，从肺系，横出腋下，下循膈内，行少阴心主之前，下肘中，后循臂内，上骨下廉，入寸口，上鱼，循鱼际，出大指之端；其支者，从腕后直次指内廉，出其端。合手阳明为表里。阳明之本在肘骨中，同会于手太阴。

太阴之别，名列缺，起于腋下分间，并太阴之经，直入掌中，散入于鱼际，别走手阳明。主肺生病，病实则大肠热，热则手兑掌起，起则阳病，阳脉反逆大于寸口三倍，病则咳，上气喘渴，烦心胸满，膈臂内前廉痛，掌中热。气盛有余，则肩背痛风，汗出中风；虚则大肠寒，寒则欠咳，小便遗数，数则阴病，阴脉反小于寸口一倍，病则肩背寒痛，少气不足以息，季胁空痛，尿色变，卒遗失无度。

① 恒山汤：方见本书卷一百二十一诸疟门一。

② 拖：备急千金要方作“施”。

③ 精廉：备急千金要方作“精瘦”。灵枢经·阴阳二十五人作“清廉”。

④ 息：备急千金要方作“急”。

⑤ 而：备急千金要方作“面”。

⑥ 年：备急千金要方此下有“上”字。

秋三月者，主肺大肠，白气狸病也。其源从太阳击手太阴，太阴受淫邪之气，则经络壅滞，毛皮紧肾¹，发泄邪生则藏腑伤温，随秋受病，其病相反。若腑虚，则为阴邪所伤，乍寒乍热，损肺伤气，暴嗽呕逆；若藏实，则为阳毒所损，体热生斑，气喘引饮，故曰白气狸病也。

大肠腑脉论

大肠腑者，主肺也。鼻柱中央是其候也。肺合气于大肠，大肠者为行道传写之腑也。号监仓掾，重二斤十二两，长一丈二尺，广六寸，当脐右回叠积还反十二曲，贮水谷一斗二升，主十二时，定血脉和利精神，千金、明堂、外台同。难经云：长二丈一尺，大四寸，径一寸之少半，十六曲，盛谷一斗，水七升半。鼻遂以长，以候大肠。

右手关前寸口阳绝者，无大肠脉也。若少气，心下有水气，立秋节即咳。刺手太阴治阴，在鱼际间。

右手关前寸口阳实者，大肠实也。若肠中切痛，如针刀所刺，无休息时。刺手阳明治阳，在手腕中泻之。

大肠病者，肠中切痛，而鸣濯濯，冬日重感于寒则泄，当脐而痛，不能久立，与胃同候，取巨虚上廉。

肠中雷鸣，气上冲胸，喘不能久立，邪在大肠。刺育之原，巨虚上廉、三里。

大肠胀者，肠鸣而痛，寒则泄，食不化。大肠有寒鹜溏，有热便秘垢。

大肠有宿食，寒栗发热，有时如疟状。

肺前受病，移于大肠，肺咳不已，咳则遗失便利。厥气客于大肠，则梦田野。

肺应皮，皮厚者大肠厚，皮薄者大肠薄。皮缓腹裹大者大肠缓而长，皮急者大肠急而短。皮滑者大肠直，皮肉不相离者大肠结。

扁鹊云：手太阴与阳明为表里，大肠若病实则伤热，热则胀满不通，口为生疮。食

下入肠，肠实而胃虚，食下胃，胃实而肠虚。所以实而不满，乍实乍虚，乍来乍去。虚则伤寒，寒则肠中雷鸣，泄青白之利，而发于气，水根在大肠。方见水肿门。

大肠绝不治，何以知之？泄利无度，利绝则死。

手阳明之脉，起于大指次指之端，外侧循指上廉，出合谷两骨之间，上入两筋之中循臂上廉，上入肘外廉，循臑外前廉，上肩，出髃骨之前廉，上出柱骨之会上，下入缺盆络肺，下膈属大肠。其支者，从缺盆直而上颈贯颊，入下齿缝中，还出侠口交人中，左之右，右之左，上侠鼻孔。是动则病齿痛颊肿。是主津所生病者，目黄口乾，𦐇𦐇，喉痹，肩前臑痛，大指次指痛不用。气盛有余则当脉所过者热肿，虚则寒栗不复。盛者，则人迎大三倍于寸口，虚者，则人迎反小于寸口也。

肾藏脉论

肾主精。肾者，生来精灵之本也。为后宫内官，则为女主。所以天之在我者德也，地之在我者气也，德流气薄而生者也。故生^②来为^③之精，精者，肾之藏，耳者肾之官也。肾气通于耳，耳和则能闻五音矣。肾在窍为耳，然则肾气上通于耳，下通于阴也。左肾壬，右肾癸，循环玄宫，上出耳门，候闻四远，下回玉海，侠脊左右，与脐相当，经于上焦，荣于中焦，卫于下焦，外主骨，内主膀胱。肾重一斤一两，有两枚，神名澹澹。主藏精，号为精藏，随节应会，故云肾藏精。精舍志，在气为欠，在液为唾，肾气虚则厥逆，实则胀满，四肢正黑。虚则使人梦见舟船溺人，得其时梦伏水中若有畏怖；肾气盛，则梦腰脊两解不相属，厥气客于肾则梦临渊没居水中。

1 肾：备急千金要方作“竖”。

② 生：备急千金要方此下有“之”字。

③ 为：备急千金要方作“谓”。

凡肾藏象水，与膀胱合为腑。其经足少阴，与太阳为表里。其脉沉，相于秋，王于冬。冬时万物之所藏，百虫伏蛰，阳气下陷，阴气上升，阳气中出，阴气冽而为霜，遂不^①上升，化为霜雪，猛兽伏蛰，蜋虫匿藏，其脉为沉。沉为阴，在里，不可发汗，发之^②者如^③蜋虫出，见其霜雪。阴气在表，阳气在藏，慎不可下，下之者伤脾。脾土弱，即水气妄行^④，如鱼出水，蛾入汤。重客在里，慎不可熏，熏之逆客，其息则喘，无持客热，令口烂疮，阴脉且解，血散不通，正阳遂厥，阴不往从，客热狂入，内为结胸，脾气遂弱，清瘦痢通。

冬脉如营。冬脉者，肾也，北方水也，万物之所以合藏也，故其气来沉以搏，故曰营。反此者病，何如而反？其气来如弹石者，此谓太过，病在外；其去如数者，此谓不及，病在中。太过则令人解体，脊脉痛而少气不欲言；不及则令人心悬如病饥，眇中清，脊中痛，小腹满，小便变赤黄。

肾脉来，喘喘累累如钩，按之而坚曰平。冬以胃气为本。肾脉来如引葛，按之益坚曰肾病；肾脉来，发如夺索，辟辟如弹石，曰肾死。

真肾脉至搏而绝，如以指弹石辟辟然。色黄黑不泽，毛折乃死。

冬胃微石曰平，石多胃少曰肾病；但石无胃曰死；石而有钩曰夏病；钩甚曰今病。凡人以水谷为本，故人绝水谷则死。脉无胃气也^①死。所谓无胃气者，但得真藏脉，不得胃气也。所谓脉不得胃气者，肝不弦，肾不石也。

肾藏精，精舍志，盛怒不止则伤志。志伤则善忘前言，腰脊痛不可以俯仰屈伸，毛悴色夭，死于季夏。

足少阴气绝则骨枯，少阴者，冬脉也。伏行而濡滑骨髓者也。故骨不濡，则肉不能着骨也。骨肉不相亲，即肉濡而却，肉濡而却，故齿长而垢，发无泽。发无泽者骨先死。

戊笃己死，土胜水也。

肾死藏，浮之坚，按之乱如转丸，益下入尺中者死。

冬肾水王，其脉沉濡而滑曰平。反得微涩而短者，是肺之乘肾，母之归子，为虚邪，虽病易治；反得弦细而长者，是肝之乘肾，子之乘母，为实邪，虽病自愈；反得大而缓者，是脾之乘肾，土之克水，为贼邪，大逆，十死不治；反得浮大而洪者，是心之乘肾，火之陵水，为微邪，虽病即瘥。

左手关后尺中阴绝者，无肾脉也。若^⑤足下热，两髀里急，精气竭少，劳倦所致，刺足太阳治阳。

左手关后尺中阴实者，肾实也。若^⑥恍惚健忘，目视眈眈，耳聋怅怅善鸣，刺足少阴治阴。

右手关后尺中阴绝者，无肾脉也。若^⑦足逆冷，上抢胸痛，梦入水见鬼，善魇寐，黑色物来掩人上，刺足太阳治阳。

右手关后尺中阴实者，肾实也。若^⑧骨疼腰痛，内寒热，刺足少阴治阴。

肾脉沉细而紧，再至曰平，三至曰离经病，四至脱精，五至死，六至命尽，足少阴脉也。

肾脉急甚为骨痿癱疾；微急为奔豚沉厥，足不收，不得前后。缓甚为折脊；微缓为洞下，洞下者，食不化，入咽还出。大甚为阴痿；微大为石水，起脐下以至小^⑨腹肿垂垂然，上至胃脘，死不治。小甚为洞泄；微小为消瘴。滑甚为痿癱；微滑为骨痿，坐不能起，目无所见，视见黑花。涩甚为大痼；微涩为不月、水、沉痔。

肾脉搏坚而长，其色黄而赤，当病折腰。

① 之：备急千金要方作“汗”。

② 如：备急千金要方无此字。

③ 行：备急千金要方此下有“下之者”三字。

④ 也：备急千金要方作“亦”。

⑤ 若：备急千金要方作“苦”。

⑥ 若：备急千金要方作“苦”。

⑦ 若：备急千金要方作“苦”。

⑧ 若：备急千金要方作“苦”。

⑨ 小：备急千金要方作“少”。

其软而散者，当病小血。黑脉之至也，上坚而大，有积气在小^①腹与阴，名曰肾痹。得之沐浴，清水而卧。

扁鹊曰：肾有病则耳聋。肾在窍为耳，然则肾气上通于耳，五藏不和则九窍不通。阴阳俱盛，不得相营，故曰关格。关格者，不得尽期而死也。

肾在声为呻，在变动为栗，在志为恐。恐伤肾，精气并于肾则恐。藏主冬病，在藏者取之井。

病先发于肾，小腹腰脊痛胫酸。一日之膀胱，背脊筋痛，小便闭；二日上之心，心痛；三日之小肠，胀；四日不已死。冬大晨，夏晏晡。

病在肾，夜半慧，日乘四季甚，下晡静。

假令肾病中央，若食牛肉及诸土中物得之。不者，当以长夏时发，得病以戊己日也。

凡肾病之状，必腹大，胫肿痛，喘咳，身重，寝汗出，憎风虚，即胸中痛，大腹小腹痛，清厥，意不乐。取其经足少阴太阳血者。肾脉沉之而大坚，浮之而大紧，苦手足骨肿，厥而阴不兴，腰脊痛，小腹胀，心下有水气，时胀闭时泄。得之浴水中，身未乾而合房内，及劳倦发之。

肾病其色黑，其气虚弱，吸吸少气，两耳苦聋，腰痛时时失精，饮食减少，膝以下清，其脉沉滑而迟^②，此为可治。宜服内补散、建中汤、肾气丸、地黄煎。春当刺涌泉，秋刺伏留，冬刺阴谷，皆补之；夏刺然谷，季夏刺太溪，皆泻之。又当灸京门五十壮，背第十四椎百壮。

邪在肾，则骨痛阴痹。阴痹者，按^③之而不得，腹胀腰痛，大便难，肩背颈项强痛，时眩。取之涌泉、昆仑，视有血者，尽取之。有所用力举重，若入房过度，汗出如浴水，则伤肾。

肾中风^④。肾中寒^⑤。

肾水者，其人腹大脐肿，腰痛不得溺，阴下湿如牛鼻头汗，其足逆寒，大便反坚。

一云面反瘦。

肾胀者，腹满引背，央央然腰脾^{一作癢}痛^④。

肾著之病，其人身体重，腰中冷如冰状，^{一作如水洗状，一作如坐水中，形如水状。}反不渴，小便自利，食饮如故，是其证也。病属下焦，从身劳汗出，衣里冷湿，故久久得之。

肾着之为病，从腰以下冷，腰重如带五千钱。

诊得肾积，脉沉而急。苦脊与腰相引痛，饥则见，饱则减，少腹里急，口乾咽肿伤烂，目眵眵，骨中寒，主髓厥善忘，色黑^⑤。

肾之积，名曰奔豚，发于小^⑥腹，上至心下，如豚奔走之状，上下无时，久久不愈，病喘逆，骨痿少气，以夏丙丁日得之，何也？脾病传肾，肾当传心，心适以夏王，王者不受邪，肾复欲还脾，脾不肯受，因留结为积。故知奔豚以夏得之。肾病，手足逆冷，面赤目黄，小便不禁，骨节烦痛，小^⑦腹结痛，气冲于心。其脉当沉细而滑，今反浮大，其色当黑，而反黄，此是土之克水，为大逆，十死不治。

羽音人者，主肾声也。肾声呻，其音瑟，其志恐，其经足少阴。厥逆太阳，则荣卫不通，阴阳翻祚，阳气内伏，阴气外升，升则寒，寒则虚，虚则厉风所伤，语音耆吃不转，偏枯，脚偏跛蹇，若在左则左肾伤，在右则右肾伤，其偏枯风，体从鼻而分半边至脚，缓弱不遂，口亦欬，语声混浊，便利仰人，耳偏聋塞，腰背相引，甚则不可治，肾沥汤^⑧主之。方见诸风门。又呻而好悲，悲而善忘，恍惚有所思，此为土克水。阳击阴，阴气伏而

① 小：备急千金要方作“少”。

② 迟：备急千金要方此下有“少”字。

③ 按：备急千金要方作“抚”。

④ 痛：备急千金要方作“并痛”。

⑤ 黑：备急千金要方此下有“也”字。

⑥ 小：备急千金要方作“少”。

⑦ 小：备急千金要方作“少”。

⑧ 肾沥汤：方见本书卷十四诸风门二。

阳气起，起则热，热则实，实则怒，怒则忘；耳听无闻，四肢满急，小便赤黄，语音口动而不出，笑而看人。此为邪热伤肾，甚则不可治，若面黑黄，耳不应，亦可治。

肾病为疟者，令人凄凄然腰脊痛，宛转大便难，目眴眴然，身掉不定，手足寒，恒山汤^①主之。方见诸疟门。若其人本来不吃，忽然嗜吃而好嗔恚，反于常性，此肾已伤，虽未发觉，已是其候，见人未言而前开口笑，还闭口不声，举手擗腹，一作把腹。此肾病声之候也。虚实表里，浮沉清浊，宜以察之。逐以治之。黑为肾，肾合骨，黑如鸟羽者吉，肾主耳，耳是肾之余，其人水形，相比于上羽，黑色，大头曲面，广颐小肩，大腹，小手足，发行摇身，下尻长背延延也^②。不敬畏，善欺给，入^③，戮死，耐秋冬，不耐春夏，春夏感而生病，主足少阴，污污然，耳大小、高下、厚薄、偏圆，则肾应之。正黑色小理者，则肾小，小即安难伤；粗理者，则肾大，大则虚，虚则肾寒，耳聋或鸣，汗出，腰痛不得俯仰，易伤以邪；耳高者，则肾高，高则实，实则肾热，背急腰痛，耳脓血出，或生肉塞耳；耳后陷者，则肾下，下则腰尻痛，不可以俯仰，为狐疝；耳坚者，则肾坚，坚则肾不受病，不病腰痛；耳薄者则肾脆，脆则伤热，热则耳吼闹，善病消瘴；耳好前居牙车者，则肾端正，端正则和利难伤；耳偏高者则肾偏欹，偏欹则善腰尻偏痛。凡人分部骨陷者，必死不免，侠膀胱并太阴^④，为肾之部，骨当其处陷也。而藏气通于内外，部亦随而应之，沉浊为内，浮清为外，若色从外走内者，病从外生，部处起，若色从内出外者，病从内生，部处陷。内病前治阴，后治阳，外病前治阳，后治阴，阳主外，阴主内。凡人生死休否，则藏神前变形于外，人肾前病，耳则为之焦枯，若肾前死，耳则为之黧黑焦癢，若天中等分墓色应之，必死不治。看应增损斟酌除促，除不出四百日内，促则旬月^⑤之间，肾病少愈而卒死，何以知之？

曰：黄黑色黧点如拇指应耳。此必卒死，肾绝四日死，何以知之？齿为暴黑，面为正黑，目中黄，腰中欲折，白汗出如流，面黑目青，一作白。肾气内伤，病因留积，八日当亡，是死变也。面黄目黑不死，黑如衄死，吉凶之色，天中等分，左右发色不正，此是阴阳官位，相法若不遭官事，而应死也。其人面目带黄黑，连耳左右，年四十以上百日死，若偏在一边，最凶必死，两边有，年上无，三年之内，祸必至矣。

冬水肾脉色黑，主足少阴脉也。少阴何以主肾？曰：肾者主阴，阴水也，皆生于肾，此脉名曰太冲。凡五十七穴，冬取其井荣，冬者水始治，肾方闭，阳气衰少，阴气坚盛，太阳气伏沉，阳脉乃去，故取井以下阴气，逆取荣以通兼同作实。阳气，其脉本在内踝下二寸，应舌下两脉，其脉根于涌泉。涌泉在脚心下大指筋是。

其筋起于小指之下，入足心，并太阴之筋而邪走内踝之下，结于踵，与太阳之筋合而上结于内辅下，并太阴之筋而上循阴股，结于阴器，循脊内侠脊，上至项，结于枕骨，与太阳之筋合。

其脉起于小指之下，斜趣足心，出然骨之下，循内踝之后，别入跟中，以上腠内，出腠中内廉，上股内后廉，贯脊属肾，络膀胱。其直者，从肾上贯肝鬲，入肺中，循喉咙，侠舌本。其支者，从肺出络心，注胸中。合足太阳为表里。太阳本在跟以上五寸中，同会于手太阴。

其足少阴之别，名曰太钟。当踝后绕跟别走太阳。其别者，并经上走于心包，下贯腰脊。主肾生病，病实则膀胱热，热则闭癰，癰则阳病。阳脉反逆大于寸口再倍，其病则

① 恒山汤：方见本书卷一百二十一诸疟门一。

② 也：备急千金要方同。灵枢经阴阳二十五人无此字。

③ 入：备急千金要方作“人”。

④ 阴：备急千金要方作“阳”。

⑤ 月：备急千金要方作“日”。

口热舌乾，咽肿上气，嗑乾及痛，烦心心痛，黄痺肠澼，脊股内后廉痛，痿厥嗜卧，足下热而痛。灸则强食而生灾，缓带被发，大杖重履而步。虚则膀胱寒，寒则腰痛，痛则阴脉反小于寸口。其病则饥而不欲食，面黑如炭色，咳唾则有血，喉鸣而喘，坐而欲起，目眦眦无所见，心悬若病饥状，气不足则善蜷¹，心惕惕若人将捕之，是为骨厥。冬三月者，主肾膀胱，黑骨温病也。其源从太阳少阴相搏，蕴积三焦，上下壅塞，阴毒内行，藏腑受客邪之气，则病生矣。其病相反，若腑虚则为阴毒所伤，里热外寒，意欲守火而引饮，或腰中痛欲折；若藏实则阳温所损，胸胁切痛，类如刀刺，不得动转，热彭彭；若服冷药过差而便洞泻。故曰黑骨温病也。

膀胱腑脉论

膀胱者，主肾也，耳中是其候也。肾合气于膀胱，膀胱者，津液之腑也，号水曹掾名玉海。重九两二铢，左回叠积上下纵广九寸，受津液九升九合，两边等，应二十四气，鼻空在外，膀胱漏泄。

黄帝曰：夫五脏各一名一形，肾乃独两何也？岐伯曰：膀胱为腑有二处，肾亦二形，应腑有二处。脏名一，腑名二，故五脏六腑也。一说肾有左右，而膀胱无二，今用当以左肾合膀胱，右肾合三焦。

左手关后尺中阳绝者，无膀胱脉也。病苦逆冷，妇人月使不调，王月则闭，男子失精，尿有余沥，刺足少阴经，治阴，在足内踝下动脉是也。

右手关后尺中阳绝者，无子户脉也。病苦足逆寒，绝产，带下无子，阴中寒，刺足少阴经治阴。

左手关后尺中阳实者，膀胱实也。病苦逆冷，胁下邪气相引痛，刺足太阳经治阳，在足小趾外侧本节后陷中。

右手关后尺中阳实者，膀胱实也。病苦小腹满，引腰痛，刺足太阳经治阳。

病先发于膀胱者，背脊筋痛，小便闭，五日之肾，小腹腰脊痛，胫痠；一日之小肠，胀；一日之脾，闭塞不通，身痛体重；二日不已，死。冬鸡鸣，夏下晡。——云日夕。

膀胱病者，小腹偏肿而痛，以手按之，则欲小便而不得，肩上热。若脉陷，及足小趾外侧及胫踝后皆热。若脉陷，取委中。

膀胱胀者，小腹满而气癢。

肾前受病，传于膀胱，肾咳不已，咳则遗溺。

厥气客于膀胱，则梦游行。

肾应骨，密理厚皮者，三焦膀胱厚；粗理薄皮者，三焦膀胱薄；腠理疎者，三焦膀胱缓；急皮而无毫毛者，三焦膀胱急；毫毛美而粗者，三焦膀胱直；稀毫毛者，三焦膀胱结也。

扁鹊云：六腑有病彻面形，肾膀胱与足少阴太阳为表里。膀胱总通于五脏，所以五脏有疾，即应膀胱，膀胱有疾，即应胞囊。伤热则小便不通，膀胱急，尿苦黄赤；伤寒则小便数清白，或发石水，根在膀胱，四肢小，其腹独大也。方见水肿门。骨绝不治，齿黄落十日死。

足太阳之脉，起于目内眦，上额交巅上。其支者，从巅至耳上角。其直者，从巅入络脑，还出别下项，循肩膊内，侠脊抵腰中，入循膂，络肾，属膀胱。其支者，从腰中下会于后阴，下贯臀，入腠中。其支者，从腠内左右，别下贯腠，一作髓过髀枢，循髀外后廉下合腠中，以下贯腠内，出外踝之后，循京骨，至小指外侧，是也²。动则病冲头痛，目似脱，项似拔，脊痛腰似折，髀不可以曲，一作回。腠如结，腠如列，是为踝厥。是主筋所生病者，痔疟狂癲疾，头脑项痛，目黄泪出眦衄，项背腰尻腠脚皆痛，小指不用。盛者，则人迎大再倍于寸口，虚者，则人迎反小于寸口也。

¹ 蜷：备急千金要方作“恐”。

² 也：备急千金要方无此字。

三焦脉论 并方见三焦门

诊五脏六腑气绝证候

病人肝绝八日死，何以知之？面青但欲伏眠，目视而不见人，汗一作泣。出如水不止。一日二日死。

病人胆绝七日死，何以知之？眉为之倾。

病人筋绝九日死，何以知之？手足爪甲青，呼骂不休。一日八日死。

病人心绝一日死，何以知之？肩息回视立死。一日目亭亭二日死。

病人肠一云小肠。绝六日死，何以知之？发直如乾麻，不得屈伸，白汗不止。

病人脾绝十二日死，何以知之？口冷足

肿，腹热臌胀，泄利不觉，出无时度。一日五日死。

病人胃绝五日死，何以知之？脊痛腰中重，不可反复。一日脾肠平九日死。

病人肉绝六日死，何以知之？耳乾，舌皆肿，溺血，大便赤泄。一日足肿九日死。

病人肺绝三日死，何以知之？口张但气出而不还。一日鼻口虚张短气。

病人大肠绝不治，何以知之？泄利无度，利绝则死。

病人肾绝四日死，何以知之？齿为暴枯，面为正黑，目中黄色，腰中欲折，白汗出如流水。一日人中平七日死。

病人骨绝齿黄落，十日死。

诸浮脉无根者皆死，已上五脏六腑为根也。

五脏六腑图

肺藏图

治肺用咽，咽为写，吸为补。肺，金宫也。为五藏之华盖。本一居上对胸有六叶，色如缟映红，凡丈夫八十肺气衰，魄离散也。重三斤三两。西方白色入通于肺，关¹窍于鼻；亦云左乳为庚，右乳为辛。在形为皮毛，肺脉出于少商。肺者藏之长，炁之本也。是以诸炁属之，久卧伤气。天气圆于肺，盖呼吸之津传送之官治。又魄门亦为玉堂宫，肺者相传之官也，治节出焉。于液为涕。涕者肺之液，肾邪入肺，则多涕也。肺生于右，肺为之嗽，六腑大肠之府，大肠与肺合为传写行道立府也。五官鼻为肺之²。肺气通则鼻³，肺病则鼻不知香臭也。肺合于皮，其荣毛也。肺之合，皮聚而毛落者，肺气先死也。为西方，兑金也，受于寅，生于巳，壬干酉，病于亥，死于子，墓于丑。为秋。肺王肾相，肝死，心囚，脾休。日为庚辛，西方干位。辰为申酉。西方支位。为金，扶土抑水克木，辰相、秋王、冬休、春囚、火季夏死⁴。声商，金音也，其声散，能动以明，温和，以虚肺也。色白，金，肺色，如豕膏生色也。枯骨死者也。味辛。其性散，食之先走气，气疾勿多食燥皮腠。其臭腥，心邪入肺则恶腥也。其性

义，肺气之义。其性怒，金性刚而主怒。肺之外，应西岳，上通太白精，秋之三月，太白在肺之中，亦作白气在也。肺神皓华字虚成。

夫肺者兑之气，金之精，其色白，其象如悬磬，其神形如白兽。肺生魄，化为玉童，长七寸，素衣持兵杖来往于肺府也。一云：肺有七童子、十四玉女守之。其神多怒，人之怒者，盖发于肺藏。欲安其魄，而存其形者，当收思敛欲，含仁育义，不怒其怒，不声息，其金而后全其生，则合乎太和也。肺合于大肠，上主鼻，故人肺风则鼻塞。人之容色枯者，肺乾也；人之鼻痒者，肺有虫也；人之多怖者，肺中魄离于外也；人之体黯黧者，肺气微也；人之多声者，肺之盛也；人不耐寒者，肺劳也；人之好食辛味者，肺气不足也；人之肠鸣者，肺拥也；人之颜色鲜白者，肺无病也。肺邪自入则好哭，夫肺主

1 关：素问·金匱真言论作“开”。

2 之：素问·金匱真言论此下有“窍”字。

3 鼻：灵枢·脉度此下有“和”字。

4 辰相……季夏死：脉经卷三肺大肠部第四作“其相，季夏六月（季夏土王金相）；其王，秋三月；废，冬三月；囚，春三月；死，夏三月（夏，火王，金死）”。



商，肺之有疾当咽。咽者，肺之气也，其气义，能抽肺之病。所以人之有怒攻塞胸臆者，则长咽而泄之，盖自然之理也。问若不咽，必致伤败，嗽咽而获全乎？！故肺疾当用咽泻之，夫人之无苦咽咽者不祥也。

夫肺处七宫，主信，使人方正好直，习先忠则魄安形全也。且肺者，秋之用事三月，此为容平，天气以急，地气明，美卧鸡起^①，使志安宁，以缓秋攸^②，敛神气，使秋和^③平，无外志其^④使肺气精^⑤，养生之则，伤则咳嗽歔噓也。

相肺藏病法

肺病热，右颊赤，肺病者，色白而毛槁，喘咳逆气，胸背及四肢烦疼，或梦见美女，诈来亲进相依附；肺虚则少气不能报息，鼻燥喉乾；肺风则多汗畏风，时欲咳嗽。如气尽，旦则喜，暮则甚。诊在眉上，其色白。

肺主秋，手太阴阳明主治，其日庚辛。肺若气上逆，急食苦以泄之。又曰：肺病欲收，食酸以收之，用辛补之，苦泻之，禁食寒。肺恶寒也。肺病证，肺病脐右月，勒气按之牵若痛，苦咳嗽热也。

心藏图

治心用呵，呵为写，吸为补，心火官也，居肺下肝上，对鸠尾下一寸，色如缟映绛，形如莲花未开之状，凡丈夫至六十，心气衰弱，言多错忘也。重十二两。南方赤色，入通于心，关^⑥窍于舌，左形为脉，出于中冲。心者生之本，

① 地气明，美卧鸡起：素问·四气调神大论作“地气以明，早卧早起，与鸡俱兴”。

② 缓秋攸：素问·四气调神大论作“缓秋刑”，此下并有“收”字。

③ 和：素问·四气调神大论作“气”。

④ 志其：素问·四气调神大论作“其志”。

⑤ 精：素问·四气调神大论作“清”。

⑥ 关：按素问·金匱真言论应作“开”。

神之处也。且心为诸藏之明运用生，是以心藏神，亦君主之官也，神明出焉。监领四方，亦号五神，君亦号太尉公。心犹帝王，正居中央，亦号曰灵台。心部于表，心为之噫，雷气痛^①于心。液为汗。汗者心之液，液则多汗。五府小肠为心之府。小肠与心之合，为受盛之府。五官，舌为心之官，心气通则舌知五味，心病则舌焦卷而短，不知五味矣。心合于脉，其荣色也。心之合也，血脉虚少而不能荣于藏府者，心先死也。为南方，离火也，火受气于亥，生于寅，王于午，病于申，死于酉，墓于戌也。为夏。心王、脾相、肺死、肾囚、肝休也。日为丙丁，南方午位。辰为巳午。南方支位。为火，扶不抑土，夏王季夏克金畏水，春相休，秋囚，冬死^②。声徵，火音也，其声和平以均颡而疾，其能动心者。色赤，火，心色如火也，如杯，鸡冠色者生，黑色者死。味苦，其性坚，食之先走骨，骨病勿多食，多食则筋急而爪枯也。其臭焦，心邪自焦精感焦也。其性礼，心气主礼。其性乐。火性乐而主燥。心之应南岳，通炎感之精，夏三月，存炎感在心中，亦作赤气存之者也。心神丹元字守灵。



夫心者，离之气，火之精，其色赤，其如垂莲，其神形如朱雀鸟。心生神，化为玉女，长八寸，锦衣持玉英，每出入于心府，其神躁而无堆^③。人之暴急者，盖发于心府。欲安其神，而全其形者，则全忠履孝，补义安仁。其风净，其火息，其炽澄，其神而后全，其生则全乎中和也^④。心合于小肠，主其血脉，上主于舌。故人之心风者，则舌缩不能语也。人之血拥者，心惊也。人之舌不知味者，心虚也。人之多志^⑤忘者，心神离也。人之重语者，心神乱也。人之多悲者，心伤也。人之好食苦味者，心不足也。人之面色青黑者，心冰也。人之容色好者，心无他恶也。肺邪入心，则多言，夫心主徵，心中有疾，当用呵。呵者，心之气。其气礼呵，能净其心，和其神。所以人之昏乱者，则多呵。盖天全之炁也，人皆为而不知哉！况若不呵，必致烦乱也。故心疾当用呵写之，以除之邪气也。

夫心处九宫，主礼，使人乐善而好施，恭孝以修仁，则心形全。且心者，夏之用事，三月，此谓蕃秀。天地炁交物^⑥华实，交寝丑起，无厌于日，使志无怒，使英华^⑦成秀，使志无曲，使炁得泄，此夏气之应也。逆之伤，则为瘡为折。

相心藏病法

心热者，色赤而脉溢。心病者，颜先赤，

① 痛：素问·阴阳应象大论作“通”。

② 夏王……冬死：脉经卷三心小肠部第二作“其相春三月（木王，火相）；王，夏三月；废，季夏六月；囚，秋三月（金王，火囚）；死，冬三月（水王，火死）”。

③ 堆：正统道藏本四气摄生图作“准”。

④ 欲安其神……则全乎中和也：正统道藏本四气摄生图作“欲安其神者，则舍忠履孝补义安仁，定其火，息其炽，澄其心，和其神，止声色，薄滋味，可以居高明，可以远眺望，而后合乎中和”，义长。

⑤ 志：正统道藏本四气摄生图无此字。

⑥ 物：素问·四气调神大论作“万物”。

⑦ 英华：素问·四气调神大论作“华英”。

口生疮腐烂，心胸肩胁，两肋两臂皆痛，或夜梦赤衣人，持赤刀杖，持火来怖人；心虚则胸腹与腰相引而痛。心风之状，恶风将绝喜怒。诊在口，其色赤。心主夏，主少阴大阳主治，其日丙丁。心若缓^①，急食酸以收之。又曰：心病欲濡，急食咸以濡之，用苦^②以补之，甘以泻之。禁湿衣热食，心恶热，又水也。

心病证

脐上有动气，按之牢若痛，心苦烦。心病手足、掌中热也。

肝藏图

治肝用吁，吁之为写，吸为补。肝，木官也。居心下小近左，左三叶，色如缟映绀，凡丈夫至六十，肝气衰，肝气减叶薄胆，目不明也。重四斤四两。东方青，入通于肝，关^③窍相^④于目。左目甲、右目乙。在形为萌，肝脉出于大敦，肝色青翠，大小相重之象也。肝者罢极之本，魂之居也。左目为日、为王父、为阳；右目为泪、为月、为王母。为阴之精也^⑤。肝号大尚书，亦号大夫，为清冷官。肝生于左。肝之为语。地气通于肝。液为泪。泪者，肝之液，肾邪入肝则多泪也。六府胆为肝之府，胆与肝合。眼者，肝之官，肝气通则眼分明，肝实则目赤五色^⑥。肝合于筋，其荣爪。肝之合也，筋缓而不能自收，棕者肝先死。为东方，震木也。木受气于申，死于午，生于亥，王于卯，病于巳，墓于未者也。为春。肝王心相，脾死肺囚肾休。日为甲乙、东方干位。辰为寅卯。东方支位。为木，扶水抑火，克土畏金，冬相，春王、夏休、季夏囚、秋死也^⑦。声角，木音也，其声缘，以约其和，静以清，能动肝。色青，木肝色也。如翠羽者生，色如草兹者死也。味酸。其性收，食先走筋，筋病勿多食，多食则搞皮而毛夭。其性仁，肝气主仁。其性喜。木好生而主喜。肝之东岳，上通岁星之精。春三月存岁星，在肝中亦作育气存也。肝神龙烟，字含明。

夫肝者震之气，木之精，其色青，其象悬如匏，其神形如青龙。肝生魂，化为二玉童，一青衣，一黄衣，各长九寸，持玉浆出



于肝藏。一云：肝有三童子、六玉女守之。其神好人，人惠，盖发于肝藏。欲安其魂而延其龄者，则当泽被刍棘，恩覃庶类，而后全其生，则合乎太清也。肝合于膝，上主于目，又主筋，故人之肝亏则筋急也。人之皮枯也。肝中热，人之肌肉斑黯者，肝风也。人之色青者，肝盛也。人之好食酸味者，肝不足也。人之发枯者，肝伤也。人之手足多汗者，无疾。肝^⑧邪入肝则多笑。

① 若缓：素问·藏气法时论作“苦缓”。

② 苦：素问·藏气法时论作“咸”。

③ 关：素问·金匱真言论作“开”。

④ 相：素问·金匱真言论无此字。

⑤ 左目为日……为阴之精也：正統道藏本四气摄生图作“左目为甲，象日属阳；右目为乙，象月属阴。肝液为泪”。

⑥ 肝气……五色：按灵枢·脉度作“肝和则目能辨五色矣”。

⑦ 冬相……秋死也：脉经卷三肝胆部第一作“其相，冬三月（冬水王，木相）；王，春三月；废，夏三月（夏火王，木废）；囚，季夏六月（季夏土王，木囚）；死，秋三月（秋，金王，木死）”。

⑧ 肝：正統道藏本四气摄生图作“肺”。

夫肝主筋，肝之有疾当用嘘。嘘者，肝之气。其气仁，能除毁痛，皆自然之验也，不以为虚者哉！此至理通玄之道也。夫肝处三宫，主仁，使人凝肃，慈惠及物，则魂安而全也。且肝者春之用事三月，天地气生，万物已荣，花繁叶茂，人及芎萌，夜卧早起，广步于庭，被发缓形，以生志。生而勿然¹，与而勿夺，赏而勿罚，此春之应养主²之道。逆之伤于肝，则毛骨不荣，为寒变，则奉生³者少也。

相肝藏病法

肝热者，左目赤。肝病者，目夺，两胁下痛引小腹，令人喜怒，肝虚则恐，如人将补⁴之；肝实则怒。虚则寒，阴气壮，壮则梦山树园苑生草，肝气逆，头痛耳聋，颊肿，肝风之状，恶风喜怒。诊在目，其色青。又云：肝病主春，足厥阴与足少阳为表里主治，其日甲乙。肝苦急，食甘以缓之。又曰：肝病欲散，急食辛以散之，用咸⁵补之，辛⁶写之，禁当风。肝恶风也。

脾藏图

治脾用呼，呼为写，吸为补。脾土官也。掩太苍在脐上三寸，色如缟映黄，凡丈夫至七十，脾气虚而皮肤枯瘦者矣。重二斤三两。中央黄色，入通于口。口为戊，舌为己。在形为之脾，脉出为隐曰⁷。脾为五藏之枢也。脾者肉之本，意之本处也。脾为黄庭，亦为中主，为黄龙君也。亦为谏议，亦为仓廩之官也。他物⁸出焉，号为中黄官，脾生于中，脾为之吞，谷气通于脾，为液为涎。涎者脾之液，肾邪入脾则多涎。六府，胃为五谷之府，胃与脾合为五谷之府也。五官，口者脾之官。脾气通，则口知五味，脾病，则口乾不能食，不如⁹五味好恶。脾合于肉，其荣唇也。脾之合，肌肉消瘦，不能肥肤，脾先死。为中央，坤土也，受气于巳，生于子，病于寅，死于卯，墓于辰也。为季夏。脾王、肺相、肾死、肝囚、心休。日为戊己，中央干位。辰为戊丑未。中央支位。为土。右季夏王、秋休、冬囚、春死。左扶火抑金，克水里¹⁰木，

夏相。声宫，土音也，其声弘，以舒其和传以柔能动于脾也。色黄，土，脾也，色如蟹腹者生，色如枳实死。味甘。其性缓，食之先走肉，肉病勿多食，多食则骨病而毛落也。其臭香，心邪入脾则恶香。其性信，脾气言信。其情恐惧。土性而主恐惧。脾之外应中岳，上通镇星之精，季夏并季秋各十八日，存镇星在脾，亦作胃气存之也。脾神常在，字魂庭。



夫脾者，坤之炁，土之精，其色黄，其象如复盆，其神形如凤。脾生意，化为一玉女，长七寸，循环于脾藏。其神列疾妬，人之妬者，盖起于脾藏。土无正形，故无堆也。

- 1 然：素问·四气调神大论篇作“杀”。
- 2 主：素问·四气调神大论篇作“生”。
- 3 生：素问·四气调神大论篇作“长”。
- 4 补：素问·藏气法时论应作“捕”。
- 5 咸：素问·藏气法时论作“辛”。
- 6 辛：素问·藏气法时论作“酸”。
- 7 曰：按文义应作“白”。
- 8 他物：素问·灵兰秘典论作“五味”。
- 9 如：按文义应作“知”。
- 10 里：按文义应作“畏”。

妇人妬甚者，乘阴也。欲安其意，则当去欲寡色，少思屏虑，长其土德，而后全其生，则合乎太阴也。脾连于胃，上主于口，消谷府也。如磨转也，化其生而入于熟也。食不消者，不转也，食坚物者，脾磨不尽化也，则为食患。故诸藏不调则伤质，质神俱损，则伤人之速也。故人不欲食坚物者，全身之妙道也。人之不欲食者，脾中有不化之食。人多惑者，脾识不安也。人之多食者，脾虚也。人之食不下者，脾塞也。人之无颜色者，脾伤也。人之好食甘物者，脾不足也。人之肌肉鲜白滑者，脾无病。肺邪入于脾，则多歌。夫脾主官，故脾之有疾，当用呼。呼者，脾之气，其炁信，能抽脾之疾。故人中热者，则呼以去，驱温之弊也。

夫脾处二宫，主信，使人宽弘广大，屈己济人于利，忍忿不以自专，为德不以财诤，为事则以脾安，而形全也。且脾无定位，寄王四季，随土气也，助成万物。脾育肠，脾义之道也。不以自强为德，不以物竞为功，长坤之理也，逆之则伤脾。

相脾藏病法

脾赤者，鼻赤，色黄而濡。鼻病者，体上游风习习，遍体闷疼，身重喜饥，肉萎足不能行，喜声，脚下痛；脾虚腹肚胀鸣成漉痢，食多不化；脾风之状，多行恶风，身体怠惰，四肢无力不用，微黄，不嗜饮食。诊在鼻，其色黄，主季夏。足太阴阳明主治，其¹戊己。脾苦湿，急²苦以燥。又曰：脾病欲缓，急食甘以缓，甘则补之，苦则泻之。禁湿，脾恶湿也。

脾病证

脾病当脐有动气，按之牢若痛，苦逆气，小肠急痛，泄不定，重脘塞。

肾藏图

肾别吹³，吹为写，吸为补。肾水官也。

左肾右肾前对脐，膊着腰脊，色如缟映紫，凡丈夫至六十，肾气衰，发堕，齿气焦枯，经脉空虚，人之有如槁，七十形体皆极，九十肾⁴树之有根也。重三斤二两。北方黑色，入通于肾，关⁵窍于二阴，左肾为壬，右肾为癸。在形为骨。久立伤骨、损肾。肾脉出于涌泉，肾经，肾藏之本精之处也。肾为后宫，为女，主肾⁶，经于上焦，荣于中焦，卫于下焦。肾者作强之官，伎巧出焉。法于里，为之连，亦为之两条气通于两窍，为液唾，唾者液也，肾邪入则多唾也。六府，膀胱为肾之府，膀胱与肾合为津液之府。五官，耳者肾之官。肾气通则闻五音，肾病则耳聋骨萎也。肾合于骨，其荣发也。肾之合也，骨萎不能起床者，肾气先死也，准此倒矣。为北方，坎水也，水受气于巳，生于申，王于子，病于寅，死于卯，墓于辰也。为冬。肾王肝相、心死、脾囚、肺休。为日壬癸，北方干位。辰为亥子。北方支位。为水，扶木抑金，水克火，畏土，秋相、冬王、春休、夏囚、季夏死。声羽，水音也其声以虚，其和短以敢能动也。色黑，水肾色也，如鸟羽者，生色也，水苔者死。味咸。其性濡，食之先走血，血病勿多食，多食脉凝滞而变色大。其臭朽，心邪入肾则恶朽也。其性智，肾主智也。其事悲。水性立悲泣也。肾之外应北岳，上通辰星之精，冬三月存辰星在肾中，亦作黑气存之也。肾神玄宜，字育婴。

夫肾者坎之炁，水之精，其色黑，其象如悬石，其神形如白鹿。两头生智，化为玉童，长一尺，出入于肾藏，其神和也。人之柔顺，其至而后全其生，则合乎太清也。合乎骨，上主于齿，齿之痛者，肾伤也。又主于耳，人之不闻声者，肾亏也。人之骨疼者，肾虚也。人之齿多齟者，肾虚也。人之齿髓者，肾之风也。人之耳痛者，肾炁壅也。人之多呵欠者，肾邪也。人之腰不伸者，肾冰也。人之色黄黑者，肾衰也。人之容色紫光，肾

① 其：按文义此下应有“日”字。

② 急：按文义此下应有“食”字。

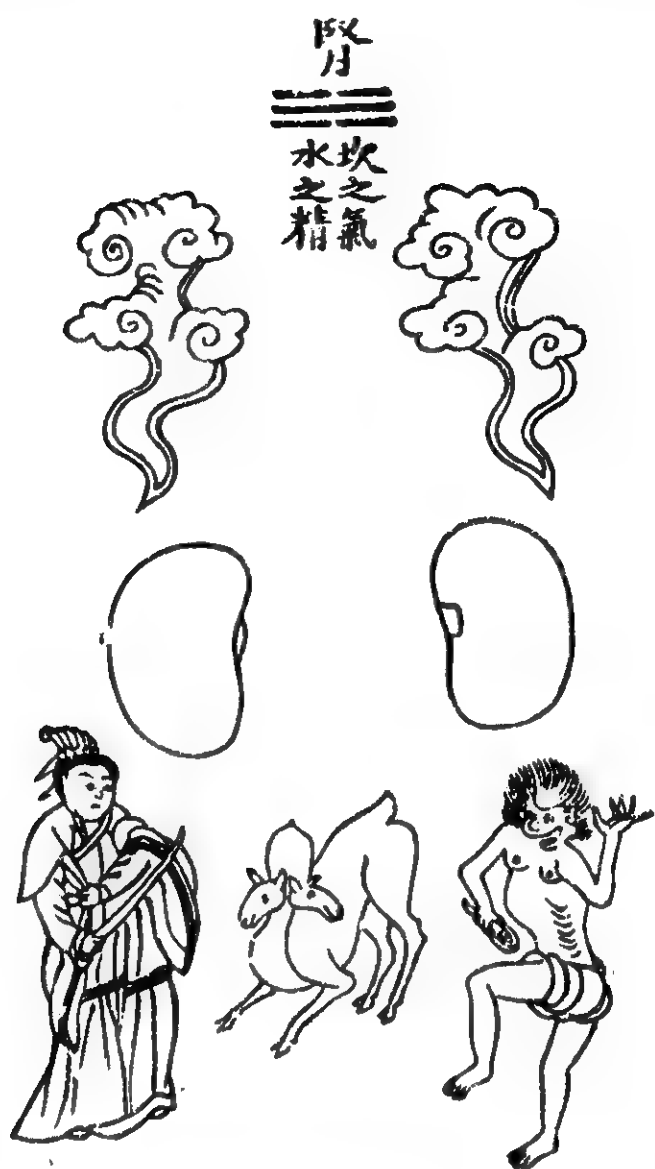
③ 肾别吹：按文义应作“治肾用吹”。

④ 人之有……九十肾：医学入门、医宗必读。作“七十形体皆极，九十如槁，人之有肾如”。

⑤ 关：素问·金匱真言论作“开”。

⑥ 肾：正统道藏本四气摄生图作“齿”。

无苦也。人之骨鸣者，肾羸。肺邪入肾多伸。



夫肾主羽，故肾之病，当用吹，吹者，肾之炁，其气智，能抽肾之病。故人有积炁冲臆者，则强吹也，肾气沉滞，吹微通也。夫肾处一宫，主智，使人慧利，神彩踈朗，不滞于事，则固而全形也。且肾者冬之用三月，乾坤气闭，万物伏藏，戊寅寅起，与玄阴并，外阴内阳，以养齿骨，以恬其神，逆之则伤肾。

相肾藏病法

肾热者，颐赤。肾病者，色黑而齿槁，腹大体重，喘咳，汗出恶风。肾病则腰中痛，风之状，颈多恶风，食欲下，隔塞不通，腹喜满，失衣则腹胀，食寒则泄咏，在形瘦而腹大^①。又肾主冬，是少阴大阴^②主治，其日壬癸。肾若^③燥，急食辛以润之，腰里致液气通^④也。又曰：肾坚病欲^⑤，急食苦以坚

之，用苦以泻之，咸以补之^⑥。禁无犯热食、温衣，肾燥也。

肾·病·证

肾病脐下有动气，按之若牢，病苦腹食不消，体重骨节痛，嗜卧。

胆·藏·图

治胆用慎，慎为泻，吸为补，胆膊著肝。色如缟映青，重三两三铢。胆与中青之府，号将军，决曹吏，能喜刚而能柔，贮和精二合。胆为蜃蛇，能勇健，胆者筋之应也。胆为六府之精色，胆者中正之官，决断出于此焉。胆神龙曜，字威明。



① 风之状……腹大：此段文义与素问·风论中胃风之状同，疑为错简。

② 是少阴大阴：素问·藏气法时论作“足少阴太阳”。

③ 若：素问·藏气法时论作“苦”。

④ 腰里致液气通：素问藏气法时论作“开腰里，致津液，通气”。

⑤ 肾坚病欲：素问·藏气法时论作“肾欲坚”。

⑥ 苦以泻之，咸以补之：素问·藏气法时论作“苦补之，咸泻之”。

夫胆者，金之精，水之气，其象如悬瓠，其神形如龟蛇。化为玉童，长一尺，执戟在手，出入奔驰于胆藏之间。其神多勇快者，盖发于胆藏。欲安其身，当息忿浸净，行辅义而后全其生，则合乎太和也。胆合膀胱，上主于毛发，故人发枯者，胆竭也。人之爪乾者，胆亏也。人之发燥者，胆有风也。人之毛焦者，胆热也。人之目无光^①，故有泪者，胆热^②也。人好食苦味者，胆不足也。人之颜色青，或光白者，胆无疾也。夫胆寄于坎宫，使人亲智慕贤，屏邪去佞，绝奸盗方直也。且胆者，生于金，金主武，故多勇，宜抑之。吉夫胆者乘阴之气，禀金之用，主煞，煞则悲，故人之悲者，金生于水，则目中堕

泪失。心主火，胆主水，亦主苦，火得水而灭，水得火而煎，阴阳交争，水胆胜火，故泪从目出也，泪者类也，因类而出，故曰类也。夫悲号泣者声苦为辞也。胆者水也，而主于阴，目者明也，而主于阳，阴从阳，故泪从目出也。

相胆藏病法

胆之有病，大息口苦，呕宿汁，中于澹澹，恐人将补之^③，眉倾也，眉倾，眉毛垂也。胆苦实，则伤热，热则精神不守，卧起无定，若虚则伤寒，寒则恐惧，头眩不能独卧，虚损则爪发枯燥，目中泪出，膀胱连腰小腹殂痛，胆与肝同道有病，用肝藏方。

圣 惠 方

肝 藏 论

东方生风，风生木，木生酸，酸生肝，肝生筋，筋生心，肝主目。其在天为玄，在人为道，在地为化，化生五味。道生智，玄生神，神在天为风，在地为木，在体为筋，在藏为肝，在色为苍，在音为角，在声为呼，在变动为握，在窍为目，在味为酸，在志为怒，在臭为臊，在液为泪，在虫为毛，在性为仁。其华在爪，其充在筋，其在神为魂。两精相搏，谓之神，随神往来，谓之魂。魂者，神气之辅弼也。又人卧血归于肝，肝受血而能视。故肝者，木也，王于春，足厥阴是其经，与胆足少阳合。胆为腑，主表；肝为藏，主里。肝气盛，为血有余，则目赤，两胁下痛引小腹，令人喜怒，气逆则头眩，耳聋不聪，颊肿，是肝气之实也，则宜泻之；肝气不足，则目不明，两胁拘急筋挛，不得大息，爪甲枯，面青喜悲，恐如人将捕之，是肝气之虚也，则宜补之。春肝脉来弦而长者，平脉也，反得微涩而短者，是肺之乘肝，金之克木，为大逆，不可治也；反得浮大而

洪者，是心之乘肝，子之克母，虽病当愈；反得大而缓者，是脾之乘肝，土之畏木，虽病不死；反得沉濡而滑者，是肾之乘肝，母之克子，其病可治。肝脉来，盛实而滑，如循长竿，曰肝病；脉来急益，劲如新张弓弦，曰死。真肝脉至，中外急，如循刀刃，啧啧然如按琴弦，色青白不泽，毛折者死矣。

心 藏 论

南方生热，热生火，火生苦，苦生心，心生血，血生脾，心主舌。其在天为热，在地为火，在体为脉，在藏为心，在色为赤，在音为徵，在声为笑，在变动为忧，在窍为舌，在味为苦，在志为喜，在臭为焦，在虫为羽，在液为汗，在性为忧。其华在面，其充在血脉，其在藏为神。两精相搏谓之神，神者精气之化成也。故心者，火也，王于夏，手少阴是其经，与小肠手阳明合。小肠为腑，

① 光：正统道藏本四气摄生图此下有“无”字。

② 热：正统道藏本四气摄生图作“虚”。

③ 中于澹澹，恐人将补之：正统道藏本四气摄生图作“心中澹澹，似被人捕逐者”

而主表；心为藏，而主里。心气盛为神有余，则病骨内¹痛，胸中支²满，胁下及膺³背肩胛、两臂间痛，喜笑不休，是心气之实也，则宜泻之；心气不足，则胸腹胁下与腰背相引而痛，惊悸恍惚，少颜色，舌本强，喜忧悲，是心气之虚也，则宜补之。夏心脉来浮大而散者，是平脉也；反得沉濡而滑者，是肾之乘心，水之克火，大逆不可治也；反得弦而长者，是肝之乘心，母之克子，虽病当愈；反得大而缓者，是脾之乘心，子之克母，虽病可治；反得浮涩而短者，是肺之乘心，金之克火，虽病不死。心脉来，累累连属，其中微曲，曰心病；脉来前曲后居，如操带钩，曰死。真心脉至，牢而搏，如循薏苡，累累然，其色赤黑不泽，毛折者，死矣。

脾 藏 论

中央生湿，湿生土，土生甘，甘生脾，脾生肉，肉生肺，脾主口。其在天为湿，在地为土，在体为肉，在脏为脾，在色为黄，在音为宫，在声为歌，在变动为啰，在窍为口，在味为甘，在志为思，在臭为香，在液为涎，在虫为倮，在性为信。其华在唇，其充在肌，其在神为意与智。心有所忆谓之意，处物是非谓之智，意智者，神之用也。故脾者，土也，王于仲夏，及四季各一十八日，足太阴是其经，与胃足阳明合。胃为腑，主表；脾为藏，主里。脾气盛为形有余，则病腹胀，小便不利，身重苦饥，足痿不收，喜痠，脚下痛，是为脾气之实也，则宜泻之；脾气不足，则四肢不举，溏泄，食不化，是脾气之虚也，则宜补之。仲夏脾脉来，大而缓者，是平脉也；反得弦而急者，是肝之乘脾，木之克土，为大逆，不可治；反得微涩而短，是肺之乘脾，子之克母，不治自愈；反得浮而洪者，是心之乘脾，母之克子，其病可治；反得沉濡而滑者，是肾之乘脾，水之克土，虽病不死。脾脉来实而益数，如鸡举足，曰脾病；坚而锐，如鸟之喙、如鸟之矩、如屋

之漏、如水之溜，曰脾死。真脾脉弱而乍疏乍数然，其色青黄不泽，毛折者，死矣。

肺 藏 论

西方生燥，燥生金，金生辛，辛生肺，肺生皮毛⁴，毛生肾，肺主鼻。其在天为燥，在地为金，在体为皮毛，在藏为肺，在色为白，在音为商，在声为哭，在变动为咳，在窍为鼻，在味为辛，在志为忧，在臭为腥，在液为涕，在虫为介，在性为义。其华在毛，其充在皮，其在神为魄。并精出入谓之魄，魄者神之别灵，精气之所辅佐也。故肺者，金也，王于秋，手太阴是其经，与大肠手阳明合。大肠为腑，主表；肺为藏，主里。肺气盛为有余，则喘嗽上气，肩背痛，汗出，阴股膝胫皆痛，是谓肺气之实也，则宜泻之；肺气不足，则少气，不能大息，胸满嗌乾，是为肺气之虚也，则宜补之。肺脉来，浮涩而短者，是平脉也；反得浮大而洪者，是心之乘肺，火之克金，为大逆，不可治也；反得沉濡而滑者，是肾之乘肺，子之克母，虽病当愈；反得大而缓者，是脾之乘肺，母之克子，虽病不死；反得弦而长者，是肝之乘肺，木之乘金，其病可治。肺脉来，不上不下，如循鸡羽，曰肺病；按之索消，如风吹毛，曰死。真肺脉至，大而虚，如以毛羽中人，色赤不泽，毛折者，死矣。

肾 藏 论

北方生寒，寒生水，水生咸，咸生肾，肾生骨髓，髓生肝，肾主耳。其在天为寒，在地为水，在体为骨，在藏为肾，在色为黑，在音为羽，在声为呻，在变动为栗，在窍为耳，在味为咸，在志为恐，在臭为腐，在液为唾，在虫为鳞，在性为智。其华在发，其充

¹ 内：太平圣惠方作“肉”。

² 支：太平圣惠方作“多”。

³ 膺：太平圣惠方作“腰”。

⁴ 毛：太平圣惠方此下有“皮”字。

在骨，其在神^①精与志。骨髓之液谓之精，意之所存谓之志，生性之本，元气之根，神精所舍，故曰精志也。夫肾者，水也，王于冬，足少阴是其经，与膀胱足太阳合。膀胱为府，主表；肾为藏，主里。肾气盛，为志有余，则病腹胀，飧^②泄，体重，胫肿，喘咳，汗出，恶风，面目黑，小便黄，是为肾气之实也，则宜泻之；肾气不足，则腰背冷，胸内痛，耳鸣或聋，足冷厥，小腹痛，是为

肾气之虚也，则宜补之。冬肾脉来沉濡而滑者，是平脉也；反得大而缓者，是脾之乘肾，土之克水，为大逆不可治；反得浮涩而短者，是肺之乘肾，母之克子，虽病可治；反得弦而长者，是肝之乘肾，子之克母，虽病自愈；反得浮而洪者，是心之乘肾，火之克水，其病可治。肾脉来如引葛，按之益坚，曰肾病；真肾脉至，坚而沉，如弹石辟辟然。其色黄黑不泽，毛折者，乃死矣。

简要济众方

辨五藏积聚法

积者沉而伏，聚者浮而动，气之所积名曰积，气之所聚名为聚，积者五藏之所生，聚者六腑之所成，阴气为积藏也，阳气为聚腑也。

辨五藏七神为病法

心藏神，神也。不定心乱，言语无次序。

肾藏二神，精与志。神夺耳聋。

脾藏二神，意与智。意不安，思无虑，神夺愚也。

肺藏神，魄也。惶惶不常，神夺也，少气秘滞。

肝藏神，魂也。魂移不守，怯恐思怖。

辨四时五藏脉太过不及所主病法

春脉弦，何如而弦？其气软弱而长，故曰弦。反此者病，其气来实强，此谓太过，其气来不实而微，此谓不及。太过则令人善忘，忽忽眩冒，巅疾；其不及，则令人胸痛引背，下则两胁胠满。

夏脉钩，何如而钩也？故其气来盛去衰，

故曰钩。反此者病，其气来盛去亦盛，此谓太过；其气来不盛，去反盛，此谓不及也。太过则令人身热而肤痛，为侵淫；其不及则令人烦心，上见咳唾，下为气泄。

秋脉浮，一曰毛，何如而毛也？故其气来轻虚以浮曰毛。其气来急去皆散，曰浮。反此者病，其气来毛而中夹坚，而两旁虚，此谓太过；其气来毛而微，此谓不及也。太过则令人逆气，而背痛愠愠然；其不及则令人喘呼，少气而咳，上气见血，下闻病音。

冬脉营，一曰石，何如而石？故其气来沉濡而滑，故曰石。反此者病，其气来如弹石者，此谓太过；其去如数者，此谓不及也。太过则令人解体，脊脉痛而少气，不欲言；其不及则令人心烦病饥，季胁下冷，脊中痛，少腹满，小便变。

脾脉独何主其脾者？中央土，以灌四旁，其善者，不可得见，平和脉也。恶者，可见，病形脉也。其恶脉何如？来如水之流者，此谓太过；如鸟之啄者，此谓不及也。太过则令人四肢不举，不及则令人九窍不通，病名曰重强。脾者寄王于四季后，正王于季夏。

① 神：按文义此下应有“为”字。

② 飧：太平圣惠方作“发”。

三 因 方

内 所 因 论

夫脏腑合手足三阴三阳，为十二经，各有所主，故为十二官。心者，君主之官，神明出焉；肺者，相传之官，治节出焉；肝者，将军之官，谋虑出焉；脾者，谏议之官，公正出焉；肾者，作强之官，伎巧出焉；胆者，中正之官，决断出焉；膻中者，臣使之官，喜乐出焉；小肠者，受盛之官，化物出焉；大肠者，传送之官，变化出焉；胃者，仓廪之官，五味出焉；三焦者，决渎之官，水道出焉；膀胱者，州都之官，津液藏焉，气化则能出矣。故五藏为阴，六腑为阳。此十二官不得相失者，正由阴阳消息盈虚，当随四序而调养之，不可使其偏胜，偏胜则偏复，偏复则偏害，胜克流变，则真病生焉。夫阴

阳虚实者，乃脏腑更相胜复也，若其子母相感，则母虚能令子虚，子实能令母实。经曰：实则泻其母，虚则补其子。如肝实则泻肾，肝虚则补心。如百姓足，君孰与不足，此经之本意也。难经则反是，及观金匱之论，其得为多。肝虚补用酸，助用焦苦，益用甘味之药，酸入肝，焦苦入心，甘入脾，脾能制肾，肾气微弱，则水不行，水不行，则心火盛，心火盛，则肺金受制，肝气乃舒，肝气舒，则肝病自愈，此补子之意也。虚肝则用此，实则反之。千金亦云：肝虚当补心，心旺则感于肝，皆此类也。此正本藏十二官冷热盈虚而为病，非外感淫邪及故为背理者之此。然内所因，惟属七情交错，爱恶相胜而为病，能推而明之，此约而不滥，学者宜留神焉。

简 易 方

五 藏 像 位

肝名龙烟，字含明，号将军之官。于五行为木，故其体状有枝叶也。重四斤四两，有七叶，左三叶，属甲，为阳；右四叶，属乙，为阴。夫人夜卧，则血归于肝，上朝于目，有童子玉女，身挂青衣，手执青棒¹，每夜三更，绕身巡看一回，却朝青帝。肝神七人，老子名曰明堂官，兰台府，从官三千六百人。肝神名蓝蓝，其位居于左，以应东方苍龙之木，旺于春七十二日，墓在未，其数三八，上应岁星，下合震卦，律中太簇。

心名丹元，字守灵，号帝王之尊，为一身之主。于五行为火，故其体状圆赤，如莲苞未开之质也。重十二两，盛精汁三合。刘子曰：心形于光，上智人心有七孔三毛；中智人心有五孔二毛；下智人心有三孔一毛；

愚人心有一孔；而大愚混浊者，有一孔而小矣！或痴憨之辈，虽有心而无孔；故神出入无门者果²矣。有二³童子，身挂绯衣，手执红拂，每夜三更而出，绕身巡看一回，却归离宫，百神安静。心神九人，太尉名绛宫太始⁴，南极老人元先之身，其从官三千六百人。心神名响响，其位处上焦，以应南方朱雀之火，旺于夏七十二日，墓在戌，其数二七，上应荧惑，下合离卦，律中仲吕。

脾名常在，字魂停，号谏议之官。于五行为土，故其形像马蹄。居胃之上，以消磨水谷也。重二斤三两，扁广二寸，长五寸，有散膏半斤，主裹血，温五藏，有童子身挂

1 棒：普济方卷一五脏象位作“拂”。

2 果：普济方卷一五脏象位作“众”。

3 二：普济方卷一五脏象位无此字。

4 始：普济方卷一五脏象位作“子”。

中宫之衣。手执黄拂，每夜三更，绕身一回，却朝土主，故令百神安静。脾神五人，玄光玉女，丹田¹，其从官三千六百人，其藏居中州，以应中央戊己之土，寄旺于辰戌丑未之月，各一十八日，正旺于长夏，墓在辰，其数五十，上应镇星，下合坤卦，律中应钟。

肺名皓华，字虚成，号相傅之官。于五行为金，故位处上焦，状如悬磐，而五藏之声音，皆从肺出也。重二斤三两，六叶两耳，凡八叶，有童子十四人，身挂素衣，手持玉节，守气巡游于身，却面²素官³，百神始得安静，其神八人。太和君名曰玉堂宫，尚书府，从官三千六百人。肺神名鸿鸿，其藏居高，为五藏华盖，其治在右，以应西方白虎之金，旺于秋七十二日，墓在丑，其数四九，上应太白，下合兑卦，律中夷则。

肾名玄冥，字⁴□□，号作强之官。于五行为水，处于下，为五藏之根，一身之本也。肾有两枚，重一斤一两，其左者为肾，属壬，右者为命门，属癸，女子以右者为肾，左者为命门，男子命气为根，传丹田，属壬癸之位，女子命气为根，传血海，通三焦，属坎离之位。有二童子，身着皂裳，手执壬癸之幡，绕身巡看一回，却朝北帝，令元神安静，其神六人。司徒、司空、司命、司隶、校尉、廷尉卿。肾神名澍澍，肾两枚，形如江⁵豆，相并而曲，附于脊脊，外有脂裹，内白外黑，以应北方壬癸之水，旺于冬七十二日，墓在辰，其数一六，上应辰星，下合坎卦，律中黄钟。

六 府 像 位

胆者谓青肠，肝之府也，号中正之官。在肝之短叶间，重二两三铢，盛精汁三合。其神五人，太乙道君，居紫房宫中，其从官三千六百人。胆神名灌灌，或人夜间恐惧，大张眼时，弩目视之，其妖自息，故得胆神相助，其威如此，旺、墓、应、合与肝同也。

小肠谓赤肠，心之府也，号受盛之官。

居胃之下，重二斤十四两，长三丈二尺，广二寸半，径八分、分之少半，左回叠积十六曲，盛谷二斗四升，水六升二合，合之太半。其神二人，元梁使者。小肠神名絜絜，旺、墓、应、合与心同也。

胃者谓黄肠，脾之府也。号曰太仓，主围受食物，为水谷之海，六府之大原也。与脾相连，重二斤十四两，纤曲屈伸，长二尺六寸，盛谷二斗，水一斗五升。其神十二人，五元之气，谏议大夫。胃神名且且，旺、墓、应、合与脾同也。

大肠谓白肠，肺之府也。为传道之司，号监仓之官。居小肠之右，重二斤十二两，长二丈一尺，广四寸，径一寸半，当脐右回十六曲，盛谷一斗，水七升半。其神二人，元梁使者。大肠神名洞洞，旺、墓、应、合与肺同也。

膀胱谓黑肠，肾之府也。号州都之官，居大肠之侧、脐之下，应丹田，人之根也，重九两二铢，纵广九寸，名曰水漕，又名玉海，盛溺九升九合。一作胞，胞者抱也，以虚受水、为津液府，故云膀胱者，胞之室也。旺、墓、应、合与肾同也。

三焦者元气之别使也。主持诸气，有位无形，其经属手少阳，此外府也，号决渎之官。上焦者，在心下下鬲，在胃上口，主内而不出；中焦者在胃中脘，不上不下，主腐熟水谷；下焦者在脐下，当膀胱上口，主出而不内，以传道也。故经云：三焦者水谷之道路，气之所终始也。或难曰：扁鹊以心主与三焦为表里，心主者心胞络也。叔和以命门与三焦为表里，命门者右肾也。二人之论，何相戾欤？予辩之曰：心为五藏之君，而居上部，肾乃一身之根，而处下元，真心不受

1 丹田：普济方卷一五脏象位无此二字。

2 面：普济方卷一五脏象位作“回”。

3 官：普济方卷一五脏象位作“宫”。

4 字：此下脱字，普济方卷一五脏象位作“育婴”。

5 江：普济方卷一无此字。

邪，而下有胞络。肾有二枚，而右为命门，上下相应，与三焦俱为相火。上焦其治在膻中，膻中者，三焦之所会；下焦其治在气冲，气冲者，元气之所归府，是以三焦始于气冲，而终于膻中也。扁鹊以心主与三焦相为表里者，心主非正藏，而三焦亦非正府，但以三焦之经，属手少阳，心胞之经，属手厥阴，二经俱属于手，阴阳相配合耳。叔和以命门与三焦相为表里者，肾为精之舍，三焦为精之府，命门虽系一脏，外别无经，与肾俱属足少阴之经，与足太阳膀胱相为表里，以此推之，三焦之气，与命门通，而三焦之经，不与命门合也。扁鹊之论为正。至于中焦在胃中脘，主腐熟水谷，其精华则流而为荣卫，其糟粕则转而为滓秽。盖胃为水谷之海，三焦为水谷之道路。以此而知三焦之气，各随其所属部分而为之应，又何疑焉。

五 藏 平 脉

肝平脉来厌厌聂聂，如循榆荚。心平脉来累累如环^①，如循琅玕。脾平脉来而和柔，去如鸡践地。肺平脉来蔼蔼如车盖，按之益大。肾平脉来上大下兑，濡滑如雀之喙。

五 藏 病 脉

肝病脉来实而益滑，如循长竿。心病脉来累累连属，其中微曲。脾病脉来实满稍数，如鸡举足。肺病脉来不上不下，如循鸡羽。肾病脉来如引葛，按之而益坚。

五 藏 死 脉

肝死脉来急而益劲，如新张弓弦。心死脉来前曲而后居，如操带钩。脾死脉来锐坚如鸟喙，如屋之漏。肺死脉来按之消索，如风之吹毛。肾死脉来乏如解索^②，去之如弹石。

五 藏 真 脉

真肝脉至，中外急，如循刀刃；责责然，如按琴瑟弦，色青白不泽，毛折乃死。真心脉至，坚而搏，如循薏苡子累累然，色赤黑不泽，毛折乃死。真脾脉至，弱而乍数乍疏，色黄青不泽，毛折乃死。真肺脉至，大如虚，如以毛羽中人肤，色赤白不泽，毛折乃死。真肾脉至，搏而绝，如指弹石辟辟然，色黑黄不泽，毛折乃死。

五 脏 色 候

气所以养形而化神也。周流乎五藏六府之间，发越乎五藏四渎之表。神者，气之主，气者，色之源，色者，容之表。气充乎内，色形于外。故色有青、黄、赤、白、黑，以应肝、心、脾、肺、肾也。夫五色得其正，而形不相克者为善，黄色尤为之正，然亦不可无神气。要之，得如秋云衬月，春蚕吐丝，温润明快为佳。设或枯燥暗恶，则病将至矣。予今采择内经所载五藏之有色，生死不同，谨列于右：

东方青色，入通于肝，肝象木，而色青，青欲如苍璧之泽，不欲如蓝。故云：如翠羽者生，如草滋者死。南方赤色，入通于心，心法火而色赤，赤欲如帛裹朱，不欲如赭。故云：如鸡冠者生，如衃血者死。中央黄色，入通于脾，脾属土而色黄，黄欲如罗裹雄黄，不欲如黄土。故云：如蟹腹者生，如枳实者死。西方白色，入通于肺，肺效金，其色白，白欲如鹅羽，不欲如盐。故云：如猪膏者生，如枯骨者死。北方黑色，入通于肾，肾应水而色黑，黑欲如重漆色，不欲如地苍。故云：如鸟羽者生，如炭煤者死。

五 藏 声 音

诗云：情动于中，而形于言，故人之有言，将有所为，则意与气合，而声随至矣。

① 所：普济方卷一六脏象位作“别”。

② 环：素问·平人气象论篇作“殊”。

③ 乏如解索：素问·平人气象论篇作“发如夺索”。

声之所发，会于五藏，而备五音矣。

肝，其音角，其声呼，在志为怒，在变动为握。

心，其音徵，其声言^①，在志为笑^②，在变动为忧。

脾，其音宫，其声歌，在志为思，在变动为哆。

肺，其音商，其声哭，在志为虑^③，在变动为咳。

肾，其音羽，其声呻，在志为恐，在变动为栗。

五藏臭味

臭，阳也，其气上达，故心主之。味，阴也，物成致养焉，故脾主之。五行互相连，故五脏各复自有臭味，亦各从五行之类^④也。故内经曰：形不足者，温之以气，精不足者，补之以味。五脏各有补之法，详列如右：

肝，其臭臊，其味酸。谷以麦为养，果以李为助，菜以葵为充，肉以犬为益，药以空青为治，合而服之，以补精益气。心，其臭焦，其味苦。谷以小豆为养，果以梨为助，菜以薤为充，肉以羊为益，药以丹砂为治，合而服之，以补精益气。脾，其臭香，其味甘。谷以大豆为养，果以枣为助，菜以韭为充，肉以牛为益，药以雄黄为治，合而服之，以补精益气。肺，其臭腥，其味辛。谷以麻为养，果以桃为助，菜以葱为充，肉以鸡为益，药以云母为治，合而服之，以补精益气。肾，其臭腐，其味咸。谷以黄黍为养，果以栗为助，菜以藿为充，肉以豕为益，药以磁石为治，合而服之，以补精益气。

五藏主配

肝者罢极之本，魂之居也。其华在爪，爪者，筋之余。其充在筋，筋者，肝之养。开窍于目，目者，肝之官。与胆为合，胆者，肝之府。肝主内，血配于仁，为阳中之少阳，通于春气。心者，生之本，神之变也。其华在面，心火气腾上，使五色脩明，而荣美于其面也。其充在血脉，血脉者，心之养。开窍于舌，舌用非窍，寄通于耳。耳为心之官，与小肠合，小肠者，心之府，心主行血，配于礼，为阳中之太阳，通于夏气。脾者，仓廪之本，营之居也。其华在唇四向^⑤肉际。唇者脾之外候也。其充在肌，肌者，脾之所主。开窍于口，口者，脾之官，与胃为合。胃者，脾之府，脾主裹血，配于信，上合至阴，通于土气。肺者，气之本，魄之处也。其华在毛，其充在皮。皮毛者，肺之所养，开窍于鼻。鼻者肺之官，与大肠为合。大肠者，肺之府，肺主持诸气，配于义，为阴中之太阳^⑥，通于秋气。肾者主蛰封藏之本，精之处也。其华在发，发者血之余，脑之所养，肾主于髓，而脑为髓海，其充在骨。骨者肾之外应，开窍于二阴。二阴者，前后便也。前后便者，肾之外穴也。与膀胱为合。膀胱者，肾之府，肾主受五脏六腑之精而藏之，配于智，为阴中之少阴，通于冬气。

① 言：普济方卷十三五脏声音作“笑”。

② 笑：普济方卷十三五脏声音作“喜”。

③ 虑：普济方卷十三五脏声音作“忧”。

④ 类：普济方卷十三五脏臭味作“数”。

⑤ 向：普济方卷十三五脏主配作“白”。

⑥ 阴中之太阳：素问·六节藏象论作“阳中之太阴”。普济方卷十一作“阳中之太阴”。

五 藏 门_三

简 易 方_二

五 脏 相 涉

肝者木也，肾为之母，心为之子，脾为之匹，肺为主也。肝之为病，则有目、胁、指、爪、筋、血之证，皆气合^①类从，病由是生焉。肝之窍在目，目为肝之官，而五脏之精华，皆上注于目，骨之精为瞳子，属肾；筋之精为黑眼，属肝；血之精为络果，属心；气之精为白眼，属肺；肉之精为约束，属脾。契^②筋骨血肉^③之精与脉并为系，上属于脑，后出于项中，至于目。决其面者为兑眦^④，足少阳经脉之所起，属于胆；近鼻上为外眦，足太阳经脉之所起，属膀胱；下为内眦，足阳明经脉之所起，属于胃。以此知五脏精华，三阳经气，互相交涉，灌注于目，所主不同也。肝之为病，必胁下痛，引少腹。又云^⑤：胆胀者，必两胁痛，口中苦，善太息。盖肝之经抵少腹，布胁肋。胆之经，循胁裹，出气街，是以胁痛之证，属肝与胆也。内经曰：肝之合筋也，其荣爪也。肝中寒，两肩不举，身无膏泽，喜转筋，爪甲枯黑，春差秋剧。筋受寒，则筋不能动，十指爪皆痛。肝外荣于筋，故筋痹，不已，传之于肝。灵枢经云：胆之厚薄，以爪甲验之，爪甲色黄则胆厚，爪色红则胆薄，爪色青坚则胆急，爪色赤软大者胆缓，爪直色白无约者胆直，爪色多败者胆结也。故知肝应胆，胆应爪，互有所属焉。中藏经云：若手足爪甲青黑，呼骂口不息者，谓之筋绝，筋绝不治，九日死。难经云：足厥阴气绝，则筋急。筋急则引舌与卵，故舌卷卵缩。此筋先死，庚日笃，辛日死。

庞老云：诸病及被毒，爪指青黑者，死候也。

心者火也，肝为之母，脾为之子，肺为之匹，肾为主也。心之一气相属，如舌与血脉、胸发等证，皆中外相应，经络流注而生病焉。心气通于舌，舌为心之官，而心之本脉系于舌根，脾之脉络系于舌傍，肝脉循阴器而络于舌本，凡此三经，或为风、寒、湿所中，皆使人舌卷缩而不能言。至于心热则舌破裂而生疮，肝壅则舌出血如涌，脾闭则白胎如雪，诸证各异，治之当随其藏之所属，不可不知。内经云：心之合脉，其荣于色也。心中寒则令人劳倦，头面赤，盖心合脉荣于色也。灵枢经云：小肠厚薄则以皮之^⑥与脉^⑦急缓验之。皮厚则脉厚，脉厚则小肠厚；皮薄则脉薄，脉薄则小肠薄；皮缓则脉缓，脉缓则小肠大而长；皮急则脉急，脉急则小肠结也。故知小肠应心，心应皮，所以然也。难经云：手少阴气绝，则脉不通，脉不通则血不流，血不流则色泽去，故面黑如黧，此血先死，壬日笃，癸日死。内经云：诸藏受病，悬脉绝者，死候也。

脾者土也，心为之母，肺为之子，肾为之匹，肝为主也。脾之气候相属，如唇、口、颐、颌、咽门、肌肉，中外相应也。脾气通于口，口为脾之官，五味入口，藏于胃。脾

① 合：普济方卷一五脏相涉篇此下有“血”字。

② 契：普济方卷一五藏相涉篇作“其”。

③ 肉：普济方卷一五藏相涉篇此下有“气”。

④ 眦：普济方卷一五脏相涉篇无此字。

⑤ 云：普济方卷一五藏相涉篇无此字。

⑥ 之：普济方卷一五藏相涉篇此下有“厚薄”二字。

⑦ 脉：普济方卷一五藏相涉篇此下有“之”字。

主行精华，分布津液于五脏，五脏之气偏胜，味必偏应于口，脾热口甘，胆热口苦，劳郁则口臭，凝滞则生疮，烦躁则涩，宿食则酸，寒则咸，虚则淡。夫口乃一身之都门，出入荣养之要道，节宣微爽，病必生焉，岂得但于脾之一经言也。内经云：脾之合肉也，其荣唇也。胃应脾，脾应肉，肉与脾胃合，肉坚则胃厚，肉瘦则胃薄，肉之紧缓疏密，皆¹与胃相应也。胃病肉色变，脏腑有病，皆从肉生，肉热应脏，肉寒应腑。肉虚则坐席不安，身色变动；实则坐席不动，喘气迫切²。脾之有疾，皆验于唇，唇者脾之外候。燥则乾，乾则裂，风则润动，寒则揭气，郁则生疮，血枯则沈而无色。若以经脉交³涉言之，手阳明之脉，挟口环唇。足阳明之脉，亦挟口环唇。足厥阴之病⁴，循唇内。凡此三经或自下而上，或自上而下，环绕于唇也。庞老云：经逆则荣卫不通，阴阳反祚⁵，内外伤击致虚，消瘦口噤唇黑者不治。又言声忧惧，舌卷短缩，此木克土，阳击于阴，阴伏阳起，起则实，实则热，热则闷乱体重，唇黄声啞者不治。难经云：足太阴气绝，则脉不荣其口唇，口唇者，肌肉之本也。脉不荣则肌肉不滑泽，肌肉不滑泽，则肉满，肉满则唇反，唇反则肉先死，甲日笃，乙日死。中藏经云：凡病见唇乍乾黑者死。

肺者金也，脾为之母，肾为之子，肝为之匹，心为之主也。肺为五藏上盖，主持诸气，通息于鼻，鼻居面部之中岳，位正而尊，上透泥丸，下应于肺。夫人一日一夜呼吸出入，通计一万三千五百息，从鼻往来，未尝间断。故鼻为肺窍，主吸引五臭，卫养五脏。内经云：五气入鼻，藏于心肺，上使五色脩明，音声能彰。难经云：心主臭，肺主声，鼻者，肺之窍，而反知香臭，其意何也？肺者，西方金也，金生在巳，巳者，南方之火，火者心，心主臭，故令鼻知香臭，此五行相因而成也。又肺之偏正，以鼻验之。鼻正肺正，鼻偏肺偏，丰怯厚薄，皆相应也。内经云：

肺之合皮也。皮者，一身之包裹，为肺之外候。难经云：形寒饮冷则伤肺，肺病则皮肤痛，洒洒然寒热，上喘气迫，自汗出也。灵枢云：大肠厚薄，验之于皮，皮厚大肠厚，皮薄大肠薄。皮热应肺，皮寒应大肠。盖肺主皮，而大肠应皮也。难经云：手太阴气绝则皮毛焦，皮毛焦则津液去，津液去则皮节伤，皮节伤则皮枯毛折，皮枯毛折则毛先死，丙日笃，丁日死。凡五脏真脉见，色不泽，毛折乃死。

肾者水也，肺为之母，肝为之子，心为之匹，脾为之主也。肾之所主，乃精髓、骨、脑、齿、腰脊、前后二阴、髀股、腠腧、足跟、足心所生病也。肾开窍于二阴，而气通于耳。难经云：肾主液，肺主声。耳者肾之候，而反闻声，其意何也？肾者，北方水也。水生于申，申者西方金也。金者肺，肺主声，故令耳闻声，此五行相因而成也。内经云：肾之合骨也，其荣发也。肾应骨，骨与肾合，妊娠七月，始受木精以成骨，故曰无使身劳动，居处必暖，饮食避寒，常食粳稻以密腠理，是谓⁶养骨以坚齿。令⁷人立身以来，嗜欲才过，则骨立羸瘠，肩耸脊露，齿则焦黑摇动而痛，莫不由禀受之际，有所感动而然。夫肾应骨，而齿者骨之幹⁸，资髓以养，表而出之，人受形于胞胎，七月而骨齿成，谷气未行则居于断槽中，及其时则齿生而嗜食，颌合而能言，亦造化生成自然之序。且人之一身消长，以齿候之。内经云：女子七岁肾气盛，发更齿长⁹，至三七则肾气平均，故真牙生而长极。丈夫八岁肾气盛，发更齿长¹⁰，至三八，则肾气平均，故真牙生而长

1 皆：普济方卷一五藏相涉篇无此字。

2 切：普济方卷一五藏相涉篇作“促”。

3 交：普济方卷一五藏相涉篇作“变”。

4 病：普济方卷一五藏相涉篇作“脉”。

5 祚：普济方卷一五藏相涉篇作“作”。

6 谓：普济方卷一五藏相涉篇作“故”。

7 令：普济方卷一五藏相涉篇作“今”。

8 幹：普济方卷一五藏相涉篇作“干”。

9 发更齿长：普济方卷一五藏相涉篇作“齿更发长”。

10 发更齿长：普济方卷一五藏相涉篇作“齿更发长”。

极。八八则齿发去矣。夫资身之器，齿为最劳，自能食以至终身，咀判百品，略无少钝，此亦神奇。古人每旦以盐汤漱涤，而扣啄则弥坚，亦卫生之道也。大抵肾衰则齿豁动摇，精固则齿坚齐密。内丹诀云：任督二脉，为一身阴阳之海，五气真元，此为机会，而断交二¹穴在唇内齿上缝，为任督二脉之会，一身之要，世上罕知之。至于漱炼为服此药，仙经云：一物含五彩，永作仙人禄，言其备五行之英华，总二脉之交会，自古真人秘此二²穴，诀在于口，不传文字。针经云：足阳明之脉，入上齿缝中。手阳明之脉，入下齿缝中。是以胃气虚则上齿卒痛，大肠壅则下

齿忽³浮。胃有流热则齿肿。大肠经虚则龈宣。二经之脉俱循于齿，故病如是。难经云：足少阴气绝则骨枯，少阴者，冬脉也。伏行而温于骨髓，骨髓不温，即肉不着骨。骨肉不相亲，即肉濡而却，肉濡而却，故齿长而枯。发无润泽者，骨先死，戊日笃，己日死。中藏经云：凡病齿忽黑者，三十日即死。

病属五脏

诸风掉眩，皆属于肝。诸痛痒疮，皆属于心。诸湿肿满，皆属于脾。诸气膹郁，皆属于肺。诸寒收引，皆属于肾。

直指方

五脏所主论

夫在天之风，在地为木，在人为肝，惟肝则主风；在天之热^①暑^②燥^③热之用也。在地为火，在人为心，惟心则主热；在天之湿，在地为土，在人为脾，惟脾则主湿；在天之燥，在地为金，在人为肺，惟肺则主燥；在天之寒，在地为水，在人为肾，惟肾则主寒。吁！此天地自然之气也。气之愆伏，乘虚入人，而人不能克，百病之所由生。故风喜伤肝，热喜伤心，湿喜伤脾，燥喜伤肺，寒喜伤肾，而暑喜伤心包络。心包络曰膻中，在胸膈间。盖心主暑，故暑气伏于三焦膈胃之间。其或风气之胜，木邪乘土，则脾病生焉；热气之胜，火邪乘金，则肺病生焉；湿气之胜，土邪乘水，则肾病生焉；燥气之胜，金邪乘木，则肝病生焉；寒气大来，心火亦为肾水所乘矣。左关为人迎，可以知风、寒、暑、湿、热、燥所从入之门；右关为气口，可以别脏气郁畅与食气聚散盈虚之候。若乃忧愁思虑，易耗心神，恚怒气逆，易损肝气，纵欲强志肾之戕，形寒饮冷肺之害，饥饱劳倦脾^④之伤。外之六气相乘，内之七情相感，凡是数者，皆为五脏之邪，

因其所主，而寻其某脏所受之处，则得之矣。心主血，所藏者神，上应舌，外应诸掌，其声言，其色赤，其臭焦，其味苦，其液汗。肝主筋，所藏者魂，上应眼，外应爪甲，其声呼，其色青，其臭燥^⑤其味酸，其液泣。肾主骨，所藏者精与志，上应耳，外应腰背，其声呻，其色黑，其臭腐，其味咸，其液唾。肾冷多唾，肾热多渴。肺主气，所藏者魄，上应鼻，外应皮毛，其声哭，其色白，其臭腥，其味辛，其液涕。脾主肌肉，所藏者意与智，上应口，外应四肢，其声歌，其色黄，其臭香，其味甘，其液涎。故心肺在上，主脉气也。肝肾在下，藏精血也。脾居中州，又所以为精血脉气之养也。心之平脉，浮大而散。肝之平脉，弦细而长。肾之平脉，沉濡而滑。肺之平脉，短涩而浮。脾之平脉，和缓而大。平者，五脏本然之正脉也。春弦、夏钩、秋和

① 二：按针灸大成卷七鬲交系单穴，此字疑误。

② 二：按针灸大成卷七鬲交系单穴，此字疑误。

③ 忽：普济方卷一五脏相涉篇作“或”。

④ 脾：仁斋直指附遗方论作“脾”。

⑤ 燥：仁斋直指附遗方论同。普济方卷十五五脏所主论篇作“臊”。

云：夏洪，取火脉来盛之义。秋毛、冬石，以其四时当旺者象之。木、火、金、水四时，各旺七十有二日。土为季脉，每季之月，寄旺一十八日，春则弦缓，夏则洪缓，秋则微缓，冬则沉缓，合四季而论，则亦七十有二日矣。春弦者，端直之状，细弱而长是也；夏钩者，浮大而散，来疾去迟是也；秋毛者，稀软之状，轻虚以浮是也；冬石者，沉濡而滑，举指来疾是也。土之脉温厚，气行乎脏腑之中，平和不可得见，其衰则现焉。所谓弦、钩、毛、石，盖应时而略见耳。其中须有谷神胃气之和。若弦如张弓弦，钩如操带钩，毛如风吹毛，石来如夺索去如弹石，此皆危脉也。此绝无胃气也，胃气亏绝，其能久乎？若夫春得金脉，夏得水脉，秋得火脉，冬得土脉，四季得木脉；其与心之脉克肺，肺之脉克肝，肝之脉克脾，脾之脉克肾，肾之脉克心，此皆贼邪也。一脏无气，况可以为人乎？然则诸府之脉，可得闻欤？曰：小肠微洪，大肠微涩，膀胱微沉，胃微缓，而胆微弦急，此无他，腑与脏合气，同气相求，斯有得其近似者矣。抑古人所谓九脏者，又何如耶？曰：形脏四，一者头角，二者耳目，三者口齿，四者胸中。神脏五，在心藏神，在肝藏魂，在肾藏志，肺藏魄而脾藏意。然脏者，神之舍。色者，神之旗。五脏已败，其色必夭，槁怪异常，夭必亡矣，抑犹有说焉。微迟濡弱，其候虽不同，而为寒为虚一也。数实长洪，其形虽不类，而为热为实一也。诸脉皆弦，吾知其病出于肝。诸脉皆缓，吾知其病出于脾。诸脉皆涩，吾知其病出于肺。脉皆浮洪，病不在心乎？脉皆沉滑，病不在肾乎？若合腑脏而观，假如数在左寸，数主热也。沉之而得，则热入于心；浮之而得，则热入小肠。迟在左尺，迟主寒也。沉之而得，则寒入于肾；浮之而得，则寒入膀胱。其余以此推之。噫！此通变法也。安得圆机之士，与之论此哉！

五脏病证虚实论

五脏各有所主，至其病证莫不随所主而见焉。面赤喜笑，舌破口乾，烦躁掌热，心痛而哕，脐上有动气者，心家病也。面青多怒，胁下痛硬，咳逆目眩，肢节挛急，转筋澹难，脐左有动气者，肝家病也。肝乘脾，挟水气故咳逆。足厥阴下络于阴器，故澹难。面黑而恐，呵欠呻吟，齿痛骨痠，耳鸣精泄，足胫寒，腰脊痛，小腹急疼，痠泄而里急后重，脐下有动气者，肾家病也。面白善嚏，忧愁欲哭，喘嗽气逆，咽喉不利，洒淅恶寒，时作寒热，脐右有动气者，肺家病也。面黄善思，善噫善嗜，中脘胀满，饮食不消，身体肿重，肢节酸疼，怠惰嗜卧，四肢不收，当脐动气，是非脾家之病乎？东莱先生有曰：肝受病则目不能视，肾受病则耳不能听，脾受病则口不能食，心受病则舌不能举。五脏病证，以此观之，不待智者而后知矣。然而心之恶热者何？热则脉溃浊也。肝之恶风者何？风则筋燥急也。肾何以恶燥？燥则精涸竭也。肺何以恶寒？寒则气留滞也。脾何以恶湿？湿伤肌肉，肉伤则痿肿也。五脏之病，推原及本，安有不从所受中来哉？是以脏气有余谓之实，脏气不足谓之虚。心实之候，口乾喜笑，身热，汗血，痛满乎脾胁膺背之间；肝实之候，目赤多怒，头眩耳聋，痛引乎两胁小腹之下；肾实之候，腹膨体肿，少气不言，骨痛痠泄，而小便黄；肺实之候，喘促咳嗽，上气鼻张，胫股肩疼，而胸中满；脾气一实，必至肢体重着而不举，腹胀尿秘而苦饥，故曰脏气有余，谓之实者此也。心虚则恍惚多惊，忧烦少色，咳唾舌强，腰背酸疼；肝虚则眼昏胸痛，筋肋拘挛，恐惧面青，如人将捕；肾虚则心悬如饥，胸痛引脊，厥逆澹变，眇冷耳鸣；肺虚则呼吸少气，鼻涕嗑乾，肺中声鸣，喘乏咳血；唾中有红缕者，此肺损为热气所伤也。若胁下痛而唾鲜血者，此热气伤肝也。其或吐逆泄利，饮食不消，腹胀肠鸣，四肢无力，则脾虚之证生焉。故曰：脏

气不足，谓之虚者此也。大抵实者泻之，虚者补之，无过不及，以平为期，否则实实虚虚，损不足而益有余，如东坡先生所谓：至虚有盛势，大实有羸状，差之毫厘，疑似之间，便有死生祸福之畏，吁！可畏哉！至若心病而直视面黧，肝病而舌卷囊缩，肾病而腰折骨枯，肺病而毛焦气出，脾病而脐突唇反，此则五脏之气绝也。绝者，无复生之理，脱遇岐扁，亦未如之何。虽然，病亦有虚实之证不同耳，邪气盛则实，精气夺则虚。脉盛、皮热、腹胀、前后不通^①，曰五实；脉细、皮寒、气少，前后泄利、饮食不进，曰五虚。诸病出者为虚，入者为实；阴出乘阳，阳入乘阴。言者为虚，不言者为实；缓者为虚，急者为实；阴主静则羸，阳主躁则急。濡者为虚，坚者

为实；痒者为虚，痛者为实；外痛内快者，外实内虚；外快内痛者，外虚内实。其有心腹皮肤，内外俱痛，则按之而止者虚也；按之而痛者实也。经所谓皮虚则热，脉虚则惊，肉虚则重，筋虚则急，骨虚则痛，髓虚则堕，肠虚则溇泄。三阳实三阴虚，汗不出；三阴实三阳虚，汗不止。与夫脉浮而缓，自汗恶风，法当解肌；脉浮而紧，无汗恶寒，法当发汗，此表病之一虚一实。脉伏而牢，腹痛秘结，法当下之；脉沉而弱，厥冷自利，法当温之，此里病之一实一虚。内实之证，心下牢强，腹中痛满，前后不通，乾呕而无物出者死；内虚之证，厥逆烦躁，而吐利不止者亡。是又不可不知也，故并及之。

儒门事亲

五虚五实攻补悬绝法

虚者补之，实者泻之，虽三尺之童，皆知之矣。至于五实五虚，岂可与泛泛虚实用药哉！内经明言其状，如俗工不识何？此二证所以见杀于委靡之手也。坐视人之死，犹相夸曰吾药稳，以诳病家。天下士大夫亦诚以为然，以诳天下后世，岂不怪哉！夫一身犹一国也，如寻邑百万围昆阳，此五实证也，故萧王亲犯中坚^②而笃战。如河内饥而又经火灾，此五虚证也，故汲直不避矫诏而发仓。此可与达权知变者论，不可与贪常嗜琐者说也。故曰庸人误天下，庸工误病人，正一理也。内经曰：五实者死，五虚者亦死。夫五实者，谓五藏皆实也；五虚者，谓五藏皆虚也。府病为阳，易治而鲜死；藏病为阴，而难治多死。经明言脉盛、皮热、腹胀、前后不通、闷瞀者，五实也。脉盛为心，皮热为肺，腹胀为脾，前后不通为肾，闷瞀为肝，五藏皆实之证也。五虚者反是，脉细、皮寒、气少、泄利前后、饮食不入者，五虚也。脉

细为心，皮寒为肺，气少为肝，泄利前后为肾，饮食不入为脾，此五藏皆虚之证也。夫五实为五藏俱太过，五虚为五藏俱不及。内经言此二证皆死，非谓必死也。谓不救则死，救之不得其道亦死也。其下复言，浆粥入胃，则虚者活，身汗后利，则实者活，此两证自是前二证之治法也。后人不知是治法，只作辨验生死之断句，直谓病人有此则生，无此则死，虚者听其浆粥自入胃，实者听其自汗，自利，便委之死地，岂不谬哉！夫浆粥入胃而不注泄，则胃气和，胃气和则五虚皆实也，是以生也。汗以泄其表，利以泄其里，并泄则上下通，上下通则五实皆启矣，是以生也。此二证异常，却不宜用班氏所谓有病不服药之言。盖其病大且笃故也。余向日从军，于江淮之上，一舟子病，予诊之，乃五实也。余自幼读医经，尝记此五实之证，竟未之遇也，既见其人，窃私料之，此不可以常法治，

① 通：素问·玉机真藏论此下有“闷瞀”二字。

② 坚：儒门事亲作“原”。

乃可大作剂而下之，殊不动摇，计竭智穷，无如之何。忽忆桃花萼丸，顿下七八十丸，连泻二百余行，与前药相兼而下，其人昏困数日方已。盖大疾之已去，自然卧憩，不如此，则病气无由衰也，徐以调和胃气之药，饘粥日加，自尔平复。又尝过鸣鹿邸中，闻有人呻吟声息，瘦削痿然无力，余视之，乃五虚也，余急以圣散子二服作一服，此证非三钱二钱可塞也。续以胃风汤，五苓散等药，各大作剂，使顿服，注泻方止，而浆粥入胃，不数日而其人起矣！故五虚之人，不加峻塞，不可得而实也。彼庸工治此二证，草草补泻，如一杯水救一车薪之火也，竟无成功，反曰

虚者不可补，实者不可泻，此何语也？吁！不虚者强补，不实者强攻，此自是庸工不识虚实之罪也。岂有虚者不可补，实者不可泻之理哉？予他日又思之，五实证汗下吐三法俱行更快，五虚证一补足矣。今人见五实证，犹有塞之者，见五虚者，虽补之而非其药，本当生者，反钝滞迁延，竟至于死耳。夫圣散子有乾姜，寻常泻利勿用，各有标本，胃风、五苓有桂，所以温经散表而分水道。圣散子之涩燥，胃风、五苓之能分，皆辛热辛温之剂也。俗工往往聚讼，以予好用寒凉，然予岂不用温补？但不遇可用之证也。说说谤喙，咸欲夸己以标名，从谁断之？悲夫！

圣济总录

心统论

心与小肠合，故手少阴经与手太阳经为表里。其象火，其王夏，其脉洪，在藏为神，在志为喜，在变动为忧，在液为汗，是故心气虚则悲不已，实则笑不休。心气虚则梦救火阳物，得其时则梦燔灼，心气盛则梦喜笑恐畏。厥气客于心则梦丘山烟火。心衰则健忘。心热则多汗。不足则胸腹胁下与腰背引痛，惊悸恍惚，少颜色，舌本强，有余则骨痛，胸中支满，胁下及膺背肩胛两臂痛。不足则补，有余则泻，此治之大法也。

肺脏统论

五藏设位，肺独居上。故内经曰：天气通于肺。又曰：肺主皮毛，为五藏之华盖，在五物¹为魄，魄则并精而出入者也。在五性为义，义则胜物而断制者也。开窍于鼻，故其液为涕，涕者，继泣而先洒也。在声为哭，故其志为忧，忧者阴肃而情惨也。其色白者，入二²故也。其味辛者，物成故也，以至在天为燥，在地为金，在音为商，在臭为腥，无非时数气类之所然系³也。尝以经

脉表里论之，手太阴肺之经也，手阳明大肠之经也，二者之经，为藏府表里之合。手太阴之经，起于中焦，下络大肠，环循胃口，上膈属肺从肺系，横出腋下，下循臑内，行少阴心主之前，下肘中，循臂内上骨下廉入寸口，上循鱼际，出大指之端。其支者，从腕后，直出次指内廉，出其端。阴阳适平，经络和顺，盈虚消息，莫睹偏胜，一失其平，病所由生，过为有余，有余病也，不及为不足，不足亦病也。有余之病，是谓肺实，不足之病，是谓肺虚。肺实之证，喘嗽上气，肩背痛，汗出，阴股膝胫皆痛是也。肺虚之证，肩背痛寒，少气不能太息，胸满嗑乾是也。病之所生，凡以其经络流行之处而见证焉。治法之施，实者宜泻，虚者宜补，有余则损之，不足则益之，此其大略也。至于论脉，则手太阴脉之来浮涩而短，为平脉⁴，若见他脉，皆失其平，故肺与脾肾，子母也，与心肝，夫妇也。脉得洪大而缓，则为母所

1 物：圣济总录作“藏”。

2 二：圣济总录作“金”。

3 然系：圣济总录作“系然”。

4 脉：圣济总录作“脉”。

克：得沉濡而滑，则为子所克；得弦而长，则为妇所克；得浮大而洪，则为夫所克。若母克子者为虚邪，虽病易治，子克母者为实

邪，虽病自愈，妇克夫者为微邪，虽病即差，夫克妇者为贼邪，大逆不治。当察其虚实，以补以泻，审治之法，此其大概也。

永类铃方¹

脾胃虚实

脾中央生湿云云。脾为脏，主里 详见圣惠方 心为母，实邪自愈。肺为子，虚邪易治。肾为匹，贼邪愈。肝为主，贼邪逆。恶湿畏风，风，木也。又风胜湿，主诸湿脏满，病则应见于唇口、舌本、颐颌、咽门、肌肉、牙齿面、痰涎。好食甘，为脾不足，脾若湿，苦以燥之，病欲发，食甘以缓之，苦甚泻之，甘甚补之，甘多走肉伤肾，宜辛伤酸醪，养助宜豆、枣、韭、牛。

脾脉宜沉细而缓。浮洪而数，即有病。若雀啄屋漏水溜者，面色青黄不泽毛折者，脾死也。

脾实热，身体眼目黄，舌胎咽肿，寒热似疟，劳郁口甘，凝滞生疮口臭，烦躁口涩，宿食口酸，治同胃热壅，济生泻黄散、枳壳圆。五劳实热，小甘露饮。

脾虚寒，吐泻腹胀，身肿重痛，多涎，食不化，寒则口咸，虚则口淡，意倦，脾虚则反喜多食，治同胃虚寒，济生进食元、壮脾元、六君子汤、草澄茄元、附子建中汤；涎多，生胃丹；五劳虚寒，白术散。并济生方。

胃实热，口气，大便难，腹满心痛，热渴呕啰，济生橘皮竹茹汤、本事竹茹汤。

胃虚寒，面黄体倦，吐泻腹胀，三因附子养脾汤、济生生胃丹。

肺大肠虚实

肺西方生燥云云。肺为脏，主里，详见圣惠方 脾为母，肾为子，肝为匹，心为主，为五脏华盖，象天布清气于皮毛，恶寒，主诸气腠郁，病则应见于诸气、皮毛、鼻涕、声

音。气若逆，急食苦以泄之，病欲收，食酸以收之，用苦泻之，辛以散之，辛多则走血伤肝，宜咸，伤焦苦，养助宜麻、桃、葱、鸡。

肺脉宜浮涩而短，若不上不下，如循鸡羽，曰病，按之消索，如风吹毛，面赤不泽，毛折，肺死。

肺实热，右颊赤，四肢烦疼，气壅，咳嗽，大便不利，皮肤不仁，不知香臭，皮肤搔痒，疥癩，济生泻白散，肺痈热，济生葶苈散、桔梗汤、排脓散、本事早²普元、升麻汤。五劳实热，济生二母汤。

肺虚寒，感寒邪风热，痰嗽鼻燥，咽乾咳血，少气面白，风则多汗而畏风，咳嗽，济生白石英汤。酒食过，济生紫苑汤。寒邪，人参荆芥汤。五劳虚寒，济生温肺汤。

大肠实热，气壅，心腹胀满，大便秘，济生槟榔元。

大肠虚寒，肠鸣泄泻，胁痛，食不化，济生诃黎勒元。

肾膀胱虚实

肾北方生寒云云。肾为脏，主里，详见圣惠方 肺为母，肝为子，心为匹，脾为主，恶燥畏湿。主诸寒收引，病则应见于精髓、骨、脑、齿、腰脊、耳、前后二阴、髀、股、腠、腓、足跟、足心。为津液。肾燥，食辛以润之，肾坚，苦以弱之、泻之，咸以软转上声。之、补之，咸多则走血伤心，宜酸，伤甘甜，养助黍、栗、霍、豕。

¹ 永类铃方：此下原文系表格，为了便于阅读，依本书体例，特改为文字。

² 早：普济本事方作“枣”。

肾脉宜沉涩而滑，若如引葛，按之坚曰病，坚沉如弹石辟辟然，色黄黑，肾死也。

肾实热，心烦、口渴、耳聋、痛痒、小便赤、大便难、梦遗，济生玄参汤、葵子汤。梦遗，本事清心圆，猪苓圆。五劳实热，济生地黄汤。

肾虚寒，阳萎，胁冷，小腹急，面黑，少气，腰骨痛，厥逆，白浊，齿痛，耳聋，腹大身重，喘咳，汗出恶风，多唾，济生十补圆□肾元^①、鹿茸元、冷补元。五劳虚寒，韭子元。

膀胱实热，腹胀、使^②淋，口乾、舌燥、咽喉不利。肾恶燥，古人制方益肾者，多用滋润之药，如仲景之用八味元也。

膀胱虚寒，小便白浊，滑数。

肝胆虚实

肝东方生风云云。肝为脏，主里，详见圣惠方。肾为母，心为子，脾为匹，肺为主，恶风，主诸风眩掉，病则应见于目、左胁、指爪、筋血。好食酸者，肝不足也，肝苦急，食酸以缓之，病欲散，食辛以散之、泻之，咸以补，酸以收之，酸多走筋伤脾，宜苦，伤辛，养助麦、李、葵、犬。

肝脉宜弦长，若弦涩，或急如张弓按瑟，循刀啧啧然，色青白不泽，死。

肝实热，左胁痛，发热恶风，气逆，目赤头眩，三因枳壳煮散、枳实散、济生柴胡散、羚羊角散。

肝虚寒，胁胀筋急，小腹痛，面青目晦，口噤，本事肝积散、桂枝散。因惊，济生柏子仁汤。五劳虚寒，济生续断汤。

胆实热，口苦咽乾，神思不安，不得眠，反恶寒，三因泻胆汤，济生酸枣仁圆。

胆虚寒，头眩足痿，恐畏失精，三因温胆汤、济生茯神汤。

心小肠实热

心南方生热云云。心为脏，主里，详见圣惠方。

肝为母，脾为子，肺为匹，肾为主。恶热，主诸痛痒疮，病则应见于口、舌、血脉、胸、发。心之液为汗，好食苦者心不足也，心若缓，食酸以收之，病欲濡，食咸以濡之，甘以泻之，苦以补之，坚之。苦多走骨伤脾，宜甘，伤咸卤，养助小豆、黎、薤、牛马。

心脉宜浮大而散，反浮涩而短，前曲后踞，如操带钩，色赤黑不泽者，心死也。

心实热，口乾舌强，烦热惊怖，胸背痛，口舌生疮，中风则舌缩不语，三因茯苓补心汤、泻心汤、济生导赤散、局方清心莲子饮。受邪热，简易清心元。心悸肿喘，三因分气补心汤。五劳实热，济生黄芩汤。

心虚寒，血虚悸恐，舌强暗不语，面黄自汗，腰疼恍惚，济生补心元、心丹、酸枣仁汤。五劳虚寒，济生远志饮子。

小肠实热，面赤多汗，小便不利，济生赤茯苓汤。

小肠虚寒，下利，小便数，偏头疼，耳聋，济生椒附圆。

胆

胆金之精，水之气，金乘阴之气，多勇，主煞，上主毛发爪甲，肝气有余则胆实生热，而神惊，心有邪气伏气忧患，故胆虚不得眠也。

三焦

右肾为命门，其腑为三焦，三焦有脂膜如手大，与膀胱相对，有二白脉自中出，夹脊上贯于脑，乃元气之别使也，主诸气，有位无形可见，号决渎之官，大小肠为正府，上焦合之，在心下，下膈居胃上口，主内而不出，胆胃为正府，中焦合之，在胃中脘，主腐熟水谷，膀胱为府，下焦合之，在脐下，当膀胱上口，即肾间动气，主出而不纳，男藏精、女系胎，是有形可见。叔和云：无状

① □肾丸：济生方作补肾丸。

② 使：按文义疑作“渡”字。

有名，周与权难经辨正改无形作形隐，与灵枢合无疑矣。又扁鹊以心主三焦为表里何也？心主者，心胞络也，真心安得受邪？是心主本非正藏，而三焦亦非正腑，但以三焦之经，属手少阳，心胞之经，属手厥阴，二经皆属手，阴阳相配合耳，叔和以命门与三焦为表里者，肾为精之舍，三焦为精之府，命门虽系一脏，外别无经，与肾俱属足少阴之经，与足太阳膀胱为表里，肾有左右，膀胱无二，故用左肾合膀胱，右肾合三焦，以此推之，三焦之气与命门通，三焦之经，不与命门合也。扁鹊之论为正，三焦之气但各随其部分而为之应耳。三焦之气，分布不同，方其湛寂，欲心

不动，精气散在三焦荣百脉，欲火炽则翕撮，三焦精气，并命门输写而去矣。

肾三焦虚实

右肾实热，身热胁痛，小便黄赤，足冷，便出茎痛，三因清膈汤。

三焦实热，目眦痛，腰肋热，烦热，头面汗，溺涩遗沥，三因润焦汤。

右肾虚寒，小便数，短气，四肢烦疼，耳鸣，面黑，梦遗，三因益志汤。

三焦虚寒，短气，小便赤浊，泄精，脚胫酸，小腹胀，三因安中散。

金匱方

五脏风寒积聚

趺阳脉浮而涩，浮则胃气强，涩则小便数，浮涩相搏，大便则坚，其脾为约，麻子仁丸主之。

麻子仁丸方：

麻子仁二升 芍药半斤 枳实二斤 大黄二斤 厚朴二尺 杏仁二升

右六味末之，炼蜜和丸，梧子大，饮服十丸，日三，以知为度。

肾着之病，其人身体重，腰中冷，如坐水中，形如水状，反不渴，小便自利，饮食如故，病属下焦，身劳汗出，衣一作表。里冷湿，久久得之，腰以下冷痛，腹重如带五千钱，甘姜苓术汤主之。

甘草乾姜茯苓白术汤方：

甘草 白术各二两 乾姜 茯苓各四两

右四味，以水五升，煮取三升，分温三服，腰中即温。

千金方

肝虚实

肝实热

左手关上脉阴实者，足厥阴经也，病苦心下坚满，常两胁痛，息忿忿如怒状，名曰肝实热也。

竹沥泄热汤：治肝实热，阳气伏，邪热喘逆，闷恐，目视物无明，狂悖非意而言者方。

竹沥一升 麻黄 大青 梔子仁 升麻

茯苓 玄参 知母各三分 生葛 石膏各八分 生姜 芍药各四分

右十二味，咬咀，以水九升，煮取二升半，去滓，下竹沥，煮两三沸，分三服。须利，下芒消三分，去芍药，加生地黄五分。

删繁方无石膏、生姜、芍药、生葛，用人参三分。

前胡汤：治肝实热，目痛胸满，气急塞，泻肝方。

前胡 芒消 秦皮 梔子仁 决明子 黄芩 升麻 蕤仁 细辛各三两 苦竹叶

车前叶 各切一升

右十一味，咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，下芒消，分三服。又一方，有柴胡三两，共十二味。

防风¹散：治肝实热，梦怒虚惊方。

防风 茯苓 萎蕤 白术 橘皮 丹参 各一两三分 细辛二两 甘草 射干各一两 升麻 黄芩各一两半 大枣三七枚 酸枣仁三分

右十三味，治下筛为粗散，以两方寸匕帛裹，以井花水二升煮，时时动上²裹子，煎取一升，分服，日二。

远志³散：治肝邪热，出言反常，乍宽乍急方。

远志 射干 杏仁 大青各一两半 茯神 麦门冬 葛根 甘草各一两 芍药⁴一两三分 桂心三分 知母 升麻各五分 石膏二两

右十三味，治下筛为粗散，以水二升五合，煮竹叶一升，取汁内⁵药一匕半，煎取八合，为一服，日一⁶，以絺裹散煮之。

地黄煎：治邪热伤肝，好生悲怒，所作不定，自惊恐方。

生地黄 淡竹叶 生姜 车前草 乾篮 各切一升 赤蜜一升 丹参 玄参各四两 茯苓二两 石膏五两

右十味 咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，停冷，下蜜，更煎三两沸，分三服。

肝胆俱实

左手关上脉阴阳俱实者，足厥阴与少阳经俱实也。病苦胃胀，呕逆，食不消，名曰肝胆俱实也。

肝虚寒

左手关上脉阴虚者，足厥阴经也。病苦胁下坚，寒热腹满，不欲饮食，腹胀，悒悒不乐，妇人月经不利，腰腹痛，名曰肝虚寒也。

补肝汤：治肝气不足，两胁下满，筋急，不得大息，四肢厥冷，发抢心腹痛，目不明了，及妇人心痛，乳痛，膝热，消渴，爪甲枯，口面青者方。

山茱萸 千金翼作乌头 甘草 桂心各三⁷两

桃仁 千金翼作桃仁 柏子仁 细辛 茯苓 防风各二两 大枣二十四枚

右九味咬咀，以水九升，煮取五升，去滓，分三服。三因方治肝虚寒，两胁满，筋急，不得太息，寒热，腹满不欲饮食，悒悒不乐，四肢冷，发抢心腹痛，目视眈眈，或左胁偏痛，筋痿脚弱，山茱萸 甘草炙 桂心各一两 细辛去苗 茯苓 桃仁 麸炒，去皮尖 柏子仁 防风各二两 川乌头炮，去皮脐，半两 右锉散，每服四大钱，水盪半，姜五片，枣三枚，煎至七分，去滓，空心服。

补肝散：治左胁偏痛久，宿食不消，并目眈眈昏，风泪出，见物不审，而逆风寒偏甚，消食破气止泪方。

山茱萸 桂心 薯蕷 天雄 茯苓 人参各五分 芍药 白术 独活 五加皮 大黄各七分 橘皮三分 防风 乾姜 丹参 厚朴 细辛 桔梗各一两半 甘草 甘菊花⁸一两 贯众半两 陈麦曲 大麦蘖各一升

右二十三味，治下筛，酒服方寸匕，日二，若食不消，食后服，若止痛，食前服之。

松膏酒：补肝治肝虚寒，或高风眼泪等杂病方。

松脂十斤，细锉，以水淹浸一周，日煮之，细细接取上膏，水竭更添之，脂尽更水煮如前，烟尽去火停冷，脂当沉下，取一斤，酿米一石，水七斗，好曲末二斗，如家常酿酒法，仍冷下饭，封一百日，脂米曲并消，酒香满室，细细饮之，此酒须一倍加曲。

枸杞酒 治同前。

捣碎枸杞子一斗，先内绢袋中，酒二斗，渍讫，密封泥瓮，勿泄曝乾，天阴勿出，三七日满，旦⁹温酒任性饮之，忌酢。

1 风：备急千金要方此下有“煮”字

2 上：备急千金要方无此字

3 志：备急千金要方此下有“煮”字

4 芍：备急千金要方作“芍”

5 内：备急千金要方作“用煮”

6 日：备急千金要方作“日”

7 三：备急千金要方作“三”

8 花：备急千金要方此下注有“各”字

9 旦：备急千金要方作“旦”

防风煎：治肝虚寒，目眊眊，视物不明，
谛视生花，补方。

防风 细辛 芎藭 独活 白鲜皮 甘草
各三两 橘皮 二两 大枣 三七枚 蜜 五合 甘竹叶
切，乙升¹

右十味，㕮咀，以水一斗二升，先煮九
味，取四升，去滓，下蜜更煎两沸，分四服，
日三夜一。若五六月，以燥器贮，冷水藏之。

槟榔汤：治肝虚寒，胁下痛，胀满气急，
目昏浊，视物不明方。

槟榔 二十四枚 附子 七枚 母姜 七两 茯苓
橘皮 桂心 各三两 桔梗 白术 各四两 吴茱萸 五两

右九味㕮咀，以水九升，煮取三升，去
滓温服，每服一升。若气喘者，加芎藭三
两，半夏四两，甘草二两。

肝胆俱虚

左手关上脉阴阳俱虚者，足厥阴与少阳
经俱虚也。病苦²恍惚，尸厥不知人，妄见，
少气不能言，时时自惊，名曰肝胆俱虚也。

肝劳

肝劳病者，补心气以益之，心王则感于
肝矣。人逆春气，则足少阳不生，而肝气内
变，顺之则生，逆之则死，顺之则治，逆之
则乱，反顺为逆，是谓关格，病则生矣。

猪膏酒：治肝劳虚寒，关格劳涩，闭塞
不通，毛悴色夭方。

猪膏 姜汁 各二升

右二味，以微火煎取三升，下酒五合和煎，
分为三服。

虎骨酒：治肝虚寒劳损，口苦，关节骨
痛疼³，筋挛缩，烦闷方。

虎骨 一升，炙焦，碎如雀头 丹参 八两 乾地黄 七两
地骨皮 乾姜 芎藭 各四两 猪椒根 五加皮
白术 枳实 各五两

右十味㕮咀，绢袋盛，以酒四斗，浸四
日，初服六七合，渐加至一升，日再。

胆 虚 实

胆实热

左手关上脉阳实者，足少阳经也。病苦
腹中气满，饮食不下，咽乾头痛，洒洒恶寒，
胁痛，名曰胆实热也。

半夏汤：治胆腑实热：精神不守，泻热方。

半夏 宿姜 各三两 黄芩 一两 生地黄 五两
远志 茯苓 各二两 秫米 一斗⁵ 酸枣仁 五合

右八味㕮咀，以千里长流水五斗，煮秫
米，令蟹目沸，汤⁶三千余⁷徧，澄清，取
九升煮药，取三升半，分三服。集验方治虚烦闷
不得眠，无地黄、远志，有麦门冬、桂心各三⁸两，甘草、人参各二两。

胆虚寒

左手关上脉阳虚者，足少阳经也。病苦
眩厥痿，足指不能摇，髀不能起，僵仆，目
黄失精眊眊，名曰胆虚寒也。

温胆汤：治大病后，虚烦不得眠，此胆
寒故也，宜服此方。

半夏 竹茹 枳实 各二两 橘皮 三两 生
姜 四两 甘草 一两

右六味㕮咀，以水八升，煮取二升，分
三服。

千里流水汤：治虚烦不得眠⁹方。

麦门冬 半夏 各三两 茯苓 四两 酸枣仁
二两¹⁰ 甘草 桂心 黄芩 远志 草薢 人
参 生姜 各二两 秫米 一斗¹¹

右十二味㕮咀，以千里流水一斛，煮米，
令蟹目沸，汤¹²万遍，澄清，取一斗煮药，
取二升半，分三服。

酸枣汤：治虚劳烦扰，奔气在胸中，不
得眠方。

酸枣仁 五升 人参 桂心 生姜 各二两

1 升：备急千金要方作“斗”

2 苦：备急千金要方作“如”

3 疼：备急千金要方作“四”

4 痛疼：备急千金要方作“疼痛”

5 斗：备急千金要方作“升”

6 汤：备急千金要方作“扬之”

7 余：备急千金要方无此字

8 三：备急千金要方作“二”

9 眠：备急千金要方作“眼”

10 两：备急千金要方作“升”

11 斗：备急千金要方作“升”

12 汤：备急千金要方作“扬之”

13 五：备急千金要方作“三”

石膏四两 茯苓 知母各三两 甘草一两半

右八味咬咀，以水一斗，先煮酸枣仁，取七升，去滓，下药，煮取三升，分三服，日三。

治虚劳烦闷不得眠方：

大枣二七枚 葱白七茎

右二味，以水三升，煮取一升，去滓，顿服。

梔子汤：治大下后，虚劳不得眠，剧者颠倒懊恼欲死方。仲景云：发汗吐下后，虚烦不得眠，若剧者，必反覆颠倒，心中懊恼，梔子汤主之。

大梔子十四枚 豉七合

右二味，以水四升，先煮梔子，取二升半，内豉，更煮三沸，去滓，每服一升，安者勿更服。若上气呕逆，加橘皮二两，亦可加生姜二两。

治烦闷不得眠方：

枸杞白皮 生地黄①五两 麦门冬 甘草

前胡各三②两 茯苓 知母各四两 人参二两

粟米 豉各五两③

右十味，咬咀，以水八升，煮取三升七合，分四④服。

治虚劳不得眠方：

酸枣 榆叶各等分

右二味为末，蜜丸如梧子，每服十五丸，日再。

又方：乾姜四两为末，汤和顿服，覆取汗病愈。

髓 虚 实

髓虚者，脑痛不安，髓实者，勇悍。凡髓虚实之应，主于肝胆，若其腑脏有病，从髓生，热则应脏，寒则应腑。

羌活补髓圆：圣济总录羌活丸。治髓虚脑痛不安，胆腑中寒方。

羌活 总录去芦头 芎藭 当归各三两。总录切，

炒。各一两半 桂心二两。总录桂去粗皮。一两 人参四两

总录二两 枣肉 研如脂 总录三十枚 羊髓 酥各一升

大麻仁 熬，研如脂 牛髓各二升 总录各一合

右十味，先捣五种乾药为末，下枣膏麻仁，又捣，相濡为一家，下二髓并酥，内铜钵中，总录入银器中。重汤煎取好，为丸如梧子，酒服三十丸，日二服，总录空腹温酒下。稍加至四十丸。

柴胡发泄汤：圣济总录柴胡汤。治髓实，勇悍惊热，主⑤热方。

柴胡 总录去苗 升麻 黄芩 总录去黑心 细辛 总录去苗叶 枳实 总录去瓤，麸炒 梔子仁 总录各三分 芒消⑥三两 总录无 淡竹叶 总录细锉 生地黄⑦一升 总录切，焙 泽泻 四两 总录各一两

右十味，咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，下消，分三服。总录右九味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，下芒消半钱，再煎一沸，去滓，分二服，早食后，日中服。

心 虚 实

心实热

左手寸口人迎以前，脉阴实者，手少阴经也。病苦闭，大便不利，腹满，四肢重，身热，名曰心实热也。

石膏汤：治心实热，或欲吐，吐而不出，烦闷喘急，头痛方。

石膏一斤 淡竹叶 香豉各一升 小麦三升 地骨皮五两 茯苓三两 梔子仁三七枚

右七味，咬咀，先以水一斗五升，煮小麦竹叶，取八升，澄清，次下诸药，煮取三⑧升，去滓，分三服。外台名泻肺⑨汤。

泻心汤：治老小下利水谷不消，肠中雷鸣，心下痞满，乾呕不安方。

① 黄：备急千金要方此下注有“各”字。

② 三：备急千金要方作“五”。

③ 两：备急千金要方作“合”。

④ 四：备急千金要方作“二”。

⑤ 主：备急千金要方此下有“肝”字。

⑥ 消：备急千金要方此下注有“各”字。

⑦ 黄：备急千金要方此下注有“各”字。

⑧ 三：备急千金要方作“二”。

⑨ 肺：备急千金要方作“心”。

人参 黄芩 甘草各一两 神巧万全方炙 乾姜一两半 万全方生姜 黄连二两 半夏三两 大枣十二枚 万全方无

右七味咬咀，以水八升，煮取二升半，分三服，并治霍乱。若寒加附子一枚，渴加栝蒌根二两，呕加橘皮一两，痛加当归一两，客热以生姜代乾姜。三因方治心实热，心下痞满，身重发热，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方发渴。乾呕不安，腹中雷鸣，淫①溲不利，水谷不消，欲吐不吐，烦闷喘急：黄连去毛，二两 半夏汤洗七次，三两 黄芩 甘草炙 人参各一两 乾姜炮，一两半大成、集成、经验方、袖珍方、铃方一两 右为锉散，每服四大钱，水两盏，大成、集成、经验方、袖珍方、铃方一盞。枣三枚，煎七分，去滓服，并治霍乱。若寒加附子一枚，炮去皮脐，若渴加栝蒌根，呕加橘皮，痛加当归，客热以生姜代干姜。

心小肠俱实

左手寸口人迎以前，脉阴阳俱实者，手少阴与巨阳经俱实也。病若头痛，身热，大便难，心腹烦满，不得卧，以胃气不转，水谷实也。名曰心小肠俱实。

竹沥汤：治心实热，惊梦，喜笑，恐惧，悸惧不安方。

淡竹沥 生地黄汁各一升 石膏八两 芍药 白术 人参 梔子仁各三两 赤石脂 紫菀 知母 茯神各二两

右十一味，咬咀，以水九升，煮十味，取二升七合，去滓，下竹沥更煎取三升，若须利，入芒消二两，去芍药，分三服。

茯神散：治心实热，口乾烦渴，眠卧不安方。

茯神 麦门冬各三十六铢 通草 升麻各三十铢 紫菀 桂心各十八铢 知母一两 赤石脂四十二铢 大枣二十枚 淡竹茹鸡子大一枚

右十味，治下筛为粗散，以帛裹方寸匕，并花水二升半，煮取九合，时动裹子，为一服，日再。

泻心汤：治心气不定，吐血衄血方。

大黄二两 黄连 黄芩各一两

右三味咬咀，以水三升，煮取一升，顿服，亦治霍乱。

安心散：治心热满烦闷惊恐方。

白芍药 远志 宿姜③二两 茯苓 赤石脂 麦门冬 知母 紫菀 石膏④四十二铢 人参二十四铢 桂心 麻黄 黄芩各三十铢 萎蕤三十六铢 甘草十二铢⑤

右十五味，治下筛为粗散，先以水五升，淡竹叶一升，煮取三升，去滓，煮散一方寸匕半⑥，以绢裹煮，时动之，煎取八合，为一服，日再。

心虚寒

左手寸口人迎以前，脉阴虚者，手少阴经也。病苦悸恐，不乐，心腹痛，难以言，心如寒，恍惚，名曰心虚寒也。

茯苓补心汤：治心气不足，善悲愁恚怒，衄血，面黄，烦闷，五心热，或独语不觉，咽喉痛，舌本强，冷涎出，一作开出。善忘，恐走不定，妇人崩中面赤方。

茯苓四两 桂心 甘草各二两 紫石英 人参各一两 大枣二十枚 麦门冬三两 赤小豆二⑦十四枚

右八味，咬咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

半夏补心汤：治心虚寒，心中胀满，悲忧，或梦山丘平泽者。

半夏六两 宿姜五两 茯苓 桂心 枳实 橘皮各三两 白术四两 防风 远志各二两

右九味，咬咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

牛髓圆：通治百病，虚瘠羸乏等方。

牛髓 羊髓 枣膏 白蜜 酥各一升 麦

① 淫：三因极一病证方论作“淫”。

② 神：备急千金要方此下有“煮”字。

③ 姜：备急千金要方此下注有“各”字。

④ 膏：备急千金要方此下注有“各”字。

⑤ 十二铢：备急千金要方作“十铢”。

⑥ 半：备急千金要方作“半”。

⑦ 二：备急千金要方作“一”。

门冬 芎藭 桂心 当归 茯苓 一云茯神 甘草 羌活 各三^①十铢 乾地黄 乾姜 三^②十六铢 五味子 人参 防风 各一两 细辛 十八铢 白术 四十二铢

右十九味，切捣十四味，再筛，别研，枣膏和散，次与诸髓蜜和^③，搅令相得，内铜钵中，于釜沸汤中煎^④之，取堪为丸，如梧子大，酒服三十丸，稍加至四十丸，日再服。

心小肠俱虚

左手寸口人迎以前，脉阴阳俱虚者，手少阴与巨阳经俱虚也。病苦洞泄，若寒，少气，四肢厥，肠澼，名曰心小肠俱虚也。

大补心汤：治虚损不足，心气弱悸，或时妄语，四肢损变，气力颜色不荣方。

黄芩 附子 各一两 甘草 茯苓 麦门冬 乾地黄 桂心 阿胶 各三两 半夏 远志 石膏 各四两 生姜 六两 饴糖 一斤 大枣 二十枚

右十四味，取十三味咬咀，以水一斗五升，煮取五升，汤成下糖，分四服。

补心圆：治藏虚，善恐怖如魔状，及女人产后余疾，月经不调方。

当归 防风 芎藭 附子 芍药 甘草 蜀椒 乾姜 细辛 桂心 半夏 厚朴 大黄 猪苓 各一两 茯苓 一方用茯神 远志 各二两

右十六味为末，蜜丸如梧子，酒服五丸，日三，不知，加至十丸，冷极加热药。

心劳

心劳病者，补脾气以益之，脾王则感于心矣。人逆夏气，则手太阳不长，而心气内洞，顺之则生，逆之则死。顺之则治，逆之则乱。反顺为逆，是谓关格，病则生矣。

大黄泄热汤：治心劳热，口为生疮，大便苦难，闭涩不通，心满痛，小肠热方。

大黄 泽泻 黄芩 芒消 梔子仁^⑤ 三两 桂心^⑥ 通草 二两 石膏 八两 甘草 一两 大枣 二十枚

右十味，咬咀，用水九升，先以水一升，别渍大黄一宿，余八升水煮诸药，取二升五合，去滓，下大黄煮两沸，去滓，下芒消，令烊，分三服。

脉 虚 实

凡脉虚者，好惊跳不定，脉实者，洪满。凡脉虚实之应，主于心小肠，若其腑脏有病，从热生则应脏，寒则应腑也。

防风圆：补虚调中治脉虚，惊跳不定，乍来乍去，主小肠腑寒方。

防风 桂心 通草 茯神 远志 麦门冬 甘草 人参 白石英 各三两

右九味为末，白蜜和丸，如梧子大，酒服三十丸，日再，加至四十丸。

升麻汤：治脉实洪满，主心热病方。

升麻 子芩 泽泻 梔子仁 淡竹叶 芒消 各三两 生地黄 切，一升

右七味，咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，下芒消，分三^⑦服。

麻黄汤：调心泄热，治心脉厥大寸口，小肠热，齿齲噬痛方。

麻黄 生姜 各四两 细辛 子芩 茯苓 芍药 各三^⑧两 白术 二两 桂心 一两 生地黄 切，一升
右九味咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服，须利加芒消三两。

小 肠 虚 实

小肠实热

左手寸口人迎以前，脉阳实者，手太阳经也。病苦身热来去，汗不出，心中烦满，身重，口中生疮，名曰小肠实热也。

柴胡泽泻汤：治小肠热胀口疮方。

柴胡 泽泻 橘皮 一^⑨用桔梗 黄芩 旋复花 枳实 升麻 芒消 各三两 生地黄 切，一升
右九味，咬咀，以水一斗，煮取三升，

① 三：备急千金要方作“二”。

② 三：备急千金要方作“各二”。

③ 和：备急千金要方此下有“散”字。

④ 煎：备急千金要方作“饯”。

⑤ 仁：备急千金要方此下注有“各”字。

⑥ 心：备急千金要方此下注有“二两”二字。

⑦ 三：备急千金要方作“二”。

⑧ 三：备急千金要方作“五”。

⑨ 一：备急千金要方此下有“方”字。

去滓，下芒消，分三服。

大黄圆：治^①小肠热结满不通方。

大黄 芍药 葶苈各二两 大戟 朴消各三两 杏仁五十枚 巴豆七枚

右七味为末，蜜和丸，如梧子大，饮服，大人七丸，小儿二三丸，日二，热去，日一服。

小肠虚寒

左手寸口人迎以前，脉阳虚者，手太阳经也。病苦颊际偏头痛，耳颊痛，名曰小肠虚寒也。

治小肠虚寒，痛下赤白，肠滑，肠中懊恼，补之方：

乾姜三两 当归 黄柏 地榆各四两 黄连 阿胶各二两 石榴皮三枚

右七味，咬咀，以水七升，煮取二升五合，去滓，下胶煮，取胶烊尽^②，三服。

脾 虚 实

脾实热

右手关上脉阴实者，足太阴经也。病苦足寒胫热，腹胀满，烦扰不得卧，名曰脾实热也。

泻热汤：治舌本强直，或梦歌乐，而体重不能行方。

前胡 茯苓 龙胆 细辛 芒消各三两 杏仁四两 玄参 大青各二两 苦竹叶切，一升

右九味，咬咀，以水九升，煮取三升，分三服，食后服。圣济总录治脾实，舌本强直，或梦歌乐，体重不能行。前胡去芦头 赤茯苓去黑皮 龙胆去土 细辛去苗叶 芒消各三两 杏仁汤浸，去皮尖双仁，炒，四两 黑参 大青 苦竹叶切，各三两 右九味粗捣筛，每服三钱匕，水壹盏，煎至八分，去渣，不拘时候温服。

射干煎方：主治同前。

射干八两 大青三两 石膏十两，一作一升 赤蜜一升

右四味，咬咀，以水五升，煮取一升五

合，去滓，下蜜煎取二升，分三服。圣济总录治脾实，咽乾口燥，舌本肿强，腹胁满胀，大便涩难，射干汤：射干八两 大青三两 石膏碎，十两 右三味，粗捣筛，每服五钱匕，入蜜一匙头，水一盏半，同煎至一盏，去滓，不拘时候温服。

治脾热，面黄目赤，季胁痛满方：

半夏 母姜各八两 枳实 梔子 茯苓 芒消各三两 细辛五两 白术 杏仁各四两 生地黄 淡竹叶各切一升

右十一味，咬咀，以水九升，煮取三升，去滓，下芒消，分三服。

治脾横方：若赤黑，发如瓜大，煎羊脂摩之。

又方：末赤小豆和鸡子白傅之。

脾胃俱实

右手关上，脉阴阳俱实者，足太阴与阳明经俱实也。病苦脾胀腹坚，抢胁下痛，胃气不转，大便难，时反泄利，腹中痛，上冲肺肝，动五藏，立喘鸣，多惊，身热汗不出，喉痹精少，名曰脾胃俱实也。

泻热方：

大黄 麻黄 黄芩各四两 杏仁 赤茯苓 甘草 橘皮 芒消 泽泻各三两

右九味，咬咀，以水九升，煮取三升，绞去滓，内大黄，煮两沸，去滓，下芒消，分三服。

大黄泻热汤：治脾脉厥逆，大腹中热，切痛，舌强腹胀，身重食不下，心注脾急痛方。

大黄细切，水一升半，别渍一宿 甘草各三两 泽泻 茯苓 黄芩 细辛 芒消各二两 橘皮二两 右八味，咬咀，以水七升，煮取三升三合，去滓，下大黄，更煎两沸，去滓，下芒消，分三服。

治脾热胁痛，热满不歇，目赤不止，口唇乾裂方：

① 治：备急千金要方作“调”。

② 尽：备急千金要方此下有“分”字。

石膏一斤，碎 生地黄汁 赤蜜各一升 淡竹叶切，五升

右四味，先以水一斗二升，煮竹叶，取七升，去滓，澄清，煮石膏，取一升五合，去滓，下地黄汁两沸，次下蜜，煎取三升，细细服之。

治脾热，偏一边痛，胸满，胁偏胀方：

茯苓 橘皮 泽泻各三两 芍药 白术各四两 人参 桂心各二两 石膏八两 半夏六两 生姜切，一升 桑根白皮各^①一升

右十一味，咬咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，分三服。若须利下，加芒消二两佳。

脾虚冷

右手关上脉阴虚者，足太阴经也。病苦泄注，腹满气逆，霍乱呕吐，黄瘧，心烦不得卧，肠鸣，名曰脾虚冷也。

治虚胀胁痛，肩息，有时发作，悉补之方：

五加根皮 丹参 橘皮各一斤 地骨皮 乾姜 白术各八两 猪椒根皮二斤 乾地黄 芎蒭 附子各五两 桂心 桔梗各四两 大枣五十枚 甘草三两

右十四味，咬咀，以酒四斗，渍五七日，服七八合，加至一升，日再服。

槟榔散：治脾寒，饮食不消，劳倦气胀，噫满，忧恚不乐方。

槟榔八枚，皮子并用 人参 茯苓 陈曲 厚朴 麦蘖 吴茱萸 白术各二两

右八味，治下筛，食后酒服二方寸匕，日再。一方用橘皮一两半。

温脾圆：治久痢^②虚羸，脾气弱，食不消，喜噫方。

黄柏 大麦蘖 吴茱萸 桂心 乾姜 细辛 附子 当归 大黄 曲 黄连各一两

右十一味为末，蜜圆如梧子，每服十五圆，空腹酒服，日三。

麻豆散：主脾气弱，不下食，饵此以当食方。

大豆黄二升 大麻子三升，熬令香

右二味，治下筛，饮和服一合，日四五，任情多少。

脾胃俱虚

右手关上脉阴阳俱虚者，足太阴与阳明经俱虚也。病苦胃中如空状，少气不足以息，四逆寒，泄注不已，名曰脾胃俱虚也。

治腹胀善噫，食则欲呕，泄瀉下，口乾，四肢重，好怒，不欲闻人声，忘误喉痹补之方：

黄连一两 禹余粮二两 白术 乾姜各三两 大麻子五两 桑白皮八两 大枣二十枚

右七味，咬咀，以水一斗二升，煮取三^③升，分四服。

治脾胃俱虚，苦饥寒痛方：

人参 当归 桂心 茯苓 桔梗 芎蒭各三^④两 厚朴 甘草 橘皮 吴茱萸各二两 白术五两 麦蘖一升

右十二味咬咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服。

白术散：治脾胃俱虚冷方。

白术 厚朴 人参 吴茱萸 茯苓 麦蘖 曲 芎蒭各三两

右八味^⑤筛，酒服方寸匕，食后服，日三。一方加大腹、橘皮。

平胃丸：凡身重不得食，食无味，心下虚满，时时欲下，喜卧者，皆针胃管、太仓，服建中汤^⑥及服此方。建中汤方见诸虚门。

杏仁五十枚 丹参三两 苦参 葶苈 玄参各二两 芎蒭 桂心各一两

右七味为末，蜜丸如梧子，酒服五丸，日三，以知为度。

崔文行平胃圆：治丈夫小儿，食实不消，胃气不调，或温状热结，大小便不利者，有

① 各：备急千金要方无此字。

② 痢：备急千金要方作“病”。

③ 三：备急千金要方作“二”。

④ 三：备急千金要方作“五”。

⑤ 味：备急千金要方此下有“治下”二字。

⑥ 建中汤：方见本卷肺与大肠俱虚条。

病冷者，服露宿丸热药后，当进此丸调胃方。

大黄二两 小草 甘草 芍药 芎蒭 葶
苈各二^①两 杏仁五十枚

右七味为末，蜜丸，饮服如梧子五丸，
日三。一岁小儿二丸，渐加之。千金翼有葛
蒲、当归、乾姜、茯苓、麦门冬、细辛，为十三味，无杏仁。

脾劳

凡脾劳病者，补肺气以益之，肺旺则感
于脾，是以圣人春夏养阳气，秋冬养阴气，
以顺其根本矣。肝心为阳，脾肺肾为阴，逆
其根则伐其本，阴阳四时者，万物之终始也。

半夏汤：治脾劳实，四肢不用，五藏乖
反胀满，肩息气急不安，承气泄实热方。

半夏 宿姜各八两 茯苓 白术 杏仁各三两
竹叶切，一升 橘皮 芍药各四两 大枣二十枚

右九味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，
分四服。

消食膏酒：治脾虚寒，劳损，气胀噎满，
食不下通噎方。

猪膏三升 宿姜汁五升 吴茱萸一升 白术
一斤

右四味，捣茱萸白术等二味^②，细细下
筛为散，内姜汁膏中煎，取六升，温清酒一
升，进方寸匕，日再。

肉虚实

夫肉虚者，坐不安席，身危变动，肉实
者，坐安不动，喘气。肉虚实之应主于脾，
若其腑脏有病，从肉生，热则应脏，寒则应
腑。

五加酒：治肉虚坐不安席，好动，主脾
病寒气所伤方。

五加皮 枸杞皮各二升 乾地黄 丹参各八两
石膏一方作石床 杜仲各一斤 乾姜四两 附子三两

右八味，㕮咀，以清酒二斗，渍三宿，
一服七合，日再。

半夏汤：治肉实，坐安席不能动作，喘
气，主脾病，热气所加关格，除喘方。

半夏 宿姜各八两 杏仁五两 细辛 橘皮
各四两 麻黄一两 石膏七两 射干二两

右八味，㕮咀，以水九升，煮取三升，
分三服。须利下，加芒消三两。

胃 虚 实

胃实热

右手关上脉阳实者，足阳明经也。病苦
头痛，脉经作腹中壅痛而热。汗不出，如温疟，唇口
乾，善嘔，乳痛，缺盆腋下肿痛，名曰胃实
热也。

泻胃热汤方：

梔子仁 射干 升麻 茯苓各三^③两 芍
药四两 白术五两 生地黄汁 赤蜜各一升

右八味，㕮咀，以水七升，煮取一升半，
去滓，下地黄汁，煮两沸，次下蜜，煮取三
升，分三服，老小以意加減。

胃虚冷

右手关上脉阳虚者，足阳明经也。病苦
胫寒不得卧，恶风寒洒洒，目急，腹痛虚鸣，
外台作耳虚鸣。时寒时热，唇口乾，面目浮肿，名
曰胃虚冷也。

补胃汤：治少气口苦，身体无泽方。

柏子仁 防风 细辛 桂心 橘皮各二两
芎蒭 吴茱萸 人参各三两 甘草一两

右九味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分为
三服。圣济总录治胃中虚冷，恶寒洒洒，
卧而不寐，补胃煮散：细辛去苗叶，一两半 柏
子仁 人参 芎蒭各一两 防风去叉 桂去
粗皮 陈橘皮汤浸，去白，焙。各半两 甘草炮 吴
茱萸装水浸一宿，新水淘，焙乾炒。各三分 右九味，
捣罗为细散，每服二钱匕，水七分，煎沸，
通口服。

人参散：补胃虚寒，身枯绝，诸骨节皆
痛方。

人参 甘草 细辛各六分^④ 麦门冬 桂
心 当归各七分 乾姜二两 远志一两 吴茱萸

① 二：备急千金要方作“一”。

② 味：备急千金要方作“物”。

③ 三：备急千金要方作“二”。

④ 分：备急千金要方作“两”。

二分 蜀椒三分

右十味，治下筛，食后，温酒服方寸匕。

肺 虚 实

肺实热

右手寸口气口以前，脉阴实者，手太阴经也。病苦肺胀，汗出若露，上气喘逆，咽中塞，如欲呕状，名曰肺实热也。

治肺实热，胸凭仰息，泄气除热方：

石膏八两 白前 杏仁各三两 橘皮 白术各五两 赤蜜七合 枸杞根皮切，二升

右七味，哎咀，以水七升，煮取二升，去滓，下蜜，煮三沸，分三服。

治肺热，言音喘息短气，好唾脓血方：

生地黄切，二升 石膏八两 麻黄五两 杏仁四两 升麻 羚羊角 芒消各三两 赤蜜一升 淡竹茹鸡子大一枚

右九味，哎咀，以水七升，煮取二升，去滓，下蜜，煮两沸，分三服。

治肺热，闷不止，胸中喘急，惊悸，客热来去，欲死不堪，服药泄胸中喘气方：

桃皮 芫花各一升

右二味，哎咀，以水四斗，煮取一斗五升，去滓，以故布手巾内汁中，薄胸，温四肢，不盈，数日即歇。

橘皮汤：治肺热，气上，咳息奔喘方。

橘皮 麻黄各三两 乾紫苏 翻繁作乾蓝 柴胡各二两 宿姜 杏仁各四两 石膏八两

右七味，哎咀，以水九升，煮麻黄两沸，去沫，下诸药，煮取三升，去滓，分三服，不瘥，与两剂。

治肺热喘息，鼻衄血方：

羚羊角 玄参 射干 鸡苏 芍药 升麻 柏皮各三两 生地黄切，一升 梔子仁四两 淡竹茹鸡子大一枚

右十味，哎咀，以水九升，煮取三升，分三服。须利者，下芒消三两，更煮三沸。

治肺热，饮酒当风，风入肺，胆气妄泄，目青气喘方：

麻黄四两 甘草 五味子各三两 杏仁五十枚 母姜五两 淡竹叶切，一升

右六味，哎咀，以水七升，先煮麻黄去沫，下诸药，煮取三^①升，去滓，分三服。

泻肺散：治酒客劳倦，或出当风，喜怒气舍于肺，面目黄肿，起即头眩，咳逆上气，时忽忽欲绝，心下弦急，不能饮食，或吐脓血，胸痛引背，支满欲呕方。

五味子 百部各二两半 茯苓 附子 苁蓉 当归 石斛 远志 续断各一两 细辛 甘草各七分 防风 蜀椒 紫菀 桂心 款冬花 乾姜各一两半 桃仁六十枚 杏仁三十枚

右十九味，治下筛，以酒服方寸匕，日三，后^②稍加至二匕。

肺与大肠俱实

右手寸口气口以前，脉阴阳俱实者，手太阴与阳明经俱实也。病苦头痛，目眩，惊狂，喉痹痛，手臂捲，唇吻不收，名曰肺与大肠俱实也。

治肺与大肠俱实，令人气凭满煮散方：

茯苓 麻黄各六分 黄耆 大青 桂心各三分 细辛 杏仁各五分 石膏二两 丹参半两 五味子 甘草 贝母 橘皮 芎藭各一两 枳实三枚

右十五味，治下筛为粗散，帛裹一方寸匕半，井花水一升五合，煮取七合，为一服，日再。

肺虚冷

右手寸口气口以前，脉阴虚者，手太阴经也。病苦少气不足以息，啞乾不津液，名曰肺虚冷也。

治肺虚冷，听^③嘶伤，语言用力，战掉缓弱，虚瘠风入肺方：

防风 独活 芎藭 秦椒 乾姜 黄耆各四十二铢 天雄 麻黄 五味子 山茱萸 甘草各三十六铢 秦艽 桂心 薯蕷 杜仲 人参 细辛 防己各三十铢 甘菊花 紫菀各二十四铢

① 三：备急千金要方作“二”

② 后：备急千金要方无此字。

③ 听：备急千金要方作“声”。

贯众二枚 防^①子七分

右二十二味，治下筛，以酒服方寸匕，日二。一有石膏陆分，当归五分。

酥蜜膏酒：治肺虚寒，厉风所伤，语声嘶塞，气息喘急咳唾，止气嗽通声方。

酥 崖蜜 饴糖 生姜汁 生百部汁 枣肉 杏仁各一升，研 甘皮五具，末

右八味合和，微火煎，常搅三上三下，约一炊久，取姜汁等各减半止，温酒一升，服方寸匕，细细咽之，日二夜一。

又方：

猪脰三具 大枣百枚

右二味，以酒五升渍之，秋冬七日、春夏五日出，布绞去滓，七日服尽，二七日忌盐，羊脰亦得。治咳嗽胸胁支满，多喘上气^②。肘后方治久咳上气，二十年，诸治不瘥者。

治肺寒损伤气嗽，及涕唾鼻塞方：

枣肉二升，研作脂 杏仁一升，熬研为脂 酥 生姜汁 白糖 白蜜 生百部汁各一升

右七味合和，微火煎，常搅约一炊久，下之，细细温清酒服二合，日二。

补肺汤：治肺气不足，逆满上气，咽中闷塞短气，寒从背起，口中如含霜雪，言语失声，甚者吐血方。

五味子三两 乾姜 桂心 款冬花各二两 麦门冬一升 大枣一百枚 粳米二^③合 桑根白皮一斤

右八味，哎咀，以水一斗，先煮桑白皮五沸，下药煮取三升，分三服。

又方：

黄耆五两 甘草 钟乳 人参各二两 乾地黄 桂心 茯苓 白石英 桑白皮 厚朴 乾姜 紫菀 橘皮 当归 五味子 远志 麦门冬各三两 大枣二十枚

右十八味，哎咀，以水一斗四升，煮取四升，分五服，日三夜二。

又方：治肺气不足，咳逆上气，牵绳而坐，吐沫唾血，不能饮食方。

苏子一升 桑白皮五两 半夏六两 紫菀

人参 甘草 五味子 杏仁各二两 款冬花 射干各一两 麻黄 乾姜 桂心各三两 细辛一两半

右十四味，哎咀，以水一斗二升，煮取三升半，分五服，日三夜二。

又方：治肺气不足，咳逆短气，寒从背起，口中如含霜雪，语无音声而渴，舌本乾燥方。

五味子 苏子各一升 白石英 钟乳各三两 款冬花 竹叶 橘皮 桂心 桑白皮 茯苓 紫菀各二两 粳米二合 麦门冬四两 生姜五两 杏仁五十枚 大枣十枚

右十六味，哎咀，以水一斗三升，先煮桑白皮、粳米、大枣，米熟去滓，内诸药，煮取五升，分六服，日三。

又方：治肺气不足，心腹支满，咳嗽喘逆上气，唾脓血，胸背痛，手足烦热，惕然自惊，皮毛起，或哭或歌或怒，乾呕心烦，耳中闻风雨声，面色白方。

款冬花 桂心各二两 桑白皮一斤 生姜 五味子 钟乳各三两 粳米五合 大枣十枚 麦门冬四两

右九味哎咀，以水一斗二升，先煮粳米枣，令熟，去之，内药煎取二升，分三服，温服之。一方用白石英二两。广济用紫菀、人参各二两，名紫菀汤。

麻子汤：治肺气不足，咳唾脓血，气短不得卧方。

麻子一升 桑白皮 饴各一斤 桂心 人参各二两 阿胶 紫菀各一两 生姜三两 乾地黄四两

右九味，哎咀，以酒一斗五升，水一斗五升，合煮，取四升，分五服。

饴煎：治肺气不足，咽喉苦乾方。

作饴任多少，取乾枣一升，去核熟捣，水五升，和使相得，绞去滓，澄去上清，取

① 防：备急千金要方作“附”。

② 气：备急千金要方此下有“尤良”二字。

③ 二：备急千金要方作“一”。

浊者内饴中搅，火上煎，勿令坚，令连连服如鸡子大^①，渐渐吞之，日三夜二。

肺与大肠俱虚

右手寸口，气口以前，脉阴阳俱虚者，手太阴与阳明经俱虚也。病苦耳鸣嘈嘈，时妄见光明，情中不乐，或如恐怖，名曰肺与大肠俱虚也。

小建中汤：治肺与大肠俱不足，虚寒乏气，小腹拘急，腰痛羸瘠百病。

大枣十二枚 生姜 桂心 各三两 甘草二两 芍药六两

右五味，㕮咀，以水八升，煮取三升，去滓，内糖八两，煮三沸，分三服。肘后用黄耆、人参各二两，名黄耆建中汤。

肺劳

凡肺劳病者，补肾气以益之，肾王则感于肺矣。人逆秋气，则手太阴不收，肺气焦满，顺之则生，逆之则死，顺之则治，逆之则乱，反顺为逆，是谓关格，病则生矣。

麻黄引气汤：治肺劳实，气喘鼻张，面目苦肿方。

麻黄 杏仁 生姜 半夏 各五分 紫苏四分 白前 细辛 桂心 各三分 橘皮二分 石膏八两 竹叶切，一升

右十一味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服。

半夏汤：治肺劳虚寒，心腹冷，气逆游气，胸胁气满，从胸达背痛，忧气往来，呕逆，饮食即吐，虚乏不足方。

半夏一升 生姜一斤 桂心四两 甘草 厚朴 各二两 人参 橘皮 麦门冬 各三两

右八味，㕮咀，以水一斗，煮取四升，分四服。腹痛加当归二两。

厚朴汤：治肺劳风虚冷，痰癖水气，昼夜不得卧，头不得近枕，上气胸满，喘息气绝，此痰水盛溢方。

厚朴 麻黄 桂心 黄芩 石膏 大戟 橘皮 各二两 枳实 甘草 秦艽 杏仁 茯苓 各三两 细辛一两 半夏一升 生姜十两 大枣十五枚

右十六味，㕮咀，以水一斗三升，煮取四升，分五服。

大肠虚实

大肠实热

右手寸口气口以前，脉阳实者，手阳明经也。病苦肠满，善喘咳，面赤身热，喉咽中如核状，名曰大肠实热也。

生姜泄肠汤：治大肠实热，腹胀不通，口为生疮者方。

生姜 橘皮 青竹茹 黄芩 梔子仁 白术 各三两 桂心一两 茯苓 芒消 各二^②两 生地黄十两 大枣十四枚

右十一味^③，以水七升，煮取三升，去滓，下芒消，分二服。

大肠虚冷

右手寸口气口以前，脉阳虚者，手阳明经也。病苦胸中喘，肠鸣虚渴，唇乾目急，善惊泄白，名曰大肠虚冷也。

黄连补汤：治大肠虚冷，痢下青白，肠中雷鸣相逐方。

黄连四两 茯苓 芎藭 各三两 酸石榴皮五片 地榆五两 伏龙肝 鸡子大一枚

右六味^④，以水七升，煮取二升半，去滓，下伏龙肝末，分三服。

皮虚实

夫五脏六腑者，内应骨髓，外合皮毛肌肉，若病从外生，则皮毛肌肉关格强急；若病从内发，则骨髓^⑤疼。然阴阳表里，外皮内髓，其病源不可不详之也。皮虚者寒，皮实者热。凡皮虚实之应，主于肺大肠，其病发于皮毛，热则应脏，寒则应腑。

蒺藜蒸汤：治皮虚，主大肠病，寒气关

① 大：备急千金要方无此字。

② 二：备急千金要方作“三”。

③ 味：备急千金要方此下有“㕮咀”二字。

④ 味：备急千金要方此下有“㕮咀”二字。

⑤ 疼：备急千金要方作“痛”。

格方。

蒴藋根叶切，三升 桃叶皮枝锉，三升 菖蒲叶切，二升 细糠一斗 秫米五^①升

右五味，以水一石五斗，煮取米熟为度，大盆器贮之，于盆上作小竹床子罩盆，人身坐床中，四面周回，将席荐障风，身上以衣被盖覆，若气急时，开孔对中泄气，取通身接汗，可得两食久许，如此三日，蒸还温药足汁用之，若盆里不过热，盆下安炭火，非但治寒，但是皮肤一切劳冷，悉皆治之。

梔子煎：治皮实，主肺病热气方。

梔子仁 枳实 大青 杏仁 柴胡 芒消各二两 生地黄 淡竹叶切。各一升 生玄参五两 石膏八两

右十味^②，以水九升，煮取三升，去滓，下芒消，分为三服。

肾 虚 实

肾实热

左手尺中，神门以后，脉阴实者，足少阴经也。病苦舌燥咽肿，心烦嗌乾，胸胁时痛，喘咳汗出，小腹胀满，腰背强急，体重骨热，小便赤黄，好怒好忘，足下热疼，四肢黑，耳聋，名曰肾实热也。脉经云：肾实热者，病苦膀胱胀闭，小腹与腰脊相引痛也。

右手尺中，神门以后，脉阴实者，足少阴经也。病苦痹，身热心痛，脊肋相引痛，足逆热烦，名曰肾实热也。

泻肾汤：治肾实热，小便^③胀满，四肢正黑，耳聋，梦腰脊离解，及伏水等，气急方。

芒消 茯苓 黄芩各三两 生地黄汁 菖蒲各五两 大黄切，一升，用水密器中宿渍 磁石八两，碎如雀头 玄参 细辛各四两 甘草二两

右十味，咬咀，以水九升，煮七味，取二升半，去滓，下大黄内药汁中更煮，减二三合，去大黄，内地黄汁，微煎一两沸，下芒消，分三服。

治肾热，好怒好忘，耳听无闻，四肢满急，腰背转动强直方：

柴胡 茯神外台作茯苓 黄芩 泽泻 升麻杏仁^④ 大青 芒消各三两 淡竹叶^⑤ 地黄各切一升^⑥ 磁石四两，碎 羚羊角一两

右十二味，咬咀，以水一斗，煮取三升，去滓，下芒消，分三服。

治肾热，小便黄赤不出，出如梔子汁，或如黄蘗汁，每欲小便茎头即痛方：

榆白皮切 冬葵子各一升 车前草切，二^⑦升 滑石八两，碎 子芩 通草 瞿麦各三两 石韦四两

右八味，咬咀，以水二斗，先煮车前草，取一斗，去滓，澄清，取九升，下诸药，煮取三升五合，去滓，分四服。

肾膀胱俱实

左手尺中神门以后，脉阴阳俱实者，足少阴与太阳经俱实也。病苦脊强反折，戴眼，气上抢心，脊痛不能自反侧，名曰肾与膀胱俱实也。

右手尺中神门以后，脉阴阳俱实者，足少阴与太阳经俱实也。病苦癰疾，头重与目相引，痛厥欲走，反眼，大风多汗，名曰肾膀胱俱实也。

肾虚寒

左手尺中神门以后，脉阴虚者，足少阴经也。病苦心中闷，下重足肿，不可以按地，名曰肾虚寒也。

右手尺中神门以后脉阴虚者，足少阴经也。病苦足胫小弱，恶寒，脉代绝时不至，足寒，上重下轻，行不可按地，小腹胀满，上抢胸痛引肋下，名曰肾虚寒也。

治肾气虚寒，阴痿，腰脊痛，身重缓弱，言音混浊，阳气顿绝。

苁蓉 白术 巴戟天 麦门冬 茯苓甘草 牛膝 五味子 杜仲各八两 车前子

① 五：备急千金要方作“三”。

② 味：备急千金要方味下有“咬咀”二字。

③ 便：备急千金要方作“腹”。

④ 仁：备急千金要方此下注有“各一两”三字。

⑤ 叶：备急千金要方此下注有“切，一升”三字。

⑥ 各切一升：备急千金要方作“三两”。

⑦ 二：备急千金要方作“一”。

乾姜各五两 生乾地黄五斤

右十二味，治下筛，食后酒服方寸匕，日三。

肾膀胱俱虚

左手尺中神门以后，脉阴阳俱虚者，足少阴与太阳经俱虚也。病苦小便利，心痛背寒，时时小腹满，名曰肾膀胱俱虚也。

右手尺中神门以后，脉阴阳俱虚者，足少阴与太阳经俱虚也。病苦心痛，若下重不自收纂反出，时时苦洞泄，寒中泄，肾心俱痛，名曰肾膀胱俱虚也。

肾劳

凡肾劳病者，补肝气以益之，肝王则感于肾矣。人逆冬气，则足少阴不藏，肾气沉浊，顺之则生，逆之则死。顺之则治，逆之则乱。反顺为逆，是谓关格，病则生矣。

梔子汤：治肾劳实热，小腹胀满，小便黄赤，末有余沥，数而少，茎中痛，阴囊生疮方。

梔子仁 芍药 通草 石韦各三两 石膏五两 滑石八两 子芩四两 生地黄 榆白皮 淡竹叶切。各一升

右十味，哎咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服。

麻黄根粉：治肾劳热，阴囊生疮方。

麻黄根 石硫黄各三两 米粉五合

右三味，治下筛，安絮如常用粉法，搭疮上，粉湿更搭之。

治肾劳热，妄怒，腰脊不可俯仰屈伸，煮散方：

丹参 牛膝 葛根 杜仲 乾地黄 甘草 猪苓各二两半 茯苓 远志 子芩各一两十八铢 五加皮 石膏各三两 羚羊角 生姜 橘皮各二^①两 淡竹叶^②子大

右十六味，治下筛为粗散，以水三升，煮两方寸匕，帛裹之，时用动，取八合，为一服，日二服。

治虚劳阴阳失度，伤筋损脉，嘘吸短气，漏溢泄下，小便赤黄，阴下湿痒，腰脊如折，

颜色随落方：随一作堕。

萆薢 枣肉 生地黄 桂心 杜仲 麦门冬各一斤

右六味，哎咀，以酒一斗五升，渍三宿，出曝乾，复渍，如此候酒尽，取乾，治下筛，食后酒服方寸匕，日三。

治肾劳虚冷，乾枯，忧患内伤，久坐湿地，则损肾方：

秦艽 牛膝 芎藭 防风 桂心 独活 茯苓各四两 乾姜一作乾地黄 麦门冬 地骨皮^③ 三两三 杜仲 侧子各五两 石斛六两 丹参八两 五加皮十两 薏苡仁一两 大麻子二升

右十七味，哎咀，以酒四斗，渍七日，每服七合，日二服。

骨 虚 实

骨虚者，酸疼不安，好倦；骨实者，苦烦热。凡骨虚实之应，主于肾膀胱，若其腑藏有病，从骨生，热则应脏，寒则应腑。

虎骨酒：治骨虚酸疼，不安，好倦，主膀胱寒方。

虎骨一具，通炙取黄焦汁尽，碎如雀头大，酿米三石，曲四斗，水三石，如常酿酒法，所以加水曲者，其骨消曲而饮水，所以加之也。酒熟封头，五十日开饮之。

治骨实，苦酸疼烦热煎方：

葛根汁 生地黄汁 赤蜜各一升 麦门冬汁五合

右四味相和搅调，微火上煎三四沸，分三服。

治骨髓中疼方：

虎骨四两 芍药一斤 生乾地黄五斤

右三味哎咀，以清酒一斗，渍三宿，曝乾复入酒中，如此取酒尽为度，捣筛，酒服方寸匕，日三。

治骨髓冷痛疼方：

① 二：备急千金要方作“一”。

② 鸭：备急千金要方作“鸡”。

③ 皮：备急千金要方此下注有“各”字。

取地黄汁一石，酒二斗，相搅，重煎温服，日三，补髓。

治虚劳冷，骨节疼痛无力方：

豉二升 地黄八斤

右二味，两度^①蒸，曝乾为散，食后以酒一斤^②，进二方寸匕，日再服。亦治虚热。

又方：

天门冬为散，酒服方寸匕，日三，一百日取瘥。

膀胱虚实

膀胱实热

左手尺中神门以后，脉阳实者，足太阳经也。病苦逆满，腰中痛，不可俯仰，劳也，名曰膀胱实热也。

右手尺中神门以后，脉阳实者，足太阳经也。病苦胞转不得小便，头眩痛烦满，脊背强，名曰膀胱实热也。

治膀胱实热方：

石膏八两 梔子仁一作瓜子仁 茯苓 知母各三两 蜜五合 生地黄 淡竹叶各切一升

右七味，㕮咀，以水七升，煮取二升，去滓，下蜜煮二沸，分三服。须利，加芒消三两。

治膀胱热病不已，舌乾咽肿方：

蜜七合 升麻 大青各三两 射干 生玄参 黄柏 薔薇根白皮各四两

右七味^③，以水七升，煮取一升，去滓，下蜜，煮二沸，细细含之。

膀胱虚冷

左手尺中神门以后，脉阳虚者，足太阳经也。病苦脚中筋急，腹中痛引腰背，不可屈伸，转筋恶风偏枯，腰痛外踝后痛，名曰膀胱虚冷也。

右手尺中神门以后，脉阳虚者，足太阳经也。病苦肌肉振动，脚中筋急，耳聋忽忽

不闻，恶风飕飕作声，名曰膀胱虚冷也。

治膀胱虚冷，饥不欲饮食，面黑如炭，腰肋疼痛方：

磁石六两 黄耆 茯苓各三两 五味子 杜仲各四两 白术 白石英各五两

右七味㕮咀，以水九升，煮取三升，分三服。

治膀胱冷，咳唾则有血，喉鸣喘息方：

羊肾一具 人参 玄参 黄耆 桂心 芎蒭 甘草各三两 茯苓四两 地黄^④皮 生姜各五两 白术六两

右十一味，㕮咀，以水一斗二^⑤升，先煮羊肾，减三升，去肾，下药煮取三升，去滓，分为三服。

龙骨圆：治膀胱肾冷，坐起欲倒，目眊眊，气不足，骨痿方。

龙骨 柏子仁 乾地黄 甘草 防风各五分 禹余粮 白石英 桂心 黄耆 茯苓各七分 五味子 羌活 人参 附子各六分 山茱萸 玄参 芎蒭各四分 磁石 杜仲 乾姜各八分

右二十味为末，蜜丸如梧子大，空腹酒服三十丸，日二，加至四十丸。

治膀胱寒，小便数，漏精稠厚，如米白泔方：

赤石脂^⑥ 白石脂五分 乾地黄三分 苁蓉六分 赤雄鸡肠^⑦ 鸡臍脰两具 桑螵蛸 牡蛎 龙骨 黄连各四分

右十味，治下筛，内鸡肠及臍脰中缝塞，蒸令熟，曝乾，合捣为散，以酒和服方寸匕，日三。

① 两度：备急千金要方作“再遍”。

② 斤：备急千金要方作“升”。

③ 味：备急千金要方此下有“㕮咀”二字。

④ 黄：备急千金要方作“骨”。

⑤ 二：备急千金要方作“一”。

⑥ 脂：备急千金要方此下注有“五分”二字。

⑦ 肠：备急千金要方此下注有“两具”二字。

五藏六腑图

治肺藏病方

肺有病，鼻塞不通，不闻香臭，鼻中有息血，或生疮，皮肤搔痒，恶疮疥癣，上气咳嗽，涕唾脓血，宜服排风散：

人参八分 玄参七分 防风八分 沙参五分
天雄八分 薯药十分 丹参七分 苦参八分 秦胶七分 山茱萸五分

右捣罗为末，空腹以防风汤下三钱。

治心藏病法

心有病，口乾舌强，或是咽喉中痛，咽睡不得，口内生疮，忘前失后，梦见炉灶冶铸之类，宜服五参丸：

秦胶七分 人参七分 玄参十分 乾姜十分
沙参五分 酸枣八分 丹参七分 苦参八分

右件为末，炼蜜丸，如梧桐子大，空心以人参汤下二十丸，再服。

肝病证

肝有病，惛惛饶睡，眼膜膜，视物不明，飞蝇上下，努肉漫睛，或生晕，映冷泪下，两角赤痒，宜服升麻散：

升麻八分 梔子十分 决明子十分 苦瓠五分

车前子十分 黄芩八分 茺蔚子八分 乾姜十分
龙胆五分

右件捣筛为散，食上，暖浆水下方寸匕，日再服。

治脾藏病方

脾有病，两胁胀满，饮食不消，时时呕逆，不能下食，背膊沉重，气满冲心，四肢虚肿，宜服诃梨勒丸：

诃梨勒八分 乾地黄十分 薯蓣八分 牡丹七分
山茱萸九分 泽泻八分 茯苓八分 革拔四分
乾姜五分 川芎八分

右件捣筛为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，空心用地黄汤下二十丸。

治肾苦^①病方

肾有病，腰胯膀胱冷疼，或痹，小便余沥，疝瘕所缠，宜作八味肾气丸方：

乾地黄八分 牡丹三分 泽泻三分 山茱萸四分
茯苓三分 附子二分 桂心二分 薯蓣四分

右件捣罗为末，炼蜜丸，如桐子大，空心酒下二十丸。

① 苦：按上文体例应作“脏”。

五 脏 门_四

圣 惠 方_一

治肝虚补肝诸方

夫肝虚则生寒，寒则苦胁下坚胀，寒热，腹满，不欲饮食，悒悒情不乐，如人将捕之，视物不明，眼生黑花，口苦，头疼，关节不利，筋脉挛缩，爪甲乾枯，喜悲恐，不得大息，诊其脉沉细滑者，此是肝虚之候也。

治肝气虚寒，两胁胀满，筋脉拘急，腰膝小腹痛，面青口噤，宜服补肝柏子仁散方：

柏子仁 三分 细辛 三分 防风 三分，去芦头 茯神 三分 鳖甲 二两，涂醋炙令黄，去裙襕 犀角屑 三分 甘草 一分^①，炙微赤，锉 桔梗 半两，去芦头 独活 半两 桂心 半两 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 白术 半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝气虚寒，两胁下满，筋急，不得大息，四肢厥逆，心腹痛，宜服补肝白茯苓散方：

白茯苓 三分 防风 三分，去芦头 柏子仁 三分 细辛 三分 当归 半两，锉，微炒 槟榔 半两 白术 三分 芎藭 三分 桂心 半两 附子 半两，炮裂，去皮脐 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓢

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷油腻。

治肝脏虚寒，胸膈气滞，四肢厥逆，两胁疼痛，宜服补肝细辛散方：

细辛 三分^② 桃仁 二三分^③，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 前胡 三分，去芦头 当归 三分，锉，微炒 附子 三分，炮裂，去皮脐 桂心 三分 陈橘皮 三分，汤浸，去

白瓢，焙 人参 三分，去芦头 柏子仁 三分 芎藭 三分 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾微炒 木香 三分 白茯苓 三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏虚寒，头目昏疼，四肢不利，胸膈虚烦，宜服补肝防风散方：

防风 一两，去芦头 芎藭 三分 黄耆 一分^④，锉 五味子 三分 人参 三分，去芦头 茯神 三分 独活 三分 羚羊角屑 三分 前胡 三分，去芦头 细辛 半两 酸枣仁 半两，微炒 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风虚，胸膈不利，视物不明，心烦头眩，宜服补肝薯蓣散方：

薯蓣 三分 防风 三分，去芦头 山茱萸 半两 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 甘菊花 半两 羌活 半两 羚羊角屑 半两 人参 半两，去芦头 前胡 三分，去芦头 熟乾地黄 三分 决明子 三分 甘草 半两，炙微赤，锉 细辛 半两 芎藭 半两 龙脑 半分^⑥ 麝香 半分^⑦

右件药，捣细罗为散，研入龙脑、麝香令匀，每服不计时候，以清粥饮调下一钱。忌酒、湿面等。

① 一：太平圣惠方作“三”。

② 三：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 三：太平圣惠方作“半”。

⑤ 一：太平圣惠方作“三”。

⑥ 分：太平圣惠方作“两”。

⑦ 分：太平圣惠方作“两”。

治肝虚，头目不利，心膈多烦，筋脉急痛，宜服补肝甘菊花散方：

甘菊花三分 前胡三分，去芦头 防风三分，去芦头 决明子三分 黄耆三分，锉 沙参三分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 羚羊角屑三分 车前子三分 枸杞子三分 细辛三分 酸枣仁三分，微炒
右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以粥饮调下一钱。

治肝虚寒，面色青黄，胸胁胀满，筋脉不利，背膊痠疼，羸瘦无力，补肝柏子仁丸方：

柏子仁一两 黄耆一两，锉 白茯苓一两 楮实一两 覆盆子一两 五味子一两 附子一两，炮裂，去皮脐 石斛一两，去根 酸枣仁一两，微炒 鹿茸一两，去毛，涂酥炙令黄 桂心一两 白术一两 沉香一两 枳实一两，麸炒令黄 熟乾地黄一两

右件药，捣细罗为末，炼蜜和捣三二百杵，为丸如梧桐子大，每服三十丸，以温酒下，空心及晚食前服。忌生冷油腻。

治肝实泻肝诸方

夫肝实则生热，热则阳气盛，致心下坚满，两胁痛引小腹，忿忿如怒，气逆头眩，为血有馀，即目痛，眼毗赤，生瘕肉，阳毒所攻，悒悒先寒而后热，颈直背强，筋急不得屈伸，诊其脉浮大而数者，此是肝气实也。

治肝实热，目痛，胸满心烦，泻肝前胡散方：

前胡一两，去芦头 秦皮一两 细辛一两 梔子仁一两 黄芩一两 赤茯苓一两 蕤仁一两 决明子一两 车前子一两 羚羊角屑一两 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入淡竹叶二十七片，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝实热，梦怒惊恐，宜服泻肝防风散方：

防风三分，去芦头 犀角屑半两 赤茯苓半两^① 葳蕤半两 射干半两 人参半两，去芦头 川大黄

一两，锉碎，微炒 细辛半两 甘草半两，炙微赤，锉 黄芩半两 白鲜皮半两 沙参半两，去芦头

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨热面。

治肝实热，头疼目眩，心膈虚烦，大肠不利，宜服泻肝柴胡散方：

柴胡三两，去苗 玄参半两 甘菊花半两 地骨皮半两 羌活半两 细辛半两 川大黄一两，锉碎，微炒 石膏二两 黄芩半两 羚羊角屑半两 蔓荆子半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。忌炙煨壅毒物。

治肝气壅实，四肢烦闷，眼目赤疼，宜服泻肝黄芩散方：

黄芩三分 赤茯苓三分 甘草三分，炙微赤，锉 川大黄三分，锉碎，微炒 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 羚羊角屑三分 细辛三分 前胡半两，去芦头 决明子三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入竹叶七片，煎至六分，去滓，食后温服。忌炙煨热面等。

治肝藏实热，头目昏疼，肢节不利，项强心烦，胸中满闷，宜服泻肝升麻散方：

川升麻三分 蕤仁半两 前胡半两，去芦头 秦皮半两 川芒消一两 甘菊花半两 细辛半两 梔子仁二七^②枚 决明子三分 川大黄一两，锉碎，微炒 羚羊角屑二^③分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入淡竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝实热，心膈壅滞，虚烦，宜服泻肝散方：

甘菊花半两 决明子半两 黄芩半两 川升麻半两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 防风半两，去芦头

① 两：太平圣惠方作“分”。

② 二七：太平圣惠方作“七”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

梔子仁半两 黄连半两，去须 犀角屑半两 川大
黄半两，锉，微炒 甘草一分，炙微赤，锉 马牙消一分，
研^① 龙脑一分，研 麝香一分，研^②

右件药，捣细罗为散，入后三味，更同
研令匀，每于食后，煎麦门冬汤调下一钱。
忌炙煨热面。

治肝气不足诸方

夫肝藏虚损，气血不荣，内伤寒冷，致
使两胁胀满，筋脉拘急，四肢厥冷，心腹疼
痛，眼目昏暗，手足常青，胸中不利，不能
大息者，是肝气不足之候也。

治肝藏不足，两胁胀满，筋脉拘急，不
得喘息，四肢少力，眼目不利，宜服防风散
方：

防风三分，去芦头 细辛三分 白茯苓三分 柏
子仁三分 桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 山
茱萸三分 甘草一分，炙微赤，锉 蔓荆子半两 枳
壳半两，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，水一
中盏，入枣三枚，同煎至六分，去滓，不计
时候，温服。

治肝气不足，筋脉不遂，心膈壅滞，左
肋妨胀，不思饮食，宜服白茯苓散方：

白茯苓一两 前胡一两，去芦头 桂心半两 黄
耆^③一两，锉 白术一两 沉香一两 鳖甲一两，涂
醋炙微黄，去裙襴 生乾地黄三分 五味子三分 枳
实半两，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一
中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不
计时候，温服。忌菹菜。

治肝气不足，则伤胆，胆伤则恐惧，面
色青白，筋脉拘急，目视不明，宜服酸枣仁
散方：

酸枣仁一两，微炒 枳实二^④两，麸炒微黄 五
味子一两 白术一两 白茯苓一两 泽泻一两 芎
藭一两 麦门冬一两，去心 黄耆一两，锉 甘草半
两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一

中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝气不足，两目昏暗，热气冲上，泪
出疼痛，两胁虚胀，筋脉不利，宜服覆盆子
丸方：

覆盆子一两 细辛半两 当归半两，锉，微炒
决明子半两 芎藭半两 五味子半两 人参半两，
去芦头 白茯苓半两 羌活半两 桂心半两 柏子
仁半两 防风半两，去芦头 甘菊花半两 枸杞子半
两 车前子半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，粥饮下三十
丸。忌酒、湿面、炙煨等。

治肝藏中风诸方

夫肝中风者，是体虚之人，腠理开疎，
肝气不足，风邪所伤也。其候筋脉拘挛，手
足不收，厉风入肝，坐踞不得，胸背强直，
两胁胀满，目眩心烦，言语謇涩者，是肝中
风候也。

治肝脏中风，气壅语涩，四肢拘急，宜
服赤茯苓散方：

赤茯苓一两 黄耆一两，锉 子芩三分 酸枣
仁半两，微炒 防风半两，去芦头 羚羊角屑一两 葳
蕤三分 麻黄一两，去根节 芎藭三分 独活半两 枳
壳三分，麸炒微黄，去瓤 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一
中盏，入淡竹叶二七片，同煎至五分，去滓，
入荆沥半合，更煎一二沸，不计时候温服。
忌鸡、猪、炙煨等。

治肝中风，语涩烦躁，或四肢拘急，宜
服麦门冬散方：

麦门冬一两，去心 茯神三分 木通三分，锉 犀
角屑三分 川升麻三分 防风三分，去芦头 甘草三
分，炙微赤，锉 独活半两 玄参半两 川朴消一两半
汉防己半两

① 研：太平圣惠方作“碎”。

② 研：太平圣惠方无此字。

③ 黄耆：太平圣惠方作“黄芩”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，入荆沥半合，更煎一二沸，不计时候，温服。忌酒、热面、炙搏等。

治肝中风，语涩，筋脉舒缓，面上浮气，行李^①不稳，宜服秦艽散方：

秦艽三分，去苗 茯神三分 桑根白皮三分，锉 犀角屑三分 木通三分，锉 麦门冬三分，去心 防风三分，去芦头 羌活三分 汉防己三分 酸枣仁三分，微炒 甘草三分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝中风，致筋脉舒缓，举脚不知高下，目多冷泪，肢节无力，宜服枸杞子散方：

枸杞子一两 薯蓣一两 牛膝^②一两，去苗 天麻一两 草薢一两 茯神三分 羚羊角屑三分 芎藭三分 茵芋三分 防风三分，去芦头 生乾地黄三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝中风，四肢挛急，身体强直，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁三两 防风二两，去芦头 麻黄二两，去根节 附子一两，炮裂，去皮脐 芎藭一两 桂心一两 独活一两 柏子仁一两 石膏一两 细辛一两 羚羊角屑一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌鸡、猪、鱼、蒜等。简要济众方 薏苡仁一两 芎藭一两 石膏二两 羌活三分 柏子仁一两 酸枣仁一两，微炒 附子三分，炮裂，去皮脐 右件药七味，捣罗为散，每服二钱，水一盏，入生姜三片，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝中风，筋脉拘急，言语謇涩，头项强直，四肢不利，心膈烦壅，头目旋眩，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 防风半两，去芦头 前胡半两，去芦头 犀角屑半两 麻黄三分，去根节 人参半两，

去芦头 旋复花半两 赤芍药半两 芎藭三分 桂心三分 羌活三分 当归三分，锉，微炒 汉防己半两 赤茯苓半两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 黄芩半两 蔓荆子半两 甘菊花半两 甘草半两，炙微赤，锉 酸枣仁三分，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，入竹沥一合，更煎一二沸，不计时候温服。

治肝中风，上攻头目，旋运，心惊悸，四肢筋脉拘急，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 酸枣仁半两，微炒 防风半两，去芦头 羚羊角屑半两 人参三分，去芦头 桂心半两 羌活半两 甘菊花一分 蔓荆子半两 白鲜皮半两 茯神三分 薯蓣三分 黄芩半两 龙齿一两 芎藭半两 天麻半两 黄耆半两，锉 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝中风，筋脉拘急，肢节疼痛，起卧艰难方：

独活一两 羚羊角屑一两 麻黄一两半，去根节 桂心一两 当归一两，锉，微炒 五加皮一两 附子一两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉 荆芥半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌猪肉、毒鱼等。

治肝中风，心神烦热、言语謇涩、少得眠卧，宜服此方：

竹沥三合 荆沥二合 生姜汁半合 白蜜一合 葛根汁二合

右件药相和令匀，每温一合服，宜频服。

治肝中风，流注四肢，攻头面，烦疼^③，言语謇涩，上焦风热，口眼喎斜，脚膝疼痛无力，宜服犀角散方：

犀角屑一两 羌活三分 羚羊角屑三分 人

① 李：太平圣惠方作“履”。

② 膝：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

③ 头面烦疼：太平圣惠方作“头面疼，心神烦热”。

参半两，去芦头 甘菊花半两 独活半两 芎藭半两
白术半两 黄耆半两，锉 石膏一两 汉防己半两
防风半两，去芦头 黄芩半两 天麻半两 枳壳半两，
麸炒微黄，去瓤 蔓荆子半两 当归半两，锉，微炒 甘
草一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝中风，筋脉拘急，口眼偏斜，四肢疼痛，宜服羌活散方：

羌活三分 天麻三分 芎藭三分 酸枣仁三分，微炒 鹿角胶三分，捣碎，炒令黄燥 蔓荆子三分 羚羊角屑三分 人参三分，去芦头 白附子三分，炮裂 牛膝三分，去苗 肉桂三分，去皱皮 薏苡仁三分 乌蛇肉三分，酥拌微炒 草薢三分 犀角屑三分，白鲜皮三分 地骨皮三分 柏子仁三分 防风三分，去芦头

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以豆淋酒调下一钱。忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝藏中风，筋脉挛急，口眼喎斜，言语謇涩，神思昏愤，宜服牛黄散方：

牛黄一分，研入 龙脑一分，研入 乌犀角屑半两 天麻半两 防风半两，去芦头 麻黄三分，去根节 羚羊角屑半两 甘菊花半两 蔓荆子半两 桑螵蛸半两，微炒 桂心半两 细辛半两 侧子半两，炮裂，去皮脐 独活半两 白僵蚕半两，微炒 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炒令黄 乾蝎半两，生用 阿胶半两，捣碎，炒令黄燥 蝉壳一分，微炒 朱砂一分，研入 麝香一分，研入

右件药，捣细罗为散，次入研了药，更研令匀，每服一钱，以豆淋酒调下，不计时候服。

治肝藏中风，口眼不正，四肢抽掣，语涩昏沉，宜服龙脑丸方：

龙脑半两，研入 犀角屑半两 秦艽半两，去苗 防风半两，去芦头 麻黄一两，去根节 汉防己半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 茵芋半两 甘菊花半两 赤箭一两 独活半两 白僵蚕半两，微炒 桂心半两 芎藭半两 当归半两，锉，微炒 羚羊角屑半两 鹿

角胶半两，捣碎，炒令黄燥 乳香半两，研入 乌蛇一两半，酒浸，去皮骨，炒令黄 乾蝎半两，生用 牛黄一分，研入 朱砂一分，研入 麝香一分，研入

右件药，捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三五百杵，为丸如梧桐子大，每服十丸，以薄荷温酒下，不计时候服。

治肝藏中风，攻手足，缓弱无力，口眼喎斜，精神不定，行步艰难，宜服此赤箭丸方：

赤箭半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 犀角屑半两 天南星半两，炮裂 白花蛇肉半两，酥拌微炒 独活半两 防风半两，去芦头 芎藭半两 白附子半两，炮裂 川升麻半两 白术半两 白僵蚕半两，微炒 桑螵蛸半两，微炒 当归半两，锉，微炒 细辛半两 酸枣仁半两，微炒 草薢半两 牛黄一分，研 朱砂一分，细研 麝香一分，研 龙脑一分，研

右件药，捣罗为末，研入牛黄等令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以豆淋酒下二十丸。忌湿面、猪肉、羊血、毒鱼等。

治肝中风，筋脉拘急，舌强语涩方：

羚羊角屑一两 独活一两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣筛为散，每服三钱，水一中盏，入生姜半分，同煎至五^①分，去滓，入竹沥一合，更煎一二沸，温服。

治肝风筋脉拘挛诸方

夫足厥阴肝之经，肝主于^②诸筋，其气虚弱则风邪外侵，搏于筋脉流入经络，则关机不利，故令筋脉拘挛也。

治肝风，筋脉拘挛，四肢烦疼，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 川升麻三分 梔子仁半两 防风三分，去芦头 酸枣仁三分，微炒 羌活三^③分 桑根白皮三分，锉 甘草半两，炙微赤，锉

① 五：太平圣惠方作“六”。

② 于：太平圣惠方无此字。

③ 三：太平圣惠方作“一”。

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌热面、猪鱼^①、大蒜等。

治肝风，筋脉拘挛，四肢疼痛，心神烦不得睡，酸枣仁散方：

酸枣仁二两，微妙 羌活三分 防风三分，去芦头 桑根白皮半两，锉 芎藭半两，枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 羚羊角屑三分 甘菊花半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝风，筋脉拘挛，目暗，四肢无力，疼痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑半两 石南三分 羌活半两 防风半两，去芦头 丹参半两 黄耆半两，锉 茯神三分 沙参半两，去芦头 白术半两 芎藭半两 麻黄三分，去根节 天雄三分，炮裂，去皮脐 赤芍药半两 当归半两，锉，微妙 漏芦半两 茵芋三分 酸枣仁三分，微妙 虎胥骨一两，涂酥炙令黄 桂心三分 人参半两，去芦头 白疾藜三分，微妙，去刺 五加皮半两 赤箭三分 细辛半两 地骨皮半两 蔓荆子半两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，温酒调下一钱。忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝风湿痹，四肢拘挛急痛，心胸气壅^②，喘促，宜服汉防己散方：

汉防己一两 芎藭一两 桂心一两 麻黄一两，去节根 附子一两，炮裂，去皮脐 赤茯苓一两 桑根白皮一两，锉 赤芍药一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝风，四肢拘挛急痛，不可转侧，宜服葶藶散方：

葶藶一两 人参一两，去芦头 细辛一两 牛膝一两，去苗 酸枣仁一两，微妙 附子一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑一两 独活一两 赤芍药一两 黄芩一两 茵芋一两 麻黄一两，去根节 葛根一两，锉 汉防己一两 桂心一两 赤茯苓一两 甘草一两，

炙微赤，锉 芎藭一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一二沸，不计时候，温服。忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝风，手足拘挛，百骨节疼痛，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根节 独活三分 细辛三分 五加皮三分 黄耆三分，锉 葶藶三分，锉 芎藭三分 牛膝三分，去苗

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌热面炙煨等。

治肝风，筋脉拘挛，四肢疼痛，心膈痰壅，不欲饮食，宜服防风散^③方：

防风三分，去芦头 麻黄三分，去根节 半夏半两，汤洗七遍，去滑 白术半两 赤茯苓一两 芎藭半两 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 麦门冬一两，去心 薏苡仁一两 人参半两，去芦头 牛膝一两，去苗 羚羊角屑一两 犀角屑半两^④ 当归半两，锉，微妙 川大黄半两，锉碎，微妙 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风，拘挛不可屈伸，薏苡仁浸酒方：

薏苡仁半斤 牛膝五两，去苗 赤芍药三兩 酸枣仁三兩，微妙 乾姜三兩，炮裂 附子三兩，炮裂，去皮脐 柏子仁三兩 石斛三兩，去根 甘草三兩，炙微赤

右件药，细锉和匀，以生绢袋盛，用酒二斗浸七宿，每服不计时候，暖一小盏服，其酒旋添，味薄即止，忌猪肉、毒鱼等。

① 鱼：太平圣惠方作“肉”

② 气壅：太平圣惠方作“壅气”

③ 防风散：太平圣惠方本方中无“薏苡仁、人参、牛膝、羚羊角屑”四味。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 半：太平圣惠方作“一”。

治肝藏风，筋脉拘挛，不可屈伸，茵芋浸酒方：

茵芋 二两 白及 二两 薏苡仁 二两 赤芍药 二两 桂心 二两 牛膝 二两，去苗 酸枣仁 二两，微炒 乾姜 一两，炮裂 附子 二两，炮裂，去皮脐 甘草 一两，炙微赤

右件药，细锉和匀，以生绢袋盛，酒二斗，浸七宿，每服不计时候，温一小盏服。

治肝风筋脉拘挛，骨节疼痛，腑脏久虚乏弱，宜服酸枣仁煎方：

酸枣仁 一两，一半生用，一半炒熟用 败龟 二两，涂酥炙令黄 琥珀 三分，细研如粉 海桐皮 一两，锉 仙灵脾 一两 ○解 一两，锉 当归 一两，锉，微炒 羌活 一两 石斛 一两，去根¹，锉 牛膝 一两，去苗 巴戟 一两 木香 一两 丹参 一两 独活 一两 芎藭 一两 杜仲 一两，去粗皮，炙令微黄，锉 熟乾地黄 一两 虎胫骨 二两，涂酥炙令黄 附子 二两，炮裂，去皮脐 蜜 三升 酥 二两 桃嫩枝 一握，锉 柳嫩枝 一握，锉 桑嫩枝 一握，锉

右件药，捣细罗为散，用清酒五升，于银锅内，先煎桃柳桑枝，令黄色后去滓，下药末，更煎二三十沸，下蜜酥，慢火煎成膏，用瓷器内盛，每服不计时候，温酒调下一茶匙。

治肝风，筋脉拘挛，脚膝疼痛，心神虚烦，宜服天麻丸方：

天麻 二两 肉桂 三分，去皱皮 白僵蚕 半两，微炒 白附子 三分，炮裂 朱砂 三分，细研，水飞过 麝香 一分²，研 犀角屑 三分 蔓荆子 一两 独活 一两 乾姜 一分，炮裂，锉 附子 一两，炮裂，去皮脐 茯神 一两

右件药捣罗为末，研入朱砂、麝香等，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，温酒下十丸。忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝风，筋脉拘挛，不得屈伸，恍惚，或多喜忘，有时恐怖，宜服防风丸方：

防风 半两，去芦头 犀角屑 三分 茯神 一两 远志 半两，去心 人参 三分，去芦头 白僵蚕 三分，微炒 白附子 半两，炮裂 芎藭 半两 朱砂 三分，别研，水飞过 羌活 半两 桂心 三分 当归 半两，锉，微炒 麦

门冬 半两，去心，焙

右件药，捣罗为末，入研了朱砂令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，温酒下二十丸。忌猪肉、毒鱼等。

治肝风，筋脉拘挛，骨髓疼痛，宜服白芥子丸方：

白芥子 一两 防风 三分，去芦头 安息香 一两 沉香 半两 补骨脂 一两，微³炒 槟榔 半两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，温酒下二十丸。

治肝风，筋脉拘挛急痛，举体不仁，宜服乌犀角丸方：

乌犀角屑 半两 羚羊角屑 半两 天麻 三分 防风 半两，去芦头 人参 一分，去芦头 细辛 半两 蔓荆子 半两 肉桂 半两，去皱皮 白芷 一分 酸枣仁 半两，微炒 独活 半两 乾姜 一分，炮裂，锉 附子 半两，炮裂，去脐 赤芍药 半两 藁本 半两 赤茯苓 三分 麻黄 半两，去根节 当归 半两，锉，微炒 芎藭 半两 乌蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙微黄

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，温酒下二十丸。忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝风，筋脉挛急疼痛，益血长肌肉，除瘦弱，悦颜色，桃仁朱砂煎酒方：

桃仁 二升，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，细研 朱砂 二两，细研

右件药，以无灰好清酒三斗，取瓷瓶三只盛酒，逐斗分桃仁、朱砂入瓶内，封头，一依煮酒法度，不计时候，温饮一小盏。忌羊血。

治肝风筋脉抽掣疼痛诸方

夫肝含于血，而主于筋，肝血既虚，不能荣养，致风邪所侵，搏于筋脉，荣卫虚弱，气血不行，故令筋脉抽掣疼痛也。

1 根：太平圣惠方此下有“节”字。

2 分：太平圣惠方此下有“半”字。

3 微：太平圣惠方无此字。

治肝藏风毒流注，筋脉抽掣，急痛，头目眩闷，四肢无力，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁一两 羌活一两 防风一两，去芦头 汉防己一两 桑根白皮一两，锉 桂心一两 天麻一两 赤茯苓一两 芎藭一两 酸枣仁一两，微炒 当归一两，锉，微炒 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷、猪、鸡肉、毒鱼、湿面。

治肝藏风，筋脉抽掣，口眼偏斜，四肢疼痛，宜服羌活散方：

羌活三分 白术三分 麻黄三分，去根节 侧子三分，炮裂，去皮脐 丹参三分 当归三分，锉，微炒 赤茯苓半两 草薢半两，锉 桂心半两 羚羊角屑三分 防风三分，去芦头

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风，上焦虚热，胁下坚满，关节疼痛，筋脉抽掣，宜服柏子仁散方：

柏子仁一两 羌活一两 枳实一两，麸炒微黄 前胡一两，去芦头 赤茯苓一两 甘草半两，炙微赤，锉 五加皮一两 赤芍药一两 细辛一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 桂心一两 防风一两，去芦头

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风，筋脉抽掣，背膊疼痛，宜服芎藭散方：

芎藭三分 麻黄三分，去根节 丹参三分 酸枣仁一两，微炒 侧子三分，炮裂，去皮脐 茯神三分 防风三分，去芦头 甘菊花二分 甘草三分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌猪肉、毒鱼、大蒜等。

治肝藏风，心神烦，四肢拘急，筋脉抽掣疼痛，宜服麻黄散方：

麻黄二两，去根节 石膏二两 芎藭一两 天雄^②一两，炮裂，去皮脐 当归一两，锉，微炒 甘草一两，炙微赤，锉 赤芍药一两 桂心一两 牛膝一两，去苗 防风一两，去芦头 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 羚羊角屑一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风，筋脉拘急，抽掣疼痛，不得睡卧，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 防风一两，去芦头 赤茯苓一两 白敛一两 独活一两 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心一两 麻黄一两，去根节 酸枣仁三分，微炒

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，温酒调下一钱。

治肝藏风，四肢筋脉抽掣疼痛，不欲^③食，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁三分，微炒 薏苡仁三分 人参三分，去芦头 黄芩半两 五加皮三分 茯神三分 桂心三分 羌活三分 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，温酒调下一钱。

治肝藏风，筋脉抽掣，疼痛不止，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 赤箭一两 酸枣仁一两，微炒 海桐皮一两 芎藭三分 漏芦三分 桂心三分 五加皮三分 仙灵脾三分 牛膝三分，去苗 木香三分 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣细罗为散，每服一钱，以温酒调下，不计时候服。

治肝藏风，筋脉抽掣疼痛，身强语涩，肢节不利，天麻丸方：

天麻二两 芎藭一两 天南星三分，炮裂 附子三分，炮裂，去皮脐 乌蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 桑螵蛸三分，微炒 槐胶一两 桃胶一两 酸枣仁一两，微炒 麝香一分，细研 当归半两，锉，微炒 乾蝎半两，

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 雄：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

③ 欲：太平圣惠方此下有“饮”字。

微炒 独活 一两 荆子 一两 朱砂 半两，细研

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以薄荷热酒下十丸。

治肝壅热头目不利诸方

夫头者，诸阳之会也。眼者，肝之窍也。藏腑壅滞，阴阳不和，风热搏于诸阳之经，攻于肝藏，则上冲于目，而入于脑，则头目不利也。

治肝藏壅热上攻，头目不利，心烦口乾，宜服石膏散方：

石膏 二两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 黄芩 一两 麦门冬 一两，去心 前胡 一两，去芦头 神巧万全方柴胡 甘菊花 一两 地骨皮 一两 羚羊角屑 一两 甘草 一两，炙微赤，锉 万全方加龙胆草 一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后温服。忌炙煨等。

治肝藏壅热，头目不利，胸膈烦躁，体痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一两 柴胡 一两，去苗 石膏 二两 赤芍药 一两 车前子 一两 川大黄 一两，锉碎，微炒 甘草 一两，炙微赤，锉 黄芩 一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后，温服。

治肝藏壅热，心胸烦躁，头目不利，多渴体热，宜服前胡丸方：

前胡 三分，去芦头 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 黄芩 三分 沙参 三分，去芦头 犀角屑 三分 蔓荆子 三分 梔子仁 三分 栝蒌根 一两 车前子 三分 麦门冬 一两，去心，焙 川升麻 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每于食后，温浆水下二十丸。

治肝藏壅热，心膈烦闷，头目不利，宜服大黄丸方：

川大黄 一两，锉碎，微炒 枳壳 一两，麸炒微黄，去

瓢 甘草 半两，炙微赤，锉 麦门冬 三分，去心，焙 羚羊角屑 三分 川升麻 三分 生乾地黄 三分 犀角屑 三分

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣百杵，丸如梧桐子大，每于食后，煎竹叶汤下二十丸。忌酒、热面等。

治肝藏壅热，心膈烦躁恍惚，头目不利，宜服升麻丸方：

川升麻 一两 羚羊角屑 一两 茯神 一两 柴胡 一两，去苗 梔子仁 一两 黄连 半两，去须 麦门冬 一两，去心，焙 牛黄 一分，细研如粉 龙脑 钱，细研如粉 甘草 半两，炙微赤，锉 朱砂 一两，细研，水飞过

右件药，捣罗为末，入牛黄等同研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食后，煎竹叶汤下十五丸。忌猪肉、羊血。

治肝气逆面青多怒诸方

夫肝属木，其色青，肝含血，其主怒。邪热伤于肝，伏留不除，则肝气壅实，实则气逆，故令面青多怒也。

治肝气逆，四肢沉重，面色青，不欲见人，多嗔怒，宜服龙骨散方：

龙骨 一两 赤茯苓 一两 紫苑 一两，洗去苗土 人参 一两，去芦头 羚羊角屑 一两 慈苳仁 一两 麦门冬 一两，去心

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝气逆，心烦，面青，多怒，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一分 五味子 三分 葳蕤 三分 茯神 三分 远志 三分，去心 龙骨 一两 沙参 一分，去芦头 酸枣仁 三分，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服

治肝藏气逆，面色青，多饶恐怒，胸膈

烦满¹，心神不安，宜服沙参散方：

沙参三分，去芦头 甘菊花三分 酸枣仁²三分
枳实三分，麸炒微黄 桔梗三分，去芦头 茯神三分
桑根白皮三分，锉 葳蕤三分 羚羊角屑³三分
大腹皮三分，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肝藏风毒流注脚膝筋脉疼痛诸方

夫肝主于筋，而藏于血，藏腑和平，荣卫调适，表里充实，则邪不能侵也。若肝气久虚，肾藏衰冷，则风邪乘虚，乃攻搏于筋脉，流注脚膝，故令疼痛也。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉拘急，疼痛不可忍，宜服海桐皮散方：

海桐皮一两，锉 附子半两，炮裂，去皮脐 赤箭半两 桂心半两 牛膝半两，去苗 防风半两，去芦头 石斛半两，去根⁴，锉 独活半两 当归三分，锉，微炒 仙灵脾半⁵两 酸枣仁半两，微炒 羚羊角屑半两 芎藭半两 木香半两 五加皮半两 赤芍药半两 细辛半两 槟榔一两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水、酒各半中盏，煎至六分，去滓，每于食前温服。忌猪肉、毒鱼、酒、蒜等。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉拘急疼痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑半两 槟榔半两 木香半两 海桐皮半两 酸枣仁半两 防风半两，去芦头 当归半两，锉，微炒⁶ 独活半两 薏苡仁半两 犀角屑半两 漏芦半两 赤芍药半两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏⁷，入生姜半分，同煎至六分，去滓，每于食前温服。忌炙煨、鸡、猪等。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉拘急疼痛，大便秘涩，心胸壅闷，宜服疎风调气利四肢

槟榔散方：

槟榔一两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 防风三分 去芦头 川大黄一两，锉碎，微炒 羌活三分 当归三分，锉，微炒 肉桂半两，去皱皮 赤芍药三分 大麻仁一两 芎藭三分 木香三分 郁李仁一两，汤浸，去皮尖，微炒 赤茯苓一两 木通三分，锉 羚羊角屑三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，每于食前温服。

治肝藏风毒，流注脚膝疼痛，心神烦闷，筋脉拘急，宜服五加皮散方：

五加皮一两 羌活一两 芎藭一两 黄芩一两 防风一两，去芦头 酸枣仁一两，微炒 羚羊角屑一两 当归一两，锉，微炒 葳蕤一两 赤茯苓一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，每于食前温服。忌炙煨⁸毒物等。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉拘急疼痛，行李⁹不得，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁一两 羌活一两 五加皮一两 海桐皮一两，锉 当归一两，锉，微炒 虎胥骨一两，涂酥炙令黄 芎藭一两 附子一两，炮裂，去皮脐 赤芍药一两 牛膝一两，去苗 桂心一两 酸枣仁一两，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，每于食前温服。

治肝藏风，流注腰脚¹⁰疼痛，筋脉不利，行立无力，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁一两半，微炒 独活半两 牛膝一两，去苗 草薢半两 桂心一两 仙灵脾一两 山茱萸

1 满：太平圣惠方作“滞”

2 二：太平圣惠方作“三”

3 二：太平圣惠方作“三”

4 根：太平圣惠方此下有“节”字。

5 半：太平圣惠方作“五”

6 微炒：太平圣惠方无此二字。

7 盛：太平圣惠方作“盏”。

8 壅：太平圣惠方作“鱼”

9 李：太平圣惠方作“履”

10 腰脚：太平圣惠方作“脚膝”

半两 芍药 半两 赤箭 一两 甘菊花 半两 海桐皮 半两 虎胥骨 一两，涂醋¹炙令黄 羚羊角屑 半两 骨碎补 半两 侧子 一两，炮裂，去皮脐 桑寄生 半两 木香 半两 麝香 分²，研入

右件药，捣细罗为散，研入麝香令匀，每服二钱，以温酒调下，食前服。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉疼痛，及四肢缓弱无力，宜服豆淋酒煎侧子丸方：

黑豆 一升，炒令熟，入酒五升，煎至十沸，滤去滓，煎令稠 侧子 三分，炮裂，去皮脐 石南 半两 牛膝 半两，去苗 防风 半两，去芦头 石斛 半两，去根，锉 肉桂 半两，去皱皮 草薢 半两，锉 麻黄 半两，去根节 羌活 半两 海桐皮 半两，锉 赤茯苓 半两 茵芋 半两 独活 半两 大麻 半两 当归 半两，锉，微炒 乌蛇 一两，酒浸去皮骨，炙令微黄

右件药，捣细罗为散，以黑豆煎，和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每于食前温酒下三十丸，忌猪肉、毒鱼等。

治肝藏风毒，流注脚膝，筋脉挛急疼痛，宜用野葛膏摩之方：

野葛 二两，锉 蛇衔 二两 犀角屑 二两 川乌头 二两，去皮脐 桔梗 二两，去芦头 茵芋 二两 防风 二两，去芦头 川椒 二两，去目 乾姜 二两 巴豆 三十枚，去壳 川升麻 二两 细辛 二两 当归 二两 附子 二两，去皮脐 羌活 二两 川大黄 二两 雄黄 二两，研如粉

右件药，细锉，以酒五升，渍药一宿，以不中水猪膏五斤，以前药同于铛中，炭火上煎之，令药色变黄，又勿令焦黑，膏成，绞去滓，下雄黄，候冷，入瓷器中盛之，旋取摩病处，令极热，密室避风，日三度摩之效。

治肝风冷转筋诸方

夫转筋者，由肝藏气虚，风冷搏于筋故也。手足之三阴三阳之筋，皆起于手足指，而并络于身，若血气不足，阴阳虚者，风冷邪气中于筋，随所中之处，筋则转动，故谓之转筋也。

治肝虚风冷所搏，转筋不止，宜服附子

散方：

附子 一两，炮裂，去皮脐 沉香 一两 桂心 一两 木瓜 一两半 高良姜 一两半，锉⁸

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，热服。忌鸡、猪、毒鱼、大蒜等。

治肝风冷，两脚转筋，挛急疼痛，宜服鸡舌香散方：

鸡舌香 一两 白豆蔻 半两，去皮 木香 半两 木瓜 一两 吴茱萸 一分，汤浸七遍，焙乾，微⁹炒 青橘皮 半两，汤浸，去白瓤

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，热服。

治肝藏风冷，转筋不止，宜服桂心散方：

桂心 一两 草豆蔻 一两，去皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 丁香 半两 槟榔 半两 木瓜 一两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，热服。忌猪肉、毒鱼等。

治肝虚转筋入腹，闷绝体冷，宜服此方：

鸡粪 一合，微炒 肉豆蔻 一分，去壳 胡椒 一钱 桂心 半两 木瓜 三分

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，热服。

治肝藏¹¹风冷转筋，四肢厥冷，宜服白豆蔻散方：

白豆蔻 一两，去皮 高良姜 一两，锉 青橘皮 三分，汤浸，去白瓤，焙 木瓜 一两 沉香 一两 当归 三分，锉，微炒 甘草 半两，炙微赤，锉 桂心 一分

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一

① 醋。太平圣惠方作“酥”

② 分。太平圣惠方此下有一“细”字

③ 二。太平圣惠方作“一”

④ 半。太平圣惠方作“一”

⑤ 二。太平圣惠方作“一”

⑥ 二。太平圣惠方作“一”

⑦ 二。太平圣惠方作“一”

⑧ 半锉。太平圣惠方无此二字

⑨ 微。太平圣惠方无此字

⑩ 肉。太平圣惠方作“白”

⑪ 藏。太平圣惠方无此字

中盞¹，煎至六分，去滓，不计时候，热服。
忌鸡、猪、鱼、蒜等。

治肝风冷，转筋入腹，手足逆冷，宜服木瓜丸方：

木瓜五颗，大者 附子一两，炮裂，去皮脐 熟艾半两，锉，微炒 神巧万全方用补骨脂半两 木香半两 桂心一两 诃黎勒皮一两，煨 人参半两，去芦头 肉豆蔻半两，去壳 厚朴半两，去粗皮，涂生姜汁炙 白术一两 高良姜半两，锉 盐二两，湿纸裹，烧令通赤 万全方青盐

右件药，捣罗为末，切木瓜头，去却瓢，内诸药末，却以截下木瓜盖，却以竹丁签定，于甑中蒸令烂熟，木臼中入软蒸饼相和捣，可丸即丸，如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸。

治肝虚冷，转筋不止，宜用高良姜汤淋蘸方：

高良姜三两 木瓜二枚 杉木节五两 川椒一两，去目 蒴藋五两 蓼叶五两

右件药细锉，以水一斗五升，煎至八升，去滓，入醋半升，搅令匀，及热，内于杉木桶中，淋蘸两脚，兼以绵搥药汁，裹转筋处，立止。

治肝风虚，转筋入腹方：

右以鸡粪白，乾者，为末，每服一钱，以热酒调下。

治偏体转筋入腹，不可奈何者方：

右用热汤三斗，入盐半斤²，稍热渍之极效。

治肝虚转筋方：

赤蓼茎叶切，三合

右以水一大盞，酒三合，煎至四合，去滓，不计时候，分温二服。

治胆虚冷诸方

夫胆合于肝，足少阳是其经也，为清净之府，谋虑出焉。若虚则生寒，寒则恐惧，不能独卧，其气上溢，头眩口苦，常喜大息，多呕宿水，心下澹澹，如人将捕之，咽中介介，数数好唾，是为胆虚冷之候也。

治胆虚冷，目眩头疼，心神恐惧，不能独处，胸中满闷，宜服茯神散方：

茯神一两 远志三分，去心 防风三分，去芦头 细辛三分 白术三分 前胡三分，去芦头 人参一两，去芦头 熟乾地黄一两 桂心三分 甘菊花三分 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治胆虚冷，精神不守，头目昏眩，恒多恐惧，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁一两，微炒 羌活一两 柏子仁三分 白芍药半两 茯神三分 熟乾地黄三分 甘菊花两 防风三分，去芦头 当归半两，锉，微炒 人参三分，去芦头 黄耆一两，锉 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盞，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷、猪、鱼等。

治胆虚冷，恒多恐惧，不能独卧，心下澹澹，如人将捕，头目不利，胸中满闷，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 五味子三分 桂心三分 柏子仁一两 山茱萸三分 甘菊花三分 茯神三分 神巧万全方茯苓 枸杞子三分 熟乾地黄一两

右件药，捣细罗为散，每服一钱，以温酒调下，不计时候服。

治胆虚冷，精神不守，喜多恐惧，目暗头昏，四肢不利，宜服薯蓣丸方：

薯蓣一两 白茯苓三分 决明子三分 兔丝子一两，酒浸三日，焙乾，别捣为末 天雄一两，炮裂，去皮脐 防风三分³，去芦头 柏子仁三分 熟乾地黄一两 山茱萸三分 人参一两，去芦头 黄耆三分，锉 远志三分，去心 桂心三分 酸枣仁三分，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服三十丸，以温酒下，空

¹ 盞：太平圣惠方此下有“入生姜半分”五字。

² 斤：太平圣惠方作“升”

³ 二：太平圣惠方作“三”

心及晚，食前服。

治胆虚冷，神思昏沉，头旋目暗，宜服决明丸方：

决明子一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 柏子仁一两 兔丝子一两，酒浸三日，焙乾，别捣为末 熟乾地黄一两 枸杞子一两

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服三十丸，以温酒下，空心及晚食前服。

治胆实热诸方

夫胆是肝之腑，若肝气有馀则^①胆实，实则生热，热则精神惊而^②不安，起卧不定，胸中冒闷，身体习习，眉头倾萎，口吐苦汁，心烦咽乾，此是胆实热之候。

治胆实热，胸中冒闷，精神不守^③，泻热麦门冬散方：

麦门冬半两，去心 地骨皮半两 黄芩半两 茯神半两 川大黄半两，铤，微炒 川升麻半两 甘草半两，炙微赤，铤 羚羊角屑半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入竹茹一分，煎至六分，去滓，每于食后温服。忌炙^④、煨^⑤物。

治胆实热，精神不守，宜服梔子散方：

梔子仁二十一枚 川升麻三分 黄芩三分 大青三分 茯神三分 甘草半两，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入豉五十粒，煎至六分，去滓，入蜜半合，更煎三二沸，每于食后温服。忌热面、炙^⑥、煨^⑦等。

治胆实热，心神惊悸，小便不利，宜服人参散方：

人参半两，去芦头 甘草半两，炙微赤，铤 葵子半两 黄芩三分 赤茯苓三分 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治胆实，久有伏热，精神惊悸不安，宜

服甘菊花散方：

甘菊花一两 牛黄半两，细研如粉 犀角屑三分 铁粉半两 麦门冬半两，去心，焙 黄连三分，去须 铅霜半两 人参一两，去芦头 甘草一分，炙微赤，铤

右件药，捣细罗为散，入牛黄，更同研令匀，每于食后，以竹沥调下一钱，或金银煎汤调下亦得。

治胆实热，精神不安，起卧不定，口中多苦，宜服胡黄连丸方：

胡黄连一两 青羊角屑半两 熊胆一分 蛇黄半两，捣碎，细研如粉 青黛一分，别研

右件药，捣罗为末，更同研令匀，用黄牛胆汁和丸。如无^⑧牛胆，即用大羊胆和丸，如绿豆大，每于食后，煎竹叶汤下七丸。忌炙^⑨、煨^⑩、壅热物。

治胆虚不得睡诸方

夫胆虚不得睡者，是五藏虚邪之气，干淫于心，心有忧患，伏气在胆，所以睡卧不安，心多惊悸，精神怯弱。盖心气忧伤，肝胆虚冷，致不得睡也。又有大病之后，腑脏尚虚，营卫未和，生于冷热，邪客于阴，阴气虚，卫气独行于阳，不入于阴，故令不得睡也。

治胆虚不得睡，神思不安^⑪，宜服茯神散方：

茯神一两 柏子仁半两 酸枣仁一两，微炒 黄耆一两，铤 人参一两，去芦头 熟乾地黄半两 远志半两，去心 五味子半两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治胆虚不得睡，宜服酸枣仁丸方：

① 则：太平圣惠方无此字。
② 而：太平圣惠方作“悸”。
③ 守：太平圣惠方此下有“宜服”二字。
④ 煨：太平圣惠方作“爆”。
⑤ 煨：太平圣惠方作“爆”。
⑥ 九：太平圣惠方此下有“黄”字。
⑦ 煨：太平圣惠方作“爆”。
⑧ 安：太平圣惠方作“宁”。

酸枣仁一两，微炒 地榆叶^①一两 简要济众方
并苗用 茯神一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣百余杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，糯米粥饮下
三十丸。 济众方二十九

治胆虚不得睡，四肢无力，宜服鳖甲丸
方：

鳖甲一两半，涂醋炙令黄，去粗膜 酸枣仁一两，微
炒 羌活一两 黄耆一两，锉 牛膝一两，去苗 人
参一两，去芦头 五味子一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，
丸如梧桐子大，不计时候，以暖酒下二十丸。
忌菹菜

治胆虚不睡，酸枣仁煎方：

酸枣仁五两，微炒，捣罗为末，取二两半，其滓不用
乳香一两，研如粉 蜜四两 牛黄一分，研 糯米二合，
炒黄杵末 朱砂半两，细研，水飞过

右件药，用酒一中盏，和蜜等一处，慢
火煎如稀汤，不计时候，以温酒调^②下一茶
匙

治胆虚睡卧不安，心多惊悸方：

人参一两，去芦头 白茯苓一两 朱砂半两，细研

右件药，捣细罗为散，入朱砂同研令匀，
每服不计时候，清粥饮调下一钱。

又方：

酸枣仁一两，炒令香熟

右件药，捣细罗为散，每服二钱，以竹
叶汤调下，不计时候服^③。

治胆热多睡诸方

夫胆热多睡者，由荣卫气涩，阴阳不和，
胸膈多痰，藏腑壅滞，致使精神昏浊，昼夜
耽眠，此皆积热不除，肝胆气实，故令多睡
也

治胆热，心胸烦壅，多睡，头目昏重，
宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 麦门冬三分，去心 川大黄半
两，锉碎，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 天门冬半两，
去心 木通三分，锉 防风半两，去芦头 前胡半两，

去芦头 半夏半两，汤洗^④七遍，去滑

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，每于
食后温服。忌羊血

治胆热，神思不爽，昏闷如醉，多睡少
起，宜服茯神散方：

茯神一两 麦门冬一两，去心 白鲜皮半两
地骨皮一两 黄芩一两 酸枣仁半两，生用 沙参
半两，去芦头 羚羊角屑半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水
一中盏，煎至六分，去滓，每于食后温服

治胆热，心神昏闷，多睡，宜服人参散方：

人参三分，去芦头 赤茯苓一两 牛黄一分，细
研如粉 羌活三分 远志三分，去心 川升麻半两
麦门冬一两，去心，焙 犀角屑半两

右件药，捣细罗为散，每于食后，薄荷
温水调下一钱。忌猪肉、湿面等。

治胆热多睡，远志丸方：

远志三分，去心 人参一两，去芦头 苦参三分，
锉 马头骨灰三分 茯神三分 菖蒲半两 朱砂半
两，细研，水飞过 铁粉半两

右件药，捣罗为末，入朱砂等令匀，炼
蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每于食后，
煎木通汤下十丸

又方：

马骨头灰一两 铁粉一两 朱砂半两，研，水飞
过 龙脑半分

右件药，同研令匀，炼蜜和为丸，如梧
桐子大，每服五丸，以竹叶温汤下，食后服。

治心虚补心诸方

夫心虚则生寒，寒则阴气盛，阴盛则血
脉虚少而多恐惧，情绪不乐，心腹暴痛，时
唾清涎，心膈胀满，好忘多惊，梦寐飞越，
精神离散，其脉浮而虚者，是其候也

治心气虚，惊悸喜忘，不思饮食，宜服

① 叶：太平圣惠方作“皮”

② 调：太平圣惠方无此字

③ 服：太平圣惠方无此字

④ 洗：太平圣惠方作“浸”

远志散方：

远志 半两，去心 菖蒲 半两 铁精 半两 桂心 三分 黄耆 一两，锉 防风 三分，去芦头 当归 三分，锉，微炒 人参 半两，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉 熟乾地黄 三分 芎藭 半两 茯神 三分 独活 半两 紫石英 一两，细研如粉 五味子 半两 麦门冬 三分，去心 半夏 半两，汤洗七遍，去滑

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心气虚，忧恐恍惚，心腹痛，胀满食少，宜服熟乾地黄散方：

熟乾地黄 三分 远志 半两，去心 菖蒲 一两 陈橘皮 三分，汤浸去白瓤，焙 芎藭 半两 桂心 半两 人参 一两，去芦头 白茯苓 一两 白芍药 半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治心气虚损，志意不定，腰脊腹胁相引痛，不能俯仰，宜服白术散方：

白术 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 当归 三分，锉，微炒 白茯苓 三分 远志 半两，去心 熟乾地黄 一两 黄芩 半两 半夏 半两，汤浸七遍，去滑 附子 三分，炮裂，去皮脐 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓤 桂心 三分 木香 半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，饴糖半分，煎至六分，去滓，食前温服。

治心气虚，苦悲恐惊悸，恍惚谬忘，心中烦闷，面目或赤或黄，羸瘦，宜服紫石英散方：

紫石英 二两，细研如粉 桂心 二两 白茯苓 一两 人参 一两，去芦头 白术 半两 黄耆 半两，锉 熟乾地黄 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 麦门冬 一两，去心

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治心气虚寒，心膈满胀，悲思忧愁，宜服白茯苓散方：

白茯苓 一两 人参 一两，去芦头 防风 半两，去

芦头 桂心 三分 远志 半两，去心 桔梗 三分，去芦头 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓤 诃梨勒 三分，煨，用皮 白术 半两 半夏 三分，汤洗七遍，去滑，微炒 甘草 一分，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心虚恐畏，腹胁暴痛，志意不乐，宜服薯蓣丸方：

薯蓣 一两半 远志 半两，去心 柏子仁 一两 茯神 一两 熟乾地黄 一两半 芎藭 一两 菖蒲 半两 人参 一两，去芦头 丹参 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 防风 一两，去芦头 沉香 一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十九。

治心实泻心诸方

夫心实则生热，热则阳气盛，阳盛则卫气不行，荣气不通，遂令热毒稽留，心神烦乱，面赤身热，口舌生疮，咽燥头疼，喜笑，恐悸，手心热，满汗出，衄血，其脉洪实相搏者，是其候也

治心实热，惊悸喜笑，心神不安，泄热安心，沙参散方：

沙参 一两，去芦头 白薇 一两 石膏 二两半 川芒消 一两 人参 三分，去芦头 茯神 一两 梔子仁 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 羚羊角屑 一两 子芩 一两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，水一中盏，煎至五分，去滓，入地黄汁一合，竹沥半合，更煎一两沸，每于食后温服。忌炙煨、热面。

治心实热，多惊梦喜，畏惧不安，宜服黄连散方：

黄连 一两，去须 石膏 二两 人参 一两，去芦头 知母 一两 麦门冬 一两，去心 梔子仁 一两 赤芍药 一两 犀角屑 一两 茯神 一两 紫苑 一两，去苗土 川芒消 二两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥半合，生地黄汁半合，更煎一两沸，每于食后温服。

治心气实热，烦闷不安，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓一两 麦门冬一两，去心 木通三分，锉 川升麻三分 葳蕤三分 甘草半两，炙微赤，锉 紫苑三分，去苗土 川大黄三分，锉碎，微炒 子芩一两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入淡竹茹一分，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心实热，或欲吐，吐而不出，烦闷，喘急，头痛，宜服石膏散方：

石膏四两 麦门冬二两，去心 甘草半两，炙微赤，锉 葛根半两，锉 地骨皮二两 梔子仁一两 赤茯苓二两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，小麦与豉各五十粒，淡竹叶二七片，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心实热，口乾烦渴，眠卧不安，宜服茯神散方：

茯神一两 木通一两，锉 黄连一两，去须 麦门冬一两，去心 川升麻一两 知母一两 子芩一两 川朴二消一两 羚羊角屑三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心藏实热，上焦壅滞，口舌生疮，恒多烦渴，宜服犀角散方：

犀角屑一两 柴胡一两，去苗 地骨皮一两 神巧万全方用地黄一两半 麦门冬一两，去心 万全方一两半 葛根一两，锉 黄连一两，去须 赤芍药一两 黄芩一两 川升麻一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心藏实热，身体烦疼，口乾多躁³，宜服大黄散方：

川大黄一两，锉碎，微炒 黄芩一两 赤芍药半两 柴胡一两，去苗 知母一两 黄连半两，去须 甘

草半两，炙微赤，锉 葳蕤半两 秦艽¹一两，去苗

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心藏实热，惊怖，痰隔不下食，宜服远志散方：

远志一两，去心 生乾地黄一两 圣济总录洗切焙 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 旋复花半两 甘草三分，炙微赤，锉 麦门冬一两半，去心 总录焙 半夏半两，汤洗七遍，去滑 总录为末，生姜汁调作饼，焙乾 赤茯苓三分 总录去黑皮

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，总录五片 煎至六分，去滓，每于食后温服。

治心气不足诸方

夫人藏腑充实，气血和平，荣卫通流，阴阳调顺，则心神安静，疾无所生也。若血脉虚损，神性劳伤，则多恐、畏、喜、怒，心烦咽痛口乾，精神恍惚，此皆心气不足之所致也。

治心气不足，或喜或悲，时时嗔怒，烦闷，或鼻衄，眼目黄赤，或独言语，不自觉知，咽喉强痛，唇口乾燥，冷汗自出，惊悸心烦面赤，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 白茯苓一两 子芩半两 桂心半两 白术半两 麦门冬一两，去心 射干半两 川升麻半两 甘草半两，炙微赤，锉 紫石英一两，细研如粉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后神巧万全方食前温服。忌炙搏⁶、热面。

治心气不足，恹恹⁷惚惚，朝羞暮甚，惊悸，心中憧憧，胸满不下食饮，阴阳气虚，脾胃不磨，不欲闻人声，宜服熟乾地黄散方：

熟乾地黄一两 当归一两，锉，微炒 龙骨一两

1 仁：太平圣惠方此下注有“三十枚”三字。

2 朴：太平圣惠方作“芒”

3 躁：太平圣惠方作“燥”

4 艽：此下注文脱字，太平圣惠方作“半”

5 半：太平圣惠方作“一”

6 搏：太平圣惠方作“爆”

7 恹恹：太平圣惠方作“恍恍”

人参一两，去芦头 甘草一两，炙微赤，锉 桔梗一两，去芦头 黄耆二两，锉 桂心一两 半夏三分，汤洗七遍，去滑 茯神一两 远志半两，去心 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 白术半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，白粳米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨¹、热面。

治心气不足，惊悸汗出，心中烦闷，短气，喜悲怒不自知，咽喉痛，口唇黑，呕吐，舌本强，水浆不通，宜服紫石英散方：

紫石英一两，细研如粉 熟乾地黄半两 人参半两，去芦头 紫苏茎叶半两 远志半两，去心 茯神半两 当归半两，锉，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 赤小豆一合，炒熟 麦门冬一两，去心

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，放温，渐渐服之。

治心气不足，多汗，心烦喜怒，独语外²梦，不自觉知，咽喉痛，时吐血，舌本强，水浆不通，宜服麦门冬散方：

麦门冬一两，去心 白茯苓一两 紫苑三分，去苗土 甘草一分，炙微赤，锉 赤小豆半两，炒熟 紫石英一两，细研如粉 桂心三分 人参一两，去芦头

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，微温渐渐服之。

治心气不足，虚悸恐惧，悲思³恍惚，心神不定，惕惕而惊，宜服紫石英散方：

紫石英一两，细研，水飞过 远志去心 赤小豆炒熟 附子炮裂，去皮脐 桂心 人参去芦头 乾姜炮裂，锉 防风去芦头 龙骨细研 菖蒲⁴ 熟乾地黄已上各半两 白茯苓一两 白术一两 黄耆一两，锉

右件药，捣细罗为散，每于食前，以温酒调下二钱。

治心气不足，惊悸多忘，宜服远志丸方：

远志一两，去心 麦门冬一两，去心，焙 赤石脂一两 熟乾地黄一两 人参一两，去芦头 茯神一两 甘草半两，炙微赤，锉 白术三分 薯蓣一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三⁵二百

杵，丸如梧桐子大，每于食后，以清粥饮下三十丸。

治心气不足，多惊悸，耳目不明，及健忘，宜服人参丸方：

人参一两，去芦头 麦门冬一两，去心，焙 茯神一两 龙齿一两 远志一两，去心 黄耆一两，锉 菖蒲一两 赤石脂一两 熟乾地黄二两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食后，以清粥饮下三十丸。

治心藏中风诸方

夫体虚之人，腠理踈泄，风邪外伤，搏于血脉，入于手少阴之经，则心神颠倒，言语謇涩，舌强口乾，面赤头痛，翕翕发热，胸背拘急，手心热盛，但多偃卧，不得倾侧，忪悸汗出，恍惚不安，此皆风邪伤于心经，致有斯候，故曰心中风也。

治心藏中风，虚寒寒颤，心惊掣悸，语声混浊，口喎，冒昧好笑，宜服麻黄散方：

麻黄一两，去根节 白术一两 防风一两，去芦头 桂心三分 川升麻三分 芎藭一两 茯神三分 远志三分，去心 人参三分，去芦头 羌活三分 当归三分，锉，微炒 汉防己半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛⁶为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入荆沥半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心藏中风，语涩昏闷，四肢沉重，精神不守，宜服此茯神散方：

茯神一两 羌活一两 蔓荆子三分 龙齿一两 人参三分，去芦头 薏苡仁三分 防风三分，去芦头 赤芍药半两 麦门冬一两，去心 远志三分，去心 犀角屑三分 麻黄一两，去根节 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一

1 捣：太平圣惠方作“爆”。

2 外：太平圣惠方作“多”。

3 思：太平圣惠方作“怒”。

4 蒲：此下注文脱字，太平圣惠方作“一两”。

5 三：太平圣惠方作“一”。

6 筛：太平圣惠方作“罗”。

中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏中风，语涩昏昧，四肢不利，翕翕发热，胸中烦悸，宜服犀角散方：

犀角屑三分 防风三分，去芦头 沙参三分，去芦头 羌活三分 甘菊花三分 麻黄三分，去根节 羚羊角屑三分 茯神三分 远志三分，去心 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 白鲜皮三分 人参三分，去芦头 柴胡三分，去芦头 麦门冬三分，去心 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏中风，言语謇涩，恍惚惊悸，神志错乱，面赤心烦，四肢不利，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 麻黄一两，去根节 独活三分 赤茯苓三分 黄耆三分，锉 黄芩三分 秦艽三分，去苗 远志一分，去心 桂^② 芎藭三分 麦门冬一两，去心 葛根三分^③ 石膏一两 赤箭三分 白鲜皮一分 人参三分，去芦头 沙参三分，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏中风，虚烦，头^⑤目眩，恍惚不定，宜服沙参散方：

沙参三分，去芦头 麦门冬半两，去心 石膏三分 防风三分，去芦头 人参三分，去芦头 独活三分 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 赤茯苓一两 芎藭三分 羚羊角屑三分 远志半^⑥两，去心 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心藏中风，冒昧不知，胸背拘急，心烦语涩，翕翕发热，时自汗出，四肢不利，宜服茯神散方：

茯神三分 独活三分 当归^⑦ 桂心三分 黄芩三分 防风^⑧ 赤芍药三分 秦艽三分，去苗 杏仁三分^⑨ 沙参三分，去芦头 羚羊角屑三分 甘草一分，炙微赤

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，煎至五分，去滓，入竹沥半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心藏中风，精神昏昧，烦热多汗，口乾面赤，惊悸头痛，宜服葳蕤散方：

葳蕤一两 薏苡仁一两 白鲜皮^⑩ 麦门冬一两，去心 茯神三分 犀角屑^⑪ 石膏一两 防风三分，去芦头 远志三分，去心 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，煎至五分，去滓，入竹沥半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心藏中风，心神恍惚，恐惧闷乱，不得睡卧，志意不定，言语错误，宜服牛黄散方：

牛黄一分，细研 犀角屑一分 朱砂半两，细研 麝香一分，细研 羚羊角屑一分 防风一分，去芦头 天麻一分 独活一分 人参一分，去芦头 茯神一分 沙参一分，去芦头 天竹黄一分，细研 铁粉半两，细研 川升麻一分 龙齿一分 麦门冬半两，去心，焙 白鲜皮一分 远志一分，去心 龙脑半分，细研 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，都研令匀，每服一钱，煎麦门冬汤调下，不计时候^⑫。

治心藏中风，惊悸，言语混浊，烦热恍

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 桂：此下脱字，太平圣惠方作“心，三分”。

③ 分：太平圣惠方此下有“挫”字。

④ 一：太平圣惠方作“三”。

⑤ 头：太平圣惠方无此字。

⑥ 半：太平圣惠方作“三”。

⑦ 归：太平圣惠方此下注有“三分割微妙”五字。

⑧ 风：太平圣惠方此下注有“三分，去芦头”五字。

⑨ 分：太平圣惠方此下有“汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄”。

⑩ 皮：太平圣惠方此下注有“三分”二字。

⑪ 屑：太平圣惠方此下注有“三分”二字。

⑫ 候：太平圣惠方此下有“服”字。

惚，心神不安，宜服防风丸方：

防风¹三分，去芦头 茯神²一两 人参³ 龙
齿⁴一两 麦门冬⁵一两，去心，焙 天麻⁶ 白鲜
皮⁷一两 犀角屑⁸一两 薏苡⁹ 小草¹⁰三分 天竹
黄¹¹三分 牛黄¹²一分⁵

右件药，捣罗为末，入研了牛黄令匀⁶，
蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计
时候，以糯米饮下二十丸。

治心藏中风，手足惊掣，心神狂乱，恍
惚烦闷，言语謇涩，宜服朱砂丸方：

朱砂¹一两，细研，水飞过 龙齿²一两 犀角屑³
一两 天麻⁴三分⁷ 人参⁸一两，去芦头 秦艽⁹三分，
去苗 川升麻¹⁰三分 羚羊角屑¹¹一两 防风¹²半两，去芦
头 茯神¹³一两 黄芩¹⁴半两 铁粉¹⁵一两半，细研 麦门
冬¹⁶一两半，去心，焙 远志¹⁷半两，去心 汉防己¹⁸三分
铅霜¹⁹三分，细研

右件药，捣罗为末，都入乳钵内，同研
令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，
每服不计时候，以粳米粥饮下二十丸。

治心藏中风，言语颠倒，神思错乱，头
面心胸烦热，或时舌强语涩，忪悸不安，宜
服犀角丸方：

犀角屑¹三分 天麻²三分 防风³三分，去芦头 远
志⁴三分，去心 羌活⁵三分 沙参⁶三分，去芦头 茯神⁷
三分 龙齿⁸一两 川升麻⁹三分 天门冬¹⁰三分，去心，焙
葳蕤¹¹三分 羚羊角屑¹²三分 铁粉¹³一两，细研 金银
薄¹⁴各五十片，细研 玄参¹⁵三分 牛黄¹⁶一分，细研 朱砂¹⁷
一两，细研，水飞过 麝香¹⁸一分，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令
匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服
不计时候，以薄荷汤下十五丸。

治心藏风邪诸方

夫心为帝王，神之所舍，诸藏之主，不
受外邪。若人动止非宜，寒暄失节，藏腑内
损，气血外伤，风邪乘虚入于心经，则令人
心神不定，性识失常，乍喜乍惊，或歌或笑，
精神离散，悲乐不恒⁹，故名风邪也。

治心藏风邪，有如鬼语，闷乱恍惚，宜

服人参散方：

人参¹三分，去芦头 犀角屑²三分 赤茯苓³三分
菖蒲⁴三分 鬼箭羽⁵三分 龙齿⁶一两

右件药，捣粗罗为散¹⁰，每服四钱，以
水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温
服

治心藏风邪，见鬼忘¹¹语，有所见闻，
心悸恍惚，宜服茯神散方。

茯神¹一两 人参²三分，去芦头 菖蒲³三分 羚
羊角屑⁴三分 赤小豆⁵四十九¹²粒，炒熟 远志⁶半两，去
心 黄连⁷半两，去须 沙参⁸半两，去芦头 甘草⁹一分，
炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水
一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏风邪，恍惚迷闷，饮食不下，宜
服柏子仁散方：

柏子仁¹一两 桂心²一两 赤芍药³一两 半夏⁴
一两，汤洗七遍，去滑 人参⁵一两，去芦头 当归⁶一两，锉
微炒 独活⁷一两 犀角屑⁸一两 远志⁹一两，去心 麦
门冬¹⁰一两，去心 麻仁¹¹一两 甘草¹²半两，炙微赤，锉，

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候，温服。

治心藏风邪，神思恍惚，悲愁忧恚，喜
怒失常，宜服杨上寄生散方：

杨上寄生¹一两 菖蒲²一两 细辛³一两 附子⁴
一两，炮裂，去皮脐 乾姜⁵一两，炮裂，锉 天雄⁶一两，炮
裂，去皮脐 桂心⁷一两 莽草⁸一两，炙 白术⁹一两 远
志¹⁰一两，去心 甘草¹¹一两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一

1) 参：太平圣惠方此下注有“三分，去芦头”五字。

2) 龙齿：太平圣惠方无此药。

3) 麻：太平圣惠方此下注有“三分”二字。

4) 苡：太平圣惠方此下有“仁三分”三字。

5) 分：太平圣惠方此下有“研入”二字。

6) 匀：太平圣惠方此下有“炼”字。

7) 三分：太平圣惠方作“一两”，此下并有“去芦头”三字。

8) 人参：太平圣惠方无此药。

9) 恒：太平圣惠方作“常”。

10) 捣粗罗为散：太平圣惠方作“捣罗为细末”。

11) 忘：太平圣惠方作“妄”。

12) 九：太平圣惠方作“五”。

中盞，煎至六分，去滓，不计时候，温^①服。

治心藏风邪，恍惚失常，言语错乱，宜服防葵散方：

防葵一两 人参一两，去芦头 贯众一两 远志一两，去心 茯神一两 犀角屑一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 桂心一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盞，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏风虚邪气，恍惚，悲泣，狂走，如有神鬼之状，身体强直，或疼痛口噤，喉痹水浆不通，面目变色，不识人者，宜服菖蒲散方：

菖蒲 秦艽 去苗 桂心 当归 锉，微炒 蔓荆子 人参 去芦头 附子 炮裂，去皮脐 黄芩 甘草 炙微赤，锉 远志 去心 防风 去芦头，已上各半两 龙骨^② 赤石脂 白茯苓 白芍药 芍药 汉防己 已上各三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盞，煎至六分，去滓，不计时候，放温，渐渐服之。

治心藏风邪，发动无常，惊悸叫唤，不避水火，宜服虎睛散方：

虎睛一对，酒浸一宿，微炙 赤茯苓一两 桂心一两 防风一两，去芦头 独活一两 人参一两，去芦头 甘草一两，炙微赤，锉 天雄一两，炮裂，去皮脐 鸱头一枚，涂酥炙黄 露蜂房二两，微炙 石长生二两 枫上寄生二两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，煎金银汤调下一钱。

治心藏风邪，神魂恍惚，心烦语涩，宜服牛黄散方：

牛黄一分，细研 龙脑一分，细研 朱砂一分，细研 雄黄一分，细研 麝香一分，细研 沙参 去芦头 独活 羚羊角屑 犀角屑 乌蛇 酒浸，去皮骨，炙令黄 蝉壳 天竹黄 细研 防风 去芦头 柏子仁 细辛 麦门冬 去心，焙 茯神 人参 去芦头，已上各一两

右件药，捣细罗为散，入研了药，都研

令匀，每服不计时候，煎金银汤调下一钱。

治心藏风邪气，神思不安，悲啼歌笑，志意不定，精神恍惚，宜服禹余粮散方：

禹余粮一两半，烧醋淬三遍 白芍药一两半 石膏一两半 牡蛎一两半，烧为粉 秦艽一两半，去苗 桂心一两 防风一两，去芦头 远志一两，去心 独活一两 甘草一两，炙微赤，锉 人参一两，去芦头 麦门冬一两，去心，焙 菖蒲一两 茯神一两 铁粉一两，细研 朱砂一两，细研如粉 雄黄一两，细研如粉 蛇蛻皮一尺，烧为灰

右件药，捣细罗为散，都研令匀，每服不计时候，以麦门冬汤调下一钱。

治心藏风邪，狂乱失志，不得安定，宜服牛黄丸方：

牛黄三分，细研如粉 铁精三分，细研如粉 金银薄各五十片，细研如粉 石膏三分 龙齿三分，细研如粉 地骨皮三分 茯神一两 川升麻三分 玄参三分 人参一两，去芦头 麦门冬一两，去心，焙 枳实半两，麸炒微黄^③ 葳蕤三分 赤芍药三分 生地黄三分 甘草半两，炙微赤，锉 黄芩三分 朱砂三分，细研如粉 虎睛一对，酒浸一宿，微炙

右件药，捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，煎地骨皮汤下十丸。

治心藏风邪，恍惚，夜卧惊恐，不得眠卧，宜服真珠丸方：

真珠一两，细研如粉 玳瑁一两 雄黄半两，细研如粉 虎睛一对，酒浸一宿，微炙 胡黄连半两 远志半两，去心 乌犀角屑半两 朱砂一两，细研，水飞过 牛黄半两，细研如粉 马牙消半两 铁粉半两，细研 龙脑一钱，细研 麝香一钱，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以^⑤温酒下十丸。

治心藏风邪，恍惚狂言，意志不定，宜

① 温：太平圣惠方无此字。

② 龙骨：太平圣惠方无此药。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 黄：太平圣惠方作“赤”。

⑤ 以：太平圣惠方无此字。

服此方：

金薄二百片 膩^①粉半两

右件药，以新小铛子中，先布金薄，重重以粉隔之，然用牛乳一小盏子，用文火煎至乳尽，金薄如泥即成，便以火上焙乾，研为末，用蒸饼和丸如小豆大，每服食后，用新汲水下五丸。

治心风狂言诸方

夫风热搏于阳经，入于血脉，血实则生热，荣气溢塞，不能通流，遂使心神烦乱也。心主于神，候于舌，神是心主，舌是心官，语言机关，皆由心出。今心既壅热，又风邪相攻，故令真性错乱，精神不守，遂则狂言也。

治心风狂言，恍惚恐惧，宜服茯神散方：

茯神 杏仁 汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 川升麻 白鲜皮 沙参 去芦头。已上各半两 龙齿一两 石膏二两 远志一两，去心 犀角屑一两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食后温服。

治心风烦躁狂言，胸膈壅滞，神思不安。宜服朱砂散方：

朱砂一两，细研如粉 牛黄一分，细研 龙脑一分，细研 麝香一分，细研 茯神一两 人参一两，去芦头 犀角屑一两 防风一两，去芦头 铅霜一分，细研 麦门冬一两，去心，焙 真珠末一两 羚羊角屑一两 子芩一两 玄参一两 天竹黄一两，细研 甘菊花一两 川升麻一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，入研了药，都研令匀，每服不计时候，煎金银汤调下一钱。

治心风热狂言，神思不定，口乾烦闷，宜服升麻散方：

川升麻半两 朱砂三分，细研如粉 犀角屑三分 茯神三分 甘草三分，炙微赤，锉 龙胆三分，去芦头 人参三分，去芦头 麦门冬三分，去心，焙 寒水石三分 天竹黄三分，细研 牛黄一分，细研

右件药，捣细罗为散，入研了药，都研

令匀，每于食后，以薄荷汤调下一钱。

治心风狂语，神思不安，如见鬼神，宜服真珠散方：

真珠一分，细研 水精一分，细研 铅霜一分，细研 人参一两，去芦头，为末 朱砂一两，细研 雄黄半两，细研 金银薄各五十片，细研 琥珀一分，细研 牛黄一分，细研

右件药，都研^②令匀，每于食后，薄荷汤调下半钱。

治心风狂言多惊，迷闷恍惚，宜服此镇心丸方：

犀角屑一两 天竹黄半两，细研 朱砂半两，细研如粉 铅霜一分，细研 牛黄一分，细研 龙齿半两 金薄五十片，研 人参一两，去芦头 茯神一两 远志半两，去心 生乾地黄半两 龙胆半两，去芦头 铁粉三分，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如小豆大，每服不计时候，煎竹叶汤下七丸。

治心风狂语错乱，似如邪疟^③，发作有时，宜服七宝镇心丸方：

玉屑一两 真珠半两，细研如粉 琥珀半两，细研如粉 金屑一两 银屑一两 雄黄半两，细研如粉 黄丹一两 朱砂一两，细研，水飞过 铁^④精一两，细研 远志一两，去心 鬼白一两，去毛 人参一两，去芦头 茯神一两 白鲜皮半两 牡丹半两 龙齿一两 防风半两，去芦头 龙胆半两，去芦头 虎睛一对，酒浸一宿，微炙 麦门冬一两，去心，焙 虎头骨一两，涂酥炙令黄 犀角屑一两 羚羊角屑半两 牛黄一分，细研 麝香一分，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下五丸。

治心藏风热，上冲头面，心系牵急，时时惊恐，狂言不定，神志不安，宜服犀角丸方：

① 膩：太平圣惠方作“铁”。

② 研：太平圣惠方无此字。

③ 疟：太平圣惠方作“魔”。

④ 铁：太平圣惠方此下有“粉”字。

犀角屑三分 防风半两，去芦头 人参半两，去芦头 川升麻半两 槟榔半两 天竹黄三分 光明砂一两，细研，水飞过 龙齿一两半，细研如粉 铁精一两，细研 露蜂房三分，微炙 金薄五十片，细研 银薄五十片，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下二十丸。

治心风恍惚诸方

夫心藏者，神之所止也。安静则神爽，烦乱则病生。是以虚损之人，血气不足，风邪所乘，入于手少阴之经，则神思不安，志意错乱，故令恍惚也。

治心风恍惚惊恐，心气不安，宜服龙齿散方：

龙齿二两，细研如粉 汉防己三分 麦门冬一分，去心 黄耆三分，锉 人参一两，去芦头 独活一两 羚羊角屑一两 甘草三分，炙微赤，锉 细辛三分 桂心三分 生乾地黄一两 远志三分，去心 白茯苓一两 杏仁四十九枚，汤浸，去皮尖双仁，麝炒微黄

右件药，捣粗罗为散，先以水一中盏，入银一两，煎至六分，去银，次入药末四钱，又煎至四分，去滓，入竹沥半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心风虚悸，恍惚多忘，惊恐，宜服沙参散方：

沙参三分，去芦头 白茯苓三分 远志半两，去心 犀角屑半两 甘草半两，炙微赤，锉 防风半两，去芦头 龙齿一两 天门冬一两，去心 生乾地黄一两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心风虚烦，神思恍惚不安，宜服黄耆散方：

黄耆一两，锉 龙骨一两 防风一两，去芦头 远志一两，去心 茯神一两 麦门冬一两，去心 牡蛎一两半，烧为粉 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一

中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服

治心风虚悸，恍惚多忘，或梦寤^①惊仄，宜服大定心散方：

人参一两，去芦头 茯神一两 熟乾地黄一两 远志一两，去心 龙齿一两 柏子仁三分 白术一两 琥珀一两 甘草半两，炙微赤，锉 白芍药一两 紫苑一两，洗去苗土 防风一两，去芦头 赤石脂一两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心风恍惚，惊恐失常，或瞋恚悲愁，情意不乐，宜服镇心丸方：

紫石英一两，细研，水飞过 朱砂一两，细研，水飞过 白石英一两，细研，水飞过 龙齿一两，细研 人参一两，去芦头 细辛一两 赤箭一两 天门冬一两，去心，焙 远志半两，去心 熟乾地黄一两 白茯苓一两 犀角屑一两 沙参一两，去芦头 菖蒲一两 防风一两，去芦头

右件药，捣罗为末，都入乳钵内，更同研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。

治心藏风虚惊悸诸方

夫心虚则多惊，胆虚则多恐，此皆气血不实，腑藏虚伤，风邪所干，入于经络，心既不足，胆气衰微，故令神思恐惧而多惊悸也。

治心藏风虚，惊悸好忘，恍惚，安定神志，白茯苓散方：

白茯苓一两 远志三分，去心 甘草三分，炙微赤，锉 桂心一两 人参一两，去芦头 白芍药一分 防风一分，去芦头 熟乾地黄一两 铁粉一两 黄耆一分，锉 麦门冬三分，去心

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，

① 二，太平圣惠方作“三”。

② 中，太平圣惠方作“大”。

③ 将，太平圣惠方作“麻”。

④ 二，太平圣惠方作“三”。

去滓，不拘时候，温服。

治心藏风虚，惊悸失常，或喜或怒，神思不安，宜服龙齿散方：

龙齿 一两 远志 半两，去心 茯神 一两 防风 半两，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉 人参 三分，去芦头 麦门冬 三分，去心 羚羊角屑 三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏风虚，四肢惊掣，心忪恐悸，或狂叫妄走，如见鬼神，状似癫痫，时时发动，宜服茯神散方：

茯神 一两 龙齿 二两 川升麻 一两 人参 三分，去芦头 白鲜皮 三分 麦门冬 一两，去心 杏仁 三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 防风 三分，去芦头 黄芩 三分 羚羊角屑 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 铁粉^①

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心藏风虚，惊悸失志，或瞋恚悲愁，志意不乐，惕惕若惊怖，宜服紫石英散方：

紫石英 一两半，细研，水飞过 防风 三分，去芦头 朱砂 一两，细研如粉 龙骨 一两 人参 三分，去芦头 细辛 三分 甘草 半两，炙微赤，锉 羚羊角屑 三分 远志 三分，去心 白鲜皮 一两 白茯苓 二两半 熟乾地黄^② 铁精^③ 一两，细研如粉 牛黄 一分，细研

右件药，捣细罗^④为散，入研了药令匀，每服不计时候，煎枣汤调下一钱。

治心藏风虚，惊悸恍惚，悲愁妄语，失志，宜服铁精丸方：

铁精 一两，细研如粉 人参 三分，去芦头 白茯苓 一分 远志 三分，去心 龙齿 一两，细研如粉 甘草 三分，炙微赤，锉 白薇 三分 朱砂 一两，细研，水飞过 独活 二两 熟乾地黄^⑤ 茯神 三分 麦门冬 三分，去心，焙 防风 三分，去芦头 赤石脂 三分 白术 三分

右件药，捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每

服不计时候，以^⑦粥饮下三十丸。

治心藏风虚，惊悸心忪，常多健忘，宜服茯神丸方：

茯神 一两 人参 一两，去芦头 麦门冬 一两，去心，焙 熟乾地黄 一两 龙齿 一两半，细研如粉 黄芩 一两 防风 三分，去芦头 黄耆 三分，锉 云母粉 一两半^⑧ 犀角屑 一两 薏苡仁 一两 柏子仁 一两

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温粥饮下二十丸。

治心藏风虚，多惊悸，喜怒不安，宜服远志丸方：

远志 三分，去心 白术 三分 龙骨 一两 牛黄 半两，细研过^⑨ 紫葳 半两 虎睛 一对，酒浸，微炙 人参 一两，去芦头 茯神 三分 防风 三分，去芦头 桂心 一两 麦门冬 三分，去心，焙 甘草 半两，炙微赤，锉 熟乾地黄 一两

右件药捣罗为末，入牛黄研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下二十丸。

治心藏风虚，心忪惊悸，或因忧虑之后，时有恍惚，心神不安，宜服人参丸方：

人参 一两 去芦头 茯神 一两半 龙齿 一两，细研如粉 白术 半两 防风 三分，去芦头 金银薄 各五片，细研 麦门冬 半两，去心，焙 甘草 半两，炙微赤，锉 熟乾地黄 一两

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以粥饮下二十丸。

治心藏风虚，多惊悸，神思昏乱，志意不定，镇心熟乾地黄丸方：

熟乾地黄 三分 前胡 半两，去芦头 柏子仁 半

① 粉：太平圣惠方此下注有“一两”二字。

② 黄：太平圣惠方此下注有“一两”二字。

③ 一：太平圣惠方作“二”。

④ 细罗：太平圣惠方作“筛”。

⑤ 一：太平圣惠方作“二”。

⑥ 黄：太平圣惠方此下注有“一两”二字。

⑦ 以：太平圣惠方无此字。

⑧ 一两半：太平圣惠方作“一两”。

⑨ 过：太平圣惠方无此字。

两 铁精一两，细研 白茯苓三分 泽泻半两 黄耆三分，锉 牛黄半两，细研 桑螵蛸五枚，微炒 独活三分 人参一两，去芦头 桂心三分 秦艽三分，去苗 芎藭半两 麦门冬三分，去心，焙 远志半两，去心 朱砂一两，细研，水飞过 阿胶三分，捣碎，炒令黄燥 紫石英半两，细研，水飞过 防风半两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十丸。

治心藏风虚，惊悸心忪，或夜间狂言，恒常忧怕，或如见鬼神，恍惚不定，宜服虎睛丸方：

虎睛一对，酒浸一宿，微炙，捣末^① 金薄五十片，细研 银薄五十片，细研 光明砂半两，细研 雄黄半两，细研 牛黄半两，细研 琥珀半两，细研 真珠半两，细研 龙齿半两，细研 麝香半两，细研 人参二两，去芦头，为末 茯神二两，末

右件药，都研如面，以煮枣肉和丸，如绿豆大，每服不计时候，以温水下七丸。

治心藏风热诸方

夫心属火，主于血，血实则生热，风邪搏于阳经，伤于血脉，荣气不行，心藏壅滞，邪热之气，稽留不散，则令心胸烦乱，语错多惊，故名风热也。

治心藏风热，心烦舌涩，口乾语错，宜服升麻散方：

川升麻半两 犀角屑半两 龙胆半两，去芦头 麦门冬三分，去心 玄参三分 黄芩三分 羌活半两 葛根半两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 防风半两，去芦头 石膏一两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，食后温服。

治心藏风热，口乾舌涩，心神烦闷，宜服牛黄散方：

牛黄半两，细研 犀角屑半两 川升麻半两 甘草三分，炙微赤，锉 玄明粉三分 铅霜半两，细研

右件药，捣细罗为散，更都研令匀，食后煎麦门冬汤，调下一钱。

治心藏风热，心神恍惚，烦躁多惊，不得眠卧，宜服龙齿散方：

龙齿半两，细研 朱砂一两，细研如粉 牛黄一分，研入 龙脑一分，细研 犀角屑一两 防风一两，去芦头 羌活一两 细辛一两 荆芥一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 天竹黄一两，细研 茯神一两 沙参一两，去芦头 天麻一两 川升麻一两 子芩一两 麦门冬一两，去心，焙 羚羊角屑一两 甘草半两，炙微赤，锉 甘菊花半两

右件药，捣细罗为散，入研了药令匀，每服食后，煎竹叶汤调下一钱。

治心藏久积风热，藏腑壅滞，口乾舌缩，神思不安，宜服此^②犀角散方：

犀角屑半两 朱砂半两，细研如粉 防风半两，去芦头 细辛半两 天竹黄半两，细研 茯神半两 龙脑一分，细研 川大黄半两，锉碎，微炒 羌活半两 子芩半两 麦门冬半两，去心，焙 赤芍药半两 白僵蚕半两，微炒 槟榔一两 羚羊角屑半两 梔子仁半两 甘草半两，炙微赤，锉 麝香一分，细研

右件药，捣细罗为散，入研了药令匀，每服不计时候，煎竹叶汤调下一钱。

治心藏风热，头痛，面赤，心烦，时多惊恐，精神错乱，宜服铁粉散方：

铁粉一两，细研 金薄五十片，细研 人参半两，去芦头 龙齿一两，细研 琥珀一两，细研如粉 犀角屑一两 赤茯苓一两 子芩一两 防风半两，去芦头 葳蕤半两 石膏一两 玄参半两 露蜂房一两，微炙 牛黄一分，细研 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，入研了药令匀，每服不计时候，以薄荷汤调下一钱。

治心藏风热，胸中烦满，神思不安，宜服牛黄丸方：

牛黄一分，细研如粉 朱砂三分，细研如粉 天竹黄一两，细研 龙脑一钱，细研 黄芩半两 白附子半两，炮裂 犀角屑半两 麦门冬三分，去心，焙 远

① 末：太平圣惠方无此字。

② 此：太平圣惠方无此字。

志三分、去心 地骨皮 半两 甘草 一分、炙微赤、锉

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥汤嚼下十丸。

治心藏风热，多惊恍惚，烦躁语涩，宜服朱砂丸方：

朱砂 一两，细研，水飞过 龙脑 一分，细研 牛黄 一分，细研 龙齿 一两，细研 天竹黄 一两，细研 金银薄 各一百片，细研 虎睛 三对，酒浸一宿，微炙 马牙消 一两 麝香 一分，细研 犀角屑 一两 人参 一两，去芦头 茯神 一两 川升麻 一两 羚羊角屑 一两 天麻 一两 麦门冬 一两，去心，焙 独活 一两 甘菊花 一两 子芩 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥汤嚼下十丸。

治心热多汗诸方

夫血脉充塞，荣卫不行，心气壅实，上焦烦热，即多汗也。心象于火，其液为汗，今阳气发泄妄行，故令汗出也。

治心气壅热，手心头面多汗，胸中烦满，宜服犀角散方：

犀角屑 三分 龙骨 三分 麦门冬 三分，去心 黄耆 三分，锉 地骨皮 三分 茯神 三分 人参 三分，去芦头 麻黄¹ 三分 远志 三分，去心 甘草 三分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入淡竹叶二七片，煎至六分，去滓，食后温服。忌炙搏²、热面。

治心实热，血脉壅滞，口乾心躁，常多汗出，宜服麦门冬散方：

麦门冬 一两，去心，焙 寒水石 一两 川升麻 半两 犀角屑 半两 生乾地黄 半两 天竹黄 半两，细研 麻黄根 半两 甘草 一分，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，不计时候，以竹叶汤调下一钱。

治心藏壅滞，或时烦热，频多汗出，宜服地骨皮丸方：

地骨皮 三分 柴胡 一两，去苗 子芩 一两 生乾地黄 一两 麻黄根 一两 麦门冬 半两，去心，焙 犀角屑 半两 知母 一两 川升麻 一两 牡蛎粉 半两 人参 一两，去芦头 赤茯苓 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，煎淡竹叶汤下三十丸。

治心藏壅热，口舌乾燥，常多汗出，宜服石膏丸方：

石膏 一两，细研，水飞过 栝楼根 一两 乌梅肉 一两 葛根 一两，锉 牡蛎粉 一两 麦门冬 一两³，去心，焙 天竹黄 一两，细研 麻黄根 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为末，入研了药令匀，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以新汲水下二十丸。

治心热汗出不止，宜服牡蛎散方：

牡蛎粉 一两 寒水石 一两 铅霜 半两，细研 朱砂 半两，细研如面 甘草 末，半分，生用 故扇灰 半分

右件药，同入乳钵，研令细，每服半钱，以新汲水调下，不计时候服。

治心胸烦热诸方

夫心气盛实，气血壅涩，阴阳不通，荣卫隔塞，上焦壅滞，故令心胸烦热也。

治心胸中久积烦热，口乾颊赤，宜服地骨皮散方：

地骨皮 一两 葳蕤 一两 玄参 一两 黄耆 一两，锉 子芩 一两 麦门冬¹ 一两，去心 川升麻 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，用水一中盏，入竹叶七片，煎至五分，去滓，入生地黄汁、蜜各半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心胸烦热，渴逆头痛，宜服羚羊角散方：

1 黄：太平圣惠方此下有“根”字。

2 搏：太平圣惠方作“烤”。

3 两：太平圣惠方此下有“半”字。

1 冬：此下注文脱字，太平圣惠方作“冬”。

羚羊角屑一两 葛根半两，锉 黄芩半两 赤芍药半两 石膏二两 麦门冬三分，去心 甘草半两，炙微赤，锉 柴胡一两，去苗 赤茯苓一两 栀子仁半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入竹叶七片，豉三十粒，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心胸烦热，眠卧不安，或大小肠不利，口舌生疮，宜服麦门冬散方：

麦门冬三分，去心 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 黄芩三分 大青半两 黄连半两，去须 川芒消一两 犀角屑半两 川升麻半两 小草半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食后温服。

治心胸烦热，头疼目涩，烦渴不止，宜服黄芩散方：

黄芩一两 赤茯苓一两 石膏二两 麦门冬一两，去心 甘草半两，炙微赤，锉 葛根半两，锉 甘菊花半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入豉二七粒，淡竹叶二七片，煎至五分，去滓，入生地黄汁一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治心胸烦热，不思饮食，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 沙参一两，去芦头 赤茯苓一两 地骨皮一两 麦门冬一两，去心 柴胡一两，去芦头 黄耆一两，锉 羚羊角屑一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治心胸烦热，口舌乾燥，心神不利，宜服真珠散方：

真珠粉一分 琥珀末一分 寒水石一分 天竹黄一分 马牙消半两 铁粉一分 朱砂一分 甘草末半两，生用 栝楼根末一分

右件药，同研令细，每服半钱，不计时候，以竹叶汤放温调下。

治心胸烦热，口乾舌涩，心神壅闷，宜

服含化玉液丸方：

寒水石一两，研 石膏一两，研如粉 葛根一两 栝楼根一两 乌梅肉半两，炒 麦门冬一两半，去心，焙 赤茯苓一两 龙脑钱，研入

右件药，捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，以薄绵裹，含化咽津。

治心胸烦热，不得安定，宜服甘露散方：

甘草半斤 不灰木半斤

右件药，须是腊月内预办修合，取雪水浸过，阴乾，又投入水中，如此三二十度后，阴令极乾，捣细罗为散，每服不计时候，以新汲水调下一钱。

治小肠虚冷诸方

夫小肠合于心，手太阳是其经也，为受盛之府，主水液下行也。若虚则生寒，寒则肠中痛，惊跳，乍来乍去，小便数，此则小肠虚冷之候也。

治小肠虚冷气²，小腹如刀刺，或绕脐结痛，冷汗出，宜服吴茱萸散方：

吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，³微炒 厚朴半两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 芍药半³两 乾姜半两，炮裂，⁴锉 甘草半两，炙微赤，锉 附子三分，炮裂，去皮脐

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治小肠虚冷，脐下急痛，小便滑数，沉香散方：

沉香一两 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 白龙骨一两 木香三分 当归三分，锉，微炒 枳实三分，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治小肠虚冷气，小腹卒¹疝¹，痛如刺，胸

1 以：太平圣惠方无此字

2 气：太平圣惠方无此字。

3 半：太平圣惠方作“三”

4 疝：太平圣惠方无此字。

胁气满，闷乱不可忍，厚朴散方：

厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 高良姜一两，锉 当归三分，锉，微炒 桂心一两 芎藭三分 白芍药三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，用水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治小肠虚冷气，小腹疼痛不可忍，附子丸方：

附子三分，炮裂，去皮脐 川乌头三分，炮裂，去皮脐 当归半两，锉，微炒 茱澄茄三分 桂心一两 赤石脂三分 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 木香三分 茴香子一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温酒下二十丸。

治小肠虚冷，小便数多，鹿茸丸方：

鹿茸二两，去毛，涂酥炙令微黄 白龙骨一两，烧过 桑螵蛸三分，微炒 附子一两半，炮裂，去皮脐 山茱萸一两 椒红一两，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以盐汤下二十丸。

治小肠实热诸方

夫小肠实则生热，热则心下急痹，口张，舌上生疮，身热来去，汗出心烦，身重，小腹胀急，小便赤涩不利，则是小肠实热之候也。

治小肠实热，热^②则心下急痹，口舌生疮，宜服郁金散方：

郁金一两 白附子三分，炮裂 羌活一两 甘草半两，炙微赤，锉 黄连一两，去须 黄芩三分 川大黄一两，锉碎^④，微炒 麦门冬一两半，去心，焙 川升麻三分

右件药，捣细罗为散，每服食后，煎麦门冬汤调下一钱。忌炙煨^⑤、热面。

治小肠实热，小便黄赤，涩结不通，宜服黄连散方：

黄连一两，去须 车前子一两 木通一两，锉 汉防己三分 瞿麦三分 犀角屑三分 猪苓三分，去皮

甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治小肠实热，头面赤，汗多出，小腹^⑥严氏^⑦ 济生方，水类铃方小便不利，圣济总录作急痛。宜服赤茯苓散方：

赤茯苓一分 济生方、总录去皮 麦门冬一分，去心 总录焙 赤芍药三分 槟榔三分 总录锉 生地黄三分 总录焙 济生方、铃方生地黄洗 木通三分，锉 济生方去节 黄芩三分 总录去黑心 甘草一分，炙微赤，锉 济生方、铃方等分

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，总录煎取八分。济生方、铃方水盏半，生姜五片，煎至八分。去滓，不计时候，温服。

治小肠实热，心烦，满口生疮，小便赤涩，宜服犀角散方：

犀角屑三分 瞿麦三分 圣济总录瞿麦穗 麦门冬一两，去心 总录焙 栀子三分 总录去皮 赤茯苓三分 总录去黑皮 木通三分，锉 黄连三分，去须 白茅根三分，锉 总录一分 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服四钱，总录三钱匕，以水一中盏，入竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治小肠实热，心胸烦闷，小便涩，少腹中急痛，宜服木通散方：

木通一两，锉 槟榔三分 羚羊角屑三分 赤芍药三分 黄芩三分^⑦ 当归三分，锉，微炒 车前子三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治小肠实热，口乾舌燥，心胸烦闷，小便不利，宜服升麻散方：

① 可：太平圣惠方无此字。普济方卷四十一引圣惠方有此字。

② 热：太平圣惠方无此字。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 碎：太平圣惠方无此字。

⑤ 煨：太平圣惠方作“爆”。

⑥ 二：太平圣惠方作“三”。

⑦ 三：太平圣惠方作“三”。

川升麻 三分 黄柏 三分，锉 杏仁 三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 犀角屑 三分 栝楼根 三分 葵子 三分 桑根白皮 三分，锉 木通^① 三分 葳蕤 三分 川大黄 三分，锉碎，微炒 甘草 半两，炙^②微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治小肠食热，心中烦闷，小便出血，宜服此方：

生地黄 一两 葱白 五茎 白茅根 一两

右件药，细切，以水一大盏半，煎至八分，去滓，食前分温二服。

治小肠实热，小腹胀满，小便赤涩，宜服海蛤丸方：

海蛤 三分 汉防己 半两 甜葶苈 半两，隔纸炒令香^③ 槟榔 半两 木通 半两，^④锉 猪苓 半两，去皮

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服，食前煎^⑤冬葵根汤下二十丸。

治脾虚补脾诸方

夫脾者，位居中央，王于四季，受水谷之精气，化气血以荣华，周养身形，灌溉藏腑者也。若虚则生寒，寒则阴气盛，阴气盛则心腹胀满，水谷不消，喜噫吞酸，食则呕吐，气逆，霍乱，腹痛肠鸣，时自泄利，四肢沉重，常多思虑，不欲闻人声，梦^⑤见饮食不足，诊其脉沉细软弱者，是脾虚之候也。

治脾虚身重如石，四肢不举，食少无力，腹胀肠鸣，神思昏闷，宜服补脾人参散方：

人参 一两，去芦头 石斛 三分，去根 黄耆 三分，锉 桔梗 三分，去芦头 圣济总录炒 白术 三分 附子 半两，炮裂，去皮脐 桂心 半两^⑥ 白茯苓 半两 总录去黑皮 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙 丁香 半两 草豆蔻 半两，去皮

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，^⑦总录此下有擘破二字，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷、油腻、湿面。

治脾气虚，下焦冷，胸中满闷，不思饮食，肋下痛，宜服此补脾白术散方：

白术 半两 五味子 半两 白芍药 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 桂心 三分 诃梨勒 半两，煨，用皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 高良姜 三分，锉 熟乾地黄 三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷、油腻、湿面。

治脾气虚，大肠下泄，腹痛，不思饮食，四肢少力，宜服补脾诃梨勒散方：

诃梨勒 半两，煨，用皮 草豆蔻 三分，去皮 陈橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 附子 三分，炮裂，去皮脐 甘草 一分，炙微赤，锉 木香 半两 当归 三分，锉，微炒 缩沙 三分，去皮 厚朴 三分，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治脾气虚，食饮难消，腹胁气胀，少思饮食，宜服补脾白豆蔻散方：

白豆蔻 三分，去皮 乾姜 半两，炮裂，锉 人参 半两，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 甘草 一分，炙微赤，锉 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 白术 三分 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服之。

治脾气虚，心腹胀满，胸膈不利，食即欲呕，水谷不消，或时下利，四肢无力，宜服补脾肉豆蔻丸方：

肉豆蔻 一两，去皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 白术 三分 石斛 一两，去根 肉桂 一两半，去粗皮 丁香 半两 荜茇 三分 椒红 三分，微炒 诃梨勒 二两，煨，用皮 缩砂 三分，去皮 人参 三分，去芦头 当归 半两，锉，微炒 高良姜 三分，锉 木香 半两 厚朴 一两半，

① 通：太平圣惠方此下注有“锉”字。

② 炙：太平圣惠方作“炮”。

③ 香：太平圣惠方此下有“熟”字。

④ 煎：太平圣惠方无此字。

⑤ 梦：太平圣惠方作“多”。普济方卷二十脾虚冷附论作“梦”。

⑥ 两：太平圣惠方此下有“去皮”二字。

去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣细罗为末，以生姜汁煮枣肉，相和为丸，如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治脾虚，肌肉消瘦，面色萎黄，心腹胀满，水谷不化，饮食无味，四肢少力，或时自利，宜服补脾黄耆丸方：

黄耆一两，锉 石斛一两，去根 五味子三分 肉桂一两半，去粗皮 附子一两，炮裂，去皮脐 肉苁蓉一两，以酒浸，去皱皮 诃梨勒二两，煨，用皮 益智子一两，去皮 白术一两 当归三分，锉，微炒 人参一两，去芦头 白豆蔻三分，去皮 丁香半两 沉香三分 高良姜三分，锉 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 吴茱萸半两，汤浸七遍，炒 枳实三分，

麸炒微黄

右件药，捣细罗为末，煮枣肉和捣三五百杵，为丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治脾虚，心腹胀满，食少无力，宜服补脾神曲丸方：

神曲一两，炒^②微黄 附子一两，炮裂，去皮脐 诃梨勒二两，煨，用皮 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 荜茇一两 丁香半两 白豆蔻一两，去皮 白术一两 人参一两，去芦头 荜澄茄半两 沉香半两 陈橘皮三分，汤浸，去白瓤，微炒

右件药，捣细罗为末，以酒煮枣肉，和捣三二百杵，为丸如梧桐子大，每服食前，以生姜汤下二十丸。

① 用：太平圣惠方作“去”

② 炒：太平圣惠方作“炮”

五 藏 门_五

圣 惠 方_三

治脾实泻脾诸方

夫脾实则生热，热则阳气盛，阳气盛则心胸烦闷，唇口乾焦，身热颊疼，体重不能转侧，语声沉而心急，咽喉痛而不利，舌本肿强，口内生疮，腹胁胀满，不得安卧，梦¹见歌乐，四肢怠堕，诊其脉紧实者，是脾实之候。

治脾实，胸中满闷，腹胁壅胀，身热颊²疼，咽喉不利，宜服泻脾大黄散方：

川大黄 一两，锉，微炒 赤茯苓 三分 圣济总录去黑皮 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 甘草 一分，炙微赤，锉 黄芩 一分 总录去黑心 陈橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 麦门冬 一两，去心 总录焙 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 总录焙 前胡 半两，去芦头

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，总录入生姜一枣大，拍碎 煎至六分，总录七分 去滓，不计时候温服。

治脾实热，头痛胸满，腹胁壅滞，不思饮食，宜服泻脾赤茯苓散方：

赤茯苓 三分 圣济总录去黑皮 旋复花 半两 川大黄 一两，锉碎，微炒 石膏 一两 总录碎 桑根白皮 一分，锉 赤芍药 半两 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓢 前胡 半两，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，总录入生姜一枣大，拍碎 煎至六分，总录七分 去滓，不计时候温服。

治脾藏壅实，口内生疮，食少心烦，宜服泻脾升麻散方：

川升麻 一两 羚羊角屑 一两 茯神 一两 圣济总录去木 黄连 一两，去须 柴胡 一两半，去苗 黄芩

三分 总录去黑心 麦门冬 一两，去心 总录焙 大青 三分 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药细锉和匀，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，总录七分 去滓，食后温服，忌炙煨热面。

治脾实热，头痛胁满，烦闷，或渴，唇口乾燥，宜服石膏散方：

石膏 一两 圣济总录碎 麦门冬 一两半，去心 总录焙 柴胡 一两，去苗 犀角屑 一两 栝楼根 一两 地骨皮 一两 葛根 半³两 总录锉十两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，水一中盏，入竹叶二七片，煎至六分，总录七分 去滓，入蜜半合，生地黄汁一⁴合，总录一合 搅令匀，食后分温二服。总录更煎两沸，食后温服

治脾气实，四肢不利，头重目疼，腹胁妨⁵闷，心膈壅滞，少思饮食，宜服前胡散方：

前胡 一两，去芦头 大腹皮 三分，锉 圣济总录一分 赤芍药 半两 赤茯苓 半两 总录去黑皮 桔梗 半两，去芦头 总录锉炒 羚羊角屑 半两 旋复花 半两 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 甘草 半两，炙微赤，锉 总录无

右件药捣筛为散，每服三钱，水一中盏，入生姜半分，枣三枚，总录生姜一枣大，拍碎，枣三枚，擘破，煎至六分，总录七分 去滓，不计时候温服。

治脾气实，心腹壅滞，四肢疼闷，两胁胀满，大小便不利，宜服羚羊角丸方： 圣济总录治脾瘕口甘，内热中满。

1 梦：太平圣惠方此下有“多”字。

2 颊：太平圣惠方作“烦”

3 半：太平圣惠方作“十”

4 一：太平圣惠方作“二”

5 妨：太平圣惠方作“胀”

羚羊角屑一两 总录镑 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤
川大黄一两，锉，微炒 木通一两，锉 大麻仁一两 赤
茯苓半两 总录去黑皮 槟榔一两 总录锉 桑根白皮
一两，锉 前胡半两，去芦头

右件药，捣细罗为末，炼蜜和捣三二百
杵，为丸如梧桐子大，每食前，总录不拘时以温
水下二十丸。

治脾藏壅实，心胸烦闷，唇口乾燥，渴
水不止，宜服麦门冬煎方。 圣济总录治
脾瘕，内热烦渴。

生麦门冬汁半升 生地黄汁半升 蜜半斤¹ 总
总录斤半² 栝楼根二两 地骨皮一两 黄耆一两，
锉 葳蕤一两 知母一两 寒水石二两 总录碎研 犀
角屑一两 川升麻一两 甘草半两 总录炙 石膏
二两 总录碎研 淡竹叶一两 总录切

右件药，栝楼根等捣筛为散，先以水七
升，煎取三升，滤去滓，入麦门冬汁等三味，
内锅中，慢火熬如稀汤，以瓷合盛，不计时
候，温服一合。总录每服一匙，温汤化下，不拘时。

治脾气不足诸方

夫脾受水谷之精，化为气血，养于藏腑，
充于肌肤。若其气不荣，则不能与胃行其津
液，周养身形，致体重懈堕，四肢不举，腹
胁虚胀，胸满咽乾，不能嗜食，纵食欲呕，
水谷不化，泄利肠鸣，则是脾气不足之候也。

治脾气不足，腹胁胀满，四肢无力，少
思饮食，宜服黄耆散方：

黄耆一两，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 诃梨勒
一两半，煨，用皮 人参一两，去芦头 白术一两 五味
子半两 白茯苓一两 丁香半两 枳实半两，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，水一中
盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，
食前稍热服。忌生冷油腻湿面。

治脾气不足，心腹胀满，不欲饮食，若
食则气滞体重，四肢无力，宜服白术散方：

白术一两 诃梨勒二两，煨，用皮 丁香三分
人参一两，去芦头 草豆蔻三分，去皮 黄耆三分，锉
附子三分，炮裂，去皮脐 白茯苓三分 萆澄茄一两

麦蘖三分，微炒 沉香三³分 陈橘皮三分，汤浸，去白瓤，
微炒 木香三分 枳实半两，麸炒微黄 甘草半两，
炙令赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，水一中
盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，
不计时候温服。忌生冷油腻湿面。

治脾气不足，心腹胀痛，喜噫吞酸，食
则欲呕，四肢少力，宜服厚朴散方：

厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 肉桂一两，
去粗皮 当归半两，锉，微炒 人参半两，去芦头 丁香半两
白术半两 白豆蔻半两，去皮 吴茱萸一分，汤浸七⁴
炒令微黄 诃梨勒一两，煨，用皮 高良姜半两 陈橘
皮半两，汤浸，去白瓤，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，水一中
盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，
不计时候温服。忌生冷油腻湿面粘食。

治脾气不足，四肢不和，腹胁胀满，或
时下利，饮食难消，宜服诃梨勒散方：

诃梨勒三分，煨，用皮 人参一两，去芦头 当归
三分，锉，微炒 白术三分 乾姜半两，炮裂，锉 桂心
三分 草豆蔻三分，去皮 甘草半两⁵，炙微赤，锉 厚
朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 吴茱萸半两，汤浸
七遍，焙乾，微炒 陈橘皮三分，汤浸，去白瓤，焙

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一
中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍
热服之。

治脾气不足，体重胸满，腹胁虚胀，食
少无力，水谷不消，或时自利，宜服白豆蔻
丸方：

白豆蔻一两，去皮 诃梨勒二两，煨，用皮 黄
耆一两，锉 沉香一两 附子一两，炮裂，去皮脐 白
术一两 人参一两，去芦头 肉桂一两半，去粗皮 木
香一两 枳实一两，麸炒微黄 厚朴二⁶两，去皮，涂生
姜汁，炙令香熟

1 斤：太平圣惠方作“升”

2 斤半：圣济总录作“半斤”

3 三：太平圣惠方作“二”

4 七：太平圣惠方此下有“遍”字

5 半两：太平圣惠方作“三分”

6 二：太平圣惠方作“三”

右件药，捣细罗为末，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，空心及晚食前服。忌生冷油腻粘食。

治脾藏中风诸方

夫脾气虚弱，肌肉不实，则腠理开疎，风邪乘虚，入于足太阴之经，则令身体怠惰，多汗恶风，舌本强直，言语謇涩，口面喎僻，肌肤不仁，腹胀心烦，翕翕发热，神思如醉，手足不能动摇，诊其脉浮缓者，是脾中风之候也。

治脾藏中风，手足缓弱，舌强语涩，胸膈烦闷，智意恍惚，身体沉重，宜服防风散方：

防风 三分，去芦头 麻黄 三分，去根节 人参 三分，去芦头 芎藭 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 桂心 三分 羚羊角屑 三分 黄耆 三分，锉 赤茯苓 三分 酸枣仁 三分，^① 微炒 白术 三分 独活 三分 甘草 半两，炙微赤，锉 桑根白皮 三分，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏中风，语音沉浊，舌强不能转，身重拘急，四肢不举，宜服麻黄散方：

麻黄 一两，去根节 石膏 一两 赤茯苓 三分 独活 三分 山茱萸 三分 秦艽 三分，去苗 细辛 三分 芎藭 三分 防风 三分，去芦头 桂心 三分 乾姜 半两，炮裂，锉 白术 三分 人参 三分，去芦头 汉防己 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 杏仁 三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏中风，胸膈痰涎，言语不利，翕翕发热，智意昏浊，宜服独活散方：

独活 一两 茯神 三分 防风 三分，去芦头 羚羊角屑 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 人参 三分，去芦头 前胡 三分，去芦头 沙参 三分，去芦头 旋复花 三分 黄耆 三分，^② 锉 半夏 三分，汤洗七遍，去滑 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏中风，语涩，四肢难举，智意不安，心膈烦热，头目昏闷，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓 三分 犀角屑 三分 羌活 三分 麦门冬 三分，去心 蔓荆子 三分 石膏 二两^③ 甘菊花 三分 人参 三分，去芦头 黄耆 三分，^④ 锉 防风 三分，去芦头 羚羊角屑 三分^⑤ 远志 三分^⑥，去心 前胡 三分，去芦头 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓤 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏中风，四肢不举，心胸痰滞，言语謇涩，头痛烦热，咽喉不利，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一两 茯神 一两 羌活 一两 薏苡仁 一两 人参 一两，去芦头 麦门冬 一两，去心 旋复花 一两 前胡 一两，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏中风，肉热肌痹，淫淫如虫行，或腠理开，汗大泄，皮肤肉色不泽，唇鼻黄色，宜服细辛散方：

细辛 一两 枳实 半两，麸炒微黄 防风 一两，去芦头 石膏 二两 白术 一两 麻黄 二两，去根节 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻黏滑猪鸡肉。

治脾藏中风，心腹烦壅，头面微肿，冷汗出，宜服七圣散方：

天麻 一两 枳壳 一两，麸炒微黄去瓤 芎藭 半两 白蒺藜 半两，微炒，去刺 川大黄 半两，^⑦ 锉碎，微炒 地

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 两：太平圣惠方此下有“（二分）”二字。

⑤ 三：太平圣惠方作“二”。

⑥ 三：太平圣惠方作“二”。

骨皮 半两 薏苡仁 三分

右件药，捣细罗为散，不计时候，用温水调下二钱。忌生冷油腻猪鸡肉。

治脾藏中风，口面偏斜，语涩虚烦，手臂腰脚不遂，宜服羚羊角丸方：

羚羊角屑 三分 汉防己 三分 白芍药 三分
槟榔 半两 人参 半两，去芦头 白茯苓 三分 薏苡仁 一两 独活 三分 芎藭 半两 桂心 半两 附子 一两，炮裂，去皮脐 防风 三分，去芦头 柏子仁 半两 酸枣仁 三分，微炒 当归 半两，锉，微炒 熟乾地黄 一两 麦门冬 三分，去心，焙 杏仁 三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下三十丸。忌猪鸡肉粘滑物。

治脾藏中风，身体怠堕，四肢缓弱，恶风头疼，舌本强直，言语蹇涩，皮肤顽痹，宜服天麻丸方：

天麻 一两 独活 一两 人参 二②分，去芦头 防风 二③分，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 一两 麻黄 一两，去根节 细辛 三④分 当归 三分，锉，微炒 白术 三分 羚羊角屑 三分 薏苡仁 三分 乾蝎 三分，微炒 牛膝 三分，去苗 芎藭 三⑤分 茯神 三分 牛黄 一分，研 天南星 三分，锉，醋拌炒令黄 朱砂 半两，细研 龙脑 一分，细研 乌蛇肉 一两，酥拌炒令黄 麝香 一分，细研 白僵蚕 三分，微炒

右件药，捣细罗为末，入研了药，更同研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下十丸，加至十五丸，不计时候服。

治脾藏风壅多涎诸方

夫脾受水谷之精，化为气血，以养藏腑，溉灌身形，若其气虚弱，则气血不荣，肌肉疏泄，风邪乘之于经络，致阴阳不和，中焦壅滞，痰饮积聚，伏留脾间，故令多涎也。

治脾藏风壅，气滞多涎，胸膈满闷，不下饮食，宜服前胡散方：

前胡 一两，去芦头 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 旋复花 半两 赤茯苓 一两 甘

草 半两，炙微赤，锉 大腹皮 一两，锉 桔梗 一两，去芦头 麦门冬 一两，去心

右件药，捣筛为散，每服三钱。以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻湿面饴糖。

治脾藏风壅，多涎，心胸不利⑥，头目昏重，旋复花散方：

旋复花 半两 细辛 半两 前胡 三分，去芦头 赤茯苓 一两 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 犀角屑 半两 防风 半两，去芦头 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 槟榔 半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻粘食饴糖⑦。

治脾藏风壅痰滞，睡即多涎，头目胸膈不利，宜服半夏散方：

半夏 半两，汤洗七遍，去滑 旋复花 半两 防风 三分，去芦头 赤茯苓 三分 前胡 三分，去芦头 桑根白皮 三分，锉 麦门冬 三分，去心 枳实 半两，麸炒微黄 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾藏风壅，心⑧膈痰滞，多吐稠涎，不能下食，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓 三分 旋复花 三分 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 细辛 三分 甘草 半两，炙微赤，锉 蔓荆子 三分 桔梗 三分，去芦头 羚羊角屑 三分 白蒺藜 三分，微炒，去刺

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 三：太平圣惠方作“二”。

⑥ 利：太平圣惠方作“和”。

⑦ 糖：太平圣惠方作“糖”。

⑧ 心：太平圣惠方作“膈”。

治脾藏风壅，语涩多涎，宜服牛黄丸方：

牛黄一分，细碎¹ 白附子一两，炮裂 天竹黄一两，细研 天麻一两半 犀角屑三分 铅霜半两，细研

右件药，捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣百余杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以竹沥下七丸。

治脾藏风壅，胸膈气滞，痰涎烦闷，神思昏浊，宜服前胡丸方：

前胡一两，去芦头 旋复花半两 槟榔一两 川大黄一两，锉碎，微炒 牛蒡子一两，微炒 皂荚三分，去皮，涂酥炙令焦黄，去子 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 赤茯苓一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥薄荷汤下二十丸。

治脾藏风壅，咽喉内涎唾如胶，心胸妨闷，语声不利，宜服坏涎丸方：

白矾烧灰，半两 天竹黄半两 半夏一两，汤浸七遍，去滑，麸炒微黄 金薄五十片 朱砂一两，细研，以水飞过 皂荚子仁半两，微炒

右件药以半夏及皂荚子仁捣罗为末，与诸药同研令匀，用烂粟米饭和为丸，如绿豆大，每服不计时候，以生姜汤下七丸。

治脾胃冷热气不和诸方

夫脾与胃合，为受载之府，化谷精气，溉灌身形，二气调平，则四肢安畅，若藏腑虚弱，饮食不消，阴阳交争，冷热相搏，故令脾胃不和也。

治脾胃冷热气不和，胸中满闷，不能下食，四肢少力，宜服草豆蔻散方：

草豆蔻三分，去皮 赤茯苓三分 甘草半两，炙微赤，锉 人参半两，去芦头 白术半两 陈橘皮半两，汤浸，去白瓤，焙 桂心三分 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 半夏三分，汤浸七遍，去滑 厚朴三分，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。忌生冷油腻饴糖。

治脾胃冷热气不和，胸膈满闷，四肢无

力，痰逆，不思饮食，霍香散方：

霍香半两 诃梨勒半两，煨，用皮 人参三分，去芦头 陈橘皮三分，汤浸，去白瓤，焙 半夏半两，汤浸七遍，去滑 赤茯苓三分 肉桂三分，去粗皮 白术三分 草豆蔻一两，去皮 枳实半两，麸炒微黄 高良姜三分，锉 甘草半两，炙微赤，锉 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。忌生冷油腻饴糖。

治脾胃冷热气不和，心腹虚胀，痰逆，少思饮食，四肢无力，宜服丁香散方：

丁香半两 人参三分，去芦头 赤茯苓三分 白术半两 甘草一分，炙微赤，锉 木瓜三分 草豆蔻三分，去皮 乾姜半两，炮裂，锉 诃梨勒三分，煨，用皮 茅香花三分

右件药，捣细罗为散，不计时候，以姜枣汤调下一钱。忌生冷油腻湿面。

治脾胃冷热气不和，胸膈气滞，不下饮食，宜服大腹皮散方：

大腹皮半两，锉 槟榔半两 诃梨勒三分，煨，用皮 桑根白皮半两，锉 陈橘皮三分，汤浸，去白瓤，焙 赤茯苓三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃冷热气不和，腹胁胀闷，少思饮食，宜服白术散方：

白术一两 草豆蔻一两，去皮 槟榔一两 甘草半两，炙微赤，锉 桂心三分 桔梗一两，去芦头 人参一两，去芦头 前胡三分，去芦头 诃梨勒一两，煨，用皮 赤茯苓三分 枳实半两，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃冷热气不和，胸膈腹胁胀满，不

1. 碎：太平圣惠方作“研”。

2. 三：太平圣惠方作“一”。

3. 二：太平圣惠方作“三”。

能饮食，宜服桔梗丸方：

桔梗一两，去芦头 白术一两 槟榔一两 甘草半两，炙微赤，锉 桂心三分^① 乾姜半两，炮裂，锉 人参半两^②，去芦头 前胡三分^③，去芦头 麦蘖三分，炒微黄 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以姜枣汤下二十丸。

治脾胃冷热气不和，心腹疼痛，胁肋气滞，不思饮食，四肢少力，宜服神曲丸方：

神曲一两，微炒令黄色 乾姜半两，炮裂，锉 槟榔一两 甘草半两，炙微赤，锉 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 桂心半两 附子半两，炮裂，去皮脐 人参三分，去芦头 当归三分，锉，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以生姜橘皮汤下二十丸。

治脾胃冷热气不和，胸膈不利，三焦闭塞，宜服人参丸方：

人参一两，去芦头 赤茯苓一两 桂心一两 乾姜半两，炮裂，锉 诃梨勒一两，煨，用皮 川大黄一两，细锉，微炒 细辛半两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 赤芍药一两 槟榔一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以生姜汤下二十丸。忌生冷油腻湿面。

治脾胃冷热气不和，心腹痛，不欲饮食，宜服诃梨勒丸方：

诃梨勒三分，煨，用皮 白术半两 木香三分^④ 甘草半两，炙微赤，锉 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 乾姜半两，炮裂，锉 芎藭三分^⑤ 当归三分，锉，微炒 缩砂半两，去皮

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以姜枣汤下二十丸。

治脾胃冷热气不和，心腹疼痛，呕逆，不欲饮食，四肢少力，宜服白豆蔻丸方：

白豆蔻三分，去皮 黄耆半两，锉 赤茯苓半两

乾姜半两，炮裂，锉 桂心半两 白术半两 当归半两，锉，微炒 半夏半两，汤洗七遍，去滑 人参三分，去芦头 附子半两，炮裂，去皮脐 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，煮枣肉和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸。忌生冷油腻饴糖。

治脾气虚腹胀满诸方

夫人藏腑不和，脾胃虚弱，阳气衰于外，阴气积于内，风冷之气，搏于脾胃之间，伏留而不散，则食饮不消，故令腹胀满也。

治脾气虚，腹胁胀满，吃食难消，面色萎黄，四肢少力，宜服厚朴散方：

厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 丁香半两 木香半两 附子一两，炮裂，去皮脐 白术一两 当归一两，锉，微炒 人参一两，去芦头 诃梨勒一两，煨，用皮 乾姜三分，炮裂，锉 白茯苓一两 桂心一两 甘草半两，炙微赤，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。忌生冷油腻湿面粘滑等物。

治脾气虚，心腹胀满，大肠不调，少思饮食，四肢无力，宜服陈橘皮散方：

陈橘皮一两半，汤浸，去白瓢，焙 胡椒半两 桂心三分 附子一两，炮裂，去皮脐 高良姜一两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 诃梨勒一两，煨，用皮

右件药，捣细罗为散，食前，以清粥饮调下一钱。忌生冷油腻。

治脾气虚，腹胁胀满，四肢不和，面色青黄，不纳饮食，宜服草豆蔻散方：

草豆蔻一两，去皮 陈橘皮二两，汤浸，去白瓢，焙 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 白术一两 乾姜

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 半：太平圣惠方作“一”。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

④ 三分：太平圣惠方作“半两”。

⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

一两，炮裂，锉 木香 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾气虚，心腹胀满，不思饮食，体重无力，宜服人参散方：

人参 一两，去芦头 丁香 半两 白术 一两 草豆蔻 一两，去皮 枳实 半两，麸炒微黄 木香 半两 甘草 一分，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻湿面。

治脾气虚滞，心腹胀闷，四肢烦疼，少思饮食，宜服益智子散方：

益智子 一两，去皮 沉香 三分 赤茯苓 三分 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 白术 三分 槟榔 三分 紫苏子 三分，微炒 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 木香 半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治脾气虚，心腹胀满，不能食，槟榔散方：

槟榔 三分 白术 一两 草豆蔻 半两，去皮 诃梨勒 一两，煨，用皮 丁香 一分 人参 一两，去芦头 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 桂心 半两 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣细罗为散，不计时候，以清粥饮调下一钱。忌生冷油腻。

治脾气虚，心腹胀满，胸膈不利，少思饮食，宜服此方：

萝卜子 揀了¹好者，五两，炒令熟，捣细罗，取末一两，余者有油，别烂捣如膏 沉香 一分 白术 一分 草豆蔻 一分，去皮

右件药，捣细罗为散，入前萝卜子末，及别入白砂糖一钱半，同研令匀，每服一钱，抄在口内细嚼，后以米饮下；其萝卜子膏，别入草豆蔻末一分，白砂糖三分，拌令匀，每取半枣大，亦细嚼米饮下，并不计时候服。

治脾胃气虚冷水谷不化诸方

夫人藏腑充实，脾胃和平，则能摧伏²水谷而无积滞也。若藏腑不足，为邪冷之气所乘，虽然饮食，脾胃虚弱，不能消磨，故令水谷不化也。

治脾胃气虚，积有冷气，食不消化，面色萎黄，四肢无力，或时吐逆，宜服丁香散方：

丁香 半两 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 人参 三分，去芦头 甘草 一分，炙微赤，锉 柴胡 三分，去苗 陈橘皮 一分³，汤浸，去白瓢，焙 乾木瓜 一两 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白豆蔻 三分，去皮 诃梨勒 一两，煨，用皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 高良姜 三分，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷油腻湿面饴糖。

治脾胃虚冷，水谷不化，心腹疼痛，四肢无力，少思饮食，宜服吴茱萸散方：

吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 当归 三分，锉，微炒 乾姜 三分，炮裂，锉 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 桂心 半两 枳实 半两，麸炒微黄 人参 三分，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉 麦蘖 一两，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服之。

治脾胃虚冷，食即欲呕，心腹胀闷，水谷不消，四肢无力，宜服革澄茄散方：

革澄茄 半两 木香 半两 白豆蔻 半两，去皮 白术 半两 槟榔 半两 草豆蔻 半两，去皮 诃梨勒皮 半两 肉豆蔻 半两，去壳 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 白茯苓 半两 乾姜 半两，炮裂 桂心 三分 丁香 半两 陈橘皮 半两，汤浸，去白瓢，微炒 甘草 半两，炙微赤，锉 厚朴 一两，削去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

1 了：太平圣惠方作“子”。

2 伏：太平圣惠方作“化”。

3 一：太平圣惠方作“三”。

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治脾胃虚冷，食不消化，腹胁气胀，不思饮食，四肢少力，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 神曲一两，微炒令黄 白术三分 麦蘖一两，炒微黄 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 乾姜半两，炮裂，锉 陈橘皮一两半，汤浸，去白瓤，焙 甘草一分，炙微赤，锉 草豆蔻一两，去皮

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃虚冷气，宿食不消，吃物无味，四肢少力，宜服丁香散方：

丁香半两 桂心三分 白豆蔻一两，去皮 乾姜半两，炮裂，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 麦蘖三分，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白术三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治脾胃气虚冷，水谷不化，腹胁胀满，或时寒极，四肢逆冷，宜服白术丸方：

白术一两 吴茱萸三分，汤浸七遍，焙乾，微炒 诃梨勒一两，煨，用①皮 附子一两，炮裂，去皮脐 人参半两，去芦头 桔梗半两，去芦头 桂心三分 乾姜半两，炮裂，锉 细辛半两 草茺一两 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，食前，以粥饮下三十丸。忌生冷油腻湿面。

治脾胃气虚冷，水谷不化，食即腹胀，胸膈不利，宜服厚朴丸方：

厚朴三两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮二两，汤浸，去白瓤，焙 草豆蔻一两，去皮 白术一两 缩砂二②两，去皮 诃梨勒二两，煨，用皮 桂心一两 乾姜一两，炮裂，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，食前，以粥饮下三十丸。

治脾胃气虚冷，腹胁气胀，不思饮食，四肢无力，睡恒不足，宜服神曲丸方：

神曲二③两，炒令微黄 胡椒一两 陈橘皮二两，汤④□，去白瓤，焙 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 桂心一两 诃梨勒二两，煨，用皮 乾姜一两，炮裂，锉 白术一两 附子一两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉 当归三分，锉，微炒 白豆蔻一两，去皮

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以粥饮下三十丸。忌生冷油腻湿面。

治脾胃气虚弱不能饮食诸方

夫脾者藏也，胃者腑也，脾胃二气，以为表里，胃为水谷之海，主受盛水谷也；脾主磨而消之，则能嗜食，今脾胃俱虚弱，故不能饮食也。

治脾胃气虚弱，不能饮食，食即妨闷，四肢少力，疼痛，宜服红豆蔻散方：

红豆蔻三分，去皮 白术三分 桂心三分 圣济总录桂去粗皮 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参一两，去芦头 陈橘皮⑤□两，汤浸，去白瓤，焙 诃梨勒三分，煨，用皮 黄耆三分，锉 当归三分，锉，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，总录枣二枚，擘破 煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷油腻湿面。

治脾胃气虚，不思饮食，精神恐悸，上气顿绝，身心昏昧，口舌乾焦⑥，四肢无力，宜服木香散方：

木香一两 人参一两，去芦头 白茯苓一两 当归一两，锉，微炒 白芍药半两 桂心半两 麦门冬一两，去心 远志一分，去心 五味子半两 京三棱

① 用：太平圣惠方作“去”。

② 二：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 汤：此下脱字，太平圣惠方作“浸”。

⑤ 皮：此下脱字，太平圣惠方作“一”。

⑥ 口舌乾焦：太平圣惠方作“口乾舌焦”。

半两，炮，锉 白术一两 诃梨勒半两，煨，用皮 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷油腻。

治脾胃气虚弱，不能饮食，或时痰逆，四肢不和，宜服厚朴散方：

厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参一两，去芦头 桂心一两 白术一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 甘草半两，炙微赤，锉 半夏三分，汤洗七遍，去滑 丁香半两 红豆蔻半两，去皮

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。忌生冷油腻 饴糖。

治脾胃气虚弱，不能饮食，背心常冷，四肢不和，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 白术一两 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 高良姜一两，锉 川乌头一两，炮裂，去皮脐 桂心一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，不能^①食，食饮即吐，心腹时痛，宜服沉香散方：

沉香半两 人参半两，去芦头 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 红豆蔻三分，去皮 白术半两 桂心半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，呕逆不能饮食，宜服草豆蔻拨刀方：

草豆蔻二枚，去皮 高良姜半两 生姜汁半合

右件药，前二味细锉和匀，以水一中盏，煮取二合，并生姜汁搜白面四两，为拨刀，以羊肉臠汁内，煮令熟，空腹食之。

治脾胃气虚弱，不能饮食，宜服生姜煎方：

生姜半斤，研取汁 白蜜十两 人参末四两
右件药，用银锅子内，都搅令匀，以慢火熬成煎，每服不计时候，以热粥饮调下一茶匙。

治脾胃气虚弱，不能饮食，肌肤瘦瘠，面色萎黄，宜服白术丸方：

白术二两 神曲二两，微炒令黄 圣济总录陈曲 人参一两，去芦头 乾姜三分，炮裂，锉 陈橘皮一^②两，汤浸，去白瓢，焙 总录二两 草茛一两

右件药，捣罗为末，煮枣肉和丸，如梧桐子大，不计时候，以粥饮下三十丸。

治脾实热咽喉不利诸方

夫脾胃之气，候于唇口，通于咽喉，连于舌本，咽喉者水谷之道路，神气之往来，若脾气壅实，则上焦生热，故令头痛心烦，口舌乾燥，咽喉不利也。

治脾实热，舌本强，咽喉不利，体重不能行步，宜服柴胡散方：

柴胡一两，去苗 赤茯苓三分 玄参三分 大青一两 龙胆三分，去芦头 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 川芒消二两 络石二两 川升麻一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌炙煨热面。

治脾实热，咽乾头痛，心神烦渴，射干散方：

射干一两 石膏二两 大青三分 葳蕤三^③分 赤茯苓三分 川升麻三分 黄芩三分 独活半两 甘草半两，炙微赤，锉 络石三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入竹叶二七片，生地黄一分，生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌炙煨热面。

治脾实热，喉中肿痛，热塞不通，升麻

① 能：太平圣惠方此下有“饮”字。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

散方：

川升麻一两 射干一两 羚羊角屑半两 木通半两，性 赤^①□药半两 络石三分 甘草半两，炙微赤，性 川大黄一两，性碎，微炒 川芒消一两 黄芩三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生地黄一分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾实热，咽喉乾，头痛心烦，四肢壅闷，宜服枳壳散方：

枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 石膏二两 子芩半两 柴胡一两，去苗 玄参一两 赤茯苓半两 川升麻三分 射干三分 羚羊角屑半两 甘草半两，炙微赤，性 麦门冬三分^②，去心

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾实热，舌本强，唇口肿，咽喉窄^③塞，心神烦热，宜服犀角散方：

犀角屑三分 独活三分 黄芩一两 川升麻一两 马牙消一两 玄参一两 射干一两 甘草半两，炙微赤，性

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入淡竹沥半合，更煎一两沸，不计时候温服。

治脾实热，唇肿心烦，咽喉不利，体热烦疼，宜服地骨皮散方：

地骨皮三分 麦门冬一两，去心 柴胡一两半，去苗 川升麻一两 赤芍药三分 甘草半两，炙微赤，性 射干一两 石膏二两 龙胆三分，去芦头

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入牛蒡汁一合，更煎一两沸，食后温服。

治脾藏实热，咽喉不利，口舌乾燥，宜服犀角丸方：

犀角屑一两 牛蒡子半两 射干半两 川升麻三^④分 麦门冬一两，去心，焙 诃梨勒皮半两 木通半两 黄药^⑤半两 马牙消半两，研 龙脑一钱，研 甘草半两，炙微赤，性

右件药，捣细罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和为丸，如梧桐子大，每服以竹叶汤下二十丸，食后服。忌生果炙煨热面。

治脾胃气虚弱呕吐不下食诸方

夫脾与胃为表里，胃者脾之腑，脾者胃之藏，候于肌肉，主于水谷，水谷之精，化为气血，以为荣卫，养于藏腑也。若脾胃虚弱，受于邪气，则气逆腹胀，水谷不消，故令呕吐也。

治脾胃气虚弱，胸中满闷，气促，呕吐不能下食，宜服白茯苓散方：

白茯苓一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 人参一两，去芦头 白术三分 五味子三分 草豆蔻半两，去皮 半夏三分，汤洗七遍，去滑 甘草一分，炙微赤，性

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，呕吐不能食，四肢少力，心腹妨闷，宜服白术散方：

白术一两 人参三分，去芦头 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 桂心三分 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 诃梨勒一两，焙，用皮 白豆蔻一两，去皮

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，四肢无力，宜服此方：

白茯苓一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 人参一两，去芦头 白术一两 五味子一两 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 黄耆一两，性 桂心一两 甘草一分，炙微赤，性 半夏三分，汤洗七遍，去滑

① 赤：此下脱字，太平圣惠方作“芍”。

② 三分：太平圣惠方作“二分（两）”。

③ 窄：太平圣惠方作“窒”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 黄药：太平圣惠方作“黄芩（药）”。

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，不能饮食，食即呕吐，四肢羸瘦，少力，宜服此薤白汤方：

薤白 七茎 粳米 半合^① 大枣 四枚 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙 枳实 四枚，麸炒微黄 生姜 一分 豉 四十九粒

右件药细锉，都以水一大盏半，煎至八分，去滓，不计时候，稍热分为二服。

治脾胃气虚弱，藏腑积冷，呕吐宿食，四肢少力，面无颜色，宜服草豆蔻散方：

草豆蔻 二两，去皮 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 肉桂 三分，去皱皮 人参 三分，去芦头 木香 半两 前胡 一两，去芦头 高良姜 一两，锉 白茯苓 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白术 一两 甘草 一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾胃气虚弱，食即呕吐，人参饮子方：

人参 一两，去芦头 甘草 一分，炙微赤，锉 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 薤白 十四茎 生姜 半两

右件药，细锉，以水二大盏，煎取一盏二分，去滓，不计时候，稍热分为三服。

治脾胃气虚弱，见食呕吐，半夏散方：

半夏 半两，汤洗七遍，去滑 红豆蔻 三分，去皮 茅香花 三分 人参 一两，去芦头 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 白术 一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治脾胃气虚弱，不思饮食，胸中气满，四肢不和，食即呕吐，宜服茱澄茄散方：

茱澄茄 三分 白豆蔻 三分，去皮 丁香 三分 沉香 半两 木香 半两 高良姜 半两，锉 桂心 半两 白术 一两 人参 三分，去芦头 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 乾姜 半两，炮裂，锉 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 厚

朴 三分，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 诃梨勒 三分，煨，用皮

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃虚弱，胸膈气滞，吐逆不能下食，宜服白豆蔻丸方：

白豆蔻 一两，去皮 乾姜 一两，炮裂 半夏 一两半，汤洗七遍，去滑，微炒 桂心 三^②分 白术 三分 细辛 三分 木香 一两 诃梨勒 一两半，煨，用皮 枳实 一两，麸炒微黄

右件药，捣细罗为末，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，不计时候，用后方厚朴汤下。

厚朴汤方：

厚朴 四两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参 四两，去芦头 陈橘皮 二两，汤浸，去白瓢，焙 甘草 一两，炙微赤，锉

右件药捣罗为散，每服三钱，用煎成小麦汁一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，下前丸药。

治脾胃气虚弱，食即呕吐，四肢不和，心腹妨闷，宜服丁香丸方：

丁香 半两 诃梨勒 一两，煨，用皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 藿香 半两 草豆蔻 一两，去皮 草茛 三分 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 人参 一两，去芦头 白茯苓 三分 桂心 三分 白术 一两 甘草 一分，炙微赤，锉 高良姜 一两，锉

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以姜枣汤下二十丸。

治脾胃气虚弱，腑藏积冷，或时呕吐，不能饮食，宜服茱茛丸方：

茱茛 一两 胡椒 一两 槟榔 一两 诃梨勒 二两，煨，用皮 白茯苓 一两 肉桂 一两，去皱皮 人参 一两，去芦头 乾姜 一两，炮裂，锉 陈橘皮 二两，汤浸，去白瓢，焙

① 合：太平圣惠方作“两”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以生姜汤下二十丸。忌生冷。

治脾藏冷气攻心腹疼痛诸方

夫藏腑气虚，脾胃衰弱，阳气不足，阴气有余，邪冷之气，内搏于足太阴之经，伏留而不去，脾积冷气，乘之于心，正气与邪气交争，上下相击，故令心腹疼痛也。

治脾藏冷气攻心腹疼痛，或胁下气聚不散，面色萎黄，手足常冷，不欲饮食，宜服京三棱散方：

京三棱 一两，炮，锉 白术 一两 桂心 半两 青橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 木香 半两 芎藭 三^①分 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓢 槟榔 三^②分 人参 一两，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 乾姜 三分，炮裂，锉 甘草 半两，炙微赤，锉 当归 三分，锉，微炒 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒

右件药，捣粗罗为散，每服三^③钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾藏冷气，时攻心腹疼痛，面色青黄，常多呕逆，四肢虚乏，宜服肉豆蔻散方：

肉豆蔻 三枚，去壳 白术 半两 木香 半两 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 丁香 半两 青橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 蓬莪茂 半两 附子 半两，炮裂，去皮脐 芎藭 半两 甘草 一分，炙微赤，锉 当归 三分，锉，微炒 桂心 半两 乾姜 半两，炮裂，锉 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛不可忍，宜服木香散方：

木香 半两 桃仁 三^④分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 吴茱萸 三分，汤浸七遍，焙乾，微炒 青橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 槟榔 三^⑤分 桂心 一两 蓬莪茂 一两 当归 一两，锉，微炒 乾姜 三分，炮裂，锉

右件药，捣细罗为散，不计时候，以热

酒调下一钱。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛不可忍，宜服吴茱萸散方：

吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 高良姜 半两，锉 桂心 三分 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 当归 半两，锉，微炒 木香 半两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，或吐清水，不思饮食，宜服木香散方：

木香 半两 人参 三分，去芦头 芎藭 三分 青橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 白术 三分 肉桂 一两，去粗皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 当归 三分，锉，微炒 厚朴 二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 草豆蔻 五枚，去皮 高良姜 一两，锉 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，宿食不消，及腹肋胀闷，不思饮食，宜服红豆蔻散方：

红豆蔻 一两，去皮 木香 半两 当归 三分，锉，微炒 桂心 半两 高良姜 一两，锉 芎藭 三分 诃梨勒 半两，煨，用皮 草豆蔻 六枚，去皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 白术 半两 神曲 三分，微炒令黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，同煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治脾藏久积虚冷，气攻心腹胀痛，胃气不和，见食即呕，面色萎黄，四肢无力，宜服阿魏丸方：

阿魏 面裹煨，面熟为度 槟榔 青橘皮 汤浸，去白瓢，焙 胡椒 丁香 荜茇 白豆蔻 去皮 桂心 人参 去芦头 附子 炮裂，去皮脐 乾姜 炮裂，锉 蓬莪茂 诃梨勒 煨，用皮。已上各半两 麝香 一分，细研

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 三：太平圣惠方作“一”。

④ 三：太平圣惠方作“一”。

⑤ 三：太平圣惠方作“二”。

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治脾藏久积冷气，攻心腹疼痛，面色青黄，四肢无力，不思饮食，宜服革茛丸方：

革茛三分 木香半两 桂心半两 白茯苓三分 槟榔一两 附子一两，炮裂，去皮脐 胡椒三分 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 当归三分，锉，微炒 乾姜半两，炮裂，锉 诃梨勒一两，煨，用皮 人参一两，去芦头

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，粥饮下三十丸。

治脾藏虚冷，心腹有积滞气，发歇疼痛，心膈不利，两胁胀满，不能饮食，宜服礞^①砂煎丸方：

礞^②砂二两，白色不夹石者，研 圣济总录半两 阿魏一分，总录研 神曲一两，别捣罗为末 总录陈麝 诃梨勒一两，用皮 丁香半两 革茛半两 附子半两，炮裂，去皮脐 青橘皮半两，汤浸，去白瓤，焙 白芥子半两 茴香子半两 总录炒 槟榔半两 总录锉，加沉香，锉，半两

右件药，诃梨勒已下捣细罗为末，以好酒一升，先煎礞^③砂，次入阿魏，同煎五七沸，后以绵滤过，再煎之，后下神曲末，搅令调，慢火熬成膏，拌和诸药末，入白捣三二百杵，为丸如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，食前，以生姜汤下，温酒下亦得。

治脾藏积冷，气攻心腹疼痛，不能饮食，四肢无力，宜服诃梨勒丸方：

诃梨勒二两，煨，用皮 人参一两，去芦头 桂心半两 乾姜半两，炮裂，锉 白茯苓一两 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮半两，汤浸，去白瓤，焙 木香半两 肉豆蔻三枚，去壳 胡椒半两 京三棱半两，炮，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 桔梗一两，去芦头 当归一两，锉，微炒 槟榔一两

右件药，捣罗为散，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。

治脾藏冷气，及夙有积块，时攻心腹疼痛，呕逆不思饮食，四肢羸瘦，宜服京三棱丸方：

京三棱一两，炮，锉 鳖甲一两，涂醋，炙令黄，去裙襕 木香半两 川大黄半两，锉碎，微炒 当归半两，锉，微炒 白术半两 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 赤芍药^④半两 乾姜半两，炮裂，锉 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 诃梨勒三分，煨，用皮 防葵半两 桂心一两 槟榔半两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜橘皮汤下三十丸。

治脾藏冷气腹内虚鸣诸方

夫人藏腑不和，脾胃虚弱，不能消于水谷，则腹胀虚鸣也。此皆阳气不足，阴气有余，邪冷之气，伏留在藏，流走往来不散，故令腹内虚鸣也。

治脾藏冷气，胸膈不利，腹内虚鸣，少思饮食，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓三分 白术三分 桔梗三分，去芦头 槟榔半两 吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒 木香半两 沉香半两 当归半两，锉，微炒 枳实一分，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。忌生冷油腻。

治脾藏久积冷气，流走腹内虚鸣，两胁胀满，少思饮食，宜服桔梗散方：

桔梗一两，去芦头 白术一两 丹参一两，去芦头 白豆蔻三分，去皮 附子三分，炮裂，去皮脐 高良姜三分，锉 木香三分 沉香三分 槟榔三分 诃梨勒一两半，用皮 陈橘皮半两，汤浸，去白瓤，微焙

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一

① 礞：太平圣惠方作“礞（礞）”。

② 礞：太平圣惠方作“礞（礞）”。

③ 礞：太平圣惠方作“礞（礞）”。

④ 赤芍药：太平圣惠方作“赤茯苓（芍药）”。

中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治脾藏冷气，壅滞胀闷，腹内鸣转，不思饮食，宜服白术丸方：

白术 三两，生姜二两，同捣令烂，慢火炒令黄色 桂心 半两 槟榔 一两 高良姜 一两，锉 木香 半两 人参 一两，去芦头 阿魏 一分，面裹，煨令面熟为度 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 陈橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙

右件药捣罗为末，煎醋浸蒸饼，和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以生姜橘皮汤嚼下十丸。

治脾藏冷气积滞，醋心呕逆，宿食不消，腹藏虚鸣，时时疼痛，宜服吴茱萸丸方：

吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 神曲 一两，炒令微黄 陈橘皮 二①两，汤浸，去白瓢，焙 白术 一两 人参 一两，去芦头 桂心 一两 熟乾地黄 一两 乾姜 半两，炮裂，锉 诃梨勒 一两，煨，用皮

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以粥饮下二十丸。忌生冷。

治脾藏冷气，腹内虚鸣，胸膈气滞，不能饮食，虽食不消，又频呕逆，宜服诃梨勒丸方：

诃梨勒 一两半，煨，用皮 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 白术 一两 桂心 三分 人参 一两，去芦头 赤茯苓 一两 桔梗 半两，去芦头 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 红豆蔻 一两，去皮 乾姜 半两，炮裂，锉 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸。

治脾藏冷气，腹内虚鸣，内寒外热，宿食不消，大便乍秘乍泄，腑脏不调，少思饮食，宜服厚朴丸方：

厚朴 一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白术 半两 乾姜 半两，炮裂，锉 桔梗 一两，去芦头 当归 一两，锉，微炒 槟榔 半两 陈橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 甘草 半两，炙微赤，锉 诃梨勒 一两，煨，用皮 白茯

苓 半两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以粥饮下二十丸。忌生冷油腻。

治脾胃壅热呕哕诸方

夫脾气壅实，胃中有热，则阳气盛，阳气盛则胸膈烦满，痰饮积聚，则成呕哕，此皆年②力强盛之人，肌肤充满，脾胃之中，久多积热，致上焦不利，故令呕哕也。

治脾胃气壅，痰滞，呕哕，见食即吐，宜服枇杷叶散方：

枇杷叶 一两，拭去毛炙微黄 木通 半两，锉 前胡 半两，去芦头 人参 一两，去芦头 麦门冬 一两，去心 麻仁 半两 陈橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 犀角屑 半两 赤茯苓 三分

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃壅热，呕哕烦渴，不下食，宜服陈橘皮散方：

陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 羚羊角屑 半两 麦门冬 二两，去心 人参 一两，去芦头 紫苏茎叶 一两 泽泻 半两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

又方：

陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 人参 一两，去芦头 葛根 一两 芦根 一两，锉 麦门冬 一两，去心 枇杷叶 半两，拭去毛，微炙

右件药，细锉和匀，每服半两，以水一大盞，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，分温二服。

治脾胃积热，胸膈烦壅，呕哕不下食，宜服芦根饮子方：

芦根 二两，锉 麦门冬 三两，去心 人参 一两，

① 二：太平圣惠方作“一”。

② 年：太平圣惠方作“体”。

去芦头 黄耆一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 淡竹茹一两

右件药，细锉和匀，每服一两，以水一大^①盏半，入生姜半两，煎至一盏，去滓，入蜜一茶匙，生地黄汁半合，更煎一两沸，不计时候，分温三服。

治脾胃壅热，呕哕不下食，纵食，良久即吐，宜服麦门冬散方：

麦门冬二两，去心 神巧万全方一两 赤茯苓一两半 夏一两，汤洗七遍，去滑 人参一两，去芦头 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 万全方^②□壳一两半，去瓢 茅根二两，锉 万全方一两 甘草半两，炙微赤，锉 枇杷叶一两，拭去毛，炙微黄 前胡半两，去芦头 万全方柴胡

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃壅热，呕哕，烦渴不止，宜服茅香散方：

茅香花三^③分 芦根一两，锉 麦门冬三分，去心 赤茯苓三分 甘草半两，炙微赤，锉 枇杷叶三分，拭去毛，炙微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹茹一分，粳米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃壅热，呕哕不能下食，心神烦乱，宜服芦根散方：

芦根二^④两，锉 人参一两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 麦门冬一两，去心 茯神一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，入生地黄汁半合，更煎一两沸，不计时候温服。

治脾胃壅热，气满不能食，纵食呕哕，宜服人参饮子方：

人参一两，去芦头 前胡一两，去芦头 生姜半两 粟米半合 薤白七茎 豉半两^⑤

右件药，细锉和匀，都以水二大盏，煎至一盏二^⑥分，去滓，不计时候，分温三服。

治脾胃壅热，呕哕不下食，心膈烦躁，宜服此方：

糯米半合，水淘生研 绿豆半合，水淘生研 生姜三分，研取汁 蜜一合 新汲水五^⑦合

右件药相和，研滤取汁，入蜜调令匀，不计时候，分为三服。

治脾胃气虚弱肌体羸瘦诸方

夫脾胃者水谷之精，化为气血，气血充盛，荣卫通流，润养身形，荣于肌肉也。若藏腑不足，脾胃虚伤，不能饮食，则令气血减少，肌体羸瘦也。

治脾胃气久虚，四肢无力，腑藏虚损，不欲饮食，日加羸瘦，体虚颤掉，宜服草豆蔻散方：

草豆蔻半两，去皮 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 人参一两，去芦头 桂心半两 附子三分，炮裂，去皮脐 白茯苓三分 白术半两 当归半两，锉，微炒 枳实半两，麸炒微黄 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 芎藭半两 柴胡半两，去苗 桔梗半^⑧两，去芦头 白芍药半两 黄耆半两，锉

右件药，捣筛为散，每服三^⑨钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷油腻湿面猪犬肉。

治脾胃气虚弱，不思饮食，肌体羸瘦，四肢无力，宜服思食补益人参散方：

人参一两，去芦头 白术一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 五味子一两 黄耆一两，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 木香半两 甘草一分，炙微赤，锉 桂心半两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃气久虚，腹胁胀满，肌体羸瘦少

1 大：太平圣惠方作“中”。
2 方：此下脱字，按文义应作“枳”。
3 三：太平圣惠方作“一”。
4 二：太平圣惠方作“一”。
5 两：太平圣惠方作“合”。
6 二：太平圣惠方作“一”。
7 五：太平圣惠方作“三”。
8 半：太平圣惠方作“一”。
9 三：太平圣惠方作“二”。

力，大小便不调，或加气促，吃食减少，宜服河梨勒散方：

河梨勒三分，煨，用皮 木香三分 鳖甲三分，涂醋，炙令黄，去裙襕 川大黄三分，铤，微炒 当归三分，铤，微炒 牛膝三分，去苗 桔梗三分，去芦头 肉桂三分，去皱皮 白芍药三分 白术三分 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 乾姜半两，炮裂，铤 桃仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 甘草一分，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服。忌生冷油腻牛犬肉苋菜。

治脾胃气久弱，肌体羸瘦，或加劳气，大肠不调，有时痰逆，不思饮食，四肢少力，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 柴胡一两半，去苗 白茯苓一两 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白术一两 桔梗一两，去芦头 陈橘皮二两，汤浸，去白瓢，焙 五味子一两 黄耆一两，铤 当归一两，铤，微炒 半夏¹□两，汤洗七遍，去滑 桂心三分 槟榔一两 甘草半两，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，四肢少力，或时痰逆，不思饮食，宜服丁香散方：

丁香三分 高良姜三分，铤 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 草豆蔻三分，去皮 白术三分 人参三分，去芦头 黄耆三分，铤 白茯苓三分 肉桂三分，去皱皮 附子三²分，炮裂，去皮脐 河梨勒三分，煨，用皮 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 半夏半两，汤洗七遍，去滑 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 甘草一分，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾胃气虚弱，令人身重，不欲饮食，四肢少力，肌体羸^③，宜服黄耆散方：

黄耆三分，铤 甘草半两，炙微赤，铤 桂心一两

白术一两 熟乾地黄一两 人参一两，去芦头 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白茯苓一两 当归一两，铤，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 乾姜三分，炮裂，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻犬肉。

治脾胃气久弱，不思饮食，肌体羸瘦，少力，腹胁疼痛，面色萎黄，宜服白术丸方：

白术一两 槟榔三分 河梨勒三分，煨，用皮 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 木香半两 附子一两，炮裂，去皮脐 白芷半两 肉豆蔻三分，去壳 桂心三分 丁香半两 当归一两，铤，微炒 乾姜半两，炮裂，铤 缩砂二⁴分，去皮 黄耆一两，铤 人参半两，去芦头 白茯苓一两 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。忌生冷油腻湿面。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，不思饮食，四肢少力，宜服补益黄耆丸方：

黄耆三分，铤 白茯苓三分 桂心半两 山茱萸三分 白术三分 麦门冬半两，去心，焙 当归半两，铤，微炒 五味子半两 石斛三分，去根，铤 人参三分，去芦头 附子三⁵分，炮裂，去皮脐 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 熟乾地黄三分 牛膝三分，去苗 薯蓣三分

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以姜枣汤下三十丸。忌生冷油腻牛犬肉。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，不能饮食，食不消化，宜服附子丸方：

附子一两，炮裂，去皮脐 桂心三⁶分 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 甘草一分，炙微赤，铤 当归三分，铤，微炒 小麦曲二两，微炒令黄 川椒半两，去目及闭口，微炒出汗

1 夏：此下脱字，太平圣惠方作“一”。

2 三：太平圣惠方作“二”。

3 羸：太平圣惠方此下有“瘦”字。

4 二：太平圣惠方作“三”。

5 三：太平圣惠方作“二”。

6 三：太平圣惠方作“半”。

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以姜枣汤下二十丸。忌生冷油腻犬肉。

治脾藏虚冷泄痢诸方

夫脾胃及大肠虚弱，则邪冷之气乘之，食饮留滞不消，而成痢也。脾主消于水谷，胃为水谷之海，今脾胃既虚，内积冷气，流于大肠，大肠为传道之府，化物出焉，今脏腑俱虚，故令泄痢也。

治脾藏虚冷，不思饮食，腹内疝痛，大肠泄痢，水谷不化，宜服厚朴散方：

厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参半两，去芦头 当归三分，锉，微炒 乾姜半两，炮裂，锉 白术半两 乾木瓜三分 高良姜半两，锉 诃梨勒三分，煨，用皮 桂心三分 木香半两 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。忌生冷油腻。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，腹内疼痛²，四肢不和，少思饮食，宜服木香散方：

木香一两 肉豆蔻一两，去壳 人参一两，去芦头 附子二两，炮裂，去皮脐 当归二分³，锉，微炒 乾姜一两，炮裂，锉 甘草半两，炙微赤，锉 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 陈橘皮二两，汤浸，去白瓢，焙 苍术二两，锉，炒 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令黄熟

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服之。

治脾藏虚冷，吃食减少，大肠泄痢，腹痛，四肢乏力，宜服白术散方：

白术一两 乾姜半两，炮裂，锉 桂心半两 人参半两，去芦头 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 附子二⁴两，炮裂，去皮脐 缩砂⁵一两，去皮 草豆蔻一两，去皮 当归一两，锉，微炒 诃梨勒一两，煨，用皮

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前热服。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，腹痛，食不消化，阿胶散方：

阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 艾叶一两，微炒 乾姜三分，炮裂，锉 赤石脂三分 当归一两，锉，微炒 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 桂心半两 芍药半两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣细罗为散，每服食前，以热粥饮调下二钱。忌生冷油腻湿面。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，食不消化，腹内疼痛，手足多冷，面色青黄，宜服诃梨勒散方：

诃梨勒一两，微煨，用皮 附子一两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锉 龙骨一两，烧过 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙干，微炒 当归一两，锉，微炒

右件药捣细罗为散，每服食前，以热粥饮调下二钱。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，腹内疼痛，四肢羸瘦，少力，或渴，不思饮食，宜服厚朴散方：

厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 苍术一两 诃梨勒三⁶分，煨，用皮 当归三分，锉，微炒 乾姜半两，炮裂，锉 木香半两 缩砂一两，去皮 赤石脂一两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣细罗为散，每服食前，以热粥饮调下二钱。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，腹痛，水谷不化，面色青黄，少思饮食，宜服木香丸方：

木香半两 附子一两，炮裂，去皮脐 赤石脂一两 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 缩砂一两，去皮 诃梨勒一两，煨，用皮 高良姜三分，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 当归三分，锉，微炒 草豆蔻三分，去皮 白术一两 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以热粥饮下三十

1 于：太平圣惠方无此字。

2 痛：太平圣惠方此下有“心腹”两字。

3 分：太平圣惠方作“两”。

4 二：太平圣惠方作“一”。

5 一：太平圣惠方作“二”。

6 三：太平圣惠方作“一”。

丸。忌生冷油腻。

治脾藏虚冷，食即呕逆，谷食不化，或多泄痢¹，宜服厚朴丸方：

厚朴四两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 乾姜二两，炮裂，铤 人参一两半，去芦头 吴茱萸一两，汤浸七遍，焙乾，微炒 陈橘皮二两，汤浸，去白瓢，焙 白术二两半 夏一两半，汤洗七遍，去滑 当归一两半，铤，微炒 桔梗一两，去芦头 甘草半两，炙微赤，铤

右件药捣罗为末，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服以姜枣汤下三十丸，不计时候服之。

治胃虚冷诸方

夫胃合于脾，足阳明是其经也。为水谷之海，凡五味五谷，入口则胃实而肠虚，食下则肠实而胃虚，故六腑实而不满，五脏满而不实，若藏气不足调之于胃，胃虚则生寒，寒则苦饥，心腹恒痛，两胁虚胀，咽喉不利，食饮不下，面目浮肿，渐渐恶风，目中急，足胫寒，不得安卧，则是胃虚冷之候也。

治胃虚冷，渐渐恶寒，目中急痛，耳鸣胫寒，不得卧，心腹多冷气，身体无泽，补胃黄耆散方：

黄耆一两，铤 防风一两，去芦头 柏子仁一两 细辛一两 桂心一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 人参一两，去芦头 芎藭一两 吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒 甘草一分，炙微赤，铤

右件药捣筛为散，每服五钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前温服。忌生冷油腻。

治胃中虚冷，胸膈腹胁胀满，四肢不利，人参散方：

人参三分，去芦头 白术半两 赤茯苓半两 黄耆半两，铤 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 诃梨勒一两，煨，用皮 附子三分，炮裂，去皮脐 木香半两 桔梗半两，去芦头 大腹皮半两，铤 甘草一分，炙微赤，铤

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治胃中虚冷，肌肉不荣，身体枯燥，骨节皆痛，宜服熟乾地黄散方：

熟乾地黄一两 白茯苓三分 当归三分²，铤，微炒 麦门冬三分，去心，焙 乾姜半两，炮裂，铤 川椒一分，去目及闭口者，微炒去³汗 吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒 桂心三分 甘草半⁴两，炙微赤，铤 人参一两，去芦头 五味子三分 木香三分

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。忌生冷。

治胃中虚冷，气攻腹胁，妨闷，食久不消，宜服厚朴散方：

厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 肉豆蔻三分，去壳 木香三分 诃梨勒一两，煨，用皮 槟榔三分 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治胃中虚冷，气上奔，胸中愤闷，腹中⁵疝痛，吐利宿水，宜服人参丸方：

人参半两，去芦头 桂心半两 乾姜半两，炮裂，铤 白茯苓半两 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 诃梨勒一两半，煨，用皮 神巧万全方一两 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 白术半两 木香半两 万全方加丁香半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，丸如梧桐子大，每服食煎⁶，以粥饮下三十丸。

治胃实热诸方

夫胃实则热，热则恒渴引水，头痛如疟，唇口皆乾，喜嘔，或生乳痈，及缺盆腋下肿，腹胀，身热，心悬，消谷喜饥，溺色黄者，则是胃实热之候也。

治胃实热，苦头痛，汗不出，状如温疟，唇口皆乾，或生乳痈，及缺盆腋下肿，名曰胃实，宜服泻热梔子散方：

1 痢：太平圣惠方作“痛”。
2 三：太平圣惠方作“一”。
3 去：太平圣惠方作“出”。
4 半：太平圣惠方作“一”。
5 中：太平圣惠方无此字。
6 煎：太平圣惠方作“前”。

梔子仁一两 赤芍药一两 犀角屑一两 赤茯苓一两 黄芩一两 射干一两 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣筛为散，每服半两，以水一大盏，煎至六分，去滓，入生地黄汁一合，蜜一大匙¹，搅令匀，更煎一两沸，食后分温二^②服。忌炙煨热面。

治胃实热，苦头痛，汗不出，口中乾燥，子芩散方：

子芩三分 赤茯苓半两 甘草半两，炙微赤，锉 柴胡一两，去苗 葛根半两，锉 麻黄半两，去根节 石膏三分 五加皮半两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食后温服。忌炙煨热面。

治胃实热，常渴引饮水，宜服泄热芦根散方：

芦根一两，锉 赤茯苓三分 栝楼根一两 麦门冬一两，去心 知母半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服钱三³，以水一中盏，入小麦五十粒，竹叶二七片，生地黄一分，生姜半分，煎至六分，去滓，食后放温服之。

治胃实热，多渴心烦，黄连丸方：

黄连一两，去须 栝楼根一两 麦门冬一两半，去心，焙 知母三分 茯神三分

右件药捣罗为末，炼蜜和捣百余杵，丸如梧桐子大，食后以粥饮下三十丸，或牛乳汁下亦得，忌炙煨热面。 圣济总录治胃实热气盛，消谷善饥，头目昏痛，衄血烦渴。黄连去须 栝楼根 麦门冬去心，焙 知母焙 茯神去木。各一两 右五味捣罗为末，炼蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，温熟水下不拘时。

治胃实热，呕逆不下食，宜服犀角散方：圣济总录治胃实热，呕啰吐逆，不食，头痛，烦渴。

犀角屑三分 总录一两 枇杷叶一两，拭去毛，炙微黄 葛根三分，锉 总录一两 麦门冬一两，去心 总录焙

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，总录水一盏，煎至七分。去滓，不计时候温服。

治胃中实热，吐逆不受饮食，心神烦渴，宜服此方：

生姜半两，研取汁 糯米半合，淘，细研 蜜一合 右件药相和，入新汲水一中盏，分为二服。

治肺虚补肺诸方

夫肺为华盖，覆于诸藏，若肺虚则生寒，寒则阴气盛，阴气盛则声嘶，语言用力，颤掉缓弱，少气不足，咽中乾，无津液，虚寒乏气，恐怖不乐，咳嗽及喘，鼻有清涕，皮毛燠枯，诊其脉沉缓^④，此是肺虚之候也。

治肺气虚，恶寒咳嗽，鼻有清涕，喘息气微，四肢少力，宜服补肺白石英散方：

白石英一两，细研如粉 五味子一两 麦门冬三分，去心 乾姜半两，炮裂，锉 白茯苓一两 附子一两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉 桂心一两 阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 人参一两，去芦头 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷油腻等。

治肺藏气虚，胸中短气，咳嗽声微，四肢少力，宜服此补肺阿胶散方：

阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 薯蓣一两 人参一两，去芦头 五味子一两 麦门冬一两，去心，焙 乾姜半两，炮裂，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 白术一两 桂心三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以粥饮调下一钱。

治肺藏气虚无力，手脚颤掉，吃食减少，宜服补肺黄耆散方：

1 匙：太平圣惠方作“盏”。

2 二：太平圣惠方无此字。

3 钱三：太平圣惠方作“三钱”。

4 缓：太平圣惠方此下有“者”字。

黄耆一两，锉 人参一两，去芦头 茯神一两 麦
门冬一两，去心 白术三分 五味子一两 桂心一两
熟乾地黄一两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 当
归三分，锉，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 白芍药三分
牛膝三分，去苗

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中
盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，
不计时候温服。

治肺藏气虚，咳嗽少力，言语声嘶，吃
食全少，日渐羸瘦，宜服补肺人参散方：

人参一两，去芦头 紫苑半两，洗去苗土 鹿角
胶一两，捣碎，炒令黄燥 黄耆一两，锉 桂心一两 紫
苏茎叶三分 白术三分 五味子半两 熟乾地黄
一两 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 乾姜半
两，炮裂，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中
盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候
温服。

治肺藏气虚，伤冷咳嗽，怯寒无力，不
思饮食，宜服补肺杏仁散方：

杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 桂心一两
厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参一两，去芦头
诃梨勒一两，煨用皮 白术三分 甘草半两，炙微赤，锉
乾姜三分，炮裂，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 附
子一两，炮裂，去皮脐 白茯苓一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时
候温服。

治肺藏气虚，失声，胸中痛，喘息鸣，
宜服补肺钟乳丸方：

钟乳粉一两 麦门冬三分，去心，焙 桂心一两
五味子一两 桑根白皮半两，锉 白石英一两，细研
水飞过 人参一两，去芦头 乾姜半两，炮裂，锉 陈
橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 薯蕷三分 白茯苓三分

右件药捣罗为末，用枣肉和丸，如梧桐
子大，每服不计时候，以粥饮下三十丸。

治肺实泻肺诸方

夫肺实则生热，热则阳气盛，阳气盛则

胸膈烦满，口赤鼻张，饮水无度，上气咳逆，
咽中不利，体背生疮，尻、阴、股、膝、踡、
胫、足皆痛，诊其脉滑实者，是肺实之候也。

治肺藏气实，心胸壅闷，咳嗽烦喘，大
肠不利，宜服泻肺大麻仁散方：

大麻仁二两 桑根白皮三分，锉 槟榔一两
天门冬三分，去心 赤茯苓三分 枳壳三分，麸炒微
黄，去瓤 汉防己二分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候温服。忌炙煨热面大蒜。

治肺藏气实，上焦痰滞，不下饮食，宜
服泻肺散方：

枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 旋复花半两 川芒
消一两 前胡三分，去芦头 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候温服。

治肺藏气实，心胸烦壅，咳嗽喘促，大
肠气滞，宜服泻肺大黄煎方：

川大黄二两，锉碎，微炒 生地黄汁三合 杏仁
一两，汤浸去皮尖双仁，生研 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤
牛蒡根汁二合 郁李仁二两，汤浸，去皮尖，微炒

右件药捣细罗为散，用蜜四两，酥二两，
入前二味汁，同于银锅子内，入诸药末，搅
令匀，慢火煎令成膏，收于瓷合内，每服不
计时候，以清粥饮调下一茶匙。

治肺藏气实，心胸壅闷，喘促咳嗽，面
目浮肿，宜服泻肺丸方：

马兜铃一两 款冬花半两 甜葶苈三分，隔纸
炒令紫色 赤茯苓一两 杏仁一两，汤浸去皮尖双仁，麸
炒微黄 汉防己三分 甘草半两，炙微赤，锉 陈橘
皮三分，汤浸，去白瓤，焙 桑根白皮一两，锉 皂荚
四挺，不蛀者，去黑皮，涂酥，炙微黄，去子

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下三
十丸。

1 二：太平圣惠方作“三”。

治肺藏气实，胸膈壅滞，大肠不利，宜服牵牛子丸方：

牵牛子一分，生用 马牙消一两，炼令汁尽 鸡肫胗半两，生用，阴乾 甜葶苈半两，隔纸炒令紫色 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。

治肺藏气实，心胸壅闷，咳嗽喘促，大肠气滞，葶苈丸方：

甜葶苈三分，隔纸炒令紫色 杏仁三七枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 牵牛子一两，微炒 汉防己一两 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服不计时候，煎桑根白皮汤下二十丸。

又方：

川大黄一两，铤碎，微炒 五味子一两 车前子一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下三十丸。

治肺气不足诸方

夫藏腑之精气^①，皆上注于肺，肺主于气，气为卫，流行于诸阳之经，荣华于皮毛，若其气不足，则胸满^②短气，咽中闭塞，咳逆涕唾，寒从背起，口中如含霜雪，语言失声，皮毛萎痒，皆肺气不足之候也。

治肺气不足，烦满喘嗽，气逆上卫，唾血，或自惊恐，皮毛自起，或呕逆歌^③笑，心烦不定，耳中虚鸣，或如风雨，面色常白，宜服白石英散方：

白石英一两，细研如粉 钟乳粉一两 款冬花二两 桂心二两 天门冬一两，去心 桑根白皮一两，铤 紫苑一两，洗去苗土 人参一两半，去芦头 五味子二两 白茯苓一两

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，糯米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气不足，胸中短气，咳嗽恶寒，白术散方：

白术三分 紫苑半两，洗去苗土 乾姜半两，炮裂，铤 人参三分，去芦头 熟乾地黄三分 桂心一两 五味子三分 甘草半两，炙微赤，铤 黄明胶三分，捣碎，炒令黄燥 白茯苓三分。

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，糯米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气不足，逆满上气，咽喉中闭塞，寒从背起，口中如含霜雪，言语失声，甚者吐血，宜服紫苑散方：

紫苑一两，洗去苗土 五味子一两 款冬花一两 桂心一两 麦门冬二两，去心 桑根白皮二两，铤

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，粳米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气不足，心胸烦满，喘促咳嗽，五味子散方：

五味子一两 白石英一两，细研如粉 钟乳粉一两 桂心一两 桑根白皮一两，铤 陈橘皮一两半，汤浸，去白瓢，焙 杏仁三十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 紫苑三分，洗去苗土 紫苏子一两，微炒 麦门冬一两，去心

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚^⑤，米五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气虚损不足，气乏胸中烦闷，宜服此方：

陈橘皮二两，汤浸，去白瓢，焙 麻黄二两，去根节 右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入小麦五十粒，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺藏中风诸方

夫肺中风者，由腠理开疏，气血虚弱，

① 气：太平圣惠方无此字。
② 满：太平圣惠方作“膈”。
③ 歌：太平圣惠方此下有“哭”字。
④ 二：太平圣惠方作“一”。
⑤ 枚：太平圣惠方此下有“橘”字。

风邪所侵，攻于藏腑也。肺主于气，气为卫，卫为阳，阳气行于表，荣华于皮肤，若卫气虚少，风邪相搏，则胸满短气，冒闷汗出，嘘吸颤掉，语声嘶寒^①，身体沉重，四肢萎弱，其脉浮数者，是肺藏中风之候也。

治肺藏中风，气攻，背痛项强，皮毛焦枯，头疼鼻塞，四肢不利，遍身瘙痒，宜服防风散方：

防风三分，去芦头 人参三分，去芦头 赤茯苓三分 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 贝母三分，煨令微黄 前胡三分，去芦头 半夏三分，汤洗七遍，去滑 芎藭三分 木香三分 天麻三分 羌活三分 桂心三分 甘菊花三分 细辛三分 附子三分，炮裂，去皮脐 麻黄三分^②，去根节 藁本三分 桑根白皮三分，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，薄荷二七叶，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌热面鸡猪鱼等。

治肺藏中风，项强头旋，胸满短气，噤乾，嘘吸颤掉，语声嘶^③，四肢缓弱，宜服芎藭散方：

芎藭一两 防风三分，去芦头 独活三分 桂心三分 前胡三分，去芦头 细辛半两 五味子三分 黄耆半两，锉 甘菊花半两 附子三分，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根节 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 人参三分，去芦头 茯神三分 山茱萸半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。忌生冷毒滑油腻。

治肺藏中风冷，头疼项强，背痛鼻乾，心闷，语声不出，胸中少气，四肢无力，疼痛，宜服独活散方：

独活一两 细辛一两 附子一两，炮裂，去皮脐 甘菊花一两 麻黄一两，去根节 木通一两，锉 五味子一两 赤茯苓一两 紫苑一两，洗去苗土 桂心一两 白术一两 芎藭一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 桑根白皮一两，锉 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺藏中风，项强头旋，皮中如虫行，腹胁胀满，语声不出，四肢顽痹，大肠不利，宜服白蒺藜散方：

白蒺藜三分，微炒，去刺 羌活三分 沙参三分，去芦头 丹参三分 麻黄二^④分，去根节 白术三分 羚羊角屑三分 细辛三分 葶藶三分，锉 五加皮三分 五味子三分 生乾地黄三分 赤茯苓三分 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 菖蒲三分 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 郁李仁三分，汤浸，去皮尖，微炒 附子三分，炮裂，去皮脐 桂心三分 木通三分，锉 槟榔三分

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷毒滑鱼肉。

治肺藏中风，项强，皮毛焦痒^⑤，口乾心烦，头目不利，四肢无力，疼痛，宜服犀角散方：

犀角屑 天竹黄细研 人参去芦头 卷柏 赤箭 藁本 羌活 防风去芦头 芎藭 桂心 独活 五加皮 黄耆锉 甘菊花 麻黄去根节 赤芍药 细辛 当归锉，微炒 枳壳麸炒微黄，去瓢 天门冬去心，焙 苍耳子 甘草炙微赤，锉。已上各半两 牛黄半分，细研入 麝香半分，细研入

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令匀，每服不计时候，以荆芥薄荷汤调下一钱。

治肺藏中风，心胸气促，项背强硬，皮肤不仁，麻黄散方：

麻黄三分，去根节 附子三分，炮裂，去皮脐 天麻三分 白花蛇肉三分，酥拌炒微黄 防风三分，去芦头 细辛三分 芎藭三分 菖蒲三分 荆芥三分 桑根白皮三分，锉 白蒺藜三分，微炒，去刺 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 牛黄一分，细研 麝香一分，细研

① 寒：太平圣惠方作“塞”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 嘶：太平圣惠方此下有“塞”字。

④ 二：太平圣惠方作“三”。

⑤ 痒：太平圣惠方作“痒”。

右件药捣细罗为散，每服不计时候¹ □ □ □ □ 酒调下一钱。

治肺藏中风，项强背痛，四肢缓弱，言语不出² 闷咽乾，手足颤掉，心胸短气，目眩头旋，皮肤顽痹，牛黄丸方：

牛黄 半两，细研 赤箭 半两 羌活 半两 细辛 半两 桂心 半两 当归 半两³，微炒 甘菊花 半两 防风 半两，去芦头 天雄 半两，炮，去皮脐 麻黄 半两，去根节 蔓荆子 半两 白术 半两 杏仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 葶藶 半两，锉 茯神 半两 山茱萸 半两 羚羊角屑 半两 芎藭 半两 犀角屑 半两 五加皮 半两 五味子 半两 阿胶 半两，捣碎，炒令黄燥 人参 半两，去芦头 枫香 半两 天南星 半两，炮裂 白附子 半两，炮裂 龙脑 一分，细研 麝香 一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，更研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥汤下十五丸。

治肺藏风毒皮肤

生疮搔痒诸方

夫肺主于表，荣于皮毛，若热毒结伏在于藏腑，积蓄日久，不能宣通，则攻于表也。或触冒风冷⁴，腠理开疏，风邪客于肌肉，真气散失，邪气与卫气并行，风热相搏，流走皮肤之间，则生疮而多痒也。

治肺风，皮肤搔痒，搔之成疮，心神虚烦，头目不利，宜服牛黄散方：

牛黄 细研 犀角屑 杏仁 汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 防风 去芦头 细辛 天竹黄 细研 茯神 白鲜皮 川大黄 锉碎，微炒 羌活 子芩 麦门冬 去心，焙 白僵蚕 微炒 槟榔 羚羊角屑 甘草 炙微赤，锉。已上各半两 麝香 一分，细研

右件药捣细罗为散，入牛黄麝香，更研令匀，每服不计时候，以荆芥汤调下一钱。忌热面鸡猪鱼蒜等物。

治肺藏风毒，攻皮肤，生疮肿疼痛，心神烦热，羚羊角散方：

羚羊角屑 赤茯苓 防风 去芦头 麦门冬 去心，焙 犀角屑 白蒺藜 微炒，去刺 苦参 锉 秦

芫 去苗 子芩 升麻 地骨皮 牛蒡子 微炒 桑根白皮 锉 枳壳 麸炒微黄，去瓢 黄耆 锉 柴胡 去苗 川大黄 锉碎，微炒 玄参 梔子仁 甘草 炙微赤，锉。已上各半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温浆水调下一钱。忌鸡猪毒滑物。

治肺藏风毒，皮肤生疮，欲似大风者，宜服五参散方：

人参 一两，去芦头 沙参 一两，去芦头 玄参 半两 苦参 一两⁵ 丹参 一两 赤箭 一两 乌蛇 三两，酒浸，去皮首，炒令黄 白蒺藜 一两，微炒，去刺 甘草 半两，炙微赤，锉。已上九味，捣细罗为散 桑根白皮 一两 白杨皮 一两 地骨皮 一两 槐白皮 一两

右件⁶桑根白皮等四味，并细锉，用生姜汁煮三二十沸，取出焙乾，捣细罗为散，与前九味药末相和，令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治肺藏风毒壅滞，皮肤及面上瘡疱，或如麻豆，苦痒，搔之即赤痛，或破为疮，枫香散方：

枫香 景天花 芥苳 贝母 煨令微黄 甘草 炙微赤，锉 天麻 防风 去芦头 细辛 牡荆子 甘菊花 羌活 川升麻 藁本 白鲜皮 荷叶 紫苑 洗去苗土 石膏 细研 枳实 麸炒微黄。已上各半两

右件药捣细罗为散，不计时候，温浆水调下一钱。

治肺藏风毒，遍身生疮，或生白癩，或生斑点，及皮肤皴裂，宜服白花蛇散方：

白花蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 天麻 一两 槐子 一两，微炒 羌活 一两 防风 一两，去芦头 晚蚕沙 一两，微炒 蔓荆子 一两 白鲜皮 一两 葳灵仙 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以

¹ 候：此下脱字，太平圣惠方作“以薄荷汤调”，但下无“酒调”二字

² 冒：太平圣惠方作“胸(冒)”。

³ 两：太平圣惠方此下有“铤”字。

⁴ 冷：太平圣惠方作“寒”。

⁵ 一：太平圣惠方作“二”。

⁶ 件：太平圣惠方此下有“药”字。

温酒调下一钱。

治肺藏风毒，鼻塞面痒生疮¹，独活散方：

独活一两 蔓荆子半两 人参一两，去芦头 黄芩三分 玄参三分 秦艽三分，去苗 沙参三分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 羚羊角屑三分 白鲜皮三分 防风三分，去芦头 甘菊花三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温浆水调下一钱。

治肺藏风毒壅热，鼻塞乾燥²，大肠秘涩，宜服枳实散方：

枳实一两，麸炒令黄 川大黄一两半，锉，微炒 川朴消一两半 郁李仁一两半，汤浸，去皮尖，微炒 芎藭三分 牛蒡子三分，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以蜜水调下一钱。

治肺藏风毒，皮肤生疮疹，宜服玄参丸方：

玄参三分 羚羊角屑三分 木香三分 羌活三分 鲜白皮³三分 沙参三分，去芦头 零陵香三分 槟榔三分 人参三分，去芦头 赤茯苓三分 黄耆三分，锉 白芷三分 马牙消三分 龙脑一分，研 麝香一分，研 铝霜一分，研

右件药捣罗为末，入龙脑等同研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷汤嚼下十丸。

治肺藏风毒，皮肤遍生疮疱，颈⁴颌生结核，宜服犀角丸方：

犀角屑半两 连翘三分 麦门冬三分，去心，焙 子芩半两 川升麻三分 地骨皮一分 防风三分，去芦头 秦艽一分，去苗 川大黄半两，锉碎，微炒 梔子仁半两 漏芦一分 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 牛蒡子三分，微炒 苦参一分，锉 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 白蒺藜一分，微炒，去刺

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温浆水下二⁵十丸。

治肺藏风毒，皮肤疮癬，心神烦燥⁶，体热，宜服乌蛇丸方：

乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 秦艽三分，去苗 犀角屑一两 川升麻三分 子芩三分 牛蒡子三分，微炒 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 防风三分，去芦头 川大黄一两，锉碎，微炒 苦参三分，锉

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温浆水下二十丸。

治肺藏风毒，皮肤瘙痒，疮疥癰疹，宜服白花蛇丸方：

白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 人参一两，去芦头 玄参一两 沙参一两，去芦头 丹参一两 苦参一两，锉 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 黄芩半两 防风半两，去芦头 漏芦半两 白蒺藜半两，微炒，去刺 川大黄半两，锉碎，微炒 秦艽半两，去苗 白鲜皮半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。

治积年肺藏风毒，遍身生疮，大肠壅滞，心神烦躁，宜服皂荚煎⁷：

皂荚二斤，不种麝好者，用一斤生捣碎，以水一斗，浸一宿，揉取汁 梨一十枚 生薄荷一斤 生荆芥一斤 已上三味，入在皂荚水内，同揉洗令极烂，以生绢绞取汁煎⁸。

皂荚一斤，刮去黑皮，以酥二⁹两薄涂，慢火炙令黄焦，酥尽为度 防风去芦头 藏灵仙 独活 羌活 甘菊花 已上各二两

右件药捣罗为末，以一半入在前药汁内，于银锅中，慢火熬，看稀稠得所，入后一半药，同渡为丸，如梧桐子大，每服不计时候，以温浆水下二十丸。

治肺藏风毒，皮肤结硬，及遍身瘙痒生

① 疮：太平圣惠方此下有“宜服”二字。

② 燥：太平圣惠方作“燥”。

③ 鲜白皮：太平圣惠方作“白鲜皮”。

④ 颈：太平圣惠方作“头”。

⑤ 二：太平圣惠方作“五”。

⑥ 燥：太平圣惠方作“躁”。

⑦ 煎：太平圣惠方此下有“丸”字。

⑧ 煎：太平圣惠方作“煎”。

⑨ 二：太平圣惠方作“三”。

疮，大肠不利，宜服大麻仁丸方：

大麻仁 二两，别研如膏 防风 一两，去芦头 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 旋复花 一两 川大黄 三两，锉碎，微炒 木香 一两 槟榔 一两 川升麻 一两 杏仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣罗为末，以不蛀皂荚二十挺，碎捶，用水四升，揉取汁，慢火煎成膏，入前药末，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时时候，以温水下三十丸。

治肺藏风毒，皮肤赤痒，生疮肿疼痛，宜服五参丸方：

人参 半两，去芦头 丹参 一两 玄参 一两 沙参 一两，去芦头 苦参 一两，锉 茯神 三分 秦艽 三分，去苗 白附子 三分，炮裂 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓢 羌活 三分 川大黄 二两，锉碎，微炒 乌蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 细辛 一分 白鲜皮 三分 防风 三分，去芦头

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时时候，以温浆水下三十丸。

治肺藏风毒，攻皮肤生疮，黄连丸方：

黄连 去须 川大黄 锉碎，微炒 苦参 锉 防风 去芦头 枳壳 麸炒微黄，去瓢 川升麻 牛蒡子 微炒 木通 锉 秦艽 去苗 黄芩 已上各一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时时候，以温浆水下二十丸。

治肺藏风毒，外攻皮肤，瘙痒生疮，宜服此方：

天麻 一两 蝉壳 一两 皂荚 ③ 两，去皮，涂酥，炙令黄燥，去子

右件药捣罗为末，用精白羊肉烂研，和丸如梧桐子大，每服不计时时候，以荆芥汤下二十丸。

治肺藏风毒，皮肤生疮疥，宜服此方：

牡荆子 ① 两 防风 三两，去芦头 皂荚 ② 挺，去皮，涂酥，炙微黄，去子 桑螵蛸 二两，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时时候，以荆芥汤下

二十丸。

治肺藏伤风冷多涕诸方

夫藏腑虚弱，气血不足，则风冷之气伤于肺也。肺主气，气之所行，循环经络，若气虚则外邪所侵，真气与邪气相搏，故令咳逆恶寒，语声散失，目眩头旋，鼻多涕也。

治肺藏外伤风寒，头目不利，多涕，宜服桂心散方：

桂心 三分 白术 三分 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 人参 三分，去芦头 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 附子 三分，炮裂，去皮脐 赤茯苓 三分 五味子 三分 麻黄 三分，去根节 乾姜 半两，炮裂，锉 杏仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 细辛 半两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时时候稍热服。忌生冷猪鱼油腻等。

治肺藏外伤风冷，时有咳嗽，头目不利，多涕，宜服细辛散方：

细辛 三分 芎藭 半两 乾姜 半两，炮裂，锉 杏仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 赤茯苓 三分 白术 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 桂心 半两 前胡 半两，去芦头 甘草 半两，炙微赤，锉 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时时候稍热服。忌生冷湿面油腻。

治肺藏伤风冷，头目昏重，常多清涕，少思饮食，白术散方：

白术 半两 人参 一两，去芦头 肉桂 半两，去皱皮 桔梗 半两，去芦头 厚朴 一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 细辛 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 陈橘皮 一两，汤浸，去白瓢，焙 杏仁 二分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

① 三：太平圣惠方作“二”

② 二：太平圣惠方作“三”

③ 一：太平圣惠方作“三”

④ 三：太平圣惠方作“二”

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治肺藏因伤风冷，痰嗽不止，心膈烦满，或时呕逆，鼻中多涕，前胡散方：

前胡一两，去芦头 桔梗半两，去芦头 半夏半两，汤洗七遍，去滑 白术三分 人参二分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 桂心一两 甘草半两，炙微赤，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 细辛半两 枇杷叶半两，拭去毛，炙微黄 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治肺藏伤风冷，咳嗽，头痛不可忍，及多涕，厚朴散方：

厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 前胡一两，去芦头 桂心一两 石膏一两 赤芍药一两 贝母一两，煨令微黄 甘草一分^①，炙微赤，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治肺藏伤风冷，咳嗽多涕，心膈痰逆，不欲饮食，宜服人参散方：

人参三分，去芦头 半夏半两，汤洗七遍，去滑 乾姜半两，炮裂，锉 白茯苓半两 白术半两 甘草半两，炙微赤，锉 五味子半两 肉桂半两，去皱^②皮 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 黄耆半两，锉 诃梨勒三分，煨，用皮

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治肺藏伤风冷，鼻中多涕，四肢疼痛，不思饮食，当归散方：

当归半两，锉，微炒 人参三分，去芦头 桂心三分 乾姜半两，炮裂，锉 白术半两 白茯苓半两 甘草半两，炙微赤，锉 芍药半两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 细辛半两 白芍药半两

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治肺气头面四肢浮肿诸方

夫肺者，内主于气，外应皮毛，若肺气不足，邪气所攻，则经络否涩，藏腑壅滞，胸膈痰饮，结聚不消，咳逆面虚，心腹胀满，邪气与卫气相搏，流溢皮肤，遂令浮肿，状如水气也。

治肺气，面目浮肿，咳嗽烦热，心腹壅滞，胸满气促，宜服郁李仁散方：

郁李仁一两，汤浸，去皮尖，微炒 汉防己一两 赤茯苓一两 贝母一两，煨^③令微黄 商陆一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 紫苏茎叶一两 桑根白皮一两，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 木香一两 槟榔一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷鸡鱼大蒜。

治肺气壅盛，攻头面，四肢浮肿，胸膈痰逆，不下^④食，宜服泽漆散方：

泽漆一两 羌活三分 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 旋复花三分 贝母一两，煨令微黄 半夏一两，汤洗七遍，去滑 猪苓一两，去黑皮 前胡三分，去芦头 大腹皮三分，锉 汉防己一两 桑根白皮三分，锉 甜葶苈一两，隔纸炒令紫色 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气攻注，遍身虚肿，按之没指，心腹气滞，大小便涩，状如水气，宜服赤茯苓散方：

① 分：太平圣惠方作“两”。

② 皱：太平圣惠方作“粗”。

③ 煨：此下脱字，太平圣惠方作“令”。

④ 下：太平圣惠方此下有“饮”字。

赤茯苓一两 汉防己一两 川大黄一两半，锉碎，微炒 槟榔三分 柴胡一两，去苗 紫苏茎叶三分 甜葶苈三分，隔纸炒令紫^①色 桑根白皮一两，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治肺气攻四肢，肿满疼痛，宜服陈橘皮散方：

陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 射干三分 汉防己半两 赤茯苓一两 大腹皮一两，锉 泽泻三分 泽漆半两 桑根白皮三分，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入黑豆五十粒，煎至六分，去滓，食前温服。

治肺气壅滞，关膈不通，四肢浮肿，喘息促急，坐卧不得^②，大腹皮散方：

大腹皮三分，锉 汉防己半两 桑根白皮三分，锉 木通三分，锉 赤茯苓一两 郁李仁一两，汤浸，去皮尖，微炒 甜葶苈一两半，隔纸炒令紫色 泽漆三分 桂心半两 百合三^③分 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣筛^④为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气咳嗽，喘急妨闷，面目浮肿，马兜铃散方：

马兜铃一两 桑根白皮一两，锉 汉防己半两 甘草半两，炙微赤，锉 半夏三分，汤洗七遍，去滑 甜葶苈半两，隔纸炒令紫色 百合三分 天门冬三分，去心 赤茯苓三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气喘促烦热，面目浮肿，大肠不利，宜服葶苈丸方：

甜葶苈一两，隔纸炒令紫色 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 马兜铃一两 汉防己一两 郁李仁一两，汤浸，去皮尖，微炒 皂荚无刺者，入小便浸二宿，后去黑皮，涂酥，炙令燥黄，去子，捣末一两 鸡子黄五枚，

泻纸上焙乾为末

右件药，捣罗为末，煮枣肉和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸。

治肺藏气壅，面目四肢浮肿，喘促咳嗽，胸膈满闷，烦热，汉防己丸方：

汉防己一两 商陆一两 麻黄一两，去根节 赤茯苓一两 桑根白皮一两半，锉 甜葶苈一两，隔纸炒令紫色 蛤蚧一对，头尾全者，涂酥，炙微黄 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸，粥饮下亦得。

治肺气咳嗽，头面虚肿，大^⑤便秘涩，宜服此方：

甜葶苈二两，以水净淘洗，过日晒乾，却用浆水浸半日，布子盛蒸一炊久，取出，又晒乾 汉防己半两 桑根白皮三分，锉 郁李仁二两，汤浸，去皮尖，微炒

右件药，捣罗为末，煮枣肉和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以粥饮下二十丸。

又方：

甘遂半两，煨令微黄 川大黄半两，锉碎，微炒 甜葶苈半两，隔纸炒令紫色 前胡三^⑥分，去芦头 巴豆一分，去皮心，研，纸裹压去油

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，丸如绿豆大，每服空心，以粥饮下三丸。

治肺气喘急诸方

夫肺为四藏之上盖，通行诸藏之精气，气则为阳，流行藏腑，宣发腠理。而气者皆肺之所主也，若肺虚邪气所乘，则壅胀，壅胀则肺藏不利，不利则气道涩，故肺气逆而喘急也。

治肺气喘急，时嗽，坐卧不得，喉中鸣，心胸满闷，宜服马兜铃散方：

① 紫：太平圣惠方作“黄”。

② 得：太平圣惠方此下有“宜服”二字。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

④ 筛：太平圣惠方作“罗”。

⑤ 大：太平圣惠方作“小”。

⑥ 三：太平圣惠方作“二”。

马兜铃三分 桑根白皮三分，锉 汉防己半两
麻黄三分，去根节 白茯苓一两 柴胡三分，去苗 白
前半两 大腹皮三分，锉 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，
焙 桔梗三分，去芦头 五味子半两 甘草一分，炙微
赤，锉 紫苑半两，洗去苗上 杏仁五十枚，汤浸，去皮尖
双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨热面。

治肺气喘急，不思饮食，大腹皮散方：

大腹皮锉 赤茯苓 枳壳麸炒微黄，去瓤 桔
梗去芦头 人参去芦头 陈橘皮汤浸，去白瓤，焙 半
夏汤洗七遍，去滑 川大黄锉碎，微炒 杏仁汤浸，去皮
尖双仁，麸炒微黄 诃梨勒皮 桂心已上各半两 甘草
一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气壅滞，咳嗽，发即气喘，妨闷¹，
紫苏散方：

紫苏茎叶一两 猪苓一两，去黑皮 陈橘皮一
两，汤浸，去白瓤，焙 马兜铃七颗，细锉，和皮子 桑
根白皮一两，锉 圣济总录碎，拣去粗皮 麦门冬一两，去
心 大腹皮一两，锉 赤茯苓一两 枳壳一两，麸炒
微黄，去瓤

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治肺气喘急，腹胁疼痛，麻黄散方：

麻黄二两，去根节 赤茯苓一两 桂心一两 桔
梗一两半，去芦头 杏仁四十九枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒
微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。圣济
总录同。

治肺气喘急，下焦虚伤，宜服阿胶膏方：

阿胶三两，捣碎，炒令黄燥，捣末 白羊肾三对，去筋
膜，切细，研 薯蕷二两，捣为末 薤白一握，细切 黄
牛酥四两 杏仁三两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，研如膏
羊肾脂四两，熬去滓

右件药，相和，于瓷瓶内贮之，蒸半日，
令药成膏，每服不计时候，以暖酒调下一茶
匙。

治肺气喘急，咳嗽，桔梗散方：

桔梗一两，去芦头 桑根白皮三分，锉 甘草半
两，炙微赤，锉 阿^②梨勒皮三分 花桑叶半两 贝
母半两，煨令微黄

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，
以糯米粥饮调下一钱。

治肺气喘急，不得眠卧，头不着枕，无
问昼夜，长倚物坐，唯食稀粥。服此药，其
气急当日便减，更经三五日，卧稳头着枕，
小便通，心腹气散，二十日外，平复如故。
兼治十种水病无不愈者，朴消丸方：

川朴消二两，炼熟 川芒消二两，炼熟 消石一
两 已上三味同研令细 犀角屑一两 椒目一两，微炒过
已上二味捣罗为末 葶苈子一两，水淘去浮者，水煮令芽出，
候乾，却炒令黑色 圣济总录半两 甜葶苈一两，隔纸炒令
紫色 总录半两 杏仁二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄。已
上三味同捣如膏 总录二两

右件药，都研总录各研。令匀，以枣肉和捣
三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，
以枣汤下十五丸。

治肺气，定喘嗽，牛黄丸方：

牛黄半两，细研 人参一两，去芦头 赤茯苓一两
蛤蚧一对，头尾全者，涂酥，炙令微黄 诃梨勒三分，煨，用
皮 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙
微赤，锉

右件药，捣罗为末，入牛黄更研令匀，
炼蜜蜡同和丸，如鸡头实大，不计时候，含
一九咽津。

治肺气喘急，坐卧不得，宜服汉防己丸
方：

汉防己一两 乾姜半两，炮裂，锉 甜葶苈三分，隔
纸炒令紫色 猪牙皂荚一两，去黑皮，涂酥，炙令焦黄，去子

右件药，捣罗为末，以枣肉和捣一二百
杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，煎桑根

1 闷。太平圣惠方此下有“宜服”二字。

2 阿。太平圣惠方作“诃”。

白皮汤下十丸。

治多年肺气累疗不差，心膈烦热，喘促，宜服此方：

砒霜一两，以熟绢裹，用大萝卜一枚，开一窍，可容砒霜，又用萝卜塞却以线缠系，内铛中，以水入灯心五束，煮半日出之，取砒霜研令细，入后药用之 五味子半两，捣末 金薄五十片，研 黄药半两，捣末 银薄五十片，研 绿豆粉一两 蜜陀僧半两，研 腻粉一钱

右件药，同研令匀，煮枣肉和丸，如梧桐子大，以沙糖温水，研化一丸，食后服之。

治久患肺气喘急，痰壅闷乱，宜服葶苈

丸方：

甜葶苈一两，隔纸炒令紫色，别研如膏 贝母一两，煨令微黄，捣末 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，研如膏 皂荚二两，捶碎，以酒五合，揉取汁，熬成膏

右件药，都研令匀，以皂荚膏和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以桑根白皮汤下二十丸。

治肺气喘急，睡卧不安，猪胰酒方：

猪胰三具，细切 大枣五十枚，去核

右二味，以无灰酒五升，浸经三日，每服不计时候，温服一小盏，兼治经年嗽病。

五 藏 门_六

圣 惠 方_三

治肺伤风冷声嘶不出诸方

夫藏腑皆受气于肺，肺主于气，气为阳，阳气和平，则声音通畅也。若形寒饮冷，两寒相感，则伤于肺，是以风冷为阴阴^①邪，搏于阳，阴阳不调，气道不通，故令声嘶不出也。

治肺藏外伤风冷，声嘶言不能出，胸膈气滞，宜服半夏散方：

半夏_{半两，汤洗七遍，去滑} 细辛_{三分} 桔梗_{半两，去芦头} 杏仁_{三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄} 陈橘皮_{一两，汤浸，去白瓤，焙} 麻黄_{三分，去根节} 桂心_{二两} 前胡_{半两，去芦头} 枳壳_{半两，麸炒微黄，去瓤} 紫苑_{半两，洗去苗土} 桑根白皮_{半两，锉} 贝母_{半两，煨令微黄} 柴胡_{半两，去苗} 甘草_{一分，炙微赤，锉} 木通_{半两，锉} 诃梨勒皮_{半两}

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷热面。

治肺伤风冷，背寒，语声嘶不出，咳嗽气急，宜服五味子散方：

五味子_{半两} 桂心_{一两} 附子_{一两，炮裂，去皮脐} 款冬花_{半两} 桔梗_{半两，去芦头} 鸡₂ 苏茎叶_{一两} 乾姜_{半两，炮裂，锉}

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肺藏伤风冷，语₃声嘶不出，或吃食后虚喘，宜服附子散方：

附子_{一两，炮裂，去皮脐} 麻黄_{一两，去根节} 杏仁_{一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄} 甘草_{一分，炙微炙^④}

性 赤茯苓_{三分} 菖蒲_{半两} 肉桂_{一两，去皱皮} 陈橘皮_{一两，汤浸，去白瓤，焙}

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肺藏伤风冷，语声嘶不出，喘促痰逆，宜服麻黄散方：

麻黄_{三分，去根节} 五味子_{三分} 桂心_{半两} 甘草_{一分，炙微赤，锉} 半夏_{半两，汤洗七遍，去滑} 人参_{三分，去芦头} 乾姜_{半两，炮裂，锉} 陈橘皮_{三分，汤浸，去白瓤，焙} 杏仁_{一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄}

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肺藏伤风冷，语声嘶不出，喘息不得，宜服紫苑散方：

紫苑_{三分，洗去苗土} 五味子_{半两} 甘草_{一分，炙微赤，锉} 麻黄_{半两，去根节} 赤茯苓_{三分} 木通_{半两，锉} 桂心_{三分} 陈橘皮_{三分，汤浸，去白瓤，焙} 杏仁_{一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄}

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肺藏伤风冷，喘促咳嗽，言语声嘶，咽喉不利，宜服贝母丸方：

贝母_{半两，煨令微黄} 细辛_{三分} 桂心_{一两} 菖蒲_{三分} 甘草_{一分，炙微赤，锉} 百合_{半两} 紫苑_三

① 阴：太平圣惠方作“之”。

② 鸡：太平圣惠方作“紫”。

③ 语：太平圣惠方无此字。

④ 炙：太平圣惠方作“赤”。

分，洗去苗土 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如弹子大，每服不计时候，以绵裹一丸，含咽津。

治肺藏伤风冷，声嘶。宜服温肺顺气通声，含化菖蒲煎方：

菖蒲一两，末 桂心一两，末 生姜半斤^②，绞取汁 白蜜十二两

右件药，先以水一大盏，煎菖蒲、桂心取五分，次入姜汁并蜜，炼成煎^③，不计时候，取一茶匙，含化咽津。

治肺藏气壅，外伤风寒^④，语声嘶不出，咽喉乾痛，宜服生地黄煎方：

生地黄汁一升 生姜汁二合 生麦门冬汁半升 牛酥五两 神巧万全方三两 白蜜半斤 枣肉三十枚，研

已上六味，相和于银锅中，慢火熬令稀稠得所，入后药：

桂心一两 贝母一两，煨令微黄 万全方款冬花 细辛一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，研如膏 菖蒲一两 皂荚子仁一两，微炒

右件药，捣细罗为散，入前地黄煎中，搅令匀，不计时候，取一茶匙含化咽津。

治肺藏痰毒壅滞诸方

夫痰毒者，由肺藏壅热，过饮水浆，积聚在于胸膈，冷热之气相搏，结实不消，故令目眩头旋，心腹痞满，常欲呕吐，不思饮食，皆由痰毒壅滞也。

治肺藏久积痰毒，在于胸膈不散，少思饮食，宜服半夏散方：

半夏一两，汤洗七遍，去滑 木香半两 人参一两，去芦头 槟榔三分 桔梗半两，去芦头 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 前胡一两，去芦头 赤茯苓二两 桂心半两 旋复花半两 麦门冬一两，去心 枇杷叶三分，拭去毛，炙微黄 细辛三分 甘草半两，炙微赤，锉 枳壳二两，麸炒微黄，去瓢

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一

中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨、热面、猪、犬、肉等。

治肺藏痰毒，胸膈壅滞，宜服甘菊花散方：

甘菊花 人参去芦头 大腹皮锉 半夏汤洗七遍，去滑 木香 白术 葳灵仙 枳壳麸炒微黄，去瓢 肉桂去皱皮 河梨勒皮 赤茯苓 郁李仁汤浸，去皮尖，微炒 甘草炙微赤，锉。已上各一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏痰毒壅滞，头旋目眩，宜服旋复花散方：

旋复花半两 人参半两，去芦头 枇杷叶半两，拭去毛，炙微黄 赤茯苓一两 蔓荆子一两 前胡一两，去芦头 桔梗半两，去芦头 防风半两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 半夏三分，汤洗七遍，去滑

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨、热面。

治肺藏痰毒壅滞，心胸满闷，肩背烦疼，不欲饮食，宜服桑白皮散方：

桑根白皮一两，锉 半夏半两，汤洗七遍，去滑 赤茯苓一两 前胡一两，去芦头 大腹皮三分，锉 白术半两 木香半两 甘草一分，炙微赤，锉 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏痰毒壅滞，气逆咳嗽，不思饮食，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 麻黄三分，去根节 甜葶苈三分，隔纸炒令紫色 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 木通三分，锉 乌梅七枚，用肉，微炒 桔梗三分，去芦头 紫

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 斤：太平圣惠方作“两”。

③ 煎：太平圣惠方作“膏”。

④ 寒：太平圣惠方作“冷”。

苑三分，洗去苗土 桑根白皮三分，锉 甘草半两，炙微赤，锉 赤茯苓半两 款冬花三分

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏痰毒壅滞，心膈昏闷，宜服前胡散方：

前胡去芦头 紫苑洗去苗土 诃梨勒皮 枳实 麸炒微黄。已上各一两

右件药，捣细罗为散，每服一钱，不计时候，以温水调服。

治肺藏壅热吐血诸方

夫肺居膈上，与心藏相近。心主于血，肺主于气，气血相随，循环表里。若藏腑久积热毒，则胸膈壅滞，血与气逆行，上注于肺，肺壅不利，故令吐血也。又有体虚劳损，酒食过度，愁忧思虑，恚怒气逆，伤于肺者，亦皆吐血不止也。

治肺壅热，吐血不止，宜服红蓝花散方：

红蓝花一两 犀角屑三分 茅根三分 麦门冬三分，去心 伏龙肝半斤，以水五大盏，浸滤取汁

右件药，捣筛为散，每服三钱，以浸伏龙肝水一中盏，入竹茹一分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺壅热，吐血不止，宜服刺蓊散方：

刺蓊半两 川升麻半两 鹿角胶半两，捣碎，炒令黄燥 羚羊角屑半两 青竹茹半两 当归半两，锉，微炒 生乾地黄一两 甘草一分，生用

右件药，捣筛为散，都以水二大盏半，煎至一盏半，去滓，分温五服，不计时候。

治肺藏壅热吐血，心膈烦闷，宜服天竹黄散方：

天竹黄 人参去芦头 侧柏叶微炙 川大黄 锉碎，微炒 犀角屑 黄耆 赤茯苓 马兜零已上各半两 鹿角胶一两，捣碎，炒令黄燥

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，暖生地黄汁调下一钱。

治肺壅热，气逆吐血，宜服蒲黄散方：

蒲黄三分 当归半两，锉，微炒 人参半两，去芦头 天门冬半两，去心，焙 麦门冬半两，去心，焙 甘草半两，生用 黄耆一两，锉 赤芍药半两 阿胶一两，捣碎，炒令黄燥② 生乾地黄一两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以粥饮调下一钱。

治肺壅热，吐血后咳嗽劳劣③，宜服补肺④百花煎方：

白蜜五合 生地黄汁五⑤合 生姜汁一合 黄牛乳五合 神巧万全方三合 藕汁三合 乾柿五枚，煮软，细研如糊 秦艽一两，去苗 白茯苓一两 柴胡一两，去苗 杏仁⑥两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 万全方二两 黄明胶⑦两，捣碎，炒令黄燥

右件药，捣细罗为散，与蜜及诸药汁，兼乾柿，同于银锅子内，以慢火煎成膏，别收于合器中，每服不计时候，以粥饮调下一茶匙。

治肺壅热极，肺胀喘，吐血不止，宜服此方：

生藕汁二合 生地黄汁二合 刺蓊根汁二合 牛蒡根汁二合 生蜜一合 生姜汁半合

右件药汁，调和令匀，每服一小盏，不计时候，温服。

又方：

黄明胶一两，捣碎，炒令黄燥 桑叶一两 伏龙肝一两半

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以糯米粥饮调下一钱。

又方：

生地黄四两，研取汁 鹿角胶一两，捣碎，炒令黄燥，为末

右件药，以童子小便一中盏，于银器中，下地黄汁及胶末，搅令匀，煎三两沸，分温三服。

治肺藏壅热诸方

夫肺主于气，气为阳，阳盛则生热也。

- ① 犀：太平圣惠方作“鹿”。
- ② 微：太平圣惠方作“燥”。
- ③ 劳劣：太平圣惠方作“虚劳少力”。
- ④ 补肺：太平圣惠方无此二字。
- ⑤ 五：太平圣惠方作“三”。
- ⑥ 一：太平圣惠方作“二”。
- ⑦ 四：太平圣惠方作“五”。

又脏腑气血充实，久积热毒在内，致胸膈烦满，口舌乾燥，卫气壅滞，不能通流，故令肺壅而生热也。

治肺藏壅热，心胸不利，少欲吃食，宜服枳壳散方：

枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 前胡半两，去芦头 川升麻半两 赤茯苓半两 子芩半两 麦门冬三分，去心 沙参三分，去芦头 玄参半两 茅根半两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 木通半两，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候温服，忌炙煨、猪、鸡、犬肉。

治肺藏壅热，胸膈烦闷，四肢疼痛，宜服柴胡散方：

柴胡去苗 桔梗去芦头 枳壳麸炒微黄，去瓢 麦门冬去心 鳖甲涂醋，炙令黄，去裙襕 地骨皮 生乾地黄 人参去芦头 葳蕤 赤茯苓 木通 赤芍药 甘草炙微赤，锉。已上各半两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌热面、炙煨、苋菜等。

治肺藏壅热，心胸烦闷，嗽逆食少，大肠不利，宜服紫苑散方：

紫苑一两，洗去苗上 桔梗一两，去芦头 芦根二两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 川大黄一两，锉碎，微炒 川朴消一两 木通一两，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏壅热，烦躁喘粗，不思饮食，宜服汉防己散方：

汉防己一两 赤茯苓一两 白前一两 桔梗一两，去芦头 川大黄一两，锉碎，微炒 陈橘皮一两³，汤浸，去白瓢，焙 木通一两，锉 紫苑一两，洗去苗上 紫苏茎叶一两 天门冬一两，去心 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 甘草一两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏壅热，心胸不利，吃食全少，四

肢烦疼，宜服黄耆散方：

黄耆¹ 赤茯苓 人参去芦头 麦门冬去心 枳壳麸炒微黄，去瓢 川升麻 前胡去芦头 百合 赤芍药 紫苑洗去苗上 甘草炙微赤，锉 玄参⁴ 知母⁵已上各一两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏壅滞⁵，喘促心烦，食少，宜服麦门冬散方：

麦门冬一两，去心 柴胡一两，去苗 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 石膏三两 麻黄一两，去根节 赤茯苓三分 紫苑三分，洗去苗上 吴蓝三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏壅热，喘急头痛，心神烦闷，宜服麻黄散方⁶：

麻黄一两，去根节 五味子一两 杏仁四十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉 石膏二两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺藏壅热，喘逆胸满，仰息不食，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓一两 石膏一两 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 旋复花半两 半夏半两，汤洗七遍，去滑 紫苑⁷一两，洗去苗上 麻黄一两，去根节 甘草半两，炙微赤，锉 桑根白皮一两，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

1 能：太平圣惠方无此字。

2 烦：太平圣惠方无此字。

3 两：太平圣惠方作“分”。

4 玄：太平圣惠方作“沙”。

5 滞：太平圣惠方作“热”。

6 麻黄散方：太平圣惠方无此方。

7 苑：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

治肺藏壅热，喘促咳嗽，心神烦闷，宜服天门冬丸方：

天门冬一两，去根节^① 麦门冬一两，去心，焙
人参一两，去芦头 赤茯苓一两 百合一两 桑根白皮一两，锉 紫苑一两，洗去苗土 贝母一两，煨令微黄 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 前胡三分，去芦头 五味子三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如弹子大，每于^②食后，绵裹一丸，含化咽津。

治肺藏壅热，久嗽，涕唾稠黏，气促不能食，宜服天门冬煎方：

天门冬二两，去心，以水一升半，煮令极烂，候水尽，细研 紫苑一两，洗去苗土 桔梗一两，去芦头 贝母一两，煨令微黄 赤茯苓一两半 木通一两，锉 桑根白皮一两，锉 已上同捣，细罗为散。生地黄汁四合 藕汁三合 生麦门冬汁三合 酥二两 白蜜三合

右件药，先下地黄、麦门冬、藕汁，煎六七沸，次下前散，搅令匀，即下酥，缓火煎如饴，收于合中，每于食后及夜间含一茶匙，细细咽津。圣济总录治肺热实，咳嗽，涕唾稠黏，气促急，不思食。生天门冬二两，去心，以水一升，煮烂，候水尽，研细 紫苑去苗，一两 贝母去心，三两 桔梗 白茯苓去黑皮 桑根白皮锉 木通锉。各一两半 生地黄汁四合 白蜜二两 藕汁 生麦门冬汁各三合 土酥一两 右一十二味，捣罗六味为末，先下地黄、麦门冬、藕汁，煎五六沸，次下天门冬并白蜜，煎五六沸，次下紫苑等末，搅匀，次下酥，慢火煎，搅如饴，倾于合中，待凝，每服一匙，食后夜卧，细细咽之，日三五服。

治肺藏壅热，烦闷口乾，宜服犀角丸方：

犀角屑一两 川升麻三分 黄连三分，去须 赤茯苓三分 梔子仁半两^③ 木通一两，锉 子芩三分 玄参三分 天门冬三分，去心，焙

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食后及夜临卧时，煎淡竹叶汤下二十丸。

治肺藏壅热烦闷，宜服此方：

新百合四两

右用蜜半盏，拌和百合，蒸令软，时时含如枣大，咽津。

治肺萎诸方

夫肺主于气，为四藏之上盖，其气通于皮毛，故令风邪易伤也。若人气血虚弱，动作劳伤，或因汗下之后，津液枯竭，肺气不足，不能宣通诸藏，因成肺萎也。其病咳唾而呕逆，多吐涎沫，咽喉乾燥，小便滑数，欲饮水者，必愈；欲咳而不能咳，吐唾稠黏脓血，小便不利者，难治。诊其脉数者，是其候也。

治肺萎咳嗽，涕唾稠黏，小便不利，宜服紫苑散方：

紫苑三分，洗去苗土 桔梗三分，去芦头 木通三分，锉 旋复花^④半两 桑根白皮三分，锉 赤茯苓三分 甘草半两，炙微赤，锉 茅根半两，锉 白蒺藜三分，微炒，去刺

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷、油腻、鸡、猪等。

治肺萎咳嗽，涕唾稠黏，咽喉不利，心神烦热，宜服百部散方：

百部一两 桔梗一两，去芦头 射干一两 川升麻一两 天门冬一两，去心 木通一两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 沙参半两，去芦头 川大黄半两，锉碎，微炒

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎咳嗽，涕唾稠黏，胸膈烦壅，咽喉不利，宜服桑根白皮散方：

桑根白皮半两，锉 桔梗三分，去芦头 木通

① 根节：太平圣惠方作“心，焙”。

② 于：太平圣惠方作“服”。

③ 两：太平圣惠方作“分”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

三分，锉 紫苑三分，洗去苗土 槟榔三分 旋复花半两 款冬花半两 前胡半两，去芦头 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎咳嗽，吐脓血，胸胁胀满，短气羸瘦，不思饮食，宜服生乾地黄散方：

生乾地黄一两 甘草半两，炙微赤，锉 麦门冬半两，去心 赤茯苓一两 半夏三分，汤洗七遍，去滑麻黄三分，去根节 紫苑三分，洗去苗土 五味子三分 柴胡一两，去心 射干半两 黄芩三分 桑根白皮三分，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。神巧万全方同。

治肺萎咳嗽，日月久远，喘息促，肩胛高，仰卧不安，宜服白前散方：

白前三分 旋复花半两 桑根白皮一两，锉 赤茯苓一两 汉防己半两 麻黄半两，去根节 紫苑一两，洗去苗土 五味子半两 白蒺藜半两，微炒，去刺

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎，嗽唾如稠胶，日夜计升已上，坐卧不安，胁肋疼痛，宜服赤芍药散方：

赤芍药三分 赤茯苓一两 桔梗三分，去芦头 贝母一两，煨令微黄 甘草半两，炙微赤，锉 款冬花半两 獭肝半两，微炙 紫苑一两，洗去苗土

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎多涎唾，小便数者，此肺已中冷，必多头眩，若小便数，不渴不咳者，宜服此方：

白芍药一两半 乾姜一两，炮裂，锉 甘草一两²，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎吐涎沫，宜服此方：

皂荚半两，去黑皮，涂酥，炙令焦黄，去子 桂心一两半 甘草一两半，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肺萎损败，气喘，咳嗽有血，宜服阿胶散方：

阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 熟乾地黄三分 白茯苓半两 人参三分，去芦头 麦门冬半两，去心，焙 蛤蚧一只，头尾全，涂酥，炙令微黄 侧柏叶一两，涂酥，炙令黄

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以粥饮调下一钱。

治肺萎咳嗽，胸中满而振寒，脉数，咽乾或渴，时时出唾，又吐脓如米粥者，宜服桔梗散方：

桔梗三两，去芦头 甘草一两，炙微赤，锉 赤茯苓二两

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

神巧万全方同。

治肺萎唾多出血，心中温温，神巧万全方作藟藟。宜服此方：万全方甘草散。

生甘草二两

右捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治大肠虚冷诸方

夫大肠合于肺，手阳明是其经也，为传导之府，化物出焉。若虚则生寒，寒则肠鸣泄利，食不消化，皮肤乾燥，则是大肠虚冷之候也。

治大肠虚冷，乏气拘急，腰痛羸瘦，宜服附子散方：

附子一两半，炮裂，去皮脐 人参一两，去芦头 乾姜一两，炮裂，锉 赤芍药一两 桂心一两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，食前温

1 一：太平圣惠方作“半”。

2 两：太平圣惠方此下有“半”字。

服。忌热面、鸡、猪、鱼等。

治大肠虚冷，肠鸣泄痢，腹胁气痛，饮食不化，宜服诃梨勒散方：

诃梨勒一两半，煨，用皮 附子一两，炮裂，去皮脐
当归三分，锉，微炒 桔梗半两，去芦头 肉豆蔻三分，
去壳 木香半两 吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒
陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治大肠虚冷，肠鸣腹痛，食不消化，宜服吴茱萸散方①：

吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 陈橘皮二②
两，汤浸，去白瓢，焙 肉豆蔻半两，去壳 高良姜一两，
锉 乾姜半两，炮裂，锉 缩砂一两，去皮 神曲一两，
捣碎，炒微黄 白术一两 厚朴二两，去粗皮，涂生姜汁，
炙令香熟 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，食前以粥饮调下一钱。

治大肠虚冷，肠鸣腹痛，下痢，不思饮食，宜服草豆蔻散方：

草豆蔻一两，去皮 高良姜三分，锉 桂心半两
丁香半两 木香半两 白术半两 当归半两，锉碎③，
微炒 白豆蔻半两，去皮 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，
焙 肉豆蔻半两，去壳 甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，食前以姜枣汤调下一钱。

治大肠虚冷，切④痛肠鸣，食不消化，宜服木香丸方：

木香一两 诃梨勒一两半，煨，用皮 白术一两
桂心一两⑤ 附子二两，炮裂，去皮脐 茺萸一两，微炒
高良姜一两，锉 肉豆蔻半两，去壳 厚朴二两，去粗
皮，涂生姜汁，炙令香熟 乾姜三分，炮裂，锉 神巧万全方二分
甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣罗为末，用神曲末煮作糊，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，食前以姜枣汤下二十丸。

治大肠实热诸方

夫大肠实，实则生热，热则肠结胀满，喜气喘咳，身面热，喉中噎，乍实乍虚，乍来乍去，大肠有宿滞，则发热寒慄如疟之状，秘涩不通，则是大肠实热之候也。

治大肠实热，头痛目眩，惊狂，喉痹，腹胁满闷，神巧万全方作痛。手足烦疼，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓一两 大黄一两半 犀角屑三分 枳实
三分，麸炒微黄 万全方用枳壳 麦门冬一两，去心 杏仁
半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 石膏二⑥两 丹参
半两 槟榔一两 万全方无

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。忌热面炙煨等⑦。

治大肠实热，上气喘咳，心神烦闷，宜服杏仁散方：

杏仁一两，汤浸，去皮尖⑧□□，麸炒微黄 赤芍药
三分 黄芩三分 细辛三分 五味子三分 川大黄
一两半，锉碎，微炒 麦门冬三分，去心 石膏二两 甘
草一两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治大肠实热，心神烦躁，口内生疮，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 青竹茹一两 黄芩三分 梔
子仁三分 紫苏茎叶三分 杏仁三分，汤浸，去皮尖双
仁，麸炒微黄 玄参三分 木通三分 赤茯苓三分 川
朴消一⑨两 甘草半两，炙微赤，锉 川大黄一两，锉
碎，微炒

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，入生地黄汁一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治大肠实热，肠胀不通，热气上冲，口

① 吴茱萸散方：太平圣惠方本方中无“肉豆蔻、高良姜、干姜”三味。

② 二：太平圣惠方作“一”。

③ 碎：太平圣惠方无此字。

④ 切：太平圣惠方作“腹”。

⑤ 桂心一两：太平圣惠方无此药。

⑥ 二：太平圣惠方作“一”。

⑦ 等：太平圣惠方无此字。

⑧ 尖：此下服字，太平圣惠方作“双仁”。

⑨ 一：太平圣惠方作“二”。

内生疮，宜服大腹皮散方：

大腹皮二两，^① 锉 柴胡一两，去苗 诃梨勒皮一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 川大黄^②一两，^③ 锉碎，^④ 微炒 羚羊角屑三分 川朴消二两 甘草半两，炙微赤，^⑤ 锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治大肠实热，气壅不通，心腹胀满，发歇寒热，宜服柴胡散方：

柴胡一两，去苗 赤芍药一两 枳实三分，麸炒微黄 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 黄芩三分 川大黄二两，^① 锉碎，^② 微炒 槟榔一两 汉防己三分 甘草半两，炙微赤，^③ 锉

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治大肠实热，秘涩不通，心烦闷乱，宜服槟榔丸方：

槟榔一两 神巧万全方三两 羌活一两 万全方三两 郁李仁二两，汤浸，去皮尖，微炒 万全方一两 木香一两 万全方三两 川大黄^①二两，^② 锉碎，^③ 微炒 牵牛子四两，捣罗取末二两 万全方一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 万全方三两 麻仁二两，别研如膏

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食前，以生姜汤下二十丸。

治肾虚补肾诸方

夫肾藏者，足少阴之经也。左则为肾，右为命门。肾与命门者，神精之所舍，元气之所系也。若肾虚，则腰背切痛，不能俯仰，足胫小弱，多恶风寒，手足厥冷，呼吸少气，骨节烦疼，脐腹结痛，面色黧黑，两耳虚鸣，肌骨乾枯，小便滑数，诊其脉浮细而数者，是肾虚之候也。

治肾气^③虚，两胁下胀，小腹急痛，胸中短气。宜服补肾磁石散方：

磁石二两，捣碎，水淘去赤汁 当归一两，^① 锉，^② 微炒 黄耆一两，^③ 锉 五味子一两 牛膝一两，去苗 白茯苓一两 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 桂心一两半 石斛一两，去苗 白芍药一两 附子^④二两，炮裂，去

皮脐 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 沉香一两 人参一两，去芦头

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肾虚少气，腹胀腰疼，小腹急痛，手足逆冷，饮食减少，面色萎黑，百节痠疼，日渐无力，宜服补肾熟乾地黄散方：

熟乾地黄二两 五味子一两 桂心一两 当归一两，^① 锉，^② 微炒 白芍药一两 牛膝一两，去苗 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，^③ 锉 石斛一两，去根，^④ 锉 人参一两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 白茯苓一两 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 草澄茄三分 白术一两 沉香一两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治肾气虚，腰跨脚膝无力，小腹急痛，四肢痠疼，手足逆冷，面色萎黑，虚弱不足，宜服补肾石斛散方：

石斛一两，去根，^① 锉 当归半两，^② 锉，^③ 微炒 人参半两，去芦头 杜仲一两，去粗皮，微炙，^④ 锉 五味子半两 附子一两，炮裂，去皮脐 熟乾地黄一两 白茯苓三分 沉香一两 黄耆半两，^⑤ 锉 白芍药三分 牛膝三分，去苗 棘刺半两 桂心半两 防风半两，去芦头 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 草薢一两，^⑥ 锉 磁石三两，捣碎，水淘去赤汁

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

春季补肾肾沥汤方：

牛膝一两，去苗 人参三分，去芦头 五味子三分 白茯苓三分 附子一两，炮裂，去皮脐 熟乾地黄一两 续断三分 覆盆子三分 狗脊三分 防风三分，去芦头 磁石^⑤二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛绢包之 甘草一分，炙微赤，^⑥ 锉

1 二：太平圣惠方作“三”。
2 二：太平圣惠方作“二”。
3 气：太平圣惠方无此字。
4 二：太平圣惠方作“三”。
5 二：太平圣惠方作“一”。

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，用羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，枣三枚，每与磁石包子同煎至五分，去滓，食前温服。

夏季补肾肾沥汤方：

附子一两，炮裂，去皮脐 桂心一两半 白茯苓一两 石南三分 山茱萸三分 石斛三分，去根，锉 人参一两，去芦头 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 当归一两，锉，微炒 五味子一两 熟乾地黄二两 泽泻一两 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，水一大盏，以羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，枣三枚，每与磁石包子同煎至五分，去滓，食前温服。

秋季补肾肾沥汤方：

黄耆三分，锉 牛膝三分，去苗 五味子三分 桂心三分 白茯苓半两 白芍药半两 人参半两，去芦头 五加皮半两 甘草半两，炙微赤，锉 当归三分，锉，微炒 磁石①一两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，以羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，枣三枚，每与磁石包子同煎至五分，去滓，食前温服。

冬季补肾② 沥汤方：

石斛一两，去根 五味子三分 黄耆三分，锉 熟乾地黄一两 人参三分，去芦头 桑螵蛸半两，微炙 附子一两，炮裂，去皮脐 防风半两，去芦头 白龙骨一两 肉苁蓉一两，酒浸去皱皮，微炙 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛子③包之 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 桂心半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服五钱，水一大盏，以羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，枣三枚，每与磁石包子同煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏久虚，体瘦骨疼，腰痛足冷，视听不利，食少无力，宜服补肾肾沥汤方：

磁石五两，烧醋淬七遍，捣碎，以帛包之 肉苁蓉一两，酒浸，去皱皮，微炙 黄耆一两，锉 人参一两，去

芦头 白茯苓一两 芍药一两 肉桂一两，去皱皮 菖蒲一两 当归一两，锉，微炒 熟乾地黄一两 石斛一两，去根 覆盆子一两 乾姜一两，炮裂，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 五味子一两

右件药，捣筛为散，每服五钱，水一大盏，以羊肾一对，切去脂膜，每与磁石包子同煎至五分，去滓，空心及晚食前温服。

治肾虚劳损，咳逆短气，四肢烦疼，腰背相引痛，面色黧黑，骨间多疼，小便赤黄，耳目不聪，虚乏羸瘦，宜服④肾沥汤方：

白茯苓一两 泽泻一两 人参一两，去芦头 五味子一两 芍药一两 甘草半两，炙微赤，锉 黄耆一两，锉 当归一两，锉⑤，□炒 杜仲一两，去粗皮，微炙⑥，锉 桂心一两半 石斛一两，去根，锉 熟乾地黄⑦一两 肉苁蓉一两，酒浸，去皱皮，微炙 磁石三两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之

右件药，捣筛为散，每服半两，水一中⑧盏，以羊肾一对，细切去脂膜，入生姜一分，枣五枚，每与磁石包子同煎至一大盏，去滓，食前分温二服。

治肾虚，嘘吸短气，腰背疼痛，体重无力，食少羸瘦，宜服补肾肾沥汤方：

黄耆一两，锉 五味子一两 沉香一两 附子一两，炮裂，去皮脐 巴戟一两 人参一两，去芦头 泽泻一两 石斛一两，去根，锉 牛膝一两，去苗 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 桂心一两半 石南一两 丹参一两 当归一两，锉，微炒 棘刺一两⑨，锉 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 磁石五两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之 茯神一两

右件药，捣筛为散，每服半两，水二大盏，以羊肾一对，细切去脂膜，入生姜一分，枣五枚，每与磁石包子同煎至一大盏，去滓，

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 肾：太平圣惠方此下有“肾”字。

③ 子：太平圣惠方作“绢”。

④ 服：太平圣惠方此下有“补肾”二字。

⑤ 锉：此下脱字，太平圣惠方作“微”。

⑥ 赤：太平圣惠方作“炙”。

⑦ 一：太平圣惠方作“二”。

⑧ 一中：太平圣惠方作“二大”。

⑨ 两：太平圣惠方此下有“半”字。

食前分温二服。

治肾藏久虚，面色萎黑，足冷耳鸣，四肢羸瘦，脚膝缓弱，小便滑数，宜服补肾肉苁蓉丸方：

肉苁蓉二两，酒浸，去皱皮，微^①炙 磁石^②一两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过 熟乾地黄二两 山茱萸三分 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 薯蓣三分 牛膝一两，去苗 石南三分 白茯苓三分 泽泻三分 黄耆三分，锉 鹿茸二两，去毛，涂酥，炙令微黄 五味子三分 石斛一两，去根，锉 覆盆子三分 远志三分，去心 补骨脂一两，微炒 草薢三分，锉 巴戟三分 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 兔丝子二两，酒浸三日，曝乾，别杵为末 白龙骨一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心以温酒下三十丸，晚食前再服。

治肾藏气虚，肌肤羸瘦，面色黧黑，脚膝无力，小便滑数，宜服补肾膈脐丸方：

膈脐一两，微炙 补骨脂一两，微炒 牛膝三分，去苗 天雄一两，炮裂，去皮脐 白茯苓一两 桑螵蛸一两，微炙 楮实一两半，水淘去浮者，晒乾，微炒 五味子一两 石斛一两，去根 覆盆子一两 桂心一两半 兔丝子一两半，酒浸三^③，曝乾，别杵为末 麋茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 巴戟一两 熟乾地黄一两半 肉苁蓉二两半，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 磁石一两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏气虚，胸中短气，腹胁腰脚疼痛，志意不乐，视听不明，肌肤消瘦，体重无力，宜服补肾巴戟丸方：

巴戟一两 石斛半两，去根，锉 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 当归三分，锉，微炒 白石英三分，细研，水飞过 石韦三分，去毛 石长生三分 桂心一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 远志三分，去心 兔丝子一两，酒浸三宿，曝乾 白茯苓三分 钟乳粉一两 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 五味子三分 牛膝三分，去苗 蛇床子三分 牡蛎一两，烧为粉 柏子

仁三分 附子一两，炮裂，去皮脐 补骨脂一两，微炒 薯蓣三分 沉香一两 革澄茄三分 熟乾地黄一两 黄耆三分，锉 川椒三分，去目及闭口者，微炒去汁

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐味^④大，每日空心以温酒下三^⑤十丸，晚食前再服。

治肾实泻肾诸方

夫肾主水，而藏于精，若实则阳气盛，若阳气盛则生热，热则舌燥咽肿，心烦嗌乾，胸胁时痛，喘咳汗出，小腹胀满，腰背强急，体重骨热，小便赤黄，好怒好忘，足下热疼，诊其脉浮紧者，是肾实之候也。

治肾藏实热，心胸烦闷，腹胁胀满，腰脊强急，四肢不利，宜服泻肾生乾地黄散方：

生乾地黄一两半 丹参一两 赤茯苓一两 麦门冬一两半，去心 槟榔一两 羚羊角屑一两 五加皮一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 牛膝一两，去苗 前胡一两，去芦头 黄芩一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入淡竹叶二七片，煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏实热，小腹胀满，足下热疼，耳聾，腰脊离解，梦伏水中，宜服泻肾大黄散方：

川大黄二两，蜜水浸一宿，曝乾 赤茯苓一两 黄芩一两 泽泻一两 菖蒲一两 甘草半两，炙微赤，锉 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁 玄参一两 五加皮一两 羚羊角屑半两

右件药，捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，煎至六分，去滓，入生地黄汁一合，食前分温二服。

治肾藏实热，好忘，耳听无声，四肢满急，腰背转动痛强，宜服泻肾玄参散方：

玄参一两 赤茯苓一两 黄芩一两 泽泻一

① 微：太平圣惠方此下有“炒”字。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 三：太平圣惠方作“三分”，普济方卷二十九肾脏门作“三日”。

④ 味：太平圣惠方作“子”。

⑤ 三：太平圣惠方作“二”。

两 川升麻一两 川芒消一两 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁 羚羊角屑一两 赤芍药一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半①两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服半两，以水一大盏半，入生地黄半两，淡竹叶二七片，煎至八分，去滓，食前分温二服。

治肾藏实热，腹胁不利，心膈烦满，腰背拘急，足下热疼，宜服泻肾赤茯苓散方：

赤茯苓二两 丹参三分 牡丹三分 生乾地黄三分 甘草半两，炙微赤，锉 猪苓三分，去黑皮 槟榔一两 子芩三分 泽泻三分 五加皮三分 羚羊角屑一两 牛膝三分，去苗 枳壳一两，麸炒微黄，去白瓢

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏气实，肩背拘急，小腹胀满，烦热，胸胁时痛，腰脊强直，小便赤黄，宜服泻肾泽泻散方：

泽泻一两 黄芩三分 赤茯苓三分 木通三分，锉 赤芍药半两 羚羊角屑半两 黄耆三分，锉 槟榔三分 玄参三分

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏实热，小腹壅滞，腰脊疼痛，肩背拘急，宜服泻肾槟榔散方：

槟榔一两 赤茯苓三分 羚羊角屑三分 泽泻三分 柴胡三分，去苗 赤芍药三分 木通三分，锉 桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入②生地黄③半两，煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏实热，膀胱气滞，小便黄赤，涩痛不通，宜服榆皮散方：

榆白皮三分，锉 葵根三分，锉 泽泻三分 木通三分，锉 瞿麦三分 赤茯苓三分 桑螵蛸三分，微炒 甘草三分，炙微赤，锉 川芒消二两 当归半两，锉，微炒 子芩一两 石韦三分，去毛

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前

温服之。

治肾气不足诸方

夫肾藏者，元气之根，神精所舍。若其气虚弱，则阴气有余，阳气不足，故令心悬少气，小腹胀急，目视昏暗，耳无所闻，腰脚痠疼，心胸满闷，喜恐多睡，小便滑数，嗜卧无力，则是肾气不足之候也。

治肾气不足，胸中少气，目常茫茫，小腹胀疼，腰背急痛，阳气衰弱，两耳虚鸣，心烦咽乾，饮食无味，宜服磁石散方：

磁石二两，捣碎，水淘去赤汁 五味子三分 羚羊角屑三分 熟乾地黄一两 黄耆三分，锉 玄参分 丹参三分 麦门冬一两，去心 白茯苓三分 泽泻三分 桂心三分 枳实三分，麸炒微黄

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾气不足，胸胁时痛，骨节痠疼，目常茫茫，耳不审听，背脊拘急，体重嗜卧，宜服熟乾地黄散方：

熟乾地黄一两 天门冬一两，去心 五味子三分 附子一两，炮裂，去皮脐 当归三分，锉，微炒 芎藭三分 黄耆三分，锉 桂心三分 山茱萸三分 石斛三分，去根 沉香一两 磁石一两，捣碎，水淘去赤汁

右件药捣粗罗为散，每服四钱，水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾气不足，体重嗜卧，骨节痠疼，目暗耳鸣，多恐喜睡，腰背强痛，小腹满急，食饮无味，心悬少气，宜服肉苁蓉散方：

肉苁蓉一两半，酒浸，去皱皮，微炙 石斛一两，去根 五味子一两 黄耆一两，锉 丹参一两 牛膝一两，去苗 肉桂二两，去粗皮 附子一两，炮裂，去皮脐 当归一两，锉，微炒 人参一两，去芦头 沉香一两 白茯苓一两 石南一两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉

① 半：太平圣惠方作“一”。

② 入：太平圣惠方此下有“生姜”二字。

③ 黄：太平圣惠方此下有“各”字。

枳实一两，麸炒微黄 熟乾地黄一两 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以绢包之

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，每用磁石包子同煎至五分，去滓，空心及晚食前，热服。

治肾气不足，风冷所攻，藏腑气虚，视听不利，肌体羸瘦，腰脚痠痛，饮食无味，小便滑数，宜服石龙芮丸方：

石龙芮一两 石斛三分，去根，锉 牛膝三分，去苗 续断三分 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 肉桂一两，去皱皮 肉苁蓉三分，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 鹿茸一两，去皮①涂酥炙微黄 杜仲三分，去粗皮，炙令微黄，锉 白茯苓三分 熟乾地黄三分 附子一两，炮裂，去皮脐 巴戟半两 防风三分，去芦头 桑螵蛸半两，微炙 芎藭半两 山茱萸三分 覆盆子半两 补骨脂三分，微炒 革澄茄三分 五味子半两 泽泻一两 沉香三分 茴香子三分，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心，以温酒下二②十丸，晚食前再服。

治肾气不足，体重无力，腰背强痛，脚膝痠疼，耳目不昕，忽忽喜忘，悲恐不乐，阳气虚弱，小便失精，宜服天雄丸方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 石斛三分，去根，锉 五味子三分 巴戟一两 白茯苓三分 熟乾地黄一两 远志三分，去心 人参半两，去芦头 补骨脂三分，微炒 蛇床子一两 泽泻三分 薯蓣三分 石南三分 草薢三分，锉 附子三分，炮裂，去皮脐 沉香三分 石龙芮三分 桂心三分 棘刺三分 黄耆三分，锉 白龙骨一两 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别杵为末 肉苁蓉三分，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉

右件药，捣罗为散，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚，食前，以温酒下三十丸。

治肾藏中风诸方

夫肾气虚弱，风邪所侵，则踞而腰疼，不得俯仰，或则冷痹，或则偏枯，两耳虚鸣，

语声浑浊，面多浮肿，骨节痠疼，志意沉昏，喜恐好忘，肌色黧黑，身体沉重，多汗恶风，隐曲不利，此是肾中风之候也。

治肾藏中风，腰脊疼痛，不得俯仰，两脚冷痹，缓弱不遂，头昏耳聋，语音浑浊，四肢沉重，宜服独活散方：

独活一两 附子一两，炮裂，去皮脐 防风半两，去芦头 芎藭半两 丹参半两 草薢半两，锉 菖蒲半两 天麻一两 桂心一两 黄耆半两，锉 当归一两，锉，微炒 细辛半两 山茱萸半两 白术半两 甘菊花半两 牛膝半两，去苗 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肾藏风邪所伤，语音謇急，腰脊不可转侧，脚膝缓弱疼痛，头旋耳鸣，身体沉重无力，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 石龙芮三分 独活三分 防风三分，去芦头 麻黄一两，去根节 茯神三分 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 草薢三分，锉 丹参三分 桂心一两 羌活三分 五味子三分 细辛三分 牛膝三分，去苗 当归三分，锉，微炒 人参三分，去芦头 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肾虚中风，腰脚缓弱，顽痹不仁，颜色苍黑，语音浑浊，志意不定，头目昏疼，腰背强痛，四肢拘急，体重无力，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根节 汉防己三分 当归三分，锉，微炒 海桐皮三分，锉 牛膝三分，去苗 羌活一两 防风三分，去芦头 白术三分 桂心一两 甘菊花三分 羚羊角屑三分 附子一两，炮裂，去皮脐 茵芋三分 五加皮④□分 甘

① 皮：太平圣惠方作“毛”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 皮：此下注文脱字，太平圣惠方作“三”。

草半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肾藏中风^①，踞而腰痛，脚膝偏枯，皮肤顽痹，语声蹇涩，两耳虚鸣，举体乏力，面无颜色，志意不乐，骨节痠疼，宜服草薢散方：

草薢一两，锉 茵芋半两 杜仲半两，去粗皮，炙微黄，锉 天雄三分，炮裂，去皮脐 石南半两 石龙芮半两 踯躅半两，微炒 独活三^②分 附子三分，炮裂，去皮脐 狗脊半两 当归半两，锉，微炒 麻黄三分，去根节 乾蝎半两，微炒 桑螵蛸半两，微炒 菖蒲半两 赤箭三^③分 甘菊花三分 牛膝三分，去苗木香三分 芎藭三^④分 麝香半两，细研

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治肾藏中风，脚膝麻痹无力，腰背强直疼痛，言语不利，面色萎黑，肌体羸瘦，宜服蚬蛭丸方：

蚬蛭三分，微炒 白附子三分，炮裂 防风三分，去芦头 天麻三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 白花蛇一两，酒浸，去皮骨，炙微黄 黄耆三分，锉 草薢三分 桂心一两 独活三分 丹参三分 当归三分，锉，微炒 安息香一两 桐海^⑤皮三分，锉 补骨脂三分，微炒 仙灵脾三分 牛膝一两，去苗 雄黄半两，细研，水飞过 麝香半两，细研 肉苁蓉三分，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日二服。

治肾藏气虚，风邪所中，腰脚缓弱无力，视听不聪，腰脊痠疼，脐腹虚冷，颜色不泽，志意昏沉，宜服天麻丸方：

天麻一两半 附子一两，炮裂，去皮脐 巴戟一两 鹿茸二两，去毛，涂酥，炙微黄 菖蒲一两 石斛一两半，去根，锉 蚬蛭一两，微炒 草薢一两，锉 肉桂一两，去皱皮 牛膝一两，去苗 天雄一两，炮裂，去皮脐 独活一两 丹参一两 当归一两，锉，微炒 杜仲一两，

去皱皮，炙微黄，锉 肉苁蓉一两半，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾^⑥ 磁石二两，烧令通赤，醋淬七遍，细研，水飞过

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治肾藏风冷气诸方

夫人藏腑虚损，肾气不足，则内生于寒，风邪之气乘虚所侵，入于足少阴之经，风冷相搏，伏留在藏，久而不除，攻于脐腹，胀满疼痛，故谓之风冷气也。

治肾藏风冷气，腹胁胀满，心胸壅滞，腰脚无力，脾胃虚弱，少思饮食，宜服木香散方：

木香三两 白蒺藜三分，微炒，去刺 茴香子三分 羌活三分 赤茯苓三分 青橘皮半两^⑦，汤浸，去白瓤，焙 桃仁三分，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 河梨勒皮一两 附子三分，炮裂，去皮脐 沉香一两 槟榔一两

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治肾藏风冷气，腰脊相引痛，脚膝疼痛，体虚无力，宜服沉香散方：

沉香一两 白术三分 防风三分，去芦头 石龙芮三分 细辛三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 牛膝三分，去苗 草薢三分，锉 黄耆一两，锉 当归三分，锉，微炒 石斛一两，去根，锉 桂心一两半 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 木香三分 五味子半两 人参一两，去芦头

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治肾藏风冷气，腰脚疼痛，头目昏闷，

① 风：太平圣惠方此下有“卧”字。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 桐海：太平圣惠方作“海桐”。

⑥ 乾：太平圣惠方作“薑”。

⑦ 半两：太平圣惠方作“三分”。

耳鸣腹胀，四肢无力，宜服附子丸方：

附子一两，炮裂，去皮脐 五加皮三分 丹参三分
麋角霜一两 石斛一两，去根，锉 牛膝一两，去苗
蛇床子三分 巴戟三分 桂心三分 海桐皮三分
木香三分 菖蒲三分 汉椒三分，去目及闭口者，微炒去汗
磁石二两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心，以温酒下三十丸，晚食前再服。

治肾藏风冷气，腹胁疼痛，四肢无力，宜服礞砂丸方①：

礞砂一两 肉豆蔻一两，去壳 木香一两 槟榔一两 硫黄一两，细研，水飞过 蚬蛎一两，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 天麻一两 蓬莪茂一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 白附子一两，炮裂 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 肉桂一两，去皱皮 丁香半两 茴香子一两半 桃仁半两，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，用无灰酒三升，调药末，于银锅内，以慢火熬，看硬软得所，丸如梧桐子大，每服食前，温酒下三十丸。

治肾藏风冷气，脐腹虚胀疼痛，茴香丸方：

茴香子三分 附子三分，炮裂，去皮脐 礞砂三分 天麻三分 木香三分 白附子三分，炮裂 白矾三分，烧令汁尽 阿魏三分，面裹煨，面熟为度 自然铜三分，细研 乾蝎一两，微炒 桃仁二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，以酒煮面糊，和捣百馀杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜、葱白煎酒，下二十丸。

治肾藏风冷气攻，心腹疼痛，宜服此蚬蛎丸方：

蚬蛎一两，微炒 礞砂半两 木香半两 肉豆蔻一两，去壳 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 阿魏一分，面裹，煨面熟为度 桃仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 自然铜一两，细研 安息香半两 硫黄半两，细研 附子半两，炮裂，去皮脐 磁石二两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过

右件药，捣罗为末，用醋浸蒸饼，和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以热生姜酒下二十丸。

治肾藏风虚耳鸣诸方

夫足少阴肾之经者，是宗脉之所聚也，其气上通于耳，耳者，肾之窍，若经脉虚损，气血不足，为风邪所乘，入于耳脉，则正气否塞，不能宣通，邪正相击，故令耳虚鸣也。

治肾藏风虚，两耳常鸣，腰背痛强，小便多利，虚羸无力，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 石斛三分，去根，锉 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 五味子三分 人参三分，去芦头 熟乾地黄一两 续断三分 牛膝三分，去苗 桂心一两 沉香一两 黄耆三分，锉 当归二②分，锉，微炒 木香三分 白龙骨一两 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏风虚，耳中恒③鸣，或如风雨声，宜服菖蒲散方：

菖蒲一两 远志三分，去心 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心一两 防风三分，去芦头 人参三分，去芦头 山茱萸三分 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 熟乾地黄一两 天麻三分 石斛三分，去根，锉 沉香一两 黄耆三分，锉 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入磁石包子同煎至六分，去滓，食前温服。

治肾藏风虚，两耳常鸣，宜服肾沥汤方：

磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之 巴戟一两 附子一两，炮裂，去皮脐 沉香半两 石斛半两，去根，锉 人参半两，去芦头 肉桂一两，去皱皮 白茯苓半两 牛膝三分，去苗 黄耆半两，锉 五味子半两 桑螵蛸半两，微炒 泽泻半两 防风半两，去芦头 熟乾

① 礞砂丸方：太平圣惠方本方中无“白附子、肉桂、丁香、阿魏”四味。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 恒：太平圣惠方作“常”。

地黄一两 山茱萸三分

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，用羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，每用磁石包子同煎至五分，去滓，空心及晚，食前温服。

治肾藏风虚耳鸣，四肢羸瘦，小便滑数，夜卧多寒，吃食减少，宜服肾沥汤方：

磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之 肉苁蓉一两，酒洗去皱皮，微炙 人参三分，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 黄耆三分，锉 熟乾地黄一两 桑螵蛸一两，微炒 桂心三分 石南三分 五味子三分 白龙骨二①分 白茯苓三分

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，用羊肾一对，切去脂膜，生姜半分，枣三枚，每用磁石包子同煎至五分，去滓，空心及晚食前，温服。

治肾藏风虚，两耳常鸣，宜服肾沥汤方：

附子一两，炮裂，去皮脐 桂心三分 熟乾地黄三分 人参三分，去芦头 山茱萸三分 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁，以帛包之 肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾

右件药，捣罗为散，每服五钱，以水一大盏，用羊肾一对，切去脂膜，入生姜半分，薤白三茎，每用磁石包子同煎至五分，去滓，空心及晚食前，温服。

治肾藏风虚，耳内常鸣，宜服肉苁蓉丸方：

肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别杵②为末 熟乾地黄一两 黄耆一两，锉 巴戟一两 防风三分，去芦头 鹿角胶二两，捣碎，炒令黄燥 五味子一两 菖蒲一两 山茱萸一两 牛膝一两，去苗 附子一两，炮裂，去皮脐 泽泻一两 乾姜半两，炮裂，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心以温酒下二③十丸，晚食前再服，渐加至五十丸。

治肾藏风虚，耳内恒鸣，腰脚疼痛，宜服鹿茸丸方：

鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 磁石二两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过 肉苁蓉二④两，酒浸一宿，刮

去皱皮，炙令乾 天雄一两半，炮裂，去皮脐 桂心一两半 巴戟一两 五味子一两 石斛一两，去根，锉 菖蒲一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治肾藏风虚耳鸣，腰脊强直，小便滑数，桑螵蛸丸方：

桑螵蛸三分，微炒 菖蒲三分 山茱萸三分 磁石二两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 附子一两，炮裂，去皮脐 续断三分 五味子三分 薯蓣一两 萆薢一两 沉香一两 茴香子一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏积冷气攻心 腹疼痛诸方

夫表里俱虚，藏腑衰弱，阳气不足，阴气有馀，则内生于寒也，若人肾藏气虚，下焦积冷，寒冷之气，伏留在藏，乘虚上攻于心腹，故令疼痛也。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，两胁胀满，不思饮食，宜服白豆蔻散方：

白豆蔻半两，去皮 茴香子半两 槟榔半两 木香半两 乾姜一分，炮裂，锉 附子半两，炮裂，去皮脐 吴茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 硫黄半两，细研入

右件药，捣细罗为散，不计时候，以热酒调下一钱。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，发歇不定，宜服木香煎方：

木香一两 乾蝎半两，微炒 桂心一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 附子一两，炮裂，去皮脐 桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

① 二：太平圣惠方作“三”。
② 杵：太平圣惠方作“捣”。
③ 二：太平圣惠方作“三”。
④ 二：太平圣惠方作“一”。

右件药，捣细罗为散，用童子小便二大盏，煎药成膏，收于不津器中，每服不计时候，以热生姜酒调下一茶匙。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，四肢逆冷，不思饮食，宜服沉香散方：

沉香一两 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾微炒 槟榔一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 附子一两半，炮裂，去皮脐 茴香子半两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下一钱。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，喘促闷乱欲绝，或出冷汗，宜服硃砂散方：

硃砂一两 木香一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 茴香子二两 桂心一两 茱萸一两

右件药，捣细罗为散，每服以生姜汁少许，热酒一中盏，搅和令匀，调下一钱，不计时候服。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，或吐冷沫，不思饮食，宜服②木香散方：

木香半两 丁香半两 乳香半两 茴香子半两 桂心三分 硫黄半两，细研入

右件药，捣细罗为散，入研了药令匀，每服以炒生姜热酒调下一钱，不计时候服之。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，四肢逆冷，面色青黄，或时呕吐，不思饮食，宜服蛭螂丸方：

蛭螂三分 木香三分 当归三分，锉，微炒 附子三分，炮裂，去皮脐 肉桂半两，去粗皮 朱砂半两，细研 阳起石半两，酒煮半日，细研，水飞过 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 硫黄一两半 水银一两 硃砂三分 自然铜半两，细研 槟榔半两 茴香子三分 磁石半两，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过 桃仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 乾姜半两，炮裂，锉

右件药，捣罗为末，将硫黄、水银同结为砂子，细研，入诸药末和匀，醋煮面糊，和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，面色青黄，四肢逆冷，宜服硫黄丸方：

硫黄一两，细研，水飞过 槟榔一两 木香一两 附子一两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锉 桂心一两 胡芦巴一两 茴香子二两 吴茱萸一两，汤浸七遍，曝乾，炒令熟

右件药，捣罗为末，用醋煮软饭和捣百馀杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏积冷，下焦久虚，邪冷气攻，心腹疼痛，汗出口乾，阴缩声散，手足逆冷，宜服硃砂丸方：

硃砂一两，细研 乾蝎三分，微炒 阿魏半两，研入 桃仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，微炒 木香半两 自然铜三分，细研 白附子半两，炮裂 茴香子三分 安息香半两 肉豆蔻三分，去壳，川乌头半两，炮裂，去皮脐 磁石三分，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过 附子半两，炮裂，去皮脐

右件药，捣细罗为末，入研了药令匀，以醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以生姜酒下十丸至十五丸。

治肾藏积冷，气攻心腹，疼痛不可忍，阿魏丸方：

阿魏一分，面裹煨，面熟为度 桃仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 木香半两 乾蝎半两，微炒 硃砂一两 自然铜一分，细研 白矾半两，烧灰

右件药，捣罗为末，用醋煮面糊和丸，如绿豆大，每服以热生姜酒下二十丸，不计时候服。

治肾藏虚冷，气攻心腹疼痛，状如锥刀所刺，宜服此方：

硫黄一两，细研，水飞过 朱砂三分，细研，水飞过 木香三分 硃砂半两 茴香子三分

右件药，捣罗为末，都研令匀，用软粟米饭和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，面青足冷，宜服此方：

硃砂二两 桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，研如膏

① 二：太平圣惠方作“一”。
② 宜服：太平圣惠方无此二字。

右先以酒一小盏，煎硃砂十馀沸，候消化，澄滤取清，去砂石后，却入铍子内，与桃仁膏旋旋添酒煎，约入酒一大盏已来，煎成膏，用蒸饼末和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏积冷，气攻心腹，疼痛不可止，宜服绿玉丹方：

青古钱三十文，烧醋淬七遍，后铺于净地上遍掺硃砂末二两令匀，用盆子合二七日，刮取硃砂，研为末，用热醋浸蒸饼和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热生姜酒下五丸或七丸。

治肾藏积冷，气攻心腹，疼痛气欲绝，宜服雄黄丸方：

雄黄一分 朱砂一分 黄丹半两 巴豆十枚，去皮心，研，纸裹压去油 麝香一钱

右件药，同细研如粉，用软饭和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热酒下五丸。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，频发不止，宜服麝香丸方：

麝香半两，细研 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 乾蝎三分，微炒 桃仁五十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏风毒流注 腰脚疼痛诸方

夫肾主于腰脚，荣于骨髓，若藏腑不足，阴阳虚微，风冷所侵，伤于足少阴之经，经络既虚，为邪所搏，久而不除，流注腰脚，故令疼痛也。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，筋脉拘急，宜服萆薢散方：

萆薢一两，锉 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 牛膝一两，去苗 五加皮一两 槟榔一两 当归一两，锉，微炒 酸枣仁一两，微炒 独活一两 海桐皮一两，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 肉桂一两，去皱皮 羚羊角屑一两 木香一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，宜服羌活散方：

羌活一两 牛膝一两，去苗 桂心三分 附子一两，炮裂，去皮脐 萆薢三分，锉 海桐皮三分，锉 防风半两，去芦头 五加皮一两 当归一两，锉，微炒

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，入酒二合，更煎三两沸，去滓，食前温服。

治肾藏风毒流注，腰脚筋骨疼痛，行立艰难，宜服牛膝丸方：

牛膝二两，去苗 虎胫骨一两，涂酥，炙微黄 羌活一两 海桐皮三分 当归三分，锉，微炒 巴戟三分 芎藭三分 薏苡仁三分 防风三分，去芦头 桂心三分 杜仲一两，去粗皮，微炙，锉 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 石斛三分，去根，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 熟乾地黄一两 肉苁蓉一两，酒浸一宿¹，去皱皮，炙乾 酸枣仁三分，微炒 仙灵脾三分 补骨脂三分，微炒 乾蝎三分，微炒 天麻三分 木香三分 槟榔一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，宜服杜仲丸方：

杜仲二两，去粗皮，炙微黄，锉 续断一两 丹参半两，去芦头 萆薢三分，锉 芎藭半两 虎胫骨一两，涂酥，炙微黄 桂心半两 附子一两，炮裂，去皮脐 牛膝三分，去苗 赤芍药三分 海桐皮三分 乾蝎三分，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，四肢少力，不能饮食，宜服石斛丸方：

石斛一两，去根，锉 防风一两，去芦头 仙灵脾三分 牛膝二两，去苗 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 天雄一两，炮裂，去皮脐 桂心三分 羌活一两 当归

¹ 宿：太平圣惠方此下有“括”字。

一两，锉，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 木香半两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心，温酒下三十丸，晚食前再服。神巧万全方同。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，及腹胁滞闷，宜服沉香丸方：

沉香一两 桂心三分 海桐皮三分 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 附子一两，炮裂，去皮脐 草薢一分，锉 乾蝎半两，微炒 牛膝一两，去苗 槟榔三分

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治肾藏风毒流注，腰脚疼痛，行立无力，宜服虎骨浸酒方：

虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 熟乾地黄二两 续断一两 赤箭一两 石斛一两，去根，锉 防风一两，去芦头 牛膝一两，去苗 丹参一两，去芦头 桂心一两 当归一两，锉，微炒 草薢一两，锉 芎藭一两 酸枣仁一两，微炒 山茱萸一两 五味子一两 漏芦一两 五加皮一两 附子一两，炮裂，去皮脐 仙灵脾一两 骨碎补一两 荆芥半两 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 海桐皮一两 木香一两 乌蛇一条，重五两，用无灰酒浸三宿后，取出，去头尾皮骨，炙微黄

右件药，都细锉，用生绢袋盛，以无灰酒三斗浸，经七日后，每于食前，暖一小盏服之。

治肾藏风毒流注，腰膝拘急疼痛，宜服薏苡仁浸酒方：

薏苡仁三两 防风二两，去芦头 牛膝三两，去苗 独活二两 生乾地黄二两 黑豆五合，炒令熟 当归二两，锉，微炒 酸枣仁三两^②，微炒 芎藭二两^③ 丹参二两，去芦头 桂心二两 附子二两，炮裂，去皮脐

右件药，细锉，以生绢袋盛，用清酒二斗渍，五七宿后，每于食前，暖一小盏服之。

治肾藏冷气卒攻 脐腹疼痛诸方

夫肾藏冷气卒攻脐腹疼痛者，由肾气虚

弱，宿有冷疹，或久坐湿地，强力入水，或食生冷过度，触冒风寒，伤于肾经，阳气虚微，阴气独盛，邪正相击，故令卒脐腹疼痛不可忍也。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛不可忍，手足逆冷，沉香散方：

沉香二两 附子一两，炮裂，去皮脐 肉豆蔻一两，去壳 肉桂三分，去皱皮 青橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 茴香子三分 蓬莪茂三分 阿魏三分，面裹煨，面熟为度

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治肾藏冷气卒攻脐腹及两胁，疼痛不可忍，蚺蛇散方：

蚺蛇三十六枚，头足全者，掘一地坑子，面阔四寸，深五寸，用炭火五斤，烧坑子令通赤，便净去却灰土，用头醋一升，泼在坑子内，候渗乾，便匀，排蚺蛇坑子底，用一瓷碗盖之，一宿取出萝卜子一分 胡椒三十^⑤粒 槟榔一枚 肉豆蔻一枚，去壳 木香一两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下一钱。神巧万全方同。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛，胀满壅闷，宜服木香散方：

木香三分 乾姜三分，炮裂，锉 茴香子三分 桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 桂心三分 槟榔三分 青橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 鸡舌香三分 茱萸三分

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下一钱。

治肾藏气虚，触冒风寒，冷气卒攻，脐复疼痛，宜服桃仁丸方：

桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 附子三分，炮裂，去皮脐 硫黄三分，细研，水飞过 茴香子三分 木香三分 高良姜三分，锉

右件药，捣罗为末，用煎醋浸蒸饼和丸，

① 二：太平圣惠方作“一”。

② 两：太平圣惠方作“分”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

⑤ 十：太平圣惠方作“小”。

如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛不可忍，宜服阿魏丸方：

阿魏 半两，面裹煨，面熟为度，别研 桃仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，别研 桂心 三分 青橘皮 半两，汤浸，去白瓢，焙 乾蝎 三分，微炒 附子 半两，炮裂，去皮脐 木香 三分 槟榔 三分 自然铜 半两，细研

右件药，捣罗为末，以童子小便二升，入桃仁、阿魏于银锅子内，以慢火煎令稠，入诸药末，和丸如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下二十丸。

治肾藏冷气攻，脐腹疼痛，两胁胀闷，饮食不下，宜服硫黄丸方：

硫黄 一两，细研，水飞过 木香 半两 青橘皮 三分，汤浸，去白瓢，焙 槟榔 半两 桃仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 茴香子 三分

右件药，捣罗为末，醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服以热酒下十丸，不计时候服之。

治肾藏冷气卒攻，脐腹撮痛不可忍，宜服胡椒丸方：

胡椒 三分 木香 三分 沉香 三分 桂心 三分 蛭螂 三分，微炒 阿魏 一分，面裹煨，面熟为度

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服，以热生姜酒下二十丸，不计时候服。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛甚者，神效硃砂丸方：

硃砂 三分 雄黄 一分 朱砂 一分 黄丹 一分，微炒 麝香 一钱 巴豆 十枚，去皮①心，研，纸裹压去油

右件药，都入于乳钵内，顺日研半日，用煎醋浸蒸饼和丸，如绿豆大，每服以温酒下五丸，不计时候服。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛不可忍，宜服阿魏丸方：

阿魏 一分，面裹煨，面熟为度 蛭螂 一分，微炒 木香 一分 肉豆蔻 一分，去壳 桃仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄，细研 硃砂 半两②

右件药，捣罗为末，入桃仁，以醋煮面

糊和丸，如绿豆大，每服煎茴香酒下十五③丸，不计时候服。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛，日夜不止，宜服硃砂丸方：

硃砂 半两 乾蝎 一分，微炒 桃仁 三十枚，汤浸，去皮尖及双仁，研如膏

右件药，捣罗为末，入桃仁同研令匀，以酒煮面糊和丸，如绿豆大，每服不计时候，以生姜热酒下十丸。 简要济众方炒茴香热酒下十丸，生姜盐汤下亦得。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛不可忍方：

铜绿 三分，研入 革澄茄 半两 木香 三分

右件药，捣罗为末，以醋煮面糊和丸，如绿豆大，每服以热酒下十丸，不计时候服之。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛挡撮甚者，宜服此方：

槟榔 一分 棘针钩子 一合，微炒

右件药，捣粗罗为散，都作一服，以水一大盏，煎至五分，又入好酒半中盏，更煎三五沸，去滓，不计时候，稍热分为二服。

治肾藏冷气卒攻，脐腹疼痛至甚，定痛丸方：

乾蝎 三两，微炒

右件药，捣罗为末，以清酒及童子小便各一升，同煎如稠膏，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治肾藏虚冷气攻腹胁疼痛胀满诸方

夫肾藏虚冷气者，由肾气不实，下焦久寒，阳气外虚，阴气内积，邪冷之气，在于藏腑，积蓄不散，上攻于脾，脾虚受之则胀，冷搏于阴经则痛也。而又足少阴支脉，行于两胁，今肾与脾俱虚，为邪冷所攻，正气与邪气相击，故令腹胁疼痛胀满也。

治肾藏虚冷，气攻腹胁疼痛，或多呕吐，

① 皮：太平圣惠方无此字。

② 两：太平圣惠方作“分”

③ 十五：太平圣惠方作“（十）五”。

不思饮食，两胁胀满，四肢羸瘦，宜服沉香散方：

沉香半两 白豆蔻半两，去皮 青橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 高良姜三分，锉 附子三分，炮裂，去皮脐 京三棱半两，微煨，锉 桂心半两 白茯苓三分 当归半两，锉，微炒 木香半两 槟榔半两 白术三分 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，不计时候，热服。

治肾藏虚冷，气攻心腹疼痛，两胁胀满，宜服槟榔散方：

槟榔三分 茴香子三分 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心三分 当归三分，锉，微炒 芎藭三分 丁香半两 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 白豆蔻三分，去皮 木香二①分 青橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，热服。

治肾藏虚冷，气攻心腹疼痛，或时吐逆，两胁虚胀，不思饮食，四肢乏力，宜服革澄茄散方：

革澄茄一两 木香一两 人参一两，去芦头 肉桂一两，去皱皮 肉豆蔻一两，去壳 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 槟榔一两 诃梨勒皮一两 丁香三分 附子一两半，炮裂，去皮脐 缩砂三分，去皮 乾姜三分，炮裂，锉 京三棱三分，微煨，锉 赤茯苓二②分 白术三分 赤芍药半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下二钱。

治肾藏虚冷，气攻心神闷乱，四肢逆冷，腹胁胀满疼痛，喘促呕吐，宜服沉香丸方：

沉香一两 木香一两 槟榔一两 苦楝子一两 桂心一两 茴香子一两 当归一两，锉，微炒 桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 丁香半③两 肉豆蔻一两，去壳 乾姜半两，炮裂，锉 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 乾蝎半两，微炒 阿魏一两，面裹煨，面熟为度 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 蓬莪茂一两 硫黄一两半，细研，水飞过

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大 每服不计时候，以热酒下三十丸。

治肾藏虚冷，气攻心腹疼痛，胁肋胀满，宜服革澄茄丸方：

革澄茄半两 木香半两 桂心一两 茴香子三分 诃梨勒一两，煨，用皮 沉香半两 乾蝎半两，微炒 槟榔一两 蓬莪茂三分 白术半两 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 当归半两，锉，微炒 高良姜三分，锉

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以热生姜酒下二十丸。

治肾藏虚冷，气攻腹胁胀满，发歇疼痛，足胫逆冷，骨节痠疼，食少无力，宜服硫黄丸方：

硫黄一两，细研 硃砂一两，细研 革澄茄一两 茴香子一两 补骨脂一两 石斛一两，去根 木香一两 何首乌一两半 丁香一两 肉豆蔻一两，去壳 桂心一两 当归一两，锉，微炒 吴茱萸一两，汤浸七遍，焙乾微炒 槟榔一两 麝香半两，细研

右件药，捣细罗为末，入研了药令匀，以酒煮面糊，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十五丸。

治肾藏气虚，下焦积冷，气攻腹胁胀满，脐下疼痛，面色青黑，足胫多冷，宜服胡芦巴丸方：

胡芦巴一两 茴香子一两 木香半两 桂心半两 当归半两，锉，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 阿魏半两，研入 硫黄一两，细研 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 沉香半两 白豆蔻半两，去壳 桃仁二两，汤浸，去皮尖双仁，别研如膏

右件药，捣细罗为末，入研了药令匀，用好酒一升半，先熬桃仁膏令稠，拌和诸药末，捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治肾藏虚冷，气攻两胁胀满，腹内疼痛，

1 二：太平圣惠方作“三”。

2 二：太平圣惠方作“三”。

3 半：太平圣惠方作“二”。

四肢不和，宜服茴香丸方：

茴香子三分 木香三^①分 萝卜子半两，微炒
桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，别研如膏 厚朴一两半，去粗皮，涂生姜汁，炙香熟 桂心三分 蓬莪茂三分 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 槟榔三分

右件药，捣罗为末，以醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下三十丸。

治肾藏虚损多唾诸方

夫肾主于水，其液为唾，膀胱是肾之腑，主于津液，二经既象于水，故为表里也，若藏腑和平，则水液下流，入于小肠^②，若肾气劳损，膀胱虚弱，阴气不足，阳气有余，则上焦生热，心胸壅滞，水饮停积，故令多唾也。

治肾藏虚损，冷气所攻，下焦虚寒^③，上焦壅滞，多唾稠粘，四肢不利，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 五味子三分 白术三分 圣济总录铤，炒 附子三分，炮裂，去皮脐 细辛三分 总绿去苗叶 半夏三分，汤洗七遍，去滑 总录切，焙 前胡三分，去芦头 黄耆三分，铤 桂心三分 总录桂去粗皮，三分 枳实半两，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，铤

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，总绿三片。煎至六分，总录七分。去滓，不计时候，温服。

治肾藏虚损，上热下冷，心胸壅滞，痰毒结实，唾如筋 神巧万全方作鰓。胶，饮食减少，宜服半夏散方：

半夏一两，汤浸七遍，去滑 川乌头半两，炮裂，去皮脐 防风半两，去芦头 旋复花一两 前胡一两，去芦头 赤茯苓一两 桂心一两 白术半两 甘草半两，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾藏虚损，脾气乏弱，津液不荣，上焦生热，多唾稠粘，胸膈壅滞，不欲饮食，

宜服前胡散方：

前胡一两，去芦头 大腹皮三分，铤 半夏一两，汤洗七遍，去滑 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄^④ 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 白术一两 泽泻一两 赤茯苓一两 甘草半两，炙微赤，铤

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾藏虚损，上焦烦壅，痰饮结聚，常唾不休，胃虚食少，宜服泽泻散方：

泽泻一两 人参三分，去芦头 旋复花三分 麦门冬三分，去心 枳实半两，麸炒微黄 前胡三分，去芦头 赤茯苓三分 桔梗三分，去芦头 甘草半两，炙微赤，铤 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 半夏一两，汤浸七遍，去滑

右件药，捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治肾藏虚损，心膈痰滞，壅滞多唾，腹胁妨闷，宜服白术丸方：

白术一两 赤茯苓一两 附子三分，炮裂，去皮脐 桂心一两 紫苑三分，洗去根土 诃梨勒皮一两 前胡一两，去芦头 桔梗三分，去芦头 人参一两，去芦头 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 槟榔半两 半夏一两，汤洗七遍，去滑，炒令微黄

右件药，捣罗为末，以生姜汁煮面糊和丸，如梧桐子大，食前以枳壳汤下二十丸。

治肾藏虚损，上焦痰滞，多唾稠浊，腹胁胀满，吃食微少，宜服赤茯苓丸方：

赤茯苓一两 甜瓜子三分，微炒 人参三分，去芦头 桂心一两 旋复花三分 半夏一两，汤洗七遍，去滑 槟榔三分 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 草豆蔻半两，去皮 前胡三分，去芦头 附子三分，炮裂，去皮脐 厚朴三分，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟

右件药，捣细罗为末，以生姜汁煮面糊和丸，如梧桐子大，每服食前，以姜枣汤下二十丸。

1 三：太平圣惠方作“一”。

2 肠：太平圣惠方作“腹”。

3 寒：太平圣惠方无此字。

4 去皮尖双仁，麸炒微黄：太平圣惠方无此句。

治肾气^①虚损骨萎羸瘦诸方

夫肾藏者，神精之所舍，元气之所系，若其气强实，则骨髓满溢，故令肌体充盛也；若气血不足，藏腑劳伤，真气不守，邪气所侵，则肾气虚弱，骨髓枯竭，不能荣华，故令骨萎羸瘦也。

治肾藏虚损，头昏耳鸣，目暗茫茫，心中喜忘，恍惚不定，饮食无味，心恒不乐，多有恐思，时吐酸水，面无悦泽，肌体虚羸，骨萎不能行立，宜服石斛丸方：

石斛一两，去根，锉 天门冬半两，去心，焙 五味子三分 巴戟半两 牛膝一两，去苗 肉苁蓉三分，酒浸一宿^②，去皱皮，炙乾 乾漆半两，捣碎，微炒 兔丝子一两，酒浸三宿，焙乾，别捣为末 白术三分 远志半两，去心 白茯苓三分 熟乾地黄三分 覆盆子半两 薯蓣半两 补骨脂一两，微炒 人参半两，去芦头 石龙芮三分 五加皮三分 草薢三分，锉 狗脊半两 石南半两 杜仲三^③分，去粗皮，炙微黄，锉 天雄三分，炮裂，去皮脐 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下三十丸，渐加至五十丸。

治肾气虚损，骨萎羸瘦，耳鸣心烦，小腹里急，气引膀胱，连腰膝疼痛，不欲饮食，宜服磁石丸方：

磁石二两，烧醋淬七遍，细研，水飞过 肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮，锉，炙^④ 钟乳粉二两 黄耆一两，锉 巴戟一两 石斛一两，去根，锉 白茯苓半两 桂心一两 杜仲一两，去粗皮，炙令微黄，锉 当归半两，锉，微炒 鹿茸一两，涂酥，炙微黄，去毛 五味子半两 天门冬三分，去心，焙 续断半两 木香半两 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别捣 阳起石一两，细研 牛膝一两，去苗 远志三分，去心 附子一两，炮裂，去皮脐 泽泻三分 覆盆子三分 沉香三分 熟乾地黄一两 丹参一两，去芦头 乾漆三分，捣碎，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下三十丸，渐加至五十丸。

治肾藏^⑤虚损羸瘦，食饮不为肌肤，骨萎无力，腰脚^⑥疼痛，宜服补暖益气力，令人充健，紫石英丸方：

紫石英一两，细研，水飞过 肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 白石英一两，细研，水飞过 磁石一两^⑦，烧醋淬七^⑧遍，捣碎，细研，水飞过 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 兔丝子二^⑨两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 人参一两半，去芦头 黄耆二两，锉 钟乳粉二两 熟乾地黄二两 巴戟一两半 白茯苓二两 补骨脂一两，微炒 覆盆子一两 附子二两，炮裂，去皮脐 当归一两，锉，微炒 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 天门冬一两，去心，焙 五味子一两 石斛二两，去根，锉 桂心一两 柏子仁一两 蛇床子一两 棘刺一两 牛膝二两，去苗 续断一两 肭肭脐一两，酒洗，微炙

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下三十丸，渐加至五十丸。

治肾藏虚损，肌体羸瘦，骨萎无力，腰脚痠疼，小便浓^⑩浊，宜服熟乾地黄丸方：

熟乾地黄一两 山茱萸一两 薯蓣一两 白茯苓一两 石斛一两，去根 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 巴戟一两 五味子一两 泽泻一两 黄耆三分，锉 天门冬半两，去心，焙 柏子仁一两 鹿角胶一两，捣碎，炒令黄燥 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令黄^⑪

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏虚损，骨萎无力，坐而难起，目

① 气：太平圣惠方作“藏”。

② 宿：太平圣惠方此下有“刮”字。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

④ 锉炙：太平圣惠方作“炙乾”。

⑤ 藏：太平圣惠方作“气”。

⑥ 脚：太平圣惠方无此字。

⑦ 一：太平圣惠方作“二”。

⑧ 七：太平圣惠方作“十”。

⑨ 二：太平圣惠方作“一”。

⑩ 浓：太平圣惠方作“混”。

⑪ 黄：太平圣惠方作“乾”。

视茫茫，短气不足，肌体羸瘦，宜服牛膝丸方：

牛膝一两半，去苗 柏子仁三分 桂心一两 白茯苓三分 白石英一两，细研，水飞过 黄耆一两，锉 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙令微黄 五味子三分 人参三分，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 覆盆子一两 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾 山茱萸三分 芎藭三分 杜仲三分，去粗皮，炙微黄，锉 熟乾地黄三分 防风三分，去芦头 石斛一两，去根，锉 肉苁蓉一两，酒洗，去皱皮，微炙 磁石一两，烧醋淬七遍，捣碎，细研，水飞过 补骨脂一两，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下二①十丸。

治肾藏虚损阳气萎弱诸方

夫肾者，元气之本，精志之藏，内主于骨，气通于阴，若人动作劳伤，情欲过度，气血衰损，阴阳不和，藏腑既虚，精气空竭，不能荣华，故令阳气萎弱也。

治肾藏虚损，腰^②膝无力，阳气萎弱，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 蛇床子一两 远志一两，去心 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别杵为末 肉苁蓉一两，酒浸一日，刮去皱皮，炙乾 五味子一两 麋茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 巴戟一两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治肾藏虚损，精气衰竭，阳道萎弱，宜服肉苁蓉散方：

肉苁蓉二两，酒浸一日，刮去皱皮，炙乾 兔丝子一两半，酒浸三宿，曝乾别杵 钟乳粉二两 蛇床子一两 远志一两，去心 续断一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 鹿茸二两，去毛，涂酥，炙微黄 石龙芮一两

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治肾藏虚损，精气不足，腰脚痠疼，羸瘦无力，阳道萎弱，宜服此方：

麋茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 巴戟一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 五味子一两 蛇床子一两 石斛一两，去根，锉 肉苁蓉一两，酒浸一日，刮去皱皮，炙乾 兔丝子一两，酒浸三宿，曝乾，别杵为末 牛膝一两，去苗，远志一两，去心 雄蚕蛾半两，微炒 石龙芮三分

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治肾藏衰乏，阳气萎弱，腰脚无力，宜服助阳补虚硫黄散方：

硫黄一两，细研，水飞过 白石英一两，细研，水飞过 白马茎一两，涂酥，炙微黄 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 远志一两，去心 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 天雄一两，炮裂，去皮脐 雄蚕蛾一两，微炒 女萎一两 蛇床子一两 五味子一两 石南一两

右件药，捣细罗为散，每服二钱，空心及晚食前，以温酒调服。

治肾藏虚损，阳气乏弱，鹿茸散方：

鹿茸二两半，去毛，涂酥，炙令微黄 兔丝子二两半，酒浸三日，曝乾，别杵为末 雄蚕蛾二两，微炒 阳起石二两半，酒煮半日，细研 石南一两 远志二两，去心 桂心二两 附子二两，炮裂，去皮脐 桑螵蛸二两，微炒 肭脐一两，酒洗，微炙 蛇床仁二两 肉苁蓉^③二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 钟乳粉二两半

右件药，捣细罗为散，每服空心及晚食前，以温酒调下二钱。

治肾藏虚损，阳气萎弱，天雄散方：

天雄二两，炮裂，去皮脐 远志一两，去心 续断一两 兔丝子三两，酒浸三宿，曝乾，别杵末 肉苁蓉一两，酒浸，去皱皮，微炙 蛇床仁一两 雄蚕蛾一两，微炒 桂心一两 石龙芮一两

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治肾藏虚损，肌体羸瘦，腰脚无力，志意昏沉，阳气萎弱，小便滑数，宜服兔丝子丸方：

兔丝子二两，酒浸三宿，曝乾，别杵为末 肉苁蓉

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 腰：太平圣惠方无此字。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 蛇床子一两 钟乳粉一两 牡蛎一两，烧为粉 天雄一两，炮裂，去皮脐 远志一两，去心 桂心一两 鹿药一两 五味子一两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙令微黄 车前子一两 石斛一两半，去根，锉 雄蚕蛾一两，微炒 石龙芮一两 雄鸡肝一两，微炙 肭脐一两，酒洗，微炙

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治肾藏虚损，阳气萎弱，四雄丸方

雄雀肝十具，微炙 雄鸡肝三具，微炙 雄蚕蛾五十枚，微炒^① 天雄二两，炮裂，去皮脐 龙脑一两，细研 白矾一两，烧令汁尽 木香半两 白马茎二两，涂酥，炙令微黄 硃砂一两，细研 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 菝葜子一两，水淘去浮者，水煮牙出，候乾，炒令黄黑色

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。神巧万全方同。

治肾藏虚损，阳气萎弱，精泄不禁，宜服鹿茸丸方：

鹿茸二两，去^②毛，涂酥，炙令微黄 菝葜子一两，水淘去浮者，水煮令牙出，候乾，炒令黄黑色 附子一两，炮裂，去皮脐 天雄一两，炮裂，去皮脐 硫黄一两，细研，水飞过 蛇床仁一两 磁石一两，烧赤，醋淬七^③遍，细研，水飞过 韭子一两，微炒 桂心一两 硃砂一两，细研 龙骨一两 熟乾地黄一两

右件药，捣罗为末，用羊肾一对，去脂膜，研如泥，以酒二升，煎成膏，入诸药末，和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏虚损，阳气全乏，宜服保寿丸方：

麋茸二两，去毛，酒洗，炙微黄 钟乳粉二两 补骨脂二两，微炒 天雄二两，炮裂，去皮脐 硃砂二两，细研 肭脐一两，酒洗，微^④炙 兔丝子二两，酒浸三宿，曝乾，别杵为末 阳起石一两，酒煮半日，细研，水飞过 青盐一两 肉苁蓉一两，酒浸，去皱皮，炙乾 巴戟一两 白马茎二两，涂酥，炙令微黄 雄雀儿三十枚，去毛足肠肚，研如泥，以酒五升，煎如膏 硫黄一两，细研，水飞过 桂

心一两 雄鸡肝三具，切，焙乾 黄戊茎并肾一对 切焙乾

右件药，捣罗为末，入雀肉膏，和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治肾藏虚损，阳气萎弱，宜服阳起石丸方：

阳起石一两，酒煮半日 白矾灰一两 钟乳粉一两 硫黄一两 龙脑一两 伏火硃砂一两 伏火砒霜半两

右件药，都研如粉，用软粳米饭和丸，如梧桐子大，每服食前，以温酒下十丸，日二服。

治肾藏虚损，阳气萎弱，手足不和，菝葜子丸方：

菝葜子一两半，水淘去浮者，水煮牙出，焙乾，炒令黄黑色，别杵为末 蛇床子一两 兔丝子一两，酒浸三日，曝乾，别杵为末 附子一两，炮裂，去皮脐 蜀茶半两 硃砂半两，细研 雄雀粪一两

右件药捣，先取菝葜子、雄雀粪、硃砂三味，用白蜜四两，同以浆水三升煮，勿住手搅，煎如饴，即入诸药末，和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，盐汤下十丸。

治肾藏虚损，阳气萎弱，宜服助阳气神效钟乳丸方：

钟乳粉一两 硫黄一两 阳起石一两 磁石一两 朱砂一两半

右件药，都研如粉，用琅玕石一斤，捣罗为末，分为三分，先入一分，于瓷瓶内，即以纸裹前药末，入柜内中心了，即以余二分盖之，筑令实，如法固济，入灰池，常用火二斤，养七日满，加火七斤，煨通赤，候冷开之，取药摊于净地上，以盆合三日，取细研如粉，煮枣肉和丸，如梧桐子大，每日

① 炒：太平圣惠方作“炙”。

② 去：太平圣惠方此下有“皮”字。

③ 七：太平圣惠方作“十”。

④ 微：太平圣惠方无此字。

空心及晚食前，以温酒下五丸，渐加至十丸。

治肾藏衰弱绝伤^①，手足多冷，宜服附子丸方：

附子^②二两，炮裂，去皮脐 蛇床子二两 钟乳粉二两 兔丝子二两，酒浸三日，曝乾，别杵为末 麋^③茸二两，去毛，涂酥，炙微黄 肉苁蓉二两，酒浸，去皱皮，炙乾

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。

治育^④肠气诸方

夫肾者内藏于精，精含于志，与膀胱为表里，俱主于水液，其气贯于小肠，而通于阴，若人阴阳不调，藏腑衰损，将摄乖失，肾气虚微，为邪冷之气所侵，传注于小肠，则令小肠连阴疼痛，故号育^⑤肠气也。

治育^⑥肠气，小腹连阴疼痛，茴香散方：

茴香子一两 神巧万全方炒 苦楝子一两，炒微黄 万全方二两 木香半两 槟榔一两 青橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙

右件药，捣细罗为散，每服二钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，和^⑦滓，不计时候，热服。

治育^⑧肠气疼痛，宜服沉香散方：

沉香半两 胡芦巴半两 肉豆蔻半两，去壳 槟榔三分 木香三分 桂心半两 茴香子半两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治育^⑨肠气，小腹疼痛不可忍，宜服草澄茄散方：

草澄茄一两 槟榔一两 木香一两 苦楝子一两 茴香子一两 乾蝎半两，微炒 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 桃仁^⑩二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 硃砂一两，细研入 阿魏^⑪半两，面裹煨，面熟为度

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以热生姜酒调下二钱。

治育^⑫肠气八仙丸方：

桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 桂心半两 木香三分 青橘皮

三分，汤浸，去白瓢，焙 高良姜三分，锉 腥肭脐半两，酒刷，炙微黄 乾蝎一分，微炒

右件药，捣罗为末，用醋浸蒸饼和丸，如梧桐子大，每服食前，以热酒下二十丸。

治育^⑬肠气，久患不差，宜服磁石丸方：

磁石一两，烧醋淬七遍，捣碎，细研，水飞过 阳起石三分，酒煮半日，细研，水飞过 硃砂一两 木香一两 乾蝎半两，微炒^⑭ 白矾灰半两 银末半分 自然铜半两，细研 阿魏半两，研入

右件药，先研硃砂，以醋调涂于铜叶上，以新盆盖七日，刮取绿，细研，诸药别捣罗为末，同研令匀，用醋煮面糊和丸，如绿豆大，每服食前，以热生姜酒下十丸。

治育^⑮肠气，疼痛不可忍，桃仁丸方：

桃仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 阿魏半两，面裹煨，面熟为度 木香三分 乾蝎半两，微炒 槟榔一两 苦楝子半两 桂心半两 芫花半两，醋拌炒黄

右件药，捣罗为末，以醋浸蒸饼和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热生姜酒下十丸。

治育^⑯肠气疼痛，手足逆冷，宜服绿云丹^⑰方：

硃砂一两 硫黄半两 雄黄半两 蛭虻半两，为末 青盐半两 阿魏半两

右件药，同研令匀细，入酽醋调令稠，涂于铜沙锣里，合于净地上，四畔以泥密封，

① 伤：太平圣惠方作“阳”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 麋：太平圣惠方作“鹿”。

④ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑤ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑥ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑦ 和：太平圣惠方作“去”。

⑧ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑨ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑩ 二：太平圣惠方作“三”。

⑪ 半：太平圣惠方作“一”。

⑫ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑬ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑭ 半：太平圣惠方作“三”。

⑮ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑯ 育：太平圣惠方作“盲”。

⑰ 丹：太平圣惠方作“丸”。

经五日后，刮取药，细研，以醋煮面糊和丸，如粟米大，每服不计时候，以热生姜酒下五丸。

治育^①肠气，发歇疼痛不可忍，宜服蛭螂丸方：

蛭螂一两 补骨脂一两 茴香子半两 木香半两 阿魏半两 马兰花半两 苦楝子半两 桃仁二两，汤浸，去皮尖，细研，以童子小便三升，熬成膏

右件药，捣细罗为末，以桃仁膏和溲为丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下十丸。

又方：

硃砂二^②两，研为末，以醋煎调涂于多年铜照子面上，用新盆盖七日，刮取绿，细研 槟榔一两 木香一两 没药半两 茴香子一两

右件药，捣细罗为末，入硃砂，研令匀，以糯米饭和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热生姜酒下七丸。

又方：

阿魏一两 硃砂一两，用酒一大盏，与阿魏同熬如膏 木香三分 苦楝子一两，炒微黄 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣罗为末，入硃砂膏和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热生姜酒下十丸。

又方：

硃砂一两 朱砂半两 雄黄半两

右件药，同研如粉，入头醋调令稀稠得所，用青铜钱一百文，洗刷令净后，以盐水煮过，揩乾，于净地上，以炭火烧令赤，以醋洒过更烧，如此三遍，净扫却浮灰，铺钱在烧处，以鸡翎涂药在钱上，取新瓦盆子盖，周回以湿土拥缝，更以水洒周回，常令湿润，如此七日后取出，以铜刀刮下细研，用醋煮面糊和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热生姜酒下十丸。

又方：

苦楝子一两 蓬莪茂一两 茴香子一两 桂心一两 木香一两

右件药，捣罗为末，用生漆和，先以生

油涂手，丸如梧桐子大，阴乾，每服不计时候，以热酒下十丸。

又方：

马蔺花一两，以瓷器内，炒令微黄 芫花一两，醋拌微炒 胡芦巴半两 苦楝子半两

右件药，捣细罗为末，以醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下十丸。

治膀胱虚冷诸方

夫膀胱者，脬囊也。合于肾，足太阳是其经，为津液之府。凡五藏六腑，五味五谷之津液，悉归于膀胱，气化出焉，为溲便下注也。若虚则生寒，寒则脬滑，小便不禁，尿多白色，面黑胫痠，两胁胀满，则是膀胱虚冷之候也。

治膀胱虚冷，饥不欲食，面色萎黑，腰胁疼痛，宜服磁石散方：

磁石二两，捣碎，水淘去赤汁 黄耆一两，锉 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 五味子一两 白石英二两，细研入 白茯苓一两 白术一两 当归一两，锉，微炒 沉香一两

右件药，捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，枣五枚，煎至五分，去滓，食前温服。

治膀胱虚冷气攻注，腰胯疼痛，宜服杜仲散方：

杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 石斛三分，去根，锉 槟榔三分 当归三分，锉，微炒 牛膝三分，去苗 桂心三分 丹参三分，去芦头 木香三分 青橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 白茯苓三分 茴香子三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，食前温服。

治膀胱虚，冷气攻腰间，及腹胁疼痛，宜服沉香散方：

沉香一两 木香三分 桃仁三分，汤浸，去皮尖双

① 育：太平圣惠方作“盲”。

② 二：太平圣惠方作“一”。

仁，麸炒微黄 草澄茄 三分 桂心 三分 附子 一两，炮裂，去皮脐 茴香子 三分 白蒺藜 三分，微炒去刺 槟榔 一两

右件药，捣细罗为散，每服食前，以生姜热酒调下二钱。

治膀胱虚冷，两胁胀满，脚胫多疼，腰脊强痛，小便滑数，宜服石斛散方：

石斛 一两，去根，锉 附子 一两，炮裂，去皮脐 五味子 三分 泽泻 三分 当归 三分，锉，微炒 牛膝 三分，去苗 白茯苓 三分 沉香 三分 人参 三分，去芦头 桂心 三分 磁石 二两，捣碎，水淘去赤汁 黄耆 半两，锉 肉苁蓉 一两，酒浸，去皱皮，微炙^① 茴香子 三分 枳实 三分，麸炒微黄

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，食前温服。

治膀胱虚冷，面色萎黑，小便不禁，腰膝痠疼，两胁胀满，不能饮食，肌肤消瘦，宜服鹿茸丸方：

鹿茸 一两，去毛，涂酥，炙微黄 肉苁蓉 一两，酒浸，去皱皮，微炙 附子 一两，炮裂，去皮脐 桑螵蛸 半两，微炙 石斛 一两，去根，锉 茴香子 一两 钟乳粉 一两，研入 白龙骨 一两 沉香 一两 兔丝子 一两半，酒浸三宿，别捣如泥，焙乾 磁石 一两半，烧醋淬七遍，捣碎细研，水飞过^② 木香 一两

右件药，捣细罗为末，入研了药令匀，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，渐加至四十丸，空心及晚食前服。

治膀胱虚冷气^③，腹胁胀满，腰脚冷疼，面食^④多黑，体重无力，宜服草澄茄丸方：

草澄茄 一两 安息香 一两 木香 一两 肉桂 一两半，去皱皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 当归 半两，锉，微炒 补骨脂 一两 茴香子 一两 沉香 半两 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 桃仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 槟榔 半两 肉豆蔻 半两，去壳 青橘皮 半两，汤浸，去白瓢，微炒

右件药，捣细罗为末，酒煮面糊，和捣三二百杵，为丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治膀胱虚冷，气攻腹胁，胀满疼痛，宜

服茴香子丸方：

茴香子 一两 神巧万全方炒 木香 一两 万全方炒 桃仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 一两 安息香 一两 胡芦巴 半两 青橘皮 半两，汤浸去白瓢，微炒

右件药，捣细罗为末，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服不计时候，热生姜酒下二十丸。

治膀胱实热诸方

夫膀胱者，贮诸藏之津液，若实则生热，热则膀胱急，口舌燥，咽肿痛，小便不通，尿黄赤色，举体沉重，四肢气满，面肿目黄，小腹偏痛者，则是膀胱实热之候也。

治膀胱实热，心腹烦闷，小便不利，宜服梔子散方：

梔子仁 一两 石膏 二两 白茅根 一两，锉 赤茯苓 一两 犀角屑 一两 木通 一两，锉 黄芩 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，入淡竹叶二七片，生地黄半两，煎至五分，去滓，食前温服。忌炙煨热面。

治膀胱实热，小便赤涩，宜服榆皮散方：

榆白皮 三分，锉 车前子 三分 葵根 三分 木通 三分，锉 瞿麦 三分 白茅根 三分，锉 桑螵蛸 一两，微炒 赤茯苓 一两 黄芩 三分

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，食前温服。

治膀胱实热，腹胀，小便不通，口舌乾燥，咽肿不利，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓 一两 子芩 二^⑤分 桑螵蛸 三分，微炒 汉防己 三分 羚羊屑 三分 射干 半两 川升麻 三分 川大黄 三分，锉碎，微炒 瞿麦 一两 大青 三^⑥分 木

① 炙：太平圣惠方作“炒”。

② 水飞过：太平圣惠方无此三字。

③ 气：太平圣惠方此下有“攻”字。

④ 食：太平圣惠方作“色”。

⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

⑥ 三：太平圣惠方作“二”。

通 三分，铤

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治膀胱实热，腹胁胀满，小便不利，宜服大黄散方：

川大黄 一两，铤碎，微炒 黄芩 三分 赤茯苓 三分 冬葵子 一两 紫苏茎叶 三分 槟榔 三分 瞿麦 一两 木通 三分，铤 白茅根 三分，铤

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，去滓，食前温服。神巧万全方同。

治膀胱实热，小便不通，汉防己散方：

汉防己 一两 海蛤 半两 滑石 一两 葵子 半两 猪苓 半两，去黑皮 瞿麦 半两

右件药，捣细罗为散，每服食前，浓煎木通汤调下二钱。

治膀胱实热，腹胀，小便赤涩，水气流肿方：神巧万全方名浮萍散。

右取浮萍草晒乾，捣细罗为散，每服食前，煎葱白汤调下一钱。

治膀胱虚冷小便 滑数白浊诸方

夫膀胱者腑也，肾者藏也。二经以为表里，俱主于水，而开窍于阴。水行于小肠，入于脬而为溲便，乃津液下走之道也。若膀胱虚冷，肾气微弱，不能制于水，故令小便滑数白浊也。

治膀胱虚冷，小便滑数，其色白浊，宜服菝葜散方：

菝葜 二两，铤 土瓜根 一两 黄耆 一两，铤 沉香 一两 五味子 一两 肉苁蓉 一两，酒洗，去皱皮，微炙 白龙骨 二两，烧过 牡蛎 二两，烧为粉 附子 一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治膀胱虚冷，小便白浊滑数，日夜出无节度，宜服韭子散方：

韭子 一两，微炒 赤石脂 一两 土瓜根 一两

狗脊 一两 鹿茸 一两，去毛，涂酥，炙令微黄 牛膝 一两，去苗 牡蛎 二两，烧为粉 神巧万全方 一两 黄耆 一两，铤 附子 一两，炮裂，去皮脐 肉苁蓉 一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治膀胱虚冷，小便滑数，漏精，白浊如泔，宜服鸡臍脰散方：

鸡臍脰 一两，微炙 熟乾地黄 一两 牡蛎 一两，烧为粉 白龙骨 一两，烧过 鹿茸 一两，去毛，涂酥，炙微黄 黄耆 三分，铤 赤石脂 一两 桑螵蛸 三分，微炒 肉苁蓉 一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾

右件药，捣细罗为散，用丹雄鸡肠三具，内散在肠中，缝系了，于甑内蒸一炊久，取出，焙乾，捣罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治膀胱及肾藏虚冷急伤，小便滑数，白浊不止，兔丝子散方：

兔丝子 三两，酒浸三日，焙乾，别杵为末 鹿茸 二两，去毛，涂酥，炙令微黄 桑螵蛸 一两，微炒 牡蛎 一两，烧为粉 五味子 一两 肉苁蓉 一两，酒浸一宿，去皱皮，炙令乾 鸡臍脰 二两，微炒^①

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治膀胱虚冷，小便滑数，色如泔淀，桑螵蛸散方：

桑螵蛸 一两，微炒 赤石脂 二两 补骨脂 二两，微炒 狗脊 三分 草薢 一两，铤 白龙骨 二两 韭子 三分，微炒 鹿茸 二两，去毛，涂酥，炙令微黄 肉苁蓉 四两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 兔丝子 二两，酒浸三日，曝乾，别杵为末

右件药，捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治膀胱及肾藏虚冷，小便色白稠浊，日夜度数无恒^②，腰胁疼痛，宜服肾沥汤方：

肉苁蓉 一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾 汉椒 半两，

① 炒：太平圣惠方作“炙”。

② 恒：太平圣惠方作“常”。

去目及闭口者，微炒去汗 五味子 半两 附子 一两，炮裂，
去皮脐 乾姜 半两，炮裂，铤 人参 三分，去芦头 黄耆
三分，铤 泽泻 三分 芍药 三分 牛膝 三分，去苗 当
归 半两，铤，微炒 石斛 三分，去根，铤 磁石 二两，捣
碎，水淘去赤汁，以帛包之 桂心 半两

右件药，捣筛为散，每服五钱，以水一
大盏，用羊肾一对，切去脂膜，每用磁石包
子及入枣三枚，煎至五分，去滓，食前温服
之。

治膀胱虚冷，小便滑数，白浊，梦中失
精，宜服肉苁蓉丸方：

肉苁蓉 二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 鹿茸 二
两，去毛，涂酥，炙微黄 白龙骨 二两，烧过 泽泻 一两
附子 二两，炮裂，去皮脐 补骨脂 二两，微炒 山茱萸 一
两 椒红 二两，微炒 兔丝子 一两，酒浸三宿，晒乾，别杵为末

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治膀胱虚冷，肾气衰微，小便滑数，白
浊，宜服牡蛎丸方：

牡蛎 二两，烧为粉 附子 一两，炮裂，去皮脐 狗
脊 一两 白龙骨 二两，烧过 椒红 一两，微炒 泽泻
一两 鹿茸 二两，去毛，涂酥，炙令乾 肉苁蓉 二两，
酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 韭子 一两，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治膀胱及肾藏久虚积冷，上焦烦热，小
便滑数，如米泔，宜服黄耆丸方：

黄耆 一两，铤 熟乾地黄 一两 土瓜根 一两
玄参 三分 栝楼根 一两 白龙骨 一两 菝葜 一两，铤
牡蛎 一两，烧为粉 人参 三分，去芦头 桑螵蛸 三分，
微炒 五味子 一两 沉香 一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三五百
杵，丸如梧桐子大，每服食前，以粥饮下三
十丸。

① 令：太平圣惠方作“微”。

五 藏 门_七

简要济众方

论肝藏病

夫肝者木也，将军之官，谋虑出焉。谓勇而能断，潜发未萌，肝与胆合，主为表里。肝气盛为血有馀，则目赤两胁下痛引少腹，令人喜怒气逆，头眩耳聋，颊肿，其脉浮大而数，此是肝气盛，则宜泻之；不足者则眼昏暗，两胁拘急筋挛，不得大息及枯^①面青，善悲恐，如人将捕之，其脉沉细而滑者，此肝气虚，则宜补之。

治肝藏实热上攻，头目昏眩，兼治风化痰，镇心安神，白茯苓丸方：

白茯苓一两 人参一两，去芦头 麦门冬一两，去心，焙 酸枣仁一两，微炒 甘草三分，微炙黄 朱砂三分，别研 生龙脑一分，研

右件除别研药外，同捣罗为末，入研了药，再研令匀，炼蜜为丸，如鸡头大，每服一丸，嚼破，乳香汤下，食后临卧服。

治肝藏实，目赤昏涩，热泪不止，筋脉拘急，背膊劳倦及头昏项颈紧急疼痛，独活散方：

独活一两 甘菊花一两 蔓荆子一两 芎藭一两

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入酸枣仁、黍黏子各五十粒，研碎同煎至七分，并滓服，不计时候。

治肝藏壅热上攻，头目不利，四肢拘倦，柴胡散方：

柴胡一两半，去苗 石膏二两 黄芩一两 赤芍药一两 甘草一两，炙黄

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水

一中盏，同煎至七分，去滓，食后温服。

治肝元藏风虚，明目磁石丸方：

磁石三两，烧醋淬五遍，细研，用水飞过 神曲二两，微炒 朱砂一两，细研

右件药三味，捣罗为散，炼蜜为丸，如梧桐子大，盐汤下十丸，空心食前服。

治肝虚目睛眩疼，冷泪不止，筋脉疼痛，及眼羞明怕日，补肝散方：

夏枯草不以多少 香附子每一两，入夏枯草半两，炒 右件药二味，捣为散，每服一钱，腊茶调下，不计时候。

治肝藏虚寒，面青黄色，两胁胀满，筋脉不利，背膊疼痛，瘦乏无力，补虚覆盆子丸方：

覆盆子一两 五味子一两，附子一两，炮裂，去皮脐 酸枣仁一两 白术一两 熟乾地黄半两

右件药六味，同捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心食前温酒下，米饮亦得。

治肝藏风冷气攻，手足拘急及转筋，一切筋寒之病，补骨脂散方：

补骨脂一两 蒿草叶一两 官桂一两，去粗皮 附子一两，炮裂，去皮脐 乾姜一两，炮裂，槌 乾蝎一分，微炒

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，酒水各半盏，入葱白二寸，盐少许，同煎至六分，食前热服。如是急转筋甚者，用热酒调下。

治肝藏攻注，四肢筋急疼痛，及脚膝少力，行步艰难，木瓜丸方：

^① 及枯：太平圣惠方作“爪甲枯”。

宣州木瓜 去皮子，薄切，焙乾，二两 牛膝 一两半，酒浸一宿，焙乾，去苗 芎藭 一两半 黑附子 二两，炮裂，去皮脐 川羌活 一两半，去芦头

右件药五味，同捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，温牛膝酒下，空心晚食前。

治肝藏中风，筋脉拘挛，不得屈伸，恍惚或多喜忘，或时恐怖，茯神丸方：

茯神 一两 远志 三分，去心 人参 三分，去芦头 白僵蚕 三分，微炒 白附子 一两，微炮 当归 半两，锉，微炒 乳香 一两，研

右件药七味，先捣罗为末，与乳香拌和令匀，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，不计时候服。

治胆风毒气，虚实不调，昏沉睡多，宜服酸枣仁散：

酸枣仁 一两，睡多生用 头金腊茶 二两，以生姜汁涂，炙令微焦

右件药二味，各依法修制了，捣罗为散，每服二钱，水一盏，煎至六分，温服不计时候。

治胆虚，睡卧不安，多惊悸，人参散方：

人参 一两，去芦头 白茯苓 一两 朱砂 半两，细研 茯神 半两

右件药四味，捣研为散，每服一钱，粥饮调下，不计时候服。

治胆虚冷，精神不守，头目昏眩，恐惧不能独处，薯蓣丸方：

薯蓣 一两 酸枣仁 一两，微炒 柏子仁 三分 茯神 三分 山茱萸 三分

右件药五味，捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒下，米饮下亦得，不计时候。

治胆风不得眠睡，精神恍惚，乳香散方：

乳香 一两，研 马头脑骨灰 一两，研 酸枣仁 二两，微炒

右件药，同研令细，每服二钱，温酒调下，不计时候服。

论心脏病候

夫心者火也，君主之官，神明出焉。谓任治于物，清净栖灵也。心与小肠合，主为表里。心气盛为神有馀，则笑不休。病生于热，阳气盛则心神烦乱，面赤身热，口舌生疮，咽燥头痛，恐悸而手心热，满汗出而衄血，其脉洪实相搏，是心气实，则宜泻之；不足则胸腹胁肋满闷，腰背相引而痛，惊恐恍惚，情思不乐，心腹暴痛，唾清涎而多忘，其脉浮而虚者，是心气虚，则宜补之。

治心藏实热，惊悸喜笑，神识不安，茯苓散方：

白茯苓 一两 梔子仁 一两 黄芩 一两 人参 一两，去芦头 甘草 半两，炙

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入青竹茹一分，煎至八分，去滓温服，食后临卧。

治心藏实热，烦躁喘急，欲吐不出，头目昏眩，麦门冬散方：

麦门冬 二两，去心 圣济总录焙 甘草 半两，炙 总录性 石膏 二两，研 地骨皮 二两 梔子仁 半两

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，总录三钱匕。水一中盏，入小麦五十粒已来，竹叶十片，同煎至七分，去滓，食后临卧温服。

治心忪惊悸，及多好忘，镇心安神远志散方：

远志 一两，去心 人参 一两，去芦头 茯苓 二两 菖蒲 一两

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，食后临卧，温水调下，日进三两服。

治心藏不安，惊悸善忘，上膈风热，化痰安神朱砂散方：

朱砂 一两，研 白石英 一两，研

右件药二味，同细研为散，每服半钱，食后临卧，煎金银汤调下。

治心藏邪热，恍惚惊怖，不得眠睡，镇心丸方：

朱砂 一两 乳香 三分 川白芥子 半两

右件药三味，各研令细，煮稀面糊为丸，如梧桐子大，每服十五丸，煎桃枝汤下，食后临卧服。

镇心安神，化痰利胸膈，治惊悸，人参丸方：

人参一两，去芦头 远志一两，去心 白茯苓一两 生乾地黄一两

右件药四味，同捣罗为末，用枣肉杵和丸，如梧桐子大，每服十五丸，生姜薄荷汤下，不计时候服。

治心藏热，咽乾舌涩，面赤潮热，凉上焦，生津液，地骨皮散方：

地骨皮一两 防风一两，去芦头 甘草半两，微炙

右件药三味，捣罗为散，每服二钱。圣济总录三钱匕。用水一中盏，入竹叶五七片，同煎至七分，温服。总录去滓。不计时候。

治心气不足，惊气入腹，狂言恍惚，神志不定，朱砂散方：

朱砂一两，研 乌贼鱼骨二两，研 白膩滑石一两半，研

右件药三味，一处同研为散，每服一钱，温酒调下，不拘时候，煎人参汤调下亦得。

治心藏气虚，恐怖惊悸，恍惚谬忘，烦闷羸瘦，薯蓣丸方：

薯蓣一两 熟乾地黄一两 菖蒲半两 远志一两半，去心 黄耆一两，锉

右件药五味，捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，米饮亦得，不计时候服。

治心藏虚烦，恍惚多忘，神思不宁，人参散方：

人参半两，去芦头 远志一两，去心 石菖蒲一两

右件药三味，同捣罗为散，每服二钱，圣济总录三钱匕。水一中盏，入生姜三片，薄荷三五叶，同煎至七分，去滓温服，不计时候。

治小肠实热，心中烦闷，少腹热痛，小便赤涩，或出血，生地黄散方：

生乾地黄一两 白茅根一两 木通一两，锉

右件药三味，细锉为粗散，每服三钱，

水一中盏，入葱白五寸，同煎六分，去滓，空心食前频服。

治小肠实热，小便赤，涩结不通，车前子散方：

车前子一两 木通三分，锉 瞿麦三分 生乾地黄三分，焙 甘草半两，炙

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，同煎至六分，去滓温服，不计时候。

治小肠气痛不可忍，及膀胱气冷结硬不散，川楝子散方：

川楝子一两，炮 滑州茴香一两，微炒 木香一两 巴戟天一两，去心 附子半两，炮裂，去皮脐

右件药五味，同捣罗为散，每服一钱，热酒调下，食前服，遇病发不拘时候。

治小肠虚冷，小便数多，鹿茸丸方：

鹿茸二两，去毛，涂酥炙令黄色 白龙骨一两，烧过 山茱萸三分，微炒

右件药三味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心盐汤下，晚食前再服。

治小肠虚冷，脐下急痛，小便滑数，厚朴散方：

厚朴一两半，去皱皮，涂生姜汁，炙香熟 附子三分，炮裂，去皮脐 白龙骨一两 芎藭三分 当归一两，切碎，炒

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜三片，枣二枚，同煎六分，去滓，食前温服。

论脾藏病候

夫脾胃者，土也，仓廩之官，五味出焉。谓包容五谷，荣养四旁，脾与胃合，主为表里。脾气盛，为形有馀，则病腹胀，小便不利，身重苦饥，足痿少力，咽喉不利，口内生疮，其脉紧实者是脾气实，则宜泻之；不足者，则四肢不举，溏泄，水谷不消，喜噫吞酸，食饮则呕吐，腹痛而肠鸣，其脉沉细软弱者是，脾气虚，则宜补之。

治脾藏实热，乾呕烦闷，目黄躁渴，前

胡散方：

前胡 一两半，去芦头 茅根 二两，锉，去须 麦门冬 一两，去心 甘草 一两，炙 黄芩 半两

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜三片，枣二枚，同煎至七分，去滓，不计时候，热服。

治脾藏热，唇焦口气，引饮不止，红芍药散方：

红芍药 一两 川大黄 半两 甘草 半两 地黄 一两，乾者

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，煎至六分，温服，食后临卧。

治脾虚胃乏，不思饮食，草豆蔻散方：

草豆蔻 一两，去皮 青橘皮 半两，汤浸，去瓤，焙乾 高良姜 半两 诃梨勒皮 半两，炮 白术 三分，微炒 甘草 一分，炙

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，食前陈米饮调下，日进三服。 圣济总录同。

治脾藏虚冷，不思饮食，及冷气攻，腹胁疼痛，四肢少力，口吐酸水，吃食无味，沉香散方：

沉香 一两 白豆蔻肉 一两 青橘皮 一两半，汤浸，去白瓤，焙 高良姜 三分 肉桂 一两，去粗皮 槟榔 三分 圣济总录同 吴茱萸 三分，炒令焦 总录汤浸一宿，焙乾，炒 厚朴 三分，去粗皮，用生姜自然汁炙令黄

右件药八味，捣罗为散，每服三钱，水一中盏，煎至六分，温服不计时候。

治脾藏虚冷，肌瘦少力，不思饮食，厚朴丸方：

厚朴 一两，去粗皮，用生姜自然汁炙令黄 橘陈皮 一两，汤浸，去白瓤，焙 诃梨勒皮 一两 官桂 一两，去粗皮 附子 一两，炮裂，去皮脐 乾姜 一两，炮 白茯苓 一两 甘草 一两，炙令焦

右件药八味，捣罗为末，炼蜜和捣为丸，梧桐^①大，每服二十丸，温米饮下，食前服。大段不思饮食，留末一半，每服二钱，水一中盏，入生姜二片，枣二枚，煎至六分，下二十丸至三十丸。

治脾藏虚冷，脐腹疼痛，或滑泄下利，

不思饮食，厚朴丸方：

厚朴 三两，去皱皮，生姜汁炙香熟 乾姜 二两，炮裂 附子 一两，炮裂，去皮脐 诃梨勒皮 三分 圣济总录同 白术 一两

右件药五味，捣罗为末，醋煮面糊为丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，空心食前，热米饮日下二三服。

治脾藏虚冷气，腹胁胀满，痰逆不思饮食，顺气散方： 圣济总录名顺气煮散。

厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮 一两，汤浸，去瓤 总录焙 白术 一两 半夏 一两，汤洗十四遍 乾姜 半两，炮裂 甘草 半两，炙

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，总录三钱匕。水一中盏，入生姜五片，枣二枚，同煎至七分，温服不计时候。 总录食前。

治脾藏气不和，多痰逆，食饮无味，腹胁疼痛，大肠虚滑，肉豆蔻散方：

肉豆蔻仁 半两，面裹，火煨熟 黑附子 半两，去皮脐，盐炒 缩沙 半两，去皮 木香 半分

右件药四味，同捣罗为散，每服一钱，米饮调下，空心食前。

治脾气不和，可思饮食，白豆蔻丸方：

白豆蔻 一两，去皮 白术 三分 乾姜 三分，炮 右件药三味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，煎生姜枣汤下，空心食前。

治胃气不和，温中顺气进食，厚朴散方：

厚朴 去粗皮，秤二两，用生姜自然汁炙香熟 白术 一两 陈橘皮 汤浸，去白瓤，焙乾，取一两 甘草 半两，炙 桂心 半两，去粗皮

右件药五味，捣罗为散，每服三钱，水一中盏，生姜三片，枣二枚，同煎至六分，食前，去滓温服。

治胃实热，口舌乾燥，头痛烦躁，子芩散方：

子芩 一两 乾葛 三分 柴胡 一两，去苗 赤芍药 三分 甘草 半两，炙 石膏 二两

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，水

① 桐：圣济总录此下有“子”字。

一中盏，入生姜三片，同煎至七分，去滓温服 食后临卧。

治胃气热盛，烦躁多渴，黄连丸方：

黄连 三分，去须 麦门冬 一两，去心，焙 茯苓 三分 神巧万全方白茯苓，圣济总录赤茯苓去黑皮 苦参 半两

右件药四味，捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，食后临卧，煎竹叶汤下。

治胃气虚冷，胸膈痞闷，腹中疼痛，呕吐痰饮，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻 一两，去皮 桂心 三分，去粗皮 乾姜 三分，微炮 诃梨勒皮 三分

右四味，捣罗为末，煮枣肉为丸，如梧桐大，每服二十丸，食前，温米饮下。

治胃气虚冷，胸膈不利，腹胁胀满，四肢少力，人参散方：

人参 一两，去芦头 附子 三分，炮裂，去脐皮 白术 半两 桔梗 半两 赤茯苓 半两

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜三片，枣二枚，同煎至六分，去滓，食前温服。

治胃气不和，调气进食平胃散方：

苍术 四两，去黑皮，捣为粗末，炒黄色 厚朴 三两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 陈橘皮 二两，洗令净，焙乾 甘草 一两，炙黄

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜二片，枣二枚，同煎至六分，去滓，食前温服。

论肺藏病候

夫肺者金也，相傅之官，礼节出焉。谓位高，非君主，行荣卫也。肺与大肠合，主为表里。肺气盛，为气有馀，则喘嗽上气，肩背痛而汗出，阴股膝胫皆痛，胸膈烦满，口赤鼻张，饮无水度^①，其脉滑实者，肺气实也，则宜泻之；不足者，则少气不能大息，胸满嗌乾，虚寒乏气，恐怖不乐，鼻多清涕，其脉沉缓者，肺气虚也，则宜补之。

治肺藏实热，喘促上气，胸膈不利，烦

躁鼻乾，地骨皮散方：

地骨皮 二两 紫苏叶 一两 圣济总录茎叶 桑根 白皮 一两半 总录锉 甘草 一两，炙 总录锉

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，总录三钱匕。水一中盏，同煎至七分，去滓，食后临卧温服。

治肺藏风热，毒气攻皮肤，痒痒，或时胸膈不利，时发烦躁，白鲜皮散方：

白鲜皮 一两 防风 一两，去芦头 人参 一两，去芦头 知母 一两 沙参 一两 子芩 三分，去黑心

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，煎至六分，温服，食后临卧。

治肺藏风 圣济总录作实。热，上喘咳嗽，鼻塞生疮，口乾咽痛，百部散方：

百部 一两，炮乾 款冬花 一两 杏仁 一两，去皮尖，麸炒黄，令研入 甘草 一两，涂酥，炙黄

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，总录三钱匕。水一中盏，入糯米少许，同煎至六分，总录七分。和滓服，总录去滓温服。不计时候。

治肺气胸膈痞闷，痰唾稠粘，上焦风壅及咳嗽，玉润华盖散方：

绵黄耆 一两 人参 一两，去芦头 桑根白皮 一两 防风 一两，去芦头 白茯苓 一两 甘草 三分，微炙

右件药六味，捣罗为散，每服二钱，生姜蜜汤调下，常服，入姜如茶点吃亦得，不计时候。

治肺热久嗽不差，及涕唾多，桑白皮散方：

桑根白皮 一两，锉细，炒 甘草 半两，炙黄色 大黄 半两，锉，炒

右件药三味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入葱白二寸，煎至六分，去滓，食后临卧温服。

治肺藏虚实不调，或痰滞喘嗽，颊赤虚烦，宜服马兜铃散^②方：

马兜铃 一两 麻黄 一两，去节 五味子 一两

^① 饮无水度：普济方卷二十六肺藏门论肺实引扁鹊云：“肺实之病，甚则口赤鼻张，引饮无度，……”据此，应作“饮水无度”。

^② 散：普济方卷二十八肺藏门作“汤”。

甘草 一两，炙令黄色

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入沙糖少许，同煎至六分，温服，食后临卧^①。

治肺气咳嗽，头面虚肿，大便秘涩，葶苈丸方：

甜葶苈 二两，微炒 神巧万全方以水淘洗净，日晒乾，却用浆水浸半日，以布子盛，蒸一炊久，取出，又晒乾 汉防己 半两 桑根白皮 三分，锉，微炒 万全方三两 郁李仁 二两，汤浸去皮，微炒

右件药四味，捣罗为末，煮枣肉和丸，如梧桐子大，每服二十丸，生姜汤下，万全方粥饮下，不计时候。

治肺气咳嗽喘促，坐卧不得，汉防己丸方：

汉防己 一两 陈橘皮 半两，汤浸，去瓢，焙 甜葶苈 三分，微炒 猪牙皂荚 一两，去黑皮，涂酥，炙黄

右件药四味，捣罗为末，煮枣肉和捣三百杵，丸如梧桐子大，每服十丸至十五丸，煎桑根白皮汤下，食后临卧^②。圣济总录同。

治肺寒不能发声，石菖蒲丸方：

石菖蒲 一两 桂心 一两

右件药二味，捣罗为末，炼蜜和丸，如皂子大，每服一丸，含化。兼治心疼。

治肺寒痰逆咳嗽，胸膈痞闷，鼻多清涕，紫苑散方：

紫苑 一两，去麴 川升麻 一两 天门冬 一两，焙令乾 贝母 一两，麸炒黄

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜枣^③，同煎至七分，和滓^④温服，不计时候。

治大肠实热，秘涩不通，心烦闷乱，大黄丸方：

大黄 一两，锉炒 牵牛子 三两，微炒 木香 一分 郁李仁 二两，汤浸，去皮，焙乾

右件药四味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，煎竹叶汤下，生姜汤下亦得，食后临卧服。

治大肠实热，头痛目眩，神志烦闷，丹

参散方：

丹参 一两，去苗 枳壳 一两，麸炒，去瓢 石膏 二两，研 白芍药 三分 大黄 一两，生锉

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，同煎至七分，去滓，入沙糖一块，如枣大，再煎三五沸，温服不计时候。

治大肠实热，气盛上壅，腹胀烦闷不通，槟榔散方：

槟榔 一两 大黄 三分，锉碎，炒 甘草 半两，炙 朴消 半两

右件药四味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入生姜少许，蜜一匙头，同煎六分，去滓热服，食后。

治大肠虚冷，腹痛不思饮食，草豆蔻散方：

草豆蔻 一两半，去皮 白术 三分 高良姜

三分 陈橘皮 一两，汤浸去白瓢，焙 厚朴 一两，去粗皮，涂生姜汁，炙香熟

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，同煎七分，空心食前，和滓温服。

治大肠虚冷，乏气拘急，肠鸣滑泄，诃梨勒丸方：

诃梨勒皮 一两半 肉豆蔻 三分，去皮 白术 一两 乾姜 半两，炮 吴茱萸 三分，汤浸七遍，焙

右件药五味，捣罗为末，醋面糊为丸，如梧桐子大，每服二十丸，食前热粥饮下，日三服。神巧万全方同。

论肾藏病候

夫肾者，水也，作强之官，伎巧出焉。谓强于作用造化形容也。肾与膀胱合主为表里。肾气盛，为志有馀，则腹胀飧泄，体重胫肿，喘咳，汗出恶风，面黑，小便黄，其脉浮紧者，是肾气实，则宜泻之；不足者，

① 温服食后临卧：普济方卷二十八肺藏门作“食后临卧，去滓温服”。

② 卧：普济方卷二十七肺藏门此下注有“一方无陈皮，用乾姜”等字。

③ 姜枣：普济方卷二十七肺藏门作“生姜三片，大枣二枚”。

④ 和滓：普济方卷二十七肺藏门作“去滓”。

则腰背冷，胸中痛，耳鸣而聋，足胫寒而厥，少腹痛而小便数，其脉浮细而数者，是肾气虚，则宜补之。

治肾藏实热，风毒上攻，头面虚肿，下注脚膝沉重，行李艰难，巴戟天丸方：

巴戟天 一分，糯米同炒微黄，去心 川大黄 二两，锉碎，微炒

右件药二味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，不计时候，腊茶下，日三服，以利为度，神巧万全方同。如未利，宜频服。

治肾藏虚积冷气，脚膝少力，行步难，不思饮食，天雄丸方：

天雄 二两，炮裂，去皮 舶上茴香 一两 薯蕷 一两 川椒红 一两

右件药四味，同捣罗为末，用羊肾子一对，切去皮膜，细研，酒面同煮成膏，候令干，拌前药为丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，温酒或盐汤下，食前服。

治肾藏气冷，呕逆腹胀，四肢少力，不思饮食，胡芦巴散方：

胡芦巴 一两 丁香 一两 舶上茴香 一两 沉香 三分 肉豆蔻 半两，去皮

右件药五味，捣罗为散，每服二钱，水一中盏，入盐一捻，煎至六分，和滓热服，空心食前。

治肾藏冷，腰脚无力，楮实丸方：

楮实 二两，炒香 牛膝 二两，去苗，锉，炒令乾 桂心 二两，去粗皮 乾姜 二两，炮裂

右件药四味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，盐汤亦得，空心食前。

治肾藏虚久冷，脐腹疼痛，饮食无味，及腰膝疼痛，少力精虚，梦泄，耳内蝉鸣，巴戟天丸方：

巴戟天 半两，穿心者 破故纸 半两，炒 舶上茴香 半两，炒 黑附子 一两，去皮脐，锉，盐炒

右件药四味，捣罗为末，用好酒熬，一半成膏，留一半搜拌和丸，如梧桐子大，每

服二十丸，空心食前荆芥盐汤下。

治肾藏虚冷，小便滑数，脐腹疼痛，耳鸣目暗，附子丸方：

附子 二两，炮裂，去皮脐 巴戟天 一两，去心 白龙骨 一两 茴香 一两，炒 乾姜 三分，炮裂

右件药五味，捣罗为末，酒煮面糊为丸，如梧桐子大，每服二十丸，盐汤下，温酒下亦得，空心食前。

治肾藏虚冷，腰脚疼痛，筋挛骨痹，四肢少力，脐腹疼痛，可思饮食，宜服鹿茸丸方：

鹿茸 一两，草火上燎去毛，涂酥，炙令黄色 兔丝子 一两半，酒浸，晒乾，用纸裹，捣作末 天雄 一两，炮，去皮 蛇床子 一两 雄蚕蛾 半两，微炒 桂心 一两

右件药六味，捣罗为末，以醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服十五丸，温酒下，空心食前。

治肾藏虚冷，骨痿少力，腰膝沉重，行步艰难，气虚，可思饮食，补骨脂丸方：

补骨脂 二两，微炒 胡芦巴 一两，微炒 胡桃瓢 不计多少

右件药三味先捣罗二味为末，后用胡桃捣和烂，入糯米粥少许为丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，盐汤亦得，空心食前。

补肾藏，明目，暖丹田，磁石丸方：

磁石 二两，紧者 礞砂 半两，去石

右件药二味，同捣研为末，于瓷合子内，固济烧令通赤为度，候冷，细研为末，以酒煮羊肾子，细切研糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，盐酒盐汤下，空心食前。

治膀胱气肿硬，上下不定，及腰膝气滞疼痛，行李艰难，茴香散方：

舶上茴香 一两，炒 金毛狗脊 一两，刮去皮毛 黑牵牛 三两，微炒

右件药三味，同捣罗为细散，每服三钱，入膩粉少许，拌匀，以猪肾炒盐酒调下，临卧服，盐汤调下亦得。

1) 令：按文义应作“冷”。

治膀胱气块入腹，或下坠，满闷疼痛，
巴戟天散方：

巴戟天 半两，去心 茴香 一两，微炒 胡桃仁 一两，汤浸去皮，研

右件药二味，捣罗为散，与胡桃仁再研令匀，每服二钱，温酒调下，如不吃酒，煎曲汤调下，食前服。

治膀胱冷气往来，冲心腹痛，桂心散方：

桂心 一两，去粗皮 吴茱萸 二两，汤浸三宿，炒乾

右件药二味，捣罗为散，每服二钱，酒一盏，煎至七分，去滓温服，空心食前。

治膀胱气痛，及虚冷气下注，茴香丸方：

茴香 一两，微炒 附子 一两，炮裂，去皮脐 补骨脂 一两，微炒 胡桃仁 一两

右件药三味，捣罗为末，入胡桃同捣烂，煮糯米粥为丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，盐汤下，空心食前服。

治膀胱积聚气胀，川楝子丸方：

川楝子 一两，十字切，陈粟米内炒令焦 舶上茴香 一两，微炒 芫花 一两，醋炒 硃砂 一分，研

右件药四味，捣罗为末，酒煮羊肾子，研膏和为丸，如梧桐子大，每服二十丸，盐汤下空心服。

大 全 本 草

斗门方治元藏伤冷及开胃。附子炮过去皮尖，捣罗为末，以水两盏，入药二钱，盐及枣姜同煎，取一盏，空心服，大去积冷，暖下元，肥肠益气，酒食无碍。

经验方治丈夫本藏气伤，膀胱连小肠等气。金铃子一百箇，温汤浸过，去皮，巴豆二百箇，捶微破，麸二升，同于铜锅内，炒

金铃子赤熟为度，放冷取出，去核为末，每服三钱，非时热酒醋汤调，并得其麸，巴豆不用也。

食疗云：治五藏风冷，冷气心腹痛，吐清水。胡椒酒服之佳，亦宜汤服。若冷气，吞三七枚。

三 因 方

肝胆经虚实寒热证治

泻肝汤：治肝实热，阳气伏邪，胁痛，忿忿悲怒，发热，喘逆满闷，目痛，视物不明，狂悸，非意而言，乍宽乍急，所作反常。

前胡 去苗 柴胡 秦皮 去粗皮 细辛 去苗 梔子仁 黄芩 升麻 蕤仁 决明子 各等分

右锉散，每服四钱，水两盏，苦竹叶、车前叶各五片，煎至盏半，内药再煎至八分，去滓，入芒硝一钱匕，煎熔，不以时服。

泻胆汤：治胆实热，反洒洒恶寒，腹中气满，胁下硬，口苦咽乾，头疼，不欲食。

半夏 三两，汤洗，去滑 生地黄 五两 酸枣仁 二两半，水浸方炒 黄芩 一两 远志 去心，姜汁合炒 茯

苓 各二两 甘草 炙，一两

右锉散，长流水一斗，糯米一升，煮蟹眼沸，扬二三千遍，澄清，每用二盏，抄药四钱匕，姜七片，煎七分，去滓，不以时服。医方大成右咬咀，每服四钱，水一盏，炒糯米一捻，姜七片，煎服。医方集成、南北经验方、袖珍方、铃方同。

温胆汤：治胆虚寒，眩厥，足痿，指不能摇，臂不能起，僵仆，目黄，失精虚劳烦扰，因惊胆慑，奔气在胸，喘满，浮肿，不睡。

半夏 汤洗，去滑 麦门冬 去心，各一两半 茯苓 二两 酸枣仁 三两，炒 甘草 炙 桂心 远志 去

心，姜汁合炒 黄芩 葶藶 人参 各一两

右为锉散，每服四大钱，用长流水壹斗，糯米煮，如泻胆汤法。

心小肠经虚实寒热证治

清脉汤：治小肠实热，身热，手足心热，汗不出，心中烦满，结塞不通，口疮，身重。

柴胡 泽泻 橘皮 芒硝 枳实 麸炒，去穢 黄芩 升麻 旋覆花 生地黄 各等分

右锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，去滓，下芒硝再煎，热服，不以时。

茯苓补心汤：治心虚寒病，苦悸恐不乐，心腹痛，难以言，心寒恍惚，喜悲愁恚怒，衄血，面黄，烦闷，五心热渴，独语不觉，咽喉痛，舌本强，冷汗出，善忘恐走，及治妇人怀妊，恶阻吐呕，眩晕，四肢怠惰，全不纳食。

白茯苓 人参 前胡 半夏 汤洗七次，去滑 川芎 各三分 橘皮 枳壳 麸炒，去穢 紫苏 桔梗 甘草 炙 乾姜 各半两 当归 一两三分 白芍药 二两 熟地黄 一两半

右锉散，每服四大钱，水盏半，姜五片，枣一枚，煎七分，去滓，食前服。

分气补心汤：治心气郁结，忪悸噎闷，四肢浮肿，上气喘急。

大腹皮 炒 香附 炒，去毛 白茯苓 桔梗 各一两 木通 甘草 炙 川芎 前胡 去苗 青橘 炒 枳壳 麸炒，去穢 白术 各三分 细辛 去苗 木香 各半两

右锉散，每服四大钱，水一盏，姜三片，枣一枚，煎七分，去滓，食前温服。

温脾汤：治小肠虚寒，苦头偏痛，耳颊^①疼，下痢赤白，肠滑，腹中疴痛，里急后重。

乾姜 一两半 当归 黄柏 地榆 各二两 阿胶 麸炒焦 茴香 炒 石榴皮 黄连 各一两

右锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，去滓温服。

脾胃经虚实寒热证治

清脾汤：治脾实热病，苦足寒胫热，腹胀满，烦扰不得卧，舌本强，体重，面黄头痛，右胁满痛偏胀，口唇乾裂，寒热如疟。

永类 铃方治脾实伏热，口苦咽乾，或有头痛，寒热如疟。

茯苓 橘皮 铃方净 草果 去皮 白术 各二两 人参 桂心 铃方肉桂 白芷 甘草 炙 川芎 各一两 半夏 三两，洗七次

右为锉散，每服四大钱，水二盏，铃方一盏。姜七片，紫苏三叶，煎七分，去滓服。欲通利，加大黄。

平胃散：治胃实热，口唇乾，永类 铃方口乾舌裂。呕哕烦闷，大小便秘涩，及热病后馀热不除，畜干^②胃中，四肢发热，口渴胸满，无汗。

厚朴 去皮，姜制炒 射干 米泔浸 升麻 茯苓 各一两半 芍药 二两 枳壳 麸炒，去穢 大黄 蒸 甘草 炙。各一两

右为锉散，每服四钱，水一盏，煎七分，去滓，空心热服。

补脾汤：治脾 永类 铃方此下有胃字。虚寒病，泄泻腹满，气逆呕吐，心烦不得卧，肠鸣虚胀，饮食不消，劳倦虚羸，喜噫，四肢逆冷，多卧少起，情意不乐。

人参 茯苓 草果 去皮 乾姜 炮。各一两 麦蘖 炒 甘草 炙。各一两半 厚朴 去皮，姜制炒 橘皮 铃方净 白术 各三分

右为锉散，每服四钱，水一盏半，铃方一盏。煎七分，去滓，食前服。

养胃汤：治胃虚寒，胫寒不得卧，渐渐恶风，洒洒恶寒，腹中痛，虚鸣，寒热如疟，唇口乾，面目虚浮，呕哕吐泻，四肢疼痛，不思饮食，或伤寒湿，骨节皆痛。永类 铃方治脾胃虚寒，呕逆恶心，胀^③胁胀痛，肠鸣泄泻，或有外感，寒热如疟，骨节烦疼。

① 颊：三因极一病证方论作“颊”。

② 干：三因极一病证方论作“干”。

③ 胀：按文义应作“腹”。

厚朴 姜制炒 藿香 去梗 半夏 汤洗七次 茯苓
各一两 枳实 各二分 人参 甘草 炙 附子 炮，去皮
脐 橘皮 各三分 枳实 净 草果 去皮 白术 各半两

右锉散，每服四钱，水盏半，姜五片，
枣一枚，乌梅半箇，煎七分，去滓，空心服，
常服温胃消痰，进食下气，辟寒疫。

肺大肠经虚实寒热证治

清肺汤：治肺实热，肺壅，汗出若露，
上气喘逆，咳嗽，咽中塞如呕状，短气客热，
或唾脓血。

薏苡仁 防己 杏仁 冬瓜子仁 三分 鸡
子白皮 一分

右为锉散，每服四钱，先以苇叶切半握，
水二盏，煎盏半，入药同煎至七分，去滓，
食前服。

泻白汤：治大肠实热，腹胀不通，侠脐
痛，食不化，喘，不能久立，口生疮。

橘皮 淡竹茹 黄芩 梔子仁 柏皮 炙。
各两半^① 茯苓 芒硝 各一两^② 生地黄 五两

右为锉散，每服四钱，水盏半，姜枣煎
七分，空心服。

补肺汤：治肺寒虚，逆满上气，咽中
闷塞，寒从背起，口中如含冰雪，语无音声，
舌本乾燥，吐沫唾血，不能饮食。

款冬花 桂心 各一两 桑白皮 炙，四两 人
参 紫苑茸 一两 白石英 一两 五味子 钟乳
粉 各一两半 麦门冬 去心，二两

右锉散，每服四大钱，水一盏半，姜五
片，枣三枚，粳米一撮，同煎七分，去滓，
食前服。

固肠汤：治大肠虚寒，利下青白，肠
中雷鸣相逐，大便不节，小便赤黄，气上冲
胸，不能久立，身肿腹急，当脐痛，悉主之。

酸石榴皮 半两 黄连 炒 地榆 各一两 罌粟
壳 醋炙 茯苓 各一两半

右锉散，每服四钱，水盏半，姜五片，
乌梅一箇，煎七分，去滓，空心服。

肾膀胱经虚实寒热证治

青原汤：治肾实热，小腹胀满，四肢
正黑，耳聋，骨热，小便赤黄，腰脊离解及
伏水等。

茯苓 黄芩 菖蒲 各五两 玄参 细辛 各四
两 大黄 水浸一宿 甘草 炙，各二两 磁石 八两，煨，
醋淬

右为锉散，每服四钱，水一盏，煎七分，
去滓热服。

泻浮^③汤：治膀胱实热，腰脊痛，闭塞
不通，舌乾咽肿，悉主之。

茯苓 梔子仁 知母 各三两 生地黄 淡
竹叶 各五两 石膏 八两，煨

右为锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，
入蜜半匙，煎两沸，热服，须利加芒硝一钱
匕。

温肾散：治肾虚寒，阴萎，腰脊痛，
身重缓弱，足腰不可以按，语音混浊，阳气
顿绝。

熟乾地黄 一斤 苁蓉 酒浸 麦门冬 去心 牛
膝 酒浸 五味子 巴戟 去心 甘草 炙，各八两 茯
神 去木 乾姜 炮，各五两 杜仲 去粗皮，锉，姜汁淹，炒
丝断，三两

右为末，每服二钱，温酒调下，空心日
二三服。

补浮^④汤：治膀胱虚冷，脚筋急，腹
痛引腰背，不可屈伸，耳聋，目眊眊，坐欲
倒，小便数遗白，面黑如炭。

黄芪 白茯苓 各一两半 杜仲 去皮，锉，姜汁淹，
炒断丝，各^⑤三两 磁石 煨淬 五味子 各三两 白术
白石英 捶碎，各二两半

右为锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，
去滓，空心温服。

① 两半：三因极一病证方论作“半两”。

② 两：三因极一病证方论作“钱”。

③ 浮：三因极一病证方论作“脬”。

④ 浮：三因极一病证方论作“脬”。

⑤ 各：三因极一病证方论无此字。

神巧万全方

治肝虚方

夫肝主于春，其脉弦而长者，肝平脉也。脉沉而滑者，是肝气虚也，虚则生寒，寒则胁下坚硬，视物不明，眼生黑花，脚筋转，面青爪枯，喜悲恐，不得大息，甚则恐恐然，如人将捕之，并肝虚候。

治肝藏虚寒，头目昏疼，四肢不利，胸膈虚烦，宜服补肝散方：

甘菊 一两 茯神 芎藭 细辛 五味子 人参 独活 羚羊角屑 白术 各三分 肉桂 酸枣仁 微妙 甘草 炙。各半两

右件药，杵罗为散，每服三钱，以水一中盏，入枣三枚，同煎六分，去滓温服。

治肝虚寒，色面青黄，胸胁胀满，筋脉不利，背膊酸疼，羸瘦无力，益肝双补丸方：

细辛 酸枣仁 微妙 白茯苓 楮实子 覆盆子 五味子 附子 炮 石斛 去苗 破故纸 炒 鹿茸 去皮，酥炙令黄 肉桂 白术 沉香 枳实 麸炒令黄 熟乾地黄 已上各一两

右件杵罗为末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服三十圆，空心早晨晚食前温酒下。

治肝虚不足，两目昏暗，热气冲上，泪出疼痛，两胁虚胀，筋脉不利，宜服芎藭丸方：

芎藭 一两 细辛 白芷 覆盆子 五味子 人参 白茯苓 羌活 肉桂 柏子仁 蔓菁子 甘菊花 枸杞子 车前子 甘草 炙。已上各半两

右件杵罗为末，炼蜜和杵，丸如梧桐子大，每服三十圆，粥饮下。

治肝虚，胁偏痛久，宿食不消，并眼茫茫暗，风泪出，见物不审，消寒止泪山茱萸散：

山茱萸 肉桂 薯蓣 天雄 炮 茯苓 人参 各五分 芎藭 白术 独活 五加皮 大黄 各七分 防风 乾姜 炮 丹参 厚朴 姜汁浸，炙 细辛 桔梗 各六分 甘菊花 甘草 炙。各一两 贯众 一分 陈橘皮 一分，去瓤 陈麦曲 炒 大麦蘖 各

一升，炒

右件杵为末，酒下方寸匕，若食不消，食后服，若止痛，食前服之。

治肝实方

左手关上阳实，或浮大¹□数，皆肝实候。实则生热阳盛，致心下坚满，目痛眼眦赤，颈直背强，筋急不得屈伸，甚者忿忿多怒，并肝实候。肝病，或呼而哭，哭而反吟，热喘逆闷，恐畏视不明，语声切急者，为不可治。

治肝实热，头疼目眩，心膈大烦，大肠不利，宜服泻肝散：

决明子 三分 石膏 二两 川大黄 一两，铤，微妙 甘菊花 黑参 地骨皮 黄芪 升麻 黄芩 羚羊角屑 青箱子 甘草 已上各半两

右件药，捣罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，食前温服。

治肝实热上攻，头目昏眩，兼治风化痰半夏丸：

半夏 汤洗，去滑 人参 白茯苓 麦门冬 去心 酸枣仁 微妙 甘菊花 已上各一两 朱砂 三分，研入 龙脑 一分，研入

右件药，别研药外，同杵罗为末，入研了药，再研和匀，炼蜜为丸，如鸡头大，每服一丸，乳香汤嚼破，薄荷汤亦得。

治胆虚冷方

夫胆者肝之府，府为肠²，足少阳是其经也。其经虚则生寒，寒则畏恐，不能独卧，卧则不安，喜大息，目眩口苦，多唾呕宿水，心下澹澹，如人将捕之，并胆虚候也。

治胆虚冷，神思昏沉，头旋目暗，宜服决明丸方：

1 大：此下脱字。太平圣惠方作“而”

2 肠：按文义应作“阳”。

决明子 天雄 炮，去皮 柏子仁 枸杞子
细辛 芎藭 兔丝子 酒浸三日，焙乾，别杵为末。已
上各一两

右件捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，
每服三十丸，以温酒下，空心及晚食前服之。

治胆虚冷，神思昏沉，头旋目暗，宜服
酸枣仁丸方：

酸枣仁 微炒 地榆 茯神 朱砂 研。已上各一
两

右件捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子大，
每服三十方寸，糯米粥饮下，不计时候。

治胆实方

左手关上阳实者，胆实也。实则热，热
则精神不守，胸中冒闷，心烦咽乾，口吐苦
汁，昼夜就睡，并胆实候。

治胆实，心胸冒闷，精神不守，泻热麦
门冬散方：

麦门冬 一两，去心 青箱子 黄芩 茯神
地黄 苦参 甘草 炙 羚羊角屑 各半两

右件杵罗为散，每服三钱，以水一中盏，
入茶一钱，同煎至六分，去滓，食后温服。

治胆实热，精神不安，起卧不定，口中
多苦，宜服胡黄连丸方：

胡黄连 一两 熊胆 一分 青黛 一分，研入 地
黄 一分 羚羊角屑 青箱子 各半两

右件捣罗为末，研匀，用牛胆汁和丸，
如无牛胆，即用大羊胆和丸，绿豆大，食后
煎竹叶汤下七丸。

治胆热，神思不爽，昏闷如醉，多睡少
起，宜服地黄散方：

地黄 麦门冬 各二两 地骨皮 黄芩 茯
神 各一两 酸枣仁 生用 白鲜皮 沙参 半两 甘
草 炙 羚羊角屑 各半两

右件杵罗为粗散，每服三钱，以水一中
盏，煎至六分，去滓，食后温服。

治心虚方

夫心王于夏，其脉洪而散者，心平脉也。

脉弦而长，或浮而虚，并心虚候。虚则生寒，
寒则情绪不乐，或悲不已，心腹暴痛，唾清
涎，喜忘多惊，梦救火，精神离散，并心虚
候。

治心气虚，惊悸喜忘，不思饮食，宜服
远志散方：

远志 去心用 菖蒲 铁精 人参 甘草 炙
芎藭 活独^② 紫石英 研入 五味子 半夏
汤洗七遍，去滑 龙骨 研入。已上各半两 黄耆 一两 肉
桂 去皮 防风 秦艽 乾地黄 茯苓 麦门
冬 去心。已上各三分

右件粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，
入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食
后温服。

治心虚恐惧，腹胁暴痛，志意不乐，宜
服柏子仁丸方：

柏子仁 远志 去心 乾地黄 各一两半 桂心
茯神 芎藭 人参 丹参 防风 沉香 各
一两 菖蒲 甘草 各半两

右件捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，
每服三十丸，温酒下，不计时候。

治心藏不安，惊悸喜忘，上膈风热，化
痰安神，朱砂散：

朱砂 研 白石英 研 已上各一两 马牙硝 一分，研
右件三味药同研匀，每服半分，食后临
卧，煎金银汤调下。

治心实方

夫心脉洪，若脉洪而实大，是心实而生
热，热则阳气盛，阳盛则荣卫之气不能通行，
心神烦乱，面赤身热，口舌生疮，咽燥头痛，
或笑不休，惊悸，手心热，满汗出，衄血，
并心实候。心病或笑不休，呻而反忧，吐逆
狂言，汗出如珠，身体厥逆，脉沉滑，色黑
者，不可治也。

治心实热，或欲吐了而不出，烦闷喘急，
头痛。宜服地黄散方：

① 方：按文义应作“丸”

② 活独：太平圣惠方作“独活”

地黄二两 麦门冬去心 地骨皮 赤茯苓
石膏各二两 甘草炙 葛根各半两 梔子仁三十枚
右件捣罗为末，粗散，每服三分，以水一中盏，入生姜半分，小麦与豆豉各五十粒，淡竹叶二七片，煎六分，温服。

治小肠虚方

小肠者心之府也，手太阳是其经，主受盛，行水液也。若虚则肠中刺痛，气绕脐，或①□抢心，冷汗出，小便数，此小肠虚候。

治小肠虚冷气，小腹疼痛不可忍，盐煎散方：

川乌头四两，去皮，生用 益智子去皮，用，三两
青橘皮二两 白姜一两半，炮 舶上茴香一两

右件杵罗为散，每服一大钱，入盐煎五分，热呷。

治盲肠气疼痛，宜服槟榔散方：

槟榔 木香各三分 胡芦巴 肉豆蔻 沉香 桂心 舶上茴香各半两

右件杵罗为散，每二服②钱，温酒调下，不计时候。

治盲肠气，发歇疼痛不可忍，宜服硃砂丸方：

硃砂二两，研为末，以醋煎，调涂于古铜镜子上，用新盆盖七日，刮取绿子，细研 槟榔 木香 舶上茴香各一两 没药半两，研

右件杵罗为末，入硃砂同研匀，以糯米饭和丸，绿豆大，每服七丸，以热生姜酒吞下，不计时候。

又方：金铃子 蓬莪茂 舶上茴香 木香 桂心各一两

右件杵罗为末，用生漆和丸，先以生油涂手，丸如梧桐子大，阴乾，每服七丸，热酒咽下。

治小肠实方

左手寸口阳实者，小肠实热也。心下急痹，口张，舌生疮，身热来去，汗出，小肠急胀，小便亦③涩不利，此小肠实候。

治小肠实热，热则心下急痹，口舌生疮，宜服郁金散方：

郁金 羌活 黄连 川大黄炒 麦门冬去心 马牙硝研入 川升麻各一两 白附子炮 黄芩各三分 甘草一两，炙

右件捣罗为散，每服一大钱，麦门冬熟水下，食后服。

治小肠实热，心中烦闷，小便出血，宜服地黄饮子方：

生地黄 白茅根 木通各一两 葱白五茎
右件细切，以水一大盏半，煎至八分，去滓，食前分作二服。

治脾虚方

脾位中央，王在仲夏及四季，其脉来大而缓者，脾平脉也。若沉细软弱者，脾虚，虚则心腹胀满，水谷不化，呕吐泄利，四肢不用，恶闻人声，梦饮食不足，皆脾虚候。

治脾虚，心腹胀满，食少无力宜服补脾丸：

白术 附子炮 诃梨勒去核，用皮 芩苳 白豆蔻去壳 神曲炒 人参已上各用一两 芩澄茄 沉香 丁香各半两 陈橘皮三分，去穢 厚朴二两，姜汁浸，炙

右件捣为末，以酒煮枣肉和匀，丸如梧桐子大，每服二十丸，生姜汤下，食前服。

治脾胃冷热气不和，心腹虚胀，痰逆，少思饮食，四肢无力，宜服人参散方：

人参一两 厚朴姜汁浸，炙 白茯苓 木瓜 诃梨勒 木香各三分 甘草一分，炙 草豆蔻 乾姜各半两

右件捣罗为散，每服一钱，姜枣汤调下，不计时候。

治脾气虚，心腹胀满，胸膈不利，少思

① 或：此下脱字，脉经卷二平三关阴阳二十四气脉云“左手关前寸口阳绝者无小肠也。若脐痹……冷上抢心”，据此，此脱字应作“上”。

② 二服：按文义应作“服二”。

③ 亦：中藏经论小肠虚实寒热生死逆顺脉证之法云：“右手寸口实大者，小肠实也，有热，小便赤涩……”，据此，应作“赤”。

饮食，宜服萝卜子散：

萝卜子 好者拣五两，炒令熟，捣罗取末一两，除者有油，别研如膏 草豆蔻 去皮 沉香 丁香 白术 各半两

右件捣罗为末，入前萝卜子末，及别入白沙糖二钱半，同研令匀，每一钱抄在口内，细嚼后，以米饮下。其萝卜子膏，别入草蔻末一分，白沙糖三分，拌令匀，每取半枣大，亦细嚼米饮下，不计时候。

治脾胃虚冷，食即欲呕，心腹胀闷，水谷不消，四肢无力，宜服茱澄茄散方：

茱澄茄 木香 白豆蔻 去壳 白术 槟榔 草豆蔻 去皮 诃梨勒 肉豆蔻 去壳 枳壳 麸炒 白茯苓 乾姜 炮 丁香 甘草 炙 陈橘皮 去囊 已上各半两 厚朴 一两，去皮，生姜汁涂

右件捣罗为末，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，同煎六分，去滓，食前服。

治脾胃气虚弱，不能饮食，宜服生姜煎方：

生姜 半斤，研取汁 白蜜 十两 人参 四两

右件用银锅子内都搅令匀，以慢火熬成煎，每服不计时候，以热粥饮调下一茶匙上。

治脾藏虚冷，心腹有积滞气，发歇疼痛，心膈不利，两胁胀满，不能饮食。宜服硃砂煎方：

硃砂 二两，白色不夹石者，研 阿魏 一分 京三棱 诃梨勒 各一两，炮 丁香 人参 附子 炮 青橘皮 去囊 木香 舶上茴香 各半两 槟榔 神曲 各一两半，别舂为末

右件诃梨勒已下，细捣为末，以好酒一升，先煎硃砂，次入阿魏，同煎五七沸后，以绵滤过，再煎之，后下神曲末，搅令调，慢火熬成膏，拌和诸药末，入白捣为丸，如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，食前，以生姜汤下，温酒亦得。

治脾藏虚冷，大肠滑泄痢，食不消化，腹内疼痛，手足多冷，面色青黑。宜服诃梨勒散方：

诃梨勒 炮，取皮 附子 炮 龙骨 火断过 当

归 炒，已上各一两 吴茱萸 汤浸七遍，焙乾，微炒 乾姜 炮，各半两

右捣罗为末，每服二钱，热粥饮调下，食前服。

消食丸： 主数年不能食方。

大麦 麩 面 各一斤，七月七日者 乾姜 乌梅 各四两

右件为末，蜜和服十丸，绿豆大，日再至四十丸。寒在胸中，及反胃番心者，皆差，陈米饮下。

治脾实方

右手关上阴脉紧实者，脾实也。实则身体重，不能转侧，心胸热闷，唇口乾焦，颊痛心急，咽喉不利，舌本强生疮，语声沉重，卧梦歌乐，四肢怠惰，此脾实候。

脾病若举体消瘦，语音如□促破鼓之声^①，舌强不转，而好咽唾，口噤唇黑，四肢不举，身重如山，便利无度，此不可治；或唇乾青，日渐缩急，口噤，人中等分黄色，应亦为不治。

治脾热，□病腹满不歇，目赤不止，口唇乾裂，石膏煎方^②：

石膏 一斤 生地黄汁 蜜 各一升 淡竹叶 切，五升

右四味以水一斗二升，煮竹叶，取七升，去滓澄清，煮石膏取五升五合，去滓，下地黄汁，两沸，次下蜜，煎取三升，细细服之。

治脾藏实热，咽喉不利，口舌乾燥，宜服人参丸：

人参 麦门冬 去心，各一两 牛蒡子 射干 川升麻 犀角屑 甘草 炙 马牙硝 研 黄药子 木通 各半两 龙脑 一钱，研

右件捣罗为末，入研末同匀，炼蜜和丸，

① 语音如□促破鼓之声：备急千金要方卷十五脾藏脉论云：“虚则举体消瘦，语言沉涩，如破鼓之声，舌强不转”。

② 治脾热，□病腹满不歇，目赤不止，口唇乾裂，右件煎方：备急千金要方卷十五脾虚实“治脾热胁痛，热满不歇，目赤不止，口唇乾裂方”。方药与本方同。

梧桐子大，每服以竹叶汤下二十丸，食后服。

治胃虚方

胃者脾之府，为水谷之海，若苦饥，两胁虚胀，心腹疼痛，咽喉不利，饮食不下，面目浮肿，渐渐恶风，目中忽痛，足胫寒，不得卧，此胃虚候。又曰：鼻下平者，胃病也。微赤者病发；黑者，有热；微白者有寒；青者，不可治。

治胃中虚冷，气攻腹胁，妨闷，食久不消，宜服厚朴散：

厚朴二两，姜汁涂，炙 诃梨勒皮一两 肉豆蔻 木香 陈橘皮去瓤 槟榔各三分

右件捣罗为末，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，以枣三枚，煎六分，去滓，食前稍热服。

治胃实方

右手关脉阳实者，胃实也。实则苦头痛，汗不出，状如温疟，唇口皆乾，渴而引水，喜啜，溺色黄赤，或生乳痈，及缺盆腋肿，此胃实候。

治胃实热，呕逆不下食，宜服犀角散方：

犀角屑 葛根各三分 枇杷叶去毛，炙 柴胡 麦门冬各一两，去心

右件捣罗为粗散，每服三钱，以水一中盏，生姜半分，同煎六分，去滓温服。

治胃中实热，吐逆，不受饮食，心神烦渴，宜服生姜汤方：

生姜半两，取汁 糯米半合，淘，细研 蜜一合
右件和入新汲水一中盏，分为二服。

治肺虚方

右手寸口阴脉沉缓者，肺虚也。虚则声嘶，言语用力，少气咽乾，咳嗽及喘鼻有清涕，皮毛焦枯，此肺虚候。

治肺藏气虚无力，手脚颤掉，吃食减少，宜服补肺款冬花散：

款冬花 人参 白茯苓 麦门冬去心 五

味子 熟乾地黄 陈橘皮去瓤 肉桂去皮。已上各一两 白术 黄耆炒 牛膝去苗 桔梗 杏仁去皮，麸炒 紫苑各三分 甘草半两，炙

右件捣罗为末，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣二枚，煎六分，去滓，温服。

治肺气喘，咳嗽气短，不得睡卧，紫苑丸方：

紫苑 汉防己 贝母煨微黄 人参 桑白皮 款冬花 木香 甜葶苈隔纸炒令紫色 槟榔各一两 天门冬一两半，去心 杏仁半两，汤浸，去皮，麸炒微黄 甘草半两，微炙

右件药杵罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，一服二十丸，粥饮下不计时候。

治多年肺气，累疗不差，心膈烦热，喘促，宜服此方：

金箔五十片，研 黄药半两，末 砒霜一两，以熟绢裹，又用萝卜一枚，开一窍，可容砒霜，又用萝卜塞，却以绵缠系，内铛中，以水入灯心五小把，煮半日，出之，取砒霜，研令细，后入药用之 膩粉一钱 五味子半两，杵末 银薄五十片，细研 绿豆粉一两 蜜陀僧半两，研

右件药同研令匀，煮枣肉和丸，如梧桐子大，以沙糖温水研化一丸，食前服之，初用七丸，空心服，全吞，得吐尤佳。

治肺藏伤风冷，喘促咳嗽，言语声嘶，咽喉不利，桔梗丸方：

桔梗 细辛 菖蒲 紫苑各三分 肉桂 陈橘皮去瓤，各一两 百合 杏仁去皮，炒令黄 人参各半两 甘草一分，炙

右捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，绵裹咽津含化。

治肺不足，虚寒乏气，补气方：

羊肚一具，治如食法，切去膏 羊肾一对，去膏四破 乾地黄五两 甘草 椒各一两，炒去目 昆布 地骨皮 乾姜各四两 桂心 人参 海藻 白术 厚朴各三两，生姜制

右为散，内肚中，和羊肾缝塞肚口，蒸熟为度，乘热木臼中捣碎，肾与药为一处，曝乾，杵为散，酒下方寸匕。

治肺实方

肺脉浮，若脉滑实为肺实，实则胸膈烦满，鼻口张，饮水无度，上气喘逆，汗出若露，咽中不利，阴股膝胫皆痛，此肺实候。

若肺先死，鼻则为之梁折孔闭，青黑色，见人^①中等分，土^②色应之，必死不治。问曰：肺病少愈，而卒死者如何？答曰：赤黑如母指，廕点见颜必死。又曰：足满泄利，不觉其出无时度，面白目青，是谓乱经。饮酒当风，风入肺经，胆气妄泄，目则为青，虽有天命，救不复生，面黄目白不死^③，若面赤鼻不欬，可治。

治肺藏气实，胸烦壅，咳嗽喘促，大肠气滞，宜服泻肺麦门冬煎方：

麦门冬 去心 郁李仁 去皮尖，炒 大黄 炒，各二两 杏仁 去皮尖，细研 枳壳 去瓤，炒 贝母 各一两，炮 生地黄汁 三合 牛蒡根汁 二合

右件杵罗为散，用蜜四两，酥二两，入前二味汁，同于银锅子内，入诸药末，搅令匀，慢火煎成膏，收于瓷合内，每服不计时候，清粥饮调下一茶匙。

治肺壅热，气逆吐血，宜服地黄散方：

地黄 黄耆 阿胶 麸炒，炙 贝母 桑白皮 蒲黄 各一两 人参 天门冬 去心 麦门冬 去心 甘草 生用 赤芍药 当归 炒，已上各半两

右件捣罗为散，每服一钱，以粥饮调下，

治肺壅热极，肺胀喘，吐血不止方：

生地黄汁 四两 鹿角胶 一两，炒令黄色

右件以童子小便一中盏，于银器中，同地黄汁及胶末和匀，煎三两沸，分温服。

治肺萎方

肺为诸藏之华盖，而所主者气也。或因久咳，气血伤损，或从汗出，或有吐呕，或有消渴，小便利数，或因重下，津液枯竭，因成肺萎，诊其脉数者，是其候也。肺萎咳而呕逆，多吐涎沫，咽喉乾燥，小便滑数，欲饮水者，易治；欲咳不能咳，吐唾稠粘多脓

血，小便不利者，为难治。

治肺萎损败，气喘，咳嗽有血。宜服紫苑散方：

紫苑 款冬花 阿胶 炒枯令黄 侧柏叶 酥炙 黄芩 各一两，去黑心 乾熟地黄 三分 麦门冬 去心，半两 人参 三分 白茯苓 半两 蛤蚧 一只，头尾全，酥炙令黄

右件捣罗为末，每服一钱，粥饮调下。

治大肠虚方

大肠者，肺为表里，名传送之府，化物出焉。若虚则肠如雷鸣，泄青白痢，食不消化，脐腹切痛，皮肤乾燥，是其候也。

治大肠虚冷，肠鸣泄痢，腹胁气痛，饮食不化，厚朴散：

厚朴 一两半，姜汁炙 陈橘皮 去白 附子 炮 诃梨勒皮 各一两 当归 炒 肉豆蔻 各三两 吴茱萸 一分，汤浸七遍，炒 木香 桔梗 各半两 甘草 一分，炙

右件捣罗为末，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，食前热服。

治大肠实方^④

大肠气实，则肠结不通，上气喘咳，身面热，咽喉中如核状，胁满，心神烦闷，是其候也。方见圣惠方。

治肾虚方

左手尺中脉阴虚者，肾虚也。一曰脉浮细而数亦虚病。若腰背痛，不得俯仰，手足寒，呼吸少气，脐腹疼痛，面黧耳鸣，肌骨乾枯，小便滑数，此其候也。

治肾藏虚冷，木瓜煎丸方：

巴戟 去心 肉苁蓉 酒浸三宿，切，焙乾 大附子 炮 补骨脂 微炒，已上各一两 椒红 二两 牛膝 苘

1 见人：备急千金要方卷十七肺脏门作“若天”。

2 土：备急千金要方卷十七肺脏门作“墓”。

3 不死：备急千金要方卷十七肺脏门作“如枯骨死”。

4 治大肠实方：方见本书卷九五脏门六。

香 防风 木香 青橘皮 各三分

右件捣罗为末，以净硃砂半两，木瓜肉六分，酒三升，于银器内熬成膏，和丸如梧桐子大，空心温酒下三十圆。

治肾藏久虚，面色萎黑，足冷耳鸣，四肢羸瘦，脚膝缓弱，小便滑数，宜服补肾肉苁蓉丸方：

肉苁蓉 酒浸，去皮 乾地黄 鹿茸 去毛，微炙令黄 磁石 火烧，用醋淬七遍，细研，水飞 兔丝子 酒浸三宿，外一研入。已上各三两 肉桂 去皮，生用 附子 炮，去皮脐 牛膝 酒浸 石斛 去根 补骨脂 炒 萆薢 去根 杜仲 去皮，炒去丝 白龙骨 已上各一两 山茱萸 薯蓣 石南叶 白茯苓 麦门冬 去心 黄耆 五味子 覆盆子 远志 去心 巴戟 已上各三分

右件杵罗为末，炼蜜为丸，梧桐子大，每服三十丸，空心以温酒下。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，发歇不定，补骨脂煎方：

补骨脂 木香 肉桂 去皮，生 青橘皮 去瓢 附子 炮，去皮脐 桃仁 去皮，麸炒令黄。已上各一两 阿魏 面裹，煨熟 乾蝎 炒。已上各半两

右件捣罗为末，用童子小便二大盏，煎和成膏，收于不津器中，每服一茶匙，以热生姜酒调下，不计时候。

治肾藏积冷，气攻心腹疼痛，喘促闷乱，微绝或出冷汗。宜服硃砂煎方：

硃砂 水飞过 没药 研入 青橘皮 去瓢 肉桂 萆薢 澄茄 川乌头 炮，去皮脐。各一两 茴香 一两半，炒

右以青橘皮已下为末，以酒煎硃砂、没药成膏，和药末，再杵如绿豆大，每服十五丸，生姜酒下。

治盲肠风气，小腹疼痛，不可忍，宜服茴香丸：

茴香 炒 萆薢 澄茄 槟榔 木香 苦楝子 硃砂 细研。已上各一两 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙炒 桃仁 三分，汤浸，去皮，麸炒黄，研 阿魏 两半

右件捣罗为末，次以酒化阿魏，同硃砂、桃仁膏入少面，熬令得所，同上件药末和匀，丸如梧桐子大，每服二十丸，煨葱酒下，

温服。

治肾实方

左手尺中神门以后，脉阳实者，肾实也。一曰：浮肾亦实，实则小腹胀满，腰背急强，舌乾咽肿，体重骨热，小便黄赤，足热痛，四肢黑，耳聋，是其候也。或呻而好悲，悲而好忘，恍而有所思，又耳听无闻，四肢满急，小便赤黄，言音口动而出，笑而看人，此为邪热伤肾，甚则不矩。一曰：耳焦枯，肾先死，若天中等分，土色应；或白黑黄色，麻点如梅指，应必死^①，面黑目白，或面黄目黑如良，俱死候也。

治肾藏实热，好忘，耳听无声，四肢满急，腰背动转强。宜服泻肾黑参散方：

黑参 赤茯苓 黄芩 泽泻 川升麻 川芒硝 羚羊角屑 赤芍药 杏仁 去皮，麸炒。已上各一两 磁石 二两，研，水淘去赤汁 甘草 半两，炙

右件捣罗为末，每服半两，以水一大盏半，入生地黄半两，淡竹叶二七片，煎八分，去滓，食前分温二服。

治肾藏气实，肩拘急，小腹胀满，烦热，胸胁时痛，腰背强直，小便赤黄，宜服泻肾泽泻散：

泽泻 一两 赤芍药 半两 赤茯苓 木通 黑参 黄耆 槟榔 各三分 羚羊角屑 半两

右件捣罗为末，每服四钱，以水一中盏，煎六分，食前服。

治膀胱虚方

治膀胱虚冷，气攻腰间，及腹胁疼痛。宜服沉香散：

沉香 附子 炮 槟榔 各一两 桃仁 去皮尖，麸炒令黄 木香 萆薢 澄茄 桂心 白蒺藜 去刺，炙 茴香子 炒。各三分

右件细捣为散，每服二钱，食前以生姜热酒调下。

^① 梅指应必死：备急千金要方卷十九肾脏门作“梅指应耳此必卒死”。

治膀胱及肾藏虚冷，小便色白稠浊，日夕无度，腰胁痛，宜服肾沥散：

肉苁蓉 酒浸，炙 附子 炮。已上各一两 汉椒 去目，合口者，炒去汗 五味子 乾姜 炮 当归 炒 桂心 各半两 人参 黄耆 泽泻 芎藭 牛膝

石斛 磁石 二两，研，以水淘去赤汁，帛包

右捣罗为末，每服五钱，以水一大盏，用羊肾一对，切去脂膜，每用磁石包子，及入枣三枚，同煎至五分，去滓，温服。

严氏济生方

肝胆虚实论治

夫肝者，足厥阴之经，位居东方，属乎甲乙木，开窍于目，候于左胁，其政变动，病发惊骇，藏魂养筋者也。与足少阳胆之经相为表里，谋虑过制，喜怒不节，疲劳之极，扰乱其经，因其虚实，由是寒热见焉。方其虚也，虚则生寒，寒苦胁下坚胀，时作寒热，腹满不食，悒悒不乐，如人将捕，眼生黑花，视物不明，口苦头痛，关节不利，筋脉挛缩，爪甲乾枯，喜怒悲恐，不得太息，诊其脉沉细而滑者，皆虚寒之候也。及其实也，实则生热，热则心下坚满，两胁下痛，痛引小腹，令人喜怒气逆，头晕眦赤，悒悒先寒后热，颈直背强，筋急不得屈伸，诊其脉浮大而数者，皆实热之候也。脉来弦而长，乃不病之脉，脉来弦而涩，或急而益劲，如新张弓弦，或脉至中外，急急如循刀刃，啧啧然如按琴瑟弦者，此皆肝死矣。治之之法，当分虚实冷热而调之，以平为期。

柏子仁汤：治肝 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方作肺 气虚寒，两胁胀满，筋脉拘急，腰膝小腹痛，面青口噤。

柏子仁 炒 白芍药 防风 去芦 茯神 去木 当归 去芦，酒浸 芎藭 附子 炮，去皮。各一两 细辛 洗去土叶 经验方、袖珍方一两 桂心 不见火 经验方、袖珍方一两 甘草 炙。各半两 永类铃方已上十味各半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，大成、集成、经验方、袖珍方一盞。姜五片，煎至七分，去滓温服，不拘时候。

柴胡散：治肝气实热，头痛目眩，眼

目赤痛，胸中烦闷，梦寐惊恐，肢节不利。

柴胡 去芦 地骨皮 去木 玄参 羚羊角 镑 甘菊花 去枝梗 赤芍药 黄芩 各一两 甘草 炙。半两 右咬咀，每服四钱，水一盏半，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方一盞。姜五片，煎至八分，去滓，温服，不拘时候。

茯神汤：治胆气虚冷，头痛目眩，心神恐畏，不能独处，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方作遇事多惊。脑中满闷。

茯神 去木 酸枣仁 炒，去壳 经验方、袖珍方半两 黄耆 去芦 白芍药 经验方、袖珍方半两 五味子 柏子仁 炒。各一两 桂心 不见火 大成、集成、铃方乙两 熟地黄 洗 人参 大成、集成、铃方一两 甘草 炙。各半两 右咬咀，每服四钱，水一盏半，姜五片，煎至七分，大成、集成、经验方、袖珍方八分。去滓，温服不拘时候。

酸枣仁圆：治胆气实热不得睡，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方作烦闷不睡。神思不安。

茯神 去木 酸枣仁 炒，去壳 远志 去心，炒 柏子仁 炒。别研 防风 去芦。各一两 生地黄 洗 枳壳 去瓢。各半两 青竹茹 二钱半

右为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服七十圆，不拘时候，热水送下。

心小肠虚实论治

夫心者，手少阴之经，位居南方，属乎丙丁火，为形之君，外应于舌，主宰一身，统摄诸脏血脉，灌溉溪谷，内润五脏，外卫腠理，与手太阳小肠之经相为表里。若忧愁思虑伤之，因其虚实，由是寒热见焉。方

其虚也，虚则生寒，寒则血脉虚少，时多恐惧，情绪不乐，心腹暴痛，时唾清涎，心膈胀满，好忘多惊，梦寐飞扬，精神离散，其脉浮而虚者，是虚寒之候也。及其实也，实则生热，热则心神烦乱，面赤身热，口舌生疮，咽燥头痛，喜笑恐悸，手心烦热，汗出衄血，其脉洪实者，是实热之候也。诊其脉浮大而散，是不病之脉，反得浮涩而短，或前曲后据，如操带钩，此皆心死矣。治之之法，热则清之，寒则温之，又当审其所自焉。

补心圆：治忧愁思虑过度，心血虚寒，悸恐不乐，舌强话难，恍惚喜忘愁恚，面黄多汗，不进饮食。

紫石英火煨，研细 熟地黄洗 菖蒲 茯神去木 当归去芦 附子炮，去皮脐 黄耆去芦 远志去心，炒 川芎 桂心不见火 龙齿各一两 人参半两

右为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服七十圆，不拘时候，用枣汤下。

心丹¹：此丹颗粒辰砂加心药煮炼，主男子妇人心气不足，神志不宁，忧愁思虑，谋用过度；或因惊恐，伤神失志，耗伤心气，恍惚振悸，差错健忘，梦寐惊魇，喜怒无时；或发狂眩晕，不省人事，及治元气虚弱，唇燥咽乾，潮热盗汗；或肺热上壅，痰唾稠粘，咳嗽烦渴；或大病后心虚烦躁，小儿心气虚弱，欲发惊痾；或直视发搐，应是一切心疾，并宜服之。常服养心益血，安魂定魄，宁心志，止惊悸，顺三焦，和五脏，助脾胃，进饮食，聪明耳目，悦泽颜色，轻身耐老，不僭不燥，神验不可具述。方见惊悸门。

导赤散：治心脏实热，口乾烦渴，或口舌生疮，惊怖不安。

黄连去须 麦门冬去心 半夏汤泡七次 地骨皮去木 茯神去木 赤芍药 木通去节 生地黄洗 黄芩已上各一两 甘草炙，半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，姜五片，煎至八分，去滓，温服不拘时候。永类铃方同。

椒附圆：治小肠虚冷，小便频多。

椒红炒出汗 桑螵蛸酒炙 龙骨生用 山茱萸取肉 附子炮，去皮 鹿茸酒蒸，焙

右等分细末，酒糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐汤送下。

脾胃虚实论治

夫脾胃者，足太阴之经，位居中央，属乎戊己土，主于中州，候身肌肉，与足阳明胃之经相为表里。表里温和，水谷易于腐熟，运化精微，灌溉诸经。若饮食不节，或伤生冷，或思虑过度，冲和失布，因其虚实，由是寒热见焉。方其虚也，虚则生寒，寒则四肢不举，食饮不化，喜噫吞酸；或食即呕吐；或卒食不下，腹痛肠鸣，时自溏泄，四肢沉重，常多思虑，不欲闻人声，梦见饮食不足，脉来沉细软弱者，皆虚寒之候也。及其实也，实则生热，热则心胸烦闷，唇焦口乾，身热颊痛，体重腹胀，善饥善噤，甚则舌根肿强，口内生疮，梦见歌乐，四肢怠堕，脉来紧实者，是实热之候也。况土旺四季各十八日，脉来常欲中缓而短，乃不病之脉也。如乌之喙，如鸟之啄，如屋之漏，如水之溜，此皆脾死矣。

进食散：治脾胃虚寒，或食生冷，或饮食不节，或因思虑，伤动冲和之气，胸膈痞塞，腹胀怠堕，全不进食，痰逆恶心，大便溏泄。

半夏曲 肉豆蔻面裹，煨 草果仁 高良姜锉，炒 麦蘖炒 附子炮，去皮 丁香 厚朴去皮，姜汁炒 陈皮去白，各一两 人参去芦 青皮去白 甘草炙，各半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，永类铃方一盞。生姜五片，枣子一枚，煎至七分，去滓，温服，不拘时候。

六君子汤：治脾脏不和，不进饮食，上燥下寒，服热药不得者。

人参 白术各一两 橘红永类铃方净 半夏汤

1 心丹：方见本书卷一百五十八惊悸门。

洗七次 枳壳 去瓢，麸炒 甘草 炙。各半两

右咬咀，每服四钱，水一盞半，生姜七片，枣子一枚，煎至七分，去滓，温服，不拘时候。

革澄茄圆： 治脾胃虚弱，胸膈不快，不进饮食。

革澄茄 不拘多少

右为细末，姜汁打神曲末，煮糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，食后淡姜汤吞下。永类铃方同。

附子建中汤： 治脾气虚寒，腹胁胀满，身体沉重，面色痿黄，呕吐不食，水谷不化，大腑自利。

肉豆蔻 面裹煨 白豆蔻 仁 附子 炮，去皮 厚朴 去皮，姜制炒 白术 乾姜 炮 红豆 神曲 炒。各一两 丁香 胡椒 木香 不见火 甘草 炙。各半两

右咬咀，每服四钱，水一盞半，永类铃方一盞。生姜五片，枣子一枚，煎至七分，去滓，温服不拘时候。

生胃丹： 治脾胃不足，痰多呕逆，不思饮食，此药以南星、粟米、黄土为主。盖南星醒脾，粟米养胃，黄土取其以土养土，性味和平，大虚仓廩，为进食化痰之要剂，真良方也。

大天南星四两，用真黄土半斤，将生姜滓，作黄土成面剂，包裹南星，慢火煨香透，去土不用，将南星切碎，焙乾，和后药，研 丁香 不见火 粟米 一升，用生姜二斤，和皮搗取自然汁，浸蒸焙 木香 不见火 厚朴 去皮，姜汁制炒 神曲 炒 麦蘖 炒 橘红 防风 去芦 白术 谷蘖 炒 缩砂仁 白豆蔻仁 青皮 去白。各一两 半夏曲 二两 人参 沉香 不见火 甘草 炙。各半两

右为细末，法圆如绿豆大，每服七十圆，不拘时候，淡姜汤送下。永类铃方同。

壮脾圆： 治脾胃虚寒，饮食不进，心腹胀满，四肢无力，吐逆食不消，或手足浮肿，脏腑滯泄。

豮猪肚一枚，洗净，用造酒大曲四两，同饴厚朴二两，茴香一两，入在肚内，以线缝定，外用葱椒酒煮烂，取大曲茴香、厚

朴焙乾和后药 肉豆蔻 面裹煨 禹余粮 煨，研极细 缩砂仁 麦蘖 炒 神曲 饴，炒 橘红 附子 炮，去皮 脐 白术 各一两 木香 不见火 丁香 各半两

右为细末，用猪肚杵和千百下，圆如梧桐子大，每服五十圆，用米饮送下，不拘时候。永类铃方同。

胃丹¹ 方见呕吐门。

补真圆： 大抵不进饮食，以脾胃之药治之多不效者，亦有谓焉。人之有生，不善摄养，房劳过度，真阳衰虚，坎火不温，不能上蒸脾土，冲和失布，中州不运，是致饮食不进，胸膈痞塞，或不食而胀满，或已食而不消，大腑滯泄，此皆真火衰虚，不能蒸蕴脾土而然。古人云：补肾不如补脾。余谓补脾不若补肾，肾气若壮，丹田火经上蒸脾土，脾土温和，中焦自治，膈开能食矣。

葫芦巴 炒 附子 炮，去皮脐 阳起石 煨 川乌 炮，去皮 兔丝子 淘净，酒蒸 沉香 不见火，别研 肉豆蔻 面裹煨 肉苁蓉 酒浸，焙 五味子 各半两 鹿茸 去毛，酒蒸，焙 川巴戟 去心 钟乳粉 各一两

右为细末，用羊腰子两对，治如食法，葱椒酒煮烂，入少酒糊杵和为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心食前，用米饮盐汤任下。

永类铃方同。

泻黄散： 治脾胃壅实，口内生疮，烦闷多渴，颊痛心烦，唇口乾燥，壅滞不食。

藿香叶 七钱 石膏 煨 缩砂仁 山梔子仁 甘草 炙。各半两 防风 去芦，四两

右锉碎，同蜜酒炒香，焙为细末，每服三钱，水一大盞，煎至七分，温服，不拘时候。永类铃方同。

枳壳圆²： 治脾实，心腹壅滞，四肢疼闷，两胁胀满，大小便不利。方见大小便门。

橘皮竹茹汤： 治胃热多渴，呕哕不食。 赤茯苓 去皮 橘皮 去白 枇杷叶 拭去毛 麦门冬 去心 青竹茹 半夏 汤炮七次。各一两 人参

1 胃丹：方见本书卷一百五呕吐门二。

2 枳壳圆：方见本书卷一百三十五大小便门二。

甘草炙。各半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，永类铃方一盏。姜五片，煎至八分，去滓，温服，不拘时候。

肺大肠虚实论治

夫肺者，手太阴之经，位居西方，属乎庚辛金，为五脏之华盖，其气象天，其候胸中之气，布清气于皮肤，其政凉，其令肃，其主魄，是肺之司化也。与手阳明大肠之经相为表里，贵无偏胜之患，或因叫呼，或过食煎煇或饮酒过度，或饥饱失宜，因其虚实，由是寒热见焉。方其虚也，虚则生寒，寒则声嘶，语言用力，颤掉缓弱，少气不足，咽中乾，无津液，虚寒乏气，恐怖不乐，咳嗽及喘，鼻有清涕，皮毛焦枯，诊其脉沉缓者，是肺虚之候也。及其实也，实则生热，热则胸膈满，鼻赤口张，饮水无度，上气咳逆，咽中不利，肩背生疮，尻阴股膝髀膕肘^①足皆痛，脉来浮涩而短者，是不病之脉也；脉来不上不下，如循鸡羽，曰病；按之消索如风吹毛，曰死。

白石英汤：治肺气虚弱，恶寒咳嗽，鼻流清涕，喘息气微。

白石英 细辛洗去土 五味子 陈皮去白 钟乳粉 阿胶 桂心 蛤粉炒 桂心 不见火 永类铃方肉桂 人参 甘草炙。各半两 紫苑洗。一两 铃方紫苑茸

右咬咀，每服四钱，水一盏半，姜五片，煎至八分，去滓，温服不拘时候。

泻白散：治肺脏气实，心胸壅闷，咳嗽烦喘，大便不利。

桑白皮炙 桔梗去芦，锉，炒 地骨皮去木 半夏汤泡七次 瓜蒌子 升麻 杏仁去皮尖 甘草炙。各等分

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，食后温服。

紫苑茸汤：治饮食过度，或叫呼走气，或食煎煇，邪热伤肺，咳嗽咽痒，痰多唾血，喘急，胸满，胁痛，不得安卧。

紫苑茸洗 经霜桑叶 款冬花 百合蒸焙 杏仁去皮尖 阿胶蛤粉炒 贝母去心 蒲黄炒 半夏汤泡七次。各一两 犀角镑 甘草炙。各半两 人参半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，食后温服。

人参荆芥散：治肺感寒邪，或感风热，痰多咳嗽，头目不清，言语不出，咽乾痰实，或项背强硬，皮肤不仁。

荆芥穗 麻黄去根节 细辛去土洗 桔梗去芦，锉，炒 陈皮去白 半夏汤泡七次 杏仁去皮尖 人参 通草 甘草炙。各半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，食后温服。

诃梨勒圆：治大肠虚冷，肠鸣泄泻，腹胁气痛，饮食不化。

诃梨勒面裹煨 附子炮，去皮脐 肉豆蔻面裹煨 木香不见火 吴茱萸去梗，炒 龙骨生用 白茯苓去皮 草拔各半两

右为细末，姜汁煮糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心米饮送下。永类铃方同。

槟榔圆：治大肠实热，气壅不通，心腹胀满，大便秘实。

槟榔 大黄蒸 麻子仁炒，去壳，别研 枳实麸炒 羌活去芦 牵牛炒 杏仁去皮尖，炒 白芷 黄芩各一两 人参半两

右为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服四十圆，空心用熟水送下，以大腑流利为度。永类铃方同。

肾膀胱虚实论治

夫肾者，足少阴之经，位居北方，属乎壬癸水，左为肾，右为命门，与足太阳膀胱之经相为表里。肾精贵乎专涩，膀胱常欲气化者也。若快情纵欲，失志伤肾，过投丹石，因其虚实，由是寒热见焉。方其虚也，虚则生寒，寒则腰背切痛，不能俯仰，足胫痿弱，

^①肘：济生方同。古今图书集成医部全录卷一百二脏腑门引济生方作“肘”。

多恶风寒，手足厥冷，呼吸少气，骨节烦疼，脐腹结痛，面色黧黑，两耳虚鸣，肌骨乾枯，小便滑数，诊其脉浮细而数者，是肾虚之候也。及其实也，实则生热，热则舌燥咽肿，心烦咽乾，胸胁时痛，喘嗽汗出，小腹胀满，腰背拘急，体重骨热，小便赤黄，足下热痛，诊其脉浮紧者，是肾实之候也。脉沉濡而滑者，不病之脉也；脉来如引葛，按之益坚者，肾病；至坚而沉，如弹石辟辟然者死。

十补圆：治肾脏虚弱，面色黧黑，足冷足肿，耳鸣耳聋，肢体羸瘦，足膝软弱，小便不利，腰脊疼痛，但是肾虚之证，皆可服之。

附子炮，去皮脐 五味子各二两 山茱萸取肉 山药锉，炒 牡丹皮去木 鹿茸去毛，酒蒸 熟地黄洗，酒蒸 肉桂去皮，不见火 白茯苓去皮 泽泻各一两

右为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐酒盐汤任下。

鹿茸圆：治肾虚少气，腹胀腰痛，小腹急痛，手足逆冷，饮食减少，面色黧黑，百节疼痛，日渐无力。

川牛膝去芦，酒浸 鹿茸去毛，酒蒸 五味子各二两 石斛去根 兔丝子淘净，酒蒸 棘刺 杜仲去皮，锉，炒 川巴戟去心 山药锉，炒 阳起石煨 附子炮，去皮脐 川练子取肉，炒 磁石煨 官桂不见火 泽泻各一两 沉香别研，半两

右为细末，酒糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐酒盐汤任下。

冷补圆：治肾水燥少，不受峻补，口乾多渴，耳痒耳聋，腰痛腿弱，小便赤涩，大便或难。

熟地黄酒蒸，焙 生地黄洗 天门冬去心 川牛膝去芦，酒浸 白芍药 地骨皮去木 白蒺藜炒 麦门冬去心 石斛去根 玄参 磁石火煨七次，细研，水飞 沉香别研，不见火 各等分

右为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐汤盐酒任下。

玄参汤：治肾脏实热，心胸烦闷，耳听无声，四肢拘急，腰背俯仰强痛。

生地黄洗 玄参 五加皮去木 黄芩 赤茯苓去皮 通草 石菖蒲 甘草炙 羚羊角镑 麦门冬去心，各等分

右哎咀，每服四钱，水一盞半，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方一盞。姜五片，煎至八分，去滓，温服不拘时候。

阳起石圆：治肾脏虚损，阳气全乏。

阳起石煨 韭子炒 肉苁蓉酒浸 青盐别研 兔丝子水淘净，酒蒸，焙，别研 鹿茸酒蒸 钟乳粉 沉香别研，不见火 原蚕蛾酒炙 山茱萸取肉，各半两 桑螵蛸酒炙 山药锉，炒，各半两

右细末，酒糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐酒盐汤任下。

韭子圆：治膀胱虚冷，小便白浊滑数，日夜无度。

赤石脂煨 韭子炒 川牛膝去芦，酒浸 牡蛎煨 覆盆子酒浸 附子炮，去皮脐 桑螵蛸酒炙 鹿茸酒蒸，焙 肉苁蓉酒浸 龙骨生，各一两 鸡臆脰烧灰 沉香镑，不见火，各半两

右为细末，酒糊为圆，如梧桐子大，每服七十圆，空心盐汤盐酒任下。

葵子汤：治膀胱实热，腹胀小便不通，口舌乾燥，咽肿不利。

赤茯苓去皮 木猪苓去皮 葵子 枳实麸炒 瞿麦 木通去节 黄芩 车前子炒 滑石 甘草炙，各等分

右哎咀，每服四钱，水一盞半，永类铃方一盞。姜五片，煎至八分，去滓，温服不拘时候。

1 子：济生方此下有“大”字。

圣济总录

心 虚

心虚之状，气血衰少，面黄烦热，多恐悸不乐，心腹痛难以言，时出清涎，心膈胀满，善忘多惊，梦寝不宁，精神恍惚，皆手少阴经虚寒所致，其脉见于左手寸口人迎以前，阴虚者乃其候也。

治心虚悸，头项热痛，狂走，言语无度，小腹气壅，石膏汤方：

石膏二两 麦门冬去心，焙 升麻各一两半 桔梗去芦头，切，炒 甘菊花择去梗 黄耆薄切，各一两 人参半两

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，煎至一盏，去滓，食后温服，日三。

治心气虚弱，时发昏闷，惊悸恍惚，忘误心忪，安定神志，补心不足，丹砂茯神丸方：

丹砂别研 茯神去木 人参 天麻 白僵蚕微炒，各一两 天竺黄研 真珠末 琥珀研 菖蒲 远志去心，各半两 松霜研 麝香研 水银沙子 乾蝎去肚，泥炒 牛黄别研，各一分

右一十五味为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服十丸至十五丸，煎人参茯苓汤下，食后临卧服。

治心经邪热，虚烦懊躁，头目不利，神思昏倦，紫石英汤方：

紫石英别研 麦门冬去心，焙，各二两 生乾地黄洗切，焙 人参 紫苏茎叶 远志去心 茯神去木 当归切，焙 甘草炙，锉 防风去叉，各半两 赤小豆一两

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓，早晚食后温服。

治精神恍惚，或爽或昏，意思不佳，日多伸欠，眠食不时，补心益志菖蒲散方：

菖蒲锉 人参 生乾地黄洗，切，焙 远志去心 白茯苓去黑皮 山芋各一两 桂去粗皮，半两

右七味为细散，每服一钱匕，粥饮调下，食后临卧服。

治思虑过多，心气不安，惊悸恍惚，烦倦，神思不清，人参远志丸方：

人参 远志去心 黄耆薄切 酸枣仁各一两 桂去粗皮 桔梗去芦头，炒 丹砂别研，各半两 天门冬去心，焙 菖蒲 白茯苓去黑皮，各一两半

右一十味为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，米饮下，不拘时。

安镇魂魄，令人神爽气清，目明耳聪，强记预知，应真丸方：

琥珀研 预知子 远志去心 人参 白茯苓去黑皮 白术 菖蒲各二两 桂去粗皮，一两

右八味为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服二十丸，食前温酒下。

治心气虚弱，惊悸，夜卧不宁，沉香散方：

沉香 白茯苓去黑皮，各三钱 酸枣仁炒 人参 天麻 芎藭 陈橘皮去白，切，焙，各二钱 藿香叶 甘草炙，锉 白僵蚕去丝，酒炒，各一钱

右一十味为细散，每服一钱匕，食后，生姜汤调下，日二夜一。

治心气不足，茯苓菖蒲丸方：

茯苓去黑皮 菖蒲 远志去心，各一两 茯神去木，二两 赤小豆半两

右五味，为细末，用炊饼浸稀，丸如绿豆大，每服三十丸至五十丸，食后熟水下。

治心气不足，山茱萸丸方：

山茱萸 杜仲去粗皮，炒 茯神去木 枳壳去瓢，麸炒 甘草炙，锉 贝母去心，炒 天门冬去心，焙，各一两 白茯苓去黑皮 麦门冬去心，焙，各一两三分 生乾地黄洗，切，焙 百部各二两 防风去叉，一两半 远志去心，半两

右一十三味为细末，炼蜜丸如弹子大，每服一丸，嚼细，食后麦门冬熟水下。

治心气不足，脾乏生气，脾既受邪，先

诊其脉，若心脾脉俱弱，即宜先服益心气人参汤方：

人参 藿香去梗 远志去心 芎藭 菖蒲 白术 白芷 陈橘皮去白，切，焙。各等分

右八味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏。煎至八分，去滓，食前服

开心益智，菖蒲散方：

菖蒲三分 远志去心，一两三分 蒲黄 白茯苓去黑皮 龙骨碎研。各一两一分

右五味为细散，每服一钱匕，平旦以新水调下，服此药，宜以开日为始。

治心虚不足，补心气，山芋丸方：

山芋 熟乾地黄焙 各一两半 柏子仁 茯神去木 人参 防风去叉 丹参各一两 贝母去心，炮 菖蒲石上者 甘草锉 远志去心。各半两

右一十一味，捣罗为末，研令匀，用蜜和丸，如弹子大，每日食后将一丸含化，咽津，夜卧时再服。

治心虚惊悸，睡卧不安，龙齿汤方：

龙齿 人参各三分 芍药 淡竹茹 当归切，焙 半夏曲 茯神去木 羌活去芦头。各半两 木香 茅根各一分 银半斤，用水三升，煎取一升

右一十一味除银外，粗捣筛，每服五钱匕，用银水一盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，食后温服。

治心虚惊悸，茯苓散方：

白茯苓去黑皮，三分 远志去心 人参 麦门冬去心，焙 白僵蚕炒 羚羊角镑 菊花各半两 甘草炙，锉 牛黄研 铁粉研 各一分

右一十味捣研为散，每服二钱匕，食后煎竹沥汤调下，或薄荷熟水下。

治心藏虚热，惊悸心忪，虚乏气短，睡卧不安，茯神丸方：

茯神去木，二两 人参 麦门冬去心，焙 龙齿 防风去叉 云母粉各一两半 犀角镑 黄芩去黑心 薏苡仁各二两

右九味，捣罗为末，炼蜜丸，如绿豆大，每服食后，米饮下十五丸至二十丸。

治心虚，言语错谬，精神恍惚多惊，黄

耆汤方：

黄耆锉 麦门冬去心，焙。各二两 人参 白茯苓去黑皮 芍药 当归切，焙 桂去粗皮 甘草炙，锉。各一两

右八味粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，枣二枚，擘，煎至一盏，去滓，不拘时温服。

治心虚惊悸，或因忧虑，神气不安，镇心丸方：

茯神去木 人参 甘草炙，锉 龙齿各一两半 升麻 枳壳去瓤，麸炒。各一两 银薄二百片 麦门冬去心，焙。二两

右八味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，米饮下，早晚食后服。

治心虚不足，惊悸不安，言语谬乱，人参远志散方：

人参 远志去心 熟乾地黄焙。各三分 琥珀研 白茯苓去黑皮。各一两 甘草炙，锉。一分 铁粉研。半两

右七味捣研为散，每服二钱匕，煎金银汤调下。

治心虚不足，惊悸不安，言语谬乱，人参汤方：

人参 茯神去木 羌活去芦头 芍药 黄耆各三分 龙齿 桂去粗皮。各半两

右七味，细锉如麻豆，每服五钱匕，水一盏半，入生姜三片，同煎至八分，去滓温服，日二。

治心气不足，或喜或悲，或嗔或怒，或时鼻衄，眼目黄赤，言语颠倒，咽喉强痛，唇口乾燥，冷汗自出，惊悸心忪，补心汤方：

人参 白茯苓去黑皮 桂去粗皮 紫苑去苗土 麦门冬去心，焙。各二两 紫石英研。一两

右六味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，大枣二枚，擘，赤小豆三十粒，煎至八分，去滓，食后温服。

治心虚，神气不宁，举动多惊，睡卧不安，杏仁丸方：

杏仁一斗，汤浸，去皮尖双仁，用童子小便浸，煮一日，

以好酒三升，淘洗，然后烂研如膏，再以清酒三斗，并地黄汁三升，和杏仁膏，银石器内重汤煮一复时，稀稠如膏为度，盛瓶器密封口。远志一两，去心，焙乾，秤。茯苓去粗皮。菖蒲各二两。麦门冬去心。黄连各一两。

右六味除杏膏外，捣罗为末，入前膏和为丸，如梧桐子大，每服三十丸，人参汤下。

治心虚通百病，虚瘠羸乏，牛髓丸方：

牛髓 羊髓 白蜜 酥 枣膏 各一升 茯苓 麦门冬 芎藭 桂心 当归去芦头 甘草 羌活 各一两一分 乾姜 乾地黄 各一两半 人参 五味子 防风 各一两 细辛 三分 白术一两三分

右十九味，先捣十四味为末，取上五味，铜石器内熬令消，次入前药末，同熬如膏，取出，可丸即丸，如梧桐子大，温酒下三十丸。

治心实热，茯神汤方：

茯神去木 麦门冬去心，焙。各三分 木通 锉 桂去粗皮 知母 紫苑洗，切 升麻 各半两 竹茹如鸡子大 赤石脂一两

右九味粗捣筛，每服五钱匕，并华水一盞半，入枣一枚，去核，煎至一盞，去滓，早晚食前临卧温服。

治心实热，梦惊恐，畏惧不安，石膏汤方：

石膏四两，碎研 人参 知母焙 赤石脂 梔子去皮 芍药 白术 茯神去木 紫苑洗切。各一两半

右九味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，入竹沥少许，生地黄汁一合，更煎一两沸，食后温服，若要利加芒硝一两去芍药。

治心实热，欲吐不出，烦闷喘急，泻心汤方：

小麦三合 豉炒，一合 石膏五两 地骨皮一两 梔子去皮，七枚 赤茯苓去黑皮，三分

右六味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，入竹叶十片，细锉煎至一盞，去滓，食后温服。

治心壅痰实，膈热头昏，不思饮食，咳

嗽烦渴，犀角汤方：

犀角屑 柴胡去苗 黄芩去黑心 人参各一分 白茯苓去黑皮 麦门冬去心，焙 升麻 各半两 甘草炙，锉，半分

右八味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，食后温服。

治心气实热，火气炎盛，销烁金精，肺受心邪，因而生疾。若人患肺，先审心虚实，若心气盛实，则脉洪大，或肺脉微，得心脉即先服此抑心气方：

黄芩去黑心 赤茯苓去黑皮 玄参 甘草炙，锉 麦门冬去心，焙 牡丹皮 升麻 桔梗去芦头，炒 贝母去心 犀角屑 各一分 沉香 木香 各一钱

右一十二味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，食后温服。

治心实壅热，口苦舌乾，涕唾稠黏，胸膈烦闷，不思饮食，人参汤方：

人参 赤茯苓去黑皮 茯神去木 龙骨 远志去心 麦门冬去心，焙 生乾地黄洗，切，焙 甘草炙，锉。各半两 丹砂别研 天竺黄各一钱 天门冬去心，焙，半两

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，枣一枚，去核，淡竹叶五片，灯心十茎，煎至七分，去滓，温服。

治心实壅热，口苦舌乾，涕唾稠黏，胸膈烦闷，不思饮食，肢体倦怠，或发烦热，状似骨蒸，茯神丸方：

茯神去木 生乾地黄洗，切，焙。各一两 鳖甲九肋者，醋炙，去裙烂 桔梗去芦头，切，炒 人参 升麻 大腹炮 防风去叉 黄芩去黑心 白前各一两 枳壳去瓤，麸炒 赤芍药 柴胡去苗 黄耆薄切。各一两半

右一十四味为细末，炼蜜丸，梧桐子大，每服十丸，食后生姜汤下。

治心藏积热，口舌生疮，善怒，言语不快，舌强，小便赤痛，通心汤方：

麦门冬去心，焙 梔子去皮 黄芩去黑心 当归酒洗，切，焙 荆芥穗 芍药 大黄生，锉 升麻 木通 各一分

右九味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入葱白三寸，煎至八分，去滓，食后热服。

治心经蕴热，头目壅赤，小便秘涩，加减火府丸方：

生乾地黄 洗，切，焙，一两 木通 一两半 黄连 去须，三分 黄芩 去黑心，一分 赤茯苓 去黑皮，半两

右五味为细末，炼蜜丸，梧桐子大，每服七丸至十丸，食后温水下。

治心热实，忪悸恍惚，痰壅昏倦，上盛渴躁，夜卧不稳，镇心丸方：

丹砂 别研 人参 甘草 炙，锉 黄芩 去黑心 栝蒌根 各一两 凝水石 碎研，二两 牛黄 研 犀角 镑 知母 各半两 龙脑 别研，一钱

右一十味为细末，炼蜜丸，鸡头大，每服一丸，人参汤嚼下。

治心藏大热，去烦闷，润肠胃，山梔子汤方：

山梔子 三两 大黄 锉，炒 朴硝 甘草 生锉 石膏 各二两 黄芩 去黑心 大青 各一两 竹茹 三分 鬱金 一两半

右九味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入竹叶七片，煎至七分，去滓，食后服。

治心实生热，惊悸，化风痰，解积热，冰壶丸方：

牛黄 别研 真珠 别研 人参 白茯苓 去黑皮 安息香 酒化 胡黄连 龙胆 麦门冬 去心，焙 远志 去心，各半两 丹砂 别研 玳瑁 镑 犀角 镑，各一两 龙脑 别研 龙齿 铁粉 别研 甜消 别研，各一分 金薄 别研 银薄 别研，各十五片

右一十七味为细末，炼蜜同安息香膏和丸，如鸡头大，每服一丸，煎人参茯苓汤化下。

治心藏实热，上焦壅滞，口舌生疮，或多烦渴，柴胡汤方：

柴胡 去苗 地骨皮 犀角 镑 麦门冬 去心，焙 葛根 锉 黄连 去须 赤芍药 黄芩 去黑心 升麻 各一两 甘草 炙，锉，半两

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，食后温服。

治心实热，口乾烦渴，夜卧不安，羚羊角汤方：

羚羊角 镑，三分 茯神 去木 木通 锉 黄连 去须 麦门冬 去心，焙 升麻 知母 焙 黄芩 去黑心 朴硝 各一两

右九味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，食后温服。

治心藏实热，胸中满闷，嗔怒不常，或头旋运，或痛如破，犀角汤方：

犀角 镑 防风 去叉 生乾地黄 焙 羌活 去芦头 菊花 半夏 汤浸，去滑，姜汁制作饼，暴乾 玄参 黄芩 去黑心 白术 甘草 炙，锉 旋复花 麦门冬 去心，焙 前胡 去芦头，各一两半

右一十三味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，入生姜一枣大，切，煎至八分，去滓，食后温服。

治心藏壅盛，烦热，口舌生疮，头痛颊赤，心神不宁，通心汤方：

升麻 犀角 镑 龙胆 玄参 防风 去叉 黄芩 去黑心 羌活 去芦头，各半两 苦竹叶 三分 甘草 炙，锉，一分

右九味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至八分，去滓，食后温服。

治心热胆虚，喜惊多涎，梦中惊魇，小儿惊热，女子忧劳血脉，产后心虚怔忡等疾，至宝丹方：

生犀角 镑 生玳瑁 镑 琥珀 研 丹砂 研 雄黄 研，各一两 牛黄 半两，与上二味，各研匀 安息香 一两半，酒浸，重汤煮令化，滤去滓，约取一两，净研如膏

右七味内六味捣研为末，以安息香膏丸，如皂荚子大，人参汤下一丸，小儿量度加減。

治心藏风热，牛黄散方：

牛黄 别研，一分 何首乌 一两半 甘草 炙，锉，一分 玄明粉 半两

右四味捣研为细散和匀，每服一钱半匕，麦门冬熟水调下。

治心藏热实，狂言妄语，心神不宁，大定志丸方：

消石 一两 丹砂 一分 白茯苓 去黑皮 人 参
各二两

右四味捣研为末，粟米饭和丸，如弹丸大，每服一丸，沙糖新汲水调下。

治热实在内，狂妄不常，定心丸方：

消石 半两 丹砂 一分

右二味细研，糯米粥和丸，如樱桃大，每服一丸，生糯米汁入油一两点，青柳枝打匀服。

五 藏 门_八

圣 济 总 录_二

心 热 多 汗

心生血，血行于分肉之间，遇热则腠理开，腠理开则汗出。盖心之液为汗，汗出亡阳，阳虚，热甚不已，则肌肉消瘦也。

治心热多汗及心胃客热，呕逆不睡，小麦汤方：

小麦_{一合} 芦根_{一握，锉} 竹茹 人参_{各一两}
白茯苓_{去黑皮，二两}

右五味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎取一盞，去滓，温服，不拘时。

治心气壅热，手心头面多汗，胸中烦满，犀角汤方：

犀角_镑 龙骨 麦门冬_{去心，焙} 黄耆_锉 地骨皮 茯神_{去木} 人参 麻黄根 远志_{去心} 甘草_{炙，锉。各一两}

右一十味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，淡竹叶二七片，煎至一盞，去滓，食后温服。

治心藏壅热，口舌乾燥，多汗，石膏丸方：

石膏_研 栝蒌根 麻黄根 乌梅肉 葛根_锉 天竺黄_研 牡蛎_{烧。各一两} 麦门冬_{去心，二两} 甘草_{炙，锉，半两}

右九味为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服二十丸，新汲水下，不拘时。

治心热汗出，及骨蒸烦躁，盗汗，食不生肌，羚羊角汤方：

羚羊角_镑 地骨皮 秦艽_{洗，去苗土} 麦门冬_{去心，焙} 枳壳_{去瓢，麸炒} 大黄_锉 柴胡_{去苗} 白茯苓_{去皮} 芍药 桑根白皮_锉 黄耆_{薄切} 人

参 鳖甲_{醋炙，去裙襕。各一两}

右一十三味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，温服不拘时。

治心热汗出，及虚热盗汗，黄连散方：

黄连_{去须，半两} 柴胡_{去苗} 前胡_{去芦头。各一两}
右三味，为细散，每服一钱匕，温酒调下，日三。

治虚热多汗，熟乾地黄汤方：

熟乾地黄_{五两}

右一味，锉如麻豆大，以水五盞，煎至三盞，去滓，温分三服，空心日午临卧服。

治心热多汗，口苦舌乾，涕唾稠黏，胸膈烦闷，不思饮食，七宝汤方：

人参 白茯苓_{去黑皮} 茯神_{去木} 龙骨 远志_{去心} 麦门冬_{去心，焙} 生乾地黄_{洗切} 甘草_{炙，锉} 天门冬_{去心，焙。各半两} 丹砂_研 天竺黄_{研。各一钱}

右一十一味粗捣筛九味，入研药和匀，每服二钱匕，水一盞半，枣一枚擘，淡竹叶五叶，同煎至七分，去滓，温服不拘时。

治心热多汗，及骨蒸盗汗，咳嗽，五心烦热，柴胡饮方：

柴胡_{去苗，二两} 桑根白皮_锉 防风_{去叉} 芍药 玄参 黄芩_{去黑心} 甘草_{炙，锉。各一两}

右七味粗捣筛，每半两，水三盞，生姜五片，煎至二盞，去滓，分温两服，日午临卧。如咳嗽咯血，加杏仁二十枚，去皮尖双仁，粗研同煎。

治心热多汗，言笑无度，四肢烦热，降气汤方：

麻黄_{去根节} 梔子仁 白茯苓_{去黑皮} 黄芩_{去黑心} 白术_锉 芒硝_{各三两} 石膏_{八两，碎研}

桂去粗皮，二两 生地黄切，焙，一升 甘草炙，锉，一两
赤小豆二合

右十一味粗捣筛，每服五钱匕，水二盏，枣二枚，煎取一盏，下竹沥少许，再煎，去滓，温服。

治心热多汗，欲吐不出，烦闷喘急，头痛，泻心汤方：

豉一升 石膏一斤，碎研 地骨皮五两 栀子仁二十一枚 白茯苓去黑皮，二两

右五味粗捣筛，每服五钱匕，水二盏，入小麦一撮，淡竹叶二七片，煎取一盏，去滓，温服。

心中寒

心中寒者，心痛彻背，背痛彻心，如蛊注之状，盖心为阳藏，中寒则寒必甚，心背彻痛，则寒邪所藏深矣。

治中寒心痛彻背，背痛彻心，或心下结实，姜附丸方：

附子炮裂，去皮脐，一分 乾姜炮，三分 乌头炮裂，去皮尖，一分 吴茱萸汤浸一宿，焙乾，炒，半两 厚朴去粗皮，生姜汁炙，半两

右五味，捣罗为细末，炼蜜和丸梧桐子大，空腹以酒下三丸，日三夜一，未效稍加丸数。

治心中寒，心背彻痛，赤石脂丸方：

赤石脂一两半 乾姜炮，二两 乌头炮裂，去皮尖，三分 人参一两 细辛去苗叶，一两 桂去粗皮，三分 蜀椒去目并闭口，炒出汗，半两

右七味捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子大，每服五丸，食前米饮下，日二，未效渐加丸数，以知为度。

治中寒心痛，吴茱萸汤方：

吴茱萸汤浸一宿，焙乾，炒，二两 附子炮裂，去皮脐，二枚 芎藭 乾姜炮 厚朴去粗皮，生姜汁炙，各二两 甘草炙，锉，一两

右六味粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，枣二枚，擘破，同煎至一盏，去滓温服，不计时日三。

治心痛彻背，背痛彻心，乌头丸方：

乌头炮裂，去皮脐，一分 附子炮裂，去皮脐 桂去粗皮 蜀椒去目并闭口，炒出汗，各半两 赤石脂 乾姜炮，各一两

右六味，为细末，炼蜜为丸，如麻子大，每服三五丸，食后生姜汤下，日进三服。

治心中寒气疼痛，肋下鸣转，喉中妨闷，食不多消，常生食气，桔梗散方：

桔梗 当归 芍药 茯苓 橘皮汤浸，去白瓢，秤 厚朴去粗皮，姜炙 白术各二两 葶苈子各一两 槟榔 桂心 诃梨勒皮炒，各一两半

右十二味捣筛为散，每服三钱，生姜五片，枣一枚，煎至八分，去滓，空心温服，日三。

又茱萸丸方：

吴茱萸一升 桂心 当归各二两

右三味，捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒下，渐加至四十丸。

治寒腹痛，当归汤方：

当归去芦头 桂各一两，去粗皮 甘草生，锉，半两 乾姜生，锉，一两

右四味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，枣二枚，擘破，煎至七分，去滓，食前温服。

治心中寒，发痛甚，大腹皮散方：

大腹皮半两，锉 高良姜一两 芍药一两 吴茱萸汤浸一宿，焙乾，炒，一分

右四味，捣罗为散，每服二钱匕，温酒调下，不饮酒生姜汤亦得。

治心中寒，脉浮，当吐，瓜蒂散方：

瓜蒂一分，炒黄 赤小豆一分

右二味各捣罗，拌匀，再罗，每服一钱匕，以香豉一合，热汤一盏，煮作稀糜，去滓，取汁调散，温顿服之，不吐者，少加服之，快吐乃止，诸亡血虚人不可服。

心烦热

心烦热之病，手少阴经有馀所致也，其不足，则亦能令人虚烦。圣惠方止及实热大抵心属火而恶热，其受病则易以生热。热

则血气壅滞，故为烦躁，寝卧不得安宁，口舌生疮，头痛颊赤之类；虚则热气内收，心神不宁，亦为烦躁也。

治心虚多烦躁，背膊妨闷，面色变赤，言语谬乱，远志汤方：

远志 去心，一两 白茯苓 去黑皮，三分 犀角 镑，一两半 知母 半两 芍药 一两 黄芩 去黑心 前胡 去芦头，各三分

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生麦门冬汁半合，煎至八分，去滓，不拘时温服。

治心烦躁，口乾舌涩，麦门冬汤方：

麦门冬 去心，焙，二两 龙齿 半两 玄参 洗，切 梔子仁 茅根 各一两 木通 二两，锉 赤芍药 一两

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至八分，去滓，不拘时温服。

治心藏烦热，睡即多惊，心忪不欲见人，乌犀汤方：

犀角 镑，八钱 龙齿 升麻 各一两 茯神 去木，一两半 麦门冬 去心，焙，二两 玄参 一两 甜心根 锉，焙，三两 赤芍药 一两半

右八味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入马牙硝半钱匕、生地黄五七寸，拍碎，同煎至七分，去滓温服。

治心虚烦躁，黄耆汤方：

黄耆 锉 茯神 去木 麦门冬 去心，焙 栝蒌根 锉。各二两 熟乾地黄 洗，切，焙，四两

右五味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，不拘时温服。

治心虚烦热，怔忡，头目昏眩，夜卧不宁，铁粉丸方：

铁粉 二两 蛇蛻 五尺，炒焦 黄连 去须 泽泻 犀角 镑。各三分 龙齿 远志 去心。各半两 麦门冬 去心，焙 人参 白茯苓 去黑皮，各一两半

右一十味捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子大，每服二十丸，熟水下，日三服。

治心热烦躁，小便赤涩，瞿麦汤方：

瞿麦穗 麦门冬 去心，焙 木通 锉。各一两 黄连 去须 甘草 炙，锉。各半两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入竹叶十片，同煎至七分，去滓，不拘时温服。

治心膈虚烦，躁渴至甚，黑豆汤方：

黑豆 小者，一升 防风 去叉，二两 甘草 炙，锉 麦门冬 去心。各一两

右四味，除黑豆外，並细锉，用水七升，煎取五升，不拘时温服，从早至夜，匀分作四服，如渴不至甚者，止用半剂。

治心经积热，烦郁，地黄散方：

生地黄汁 三升 蛤粉 一斤 郁金 锉，二两 甘草 炙，锉，三两

右四味，将地黄汁拌和，下三味，令匀，暴乾捣罗为散，每服一钱匕，用新汲水调下，日三服，食后临卧。

治心热烦躁，凉心丸方：

紫河车 三分。重休是也 人参 白茯苓 去黑皮。各半两 远志 去心，一分 麦门冬 去心，焙，半两 丹砂 别研，一两 龙脑 别研，半钱 金薄 二十片，与丹砂、脑子同研

右八味除别研外，捣罗为末，再同研匀，炼蜜和丸，如鸡头大，每服一丸，人参汤化下。

治心热恍惚，烦躁面赤，小便涩，黄芩汤方：

黄芩 去黑心 贝母 去心 升麻 玄参 麦门冬 去心，焙 紫苑 去苗土 柴胡 去苗 桔梗 去芦头，炒 牡丹 去心 木香 胡黄连 等分

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎取七分，去滓，温服不拘时。

善 笑

内经谓：神有馀则笑不休。盖心藏神，在声为笑，在志为喜，今心气实，则神有馀，神有馀，则阳气越，所以有善笑之证。

治心实热，惊悸喜笑，心神不安，玄参汤方：

玄参 白薇 茯神 去木 山梔子仁 羚羊角 镑。各八两 石膏 碎，五两 人参 一两半 生地黄 洗，控乾，五两

右八味咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，煎至八分，去滓，入竹沥一合，再煎三两沸，不拘时候服。

治心实热，惊悸善笑，龙胆丸方：

龙胆 山梔子仁 白薇 茯神去木 大黄锉，炒。各二两 麦门冬去心，焙，三两 人参 甘草炙，锉。各一两半 玄参 羚羊角镑。各二两半

右一十味捣罗为细末，炼蜜丸，梧桐子大，每服食后，煎枣汤下三十丸。

治心神恍惚，自语自笑，举止不常，丹砂丸方：

丹砂研 乳香研 酸枣仁去皮，研。各半两

右三味再合研令匀，酒面糊丸，梧桐子大，冷水下十丸，不拘时候。

治心神狂越，多喜善笑，如邪祟，龙齿丸方：

龙齿 远志去心 生乾地黄焙 白茯苓去黑皮 天门冬去心，焙 山芋 防风去叉 五味子 车前子 麦门冬去心，焙 地骨皮去土 人参 各等分

右一十二味捣罗为细末，炼蜜丸，梧桐子大，每日空心竹叶汤下二十丸，日再。

治心气实热，神思不安，常思狂走，喜笑无度，坐卧不定，升麻汤方：

升麻 黄芩去黑心 白茯苓去黑皮 麦门冬去心，焙 大黄锉，炒 羌活去芦头 木香 犀角镑 沉香锉 玄参 各等分

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，以水一盞于银器内，煎取八分，去滓，食后服。

治心神不定，好登高临险，言语不避亲疏，时时自笑，高声叫呼，举止无常，大便秘，小便赤，解衣露体，不能安处，丹砂酒方：

丹砂半两，成块者 麝香二钱

右二味，同研细，和匀，用无灰酒二升，于瓷瓶内浸，以慢火煨，时用银箸搅令热，每服随患人平时饮酒多少，令至醉，候患人睡著，急用厚衣被盖之，汗出病愈。若患人不能多饮，只用丹砂一分，麝香半钱，酒一

升，制如前法，时时饮之。

瘵 病

治瘵病筋脉相引，强筋力，滋血脉，石菖蒲丸方：

石菖蒲 牛膝一味切，同以酒浸一宿，焙 远志去心 人参 白茯苓去黑皮 地骨皮 生乾地黄焙 兔丝子酒浸，别捣末 白术 各一两

右九味，为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心，日午夜卧，温酒下。

治瘵病筋脉相引，及五劳七伤，小便数，腰疼，久立不得，坐即脚痹，腹肚不安，肉苁蓉丸方：

肉苁蓉酒浸，切，焙 山芋 熟乾地黄焙。各三两 兔丝子酒浸，别捣 五味子 杜仲去粗皮，炙，锉 泽泻 覆盆子 山茱萸 远志去心 续断 桂去粗皮 附子炮裂，去皮脐 甘草炙，锉 白茯苓去黑皮 石斛去根 鹿茸去毛，酥炙 人参 蛇床子 巴戟天去心。各一两半

右二十味，为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心、日午、夜卧，温酒下。

治瘵病及虚羸等疾，牛髓丸方：

牛髓研 羊髓研 白蜜 酥 枣肉 各半升 白茯苓去黑皮 麦门冬去心，焙 芎藭 桂去粗皮 当归切，焙 甘草炙，锉 羌活去芦头。各一两 乾姜炮 生乾地黄焙。各三分 人参 五味子 防风去叉 细辛去苗叶。各半两 白术 一两一分

右一十九味，除前五味外，捣罗为末，先与枣肉相和，次入二髓、酥、蜜搅匀，内银石器中，重汤煮之，堪丸即丸，如梧桐子大，每服三十丸，加至四十丸，酒下，日再。

治瘵病筋脉相引，通百节，利九窍，补下焦伤竭不足，茯苓钟乳丸方：

白茯苓去黑皮 黄耆锉 枳壳去瓢，麸炒 蛇床子 各二两 炼成钟乳粉 六两 牛膝酒浸，切，焙 肉苁蓉酒浸，切，焙 人参 石斛去根 五味子 各一两半 熟乾地黄焙 兔丝子酒浸，别捣。各三两

右一十二味，为细末，炼蜜丸，梧桐子大，每服三十丸，空心，酒下。

治瘕病筋脉相引，万金丸方：

熟乾地黄 焙，十两 天门冬 去心，焙，七两 巨
胜子 炊去皮，暴乾，五两 白茯苓 去黑皮 甘菊花
各三两 肉苁蓉 酒浸，切，焙 牛膝 酒浸，切，焙 山
芋 各二两 桂 去粗皮 酸枣仁 炒 甘草 炙，锉 巴
戟天 去心。各一两

右一十二味，为细末，煮枣肉与熟蜜，
和捣三千杵，丸如梧桐子大，每服三十丸至
四十丸，空心、日午温酒下。

治瘕病筋脉相引，补虚损，去元藏久冷，
上焦客热，健忘心忪，五味子丸方：

五味子 一两半 熟乾地黄 焙 肉苁蓉 酒浸，切，
焙。各四两 牛膝 酒浸，切，焙 兔丝子 酒浸，别捣 泽
泻 白茯苓 去黑皮 巴戟天 去心 赤石脂 山茱
萸 杜仲 去粗皮，炙 山芋 石膏 碎 远志 去心 柏
子仁 各二两

右一十五味，为细末，炼蜜和捣，入真
酥五两再捣，丸如梧桐子大，每服二十丸至
三十丸，空心、日午温酒下。

小 肠 虚

小肠者，受盛之官，心之府也，手太阳
其经也。其气虚则为不足，故左手寸口人迎
以前，脉阳虚者，小肠虚也，虚则生寒，是
故有颊际头角偏痛，耳聋不聪，惊跳，小便
数之证，治宜补之。

治小肠虚寒，脐下急痛，沉香汤方：

沉香 锉 桂 去粗皮 附子 炮裂，去皮脐 白龙
骨 各一两 木香 当归 锉，炒。各三分 枳实 去瓤，
麸炒，半两

右七味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一
盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前热
服。

治小肠虚寒，小便频数，便下久而有膜
如乳酪状，牡蛎丸方：

牡蛎 火煨，细研 萆薢 续断 益智子 去皮
石斛 去根 芎藭 牛膝 酒浸，切，焙 狗脊 去毛
五味子 石硫黄 别研 山茱萸 巴戟天 去心 龙
骨 等分

右一十三味，捣研为末，炼蜜丸，如梧
桐子大，空心，盐汤下四十丸，小便止即已。

治小肠虚寒，小便后余沥，阴痿，益智
丸方：

益智子 去皮 萆薢 狗脊 去毛 芎藭 巴戟
天 去心 乾木瓜 续断 牛膝 酒浸，切，焙。各半两
附子 炮裂，去皮脐，大者一枚

右九味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧
桐子大，空心盐汤下四十丸。

治小肠虚冷，时发刺痛，蓬莪术散方：

蓬莪术 炮，锉 茴香子 炒 芎藭 牛膝 酒浸，
切焙。各半两 桂 去粗皮，一分

右五味，捣罗为散，每服二钱匕，银石
器内煎，葱汤调下。

治小肠虚冷，少腹疼痛，茴香子丸方：

茴香子 炒 桂 去粗皮。各一两 附子 炮裂，去皮脐
当归 切，焙 萆薢 澄茄 木香 赤石脂 各三分 蜀椒
去目，及闭口者，微炒出汗，半两

右八味，捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子
大，每服温酒下二十丸，空心，食前。

治小肠虚寒，腹痛下赤白，补虚乾姜汤
方：

乾姜 炮，三两 当归 切，焙 黄柏 去心 地榆 各四两
黄连 去须 阿胶 炙令燥。各二两 石榴皮 三枚，焙

右七味，哎咀，如麻豆，每服五钱匕，
水一盏半，煎取八分，去滓，温服。

治小肠虚冷，小便频数，牛膝丸方：

牛膝 酒浸，切，焙 续断 芎藭 各半两 萆薢 二两
右四味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子
大，空心盐汤下四十丸，或作汤入盐煎服亦
得。

治小肠虚寒撮痛，並妇人血刺心痛，断
弓弦散方：

五灵脂 蒲黄 等分

右二味，同研为散，每服二钱匕，先用
酢一合，熬药成膏，以水一小盏，煎至七
分，热呷。此又名失笑散。

治小肠虚寒下痢，便泄脓血，肠滑，懊
悒，温肠丸方：

补骨脂炒，一两 肉苁蓉酒浸，去皱皮，焙，一两半
狗脊铤 独活去芦头。各三分 附子炮裂，去皮脐
巴戟天去心 鹿茸酒炙，去毛。各一两 五味子三分
右八味捣罗为细末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服三十丸，盐汤下或酒下亦得。

小 肠 实

小肠者，受盛之官，心之府也，手太阳其经也。其气盛，则为有馀，故左手寸口人迎以前脉阳实者，小肠实也。实则生热，是故有身热来去，口疮心烦，身重汗不出，小便不利之证，治宜泻之。

治小肠实热，脉气盛实，小便下血，麦门冬汤方：

麦门冬去心，焙 知母 蒲黄 黄芩去黑心
木通铤 升麻各一分 大黄铤，炒，三分

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至八分，去滓，食后温服。

治小肠实热，小便赤涩疼痛，射干汤方：

射干 黄芩去黑心 麦门冬去心，焙 大黄铤，炒 知母 木通铤，等分

右六味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入葱白五寸，切碎同煎至八分，去滓，食后温服，以利为度。若三服以上未通，急煎芎藭汤一盞投之即下，自早至夜可两服。

治小肠实热，小便黄赤，结涩不通，瞿麦汤方：

瞿麦穗 犀角镑 猪苓去黑皮 防己各三分
黄连去须 车前子 木通铤。各一两 甘草炙，铤，半两

右八味粗捣筛，每服三钱匕，以水一盞，煎取七分，去滓温服，不拘时候。

治下焦滞热，阴中疼痛，小便难涩，滑石散方：

滑石一两，研 甘草炙，铤 大黄铤，炒 黄耆铤 地椒 山梔子去皮，各半两 乳香一钱，研

右七味，捣研为散，食前乳香酒调下一钱匕，未愈再服。

治小肠实热，心中烦闷，小便血出，地黄汤方：

生地黄 白茅根各半两 葱白二茎
右三味，铤如麻豆大，水三盞，煎至一盞半，去滓，食前分温二服。

治小肠风热，小便黄赤，涩结不通，胡荽汤方：

胡荽 车前子 木通铤 防己 瞿麦穗 犀角镑 黄连去须。各等分

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至八分，去滓，食后温服，日三。

治小肠实热，心下急痹，口舌生疮，郁金散方：

郁金一两 白附子炮，半两 羌活去芦头，三分 甘草炙，铤，半两 黄连去须，一分 黄芩去黑心，半两 侧柏半两 大黄铤，炒 乾蝎去土，炒。各半两

右九味捣罗为细散，拌和匀，每服二钱匕，食后薄荷熟水调下，生姜蜜汤下亦得。

小肠有寒

小肠者，受盛之官，化物出焉，承奉胃司，受盛糟粕，受已复化传于大肠，是谓化物而出也。其经有寒，则亦传于大肠，故化物难，而又肠中懊痛，便利赤白，脉经谓：小肠寒则令人下重，便脓血者是也。

治小肠虚寒痛，下赤白，肠滑后重，乾姜黄连汤方：

乾姜炮，三两 当归切，焙 黄柏去粗皮 地榆铤。各四两 黄连去须 阿胶炙令燥。各二两 石榴皮一两，焙

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，温服，日三。

治小肠受寒，腹痛下重，便利脓血，厚朴散方：

厚朴去粗皮，生姜汁炙，铤 黄连去须，微炒 乾姜炮 当归切，焙。各一两 白茯苓去黑皮 无食子各半两

右六味捣罗为细散，每服二钱匕，粥饮调下，食前服。

治小肠有寒，下利赤白，腹痛下重，木香汤方：

木香 三分 黄连 去须，微炒 当归 切，微炒。各一两
附子 炮裂，去皮脐，一两半 吴茱萸 汤洗七遍，焙乾，炒，半
两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，三两

右六味粗捣筛，每服三钱匕，以水一盞，
煎至七分，去滓，稍热服，食前。

治小肠寒，下痢赤白，乌梅丸方：

乌梅 一百枚 乾姜 炮 黄连 去须。各三两 当
归 切，焙 蜀椒 去目并闭口者，炒出汗 细辛 去苗叶 附
子 炮裂，去皮脐 桂 去粗皮 黄柏 去粗皮，锉 人参
各一两

右一十味，将九味捣罗为细末，以苦酒
渍乌梅一宿，去核，蒸令烂，别捣如泥，搅
药匀，更入炼蜜少许，和丸如梧桐子大，每
服十丸至二十丸，米饮下，食前日三。

治小肠寒，便利赤白，肠滑，木香丸方：

木香 黄连 去须 诃子皮 无食子 各半两
赤石脂 一两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，锉 当归 切，焙。
各三分

右七味捣罗为细末，炊枣肉和丸，如梧
桐子大，每服二十丸，温米饮下，食前。

治小肠寒，肠中懊痛，下赤白，阿胶汤
方：

阿胶 炙燥，二两 桂 去粗皮 生姜 切，焙乾。各半两
黄连 去须，三分

右四味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，
煎至一盞，去滓，稍热服，日三。

脾 虚

脾象土，位处中焦，主腐化水谷，通行
营卫。脾气和则可以埤诸藏，灌四旁；若虚
则生寒，令人心腹胀满，水谷不消，噫气吞
酸，食辄呕吐，霍乱泄利，四肢沉重，多思
气结，恶闻人声。补养之法，不可缓也。

治脾虚，不思饮食，气逆滑泄，米谷不
消，养脾散方：

陈曲 炒 白茯苓 去黑皮 附子 炮裂，去皮脐 诃
黎勒皮 煨 甘草 炙 人参 草豆蔻 去皮，炮。各
一两 乾姜 炮，半两 麦蘖 炒，一两半 白豆蔻 去皮，一分
丁香 大者，五十粒

右一十一味捣罗为散，每服一钱匕，入
盐少许，白汤点服，如中酒，加生姜两片煎
服。

治脾虚胀闷，喘息不匀，涕唾稠粘，不
思饮食，豆蔻汤方：

草豆蔻 去皮，生用 人参 白茯苓 去黑皮 陈
橘皮 汤浸，去白，焙 麦蘖 炒 白术 各一两 肉豆蔻
三枚，去皮 附子 炮裂，去皮脐 甘草 炙。各半两

右九味，锉如麻豆，每服二钱匕，水一
盞半，入蜜一匙，头煎取八分，去滓温服，
不拘时候。

治脾虚，胸膈痞闷，心腹撮痛，不思饮
食，大理中丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙透 桂 去粗皮 陈橘皮
汤浸，去白，焙 白术 甘草 炙 芎藭 五味子
缩砂 去皮 茴香子 炒。各四两 槟榔 锉 礞砂 各二两
乾姜 炮，三分 胡椒 丁香 各半两

右一十四味捣罗为末，炼蜜和丸，如鸡
头实大，每服一丸，细嚼，温酒或盐汤下。

治脾虚，不能饮食，补暖厚朴丸方：

厚朴 半斤，去粗皮，生姜半斤，青州枣四两，水三升，同
煮，水尽为度，去生姜、枣，细锉，焙 附子 水浸七日，炮裂，
去皮脐 桂 去粗皮 白术 米泔浸三日，切，焙。各四两 青
橘皮 汤浸，去白，焙 人参 赤茯苓 去黑皮。各二两
甘草 炙，一两

右八味捣罗为末，蒸枣肉和丸，如梧
桐子大，每服三十丸至五十丸，空心，盐汤下。

治脾虚，饮食减少，肌肉羸瘦，大养脾
丸方：

白术 苡苳 红豆 去皮 胡椒 桂 去粗皮
白茯苓 去黑皮 附子 炮裂，去皮脐 陈橘皮 汤浸，去
白，焙 诃黎勒 炮，去核。各三两 厚朴 去粗皮，生姜汁
炙透 乾姜 炮 陈曲 炒 大麦蘖 炒。各二两

右一十三味捣罗为末，炼蜜和丸，如弹
丸大，每服一丸，细嚼，温米饮下，食前服。

治脾虚胀闷，呕逆恶心，顺三焦，化滞
气，足下腹痛，进饮食，乌药沉香丸方：

(1) 足：圣济总录作“定”。

乌药^① 沉香 各一两，^② 葫芦巴^③ 炒 白芷 各半两 木香 草澄茄 各三分

右六味捣罗为末，炼蜜和捣丸，如梧桐子大，每服十五丸，食前温粟米饮下。

治脾虚，不思饮食，温脾内补，诃黎勒汤方：

诃黎勒^④ 煨，去核，五枚 厚朴 去粗皮，生姜汁炙透，三分 人参 一两 当归 切，焙 乾姜 炮 白茯苓 去黑皮，各半两

右六味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至六分，去滓，空心温服，日再。

治脾虚，腹胀不能食，白术散方：

白术 厚朴 去粗皮，生姜汁炙透， 人参 吴茱萸 汤洗三度，焙乾，炒 白茯苓 去黑皮 麦蘖 炒 芎藭 陈曲 炒，各三两

右八味捣罗为散，每服二钱匕，空心，温酒调下，日三。

治脾久虚，不下食，痰逆恶心，豆蔻丸方：

草豆蔻 去皮 乾姜 炮 桂 去粗皮，各一两 诃黎勒皮 焙，半两 甘草 炙 白茯苓 去黑皮 人参 各三分

右七味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空心，温酒或生姜汤下二十丸。

治脾虚，内寒外热，宿食不消，泄痢不止，霍乱烦满，厚朴丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙透 赤石脂 各一两半 白术 大麦蘖 炒 乾姜 炮 人参 白茯苓 去黑皮 当归 切，焙 陈橘皮 汤浸，去白，焙 甘草 炙 诃黎勒皮 炮，各一两

右一十一味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空心，米饮下二十丸，加至三十丸，日再。

治脾虚呕逆，心腹痛，面色青黄，腰膝冷疼，草拔丸方：

草拔 木香 附子 炮裂，去皮脐 胡椒 桂 去粗皮 乾姜 炮 诃黎勒皮 焙，各半两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一半两^⑤

右八味捣罗为末，炼蜜丸和^⑥，如梧桐

子大，每服空心，粥饮下十五丸，日三。

治脾虚，下焦冷，胸中满闷，不思饮食，胁下痛，补脾白术汤方：

白术 五味子 白芍药 甘草 炙 诃黎勒皮 煨，各半两 桂 去粗皮 高良姜 熟乾地黄 焙，各三分 附子 炮裂，去皮脐，一两

右九味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，入生姜半分切，枣三枚擘破，同煎至六分，去滓，稍热^⑦，不拘时候。

治脾气不足，心腹胀痛，食则欲呕，四肢少力，补脾汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙透 桂 去粗皮 诃黎勒^④ 去核，各一两 当归 切，焙 人参 丁香 白术 白豆蔻 去皮 高良姜 陈橘皮 汤浸，去白，焙，各半两 吴茱萸 汤浸七次，焙乾，炒，一分

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生姜三片切，枣二枚擘破，同煎至六分，去滓，食前温服。

治脾虚，饮食易伤，每至秋夏，藏府不调，气逆痰呕，腹胀虚鸣，藿香汤方：

藿香叶 缩砂仁 面曲 锉，炒 白术 草豆蔻 去皮，各二两 厚朴 去粗皮，^⑧ 生姜 切 枣 各一斤半 夏 四两，以上四味同烂捣，慢火炒乾 甘草 炙，四两 人参 一两半 陈橘皮 汤浸，去白，焙 高良姜 各一两

右一十三味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，生姜三片，同煎至八分，去滓温服，不拘时候。

治脾虚，心腹刺痛，四肢乏力，不思饮食，温气煮散方：

木香 陈橘皮 汤浸，去白，焙 当归 切，焙 青橘皮 汤浸，去白，焙 益智 去皮 京三棱 炮，^⑨ 蓬莪术 炮，各半两 茴香子 炒 马兰花 酒浸一宿，炒 甘草 炙，各一两 高良姜 炒 沉香 锉 丁香 肉豆蔻 去壳 诃黎勒皮 各一分 槟榔 三枚，炮，^⑩

右一十六味捣罗为散，每服三钱匕，水一盞，入盐少许，同煎至六分，食前温服。

① 半两：圣济总录作“两半”。

② 丸和：圣济总录作“和丸”。

③ 热：圣济总录此下有“服”字。

治脾虚，胸膈妨闷，不思饮食，四肢乏力，脐腹撮痛，大便滑泄，香橘汤方：

青橘皮 汤浸，去白，焙 乌头 炮裂，去皮脐 乾姜 炮 白豆蔻 去皮，各半两 益智 去皮 甘草 炙，各一两 沉香 一分 茴香子 微炒，一两半

右八味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盏，入盐少许，枣一枚擘破，同煎至六分，食前去滓温服。

治脾气久虚，遍身浮肿，四肢不举，腹胀满闷，及水病后，气虚未平，人参汤方：

人参 石斛 去根 白术 桂 去粗皮 泽泻 各一两 黄耆 五味子 陈橘皮 汤浸，去白 白茯苓 去黑皮，各一两半 草豆蔻 去皮，三枚

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，枣一枚擘破，同煎至六分，食前去滓温服。

治脾虚，不能饮食，时发虚肿，胸胁胀满，夜睡不稳，及伤寒瘴疟后发浮肿，温中散方：

陈曲 炒 草豆蔻 去皮 麦蘖 炒，各一两 陈橘皮 汤浸，去白，焙 甘草 炙，各半两 乾姜 炮，一分

右六味，捣罗为散，每服二钱匕，盐汤点，空心服。如睡不稳，疲倦，临卧再服。

治脾虚附子汤方：

附子 炮裂，去皮脐 人参 等分

右二味，锉如麻豆，每服二钱匕，水一盏，入枣二枚擘破，生姜三片，煎至六分，食前去滓温服。

治脾藏久虚，积冷不散，及阴气伤寒，喘闷坚胀，四肢厥逆，茱澄茄饮方：

茱澄茄 附子 生，去皮脐 楝实 酒浸，取肉 山茱萸 麸炒 茴香子 炒 青橘皮 汤浸，去白，焙 乾姜 炮 益智 去皮，各三分 大雄 生，去皮脐，一两半 沉香 半两

右一十味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，盐半钱匕，艾七叶，同煎至六分，去滓，稍热，空心，食前服。

治脾虚，大便滑泄，肌体羸瘦，不能饮食，厚朴散方：

厚朴 去粗皮 附子 炮裂，去皮脐，各四两 乾姜 炮，三两。以上三味，同艾滓三两，杵研为粗末，用老生姜四两，碎擦，拌前四味，同炒令紫色，入后药 肉豆蔻仁 诃黎勒皮 各一两半 吴茱萸 汤浸七遍，去涎，焙乾，炒 草豆蔻仁 缩砂仁 陈橘皮 汤浸，去白，焙，各一两 右九味，捣罗为散，每服二钱匕，食前粟米饮调下。

脾 实

脾藏盛实则生热，热气熏蒸，则令人舌本肿强，语言謇难，腹胁坚满，泾洩不利，四肢不举，身体沉重，面目熏黄，不得安卧，而唇口乾燥也。

治脾实热，面黄目赤，季胁痛满，半夏汤方：

半夏 汤洗七遍，切，焙 枳实 去瓤，麸炒 梔子 去皮 赤茯苓 去黑皮 芒硝 各三两 细辛 去苗叶，五两 白术 杏仁 去皮尖双仁，炒，各四两 淡竹叶 切，二两

右九味粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，入生地黄、生姜各半分，切，同煎至一盏，去滓，不拘时候温服。

治脾实，腹胁坚胀，泾洩不利，槟榔丸方：

槟榔 锉 木香 各二两 芍药 枳壳 去瓤，麸炒，各三分 桂 去粗皮 大黄 锉，炒，各一两

右六味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心，米饮下十丸，利下为度。

脾藏虚冷泄痢

水谷入胃，脾为行之，今脾胃气虚，冷气乘之，则水谷不化，清浊不分，移寒入于大肠，大肠得冷，则不能固敛，故为泄痢。

治脾藏虚冷泄痢，四肢壮热，白术汤方：

白术 附子 炮裂，去皮脐 陈橘皮 汤浸，去白，焙 人参 白茯苓 去黑皮，各二两 乾姜 炮，一两

右六味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盏，入荆芥一穗，煎至七分，去滓，空心，温服，日三。

① 白：圣济总录此下有“焙”字

治脾藏虚冷，泄痢日夜不止，脐腹冷疼，服药未效，及一切气刺气痛，保安丸方：

附子 炮裂，去皮脐 当归 切 陈橘皮 汤浸，去白，焙 乾姜 炮。各一两 蜀椒 去目并闭口者，炒出汗 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，铤 吴茱萸 汤浸，焙，炒。各半两 硫黄 一分，研

右八味捣研为末，再和研匀，以米醋和作剂，分为两团，别用白面半斤，裹上件药令匀，如烧饼法，煨令面熟为度，去却面，入臼内杵三五百下，丸如梧桐子大，每服二十丸，陈米饮下。一切气痛及宿酒食不消，炒生姜盐汤下，空心，食前服。

治脾藏虚冷泄痢，和胃气，固大肠，白石脂丸方：

白石脂 一两，煨赤，于地上出火毒，细研如粉 肉豆蔻 面裹，煨令焦，去壳，半两

右二味，捣研为末，和匀煮面糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心米饮下。

治脾藏虚冷，大便滑泄及白痢，脐腹多疼，茱萸丸方：

茱萸 高良姜 肉豆蔻 去壳 桂 去粗皮 缩砂蜜 去皮 附子 炮裂，去皮脐 白术 胡椒 诃黎勒 炮，去核。各一两

右九味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，粟米饮下，空心食前服。

治脾藏虚冷，泄痢不止，鸡舌香散方：

鸡舌香 一分 鹿茸 去毛，酥炙 阳起石 研 天雄 炮裂，去皮脐 木香 白龙骨 研 钟乳粉 附子 炮裂，去皮脐 草澄茄 各半两

右九味捣研为散，再同罗匀，每服二钱匕，空心，温酒调下。

治脾藏久冷，滑泄不止，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻 去壳，五两 附子 炮裂，去皮脐，五枚

右二味，捣罗为末，酒煮面糊和丸，梧桐子大，每服十五丸，加至二十丸，温米饮下，空心食前。

治脾藏虚冷，泄痢不止，四逆，不思饮食，心腹疼痛，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻 面裹煨，去壳 硫黄 研细 乾姜 生 附

子 炮裂，去皮脐 龙骨 研。各二两

右五味捣研为末，再同研匀，水煮白面糊和丸，如梧桐子大，每服以艾汤，或米饮下二十丸至三十丸。

治脾藏虚冷，腹胀泄痢，米谷不消，诃黎勒丸方：

诃黎勒 炮，去核，一两半 吴茱萸 汤洗，焙，炒 蔓荬子 汤洗，焙，炒 草豆蔻 去皮，微炒。各一两 乾姜 炮，半两

右五味捣罗为末，酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，食前粟米饮下。

治脾藏虚冷，泄痢不止，及酒食所伤，能和一切冷气，厚朴散方：

厚朴 去粗皮，姜汁浸一宿，炙，铤，二两 草豆蔻 和皮 乾姜 炮 白术 诃黎勒 炮，去核。各一两 五味子 甘草 炙，铤。各三分 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两

右八味捣罗为散，每服三钱匕，陈米饮调下。如酒食伤，温酒调下，霍乱用冷米饮下。

治脾藏虚冷，泄痢不止，人参汤方：

人参 白茯苓 去黑皮 桔梗 炒 甘草 炙，铤 缩砂蜜 去皮 乾姜 炮。各半两 白术 二两 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两半

右八味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，枣二枚擘破，煎至六分，去滓，食前稍热服。

治脾藏虚冷，泄痢及白痢，附子散方：

附子 去皮脐，用黄连各半两，铤碎，同饴子内炒微黄，不用黄连 木香 用吴茱萸各半两，铤碎，同炒微黄，不用吴茱萸

右二味捣罗为散，每服一钱匕，空心，食前用陈米饮调下。

治脾藏虚冷，大肠泄痢，腹内虚鸣疼痛，四肢不和，可思饮食，木香汤方：

木香 肉豆蔻 去壳。各一两 当归 切，焙，二两 人参 一两 附子 炮裂，去皮脐，二两 乾姜 炮，一两 甘草 炙，铤，半两 苍术 铤，炒，二两 厚朴 去粗皮，涂生姜汁炙，铤，二两 吴茱萸 汤浸，焙，炒，半两 陈橘皮 汤浸，去白，焙，二两

右一十一味，铤如麻豆，每服三钱匕，水一盞，枣二枚擘破，煎至七分，去滓，食

前稍热服。

治藏府寒，泄泻不思食，白术散方：

白术^① 炒 缩砂仁 诃黎勒皮 各三分 肉豆蔻 三枚，去壳 甘草^① 炙，^② 半两 木香 一分 人参 丁香 乾姜^③ 炮。各半两

右九味捣罗为散，每服三钱匕，米饮调下。

治脾藏泄滑不止，诃黎勒散方：

诃黎勒皮 白豆蔻 陈橘皮^④ 去白，焙 乾姜^⑤ 炮。各半两 丁香 半分 木香 缩砂仁 各一分

右七味捣罗为散，用猪肝一叶，去脂膜，细切后，入药末两匙头，分作四处，用面裹作饼子四箇，每日将一箇，以文武火煨令黄熟，空心，细嚼，盐汤或米饮下。

治脾虚泄滑不止，腹内虚鸣，建脾汤方：

诃黎勒^⑥ 煨，去核 附子^⑦ 炮裂，去皮脐。各一两 陈橘皮^⑧ 去白，焙 白术^⑨ 炒 乾姜^⑩ 炮 陈曲^⑪ 炒 吴茱萸^⑫ 汤洗，焙乾，炒。各半两 肉豆蔻^⑬ 去壳，三分

右八味锉如麻豆大，每服三钱匕，用水一盏，生姜三片，盐少许，煎取六分，去滓温服，不拘时。

治腹中诸冷疾，消食化气，止泄泻，乌头丸方：

乌头^⑭ 炮裂，去皮脐 桂^⑮ 去粗皮 莎草根^⑯ 去毛，微炒 乾姜^⑰ 炮 陈橘皮^⑱ 去白，微炒。各等分

右五味捣罗为细末，先用巴豆取肉，麻油内慢火煎，自旦及午后，巴豆如皂子色即止，净拭，冷水中浸两日，再换水，又拭乾，研一日，令如油，新瓦上薄摊出油，再研极细。每巴豆霜一两，入诸药末五两，同研千万匝，再罗过令匀，用陈米一升半为细末，水调成膏，直候微酸气，即煮为硬糊，和为丸，如绿豆大，每服五七丸，随汤使下。

治脾胃一切虚冷，大肠滑泄，下痢青白，呕逆翻胃，面色萎黄，石亭脂丸方：

石亭脂^⑲ 二两，细研 蚌粉^⑳ 五两

右二味于铤子内，先以蚌粉铺作坑子，投入石亭脂末，以慢火烧，勿令大焰，待药熔及微焰断，取出研细，于地上出火毒一夜，

即和蚌粉，以粟米烂饭为丸，如绿豆大，每日空心，米饮下十丸，疾愈住药。

治脾胃寒，腹中虚鸣，泄泻不止，草豆蔻散方：

草豆蔻^㉑ 去皮，一两 高良姜^㉒ 三分 桂^㉓ 去粗皮 丁香 木香 五味子 白豆蔻^㉔ 去皮 陈橘皮^㉕ 去白，焙 肉豆蔻^㉖ 去壳。各半两 白术^㉗ 一分

右一十味捣罗为散，研匀，每服二钱匕，煨生姜、木瓜汤调下。

治脾胃虚冷，肠滑泄痢，腹多胀满，呕逆不思食，羸瘦，厚朴煮散方：

厚朴^㉘ 去粗皮，生姜汁炙 高良姜^㉙ 白术^㉚ 乾木瓜^㉛ 各一两 人参^㉜ 白茯苓^㉝ 去黑皮。各一两半 肉豆蔻^㉞ 煨，去壳，二枚 甘草^㉟ 炙，^② 乾姜^㊱ 炮。各半两 草豆蔻^㊲ 煨，去皮，三枚

右一十味捣罗为散，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服，空腹日二。

治脾胃虚冷，呕逆不思食，脐腹疼痛，大便滑泄，人参豆蔻煮散方：

人参^㊳ 黄耆^㊴ 各一两 乾木瓜^㊵ 焙 诃黎勒皮^㊶ 各三分 肉豆蔻^㊷ 煨，去壳，一枚 陈橘皮^㊸ 汤浸去白，焙 白术^㊹ 高良姜^㊺ 木香^㊻ 甘草^㊼ 炙，^② 各半两 白茯苓^㊽ 去黑皮，一两半

右一十一味捣罗为散，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服，空腹，日二。

治脾胃虚冷，泄痢水谷，两胁气胀，饮食无味，稍食即壅，肉豆蔻散方：

肉豆蔻^㊿ 去壳，面裹煨令黄 附子^㊽ 炮裂，去皮脐。各一两

右二味捣罗为散，空心，陈米饮调下三钱匕。

宿食不消

脾胃气弱，则所食之物不能腐熟，又与新谷相兼，宿滞腹内，则令人噎气生熟，腹胀膨闷，壮热憎寒，头痛如疟也。

治饮食不消，噎气生熟，面黄腹胀，藏府不调，沉香煎丸方：

① 两：至济总录作“分”。

沉香 丁香 木香 胡椒 没药 丹砂
别研，水飞 高良姜 槟榔 面裹，煨熟，去面 硃砂
别研，水飞，用石器慢火熬乾 青橘皮 汤浸，去白，焙 石
硫黄 别研，水飞。各一两 阿魏 醋浸，去砂石，面和作饼，炙
缩砂 去皮 吴茱萸 陈者，汤洗，取沉者，炒。各半两 巴豆
去皮心膜，出油，二钱半

右一十五味，除研药外，捣罗为末，与
研药和匀，炼蜜丸如绿豆大，瓷合贮封，每
服二丸，食前临卧温生姜橘皮汤下。更量虚
实大小加减。

治脾胃虚寒，宿食不消，宽利胸膈，消
化饮食，京三棱丸方：

京三棱 煨，捣为末 蓬莪术 煨，捣为末。各三分
巴豆 去皮心膜，压取霜，一分。以上三味，用米醋一升，于银石
器内，同熬成膏 槟榔 锉，一两 青橘皮 汤浸，去白，焙
陈橘皮 汤浸去白，焙 木香 桂 去粗皮，生姜汁炙。各半两

右八味捣罗五味为末，用三味膏和捣千
杵，丸如豌豆大，每服七丸至十丸，食后临
卧热生姜汤下。

治脾胃气不和，宿食不消，食已腹痛，
呕啰恶心，胸膈痞闷，大便秘利不定，磨滞
丸方：

木香 青橘皮 汤浸，去白，焙 桂 去粗皮。各一两
吴茱萸 汤洗，焙乾，炒，三两 硃砂 熬成霜，研末，一钱匕
巴豆霜 炒，半钱匕

右六味捣罗四味为末，与硃砂、巴豆霜
拌匀，醋煮面糊和丸，如绿豆大，每服三丸
加五丸，早晚食后临寝^①服，大便秘利，即
减丸数。

治脾胃虚寒，宿食不消，化积滞，消酒
食，胜金丸方：

芫花 醋煮，炒焦 大戟 甘遂 炒 蓬莪术 煨，醋
京三棱 煨，锉 牵牛子 炒 乾漆 炒烟出 青橘皮
汤浸，去白，焙 陈橘皮 汤浸，去白，焙 巴豆 去皮心膜。
各半两 硃砂 研 胆矾 研。各一分

右一十二味，除硃砂、胆矾外，用好醋
一升，生姜半斤，捣碎同浸一宿，取出，去
生姜，将十味控乾，焙捣为末，以醋化硃砂
并胆矾，煮面糊和丸，如豌豆大，每服三丸，

茶酒任下。妇人心气痛，醋汤下；水气及气
肿并痢疾，生姜酒下；一切气不和，生姜汤
下。

治脾胃虚寒，宿食不消，痰饮留滞，温
白丸方：

半夏 二两，为末，生姜汁和作饼，曝乾 白术 一两 丁
香 一分

右三味捣罗为末，用生姜自然汁，煮面
糊丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心，煎
生姜汤下。如腹痛并呕逆，食后服。

治脾胃虚寒，宿食不消，攻胁下痛，磨
气块，取虚积，礞石丸方：

礞石 研 猪牙皂荚 烧，存性，为末 乾姜 炮 蓬
莪术 煨，锉 芫花 醋炒焦 桂 去粗皮 大黄 蒸熟，锉，
焙，捣末 京三棱 煨，锉捣末 硃砂 木香 肉豆
蔻 去壳。各一两 青橘皮 汤浸，去白，焙 墨 烧过 白
豆蔻 去^②皮 槟榔 锉。各半两 丁香 诃黎勒皮
胡椒 各一分 巴豆 一两半，去皮心膜，研出油

右一十九味，除大黄、京三棱并研药外，
捣罗为末，用醋三升，飞硃砂于银石器内，
慢火熬三十沸；次入巴豆，又熬十数沸；次
入京三棱末，又熬五七沸；次入白面二两，
无灰酒半升，又熬二十沸；次入大黄末，又
熬五七沸，方下诸药末，不住用柳枝搅成膏，
硬软得所，候冷，入木臼捣一千杵，为丸三
等：或如绿豆；或如麻子；或如黄米。每服
五丸或七丸，生姜汤下，量藏府虚实加减。
妇人心痛醋汤下。

治脾胃虚寒，宿食不消，留滞成块，心
腹疼痛，木香丸方：

木香 丹砂 研。各三分 蓬莪术 煨，锉 京三
棱 煨，锉。各一两 巴豆 二十粒，去皮心膜，出油

右五味捣研为末，醋煮面糊丸，如豌豆
大，每服二丸至三丸，食后临卧，生姜橘皮
汤下。

治脾胃虚寒，宿食不消，心腹刺疼，不
思饮食，金液丸方：

① 寝：圣济总录作“卧”。

② 去：圣济总录此下有“粗”字。

京三棱煨，锉 蓬莪术煨，锉。各二两半 丁香皮锉 青橘皮 陈橘皮 各汤浸去白，焙 白术 各二两 桂 去粗皮，一两 槟榔锉 丁香 甘草炙。各半两 硃砂 别研，水飞，三钱 牵牛子 炒熟，捣末，三两 巴豆 去皮心膜，研出油，存性，四钱

右一十三味捣研为末，醋煮面糊丸，如绿豆大，每服七丸至十丸，食后，米饮茶酒熟水任下。

治脾胃虚，宿食不消，胁肋胀满，胸膈不利，心腹引痛，不思饮食，薰陆香丸方：

薰陆香研 沉香 人参 桂 去粗皮 白术 白豆蔻 去皮。各半两 木香 丁香 赤茯苓 去黑皮 莎草根 去毛 甘草炙。各三分 丹砂 别研 安息香 别研。各一两

右一十三味，捣研一十二味为末，以安息香入蜜同炼和丸，如鸡头大，每服一丸，嚼细，空心食前，生姜汤或陈橘皮汤下。

治脾胃虚寒，宿饮不消，两胁满痛，大丁香丸方：

丁香 丁香皮 乾姜炮 陈橘皮 汤浸，去白，焙。各一两 巴豆霜 一分

右五味，捣罗四味为末，入巴豆霜拌匀，再罗，用好酒煮面糊和丸，如绿豆大，每服五丸至七丸，食后温生姜汤下。

治脾胃虚寒，宿食不消，腹胀肠鸣，通和五藏，阿魏丸方：

阿魏 研，半两 蝎梢 炒，捣 麝香 研。各一分 丹砂 研，半分 桃仁 四十九枚，去皮尖双仁，生研

右五味，合研令匀，酒煮面糊丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，不嚼，早晨日中临卧各一服。

治脾胃虚寒，心胸痞满，宿食不消，乳香煎丸方：

乳香 没药 丹砂 木香 沉香 蓬莪术煨，锉 枳壳 去瓢，麸炒 槟榔锉 乌头炮裂，去皮脐 各一两 硃砂 别研，水飞 狼毒 锉，醋炒 乾漆 炒烟出 各一两半 阿魏 一分，醋化，去砂石，面和作饼，炙 楝实 取肉，捣末，四两 芫花 醋炒焦，半两 青橘皮 汤浸，去白，焙。三分

右一十六味，除捣罗外，将乳香、没药、丹砂、硃砂别研，与楝实末同入石器内，用酽醋一升，慢火熬成膏，都入诸药拌和令匀，丸如绿豆大，每服十五丸，临卧温水下。

治脾胃虚寒，宿食不消，丁香丸方：

丁香 硃砂 木香 桂 去粗皮 附子 炮裂，去皮脐 乾漆 炒烟出 蓬莪术煨，锉 乳香 研 青橘皮 汤浸，去白，焙 京三棱煨，锉 墨 大黄 锉，炒，捣末 巴豆霜 先秤了，取霜 芫花 醋，炒焦 猪牙皂荚 去皮子，炙 没药 研 乾姜炮。各二两

右一十七味，除硃砂、大黄、巴豆霜、乳香、没药外，捣罗为末，以酽醋一升，化硃砂，去滓，入银石器中，慢火煎之；次下巴豆霜，搅匀，两食久；次下大黄末，熬成膏，拌诸药，更入醋，煮面糊和捣一千杵，丸如麻子大，每服三丸至五丸，温酒或熟水下，得微利佳，更量人虚实加减。

治脾胃虚寒，宿食不消，壮热憎寒，头目重痛，大应丸方：

巴豆 十五粒，去皮，浆水一盞，煮乾为度 大黄 蒸熟，一分 五灵脂 炒 青橘皮 汤浸去白，炒。各半两

右四味捣研为细末，面糊和丸，如绿豆大，每服七丸，食后临卧生姜汤下。

治宿食不消，腹胀膨闷，五香丸方：

丁香 木香 沉香 安息香 乳香 硃砂 丹砂 研 肉豆蔻 去壳 桂 去粗皮 京三棱煨，锉 当归 切，炒 陈橘皮 汤浸，去白，焙 槟榔 锉 草澄茄 各一分 附子 炮裂，去皮脐，半两 巴豆 十粒，去皮心膜，出油

右一十六味，先将安息香、乳香、硃砂三味，细研，用少酒浸良久，余十一味，捣罗为末，将丹砂、巴豆与前三味通研令匀，酒煮面糊丸，如麻子大，每服五丸至七丸，熟水下，生姜汤亦得。

治宿食不消，丹砂丸方：

丹砂 硃砂 麝香 各一分 雄黄 铅丹 各半两 膩粉 三钱匕 巴豆 二十粒，去皮心膜，出油，细研，用醋半盞，熬成膏

右七味，将六味细研，与巴豆膏和匀，入白面滴水丸，如绿豆大，每服三丸至五丸。

用水半盏煮一沸，取出，临卧温酒下。

治宿食不消，心腹胀满，吐逆吞酸，小三棱煎丸方：

京三棱 蓬莪术 各四两 芫花 1 口两

右三味，同入瓷瓶内，用米醋五升，浸满，封瓶口，慢火煨微乾，取出前二味杵碎，仍用余醋炒芫花微焦，并焙乾为末，醋煮面糊丸，如梧桐子大，每服三丸至五丸，生姜汤下。妇人醋汤下。

治心气胀满，食不消化，木香枳实丸方：

木香 三分 枳实 去瓢，麸炒，三分 赤茯苓 去黑皮，一两 人参 三分 诃梨勒皮 炮，一两半 大黄 铤，炒，三两 郁李仁 研，二两

右七味捣罗为细末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服三十丸，空腹温水下。

治脾胃不调，宿食留滞，腹胀发热，呕逆酸水，日渐羸瘦，人参柴胡汤方：

柴胡 去苗 人参 白术 赤茯苓 去黑皮 桔梗 炒 陈橘皮 去白，炒 五味子 当归 切，焙 细辛 去苗叶 半夏 汤洗七遍，去滑，炒乾 大黄 铤，炒 各一两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙香熟，二两半 桂 去粗皮 黄耆 铤，各一两半

右一十四味粗捣筛，每服四钱匕，以水一盏，入生姜一枣大，拍破，煎取七分，去滓，空心顿服，日早晚再服。

治脾胃不和，胸膈痞闷，饮食化迟，小麝香丸方：

麝香 半钱，研 丁香 皮 铤 木香 益智 去皮 甘松 莎草根 去毛 蓬莪术 炮，铤，各一两

右七味，除麝香外，捣罗为细末，入麝香拌匀，以水浸炊饼心，和丸小豆大，每服七丸至十丸，嚼破，温热^②水下，食后服。

治脾藏虚冷，宿食不消，陈曲丸方：

陈曲 炒 乾姜 炮，各二两 枳壳 去瓢，麸炒 附子 炮裂，去皮脐 人参 蜀椒 去目并合口，炒出汗 甘草 炙，各一两

右七味捣罗为末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服二十丸，早晚食前服。

治脾元虚冷，宿食不消，心腹刺痛，呕

逆醋心，面黄萎弱，吴茱萸丸方：

吴茱萸 四两，陈者

右一味，用大莱菔一枚，剝心空，入茱萸在内，以盖覆之，用黄泥团裹，漉灰火内熟煨，取出，别用慢火以醋炒，令匀熟，用葛布袋盛之，每日空心，米饮下七粒至十粒，久服永无冷疾。

治三焦气不升降，脾藏衰弱，胃气虚满，不思饮食，旧谷未消，新谷又入，脾胃气弱，不能磨化，谷气减耗，肌肉瘦瘠，面目萎黄，寒湿结瘀，饮气下流，渍伤肝肾，足胫虚浮，怠惰嗜卧，四肢不收。此药服之，并不耗气，可以剖判清浊，交通上下，使脾气和实，而能磨化水谷，磨脾丸方：

补骨脂 六两，炒令黄焦 京三棱 一斤，大者，炮，细碾一罗，取粉四两用 莖澄茄 六两 黑豆 一斤，汤去皮，焙乾，炒令黄熟，细碾，罗取粉，四两 槟榔 四两 木香 四两

右六味同为末，水煮面糊为丸，如小豆大，每服二十丸，温米饮下，不计时候。

脾 瘕

有病口甘者，此五气之溢也，名曰脾瘕。夫食入于阴，长气于阳，肥甘之过，令人内热而中满，则阳气盛矣，故单阳为瘕，其证口甘，久而弗治，转为消渴，以热气上溢故也。

治脾瘕口甘中满，兰草汤方：

兰草 一两，切

右一味，以水三盏，煎取一盏半，去滓，分温三服，不拘时候。

治脾瘕藏热，唇焦口气，引饮不止，赤芍药汤方：

赤芍药 生乾地黄 炮，各一两 大黄 铤，炒 甘草 炙，各半两

右四味粗捣筛，每服二钱匕，水一盏煎至七分，食后温服，去滓^③。

① 花：此下注文脱字，圣济总录作“一”。

② 热：圣济总录作“熟”。

③ 食后温服，去滓：圣济总录作“去滓，食后温服”。

治脾瘕，面黄口甘，烦渴不止，葛根汤方：

葛根^性，二两半 麻黄^{去根节}，一两 桂^{去粗皮}，三分 石膏^碎，三两 芍药^{一两一分} 甘草^炙，一两

右六味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，不拘时温服。

治脾瘕，烦懊口甘，咽乾烦渴，竹叶汤方：

淡竹叶^切，一两 柴胡^{去苗}，二两 犀角^{镑屑} 芍药^{各一两半} 黄芩^{去黑心} 大黄^{性，炒}，各半两 栀子仁^{七枚}

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去渣，下朴硝半钱匕，温服。

治脾瘕发黄，口乾烦渴，麦门冬汤方：

麦门冬^{去心，生用}，三两 芍药 黄芩^{去黑心}，各一两半 栀子仁^{五枚} 石膏^碎，三两 犀角^{镑屑}，一两

右六味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，入朴硝半钱匕，食后温服。

治脾瘕，身热口甘，咽乾烦渴，知母汤方：

知母^{一两半} 石膏^碎，三两 升麻^性 甘草^炙，性，各一两 竹叶^{一握，切} 白粳米^{一合} 枇杷叶^{拭去毛}，三分

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，温服。

治脾瘕口甘，烦渴不止，前胡汤方：

前胡^{去芦头}，一两半 赤茯苓^{去黑皮}，二两 桂^{去粗皮}，三分 犀角^{镑屑}，一两 槟榔^{三枚，性} 芍药^{一两} 芦根^{三两，性}

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓，温服。

治脾瘕口甘，咽乾烦渴，茯苓汤方：

赤茯苓^{去黑皮} 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙}，性，各四两 甘草^炙，性 人参 黄芩^{去黑心}，各二两 桂^{去粗皮}，五两 半夏^{汤洗七遍}，五两

右七味粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，生姜三片，煎至一盞，去滓，不拘时温服。

治脾瘕烦渴，三和饮子方：

生姜^{半两}，研取汁 糯米^{半合}，淘研 蜜^{一合}

右三味相和，分为五服，每服以新水一盞调下，不拘时候。

谷 劳

胃受水谷，其气虚弱，不能传化，则令人怠惰嗜卧，肢体烦重，腹满善饥而不能食，食已则发。谷气不行使然也，故谓之谷劳。

治谷劳体重，食已便卧，快气消食，沉香汤方：

沉香^性，一两 白豆蔻^{去皮} 草豆蔻^{去皮，炒} 人参 甘草^炙，性 白茯苓^{去黑皮} 半夏^{汤洗，薄切}，生姜汁拌炒黄色 木香^{各半两} 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙}，一两 陈橘皮^{汤浸，去白}，炒，三分 白术^{性，炒}，一两 乾姜^炮，一分

右一十二味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，生姜三片，枣二枚擘破，同煎至七分，去滓温服，空心、日午各一服。

治谷劳嗜卧，四肢怠惰、丁沉丸方：

木¹香^性 陈橘皮^{汤浸²，去白}，焙 诃梨勒^{煨熟，取皮}，各一两 木香 丁香^{各半两} 肉豆蔻^{去壳}，炮，二枚

右六味捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，陈米饮或生姜盐汤，嚼下一丸，不拘时。

治脾胃虚，饮食不消，劳倦气胀，嗜卧不乐，人参散方：

人参 槟榔^性 白茯苓^{去黑皮} 陈曲^炒 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙} 麦蘖^炒 白术 吴茱萸^{汤洗}，焙，炒

右八味等分捣罗为散，每服二钱匕，温酒调下，食后服，日再。

治谷劳身重，四肢少力，食已好卧昏愤，槟榔散方：

槟榔^{半两} 人参 白茯苓^{去黑皮}，各一两 木香 陈橘皮^{汤浸，去白}，炒 五味子 甘草^炙，各一两

右七味捣罗为细散，每服二钱匕，沸汤点服，不拘时。

1 木：圣济总录作“沉”。

2 浸：圣济总录作“洗”。

治谷劳身重，食已好卧困倦嗜眠，沉香汤方：

沉香^① 白檀香^① 各二两 乾姜炮，二钱 白茯苓去黑皮 甘草炙 肉豆蔻去壳，炮 人参 木香 各一两

右八味粗捣筛，每服二钱匕，水一盏，煎至七分，去滓，不拘时温服。

治谷劳身重，食已困倦嗜眠，木香汤方：

木香 人参 附子炮裂，去皮脐 甘草炙 白茯苓去黑皮，各二两 草豆蔻去皮，半两 乾姜炮，一分 陈曲炒 麦蘖炒，各一两

右九味，锉如麻豆，每服二钱匕，水一盏，煎至七分，不拘时候，去滓温服。

治谷劳体重，四肢烦倦，食已便卧，京三棱汤方：

京三棱煨，锉，五两 陈曲炒 麦蘖炒 木香 肉豆蔻去壳，炮 槟榔 乾姜炮 甘草炙 杏仁汤去皮尖双仁，麸炒，研 厚朴去粗皮，生姜汁炙，各一两

右一十味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎七分，不拘时，去滓温服。

治谷劳体重，食已好卧，豆蔻丸方：

白豆蔻去皮，一两半 枳壳去瓤，麸炒，半斤 陈橘皮汤浸，去白，切炒 诃梨勒煨，去核 桂去粗皮 当归切，焙，各一两

右六味捣罗为末，用浆水煮枣，去皮烂研，丸如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，生姜汤下，不拘时。

治谷劳身重，少力多困，木香汤方：

木香 陈橘皮去白，焙^① 人参 陈曲炒 甘草炙，各三分 大枣去核，焙，五十枚 厚朴去粗皮，生姜汁炙 麦蘖炒 蓬莪术煨，各一两

右九味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至八分，去滓温服，不计时候。

治谷劳嗜卧，身体烦重，分气丸方：

京三棱煨，锉 蓬莪术煨，锉 青橘皮锉，用巴豆半两打破同炒黄，去巴豆不用，各五两 胡椒半两 阿魏一两，醋面作饼，炙乾

右五味同为细末，醋煮面糊为丸，如梧桐子大，每服二十丸，陈橘皮汤下，日三

服。

脾胃冷热不和

体弱之人，谷气不足，脾胃既虚，冷热之气易为伤动。盖脾胃者，仓廪之官，布化精气，灌养四旁，其气虚弱，则食饮或冷或热，多致不消，使阴阳交争，冷热相搏，故令脾胃不和也。

治脾胃冷热气不和，食毒，脾胃中宿积，沉香阿魏丸方：

沉香 木香各三分 芎藭 当归锉，焙 蓬莪术炮 陈橘皮去白，焙 延胡索 槟榔性 吴茱萸醋浸一宿，炒 益智仁 桂去粗皮 白术 附子炮裂，去皮脐 乾姜炮 草豆蔻去皮，各半两 阿魏一两半，瓷器中醋浸一宿，生绢滤去砂，入面煮糊

右一十六味，捣罗十五味为细末，用阿魏糊搜和，杵三二百下，丸如梧桐子大，丹砂为衣，生姜橘皮汤下五七丸；血气，温酒醋汤下。

治脾胃冷热气不和，心腹虚胀，痰逆，不思饮食，四肢无力，丁香散方：

丁香 乾姜炮 白术各半两 人参 赤茯苓去黑皮 木瓜去瓤，切，焙 草豆蔻去皮 诃梨勒煨，用皮 茅香花各三分 甘草炙，一分

右一十味捣罗为细散，不计时间，煎生姜枣汤调下一钱匕。

治脾胃气冷热不和，胸膈气滞，不下饮食，宜服大腹皮汤方：

大腹皮锉，炒 槟榔生，性 桑根白皮性，各半两 诃梨勒皮煨 陈橘皮汤浸，去白，焙 赤茯苓去黑皮，各三分

右六味粗捣筛，每服三钱匕，以水一盏，入生姜半分切，煎至七分，去滓，不计时间温服。

治脾胃冷热气不和，胸膈满闷，四肢无力，痰逆，不思饮食，藿香汤方：

藿香叶半两 诃梨勒皮煨，半两 人参三分 陈橘皮汤浸，去白，焙，三分 半夏汤洗七遍，去滑，焙，半两 赤茯苓去黑皮，三分 桂去粗皮，三分 白术三分 草

① 焙：圣济总录作“炒”。

豆蔻 去皮，一两 枳实 去瓢，麸炒，半两 高良姜 三分
甘草 炙，锉，半两 厚朴 去粗皮，涂生姜汁炙，一两

右一十三味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生姜半分切，枣三枚擘破，煎至七分，去滓，不计时稍热服。

治脾胃冷热气不和，宽中脘，和中丸方：

附子 炮裂，去皮脐，一两 乾姜 炮，三两 甘草 炙，一两 木香 一两 茴香子 炒，一两 青橘皮 汤去白，焙，半两 沉香 半两，锉 藿香叶 半两

右八味，捣罗为细末，汤浸，炊饼和丸，如樱桃大，每服一丸，白汤化下，食前服。

治脾胃冷热气不和，止痰逆，思饮食，匀气汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两 陈橘皮 汤去白，焙，半两 白术 半两 甘草 炙，一两 白茯苓 去黑皮，半两 麦蘖 炒，半两 高良姜 炒，一分 沉香 一分 甘松 一分

右九味，粗捣筛，温服三钱匕，水一盞，入生姜二片，枣二枚擘，同煎至七分，去滓，不计时温服。

脾胃气虚冷水谷不化

损其脾者，调其饮食，适其寒温。若食饮不节，寒温失宜，致脾胃气弱，冷气乘之，则不能腐化水谷，而四肢身体无所禀养也。

治脾胃虚冷，气上攻胸膈，三焦不调，不思饮食，及饮食不消，开胃进食，八味厚朴丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙令紫，二两 陈橘皮 汤去白，焙，一两 诃梨勒 取肉，一两，生用 桂 去粗皮，取肉，一两 附子 炮裂，去皮脐，一两 乾姜 炮，一两 白茯苓 去黑皮，一两 甘草 炙，一两

右八味捣罗为细末，拌令匀，炼蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，空心晚食前，温酒或盐汤下，嚼破。如大段膈气，进食不得，即留一半散，每服二钱匕，以酒二合，水二合同煎至二合，和滓下丸药三十粒。

治脾胃虚冷，气久不顺，中脘痞闷，全不思食，痰逆呕哕，水谷迟化，谷神丸方：

小麦蘖 炒 陈曲 炒，各一两半 乌梅肉 炒，一两 生姜 切，焙 陈橘皮 去白，焙 枳实 去瓢，麸炒，各半两

右六味捣罗为末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服三十丸，食后米饮下。

治脾胃虚冷，一切病，温白丸方：

半夏 汤浸，切作片，生姜汁浸，焙，二两 白术 一分 丁香 一分

右三味捣罗为末，生姜汁面糊丸，如梧桐子大，每服十丸，浓煎生姜汤下，食前空心服。如腹痛呕逆，食后服。

治脾胃虚冷，食即呕逆，水谷不化，或时泄利，和胃丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙透，四两 乾姜 炮 当归 切，焙，各一两半 人参 槟榔 锉，各一两一分 陈橘皮 汤去白，焙 白术 半夏 汤洗七遍，去滑，焙，各二两 桔梗 焙，一两 甘草 炙，半两 诃梨勒皮 三分

右一十一味捣罗为末，酒面糊和丸，如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，温生姜枣汤下，米饮亦得，不拘时候。

治脾胃虚冷，胸膈痞滞，吐逆霍乱，藏府滑利，水谷不消，胀满肠鸣，白豆蔻丸方：

白豆蔻 去皮 木香 乾姜 炮 枳实 去瓢，麸炒，各一两 半夏 汤洗去滑七遍，焙，一两半 桂 去粗皮 白术 细辛 去苗叶，各三分 诃梨勒皮 一两一分 当归 切，焙，半两

右一十味捣罗为末，酒煮面糊丸，如梧桐子大，每服二十丸，以米饮盐汤下，空心食前服。

治脾胃虚冷，脐腹疼痛，吐泻不定，里急后重，肠中虚鸣，水谷不消，不下饮食，七枣汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙透，焙乾，半斤 乾姜 炮，三两 甘草 炙，三两 乌头 炮裂，去皮脐 茴香子 炒 益智 去皮 缩砂 去皮，各四两

右七味，锉如麻豆，每服二钱匕，水一盞，入枣七枚擘破，同煎至七分，去滓，空心食前温服。

治脾胃虚冷，水谷不化，腹内疝刺撮痛，藏府不调，及因冷物伤脾，吐泻不止，豆蔻

汤方：

草豆蔻 薄面裹，烧香熟，并面用，二两 桂 去粗皮
陈橘皮 汤去白，焙，四两 高良姜 四两 甘草 炙，四两
陈粟米 炒焦，研末，八两

右六味，捣罗五味为末，入粟米末拌匀，再罗过，每服三钱匕，淘米清泔一盏半，生姜三片，枣五枚擘破，同煎至八分，去滓热服，空心食前。

治脾胃虚冷，饮食不化，呕逆多痰，半夏汤方：

半夏 白矾水煮，焙 白扁豆 各一两 人参 枳壳 云 麸炒，各半两

右四味粗捣筛，每服二钱匕，水一盏，生姜三片，枣一枚擘破，同煎至七分，去滓温服。

治脾胃虚冷，大肠滑泄，饮食不化，胡椒丸方：

胡椒 一两 乌头 炮裂，去脐皮 乾姜 炮 赤石脂 各半两

右四味捣罗为末，面糊丸，如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，空心食前米饮下。

治脾胃虚冷，食已胀满，水谷不化，大厚朴丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙焦 白术 各一两 陈曲 ①
陈橘皮 汤去白，焙乾，各三分 麦蘖 炒 人参 沉香 炒 木香 丁香 甘草 炙，各半两 缩砂仁 草豆蔻 去皮 槟榔 槌，各一分

右一十三味捣罗为末，炼蜜丸，如樱桃大，每服一丸，细嚼，橘皮汤下，空心食前服。

治脾胃虚弱，不能饮食，乾嘔恶心，或水谷不化，半夏饮方：

半夏 为末，生姜汁制作饼，暴乾 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，各二两 陈橘皮 汤浸去白，焙 人参 白术 各一两半

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏半，生姜五片，枣二枚擘，同煎至八分，去滓温服。

脾胃气虚弱呕吐不下食

脾为仓廩之官，胃为水谷之海，二者气盛，则能运化谷食，荣养血气，若脾胃虚弱，则传化凝滞，膈脘痞满，气道上逆，故令发呕吐而不下食，治法宜调补之。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，藿香汤方：

藿香叶 厚朴 去粗皮，生姜汁炙透，各一两 青橘皮 汤浸去白，焙 甘草 炙，槌，各三两^② 桂 去粗皮，半两 乾姜 炮，一分半 枇杷叶 拭去毛，炙，一分

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜二片，枣一枚擘破，同煎至七分，去滓，食前温服。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，止逆进食，枇杷叶汤方：

枇杷叶 拭去毛，微炙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙透 前胡 去芦头 白术 人参 茯神 去木 陈橘皮 汤浸去白，焙 半夏 汤洗七遍，去滑，炒，各半两

右八味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜五片，煎至六分，去滓，食后温服。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，藿香厚朴汤方：

藿香叶 厚朴 去粗皮，用生姜二两，切片，枣十枚擘破，同煮半日，取出，去姜、枣，槌，焙 半夏 浆水浸一宿，切，汤洗七遍，入粟米一合，同炒黄，去米 甘草 生，槌 人参 白茯苓 去黑皮，各一两 陈橘皮 汤浸去白，焙，半两

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，大枣二枚擘破，同煎至七分，去滓温服，不计时。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，京三棱丸方：

京三棱 灰火内炮，乘热推碎 益智 去皮，各一两 麦蘖 微炒，半两 陈橘皮 汤浸去白，焙，二两 陈曲 捣作粗末，微炒 人参 各半两

右六味捣罗为末，煮白面糊丸，如梧桐子大，每服十五丸，食前生姜枣汤下。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，参香散方：

① 瓢：圣济总录作“炒”。

② 两：圣济总录作“分”。

人参 丁香

右二味等分，捣罗为散，每服二钱，空心热米饮调下。

治脾胃气弱，呕吐不下食，白术藿香汤方：

白术一两 藿香二两 丁香 人参 赤茯苓去黑皮 半夏汤洗七遍，切，炒 陈橘皮汤浸，去白，焙。各一两 厚朴去粗皮，生姜汁炙，锉，一两 甘草炙，锉，半两 前胡去芦头，一两一分 槟榔大者，五枚，锉

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，同煎至七分，去滓，空心食前服，日三。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，白豆蔻汤方：

白豆蔻去皮 人参 白术各一两 厚朴去粗皮，生姜汁炙透，锉，二两 陈橘皮汤浸去白，焙，半两 芎劳 白茯苓去黑皮 乾姜炮。各一两 丁香半两 甘草炙，锉，三分 白檀香锉，一分

右一十一味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，大枣二枚擘破，煎至七分，去滓，稍热服。

治脾胃气虚弱，胸膈气滞，呕逆不下食，白豆蔻丸方：

白豆蔻去皮 乾姜炮 枳实麸炒 木香各一两 半夏汤浸七遍，去滑，焙乾 诃梨勒煨，去核。各一两半 桂去粗皮，白术 细辛去苗叶。各三分

右九味捣罗为末，以酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，不计时候，温米饮下。

治脾胃气虚弱，呕逆不下食，人参藿香汤方：

人参一两 藿香叶半两 白术 丁香 枇杷叶拭去毛，微炙 高良姜各一分 甘草炙，锉，一钱

右七味粗捣筛，每服钱三匕，水一盏，入乾木瓜二片，同煎至七分，去滓热服。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，进食消痰，平胃丸方：

半夏曲焙，一两 肉豆蔻去皮 槟榔锉。各二枚 青橘皮汤浸去白，焙，半两 沉香一两 木香 丁香

各半两 麝香半钱，研

右八味捣研为末，枣肉与糯米粥和丸，如梧桐子大，丹砂为衣，阴乾，每服，生姜汤嚼下三五丸。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，人参丸方：

人参二两 白术二两半 乾姜炮，半两 山芋二两 附子炮裂，去皮脐，一两 甘草炙，锉，一两半

右六味捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，水一盏，入枣二枚擘破，同煎至六分，去滓温服，白汤嚼服亦得。

治脾胃气虚弱，呕吐不下食，脐腹胀痛，积聚不消，建中散方：

白术 枳实麸炒 人参 白芍药 乾姜炮 桂去粗皮 高良姜锉 丹参 大腹皮 槟榔锉 吴茱萸汤浸，焙乾，炒 陈橘皮汤浸，去白，焙 厚朴去粗皮，生姜汁炙 桔梗锉，炒 乾木瓜 艾枝炙 草豆蔻去皮

右一十七味，各等分，捣罗为散，每服三钱匕，温酒调下。

治脾胃虚冷，气满胸腹，不能饮食，呕逆，腹内雷鸣下气等疾，桔梗丸方：

桔梗一两一分 吴茱萸汤洗³，乾炒 白术 人参 茯苓去黑皮 厚朴去粗皮，生姜汁炙 陈橘皮汤浸，去白，焙 枳壳去瓢，麸炒 乾姜炮 甘草炙，锉。各一两 桂去粗皮，三分

右一十一味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，空心，温酒下十五丸，加至三十丸。

治脾胃气弱，留饮停积，饮食不化，呕吐不止，白术汤方：

白术炒 附子炮裂，去皮脐 陈橘皮汤浸，去白，焙，炒。各三分 人参一两 桂去粗皮 芍药 枇杷叶去毛，炙 白茅根 芦根 枳壳去瓢，麸炒。各半两

右一十味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓，不拘时温服。

治脾胃虚冷，呕逆，心腹常痛，面色青黄，腰膝冷痛，茱萸丸方：

1 分：圣济总录作“两”。

2 钱三：圣济总录作“三钱”。

3 洗：圣济总录此下有“焙”字。

茱萸 木香 附子炮裂，去皮脐 胡椒 桂
去粗皮 乾姜炮 诃梨勒煨，取皮。各一两 厚朴去粗
皮，生姜汁炙，三两

右八味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子
大，每日空心粥饮下十五丸。

治胃气不和，呕逆不下食，覆盆饮方：

覆盆子根 枣青州者，去核 人参 白茅根
灯心 半夏汤洗七遍，焙 前胡去芦头 白术各等分
右八味，碎如麻豆大，每服五钱匕，水
一盏半，煎至八分，去滓温服，日三。

治脾胃气逆，呕吐不止，心下澹澹，人
参汤方：

人参 半夏汤洗，去滑，生姜汁制 甘草炙，锉
白茅根 白茯苓去黑皮 竹茹 陈橘皮去白，焙
麦门冬去心，焙。各三分

右八味粗捣筛，每服四钱匕，水一盏半，
姜五片，煎至八分，去滓温服。

治脾胃虚冷，呕逆醋心，冷癖翻胃，中
酒后不得食，面色萎黄，人参汤方：

人参 白茯苓去黑皮 白术 陈橘皮汤浸，
去白，焙 桂去粗皮。各一两 厚朴去粗皮，生姜汁炙，二
两 半夏汤洗去滑，炒。二两半 甘草炙，锉，三分

右八味粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，
入生姜五片，煎至七分，去滓，空心温服。

治脾胃虚冷，气逆呕吐，不能下食，厚
朴汤方：

厚朴去粗皮，涂生姜汁炙熟，三两 人参 陈橘皮
去白，炒。各一两

右三味粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，
同煎至八分，去滓温服。

治脾胃虚弱，呕哕寒痰，饮食不下，辛
香散方：

细辛去苗叶，半两 丁香一分

右二味捣罗为细散，每服二钱匕，煎柿
蒂汤调下，不拘时候服。

治吐逆，粥药不可下者，五灵脂丸方：

五灵脂不拘多少

右一味为末，狗胆汁和丸，如鸡头实大，
每服一丸，煎热生姜酒化下，先煮温粥半升，

令病人乘药势，便以粥送下。

脾藏冷气攻心腹疼痛

足太阴脾之经也，风冷干之搏于脾藏，
与正气相击，上冲于心则心痛；下攻于腹则
腹痛。法宜温以调之。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，及女人血气，
丁香丸方：

丁香 木香 肉豆蔻去壳 青橘皮汤浸，去
白，焙 胡椒 茱萸 槟榔锉 麝香别研。各一分
乳香别研，半两 巴豆半两，去皮，微炮，细研，纸裹压油
尽，研成霜

右一十味，将槟榔以上先捣罗为末，次
入余三味，拌和令匀，用醋煮面糊和丸，如
黍米大，用丹砂为衣，每服五丸，茶酒任下。
治元气用绵灰半钱，酒调下十丸；心痛煎盐
醋汤下七丸；女人血气当归酒下五丸。

治脾胃冷气，攻心腹胀痛，宿食不消，
吴茱萸丸方：

吴茱萸汤浸七遍，炒 桂去粗皮。各一两 陈橘
皮汤浸，去白，焙，三分 槟榔锉，半两

右四味捣罗为末，醋煮面糊丸，如梧桐
子大，每服十五丸，生姜汤下，不计时。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，抵圣丸方：

木香半两 丁香二十枚 乳香研 苾萝各一分。炒
阿魏汤化，去砂石，乾，半分 槟榔锉，一枚 桂去粗皮
茱萸 肉豆蔻去壳。各半两 巴豆三枚，去皮心膜，出油尽

右一十味捣罗为末，用粳米饮或饭丸，
如绿豆大，每服三丸至五丸，食后生姜盐汤
下。如痛服七丸，内嚼三丸，烧生姜盐汤下，
温酒下亦得。

治脾胃冷气，心腹刺痛，散滞气，消酒
食，利胸膈，化痰涎，和脾胃，止冷利，乳
香丸方：

乳香研 沉香锉 没药研 木香 丹砂
研 枳壳去瓢，麸炒 蓬莪术炮，锉 乌头炮裂，去皮脐
槟榔锉。各一两 羌花醋炒令赤 狼毒醋炒 乾
漆炒烟尽。各半两 阿魏一分，研 青橘皮汤浸，去白，
焙，三分

右一十四味捣罗为末，以硃砂一两半，水飞去砂石，楝实肉四两为末，同以好醋熬成膏，入在前末和匀，丸如豌豆大，每服十丸至十五丸，温酒或姜汤下。

治脾藏冷气攻冲，心腹满闷，疼痛不可忍，沉香丸方：

沉香锉 诃梨勒去核 缩砂去皮 白茯苓去黑皮 肉豆蔻去壳 草豆蔻去壳 高良姜 巴戟天去心 丁香皮各三两 丁香 木香 附子炮裂，去皮脐 胡椒 红豆蔻去皮 乾姜炮 阿魏酒浸 乳香研 当归切，焙 白豆蔻去皮，各一两 芍药炮 芎藭 草澄茄 茴香子炒 益智去皮，炒 五味子 蓬莪术炮，锉 桃仁去皮尖，双仁，炒 硃砂汤飞过，各一两 桂去粗皮，五两

右二十九味捣罗为末，炼蜜丸，鸡头实大，丹砂为衣，温酒嚼下一丸。

治脾藏冷气，攻藏府不调，心腹撮痛，及下元久冷，盐煎散方：

乌头水浸三日，炮裂，去皮脐 茴香子炒 附子水浸三日，炮裂，去皮脐，各一两 楝实1 炮 青橘皮汤浸去白，焙，二两 乾姜炮，一分 木香 硃砂去砂石，各一钱 草澄茄半两

右九味捣罗为散，每服一钱匕，水八分，入盐煎至四分，空心食前，和滓温服。

治脾胃冷气，攻心腹疼痛，痰逆恶心，不思饮食，食²利心胸，化留饮，戎盐丸方：

戎盐 槟榔锉 青橘皮汤浸去白，焙 桂去粗皮 楝实 益智去皮 蓬莪术炮，各半两 墨 巴豆霜 肉豆蔻去壳 丁香 木香 胡椒各一分

右一十三味捣罗为末，面糊丸，绿豆大，每服二丸至三丸，食后用生姜汤下，更以意加減。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，闷乱烦懊，手足厥冷，呕吐痰逆，不下饮食，正元草澄茄汤方：

草澄茄 沉香锉 石斛去根，各一两 人参 赤茯苓去黑皮 五味子微炒 巴戟天去心 桂去粗皮 白术 芎藭 木香各三分 肉豆蔻去壳 附子炮裂，去皮脐 没药各半两 陈曲炒，一两半

右一十五味，锉如麻豆，每服三钱匕，以水一盏，入生姜三片，枣二枚擘，同煎至七分，去滓，食前温服。

治脾藏冷气，攻心腹撮痛，手足逆冷，霍乱呕吐，藏府滑利，膈脘痞塞，不思饮食，麝香草澄茄丸方：

麝香细研，半两 硫黄细研，三分 硃砂不夹石者，细研，一分 石斛去根 草澄茄 茴香子炒 补骨脂炒 木香各一两 何首乌一两半 丁香 肉豆蔻去壳 桂去粗皮 当归切，焙 吴茱萸汤洗七遍，焙乾，炒 槟榔锉，各一两

右一十五味，捣罗十二味为末，入研药拌匀，酒煮面糊丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，温酒下，米饮亦得，空心食前服。

治脾藏久积，冷气攻心，腹痛胀，恶心呕逆，脐下撮痛，鳖甲煎丸方：

鳖甲醋炙，去裙襕 硃砂不夹石者 芫花醋拌，炒 狼毒碎锉，炒 乾漆炒烟尽，各一两 京三棱炮，锉，三两 巴豆二钱，去皮心，研细，与硃砂用醋一升，同熬成膏 右七味，除硃砂、巴豆外，捣罗为末，与巴豆膏同拌匀，水煮面糊和丸，如绿豆大，每服一丸，食后生姜汤下。

治久病脾藏虚冷，饮食不下，心腹疼痛，面目浮肿，滑泄自利，两胁胀满，附子丸方：

附子去皮脐，汤浸透，切作片子，焙，一两 木香 硃砂水飞，去砂石，熬令熟，各半两

右三味捣罗为末，以酒一升，煮尽焙乾，以炊饼末三两，一处和拌滴水³丸，如梧桐子大，每服二十丸，空心米饮下。

治脾藏冷，攻心腹切痛，思饮食，定呕逆，治泻痢，丁香散方：

丁香 人参 白茯苓去黑皮 厚朴去粗皮，生姜汁炙 芍药 木香 京三棱炮，锉 乾姜炮，各半两 吴茱萸汤洗，焙乾，炒 肉豆蔻去壳 甘草炙，锉，各一分 苍术刮去皮，三分

1 实：圣济总录此下注有“七枚”二字。

2 食：圣济总录无此字。

3 水：圣济总录此下有“为”字。

右一十二味，捣罗为散，每服二钱匕，空心食前，米饮调下。

治脾藏冷气，攻心腹多疼，胁肋虚胀，胸膈痞闷，痰逆恶心，呕吐酸水，肠鸣泄泻，可思饮食，虽食迟化，留滞藏府，面色萎黄，四肢少力，气出多寒，手足逆冷，肌体羸瘦，厚朴丸方：

厚朴去粗皮，生姜汁炙 肉豆蔻去壳 附子炮裂，去皮脐。各三分 胡椒 高良姜 桂去粗皮 乾姜炮 丁香 槟榔。各半两 硃砂通明者，研，一分 巴豆去皮心膜，出油取霜，一分，研 大枣三十枚，草乌头二两实白者，杵碎，生姜自然汁，慢火同煮，令透软，拣出枣，剥去皮核，研，乌头不用

右一十二味，除研外，捣罗为末，合研匀，以枣肉膏和剂，如硬，量加蒸枣肉，丸如梧桐子大，每服五丸至七丸，煎陈橘皮、木香、生姜汤下，空心食前。如饮食消化迟，停滞胸膈，即不计服。

治脾胃风劳冷气，青木香丸方：

木香一两半 厚朴去粗皮，生姜汁炙，二两半 人参 附子炮裂，去皮脐 芍药 羌活去芦头 桂去粗皮 白术 枳壳去瓤，麸炒 槟榔 甘草炙，锉 陈橘皮汤浸去白，焙 吴茱萸汤洗，焙乾，炒。各一两 黄香 熟乾地黄。各二两

右一十五味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，空心，温酒下二十丸。

治脾藏气虚，风冷乘之，正气相击，心腹疼痛，参苓散方：

人参 白茯苓去黑皮 黑豆黄炒 陈橘皮去白，姜汁浸一宿，炒。各三分 京三棱二两，以新水浸，令软，薄切，湿杵，碎，焙乾，炒 青橘皮去白，焙 麦蘖炒。各一两 木香 甘草炙，锉。各半两

右九味捣罗为细散，每服二钱匕，入生姜盐少许，沸汤点服。

治脾藏冷气，攻心腹疼痛，不思饮食，沉香丸方：

沉香。一两 芍药炒 益智仁 厚朴去粗皮，生姜汁炙，锉。各三分 桂去粗皮 乾姜炮 红豆蔻去皮 白茯苓去黑皮 枳壳去瓤，麸炒 木香 当归切，焙

槟榔 附子炮裂，去皮脐。各半两 甘草炙，锉。一分半

右一十四味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，炒生姜、木瓜盐汤下，不拘时。

治脾胃气不足，风冷乘之，与正气交击，心腹疼痛，集圣汤方：

附子炮裂，去皮脐 桂去粗皮 乾姜炮 甘草炙，锉。各一两 革澄茄一分

右五味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，盐一捻，同煎至七分，去滓服。

治脾藏虚冷，心腹疼痛，吴茱萸汤方：

吴茱萸汤洗，焙，炒，三两

右一味，每服一分，不捣，以水二盞，入生姜一分切，葱白五寸切，同煎取八分，去滓，温服食前。

治脾胃虚弱，冷物积滞，脐腹撮痛，饮食无味，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻去壳，二枚 人参 天雄炮裂，去皮脐 当归切，焙 大腹 地榆 京三棱。各一两半 黄连去须 白术 木香各一两 白茯苓去黑皮 桂去粗皮 黄芩去黑心 乾姜炮裂。各半两 赤石脂二两 桃仁二十枚，去皮尖双仁，炒

右一十六味捣罗为末，烂粟米饭和丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心，米饮下。

脾藏冷气腹内虚鸣

脾为中州，主腐化水谷，埤诸藏府，若脾虚，冷气与正气相击，则令腹内虚鸣，甚则腹痛下利，食不能化，内经所谓暴气象雷者，以阴阳之气冷热相击故也。

治脾藏虚冷，气攻心腹，疝痛肠鸣，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻去壳 乾姜炮 陈橘皮汤浸，去白，焙 半夏汤洗，去滑，七遍，焙 桂去粗皮 吴茱萸汤浸，焙乾，炒 厚朴去粗皮，生姜汁炙 乌头炮裂，去皮脐 白茯苓去黑皮。各半两

右九味捣罗为末，枣肉和丸，如梧桐子大，食前生姜醋汤下十五丸。

治脾藏冷气不和，腹内雷鸣，膨胀刺痛，及解伤寒，橘皮煮散方：

陈橘皮 汤浸，去白，焙 白术 各二两 诃梨勒炮，去核 乾姜炮 枳壳 去瓤，麸炒 桂 去粗皮 人参 甘草炙。各一两 草豆蔻 去皮，七枚 槟榔 五枚，锉 半夏 汤洗二七遍，三分 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两半

右一十三味捣为粗散，每服三钱匕，水一盞，入生姜三片，枣二枚擘破，同煎至七分，去滓，食前温服。

治脾藏冷气，心腹痛胀闷，胸膈不利，呕逆，腹内虚鸣，丁香丸方：

丁香 茴香子 炒 桂 去粗皮 陈橘皮 汤浸，去白，焙 甘草炙，锉 胡椒 等分

右六味捣罗为末，炼蜜和丸，如樱桃大，每服一丸，生姜盐汤嚼下。

治脾藏冷气，肠鸣相逐，饮食无味，补虚益智煮散方：

益智 去皮 乌药 锉 桂 去粗皮 天仙藤 各一两 莎草根 炒，去毛 陈橘皮 汤浸去白，焙 甘草炙。各二两 乾姜炮 木香 芎藭 白术 丁香 各半两 人参 一分

右一十三味捣为粗散，每服三钱匕，水一盞，入生姜三片，枣二枚擘破，同煎至六分，去滓温服，食前。

治脾藏冷气，腹内虚鸣，四肢多冷，心腹疼痛，乌头丸方：

草乌头 去皮尖，取末，一分 羌花 一分，醋炒黄，别杵为末，二味用醋一升，熬成稠膏，刮出 桂 去粗皮 乾姜炮 槟榔 锉 青橘皮 汤浸去白，焙 天雄 炮裂，去皮脐 肉豆蔻仁 当归 切，焙 乌头 炮裂，去皮脐 胡椒 炒 霍香叶 红豆蔻 丁香 各三钱

右一十四味，除二味熬膏外，捣罗为末，入前膏和剂，如硬，更入蜜少许，丸如梧桐子大，每服十五丸，生姜汤或米汤橘皮汤下，病已即止。

治脾藏冷气，腹内虚鸣泄泻，及食气块，憎寒壮热，日渐羸瘦，补脾散方：

木香 半两 草豆蔻 白面裹，慢火煨令焦，去皮并面

陈橘皮 汤浸，去白，焙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 茴香子 炒 乾姜炮 京三棱 炮。各一两 陈曲 炒 大麦蘖 炒。各二两

右九味捣罗为散，食前，炒生姜盐汤调下二钱匕。

治脾虚冷气，腹胀满虚鸣，腰腿疼重刺痛，趁气丸方：

胡椒 炒，一百粒 木香 三钱 槟榔 一枚，锉 蝎梢 炒，二钱 阿魏 醋化，去炒¹入药 陈橘皮 汤浸去白，焙。各一钱 肉豆蔻 去壳，二枚 莱菔子 炒，一分

右八味，捣罗为末，生姜自然汁煮面糊和丸，如豌豆大，每服二十丸，温酒或陈橘皮汤下，不拘时候。

治脾虚冷，腹中雷鸣，太白汤方：

附子 炮裂，去皮脐，二两 青橘皮 汤浸去白，焙，一两 茴香子 炒 乾姜炮 木香 炮。各半两

右五味咬咀如麻豆，每服三钱匕，水一盞，入生姜二片，枣一枚擘破，同煎至七分，去滓温服，不拘时候。

治脾藏冷气，腹内虚鸣，温脾丸方：

高良姜 一两 附子 炮裂，去皮脐 乾姜炮 胡椒 炒。各半两

右四味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，生姜橘皮汤或米饮下，不拘时候。

治脾藏虚冷，邪正气相击搏，腹内虚鸣，兼治阴阳二毒，伤寒，陈橘皮汤方：

陈橘皮 汤浸去白，麸炒 桂 去粗皮 甘草炙，锉 乾姜炮 枳壳 去瓤，麸炒 白术 人参 白茯苓 去黑皮 厚朴 去粗皮，生姜汁涂炙 半夏 汤浸七遍，去滑，麸炒。各一两 诃梨勒 五枚，煨，去核 槟榔 二枚，锉 草豆蔻 二枚，去皮 附子 炮裂，去皮脐 沉香 锉 木香 各一两

右一十六味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，生姜三片，枣三枚擘，同煎至六分，去滓热服。脾泻气痛，服之神妙。伤寒并二服。

治脾胃久冷，气攻心腹，肠鸣胀满，痰

¹ 炒：圣济总录作“砂”。

逆恶心，草豆蔻丸方：

草豆蔻 炮，去皮 乾姜 炮 桂 去粗皮。各一两半
诃梨勒 炮，去皮 甘草 炙，锉 白茯苓 去黑皮 人
参 各一两

右七味，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，温酒下二十丸。

治脾藏虚冷，腹胀肠鸣，疴痛泄泻，饮食不化，厚朴汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙 白茯苓 去黑皮 人参
草豆蔻 去皮 陈橘皮 汤浸，去瓤，焙炒。各三分 半
夏 汤洗，去滑，生姜汁制 桂 去粗皮 木香 白术 炒 枳
壳 去瓤，麸炒。各半两

右一十味粗捣筛，每服四钱匕，水一盂半，生姜三片，枣一枚擘，煎至七分，去滓，食前温服。

治脾藏冷气，腹胀虚鸣，饮食不化，泄泻不止，人参散方：

人参 诃梨勒皮 各三分 枳壳 去瓤，麸炒 槟
榔 锉。各四钱 陈橘皮 汤浸去白，焙 丁香 各半两 木
香 一分

右七味捣罗为散，每服二钱匕，用姜米饮调下，空心食前服。

脾气虚腹胀满

脾为仓廪之官，胃为水谷之海。脾气虚弱，宿寒留滞，胃受水谷不能磨化，故令胀满。

治脾气虚弱，心腹胀满，呕吐痰逆，胸膈不利，腹胁刺痛，不思饮食，大腹木香汤方：

大腹 锉 木香 各一两 前胡 去芦头 肉豆蔻
去壳 人参 白茯苓 去黑皮。各半两 京三棱 炮，锉，一
两半 乾姜 炮 青橘皮 汤浸去白，焙 诃梨勒 炮，去
核。各半两 陈曲 微炒。一两 桂 去粗皮 大麦蘖 微
炒。各半两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙。一两 半夏 汤洗七
遍，去滑，焙。半两

右一十五味粗捣筛，每服三钱匕，水一盂，入生姜三片，枣二枚，去核，同煎至七分，去滓，稍热食前服。

治脾虚，吞酸呕逆，腹痛泄泻，不思饮食，腹胁膨胀，茱萸丸方：

吴茱萸 汤洗，焙乾，炒。六两 附子 炮裂，去皮脐。
生 去粗皮，四两 草拨 厚朴 去粗皮，生姜汁炙
乾姜 炮 澄茄 胡椒 炒。各二两

右八味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，米饮下。

治脾虚冷气，心腹疴痛，胸膈满闷，腹胀肠鸣，紫桂大丸方：

桂 去粗皮 茴香子 炮 白豆蔻仁 去皮 青橘
皮 汤浸去白，焙 高良姜 附子 炮裂，去皮脐。各一两
丁香 木香 甘草 炙。各半两 胡椒 炒。一分

右一十味捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服半丸至一丸，嚼破，米饮下，温酒亦得。

治脾气虚弱，吞酸呕哕，胸胁胀满，不思饮食，增损理中散方：

乾姜 炮 人参 白术 各一两 甘草 炙，锉 吴
茱萸 汤洗，焙乾，炒 槟榔 锉。各半两 陈橘皮 汤浸去
白，焙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙。各一两 草拨 半两

右九味捣罗为散，每服一钱匕，入生姜汤点服，食前日三。

治脾气虚弱，中脘痞闷，胁肋胀满，心腹刺痛，呕逆痰涎，可思饮食，小沉香丸方：

沉香 镑 丁香 木香 枳壳 去瓤，麸炒 人
参 赤茯苓 去黑皮 云蓝根 玄参 焙。各一两 诃
梨勒 去核 白豆蔻 去皮 肉豆蔻 去壳 丁香皮 锉
桂 去粗皮 麝香 研。各半两 白术 四两

右一十五味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，煎枣汤下，米饮亦得，空心食前服。

治脾虚，止喘闷，定呕逆，进饮食，除腹胁胀痛，白术丸方：

白术 诃梨勒 去核 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，焙乾
山芋 丁香 木香 甘草 炙 白茯苓 去黑皮
青橘皮 汤浸去白，焙。各一两

右九味捣罗为末，煮大枣肉和丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，煎粟米姜枣汤下，食前早晚各一服。

治脾虚，藏府秘泄不常，腰重头昏，舌乾眼涩，食后多胀，肢体疼倦，和顺三焦，消化痰饮，七气汤方：

人参 白茯苓 去黑皮 白术 甘草炙，锉
河梨勒 去核 连皮大腹^① 草豆蔻仁 各一两

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓温服。如寒多者，更加炮裂去皮脐附子一两。

治脾气虚弱，腹胁膨胀，吃食不消，面色萎黄，四肢劣弱，育神汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙，二两 丁香 半两 附子
炮裂，去皮脐 白术 各一两 木香 半两 当归切，焙
人参 各一两半 河梨勒 煨，去核，一两 乾姜 炮，三分
桂 去粗皮，一两 甘草炙，半两 白茯苓 去黑皮，一两

右一十二味粗捣筛，入净瓷器中收贮，每服五钱匕，水一盞半，入生姜半分，大枣二枚擘破，同煎至八分，去滓，食前温服。

治脾气虚弱，饮食不美，心胸膨胀，胁肋痞满，噎气不通，满闷噎塞，积滞不消，结聚癖瘕，异效散方：

京三棱 性，汤浸一宿，焙乾 白术 各三两^② 甘草炙，锉，二两 麦蘖 微炒 陈曲 微炒，各一两 高良姜 半两 肉豆蔻 二枚，去壳 青橘皮 汤浸去白，焙 陈橘皮 汤浸，去白，焙，各一两 草豆蔻 三枚，去皮

右一十味捣罗为细散，每服二钱匕，入盐少许，沸汤点服，空心食前。

治脾虚腹胀，止逆思食，黑散子方：

人参 丁香皮 性 泽泻 附子 炮裂，去皮脐，各半两 天仙藤 白豆蔻 去皮，各一两 釜墨 一分

右七味都入瓶子内，以泥盖头，候乾，用稻糠旋烧一日，去火，放冷，细研为散，每服三钱匕，水一小盞，入姜枣少许，煎至六分，温服。

治脾气虚弱，腹内膨胀，不思饮食，豆蔻散方：

草豆蔻 面裹，煨熟，去皮，取肉 茴香子 炒，各一两 木香 半两 陈曲 微炒 麦蘖 炒，各二两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 乾姜 炮 陈橘皮 汤浸去白，焙，各一两

右八味捣罗为散，每服二钱匕，先嚼煨

生姜少许，沸汤调下，食前服。

治脾藏虚弱，冷气不和，心胸不快，腹肋膨胀，气刺气痛，不思饮食，面黄口淡，及治中酒，草澄茄煮散方：

草澄茄 炒，半两 丁香皮 炙，性，二两 高良姜 一两一分 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两 京三棱 炮，乘热捣 陈橘皮 汤浸去白，焙 甘草炙，性 茴香子 炒 桂 去粗皮，各二两 香附子 炒，三两 桔梗 炒，一两 白盐 炒，研，十二两 阿魏 皂子大一块，面裹煨熟，去面，别研

右一十三味捣研为散，再同和匀，每服二钱匕，入生姜二片，水一小盞，煎五热七沸服^③。一方更入木香半两，阿魏两皂子大。

治脾胃冷气，腹内雷鸣，冷气入腹，中脘痞闷，胁肋胀满，饮食不下，桔梗丸方：

桔梗 炒，二两 防风 去叉 禹余粮 醋淬，研 远志 去心 草薢 鹿茸 去毛，酥炙 橘皮 汤浸去白，焙 芫荽 紫石英 研 桂 去粗皮 乾姜 炮，各一两 吴茱萸 汤洗，焙乾 甘草炙，性，各三分

右一十三味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心，米饮下二十丸。

治脾胃久冷，心腹胀满，宿食不消，时作呕逆，日渐羸瘦，兼癖瘕气块等疾，京三棱鳖甲丸方：

京三棱 炮，性 鳖甲 去裙襕，醋炙 黄耆 性，焙 白术 各一两半 厚朴 去粗皮，涂生姜汁炙熟，二两 乾姜 炮 河梨勒皮 吴茱萸 汤浸，焙，炒 枳壳 去瓢，麸炒 橘皮 汤浸去白，焙乾 桔梗 炒 麦蘖 炒 陈曲 乾地黄 焙 桂 去粗皮 槟榔 性 木香 当归切焙 甘草炙，性 人参 白茯苓 去黑皮，各一两

右二十一味捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，空心米饮下三十丸，加至四十丸，温酒下亦得。

治久患气胀，上壅心胸，食物不化，肠中切痛不止，人参汤方：

人参 陈橘皮 汤浸去白，焙 半夏 汤洗七遍，去滑，焙 枳壳 去瓢，麸炒 草豆蔻 去皮，各三分 丁香

① 腹：圣济总录此下注有“性”字。

② 两：圣济总录作“分”。

③ 五热七沸服：圣济总录作“五七沸热服”。

木香 芍药 甘草炙，锉。各一分 赤茯苓去黑皮，半两

右一十味，锉如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，入生姜一枣大切，煎取八分，去滓温服。

治胃冷，气胀满闷，四肢急，体重，白术散方：

白术 诃梨勒煨，去核。各三分 甘草炙，锉 丁香 厚朴去粗皮，生姜汁炙。各一分 木香 桂去粗皮 人参 槟榔半生半熟，锉。各三分 陈橘皮去白，麸炒 草豆蔻去反。各一两

右一十一味捣罗为散，每服二钱匕，生姜木瓜煎汤调下。

治脾气不足，腹胀，食欲呕，口舌乾涩，四肢无力，喜怒不常，不欲见人，心烦多忘，咽喉闭塞，面黄，补脾汤方：

禹余粮煨，醋淬，研入 大麻仁研 乾姜炮 白术 甘草炙。各二两 桑根白皮锉 人参各三两

右七味粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入大枣二枚擘破，煎至七分，去滓，空心顿服。

治脾气虚弱，宿寒留滞，胃受水谷，不能磨化，心腹胀满，橘红散方：

陈橘皮去白，二两，以生姜四两，取自然汁，拌匀，慢火炒乾 陈曲炒 麦蘖炒 杏仁汤浸，去皮尖双仁，麸炒，别研。各二两 甘草炙，一两半 人参 草豆蔻去皮，面裹煨熟，去面 山芋各一两

右八味捣研为细散，每服二钱匕，入姜钱十二片，盐少许，沸汤点服。

治脾胃气虚，风冷乘之，腹内虚满，有妨饮食，丁香汤方：

丁香一两 附子炮裂，去皮脐 乾姜炮 胡椒 青橘皮去白，焙 陈橘皮去白，焙 益智去皮 高良姜 红豆 甘草炙。各半两

右一十味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，入生姜一枣大拍破，同煎至七分，去滓热服。

脾胃气虚弱肌体羸瘦

水谷精微化为血气，外荣形体，内充藏府，脾胃气和，则能行其津液，而充养肌肉。若脾胃虚弱，不能运化水谷，则气血减耗，无以灌溉形体，故肌肉不丰而羸瘦也。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，沉香丸方：

沉香锉 附子炮裂，去皮脐 厚朴去粗皮，生姜汁炙 白术 芍药 肉豆蔻去壳 茴香子微炒令香 胡椒 陈曲炒 桃仁去双仁皮尖，炒。各一两 楝实取皮肉，炒，二两 阿魏 硃砂无石者佳。各半两，研

右一十三味，除硃砂、阿魏外，捣研为末，将硃砂、阿魏用好酒三升，银铜石锅内熬成膏，和上件药，丸如梧桐子大，早晨晚间腹空时，茶酒盐汤嚼下二十丸。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，羹²饮食，长肌肉，去虚倦，强心力，黄耆煮散方：

黄耆锉，二两 人参 白茯苓去黑皮 葛根锉 厚朴去粗皮，生姜二两，取汁涂，慢火炙尽。各一两 诃梨勒炮，去核，一两半 木香 甘草炙。各半两 半夏三分，水洗七遍，去滑，生姜一两半，取汁浸一宿，炒乾 乾姜炮，一分

右一十味杵末，每服二钱匕，水一盞，入生姜三片，枣二枚擘，煎至七分，不以早晚温服。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，补不足，进饮食，山芋丸方：

山芋锉，一两 五味子净拣，三分 黄耆细锉，一两 白术三两 人参一两

右五味捣罗为细末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸或三十丸，温米饮下，食前服。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，调中思食丸方：

陈曲捣碎，炒黄色 陈橘皮汤浸去白，焙 人参 麦蘖炒黄色 钟乳粉 槟榔大者，锉 白术 半夏曲 枳壳去瓢，麸炒。各半两

右九味，除钟乳别入外，捣罗为细末，拌匀，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服二十丸，

1 姜钱：圣济总录作“生姜”。

2 羹：圣济总录作“美”。

温米饮下，食前服。

治脾胃气虚弱，四肢倦怠，肌体瘦弱，藏府受湿，大便频数，全不思食，粟附丸方：

陈粟米一升 附子一两，共捣两枚者

右二味，同于锅铤内入水煮，令附子透，取出附子，切作片焙乾，又别取陈粟米半升，水淘令净，控乾，文火炒令香熟，同附子碾为末，却取元煮附子者，粟米粥同和丸，如梧桐子大，每服三十丸至五十丸，陈橘皮汤下，空心食前。

治脾胃虚弱，肌体羸瘦，肉豆蔻丸方：

肉豆蔻去壳，一分 诃梨勒一两，面裹，火炮取皮 吴茱萸汤洗，焙乾，炒 防风去叉 厚朴去粗皮，姜汁炙 芎藭 苍术米泔浸一宿，切，焙 藿香叶 独活去芦头，各一分 石硫黄一两，别研

右一十味，除硫黄外，细捣罗为末，同拌匀，炼蜜丸如梧桐子大，空心，米汤下三十丸。

治脾胃虚弱，肌体羸瘦，及冷痢不止，不能食，厚朴散方：

厚朴去粗皮，四两 附子炮裂，去皮脐，一两 乾姜三两，三味同艾滓三两，都杵为粗末，同生姜四两欸碎拌，前三味一处炒，令紫黑色，入后药 肉豆蔻去壳，一两半 诃梨勒煨，去核，一两半 吴茱萸汤洗七遍，去涎，焙乾，一两 草豆蔻去皮，一两 缩砂仁一两 陈橘皮汤浸去白，焙，一两

右一十一味，都杵罗为细散，每服二钱匕，粟米饮调下，食前服。

治脾胃气虚弱，面黄肌瘦，小便频数，脐腹疼痛，不能饮食，香朴丸方：

沉香锉，二两 茴香子炒，二两 厚朴去粗皮，五两 附子去皮脐，生用，二两 蜀椒取红，二两

右五味，除椒红、沉香、茴香子外，二味用浆水六升，青盐三两，生姜三两，切作片子，同于银锅中煮令水尽，暴乾，入椒红、沉香、茴香子，捣罗为细末，以水浸炊饼和丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心，温酒下。

治脾胃气虚弱，多困羸瘦，面黄口淡，

不思饮食，蜀椒丸方：

蜀椒去目及闭口者，十两 厚朴去粗皮，用十两，以生姜汁炙，令香，细锉 盐花十两 附子炮裂，去皮脐，锉碎，二两

右四味，以水一斗，于银石器内，以文武火熬，候水尽为度，焙乾，同杵为末，炼蜜并糯米粉同为糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，温酒下，空心服。如大肠滑泄，生姜米饮下。

治脾胃气虚弱，肌体羸瘦，人参汤方：

人参 半夏汤洗，去滑，生姜汁制² 草豆蔻去皮 大腹皮锉 前胡去芦头 陈橘皮汤浸去白，焙 桂去粗皮 芍药 当归切，焙 白茯苓去黑皮

右一十味，各等分，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏半，入生姜半分切，大枣二枚擘，煎至八分，去滓，稍热服，不计时候。

治脾胃气虚，肌体羸瘦，团参丸方：

团参 白术 山芋 枣焙乾，为末 陈仓米炒黄色，各一两 甘草炙，一分 草豆蔻去皮，半两

右七味捣罗为细末，炼蜜为丸，如樱桃大，米饮嚼下一丸，日三服。

治脾胃虚弱，面黄肌瘦，腰膝疼痛，寒痰呕逆，腹胁痞气痛，陈橘皮煎丸方：

陈橘皮一斤，用水浸，去白，焙乾，作为细末，醋一斗，熬为膏，入后药 沉香锉，二两 乾姜炮裂，四两 桂去粗皮，四两 附子炮裂，去皮脐，四两 草薢锉，二两 当归洗，切，焙乾，取二两 京三棱炮熟，锉，二两 厚朴去粗皮，生姜汁炙，令黑色，四两

右九味，杵罗八味为细末，用陈橘皮膏和丸，如梧桐子大，每服二十丸，温酒下，不嚼，陈米饮下亦得，空心食前服。

治脾胃虚冷，不思饮食，或发虚肿，或日渐羸瘦，四肢衰倦，吐利无节，应脾虚候状，皆可服食，椒朴丸方：

蜀椒去目并闭口者 厚朴去粗皮，生姜汁炙透 茴香子炒 青盐淘去砂，取净，各二两

右四味，以水二升，煮令乾，焙燥捣罗

1 细：圣济总录无此字。

2 制：圣济总录作“炙”。

为末，面糊丸，如梧桐子大，每服三四十丸，
空心，温米饮及盐汤下，病深者，日三服。
诸方集多载椒朴丸方，有加附子者，有加乾

姜之类者，皆不快捷，此方精要，与病相当
如神，慎勿增他药。

五 藏 门^九

圣 济 总 录^三

脾胃不和不能饮食

内经言，谷气通于脾。盖虚则能受也，脾胃之为仓廩者如此。若其气不和，则腹内虚满，不能饮食，治宜调其饮食，适其寒温，则病可已。

治脾胃不和，不能饮食，心胸痞闷，口淡无味，及解伤寒，木香煮散方：

木香 人参 白茯苓^{去黑皮} 白术 半夏^{汤洗七遍，炒} 厚朴^{去粗皮，各一分}，将厚朴入生姜一分，同捣，炒乾 乾姜^炮 桂^{去粗皮} 枳实^{去瓤，麸炒} 甘草^{炙，锉，各半两} 陈橘皮^{汤浸，去白，焙，一两} 槟榔^{锉，一枚} 草豆蔻^{去皮，二枚} 诃梨勒^{煨，去核，五枚}

右一十四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，热服，不拘时候。

治脾胃不和，不能饮食，建中丸方：

白术 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙，各二两} 木香 诃梨勒^{去核} 肉豆蔻^{去皮} 芎藭^{各一两}

右六味，捣罗为末，煮枣肉和丸，如梧桐子大，空心，米饮下三十丸。

治脾胃冷热不和，不能饮食，胸膈满闷，痰唾吐逆，及一切气疾，和胃丸方：

甘草^{生梓} 高良姜^{生，各二两} 藿香叶 桂^{去粗皮} 丁香皮^{炙，各一两}

右五味，捣罗为末，炼蜜和，杵三二百下，丸如樱桃大，每服一丸，盐汤嚼下，空心服。

治脾胃不和，痰唾呕逆，脐腹撮痛，心胸痞闷。调藏止泻，紫苏丸方：

紫苏叶 桂^{去粗皮} 赤茯苓^{去黑皮} 缩砂^{去皮} 甘草^{炙，锉，各二两} 沉香^锉 人参 桔梗^炒

青橘皮^{汤浸，去白，焙} 陈橘皮^{汤浸，去白，焙，各一两} 胡椒^{半两}

右一十一味，捣罗为末，炼蜜和丸，如弹丸大，每服一丸，炒生姜盐汤嚼下。

治脾胃不和，腹中刺痛，胃逆气冷，不能饮食，七宝汤方：

草豆蔻^{五枚，面裹煨熟，去面及皮} 白茯苓^{去黑皮} 人参^{各一两} 大腹皮^{锉，四枚} 诃梨勒^{炮，去核，五枚} 半夏^{一分，汤浸洗五度，生姜汁浸一宿，去姜汁，炒黄} 甘草^{炙，锉，半两}

右七味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生姜三片，大枣二枚，擘破，同煎至七分，去滓温服。

治脾胃气不和，心腹疔痛，不能饮食，沉香汤方：

沉香^锉 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙} 桂^{去粗皮} 益智^{去皮，炒} 白术 青橘皮^{汤浸，去白，焙} 桔梗^{炒，各一两} 五味子^{一两一分，微焙} 附子^{炮裂，去皮剂} 乾姜^炮 甘草^{炙，锉，各半两}

右一十一味，粗捣筛，每服二钱匕，水一盞，入生姜三片，同煎至六分，去滓，稍热食前服。

治脾胃不和，不能饮食，大腹汤方：

大腹^锉 陈曲^炒 厚朴^{去粗皮，生姜汁炙} 木香^{锉，各一两} 肉豆蔻^{去皮} 乾姜^炮 人参 白茯苓^{去黑皮} 青橘皮^{汤浸，去白，焙} 诃梨勒^{炮，取皮} 桂^{去粗皮} 大麦蘖^{微炒} 半夏^{汤洗七遍，去滑，焙乾，各半两} 京三棱^{炮，锉，一两半}

右一十四味，粗捣筛，每服二钱匕，水一盞，入生姜三片，枣二枚擘破，同煎至六

1 剂：圣济总录作“脐。”

分，去滓，稍热，食前服。

治脾胃不和，不能饮食，见食吐逆，半夏饮方：

半夏 生姜汁炒黄 乾姜 炮。各一两 枣肉 焙 附子 炮裂，去皮剂^① 青橘皮 汤浸，去白，焙。各半两 陈橘皮 汤浸，去白，焙 红豆蔻 去皮。各一分 木香 半分 草豆蔻 去皮，二枚

右九味，粗捣筛，每服一钱半匕，水一盏，蜜半匙，煎至七分，去滓，稍热服，不拘时候^②。

温脾胃，和气消食，木瓜散方：

乾木瓜 焙，五两 益智 去皮 桂 去粗皮 草豆蔻 去皮 红豆蔻 去皮 乾姜 炮 高良姜 陈橘皮 汤浸，去白，焙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙。各二两 甘草 炙，锉 麦蘖 炒 陈曲 炒。各三分 生姜 一斤，取自然汁 丁香 沉香 各一两 盐 一升

右一十六味，捣罗十四味为散，研细，入生姜自然汁，并盐拌匀，瓷器盛，每服二钱匕，沸汤点服。

治脾胃不和，饮食减少，腹中虚鸣，高良姜散方：

高良姜 一两半 陈橘皮 去白，焙，二两 陈曲 炒，半两 肉豆蔻 去壳 乾姜 炮裂 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，锉 五味子 甘草 炙，锉 白术 吴茱萸 汤洗，焙乾，炒。各一两

右一十味，捣罗为散，研匀，每服二钱匕，陈米饮调下。

治脾胃不和，不能饮食，白术丸方：

白术 锉 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，锉 苍术 去粗皮，炒。各半斤 芫荽 四两 青橘皮 去白，焙 附子 炮裂，去皮脐。各三两 甘草 炙，锉 乾姜 炮裂。各二两

右八味，捣罗为末，炼蜜和丸，如鸡头实大，每服一丸，空心，米饮嚼下。

治脾胃气，冷热不和，进食和气，草豆蔻汤方：

草豆蔻 去皮 人参 陈橘皮 汤浸，去白，焙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙。各一两 甘草 炙，锉 桂 去粗皮。各半两

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，

入生姜三片，同煎至六分，去滓，食前温服。

脾胃气虚弱不能饮食

水谷入口，而聚于胃，脾则播其气泽，以埤诸藏府而已。今脾藏不足，胃气内弱，故不能饮食，虽食亦不能化也。

治脾胃虚弱，不能饮食，心腹刺痛频并泄利，人参大丸方：

人参 二两 白术 二两半 乾姜 炮，半两 甘草 炙，锉，一两半 山芋 二两 附子 炮裂，去皮脐^③，□两

右六味，捣罗为末，炼蜜和丸，如鸡子黄大，每服一丸，水一盏，入枣二枚，擘破，同煎至六分，和滓温服，或烂嚼，煎枣汤下亦得。

治脾胃虚弱，思进饮食，山芋丸方：

山芋 白术 各一两 人参 三分

右三味，捣罗为细末，煮白面糊为丸，如小豆大，每服三十丸，空心食前，温米饮下。

养脾胃，进饮食，二橘散方：

青橘皮 汤浸，去白，焙 陈橘皮 汤浸，去白，焙。各一两 益智 去皮，微炒 茴香子 炒 京三棱 煨，椎碎 木香 肉豆蔻仁 各三分 缩砂蜜 去皮 人参 各一两 姜黄 甘草 炙，锉。各半两

右一十一味，捣罗为散，每服二钱匕，入盐少许，沸汤点服，空心食前。

治脾胃久弱，三焦不调，胸膈痞闷，肢体倦怠，哕逆恶心，饮食进退，气道不匀，思食调中丸方：

陈曲 炒 麦蘖 炒 半夏 曲 各一两 槟榔 锉，三分 白术 一两半 人参 三分 木香 半两 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两 沉香 半两 乌药 锉，一两

右一十味，捣罗为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服三十丸，食前温米饮下。

治脾胃气虚，食少无力，沉香陈曲丸方：

沉香 半两 陈曲 微炒 木香 槟榔 锉 半夏

① 剂：圣济总录作“脐”。

② 稍热服不拘时候：圣济总录作“温服不拘时”。

③ 脐：此下脱字，圣济总录作“壹”。

汤洗七遍 陈橘皮 汤浸，去白，焙 人参 白豆蔻 去
皮 麦蘖 微炒，各一两 诃梨勒皮 厚朴 去粗皮，生
姜汁炙 白术 各二两 丁香 革澄茄 各半两

右一十四味，捣罗为末，炼蜜和丸，如
梧桐子大，每服三十丸，米饮下，空心食前服。

补暖脾胃，止吐逆，利胸膈，治心腹刺
痛，进饮食，藿香汤方：

藿香叶 白茯苓 去黑皮 青橘皮 汤浸，去白，焙
细辛 去苗叶 益智 去皮，微炒 缩砂蜜① □□ 甘
草炙，锉 陈橘皮 汤浸，去白，焙 人参 各一两 木
香 白芷 锉，炒。各半两

右一十一味，粗捣筛，每服三钱，水一
盏，入生姜、木瓜各三片，煎至六分，去滓，
稍热服，不拘时候。

治脾胃气虚弱，可进饮食，人参饮方：

人参 白茯苓 去黑皮 山芋 白术 各一两
甘草 生，锉，半分

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，
入生姜二片，枣二枚擘，同煎至七分，去滓
温服。小儿诸疾未痊，乳食不进者，用药末
一钱匕，水一中盏，入紫苏、木瓜，煎至四
分，去滓，放温，并吃二服。

治脾胃气虚弱，进食黄耆汤方：

黄耆性 枳壳 去瓢，麸炒 人参 白茯苓 去黑
皮 白术 陈橘皮 汤浸，去白，焙 桔梗 炒。各一两
厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两半 桂 去粗皮，一两

右九味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盞
半，入生姜三片，枣二枚擘破，同煎至八分，
去滓，温服，空心。

治脾胃气虚弱，不能饮食，肌体黄瘦，姜
蜜煎方：

生姜汁一合 蜜一合 生地黄汁一升

右三味相和，以慢火煎如稀饧，每服半
匙，温酒化服，空心、晚食前各一。

胃 虚 冷

足阳明胃之经，与足太阴为表里，其
气喜温而恶寒，得温则能变化水谷，若其气

不足，寒冷之气乘之，则令胫寒不得卧，恶
风洒洒，目急，腹中常痛，两胁虚胀，善鸣，
时寒时热，唇口乾，面目浮肿，饮食不下，
皆胃虚冷故也。

治胃气虚冷，不思饮食，礞砂丸方：

礞砂 研，二两 陈橘皮 汤浸，去白，焙 桂 去粗皮
乾姜 炮 当归 切，焙 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 芎藭
胡椒 缩砂 去皮 甘草炙，锉 附子 炮裂，去皮脐。
各四两 白术 三两 五味子 一两半 阿魏 研，半两
青盐 研，二两

右一十五味，除别研外，捣罗为末，用
银石锅，入好酒一升，白蜜一十两，先下礞
砂、阿魏、青盐三味，并好面一两，同煎煮
稀稠成糊，入药末和成剂，熟杵，丸如梧
桐子大，每服二十丸，生姜盐汤下，不拘时。

治胃气虚冷，腹胀食减，四肢少力，丁
香丸方：

丁香 半两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两 乾姜 炮，
半两 吴茱萸 汤洗，焙乾，炒，半两 青橘皮 汤浸，去白，
焙，一分 桃仁 去皮尖双仁，炒，一两 五味子 诃梨
勒 去核 槟榔 锉。各半两 木香 一分

右一十味，捣罗为细末，煮枣肉丸如绿
豆大，每服十丸，橘皮汤下，不拘时服。

治胃气虚冷，肌瘦少力，不思饮食，厚
朴丸方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙 陈橘皮 汤浸，去白，焙 诃
梨勒 去核 桂 去粗皮 附子 炮裂，去皮脐 乾姜 炮
白茯苓 去黑皮 甘草炙。各一两

右八味，捣罗为细末，炼蜜和丸，如梧
桐子大，每服二十丸，温米饮下。

治胃气虚冷，不思饮食，胁肋胀满，胸
膈不快，藏府不利，乌头汤方：

乌头 炮裂，去皮脐，三两 益智 去皮，炒，三两 青
橘皮 汤浸，去白，焙，一两半 木香 诃梨勒 去核。各
半两 山芋 二两 粟米 五两 白盐 炒，一两

右八味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，
煎至七分，去滓，温服，食前。

① 蜜：此下注文脱字，圣济总录作“去皮”。

治胃气虚冷，脐腹疼痛，或滑泄下利，不思饮食，厚朴丸方：

厚朴 去粗皮，姜汁炙，一两 乾姜 炮，二两 附子 炮裂，去皮脐，一两 诃梨勒 煨，去核，三分 白术 锉，一两

右五味，捣罗为细末，醋煮面糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，加至三十丸，空心，食前米饮下，日三。

治胃气虚冷，腹胁胀满，痰逆，不思饮食，顺气汤方：

厚朴 去粗皮，姜汁炙 陈橘皮 汤浸，去白，焙 白术 锉，各一两 半夏 为末，姜汁制作饼，炙，半两 乾姜 炮，半两 甘草 炙，一两

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一中盏，入生姜三片，枣一枚擘，煎至七分，去滓，温服，不计时候。

治胃气虚冷，腹胀减食，诃梨勒汤方：

诃梨勒 五枚，炮，去核 大腹 锉，五枚 草豆蔻 去皮，一十四枚 甘草 炙 白术 人参 各半两

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，枣一枚擘，同煎至七分，去滓，食前温服。

治胃气虚冷，大便滑泄，脐腹多痛，茱拔丸方：

茱拔 高良姜 肉豆蔻 去壳 桂 去粗皮 缩砂 去皮 附子 炮裂，去皮脐 白术 锉 胡椒 诃梨勒 炮，去核，各一两

右九味，捣罗为细末，炼蜜丸如梧桐子大，每服二十丸，粟米饮下，空心食前。

治胃中虚冷，霍乱吐泻，烦热发渴，或下利赤白，丁香汤方：

丁香 皮 锉，二两 白术 锉，四两 甘草 炙，一两 乾姜 炮，半两 枇杷叶 拭去毛，二七片 草豆蔻 去皮，五枚

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入生姜三片，同煎至七分，去滓，食前温服。

治胃冷呕逆，厚朴汤方：

厚朴 去粗皮，涂生姜汁炙，一两 白术 桂 去粗皮，各三分 桃仁 去皮尖双入，麸炒 丁香 各半两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，入醋数滴，去滓，热呷。

治胃寒，胸膈虚满，面目浮肿，饮食不化，丁香汤方：

丁香 藿香叶 附子 炮裂，去皮脐，各一分 乾姜 炮，半分

右四味，锉碎，用水一升，煎取五合，去滓，徐徐呷尽。

治五饮酒癖，忪悸动气，心下否满，呕逆吞酸，背寒中冷，身体寒战，心腹注痛，可思饮食，腹内虚鸣，便往滑利，胃虚气弱，心下有冷痰者，最宜服饵，新法半夏散方：

旧名汤。

生姜 切作片子，盐淹一宿，焙乾，种十二两 甘草 八两，炙，锉 陈曲 二十四两，炒 草豆蔻 去皮，三两 陈橘皮 汤浸，去白，三两 丁香 二两 半夏 曲 一两半

右七味。捣罗为散，每服三钱匕，入盐少许，沸汤点服，不计时候。

治胃虚冷，中脘气满，不能传化，善饥不能食，温胃煮散方：

人参末 二钱 生附子末 半钱 生姜 一分，切碎 右三味，和匀，用水七合，煎至二合，以鸡子一枚，取清打转，空心顿服。

治胃气冷，不思食，人参附子汤方：

人参 一两 附子 炮裂，去皮脐，一两 桂 去粗皮，一两 乾姜 炮，三分 甘草 炙，一分半 半夏 汤洗七遍，焙，一两 枳壳 去瓢，麸炒 丁香 陈橘皮 去白，炒 白术 草豆蔻 去皮，各一两

右一十一味，锉如麻豆，每服三钱匕，生姜如钱大二片，水一盏，煎至七分，去滓温服。

治胃冷，不思食，痰逆多吐，茯苓汤方：

白茯苓 去黑皮，一两 半夏 汤洗七遍，焙，一两 人参 一两 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两半 丁香 半两 木香 半两 白术 一两 草豆蔻 去皮，二两 槟榔 锉，半两 桂 去粗皮，三钱 厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两半 枳壳 去瓢，麸炒，半两

右一十二味，锉如麻豆大，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，不拘时，去滓温服。

治胃虚冷，呕逆，豆蔻汤方：

草豆蔻 去皮，一两半 桂 去粗皮 生姜 去皮，切

附子 炮裂，去皮脐。各三分 甘草炙，锉 丁香 各半两
右六味，细锉，每服五钱匕，水一盞半，
枣一枚擘破，同煎至八分，去滓温服。

治胃冷呕逆，气厥不通方：

丁香母 三粒，椎碎 陈橘皮 一枚全者，汤浸，去白，
焙
右二味，用水一盞，煎取半盞，去滓热
呷。

胃实热

胃气盛实则壅涩不宣，蕴积生热，令人
口乾烦渴，面目悉黄，谵妄狂越，身热多汗，
腹胁坚满，大便秘难，皆其证也。

治胃气实热，唇焦口乾，引饮不止，赤
芍药汤方：

赤芍药 生乾地黄 焙。各一两 大黄 锉，炒
甘草炙。各半两

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，
煎至七分，去滓，温服，日再。

治胃气实热，口舌乾燥，头痛烦渴，黄
芩汤方：

黄芩 去黑心 柴胡 去苗。各一两 葛根 锉 赤
芍药 各三分 甘草炙。半两 石膏 碎，二两

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，
煎至七分，去滓，温服不拘时。

治胃气实热，头痛寒热，状如温疟，唇
口乾燥，黄芩栀子汤方：

黄芩 去黑心 栀子仁 犀角 镑 赤茯苓 去黑
皮 射干 各一两 大黄 锉，炒。半两

右六味，粗捣筛，每服五钱匕，水二盞，
煎至一盞，次入生地黄汁半合，蜜一匙，搅
匀，更煎数沸，去滓，食后温服。

治胃气实热，唇口乾燥，头昏体倦，五
心烦热，地骨皮汤方：

地骨皮 二两 防风 去叉 甘草炙。各一两

右三味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞
半，煎至一盞，去滓，食后温服。

治胃实热，烦渴，咽乾，吐逆，葛根汤
方：

葛根 锉。十两 甘草炙。三两 半夏 二两，生姜汁
半盞，浆水半升，同煮软。切，焙乾 黄连 去须。一两

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，
生姜二片，竹茹少许，同煎至七分，去滓，
温服不拘时。

治胃实热，乾呕烦闷，月黄躁渴，前胡
汤方：

前胡 去芦头。一两半 茅根 锉。二两 麦门冬 去
心，焙 甘草炙。各一两 黄芩 去黑心。半两

右五味，粗捣筛，每服二钱匕，水一盞，
煎至七分，去滓，温服，不拘时。

食亦

治胃热善食而瘦，病名食亦。乾地黄汤
方：

生乾地黄 麦门冬 去心，焙 瓜蒌根 各三两
甘草炙，锉 枳壳 去瓢，麸炒 黄芩 去黑心。各一两

右六乾^①，粗捣筛，每服五钱匕，水一
盞半，煎取七分，去滓温服，日二三。

胃寒肠热

病有腹胀而泄者，为胃寒肠热。胃受寒
则气收不行而为胀满；肠客热则水谷不聚而
为泄注。病本浊寒之气在上，清热之气在下，
故胀而且泄。

治胃寒肠热，腹胀满闷，泄泻不止，诃
梨勒汤方：

诃梨勒 去核。一两半 大黄 性，炒。半两 青橘
皮 汤浸，去白，焙。半两 乾姜 炮。一分 厚朴 去粗皮，
姜汁炙。半两 陈橘皮 汤浸，去白，焙。半两 高良姜 半
两 甘草 炮。一分 防风 去叉。一分 枳壳 去瓢，麸炒，
半两

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一
盞，入生姜、枣，煎至七分，去滓，温服，不
计时候。

治胃寒肠热，腹胀泄利，香橘丸方：

丁香皮 六钱 青橘皮 去白，焙。半两 硃砂 研细，
水飞。一分 木香 京三棱 炮，性 蓬莪术 炮，性

① 乾：圣济总录作“味”。

缩砂仁 桂 去粗皮 陈橘皮 去白，焙。各半两 巴豆
二十二枚，和皮同乌梅一处捣令匀烂 乌梅 和核用二两

右一十一味，捣罗为末，面糊和丸如绿豆大，每服十五丸，温生姜橘皮汤下，食后服。

治胃寒肠热，腹胀泄利，当归黄连丸方：

当归 锉，焙 黄连 去须。各二两 木香 吴茱萸 汤洗，焙乾，炒 赤茯苓 去黑皮 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 诃梨勒 炮，去核。各一两

右七味，捣罗为末，炼蜜和丸如梧桐子大，每服三十丸，食前米饮下，日三。

治胃寒肠热，腹胀泄痢，大腹皮^①木香汤方：

大腹 锉 木香 锉 半夏 汤洗七遍，焙。各二两 枳壳 去瓤，麸炒 白术 锉 前胡 去芦头 白芷 锉 桂 去粗皮 陈橘皮 汤浸，去白，焙。各一两 延胡索 当归 切，焙 甘草 炙，焙^② 旋覆花 柴胡 去苗 芍药 各半两 乾姜 炮 人参 各三分

右一十七味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生姜三片，枣三枚擘破，同煎至六分，去滓，稍热食前服。

治胃寒肠热，腹胀泄利，和胃丸方：

半夏 汤洗十遍，切作片子 牵牛子 炒。各半两 生姜 一两，切作片子 人参 矾蝴蝶 藿香叶 各半两 丁香 一钱

右七味，先将半夏、牵牛、生姜于银石器内，慢火煮，候水尽焙乾，与人参等药同杵为末，用生姜汁煮面糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，生姜米饮下，空心食前。

治胃寒肠热，腹胀泄利，调气温胃丸方：

半夏 二两，汤洗七遍，焙乾 肉豆蔻 去壳 桂 去粗皮 人参 各半两 诃梨勒皮 高良姜 各一各^③ 木香 陈橘皮 汤浸，去白，焙 蜜 枣肉 各一两 生姜 自然汁一盞，入蜜、枣熬为膏

右一十一味，将八味捣罗为末，用姜蜜枣膏和丸，如梧桐子大，每服十丸，米饮下，生姜汤亦得。

治胃寒肠热，腹胀泄利，厚朴丸方：

厚朴 去粗皮，姜汁炙，一两半 龙骨 诃梨勒 去

核 乾姜 炮 附子 炮裂，去皮脐 黄连 去须 白石脂 吴茱萸 汤洗，焙乾，炒。各一两

右八味，捣罗为末，醋浸炊饼和丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心煎茱萸汤下，米饮亦得，日三。

治胃寒肠热，腹胀泄利，妙应丸方：

乌头 去皮脐，生用，半两 梔子 去皮，一分 乾姜 生用，一分

右三味，捣罗为末，用生姜自然汁和丸，如梧桐子大，每服七丸，温酒下，食前日二。

胃热肠寒

肠胃相通，疾病相连，人因饮食不节，寒温失宜，致肠胃受邪，有冷有热，疾证俱见者，则善饥，小腹痛胀，为胃热肠寒之病，胃热则消谷，故善饥；肠寒则血凝脉急，故小腹痛。又寒则气聚，故痛而且胀。

治胃热肠寒，善饥，小腹痛胀，芍药丸方：

芍药 人参 赤茯苓 去黑皮 厚朴 去粗皮，姜汁炙。各二两 陈橘皮 汤浸，去白，焙 木香 桂 去粗皮 桔梗 各一两，炒

右八味，为细末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服二十丸，食前米饮下，日二。

治胃热肠寒，善食数饥，小腹胀痛，立通丸方：

京三棱 炮，锉 黄连 去须 青橘皮 汤浸，去白，焙 蓬莪术 炮。各一两 巴豆霜 一分

右五味，为细末，面糊和丸，如绿豆大，每服五丸，食后，茶酒任下。

治胃热肠寒，食已善饥，小腹痛胀，沉香散方：

沉香 锉 白檀香 锉 乌药 锉 山芋 甘草 炙，锉 白茯苓 去黑皮 京三棱 炮，锉 前胡 去芦头 桔梗 炒。各一两 人参 二两

右一十味，捣罗为细散，每服一钱匕，

① 皮：圣济总录无此字。

② 焙：圣济总录作“锉”。

③ 各：圣济总录作“分”。

入盐少许，沸汤点服，不拘时。

治胃热肠寒，善食数饥，少腹胀胀，乾地黄汤方：

熟乾地黄 人参 白茯苓 去黑皮 麦门冬 去心，焙 枇杷叶 拭去毛 地骨皮 甘草 炙，锉 石斛 去根 黄耆 细锉

右九味，各等分，粗捣筛，每服一钱匕，水一盏半，煎至七分，去滓，一服不拘时。

治胃热肠寒，食已辄饥，小腹胀胀，调中汤方：

人参 白茯苓 去黑皮。各十两 紫河车 甘草 各二两，生

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎七分，去滓，空心，食前温服。

治胃热肠寒，食已复饥，少腹胀胀，京三棱煎丸方：

京三棱 三两，杵末，取二两 硃砂 一两，飞过，以三棱同用米醋三升，煎成膏 当归 酒浸，切，焙 大黄 锉，炒 鳖甲 去裙襕，醋炙 五灵脂 炒 木香 沉香 锉。各半两 槟榔 锉 桂 去粗皮 乾漆 炒令烟尽。各三分 没药 马兰花 各一分 蓬莪茂 炮，一两

右一十四味，捣罗十二味为末，入三棱煎搜和，丸如绿豆大，每服七丸，空心，临卧温酒或盐汤下。

治胃热肠寒，食已复饥，小腹胀胀，分气黄耆汤方：

黄耆 细锉，半两 人参 白术 白茯苓 去黑皮 京三棱 锉。各一两 芍药 陈橘皮 汤去白，焙 麦门冬 去心，焙 诃梨勒皮 前胡 去芦头 桔梗 炒 柴胡 去苗。各半两 牡丹皮 甘草 炙，锉 芍药 各三分

右一十五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜二片，煎至七分，去滓，温服不拘时。

治胃热肠寒，食已复饥，小腹胀胀，前胡木香汤方：

前胡 去芦头 木香 柴胡 去苗 秦艽 去苗土 桂 去粗皮 茴香子 炒。各一两 槟榔 三枚，面裹煨熟 肉豆蔻 去壳，三枚 芍药 甘草 炙，锉 青橘皮 汤浸，去白，焙 甜葶苈 隔纸炒。各半两

右一十二味粗捣筛，每服四钱匕，水一盏半，生姜三片，煎至一盏，去滓温服。

治胃热肠寒，善食数饥，少腹胀胀，麦门冬汤方：

麦门冬 去心，焙 甘草 炙，锉。各二两 白茯苓 去黑皮 羌活 去芦头 旋复花 玄参 白术 芍药 柴胡 去苗 人参 升麻 当归 切，焙 桑根白皮 锉。各一两 胡黄连 一分 熟乾地黄 焙，一两半 木香 半两

右一十六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，入甘草一寸，同煎至八分，去滓，温服不拘时。

治胃热肠寒，冷热不匀，善食数饥，少腹胀胀，半夏汤方：

半夏 汤洗七遍，焙 麦门冬 去心，焙 人参 白茯苓 去黑皮 桔梗 炒 青橘皮 汤浸，去白，焙 柴胡 去苗 防风 去叉 前胡 去芦头 细辛 去叶苗 白芷 紫苑 去土 款冬花 各一两 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 枳壳 去瓢，麸炒。各一两半

右一十五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏半，生姜三片，煎至一盏，去滓，稍热服。

肺 虚

肺为华盖，覆于诸藏。若肺虚则生寒，寒则阴气盛；阴气盛则声嘶，语言用力，颤掉缓弱，少气不足，咽中乾无津液，虚寒乏气，恐怖不乐，咳嗽及喘，鼻有清涕，皮毛焦枯，诊其脉沉缓，此是肺虚之候，虚则宜补也。

治肺气不足，咳逆短气，寒从背起，口中含霜雪，语无音声而渴，舌本乾燥，甚者咳唾脓血，补肺汤方：

五味子 一两 白石英 钟乳 各三两 竹叶 橘皮 桑白皮 各二两 杏仁 去皮尖双仁，炒研。各一两半 白茯苓 去黑皮 紫苑 去苗土 桂 去粗皮 款冬花 各一两 紫苏子 炒 麦门冬 去心，焙。各二两

右一十三味，将十味粗捣筛，与杏仁、

白石英、钟乳通研令匀，每服三钱匕，水二盏，竹茹弹子大，粳米半匙，生姜一枣大拍碎，枣二枚擘破，同煎至一盏，去滓，温服，日再夜一。

治肺虚短气，咳嗽唾脓血，不得卧，人参汤方：

人参 桂 去粗皮，各二两 阿胶 炙令燥 紫菀 去苗土，各一两 桑根白皮 锉，炒，八两 熟乾地黄 切，炒，四两

右六味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，生姜一枣大拍碎，饴糖一枣大，煎至八分，去滓，温服，日三夜一。

治肺虚喘咳少气，补肺丸方：

钟乳粉 人参 白石英 各半两 阿胶 炙令燥 五味子 各一两 甘草 炙，锉，三钱 细辛 去苗叶，二钱

右七味，捣研为末，面糊丸如梧桐子大，每服十五丸至二十丸，甘草汤下。

治肺气不足，胸中痛牵背，上气失声，桑白皮汤方：

桑根白皮 锉，炒 款冬花 麦门冬 去心，焙 甘草 炙，锉 乾姜 炮，各一两 桂 去粗皮，二两 五味子 白石英 研，各一两一分

右八味，将七味粗捣筛，与白石英同拌令匀，每服三钱匕，水一盏，枣五枚擘破，煎至六分，去滓，温服日三，不拘时。

治肺虚失声，胸中痛，上气息鸣，钟乳丸方：

钟乳 研，一两一分 五味子 一两半 白石英 研 款冬花 麦门冬 去心，焙 乾姜 炮 桂 去粗皮 桑根白皮 锉，炒，各二两

右八味，将六味捣罗为末，与钟乳、白石英通研令匀，以枣肉研膏丸，如梧桐子大，每服十五丸，粥饮下，日三不拘时。

治肺虚寒，咳嗽，下利，少气，补虚汤方：

半夏 汤洗七遍，焙 乾姜 炮，各三两 白茯苓 去黑皮 甘草 炙，锉 厚朴 去粗皮，生姜汁炙 五味子 各二两 黄耆 二两半 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两半

右八味，锉如麻豆大，每服五钱匕，水

一盏半，煎至八分，去滓温服。

治肺藏气虚，胸中短气，咳嗽声微，四肢无力，补肺阿胶散方：

阿胶 炙令燥 山芋 人参 白术 五味子 麦门冬 去心，焙，各一两 乾姜 炮，半两 杏仁 汤浸，去皮尖双仁，炒 桂 去粗皮，各三分

右九味，捣罗为散，每服三钱匕，粥饮调下，不拘时，日三。

治肺气虚寒，咳逆，下利，少气，人参茯苓丸方：

人参 白茯苓 去黑皮 白术 各二两半 桂 去粗皮 乾姜 炮 当归 切，炒 甘草 炙，锉 芎藭 黄耆 锉，各二两 陈橘皮 汤浸，去白，焙，一两半

右一十味，捣罗为末，炼蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，空心酒下，生姜汤亦得，稍加至五十丸，日二。若利甚，加厚朴去粗皮二两半。

治脾气亏乏，不能生肺，而肺气不足，多感风邪。益脾补肺，厚朴汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙，一两 人参 草豆蔻 去皮，各半两 乾姜 炮，一钱半 甘草 炙，锉，一分

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至八分，去滓，空心温服。

治肺气虚冷，胸中气微，不能太息，形体怯寒，鼻多清涕，九味汤方：

厚朴 去粗皮，生姜汁炙 陈橘皮 汤浸，去白，焙 白术 诃梨勒皮 防风 去叉 甘草 炙，锉 桂 去粗皮 黄耆 锉 细辛 去苗叶，各一分

右九味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜三片，煎至九分，去滓，空心温服。

治肺藏气虚，触冒风冷，呼吸邪气，喘促痞闷，眠睡不得，定喘款气丸方：

苦葶苈 纸裹炒，二两 马兜铃根 一两 麻黄 去根节 桑根白皮 锉，各一分

右四味，捣罗为末，用蒸枣肉和丸，如梧桐子大，每服三十丸，食后，煎阿胶皂子汤下。

治肺气虚乏，胸喉中乾，橘皮汤方：

1 丸。圣济总录此下有“至”字。

陈橘皮 汤浸，去白，炒。麻黄 去根节。各一两

右二味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，小麦半匙，煎至小麦熟，去滓温服，日三，不拘时。

治肺气不足，咳唾脓血，气短不得卧，麻子汤方：

麻子 一升 桂 去粗皮 人参 各二两 阿胶 炙令燥
紫苑 去苗土 各一两 熟乾地黄 四两 桑根白皮 性，一斤

右七味，咬咀如麻豆大，每服五钱匕，酒一盏，水一盏，生姜一枣大拍碎，煎至一盏，去滓，入饴糖少许，再煎令沸，温服。

治肺虚，声嘶气乏，地黄煎方：

生地黄汁 五两 蜜 生姜汁 各三合 沙糖 一两半
升麻 细锉，绵裹同煎 杏仁 去皮尖双仁，研成膏，各二两 人参 为末，三两

右七味，先将六味于铜器中微火煎，频搅，以地黄等汁尽为度，乃去升麻，下人参末，搅匀，候冷，收置瓷合中，密盖，每服一枣大，含化，日夜各三服。

治肺虚寒损，腰背苦痛，难以俯仰，短气，唾稠如脓，温中下气，杜仲汤方：

杜仲 去粗皮，酥炙，性 白术 各一两一分 萆薢 桂 去粗皮，各一分 甘草 炙，性 附子 炮裂，去皮脐，各三分

右六味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盏半，枣二枚擘破，生姜一枣大拍碎，煎至八分，去滓温服，食前后各一。

治肺虚，声音不出，三味丸方：

桔梗 一两，切，用蜜拌，于饭上蒸三日 诃梨勒 去核，四个，二个生，二个炮，趁热捣 甘草 半两，半生，半炙

右三味，捣罗为末，每服二钱匕，用马勃同沙糖少许，拌和为丸，含化咽津。

治肺虚，通身汗出不止，补正汤方：

白药 二两 甘草 炙，性 芍药 各一两

右三味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服。

治肺藏虚寒，喘嗽气短，五味子汤方：

五味子 马兜铃 麻黄 去根节 甘草 炙，性

各一两

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，沙糖少许，同煎至七分，去滓，食后临卧温服。

治肺藏虚寒，痰咳逆，嗽，胸满多涕，紫苑汤方：

紫苑 去苗土 五味子 各一两 贝母 去心，炒，一分 升麻 天门冬 去心，焙，各半两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜三片，枣一枚擘，煎至七分，去滓，温服不拘时。

治肺气不足，烦满喘嗽，冲逆上气，睡中有血，心自惊恐，皮肤粟起，呕逆歌笑，心烦不定，耳中虚鸣，面色常白，宜此补肺汤方：

白石英 研 钟乳 研，各一两 天门冬 去心，焙 款冬花 炒 桂 去粗皮 桑根白皮 性，炒 五味子 炒 紫苑 去苗土 人参 各二两

右九味，粗捣筛，每服五钱匕，以水一盏半，入大枣二枚擘，糯米百粒，生姜一分切，同煎取七分，去滓，食后顿服。

治肺虚，咳嗽气喘，麦门冬丸方：

麦门冬 去心，焙，二两半 蜀椒 去目并合口者，炒出汗，一两 远志 去心 附子 炮裂，去皮脐 乾姜 煨，各一两半 人参 细辛 去苗叶，各一两三分 桂 去粗皮，各二两 百部 黄耆 性，炒，各一两一分 杏仁 三十枚，去皮尖，炒

右一十一味，捣罗为末，炼蜜丸，如弹子大，每服含化一丸，咽津。

肺 实

右手关前寸口阴实者，肺实也，苦上气，胸中满，膨膨与肩相引。扁鹊曰：肺实热则喘逆，胸凭仰息。手太阴经，为热气所加，故为肺实之病，甚则口赤张，引饮无度，体背生疮，以至股膝踠胫皆痛，法宜泻之。

治肺气盛实，其气上蒸，发嗽多痰，心胸烦躁，往往咯血，黄耆煮散方：

1 咳逆：圣济总录作“逆咳”

黄耆 锉 桑根白皮 锉 杏仁 去皮尖双仁，炒
紫苑 去苗土 黄芩 去黑心 麻黄 去根节 麦门冬 去心，
焙 升麻 贝母 去心 羌活 去芦头 蛤蚧 酥炙，各一
分 胡黄连 一钱

右一十二味，捣罗为散，每服三钱匕，水一盞，生姜一枣大拍碎，煎至九分，去姜，食后临卧温服。

治肺实热，喘逆胸满，仰息气急，麻黄汤方：

麻黄 去根节，煎掠去沫，焙 半夏 汤洗七遍，焙 桑根白皮 锉，各二两半 杏仁 去皮尖双仁，炒，三两 石膏 碎，五两 赤茯苓 去黑皮，二两 紫苑 去土，一两半

右七味，锉如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，入生姜半分切，竹叶二七片，煎至八分，去滓温服。

治肺实热，喘逆胸满，仰息气急，地骨皮汤方：

地骨皮 五两 白前 二两 石膏 研，六两 杏仁 去皮尖双仁，炒，三两 桑根白皮 锉，四两

右五味，锉如麻豆大，每服六钱匕，水二盞，入竹叶十片，煎至一盞，去滓温服。

治肺藏热实喘嗽，葶苈丸方：

甜葶苈子 纸上炒 大黄 蒸熟，锉，各一分 杏仁 二七枚，去皮尖双仁，灯上燎熟

右三味，捣研为末，用枣肉丸如梧桐子大，每服五丸至七丸，食后临卧，生姜乌梅汤下。

治肺气盛实，上焦不通，面目浮肿，大便燥，桔梗汤方：

桔梗 炒 大黄 锉，炒 麻黄 去根节 枳壳 去瓤，麸炒 大腹皮 锉 柴胡 去苗 杏仁 去皮尖双仁，炒 羌活 去芦头 木香 各一分

右九味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，生姜一枣大拍碎，煎至七分，去滓，食后临卧温服。

治肺热实，凡右手寸口气口以前，脉阴实者，苦肺胀汗出气喘逆，咽中寒，如欲呕状，名肺实。肺实则胸满，仰息泄气，除热枸杞汤方：

枸杞根皮 锉，炒 石膏 碎，各四两 陈橘皮 汤浸，去白，焙 白术 各二两半 白前 杏仁 去皮尖双仁，炒，各一两半

右六味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，入蜜半匙，再煎令沸，食后温服，日三。

治肺热实，嗽卒气促急，妨闷，喘息不稳，马兜铃汤方：

马兜铃 七颗 桑根白皮 锉，三两 升麻 一两 甘草 锉，炙，二两

右四味，锉如麻豆大，每服五钱匕，水二盞，煎至一盞，去滓温服。

治肺藏热实，涕唾稠粘，喉咽不利，黄芩汤方：

黄芩 去黑心 黄耆 锉 柴胡 去苗 秦艽 去土 赤茯苓 去黑皮 人参 梔子仁 各一两 甘草 炙，锉 升麻 地骨皮 各半两

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至六分，去滓，食后温服。

肺 胀

肺胀者，手太阴经是动病也。邪客于肺脉，气先受之，其证气胀满，膨膨而喘咳，缺盆中痛，甚则交两手而督，是为肺胀也。脉经谓：肺胀者，虚而满喘，咳逆倚息，目如脱，其脉浮是也。

治肺胀，咳逆倚息喘，目如脱，脉浮大，越婢加半夏汤方：

半夏 半升，汤洗七遍，去滑 麻黄 去根节，汤煮掠去沫，六两 石膏 碎，半斤 甘草 炙，二两

右四味，咬咀如麻豆，每服五钱匕，水二盞，入生姜五片，枣二枚擘破，同煎至一盞，去滓，温服，日三。

治肺胀，咳而上气，咽燥而喘，脉浮者，心下水，麻黄汤方：

麻黄 去根节，汤煮掠去沫，焙 细辛 去苗叶 芍药 桂 去粗皮，各三两 半夏 汤洗七遍，去滑 五味子 各半升 石膏 四两碎

右七味，咬咀如麻豆，每服五钱匕，水

二盏，入生姜五片，同煎，取一盏，去滓温服。

治肺胀，咳而上气，烦躁而喘，脉浮者，心下水，小青龙加石膏汤方：

石膏碎，二两 麻黄 去根节，汤煮掠去沫 芍药 桂 去粗皮 细辛 去苗叶 甘草 炙，锉 乾姜 炮，各三两 五味子 半夏 汤洗去滑七遍，各半升

右九味，咬咀，如麻豆，每服五钱匕，水二盏煎至一盏，去滓，温服，日三，小儿量减。

治肺气胀满，咳嗽痰壅，四肢萎弱，积渐虚羸，半夏饮方：

半夏 生姜汤洗七遍，去滑 麦门冬 去心，焙，各一两半 升麻 前胡 去芦头，各一两 槟榔 锉，二枚 陈橘皮 汤浸，去白，焙 大黄 蒸三度，炒，各半两 篋竹叶 三十片，水洗 生地黄 三两

右九味，咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，水二盏，入生姜二枣大拍碎，同煎至一盏，去滓温服，日再。

治肺气胀，心腹满闷，槟榔汤方：

槟榔 两枚，锉 诃梨勒 两枚，去核 陈橘皮 汤浸，去白，焙，三分 甘草 炙，半两 桑根白皮 一两三分 豉 去皮，半合

右六味，咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，水二盏，入生姜一枣大拍碎，葱白五寸切，同浸一宿，次日煎至一盏半，去滓温服。

治嗽喘肺胀，不得眠卧，气急欲绝，紫菀汤方：

紫菀 去苗土，焙乾，一两半 甘草 炙，锉，二两 槟榔 七枚，锉 赤茯苓 去黑皮，二两 葶苈子 炒，一两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服，日三，以快利为度。

治肺胀，石膏汤方：

石膏 麻黄 去根节，汤煮掠去沫 桑根白皮 锉，炒 甘草 炙，锉 款冬花 去梗，焙 熟乾地黄 炒，各一两 麦门冬 去心，焙 桔梗 炒，各半两

右八味，粗捣筛，每服三钱匕，入竹叶少许，水一盏，煎至七分，去滓温服，日三夜一。

治肺胀，皱肺丸方：

五灵脂 研，二两 柏子仁 半两 胡桃 八枚，去壳，研

右三味，研成膏，滴水为丸，如小豆大，煎木香甘草汤，下十五丸。

治肺乘风邪，气胀不利，上气逆喘，杏仁丸方：

杏仁 汤浸，去皮尖双仁，炒 马兜铃 蝉蜕 各半两 砒霜 研，一分

右四味，捣研为末，煮枣二十枚，去皮核，烂研和丸，如梧桐子大，每服一九至二九，空心，薄荷汤下。

肺 消

内经谓：心移寒于肺为肺消。肺消者，饮一溲二，死不治。夫病必有传，传有顺逆，传其所生者顺，顺则易治；传其所胜者逆，逆则难治。心受邪，传之于肺，是为逆。盖寒随心火内铄金精，肺藏销铄，气无所持，故其证饮少而溲多也。当始病之时，宜去其寒邪，使不得乘心火而移害于肺。至于肺消，则当补肺金，平心火而疾可愈。

治肺消，饮少溲多，黄耆汤方：

黄耆 三两 五味子 人参 麦门冬 去心，焙 桑根白皮 各二两 枸杞 熟乾地黄 焙，各一两一分

右七味，咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，以水二盏，煎取一盏，去滓温服，日三。

治肺消，饮少溲多，菟丝子散方：

菟丝子 酒浸一宿，捣烂，焙乾，一两 蒲黄 黄连 去须，各一两半 消石 研，半两 肉苁蓉 酒浸，去粗皮，切，焙，一两 五味子 鸡臍脰黄皮 炙，各一两半

右七味，为细散，每服三钱匕，空腹，暖酒调下，日二。

治肺消，饮少溲多，黄耆汤：

黄耆 土瓜根 各二两半 萆薢¹ 地骨皮 五味子 各二两 人参 石膏碎 牡蛎 煅，各一两半

右八味，咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，

1 萆薢：圣济总录作“薤白”

2 半两：圣济总录作“两半”

水二盏，煎至一盏，去滓温服，空心，日午各一。

治肺消，乾姜甘草汤方：

乾姜炮，四两 生乾地黄焙 麦门冬去心，焙 茯苓子炒 桂去粗皮 续断各二两 甘草炙，一两

右七味，㕮咀，如麻豆大，每服五钱匕，水二盏，煎至一盏，去滓温服，空心食前，日三。

肺 中 寒

内经曰：肺恶寒，形寒饮冷则伤肺。盖肺之脉，循环胃口，苟为寒邪所中，则有咳而鼻塞、唾浊涕、语声嘶破、洒淅恶寒之证。

治肺感寒气，咳唾稠浊，华盖汤方：

紫苏子炒 麻黄去根节，先煮掠去沫，焙 杏仁汤浸，去皮尖双仁，炒 陈橘皮汤浸，去白，焙 桑根白皮细锉 赤茯苓去粗皮，各一两 甘草半两，炙

右七味，捣为粗末，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服，食后。

治肺感寒气，补肺白石英丸方：

白石英研 磁石煨，醋淬，研 阳起石研 肉苁蓉酒浸，切，焙 菟丝子酒浸软，捣烂，焙 熟乾地黄各一两半 石斛去根 白术 五味子 栝蒌根各一两 巴戟天去心，一两一分 桂去粗皮 人参各一两 蛇床子半两 防风去叉，一两一分

右一十五味，捣研为末，炼蜜和丸，梧桐子大，每服十五丸，空心，温酒下，米饮亦得。

治肺感寒气，咳唾浊沫，语声不出，有妨饮食，神思倦怠，紫苏子汤方：

紫苏子 麻黄去根节，煮掠去沫，焙 杏仁去皮尖双仁，麸炒 陈橘皮去白，焙 桑根白皮锉 赤茯苓去粗皮 陈曲炒 桔梗炒 百合各一两 甘草炙，半两

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，绵滤至清，通口热细呷，临卧再服。

治肺气感寒，先觉发嚏，次加喘急，麻黄汤方：

麻黄去根节，先煮掠去沫，焙¹ 陈橘皮去白，焙，各半两 桔梗炒 防风去叉 芎藭 紫苑去苗土 羌活去芦头 杏仁汤浸，去皮尖双仁，麸炒 甘草炙 细辛去苗叶，各一分

右一十味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜二片，同煎取七分，去滓，稍热徐徐服，不拘时候。

治肺中寒，涕唾稠浊，五味子汤方：

五味子 紫苑去苗土 桂去粗皮 麻黄去根节 甘草炙 各一两 细辛去苗叶 乾姜炮，各半两

右七味，粗捣筛，每服四钱匕，以水一盏，入大枣二枚，擘破，煎取七分，去滓温服，食后日三。

治肺中寒，咳呕浊唾不止，款冬花汤方：

款冬花 桑根白皮锉 人参 前胡去芦头 杏仁去皮尖双仁，麸炒 甘草炙 桔梗炒 半夏汤浸七遍，去滑 细辛去苗叶，各半两 陈橘皮汤浸，去白，三分

右一十味，粗捣筛，每服四钱匕，以水一盏，入生姜五片，煎取七分，去滓温服。

治肺中寒，咳唾浊沫，温肺散方：

细辛去苗叶，二两 甘草炙 乾姜炮 五味子 白茯苓四两

右五味，捣罗为细散，每服一钱匕，沸汤调下，食后临卧服。

治肺藏本热，因伤于风，寒壅相交，痰唾稠浊，发而成嗽，服凉药其嗽愈加，橘皮汤方：

陈橘皮汤浸，去白，炒²，半两 麻黄去根节，先煮掠去沫 羌活去芦头 防风去叉 芎藭 紫苑去苗土 桔梗各一分 细辛去苗叶，一钱半 甘草二钱，炙

右九味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，生姜二片，同煎取七分，去滓温服，不拘时候。

治肺气虚弱，中风寒，咳唾不止，参附散方：

人参一两半 附子炮裂，去皮脐 麻黄去节，先

¹ 焙：圣济总录此下有“炒”字。

² 炒：圣济总录作“焙”。

煮掠去沫，焙 乾姜炮 细辛去苗叶 防己 甘草炙，各一两 五味子 独活去芦头，各一两半

右九味，捣罗为散，每服一钱匕，温酒调下。

治肺中寒，咳唾喘息，桂心汤方：

桂去粗皮，二两半 麻黄去节，煮掠去沫，焙，半两 甘草炙 款冬花焙 杏仁汤浸，去皮尖双仁，麸炒，各一两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓温服，日三。

治肺中寒气，头痛咳逆，涕唾稠浊，鼻塞短气，麻黄饮方：

麻黄去根节，汤掠¹⁾去浮沫 前胡去芦头 白前桑根白皮锉 杏仁去皮尖双仁，炒，各一两半

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，葱白三寸切，煎至七分，去滓温服。

肺 气 喘 急

肺气喘急者，肺肾气虚，寒湿至阴之气所为也。肺为五藏之盖，肾之脉入肺中，故下虚上实，则气道奔迫，肺叶高举，上焦不通，喘急不得安卧。又内经谓：水病下为跗肿大腹，上为喘呼不得卧者，标本俱病也。

治肺气喘急，坐卧不得，鸡臙脰丸方：

鸡臙脰二七枚，洗，焙 半夏一分，汤洗去滑七遍 牵牛子半两，瓦上煨令焦 甜葶苈半两，炒 砒霜半分，细研，每夜露至七宿，收于床下 铅丹治如砒霜法，半两

右六味，细捣研为末，用炊枣肉和丸，如绿豆大，丹砂为衣，食后临卧，葱与腊茶汤下七丸，甚者加至十丸。

治肺气喘急烦闷，或时咳嗽，通膈汤方：

射干 桑根白皮炙，锉，一两 麻黄去根节，汤煮掠去沫，焙 甘草炙，各一分 槟榔锉 草豆蔻仁各半两 郁李仁麸炒，去皮，一两

右七味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入生姜一枣大拍碎，同煎至七分，去滓，食后温服。

治肺气喘急，坐卧不得，泽漆汤方：

泽漆一两 桑根白皮锉 赤茯苓去黑皮，各一

两半 木通锉 陈橘皮汤浸，去白，焙，各三分 紫苑去土，一两半 紫苏叶一两一分 甘草炙，半两 大腹并子三颗

右九味，锉如麻豆大，分六贴，每贴水三盞，入生姜一分，煎取二盞，去滓，分三服，一日尽。

治肺气喘急，咳嗽，胸中塞满，紫苑汤方：

紫苑去苗土 桑根白皮锉，各一两半 款冬花一两 萎蕤一两一分 柴胡去苗，一两半 桔梗炒，一两一分 甘草炙，半两 升麻一两一分 射干一分

右九味，锉如麻豆大，分六贴，每贴水三盞，入生姜一分，煎取二盞，去滓，分三服，一日尽。

治肺气喘急，坐卧不得，蜀椒丸方：

蜀椒去目并闭口，炒出汗，一两 乾姜炮，半两 猪牙皂荚去皮，涂酥炙，一两 葶苈子隔纸炒，三分

右四味，捣罗为末，以枣肉和丸，如梧桐子大，每服三丸，煎桑根白皮汤下，不拘时候。

治肺气喘急，四肢乏力，饮食无味，润肺汤方：

杏仁汤浸，去皮尖双仁，炒，一两 麻黄去根节，汤煮掠去沫，焙乾，二两 甘草炙，一两 紫苏子炒，一分 贝母炒，去心，一两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，入乾柿一枚切，煎至六分，去滓温服，空心，日午临卧各一。

治肺气上喘，不以久新，如圣饮方：

麻黄去根不去节，寸截，沸汤掠去沫，暴乾，六两 甘草炙，一两 桂去粗皮，半两 杏仁汤浸，去皮尖双仁，四十九枚

右四味，锉如麻豆，以水五盞，银石器内慢火煎，取三盞，澄清，放温，每服半盞，服罢去枕仰卧，其喘立止，余药以净瓶盛，外以温汤养之，旋旋服。

治肺气喘急，坐卧不安，泻肺汤方：

桑根白皮锉 甜葶苈隔纸炒

右二味等分，粗捣筛，每服三钱匕，水

1) 掠：圣济总录作“煮”。

一盞，煎至六分，去滓，食后温服，微利为度。

治肺气喘急，麻黄生姜汤方：

麻黄 去根节，煎掠去沫，焙，一两 五味子 甘草炙，各二两 杏仁 去皮尖双仁，八十枚 淡竹叶 切，一升 石膏 研，六两

右六味，咬咀如麻豆，每服六钱匕，以水二盞，煎取一盞，去滓温服，日三。

治肺气喘促不定，喉中有脓，甘草桔梗汤方：

甘草炙，半分 桔梗 炒，三分

右二味，锉如麻豆，以水二盞，煎至一盞，分二服，空心早食前各一。

治久患肺气喘急，喉中作声，上焦壅热，黄芩汤方：

黄芩 去黑心 杏仁 去皮尖双仁，炒 麻黄 去根节，汤煮掠去沫，焙 羌活 去芦头 人参 升麻 桔梗 炒，各三分 黄连 去须，一钱半 蛤蚧 酥炙，半两

右九味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎三五沸，去滓，食后临卧服，未愈，更服后葶苈丸。

葶苈丸方：

葶苈子 隔纸炒，半两 铅丹 细研 砒霜 夜间露七夜收，研细 半夏 汤洗七遍，去滑，焙 羌活 去芦头 杏仁 去皮尖双仁，炒 马兜铃 各一两¹

右七味，除砒霜、铅丹外，捣罗为末，研令极细，枣肉丸，如绿豆大，丹砂为衣，食后葱茶汤下三丸，气实者，加至五七丸。

治肺喘，四神汤方：

麻黄 去根节，汤浸去沫，一两 杏仁 去皮尖双仁，麸炒，二十五枚 甘草炙，半两 五味子 一两

右四味，咬咀如麻豆，每服五钱匕，水二盞，煎至一盞，去滓，温服，讫，仰卧少许。

治久患肺气喘急，坐卧不得，涎唾稠黏，水蓼散方：

水蓼 覆盆子 五味子 京三棱 炮 茴香子 炒 皂荚子 炮 桑斜 各一两 甘草炙，二钱

右八味，捣筛为散，每服四钱匕，水一大盞，煎七分，去滓温服。

治肺藏喘急，胸膈壅滞，大肠不利，桂皮散方：

桂 去粗皮 陈橘皮 汤浸去白，焙，各一两 白槟榔 锉，一两半 牵牛子 半生，半熟，二两

右四味，捣罗为散，每服三钱匕，温酒调下，空心食前服，日二。

治肺气远年不差，猪脰散方：

猪脰壹具 去脂，细切 膩粉 一两

右二味，入瓷瓶内固济，上留小窍，煨烟尽，细研，每服二钱匕，空心，浆水调下。

治肺喘气短，清肺散方：

蒲葇叶 蒲葇叶微似棠叶，尤柔厚背白，似熟羊皮，经冬不凋，花正如丁香蒂，极细如丝，倒垂之，风吹则摇摇然，冬末生花，至春乃敷实，一如山茱萸，味酸可啖，与麦齐熟，其木甚大，吴人名半含，江南名曰棠，京师名曰纸钱棠球，襄汉名黄囊棠。

右一味，捣罗为细末，每服二钱匕，温水调下，发时服。有人患喘三十年者，服之皆愈。疾甚者，服药后，胸上生小癰疹痒者，其疾则差。一方用人参等分。

肾虚多唾

水饮非升降不能传导，非阳气不能消烁。肾虚多唾者，缘肾藏不足，阳气虚微，而又阴寒凝结，停滞于胸膈之间，不能消烁水饮，上溢于齿牙，故喜唾也。

治肾虚，使人痰唾不休，五味子丸方：

五味子 白茯苓 去黑皮 前胡 去芦头，各一两 半夏 汤浸七遍，去滑，焙 麦门冬 汤浸，去心，焙 山茱萸 各半两 贝母 三分

右七味，捣罗为末，炼蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，食前生姜汤下，日二服。

治肾虚多唾，乾地黄汤方：

熟乾地黄 焙 鹿茸 去毛，酥炙 巴戟天 去心 枸杞子 丹参 五加皮 各二两 车前子 一两 桂 去粗皮，三分 防风 去叉，一两

右九味，咬咀，如麻豆，每服四钱匕，水二盞，煎取一盞，去滓，通口服。

治肾藏壅塞，唾液不休，心胸痞闷，半

¹ 一两：圣济总录作“分”。

夏丸方：

半夏 汤洗七遍，去滑，捣罗为末，用生姜自然汁和作饼，焙乾。三两 前胡 去芦头，一两 赤茯苓 去黑皮 槟榔 锉碎 陈橘皮 汤浸，去白，焙 诃梨勒皮 枳壳 去瓤，麸炒 人参 桔梗 炒 五味子 各半两 附子 炮裂，去皮脐，一两

右一十一味，捣罗为末，水煮面糊丸，梧桐子大，每服二十丸至三十丸，食后，温生姜汤下。

治肾藏虚壅多唾，头目昏眩，顺三焦气，利胸膈，进饮食，前胡汤方：

前胡 去芦头，一两 白茯苓 去黑皮，三分 木香 半两 大腹 一两 附子 炮裂，去皮脐，三分 桔梗 半两，炒 枳壳 去瓤，麸炒，半两 五味子 一两 甘草 炙，锉，半两 半夏 半两，生姜自然汁四两，浆水一升，于银器内慢火煮，令水尽，切焙

右一十味，锉如麻豆，每服五钱匕，水二盏，入生姜三片，同煎至一盏，去滓，稍热，食前服。

治肾虚多唾，诃梨勒丸方：

诃梨勒 炮，去核 半夏 汤洗七遍，去滑，焙 杏仁 去皮尖双仁，炒，别研取青入 陈橘皮 汤浸，去白，焙 桔梗 炒 泽泻 锉 五味子 槟榔 生，锉，各一两

右八味，捣罗七味为末，入杏仁和匀，生姜汁煮面糊丸，如梧桐子大，每服二十丸，淡生姜汤下。

治虚损短气，咽喉凝唾不出，如胶塞喉，茯苓汤方：

白茯苓 去黑皮 人参 各二两 前胡 去芦头，一两 甘草 炙，一两 麦门冬 去心，五两 生乾地黄 桂 去粗皮 芍药 各一两

右八味，咬咀如麻豆大，每服五钱匕，以水一^①盏，入大枣二枚，擘破，煎取八分，去滓温服，日二。

骨 虚 实

肾生骨髓，骨髓者，肾气之余，其气虚，则骨弱酸疼，倦而无力，其气实，则骨热苦烦，津液内燥，当随证以治之。

治骨虚，酸疼多倦，补骨脂汤方：

补骨脂 炒 附子 炮裂，去皮脐 人参 肉苁蓉 酒浸，切，焙 五味子 去梗，各一两

右五味，咬咀如麻豆，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，临熟入酒二分，搅匀去滓，温服食前。

治骨髓虚冷酸疼，苁蓉汤方：

肉苁蓉 酒浸，切，焙 菟丝子 酒浸一宿，焙乾，别捣 人参 黄耆 锉 木香 附子 炮裂，去皮脐 补骨脂 炒，各一分

右七味，咬咀如麻豆，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服，食前。

治骨髓虚冷，疼痛无力，地黄散方：

生地黄 八斤，洗，锉 豉 二升

右二味，同于甑上炊两次，暴乾为散，每服^②□钱匕，温酒调下不拘时。

治骨髓虚冷，疼痛倦怠，芍药虎骨散方：

芍药 一斤 生地黄 五斤，洗 虎骨 四两

右三味，咬咀，以清酒一斗，渍三宿，暴乾，复入酒中，渍一宿，暴乾，再渍再暴，酒尽即止，暴乾捣罗为散，每服二钱匕，温酒调下，不拘时。

治骨髓虚冷痛，地黄酒方：

生地黄 一石，洗，切

右一味，木臼中捣取自然汁，绞去滓，用酒二斗，和匀，同于瓷石器中，煎熟为度，瓷器盛贮，每服温饮一盏，不拘时候。

治骨实，苦疼烦热，四物汤方：

葛根 取汁 生地黄 取汁 麦门冬 取汁 蜜

右四味，各半盏和匀，分三服，每服用水半盏，同煎至六分，温服食前。

治骨实热烦痛，地骨皮汤方：

地骨皮 柴胡 去苗 甘草 炙，锉 各四 胡黄连 一分

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盏，煎至七分，去滓温服。

治骨实烦热，秦艽汤方：

① 圣济总录作“二”

② 服：此下脱字，圣济总录作“二”

秦艽 去苗土，半两 甘草 炙，锉 前胡 去芦头
柴胡 去苗。各一两

右四味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，温服食前。

治骨极虚寒，面肿垢黑，腰脊痛，不能久立屈伸，梦寐惊悸上气，小腹急痛，腰背四肢常冷，小便白浊，人参饮方：

人参 五味子 熟乾地黄 焙 赤芍药 麦
门冬 去心，焙 甘草 炙，锉 当归 切，焙，各一两半 乾
姜 炮 芎藭 黄芩 去黑心 远志 去心 白茯苓 去
黑皮 桂 去粗皮 各一两

右一十三味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，羊肾一只，去筋膜，切，同煎至八分，去滓，不拘时温服。

髓 虚 实

骨髓之病应肝胆。若其府藏有病从髓生，热则应藏，寒则应府，故髓虚者，脑痛不安，身常清慄；髓实者，身体烦躁，勇悍惊热，当随证以治之。

治髓虚寒，地黄煎方：

生地黄 五斤，洗，焙 补骨脂 人参 各五两

右三味，捣罗为末，每用酒二升，药末二两，羊髓一具，去筋膜，一处细研，慢火熬稠，瓷器盛之，每服一小匙，温酒化下，空心，日午卧时各一。

治髓虚骨寒，温髓汤方：

附子 炮裂，去皮脐 人参 黄耆 细辛 去苗叶
桂 去粗皮。各一两

右五味，锉如麻豆，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓，空心食前温服。

治髓实，气勇悍，烦热，枳实汤方：

枳实 去瓤，麸炒 柴胡 去苗 当归 切，焙 芎藭
甘草 微炙，锉 各一两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓温服，食后夜卧。

治髓实，使人强悍惊热，地骨皮汤方：

地骨皮 洗，二两 胡黄连 柴胡 去苗 当归 切，焙
泽泻 黄芩 去黑心 甘草 炙，锉 枳实 去瓤，麸炒。各一两

右八味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓温服，日二夜一。

膀胱 虚 冷

膀胱者，津液之府也，气化则能出矣，其气不足则虚，虚则寒气乘之，致津液滑利，而不能制约，故其证小便利多，小腹痛甚，项、背、腰、尻、脬、膈痛。内经曰膀胱不约为遗溺者以此。

治膀胱虚冷，小便频数，五味子丸方：

五味子 磁石 煨，醋淬七遍 杜仲 去粗皮，炙，
锉 附子 炮裂，去皮脐。各一两 木香 半两 青橘皮 汤
浸，去白，炒 茴香子 炒。各一两 龙骨 煨，半两

右八味，捣罗为末，酒煮面糊丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒下。

治膀胱经虚，小便不禁，少腹冷痛，萆薢澄茄散方：

萆薢 澄茄 木香 沉香 锉 桂 去粗皮。各半两
茴香子 炒，三分 菟丝子 酒浸一宿，别捣 白茯苓 去黑
皮。各半两。

右七味，捣罗为散，每服二钱匕，温酒或盐汤调下。

治膀胱虚，小便冷滑，少腹虚胀，腰背相引疼痛，遗精，鹿茸丸方：

鹿茸 去毛，酥炙 肉苁蓉 酒浸，切，焙 石斛 去
根 茴香子 炒。各一两 龙骨 煨 钟乳粉 各半两

右六味，捣研为末，酒煮面糊丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒下，空心食前。

治膀胱久虚，便溲不禁，腹胁虚满，少腹疔痛，补骨脂散方：

补骨脂 炒 茴香子 炒 葫芦巴 炒。各一两 槟
榔 锉，半两 青橘皮 去白，炒，三分 沉香 锉，半两

右六味，捣罗为散，每服二钱匕，盐酒或盐汤调下。

治膀胱虚寒，小便频数，腰背及腹痛，石斛汤方：

石斛 去根 附子 炮裂，去皮脐 五味子 泽泻
肉苁蓉 酒浸，切，焙 黄耆 白茯苓 去黑皮 人参

1. 半，圣济总录作“一”。

各一两 槟榔 半两

右九味，锉如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，煎至八分，去滓温服，食前。

治膀胱虚冷，小便利多，少腹冷痛，脚筋拘急，钟乳丸方：

钟乳粉 沉香¹ 桑螵蛸² 炙 龙骨³ 煨 各半两 白茯苓 去黑皮，一两

右五味，捣罗为末，炼蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，温酒下，空心食前服。

治膀胱虚冷，小便数，乾地黄散方：

熟乾地黄⁴ 焙，三分 赤雄鸡肠 两具 鸡臆脰 两具 桑螵蛸⁵ 炒 牡蛎⁶ 煨 龙骨⁷ 煨 黄连 去须，各一两 白石脂 肉苁蓉 酒浸，切焙⁸ 赤石脂 各五分

右一十味，粗捣筛，八味入鸡臆脰并鸡肠中，蜜²缝于甑内，蒸令熟，锉碎焙乾，捣罗为末，每服二钱匕，温酒调下。

膀胱实热

膀胱者，州都之官，津液藏焉，气化则能出矣。其气有余则实，实则热气留之，故壅阏而不通。其内证，胞闭不得小便，烦满而躁；其外证，体热，腰中痛，头眩是也。内经曰膀胱不利为癃者以此。

治膀胱实热，小便癃闭，舌燥引饮，烦闷，石膏汤方：

石膏¹ 生² 山栀子 去皮 赤茯苓 去黑皮 甘草³ 炙，锉 木通⁴ 锉，各一两

右五味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至七分，去滓温服。

治膀胱实热，小便不通，壅闷烦躁，瞿麦饮方：

瞿麦穗 黄芩 去黑皮¹ 甘草² 生，锉 木通³ 锉，各一两 葵根 洗，锉 车前子 各半两

右六味，粗捣筛，每服四钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓温服。

顺膀胱，利小便，解烦热，车前子散方：

车前子 海金沙 井泉石 滑石¹ 碎，各一两 葶苈² 纸上炒，一分

右五味，捣罗为散，每服二钱匕，蜜熟水调下，未利再服。

治胞囊实热，溲便癃闭，日夜不通，槟榔饮方：

槟榔³ 生，锉 羚羊角⁴ 镑 大黄⁵ 锉，各半两 甘草⁶ 炙，锉 赤茯苓 去黑皮 防己⁷ 锉，各一两

右六味，粗捣筛，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，去滓温服。

治膀胱实热，小便不通，腰腹重痛，烦躁，猪苓散方：

木猪苓¹ 去黑皮 防己² 锉 梔子仁 各一两 滑石³ 碎 车前子 槟榔⁴ 生，锉 大黄⁵ 生，锉，各二两

右七味，捣罗为散，每服二钱匕，温熟水调下，水一盞，煎至七分，温服亦得。

治膀胱热结不通，芒硝散方：

芒硝¹ 别研，半两 赤茯苓 去黑皮，为末，一两

右二味，捣研和匀，每服二钱匕，蜜熟水调下。心烦热躁者，以冷蜜水下。

治膀胱热，小便不通，舌乾咽肿，升麻饮方：

升麻 大青¹ 各三两 射干 玄参 黄柏² 去粗皮 薔薇根白皮³ 各四两

右六味，咬咀如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，煎至一盞，临熟入蜜一匙，打匀，去滓服。

治膀胱实热，小便不通，烦闷不解，梔子仁汤方：

梔子仁¹ 二两 石膏² 四两 赤茯苓 去黑皮 知母³ 焙，各二两 生地黄 淡竹叶 各切半升 芒硝⁴ 一两

右七味，咬咀如麻豆大，每服四钱匕，水二盞，煎至一盞，去滓温服。

1 焙：圣济总录无此字。

2 蜜：圣济总录作“密”。

3 生：圣济总录作“碎”。

4 皮：圣济总录作“心”。

拔粹方

五邪相干 谓贼实微虚正也

假令肝病 实邪风热相合，风性急，火摇动焰而旋转，其脉弦而紧洪，风热发狂，宜芎黄^①汤。

羌活 川芎 大黄 各一两 甘草 半两

右咬咀，每服半两，水二盏，煎至六分，去渣温服。

虚邪风寒相合，木虚肾恐^②，拘急自汗，其脉弦紧而沉。仲景云：风感太阳，移证在太阳经中，桂枝加附子汤主之。

贼邪风燥相合，血虚筋缩，皮肤皴揭，脉弦浮而涩。仲景云：血虚筋急，桂枝加栝蒌汤主之。

微邪风湿相合，体重节痛，藏府洞泄，脉弦长而缓。仲景云：身体疼痛，下痢清谷，急当救里，四逆汤主之。

正邪中风，目眩头重，叫怒不咄，脉弦紧而长。仲景云：甚则如痼为瘕，真^③羌活汤。本草云：羌活主瘕主痼，防风、黄芩^④为佐。小儿为痼，大人为瘕。

假令心病 实邪热湿相合，愤愤心烦，热蒸不眠。脾经终于心，心经起于心^⑤，二经相接，故为湿热，脉浮大而缓。足太阴寄证在手太阳，宜梔豉汤。若痞，加厚朴、枳实。

虚邪热风相合，妄听妄闻耳箫声。胆与三焦之经同出于耳，铜人云：刺关冲出血，泻支沟，脉浮大而弦，初小柴胡汤，后大柴胡汤，此证是太阳与少阳为病，前客后主也。

贼邪热寒相合，胆惕^⑥心悬如饥，神怯恐怖。足少阴与手厥阴相接，水中心经守^⑦邪，故神怯怖耳，脉大而沉濡，亦在太阳经中。内经曰：心虚则热收于内，黄连附子^⑧泻心汤主之。法云：谓热多寒少以为佐矣，如寒多热少，加附子乾姜佐之。

微邪热燥相合，过饮歌^⑨乐实为热燥，俗言畅饮也。病人曰快活快活，是有声于歌乐也；以意思浆^⑩，是无声歌乐也。脉洪大而涩，白虎汤主之，喘则加人参。

正邪热也，脱阳见鬼，躁扰狂起，脉洪实，一呼四至，是八至脉也，小承气汤主之，谓复不坚大^⑪也。

假令脾病 实邪湿燥相合，胃中燥屎，腹满坚痛，其脉缓而长涩，是正阳阳明证也，调胃承气汤主之。

虚邪湿热相合，热陷胃中，肠癖下血，脉中缓，大黄黄连解毒汤主之。

贼邪湿风相合，呕逆胁痛，往来寒热，脉缓而弦长，小柴胡汤主之。

微邪湿寒相合，湿与寒交，寒来求湿，身黄而不热，体重而不渴，谓之寒湿，其脉缓沉而滑，术附汤主之；如小便不利者，加茯苓。

正邪湿自病，腹满时痛，手足自温，其脉沉涩而长。虚痛，桂枝加芍药汤主之；实痛，桂枝加大黄汤。

假令肺病 实邪燥寒相合，毛耸皮凉，洩多而清，其脉短涩而沉，此证如秋冬宜八味丸，若春夏宜地黄丸。

虚邪燥湿相合，微喘而痞，便难而痰，其脉浮涩而缓，枳实理中丸主之。如喘甚加人参；若便难加木香、槟榔各半钱，为极细末煎下理中丸。

① 芎黄：普济方卷十三五邪相干作“羌活”。

② 木虚肾恐：普济方卷十三五邪相干作“多怒善恐”。

③ 真：普济方卷十三五邪相干作“宜”。

④ 芩：普济方卷十三五邪相干作“芪”。

⑤ 心：普济方卷十三五邪相干作“脾”。

⑥ 惕：普济方卷十三五邪相干作“伤”。

⑦ 守：普济方卷十三五邪相干作“火”。

⑧ 子：普济方卷十三五邪相干此下有“汤”字。

⑨ 歌：普济方卷十三五邪相干作“鼓”。

⑩ 以意思浆：普济方卷十三五邪相干作“意思酒浆”。

⑪ 复不坚大：普济方卷十三五邪相干作“腹坚不大”。

贼邪燥热相合，鼻塞衄衄，血溢血泄，其脉涩而浮大。甚者桃仁承气汤，微者犀角地黄汤，极者抵当汤，微极抵当丸。

微邪燥风相合，皮着甲枯，血虚气虚，二藏俱虚，先血后气，其脉浮涩而弦，久养气血药主之。

正邪燥自病，其气奔郁，皆属于肺。诸燥有声，其脉浮涩而短，列诸嗽药选而用之^①。

假令肾病 实邪寒风相合，藏不藏散^②，下利纯清，其脉沉滑而弦。仲景云：少阴证，口燥咽乾，下利纯清，大承气汤主之。脉沉弦而迟，四支逆冷者^③，宜四逆汤等。

虚邪寒清^④相合，肾唾多呻，洒淅寒清无寐，经言：燥化清，其脉沉实而涩，酸枣仁汤主之。

贼邪寒湿相合，肾为胃关，关闭水溢，关闭不利^⑤水在胃为肿，水在肺为喘，及变诸证，其脉沉缓而大。仲景云：大病差后，腰下有水气者，牡蛎泽泻汤主之。

微邪寒热相合，膀胱热郁，津液枯少，其脉沉濡而大，内经曰：水少乾涸也，猪苓汤主之。

正邪寒自病，寒忿用藏，黑痹经沉^⑥，其脉沉濡而滑，黑痹天麻丸。如证同脉异，微者府病也，甚者藏病也。

医方大成

五脏内外所因证治 肝心脾肺肾

人身之有形于外者，必有诸内，故五脏之受病于内，而发于外者，必见之眼、耳、鼻、舌、口、牙之间。心经蕴热，则口舌生疮，唇口裂拆；脾与胃相通，故受热则噎气臭秽；肾受冷则耳不能听，或兼风则牙痛颌肿；肺受风邪，则皮毛瘙痒，积毒则发为痈疽；肝受病，则目不能视；发乃血之余，焦枯者血不足也；此皆病在内而应乎外也。凡有其证，必须考其所自来，辨其冷热虚实治之。

三因方枳壳煮散^⑦：治悲哀伤肝气，痛引两胁。

防风 去芦 川芎 细辛 枳壳 麸炒 桔梗 炒。各四两 甘草 炙，二两 乾葛 一两半

右咬咀，每服四钱，水一盂，姜三片，煎七分，空心服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

三因方枳实散^⑧：治肝气不足，两胁疼痛。

枳实 一两 白芍药 炒 雀脑芎 人参 各半两
右为末，每服二钱，姜盐汤酒任下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

本事方治肝积气滞，在右胁下遇病，作则右边手足、头面昏痛。

乾葛 一两 麻黄 三分 侧子 一个 川芎 防风 枳实 芍药 桂枝 羌活 甘草 当归 各四两
右咬咀，每服四钱，水一盂，姜三片，煎七分，热服，有汗避风。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

本事方桂枝散：治因惊伤肝，两胁疼痛。

枳壳^⑩ 口两小者 桂枝 半两

右为末，每服二钱，姜枣汤下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

简易方叶氏清心圆：治心受邪热，精神

① 奔：普济方卷十三五邪相干作“贖”。

② 之：普济方卷十三五邪相干无此字。

③ 藏散：普济方卷十三五邪相干作“收藏”。

④ 脉沉弦而迟四支逆冷者：普济方卷十三五邪相干作“脉弦，仲景云支逆冷者”。

⑤ 清：普济方卷十三五邪相干作“燥”。

⑥ 不利：普济方卷十三五邪相干无此二字。

⑦ 寒忿用藏黑痹经沉：普济方卷十三五邪相干作“寒病分脏腑”。

⑧ 三因方枳壳煮散：经查三因方未见此方。普济本事方卷七枳壳煮散方药与本书同。用“治悲哀烦恼伤肝气至两胁骨疼，筋脉紧急，腰脚重滞，两股筋急，两胁牵痛，四肢不能举，渐至脊脊挛急，此药大治胁痛”。

⑨ 三因方枳实散：经查三因方未见此方。普济本事方卷七枳实散方药与本书同。用“治男子两胁疼痛”。

⑩ 壳：此下注文脱字，普济本事方卷七作“一”。

恍惚，狂言叫呼，睡卧不宁。

人参 蝎梢 郁金 生地黄 天麻 天南星 为末，入黄牛胆内令满，挂当风处吹乾，腊月造，要用麝取，各等分

右为末，汤浸蒸饼和圆，如梧桐子，每服三十圆，人参汤下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

本事方治心脾壅热，生木舌肿胀。

玄参 升麻 大黄 犀角 各七钱半^① 甘草 半两

右为末，每服三钱，水一盏，煎五分，温服^②。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

济生方玄参升麻汤：治心脾壅热，舌上生疮，腮颊肿痛。

玄参 赤芍药 升麻 犀角 镑 桔梗 去芦 贯众 洗 黄芩 甘草 炙。各等分

右咬咀，每服四钱，水一盏，姜五片，煎八分，温服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

本事方治脾疼不可忍。

陈茱萸 二两 蚌粉 炒赤 浮椒 各一两

右为末，醋糊圆，如梧桐子，每服二十圆，温酒盐汤任下。医方集成、南北经验方同。

本事方治脾疼，用荔枝核为末，每服二钱，熟醋汤调下。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

本事方东京王先生治痹疼方：

巴豆 瓦器内炒黄 杏仁 炒黄 牵牛 各半两。炒黄 陈皮 一两，去白，炒黄

右为末，醋糊圆，如绿豆大，每服十圆，生姜汤下。妇人血气，醋汤下；产后气痛，艾汤下五圆；酒食伤，随物下。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

仁斋直指方桂花散：治脾积气痛。

香附 五两，炒，去毛 蓬术 醋煮，焙 良姜 甘草 炙。各二两 桂花 一两

右为末，每服二钱，空心，沸汤盐点服。医方集成、南北经验方同。

仁斋直指方良姜拈痛散：治脾疼。

良姜 切片，先用吴茱萸慢火炒，次入东畔向日壁土，不经

两者，同炒，再以米醋曲炒至茱萸黑为度

右只用良姜为末，每服一钱，空心，米饮调服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

本事方枣膏圆：治肺积，在右肋下大如杯，发为痈疽。

陈皮 桔梗 葶苈 别研。各等分

右前二味为末，入葶苈研匀，煮枣肉和圆，如梧桐子，每服五七圆，米饮送下。医方集成、南北经验方^③、袖珍方同。

本事方升麻汤：治肺痈吐脓血，作臭气。

升麻 桔梗 薏米 地榆 黄芩 牡丹皮 芍药 各五钱 甘草 七钱半

右咬咀，每服五钱，水一盏煎，日三服。

医方集成、南北经验方、袖珍方同。

济生方葶苈散^④：方见咳嗽^⑤。治肺痈咳唾脓血，喘急。医方集成、南北经验方、袖珍方同。永类铃方此下云，一方止用黄芪二两，生用为末，水煎温服，吐脓后用此甜葶苈二两半，隔纸炒，令紫色为末，每二钱煎六分温服。

济生方桔梗汤^⑥：方见咳嗽^⑤。治肺痈咳唾脓血，咽乾多渴。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

济生方排脓散：治肺痈得吐脓后，以此药排脓补肺，用绵黄耆二两，生为末，每服三钱，水一盏，煎温服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

本事方椒附圆：治肾气上攻，头项不能转移，以大附子一枚炮，去皮脐为末，每用二钱，以椒二十粒，用白面填满椒口，水盏半，姜七片，煎七分，去椒入盐，空心点服。

医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

① 各七钱半：普济本事方卷五作“镑，各三分”。

② 服：普济本事方卷五此下有“不拘时”三字。

③ 南北经验方：参照上方所注应作“南北经验方”

④ 葶苈散：方见本书卷一百十七咳嗽^⑤。

⑤ 桔梗汤：方见本书卷一百十七咳嗽^⑤。

袖珍方

五脏内外所因证治

桔梗饮子：治心气不足，解劳倦益血。

桔梗 甘草 黄耆 人参 去芦 麦门冬 各一两 青皮 五钱

右咬咀，每服二钱，水一盞半，煎至八分，去滓，温服食远。

子芩散：凉心肺，解劳除热，便荣卫，顺血不绝。

黄耆 一两 白芍药 子芩 人参 白茯苓 麦门冬 桔梗 生地黄 各五钱

右用竹叶一握，小麦七十粒，姜三片，水三盞，煎盞半，入药三钱煎，食后服。

茯神散：治胆热多睡，神思昏闷。

茯神 去木 麦门冬 去心 地骨皮 茯苓 酸枣仁 沙参 甘草 各半两

右咬咀，每服一两，水二盞，煎至一盞，去滓，食远温服。

永类铃方

脾胃

胃丹：朱砂禀大阴之精，不经火煅，以丁附等脾药，阴炼成丹，平补不僭，善治真阳衰虚，心火怯弱，不养脾土，中州虚寒，饮食不进，胸膈痞塞，或不食而胀满，或已食而不消，痰逆恶心，翻胃吐食，藏气虚寒，米谷不化，心腹绞痛，泄利不止，一切脾胃诸疾。

大块辰砂 不夹石者，五十两 罗参 砂仁 肉豆蔻 煨 荜澄茄 附子 炮 红豆 白豆蔻 仁 高良姜 炒 白术 厚朴 制 丁香 藿香 五味子 乾姜 炮 益智仁 胡椒 麦门冬 去心 草果仁 陈皮 净。各四两

右各修制，锉如豆大，以银锅一口，用白沙蜜五斤，将药一半，同蜜拌匀，入锅内，以夹生绢袋，盛贮朱砂，悬胎入锅内，以桑柴火重汤煮四日四夜，换蜜五斤，入前药一半，和匀，再煮三日三夜，取砂淘净，焙乾入乳钵，用玉槌研十分细，米粽为元绿豆大，阴乾，每十粒加至十五粒，空心，人参汤或枣汤下，如或呕吐淡姜汤下。忌食猪羊血。

枳壳丸^①：治脾实心腹壅滞，四肢疼闷，两胁胀满，大小便不利。方见大小便门。

烧脾散：治饮啖生冷果菜，停留中焦，心脾冷痛。

乾姜 炮 厚朴 制 草果仁 砂仁 神曲 炒 麦蘖 炒 陈皮 净 良姜 炙 甘草 炙。各等分

右细末，每三钱，热盐汤点服，无时。

枣肉元：治脾肾虚寒，肠鸣泄泻，胸膈不快，饮食不化，即本事二神元加木香。

破故纸 炒，四两 木香 乙两 肉豆蔻 面煨，二两 右细末，灯心煮，枣肉元梧子大，每七十元，姜盐汤下，空心。

御院思食调中元：治脾胃久弱，三焦不调，气滞胸膈，病闷不食，呕逆恶心，或吐痰水。

陈曲 麦蘖 各炒 半夏曲 陈皮 乌药 各乙两 槟榔 人参 各三分 白术 乙两半 木香 沉香 各半两

右细末，蜜调面煮糊元梧子大，每三十元，米饮吞下。

木香调中元：治饮食不调，致伤肠胃，心腹胀痛，脏腑泄泻，米谷不化。

木香 青皮 净 陈皮 净 槟榔 肉豆蔻 面煨 三棱 炮 诃子肉 草豆蔻 仁 各乙两半

右细末，面糊元梧子大，每六十元，食

① 枳壳丸：方见本书卷一百三十五大小便门。

前，热米饮下。

八珍汤：和血气，理脾胃。

当归 川芎 赤芍药 熟地黄 人参
茯苓 砂仁 甘草 炙。各等分

右咬咀，每二钱，水一盏，姜七片，枣三个煎，空心温服。

杨氏家藏豆蔻橘红散：温脾养胃，升降阴阳，和三焦，化宿食。

丁香 木香 各乙两 白豆蔻仁 人参 白
术 厚朴 制 神曲 炒 乾姜 炮 陈皮 净 半夏
曲 炒 甘草 炙 藿香叶 各半两

右咬咀，三钱服，水一盏，姜三片，枣乙个煎，温服。

沉香磨脾散：治脾胃虚寒，心腹膨胀，呕逆恶心，不思饮食，或吐痰水。

沉香 人参 各乙分 丁香 三分 藿香 乙两
檀香 甘草 炙 白豆蔻仁 木香 砂仁 白
术肉桂 乌药 各半两

右咬咀，每三钱，水一盏，姜三片，盐一捻煎，温服。

八味汤：治脾胃虚寒，气不升降，心腹刺痛，脏腑虚滑。

吴茱萸 汤泡 乾姜 炮。各二两 木香 陈皮 净
肉桂 丁香 人参 当归 焙。各乙两

右咬咀，每四钱，水一盏煎，温服无时。

本事七珍散：开胃养气，温脾进食，续易简十珍散，即此加扁豆、砂仁、桔梗、五味子。

人参 白术 黄芪 蜜炙 山芋 即山药 白茯
苓 粟米 炒 甘草 各乙两

右细末，每三钱，水一盏，姜枣煎服。一方加白扁豆乙两蒸用，名八珍散，皆加减参苓白术散。

曲术元：治脾胃停饮，腹胁胀满，不进饮食。

神曲 炒。十两 白术 五两 乾姜 肉桂 各三两
吴茱萸 川椒 各二两

右细末，薄糊元梧子大，每五十元，姜汤下。有饮，加制半夏曲二两煎服。

白术汤：理脾和胃，顺气进食。

白术 厚朴 制 桂心 桔梗 乾姜 人
参 当归 茯苓 甘草 各等分

右咬咀，每四钱，水一盏，枣二个煎，温服无时。

温脾散：

舶上茴香 炒 青皮 陈皮 砂仁 桔梗
白芷 厚朴 各乙两 木香 白术 香附 各半两
甘草 乙两半 红豆 良姜 麦蘖 乾葛 各三分

右咬咀，每三钱，水一盏，枣乙个煎，空心服。

百一选桂曲元：健脾胃，进饮食，克化生冷，温中下气。

人参 草拔 肉豆蔻 面裹煨 白术 乾姜
炮 良姜 炒 砂仁 桂枝 陈皮 净。各乙两 甘
草 炒 丁香 各半两 神曲 三两块，炒

右细末，热汤泡，蒸饼元梧子大，每七十元，米饮下。

厚朴煎元：温中下气，理脾进食。常云补肾不如补脾，胃壮则饮食进，而精血自盛矣。

紫油厚朴 乙斤，锉 生姜 乙斤，不去皮，切片，二
味用水五升同煮乾，去姜，以厚朴焙乾 舶上茴香 乾姜
各四两 附子 炮，二两 甘草 二两，锉半寸长，同乾姜二味
再用水五升同煎厚朴煮，水尽，去甘草，只用姜朴二味，焙乾

右细末，生姜煮枣肉元梧子大，每五十元，米饮下。

八味理中元：治脾胃虚寒，饮食不化，胸膈痞闷，或呕吐痰水，或肠鸣泄泻。

川姜 砂仁 麦蘖 各二两 人参 白茯苓
神曲 炒。各乙两 白术 四两 甘草 炙。各乙两半

右细末蜜元，每两作十元，空心，用一元姜汤嚼下，或加半夏曲乙两，入盐点服。

大藿香散①：治脾胃虚寒，呕吐霍乱，心腹撮痛，或泄泻不止。方见泄泻门。

椒附建脾散：理脾进食，和胃顺气。

川椒 去目，炒出汗 厚朴 制 砂仁 肉豆蔻 煨
诃子 煨，去核 丁香 附子 炮 良姜 炒 木香

① 大藿香散：方见本书卷一百四十二泄泻门二。

乾姜炮 甘草炙。各乙两 草澄茄 赤石脂 半
夏制 陈皮净 麦蘖炒 神曲炒。各三分

右咬咀，四钱，水盞半，姜五片，枣三个煎，空心服。

大建脾散：治脾胃虚寒，不进饮食。

草澄茄 乾姜 白豆蔻 丁香各半两 白
茯苓 甘草 肉豆蔻 青皮 檀香 半夏制
茴香 砂仁 厚朴制 神曲 陈皮净。各乙两
川乌炮 附子炮 草果仁各二两 白术四两

右咬咀，每三钱，水盞半，姜七片，枣乙个煎，空心服。

大建脾元：调中养气，和胃建脾，治中焦积寒，胸膈气痞，呕吐恶心，脏腑虚滑。

肉桂 厚朴制 乾姜炮 甘草炙。各乙两 肉
豆蔻煨 丁香 胡椒 附子炮 草拔 木香
神曲炒 白茯苓 白术 麦蘖炒 人参 白豆
蔻仁各半两 诃子肉煨，乙分

右细末，蜜元如弹子大，每一元细嚼，温米饮下。

澹寮木香顿散：治脾胃虚弱，停食不化，心腹绞痛，肠滑自利。

木香 丁香 砂仁 良姜炒 乾姜炮。各半
两 胡椒 陈皮净 青皮净 红豆仁 草果仁
甘草各三钱 白豆蔻仁二钱

右咬咀，每三钱，水盞半，姜三片，枣一个煎，取一盞，再以银器盛于重汤内，煎八分，空心热服。

通膈元：快气进食，利胸膈，消膨胀。

草澄茄 丁皮 白豆蔻仁 檀香 粉草
各半两 砂仁 姜黄 香附子净，各乙两 甘松
丁香各三钱 木香二钱

右细末，用草澄茄为母，法元梧子大，每三十元，白汤下。

天下受拜平胃散：治脾胃不和，呕吐痰水，胸膈痞滞，不美饮食。

厚朴制 陈皮净 生姜和皮 甘草锉。各三两
茅山苍术制，锉，五两 南京小枣二百枚，去核

右①水五升煮于②，捣作饼子，晒乾，再焙研末，每二钱，盐汤点服。泄泻，姜五片，

乌梅二个，水盞半，煎服。

小橘皮煎元：消食化气，宜常服。

三棱 莪术并煨 青皮净 陈皮净 神曲
麦蘖并炒。各等分

右细末，陈米粉煮糊元梧子大，每五十元，米饮下。

三因茯苓分气饮：治脾胃不和，胸膈噎塞，气促喘急，心下胀满。

五味子 桔梗 茯苓 甘草 陈皮 桑
白皮 草果 大伏皮 紫苏叶各乙分

右咬咀，每四钱，水一盞，姜三片，盐少许煎，空心服。

简易扶老强中元：暖五脏，建脾胃，通和血脉，除痰散积。

神曲 麦蘖并炒，各十两 拣吴茱萸炒 乾
姜炮，各四两

右细末，蜜元梧子大，每五十元，米饮下，无时。

秘方思食元：

神曲炒，九钱 麦蘖炒，六钱 人参 乾姜炮
甘草炙。各二钱 乌梅去核，半两

右细末，蜜元鸡头大，每十元，白汤下。

凝神散：收敛胃气，清凉肌表。

人参 白术 茯苓 山药各乙两 白扁豆
粳米 知母 生地黄 甘草各半两 淡竹叶
地骨皮 麦门冬各乙分

右咬咀，每三钱，水一盞，姜三片，枣乙个煎服，无时。

安中汤：治脾胃一切不利。

三棱 莪术炮 乾姜炮 良姜炒 陈皮净
草果仁 益智 甘草炙。各乙两乙分 神曲 麦
蘖并炒。各三分

右细末，每二钱，盐汤食后下。温中元：治脾咳恶寒，口中如霜雪，中脘冷痛。

白术二两 乾姜 半夏各乙两 细辛 胡椒各半两

右细末，蜜元梧子大，每五十元，空心，姜汤下。

① 右：奇效良方此下有“件用”二字。

② 于：奇效良方作“乾”。

仁斋直指丁香半夏元：治脾胃宿冷，呕吐痰水，噤闷吞酸。

人参 丁香 木香 肉豆蔻 陈皮 净。各乙分 藿香 半两 半夏 制，三两，姜淹炒黄

右细末，姜汁糊元小豆大，每四十元，姜汤下。

和中散：和胃气，止吐泻。

茯苓 莲肉 各乙分 藿香 人参 天麻 白扁豆 炒 木香 白术 甘草 炒。各半两。

右咬咀，每四钱，水一盞，姜三片，煎服。

济生小甘露饮：治脾劳实热，身体眼目悉黄，舌乾咽喉痛。

黄芩 升麻 茵陈 梔子仁 桔梗 炒 生乾地黄 石斛 甘草 炙。各等分

右咬咀，每四钱，水盞半，姜五片煎，温服无时。

白术饮：治脾劳虚寒，呕吐不食，腹痛肠鸣，体倦。

白术 人参 草果仁 乾姜 炮 厚朴 制 肉豆蔻 煨 陈皮 净 木香 麦蘖 炒。各乙两 甘草 炙，半两

右咬咀，每四钱，水盞，姜五片，枣乙个煎，空心温服。

肺

济生泻白散① 人参荆芥散② 桔梗

汤③ 葶苈散④ 紫菀茸汤⑤ 团参饮子⑥ 方并见咳嗽门。

二母汤：治肺劳实热，面目苦肿，咳嗽喘急，烦热颊赤，骨节多痛，乍寒乍热。

知母 贝母 去心 杏仁 去皮尖，炒 甜葶苈 各⑦炒 半夏 制 秦艽 陈皮 净。各乙两 甘草 炙，半两

右咬咀四钱，水盞半，姜五片煎，温服无时。

温肺汤：治肺劳虚寒，心腹冷痛，胸肋逆满，气穿背痛，饮食即吐，虚乏不足。

人参 钟乳粉 半夏 制 肉桂 陈皮 净 乾姜 炮。各乙两 木香 甘草 炙。各半两

右咬咀，每四钱，水盞半，姜五片煎，温服无时。

扁豆散、升麻汤⑧：治久嗽咯血成痢。方并见咳嗽门。

肾 方并见上

肝 方并见上

心

济生升麻饮⑨：治心脾壅热，口舌生疮肿痛。方见舌门。

新 效 方

五补汤：治心肝脾肺肾。

莲子 枸杞子 山药 锁阳

右四味末之，沸汤调服，加酥尤妙。

① 济生泻白散：方见本书卷一百十九咳嗽门六。

② 人参荆芥散：方见本书卷一百十八咳嗽门五。

③ 桔梗汤：方见本书卷一百十九咳嗽门六。

④ 葶苈散：方见本书卷一百十九咳嗽门六。

⑤ 紫菀茸汤：方见本书卷一百十九咳嗽门六。

⑥ 团参饮子：方见本书卷一百十七咳嗽门四。

⑦ 各：普济方卷二十六肺脏门引永类铃方二母汤作“略”。

⑧ 扁豆散，升麻汤：方并见本书卷一百二十咳嗽门七。

⑨ 济生升麻饮：方见本书卷七十七口舌门二，名升麻散。

五藏食治

千金方

序 论

仲景曰：人体平和，惟须好将养，勿妄服药，药势偏有所助，令人藏气不平，易受外患。夫含气之类，未有不资食以存生，而不知食之有成败，百姓日用而不知，水火至近而难识。余慨其如此，聊因笔墨之暇，撰五味损益食治篇，以启童稚^①，庶勤而行之，有如影响耳。

河东卫汎记曰：扁鹊云，人之所依者，形也。乱于和气者，病也。理于烦毒者，药也。济命扶危者，医也。安身之本，必资于食；救疾之速，必凭于药。不知食宜者，不足以存生也；不明药忌者，不能以除病也。此之二事，有灵之所要也，若忽而不学，诚可悲夫！是故食能排邪而安脏腑，悦神爽志，以资血气。若能用食，平病释情遣疾者，可谓良工，长年饵老之奇法，极养生之术也。夫为医者，当须先洞晓病源，知其所犯，以食治之，食疗不愈，然后命药。药性刚烈，犹若御兵，兵之猛暴，岂容妄发？！发用乖宜，损伤处众，药之投疾殃滥亦然。高平王熙称：食不欲杂，杂则或有所犯，有所犯者，或有所伤，或当时虽无灾苦，积久为人作患。又食噉鲑肴，务令简少，鱼肉果实，取益人者而食之。凡常饮食，每令节俭，若贪味多餐，临盘大饱，食讫觉腹中彭亨短气，或致暴疾，仍为霍乱。又夏至以后，迄至秋分，必须慎肥膩餅臠酥油之属，此物与酒浆瓜果理极相妨。夫在身所以多疾者，皆由春夏取冷太过，饮食不节故也。又鱼鲙诸腥冷之物，多损于人，断之益善；乳酪酥等常食之，令

人有筋力胆干，肌体润泽，卒多食之，亦令臌胀泄利，渐渐自己。

黄帝问曰：谷之五味所主，可得闻乎？伯高对曰：夫食风者，则有灵而轻举；食气者，则和静而延寿；食谷者，则有智而劳神，食草者则愚癡而多力，食肉者则勇猛而多瞋。是以肝木青色宜酸，心火赤色宜苦，脾土黄色宜甘，肺金白色宜辛，肾水黑色宜咸，内为五脏，外主五行，色配五方。

五脏所合法：肝合筋，其荣爪；心合脉，其荣色；脾合肉，其荣唇；肺合皮，其荣毛；肾合骨，其荣发。

五脏所宜食法：肝病宜食麻、犬肉、李、韭；心病宜食麦、羊肉、杏、薤；脾病宜食稗米、牛肉、枣、葵；肺病宜食黄黍、鸡肉、桃、葱；肾病宜食大豆黄卷、豕肉、栗、藿。素问云：肝色青，宜食甘，粳米、牛肉、枣、葵皆甘；心色赤，宜食酸，小豆、犬肉、李、韭皆酸；脾色白，宜食苦，麦、羊肉、杏、薤皆苦；肺色黄，宜食咸，大豆、豕肉、栗、藿皆咸；肾色黑，宜食辛，黄黍、鸡肉、桃、葱皆辛。

五味所配法：米饭甘 素问云：粳米甘。麻酸 素问云：小豆酸。大豆咸 麦苦 枣甘 李酸 栗咸 杏苦 桃辛 黄黍辛 葵甘 韭酸 藿咸 薤苦 葱辛 牛甘 犬酸 豕咸 羊苦 鸡辛

五脏病五味对治法：肝苦急，急食甘以缓之；肝欲散，急食辛以散之，用酸泻之，禁当风。心苦缓，急食酸以收之；心欲软，急食咸以软之，用甘泻之，禁温食厚衣。脾苦湿，急食苦以燥之；脾欲缓，急食甘以缓之，用苦泻之，禁温食饱食，湿地濡衣。肺

① 雅：各急千金要方作“稚”。

苦气上逆息者，急食苦以泄之；肺欲收，急食酸以收之，用辛泻之，禁无寒饮食寒衣。肾苦燥，急食辛以润之，开腠理，润致津液通气也；肾欲坚，急食苦以结之，用咸泻之，无犯焯煖，无热衣温食。是以毒药攻邪，五谷为养，五肉为益，五果为助，五菜为充。精以食气，气养精以荣色；形以食味，味养形以生力，此之谓也。神藏有五，五五二十五种；形藏有四方、四时、四季、四肢，共为五九四十五，以此辅神，可长生久视也。精顺五气，以为灵也，若食气相恶，则伤精也；形受味以成也，若食味不调，则损形也。是以圣人先用食禁以存性，后制药以防命也。故形不足者，温之以气，精不足者，补之以味，气味温补，以存形精。岐伯云：阳为气，

阴为味；味归形，形归气；气归精，精归化，精食气，形食味；化生归^①，气生形；味伤形，气伤精；精化为气，气伤于味。阴味出下窍，阳气出上窍；味厚者为阴，味薄者为阴之阳；气厚者为阳，气薄者为阳之阴。味厚则泄，薄则通流^②；气薄则发泄，厚则秘塞。素问作发热。壮火之气衰，少火之气壮；壮火食气，气食少火；壮火散气，少火生气。味辛甘发散为阳，酸苦涌泄为阴。阴胜则阳病，阳胜则阴病，阴阳调和，人则平安。春七十二日，省酸增甘，以养脾气；夏七十二日，省苦增辛，以养肺气；秋七十二日，省辛增酸，以养肝气；冬七十二日，省咸增苦，以养心气；季月各十八日，省甘增咸，以养肾气。

神巧万全方

食治方

酸枣仁粥：治肝胆病，或多不睡。

酸枣仁 半两，炒令黄色，末以酒三合浸汁 粳米三合
右件药，先以粳米煮作粥，临熟下酸枣仁汁了，更煮三五沸，空心食之。

煎饼方治不得睡，酸枣仁方：

酸枣仁 三分，炒熟，杵末 人参 一分，末 茯神 一分，末 粳米 四两，水煎，细研 白面 四两

右件药末，入米面中，以水调作煎饼食之，要着肉臠五味食之并可。

又方：羊肝性冷，疗肝风虚热，目赤闇无所见，生食子肝七枚，效。

又方：羊肝主明目，薄切，日乾为末，和决明子、蓼子并炒香，捣筛为圆，每日服之，去盲暗。

治心虚风眩头痛，宜服薯蕷粥方：

生薯蕷 不限多少，去皮，磨如稀面

右和白面作粥，于豉汁中煮，入五味，调和食之。

治风热攻心，烦闷恍惚，神思不安，煮

梨汤：

梨子 三枚，切 沙糖 半两

右以水一大盏，煎至六分，去滓，食后分温二服。

治心下烦热，止渴，鸡子羹方：

鸡子 三枚 菹菜 一斤，切 淡竹笋 四两，去皮，切
右以豉汁中煮作羹，临熟，破鸡子投入羹汁中，食之。

治胸中烦热，或渴心躁，葛粉粥方：

葛粉 四两 粟米 半升

右以水浸粟米经宿，来日漉出，与葛粉同拌令匀，煮粥食之。

治脾气弱，不能下食，宜服酿羊肚方：

羊肚 一枚，治如常法 羊肉 斤，细切 人参 一两，捣为末 陈橘皮 一两，去瓤 肉豆蔻 一个，为末 食茱萸 半两，末 乾姜 半两，末 胡椒 一分，末 生姜 一两，切 葱白 二七茎，切 粳米 五合，淘 盐 半两

右取诸药末，拌和肉米葱盐，内羊肚中，以粗线系合，勿令泄气，蒸令极烂，分作三

① 归：备急千金要方作“精”。

② 漉：素问·阴阳应象大论无此字。

四服，空腹食之，和少酱酸无妨。

治脾胃气弱，不多下食，四肢无力，羸瘦，宜吃酿猪肚方：

猪肚 一枚大者，生用 人参 一两 陈橘皮 去瓢，用一两 饷饭 半两 猪脾 一枚，细切

右以饷饭拌和诸药，并脾等内于猪肚中缝合，熟蒸取肚，以五味调和，任意食之。

治脾胃气弱，痰嘔呕吐，不下饮食，半夏棋子粥方：

半夏 二钱，汤浸七遍，去滑 乾姜 一钱，炮裂 白面 三分 鸡子白 一枚

右件捣罗为末，与面及鸡子白相和，漉作棋子熟煮，别用水淘过，空腹食之。

治脾胃气弱久冷，不思食饮，硫黄粥：

硫黄 一分，研 白粱米 二合

右以水煮作粥，入硫黄末及酒二合，搅令匀，空心食之。

益心润肺，治胸膈烦躁，除咳嗽，灌藕方：

生藕 三挺大者 生芋药 三两 白茯苓 末，三两 面 四两 天门冬 二两，去心，细切 枣 三七枚，去皮核 牛乳 二合 蜜 六合 生百合 二两

右将百合、芋药、天门冬，烂研入蜜，

更研取细，次入枣瓤，次入茯苓，次入面，漉和乾，即更入黄牛乳调看稀稠得所，灌入藕中，逐窍令满，即于甑中蒸熟，每饭后或临时少少食之。

治上气喘急，咳嗽，宜服此方：

猪脰 三具，去脂，细切

右以枣三十枚，去皮核，以好酒三升同浸，秋冬七日，春夏三日，布拭去滓，随性缓服之。

治下焦风冷，腰脚疼痛，转动不得，宜吃肚炙方：

猪肚 一枚，汤浸，作炙 酒 一斤 附子 半两，炮，去皮脐，为末

右以葱、椒、盐、酱并酒、附子末，拌和煮炙，作炙熟，空心食之，兼饮酒一两盏，勿令过度。

治肾气冷，腰脚疼痛，转动不得，羊脊骨羹方：

羊脊骨 一具，槌碎，以水一斗，煎三升 羊肾 去脂膜，切 羊肉 二两，细切 葱白 五茎，切 粟米 二升¹

右炒羊肾断血，即入姜葱五味，然后添骨汁，入米重煮成羹，空腹食之。

寿亲养老书

治肺藏壅热烦闷。

新百合 四两

右用蜜半盏，和蒸令软，时时含一枣大，咽津服之。

五藏禁忌

千金方

五脏不可食忌法：多食酸，则皮槁而毛夭；多食苦，则筋急而爪枯；多食甘，则骨痛而发落；多食辛，则肉胝而唇蹇；多食咸，则脉凝泣而色变。

五味动病法：酸走筋，筋病勿食酸；苦走骨，骨病勿食苦；甘走肉，肉病勿食甘；辛走气，气病勿食辛；咸走血，血病勿食咸。

¹ 二：太平圣惠方此下有“合”字。

五藏六腑图

肺 藏

七月勿食茱萸^①，成血痢，八月九月勿多食姜并肝、心、肺。肺有病，宜食黍桃，修真秘决此下有禁字。苦味。神巧万全方宜食黄黍、鸡肉、葱、桃，禁苦味。

心 藏

四月勿食大蒜，令人发易白及堕，五月勿食菹，损心及有毒，并勿食心肾，令人心痛，宜食大小麦、神巧万全方此下有羊肉韭三字。杏、薤，禁咸味。

肝 藏

正月不食生葱，熟者不食益佳，二月三

月不食蓼子、小蒜及百草心，勿食肝肺，病宜食麻子、巨胜、李子，神巧万全方此下有韭犬肉三字。禁辛。

脾 藏

六月勿食茱萸，令人患赤白痢，四季勿食脾肝羊血。脾病宜食粳米、枣、葵，禁酸。神巧万全方宜食粳米、枣、葵、牛肉，禁酸。一云：宜稗米。

肾 藏

十月勿食椒，令人口乾成赤白痢，十一月十二月勿食诸戴甲之物并食脾肾。肾病宜食大豆黄卷、栗、薤，禁甘物。神巧万全方宜食大豆、黄米、栗、薤，豕肉，禁甘物。

五 藏 针 灸

千 金 方

扁鹊曰：灸肝肺二输，主治丹毒牵病，当依源处治，调其阳理其阴，脏腑之疾不生矣。

筋 极

劳冷气逆，腰膂冷痹，脚屈伸难，灸阳跻一百壮。

腰背不便，转筋急痹筋挛，灸第二十一椎，随年壮。

失精筋挛，阴缩入腹相引痛，灸中封五十壮。又云：灸下满各五十壮，老人加之，小儿随年壮。又云：此二穴，喉肿厥逆，五脏所苦，鼓胀，悉主之。

胆 实 热

治胸中胆病方：灸浊浴，随年壮，穴在侠胆输傍行相去五寸。扁鹊云：灸肾肝心三输，主治丹毒病，当依源为治，表治阴阳，调和藏府，疾不生矣。

脉 极

胸中痛引腰背，心下呕逆，面无滋润，灸上门，随年壮。

颜色焦枯，劳气失精，肩臂痛不得上头，灸肩髃百壮。

^① 茱萸：备急千金要方卷二十六食治云：“六月七月勿食茱萸”，据此应作“茱萸”。

脉 虚 实

脉不出，针不容。

心闷痛上气，牵引小胀^①肠^②，巨阙二七壮。

小 肠 实 热

小肠热满，灸阴都，随年壮。

小肠泄痢脓血，灸魂舍一百壮，小儿减之，穴在侠脐两边，相去各一寸。又灸小肠输七壮。

脾 脏

扁鹊曰：灸肝脾二输，主治丹毒，四时随病，当依源补泻，虚实之病，皮肉髓热，则须镵破薄贴，方呪促治，疾无逃矣。

脾 实 热

四肢寒热，腰疼不得俯仰，身黄腹满食呕，舌根直，灸第十一推^③上及左右各一寸五分三处，各七壮。

胃 实 热

胃中热病，灸三里三十壮。

肺 藏

扁鹊云：灸心肺二输，主治丹毒白狸病，当依源为疗，调其阳理其阴，则脏腑之病不生矣。

肺 实 热

肺胀气抢胁下热痛，灸阴都，随年壮。

肺胀胁满，呕吐上气等病，灸大推^④，并两乳上等^⑤三肋间，各止七壮。

肺 虚 冷

治肺风气痿绝，四肢满胀，喘逆胸满，灸肺输二壮。

肺 劳

治喉痹气逆，咳嗽口中涎唾，灸肺输七壮，亦可随年壮至百壮。

气 极

呕吐上气，灸尺泽不三则七壮。

腹中雷鸣相逐，食不化，逆气，灸太仓七壮。

大 肠 实 热

治肠中脓胀不消，灸大肠输四十九壮。

大肠有热，肠鸣腹满，侠脐痛，食不化，喘不能久立，巨虚上廉主之。

扁鹊曰：灸脾肝肾三输，主治丹金毒黑温之病，当依源为理，调脏理腑，清浊之病不生也。

骨 极

腰背不便，筋挛痹缩，虚热闭塞，灸第二十一椎，两边相去各一寸五分，随年壮。

小便不利，小腹胀满，虚乏，灸小肠输，随年壮。

骨 虚 实

治骨髓冷疼痛，灸上廉七十壮。

胞 囊

治腰痛小便不利，苦胞转，灸玉泉七壮，灸第十五椎五十壮，又灸脐下一寸，又灸脐下四寸，各随年壮。

① 胀：备急千金要方无此字。

② 肠：备急千金要方此下有“灸”字。

③ 推：备急千金要方作“椎”。

④ 推：备急千金要方作“椎”。

⑤ 等：备急千金要方作“第”。

神巧万全方

治肝虚方

俗中多不善行针，此方云：针灸者，先针后灸尤佳，不能针则于所主穴上，随病轻重，灸之亦得，重者多壮数，轻者减之，下皆仿此。

肝俞 期门 攒竹 睛明 百会 大杼
通谷 后顶 皆主目不明，恶风 神庭 风池 天牖
心俞 皆主目泣出 此方或只言穴，不言灸之壮数者，各随病之轻重灸之，下皆仿此。

治肝实方

凡藏府实而成病法宜针。盖针者，补泻之法，经曰实者泻之，此之谓也，下皆仿此。

风池 脑户 玉枕 风府 主目痛不能视

治胆虚冷方

肝俞、胆俞，胆寒取阳陵泉，呕有苦汁，畏，太息，邪在胆，逆在胃，胆取之三里，胃逆刺少阳；口中味苦，又恐畏如见鬼，少力，刺足厥阴，足大指间或三毛中。侠溪，主胆病。灸随年壮。胆虚灸足三阴交。阳陵泉主怵惕，恐人将捕之；大钟、郄门主惊恐畏人。

治胆实方

扁鹊云：胆病则眉为之倾，与足厥阴少阳为表里，表清里浊，其病若实极则伤热，热则惊，精神不守，卧起不定；若虚则伤寒，寒则畏恐，头眩不能独卧，发于元水，其根在胆，先从头面起，肿至足。胆实，苦腹中不安，身体习习，刺足少阳，在足第二指本指，灸肝俞、胆俞。

治心虚方

神门，主恐悸上气。三间、合谷主惊喜。间使主喜惊，痞不能言，心悲不乐。通里主

心下悸。大陵主心下澹澹惊恐。神门、阳谷主笑若狂。巨阙、筑宾主狂妄怒骂，亦灸心俞。

治心实方

凡心实则心暴痛，差则心烦，惕然不能动，失智，皆内关主之，春少冲，夏少府，仲夏神门，秋灵道，冬少海。

治小肠虚方

小肠俞并中极穴，各随年壮，侠脐两边，相去各一寸，名魂舍，灸百壮，治小肠中泄利脓血。

治小肠实方

夹胃管两边相去一寸，名阴都，随年灸，主小肠热，又刺手少阳络。少^①阳穴，在左手第二指间，去本节后一寸动脉是也。

治脾虚方

丰隆，主不能食。金门、章门主不嗜食，食不化。上管、中管主寒中饮食不化。中极主饮不能食。

凡食饮不化，先取下管，后取三里泻之。

凡不嗜食，刺然谷，多见血，使人立饥。天枢、厉兑、内庭，主食不化，不嗜食，夹脐急。

脾病亦多灸脾俞、胃俞。

治脾实方

灸脾俞及左右各一寸三处，各七壮，主四肢寒热，腰痛不得俯仰，身黄，腹满，食呕，舌根直，又泻中管、三阴交、足三里。

治胃虚方

灸胃俞、足三里。

^① 少：千金翼方作“治”。

治胃实方

千金方云：三里各灸三十壮，治胃中热，然得针泻，灸亦佳，并先针胃管。

治肺虚方

天突、膻中、肺俞。

治肺实方

阴都，主肺胀，气抢胁下，随年灸之。凡吐血，泻鱼际，补尺泽、上管、不容。

治肺萎方

太冲、彘中、中府、肺腧。

治大肠虚方

承满，主肠中鸣，相逐下利，灸三七壮，又灸天枢，随年壮。

治大肠实方

灸大肠俞，主肠中牖胀不消。千金方云：灸四十九壮，针天枢。

五藏导引

巢氏病源

肝病候

养生方云：春三月，此谓发陈，天地俱生，万物以荣，夜卧早起，^①阔步于庭，被发缓形。以使春志生，生而勿杀，与而勿夺，赏而勿罚，此春气之应也，养生之道也，逆之则伤于肝，夏变为寒，则奉长生^②者少。

又云：肝脏病者，愁忧不乐，悲思嗔怒，头旋眼痛，呵气出而愈。

心病候

养生方云：夏三月此谓蕃莠，天地气交，万物英实，夜卧早起，无厌于日，使志无怒，使华英成秀，使气得泄，若所爱在外，此夏气之应，养长之道也，逆之则伤心，秋为痃疟。

养生方导引法云：心藏病者，体有冷热，若冷呼气入，若热吹气出。又云：左卧，口内气，鼻出之，除心下不便也。

脾病候

养生方云：脾藏病者，体面上游风习习

痛，身体痒，烦闷疼痛，用嘻气出。

肺病候

养生方云：多语则气争，肺胀口燥。

又云：秋三月此谓容平，天气以急，地气以明，早卧早起，与鸡俱兴，使志安宁，以缓秋形，收敛神气，使秋气平，无外其志，使肺气清，此秋气之应也，收养^③之道也，逆之则伤肺，冬为飧泄。

养生方导引法云：肺脏病者，体胸背痛满，四肢烦闷，用噓气出，以两手据地覆之，口内气，鼻出之，除胸中肺中病也。

肾病候

养生方云：冬三月此谓闭藏，水冰地坼，无扰乎阳，早卧晚起，必待日光，使志若伏匿，若有私意，若已有得，去寒就温，无泄皮肤，使气亟夺，此冬气之应也，养藏之道

① 阔：诸病源候论作“广”

② 生：诸病源候论无此字。

③ 收养：诸病源候论作“养收”。

也，逆之则伤肾，春为萎厥。

养生方导引法云：肾藏病者，咽喉窒塞，腹满耳聋，用咽气出。

又云：两足交坐，两手捉两足解溪，挽之极势，头仰来去七，去肾气壅塞。

膀胱病候

养生方导引法云：蹲坐欹身，弩①两手向前，仰掌极势，左右转身腰三七，去膀胱内冷，血风骨节急强。

又云：互跪，调和心气，向下至足，意里想，气索索然流布得所，始渐渐平身，舒

手傍肋，如似手掌内气出，气不止，面觉急闷，即起皆至地，来去二七，微减膝头冷，膀胱宿病，腰脊强，齐下冷闷。

五藏横病候

养生方导引法云：从膝以下有病，当思齐下有赤光，内外连没身也；从膝以上至腰有病，当思脾黄光；从腰以上至头有病，当思心内赤光；病在皮肤寒热者，当思肝内青绿光；皆当思其光，内外连而没已身闲②气收光以照之，此消疾却邪甚验，笃信精思行之，病无不愈。

五藏六腑图

肺藏修养法

常以七月八月九月，朔望旭旦，西面坐，鸣天鼓神巧万全方西面坐叩齿。七，饮玉浆三，然后瞑目正心，思兑宫白气入口，七吞之，闭气七万全方作一。十息，则重神强体，百邪莫向之，兵刃不能害，延年益寿，名飞仙籍，盖所补泻气安息，灵魄之所致哉。

治肺藏吐纳用咽法

以鼻微长引气，以口咽之。令自耳不得闻也。皆先修调气，令和，然后咽之，肺有病用咽三十遍，细咽十遍。去肺家劳热，上气咳嗽，皮肤疮疡，四肢烦疼，鼻塞，胸背痛，数依法咽之，疾差止，过度损矣。

肺藏导引法 七月、八月、九月行之。神巧万全方四月、五月并宜行之。

可正坐，以两手据地，缩身曲脊，向上三举，去肺家风邪积劳。亦可反拳捶背上，左右各三五度，此法去胸臆间风毒闭气，为之毕，良久闭目咽液，三叩齿而止。万全方此下云：肺藏病则体胸背痛满，四肢烦闷③，用嘘气出鼻中，又以两手据地，覆之，口纳鼻出之。

心藏修养法

常以四月五月弦朔清旦，面南端坐，叩金梁九，漱玄泉三，净思注相，吸离宫赤色气，入口三吞之，闭炁三十息以呼之，填其虚府心穴，饵火离，濯玉女，神平体安，众妖莫之害，金火不能损，神之至灵也。

治心藏吐纳呼呵法

以鼻微引气，以口呵之，皆调气如上，勿令自耳闻之，然后呵之，心有病，大呼三十遍，细呵十遍，去心家劳热，一切烦闷心疾等，以泻之病。

心藏导引法 四月五月并宜行之

可正坐，以两手作拳，用力左右互相筑各五六度。又可正坐，以一手按膻上，一手向下，拓空如重石。又以两手急相叉，以脚踏手中各五六度，能去心胸间风邪诸疾。闭气为之毕，良久闭目，三咽液，三叩齿而止。

肝藏修养法

常以正月二月三月朔旦，东面平坐，叩

① 弩：诸病源候论作“努”。

② 闲：诸病源候论作“闭”。

③ 闷：按文义应作“疼”。

齿三通，闭九十息，吸震宫青气入口九吞之，以补虚损，享青龙之祀，以致二童之饌，木精乘土则乐，多欢少忧，养精之妙也。

治肝藏吐纳用嘘法

以鼻微长炁以口嘘之，肝病用大嘘三十遍，细嘘十遍，能去肝家虚热，亦除四肢壮热眼闹，一切烦热者，数数嘘之，绵绵相次不绝为妙。病差则止，过度请不作，恐损。

肝藏导引法 正月二月三月行之

可正坐，以手两相重按胫下，徐纡身左右各三五度，又可正坐，两手拽相叉，翻复向胸三五度，此能去肝家积聚，风邪毒气，余如上。

脾藏修养法

常以季夏之月朔旦，并及四季之末十八日旭旦，正坐中宫，禁气五息，鸣天鼓十二，吸坤宫之黄气十二，咽之以补呼之损，以饮玉女之体，以致神风之味，以补于脾，以佐神气也，则入山不畏虎狼，登峻不惧颠厥者，行气禁土之精也。

治脾藏吐纳用呼法

以鼻微长引气以口呼之，脾病用大呼三十遍，细呼十遍，能去脾家一切冷气，壮热霍乱，宿食不消，偏风顽痹，腹内结块者，数数呼之，相次勿绝，疾退则止，勿过度。

脾藏导引法 四季行之

可大坐，伸一脚，屈一脚，以两手向后，及掣各三五度，亦可跪坐，以两手距地，回顾用力虎视各三五度，能去脾藏积聚，风邪毒气，余如上法。

肾藏修养法

常以十月十一月十二月西北面平坐，鸣金梁七，饮玉泉三，北吸玄宫黑色炁，入口五吞之，以补吹损之味，白鹿之词，设玉童之饌，裨益肾炁，神和体安，则群妖莫之害也，则致长生。

治肾藏吐纳用吹法

以鼻微长引气以口吹之，肾病用大吹之三十遍，细吹十遍，能去肾家一切冷，腰疼膝脚沉重，久立不得，阳道衰弱，耳中虫鸣，及口中有疮，是肾家之疾，烦热悉皆去，数数吹之，相次忽绝，病差止，过度损。

肾藏导引法 十月十一月十二月行之

可正坐，以两手上从耳左右，引胁三五度，亦可及手着踵抛射左右，同纡身三五度，亦可以足前后蹈，左右各数十度，能去腰肾膀胱间风邪积聚，余如上法。故天有五行，以生①寒暑燥湿，人有五气，以生喜怒悲忧恐惧，故喜怒伤气，寒暑伤形，不节寒暑，过度生乃不顾。人能依时摄养，免其发枉也。目无妄视，口无妄言，耳无妄听，鼻无妄香，养生之妙旨也。常以两手相摩令热，以拭面三七，亦周摩身令遍，名曰乾浴，令人却恶，面有玉泽金光也。

胆藏修养法

常以冬三月，端居净思，北吸玄宫之黑气，入口三吞之，以补嘻之损，以尽益胆之津，以食龟蛇之味，饮玉童之浆，然后神冲体和，众邪不能犯，群盗莫之向，胆气所置也。

胆藏导引法 立冬至立春，并可行之

可平坐，合两脚掌，昂头以两手挽脚腕，起摇动为之三五度，亦可大坐，以两手拓地，举身努腰脊三五度，能去胆家之风毒邪气。

治胆藏吐纳用嘻法

以鼻微长引气，以口嘻之，胆病并藏，除阴一切冷，阴汗盗汗，面无颜色，小腹胀满，脐下冷痛，悉去之，口乾舌涩，数数喜之，疾愈则便止。

五藏六腑图文备记

夫愚夫庸士，不信玄妙，漫其真理，深可悲哉！自取伤毁，倘有一夫有胆气，忽遇

① 生：按文义此下应有“风”字。

妖怪非常之灵，则努目切齿，神强正者，必伏冥神也。岂非神气之用哉？何不信之？凡叩齿为抽一身之弊气，漱泉为补益六腑至精，此亦为补也，非直嘘吸，独称补写耳。

黄帝谓岐伯曰：夫人者，受天地之气。生之来也，谓之精，精之遘为之灵，灵之变也为之神，神化也为之魂，随神往来为之识，并精出入为之魄，主管精魄为之心，心有所从为之情，情有所属为之意，意有所指为之志，志有所忆为之思，思有所远慕为之虑，虑而事用为之智，智者尽此诸见者也。盖精、神、魂、魄、意、情、智见识之所用也。处士孙思邈论曰：夫人禀天地而生，故内有五藏六腑、精、气、骨、髓、筋、脉，外有四肢九窍、皮毛、爪、齿、咽、喉、唇、舌、

肛门、胞囊，以此摠而成躯。故将息得理，则百体安和，后用非宜，则五劳七伤六极；有方可救，虽病无他，无法可凭，奄然永往。所以此图之中皆备述，五藏六腑，血脉根源，循环流注，与九窍应会处所，并穷于此，其能留心，考而行之，则内一日病，无所能矣。夫发宜多栉，齿宜数叩，液宜常咽，气宜精炼，手宜在面，此五者，所谓子欲不死修崑苍耳。犹是炼丹以固之，却粒以赖之，去其事符书其金格，朝天吸日，仰气冲虚，此术士之用也。

元始太玄经曰：喜怒损性，哀乐伤神。性损则害生，故养性以全气，保神以安身，气全体平，心安身逸，此全生之诀也。

诸 风 门 一

巢氏病源

风病诸候

中风候

中风者，风气中于人也。风是四时之气，分布八方，主长养万物，从其乡来者，人中少死病，不从乡来者，人中多死病。其为病者，藏于皮肤之间，内不得通，外不得泄，其入经脉，行于五脏者，各随脏腑而生病焉。心中风，但得偃卧，不得倾侧，汗出。若唇赤汗流者可治，急灸心俞百壮；若唇或青或黑或白或黄，此是心坏为水，面目亭亭时悚动者，皆不可复治，五六日而死。肝脾肾肺中风候，详见千金方。

风身体手足不随候

手足不随者，由体虚腠理开，风气伤于脾胃之经络也。足太阴为脾之经，脾与胃合，足阳明为胃之经，胃为水谷之海也。脾候身之肌肉，主胃消行水谷之气，以养身体四肢。脾气弱即肌肉虚，受风邪所侵，故不能为胃通行水谷之气，致四肢肌肉无所禀受，而风邪在经络，搏于阳经，气行则迟，关以纵，故令身体手足不随也。诊脾脉缓者，为风痿，四肢不用，又心脉肾脉俱至，则难以言，九窍不通，四肢不举，肾脉来多即死也。

风痹手足不随候

风寒湿三气合而为痹，风多者，为风痹。风痹之状，肌肤尽痛，诸阳之经尽起于手足，而循行于身体，风寒之客肌肤，初始为痹，后伤阳经，随其虚处而停滞，与血气相搏，血气行则迟缓，使机关弛纵，故风痹而复手足不随也。

风不仁候

风不仁者，由荣气虚，卫气实，风寒入于肌肉，使血气行不宣流，其状，搔之皮肤如隔衣是也，诊其寸口脉缓，则皮肤①不仁。不仁，脉虚数者生，卒急疾者死。

风湿候

风湿者，是风气与湿气共伤于人也。风者，八方之虚风；湿者，水湿之蒸气也。若地下湿，复少霜雪，其山水气蒸，兼值暖腹退，人腠理开，便受风湿。其状令人懈惰，精神昏愤，若经久亦令人四肢缓纵不随。入藏则喑哑，口舌不收，或脚痹弱，变成脚气。

蛊风候

蛊风者，由体虚受风②，□风在于皮肤，淫淫跃跃，若画若刺，一身尽痛，侵伤气血，其动作状如蛊毒，故名蛊风也。

风热候

风热病者，风热之气，先从皮毛入于肺也。肺为五脏上盖，候身之皮毛，若肤腠虚，则风热之气，先伤皮毛，乃入肺也。其状使人恶风寒战，目欲脱，涕唾出。候之三日及五日内，不精明者是也；七八日微有青黄浓涕如弹丸大，从口鼻内出为善也；若不出则伤肺，变咳嗽唾脓血也。

风气候

风气者，由气虚受风故也。肺主气，气之所行，循经络，荣脏腑，而气虚则受风，风之伤气，有冷有热，冷则厥逆，热则烦惋，

① 皮肤：诸病源候论无此二字。

② 风：此下脱字，诸病源候论作“其”。

其因风所为，故名风气。

风冷失声候

风冷失声者，由风冷之气客于会厌，伤于悬壅之所为也。声气通发，事因关户，会厌是音声之户，悬壅是音声之关，风冷客于关户之间，所以失声也。

中冷声嘶候

中冷声嘶者，风冷伤于肺之所为也。肺主气，五脏同受气于肺，而五脏有五声，皆禀气而通之。气为阳，若温暖则阳气和宣，其声通畅，风冷为阴，阴邪搏于阳气，使气道不调流，所以声嘶也。

恶风须眉堕落候

大风病须眉堕落者，皆从风湿冷得之，或因汗出入水得之，或冷水入肌体得之，或饮酒卧湿地得之，或当风冲坐卧树下及湿草上得之，或体痒搔之渐渐生疮，经年不瘥，即成风疾。八方之风，皆能为邪，邪客于经络，久而不云^①，与血气相干，则使荣卫不和，淫邪散溢，故面色败，皮肤伤，鼻柱坏，须眉落。西北方乾为老公，名曰金风，一曰黑风，二曰旋风，三曰悞风，其状似疾，此风奄奄忽忽，不觉得时，以经七年，眉睫堕落。东方震为长男，名曰青风，一曰终风，二曰冲风，三曰行龙风，其状似疾，此风手脚生疮，来去有时，朝发夕发，以经五年，眉睫坠落。东北方艮为小男，名曰石风，一曰春风，二曰游风，三曰乱风，其状似疾，此风体肉顽斑白如癩，以经十年，眉睫堕落。北方坎为中男，名曰水风，一曰面风，二曰瓦^②字元作瓦^②风，三曰敖风，其状似疾，春秋生疮，淫淫习习，类如虫行，走作无常，以经十年，眉睫堕落。西南方坤为老母，名曰穴风，一曰吟风，二曰胪风，三曰脑风，其状似疾，不觉痛痒，体不生疮，真似白癩，以经十年，眉睫堕落。东南方巽为长女，名曰角风，一曰因风，二曰历节风，三曰膀胱风，其状似疾，以此风有虫三色，头赤腹白尾黑，以经三年，眉睫堕落，虫出可治。

南方离为中女，名曰赤风，一曰水风，二曰摇风，三曰奸风，其状似疾，此风身体游游奕奕，心不肯定，肉色变异，以经十年，眉睫堕落。西方兑为少女，名曰淫风，一曰缺风，二曰明风，三曰青风，其状似疾，此风已经百日，体内蒸热，眉发堕落。

恶风候

凡风病有四百四种，总而言之，不出五种，即是五风所摄，一曰黄风，二曰青风，三曰赤风，四曰白风，五曰黑风。凡人身中有八万尸虫，共成人身，若无八万尸虫，人身不成不立，复有诸恶横病，诸风生，害于人身，所谓五种风生五种虫，能害于人，黑风生黑虫，黄风生黄虫，青风生青虫，赤风生赤虫，白风生白虫，此五种风，皆是恶风，能坏人身，名曰疾风，入五脏即与脏食人虫生，其虫无量，在人身中，乃入骨髓，来去无碍。若食人肝，眉睫堕落；食人肺，鼻柱崩倒；食人脾，语声变散；食人肾，耳鸣啾啾，或如雷声；食人心，心不受触而死。脉来徐去疾，上虚下实，此为恶风。

风瘙痒候

此由游风在于皮肤，逢寒则身体疼痛，遇热则瘙痒。

风痒候

邪气客于肌，则令肌肉虚，真气散去，又被寒搏皮肤，皮外发，腠理闭，毫毛淫，邪与卫气相搏，阳胜则热，阴胜则寒，寒则表虚，虚则邪气往来，故肉痒也，凡痹之类，逢热则痒，逢寒则痛。

诸癩候

凡癩病，皆是恶风及犯触忌害得之。初觉皮肤不仁，或淫淫苦痒如虫行，或眼前见物如垂丝，或隐疹辄赤黑，此皆为疾。始起便急治之，断米谷肴鲑，专食胡麻松术辈最善也。夫病之生，多从风起，当时微发，不将为害，初入皮肤里不能自觉，或流通四肢

① 云：诸病源候论作“去”。

② 字元作瓦：诸病源候论作“字一作玄”。

潜于经脉，或在五脏乍寒乍热，纵横脾肾，蔽诸毛腠理，壅塞难通，因兹气血精髓乖离。久而不治，令人顽痹。或汗不流泄，手足痠疼，针灸不痛，或在面目，习习奕奕；或在胸颊^①状如虫行，身体遍痒，搔之生疮；或身面肿，痛彻骨髓；或顽如钱大，状如蚝毒；或如梳，或如手，锥刺不痛；或青赤黄黑，犹如腐木之形；或痛无常处，流移非一，或如酸枣，或如悬铃；或似绳缚拘急，难以俯仰，手足不能摇动，眼目流肿，内外生疮，小便赤黄，尿有余沥，面无颜色，恍惚多忘，其间变状多端。毒虫若食人肝者，眉睫堕落；食人肺，鼻柱崩倒，或鼻生息肉，孔气不通；若食人脾，语声变散；若食人肾，耳鸣啾啾，或如雷鼓之音；若食人筋脉，肢节堕落；若食人皮肉，顽痹不觉痛痒，或如针锥所刺，名曰刺风。若虫乖^②风，走于皮肉，犹若外有虫行，复有食人皮肉，彻外从头面，即起为疱肉，如桃核小枣。从头面起者，名曰顺风，病从两脚起者，名曰逆风，令人多疮，犹如癣疥，或如鱼鳞，或痒或痛，黄水流出。初起之时，或如榆荚，或如钱孔，或青或白，或黑或黄，变异无定，或起或灭，此等皆病之兆状。又云：风起之由，皆是冷热交通，流于五脏，彻入骨中，虚风因湿和合，虫生便即作患。论其所犯，多因用力过度，饮食相违，行房太过，毛孔既开，冷热风入，五脏积于寒热，寒热之风交过，通彻流行诸脉，急者即患，缓者稍远。所食秽杂肉，虫生日久，冷热至甚，暴虫遂多，食人五脏骨髓，及于皮肉筋节，久久皆令坏散，名曰癩风。若其欲治，先与雷丸等散，服之出虫，见其虫形，青赤黑黄白等诸色之虫，与药治者，无有不瘥。然癩名不一，木癩者，初得先当落眉睫，面目痒，如复生疮，三年成大患，急治之愈，不治患成；火癩者，如火烧疮，或断人支节，七年落眉睫，急治可愈，八年成疾难治；金癩者，是天所为也，负功德崇，初得眉落，三年食鼻柱崩倒，叵治，良医能

愈；土癩者，身体块磊，如鸡子弹丸许，此病宜急治之，六年便成大患，十五年不可治；水癩者，先得水病，因即流停，风触发动，落人眉须，不急治之，经年病成；蟋蟀癩者，虫如蟋蟀，在人身体内，百节头皆欲血出，三年叵治；面癩者，虫如面，举体艾白，难治，熏药可愈，多年叵治；雨癩者，斑驳或白或赤，眉须堕落，亦可治，多年难治；麻癩者，状似癣痒，身体狂痒，十年成大患，可急治之愈，风从体入，或手足刺疮，风冷痹痴不治，二十年后便成大患，宜急治之；蛔癩者，得之身体沉重，状似风癩，积久成大患，速治之愈；酒癩者，酒醉卧黍稷上，因汗体虚，风从外入，落人眉须，令人惶惧，小治大愈。

白癩候

白癩者，面及颈项身体皮肉色变白，与肉色不同，亦不痒痛，谓之白癩，此亦是风邪搏于皮肤，血气不和所生也。

被损久瘀血候

此为被损伤，仍为风冷搏，故令血瘀结在内，久不瘥也。

腕折中风痙候

夫腕折伤，皮肉作疮者，慎不可当风及自扇，若风入疮内，犯诸经络所致痙，痙者，脊背强直，口噤不能言也。

腕折中风肿候

此为风入疮内，而不入经络，其搏于气，故但肿也。

刺伤中风水候

此为竹木所刺伤，其疮中风水者，则肿痛，乃至成脓。

① 颊：诸病源候论作“颈”。

② 乖：诸病源候论作“乘”。

千金方

论杂风状

岐伯曰：中风大法有四，一曰偏枯，二曰风痲，三曰风懿，四曰风痹。夫诸急卒病多是风，初得轻微人所不悟，宜速与续命汤，依输穴灸之。夫风者，百病之长，岐伯所言四者，说其最重也。

偏枯者，半身不随，肌肉偏不用而痛，言不变，智不乱，病在分腠之间，温卧取汗，益其不足，损其有余，乃可复也。甲乙经云：温卧取汗则巨取之。

风痲者，身无痛，四肢不收，智乱不甚，言微可知则可治，甚即不能言，不可治。

风懿者，奄忽不知人，咽中塞窒然，巢氏病源作噎噎然有声。舌强不能言，病在藏腑，先入阴，后入阳，治之先补于阴，后泻于阳，发其汗，身转软者生，汗不出，身直者，七日死。巢源作眼下及鼻人中左右白者，可治；一黑一赤吐沫者，不可治。

风痹、湿痹、周痹、筋痹、脉痹、肌痹、皮痹、骨痹、胞痹，各有证候，形如风状，得脉别也，脉微涩，其证身体不仁。

凡风多从背五藏输入，诸藏受病，肺病最急，肺主气息，又冒诸藏故也。

肺中风者，其人偃卧，而胸满短气，冒闷汗出者，肺风之证也。视目下鼻上，两边下行至口，色白者尚可治，急灸肺输百壮，服续命汤，小儿减之；若色黄者，此为肺已伤，化为血矣，不可复治，其人当妄言，掇空指地，或自拈衣寻缝，如此数日死。巢氏病源此下云：诊其脉虚弱者，亦风也；缓大者，亦风也；浮虚者，亦风也；滑数者，亦风也。若为急风邪所中，便迷漠恍惚，狂言妄语，或少气惛惛，不能复言，若不求师即治，宿昔而死。即觉便灸肺输及膈输、肝输数十壮，急服续命汤可救也；若涎唾出不收者，既灸当并与汤也。诸阳受风，

亦恍惚妄语，与肺病相似，然着缓，可经久而死。

肝中风者，其人但踞坐，不得低头，绕两目连额上，色微有青者，肝风之证也。若唇色青面黄，尚可治，急灸肝输百壮，服续命汤；若大青黑，面一黄一白者，此为肝已伤，不可复治，数日而死。

心中风者，其人但得偃卧，不得倾侧，闷乱冒绝，汗出者，心风之证也。若唇正赤，巢源唇赤汗流。尚可治，急灸心输百壮，服续命汤；若唇或青或白，或黄或黑者，此为心已坏为水，面目亭亭时悚动者，不可复治，五六日死^①。□云旬日死。

脾中风者，其人但踞坐，而腹满身通黄，吐咸汁出者，尚可治，急灸脾输百壮，服续命汤；若目下青，手足青者，不可复治。

肾中风者，其人踞坐而腰痛，视眈左右，未有黄色如饼粢大者，尚可治，急灸肾输百壮，服续命汤；若齿黄赤，鬓发直，面土色者，不可复治。

大肠中风者，卧而肠鸣不止，灸大肠输百壮，可服续命汤。

贼风邪气所中，则伤于阳，阳外先受之，客于皮肤，传入于孙脉，孙脉满，则入传于络脉，络脉满，则输于大经中成病，归于六腑则为热，不时卧止为啼哭，其脉坚大为实，实者外坚充满，不可按之，按之则痛也，经络诸脉，傍支去者，皆为孙脉也。

凡风之伤人，或为寒中，或为热中，或为厉风，或为偏枯，或为贼风。故以春甲乙，伤于风者为肝风；以夏丙丁，伤于风者为心风；以四季戊己伤于风者为脾风；以秋庚辛，伤于风者为肺风；以冬壬癸，伤于风者为肾风。风中五脏六腑之输，亦为脏腑之风；各入其门户，所中则为偏风。风气循风府而

^① 死：此下注文脱字，备急千金要方作“一”。

上，则为脑风；风入头，则为目风眼寒；饮酒中风，则为酒风；入房汗出中风，则为内风；新沐中风，则为首风；久风入房中风则为肠风；外在腠理，则为泄风。故曰风者，百病之长也。至其变化，乃为他病，无常方焉。是知风者，善行而数变，在人肌肤中，内不得泄，外不得散，因人动静，乃变其性。有风遇寒，则食不下；遇寒^①则肌肉消而寒热。有风遇阳盛，则不得汗；遇阴盛则汗自出。肥人有风，肌肉厚，则难泄，喜为热中目黄；瘦人有风肌肉薄，则常外汗，身中寒，目泪出。有风遇于虚，腠理开则外出，凄凄然如寒状，觉身中有水淋状时，如竹管吹处，此是其证也；有风遇于实，腠理闭则内伏，令人热闷，是其证也。

新食竟，取风为胃风。其状恶风，颈多汗，膈下塞不通，食饮不下，胀满形瘦腹大，失衣则愤满，食寒即洞泄。新热食竟，入水自渍及浴者，令人大腹为木^②病。

因醉取风为漏风。其状恶风，多汗少气，口乾喜渴，近衣则身如火烧，临食则汗流如雨，骨节懈惰，不欲自劳。

新沐浴竟，取风为首风。其状恶风，而汗多头痛。

新房室竟，取风为内风。其状恶风，汗流沾衣。劳风之为病，法在肺下，使人强上而目脱，唾出如涕，恶风而振寒，候之三日及五日中，不精明者是也，七八日微有青黄脓涕，如弹丸大，从口鼻出，为善，若不出则伤肺。

风邪客于肌肤，虚痒成风疹瘙疮；风邪入深，寒热相搏，则肉枯；邪客半身，入深真气去，则偏枯；邪客关机中即挛，筋中亦然邪淫于藏，梦藏大形小；淫于腑，梦藏小形大；邪随目系入脑，则目转眩；邪中精，则散视见两物；风邪入藏，寒气客于中不能发，则喑哑喉痹舌缓，不时服药针灸；风逐脉流入藏，使人卒^③喑，缓纵噤痉致死^④。风入阳经则狂，入阴经则癫。阳邪入阴病则

静，阴邪入阳病则怒。

若因热食汗浴，通腠理得开，其风自出，则觉肉中如针刺，步行运力欲汗，亦如此也。

凡觉肌肉中如刺，皆由腠理闭，邪气闭在肌中，因欲出也，宜解肌汤则善。

夫目瞬动，口唇动，偏喎，皆风入脉，故须急服小续命汤、将八风散、摩神明白膏、丹参膏，依经针灸之。

诸痹，由风寒湿二^⑤气并客于分肉之间，迫切而为沫，得寒则聚，聚则排分肉，肉裂则痛，痛则神归之，神归之则热，热则痛解，痛解则厥，厥则他痹发，发则如是。此内不在藏而外未发于皮肤，居分肉之间，真气不能周，故为痹也。其风最多者，不仁则肿为行痹，走无常处；其寒多者，则为痛痹；其湿多者，则为著痹；冷汗濡，但随血脉上下，不能左右去者，则为周痹也；痹在肌中，更发更止，左以应左，右以应右者，为偏痹也。

夫痹，其阳气少而阴气多者，故令身寒从中出，其阳气多而阴气少者，则痹旦^⑥热也。

诸痹，风胜者则易愈，在皮间亦易愈，在筋骨则难痊也。久痹入深，令荣卫涩，经络时踈则不知痛。

风痹病不可已者，足如履冰，时如入汤，腹中股胫淫泆，烦心头痛。伤脾肾，时呕眩，时自汗出；伤心目眩；伤肝悲恐短气不乐；伤肺不出三年死。一云三日。

太阳中风，重感于寒湿，则变痉也。痉者，口噤不开，背强而直，如发痫之状，摇头马鸣，腰反折，须臾十发，气息如绝，汗出如雨，时有脱。易得之者，新产妇人及金疮血脉虚竭，小儿脐风，大人凉湿得痉风者，

① 寒：备急千金要方作“热”。

② 木：备急千金要方作“水”。

③ 卒：备急千金要方此下有“然”字。

④ 死：备急千金要方此下有“也”字。

⑤ 二：备急千金要方作“三”。

⑥ 旦：备急千金要方作“且”。

皆死。温病热盛入肾，小儿痼，热盛皆痉。痉、暗、厥、癰皆相似，故久厥成癰，宜审察之。其重者，患耳中策策痛，皆风入肾经中也，不治流入肾，则喜卒然体痉直如死，皆宜服小续命汤两三剂也。若耳痛肿生汁，作痈疔者，乃无害也，惟风宜防耳，针耳前动脉及风府神良。

恶疾大风

恶疾大风，有多种不同，初得虽遍体无异，而眉须已落；有遍体已坏，而眉须俨然；有诸处不异好人，而四肢腹背有顽处，重者手足十指，已有堕落；有患大寒，而重衣不暖；有寻常患热，不能暂凉；有身体枯槁者；有津汁常不止者；有身体乾痒彻骨，搔之白皮如麸，手下作疮者；外台作卒不作疮。有疮痂茶^①毒，重叠而生，昼夜苦痛不已者；有直置顽钝，不知痛痒者。其色亦有多种，有青黄赤白黑，光明枯暗。此候虽种种状貌不同，而难疗易疗，皆在前人，不由医者，何则？此病一著，无问贤愚，皆难与语，何则？口顺心违，不受医教，直希望药力，不能求己，故难疗易疗，属在前人，不关医药。予尝手疗六百余人，瘥者十分有一，莫不一一亲自抚养，所以深细谘委之，姑与共语^②，觉难与^③语，不受入，即不须与疗，终有触损，

病既不瘥，乃劳而无功也。又神仙传：有数十人，皆因恶疾而致仙道，何者？皆由割弃尘累，怀颖阳之风，所以非止瘥病，乃因祸而取福也。故余所睹病者，其中颇有士大夫，乃至有异种名人，及遇斯患，皆爱恋妻孥，系著心髓，不能割舍，直望药力，未肯近求诸身。若能绝其嗜欲，断其所好，非但愈疾，因兹亦可自致神仙。余尝问诸病人皆云，自作不仁之行，久久并为极狠之业，于中仍欲更作云，为虽有悔言，而无悔心，但能自新，受师教命，餐进药饵，何有不除！余以贞观年中，将一病士入山，教服松脂，欲至百日，须眉皆生，由此观之，惟须求之于己，不可一仰医药者也。然有人数年患身体顽痹，羞见妻子，不告之令知，其后病成，状貌分明，乃云犯药卒患，此皆自误。然斯疾虽大，疗之于微，亦可即瘥。此疾一得，远者不过十年皆死，近者五六岁而亡，然病者自谓百年不死，深可悲悼！一遇斯疾，即须断盐，常进松脂，一切公私物务，释然皆弃，犹如脱屣，凡百口味，特须断除，渐渐断谷，不交俗事，绝乎庆吊，幽隐巖谷，周年乃瘥，瘥后，终身慎房事，犯之还发。兹疾有吉凶二义，得之脩善即吉，若还同俗类，必是凶矣。今略述其由，致以示后之学者，可览而思焉。

圣惠方

中风论

夫风者，天地山川之气也，所发远近有二焉。一者，天地八方四时五行之气，为近风；春夏秋冬夏，各依其时，从东西南北，天涯地际，八卦之乡来者，为远风。温凉寒暑，从微至盛，各随其孟仲季，以顺十二月，周一岁也。温凉寒暑之气，是风也，动则靡靡然，静^④□□□尔，是天地之风也。经曰：诸邪风者，非是时行乘节之风，亦非山川鼓

振之风，是人间庭巷门户，窗牖之迳气尔。天无风之日，其恒有迳气，人长居其间，日月积久，乃能虚人肌肉，入人百脉，流注五脏六腑，则致生病焉。凡四时风者，春九十日，名曰清风，伤人为肝风；夏九十日，名曰阳风，伤人为心风；秋九十日，名曰凉风，伤人为肺风；冬九十日，名曰寒风，伤人为

① 茶：备急千金要方作“藁”。

② 姑与共语：备急千金要方作“且共语看”。

③ 与：备急千金要方作“共”。

④ 静：此下脱字，太平圣惠方作“则含含”。

肾风。其分布八方，亦异名也。太一之神随其节，居其乡，各王四十五日，风云皆应之。东北方艮之气，立春王，名为条风，一名凶风，王四十五日。东方震之气，春分王，名为明庶风，一名婴儿风，王四十五日。东南方巽之气，立夏王，名为清明风，一名弱风，王四十五日。南方离之气，夏至王，为景风，一名大弱风，王二十七日，合仲夏也。仲夏中央之气，戊己王十八日，合夏至都四十五日，王皆同在此。仲夏者，非孟仲之仲也，是天地之正中，五行之所会，四季之所同，其一节而火土二气王之，分夏数为二位，故为仲夏也。西南方坤之气，立秋王，名为凉风，一名谋风，王四十五日。西方兑之气，秋分王，名为闾阖风，一名刚风，王四十五日。西北方乾之气，立冬王，名为不周风，一名折风，王四十五日。北方坎之气，冬至王，名为广莫风，一名大刚风，王四十五日。由此四风之变而生八风，八风者，八方之风也。若从其乡来者，主长养万物，则人少病；若不从其乡来，而从所胜来者为贼邪，害于万物，则人多病。是故圣人云：避风如避矢。然风之伤人，或为热中，或为寒中，或为疴¹

风，或为偏枯，或为摊缓，或角弓反张。风者喜行而数变，其病各异，其名不同。若腠理开，开则洒然寒，腠理闭，闭则热而闷，其寒也则衰食饮，其热也则消肌肉。凡人体肥有风，肉厚则不得外泄，喜为热，目中黄；其人瘦有风，肌肉薄则恒外行，身中寒，目泪出。风邪入藏，寒气客于中，使人喑哑缓纵噤痉。风入阳经则狂，入阴经则癲。风邪客于皮肤之中则痒成疹。风邪入深，寒气相搏，则肉枯；风邪客于半身，真气去者则偏枯；风邪客于筋，则挛急；风邪客于骨节，则疼痛；风邪入诸阳脉俞，散于分肉之间，与卫气相搏，其道不行，故其肉不仁也。风邪循风府而上，则为脑风；风入脑，而引目系，则为目风；饮酒中风，则为漏风；入房汗出中风，则为内风；新沐中风则为首风；久风入中，则为肠风；风外在腠理，则为泄风；中五藏六腑之俞，为藏腑之风，各随其门户所中也。凡中风言不变，智不乱，病在分腠之间，温卧取汗，益其不足，损其有余，力可复也。是以风者，百病之长，至其变化，乃为他病也。

和剂指南

论中风证候

论诸风之由

夫中风者，皆因阴阳不调，脏府气偏，荣卫失度，血气错乱，喜怒过伤，饮食无度，嗜欲恣情，致于经道或虚或塞，体虚而腠理不密，风邪之气中于人也。其状奄忽，不省人事，涎潮昏塞，舌强不能言者，可先与通关散搐鼻，次服至宝丹，此药性凉，稍壮人可与，气虚及年高人不可与服，只与后药。卒中风，筋急头眩者，可与七宝丹；中风半身不遂，口眼喎斜，筋挛骨痛者，可与小续命汤、追风应痛丸；中风邪气入藏，狂言恍惚，

与排风汤；中风手足瘫痪，多与青州白丸子；中风项背拘强，牙关紧急者，可与三五七散；中风手足战掉，腰脚缓弱，可与活络丹、七宝丹，年高脚弱者，可与黄耆丸。

论诸风气中

此病多生于骄贵之人，因事激挫，忿怒而不得宣泄，逆气上行，忽然仆倒，昏迷不省人事，牙关紧急，手足拘挛，其状与中风无异，但口内无涎声。此证只是中气，不可妄投取涎发汗等药，反生他病，但可与七气汤，分解其气，散其壅结，其气自止。七气汤连进效速，更可与苏合香丸。

¹ 疴。太平圣惠方作“病”

论中风半身不遂

皆因风邪中于经络，气血行迟，机关纵缓，故手足不遂，口眼喎邪^①，可与七宝丹；偏风语言謇涩，可与小续命汤；偏风走注疼痛，身体麻木，可与活络丹；偏风恍惚不定，可与排风汤；偏风痰涎盛者，可与青州白丸子；拘急脚弱口噤者，可与龙虎丹；瘫痪手足不遂，可与透冰丹；偏^②风筋脉挛急，可与驱风丸、乳香趁痛散、乳香丸、七宝丹。

论诸风骨节疼痛

皆因风气入于筋络，及骨节疼痛，或攻注脚手痛，或拘挛伸屈不得者，可与乳香趁痛散、追风应痛丸、活络丹、乳香丸、没药丸、太岳活血丹皆可服，宜先与五香散淋洗，次用活血丹涂之。

论风湿证候

皆因腠理虚，风与寒湿气伤之，每遇夜间，或三四更以来，腰背倦痛，转侧不得，或身体倦痛者，为有寒湿也，与小续命汤；大便秘，小便多，身疼痛者，可与术附汤；若骨节烦疼者，可与乳香趁痛散；或身体麻木，足胫弱者，可与追风应痛丸、黄耆丸；腰痛甚者，可与青娥丸。

论诸风大便不通

皆因风邪热滞，肠胃津液乾燥秘涩，可与麻仁丸、三和散，不通即与皂角丸，如通即止之，不可久服；如气虚及老人，不可与皂角丸，只与麻仁丸、三和散、四物汤加去白青皮等分同煎；秘甚者可与神功丸，不可与虚老人服。

论诸风小便不通

皆因小肠积热，膀胱壅滞不利，可与导赤丸^③、鸡苏圆、三黄圆、三和散；秘甚者，与神功圆、五苓散。

论风湿脚气候

皆因风湿毒气，入于脚膝之间，其状或赤肿，或冷痛，或麻木不仁，或脚软而缓，或增^④寒壮热作渴，筋脉拘急。可与俞山人降气汤、排风汤、小续命汤、小降气汤；痛

者，与石南丸、追风应痛丸、乳香趁痛散；脚软不能行者，与黄耆丸、木瓜丸；小便秘涩，与导赤丸、五淋散、三和散；大便秘者，与麻仁丸；秘甚者，与神功丸；冲心闷者，与三和散；抢腰痛者，可与大乌沉汤。不以轻重，皆用五香散淋洗；若脚肿生疮者，透冰丹。

论诸风头目昏眩

皆因痰壅上盛，可与青州白丸子；头目昏眩多痰者，可与辰砂化痰丸；痰盛昏眩，可与半夏丸、天南星丸；心肺有热，与龙脑芎犀丸；痰盛项强，急与金沸草散；痰多膈热者，可与川芎丸；心胸不利，中^⑤苦舌乾，可与透冰丹、羌活丸、防风丸；痰甚心忪悸者，可与牛黄清心圆；痰盛渴呕者，可与天南星圆。

论诸风瘙痒癰疹

皆因血气不顺，面如虫行瞬动，血气凝滞者，可与排风汤、胡麻散、消风散、四生丸，甚者多服皂角煎丸、何首乌散^⑥。

论诸风头痛目晕

皆因风虚气上攻头目，可与太阳丹、白龙丸、茶调散、川芎丸。太阳穴痛，与急风散涂痛处；眼昏头痛者，可与消风散、追风散；痰热头痛者，可与防风丸；年高虚弱人，风寒入脑，头痛发眩者，与术附汤、羌活丸、三五七散；偏正头风，两太阳穴及眉棱骨痛，牵引两眼昏暗者，可与遇仙散服。论诸风热上攻面生热疮者可与驱风丸、龙虎丹、排风汤、胡麻散、何首乌散、羌活丸、川芎丸、白龙丸、芎犀丸，或如虫行，可与追风散。

论诸风恍惚惊悸

皆因体虚受风邪，心气不足，入于心经

① 邪：和剂指南作“斜”。

② 偏：和剂指南作“偏”。

③ 丸：和剂指南作“散”。

④ 增：和剂指南作“憎”。

⑤ 中：和剂指南作“口”。

⑥ 散：和剂指南作“丸”。

者，与定志丸、降心丹、平补镇心丹、辰砂妙香散，管见大全良方又有抹风汤、十四友丸、天王补心丹。热者，牛黄清心丸。管见大全又有至宝丹。

论诸风挫枕转筋

皆因气虚，项筋转侧不得，筋络不顺疼痛，可与通关散、消风散、大三五七散或追风散；痰涎盛，与白丸子^①。管见大全良方诸风挫枕项强，转筋不得，证治若挫枕项强者，皆因气虚，关隔不通，致令项筋强硬，转侧不得，筋络不顺疼痛，可与追风散、三五七散；痰盛者，可与青州白丸子；如头目昏痛，项背拘急，肢体烦疼者，可与消风散、川芎茶调散，如圣饼子、蝎附散极妙。

论诸风痰逆呕吐

诸风初发时，痰逆呕吐者，可与温中化痰丸、橘皮半夏汤、藿香汤、半夏散，管见大

全良方又有谷神嘉禾散，参苏饮。呕吐者立止，可常服。

论诸风脚膝缓弱

皆因风虚，气血衰弱，行止无力，可与黄耆丸、木瓜丸、俞山人降气汤；不赤不肿而痛者，可与洗风散淋沃洗之。

论破伤风证

皆因打扑伤破，风入发肿者，可与土^②丸散，生姜自然汁调药贴患处；内损者，与太谿活血丹；血不止者，与花蕊石散。

论缠喉风证

皆因^③积热，痰涎上攻咽喉，口开不得，水浆不下，与碧雪竹管子吹入喉中，甚者与雄黄解毒丸、玉屑无忧散。

三 因 方

叙 中 风 论

夫风为天地浩荡之气，正顺则能生长万物，偏邪则伤害品类，人或中邪风，鲜有不致毙者，故入藏则难愈；如其经络空虚而中伤者，为半身不遂，手脚瘫痪，涎潮昏塞，口眼喎邪^④，肌肤不仁，痹痺挛僻，随其藏气，所为不同，或左或右，邪气反缓，正气反急，正气引斜^⑤，喎僻不遂。盖风性紧暴，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，激人涎浮，昏人神乱，故推为百病长，圣人先此以示教，太医編集，所以首论中风也。然四气皆能中人，在证亦有缓纵牵^⑥急，搐搦痹痺，奄忽不知人者，不可不以脉别。故论曰，寒热诸痹所有证候，皆如风状，须得脉别可也。要知脉浮则为风，紧则为寒，细则为湿，数则为热。外证走注自汗则为风，疼痛无汗则为寒，缓弱热顽则为暑，停著肿满则为湿，随其并合，尤宜历辨，唯详其所因，合以脉诊，在络在经，入腑入脏，依而谓^⑦之，乃可为治。

五脏中风证

肝中风者，人迎并左关上，脉浮而弦。在天为风，在地为木，在人藏为肝，肝虚，喜中风，为类相从，故脉应在左关。肝风之状，多汗，恶风，色微苍，头目暈，左胁偏痛，嗜甘，如阻妇状，筋急挛痹不伸，诊在目，其色青。

心中风者，人迎与左寸口，脉洪而浮。在天为热，在地为火，在人藏为心，心虚，因中邪风，乃子母相因，故脉应在左寸口。心风之状，多汗，恶风，色微赤，翕翕发热，暗不能言，饮欲食，食则呕，诊在舌，其色焦赤。

脾中风者，人迎与右关上，脉浮而微迟。在天为湿，在地为土，在人脏为脾，脾虚因

① 予：和剂指南作“子”。

② 土：和剂指南作“上”。

③ 因：和剂指南作“内”。

④ 邪：三因极一病证方论作“斜”。

⑤ 斜：三因极一病证方论作“邪”。

⑥ 牵：三因极一病证方论作“挛”。

⑦ 谓：三因极一病证方论作“调”。

中风邪为胜克，故脉应在右关上。脾风之状，多汗恶风，薄黄，四肢怠堕，皮肉瞤动，发热，短气，不欲饮食，嗜卧如醉人，诊在唇，其色黄。

肺中风者，人迎与右寸口，脉浮涩而短。在天为燥，在地为金，在人脏为肺，肺虚，因中邪风，为乘克，故脉应在右手寸口。脾风之状，多汗恶风，色皓然白，口燥而喘，逆气肩息，身重背痛，面胀肿，昼差暮甚，诊在鼻，其色白。

肾中风者，人迎与左尺中，脉浮而滑。在天为寒，在地为水，在人脏为肾，肾虚，因中邪风为母子相感，故脉应在左尺中。肾风之状，多汗，恶风，色如皂，面庞然浮肿，腰脊痛引小腹，隐曲不利，昏寝汗愈多，志意惶惑，诊在耳，其色黑。

胃中风者，人迎与两关上，脉并浮而大。六腑无中风论，唯胃有者，以胃为脏海，纳五味以滋养五脏，虚而中邪风，故其状，额多汗，食饮不下，隔塞不通，腹善满，失衣则腹胀，张口肩息，心下淡淡，食寒则泄。

料简类例

且人之冒风也，轻则为伤，重则为中。盖风散气，动于阳，腠理开，故自汗而恶风，其色诊皆随藏气而言。六府无论，唯胃有中者，盖饮食所致。故孙真人曰：新食竟取风，为胃风，疟论亦然。然六府经络，邪既能中，岂不能中诸府也。虫¹曰转输，在大小肠则有肿胀，在胞则有转戾，在胆则有掇缩，但文缺不论，或谓竟中诸藏，故不论诸府，此亦一说，故两存之。诸方论中，所谓左瘫右痪者，盖邪气中人，邪气反缓，正气即急，正气引邪，喎僻不随；入²风懿者，以心肺间闭不能言，但噫噫作声，盖肺气入心，则能言，邪中心肺，涎潮逼塞，故使然也；四肢缓纵，为风痲者，以风散涎，注于关节，气不能行，故使四肢不遂也；舌强不能言者，以风入心脾经，心之别脉，系于舌本，脾之

脉，绪³胃侠咽，连舌本，散舌下，风涎入其经络，故舌不转，而不能言也；四肢拘挛者，以中风冷，邪气入于肝脏，使诸筋挛急，屈不可伸也；风柔者，以风热入于肝脏，使诸筋弛张，缓而不收也，故经云寒则挛急，热则弛张；风颤者，以风入于肝脏经络，上气不守正位，故使头招摇而手足颤掉也；风暗者，以风冷之气客于中，滞而不能发，故使口噤不能言也，与前所谓涎塞心肺同候，此以口噤为差耳；猥退风者，半身不遂，失音不语，临事不前，亦偏中于心肺经所致也。诸证类例，可推而治之。

历节论

夫历节论⁴，疼痛不可屈伸，身体魁癭⁵，其肿如脱，其痛如掣，流注骨节，短气自汗，头眩，温温欲吐者，皆以风湿寒相搏而成。其痛如掣者，为寒多；肿满如脱者，为湿多；历节黄汗出者，为风多。顾病源所载，饮酒当风，汗出入水，遂成斯疾。原其所因，虽涉风湿寒，又有饮酒之说，自属不内外因，亦有不能饮酒而患此者，要当推求所因，分其先后轻重为治，久而不治，令人骨节蹉跌，变为癩病，不可不知。

大风叙论

经所载痲风者，即方论中所谓大风恶疾癩是也。虽名曰风，未必皆因风，大率多是嗜欲劳动气血，热发汗泄，不避邪风冷湿，使淫气与卫气相干，致肌肉愤膻，气有所凝，则肌肉不仁，荣气泣浊，则肘热不利，故色败，皮肤疡溃，鼻梁塌坏，千金所得⁶。自作不仁极猥之业，虽有悔言，而无悔心，良得其情。然亦有传染者，又非自致，此则不谨

① 虫：三因极一病证方论作“虽”。

② 入：三因极一病证方论作“为”。

③ 绪：三因极一病证方论作“络”。

④ 论：三因极一病证方论无此字。

⑤ 魁癭：三因极一病证方论作“冠羸”。

⑥ 得：三因极一病证方论作“谓”。

之故，气血相传，岂宿业缘会之所为也。原其所因，皆不内外涉外所因而成也，证候多

端，并见诸后。

神巧万全方

风 总 论

经称诸邪者，非是时行乘节之风，亦非山川鼓振之风，是人间庭巷门户窗牖之逐气尔。此说殊未为允，何者？为是说者，其意为人居庭户之间，日月积久，为风所中，即疑之为庭户之风。殊不知风者，八方之风也，其从本向方来者，人少病，若从所胜方来者，人多病，是天之虚邪也。夫人以身之虚，逢

天之虚，两虚相感，故病生焉。盖阴阳于人，岂有情哉！如水流湿，火就燥，遇之者是也，风中人随其虚实，而有浅深，故人病有轻重，或为热中，或为寒中，或为厉风，或为偏枯，或为瘫痪，其病各异，其名不同。盖风者，善行而数变，若腠理开，则洒然而寒，腠理闭，则热而闷，寒则衰饮食，热则消肌肉，兹名寒热，其诸候皆别为篇目，以叙述之，然后处方焉。

简 易 方

中 风 论

风为天地浩荡之气，正顺则能长养万物，偏邪则能伤害品类，人或中之，鲜有不致毙者。是以圣人推为百病长。原夫风与气一也，塞乎天地之间，则阴阳不同，在乎人身之中，则吹呵有别。阴为风，故风无形而有其势，阳为气，故气有质而无其威，吹则冷而劲为风，呵则温而和为气，是以四时之内，八风二十四气者，以候阴阳消长之机也。大块噫而为风，山泽蒸而为气，风劲则气清，气浓则风息，在人亦然。人生天地之中，负阴抱阳，禀冲气以为和。上古之人，其知道者，法于阴阳，和于术数，饮食有常节，起居有常度，不妄作劳，故精气内安，形神外全，病安从来！今时之人不然也，以酒为浆，以妄为常，醉以入房，以欲竭其精，以耗散其真，不知持满，不知御神，务快其心，逆于生乐，致阴阳不调，腑脏气偏，荣卫失度，气血错乱，经络空虚，腠理不密，外邪因得以伤之。风邪之中人也，其状奄忽，盖风性紧暴，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，

激人涎浮，昏人神乱，故方书編集一十三科，而风独冠其篇首也。予读千金方风论，有七十二种，究其大法，则以五风为首，五风者，谓肝、心、脾、肺、肾五脏之中也，其言生死，各亦不同。肝风之状，踞坐不得低头，青色围绕目额者可治，宜于肝俞灸之；若上喘目直视，唇口俱青，或面目大青黑，一黄一白者死。心风之状，汗自出，偃仰不可转侧，唇色正赤，语言狂妄者生，宜于心俞灸之；若唇面青黄黑赤色不定，眼瞬动不休，或面目时时悚动者，心绝也，五日而死。脾风之状，踞而腹满，不嗜食，一身通黄，四肢不收，口吐咸沫者，尚可治之，宜灸脾俞；若手足俱青，木贼土败必死矣。肺风之状，偃卧胸满，喘而不休，冒昧汗出，鼻不闻香臭，不得卧，目鼻下至口，色白者可治，宜于肺俞灸之；若失血及妄言，色黄者不治，七八日而死。肾风之状，踞而腰脚痛重，视肋肋边未有黄点者可治，宜于肾俞灸之，若齿黄面如土色者死。至于六腑本无中风，唯胃有者，以胃为水谷海，变化五味，以资五脏，虚则风邪亦得以中之。胃风之状，额上多汗，

饮食不下，隔塞不通，腹满，去衣则腹胀，张口肩息，心下澹澹，食寒则泄。孙真人云：新食竟取风为胃风，症论亦然。五脏中风，其脉皆浮，但兼以本脉，而见于本部，与人迎相应也。假令肝中风，则左手关部与人迎脉并浮而弦者也，余皆仿此。大抵肥人多喜中风，以其肌肤软脆，风邪易中，入之则深。庞老故云：人肥则风气不得外泄，即为热中而目黄，人瘦则风气外泄，即为寒中而泣出，盖可知矣。得此疾者，诊其脉，迟浮者吉，急疾大数者凶；六腑闭涩为顺，下利为逆；口目俱闭者易治，口目俱开者难治；骨热多烦者，损其热药，脏寒下利者，损其冷剂，治之当随病之浅深，慎无执着。诸方论中所谓左瘫右痪者，由邪气中人，邪气反缓，正气反急，正气引邪，喎僻不遂。风赋有云：气虚则痰无左右，血涩而瘫中两边，以此而知，气血俱虚，则瘫痰两证俱有。若气顺血涩，则为瘫风，瘫风者，筋脉拘急挛拳也；若血顺气虚则为痰风，痰风者，蹶软抬动不能也；不必左为瘫而右为痰。痰风不可全用风药，当以理气药兼而用之，瘫风则当以益血补筋去风药治之，则万举万全矣。予历观古方，治诸风不问病之轻重，表里浅深，皆以小续命汤加减用之，此良法也，但小续命汤内无通气药，不可独用，若能以通气汤散兼而服之，必成其功矣。宋氏云：治风之法，当以暖散中通气为先，通则痰气不薰蒸，风亦自得以摅散，诚哉是言也。小续命汤通治诸风，惟偏枯则不可多用，盖偏枯者，其人血不荣于一边，小续命汤复发汗亡血故也。偏枯者，半身不遂，肌肉枯瘦，骨间疼痛，神智如常，治之宜养血，大八风汤、续断汤；风痹者，身无痛处，但四肢缓纵，神智昏乱，不甚语言，微有知则可治，以其风散涎注关节，气不能行，故四肢不遂也，治之先进太乙神精丹三粒，次以西州续命汤；风懿者，奄不知人，咽中噫噫然有声，以其邪中心肺，

涎潮逼塞心肺间闭，故不能言，宜用小续命汤、独活汤；风柔者，以风热入于肝脏，诸使筋挛急，屈不可伸，经曰：寒则挛急，热则弛张；风颤者，以风入肝脏，经络之气，不守正位，故使头招摇而手足颤掉也；风暗者，以风之冷气客于中，滞而不能发，故使口噤而不能言也；风痹者，由风寒湿三气袭于经络，舍于血脉，留于荣卫，故使身顽肉厚，不知痛痒，其证则有筋、骨、血、肉、气之五痹，以属五脏，诸痹始得之在外，速治之无不愈者，及其邪气深入，各传于脏，无不危殆。故曰：风中脉则口眼喎斜，中腑则肢体废，风入脏则性命危矣。又有中风之病，卒暴昏昏，涎浮胸中，上下相引，声如引锯，皆由饮食过度，嗜欲无节，停留胃中，使气脉关隔，不得运行，荣卫失度，脏腑怯弱，风邪暴客，相搏成涎，虽投治风药，来不得下。盖涎浮上部，填塞心胸，诸气闭塞，急当吐之，使快为度，然后急进续命汤，近世方书多云：中风不可吐，久后令人坏一臂，盖药中多用水银粉，大损脾胃，脾胃既损，四肢不举，理之必然，殊不知古人治法，其高者因而越之，病在胸上，为高越之，为吐也，如朱砂丸，止是吐胸上积涎，于脾胃何损，用之必效，若俱无涎，亦慎与吐，恐脾胃俱损，呕血而死，不可不知。世有气中，方书无载，考其至理，皆由喜怒不节，气血暴伤，盖暴怒伤阴，暴喜伤阳，怒则气逆，喜则气缓，气血失常，乱于胸中，壅于经络，滞则生风，渐渐无力，昏困欲倒，治之当顺气理血，不可妄投风药。至如新沐中风，名曰首风；饮酒中风，名曰漏风，又曰酒风；入房中风，名曰内风，又曰劳风，各有治法。夫风之为病，有瘙痒者，有瘾疹者，有疼痛者，有疮疡者，有聋瞽者，有历节者，有颠厥者，有狂妄者，千状万化，莫不由五脏而生矣，其证各出本门，兹不繁引。

直指方

风论

气血痰水，受病于内者也；风寒暑湿，致寇于外者也。人之一身，血气既虚，阴阳不守，饮食居处，嗜欲无节，冲风卧地，调护不加，于是经络空疏，腠理开彻，风邪乘其虚而入之，中风诸风皆是物耳。风之为病，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，激人之涎浮，昏人之神乱，挟热则痿堕缓弛，挟寒则急痛拘挛。自其邪气之入人也，邪气反缓，正气反急，正气引邪，为喎僻，为挛视，为掣纵，为搐搦，为瘫痪，为反张，在于阳则皮肤缓，在于阴则腹里急，缓则四肢不能收，急则一身不能仰，皆随其邪气所至，表里浅深，而有证也。种类虽多，大要有四：血气偏虚，半身不遂，肌肉枯瘦，骨间疼痛，谓之偏枯；神智不乱，身体无痛，四肢不举，一臂不随，谓之风痺，能言则可治；忽然迷仆，舌强不语，喉中窒塞，噫噫有声，谓之风癰，身软有汗则生风寒湿三气，合而为痺，其人肉厚身顽，知不痛痒，风多则走注，寒多则疼痛，湿多则重着，在筋则筋屈而不伸，在脉则血凝而不流，在肉则不仁，在骨则痠重，夫是之谓风痺。伤风一证，发热烦躁，头疼面光，恶风自汗，盖风能散气，故有汗也。风家脉浮者病在表，脉实者病在里，脉虚者病在脏，脉促者病在上，浮则发散，

实则疏导，虚则温之，促于上而病人壮盛，胸喉澎湃者，瓜蒂散少少吐之。俗谓热则生风，大纲然尔，多有胃虚、气虚、血虚，虚极而生风者，若诸虚证候，天雄、附子、官桂、川乌，又不可阙，治法大要，尽以消痰顺气为先，顺气用南木香、苏合香丸辈；消痰用南星、半夏、细辛、僵蚕辈，如石绿、铁焰、水银、轻粉、铅霜、朴消等剂，谨勿妄施。寒毒入胃，则血脉凝涩，真气消铄，不旋踵而废人。治风良剂，小续命汤为上，排风汤次之，然二药主风不主气，须以人参顺气散、乌药顺气散，佐助其间，气一流行，则风亦疏散矣。至若口开手散，泻血遗尿，眼合不开，汗出不流，吐沫气粗，声如鼾睡，面绯面黑，发直头摇，手足口鼻清冷，口噤而脉急数，皆为不治之证。其余诸风种类，余于婴儿惊风指要备论之。

中风恶证

中风恶证细推求，口噤须迟脉数忧，眼合不开并窜瞪，面绯面黑手难收，口开吐沫气粗大，发直摇头汗不流，鼾胎喉鸣兼鼻冷，遗尿泻血并皆休。

中风多是恶风自汗，心风脉浮洪，肝风脉浮弦，肾风脉浮滑，肺风脉浮涩，脾风脉浮缓，或以三部候之，或以本脏取之，不可一概论也，医者当明辨之。

朱氏集验方

中风评

风之为病，或为寒中，或为热中，或为厉风，世传大风也。或为偏枯，或为腰脊强痛，或为耳鸣鼻塞，头晕痰厥，其证各异。且肺风之状，多汗恶风，时嗽短气，浑身瘙痒，

昼静夜甚；心风，喜怒不常，色赤，甚则语言不快；肝风，善悲，色苍，嗌乾，多恐^③上视；脾风，身体怠堕，四肢不收，色黄，不嗜饮

① 知不：仁斋直指附遗方论作“不知”。

② 且：朱氏集验医方作“且”。

③ 恐：朱氏集验医方作“怒”。

食。肾风，面浮脊通^①，不能正立，色眊。夫风热怫郁，风本生于热，以热为本，而风为标，虚极亦生风也。治疗当察老幼虚实，先究其原，不可一概而言之。凡中风初觉，不语，牙关紧急，痰涎作声，眼目直视。经云：视物而睛不动，五脏六腑精气皆^②上注于目，得血气和，则目转动而还明，便以白梅擦牙，以局方苏合香丸炙去脑子，用冷生姜自然汁，灌下三两丸，再以纸捻打鼻，引其气通。若省有痰，继以局方醒风汤和橘皮半夏汤，加南木香煎，入麝香服。气弱者，增附子天雄。书云：除荆棘者先断其根，欲医风者，先理其气，若投坠涎铁粉风药之类，寒药入胃，则使血脉凝涩，真气内烁，必为废人。若摇头直视，心肾脱绝，盖诸阳独留，诸阴悉尽，故直视摇头。心脏绝，真脏病也，鲜有再生。若遇此证，先以防风、生姜煎汤，调局方木香匀气散加木香，下黑锡丹一二百粒，入盐煎附子、川姜、天麻等分服。年幼壮实中风，面赤烦躁加渴，局方牛黄清心丸；若痰盛，局方小儿比金丸，一贴作一服，灯心汤下；气虚中风，或小便不禁，手足厥逆，局方姜附汤加天雄煎下养正丹，更灸脐心，或丹田、气海一二百壮；因食所伤，气道不通，壅闷气厥，痰涎作声，大便不通，局方解毒雄黄丸，每服七圆，姜汤下，更加大黄煎局方三和散服，并沉香降气汤；如是左瘫右痪，俟其人事省定，即当依其所感，随证医疗。若内因七情而得之者，先当调气，不当治风；外因六淫而得之者，先理其气，次依所感六气，随其证而治之。经云：风者百病之首，其变化为他病无常，皆风气所发，所谓除病之道，察致之由，当斟酌^③药，必获十全效也。若臂重作痛时麻，能饮酒人，此是痰饮，不可服风药，可服局方消饮丸、倍术丸、橘皮半夏汤加片子姜黄、茯苓、生姜同煎服。有妇人二十岁，偶食中吃惊，发搐涎塞，不省人事，牙关紧急，以白梅擦牙，次用冷水茶调恒山细末二钱服下，

吐涎而省，后投局方乌沉汤而安，吐法壮实者可用。有人病头旋，经云：眊为眼花，眩为眼黑，眩晕头旋，不省人事，皆是阳虚。又云：上虚则眩，下虚则厥，令服局方俞山人苏子降气汤、养正丹、来复丹、如圣饼子而安。如圣饼子，亦治头疼痰厥，肉瞤筋惕，辛颊鼻渊，及饮酒过多，呕吐涎沫，好饮人可加白豆蔻一粒，同嚼服。若治心气怔忡，膈中常满，时时吐痰，睡卧不安，如圣饼子去川乌，加铁艳粉极妙。有一室女，每经候欲行，如风之状，发搐不省人事，诊其脉，心脉浮，冲任脉沉，此因经行伏惊致此，局方黑神散入朱砂、灯心、麦门冬煎汤调下，服数日，自后经行如常，前病不作。若腹痛，加大圣散服。

一妇人脚指赤肿痛不可忍，局方香苏饮加槟榔、木瓜煎，三服而痊。有人每遇天阴，觉浑身重疼无力，此乃湿气，香苏饮与平胃散各一贴，和分四服，加木瓜煎，有大神效。治腰隐痛，行步艰辛，只用平胃散加赤曲，同煎服，最妙。有人常觉左眼瞤动，忽然左边口喎，食则不能收，求医，仆诊其脉浮而涩，气口脉迟而涩，遂授之局方香苏饮和霍香正气散，加南木香、姜枣同煎，次以小续命汤，加天麻磨沉香同煎，下局中养气丹，数服痊安。有人四十已上岁，平日好食面饮酒，苦右臂不能举，授以局方五积散加木瓜、槟榔煎，又用生附子一两，去皮脐，南木香二钱半，咬咀，分作三服，水二盏，姜十斤^③，煎一盏，热服，数服而安。

① 通：朱氏集验医方作“痛”。

② 背：朱氏集验医方作“皆”。

③ 斤：朱氏集验医方作“片”。

管见大全良方

中风证治

夫中风者，皆因阴阳不调，藏府气偏，荣卫失度，气血错乱，喜怒过伤，饮啖无节，恣情嗜欲，致于经道或虚或塞，体虚而腠理不密，风邪之气，乘虚而中人也。其状涎潮昏塞，不省人事，舌强不能言，此等疾证，鲜有不毙者。然亦有轻重。经云：风中藏则性命危，且以简易言之，先察口眼开阖，以别重轻，如眼开口噤，无汗搐搦，涎不作声，六脉迟浮者易治；若眼闭口开，手足不收，自汗如珠如油，发直吐沫，面赤如粧，鱼口气粗，咽中涎响似水鸡声，或如拽锯声，如鼾睡，或时长嘘，摇头上窜，喷药闷乱，目睛直视，头面青黑，六脉急疾大数，脉迟缓，倘有一证，皆不可治也。若是中之轻者，涎潮昏塞，不省人事，语言謇涩，半身不遂，缓纵蹇曳，左瘫右痪，偏枯风懿，痿痹不仁，口眼喎斜，头痛头眩，如坐舟船之上，角弓反张，摇头马鸣，白虎历节，走注疼痛，虫行瘙痒，恍惚惊悸，为癲为痫，暗风倒地，难可枚举，已上之证，皆可施治。但近代之医，皆遗古法，自立新意，或执一说，或本易简，不问阴阳冷热虚实，有汗无汗，不问外感风寒、内伤喜怒，六脉沉伏或指下浮盛，首以三生饮吞养正丹，每见服之，多有不救，间有虚风冷证，服之而安者，乘兴执此为法，殊不知风为动物，证多属阳，王叔和云：热积生风是也。外台秘要言之甚详，古圣方书，如至宝丹、红雪通中散、龙脑芎犀丸、牛黄清心丸、薄荷煎、大小竹沥等汤，便可见。若中风有热之证，更服三建、三生、养正等药，可谓抱薪救火，安有生理？又论：凡中风不可使用风药，中气不可使用气药。执此为法，此等之论，因唐季润云：切记风中人，不可使用风药；气中人，不可使用气药，才

觉有此证候，急用真麝香肉三钱，研令极细，以真麻油调令稀薄，可饮为度，令患人一服顿尽，如牙关紧，即撬开口灌入，候少苏省后，服大豆紫汤，服羌活一二斤无妨，服此二药，永无手足偏废，语言謇涩之患，于后见得证候分明，若是中风，只服排风、续命等汤；若是中风¹，只服苏合香丸调气等药。此等议论，是唐季润虑医之不明尔！亦未尝令人不服风药。静而思之，若是富贵之家，处此之时，尚可抖擞真麝，若中产之家束手待尽而已，殊不知孙真人云：治中风若不行小续命汤，是不能治风，近人畏而不用，死者比比，良可叹息！且如小续命汤治卒暴中风，不省人事，渐觉半身不遂，口眼喎斜，手足颤掉，语言謇涩，肢体麻痹，神精昏乱，头目眩重，痰涎并多，筋脉拘挛，不能屈伸，骨节烦疼，不能转侧，及治诸风，服之皆验。又治痙病，角弓反张，摇头马鸣，历节痛风，小儿急慢惊风；又治脚气缓弱，久服得差。久病风人，每遇天色阴晦，节候变更，宜预服之，以防暗哑。然此药四时自有加减，如有汗者，去麻黄，减杏仁一半，加乾葛；若有热者，倍黄芩，去附子，减桂一半，仆依此加减疗疾，累用有效。许太学云：凡治瘫痪，一切风疾，如排风、续命、竹沥等汤，非不能作效，大概此疾，积袭之久，非一日得之，须是大剂合三五料服吃，得汗出，如药香方见效也。今人服三五服而责无效，其责医也亦速耳，孟子曰：七年之病，求三年之艾是也。多见病家无主，病者亲故问病，各立一说，各授一方，皆谓经效，不待医者商议，可服不可服，即便投之，倏焉至祸，各自走散。又有正在病中，请得医来，诊视未定，各逞己能，众议纷纷，使人疑惑，不知孰是，犹豫不决，遂致困笃。古人云：贫

¹ 风：管见大全良方作“气”

无达士将金赠，病有闲人说药方是也。莫若参以外证，确意依方服药，毋信浮言，以贻后悔。

卒中风疾证候未分首先用药法

若卒中邪风，一时僵仆，不省人事，仓卒之间，无医可问，或见理未明，虚实冷热难辨，疑似之间，可首以真麝香研细，麻油调三钱，重令稀薄，得所服之；口噤者，撬开灌服。若一时未辨，宜先以苏合丸半两，姜汤调灌，或兼以青州白丸子研细，入生姜自然汁少许，调匀灌服尤佳，或煎谷神嘉禾散灌服，亦有奇效。近时庸医，不晓古意，以为脾胃之药，与风与气，甚不相干，便有此等谬论，眩惑众听，殊不知卒中之由，多因饭食中大怒而得之。夫脾好歌乐，故饮宴中，置歌舞以悦脾也，盖怒剧伤肝，肝不受邪，移气克于脾土，又风喜伤肝，肝移气凌脾，脾主四肢，况涎乃脾之液，所以风中之人，多有呕吐涎沫，涎潮昏塞，不省人事，四肢偏废，用嘉禾散收效者，此意也。近代亦有用麝香，煎五积散，间有获效，况五积散亦是太阴脾经之药，然其性差热，疾证未分，不可多服，如参苏饮、星香饮、三倍汤、分心气饮，加防风煎，皆可与服，此予家三世取效方也。

卒中涎潮昏塞急当吐之证治

若中风卒暴不知，涎声上下，相引如拽锯，此由饮啖无度，气血闭塞，停留胃中，与风相搏，内化成痰，若投以诸汤，盖气闭涎隔，而卒不得下，急当吐之，使快为度，然后随证用药，虽初虞世有金虎碧霞之戒，且¹如卒暴涎生，声如引锯，牙关紧急，气闭不行，汤药不能入，命在须臾，执无吐法可乎？但不当用银粉等药，则坏人四肢。尝原古人之论，病在上膈当吐之，瓜蒂之类是也，宜孙兆稀涎散、许学士胜金丸，皆可用也。

中风热证治

外台秘要云：凡初中风，四肢不收，扬手踴足，心神昏愤，眼不识人，言不出口，烦闷恶衣，喷药闷乱，此等疾证，多由热起。王叔和云：热积生风是也。故先圣用至宝丹、红雪通中散、龙脑芎犀丸、薄荷煎、牛黄清心丸以对之，亦有单饮竹沥，及大小竹沥汤、败毒散加防风、荆芥煎服亦效，若不审是，热积生风，例以三生饮、三建汤、养正丹投之，则祸不旋踵，盖其中有天雄乌附，其性大热，服之如抱薪救火，鲜有不毙者，真所谓实实虚虚，损不足益有余，如此死者，医杀之耳！学者宜审思之。

五藏中风证治

若五藏中风，自有专条，但风中藏，则性命危，如中之轻者，可与排风汤。

刚柔二瘕证治 又名曰瘕

夫刚柔二瘕者，病人先憎寒发热，有类伤寒，忽然身体强直，如角弓反张，口噤咬齧，摇头马鸣，如发痫之状，妇人新产血虚，多汗出，喜中风，多有此证。当察有汗无汗，以分刚柔。若无汗恶寒，名刚瘕，小续命汤主之；有汗不恶寒，名柔瘕，小续命汤去麻黄加葛根主之。凡刚柔二瘕，并可与小续命加减服之，又有大豆紫汤与竹沥，并可与服，然得斯疾，十愈三四耳。

破伤风破伤湿相类瘕病证治

若先因金刃所伤，或打扑伤损，或风或湿，从疮口中入，或身体强硬，如角弓反张，口噤咬齧，摇头鸟鸣，如发痫之状者，当作破伤风、破伤湿治之，宜用胡氏夺命散；若伤重不省，心头尚温，急以此药调方寸匕，灌服下咽即活，并进二服，起死如神。仆邻

¹ 且：管见大全良方作“且”。

近有晏匠，其子被斧伤足，因洗而有是证，仆不在家，山医者不识是证，遂卒，可伤可笑！

中风无汗证治

若奄忽之间，涎潮昏塞，不省人事，口眼喎斜，肌肤不仁，左瘫右痪，半身不遂，筋挛骨痛，或腰痛如折，身体无汗，或有时略省，此是体虚而中邪风。治之宜用小续命汤、木香煮散、排风竹沥等汤，兼灵宝丹并进十服，得汗而解。圣人为虚风无汗而设，谚云：风随汗愈是也。

中风自汗证治

若有已上疾证，遍体自汗者，不可与续命排风等汤，盖其中有麻黄、杏仁故也，宜以续命煮散、独活汤。

失音不语证治

若失音不语者，风邪客于心脾二经，上入于机关也。机关者，舌本也。若关膈不通，其人精神昏愤，宜牛黄丸、通关散、神仙解语丹；若渐能语，而牙关紧急者，宜细辛散。

痰涎壅盛证治

若中风痰涎壅盛者，宜星香饮、省风汤、三倍汤、白丸子。

手足缓纵不仁半身不遂口眼喎斜证治

若因风邪中于经络，气血行迟，机关缓纵，手足不仁，麻痛^①不知痛痒，半身不遂，口眼喎斜者，可与灵宝丹。若偏风语言蹇涩者，可与小续命汤、木香煮散。

白虎历节走注骨节疼痛及麻木证治

若偏风走注，历节疼痛，或如锤锻，或如虫啮，昼静夜剧，痛不可忍，是白虎历节证也，宜与小续命汤，兼以活络丹，若身体

麻木者，亦可服，麝香丸亦妙。

身体倦痛中夜后腰背疼痛不能转侧证治

若每到中夜后，腰背疼痛，转侧不得，或身体倦痛者，皆因风寒湿三气，伤于经络，可与小续命汤；大便秘，小便多，身疼者，可与术附汤；若骨节烦疼者，可与乳香趁痛散；或身体麻木，足胫弱者，可与追风应痛丸、黄耆丸；腰痛甚者，可与神应丸、青娥丸，近人以异功五种散加桃仁，煎服效。

拘急脚弱口噤证治

若拘急脚弱，口噤者，可与龙虎丹，小续命汤岂无效！

瘫痪手足不随证治

若瘫痪手足不随者，可与透冰丹。

偏风筋脉拘急挛痛证治

偏风，筋脉拘急挛痛者，可与驱风丸、乳香趁痛散、乳香丸、七宝丹。

诸风身体疼痛证治

若诸风身体疼痛者，皆因风邪之气，入于经络，不能发散，致令手足骨节疼痛，或拘挛不得屈伸者，可与乳香趁痛散、追风应痛圆、活血丹、乳香丸、没药丸、太狱活血丹皆可服，宜先以五香散淋洗，次以活血丹涂之。

诸风头目昏晕证治

若头目昏眩不清快者，与消风散、茶调散、防风丸。

若虚弱及年高人，风寒入脑，头痛发眩，如坐舟中者，可与三五七散及防风丸、术附汤。许学士以养正丹，疗风虚痰眩有效。

^① 痛：管见大全良方同，按文义应作“木”。

诸般头痛八般头风证治

若头痛头风者，可与太阳丹、茶调散、急风散、白龙丸、芎辛汤、芎羌散、蝎附散、如圣饼子、追风丸、黑神丸、七生丸。

诸风便秘证治

夫大便秘结不通者，有风、有气、有热，又有脾约等证，若因风邪热滞，壅遏肠胃，津液乾燥，故秘涩不通者，可与麻仁圆，甚者与皂角煎丸，得太腑过，住服，年尊者，不宜多服，若气秘不通者，与三和散。若热而秘者，与七宣丸，甚者小三黄丸。若大便硬，小便数，其脾为约，宜与脾约麻黄^①丸。若老人风秘，及产后去血过多，肠胃燥涩，便

秘不通，宜以四物汤加去白青皮煎服。老人风秘冷秘者，与半硫丸。

打扑坠堕 伤损出血 破伤风肿 证治

若因打扑坠堕，伤损出血者，或破伤风入发肿者，可与五香散，用生姜自然汁调药贴患处，内损者，与太岳活血丹，血不止者，与花蕊石散、血竭散、玉真散、乳香丸、没药丸、应痛丸、趁痛散。陈总领治打扑伤损，癰疽损破皮肉，及刀刃所伤，急取未经水葱白，细切，炒令极热，以裹伤处，血止痛住，神妙。又以晚蚕蛾为细末，和石灰罨伤处，住痛止血，疮口即合，神妙。肠出破者，以桑白皮为线，用针缝之，然后傅药。

儒门事亲

指风痹痿厥近世差互说

风痹痿厥四论，内经言之详矣，今余又为之说，不亦赘乎？曰，非赘也，为近世不读内经者，指其差互也。夫风痹痿厥四证，本自不同，而近世不能辨，一概作风冷治之，下虚补之，此所以旷日弥年而不愈者也。夫四末之疾，动而或劲者为风，不仁或痛者为痹，弱而不用者为痿，逆而寒热者为厥，此其状未尝同也，故其本源，又复大异。风者，必风热相兼；痹者，必风湿寒相合；痿者，必火乘金；厥者，或寒或热，皆从下起。今之治者，不察其源，见其手足𦓐曳，便谓之风，然左传谓：风淫末疾，岂不知风、暑、燥、湿、火、寒六气，皆能为四末之疾也哉！敢详条于左，有意于救物者，试择焉可也。

夫风之为状，善行而数变。内经曰：诸风掉眩，皆属肝木。掉摇眩运，非风木之象乎？纤曲劲直，非风木之象乎？手足𦓐^②𦓐，斜目喎口，筋急挛搐，痲疯惊痫，发作无时，角弓反张，甚则吐沫，或泣或歌，喜怒失常，

顿僵暴仆，昏不知人，兹又非风木之象乎？故善行而数变者，皆是厥阴肝木之用也。夫肝木所以自甚而至此者，非独风为然，盖肺金为心火所制，不能胜木故也。此病之作，多发于每年十二月，大寒中气之后，及三月四月之交，九月十月之交，何以言之？大寒中气之后，厥阴为主气，巳亥之月，亦属厥阴用事之月，皆风王^③之时也，故三月四月之交，多疾风暴雨，振拉摧拔，其化为冰雹；九月十月之交，多落木发屋之变，故风木郁极甚者，必待此三时而作，凡风病之人，其脉状如弓弦而有力，岂敢以热药投之，更增其势哉！今人论方者，偶得一方，间曾获效，执以为能，著灸施针，岂由病者，巧说病人，使从己法，不问品味刚柔，君臣轻重，何藏何经，何部何气，凡见风证偏枯，口眼喎斜，涎潮昏愤，便服灵宝、至宝、清心、续命等药，岂知清心之杂以姜桂，灵宝之乱以起石、

① 黄：管见大全良方同，按文义应作“仁”。

② 𦓐：儒门事亲作“𦓐”。

③ 王：儒门事亲作“主”。

硫黄，小续命汤藏以附子，惟夫至宝，其性尚温。经曰：风淫于内，治以辛凉，如之何以金大石热¹之药，以治风耶？有以热治热者，一之为甚，其可再乎？故今之刘河间自制防风通圣散、搜风丸之类，程参政祛风丸、换骨丹，用之者，获效者多矣，而谤议百出，以诬其实，余尝见内经气交变论中，言五郁之法，郁极则为病，况风病之作，仓卒之变生，尝治惊风痾病，屡用汗下吐三法，随治随愈。内经中明有此法，五郁中木郁达之者，吐之令其条达也，汗者是风随汗出也，下者是推陈致新也，此为汗下吐三法也。愈此风病，莫知其数，如之何废而不用也。余恐来者侮此法，故表而出之，昔项开完颜氏病风搐，先右臂并右足，约搐六七十数，良久，左臂并左足，亦搐六七十数，不差，两目直视，昏愤不识人，几月余，求治于余，先泔²其寒痰三四升，次用导水禹攻³丸，散泄二十余行，次服通圣散辛凉之剂，不数日而差，故书此以证之。

夫痹之为状，麻木不仁，以风湿寒三气，合而成之，故内经曰：风气胜者为行痹，风则阳受之，故其痹行，旦剧而夜静，世俗莫知，反呼为走注疼痛，虎咬之疾；寒气胜者为痛痹，寒则阴受之，故其痹痛，旦静而夜剧，世俗不知，反呼为鬼忤；湿气胜者为著痹，湿胜则筋脉皮肉⁴，故其痹著而不去，肌肉削而著骨，世俗不知，反呼为偏枯。此病之作，多在四时阴雨之时，及三月九月，太阳寒水用事之月。故草枯水寒之为甚，或濒水之地，劳力之人，辛苦失度，触冒风雨，寝处津湿，痹从外入。况五方土地，寒暑殊气，刚柔异禀，饮食起居，莫不相戾，故所受之邪，各有浅深，或痛或不痛，或仁或不仁，或筋屈而不能伸，或引而不缩，寒则虫行，热则缩⁵缓，不相乱也。皮痹不已，而成肉痹，肉痹不已，而成脉痹，脉痹不已，而成筋痹，筋痹不已，而成骨痹，久而不已，内舍其合，若府藏俱病，虽有智者，不能善

图也，凡病痹之人，其脉沉涩。今人论方者，见诸痹证，遽作脚气治之，岂知内经中本无脚气之说。或曰，诸方亦有脚气统论，又有脚气方药，若止取素问，则诸方皆非即⁶。曰痹病以湿热为源，风寒为兼，三气合而为痹，柰何治此者，不问经络，不分藏府，不辨表里，便作寒湿脚气，乌之、附之、乳之、没之，种种燥热攻之，中脘灸之，脐下烧之，三里火之，蒸之、熨之、汤之、炕之，以至便旋涩滞，前后俱秘，虚燥转甚，肌肤日削，食饮不入，邪气外侵，虽遇扁华，亦难措手，若此者何哉？胸膈间有寒痰不去故也。痹病本不死，死者医之误也，虽亦用蒸之法，必先涌去其寒痰，然后诸法皆效。内经曰：五藏有俞穴，六府有合穴，循脉之本分，各有所发之源，以砭石补之，则痹病瘳，此在内经中明白具载，如之何不读也。陈下酒监魏德新，因赴冬选，犯寒而行，真气元衰，加之坐卧冷湿，食饮失节，以冬遇此，遂作骨痹。骨属肾也，腰之高骨坏而不用，两胯似折，面黑如炭，前后膝痛，痿厥嗜卧。徧问诸医，皆作肾虚治之。余先以玲珑灶熨蒸数日，次以苦齐上涌⁷，寒痰三二升，下虚上实，明可见矣。次以淡齐，使白术除脾湿，令茯苓养肾水，责官桂伐风木，寒气偏胜，则加姜附，否则不加，又刺肾俞、太溪二穴，二日一刺，前后一月，平复如故。仆尝用治伤寒汗下吐三法，移为治风痹痿厥之法，愈者多矣。

痿之为状，两足痿弱，不能行用，由肾水不能胜心火，心火上烁肺金，肺金受火制，六叶皆焦，皮毛虚弱，急而薄著，则生痿躄。躄者，足不能伸而行也，肾水者，乃肺金之子也，今肾水衰少，随火上炎，肾主两足，故骨髓衰竭，由使内太过而致然。至真要⁷

1 金大石热：儒门事亲作“金石大热”

2 泔：儒门事亲作“逐”

3 攻：儒门事亲作“功”

4 肉：儒门事亲此下有“受之”二字

5 缩：儒门事亲作“纵”

6 即：儒门事亲作“耶”

7 痿：此下脱字，儒门事亲作“大”

论云：诸痿喘呕，皆属于上者，上焦也。三焦者，手少阳相火也，痿、喘、呕三病，皆在膈上，属肺金之部分也。故肌痹传为脉痿，湿痹不仁，传为肉痿，髓竭足臂，传为骨痿，房室太过，传为筋痿，筋痿传为白淫。大抵痿之为病，皆因客热而成，好欲贪色，强力过极，渐成痿疾。故痿臂属肺，脉痿属心，筋痿属肝，肉痿属脾，胃痿属肾，总因肺受大热，叶焦之故，相传于四藏，痿病成矣。直断曰：痿病无寒，故痿之作也，五月、六月、七月皆其时也，午者少阴君火之位，未者湿土庚金伏火之地，申者少阳相火之分，故痿发此三月之内，为以热也。故病痿之人，其脉浮而大，今之行药者，凡见脚膝痿弱，难于行步，或一足不伸，便作寒湿脚气治之，骤用乌、附、乳、没、自然铜、藏灵仙之类，燔针艾火，汤煮袋蒸，痿弱转加，如此而死，岂亦天乎！夫治痿与治痹，其治颇异。风寒湿痹，犹可蒸汤灸燔，时或一效，惟痿用之转甚者，何也？盖以痿肺热为本，叶焦而成痿，以此传于五藏，岂有寒者欤？若痿作寒治，是不刃而杀之也。夫痿病不死，死者用药之误也。陈下一武弁宋子玉，因驻军息城，五六月间，暴得痿病，腰膝两足皆不任用臂而不行，求治于予，察其两手脉俱滑大而有力量，予凭内经，火淫于内，治以咸寒，以盐水越其膈，问寒热宿痰。新者为热，旧者为寒，或宿食宿饮在上脘者，皆可涌之。宿痰既尽，因而下之，节次数百^②行，觉神志日清，饮食日美，两足渐举，脚膝渐伸，心降肾升，使^③继以黄连解毒汤加当归等药，及泻心汤、凉膈散、柴胡饮子，大作齐煎，时时呷之。经曰：治心肺之病最近，用药齐不厌烦而少；治肾肝之病最远，用药齐不厌顿而多。此法人皆怪之，然余治痿寻常用之，如拾遗物，予若以此诳人，其如获罪于天何！此宋子玉之证，所以不得不书也，且示信于来世。故内经谓：治痿之法，独取阳明经，阳明经者，胃脉也，五藏六府之海也，主润养宗筋，宗

筋主束骨，束骨在脐下阴毛际上是也；又主大利机关，机关者身中大关节也，以司屈伸。是以阳明虚，则宗脉纵，宗脉纵，则大脉不伸，两足痿弱。然取阳明者，胃脉也。胃为水谷之海，人之四季，以胃气为本，本固则精化，精化则髓充，髓充则足能履也。阴阳应象论曰：形不足者，温之以气，精不足者，补之以味。味者，五味也，五味调和，则可补精益气也。五味：五谷、五菜、五果、五肉。五味贵和，不可偏胜。又曰：恬淡虚无，真气从之，精神内守，病安从来？若用金石草木补之者，必久而增气，物化之常，气增而久，夭之由也。所以久服黄连苦参者，而反化为热，久服热药之人，可不为寒心哉！余尝用汗下吐三法，治风痹痿厥，以其得效者众，其敢诬于后人乎！

厥之为状，手足及膝下，或寒或热也。举世传脚气寒湿之病，岂知内经中无脚气之说，王太仆亦云：本无脚气，后世广饰方论，而立此名，古之方谓厥者，即今所谓脚气者也。然厥当分二种，次分五藏。所谓二种者，有寒厥，亦有热厥。阳气衰于下，则为寒厥，阴气衰于上，则为热厥。热厥为手足热也，寒厥为手足寒也。阳经起于足指之表，阴经起于足心之下，阳气胜则足下热，阴气胜则足下寒。又曰阳主外，而厥在内，阴主内，而厥在外，若此者，阴阳之气逆而上行故也。夫春夏则阳多阴少，秋冬则阴壮阳衰，人或恃赖壮勇，纵情嗜欲，于秋冬之时，则阳夺于内，精气下溢，邪气上行，阳气既衰，真精又竭，阳不荣养，阴气独行，故手足寒，发为寒厥也。人或醉饱而^④房，气聚于脾胃，主行津液，阴气虚，阳气入，则胃不和，胃不和，则精气竭，精气竭，则四支不荣，酒气与谷气相薄，则内热而溺赤，气壮而慄悍，肾气既衰，阳气独胜，故手足热，发而为热

① 胃：儒门事亲作“骨”。

② 百：儒门事亲作“十”。

③ 使：儒门事亲作“便”。

④ 而：儒门事亲作“入”。

厥也。厥亦有令人腹暴满不知人者，或一二日稍知人者，暴卒然闷乱无觉知者，皆因邪气乱，阳气逆是少阴¹脉不至也。肾气微少，精血奔逸，使气促迫，上入胸膈，宗气反结心下，阳气退下，热归阴腹²，与阴相助，令身不仁。又五络皆会于耳中，五络俱绝，则令人身脉皆动，而形体皆无所知，其状如尸，故曰尸厥；有涎如拽锯，声在喉咽中，为痰厥；手足搐搦者，为风厥，因醉而得之，为酒厥；暴怒而得之，为气厥；骨痛爪枯为骨厥；两足指挛急，屈伸不得，爪甲枯结，为臂厥；身强直如椽者，为肝厥；喘而³者，狂走攀登为阳明厥，皆气逆之所为也。今人见兹厥者，皆谓之跋⁴著掠著，此是何等语也，非徒其名之谬，因其名之谬而乖其实也，既言跋著中著，掠著，必归之风，此清心、灵宝、至宝，又为先驱矣。鼻中喘药，身上熯火，岂知厥之为病，如前所说者耶！顷西华李政之病寒厥，其妻病热厥，前后十余年，其妻服逍遥十余剂，终无寸效，一日命余诊之，二人脉皆浮大而无力的，政之曰：吾手足之寒，时时渍以热汤，渍而不能止，吾妇手足之热，终日以冷水沃，而不能已者，何也？余曰：寒热之厥也，此皆得之贪饮食，纵嗜欲，遂出内经厥论证之。政之喜曰：内经真圣书也，十余年之疑，今而释然，纵不服药，愈过半矣。仆曰：热厥者，寒在上也，寒厥者，热在上也，寒在上者，以温齐补肺金，热在上者，以凉齐清心火，分处二药，令服之不辍。不旬日，政之诣门谢曰：寒热之厥，皆愈矣？其妻当不过数月而有娠，何哉？阴阳皆和故也。凡尸厥、痿厥、风厥、气厥、酒厥，可一涌而⁵，次服降心火，益肾水，通血和之气之药，使粥食调养无不差者，若其余诸厥，仿此行之，慎勿当疑似之间，便作风气，相去邈矣。

证口眼喎斜是经非窍辨

口眼喎斜者，俗工多与中风掉眩证一概

治之，其药则灵宝、至宝、续命、清心、一字、急风、乌犀、铁弹丸，其方非不言治此证⁵也，然而不愈者何也？盖知窍而不知经，知经而不知气故也。何谓知窍而不知经，盖人之首，有七窍，如日月五星七政之在天也。故肝窍目，目为肝之外候；肺窍鼻，鼻为肺之外候；心窍舌，舌无窍，心与肾合而寄窍于耳，故耳与舌，俱为心之外候。俗工止知目病归之肝，口病归之脾，耳病归之肾，舌病归之心，更无改张。岂知目之内眦，上下二纲，足太阳及足阳明起于此；目之锐眦，足少阳起于此，手少阳至于此；鼻之左右，足阳明手阳明侠乎此；口之左右，亦此两经环乎⁶，故七窍有病，不可独归之五藏，当归之六阳经也。余曰：俗工知窍而不知经者此也。何谓知经而不知气？盖世之谈方药者，不啻千万，止不过坚执本草性味，其知十二经所出所入、所循所环、所交所合、所过所注、所起所会、所属所络、所上所下、所侠所贯、所布所散、所结所绕、所抵所连、所系所约、所同所别，千万人中或见一二名，此可谓难其人矣。然而不过执此十二经，便为病本，将阳经为热，阴经为寒，向本草中寻药，药架上捡方而已矣，病之不愈又何讶焉。岂知灵枢经曰：足之阳明，手之太阳，筋急则口目为喎，此十二经及受病之处也，非为病者也，及为病者，天之六气也。六气者何？风、暑、燥、湿、火、寒是也。故曰：俗工知经而不知气者，此也。然则口目喎斜者，此何经也？何气也？足之太阳，足之阳明，左目有之，右目亦有之，足之阳明，手之阳明，口左有之，口右亦有之，此两道也。灵枢又言：足阳明之筋，其病颊筋，有寒则急，引颊移口，热则筋弛纵，缓不胜收，故

1 唇：儒门事亲作“肾”。

2 腹：儒门事亲作“股”。

3 喘：儒门事亲作“呃”。

4 腥：儒门事亲作“醒”。

5 证：儒门事亲作“病”。

6 乎：儒门事亲此下有“此”字。

噤，是左寒右热，则左急而右缓，右寒左热，则右急而左缓，故偏于左者，左寒而右热，偏于右者，右寒而左热也。夫寒不可径用辛热之齐，盖左中寒则逼热于右，右中寒则逼热于左，阳气不得宣行故也。而况风者，甲乙木也，口眼阳明皆为胃土，风偏贼之，此口目之所以噤也，是则然矣。七窍惟口目喎斜，而耳鼻独无此病者，何也？盖动则风生，静则风息，天地之常理也。考之易象，有足相符者，震巽主动，坤艮主静，动者皆属木，静则皆属土，观卦者，视之理也，视者目之用也，目之上纲则眨，下纲则不眨，故观卦上巽而下坤。颐卦者，养之理也，养者口之用也，口之下颌则嚼，上颌则不嚼，故颐卦上艮而下震，口目常动故风生焉，耳鼻常静故风息焉，当思目虽斜，而目之眶眶未常斜，口之喎，而口之辅车未尝喎，此经之受病，非窍之受病明矣，而况目有风轮，唇有飞门者耶！余尝治此证，未尝用世俗之药，非故与世参商，方凿圆枘，自然齟齬。

昔过颍一长吏病此，命予疗之，目之斜灸以承泣，口之喎灸以地仓，俱效，苟不效者，当灸人迎。夫气虚风入而为偏，上不得出，下不得泄，真气为风邪所陷，故宜灸。内经曰：陷下则灸之，正谓此也，所以立愈。又尝过东杞，一夫亦患此，予脉其两手，急数如弦之张，甚力而实，其人齿壮气充，与长吏不同，盖风火交胜，余调承气汤六两，以水四升，煎作三升，分四服，令稍热啜之，前后约泻四五十行，去一两盆，次以苦齐投之，解毒数服，以升降水火，不旬日而愈。脉诀云：热则生风，若此者不可纯归其病，于窗隙之间而得，亦风火素感而然也。盖火胜则制金，金衰则木茂，木茂则风生，若东杞之人，止可流湿润燥，大下之后，使加餐通郁为大，灵枢虽有马膏、桂酒双涂之法，此但治其外耳，非治其内也。今人不知其本，欲以单服热水，强引而行之，未见其愈者也，向之用姜、附、乌、桂、起石、硫黄之齐者，是耶？非耶？

诸 风 门

治 病 百 法

风

夫风者，厥阴风木之主也。诸风掉眩，风痰、风厥，涎潮不利，半身不遂，失音不语，留饮飧泄，痰实呕逆，旋运、口喎、搐搦、僵仆、目眩，小儿惊悸狂妄，胃脘当心而痛，上支两肋，咽膈不通，偏正头痛，首风沐风，手足挛急，肝木为病，人气在头。

防风痛^① 圣散 防风天麻散 防风汤祛风丸 排风汤 小续命汤 消风散

夫风中^②，失音闷乱，喎斜口眼，内经

曰：风之为病，善行而数变，故百病皆生于风也。可用三圣散吐之，如不省人事，牙关紧闭，粥菜不能下者，煎三圣散鼻内灌之，吐出涎，口自开也。次服通圣散、凉膈散、大人参半夏丸、桂苓甘露散等。大忌鸡、猪、鱼、兔、酒、醋、荞面动风引痰之物。

头风眩运，手足时复麻痹，胃脘发痛，心腹满闷，按之如水声，可用独圣散吐之，吐讫，可服辛凉清上之药。仲景曰：此寒痰结于胸中之致然也。

十 形 三 疗

风 形

因惊风搐

新寨马叟，年五十九，因秋欠税，官杖六十，得惊气，成风搐已三年矣，病大发，则手足颤掉，不能持物，食则令人代哺，口目张腠，唇舌嚼烂，抖擞之状，如线引傀儡，每发，市人皆聚观，夜卧发热，衣被尽褰^③，遍身燥痒，中热而反外寒，久欲自尽，手不能绳，倾产求医，至破其家，而病益坚。叟之子邑中旧小吏也，以父病讯戴人，戴人曰：此病甚易治，若隆暑时不过一涌，再涌，夺则愈矣。今已秋寒，可三之，如未，更刺臑穴必愈。先以通圣散汗之，继服涌剂，出痰一二升，至晚，又下五七行，其疾小愈，待五日再一涌，出痰三四升，如鸡黄成块，热如汤然。叟以手颤不能自探，妻与代探，咽

嗌肿伤，昏愤如醉，约一二时许，稍稍省，又下数行，立觉足轻颤减，热亦不作，足亦能步，手能巾栉，自持匙筯。未至三涌，病去如濯，病后但觉极寒，戴人曰：当以食补之，久则自退。盖大疾之去卫气^④，故宜以散风导气之药和^⑤，不可以热剂温之，恐反成他病也。

风搐反张

吕君玉之妻，年三十余，病风搐目眩，角弓反张，数日不食，诸医皆作惊风、暗风、风痼，治之以天南星、雄黄、天麻、乌附，用之殊无少效，戴人曰：诸风掉眩，皆属肝木，曲直动摇，风之用也。阳主动，阴主静，

① 痛：儒门事亲作“通”。
② 风中：儒门事亲作“中风”。
③ 褰：儒门事亲作“去”。
④ 气：儒门事亲此下有“未复”二字。
⑤ 和：儒门事亲作“切”。

由火盛制金，金衰不能平木，肝木茂而自病，先涌风痰二三升，次以寒剂下十馀行，又以铍针刺百会穴，出血二杯立愈。

因风鼻塞

常仲明，常于炎暑时，风快处，披露肌肤以求爽，为风所贼，三日鼻塞，虽坐于暖处少通，终不大解，戴人使服通圣散，入生姜、葱根、豆豉同煎，三两服，大发汗，鼻立通。

癩

朱葛解家病癩疾，求治于戴人，戴人辞之，待五六月间，可治之时也，今春初尚寒，未可服药，我已具行装到宛丘，待五六月制药来解家以为托辞，后戴人果以六月间到朱葛，乃具大蒜、浮萍等药。使人召解家曰，药已成矣，可来就治，解为他医所惑，竟不至，戴人曰：向日我非托也，以春寒未可发汗，暑月易发汗，内经论治癩，针二百日眉毛再生，针同发汗也，但无药者，用针一汗，可抵千针，故高供奉采苹歌曰：不居山兮不在岸，采我之时七月半，选甚癩风与痰风，些小微风都不算，豆淋酒内下三丸，铁幞头上也出汗。噫！文士相轻，医氏相疾，文士不过自损，医氏至于害人。其解家之谓与！阳夏张主簿，病癩十馀年，眉须皆落，皮肤皱涩如树皮。戴人断之曰：足有汗者可治之，当大发汗，其汗出当臭，其涎当腥，乃置煨室中，遍塞风隙，以三圣散吐之，汗出周身如卧水中，其汗果粘臭不可闻，痰皆腥如鱼涎，两足心微有汗，次以舟车丸、浚川散大

下五七行，如此数次乃瘳。

肾风

桑惠民病风，面黑色，畏风不敢出，爬搔不已，眉毛脱落作癩，医三年，一日，戴人到棠谿来，求治于戴人，戴人曰：非癩也，乃出素问风论，曰肾风之状，多汗恶风脊痛，不能正立，其色焔，面疣然浮肿，今公之病，肾风也，宜先刺其面大出血，其血当如墨色，三刺血变色矣。于是下针，自额上下排针，直至颐顶皆出血，果如墨色，偏肿处皆针之，惟不针目锐眦外两旁，盖少阳经，此少血多气也。隔日又针之，血色乃紫，二日外又刺，其血色变赤，初针时痒，再刺则额觉痛，三刺其痛不可任，盖邪退而然也。待二十馀日，又轻刺一遍方已，每刺必以冰^①水洗其面血，十日黑色退，一月面稍赤，三月乃红白，但不服除^②下热之药，病再作，戴人在东方无能治者。

劳风

戴人见一男子，目下肿如卧蚕状，戴人曰，目之下阴也，水亦阴也，肾以为水之主，其肿至于目下故也，此由房室交接之时，劳汗遇风，风入皮肤，得寒则闭，风不能出，与水俱行，故病如是，不禁房则死。

中风

高评事中风稍缓，张令涌之，后服铁弹丸，在普济加减方中，或问张曰：君常笑人中风服铁弹丸，今以^③用之何也？张曰：此收后之药也，令^④人用之于大势方来之时，正犹蚍蜉撼大树，不识次第故也。

治方杂论

风

人之生也，负阴而抱阳，人居一气，道在其中矣，外有八邪之相荡，内有喜怒之交侵，真气内弱，风邪袭之，风之伤人，或为寒热，或为疼痛，或为偏枯，或为拘挛，其候

不一。风者善行而数变，此乃风者，百病之始，万病之长也。盖内不得通，外不得泄，此谓之病生于变乱也，或失音而昏冒，或口

① 冰：儒门事亲无此字。

② 除：儒门事亲此下有“根”字。

③ 以：儒门事亲作“自”。

④ 令：儒门事亲作“今”。

目而喎斜，可用二圣散吐之，或不知人事者，或牙关紧急者，粥不能下不能咽者，煎三圣散鼻内灌之，吐出涎沫，口自开也。次服无忧散、通解丸、通圣、凉膈、人参半夏丸、桂苓甘露散，消风散热除湿，润养液之寒药排而用之，切忌鸡、猪、鱼、兔、油腻、酒、醋、荞面动风之物，及引痰之食。

大凡头风眩运，手足麻痹，胃脘发痛，心酸满闷，按之有声，皆因风，风、寒、湿三气杂至，合而为痹也。在上谓之停饮，可用独圣散吐之，吐讫后，服清上辛凉之药，通圣加半夏之味，仲景云：此痰结胸中而致也。

大凡人病雷头懒干，俗呼之谬名也。头痛昏眩，皆因浴髮而得之，即为首风，此因

邪风在于胸中，热甚化而为痰之所致也，可以茶调散吐之，吐讫，次用藏用丸下之，后可服乌荆丸，若是雷头者，上部多有赤肿结核，或面血无汗，经云：火郁发之，开导之，却之，可用铍针出血则愈。灵枢经云：夺血者无汗，夺汗者无血。血汗俱荡，岂不妙哉？衰老者，可用凉膈，解毒消风散热为治；年壮者，可以荡涤积热，大黄、牵牛，气血宣通，使无壅滞而愈。

凡人患目肿经年不差，俗言头风所注，更加头痛者，岂非头风者欤？此乃足厥阴肝之经，手少阴心之经，兼五藏俱有大热也，可先用通解丸，通利大小便，大黄越桃饮子。治肝热者，羌活决明散服之，大有神效矣。

澹 寮 方

中 风

夫人之冒风，轻则为伤，重则为中，中之重者，鲜有不毙。盖入藏则难愈，入腑则犹可治之也。且风性紧暴，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，激人涎潮，昏人神乱，故推为百病长。太医編集亦首论中风，所谓左瘫右痪者，乃邪气中人，邪气反缓，正气即急，正气引邪，喎僻不随，入^①风懿者，以心肺膈闭不能言，但噫噫作声，盖肺气入心则能言，邪中心肺，涎潮昏塞，故使然也。四肢缓纵为风痲者，以风散涎注于关节，气不能行，故使四肢不遂也。舌强不能言者，以风入心脾经所致，心之别脉，系舌本；脾之脉，络胃，侠咽，连舌本，散舌下。风涎入其经络，故舌不转而不能言也。四肢拘挛者，以风冷之气，入于肝藏，使诸筋挛急，屈而不能伸也。风柔者，以风热之气，入于肝藏，使诸筋弛张，缓而不可收也。故经云：寒则挛急，热则弛张。风颤者，风邪入于肝藏经络，上气不守正位，故使头招摇而手足

颤掉也。风瘖者，以风冷之气客于中，滞而不能发，故使口噤不能言也，与前所谓涎潮心肺同候，但此以口噤为差耳！猥退风者，半身不遂，失音不语，临事不前，亦偏中于心肺经所致也。中风之证，大略如此，况四气皆能中人，变证尤多，中之者，亦多由气不顺，治之之法，更当兼理其气，各随轻重以处方，方之可用者，集于兹焉。

凡中疾一时，诸证蜂起，则为困笃，仓卒之间，药不可入，名医多用苏合香圆擦起牙关，或以生半夏、皂角末吹鼻窍，或灌陈霜梅汁收其痰，或服真麻油调麝香，以疏通其气，又或用麝香煎五积散为之，兼行要药，倘或不然，殆至风气日增，不得安愈。

男子妇人中风，涎潮于心，卒然中倒，当即扶入暖室中，扶策正坐，当面作好醋炭熏之，令醋气冲入口鼻内，良久，其涎潮聚于心者，自收归旧，轻者即时苏省，重者亦省人事，惟不可吃一滴水汤入喉也，如吃汤水，则其涎永系于心络不能去，必成废人。

① 入：按文义应作“人”。

今只以醋炭熏之，既得涎离于心，渐渐苏省，当以生料五积散加麝香煎服之。传心方。

积年痰饮渐成风，口眼喎斜语不通，苏合姜汁调半盏，青州圆子有神功。久年痰饮，停滞胸膈，忽然痰涎壅盛，手足顽麻，口眼喎斜，语言不正，用局方麝香苏合香圆三粒，生姜汁调开，送下青州白圆子五十粒，如不能吞，将白圆子研细灌下为妙。温氏隐居方。

中风气逆有痰涎，苏合姜调灌下咽，次用省风小续命，多增木麝二香煎。往往中风之证，多因喜怒不常，或饮食停滞，或怒气伤神，思虑过多，损于心脏，用局方苏合香元三圆，生姜自然汁化开，灌下咽喉，次用局方省风汤、小续命汤，各加麝香、本^①香，依法煎服。同上。

风中须将气饮详，姜煎苏合橘皮汤，省风续命徐徐进，二药仍须入木香。中风之证，多因心肾亏虚，喜怒不常，或强食停饮，或怒气伤神，过虑损心之所致也，先用局方苏合香元，姜汁调数元，分为三服，却用橘皮汤点服，次服省风汤、小续命汤，加木香依法煎。同上。

口眼喎斜是中风，筋疼烦热遍身中，急煎五七加芍药，苏合香元速有功。风寒湿气流于经络，忽然手足顽麻，口眼喎斜，项强筋疼，遍身烦热，未可使用风药，宜煎局方三五七散，加芍药三钱，用水三盏，生姜十片，煎至一盏半，去滓，作三次调苏合香元三圆服，留滓再煎。同上。

凡中疾，口开手散，眼合遗尿，鼻声如鼾睡，俱为难治。盖口开者，心气闭绝也；遗尿者，肾气闭绝也；手散者，脾气闭绝也；眼合者，肝气闭绝也；鼻鼾者，肺气闭绝也，备此五证，尤不可治。五证中才见一证，犹当审余证以救疗。盖以初中，则眼合者多，痰上则鼻鼾者亦多，惟是遗尿口开二证，俱见为恶，心为五脏主君，肾为一身根本，诚不可闭绝也。

凡人中风，脉无不大者，非热也，是风

脉也。中风有冷热，阳病则热，阴病则冷，冷则用温风药，热则凉风药，不可一既用也。凡中风，皆不可吐出涎，人骨节中皆有涎，所以转动滑利。中风则涎上潮，咽喉中衮衮，以药压下，涎再归骨节可也，不可吐出，若吐出涎，时间快意非久，枯了人手足，不可不戒也。小儿惊风，亦不可吐出涎，其患与大人同，方其发搐搦之时，不可捉住手足，捉住，则涎不归，手足当不随，但宽松抱之可也。医余。

凡中风，用续命、排风、风引、竹沥诸汤，及神精丹、茵芋酒之类，更加以艾，无不愈者，然此疾积习之久，非一日所能致，皆大剂久而取效。唐书载王太后中风，暗默不语，医者蒸黄芪数斛，以熏之得差，盖此类也。今人服三五盏，便求效，责医也亦速矣。孟子曰：七年之病，三年之艾，久而后知尔。本事方。

世传左为瘫，右为痪，此说尤非。何者？经既有偏中，半身不遂之候，即瘫痪之候，当以左右俱中者名之。又说：以春夏得之难治，秋冬得之易疗。春夏者，阳气上腾，火力方盛，风火相得而旺，故难治也；秋冬者，阳气降下渐微，即易疗也。此说亦未可必，惟其中之浅深为难易尔！治法兼理肝肾为得。盖肝主筋，肾主骨，风中肝肾则筋骨瘫痪也。鸡峰方。

风淫末疾谓四肢，凡人中风，悉归手足故也。而疾势有轻重，故病轻者，俗名小中。一老医常论小中不须深治，但服温平汤剂，正气逐湿痹，使毒流一边，余若不作，随性将养，虽未能为全人，然尚可苟延岁月，若力攻之，纵有平复者，往往恬不之戒，病一再来，则难以支吾矣。譬如捕寇，拘于一室，则不使之逸越，自无他虑，或逐之，再至则其祸当剧于前矣。此语极有理。而每见世之病者，大体皆如是，但常人之情，以幻质为已有，岂有得疾为废人，而不力治者，此未易以笔舌喻也。泊宅编。

① 本：按文义应作“木”。

卫生宝鉴

中风论

经曰：风者百病之始，善行而数变。行者动也，风本为热，热胜则风动，宜以静胜其躁，是养血也。治须少汗，亦宜少下，多汗则虚其卫，多下则损其荣，汗下各得其宜，然后宜治其在经，虽有汗下之戒，而有中脏中腑之分。中腑者，宜汗之，中脏者，宜下之。此虽合汗下，亦不可过也。仲景云：汗多则亡阳、下多则亡阴。亡阳则损气，亡阴则损形。故经言血气者人之神，不可不谨养也。初谓表里不和，须汗下之，表里已和，是宜治之在经也。其中腑者，面颜显五色，有表证而脉浮，恶风恶寒，拘急不仁，或中身之后，或中身之前，或中身之侧，皆曰中腑也，其病多易治。其中脏者，唇吻不收，

舌不转而失音，鼻不知香臭，耳聋而眼瞽，大小便秘结，皆曰中脏也，其病则难治。经曰：六府不和，留结为痛，五脏不和，九窍不通，外无留结为痛，内无九窍不通，知必在经也。初证既定，宜以大药养之，当须按时令而调阴阳，安脏腑而和荣卫，少有不愈者也。风中腑者，先以加减续命汤，随证发其表，如无^①中脏，则大便多秘涩，宜以三化汤通其滞，表里证已定，别无变端，故以大药和而治之。大抵中腑者，多著四肢，中脏者多滞九窍，虽中腑者，多兼中脏之证，至于舌强失音，久服大药，能自愈也。有中风湿者，夏月多有之，其证身重如山，不能转侧，宜服除风胜湿去热之剂，如不可，则用针灸治之，今具六经续命汤^②治法。方见下千金方。

永类铃方^③

中风

夫风，天地山川，四时五行，八方之正气，从其乡来者，生长人物，则人少病。若诸邪风，非是四时乘节之风，非山川鼓振之风，不从其乡来，而从所胜来者，为贼邪，病人害物，此天时无风之日，乃人间庭巷门户窗牖之径气耳，中则中五脏，伤则伤六经，轻则曰感，曰冒，重则曰中，曰伤。

论脉。风邪中人，六脉多沉伏，亦有脉随气奔，指下洪盛者，挟寒脉带浮迟，挟暑则脉虚，挟湿则浮涩，若脾脉缓者难治。盖风喜归肝，肝木克脾土，则大便洞泄难治，大便秘可治，浮迟吉，急实凶。

论证治：肥人，风邪易中，而不得外泄，即为热中而目黄；瘦人得外泄，即为寒中而泣泪出也。脉浮而数，风中腑也，风中脉则

口眼喎斜，风中腑则肢体废，风中脏则危矣。寒入脏则使人喑哑，缓纵噤口不能言。痿。背强。风入阳经则狂，入阴经则癫，入皮肤则痒，入筋则挛急，入骨节则疼痛，入诸阳脉俞，散于分肉，与卫气相搏，气不行故肉不仁；与荣气相搏，故半身不遂。气顺血涩为瘫，风则筋脉拘挛；血顺气虚为痪，风则瘫痪不举。瘫风则益血补筋，去风药治之；痪风不可全用风药，兼用理气药治之。凡中风，言不变，志不乱，病在分腠之间，温卧小汗，为可复也。凡口目俱闭，易治。髮直摇头吐沫，上掀面赤，或头面青黑，汗缀如珠，痰声如拽锯，眼闭肝气绝、手散脾绝、口开心绝、遗尿不知肾绝、鼻鼾肺绝五者，为五脏绝，五脏俱绝，为

① 无：卫生宝鉴作“忽”。

② 续命汤：方见本卷引千金方。

③ 永类铃方：此下部分原文系表格，为了便于阅读，依本书体例，特改为文字。

不治。若见其一，尤当施治也，心肾绝，尤难治。气中，方书不载，此七情内因，其证与中风相似，但风中多痰涎，气中口中无涎，自当顺气治风之法，当以暖散通气为先，气通则痰气不熏蒸，风亦自得以遽散矣。风为散气，见于阳经，故多汗，其轻者，在皮肤，疮癬，语謇，眉引，耳鸣，目旋。

五脏中风脉皆浮，但兼以本脉而见于本部，与人迎相应也。假令肝中风，则左手关部与人迎脉并浮而弦也，余皆仿此。

风喜归肝，其中腑为轻，中脏则危，厥阴肝风木之经其得订¹多由肝而生，故于治法列之。肝脏之下有不能尽，今以脉证治开列于后，其风入各脏者，名以脉证合之。

肝脉，人迎并左关浮弦，面目青，恶风自汗，左胁痛，筋寒则挛急，筋热则弛张；若上喘直视，唇口手足爪甲青黑，不治。

心脉，人迎并左寸浮洪，面舌赤，发热瘖不能言，咽中噫噫有声，自汗，身强痛，狂言者生；若唇面黄赤青黑不定，眼眵，不治。

脾脉，人迎并右关浮微而迟，四肢不收，皮肉眴动，一身通黄，口吐咸沫，尚可治；若手足俱青，木贼土²败，不治。

肺脉，人迎并右寸浮涩而短，面浮气喘，咽中噫噫有声，鼻不知香臭，自鼻下至口色白者，可治；若失血妄言，色黄者，不治。

肾脉，人迎并左尺浮滑，面耳黑，腰脊痛引小腹，胁肋边未有黄点者可治；若齿黄，面上土色，不治。

六腑无中风，惟胃有者，胃为水谷之海，变化五味，以资五脏，虚则风邪中之。

胃脉，人迎并两关浮大，其证额上多汗，隔塞不食，食寒则腹胀而泄。五脏风论皆有汗，六腑无汗，惟胃有之，亦止头额上有汗。

诸暴卒中僵仆，不省人事，皆外因。

阴中即为寒中，其人颜青脸白，痰厥喘塞，昏乱眩暈，喎斜不遂，或手足厥冷，不知人，多汗，脉沉伏带急，先用苏合香圆擦牙上，

灌以生姜自然汁，或用稀涎散，微出其涎，方可用药，百一选八味青州白元子、简易附香饮、生姜附汤、星香汤、顺元散、济生星附汤、三生饮，气虚眩暈人难服。虚寒甚，三建汤。虚极，二香三建汤。如药不下，多灸关元、丹田二穴。

中暑有卒暴昏闷之证，其脉虚弱而微迟。（见诸暑门）。

阳中即为热中，脸赤如醉怒，牙关紧急，上视直强掉眩。素问云：诸风掉眩、支痛强直筋缩，为厥阴风木之气。自大寒至小满，风木君火二气之位，风主动，善行而数变，木旺生火，风火属阳，多为兼化，且阳明燥金，主于紧敛缩劲，风木为病；反见燥金之化，由亢则害，承乃制，谓已过极，则反似胜己之化，正所谓木极似金，况风能胜湿而为燥，风病势甚，而成筋缩，燥之甚也。脉浮盛而急，先用苏合香圆、生姜自然汁擦灌，或用稀涎散、简易集通顶散中选用。痰气闭，药不下，灌以杨氏夺命散；气盛人服热药不得者，止旦³简易星香散、续易简加减续命汤、简易集千金加减小续命汤、乌药顺气散、省风散、三因防风汤、独活汤、续易简紫豆汤、简易大省风汤、加减三奇汤、选奇去风丹。治中风及脚气，七月半采紫色浮苹，为蜜元，又见本草。

脉浮缓，喎斜不遂，邪入阳经，气血偏虚不行。喎斜，用生姜汁调苏合香圆贴之，并可服，简易天仙膏，南星膏并灸法，续简易蓖麻膏、杨氏牵正散、局方小续命汤。寒中，三生饮、济生省风汤，五月五、六月六采稀签作圆，简易四生圆，三奇汤。挟寒，三因附子汤。挟暑，防风汤。挟气，简易回阳汤。

脉浮滑而散，偏枯瘫痪，邪入肝经，气血偏虚，春夏甚，秋冬愈，简易集左经圆、

1 订：按文义应作“证”。

2 土：按文义应作“土”。

3 旦：按文义应作“用”。

四生圆、虎骨散、三奇汤、羌活散、乌龙丹、万灵丹、本事星附散。

脉浮缓，麻木不仁，风寒湿三气所成（通见诸痹门），杨氏太白散、局方五痹汤；十脂^①不仁，是斋附香汤、局方排风汤、三五七散、三因附子汤。

脉弦迟，口噤不语，心脾受邪，见于口舌，三因竹沥汤、独活散、简易解语汤、加减小续命汤、独活汤、三奇汤；加^②晕倒吐痰，手足厥或烦躁，姜附汤。

脉浮紧，牙关紧急，邪中肝经，筋急，姜汁苏合香圆、稀涎散、简易通顶散、雄附省风汤；加^③心风惊恐，局方惊气圆；热涎咽肿，解毒雄黄圆。

脉急细如弦，四肢拘挛，邪中肝经，简易虎骨散、三圣散、活血丹、加减小续命汤、集资奇黑龙圆、左经元、局方虎骨散、本事木瓜煎、乌头汤；连臂痛，叶氏十味锉散、济生虎骨酒、选奇地仙圆。

脉浮紧，身体疼痛，风寒湿气搏于阳明经，叶氏十味锉散、蠲痹汤、简易局方七圣散、大防风汤。

脉沉弦，腰膝软痛，邪入少阴肾经（通见脚气门），局方大防风汤、五痹汤、七圣汤、青娥圆、简易蠲痹汤、澹寮趁痛圆。

脉浮大而长，狂言恍惚，风邪入心（通见心腹痛、癫痫门），局方排风汤；邪入心，定志圆、惊气圆、寿星圆、牛黄清心圆、本事真珠圆、杨氏黄石圆、圣惠金薄圆。

脉浮紧，心腹拘急，切痛，风冷客三焦，简易三圣汤、圣惠桂心散、赤芍药散、附子散。

脉沉伏，痰潮吐眩，小便不通，肝肾中风，三因白散子。

脉浮弦，走注疼痛，皮肤骨节受风毒，往来疼痛无常，乌药顺气散、虎骨散、澹寮趁痛圆；下注腰膝生疮，局方四生散。

脉寸微涩，关上紧，顽麻血风，阴邪入肝心经，局方乌荆元、追风散、消风散、八

风散、杨氏荆芥元、澹寮皂角六一圆。

脉浮数，热毒风，御院防风通圣散、经验川芎石膏汤、杨氏独活散、肝肾风毒、局方四生散。

脉浮弦，热痰肿闭（通见咽喉门），局方解毒元、御院上清散、防风通圣散。

脉浮数，风热头疼，鼻塞（通见头痛门），局方清心散、消风散、茶调散、上清散、御院大辰砂元、乳香消风散、生朱砂元、简易羚羊角散、定风饼子、白芷散、杨氏甘菊元、防风散、独活散。

瘙痒风，四生散、消风散、八风散、追风散、御院大辰砂圆。

白虎风，见历节门。

缠喉风，见瘰癧门。

气 中

内因

脉浮为风，应人迎，洪为气，应气口。气中与中风相似，但口中无涎，必审脉之沉伏洪盛，证与病者之虚实。不可多用下痰药，惟当理气。壅闭与苏合香圆擦牙，灌以生姜自然汁；轻则济生八味顺气散、局方四七汤、七气汤；兼风湿，选奇二和散，生五积二钱、顺元散一钱、姜五片煎服，简易羌活散、续易简回阳汤、独杏散、澹寮九宝饮、乌附圆、本事拒风丹；脉沉，简易附香饮。

筋弯魂伤肝。肉脱神伤心。肢废意伤脾。皮槁魄伤肺。腰脊不可俯仰志伤肾。五者以明内因，随所伤各脏，内施补治。

不内外因

蓐风，妇人产后，举卿古拜散、清魂散，鸡瓜^④风，经验五加皮散。

内风，房室虚乏，恶风自汗，身疼骨痠。简易七味附子汤、三因附子汤。

① 脂：按文义应作“指”。

② 加：按文义应作“如”。

③ 加：按文义应作“如”。

④ 瓜：按文义应作“爪”。

漏风，饮酒中风。简易定风饼子，集圣惠枳壳酒。

首风，新沐所致，三因附子摩顶散。

白虎历节

体虚之人，受风寒湿毒之气，使血气筋脉凝滞，传于骨节四肢间，肉色不变，骨如虎噬之痛，昼静夜剧。巢氏云：饮酒当风，汗出入水所致，久则骨节蹉跌成痼痼。

脉浮弦，风掣疼，黄汗出，面微红，交加散；虚则济生寄生汤、虎骨散、羌活散、蠲痛元、清家趁痛元、简易射香元、千金桃仁膏；发汗麻黄散。

脉紧或迟涩，寒掣疼，肢节小，筋急痹，五积加顺元散入射香、三因乌头汤、附子

八物汤、济生羌活散、寄生汤加肉桂芍药。

脉虚，暑掣疼，面赤烦闷，或小便少，人参败毒散、复元通气散、五苓散加赤芍药、当归，量虚实。

脉微细而濡，湿掣疼，肿满无汗，身疼腰重，五积加射香、术附汤、渗湿汤、五苓散加芍药、防己黄芪汤加附子、简易集茵芋元。

病退后，证在里，大便秘，交加散加大黄，量与四顺饮；寒湿并，交加散加射香。

表里未解，交加散加乌药顺气散；秘结，麻仁丸。

四肢疼痛不可忍，生五积加川羌活、川独活、穿山甲制过，随痛处所向，取甲烧炒存性，入煎，临熟入射香。

医方集成

风

风为百病之长，故诸方首论之。岐伯所谓大法有四：一曰偏枯，半身不遂；二曰风痲，于身无痛，四肢不收；三曰风懿者，奄忽不知人也；四曰风痹者，诸痹类风状，此特言其大概。而又有卒然而中者，皆由气体虚弱，荣卫失调，或喜、怒、忧、思、惊、恐、劳役，以致真气耗散，腠理不密，邪气乘虚而入。及其中也，重则半身不遂，口眼喎斜，肌肉疼痛，痰涎壅盛，或瘫痪不仁，舌强不语，精神恍惚，惊惕恐怖。治疗之法，当详其脉证，推其所感之原。若中于肝者，人迎与左关上脉浮而弦，面目多有恶风自汗，左胁偏痛；中于心者，人迎与左寸口脉洪而浮，面舌俱赤，翕翕发热，暗不能言；中于脾者，人迎与右关上脉浮微而迟，四肢怠惰，皮肉瞤动，身体通黄；中于肺者，人迎与右

寸口脉浮涩而短，面浮色白，口燥多喘；中于肾者，人迎与右尺脉浮而滑，面耳黑色，腰脊痛，引小腹，隐曲不利；中于胃者，两关脉并浮而大，额上多汗，膈塞不通，食寒则泄。凡此风证，或挟寒，则脉带浮迟，挟湿，则脉带浮涩，二证俱有，则从偏胜者治之，用药更宜详审。若因七情六淫而得者，当先调气，而后治风邪，此严氏至当之论。仓卒之际，救此急证，宜先以皂角细辛搐入鼻内，通其关窍，次以苏合香圆擦牙，连进以生姜自然汁，并三生饮，俟其苏醒，然后次第进以顺气之类，排风续命之类。所中在经络，脉微细者生，入于脏腑，口开手散，眼合遗尿，髮直吐沫，摇头直视，声如鼾睡者，难治。又有中之轻者，在皮肤之间，言语微謇，眉角牵引，遍身疮癬，状如虫行，目旋耳鸣，又当随证治之。

经验良方

论中风病及诸风证

黄帝素问载诸风掉眩，强直，支痛软戾，里急筋缩，为足厥阴风木肝胆之气也。风主动，风气甚，则头目眩晕，手足掉摇，由肺金衰，不能制木，而木能生火，故风火多为兼化。风又为阳邪，皆阳热之气偏多也。风之为病，或为寒热，或为热中，或为寒中，为疔风，为偏枯，或腰脊强痛，或耳鸣鼻塞，

发为诸证，其状不一者，善行数变也。风邪中人，自人脏腑俞穴而入，入脏则危，入腑则犹可治，其轻者，伤人腠理则洒然^①，闭则热而闷，风气俱入，行于诸脉分肉之间，与卫气相干，其道不利，怫郁不得传遍升降，故肌肉愤膜，不知寒热，痛痒顽痹加^②木石而不仁也。且风生于热，以热为本，而风为标，风气壅滞，与热相挺，销烁气液，结为稠涎，使人昏闷，卒暴僵仆，不知人事。

医林方

中风杂说

中风人能食，凡中风病多能食也。盖甲己化土，脾盛，故能食，由是多食，则脾气愈盛，脾能制肾，肾水既亏，则病增剧也。病宜广服药饵，不欲多食，病能自愈。有云：

胃热则善能消谷，热邪不除，风何而愈？中风病，多食者风木也，盛则克脾，脾受敌，则求助于食，经曰：实则梦与，虚则梦取是也。当泻肝木，治风安脾，脾安则食少，是其效也。

施圆端效方

诸风

经云：风者，天地之气也。德敷陈发，代应长生，政顺岁时，令行生杀，气交万物，以生成玄道，善行而数变。风之伤人也，或

为疔风，或为寒热。酒汗漏风；房汗内风；新沐中风，则为首风；久风入中，则为肠风。春伤夏泄，冬咳秋生，腑脏诸风，形状不同，治之方法，各以其能，风众病先，故为方首。

事林广记

用药效验

半身不遂

中风半身不遂，口眼喎斜，与七宝丹；偏风语言謇涩，与小续命汤；偏风走注疼痛，身体麻痹，与活络丹；偏风恍惚不定，与排风汤；偏风痰盛，与青州白丸子；拘急

脚弱，口噤，与龙虎丹；瘫痪不遂，与透冰丹；筋脉挛痛，与驱风丸、乳香趁痛散。

诸风寒温

风温者，由人腠理虚，风与寒温气伤之，每遇夜间，或三四更以来，腰背倦痛，转侧

① 然：按文义此下应有“寒”字。

② 加：按文义应作“如”。

不得，或身体倦痛者，为有寒温，可与小续命汤；大便秘，小便多，身疼痛者，与术附汤；若骨节烦疼者，与乳香趁痛散；或身体麻木，足胫弱者，与追风应痛丸、黄耆丸；腰痛甚者，与青娥丸。

诸风

风气手足不遂，用五积散，姜枣煎，去滓，热，麝香服之，或先与苏合香丸尤妙¹。

暴中风，未可服他药，先以麝煎五积散灌。

卒中

无药备用，急取顶心发一撮，毒撒之，以省人事为度。

中风

凡人初中风，切不可先吃风²药及附子。

先吃气药，后吃附子不妨。

玉机微义

中风门

中风叙论之始

内经曰：风之伤人也，或为寒热，或为寒中，或为热中，或为偏枯。风³善行而数变，至其变化，乃为他病，历陈五脏，与胃之伤，及风病名，皆多汗而恶风。详见本文。

按：风论发明，风邪系外感之病，有内外、脏腑、虚实、寒热之不同，别无瘫痪痿弱、卒中不省、僵仆喎斜、挛缩眩运、语涩不语之文，后世始与痿证混淆矣。

要略云：风之为病，当半身不遂。经络空虚，贼邪不泻，或左或右，邪气反缓，正气即急，正气引邪，喎僻不遂。邪在于络，肌肤不仁；在经，即重不胜；邪入腑，则不识人；入脏，即难言，口吐涎。

千金云：岐伯中风大法有四：一曰偏枯，半身不遂；二曰风痲，于身无痛，四肢不收；三曰风懿，奄忽不知人；四曰风痹，诸痹类风状。

按：后世编集中风方治，皆祖要略、巢氏、千金之论，但不当以外中风邪立名，而与内脏痿证袞同出治，此千古之弊也。

中风脉法

要略云：脉微而数，中风使然。又云：头痛脉滑者中风，风脉虚弱也。又寸口脉浮而紧，寸口脉缓而迟，皆曰中风也。

脉经云：浮而大者风；又浮而缓，皮肤

不仁，风寒入肌肉；又滑而浮散者，瘫痪风；又诊人被风不仁痿蹇，其脉虚者生，坚急疾者死。

中风不治证

发直吐沫，摇头上窜，直视口开，手撒眼合，遗尿不知人，或面赤如妆，或头面青黑，汗缀如珠，声如鼾睡，皆不可治。

风分在脏在腑在经之异

病机机要云：风本为热，热胜则风动，宜以静胜其躁，是养血也。治须少汗，亦宜少下。多汗则虚其卫，多下则损其荣。宜治在经，虽有汗下之戒，而有中藏中府之分。中府者，多著四肢，有表证而脉浮，恶风寒，拘急不仁；中藏者，多滞九窍，唇缓失音，耳聋鼻塞，目瞽，大便结秘。中府者，宜汗之；中藏者，宜下之；表里已和，宜治之在经，当以大药养之。

发明云：中血脉则口眼喎斜；中府则支节废；中藏则性命危。三治各不同，中血脉，外有六经之形证，则从小续命加减；中府，内有便溺之阻隔，宜三化汤等通利之；外无六经之形证，内无便溺之阻隔，宜养血通气，大秦芩汤、羌活愈风汤主之。

按：此分在表、在里、在经之三证，立汗、下、调养之三法，可谓开后世之盲聋，

1 妙：按文义应作“妙”。

2 风：按文义应作“风”。

3 风：玉机微义此下有“者”字。

但所用诸方，学者详审之。

治风不可下论

发明云：治风当通因通用，惟宜宣发以散之，不可便以苦寒之药妄下、龙、麝、朱砂、牛黄诸镇坠之药泻之。

按：此言，风本外邪，惟宜宣散，此风在表之时也，如伤寒中风传入于胃，亦未尝不可下。论中便字、妄字，可见其意。便者，有早与急之义，妄者，谓有不当下之义。

治风不可利小便

如小便少，不可以药利之。既以自汗，则津液外亡，小便自少。若利之，使荣卫枯竭，无以制火，烦热愈甚。当俟热退，汗止，小便自行也。兼此证，乃阳明经，大忌利小便。

湿病似中风论

元戎云：酒湿之为病，亦能作痹证，口眼喎斜，半身不遂，浑似中风，舌强不正，当泻湿毒，不可作风病治之而汗也。衍义论甚当，易简所言，与此相同。

按：此则知口眼喎斜，半身不遂之病，岂止风之一端而已。况六气皆能中人，其证亦有纵急，搐搦，不知人等证，不可不以脉证分别。

中风先调气说

严用和云：人之元气强壮，荣卫和平，腠理致密，外邪焉能为害？或因七情饮食劳役，致真气先虚，荣卫空疏，邪气乘虚而入，故致此疾。若内因七情而得者，法当调气，不当治风；外因六淫而得者，亦当先调气，后依所感六气治之，此良法也，宜八味顺气散。

按：此说真气先虚、荣卫空疏，邪气乘虚而入，扩前人所未发。但既曰虚矣，邪又入矣，补虚散邪，理所当然，而止曰调者，意其谓因病而气壅不通、调其通畅条达，则真气自复，邪气自行之义，惜乎不能详也，况中风治法，岂止一端而已！

中气¹论

许学士云：世言气中者，虽不见于方书，

然暴怒伤阴，暴喜伤阳，忧愁不已，气多厥逆，往往得此疾，便觉涎潮昏塞，牙关紧急，若便作中风用药，多致杀人，惟宜苏合香丸灌之便醒，然后随寒热虚实而调之，无不愈者。经曰：无故而暗，脉不至，不治自己。谓气暴逆也，气复则已，审如是，虽不服药自可。

按：气中之说，即七情内火之动气厥逆，由其本虚故也。用苏合香丸通行经络，其决烈之性，如摧枯拉朽，恐气血虚用非所宜也。后云不治自复之意，盖警用药之失，实胜误于庸医之手也。

四肢不举有虚有实

病机云：四肢不举，俗言瘫痪，经谓土太过，则令人四肢不举，此真膏粱之疾，非肝肾经虚，其治泻，令气弱阳虚，土平而愈，三化汤、调胃承气汤选而用之。若脾虚亦令人四肢不举，其治可补，十全散、加减四物²去邪留正。

按：四肢不举，世俗皆以为中风病，此云脾土太过不及，皆能致之，其可一概用药乎？

论风非外来乃本气病

发明曰：经云阳之气，以天地之疾风名之。此中风者，非外来风邪，乃本气³病也。凡人年逾四旬，气衰之际，或因忧、喜、忿怒伤其气者，多有此疾，壮岁之时无有也，若肥盛则间有之，亦是形盛气衰而如此，治法当和藏府，通经络，便是治风，然亦有贼风袭虚伤之者也，治法轻重有三，见前，分在经、在府、在藏之异。

按：此云本气自病，乃与刘河间论内热所生相合，但彼云热，而此云虚，虚之与热并行，而不相悖也。

风本于热论

河间曰：风病多因热甚，俗云风者，言

1 中气：玉机微义作“气中”。

2 物：玉机微义此下有“汤”字。

3 气：玉机微义此下有“自”字。

末而忘其本也，所以中风有瘫痪者，非谓肝木之风实甚而卒中之也，亦非外中于风，良由将息失宜，而心火暴甚，肾水虚衰，不能制之，则阴虚阳实，而热气怫郁，心神昏冒，筋骨不用，而卒倒无知也，多因喜、怒、悲、忧、恐五志过极，而卒中者，皆为热甚故也。若微则但僵仆，气血流通，筋脉不挛缓者，发过如故，或热气太甚，郁滞不通，阴气暴绝，阳气后竭而死。痰涎者，由热甚则水化制火而生；偏枯者，由经络一侧得通，否者痹而瘫痪也；口禁筋急者，由风热太甚，以胜水湿，又津液滞于胸膈，以为痰涎，则筋太燥，然燥金主于收敛劲切故也；或筋反缓者，乃燥之甚，血液衰少也，诸筋挛易愈，诸筋痿难复，以见燥之微甚也。

治风用汗吐下三法

子和云：诸风掉眩，皆属肝木。掉摇眩运，目喎筋急，手搐痙痲，皆厥阴肝木之用也。经云：气^①淫所胜，平以辛凉。世何以热药治风邪？予治惊风痙病，屡用汗、吐、下三法，随治愈。木郁达之者，吐之令其条达也；汗者，风随汗出也；下者，推陈致新也。失音闷乱，口眼喎斜，可用三圣散吐之，如牙关紧急，鼻内灌之，吐出涎，口自开也，次用通圣散、凉膈散、大人参半夏丸、甘露饮，除热养液之寒药，排而用之。

按：此法的系邪气卒中，痰涎壅盛，实热者可用，否则不敢轻易也。

论中风不当与痿证同治

丹溪曰：今世所谓风病，大率与诸痿证衮同论治，良由局方多以治风之药通治痿也。古圣论风痿各有条目，源流不同，治法亦异。夫风病外感，善行数变，其病多实，发表行滞，有何不可。局方治风之外，又历述神魂恍惚，起便须人，手足不随，神志昏愤，瘫痪躄曳，手足筋衰，眩运倒仆，半身不遂，脚膝软弱，四肢无力，颤掉拘挛，不语，语涩，诸痿等证，悉皆治之。不思诸痿，皆起

于肺热，传入五藏，散为诸证，其昏感痙痲，瞽闷瞽昧，暴病郁冒，蒙昧暴暗，痙昧，皆属于火。曰四支不举，舌本强，足痿不收，痰涎有声，皆属于土，悉是湿热之病，当作诸痿论治，若以外感风邪治之，宁免虚虚实实之祸乎？若夫岐伯、仲景、孙思邈之言风大意，似指外之感。刘河间之言风，明指内伤热证，实与痿证所言诸痿生于热相合。外感之邪，有寒热虚实，而挟寒者多，内热之伤皆是虚证，无寒可散，无热当作实。可泻。

谨按中风之病，古方冠诸方首，以其为人之大病也。夫风乃六淫中之一，天之邪气，自外而入者也。古人用药，皆是发散表邪，通行经络之剂，以其自表而入，亦当自表而出也。至于东垣令^②在经、在府、在藏，而有汗、下、调养之法，可谓详备精密，则又通表里中三法而治矣。若刘河间以为热甚制金，不能平木，或湿土过甚、反兼木化，皆非外中于风，乃因内热而生，迥出前古之论。我先师丹溪先生，谓数千年得经意者，河间一人耳。由是观之，若病从外邪而得，元气壮实者，当从古方发散之例，但用药不宜小续命汤，须分所挟有寒、热、温、凉之异，受邪有藏府，经络之殊，若病因内热而生者，当从刘河间之论，但有用药不宜如子和专以吐、汗、下为法，盖病邪有虚有实，难^③一概论，又况痿病实与内热所生相同，医者须宜识此。或问外邪之感，与内热之伤，何者为多也？丹溪曰：西北气寒，为风所中，诚有之矣，东南气温，而地多湿，有风病者，非风也，皆湿生痰，痰生热，热生风也。经曰亢则害，承乃制是也。治痿之法，详见痿条，此不赘及。

内因似中风论

卢砥镜曰：经云神伤于思虑则肉脱，意伤于忧愁则肢废，魂伤于悲哀则筋挛，魄伤

① 气：玉机微义作“风”。

② 令：玉机微义作“分”。

③ 难：玉机微义此下有“以”字。

于喜药^①则皮槁，志伤于盛怒则腰脊难以俯仰也。何侍郎有女，适夫，夫早世，女患十指拳挛，掌垂莫举，肤体疮疡粟然，汤剂杂进，饮食顿减。几于半载，适与诊之，则非风也，正乃忧愁悲哀所致尔。病属内因，于是料内因药，仍以鹿角胶辈，多用麝香熬膏，贴痿垂处，渐得掌能举，指能伸，病渐近安。

谨按：经云风之伤人也，为病善行而数变，变至他证之类，故为治，不得其病情者，往往或以风为他证，或以他证为风，皆不免乎得失之消，惟近代河间、东垣、丹溪诸先生者出，始论他证之非中风，治法当异。此又虑^②氏治例，可谓深达病情之机者，即河间所论，五志过极为病之例，非真中风也。而王安道又曰：人有卒暴僵仆，或偏枯，或四肢不举，或不知人，或死，或不死者，世以中风呼之，而方书亦以中风治之，因尝考诸内经论风为诸证，其卒暴僵仆不知人，四肢不举者，并无所论，止有遍枯一语而已。及观千金方，则皆引岐伯之旨，金匱要略具脉证，邪在络、在经，入府、入藏之异，由是观之，则卒暴僵仆不知人，偏枯四肢不举等证，固为因风而致者矣，乃用大小续命，两^③州续命、排风、八风等诸汤散治之。及近代河间、东垣、丹溪三子者出，所论始与昔人有异。河间主于火，东垣主于气，丹溪主于湿，反以风为虚象，而大异于昔人矣。吁！昔人之与三子者，果孰是欤！果孰非欤！若以三子为是，则三子未出之前，固有从昔人而治愈者矣，以昔人为是，则三子已出之后，亦有从三子而治愈者矣。故不善读其书者，往往不得其奥。以余观之，昔人与三子之论，皆不可偏废，但三子以类乎中风之病，视为中风而立论，故使后人狐疑而不能决，殊不知因于风者，真中风也。因火，因气，因于湿者，类中风，而非中风也，三子所论者自是。因火、因气、因湿而为暴病暴死之证，与风何相干哉？如内经所谓三阴三阳发病，为

偏枯痿易，四肢不举，亦未尝必因于风而后能也。夫风、火、气、湿之殊，望、闻、问、切之间，岂无所辨乎？辨之为风，则从昔人以治，辨之为火、气、湿，则从三子以治，如此庶乎析理明，而用法当矣。惟其以因火、因气、因湿之证，强引风而合论之，所以真伪不分，名实相紊。若以因火、因气、因湿，证分而出之，则真中风病彰矣。所谓西北有中风，东南无中风者，其然欤？否欤？斯辨诸子所论，名实相紊，而不明真中风之异，可谓精切，又何疑丹溪东南无中风之语哉？夫风者，天地之大气也，五运之造化，四时之正令耳！上下八方，无所不至者。旦^④人在气中，形虚者，即感之，伤之、中之，有轻重不同，实八风虚实之异耳！矧有痿、湿、火、热、痰、气、虚诸证，而似中风，故古今治例不一，是以徐先生折衷诸经之旨，辨已上诸证，不得与中风同治，又岂惟三子所论哉？然王氏以扩充其列，因有是辨，亦不害其为叮咛也。余尝居凉州，即汉之武威郡也，其地高阜，四时多风少雨^⑤，土艺粟麦，引泉灌溉，天气常寒，人之气实腠密，每见中风，或暴死者有之，盖折风燥烈之甚也。时洪武乙亥秋八月，大风起自西北，时甘州城外路死者数人，余亦始悟经谓西北之折风，伤人至病，暴死之旨不诬，丹溪之言，有所本也。人盖不经其所，虽审经意，故莫不有疑者也。吁！医之不明运气、造化、地理，病机之微，而欲行通变之法者，难矣哉！

叙痼风为病

内经曰：风气与太阳行诸脉俞，散于分肉之间，与卫气相干，其道不利，故使肌肉胝膜而有疡。卫气有所凝而不行，故其肉有不仁也。痼者，有荣卫热附，其气不清，故使鼻柱坏而色败，皮肤疡溃，风寒客于脉而

① 药：玉机微义作“乐”。

② 虑：玉机微义作“卢”。

③ 两：玉机微义作“西”。

④ 旦：玉机微义作“且”。

⑤ 雨：玉机微义作“雨”。

不去，名曰疔风。

疔风治法

内经云：病大风，骨节重，须眉堕，名曰大风。刺肌肉为故汗出百日，王注，泄卫气之怫热，刺骨髓，汗出百日，泄荣气之怫热。凡二百日须眉生而止针。怫热屏退，阴气内复，故多汗出须眉生也。

灵枢云：疔风者，数刺其肿上已，刺以锐针，针其处，按出其恶气，肿尽乃止。常食方食，勿食他食，以犯其病。

论疔风属肺生虫属木皆血热之病

病机云：内经云脉风成为疔，俗云癩病也。先桦皮散，从少至多，服五七日，灸承浆穴七壮。灸疮轻再灸，疮愈三灸之，后服二圣散。泄热祛血中之风邪，戒房室三年，病愈，药灸同止。述类象形，此治肺风之法也。然此疾非止肺藏有之，以其病发于鼻，俗呼为肺风也。鼻肿准赤胀大而为疮，乃血随气化也。气既不施，则血为之聚，血既聚，则使肉烂而生虫也。生虫者，厥阴主之。厥阴为风木，主生五虫，盖三焦相火热甚而制金，金衰故木来克侮，宣¹泻火热利气之剂，虫自不生也。故此疾血热明矣，当以药缓疏泄之。煎局方升麻汤，下钱氏泻青丸，余病各随经治。

按：疔风，皮毛血脉先受病，二者属荣卫所主，故言肺风。至于内²坏生虫，又阳明厥阴所属，故其用药皆疏泄肺气，祛逐血分之邪热。其灸承浆一穴，乃阳明任脉之会，所以宣通血脉以散风也。

论癩风宜汗宜下宜出血

子和书云：内经论癩，针二百日，眉毛再生，针同发汗也。但无药者，用针一汗，可抵千针。故高供奉尝采萍治瘫痪风出汗。张主簿病癩十余年。戴人曰，足有汗者可治之，当发汗。其汗出当臭，其涎当腥，乃置煖室中以三圣散吐之。汗出周身如卧水中，其汗果臭，痰皆腥如鱼涎，足心微有汗，次以舟车丸、浚川散下五七行，如此数次乃瘳。

又一人病风，面黑爬搔不已，眉毛脱落，刺其面大出血如墨，刺三次，血变色，每刺自额至颐，排针上下俱刺，每隔日一刺，至二十余日方已。

按：此论内经用针同发汗，至于出血亦同汗也。但疔证，在经，在表，故宜针、宜汗，有恶血留滞，故宜出血，或于肿上，或于委中皆可也。又肠胃有秽恶出³积，故宜下，大抵皆宣泄表里血气邪热之毒也。

论疔风所因

三因之经所载疔风，即风论所谓恶疾是也。虽名曰风，未必皆因风，大率多嗜欲，劳动、气血热，发汗泄，不避邪风冷湿，使淫气与卫气相干，致肌肉、皮肤疡溃，鼻梁塌坏。千金所谓自作不仁，极猥之业，虽有悔言，而无悔心，良得其情，然亦有传原染者其所因⁴，皆不内外，涉外所因而成也。治之须推其所因，凡因风、寒、湿热、兼劳役、饮食，与夫传染，颖然不同，若例以泻风药治之则失矣。

按：此云虽名曰风，未必皆因风，此论固善，盖此疾多由嗜欲饮食积毒之所致。因其病证，秽恶可畏，又不可不谓之风也。若夫传染之说，世或有之，虽因其一家，血脉、饮食、居处、气味之相传者，本无内热积毒，亦不能染也。

论大风有上下之分

丹溪云：大风病，是受得天地间杀物之风，古人谓之疔风，以其酷烈暴悍可畏尔。人得之者，须分在上、在下。夫在上者，以醉仙散取臭涎恶血，于齿缝中出；在下者，以通天再造散，取恶物陈虫，于谷道中出。所出虽有上下道路之异，然皆不外乎阳明一经，治此病者，须知此意，看其疙瘩与疮，上先见者，上体多者在上也；下先见者，下

1 宣：玉机微义作“宜”

2 内：玉机微义作“肉”

3 出：玉机微义作“虫”

4 亦有传原染者其所因。玉机微义作“亦有传染者，原其因”

体多者，在下也；上下同得者，在上，后^①在下也。阳明经，胃与大肠也，无物不受，此风之入人也，气受之，则在上多，血受之，则在下多，血气俱受者，甚重。自非医者有神，病者有铁心，罕有免者。夫或从上，或从下，以渐而来者，皆可治。病人见其病势之缓，多忽之，虽按此法施治，病已全然脱体，若不能绝味、绝色，皆不发^②再发，则终于不救矣。某曾治五人矣，中间唯一妇人得免，以其贫甚，无物可吃也，余四人三两年后皆再发。孙真人曰：吾尝治四五百人，终无一人免于死。非孙真人之不能治也，盖无一人能守禁忌耳。此一妇，治本病外，又是千余贴加减四物汤，半年之上，方得月经行，而十分安全。金匱钩玄云：治法在上者，醉仙散；在下者，通天再造散，后用通神散，可用三棱针委中出血，不能忌口、绝房劳者，不治。

谨按：疔风，古方谓之大风恶疾，以其疮痍茶^③毒，脓汁淋漓，眉鬓堕落，手足指脱，顽痹痛痒，鼻塌眼烂，齿豁唇揭，病势之可畏耳！若专以房劳嗜欲，饮食积毒之所致，何为遽至于是？故丹溪先生亦谓之受得杀毒之风也。盖其风毒之伤，与夫内毒所致，人皆安得而知之？及其病证显露，方始归咎于此，其于外受之风，内积之毒，岂可得而分治之也？故内经刺肌肉，刺骨髓，以泄荣卫之怫热；灵枢以锐针刺肿上，按出恶气恶血；子和用汗、下、吐、出血之法；河间用疏风泄热之剂，俱不分病之所因，随其病之所在以调之也。至于丹溪，分在上、在下、气血受病多少，其用药取涎下毒，虽皆前人之法，亦可谓深得病情，而善用其法者矣，学者宜细观之。若夫用药之外，守禁忌，谨调养，清心绝欲，独淡内观，又在夫人而不在乎医也。孙真人戒之深矣，其可忽乎！

论破伤风表里中治法

病机云：破伤风者，同伤寒证治，通于表里，分别阴阳，有在表，有在里，有在半表半里者。在里宜下，在表宜汗，在表里之

间，宜和解，不可过其治也。故表脉浮而无力者，太阳也；脉长而有力者，阳明也；脉浮而弦小者，少阳也，若明此三法而施治，不中病者鲜矣。

原病式云：夫破伤中风之由者，因疮热甚，郁结而荣卫不得宣通怫热，因之遍体故多白痴，是时疮口闭塞，气难通泄，热甚则生风也，不已则表传于里，亦犹触冒伤寒，怫热郁甚不解，则表传于里者也，但有风热微甚兼化，故殊异矣。大法，破伤中风，风热燥甚，怫郁在表，而里气尚平者，善伸数欠，筋脉拘急，或时恶寒，或筋惕而搐，脉浮数而弦也。宜以辛热治风之药，开冲结滞而愈。犹伤寒表热怫郁，而以麻黄汤辛热发散者也。凡用辛热开冲风热结滞，宜以寒药佐之则良，免致药中病而风热转甚也。如治伤寒发热，用麻黄桂枝，加黄芩、石膏、知母之类是也，若世以甘草、滑石、葱、豉寒药发散甚妙。若表不已，渐伤入里，里又未太甚，而脉在肌肉者，宜以退风热，开结滞之寒药调之，或微加治风辛热亦得。犹伤寒在半表半里，而以小茈胡和解之也。若里热^④以甚，而舌强口禁，项背反张，惊搐惕搦，涎唾稠粘，胸腹满塞，而或便溺闭结，或时汗出，脉洪数而弦也。然汗出者，由风热郁甚于里，而表热稍罢，则腠理疏泄，而心火热甚，故汗出也。法宜除风散结，寒药下之，后以退风热，开结滞之寒药调之。而热退结散，则风自愈矣。凡治此，亦宜按摩导引，及以药斡开牙关，勿令口禁，使粥药得下也。

按：此论表里中，脉病证治，至为详尽，前人所未论也。

论破伤风所因不同

病机云：破伤风者，有因卒暴伤损风袭之间，传播经络，至使寒热更作，身体反张，口禁不开，甚者邪气入藏。有因诸疮不瘥，

① 后：玉机微义作“复”。

② 发：玉机微义作“免”。

③ 茶：玉机微义作“荼”。

④ 热：玉机微义作“势”。

荣卫虚，肌肉不生，疮眼不合，风邪亦能外入于疮，为破伤风之候。有诸疮不瘥，举世皆言著灸为上，是谓热疮，而不知火热客毒，逐经诸变，不可胜数，微则发热，甚则生风而搐，或角弓反张，口禁目斜。亦有破伤不灸而病此者，因疮著白痴，疮口闭塞，气难通泄，故阳热易为郁结，热甚则生风也。

按此论所因有四，二者，因疮口入风，似属外因；一者，因灸逐热，似属不内外因；一者，因疮口闭塞，内热生风，似属内因也。

谨按：破伤风证，右^①方药论甚少，岂非以此疾与中风同论，故不另^②立条目也。唯河间论与伤寒表、里、中三法同治，用药

甚详。其言病因，有因外伤于风，有因灸及内热所作者，然与中风相似也。但中风之人，尚可淹延岁月，而破伤风者，犯之多致不救。盖中风有在经、在府、在藏之异。独入藏者最难治。破伤风或始而出血过多，或疮早闭合，瘀血停滞，俱是血受病，血属阴，五藏之所主，故此风所伤，始虽在表，随即必传入藏，故多死也。又此病或疮口坦露，不避风寒，而无所伤，或疮口闭合，密避风邪，而反病此，或病已十分安全，而忽有此，大抵皆由内气虚而有郁热者得之。若内气壮实，而无郁热者，虽伤而无所害也。

金匱方

中风历节病脉证并治

夫风之为病，当半身不遂，或但臂不遂者，此为痹、脉微而数，中风使然。寸口脉浮而紧，紧则为寒，浮则为虚，寒虚相搏，邪在皮肤。浮者血虚，络脉空虚，贼邪不泻，或左或右，邪气反缓，正气即急，正气引邪，喎僻不遂。邪在于络，肌肤不仁；邪在于经，即重不胜；邪入于府，即不识人；邪入于藏，舌即难言，口吐涎。

侯氏黑散：治大风，四肢烦重，心中恶寒不足者。外台治风痲。

菊花 四十两 白术 十分 细辛 三分 茯苓 三分 牡蛎 三分 桔梗 八分 防风 十分 人参 三分 矾石 三分 黄芩 五分 当归 三分 乾姜 三分 芍药 三分 桂枝 三分

右十四味，杵为散，酒服方寸匕，日一服，初服二十日，温酒调服，禁一切鱼肉大蒜，常宜冷食，六十日止，即药积在腹中不下也。热食即下矣，冷食自能助药力。

寸口脉迟而缓，迟则为寒，缓则为虚；荣缓则为亡血，卫缓则为中风。邪气中经，

则身痒而瘾疹；心气不足，邪气入中，则胸满而短气。

风引汤：除热痲痲。

大黄 乾姜 龙骨各四两 桂枝 三两 甘草 牡蛎各二两 寒水石 滑石 赤石脂 白石脂 紫石英 石膏各六两

右十二味，杵，粗筛，以韦囊盛之，取三指撮，井花水三升，煮三沸，温服一升。治大人风引，少小惊痲痲，日数十发，医所不疗，除热方。巢^③□□脚气宜风引汤。

防己地黄汤：治病如狂状，妄行，独语不休，无寒热，其脉浮。

防己 一分 桂枝 三分 防风 三分 甘草 二分

右四味，以酒一杯，渍之壹宿，绞取汁；生地黄二斤，咬咀，蒸之，如斗米饭久，以铜器盛其汁；更绞地黄汁，和，分再服。

头风摩散方：千金方名头风散。三因方附子摩头^④治因沐头中风，多汗，恶风，当先风一日而病甚，头痛不可以出，至日则少愈，

① 右：玉机微义作“古”。

② 另：玉机微义作“别”。

③ 巢：此下脱字，金匱作“氏云”。

④ 头：三因极一病证方论此下有“摩”字。

名曰首风。

大附子一枚，炮 千金方、燔熏圣效方中形者。三因方炮，去尖^① 脐盐等分千金方、圣效方如附子大

右二味，为散，沐了，以方寸匕，已摩^②上，千金方、圣效方摩项上日三。圣效方又云：忌猪肉冷水。令药力行。

寸口脉沉而弱，沉即主骨，弱即主筋，沉即为肾，弱即为肝。汗出入水中，如水伤心，历节黄汗出，故曰历节。

趺阳脉浮而滑，滑则谷气实，浮则汗自出。

少阴脉浮而弱，弱则血不足，浮则为风，风血相搏，即疼痛如掣。盛人脉涩小，短气，自汗出，历节疼不可屈伸，此皆饮酒汗出当风所致。诸肢节疼痛，身体羸羸，脚肿如脱，头眩短气，温温欲吐，桂枝芍药知母汤主之。

桂枝芍药知母汤方：

桂枝四两 芍药三两 甘草二两 麻黄二两 生姜五两 白术五^③两 知母四两 防风四两 附子二两，炮

右九味，以水七升，煮取二升，温服七合，日三服。三因方：桂心 知母 防风各四两 芍药 甘草炙 麻黄去节 附子炮，去皮脐。各三两

右为锉散，每服四钱，水一盏半，姜五片，煎七分，去滓，空腹服。一法，有白术 川芎 杏仁 半夏。

味酸则伤筋，筋伤则缓，名曰泄。咸则伤骨，骨伤则痿，名曰枯。枯泄相搏，名曰断泄。荣气不通，卫不独行，荣卫俱微，三焦无所御，四属断绝，身体羸瘦，独足肿大，黄汗出，胫冷。假令发热，便为历节也。

病历节不可屈伸疼痛，乌头汤主之。

乌头汤方：治脚气疼痛，不可屈伸。

麻黄 芍药 黄耆各三两 甘草炙 川乌五枚，咬咀，以蜜二升，煎取一升，即出乌头

右五味，咬咀四味，以水三升，煮取一升，去滓，内蜜煎中，更煎之，服七合。不知，尽服之。

矾石汤：治脚气冲心。

矾石二两

右一味，以浆水一斗五升，煎三五沸，浸脚良。

古今录验续命汤：千金方、简易方名西州续命汤。治中风痱，千金方注云：一作入藏。身体不能自收，口不能言，冒昧不知痛处，或拘急不得转侧。千金方冒昧不识人，拘急背痛，不得转侧。姚云：与大续命同，兼治妇人产后去血者，及老人小儿。

麻黄 玉机微义三两，去节 桂枝 微义去皮 当归 人参 石膏 微义碎绵裹 乾姜 甘草各三两微义炙。各二两 芎蒭 微义一两 杏仁四十枚 微义去皮尖，十四枚

右九味，以水一斗，煮取四升，温服一升，当小汗。薄覆脊凭几坐，汗出则愈，不汗更服。无所禁，勿当风。并治但伏不得卧，咳逆上气，面目浮肿。千金方：麻黄六两 石膏四两 桂心二两 甘草 官^④ 芎蒭 乾姜 黄芩 当归各一两 杏仁三十枚右九味，咬咀，以水一斗二升，煮麻黄，再沸，掠去上沫，后下诸药，煮取四升，初服一升，犹能自觉者，勿熟眠^⑤，卧可^⑥厚覆，小小汗出已，渐减衣，勿复大覆，可熟眠矣。前服不汗者，后复^⑦一升汗后，稍稍五合，一服安稳，乃服勿顿服也。汗出则愈，勿复服，饮食如常，无禁忌，勿见风。并治上气咳逆，若面目大肿，但得卧，服之大善。凡服此汤，不下者，人口噎其背，汤则下过矣。病人先患冷汗者，不可服此汤，若虚羸人，但当稍与五合为佳，间有辄行此汤，与产妇及羸人，喜有死者，皆为顿服三升，伤多，且^⑧汤浊不清故也，但得清澄而稍稍服，微取汗者，皆

① 尖：三因极一病证方论作“皮”。

② 疾：金匱作“疾”。

③ 五：金匱作“四”。

④ 官：备急千金要方作“芎”。

⑤ 眠：备急千金要方此下有“也”字。

⑥ 卧可：备急千金要方作“可卧”。

⑦ 复：备急千金要方作“服”。

⑧ 且：备急千金要方作“且”。

无害也。胡洽方古今录名大续命汤。简易方治证与千金方同。麻黄六两，去根节 石膏四两 桂心二两 甘草炙 芍药 乾姜炮 黄芩 当归各一两 杏仁三十个，去皮尖 咬咀，每五钱，水二盏，姜三片，煎一盏，去滓，温服。

千金三黄汤：治中风手足拘急，百节疼痛，烦热心乱，恶寒，经日不欲饮食。

麻黄五分 独活四分 细辛二分 黄耆二分 黄芩三分

右五味，以水六升，煮取二升，分温三服，一服小汗，二服大汗。心热加大黄二分，腹满加枳实一枚，气逆加人参三分，悸加牡蛎三分，渴加瓜蒌根三分，先有寒加附子一枚。千金方^①：麻黄三十铢 黄芩十八铢 黄耆 细辛各十二铢 独活一两 右五味，咬咀，以水五升，煮取二升，分二服，一服小汗，两服大汗。心中热加大黄半两，胀满加枳实六铢，气逆加人参十八铢，心悸加牡蛎十八铢，渴加瓜蒌十八铢，先有寒加八角附子一枚。此方秘不传。千金月令：独活四分 麻黄三分去节 黄耆 黄芩各二分 细辛一分 右以水五升，煎取二升，分再服，小汗便差。有热加大黄二分，腹满加枳壳一枚，去穰，炙，气逆加人参。三因方治中风，手足拘挛，百节疼痛，烦热，心乱，恶寒，不欲饮食。

兼治贼风、偏风、猿退风、半身不遂、失喑不言。麻黄去节，汤^②，两一分 黄芪半两 黄芩三分 独活一两 右为锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，去滓，不以时服，取汗为效。心热加大黄半两，胀满加枳实一分，气逆加人参三分，心悸加牡蛎三分，渴加栝蒌根，寒加附子一枚，炮熟入。得效方同。

近效方术附子汤：始^③风虚头重眩苦极，不知食味，暖肌补中益精气。

白术二两 附子一枚半，炮，去皮 甘草一两，炙 右三味，锉，每五钱匕，姜五片，枣一枚，水盏半，煎七分，去滓，温服。

崔氏八味丸：治脚气上入少腹不仁。

乾地黄八两 山茱萸 薯蓣各四两 泽泻 茯苓 牡丹皮各三两 桂枝 附子炮，各一两

右八味末之，炼蜜和丸，梧子大，酒下十五丸，日再服。

千金方越婢加术汤：治肉极，热则身体津脱，腠理开，汗大泄，厉风气，下焦脚弱。

麻黄六两 石膏半斤 生姜三两 甘草二两 白术四两 大枣十五枚

右六味，以水六升，先煮麻黄，去上沫，内诸药，煮取三升，分温三服。恶风加附子一枚，炮。

千金方

诸风

小续命汤：治卒中风欲死，身体缓急，口目不正，舌强不能语，奄奄忽忽，神情闷乱。诸风服之皆验，不令人虚方。

麻黄 防己崔氏外台不用 人参 黄芩 桂心 甘草 芍药 芎藭 杏仁各一两 防风一两半 附子一枚 生姜五两

右十二味咬咀，以水一斗二升，先煮麻黄三沸，去沫，内诸药，煮取三升，分三服，甚良，不瘥，更合三四剂必佳。取汗，随人

风轻重虚实也。有人脚弱服此方，至六七剂得瘥。有风疹家，天阴节变，辄合服之，可以防暗。一本云：恍惚者，加茯神、远志，如骨节烦疼，本有热者，去附子倍芍药。小品、千金翼同。深师古今录验有白术，不用杏仁。救急无芎藭、杏仁，止十味。延年无防风。千金月令主风入藏，体缓筋急。桂心 甘草炙，各三两 麻黄去节，二两 人参 芎 附子炮 白术 防己 芍药 黄芩已

① 千金方：备急千金要方作“仲景三黄汤”。

② 汤：三因极一病证方论此下有“一”字。

③ 始：金匱作“治”。

上各一两。防风一两半。右以水一斗，煮取二升半，分三服。如人行三里进一服，不差，可服三二料。忌菰菜、生葱、生冷水。和剂局方治卒暴中风，不省人事，渐觉半身不遂，口眼喎斜，手足颤掉，语言蹇涩，肢体麻痹，神情昏乱，一本气乱。头目眩重，痰涎并多，筋脉拘挛，不能屈伸，骨节烦疼，不得转侧^①。若治脚气缓弱，久服差。久病风人^②，遇天色阴晦，节候变更，宜服以防暗瘕，及治诸风服之皆验。麻黄去节 人参去芦 黄芩 白芍药 芍药 甘草 桂心 杏仁去皮尖，炒 防己 肉桂去皮。各一两 防风去芦，一两半 三法六门一两 附子炮，去皮脐，细切，半两 右除附子杏仁外，捣为粗散，后入二味，令匀，每服三钱，水一盏半，医方集成、南北经验方、袖珍方、玉机微义水一盏，枣一介。姜五片，煎取一盏，去滓，食前三法六门食后。稍热服。王氏集验方同。加枣一枚尤好。三因方：治证与千金方同。麻黄去节汤 防己 崔氏外台不用。人参 黄芩 桂心 甘草炙 白芍药 芍药 各一两 杏仁一两，汤去皮尖，炒 附子一枚，炮，去皮脐 防风两半^③ 右为锉散，每服四大钱，水一盏半，姜七片，枣二个，煎七分，去滓，不以时服。取汗，随人虚实与所中轻重。有人脚弱服此六七剂得差。有风疹家，天阴节变，辄合服之，可以防暗。一云：恍惚加茯神、远志，骨节疼有热，去附子芍药。古今录验有白术无杏仁。救急无芍药、杏仁，止十味。延年无防风。一云：遗失便利，产后失血，并老人小儿，用麻黄、桂心、甘草各二两。一法治或歌哭，或笑语，无所不及，用麻黄三两，人参、桂枝、白术各二两，无防风、附子、生姜，有当归一两。简易方治卒中风云云，神情闷乱。与千金方同。历观此汤，治诸风不拘病之轻重，表里深浅，服之皆验，不令人虚。药材与局方同，但附子一枚。右锉散，每四钱，水一盏半，姜七片，枣二枚，同煎七分，去滓，不拘时服，取汗，随人虚实与所中轻重也。有人脚弱，服此六七剂得瘥。有风疹家，天阴节变，辄合服之，可以防暗。小品、千金翼

同。深师录验方有白术，不用杏仁。救急方无川芎杏仁。延年方无防风。经验良方此下云：详此方亦出张仲景古方，又是桂枝麻黄各半汤加防风辈，若不用杏仁，似失其立方本意。又此方以防风为君，去防风恐无义理。崔氏外台方不用防己，云：忌猪肉、冷水、海藻、菰菜、生葱。一本云：恍惚者加茯神、远志，骨节烦疼本有热者，去附子倍芍药。宋氏药证云：烦躁大便涩，本有热者，去附子倍芍药加竹沥。脏寒大便利，本有寒者，去黄芩加白术、附子。骨肉冷疼者，加肉桂、附子。烦多惊者，加犀角。呕逆腹胀加人参、半夏。自汗者，去麻黄。究原方云：中风语言蹇涩，手足颤掉，加石菖蒲、竹沥。大便秘，胸膈不快，加枳实，大黄。气塞不通加沉香，有痰加天南星，炮切数片。叶氏方有羌活、川乌，炮去皮尖，当归去芦，无防己，通前三味。春加麻黄一两，夏加黄芩三两，秋加当归四两，冬加附子半两。风虚加川芎一两，失暗加杏仁一两，燥渴加麦门冬、乾葛各一两。身疼痛加秦艽一两，上气浮肿喘急加防风一两，名四时加减续命汤。直指方治中风，诸风迷仆，涎潮，舌强语蹇，或昏溃痿弛，或厥冷拘挛。不论表里浅深，服之皆验。药材与局方同。右锉散，每服三钱，姜五厚片，枣二枚，水一盏半，煎一盏，温服。恍惚加白茯苓，骨节烦疼，素有热，去附子倍芍药。烦躁大便秘，去附子倍芍药加竹沥。大便利，素有寒，去黄芩加白术、附子。骨肉冷疼加辣桂、附子。呕逆腹胀加人参、半夏。自汗去麻黄加芍药。大便结热去附子，加枳壳、大黄。痰多加南星，炮切数片。风虚加当归。渴加栝蒌根。身疼加秦艽。喘急加炒桑白皮。严氏济生方治证与千金方同。防己 麻黄去根节，汤泡 人参 桂心 不见火 黄芩 甘草炙 白芍药 杏仁汤浸，去皮尖，炒 芍药各一两 附子炮，去皮脐，一枚 防风去芦，一两半 右咬咀，每服四钱，

① 侧：太平惠民和剂局方此下有“及治诸风服之皆验”。

② 人：太平惠民和剂局方此下有“每”字。

③ 两半：三因极一病证方论作“半两”。

水一盞半，生姜七片，枣两枚，煎至七分，去滓温服，不拘时候。恍惚者加茯神远志，骨节烦疼本有热者，去附子加秦艽一两。

管见大全良方 治证及服法与简易方同，药材与济生方同。

得效方加减续命汤： 治证与局方同。麻黄 去根 人参 黄芩 白芍药 川芎 甘草 杏仁 去皮尖，炒 防己 桂 各二两 防风 一两半 附子 炮，去皮脐，有热者，用白附子 右锉散，每服四钱，水一盞半，生姜三片，枣二枚煎，不拘时候，温服取汗，随人虚实与所中轻重也。筋急拘挛，语迟脉弦，加薏苡仁。治筋急加人参、黄芩、芍药，以避中寒，服后稍轻，再加当归全愈。脚气痹弱不能转侧，心神恍惚，加茯神、远志，骨节烦疼有热者，去附子倍加芍药^①。烦躁大便涩，去附子倍芍药加竹沥。脏寒大便自利，去黄芩加白术、附子，骨肉冷痛者，加肉桂、附子。烦躁多惊者，加犀角，呕逆腹胀人参、半夏^②自汗去麻黄。语言蹇涩，手足颤掉，石菖蒲、竹沥。大便秘，胸中不快，枳壳、大黄。气塞不通，沉香，有痰南星数片。发渴，麦门冬、乾葛、瓜根。身疼秦艽。上气浮肿喘急，防风、桑白皮。以上所加各一两。小儿慢惊，煎取药汁一盞，入生姜汁，再煎一二沸，日三服，夜二服。夏间又有热者，减桂一半。春加麻黄一两，夏加黄芩一两，秋加当归四两，冬加附子半两，风虚加川芎一两。一方加木香、缩砂、独活各一两，川乌炮三分亦效。牙关紧，用南星末半钱，龙脑一字，频擦牙上，令热即自开。永类铃方 治证与局方同。防风 去芦，乙两半 麻黄 去节，汤泡 防己 人参 黄芩 桂心 杏仁 去皮尖，炒黄 白芍 甘草炙 川芎 各一两 附子 炮，半两 一方去附子加木香、南星以通气。右咬咀，每半两，水盞半，姜五片，枣一个，煎七分，热服，无时。简易集加减，同上。此方出仲景古方，桂枝麻黄各半汤加防风，是防风为君，去麻黄似失立方本意矣。此方古今治风良方，喜发汗，亡血偏枯者，又宜养血，更兼通气药，兼服如前顺气散必成功矣。又此方以防风为

君，延年去防风、恐无义理。驪仙活人心通治八风五痹痰厥等疾，以一岁为总，六经为别，药内随证细分加减，自古名医不能越此。药材与局方同。右除附子、杏仁外，捣为粗末，后入二味匀，每服五钱，水一钟半，生姜五片，煎至一钟，去粗，稍热，食前服。无附子，防风、生姜，有当归一两，春加麻黄一两，夏加黄芩七钱，秋加当归四两，冬加附子半两。精神恍惚加茯神、远志，骨节烦痛有热者，去附子倍芍药，心烦多惊者，加犀角半两，骨间冷痛者，倍用桂、附，呕逆腹胀者，倍人参加半夏一两，躁闷大便涩者，去附子倍芍药入竹沥一合煎服，脏寒下利者，去防己，黄芩倍附子一两，加白术一两，便利，产后失血，并老人小儿，加麻黄、桂心、甘草各二两。治或歌哭，或笑语，无所不及，用麻黄、人参、桂枝、白术各三两。自汗者，去麻黄，杏仁加白术。脚弱加牛膝、石斛各一两，身疼痛加秦艽一两，腰疼加桃仁，杜仲各半两，失音加杏仁一两。御医撮要 治证与局方同。麻黄 去根节 防己 人参 去芦头 黄芩 桂心 去粗皮 附子 炮，去皮脐 甘草 锉 芍药 芎 蒭 杏仁 去皮尖，炒黄，各一两 防风 一两半，去芦头。生姜 五两 右十二味，以水九升，煮取三升，分三服，不差，更合三四剂必佳，取汗，随人风轻重虚实。若要为散，除附子、杏仁、生姜外，合捣粗末，后入附子、杏仁令匀，每三钱，水一盞半，入生姜五片，煎至一盞，去滓，稍热服，食前。

小续命汤： 治中风，冒昧不知痛处，拘急不得转侧，四肢缓急，遗失便利，此与大续命汤同，偏宜产后失血并老小人。

麻黄 桂心 甘草 各二两 生姜 五两 人参 芎蒭 白术 前方有杏仁 附子 防己 芍药 黄芩 各一两 防风 一两半

右十二味，咬咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服。古今录验无桂心，名续命汤，

① 芍药：世医得效方作“秦艽”。

② 下：世医得效方作“夏”。

胡洽千金翼同。

又方：治风历年岁，或歌或哭，或大笑，言语无所不及方。

麻黄_{三两} 人参 桂心 白术_{各二两} 芍药 甘草 防己 黄芩 芎藭 当归_{各一两}

右十味，㕮咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服，日三，覆取汗。

大续命汤：治肝厉风，卒然喑哑，依古法，用大小续命二汤，通治五藏偏枯贼风方。

麻黄_{八两} 石膏_{四两} 桂心 乾姜 芎藭_{各二两} 当归 黄芩_{各一两} 杏仁_{三十枚} 荆沥_{一升}

右九味，㕮咀，以水一斗，先煮麻黄两沸，掠去沫，下诸药，煮取四升，去滓，又下荆沥煮数沸，分四服。能言未瘥，后服小续命汤。旧无荆沥，今增之，效如神。千金翼有甘草。

又方：治大风经藏，奄忽不能言，四肢垂曳，皮肉痛痒不自知。

独活 麻黄_{各三两} 芎藭 防风 当归 葛根 生姜 桂心 神巧万全方已上六味_{各二两} 茯苓 附子 细辛 甘草_{各一两}

右十二味，㕮咀，以水一斗二升，煮取四升，分五服，老小半之。若初得病，便自大汗者，减麻黄，不汗者，依方。上气者，加吴茱萸二两，厚朴一两。乾呕者，倍加附子一两。哕者，加橘皮二两。若胸中吸吸少气者，加大枣十二枚。心下惊悸者，加茯苓一两。若热者，可除生姜加葛根。初得风，未须加减，便且作三剂，停四五日已后，更候视病虚实平论之，行汤，行针，依穴灸之。

又方：治与前大续命汤同，宜产妇及老小等方。

麻黄 芎藭_{各三两} 乾姜 石膏 人参 当归 桂心 甘草_{各二两} 杏仁_{四十枚}

右九味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分三服，外台名续命汤，范汪同云：是张仲景方，本欠两味。

大续命散：治八风十二痹，偏枯不仁，手

足拘急疼痛，不得伸屈，头眩不能自举，起止颠倒，或卧苦惊，如堕地状，盗汗，临事不起，妇人带下无子，风入五藏，甚者恐怖见鬼来收摄^②，或与鬼神交通，悲愁哭泣，忽忽欲走方。

麻黄 乌头 防风 桂心 甘草 蜀椒 杏仁 石膏 人参 芍药 当归 茵茹 千金翼作芎藭 黄芩 茯苓 乾姜_{各一两}

右十五味，治下筛，以酒服方寸匕，日再，后^③加以知为度。

续命煮散：治风无轻重皆主之方。

麻黄 芎藭 独活 防己 甘草 杏仁_{各三两} 桂心 附子 茯苓 升麻 细辛 人参 防风_{各二两} 石膏_{五两} 白术_{四两}

右十五味，粗筛下，以五方寸匕，内小绢袋子中，以水四升，和生姜三两，煮取二升半，分三服，日日勿绝，慎风冷大良。吾尝中风，言语謇涩，四肢痿曳，处此方日服四服，十日十夜，服之不绝，得愈。

排风汤：治男子妇人，风虚湿冷，邪气入藏，狂言妄语，精神错乱，其肝风发，则面青，心闷乱，吐逆呕沫，胁满头眩重，耳不闻人声，偏枯筋急，曲拳而卧；其心风发，则面赤翕然而热，悲伤瞋怒，张目呼唤；其脾风发，则面黄身体不仁，不能行步，饮食失味，梦寐倒错，与亡人相随；其肺风发，则面白，咳逆唾脓血，上气奄然而极；其肾风发，则面黑，手足不遂，腰痛难以俯仰，痹冷骨疼。诸有此候，令人心惊，志意不定，恍惚多忘。服此^④，安心定志，聪耳明目，痛^⑤脏腑，诸风^⑥悉主之。

白鲜皮 白术 芍药_{严氏济生方白芍药} 桂心_{济生方不见火} 芎藭 当归_{济生方去芦} 杏仁_{济生方去皮尖} 防风_{济生方去芦} 甘草_{各一两，济生方炙} 独

① 三：备急千金要方作“七”。

② 摄：备急千金要方作“录”。

③ 后：备急千金要方作“稍”。

④ 此：备急千金要方此下有“汤”字。

⑤ 痛：备急千金要方作“通”。

⑥ 风：备急千金要方此下有“疾”字。

⑦ 一：备急千金要方作“二”。

活 济生方去芦 麻黄 济生方去根节 茯苓 各三两 济生方去皮 生姜 四两。济生方无

右十三味，咬咀，以水一斗，煮取三升，每服一升，覆取微汗，可服三剂。 济生方右咬咀，每服四钱，水一盞半，生姜七片，枣两枚，煎七分，去滓，温服，不拘时候，服之微汗不妨。此药大埋荣血，摧抑肝邪。肝实有风，脉来浮实有力，目赤胁疼，口苦心烦，错语多怒，宜加羚羊角，热盛者加犀角；肝虚有风，脉来浮虚无力，当去麻黄加黄芪。不能言者加荆沥 和剂局方 白茯苓 去皮 独活 去芦 麻黄 去节。各三两 肉桂 去粗皮 三因方，得效方桂心 白鲜皮 芎蒭 当归 去芦，酒浸一宿 防风 去芦又¹ 白芍药 甘草 锉炒 杏仁 去皮尖双仁者，麸炒令黄色 白术 各二两 右为粗散，每服三钱，水一盞半，生姜四片，同煎八分。

三因方，得效方每服四钱，水盞半，姜七片，枣二枚，煎七分，去滓，温服，不计时候，常服安心定志，聪耳明目，通脏腑，诸风疾并皆治之。 简易方、三法六门、瘡疗方经验良方、玉机微义同。 直指方治五

脏风诸风，亦治风毒脚气肿痛。白鲜皮 白术 白芍药 辣桂 去粗皮 当归 川芎 杏仁 去粗尖，微炒 防风 甘草 各二两，炒 独活 麻黄 去节 白茯苓 各三两 右粗末，每服二钱，水盞半，姜四片，煎一盞，温服。 医方集成治中风，邪气入于五脏，令人狂言妄语，精神错乱，以至手足不仁，痰涎壅盛。茯苓 去皮 独活 去芦 麻黄 各三两 白鲜皮 当归 去芦 防风 去芦 芎蒭 白术 甘草 各二两 肉桂 去粗皮 杏仁 去皮尖，麸炒 芍药 各一两 永类铃方已上 三味各二两 右咬咀，每服三钱，水一盞 铃方半两服，水盞半。

姜四片，同煎温服，不拘时。 南北经验方、袖珍方同。

大八风汤：简易方无大字。治毒风顽痹，躄曳手脚不遂，身体偏枯，或毒弱 简易方气弱。不任，或风入五脏，恍恍惚惚，多语喜忘，有时恐怖，或肢节疼痛，头眩烦闷，或腰脊强直，不得俯仰，腹满不食，咳嗽，或始遇病时，卒倒闷绝，即不能语，便失暗，半身不遂，不仁，沉重，皆由体虚恃少，不避风冷所致，治

之之²方。

当归 二³两半 五味子 升麻 各一两半 乌头 黄芩 芍药 远志 独活 防风 芎蒭 麻黄 秦艽 石斛 人参 茯苓 石膏 黄芪 紫菀 各一两 杏仁 四十枚 甘草 桂心 乾姜 各二两 大豆 一升 千金翼云二合

右二十三味，咬咀，以水一斗三升，酒二升，合煮，取四升，强人分四服，羸人分六服。 简易方右咬咀，每四钱，水一盞半，酒半盞，同煎六分，去滓服，量人虚实加减服。

八风散：治八风十二痹，猥退，半身不遂，历节疼痛，肌肉枯燥，皮肤咽动，或筋缓急痛，不在一处，卒起目眩，失心恍惚，妄言倒错，身上暗⁴瘰，面上起疱，或黄汗出，更相染渍，或燥或湿，颜色乍赤乍白，或青或黑，角弓反张，乍寒乍热方。

麻黄 白术 各一斤 羌活 二斤 黄芩 一斤五两 大黄 半斤 栝蒌根 甘草 栝蒌 天雄 白芷 防风 芍药 天门冬 石膏 各十两 山茱萸 食茱萸 踯躅 各五升 茵芋 十四两 附子 三十枚 细辛 乾姜 桂心 各五两 雄黄 朱砂 丹参 各六两

右二十五味，治下筛，酒服方寸匕，初每日一服，三十日后，日再⁵，五十日知，百日瘥，一年平复，长服不已佳，先食服。

小八风散：治迷惑如醉，狂言妄语，惊悸恐怖，恍惚见鬼，喜怒悲忧，烦满颠倒，邑邑短气，不得语，语则失忘，或心痛彻背，不嗜饮食，恶风不得去帷帐，时复疼痛，恶闻人声，不知痛痒，身悉振摇，汗出猥退，头重浮肿，爪⁶不知痛，颈项强直，口面喎戾，四肢不遂不仁，偏枯挛掣，不得屈伸，悉主之方。

1 又：太平惠民和剂局方无此字

2 之：备急千金要方无此字。

3 二：备急千金要方作“一”

4 暗：备急千金要方作“瘰”。

5 再：备急千金要方此下有“服”字。

6 爪：备急千金要方此下有“之”字。

天雄 当归 人参各五分 附子 天门冬 防风 蜀椒 独活各四分 乌头 秦艽 细辛 白术 乾姜各三分 麻黄 山茱萸 五味子 桔梗 白芷 柴胡 莽草各二分

右二十味，治下筛，合相得，酒服半方寸匕，渐至一匕，日三服，以身中觉如针刺状，则药行也。

乌头汤：治八风五尸恶气，游走胸心，流出四肢，来往不住，短气欲死方。

乌头 芍药 乾姜 桂心 细辛 乾地黄 当归 吴茱萸^① 甘草各^②二两

右九味，咬咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

藁耳散：治诸风方。

当以五月五日午时，乾地刈取藁耳叶，洗曝燥，捣下筛，酒若浆，服一方寸匕，日三，作散，若吐逆，可蜜和为丸，服十丸，准前计，一方寸匕数也。风轻易治者，日再服。若身体有风者，皆作粟肌出，或如麻豆粒，此为风毒出也，可以铍针刺溃去之，皆黄汁出尽乃止。五月五日多取阴乾之，著大瓮中，稍取用之，此草辟恶，若欲看病省疾者，便服之，令人无所畏。若时气不和，举家服之。若病胃胀满，心闷发热，即服之。并杀三虫肠痔，能进食，一周年服之任^③，七月七、九月九皆可采用。玉机微义右以藁耳叶曝燥为末，酒调服方寸匕，日三，若吐逆者，蜜和为丸，服十丸，准前计，一方寸匕，日三。

治心风虚热，发即恍惚，烦闷，半身不仁，挛急方：

荆沥 竹沥各五升 拘杞根白皮 生麦门冬各一升 香豉三合 人参 茯苓 梔子仁 黄芩 芍药 桂心 细辛 杏仁 防风 白鲜皮各二两 生姜 石膏 甘草各三两

右十八味，咬咀，以水二斗，和竹沥、荆沥，煮取三升，分四服，相去如人行六七里，凡五剂，间三日，服一剂。一^④用防己三两。

治虚热恍惚惊邪恐惧方：

荆沥三升 竹沥二升 香豉三合 牛黄十八铢

生麦门冬 人参各三升^⑤ 升麻 铁精^⑥ 天门冬 龙齿 茯苓 梔子各二两

右十二味，咬咀，以水二斗，煮取三升，去滓，下牛黄、铁精，更煎五六沸，取二^⑦升七合，分五^⑧服，温服，相去十里久。

地黄煎：治热风，心烦闷，及脾胃间热，不下食，冷补方。

生地黄汁^⑨ 拘杞根汁二^⑩升 生姜汁^⑪ 酥各^⑫三升 荆沥 竹沥各五升 天门冬 人参各八两 茯苓六两 大黄 梔子仁各四两

右十一味，捣筛五物为散，先煎地黄等汁成煎，次内散药搅调，每服一匕，日再，渐加至三匕，觉利减之。

又方：黄芩 乾蓝 芍药 鼠尾草各三两 梔子仁 生葛各六两 羚羊角五两 豉一升，绵裹

右八味，咬咀，以水七升，煮取二升五合，分三服。

治积热风方：

地骨皮 萎蕤 丹参 黄芪 麦门冬 泽泻各三两 清蜜 姜汁各一合 生地黄汁一升

右九味^⑬，以水六升，煮取二升，去滓，内地黄汁，更缓火煮，减一升，内蜜及姜汁，又煮一沸，药成，温服三合，日再。

大防风汤：治中风，发热无汗，肢节烦，腹急通^⑭，大小便不利。

防风 当归 麻黄 白术 甘草各十八铢 黄芩三十铢 乾地黄 山茱萸 茯苓 附子各一两

右十味，咬咀，以水九升，煮取二升半，

① 萸：备急千金要方此下注有“各一两”三字。

② 各：备急千金要方无此字。

③ 任：备急千金要方作“佳”。

④ 一：备急千金要方此下有“本”字。

⑤ 升：备急千金要方作“两”。

⑥ 精：备急千金要方此下注有“各一两”三字。

⑦ 二：备急千金要方作“一”。

⑧ 五：备急千金要方作“三”。

⑨ 汁：备急千金要方此下注有“二升”二字。

⑩ 二：备急千金要方作“三”。

⑪ 汁：备急千金要方此下注有“一升”二字。

⑫ 各：备急千金要方无此字。

⑬ 味：备急千金要方此下有“咬咀”二字。

⑭ 通：备急千金要方作“痛”。

一服七合，大小便不利，内大黄，人参各十八铢，大枣三十枚，生姜三两，煮取三升，分三服。湿师加天门冬一两。

大戟洗汤：治中风发热方。

大戟 苦参 各等分

右二味为末，以药半升，白酢浆一斗，煮三沸，适寒温，洗从上下，寒乃止，立瘥。小儿三指撮许，浆水四升煮，洗之。

金牙酒：疗积年八风五疰，举身弹曳，不得转侧，行步跛躄，不能收摄。又暴口噤失音，言语不正，四肢背脊筋急肿痛，流走不常，劳冷积聚，少气，乍寒乍热，三焦不调，脾胃不磨，饮澀，结实，逆害，饮食酢咽，呕吐，食不生肌，医所不能治者^①。

金牙 碎如米粒，用小绢袋盛 地肤子 无子用茎，苏恭用蛇床子 乾地黄 蒴藿根 附子 防风 细辛 芥草 各四两 蜀椒 四合 羌活 一斤，胡洽用独活

右十味，哎咀，盛以绢袋，用酒四斗，于瓷罍中渍，密闭头，勿令泄气，春夏三四宿，秋冬六七宿，酒成，去滓，日服一合，此酒无毒，及可小醉，常令酒气相接，不尽一剂，病无不愈，又令人肥健，酒尽，自可加诸药各三两，惟蜀椒五两，用酒如前，勿加金牙也，冷加乾姜四两。服此酒，胜灸刺，起三十^②诸风弹曳神验。肘后、备急用升麻、乾姜各四两，人参二两，石斛，牛膝各五两，不用蒴藿根，为十四味。苏恭不用地黄，为十三味。一方用蒺藜四两，黄芪三两。胡洽用续断四两，为十一味。

千金翼用茵芋四两，无莽草。圣惠方治积年八风五注，举身弹曳，不得转侧，行步跛躄，不能收摄。又暴中风，口噤失音，语不通利，四肢筋脉皆急，毒风起，流走无常处，宜服金牙浸酒方：金牙 捣碎 细辛 地肤子 乾姜 炮裂，锉 熟乾地黄，附子 炮裂，去皮脐 防风 去芦头 茵芋 川椒 去目 蒴藿根 各四两 羌活 一斤 右件药，细锉，以生绢袋盛，用清酒三斛，于磁瓮中渍之，密泥封，勿泄气，春夏三四日，秋冬六七日开，每温服一小盏，

常令醺醺然，此酒无毒，亦可小醉，不尽一剂，病无不愈，又令人肥健矣。

常山太守马灌酒：除风气，通血脉，益精华，定六腑，聪明耳目，悦泽颜色，头白更黑，齿落更生，服药二十日，力势倍，六十日，志气充盈，八十日，能夜书，百日致神明，房中强壮，如三十时，力能引弩，年八十人服之，亦当有子，病在腰膝，药悉主之。

天雄 二两，生用 商陆根 踯躅 蜀椒 各一两 乌头 一枚大者 附子 五枚 桂心 白欬 茵芋 乾姜 各三^③两

右十味，哎咀，以绢袋盛，酒三斗渍，春夏五日，秋冬七日，去滓，初服半合，稍加至两三合，捣滓为散，酒服方寸匕，日三，以知为度，夏日恐酒酸，以油单覆之，下井中近水，令不酸也。千金翼无商陆，桂心，为八味。

蛮夷酒：治久风枯挛，三十年著床，及诸恶风眉毛堕落方。

乾地黄 独活 丹参 瞿石 各一两 麦门冬 附子 甘遂 各二两 赤石脂 二两半 乾姜 羌夷 芫花 柏子人 各一合 苏子 一升 苁蓉 茯神 翼作茯苓 金牙 薯蕷 白术 杜仲 石南 牡荆子 山茱萸 款冬 各十八铢 白芷 乌啄 乌头 人参 狼毒 蜀椒 防风 细辛 矾石 寒水石 牛膝 麻黄 芎藭 当归 柴胡 芍药 牡蛎 桔梗 狗脊 翼作杞枸^④ 天雄 各半两 石斛 桂心 各六铢

右四十五味，哎咀，以酒二斗渍，夏三日，春秋六日，冬九日，一服半合，密室中合药，勿令女人六畜见之，三日清斋乃合。千金翼无芎藭，云：加大枣四十枚，更佳。

又方：治八风十二痹，偏枯不遂，宿食，久寒虚冷，五劳七伤，及妇人产后余疾，月水不调，皆主之方。

① 者：备急千金要方此下有“悉主之方”四字。

② 十：备急千金要方此下有“年”字。

③ 三：备急千金要方作“一”。

④ 杞枸：备急千金要方作“枸杞”。

礞石^① 桂心 白术 狼毒 半夏 石南 白石脂 龙胆 续断 羌花 白石英 代赭 蒟茹 石苇 玄参 天雄 防风 山茱萸 桔梗 藜芦 卷柏 细辛 寒水石 乌头 踯躅 蜀椒 白芷 秦艽 菖蒲各一两 矾石 附子 远志各二两 石膏二两半 蜈蚣一^②枚

右三十四味，咬咀，以酒二斗，渍四日，每服一合，日再，十日后去滓，曝乾，捣筛为散，酒服方寸匕，日再，以知为度。胡洽四十二味，无桂心、细辛、乌头、踯躅、蜀椒、而有芒硝、恒山、黄芩、黄连、大黄、麻黄、地黄、前胡、甘草、兔丝子、芍药、紫菀各一两，杏仁一^③十枚，同捣筛，绢袋盛，用水三斗，曲三斤，黍米三斗作饭，依酿酒法，以药袋置酿中，春秋七日，冬十日，夏三日，酒成，服半鸡子壳，日三服，曝药为末，酒服方寸匕，以身体暖为度。

鲁王酒：治风眩心乱，耳聋，目暗，泪出，鼻不闻香臭，口烂生疮，风齿瘰癧，喉下生疮，烦热，厥逆上气，胸胁肩胛痛，手不能上头，不能带衣，腰脊不能俯仰，脚酸不仁，难以久立。八风十二痹，五缓六急，半身不遂，四肢偏枯，筋挛不可屈伸。贼风，咽喉闭塞，哽哽不利，或如锥刀所刺，行人皮肤中，无有常处，久久不治，入人五脏，或在心下，或在膏肓，游走四肢，偏有冷处，如风所吹，久寒积聚风湿，五劳七伤，虚损百病，悉主之方。

茵芋 乌头 踯躅各三十铢 天雄 防己 石斛^④二十四铢 细辛 牛膝 甘草 柏子仁 通草 桂心 秦艽 茵陈 山茱萸 黄芩 胡洽作黄耆 附子 瞿麦 乾地黄 王不留行 胡洽作天门冬 千金翼作王荪 杜仲 泽泻 石南 防风 远志各十八铢

右二十五味，咬咀，以酒四斗，渍^⑤十日，每服一合，加至四五合，以知为度。千金翼名此为鲁公酒，有乾姜。胡洽无防己，以绢囊盛药，用水二斗，法曲二斤^⑥，同渍

三四宿，出药囊，炊二斗黍米，内汁酿之，酒熟，饮如鸡子大，日三^⑦服，稍稍饮之，以知为度。

又方：治风，偏枯半死，行劳得风，若鬼所击，四肢不遂，不能行步，不自带衣，挛臂，五缓六急，妇人带下，产乳中风，五劳七伤。

乾姜 踯躅 桂心 甘草 芍药 续断 细辛 附子 秦艽 天雄 石膏 紫菀各五两 葛根 通草 防风 柏子仁 巴戟天 石斛 石南 山茱萸 石龙芮^⑧四两 天门冬 牛膝各八两 乌头二十枚 蜀椒半升

右二十五味，咬咀，以水五升，渍三宿，法曲一斤合渍，秫米二斗合酿三宿，去滓，炊糯米一斗，醖三宿，药成，先食服半合，日再，待米极消尽，乃去滓，曝乾末服。

独活酒：治八风十二痹方。

独活 石南各四两 防风三两 附子 乌头 天雄 茵芋各二两

右七味，咬咀，以酒二斗，渍七日，每服半合，日三，以知为度。圣惠方：独活四两 石南四两 防风三两，去芦头 茵芋 附子炮裂，去皮脐 川乌头炮裂，去皮脐 天雄炮裂，去皮脐 桂心 牛膝去苗，已上各一两 右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗渍，经七日，每日随性温饮一小盏，勿令大醉，以效为度。

贼 风

桂枝酒：治肝虚寒，卒然暗哑不声，踞坐不得，面目青黑，四肢缓弱，遗失便利，风所损方。

桂枝 芍药 独活 牛膝 薯蓣 甘草各三两 附子二两 防风 茯苓 天雄 茵芋

① 礞石：备急千金要方作“礞石”。

② 一：备急千金要方作“二”。

③ 一：备急千金要方作“二”。

④ 斛：备急千金要方此下注有“各”字。

⑤ 渍：备急千金要方此下有“之”字。

⑥ 斤：备急千金要方作“斗”。

⑦ 三：备急千金要方作“二”。

⑧ 芮：备急千金要方此下注有“各”字。

杜仲 蒟蒻根 白术各四两 乾姜五两 大枣四十枚 踰躄 猪椒叶根皮 各一升

右十八味，咬咀，以酒四斗，渍七日，每服四合，日二，加至五六合。

大定心汤^① 治心气虚悸恍惚方。见惊悸门。

乾姜附子汤：治心虚寒风，半身不遂，骨节离解，缓弱不收，便利无度，口面喎邪方。

乾姜 附子各八两 桂心 麻黄各四两 芎劳三两

右五味，咬咀，以水九升，煮取三升，分三服，三日后服一剂。

侧子酒^②：治心寒，或笑，或呻，口欬方。

见脚气门。

芎劳汤：治卒中风，四肢不仁，善笑不息方。

芎劳一两半 黄芩 石膏^③用黄连 当归 秦艽 麻黄 桂心 乾姜 甘草各一两 杏仁二十一枚

右十味，咬咀，以水九升，煮取三升，分三服。

荆沥汤：治心虚寒，阴气伤，寒损心，惊掣悸，语声宽急混浊，口喎冒昧，好自笑，疠风伤心方。

荆沥三升 母姜取汁一升^④ 麻黄 白术 芎劳各四两 防风 桂心 升麻 茯苓 远志 人参 羌活 当归各三^⑤两 防己 甘草各二两

右十五味，咬咀，以水一斗五升，煎麻黄两沸去沫，次下诸药，煮取三升，去滓，下荆沥、姜汁，煎取四升，分四服，日三夜一。

白术酒：补心志定气，治心虚寒，气性反常，心手不随，语声冒昧，其^⑥疾源疠风损心，具如前方，所说无穷。

白术切 地骨皮 荆实各五斗 菊花三^⑦斗

右四味，以水三石，煮取一石五斗，去滓，澄清取汁，酿米二^⑧石，用曲如常法，酒熟，随能饮之，常取半醉，勿令至吐。

依源麻黄汤：治脾虚寒，疠风所伤，举体消瘦，语音沉涩，如破鼓声，舌强不转，而好咽唾，口噤唇黑，四肢不举，身重如山，

便利无度方。方阙。

半夏汤：温中下气，治脾寒，语声忧惧，舌本卷缩，嗔喜无度，昏闷恍惚胀满方。

半夏 大麻仁熟研为脂 生姜各一升 芍药 茯苓 吾^⑨ 味子 桂心 橘皮各三两 白术四两 附子五两 甘草二两 大枣三十枚

右十二味，咬咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，下大麻仁脂，更上火一沸，分三服。

当归圆：补脾安胃，调气止痛，治脾虚寒，身重不举，语音沉鼓，历风伤痛，便利无度方。

当归 酸枣仁 乾姜各八两 芎劳 乾地黄 天雄各六两 地骨皮 黄耆各七两 大枣二十枚 吴茱萸五合 甘草 秦椒叶 厚朴 秦艽各四两 桂心 防风 附子 白术各五两

右十八味，为末蜜丸，如梧子，酒服三十丸，加至四十丸，日再服。

依源麻黄续命汤：治肺虚寒，疠风所中，嘘吸战掉，声嘶塞而散，下气息短急，四肢痹弱，面色青葩，遗失便利，冷汗出。

麻黄六两 大枣五十枚 杏仁 白术 石膏各四两 乾姜 桂心 人参 茯苓各三两 当归 芎劳 甘草各三^⑩两

右十二味，咬咀，以水一斗二升，煮麻黄去沫，次下诸药，煎取三升，去滓，分三服。旧方无术、茯苓，今方无黄芩。转以依经逐病增损

八风防风散：治肺寒虚伤，语音嘶下，拖气用力，战掉，缓弱羸瘠，历风入肺方。

防风 独活 芎劳 秦椒 乾姜 黄耆

① 大定心汤：方见本书卷一百五十八惊悸门。

② 侧子酒：方见本书卷九十六脚气门。

③ 一：备急千金要方此下有“方”字。

④ 取汁一升：备急千金要方作“切一升取汁”。

⑤ 三：备急千金要方作“二”。

⑥ 其：备急千金要方此下有“所”字。

⑦ 三：备急千金要方作“二”。

⑧ 二：备急千金要方作“一”。

⑨ 吾：备急千金要方作“五”。

⑩ 三：备急千金要方作“一”。

附子^①四十二铢 天雄 麻黄 石膏 五味子
山茱萸各三十六铢 秦艽 桂心 薯蓣 细辛
当归 防己 人参 杜仲各三十铢 甘草十一铢
贯众^②□□ 紫菀二十^③ 甘菊二枚^④

右二十四味，治下筛，每服方寸匕，酒调进至两匕，日再。

温中生姜汤：治肺虚寒，羸瘦缓弱，战掉噓吸，胸满肺痿方。

生姜一斤 桂心四两 橘皮四两 甘草 麻黄^⑤□三两

右五味，㕮咀，以水一斗，煮取二升半，分三服，先煎麻黄两沸，去沫，然后入诸药合煮。

肾沥汤：治肾寒虚，为痹风所伤，语音蹇吃不转，偏枯胠脚偏跛蹇，缓弱不能动，口喎，言音混浊，便利仰人，耳偏聋塞，腰背相引，随病用药，依源增损方。

羊肾一具 黄耆 芎藭 桂心 当归 人参 防风 甘草 五味子^⑥三两 得效方各乙两 玄参 茯苓 芍药各四两 得效方各乙两二钱半 磁石五两 得效方一两七钱 地骨皮二升切 得效方五钱 生姜八两 得效方二两

右十五味，㕮咀，以水一斗五升，煮羊肾，取七升，下诸药，取三升，去滓，分三服，可服三剂。得效方右锉散，以水一斗，煮羊肾，取五升，下诸药，取二升，分三服服。

茵芋酒^⑦：治耳聋口欬等病。方见脚气门。

乾地黄圆：治肾虚，呻吟，喜恚怒反常心性，阳气弱，腰背强急，髓冷方。

乾地黄 山茱萸 天门冬 桂心 续断各一两半 柏子仁 杜仲 牛膝 苁蓉^⑧四十二铢 茯苓 天雄 钟乳各二两 松脂 远志 乾姜各三十铢 菖蒲 薯蓣 甘草各一两

右十八味，末蜜丸，梧子大，酒服三十丸，日二，加至四十丸。

大岩蜜汤：治贼风，腹中绞痛，并飞尸遁注，发作无时，发即抢心胀满，胁下如锥刀刺，并主少阴伤寒方。

梔子十五枚 甘草 乾地黄 细辛 羊脂 青羊角亦得 茯苓 吴茱萸 芍药小品用芎藭 乾姜 当归 桂心各一两

右十一味，㕮咀，以水八升，煮取三升，去滓，内脂令烊，分三服，温服，相去如人行十里顷，若痛甚者，加羊脂三两，当归、芍药、人参各一两。心腹胀满坚急者，加大黄三两。胡洽不用梔子、羊脂、茯苓、桂心，名岩蜜汤。

小岩蜜汤：治恶风，角弓反张，飞尸入腹，绞痛闷绝，往来有时，筋急，少阴伤寒，口噤不利方。

大黄二两 雄黄 青羊脂各一两 当归 乾姜 桂心 乾地黄 芍药 甘草 细辛各四两 吴茱萸三^⑨两

右十一味，㕮咀，以水二斗，煮取六升，分六服。重者，加药，用水三斗，煮取九升，分十服。

排风汤：治诸毒风邪气所中，口噤闷绝，不识人，及身体疼烦，面目手足暴肿者方。

犀角 贝子 升麻 羚羊角各一两

右四味，治下筛，为粗散，以水二升半，内四方寸匕，煮取一升，去滓，服五合，杀药者，以意增之。若肿，和鸡子搏上，日三度，老小可斟酌加減，神良，亦可多合备用。

乌头汤：治寒疝，腹中绞痛，贼风入腹，攻五脏，拘急不得转侧，叫呼发作有时，使人阴缩，手足厥逆方。

乌头十五枚 要略用五枚 大枣十枚 甘草二两 芍药四两 桂心六两 老姜一斤

右六味，㕮咀，以水七升，煮五味，取三升，去滓，别捣乌头去皮四破，蜜二升，

① 子：备急千金要方此下注有“各”字。

② 众：此下注文脱字，备急千金要方作“二枚”。

③ 十：备急千金要方此下有“四铢”二字。

④ 二枚：备急千金要方作“二十四铢”。

⑤ 黄：此下注文脱字，备急千金要方作“各”。

⑥ 子：备急千金要方此下注有“各”字。

⑦ 茵芋酒：方见本书卷九十六脚气门三。

⑧ 苁：备急千金方此下注有“各”字。

⑨ 三：备急千金要方作“二”。

⑩ 二：备急千金要方作“一”。

微火煎，令减五六合，内汤中，煮两小沸，
去滓，服一合，日三，间食。强者，三合以
如醉状为知，不知增之。

治贼风所中，腹内挛急方：

麻黄_{四两} 甘草_{一尺} 石膏 鬼箭羽_{各鸡子大}
右四味，咬咀，以东流水_{二升}，煮取_一
升，顿服之。

诸 风 门_三

千 金 方_二

夫历节风著人，久不治者，令人骨节蹉跌，变成癰病，不可不知，古今已来，无问贵贱，往往苦之，此是风之毒害者也。治之虽有汤药，而并不及松膏、松节酒，若羁旅家贫，不可急办者，宜服诸汤，犹胜不治，但于痛处灸三七壮佳。

防风汤：治身体四肢节解如堕脱，肿按之皮陷，头眩短气，温温闷乱，欲吐者方。

防风 白术 知母 桂心 各四两 芍药 杏仁 甘草 各三两 半夏 生姜 各五两

右十味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分四服，日三夜一。古今录验方无半夏、杏仁、芍药，用附子二枚，为八味。

羌活汤：治中风，身体疼痛，四肢缓弱不遂，及产后中风方。

羌活 桂心 芍药 葛根 麻黄 乾地黄 各三两 甘草二两 生姜五两

右八味，㕮咀，以清酒三升，水五升，煮取三升，温服五合，日三服。

防己汤：治风，历节四肢疼痛，如槌锻不可忍者方。

防己 茯苓 白术 桂心 生姜 各四两 甘草三两 人参二两 乌头七枚

右八味，㕮咀，以苦酒一升，水一斗，煮取三升半，一服八合，日三夜一，当觉焦热，痹忽忽然慎勿怪也。若不觉，复合服，以觉乃止。凡用乌头皆去皮，熬令黑乃堪用，不然至毒，人宜慎之。千金翼不用苦酒。

治湿风，体痛欲折，肉如锥刀所刺方：

附子 乾姜 芍药 茯苓 人参 甘草 桂心 各三两 白术四两

右八味，㕮咀，以水八升，煮取三升，

日三服。一方去桂，用乾地黄二两。

大枣汤：治历节疼痛方。

大枣十五枚 附子一枚 甘草一尺 黄耆四两 生姜二两 麻黄五两

右六味，㕮咀，以水七升，煮取三升，每服一升，日三服。

犀角汤：治热毒流入四肢，历节肿痛方。

犀角二两 羚羊角一两 前胡 黄芩 梔子仁 射干 各三两 大黄 升麻 各四两 豉一升

右九味，㕮咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服。

治节历诸风，百节酸痛不可忍方：

松脂三十斤，炼五十遍，酒煮十遍，肘后方、卫生易简方无酒煮十遍四字。不能五十遍，二十遍亦可，炼酥三升，温和松脂三升，熟搅，令极调肘后方、易简方作调。匀，旦空腹酒服方寸匕，日三，数数食面粥为佳，慎血腥生冷物酢果子，百日已后瘥。圣惠方松脂十斤，以桑柴灰汁炼二十遍，后以淡浆水炼十遍，候乾，细研如粉，牛酥二斤，炼过者，右件药，相和令匀，每服不计时候，以温酒调下一茶匙。

松节酒：治历节风，四肢疼痛，由如解落方。

松节 猪椒叶 各三十斤，细锉，各用水四石，煎取一石

右二味，澄清合渍，乾曲五斤，候发，以糯米四石五斗酿之，依家酝法，四酸勿令伤冷热，第一酸时下后诸药。

柏子仁 天雄 萆薢 芍药 各五两 秦艽 六两 人参 茵芋 各四两 防风十两 磁石十二两，未独活十五两

右十味，㕮咀，内饭中，炊如常酝法，

醖足讫，封头四七日，压取清，适性服之，勿至醉吐。

石膏汤：逐风毒方。

石膏 鸡子大三枚 杏仁四十枚 鸡子二枚 甘草一尺 麻黄三两

右五味，咬咀，以水三升，破鸡子，内水中烱，令相得，内药煮取一升，服之，覆取汗，汗不出，烧石熨取汗出为佳。

治历节风方：

松膏一升，酒三升，浸七日，每服一合，日再，数剂愈。

又方：松叶三十斤，酒二石五斗，渍三七日，服一合，日五六度。寿域神方松叶不拘多少，捣取汁一升，酒三升，浸七日，每服一合，日三次。

偏 风

防风汤：治偏风。甄权处疗安平公方。

防风 芍药 白芷 牛膝 狗脊 草薢 白术 各一两 羌活 葛根 附子 外台人参 杏仁 各二两 薏苡仁 石膏 桂心 各三两 麻黄 四两 生姜 五两

右十六味，咬咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服，服一剂觉好，更进一剂，即一度针，九剂九针即瘥，灸亦得。针风池一穴 肩髃一穴 曲池一穴 支沟一穴 五枢一穴 阳陵泉一穴 巨虚下廉一穴 凡针七穴即瘥。

治猥退风，半身不遂，失音不语者方：

杏仁去双仁及皮尖，三斗，洗，入臼捣二斗令碎，研如寒食粥法，取汁八升，煎取四升，口尝看香滑即熟，未及此，则为不熟，惟熟为妙，停极冷，然后内好曲一斗六升，煎取八升，第一遍醖也；次一炊，复取杏仁三升，研取一斗二升汁，煎取六升，第二醖也；次一炊，准第二醖取杏仁汁多少，为第三醖也。若疑米不足，别更取二升杏仁，研取八升汁，煎取四升，更斟酌炊米醖之，若犹不足，更研杏仁二升，取八升汁，煎取四

升，更醖之，以熟为限。一石米，杏仁三斗，所以节次研杏仁者，恐并煎汁酢故也。若冬日，任意并煎，准计三斗杏仁，取汁一石六斗，煎取八斗四升，渍曲以分之，醖饌酒熟，封四七日，开澄取清，然后压糟，糟可乾末，和酒服之，大验秘方。

又方：蓖^①麻子脂一升，寿域神方一斗。酒一斗，铜钵盛著酒中一日，煮之令熟服之。

卫生易简方同。

治大风半身不遂方：

蚕沙两石，熟蒸，分作直袋三枚，各受七斗，热盛一袋，著患处，如冷，即取，余袋一依前法，数数易换，百不禁，瘥止，须羊肚酿粳米、葱白、姜、椒、豉等，烂煮熟吃，日食一具^②，十日止。此方千金不传。备预百要方治手足不遂，腰脚软，皮肤顽痹方：蚕沙盛袋，蒸热熨，冷则易之。又蚕沙炒黄，盛袋浸酒服之。

又方：蒸鼠坏^③土，袋盛熨之，瘥即止。

葛根汤：治四肢缓弱，身体疼痛不遂，妇人产后中柔风，及气满方。

葛根 芍药 桂心 乾地黄 羌活 各三两 麻黄 甘草 各二两 生姜 六两

右八味，以清酒三升，水五升，煮取三升，温服五合，日三。

麻子汤：治大风，周身四肢挛急，风行在皮肤，身劳强服之不虚人，又治精神蒙昧者方。

秋麻子三升，净择，水渍一宿 防风 桂心 生姜 石膏 碎绵裹 橘皮 各二两 麻黄 三两 竹叶 葱白 各一握 香豉 一合

右十味，咬咀，先以水二斗半，煮麻子令极熟，漉去滓，取九升，别煮麻黄两沸，掠去沫，内诸药汁中，煮取三升，去滓，分三服，空腹服，当微汗，汗出以粉涂身，极重者，不过三两剂，轻者，一两剂瘥。有人

① 蓖：备急千金要方作“婢”。

② 具：备急千金要方作“枚”。

③ 坏：备急千金要方作“壤”。

患大风、贼风、刺风，加独活三两，比之小续命汤，准当六七剂。

白敛薏苡汤：治风拘挛不可屈伸方。

白敛 薏苡仁 芍药 桂心 酸枣仁
牛膝 乾姜 甘草各一两^① 附子三枚

右九味，㕮咀，以淳酒二斗，渍一宿，微火煎三沸，每服一升，日三，扶杖起行，不耐酒，服五合。千金翼有车前子。

独活寄生汤：夫腰背痛者，皆由肾气虚弱，卧冷湿地，当风得之，不时速治，喜流入脚膝，为偏枯冷痹，缓弱疼重，或腰痛、挛脚、重痹，宜急服此方。

独活 三两 寄生 古今绿验用续断 杜仲 牛膝
细辛 秦艽 茯苓 桂心 防风 芎藭 乾地黄 人参 甘草 当归 芍药各二两

右十五味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分三服，温身勿冷，喜虚下利者，除乾地黄，服汤，取蒴藋叶，火燎，厚安席上，及热眠，上冷复燎之，冬月取根，春取茎，熬卧之佳，其余薄熨，不及蒴藋蒸为愈也。诸处风湿，亦用此法，新产竟，或患腹痛不得转动及腰脚挛痛，不得屈伸痹弱者，宜服此汤，除风消血。肘后有附子一枚大者，无寄生、人参、甘草、当归。御药院方右为粗末，每服三钱，水一大盏，入生姜五片，煎至七分，去滓，食前稍热服。朱氏集验方治风湿相搏于腰背，气血凝滞连引疼痛，手足搐搦。

独活 三两 桑寄生 略炙，无则以续断代之 白术 炒 肉桂 杜仲 姜制 秦艽 白茯苓 牛膝 酒浸一宿，焙乾 防风 川芎 当归 白芍药 熟地黄 人参各二两 北细辛 去叶 川续断 如无桑寄生，则用此代 甘草炙。各一两

右㕮咀，每服四钱，水一盏半，煎至七分，去滓热服，食前。如腰疼、胁痛、腿疼，临熟入麝香少许，和匀服，兼治历节风。

菊花酒：治男女风虚寒冷，腰背痛，食少羸瘦，无颜^②色，嘘吸少气，去风冷，补不足方。

菊花 杜仲各一斤 防风 附子 黄耆

乾姜 桂心 当归 石斛各四两 紫石英 茯苓各五两 草薢 独活 钟乳各八两 茯苓 三两

右十五味，㕮咀，以酒七斗，渍五日，一服二合，稍稍加至五合，日三。千金翼不用乾姜。

杜仲酒：治腰脚疼痛不遂，风虚方。

杜仲 八两 石南 二两 羌活 四两 大附子 五枚
右四味，㕮咀，以酒一斗，渍三宿，每服二合，日再，偏宜冷病妇人服之。

风 痺

夫风痺者，卒不能语，口噤，手足不遂而强直者是也。治之以伏龙肝五升为末，冷水八升，和搅取汁饮之，能尽为善。肘后此方治心烦恍惚，腹中痛满，绝而复苏。自此已下九方，皆主此风，用之次第宜细寻之。圣惠方治风痺，卒不能语，手足不能自收方 伏龙肝 三两 右捣罗为细散，以新汲水一大盏，浸良久，澄取清，每服不计时候，温服二合。卫生易简方治风痺，卒得不语，口噤，手足不随，而不强直者，用伏龙肝五升，冷水八升，搅汁饮之令尽，佳。亦治中恶，身体不痛，四肢不收，神智不乱，一臂不遂，能言者可治，不能言者难疗。

凡欲医此病，当知先后次第，不得漫投汤药，以失机宜，非但杀人，因兹遂为痼疾，已^③既得之，当进三味竹沥饮，少似有胜于常，更进汤也。竹沥饮子，患热风者，必先用于此，制其热毒。

竹沥汤：治四肢不收，心神恍惚，不知人，不能言方。

竹沥 二升 生葛汁 一升 生姜汁 三合

右三味，相和温暖，分三服，^④玉机微义同。平旦日晡夜合^④一服，服讫，觉四体有异，似好，次进后汤方：

竹沥 一升 生葛汁 五合 芎藭 防己 附

① 两：备急千金要方作“升”。

② 颜：备急千金要方无此字。

③ 已：备急千金要方作“亦”。

④ 合：备急千金要方作“各”。

子 人参 芍药 黄芩 甘草 桂心各一两
生姜四两 羚羊角三^①两 石膏六两 杏仁四十
枚 麻黄 防风各一两半

右十六味，㕮咀，以水七升，煮减半，
内沥煮取二升五合，分三服，取汗，间五日，
更服一剂，频与三剂，渐觉少损，仍进后方：

竹沥三升 防风 升麻 羚羊角 防己
桂心 芎藭各二两 麻黄三两

右八味，㕮咀，以水四升，合竹沥煮取二
升半，分三服，两日服一剂，常用加独活三
两最佳，此方神良，频进三剂。若手足冷者，
加生姜五两，白术二两，若未除，更进后方：

竹沥一升 甘草一本作根二两 人参 芎藭
独活 升麻各一两 防风 麻黄 芍药各一两半
生姜 石膏^② 附子一本作杏人四十枚 羚羊角
防己 桂心 黄芩 白术各二^③两

右十七味，㕮咀，以水八升，煮减半，
内沥煮取二升半，分三服，相去如人行十里
久，更服。若有气者，加橘皮、牛膝、五加
皮客^④一两。 管见大全良方治中风，
四肢不收，心神昏愤，眼不识人，言不出口，
此药大疗热积生风，首宜服此。竹沥二升 生
葛汁一升 生姜汁三合 右相和，温分三服，
平旦晡夜各一服，服讫，觉四体有异，似好。
进后方，大竹沥汤：竹沥二升 防己一两 麻
黄去节，三两 防风去叉芦 升麻 桂心 羚羊角
屑 独活去芦 川芎各二两 右㕮咀，每服半
两，水一大盏，煮取七分，去滓，温服无
时，日三服，若手足冷，加生姜五两，白术二
两。

凡风痲，服前汤得瘥讫，可常服煮散，
除余风方：

防风 防己 独活 秦艽 黄耆 芍药
人参 白术 茯神 芎藭 远志 升麻 石
斛 牛膝 羚羊角 丹参 甘草 厚朴 天门
冬 五加皮 地骨皮 黄芩翼作薯蓣 桂心各一
两。一云各四两 乾地黄 橘皮 生姜 麻黄各三
两 槟榔翼作甘草 藁本翼作附子 杜仲翼作麦门冬
乌犀角各二两。千金翼作山茱萸 薏苡仁一升 石膏

六两。一云三两

右三十三味，捣筛为粗散，和搅令匀，
每服以水三升，药三两，煮取一升，绵滤去滓，
顿服之，取汗，日一服。若觉心中热烦，以竹
沥代水煮之。

荆沥汤： 凡患风人多热，常宜服此方。

荆沥 竹沥 生姜汁各五合

右三味，相和温暖为一服，玉机微义同。每
日旦服煮散，午后进此，平复好瘥乃止。

独活煮散： 治诸风痲方。

独活八两 芎藭 芍药 茯苓 防风 防
己 葛根各六^⑤两 羚羊角 当归 人参 桂
心 麦门冬 石膏各四两 磁石十两 甘草三两
白术五^⑥两

右十六味，各切铍^⑦，分为二十四分，
每分入生姜、生地黄切，一升，杏仁二七枚，
以水二升，煮取七合，或日晚、或夜中、或
日一服、或间日服，无所忌。

五补圆： 凡风服汤药，多患虚热翕翕
然，宜除热方。

防风 人参 苁蓉 乾地黄 羚羊角
麦门冬 天门冬各一两半 芍药 独活 乾姜
白术 丹参 食茱萸一云山茱萸 甘草 茯神
升麻 黄耆 甘菊花 地骨皮 石斛 牛膝
五加皮 薯蓣各三十铍 秦艽 芎藭 桂心 防
己 生姜屑 黄芩各一两 附子十八铍 石膏三两
寒水石二^⑧两

右三十二味，为末，白蜜和丸，如梧子
大，生姜蜜汤服二十丸，日三，稍加至三十
丸。忌油、面、蒜、生冷酢滑，及猪、羊、
鸡、鱼等肉。

古人立方，皆准病根冷热制之，今人临
急，造次搜寻^⑨即用，故多不验，所以欲用

① 三：备急千金要方作“二”。

② 生姜、石膏：备急千金要方此二味剂量均为“二两”。

③ 二：备急千金要方作“一”。

④ 客：备急千金要方作“各”。

⑤ 六：备急千金要方作“一”。

⑥ 五：备急千金要方作“三”。

⑦ 铍：备急千金要方作“如豆”。

⑧ 二：备急千金要方作“三”。

⑨ 搜寻：备急千金要方作“寻之”。

方者，先定其冷热，乃可检方，用无不效，汤药^①既尔，丸散亦然。凡此风之发也，必由热盛，故有竹沥葛汁等诸冷药焉，后之学者，不能仔细识其方意，故有兹论，具而述之，其人无密室者不可与疗，以强人居室不密，尚中风邪，况服药之人乎？

风 懿

独活汤：治风懿不能言，四肢不收，手足弹曳方。

独活四两 桂心 芍药 栝蒌根 生葛各二两 生姜六两 甘草三两

右七味，咬咀，以水五升，煮取三升，分三服，日三。

脾脉络胃，侠咽，连舌本，散舌下，心之别脉，系舌本，今心脾二脏受风邪，故舌强不得语也。

治中风口噤不能言方：

防己 桂心 麻黄各二两 葛根三两 甘草防风 芍药各一两 生姜四两

右八味，咬咀，以水六升，煮取二升半，分三服，啞哑不语皆治之。

石南汤：治六十四种风，注走入皮肤中，如虫行，腰脊强直，五缓六急，手足拘挛，隐疹，搔之则作疮，风尸身痒，卒风面目肿起，手不出头，口噤不能言方。

石南 乾姜 黄芩 细辛 人参各一两 桂心 麻黄 当归 芍药各一两半 甘草二两 乾地黄十八铢 食茱萸三十铢

右十二味，咬咀，以水六升，酒三升，煮取三升，分三服，大汗勿怪。

治中风口噤，不知人者方：

芥子一升 酢三升

右二味，煮取一升，薄头以布裹之，日一度。肘后以治卒不得语。

又方：

豉五升 吴茱萸一升

右二味，以水七升，煮取三升，渐饮之。肘后以治不能语。肘后方豉、茱萸各一升，水五升，煮取

二升，稍稍服。卫生易简方淡豉。

又方：得效方名一得散，治中风口噤，不省人事，产后中风同。白术四两，以酒三升，得后方^②水三升，经验良方同。煮取一升，顿服。备预百要方同。

又方：服荆沥一升。

又方：服淡竹沥一升。备预百要方同。

桂汤：治卒失音方。

浓煮桂汁，服一升，覆取汗，亦可末桂著舌下，渐渐咽汁。肘后方用新好桂削去皮，捣筛三指撮，著舌下咽之。备预百要方忌葱。千金月令取桂心一尺，以水三升，煎取一升，服取汗。圣惠方桂心一两捣令碎，右以水二大盏，煎至一盏，去滓，不计时候，分温三服。琐碎录同。

又方：浓煮大豆汁，含亦佳，千金月令服之。无豆用豉。圣惠方大豆二升，淘令净，右以水五升，煮令烂，去豆，熬取汁如膏，少少合咽津，频服，效。肘后方治卒不得语，煮大豆，煎其汁，令如饴，含之，亦但浓煮饮之。卫生易简方同。

治卒不得语方：

酒五合，和人乳汁中，半分为二服。卫生易简方治中风不语者，用少妇乳半合，好酒半升，搅匀，分服即愈。

夫眼瞬动，口唇偏喎，皆风入脉，急与小续命汤、附子散、摩神明膏、丹参膏，依穴灸之，喉痹舌缓亦然，风入脏，使人啞哑卒死，口眼相引，牙车急，舌不转，喎僻者，与伏龙肝散，和鸡冠血及鳖血涂，乾复涂之，并灸吻边、槁艾^③、赤白际，逐左右，随年壮报之，至三报，三日不瘥，更报之。

附子散：治中风，手臂不仁，口面喎僻方。

附子 桂心各五两 细辛 防风 人参 乾姜各六两

右六味，治下筛，酒服方寸匕，日三，稍增之。

① 药：备急千金要方作“酒”。

② 得后方：按文义应作“得效方”。

③ 槁艾：备急千金要方作“横艾”。

甘草汤：治偏风积年不瘥，手脚枯细，面口喎僻，精神不定，言语倒错方。

甘草 桂心 芎藭 麻黄 当归 芍药^① 人参各^②二两 附子 侧子各二枚 独活 防己各三两 生姜 石膏 茯神各四两 白术 黄芩 细辛各一两 秦艽 防风各一两半 菊花一升 淡竹沥四升

右二十一味，㕮咀，以水一斗，先煮麻黄，去沫，取七升，内竹沥及药，煮取三升，分四服，服三服讫，间一杯粥后更进一服，待药势自汗，慎生冷、醋、蒜、面、乳酪、鱼等。

治中风面目相^③引口偏著耳，牙车急，舌不得转方：

独活三两 竹沥 生地黄汁各一升

右三味，合煎一升，顿服之即愈。

袖珍方：右等分，水二盏，煎至一盏，通口食后服。

又方：

牡蛎神巧万全方烧粉 矾石万全方火煨 附子万全方各半两 灶下黄土万全方灶中黄土一分

右四味，各等分为末，取三年雄鸡冠血和药，傅其上，万全方傅其患处。持镜，候才欲复故，便急洗去之，不速去，便过不复还也。千金翼云：偏右涂左，偏左涂右。袖珍方、肘后方同。

又方：

竹沥三升 防风 防己 升麻 桂心 芎藭各二两 麻黄四两 羚羊角三两

右八味，味㕮^④，以水四升，合竹沥，煮取一升半，分三服，日服一剂，常用效。

又方：青松叶一斤，捣令汁出，清酒一斗，渍二宿，近火一宿，初服半升，渐至一升，头面汗出即止。

又方：酒煮桂得效方、肘后方、经验良方、卫生易简方桂心。寿域神方桂心，不拘多少。取汁，以故布搗病上，得效方、良方故纸贴患处。正则止，左喎搗右，右喎搗左。此秘方不传，余常用大效。

治口耳僻方：

防风 附子 葛根各二两 柏实 麻黄各三两 独活 生姜各四两 杏仁三十枚

右八味，㕮咀，以水一斗，酒二升，煮取三升，分四服。

治卒中风，口喎不正方：取空青末，如豆大一枚，含之即愈。

肘后方取空青末，著口中，入咽即愈，姚同。

又方：炒大豆卫生易简方大豆面。三升，令焦，以酒三升，淋取汁，顿服。易简方一日一服。肘后以治口噤不开。

又方：大皂荚一两，去皮子，经验良方去皮子弦。下筛，肘后方、寿域神方、卫生易简方皂角五两，去皮为末。以三年大酢良方真老米醋，易简方陈醋。和，左喎涂右，右喎涂左，乾更涂之。良方又云口正不涂。

枳茹酒：主诸药不能瘥者方。

枳实上青刮取末，欲至心止，得茹五升，微火炒去湿气，以酒一斗渍，微火暖，令得药味，随性饮之，主口僻眼急大验，治缓风急风并佳。肘后以治身直不得屈伸反覆者，枳树皮亦得。

角弓反张

治卒半身不遂，手足拘急，不得屈伸，身体冷，或智或痴，或身强直不语，或生或死，狂言不可名状，角弓反张，或欲得食，或不用食，或大小便不利，皆疗之方。古今录验，名八风续命汤：

人参 桂心 当归 独活 黄芩 乾姜 甘草各十八铢 石膏一两半 杏仁四十枚

右九味，㕮咀，以井华水九升，煮取三升，分三服，日二，覆取汗，不汗，更合加麻黄五两，合服。

仓公当归汤：治贼风口噤，角弓反张，痉者方。

当归 防风各十八铢 独活一两半 附子一枚 细辛半两 麻黄三十铢

① 药：备急千金要方此下注有“各一两”三字。

② 各：备急千金要方无此字。

③ 治中风面目相：备急千金要方作“治凡风著人面”。

④ 味㕮：备急千金要方作“㕮咀”。

右六味，㕮咀，以酒五升，水三升，煮取三升，服一升，口不开者，格口内，汤一服当苏，二服小汗，三服大汗。

又方：酒一斗，胶二斤，煮令烊，得六升，每服一升，稍服得愈。

又方：单服荆沥良。

秦艽散：治半身不遂，言语错乱，乍喜乍悲，角弓反张，皮肤风痒方。

秦艽 独活 胡治用乌头 黄耆 人参 甘菊花 各二两。胡治用蜀椒 茵芋 十八铢。胡治用茜草 防风 石斛 胡治用草薢 山茱萸 桂心 各一两^① 附子 芎藭 胡治用桔梗 细辛 当归 五味子 甘草 白术 乾姜 白鲜皮 胡治用白敛，各三十铢 麻黄 天雄 远志 各一两 胡治用防己

右二十二味，治下筛，酒服方寸匕，日再，渐渐加至二匕。又云：治风无新久并补。

吴秦艽散：治风注入肢体百脉，身肿，角弓反张，手足酸疼，皮肤习习，身体尽痛，眉毛堕落，耳聋惊悸，心满短气，魂志不定，阴下湿痒，大便有血，小便赤黄，五劳七伤，万病皆治。

秦艽 蜀椒 人参 茯苓 牡蛎 细辛 栝楼根 麻黄 各十八铢 乾姜 附子 白术 桔梗 桂心 独活 当归 各一两 黄芩 柴胡 牛膝 天雄 石南 杜仲 莽草 乌头 各半两 甘草 芎藭 防风 各一两半

右二十六味，治下筛，盛以韦袋，食前温酒一升，服方寸匕，日三服，急行七百步，更饮酒一升。忌如常法。

风 痹

血痹病，从何而得之？师曰：夫尊荣人，骨弱肌肤盛，因疲劳汗出卧，不时动摇，加被微风，遂得之，形如风状，巢源云：其状如被微风所吹。但以脉自微涩，涩在寸口，关上紧，宜针，引阳气令脉和，紧去则愈。

治风湿脉浮，身重汗出，恶风方：

甘草二两 黄耆五两 汉防己四两 生姜 白术各三两 大枣十二枚

右六味，㕮咀，以水六升，煮取三升，分三服，服了坐被中，欲解，如虫行皮中，卧取汗。

铁精汤：治三阴三阳厥逆，寒食胸胁支满，病不能言，气满胸中急，肩息，四肢时寒热不随，喘悸烦乱，吸吸少气，言辄飞颺，虚损方。

黄铁三十斤，以流水八斗扬之三千遍 炭五十斤，烧铁令赤，投冷水，复烧七遍，如此澄清，取汁二斗煮药 半夏 麦门冬 各一升 白薇 黄芩 甘草 芍药 各四两 人参三两 石膏五两 生姜二两 大枣二十枚

右十二味，㕮咀，内煎汁中，煮取六升，服一升，日三服，两日令尽。

黄耆汤：治血痹，阴阳俱微，寸口关上微，尺中小紧，外证身体不仁，如风状方。

蜀黄耆 人参 要略无 芍药 桂心 各二两 生姜六两 大枣十二枚

右六味，㕮咀，以水六升，煮取二升，服七合，日三，服令尽。

治游风行走无定，肿或如盘大，或如瓠，或著腹背，或著臂，或著脚，悉主之方：

海藻 茯苓 防风 独活 附子 白术 各三两 大黄五两 鬼箭 当归 各二两，一本作当六

右九味，㕮咀，以酒二斗，渍五日，初服二合，渐加，以知为度。

白敛散：治风痹肿，筋急展转易常，处方：

白敛半两 附子六铢

右二味，治下筛酒服半刀圭，日三，不知增至一刀圭，身中热行为候，十日便觉。寿域神方若有肿痹虚者，取白敛二分，附子一分，捣服半刀圭，每日可三服，用姜汤调下。

治风痹游走无定处，名曰血痹，大易方：

草薢 薯蓣 牛膝 泽泻 各二两 地肤子 白术 各半两 乾漆 蛭螬 狗脊 车前子 天雄 各十铢 茵芋六两^② 山茱萸三十铢 乾地黄二

① 一两：备急千金要方作“二两半”。

② 两：备急千金要方作“铢”。

两半

右十四味，为末，蜜和丸，如梧子，酒下十丸，日三，后稍加。

治诸风痹方：

防风 甘草 黄芩 桂心 当归 茯苓 各一两 秦艽 葛根各二两 生姜五两 大枣三十枚 杏仁五十枚

右十一味，㕮咀，以酒水各四升，煮取三升，分三服，取汗。

附子酒：治大风冷，三因方治中风风冷。痰癖胀满，诸痹方。

大附子一枚，重二两者，亦云二枚，三因方一枚，去虚脐，切作四片。酒五升三因方淳酒一升。渍，春五日，三因方又云：夏三日，秋冬七日。每服一合，日再，以瘥为度。三因方每服一合，日二三服，以瘥住为效。未知再作。卫生易简方治偏风，半身不遂，及大风冷，痰癖胀满，用生附子一两，锉碎，酒一升渍，春冬五日，夏秋三日，服一合，以差为度。

麻子酒：治虚劳百病，伤寒风湿，及妇人带下，月水往来不调，手足疼痛著床，服之令人肥健方。

麻子一石 法曲一斗

右二味，先捣麻子成末，以水两石，著釜中，蒸麻子极熟，炊一石米，顷出滓，随汁多少，如家酝法，候熟，取清酒随性饮之。

头 面 风

芎藭酒：治脑风头重，颈项强，眼眵眵泪出，善欠，目欲眠睡，憎风，剧者耳鸣，满眉眼疼，闷吐逆，眩倒不自禁，诸风乘虚，经五藏六腑皆为癫狂，诸邪病悉主之方。

芎藭 辛夷 天雄 人参 天门冬 柏子仁 磁石 石膏 茵芋 山茱萸 白头翁 桂心 秦艽各三两 松罗 羚羊角 细辛 薯蓣 菖蒲 甘草各二两 防风四两 云母一两，烧令赤，末为粉

右二十一味，㕮咀，以酒二斗渍七日，

初服二合，渐加至五合，日三。有女人少时患风眩，发则倒地，为妇积年无儿，服此酒，并将紫石门冬丸服之，眩瘥，生儿平复。紫石门冬丸方，见妇人门求嗣。

治头眩屋转，眼不得开方：翼名人参汤。

人参 当归 防风 黄耆 麦门冬 芍药各二两 独活 白术 桂心各三两

右九味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

防风汤：治风眩呕逆，水浆不下，食辄呕，起即眩倒，发有时，手足厥冷方。

防风 防己 附子 乾姜 甘草各一两 蜀椒 桂心各二两

右七味，㕮咀，以水四升，煮取二升，分三服，日三。古今录验用白术一两。

又方：治头风眩欲倒，眼旋屋转脑痛方。

防风 枳实 杏仁 芎藭各三两 茯神 麻黄 前胡 生姜 半夏各四两 细辛二两 竹沥三升

右十一味，㕮咀，以水六升合竹沥，煎取二升七合，分三服，频服三两剂佳。

茵芋汤：治风虚眩眼暗方。

茵芋一分 人参 甘草 苁蓉 黄耆 茯苓 秦艽 厚朴^① 乌喙各^②二两 防风六^③两 山茱萸 松实各三两

右十二味，㕮咀，以水一斗，煮取二升半，分五^④服，强者一日夜尽，羸劣分五服，二日尽。

鸱头酒：治风头眩转，面上游风方。

飞鸱头五两^⑤ 茯神一方无 防风 芎藭 薯蓣各四两 葛根 桂心 细辛 人参 天雄 乾姜 枳实 贯众 蜀椒各三^⑥两 独活二两 麦门冬一作天门冬 石南一作石膏各五两 山茱萸一

① 朴：备急千金要方此下有“各一两”三字。

② 各：备急千金要方无此字。

③ 六：备急千金要方作“十”。

④ 五：备急千金要方作“三”。

⑤ 两：备急千金要方作“枚”。

⑥ 三：备急千金要方作“二”。

升

右十八味，㕮咀，绢囊盛，清酒四斗，渍六宿，初服二合，日再服，稍加以知为度。

大三五七散：治头风眩，口喎目斜，耳聋方。

天雄 细辛 各三两 山茱萸 乾姜 各五两
薯蓣 防风 各七两

右六味，治下筛，清酒服五分匕，日再，不知稍加。千金翼云：亦治面骨疼。和剂局方加减三五七散，治八风五痹，瘫痪痹曳，口眼喎斜，眉角牵引，项背拘强，牙关紧急，心中愤闷，神色如醉，遍身发热，骨节烦疼，肌肉麻木，腰膝不仁，皮肤瞤动，或如虫行。又治阳虚头痛，风寒入脑，目旋运转，有似舟船之上，耳内蝉鸣，或如风雨之声，应风寒湿痹，脚气缓弱等疾，并皆治之。医方大成、南北经验方、袖珍方、永类铃方治八风五痹，肢体不仁，大治风寒入脑，阳虚头痛，畏闻人声，目旋运转，耳内蝉鸣，应有湿痹，脚气缓弱并治。山茱萸大成去核 茯苓去皮 乾姜炮。各三斤。集成二斤 防风去芦，四斤 附子三十五箇 细辛一斤八两 一方天雄、细辛各三钱，乾姜、山茱萸各五钱，山芋、防风各七钱。右为细末，每服二钱，温酒调下，食前服，即大三五积^①散。简易方治证与局方同。防风四两 山茱萸 茯苓去皮 乾姜炮。各三两 细辛一两半 附子二介，炮，去皮脐 右为细末，每服二钱，温酒调下。圣惠方治风头旋，目疼，体痛。防风 山茱萸 川芎 甘菊花 细辛 天雄炮 山药 各半两 为细末，每二钱，温酒调，食前服，名山茱萸散。全生方治头面风，多汗，恶风头痛，不可以风谓之，头面风，用川白芷三两 山茱萸 山药 甘菊花 细辛 天雄 粉草 各半两 为末，每二钱，温酒调下，不拘时，名白芷散。本事方治风暗头晕，用山茱萸一两 山药 人参 茯神 甘菊花 大川芎 各半两 细末，每二钱，温酒调下，不拘时，日二三服，名川芎散。管见大全良方同。

小三五七散：治头风目眩，耳聋方。

天雄^②三两 薯蓣七两 山茱萸五两

右三味，治下筛，以清酒服五分匕，日再，不知稍增，以知为度。

茯神汤：治风，眩倒屋转，吐逆，恶闻人声方。

茯神 独活 各四两 黄耆 远志 防风 各五两 生姜三两 甘草 人参 当归 牡蛎 白术 苁蓉 附子 各二两

右十三味，㕮咀，以劳水一斗二升，煮取三升，服五合，一日夜尽。

防风散：治头面风，在眉间，得热如虫行，或头眩目中泪出。

防风五两 桂心 天雄 细辛 朱砂 乾姜 人参 乌头 附子 各二两 莽草 茯苓 当归 各一两

右十二味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

又方：治风，头眩恶风，吐冷水心闷方。

防风二两 泽泻 一作泽兰 天雄 一作人参 细辛 附子 薯蓣 茯苓 各一两 白术二两半 桂心一两半 乾姜半两

右十味，治下筛，酒服方寸匕，常令酒气相接，则脱巾帽，解发梳头百过，复投一升酒，便洗手足，须臾自热，解发以粉粉之，快然便熟眠愈，亦可洗头面汗出。翼云：如服寒食散法。

治风眩，翻倒无定方：

独活六两 石膏 蒺藜 各四两 枳实三兩。一方用松实

右四味，㕮咀，以清酒八升，煮取四升，顿服之，以药滓熨头，覆眠取汗，觉冷，又内铛中炒令热熨之。圣惠方治风头旋，起倒无定，宜服枳实散方：枳实三分微炒令黄 独活一两半 石膏一两 蒺藜一两 右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以酒一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治患头眩运，经久得瘥后，四体渐羸，

① 积：太平惠民和剂局方作“七”。

② 七：备急千金要方作“十”。

食无味，好食黄土方：

曲二斤 白术三斤

右二味，为末，酒和，并手丸，如梧桐子，曝乾，饮服三十丸，日三，断食土为效。

治头中五十种病方：

巴戟 菊花 芎藭 乾姜 栝蒌根 防风 石南 白术 乌头 山茱萸 附子 细辛 薯蓣 蜀椒 乾地黄 人参 桔梗 秦艽 泽泻 甘草 天雄 羌活 各等分

右二十二味，治下筛，以酒服方寸匕，日三。

摩头散： 治同前。

茺菴 半夏 蜀椒 各六分 乌头 八分 桂心 七分 莽草 四分 附子 细辛 各一两

右八味，治下筛，以大酢和摩头，记日数，三日头肤痛，四五日后，一著药如前，十日以酢浆洗头，复摩药即愈。若生息肉，并喉咽中息肉，大如枣欲塞，以药摩之即愈；耳鼻齿有疾，并用之良。

入顶散： 治头面胀满，脑瘕偏枯，发作有时，状似刀刺，失声阴阴然疼，面目变青方。

山茱萸 芎藭 防风 独活 各一两半 细辛 莽草 白术 薯蓣 牛膝 石南 甘草 各一两 乌头 通草 菖蒲 附子 麻黄 天雄 蜀椒 桔梗 各一两六铢

右十九味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

杏仁膏： 治上气，头面风头痛，胸中气满，贲胝气上下往来，心下烦热，产妇金疮百病方。

杏仁一升，去皮尖双仁者，不在用

右一味，捣研，以水一斗，滤取汁，令尽，以铜器煑火上，从旦煮至日入，当熟如脂膏，下之，空腹酒服一方寸匕，日三，不饮酒者，以饮服之。慎猪、鱼、蒜、酢。 卫生易简方治头风，用杏仁一升，去皮尖双仁，水研绞汁，熬如膏，和酒或羹粥内，搅二匙，食后服，十日后，汗出永差。

大豆酒： 治头风方。 肘后方治头风头痛。

大豆三升，炒令无声

右一味，先以一斗二升瓶，盛清酒九升，乘豆热即倾著酒中，密泥头，七日温服之。

治中风头痛发热，耳颊急方：

麻黄 葛根 石膏 桂心 各三两 附子 芍药 甘草 秦艽 防风 各二两 生姜 五两

右十味，咬咀，以水一斗，煮取三升，分三服，覆取汗。

薯蓣散： 治头目有风，牵引目睛疼痛，偏视不明方。

薯蓣 三两 细辛 一两半 秦艽 天雄 各二两 独活 桂心 山茱萸 各二两半

右七味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

治头中痛身热风热方：

竹沥^①三升 升麻 生姜 杏仁 各三两 芍药 柴胡 各四两 石膏 生葛根 各八两

右八味，咬咀，以水六升，合竹沥煮取二升七合，分三服。

菊花散： 治头面游风方。

菊花 一两 细辛 附子 桂心 乾姜 巴戟 人参 石南 天雄 茯苓 秦艽 防己 各二两 防风 白术 山茱萸 薯蓣 各三两 蜀椒 五合

右十七味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

治头面上风方：

松脂 石盐 杏仁 蜜蜡 各一两 薰陆香 二两 蓖麻仁 三两

右六味，熟捣作饼，净剃百会上发，贴膏，膏上安纸，三日一易，若痒，刺药上，不久风定。

治头风方： 服荆沥不限多少取，瘥止。

又方： 捣蒴藿根一升，酒二升，渍服汗出止。

又方： 蔓荆子一升，为末，绢袋盛，以酒一斗，浸七宿，温服三合，日三。

又方： 腊月乌鸡屎一升，炒令黄，为

① 三：备急千金要方作“二”。

末，绢袋盛，以酒三升浸，温服，任性，常令醺酣。

又方：七月七日，麻勃三斗，麻子一石，末相和蒸之，沸汤一石五斗，三遍淋之，煮取一石，渍神曲二十斤，令发酵，黍米两石五斗，熟封三七日，服清一升，百日身中涩皮，八风、胸膈、五脏、骨髓、伏风百病悉去。

治卒中恶风头痛方：

捣生乌头以大酢和，涂故布上，薄痛处，须臾痛止，日夜五六薄，逐痛处薄之，捣乌头须去皮。

又方：盐一升，为末，以麻油二升，煎一宿，令消尽，涂头，石盐尤良。

又方：芥子为末，酢和傅头，一周时。

沐头汤：治肺劳热，不问冬夏老少，头生白屑，搔痒不堪，然肺为五脏之盖，其劳损伤肺，气冲头顶，致使头痒，多生白屑，搔之随手起，人多患此，皆从肺来，世呼为头风也。

大麻子 秦椒各三升 皂荚屑五合 肘后无

右三味，熟研，内泔中一宿渍，去滓，木匕搅百遍，去劳，乃用沐头发际，更别作皂荚汤濯之，然后傅膏。

又方：

菊花 独活 茵芋 防风 细辛 蜀椒 皂荚 杜蘅 莽草 桂心

右十味，各等分，可作汤沐及熨之。

又方：

猪椒根三两 麻黄根 防风各二两 细辛 茵芋各一两

右五味，咬咀，以水三斗，煮取一斗，去滓，温以沐头。

又方：葶苈子煮汤以沐，不过三四度愈。肘后方治头风，捣葶苈子以汤淋取汁，洗头上。

又方：蜀椒二升，以水煮取汁，沐发良。

又方：以桑灰汁沐头，去白屑，神良。治头项强，不得顾视方：

蒸好大豆一斗，卫生易简方一升。令变色，内囊中枕之。

又方：常以九月九日，取菊^①作枕袋，枕卧良。

又方：八月后，取荆芥铺状^②。又作枕，枕头，立春日去之。

又方：穿地作小坑，烧令赤，以水沃之，令小冷，内生桃叶满其上，布席就卧，令项当药上，以衣著项两边，令气蒸病上，卫生易简方作人。汗出良久愈。若病大者，作地坑亦大。

犀角汤：治风毒热，头面肿方。

犀角 生姜各二两 苦参 栝蒌根 防风 各一两 石膏六两 黄芩 青木香 升麻各三两 防己一两半 竹叶两握

右十一味，咬咀，以水七升，煮取二升，分三服，相去十里久，内消不利。

防风散：治头面遍身风肿方。

防风二两 白芷一两 白术三两

右三味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

治卒中风，头面肿方：

捣杏仁如膏，以鸡子黄合捣，令相得，傅帛上，厚裹之，自乾，不过八九傅瘥。肘后方杵杏仁如膏，傅之。寿域神方同。卫生易简方用杏仁研如膏，傅之，或用猪脂，和傅之。

风

眩 前卷既有头面风方，风眩不当分出，思邈盖以此是徐嗣伯方，不可以余方相杂，故此特立风眩方条，专出徐氏方焉。

徐嗣伯曰：余少承家业，颇习经方，名医要治，备闻之矣。自谓风眩多途，诸家未能必验，至于此术，鄙意偏所究也，少来用之，百无遗策，今年将衰暮，恐奄忽不追，故显明证论，以贻于后云尔。夫风眩之病，起于心气不定，胸上蓄实，故有高风面热之所为也。痰热相感而动风，风心相乱则闷瞤，

① 菊：备急千金要方此下有“花”字。

② 状：备急千金要方作“床”。

故谓之风眩，大人曰癲，小儿则为痼，其实则一，此方疗治，万无不愈。但恐证候不审，或致差违，大都忌食十二属肉，而责豚为患，发多气急，气急则死，不可救，故此一汤，是轻重之宜，勿因此便谓非患，所治风眩汤散丸煎，凡有十方，凡人初发，宜急与续命汤也，困急时，但度灸穴，便火针针之，无不瘥者。初得针竟便灸最良，灸法次列于后，余业之以来，三十余年，所救活者，数十百人，无不瘥矣。后人能晓此方，幸勿参以余术焉。

续命汤：治风眩，发则烦闷无知，口沫出，四体角弓，目反上，口噤不得言方。

竹沥一升二合 生地黄汁一升 龙齿 生姜 防风 麻黄各四两 防己三两 附子三分 石膏七两 桂心二两

右十味，㕮咀，以水一斗，煮取三升，分三服，有气加附子作①一两、紫苏子五合、橘皮半两，已服续命汤，口开，四肢尚未好定，而心中尚不除者，紫石汤主之，方见癲痼门。紫石煮散是也。神巧万全方 龙齿末 防风 麻黄去节，各二两 防己附子炮，各一两半 石膏三两半 桂心一两 右件捣为粗散，每服四钱，水一大盏，生姜半分，竹沥、生地黄各二合，同煎八分，滤去滓服。有气加附子半两、紫苏子二合、橘皮一分，同杵为散。

责豚汤：治气奔急欲绝者方。

吴茱萸一升 石膏 人参 半夏 芎藭各三分 桂心 芍药 生姜各四分 生葛根 茯苓各十②分 当归四两 李根皮一斤

右十二味，㕮咀，以水七升，清酒八升，煮取三升，分三服。

防己地黄汤：治言语狂错，眼目霍霍，或言见鬼，精神昏乱。

防己 甘草各二两 桂心 防风各三两 生地黄五斤，别切，勿合药渍，疾小轻用二斤

右五味，㕮咀，以水一升，渍一宿，绞汁，著一面，取滓，著竹箬上，以地黄著药滓上，于五斗米下蒸之，以铜器承取汁，饭

熟以向前药汁，合绞取之，分再服。

薯蓣汤：治心中惊悸，而四肢缓，头面热，心胸痰满，头目眩冒，如欲摇动者方。

薯蓣 麦门冬 人参各四两 生地黄 前胡 芍药各八合③ 枳实 远志 生姜各三分 茯苓 茯神各六分 半夏五分 甘草 黄芩 竹叶各二④分 秫米三合

右十六味，㕮咀，取江水，高举手杨⑤三百九十下，量取三斗，煮米，减一斗，内半夏，复减九升，去滓下药，煮取四升，分四服，无江水处，以千里东流水代之，按手令上头也。秦中无江水，泾谓⑥水可用。诸葛灌劔由⑦尚取之。

防风汤：服前汤后，四体尚不凉冷，头目眩转者，服之此汤大胜，宜长将服，但药中小小消息，随冷暖耳，仍不除瘥者，依此方。

防风 石膏 人参 赤石脂 白石脂 生姜 龙骨 寒水石 茯苓各三分 桂心二分 紫石一分

右十一味，㕮咀，以水八升，煮取三升，分三服。凡用井花水者，取清静也，今用江水无泥又无砂秽，源泉远涉，顺势归海，不逆上流，用以治头，必归于下，故也。

薯蓣煎方：

薯蓣二十分 甘草十四分 泽泻 人参 黄芩各四分 当归 白敛 桂心 防风 麦门冬⑧三分 山茱萸 桔梗 芍药 紫苑 大豆黄卷 乾地黄 白术 芎藭 乾姜 蜀椒各二分。已上二十味，并用捣筛 生地黄十八斤，捣绞取汁，煎令余半 獐鹿杂髓⑨二升 鹿角胶八两 大枣八十枚 麻子仁 研蜜各三升 桑根皮五升，忌网土自出土者，大毒，大忌近禽

① 作：备急千金要方作“威”。

② 十：备急千金要方作“六”。

③ 合：备急千金要方作“分”。

④ 二：备急千金要方作“一”。

⑤ 杨：备急千金要方作“扬”。

⑥ 谓：备急千金要方作“渭”。

⑦ 由：备急千金要方作“日”。

⑧ 冬：备急千金要方此下注有“各”字。

⑨ 髓：此下注文脱字，备急千金要方作“八两”。

屋垣墙下、沟渎边者，皆不中用

右二十七味，以清酒二斗四升，煮桑白皮、麻子、枣得一斗，去滓，次下地黄汁，胶、髓、蜜煎减半，内前诸^①末，并煎合可丸，如鸡子黄大，饮服一枚，日三，稍加至三丸。

薯蕷圆：治头目眩冒，心中烦郁，惊悸狂癫方。

薯蕷二十八分 甘草二十分 鹿角胶 大豆黄卷 桂心各七分 乾地黄 神曲 当归 人参各十分 麦门冬 防风 黄芩 芍药 白术各六分 柴胡 桔梗 茯苓 杏仁 芎藭各五分 白敛 乾姜各三分 大枣一百枚，取膏

右二十二味，为末，合白蜜枣膏丸，如弹丸，先食服一丸，日三。

天雄散：治头目眩运，屋旋倒者方。

天雄 防风 芎藭 人参 独活 桂心 葛根各三分 莽草四斤^② 白术 远志 薯蕷 茯神 山茱萸各六分

右十三味，治下筛，先食以菊花酒，服方寸匕，日二，渐加至三匕，以知为度。菊花酒法：九月九日，取邓州甘菊花，暴乾，作末，以米饴中蒸作酒。

人参圆：治心中时恍惚不定者方。

上党人参 鬼白 铁精 牛黄 丹砂 雄黄 大黄 菖蒲 防风各一两 蜥蜴 赤足蜈蚣各一枚

右十一味，为末，蜜丸如梧子大，用前菊花酒，服七丸，日三夜一，稍加之。合药勿用青纸，忌见妇人、青衣人、丧孝不具足人，及浊秽六畜鸡犬鼠等。

灸法：

其法以绳横度口至两边，既得口度之寸数，便以其绳一头，更度鼻，尽其两边，两孔间，得鼻度之寸数，中屈之，取半，合于口之全度，中屈之，先觅头上回发，当回发灸之，以度度四边，左右前后，当绳端而灸，前以面为正，并依年壮多少，一年凡三灸，皆须疮痂，又灸壮数如前，若连灸，火气引

上，其数处回发者，则灸其近当鼻也。若回发近额者，亦宜灸，若指面为瘰，则阙其面处，然病重者，亦不得计此也。

治瘙痒方：

以水银和胡粉傅之。

治身体搔痒，白如癣状者方：

楮子三枚 猪胰一具 盐一升 矾石一两

右四味，以苦酒一升，合捣令熟，以拭身体，日三。

治沥易方：肘后方治沥疡风，及三年。

以三年醋，磨乌贼骨，先以布摩肉，令赤，次傅之。圣惠方同

又方：醋磨硫黄，涂最上。集验又磨附子、硫黄上使熟，将卧以布拭病上，乃以药傅之。圣惠方治身沥疡风斑驳方 附子半两，去皮脐 硫黄半两，细研 右件药捣同研为散，用米醋调如膏，先以布揩病处，令赤痛，即涂之。

又方：取途中先死蜣螂，捣烂涂之，当揩令热，封上一宿瘥。

又方：

白敛 薰陆香

右二味揩，上作末，水服瘥。

又方：

硫黄 雌黄^③ 槲皮烧 蛇蛻一具

右四味，各等分，捣筛，以清漆合和，薄涂白处，欲涂时，先以巴豆半截，拭白处，皮微破，然后傅之，不过三两度。

又方：

硫黄 水银 矾石 灶墨各等分

右四味，捣筛，内坩子中，以葱叶中涕和研，圣惠方和研令水银星尽。临卧傅病上。

九江散：治白癫风，及二百六十种大风方。

当归七分 石南 六分 附子 踯躅 秦艽 菊花 乾姜 防风 雄黄 麝香 丹砂 斑

① 诸：备急千金要方此下有“药”字。

② 斤：备急千金要方作“分”。

③ 雌黄：备急千金要方作“水银”。

猫各四两 蜀椒 连翘 鬼箭羽 石长生 知母各八两^① 鬼臼十一分 人参 王不留行 石斛 天雄 乌头 独活 防己 莽草各十二分 水蛭伯枚 蜈蚣三枚 虻虫 地胆各十枚

右三十味，诸虫皆去足翅，炙令熟为散，以酒服方寸匕，日再，其病入髮，令髮白，服之百日愈，髮还黑。

又方：

天雄 白敛 黄芩各三两 乾姜四两 附子一两 商陆 踯躅各一升

右七味，治下筛，酒服五分匕，日三。

治白癩方 圣惠方治白癩风，遍身斑点，瘙痒。烟霞圣效方治白癩风，因风虚生也，出广济方。

矾石 硫黄

右二味，各等分，为末，酢和傅之。

又方：平旦以手掉取韭头露，涂之极效。

又方：以酒圣惠方温酒。服生胡麻油一合，日三，圣惠方，半合，日二服。稍稍加至五合。慎生冷、猪、鸡、鱼、蒜等百日，服五斗瘥。

又方：取罗摩草，煮汁拭之，亦揩令伤，搗白汁涂之。圣惠方治白癩风，罗摩白汁，右先用生布揩之，令微破涂之，不过三上差。卫生易简方同。

又方：石灰松脂酒主之。方见下恶疾大风。

又方：以蛇蛻皮熬，摩数百过，弃置草中。

又方：树空中水洗，桂为末，唾和涂之，日三。

又方：以水银数数拭之，令热即消，瘥乃止。

治凡身诸处白驳，渐渐长似癣，但无疮方：

取鳙鱼脂涂之，先揩病上使痛，然后涂。圣惠方右先洗拭驳上，揩令燥痛，以鱼脂涂上便愈。肘后方云：甚者不过三度。

恶疾大风

商豆治恶疾方：

细粒乌头，择取摩之，皮不落者，取三月四月天雄乌头苗及根，净去土，勿洗，捣绞取汁，渍豆一宿，漉出，曝乾，如此七反，始堪服，初服三枚，渐加至六七枚，日一服。禁房室、猪、鱼、鸡、蒜。毕身毛髮即生，犯药不瘥。圣惠方治大风癩，恶疮至甚，服黑豆方：小粒黑豆拣取一升，四月采天雄乌头，净去土，勿洗，捣绞取汁二升，渍豆一宿，早晨漉出，曝乾，如此七度止，每服取豆三粒，以温酒下，渐加至六粒，日三服。神巧万全方同。

岐伯神圣散：治万病，痈疽癰疥，风痿骨肉疽败，百节痛，眉毛髮落，身体淫淫跃跃痛痒，目痛眦烂，耳聾齿齲，痔瘻。

天雄 附子 茵芋 外台作茜草 踯躅 细辛 乌头 石南 乾姜各一两 蜀椒 防风 菖蒲各二两 白术 独活各三两

右十三味，治下筛，酒服方寸匕，日三，勿增之。

狼毒散：治恶疾方。

狼毒 秦艽各等分

右二味，治下筛，酒服方寸匕，日三，服五十日愈。

又方：炼松脂，投冷水中二十遍，蜜丸，服二丸^②，卫生易简方服三丸。寿域神方用松脂不拘多少，炼化，投冷水二十日，取出为丸，每服二钱。遇饥则服之，日三。鼻柱断离者，二百日服之瘥，断盐及杂食房室。圣惠方治中大风癩疾，神巧万全方此下有肌肉顽痹四字。松脂丸方：炼成松脂白色者，不计多少。右件药捣熟研，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服食前，以蜜汤下二十丸，琐碎录一十九。服一月后大效。直指方治大风，单服炼成松脂。

又方：天门冬酒，服百日愈。

石灰酒：主生毛发眉须，去大风方。

石灰一石，拌水和湿，蒸令气足。松脂成炼十斤，为末。上曲一斗二升 黍米一石

① 两：备急千金要方作“分”。

② 丸：备急千金要方作“两”。

右四味，先于大锅内炒石灰，以木札著灰中，火出为度，以枸杞根锉五斗，水一石五升，煮取九斗，去滓，以淋石炭三遍，澄清，以石灰汁和渍曲，用汁多少，一如酿酒法讫，封四七日开服，常令酒气相及为度，百无所忌，不得触风，其米泔及饭糟一事，已上不得使人畜犬鼠食之，皆令深埋却，此酒九月作，二月止，恐热，隔上热者，服后进三五口冷饭压之，妇人不能饮食，黄瘦积年及瘴风，不过一石即瘥。其松脂末，初酸酿酒摊饭时，均散著饭上，待饭冷乃投之，此酒饭宜冷，不尔即醋，宜知之。

治大风，眉须落，赤白癞病，八风十二痹，筋急肢节缓弱，飞尸遁注，水肿痈疽，疥癣恶疮，脚挛手折，眼暗洞泄，痰饮宿癖寒冷方：

曲二十五斤 商陆根二十五斤马耳切之

右二味，合于瓮中，水一斛，渍之，炊黍米一石，酿如家法，使曲米相淹，三酸毕，

密封，三七日开，视曲浮酒熟，澄清，温服三升，轻者二升，药发吐下为佳。宜食弱煮饭，牛羊鹿肉羹，禁生冷醋滑，及猪犬鸡鱼等。圣惠方治大风，眉鬓堕落，皮肉顽痹，筋脉不利，商陆酿酒方：商陆二十五斤，切曲十五斤，捣碎右件药，以水二斗，拌渍，炊黍米一石，酿如常法，三酸讫，封七日开，看酒熟，澄清，随性温服之，病重者服至三斗，轻者二斗，药发得吐下佳，宜吃鹿肉羹臠。

治风身体如虫行方：

盐一斗，水一石，煎减半，澄清，温洗浴三四遍，肘后方三五度。并疗一切风。

又方：以淳灰汁洗面，不过一月①。

又方：以大豆渍饭浆水，旦旦温洗面，洗头发，不净加少面，勿以水濯之，不过十度。

又方：成炼雄黄、松脂各等分，蜜和丸，如梧桐子大，饮下十丸，日三服，百日愈。慎酒肉盐豉等。

千金月令

治中摊缓风，四肢不遂方：

黄明胶二两，炙，末 豉三合

右以水一升，煮豉，取八合，去滓，内胶，胶销，空腹服，分再服，覆取汗，三两日一服。寿域神方治瘫痪风，及诸风手脚不遂，腰腿无力，用阿胶驴皮熬者，炙令微起，以水一升，煮香豆豉二合，去滓，入胶煮六七沸，胶烊化尽，顿服之，仍煮葱豉粥一升，任意服食三四剂则止。卫生易简方同。

又方：

生地黄汁一升 竹沥一升 独活二两 防风一两 附子一颗，炮

右锉合，煮取半升，去滓，空腹顿服。忌生冷、猪肉、豉汁。

治毒风入骨髓疼痛方：

右取虎骨炙令黄，粗捣绢袋盛，酒浸三

日后，量器温服之。圣惠方：虎骨一具，涂酥炙微黄，右捣碎，以生绢袋盛，以清酒三斗，于瓷瓶中浸，密封，春夏七日，秋冬二七日，后开取，每日随性稍稍饮之，其酒旋取旋添，以差为度。

治卒风毒肿方：

牛蒡根汁三合 盐花一合

右以酒一升，煎如饴，涂之。圣惠方治热毒风，攻头目，及脑中掣痛不可忍者，摩顶膏方：牛蒡根汁一升 右入无灰酒半升，盐花半匙，以慢火煎令成膏用之，摩顶，风毒气散，痛即自止，亦治时行头痛甚良。

肘后方治风，头及脑掣痛，不可禁者，摩膏主之。取牛蒡茎叶，捣取浓汁二升，合无灰酒一升，盐花一匙，头塘火煎，令稠成膏，

① 月：备急千金要方作“日”。

以摩痛处，风毒散自止。亦主时行头痛，摩时须极力令作热，乃速效。冬月无叶，用根代之亦可。

治中风白汗方：肘后方若中暴风，白汗出如水者。

石膏 甘草炙，等分为末

右以酒服一匕，日移一丈一服。忌蒜。

治中风耳痛有汁方：

右熬杏仁，令赤黑色，捣如膏，绵裹塞耳中，日三易之。

治白癫风方：

右取白蒺藜子，生捣为末，作汤服之。

治卒患偏口喎语涩方：

羚羊角屑 茯苓 人参 通草各一两

右捣筛，蜜和为丸，空腹，淡竹沥下二十丸，晚服以荆沥下之。忌热面。

又方：

右取衣中白鱼，摩耳下穴，口向左，摩右穴，向右摩左穴，似正即止。卫生易简方同。

治风头痛方：

右以豉汤洗头，避风即差。肘后方同。

治头旋及风痰耳鸣方：

菊花 枳实炒 前胡 芎藭 白鲜皮已上

各四分 防风五分 茯神六分 淡竹叶四十九片，切

右锉，用水一升八合，煎取七合，去滓，食后分温两服。忌热面、炙煨、醋物。

治风毒顽痹挛臂方：

乌雌鸡一只理如食法 生附子六两削去皮尖

右以附子末加鸡上，以火炙令黄焦，捣为散，空腹酒下一钱匕，日两服，渐加止三服，以皮中痹瘳为度。忌猪肉、热面、豉汁。

四月此下，运化玄枢有十六日三字。榧方熟，可以饮榧酒，尤治风热之疾。运化玄枢夏四月十六日，宜饮桑榧酒，尤治风热之疾，亦可造榧煎。

造榧煎法：

榧汁三斗 白蜜两合 酥一两 生姜一合

右重汤煮榧汁，取三升，入盐酥等，煮令得所，于不津器中贮之，每服一合，和酒调服，理百种风疾。

海上仙方

头风头痛

头风头痛两太阳，芎芷石膏三味强^①，细末三钱热茶下，当时吃了便安康。

破伤风

破伤风动莫迟延，脱壳秋蝉三二钱，紧了牙关难治疗，烧灰酒下便依然。

圣惠方

治中风失音不语诸方

夫喉咙者，气之所以上下也；喉厌巢氏病源会厌，下同。者，音声之门户也；舌者，声之机；口巢源作唇。者，声之扇也。风寒客于喉厌之间，故卒然无音，皆由风邪所伤，故致失音不语也。又醉卧当风，令人失音也。

治中风失音不语，两目不开，短气欲死，宜服防风散方：

防风^②□两，去芦头 羚羊角屑一两 独活一两 赤箭^③□ 当归一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 秦艽半两，去苗 麻黄二两，去根节 桂心一两 前胡半两去芦头 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

① 强：海上方作“全”。
② 风：此下注文脱字，太平圣惠方作“壹”。
③ 一：此下脱字，太平圣惠方作“两”。

治中风失音不语，气厥无脉，手足拘急，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 细辛一两 乾姜一两，炮裂，铤 甘草一两，炙微赤，铤 麦门冬三两，去心 桂心一两 独活一两 当归一两 白术一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风失音不语，宜服羌活饮子方：

羌活一两 人参半两，去芦头 附子半两，炮裂，去皮脐 甘草一分，炙微赤，铤 荆沥一大盏 竹沥一大盏 生地黄汁一大盏

右件药，细铤，以三味汁煎诸药，至一大盏半，去滓，不计时候，分温四服。

治中风失音不语，昏沉不识人，宜服竹沥饮子方：

竹沥二合 荆沥二合 消梨汁二合 陈酱汁半合

右件药，相和微暖，细细灌口中即差。

治中风失音不语，手脚转动不得，宜服荆沥饮子方：

荆沥三合 生葛根汁二合 蜜一匙 竹沥三合

右件药，相和令匀，不计时候，温服二合。

治中风失音不语，烦热头痛，宜服乌金煎方：

黑豆二升，净淘过 羌活二两 独活二两 荆芥^①二两

右件药，捣罗为末，先以水五大碗，煮黑豆令烂，去豆，取汁，入诸药末，慢火煎十馀沸，次渐入无灰酒一升，煎为膏，盛于瓷器中，每服不计时候，以温酒调下，半匙头。

治中风失音不语，宜服桂心散方：

桂心一两 羌活二两 防风二两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 赤箭一两 羚羊角屑一两 酸枣仁一两 甘草半两，炙微赤，铤

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治中风失音不语，四肢强直，宜服独活散方：

独活一两 防风一两，去芦头 桂心半两 秦艽一两，去苗 荆芥穗一两 白术一两 甘草半两，炙微赤，铤 葛根一两铤 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风失音不语，手足不遂，宜服天麻散方：

天麻一两 桂心三分 附子三分，炮裂，去皮脐 麻黄三分，去根节 防风半两，去芦头 当归半两，铤，微炒 羌活^②三分 独活三分 木香半两 细辛半两 芎藭半两 羚羊角屑半两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水酒各半中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风筋脉拘急，腰背强直，失音不语，宜服此方：

黑铅半两 水银半两，与铅同结为砂子，细研 天南星半两，炮裂 白附子半两，炮裂 犀角屑半两 朱砂半两，细研 牛黄一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，更研令匀，用软饭和丸，如绿豆大，每服不计时候，以消梨汁下五丸。

又方：

乱发一两，烧为灰 桂心一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以暖酒调下二钱，日四五服。

治中风失音立效方：

豆豉煮取浓汁，放温，稍稍服之。 肘后方治卒不得语方：煮豉汁，稍服之，一日可，美酒半升中，搅分为三，服之。 备预百要方浓煮豉汁含之。

治中风口噤不开诸方

夫中风口噤者，为诸阳经筋，皆在于头，三阳之筋，並结^{巢氏病源作络}入颌两颊，夹于口也。诸阳为风寒所客，则筋急，故口噤不开也。 巢源此下云：诊其脉迟者生。

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

治中风口噤不开，筋脉拘急，体热烦闷，宜服汉防己散方：

汉防己三两 葛根三两，锉 桂心二两 麻黄二两，去根节 甘草一两，炙微赤，锉 防风一两，去芦头 赤芍药一两 独活一两 羚羊角屑一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，放温，不计时候，拗开口灌之。

治中风心闷，口噤不开，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 防风一两，去芦头 葛根一两，锉 甘菊花一两 木通一两，锉 人参一两，去芦头 细辛一两 当归一两，锉，微炒 桂心一两 甘草二两，炙微赤，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 赤茯苓一两 汉防己一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，放温，不计时候，拗开口灌之。

治中风口噤不开，心胸满闷，宜服枳壳散方：

枳实①一两，麸炒微黄 防风二两，去芦头 甘草二两，炙微赤，锉 汉防己一两 麻黄一两，去根节 人参一两，去芦头 羚羊角屑一两 细辛一两 茵芋一两 秦艽一两，去苗 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，放温，不计时候，拗开口灌之。

治中风口噤不开，烦热闷乱，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 赤芍药一两 葛根一两，锉 独活一两 茵芋一两 甘草一两，炙微赤，锉 芍药一两 细辛一两 白术一两 麻黄一两，去根节 羚羊角屑一两 人参一两，去芦头 石膏二两 汉防己一两 川乌头一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，放温，不计时候，拗开口灌之。

治中风口噤不开方：

独活二两 桂心一两

右件药捣碎，以酒水各一大盏半，煎取两盏，去滓，放温，不计时候，分为五服，拗开口灌之。肘后方独活四两，桂二两，以酒水二升，煮取一升半，分为三服，开口与之，温卧火灸，令取汗。

治中风口噤不开，筋脉拘急疼痛，宜服独活散方：

独活二两 黑豆一合半②，炒熟 天南星半两，炮裂 生姜半两 防风一两，去芦头

右件药，细锉，以清酒五大盏，煎取三大盏半③，入于瓶中，密盖良久，去滓，放温，不计时候，拗开口，灌半中盏，频频服，以效为度。

治中风口噤不开，心膈壅闷，宜服消梨饮子方：

消梨三颗，绞取汁 酒一合 薄荷汁一合 生姜汁一合 竹沥一合

右件药，相和煎三两沸，分温三服，不计时候，拗开口灌之，服尽立效。

治中风口噤不开，不知人事欲死者，宜服此方：

乾蝎一枚，尾全者，微炒 瓜蒂七枚 赤小豆三七枚

右件药捣细罗为散，每服半钱，不计时候，用粥饮调，拗开口灌之，当吐，如未吐，即再服。

治中风口噤不开方：

附子一两，生，去皮脐 甘草半两，生，锉 桂心半两

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如皂荚子大，每服不计时候，以暖酒，研一丸，拗开口灌之，立效。

治中风口噤不开备急膏方：

川乌头半两，烧为灰 膩粉一分 龙脑一分

① 实：太平圣惠方作“壳”。

② 半：太平圣惠无此字。

③ 半：太平圣惠方无此字。

右件药，都研令匀，以黄牛胆汁调成膏，以瓷器盛，每服不计时候，以温酒调一钱，拗开口灌之，续以豆淋酒投之。

又方：

独活一两，捣碎 黑豆二合，炒熟

右件药，以酒二大盏，煎至一盏三分，去滓，分为三服，放温，不计时候，拗开口灌之。

治中风不得语诸方

夫中风不得语者，由心脾受于风邪故也。脾脉络于胃，夹咽连舌根，散于舌下，心之别脉，系于舌本，今二经俱为风毒所搏，故令舌强不得语也。

治中风身体缓弱，口眼不正，舌强难语，奄奄忽忽，神情闷乱，宜服麻黄散方：

麻黄一两，去根节 汉防己一两 黄芩一两 桂心一两 赤芍药一两 甘草半两，炙微赤，锉 防风一两，去芦头 人参一两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风不得语，身体拘急疼痛，宜服独活散方：

独活二两 桂心二两 防风一两，去芦头 当归一两，锉，微炒 赤芍药一两半 附子一两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风不得语，宜服醋石榴饮子方：

醋石榴皮一枚，锉 生姜一两，拍碎 青州枣十四枚，擘去核 黑豆二合

右件药，以淡浆水三大盏，煎至一盏半，去滓，入牛乳三两，好梨二颗，绞取汁和令匀，不计时候，温服一合。

治中风不语，舌根强硬，宜服生地黄汁饮子方：

生地黄汁一合 独活一两，锉 附子一枚，炮裂，

去皮脐 淡竹沥一合

右件药，先以水二大盏，煮独活附子取汁一盏半，去滓，内地黄汁及竹沥，更煎一两沸，不计时候，温服，半中盏。

治中风不能语，四肢强，宜服天麻散方：

天麻一两 乾蝎一两，微炒 乌蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 天南星三分，炮裂 白附子一分，炮裂 天雄半两，炮裂，去皮脐 白僵蚕三分，微炒 槟榔半两 乾姜三分，炮裂，锉 人参三分，去芦头 芎蒭半两 麻黄一两，去根节

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下一钱，频三服，以厚衣盖，汗出为度。

治中风不语，宜服桑枝饮子方：

桑枝一握，束引者 黑豆一合，布袋盛，于药中略煮三沸 独活一两 生姜一分 羌活一两

右件药，细锉，以水两大盏，煎至一盏三分，去滓，入竹沥一合，又煎一两沸，不计时候，分温三服。

治中风不语，筋脉拘急疼痛，宜服天南星散方：

天南星一两，炮裂 白附子一两，炮裂 桑螵蛸一两，微炒 白僵蚕一两，微炒 藿香一两 乾蝎二两，微炒 朱砂三分，细研 麝香一分，细研 膩粉三钱

右件药捣罗为散，入后三味，更研令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治中风舌强不语，筋骨拘急，饮食不得，翕翕发热，形神如醉，宜服牛黄丸方：

牛黄半两，细研 麝香半两，细研 白附子三分，炮裂 天麻一两 白僵蚕一两，微炒 乌蛇二两半，酒浸，炙微黄，去皮骨 附子一两，炮裂，去皮脐 羌活一两 天南星半两，炮裂 乾姜三分，炮裂，锉 桂心二分 芎蒭三分

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷酒下十丸。

治卒中风不语返魂丹方：

生玳瑁半两 朱砂半两 雄黄半两 白芥子

半两

右件药同研如面，于银器中，酒煎安息香一两为膏，和丸如绿豆大，每服不计时候，以童子小便下五丸，兼疗厕上冲恶不语，亦服五丸。

治卒中风不语，舌根强硬，宜服此方：

陈酱 五合，三年者妙 人乳汁 五合

右件药，相和研，以生布绞取汁，不计时候，少少与服，良久当语。

治风瘕诸方

夫风邪之气，若先中于阴，病发于五藏者，其状奄忽不知人，喉里噫噫然有声，舌强不能言，发汗身软，眼下鼻人左右有白者，可治，一黑一赤，吐沫者，不可治，汗不出体而直强者，皆死也。

治风瘕，舌强不能言，四肢拘急，心神恍惚，不识人，宜服麻黄散方：

麻黄 二两，去根节 石膏 二两 当归 一两，锉，微炒 芎蒭 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 茯神 一两 桂心 一两 黄芩 一两 杏仁 五十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服半两，以水一大盏，煎至七分，去滓，不计时候，温服。

治风瘕，咽喉作声，言语蹇涩，心胸不利，宜服桂心散方：

桂心 三分 防风 三分，去芦头 前胡 一两，去芦头 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓤 羚羊角屑 三分 射干 一两 甘草 半两，炙微赤，锉 独活 三分 细辛 半两

右件药捣粗罗为散，每服半两，以水一大盏，煎至七分，去滓，不计时候，温服。

治风瘕，舌强不能言，四肢拘急，迷闷不识人，宜服防风散方：

防风 二两，去芦 麻黄 二两，去根节 白术 一两 黄芩 一两 赤芍药 一两 桂心 一两 汉防己 一两 芎蒭 一两 人参 一两，去芦头 甘草 一两，炙微赤，锉 附子 一两，炮裂，去皮脐 杏仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中

盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服，服后有汗，宜避风为妙。

又方：

独活 二两 甘草 一两，炙微赤，锉 桂心 二两 羚羊角屑 一两 茯神 一两 酸枣仁 一两，微炒 赤芍药 一两 麻黄 二两，去根节 葛根 二两，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风瘕，咽中作声，舌强语涩，心膈不利，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一两 前胡 一两，去芦头 桂心 一两 芎蒭 一两 麻黄 一两，去根节 秦艽 一两，去苗 防风 一两，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 赤箭 一两，微炙 天南星 一两，炮裂 蝉壳 半两 独活 一两 茯神 一两 槟榔 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓤 桑螵蛸 半两，微炒 乾蝎 半两，微炒 牛黄 一钱，研入 朱砂 半两，细研 麝香 一钱，细研 铅霜 一分，研入

右件药捣细罗为末，入研了药，重研令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风痉诸方

夫风痉者，口噤不开，背强而直，如发痼之状，其重者，耳中策策痛，卒然身体痉直者，死也。此由风邪伤于太阳之经，复遇寒湿，则发痉也，诊其脉如似弦直上下者，是风痉也。

治风痉口禁，身体强直，不知人事，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一两 麻黄 一两半，去根节 附子 一两，炮裂，去皮脐 当归 一两，锉，微炒 桂心 一两 独活 一两半 防风 一两，去芦头 阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 天麻 一两半

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水酒各一中盏，煎至一盏三分，去滓，不计时候，分温二服。

治风痉摇头口噤，身体强直，宜服当归散方：

① 芩：此下注文脱字，太平圣惠方作“一两”。

当归一两，锉，微炒 细辛一两 防风一两，去芦头 桂心一两 独活二两 麻黄二两，去根节 附子一两，炮裂，去皮脐 薏苡仁一两 芎藭一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水酒各半中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治风痉口噤，腰背强直，不可转侧，宜服天麻散方：

天麻一两半 当归一两，锉，微炒 防风一两，去芦头 独活一两半 麻黄一两半，去根节 神巧万全方一两 桂心一两 万全方肉桂去皮 细辛一两 附子一两，炮裂，去皮脐 蔓荆子一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水酒各半中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治风痉口噤，身体强直，迷闷不识人，宜服白附子丸方：

白附子一两，炮裂 白僵蚕一两，微炒 膩粉一分 神巧万全方一两 天南星三分，炮裂 白花蛇一两，酒浸，炙微黄，去皮骨 神巧万全方二两 防风①□两，去芦头 麻黄一两，去根节 赤箭二两 麝香一两，细研 白术半两 羚羊角屑三分

右件药捣罗为末，入麝香、膩粉万全方无膩粉。研令匀，以糯米粥和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒研下十丸。

治风痉四肢强硬，口噤不开，宜服天麻丸方：

天麻一两 乌蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 白僵蚕三分，微炒 乾蝎三分，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锉 桂心三分 防风三分，去芦头 蝉壳三分 川乌头三分，炮裂，去皮脐 白附子三分，炮裂 羌活三分 细辛三分 独活二分 麻黄一两半，去根节 天南星半两，炮裂 羚羊角屑一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如酸枣大，每服不计时候，以温酒研下一丸。

治风痉身体强直，牙关紧急，心神昏昧，宜服牛黄丸方：

牛黄一分，细研 麝香一分，细研 朱砂三分，细

研，水飞过 龙脑一分，细研 白僵蚕半两，微炒 鹿角胶半两，捣碎，炒令黄燥 白花蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 白附子一两，炮裂 天麻一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 赤茯苓一两 白芷一两 羌活一两 独活一两 蔓荆子一两 麻黄一两，去根节 汉防己②□ 木香一两 槟榔一两 藁本一两 防风一两，去芦头 乾蝎一两，微炒 当归一两，锉，微炒

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒研下十丸。

治风痲诸方

夫风痲之状，身体无痛处，四肢不收，神智不乱，若时能言者即可治，不能言者，不可治也。

治风痲身体不收，不能言语，冒昧不识人，宜服麻黄散方：

麻黄三两，去根节 汉防己二两 桂心二两 独活一两 秦艽一两，去苗 细辛一两 芎藭一两 乾姜半两，炮裂，锉 黄芩一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 当归一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热频服，汗出为度。

治风痲四肢缓弱，无力不收，烦闷语涩，宜服芎藭散方：

芎藭二两 独活二两 赤芍药二两 赤茯苓一两 防风二两，去芦头 当归二两 石膏二③两 人参一两，去芦头 葛根一两，锉 桂心一两 羚羊角屑一两 甘草一两，炙微赤，锉 汉防己二两 麦门冬一两，去心 白术一两 磁石二两，捣碎，水淘去赤汁

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入生地黄汁半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治风痲言语不转，四肢缓弱，上焦烦壅，心气不利，宜服葛根散方：

① 风：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

② 一：此下脱字，太平圣惠方作“两”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

葛根一两，^① 麻黄一两，去根节 赤芍药一两
防风一两，去芦头 黄芩一两 汉防己一两 桂心一
两 白术一两 人参一两，去芦头 独活一两 芍药
一两 川升麻一两 牛膝一两，去苗 石膏二两 陈
橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 羚羊角屑一两 五加
皮一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入淡竹
沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治风痺心热烦闷，四肢不仁，宜服独活
散方：

独活二分 汉防己一两 秦艽三分，去苗 黄
耆半两，^② 赤芍药半两 人参半两，去芦头 茯神
半两 白术半两 芍药半两 远志半两，去心 石膏
一两 川升麻半两 防风三分，去芦头 丹参半两
甘草半两，炙微赤，^③ 天门冬半两，去心 薏苡仁半两
羚羊角屑二^④分 五加皮半两 生乾地黄三分
麻黄一两，去根节 地骨皮半两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时
候，温服。

治风痺筋脉缓弱，言语謇涩，宜服羚羊
角散：

羚羊角屑一两 川升麻一两半 桂心一两 枳
壳一两半，麸炒微黄，去瓢 茯神一两 独活一两半 麻
黄^⑤□两，去根节 葛根一两，^⑥ 附子一两，炮裂，去
皮脐 当归一两，^⑦ 酸枣仁一两 五加皮一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计
时候，温服。

治风痺四肢缓弱，心神烦闷，不能言，
宜服白鲜皮散方：

白鲜皮一两 附子一两，炮裂，去皮脐 麻黄一
两，去根节 白芷一两 白术一两 防风一两，去芦头
葛根一两，^⑧ 独活一两 汉防己一两 人参一两，
去芦头 茯神一两 甘草一两，炙微赤，^⑨ 当归一两，
^⑩ 石膏三两 桂心一两 杏仁一两，汤浸，去皮
尖双仁，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中

盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候
温服。

治风痺四肢不收，言语謇涩，不能转动，
宜服天麻散方：

天麻二两 蝉壳半两 阿胶一两，捣碎，炒令黄燥
地骨皮一两 麦门冬一两半，去心，^⑪ 薏苡仁一两
独活二两 白鲜皮一两 羚羊角屑一两 防风一两，
去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 人参一两，去芦头 牛
蒡子一两，微炒 赤芍药一两 甘草一两，炙微赤，^⑫ 桑
根白皮一两，^⑬

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以
温酒调下二钱。

治中风口面喎斜诸方

夫风邪入于足阳明手太阳之经，遇寒则
筋急引颊，故使口面喎僻，言语不正，而目
不能卒视，^⑭ 氏病源平视。诊其脉浮而迟者，可治。

治中风口面喎僻，手足不遂，风入于藏，
则语不得转，心神昏闷，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 羌活二两 川升麻一两 桂
心一两 芍药二两 羚羊角屑二分 麻黄一两，去根
节 杏仁二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 薏苡仁一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，重煎一
两沸，不计时候，稍热服，如人行五七里，
再服，以衣盖之，汗出为度。

治中风口面不正，四肢拘急，语涩，宜
服羌活散方：

羌活一两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 蔓荆子
一两 细辛三分 桂心三分 当归三分，微炒 芍药
三分 羚羊角屑三分 白鲜皮三分

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一
两沸，不计时候，温服。

治中风口面喎斜，筋脉拘急，宜服麻黄
散方：

麻黄一两，去根节 芍药一两 川升麻一两 防

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 黄：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

风一两，去芦头 汉防己一两 桂心一两 羚羊角屑一两 酸枣仁一两 秦艽半两，去苗

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治偏风口眼不正，言语蹇涩，四肢拘急，茵芋散方：

茵芋一两半 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 当归一两，锉，微炒 荆芥一两 细辛三分 桂心三分 独活一两半 天麻一两 羚羊角屑一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风口面喎斜，手脚不遂，风入藏腑，昏闷不语，腰脊如解，难以俯仰，骨痹冷疼，心惊不定，宜服独活散方：

独活一两 羌活一两 芎藭三分 桂心三分 赤茯苓一两 附子一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑三分 白僵蚕一两，微炒 天麻一两 麻黄一两，去根节 丹参三分 乾蝎一两，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以薄荷热酒调下二钱。

治中风倒仆不识人，及口面喎斜，宜服天麻散方：

天麻一两 骐驎竭一两 白僵蚕一两，微炒 乾蝎一两，微炒 防风一两，去芦头 犀角屑一两 麝香二钱，细研

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治中风口面偏斜，痰毒头疼，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁一两，微炒 羚羊角屑一两 丹参一两 防风一两，去芦头 汉防己一两 甘菊花一两 麻黄一两，去根节 羌活一两 石膏二两，细研

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治中风口眼喎斜方：

树东南①枝上蝉壳七月七日收，不限多少

右细研如粉，入寒食面，用醋调为糊，

如左斜涂右口角，右斜涂左口角，候口正，急以汤水洗去其药。

又方：

右以瓜蒌瓢②绞取汁，和大麦面和作饼子，炙令热，熨正，便止，勿令太过。得效方、经验良方、备预百要方同。琐碎录瓜蒌去子皮用穰，水调如稀糊，入大麦面调，左喎涂右，右喎涂左，才正，便急洗去。

又方：

右以蜘蛛子，摩其偏急处，叩齿，候正肘后方摩其偏急颊车上候捷正。则止，亦可向火摩之。

又方：

鳖甲一两 川乌头一两

右以二味，生用捣罗为末，以醋调涂之，欲正便拭去之。肘后方鳖甲、乌头涂之，欲正即揭去之。

治中风口面喎斜肉桂熨法：

肉桂一两半，刮去粗皮，捣罗为末

右用酒一大盏，调肉桂令匀，以慢火煎成膏，去火良久，用匙摊在一片帛上，贴在腮上，频频更用热瓦子熨，令热透，专看正，即去却桂膏，患左贴右，患右贴左。神巧万全方同。

治中风吹著口偏方：

右取蓖麻东西枝上子各七粒，研碎，手心中涂，用热水一瓷碗，安在手心上，良久，看口正便住，患左治右，患右治左。神巧万全方同。得效方御风膏治口眼喎斜，右用蓖麻子去壳，碾碎，涂在手心，以一孟子置在手心蓖麻子上，用热水置孟中，口正则急取孟子，左瘫涂右手心，右瘫涂左手心，口眼才正，急洗去药，只随病处左右贴亦可。又治产难者，烂研涂两脚心，才生下，便洗去。澹寮方蓖麻膏治中风口眼喎斜。蓖麻子不以多少，去壳，研膏。右用膏贴手心，喎左贴右，喎右贴左，贴后以锡孟盛热汤，荡所贴膏上。经验良方治患风牵引眼目，及口角喎斜，用蓖麻

① 南：太平圣惠方无此字。

② 瓢：太平圣惠方无此字。

子十四粒，烂研以油调，左斜涂右，右斜涂左，平正即洗去。

治中风口喎立效方：

右取巴豆七枚，去皮，烂研，喎左涂右手心，喎右涂左手心，仍以暖水一盏，安向手心，须臾即正，便洗去药，各预百要方同。并频抽掣中指立效。琐碎录、肘后方、玉机微义、寿域神方、卫生易简方同。

治风痹诸方

夫痹者，为风寒湿三气共合而成痹也。其状肌肉顽厚，或则疼痛，此由人体虚，腠理开，则受于风邪也。病在阳曰风；在阴曰痹；阴阳俱病，曰风痹。其以春遇痹者，为筋痹，巢氏病源此下有则筋屈三字。筋痹不已，又遇邪者，则移入于肝也，其状夜卧则惊，饮食多，小便数；夏遇痹者，为脉痹，则血脉不流，令人萎黄，脉痹不已，又遇邪者，则移入于心，其状心下鼓气，卒然逆喘不通，咽乾喜噫；仲夏遇痹，为肌痹，肌痹不已，后遇邪者，则入于脾，其状四肢懈惰，发咳呕吐；秋遇痹者，为皮痹，则皮肤无所知觉，皮痹不已，巢源此下有又遇邪三字。则入于肺，其状气奔喘痛；冬遇痹者，为骨痹，骨重不可举，不遂而痛，骨痹不已，又遇邪者，则移入于肾，其状喜胀，诊其脉大涩者，为痹，脉来急者，为痹，脉涩而紧者，为痹也。

治中风痹，头目昏闷，肢节疼痛，宜服细辛散方：

细辛一两 赤茯苓一两 白术一两 芎藭一两 柴胡一两，去苗 当归一两，锉，微炒 麻黄二两，去根节 乾姜一两半，炮裂，锉 附子一两，炮裂，去皮脐 防风一两半，去芦头 独活一两半 石膏二两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草一两，炙微赤，锉 桂心一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风痹四肢懈堕，不能白^①举，宜服麻

黄散：

麻黄一两，去根节 防风一两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 芎藭一两 桂心一两 黄芩一两 赤芍药一两 人参一两，去芦头 秦艽一两，去苗 茵芋一两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风痹关节不利，手足顽麻，宜服白花蛇散方：

白花蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 白附子一两，炮裂 磁石一两，烧酒淬七遍，细研 天麻半两 狗脊半两，去毛 侧子半两，炮裂^② 白皮脐 草薢半两，锉 白僵蚕半两，微炒 细辛半两 防风半两，去芦头 白芷半两 芎藭半两 白鲜皮半两 羌活半两 蔓荆子半两

右件药捣细罗为散，入磁石同研，令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风痹手脚不仁，宜服羌活散方：

羌活一两 汉防己一两 荆芥一握 薏苡仁二两 防风一两，去芦头 麻黄一两半，去根节 酸枣仁一两 黄松节二两 附子一两半，炮裂，去皮脐 芎藭一两 天麻一两半 道人头一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风痹身体不举，常多无力，宜服独活散方：

独活三分 草薢一两 防风一两，去芦头 细辛一两 人参一两，去芦头 乾姜一两，炮裂，锉 天雄一两，炮裂，去皮脐 丹参三分 牛膝一两，去苗

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治虚损伤风，手足无力，肢体乾燥，风痹不仁，宜服天麻丸方：

天麻一两 木香半两 人参半两，去芦头 赤茯苓半两 白芷半两 羌活半两 天蓼木半两 芎藭半两 当归半两，锉，微炒 麻黄一两，去根节 乌蛇二两，酒浸，炙微黄，去皮骨 白附子半两，炮裂 龙

① 白：太平圣惠方作“白”。

② 裂：此下脱字，太平圣惠方作“去”。

骨一分 鹿角胶半两，捣碎，炒令黄燥 甘菊花半两
生乾地黄半两 细辛半两 牛黄一分，细研 麝香
一分，细研

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七^①百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十丸。

治风寒入于肌肉，气血不宣，肢体不仁，
牵引腰背，风痹疼痛，宜服蚬螂丸方：神巧万
全方名花蛇丸。

蚬螂一两，炒去足 虎胫骨三分，酒浸，炙黄 川
乌头三分，炮裂，去皮脐 白蒺藜一两，微炒，去刺 安
息香三分 槟榔三分 麻黄一两，去根节 芎藭三分
狗脊三分，去毛 赤茯苓三分 白花蛇二两，酒浸，炙
令黄，去皮骨 肉桂三分，去粗皮 赤箭三分 枳实三
分，麸炒微黄 防风三分，去芦头

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，薄荷酒下十丸。

治风痹手足缓弱，不能伸举，宜服乌蛇
丸方：

乌蛇三两，酒浸，炙微黄，去皮骨 天南星一两，炮裂
乾蝎一两，微炒 白附子一两，炮裂 羌活二两 白
僵蚕一两，微炒 麻黄二两，去根节 防风二^②分，去
芦头 桂心一两

右件药捣细罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，以热豆淋酒
下十丸。

治风痹荣卫不行，四肢疼痛，宜服羌活
丸方：

羌活一两 天麻一两 附子一两半，炮裂，去皮脐
麻黄一两，去根节 蚬螂三分，微炒 桂心一两 乌
蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服^③□计时候，以温酒下
十丸。

又方：

麻黄五两，去根节了秤 桂心二两

右捣细罗为散，以酒二升，慢火煎如饴，
每服不计时候，以热酒调下一茶匙，频服以
汗出为度。神巧万全方同。

又方：

川乌头二两，去皮，切碎，以大豆同炒，候豆汗出，即
佳 乾蝎半两，微炒

右件药捣罗为末，以酢醋一中盏，熬成
膏，可丸即丸，如绿豆大，每服不计时候，
以温酒下七丸。神巧万全方同。

治风湿痹不仁诸方

夫风湿痹病之状，或皮肤顽厚，或肌肉
痠痛，风寒湿三气杂至聚合而成痹，其风
湿气多，而寒气少者，为风湿痹也，由血气
虚，受于风湿而成此病也。巢氏病源此下云：久不
瘥，入于经络，搏于阳经，亦变令身体手足不随。

治风湿痹，面如针刺，身体不仁，汗出
短气，不能饮食，宜服麻黄散方：

麻黄三两，去根节 芎藭一两 莽草一两，微炙
当归一两，锉，微炒 天雄一两，炮裂，去皮脐 桂心一
两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 五加皮
一两 白术一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一
中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候温服。

治风湿痹，皮肤不仁，手足无力，侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 五加皮一两 磁石二
两，烧醋淬七遍，细研 甘菊花半两 汉防己半两 葛
根半两，锉 羚羊角屑一两 防风一两，去芦头 杏
仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 薏苡仁一两 赤
芍药半两 芎藭半两 秦艽半两，去苗 麻黄一两，
去根节 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一
中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风湿痹，四肢不仁，肌肉痠动，举体
无力，宜服狗脊散方：

狗脊半两，去毛 附子三分，炮裂，去皮脐 薯蓣
三分 熟乾地黄三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 王孙
三分 桂心三分 山茱萸三分 秦艽三分，去苗 白
敛三分

① 七：太平圣惠方无此字。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 服：此下脱字，太平圣惠方作“不”。

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水酒各一中盏，煎至一盏，去滓，不计时候，分温二服。

治风湿痹不仁，身体汗出，恶风，宜服茵芋散方：

茵芋一两 白术一两半 汉防己二两 桂心一两 牛膝一两，去苗 丹参一两 细辛半两 甘草半两，炙微赤，锉 五加皮一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至七分，去滓，不计时候，分温二服。

治风湿痹，肌肤不仁，宜服麻黄散方：

麻黄二两，去根节 天门冬三两，去心，焙 汉防己一两 海桐皮一两，锉 丹参一两 桂心一两 侧子半两，炮裂，去皮脐 甘草二两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至七分，去滓，不计时候，分温二服。

治风湿痹脚弱，拘挛疼痛，不能行，跌肿上膝，小腹坚，不能食，宜服石斛散方：

石斛二两，去根，性 附子三分，炮裂，去皮脐 独活三分 天门冬一两半，去心，焙 桂心半两 桔梗半两，去芦头 川椒半两，去目及闭口者，微炒出汗 细辛半两 麻黄三分，去根节 山茱萸半两 五味子半两 前胡三分，去芦头 白芷半两 秦艽三分，去苗 川乌头半两，炮裂，去皮脐 人参半两，去芦头 天雄半两，炮裂，去皮脐 当归三分，性，微炒 防风三分，去芦头 莽草三分，微炙 白术半两 杜仲三分，去粗皮，炙令微黄，性 乾姜半两，炮裂，性

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱，未效，稍稍加之。

治气血虚，风邪湿痹，皮肤不仁，宜服侧子散方：

侧子一两，以酒浸过，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 白僵蚕一两，生用 天南星一两，生用 海桐皮一两，性 狼毒半两，以醋煮半日，细切，暴乾 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，入麝香都研令匀，每服不计时候，以热豆淋酒调下二钱。

治风湿痹，身体四肢不仁，宜服蚬螂散方：

蚬螂一两，微炒 侧子一两，炮裂，去皮脐 独活一两 桑螵蛸一两，微炒 踯躅花半两，醋拌炒令乾 天南星半两，炮裂 草薢一两，性 天麻一两 桂心一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风湿痹，皮肤不仁，肢节疼痛，宜服白花蛇丸方：

白花蛇一两，酒浸，炙微黄，去皮骨 乾蝎一两，微炒 仙灵脾一两 茵芋半两 川乌头半两，炮裂，去皮脐 天南星半两，炮裂 天雄一两，炮裂，去皮脐 天麻一两 桂心一两 麻黄一两，去根节 鹿角胶一两，捣碎，炒令黄燥 草薢一两，性 桑螵蛸半两，微炒 雄黄一分，细研 麝香一分，研入

右件药捣罗为散，都研令匀，用天麻三两，捣罗为末，以无灰酒一大碗，慢火熬成膏，用和药末，更捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷酒下二十丸。

治风湿痹，手足挛急，皮肤不仁，宜服天雄丸方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根节 天麻一两 桂心一两 天南星三分，炮裂 羌活一两 雄黄半两，细研，水飞过 膩粉半两 乾蝎一两，微炒 麝香一分，细研 朱砂一两，细研，水飞过 牛黄一分，细研 乌蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以豆淋酒下十丸。

治风湿痹，精神昏沉，四肢缓弱，皮肤不仁，宜服附子丸方：

附子一两，炮裂，去皮脐 莽草半两，微炙 白花蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨 天南星三分，炮裂 川乌头半两，炮裂，去皮脐 天麻三分 乾蝎半两，微炒 桂心三分 防风半两，去芦头 薏苡仁一两 枫香一两 芎藭三分 草薢一两 羌活三分 仙灵脾一两

右件药捣罗为末，以糯米粥和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以荆芥汤

下十丸，暖酒下亦得。

治风湿痹，脚膝缓弱，宜服天蓼木丸方：

天蓼木一两 天麻半两 芎藭半两 独活半两
细辛半两 防风半两，去芦头 藁本半两 白附子半
两，炮裂 乌蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨 巴戟半两
石斛半两，去根 附子半两，炮裂，去皮脐 蛇床仁半
两 麝香一分，细研 晚蚕蛾半两，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二
十丸。

治风冷湿痹，五缓六急，宜服坚骨益筋，
养血固发，草薢丸方：

草薢八两，锉 牛膝三四，去苗 丹参二两 附
子二两，炮裂，去皮脐 白术二两 枳壳二两，麸炒微黄，去
瓢

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，
丸如梧桐子大，不计时候，以温酒下三十丸。

治风寒湿痹身体手足不遂诸 方

夫风寒湿三气合而成痹，其气时来，
亦有偏多偏少，而风湿之气偏多者，名为风
湿痹也。凡人腠理虚者，则风湿气伤之，搏
于血气，血气不行，则不得宣通，真邪相击，
在于肌肉之间，故其肌肤尽痛，然诸阳之经，
宣行阳气，通于身体，风湿客之于肌肤，合
而为痹，若伤其诸阳之经，则阳气行迟缓，
而机关弛纵，筋脉不收，若风湿痹而复于身
体，故手足不得遂也。

治风湿痹躄曳，或手脚不遂，或风入五
藏，恍恍惚惚，多语喜忘，又时恐怖，或肢
节疼痛，头眩烦闷，或腰脊强直，腹满不食，
宜服当归散方：

当归一两，锉，微炒 川升麻半两 川乌头半两，
炮裂，去皮脐 天门冬一两，去心，焙 五味子半两 赤
芍药半两 远志半两，去心 独活半两 麻黄一两，
去根节 防风半两，去芦头 芎藭半两 乾姜半两，炮
裂，锉 秦艽一两，去苗 桂心半两 大豆合，炒熟
石斛半两，去根，锉 甘草三分，炙微赤，锉 人参半两，

去芦头 白茯苓二两 紫菀半两，洗去苗土 石膏一两
黄耆半两，锉 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一
中盏，煎至五分，去滓，入酒一合，更煎一
两沸，不计时候温服。

治风湿痹及偏风，身体手足不遂，筋脉
挛急，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 白术一两 芎藭一两 细
辛一两 羌活一两 茵芋一两 牛膝一两，去苗 狗
脊一两，去毛 草薢一两 薏苡仁二两 麻黄四两，
去根节 侧子一两，炮裂，去皮脐 杏仁一两，汤浸，去皮
尖双仁，麸炒微黄 赤箭一两 桂心一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时
候温服。

治风湿痹，身体顽麻，皮肤瘙痒，筋脉
拘急，言语蹇涩，手足不遂，宜服天麻散方：

天麻半两 白附子半两，炮裂 羌活半两 防
风半两，去芦头 牛膝三分，去苗 麻黄一两，去根节 芎
藭半两 草薢三分，锉 独活半两 当归半两，锉，微炒
桂心半两 乾蝎一分，微炒 白僵蚕半两，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，暖
竹沥酒调下二钱。

治风湿痹，肢节疼痛，身体手足不遂，
宜服仙灵脾丸方：

仙灵脾三分 防风半两，去芦头 羌活三分 白
附子三分，炮裂 天麻一两 天南星半两，炮裂 犀
角屑三分 木香半两 槟榔半两 羚羊角屑三分
乳香三分，细研 虎胥骨三分，涂酥，炙令黄 桂心半
两 神巧万全方肉桂 附子三分，炮裂，去皮脐 当归三
分，锉，微炒 牛膝三分，去苗 白僵蚕半两，微炒 鹿
茸三分，涂酥炙令黄，去毛 石斛三分，去根，锉 麝香
一分，细研 海桐皮三分，锉 乾蝎半两，微炒 乌蛇
二两，酒浸，炙令黄，去皮骨

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼
蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每于食前
以温酒下三十丸。

治风湿痹，身体手足收摄不遂，肢节疼
痛，言语蹇涩，宜服草薢丸方：

草薢一两，锉 薏苡仁一两 芎藭半两 海桐皮三分 羌活三分 天雄一两，炮裂，去皮脐 莽草半两，微炙 天麻半两 乾蝎一分，微炒 蝉壳一分 天南星半两，炮裂 白附子半两，炮裂 踯躅花三分，醋拌炒令乾 当归半两，锉，微炒 牛膝一两，去苗 川乌头半两，炮裂，去皮脐

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前以温豆淋酒下二十丸。

又方：

踯躅花不限多少，以酒拌蒸一炊久，取出曝乾

右捣罗为末，用牛乳一合，酒二合，暖令热，调下一钱。

治风血痹诸方

夫风血痹者，由体虚之人，阴邪入于血经故也。若阴邪入于血经而为痹，故为风血痹也。其状形体如被微风所吹，此由优乐之人，骨弱肌肤充盛，因疲劳汗出，巢氏病源疲劳汗出，卧不时动摇。肤腠易开，为风邪所侵故也。诊其脉，自微而涩，在寸口关上小紧者，为风血痹也。巢氏此下云：宜可针，引阳气令脉和，紧去则愈。

治风血痹，皮肤不仁，宜服防风散方：

防风二两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 独活三分 当归一两 赤茯苓一两 秦艽一两，去苗 茵芋半两 桂心三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服四钱，以酒一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风血痹，身体不仁，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 赤芍药一两 桂心一

两 麻黄一两，去根节 草薢一两 当归一两 丹参一两 细辛半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风血痹，肌肤不仁，四肢缓弱，宜服麻黄散方：

麻黄三分，去根节 乌蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨 白术三分 茵芋三分 防风三分，去芦头 蜘蛛一分，微炒，去足 桂心三分 附子一两，炮裂，去皮脐 当归三分，锉，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以豆淋酒调下一钱。

治风血痹，体虚风邪入血，肌肤顽痹，茵芋散方：

茵芋一两 川乌头半两，炮裂，去皮脐 天雄一两，炮裂，去皮脐 石南一两 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心一两 踯躅花半两，醋拌匀，炒乾 秦艽一两，去苗 防风一两，去芦头

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治血风痹，走无定处，及诸风痹，宜服地黄丸方：

生乾地黄一两 泽泻一两 山茱萸一两 草薢一两，锉 薯蓣一两 牛膝一两，去苗 白术三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 蛭蟥三分，炙令微黄 乾漆三分，捣碎，炒令烟出 狗脊三分，去毛 车前子三分 茵芋①□□

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

① 芋：此下注文脱字，太平圣惠方作“三分”。

诸风门四

圣惠方二

治摊缓风诸方

夫风者，分布八方，长养万物，是天地山川之风，温凉寒暑之气也。其不顺四时，贼邪之气，伤于人者，则为毒风。故圣人云：避风如避矢，令人触犯不正之气，多中风病者，是不避风邪毒气也。夫摊缓者，此皆肝肾久虚，气血不足，腠理疏泄，风邪易侵，肝主于筋，肾主于骨，肝肾中风，筋骨缓弱，故名摊缓也。其病春夏得之难治，秋冬得之易疗。春夏者阳气上腾，火力方盛，风火相得而王也；秋冬者阳气降下，火气渐微，即易疗也。其病手足舒缓，不能收摄，口角垂涎，言语謇涩，皮肤顽痹，步履难，是其候也。

治摊缓风，手足不遂，肌肉顽痹，筋脉拘急，心神不安，言语謇涩，胸膈痰涎不利，宜服秦艽散方：

秦艽一两，去苗 赤箭一两 独活一两 桂心一两 五加皮一两 磁石三两，捣碎，水淘去赤汁 甘菊花一两 汉防己一两 羚羊角屑一两 葛根一两，锉 赤芍药一两 麻黄二两，去根节 薏苡仁二两 防风一两，去芦头 芎藭一两 侧子一两，炮裂，去皮脐 杏仁一两，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治卒中摊缓风，手足不遂，身体拘急，神思昏沉，宜服防风散方：

防风三分，去芦头 当归三分，锉，微炒 麻黄一

两，去根节 泽泻一两 天门冬一两，去心 附子一两，炮裂，去皮脐 生乾地黄一两 白术一两 山茱萸一两 黄芩一两 甘草半两，炙微赤，锉 桂心一两

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷毒滑鱼肉。

治摊缓风，手足不遂，言语謇涩，心神躁闷，宜服生地黄饮子方：

生地黄汁一中盏 竹沥一中盏 荆沥一中盏 防风半两，去芦头 附子半两，炮裂，去皮脐 羌活一两

右件药，细锉，以汁沥等同煎至二中盏，去滓，不计时候分温三服。

治摊缓风，言语謇涩，手足不遂，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 秦艽一两，去苗 乾蝎半两，微炒 白附子半两，炮裂 独活一两 当归一两，锉，微炒 牛膝一两半，去苗 羚羊角屑一两 天麻一两 黄耆一两，锉 人参一两，去芦头 茵芋半两 踯躅花半两，酒拌^②，炒令乾 白鲜皮一两 防风一两，去芦头 麻黄一两半，去根节 麝香半两，研入

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治摊缓风，手足垂痹，头痛目旋，涎唾不止，宜服羌活散方：

羌活一两 天麻半两 胡麻子半两 细辛半两 麻黄三分，去根节 藿香半两 附子一两，炮裂，去皮脐 牛膝半两，去苗 白鲜皮半两 芎藭半两 天南星半两，微煨^③ 蝉壳半两 旋复花一两 白附子半两，

① 令：太平圣惠方作“今”

② 拌：太平圣惠方作“浸”

③ 微煨：太平圣惠方无此二字

炮裂 地龙半两，微炒 乌蛇肉一两，酒浸，炙令黄 晚蚕蛾半两，微炒 乾蝎一分，微炒 麝香一分，细研 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以薄荷温酒调下二钱。

治摊缓风，脚手肿满，骨节疼痛，宜服麻黄煎丸方：

麻黄五斤，去根节 白花蛇肉一斤 乌蛇肉一斤 巴豆一两，去皮心，研如膏，与前三味同于釜内，用水三石，旋旋添水煮，水耗即添热汤，候两复时，熬水及三四斗已来，净漉去麻黄并蛇，将药水以生绢净滤过，再入锅内，以慢火渐熬，令稀稠得所，盛于净器中，别入后药 硫黄一两，滴生甘草水，研一复时 硃砂浆水化去石，于铫子内，熬令乾，取一两 乾蝎一两，于瓷合子内炒令褐色 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 天麻一两 沉香一两 羌活一两 天南星一两，炮裂 天雄一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑一两 槟榔一两 白僵蚕一两，微炒 当归一两，锉，微炒 牛黄半两，细研 犀角屑一两 白龙脑半两，细研 麝香半两，细研 白附子一两，炮裂

右件药捣罗为散，入研了药，更研令匀，入麻黄煎内相和，捣千余杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以豆淋酒嚼下一丸。

治摊缓并诸风，并宜服黑龙丹方：

朱砂一两 硫黄一两 水银一两，与硫黄结为砂子 雄黄一两 硃砂半两 紫石英半两 金薄三百片 银薄三百片 曾青一两

已上九味，都研入一告车瓶子内，神巧万全方瓷瓶子内，令实，上以定粉一两半，细研入瓶子内，盖前药上，更用黄丹一两半，又入瓶子内，盖之，上以古字钱一文，又盖瓶子口，后掘地作十字坑¹□，坐瓶子在中心，四面去瓶子四五寸已来，著火二斤，不住火，养二日后，其药为汁，住火停冷，打破瓶子，取药细研。

自然铜一两，细研 古字钱二十一文 硫黄半两，细研

已上三味与钱，一重重间布药末，入合子内，以盐泥固济，初以文火，后以武火烧，

令通赤，候冷，取出细研，入前药内相和。

麻黄五斤，去根节 白花蛇大者一条，锉

已上二味，用水一石，慢火煮蛇并麻黄，至二斗已来，有沫用匙旋去之，用夹绢滤去滓，别入银器中，又熬成膏。

藿香三分 白附子三分，炮裂 附子三分，炮裂，去皮脐 人参三分，去芦头 乾蝎三分，微炒 天麻三分 天南星三分，炮裂 虎胫骨三分，涂酥，炙令黄 败龟三分，涂酥，炙令黄 木香三分 阿胶三分，捣碎，炒令黄燥 万全方麸炒令枯 白僵蚕三分，微炒 防风三分，去芦头 牛黄半两，细研 麝香半两，细研 龙脑半两，细研 酸枣仁半两，微炒 琥珀一两，细研 膩粉一两

右件药，捣罗为末，与金石药更同研令匀，入麻黄煎和，候硬软得所，捣五七百杵，丸如酸枣大，每服一丸，温酒嚼下，不计时候²。

治摊缓风，手足不遂，心神烦闷，睡卧不安，宜服踟躅丸方：

踟躅花一两，酒拌，炒令乾 天麻一两 羌活一两 汉防己一两 乾蝎半两，微炒 白僵蚕一两，微炒 天南星半两，炮裂 白附子半两，炮裂 蝉壳半两 蛻螂半两，去头翅足，微炒 朱砂一两，细研，水飞过 金薄五十片 银薄五十片

右件药捣罗为末，入金银薄、朱砂，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十丸。

治摊缓风，手足不遂，皮肤顽痹，口面神巧万全方眼。喎斜，言语蹇涩，宜服牛黄丸方：

牛黄半两 神巧万全方研 赤箭一两 独活一两 乌犀角屑一两 防风三分，去芦头 天南星一两，炮裂 牛膝三分，去苗 草薢三分 茵芋三分 汉防己三分 麻黄一两半，去根节 仙灵脾一两 桂心三分 万全方肉桂 蝉壳半两 乌蛇肉一两，酒拌³，炒令黄 万全方酒漫二两，焙乾 川乌头半两，炮裂，去皮脐 天雄三分，炮裂，去皮脐 桑螵蛸半两，微炒 晚蚕蛾半两，微炒 乾蝎半两，微炒 铅霜半两，研入 膩粉一分，研入 朱

1 坑：此下脱字，太平圣惠方作“子”。

2 每服一丸，温酒嚼下，不计时候：太平圣惠方作“每服不计时候，以温酒嚼下一丸”。

3 拌：太平圣惠方作“浸”。

砂半两，细研 麝香一分，研入 万全方无赤箭、牛膝、茵芋，有人参一两，鹿茸酥炙令黄，去毛三分，薏苡仁三分

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三五^①百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十丸。

治卒中风诸方

夫藏腑久虚，气血衰弱，腠理开泄，阴阳不和，真气散失，荣卫虚竭，邪气毒风从外而入，伤于经络，故名卒中风也。

治卒中风，忽倒闷绝，口噤不语，气厥不识人，闭目不开，针灸不知痛处，宜服独活散方：

独活一两 防风一两，去芦头 桂心一两 汉防己半两 白术半两 麻黄一两，去根节 人参半两，去芦头 羚羊角屑半两 细辛半两 茵芋半两 附子一两，炮裂，去皮脐 秦艽半两，去苗 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎三二沸，不计时候，温服。

治卒中风，言语蹇涩，肢体不仁，宜服杏仁散方：

杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 麻黄一两，去根节 芎藭一两 独活三分 当归三分，锉，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心半两 秦艽一两，去苗 乾姜半两，炮裂，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治卒中风，半身不遂，舌强难言，宜服桂心散方：

桂心一两 独活三分 葛根一两，锉 防风三分，去芦头 当归三分，锉，微炒 赤芍药三分 附子半两，炮裂，去皮脐 半夏三分，汤浸七遍，去滑 甘草三分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治卒中风，仆倒不识人，口角喎斜，宜

服天麻散方：

天麻半两 骐驎竭半两 白僵蚕半两，微炒 乾蝎半两，微炒 防风半两，去芦头 犀角屑半两 麻黄一两，去根节 牛黄一分，细研 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治因沐浴，卒中风不语，喉中如拽锯声，宜服虎掌丸方：

虎掌一两，汤洗七遍，微炒 牛黄半两，细研 天南星一两，炮裂 板蓝根二两 川乌头一两，炮裂，去皮脐 白僵蚕一两，微炒 雄黄一两，细研 桂心一两 白附子一两，炮裂 大豆黄卷二两，炒熟 麝香一分，细研 龙脑一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以热酒研下五丸。

治卒中风，四肢麻痹，缓弱不能行，宜服乌头丸方：

川乌头一两，炮裂，去皮脐 天麻三分 乾姜三分，炮裂，锉 乳香三分，细研 天竹黄三分，细研 防风三分，去芦头 蝎尾三分，微炒 麻黄一两，去根节 白鲜皮三分 地龙三分，晒乾 独活三分 海桐皮三分，锉 自然铜一两，作一块者，大火中煨令赤，投酢醋中，如此二七遍，细研

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二^②十丸。神巧万全方同。

治卒中风，语涩多涎，宜服白垩丸方：

白垩二两 鹿角霜二两 天南星一两，炮裂 羌活一两 附子一两，炮裂，去皮脐 川乌头一两，炮裂，去皮脐 天麻一两 蛤粉三两 白附子一两，炮裂 白僵蚕一两，微炒 龙脑一分，细研 麝香半两，细研

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，用糯米饭和捣三二百杵，丸如鸡头实大，每服不计时候，以温酒研下一丸。

治卒中风，心神烦闷，肢节拘急疼痛，

① 五：太平圣惠方作“二”。

② 二：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

宜服龙脑丸方：

白龙脑一分，细研 朱砂半两，细研 琥珀半两，细研 牛黄一分，细研 雄黄半两，细研 附子三分，炮裂，去皮脐 天麻一两 白僵蚕一两，微炒 麝香一分，细研 安息香一两，用酒半升，煎成膏 玳瑁三分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，用安息香膏，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下七丸。

治卒中风，仆倒不知人事方：

乌鸡粪一分 黑豆一合，炒熟 马牙消一分 龙胆一分，去芦头

右件药，先将鸡粪及黑豆同炒令熟，次入龙胆并消，以酒一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治卒中风，昏愤若醉，痰涎壅盛，四肢不收方：神巧万全方治卒中风，痰壅盛，不记人事，并中恶等疾。

右用砒霜如绿豆大，细研，以新汲水调下，少用热水，投得大吐即愈，如未吐再服。

治贼风诸方

夫贼风者，谓冬至之日，有疾风，从南方来者，名曰虚风，此风能伤害于人，故言曰贼风也。其伤人，但痛不可按抑，不得转动，痛处体平无热，伤风冷则骨解深痛，按之乃骨痛也，但觉身内涩涩冷，欲得热物熨痛处即小宽者，是其候也。巢氏病源即小宽时有汗，久不去，重遇冷气相搏，乃结成痼疾及偏枯，遇风热气相搏，乃变附骨疽也。

治贼风，身体及心胁¹疼痛，四肢不利，宜服麻黄散方：

麻黄一两半，去根节 当归一两，锉，微炒 芎藭半两 茵芋半两 桂心一两 萆薢半两，锉 乾姜半两，炮裂，锉 黄芩三分 甘草三分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水六分，煎至三分，次入酒四分，更煎三两沸，去滓，不计时候，温服。

治贼风，心腹拘急，四肢疼痛，腹满欲

死，宜服桂心散方：

桂心三分 防风三分，去芦头 芎藭三分 乾姜半两，炮裂，锉 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 秦艽一两，去苗 甘草三分，炙微赤，锉 槟榔三分 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治贼风，入腹，腹中拘急，烦乱恍惚，迷惑不知人事，口噤不开，手足缓弱，卧即惊恐，口乾，身体沉重，宜服茵芋散方：

茵芋半两 川乌头半两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锉 细辛两半 黄芩半两 桂心半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 汉防己²分 秦艽一两，去苗 赤茯苓三分 防风一两，去芦头 当归三分，锉，炒 甘草三分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治贼风，身体拘急，舌强难言，手足不遂，宜服汉防己散方：

汉防己一两 麻黄一两半，去根节 赤芍药三分 芎藭三分 黄芩一两 防风三分，去芦头 羌活³分 附子三分，炮裂，去皮脐 当归三分，锉，微炒 石膏一两半 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 白术半两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治贼风，身体缓弱，手足不遂，言语蹇涩，精神恍惚，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 石膏⁴两 人参半两，去芦头 赤芍药半两 芎藭三分 汉防己三分 桂心三分 附子三分，炮裂，去皮脐 防风三分，去芦头 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 麻黄一两，去根节

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治贼风入腹，短气，心下烦热，手足疼

¹ 胁：太平圣惠方作“腹”。

² 二：太平圣惠方作“三”。

³ 一：太平圣惠方作“三”。

⁴ 二：太平圣惠方作“一”。

痛，四肢不举，口噤不能语，宜服秦艽散方：

秦艽一两，去苗 羚羊角屑三分 防风二^①分，
去芦头 葛根三分，铤 当归半两，铤，微炒 人参半
两，去芦头 赤芍药三分 汉防己三分 附子三分，
炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，铤 细辛三分 木通
半两，铤 赤茯苓三分 桂心半两 白术半两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中
盏，煎至五分，去滓，入^②竹沥一合，更
煎一两沸，不计时候，温服。

治贼风，毒气攻注，四肢疼痛，发动不
可忍，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 当归一两，铤，微炒 桂
心一两 赤芍药一两 附子一两，炮裂，去皮脐 防风
③两，去芦头 槟榔一两 甘草一两，炙微赤，铤 麻
黄二两，去根节

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候，温服。

治贼风，攻身体及入五藏，言语蹇涩，
神思冒昧，肩背拘急，转侧不得，大续命汤
方：

麻黄三两，去根节 石膏一两半 桂心三分 甘
草三分，炙微赤，铤 芍药三分 乾姜三分，炮裂，铤 当
归三分，铤，微炒 黄芩三分 杏仁三分，汤浸，去皮尖
双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热频服，
以汗出为度。

治贼风入藏，身体缓急不遂，及不能语
者，宜服小续命汤方：

麻黄一两半，去根节 甘草三分，炙微赤，铤 人
参三分，去芦头 赤芍药三分 芍药三分 黄芩三分
白术三分 汉防己二^④分 防风三分，去芦头 桂心
一两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计
时候，稍热服，以汗出为度。

治中^⑤贼风，口噤昏沉，半身不遂，风
毒入藏，口面喎斜，宜服追风散方：

天南星一两，炮裂 白附子一两，炮裂 乾蝎三
分，微炒 羌活三分 防风三分，去芦头 半夏三分，
汤洗七遍，去滑 乌蛇肉一两，酒浸，炙微黄 蛇床子三
分 藁本三分 白芷三分 天麻一两 蔓荆子三分
牛黄半两，细研 附子一两，炮裂，去皮脐 威灵仙半两
麝香一^⑥分，细研 麻黄一两半，去根节 白僵蚕
一两，微炒 犀角屑三分

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令
匀^⑦，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风入腹拘急切痛诸方

夫风入腹，拘急切痛者，是体虚^⑧受风
冷，风冷客于三焦，经于腑脏，寒热交争，
故心腹拘急切痛也。

治风气入腹，拘急切痛，烦冤不可过时，
宜服乌头散方：

川乌头一两，炮裂，去皮脐 黄芩一两 乾姜半
两，炮裂，铤 当归五^⑨分，铤，微炒 细辛三分 白
术三分 人参半两，去芦头 汉防己三分 天雄半两，
炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，铤

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中
盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹，疔痛拘急，宜服桂心散方：

桂心一两 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 防
风一两，去芦头 生乾地黄一两 赤芍药一两 当
归一两，铤，微炒 细辛半两 乾姜半两，炮裂，铤

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中
盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹疔痛，闷乱不止，宜服乾姜散
方：

乾姜半两，炮裂，铤 当归三分，铤，微炒 桂心
半两 生乾地黄一两 细辛半两，赤茯苓半两 吴

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 入：太平圣惠方作“取”。

③ 一：太平圣惠方作“二”。

④ 二：太平圣惠方作“三”。

⑤ 中：太平圣惠方无此字。

⑥ 一：太平圣惠方作“三”。

⑦ 都研令匀：太平圣惠方作“令都研匀”。

⑧ 虚：太平圣惠方作“中”。

⑨ 五：太平圣惠方作“三”。

茱萸一分，汤浸七遍，焙乾，微炒 赤芍药半两 梔子仁半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水酒各半中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹，攻五藏，拘急不得转侧，阴缩，手足厥冷，腹中疔痛，宜服赤芍药散方：

赤芍药一两 川乌头二两，炮裂，去皮脐 桂心一两 甘草一两，炙微赤，锉 防风一两，去芦头 芎藭一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣二枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹，拘急疔痛，宜服茵芋散方：

茵芋一两 黄芩一两 附子一两半，炮裂，去皮脐 人参一两，去芦头 芎藭三分 防风三分，去芦头 麻黄一两半，去根节 汉防己二^①分 甘草三分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹，疔痛无时，发则抢心，胀满拘急，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 细辛一两 甘草一两，炙微赤，锉 当归一两，锉，微炒 桂心一两 赤芍药一两 生乾地黄一两 青橘皮一两，汤浸去白瓢，微炒 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风入腹，藏腑中切痛，心腹拘急，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 当归一两 雄黄半两，细研 桂心一两 独活三分 木香一两 乾蝎半两，生用 天南星半两，微煨 地龙半两，微炒 朱砂半两，细研 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以生姜温酒调下一钱。

治风邪诸方

夫风邪者，谓风气伤于人也。人以身内血气为正，以身外风气为邪，若居处失宜，饮食不节，致腑藏内损，血气外虚，则为风邪所伤也。巢氏病源：风邪所伤，故病有五邪，一曰中风，二曰伤暑，三曰饮食劳倦，四曰中寒，五曰中湿，其为病不同。风邪者，发则不自觉知，狂惑妄言，悲喜无定是也。

治风邪所伤，恍惚悲泣，或狂走不定，如有鬼神所著，或身体强直，或日夜疼痛，水浆不下，面目变色，甚者不识人，宜服菖蒲散方：

菖蒲半两 秦艽半两，去苗 桂心半两 当归半两，锉，微炒 禹余粮一两，烧醋淬三遍 人参半两，去芦头 附子半两，炮制，去皮脐 黄芩半两 甘草半两，炙微赤，锉 远志半两，去心 防风半两，去芦头 龙齿一两 犀角屑一两 赤茯苓一两 赤芍药一两 芎藭一两 汉防己一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以东流水一中盏，入黍米一茶匙^②，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风邪入心，心痛连背，或上或下，腹满闷乱，神思不定，面色青黄，宜服桂心散方：

桂心一两 赤芍药半两 防风半两，去芦头 细辛半两 人参半两，去芦头 芎藭半两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 附子三分，炮裂，去皮脐 木香半两 桔梗三分，去芦头 麻黄一两，去根节 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风邪入心，神思恍惚，悲愁不乐，喜怒无常，宜服人参散方：

人参三分，去芦头 防风半两，去芦头 桂心半两 细辛半两 石菖蒲半两 杨上寄生一两 附子半

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 匙：太平圣惠方作“盅”。

两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锉 莽草一两，微炙^①
鬼箭半两 茯神三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风邪所攻，志意不乐，身体拘急，宜服杨上寄生散方：

杨上寄生一两 白术一两 桂心半两 茵芋半两 防风半两，去芦头 柏子仁半两 石菖蒲半两 细辛半两 附子半两，炮裂，去皮脐 乾姜半两 羌活半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风邪所中，眠卧不安，喜怒无常，志意不定，宜服远志散方：

远志半两，去心 龙齿三分 杨上寄生一两 石菖蒲半两 细辛半两 人参三分，去芦头 防风半两，去芦头 茯神三分 生乾地黄三分 黄耆三分，锉 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风邪入藏，心神烦乱，恍惚，头目眩痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 麻黄一两半，去根节 防风一两，去芦头 茯神一两 羌活一两 芎蒭一两 石膏二两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎三二沸，不计时候，温服。

治风虚邪气所攻，发即腹满急，头旋眼晕欲倒，宜服芎蒭散方：

芎蒭三分 独活三分 防风三分，去芦头 白术半两 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 汉防己半两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 茯神一两 羚羊角屑三分 桂心半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风邪狂乱失心³，安神定志金箔丸方：

金箔五十片，细研 银箔五十片，细研 石膏一两 龙齿一两 铁粉一两，细研 人参一两，去芦头 茯神一两 远志一两，去心 朱砂一两，细研 防风一两，去芦头 黄芩一两 生乾地黄一两 川升麻一两 地骨皮一两 玄参一两 犀角屑一两 虎睛一对，酒浸一宿，微炙 牛黄半两，细研 麦门冬一两半，去心，焙 枳实半两，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣罗为末^④，研了药，都研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷汤下二十丸。

治风邪方：

商陆三十斤，去皮，细切

右以水八斗，于东向灶煎减至半，滤去滓，更煎令^⑤可丸，即丸如梧桐子大，每服不计时候，以竹沥下十丸。

又方：虾蟆烧灰，细研，每服一钱，以水调下，日四五服。

又方：伏龙肝细研，每服一钱，以水调下，日四五服。

治风恍惚诸方

夫五藏处于内，而气行于外，藏气实者，邪不能伤，虚则外气不足，风邪乘之。然五藏者，心为神，肝为魂，肺为魄，脾为意，肾为志，若风气经之，是邪干于正，故令恍惚也。

治风恍惚，心神烦乱，志意不安，或卧惊恐，宜服茯神散方：

茯神一两 麦门冬一两半，去心，焙 龙齿二两 黄耆一两，锉 甘草半两，炙微赤，锉 石菖蒲一两 人参一两，去芦头 防风三分，去芦头 远志半两，去心 熟乾地黄一两 石膏二两 羚羊角屑一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

① 炙：太平圣惠方作“炒”。

② 一：太平圣惠方此下有“中”字。

③ 心：太平圣惠方此下有“宜服”二字。

④ 末：太平圣惠方此下有“入”字。

⑤ 令：太平圣惠方作“至”。

治风虚恍惚，多痰晕闷，不欲饮食，宜服防风散方：

防风半两，去芦头 茯神一两 羚羊角屑半两
芎蒭半两 人参三分，去芦头 细辛半两 桂心半两
枳实半两，麸炒微黄 半夏半两，汤洗七遍，去滑 山茱萸三分 天麻三分 龙齿一两 甘菊花半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌羊肉、饴糖。

治风恍惚，妄语多言，夜不得寐，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 黄耆三分 熟乾地黄一两
酸枣仁一两，微炒 茯神一两 铁粉一两 防风半两，去芦头 黄连三分，去须 麦门冬一两，去心，焙 黄芩半两 远志半两，去心 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风恍惚，惊悸狂乱，宜服牛黄散方：

牛黄一分，细研 防风三分，去芦头 白僵蚕半两，微炒 朱砂三分，细研 远志半两，去心 黄连三分，去须 玄参三分 川升麻三分 天门冬一两，去心，焙 犀角屑三分 天竹黄半两，细研 白龙脑一钱，细研

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令匀，每服不计时候，煎竹叶，温水调下一钱。忌生血、猪肉、鲤鱼等。

治风邪经五藏，令人恍惚，坐卧不安，宜服铁粉丸方：

铁粉一两，细研 茯神一两 远志半两，去心 人参一两，去芦头 防风三分，去芦头 麦门冬一两半，去心，焙 羚羊角屑三分 桑螵蛸三分，微炒 龙齿一两 熟乾地黄一两 朱砂一两，细研，水飞过

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以清粥饮下二十丸。忌生血。

治风心烦恍惚，腹中痛，或时闷绝而复苏，宜服此方：

伏龙肝五两

右捣碎，以水二大盏，浸取清汁，每服不计时候，温服二^①合。得效方灶心土五升，捣为末，以冷水八升，和之取汁服，口噤者以竹筒灌下即愈。肘后方、经验良方、寿域神方同。

又方：

投羚羊角屑微炒

右捣细罗为散，不计时候，以温酒调下一钱。卫生易简方同。

又方：

右以荆沥，每服一小盏，宜频服。

治心虚风邪，精神恍惚健忘方：

右用经使铍铁四斤，于炭火内，烧令通赤，投于醋中，如此七遍，即堪打碎，如棋子大，以水二斗，浸经二七日，每于食后服一小盏。

治风头痛诸方

夫风头痛者，凡人体虚，外伤风邪，流入阳经，行于六腑，或腠理开张，风毒攻注于风府，故心膈烦热，头面虚汗，上焦壅滞，故令头重疼痛也。

治风头痛，心烦体热，宜服石膏散方：

石膏二两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 莽莛半两 防风半两，去芦头 甘菊花半两 独活半两 芎蒭半两 黄芩三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨、热面。

治风头痛，或时旋转，宜服芎蒭散方：

芎蒭一两 防风一两，去芦头 葛根一两，锉 旋复花半两 白蒺藜^②一两，微炒，去刺 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 石膏二两 甘菊花半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

治风头痛掣动，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 川升麻一两 黄芩一两 赤芍药一两 蔓荆子一两 石膏二^①两 葛根一两，锉 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，入淡竹沥半合，更煎一二沸，不计时候，温服。

治风头痛，目眩心闷，时复发甚，宜服山茱萸散方：

山茱萸半两 当归半两，锉，微炒 防风一两，去芦头 柴胡一两，去苗 薯蓣一两 旋复花半两 石膏一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，不计时候，调鸡子清一枚服之。

治风头痛，胸膈多痰，时复晕闷，宜服木乳散方：

木乳一两，酥炙 旋复花半两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 石膏一^②两 甘菊花半两 防风半两，去芦头 芎藭半两 甘草半两，炙微赤，锉 荆芥三分

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服之。

治风头痛，语涩健忘，宜服乌金煎方：

黑豆一升，净淘 独活一两 荆芥一两 石膏三两 黄芩一两

右件药，细锉，以水五大盏，煎至一大盏，入无灰酒一升，搅滤去滓，再煎如稀膏，盛瓷合中，每服食后用温酒调下一茶匙。

治风头痛沐头方：

甘菊花二两 独活二两 莽草一两 皂荚二^③两 桂心一两 杜衡半两 防风一两 细辛一两 川椒一两 茵芋一两 白芷一两 石膏四两

右件药捣筛为散，每用四两，以水一斗二升，煎取八升，去滓，于暖室中，稍热淋头，熟^④擦之，如有汗出。切宜避风。

治风头痛，或头旋目眩，四肢烦疼，坐卧不安，宜用此沐头方：

蔓荆实一两 玄参一两 芎藭一两 石膏半斤

葛根三两，锉 甘菊花三两

右件药捣筛，分为三度用，每度以米泔汁一斗二升，煮取八升，去滓，于暖室中，稍热沐头，如汗出，宜避风。

治风头痛及偏头疼，宜用吹鼻散方：

瓜蒂末一钱 地龙末一钱 苦瓠末一钱 消石末一钱 麝香末半钱

右件药末，都研令匀，先含水满口，后搐药末半字，深入鼻中，当取下恶物神效。

治风头痛，或偏攻一边，痛不可忍，宜用此方：

苦参一分，锉 半夏一两 桂心一分

右件药捣细罗为散，以米醋调如糊，涂故帛上，当痛处贴之，神效。

治风头痛，及脑角牵痛，日夜不可忍者，宜用摩膏方：

牛蒡根净洗，切，捣研绞取汁，半升

右将汁，入无灰酒一小盏，盐花半匙，慢火煎如稠膏，少少用，熟^⑤摩痛处，宜避风。

治风头痛，百医不差，枕头方：

食茱萸叶

右件药，细锉，洒酒拌匀，以绢袋盛之，于甑中蒸熟^⑥，乘热分两包子，更换枕之，取差为度。

治风头痛涂方：

川乌头一两

右捣细罗，以醋调如膏，涂于顶上、脑角、太阳穴、风府之上，须臾痛止。

治风头痛，每欲天阴风先发者方：

桂心一两，末

右以酒调如膏，用傅顶上并额角，肘后方同又方：

甘菊花一两 芎藭一两

① 二：太平圣惠方作“一”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 熟：太平圣惠方作“热”。

⑤ 熟：太平圣惠方作“热”。

⑥ 熟：太平圣惠方作“热”。

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

又方：

苦葫芦子

捣^①细罗，吹半字于鼻中，其痛立止，逐^②左右用之。琐碎录同。

治风头痛，眼暗鼻塞，眼暗冷泪方：

杏仁半升

右捣碎，以水一斗，煮三二十沸，看冷热洗头，如汗出避风，洗三度差。肘后方杏仁三升为末，水煮四五沸，洗头，冷汗尽，三度差。

又方：

右熟煮大豆，内饭瓮中作浆，日日温洗头良。

又方：

右捣葶苈子末半升，以汤淋取汁，洗头良。

治风痰诸方

夫风痰者，是血脉壅塞，饮水积聚，而不消散，故成痰也。其候或冷，或热，或结实，食不消化，胸膈痞满，短气好眠，头眩目暗，常欲呕逆者是也。

治风痰，心胸壅闷，头目不利，神思昏浊，少欲饮食，宜服前胡散方：

前胡一两，去芦头 羌活三分 羚羊角屑三分 人参半两，去芦头 甘菊花半两 沙参半两，去芦头 芎藭半两 白术半两 黄耆半两，锉 半夏半两，汤洗七遍，去滑 防风半两，去芦头 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 蔓荆子半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰气壅，不下饮食，头目昏闷，四肢烦疼，宜服旋复花散方：

旋复花半两 半夏半两，汤洗七遍，去滑 白附子半两，炮裂 防风三分，去芦头 羚羊角屑三分 前胡一两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 枇杷叶三

分，拭去毛，炙微黄 甘草半两，炙微赤，锉 川大黄三分，锉碎，微炒 赤茯苓三分

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰气壅，发即头旋呕吐，不下饮食，宜服此方：

前胡一两，去芦头 半夏半两，汤洗七遍，去滑 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 芎藭半两 槟榔一两 旋复花半两 防风半两，去芦头 枇杷叶半两，拭去毛，炙微黄 陈橘皮半两，汤浸，去白瓤，焙 白术半两 赤茯苓一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰气壅，心胸不利，头目烦疼，少思饮食，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 防风半两，去芦头 麦门冬一两，去心，焙 川升麻三分 赤茯苓一两^③ 前胡一两，去芦头 半夏半两，汤浸七遍，去滑 枇杷叶三分，拭去毛，炙微黄 荆芥半两 细辛半两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，淡竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰头目昏闷，四肢烦疼，宜服防风散方：

防风半两，去芦头 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 赤芍药三分 半夏半两，汤洗七遍，去滑 甘菊花半两 芎藭半两 石膏二两 甘草半两，炙微赤，锉 前胡一两，去芦头

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰气逆不能食，宜服枇杷叶散方：

枇杷叶一两，拭去毛，炙微黄 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 人参三分，去芦头 桂心三分 半夏半两，汤洗

① 捣：太平圣惠方作“右捣”。

② 逐：太平圣惠方作“随”。

③ 两：太平圣惠方作“分”。

七遍，去滑 诃梨勒皮半两 甘草半两，炙微赤，锉 赤茯苓一两

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰气逆，发即呕吐，欠喏昏闷，神思不爽，宜服细辛散方：

细辛三分 枇杷叶一两，拭去毛，炙微黄 人参一两，去芦头 半夏半两，汤洗七遍，去滑 赤茯苓三分 前胡一两，去芦头 陈橘皮半两，汤浸去白瓤，焙 白术半两 芎藭三分 甘草半两，炙微赤，锉 桂心半两

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰呕逆，汤饮不下，起则旋倒，宜服半夏散方：

半夏半两，汤洗七遍，去滑 芎藭三分 甘草半两，炙微赤，锉 汉防己半两 乾姜半两，炮裂，锉 防风三分，去芦头 桂心半两 川椒五十枚，去子及闭口者，微炒，去汗 附子三分，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风痰积聚，胃中冷气，令人呕吐，不纳饮食，四肢无力，宜服白术丸方：

白术一两 人参一两，去芦头 细辛半两 陈橘皮一两，汤浸，去白瓤，焙 厚朴一两，去粗皮，涂生姜汁，炙令香熟 桂心三分 防风半两，去芦头 诃梨勒皮三分 甘草半两，炙微赤，锉 五味子半两 乾姜半两，炮裂，锉 半夏一两，汤洗七遍，去滑 白茯苓一两 旋覆花半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以生姜汤下二十丸。

治风坠痰，疏利藏腑，皂荚煎丸方：

皂荚一斤，肥好不蛀者，以水洗去其尘，用河水五升，煮令软，绞滤取汁，入银锅内，熬成膏 威灵仙暖水浸过，刮取其茸，不用其根，冷水淘三五度，令净，暴乾，捣细罗取末，四两 薄荷乾杵，细罗取末，一两

右二味药末相合，入皂荚煎，和捣三二

百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥汤下二十丸。神巧万全方同。

治风痰头目眩晕，肢节拘急，宜服天南星丸方：

天南星半两，炮裂 细辛半两 附子半两，炮裂，去皮脐 防风半两，去芦头 天麻一两 半夏半两，汤洗七遍，去滑 白附子半两，炮裂 旋复花半两 芎藭半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以荆芥薄荷汤下十丸。

治风痰心胸壅闷，头目不利，宜服皂荚丸方：

皂荚五挺，以热汤二升，浸候软，绞滤取汁，熬成膏 旋复花一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤 防风一两，去芦头 半夏一两，汤洗七遍，去滑

右件药捣罗为末，入膏中，和捣百余杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以荆芥薄荷汤下十丸。神巧万全方同。

治风痰脾胃冷气，吐逆不止，食饮不下，宜服半夏丸方：

半夏一两，汤洗七遍，去滑，微炒 白矾二两，烧令汁尽 乾姜半两，炮裂，锉

右件药捣罗为末，都研令匀，用蒸饼和丸，如梧桐子大，每服不计时候，煎生姜汤下十丸。

治风痰，心昏恍惚，不能言语，痰涎流溢，宜服秦艽散方：

秦艽一两，去苗 恒山一两半 人参一两，不去芦头 羚羊角屑一两 甘草一两生^①

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入大麻子五十粒，煎至七分，去滓，空心温服，良久当吐，未吐再服。

又方：

莽莨半两 防风半两，去芦头

右以水一大盏，煎至七分，去滓，入生姜汁半合，空心分温二服，服之良久当吐，未吐再服。

^① 生：太平圣惠方作“半”。

治风冷失声诸方

夫风冷失声者，由风冷之气，客于会厌，伤于悬雍之所为也。声气通发，事因关户，会厌是音声之户，悬雍是音声之关，风冷客于关户之间，所以失声也。

治风冷入肺，咳逆短气，语无音声，舌乾而渴，宜服五味子散方：

五味子一两 白石英一两 钟乳一两 款冬花半两 陈橘皮三分，汤浸，去白瓢，焙 桂心一两 赤茯苓一两 麦门冬半两，去心 紫苑半两，洗去苗土 紫苏子一两，微炒 杏仁一两，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 人参一两，去芦头

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风冷失声，肺寒少气，宜服人参散方：

人参一两，去芦头 五味子半两 桂心三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 石菖蒲三分 附子三分，炮裂，去皮脐 诃梨勒皮半两 细辛三分 甘草一分，炙赤，锉 神巧万全方三分

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风冷，伤肺失声，咽喉不利，宜服石菖蒲散方：

石菖蒲半两 钟乳粉半两 五味子半两 桂心一两 细辛半两 诃梨勒皮一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 陈橘皮半两，汤浸，去白瓢，焙 乾姜半两，炮裂，锉

右件药捣细罗为散，入钟乳粉，都研令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风冷失声，语音不出，宜服杏仁煎方：

杏仁二两，汤浸，去皮尖双仁，研如膏 紫苑一两，洗去苗土 五味子一两 贝母一两，炮令微黄 细辛一两 桂心二两

右件药捣细罗为散，以水一大盏，入生姜汁一合，饴糖二两，蜜二合，下杏仁膏，慢火熬成煎，每服一茶¹。

治风冷失声，咽喉不利，宜服此方。神巧

万全方名杏仁膏。

杏仁一两，汤浸去皮尖双仁，研如膏 生姜汁一合 桂心末二两 蜜五两

右件药，都合一处，入于银器中，慢火熬成膏，每服不计时候，以温酒调下一茶匙。又方：

藜荷根二两，研绞取汁 酒一大盏

右二味，相和令匀，不计时候，温服半盏。神巧万全方、肘后方、寿域神方同。

治偏风诸方

夫偏风者，为风邪偏客于身一边也。人体有偏虚者，风邪乘虚而伤之，故为偏风也。其状或不知痛痒，或缓纵，或痹痛是也。

治偏风手足不遂，肌肉顽痹，宜服独活散方：

独活^②□两 赤茯苓一两 汉防己一两 芎藭一两 赤芍药一两 麻黄一两半，去根节 牛膝一两，去苗 当归一两，锉，微炒 附子二两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉 草薢一两，锉 桂心二两 茵芋一两 防风一两，去芦头 羚羊角屑一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷、油腻、猪、鱼、鸡、犬肉。

治偏风不遂，心神虚烦，头目昏重，肢节不仁，宜服天麻散方：

天麻一两 麻黄一两，去根节 防风一两，去芦头 芎藭一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 荆芥一两 桂心一两 附子一两，炮裂去皮脐 独活一两 白术一两 当归一两，锉，微炒 石膏二两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治偏风不遂，肢节烦疼，心胸满闷，缓纵不仁，宜服侧子散方：

侧子一两，炮裂，去皮脐 独活三分 桂心三分

¹ 茶：太平圣惠方此下有“匙”字。

² 活：此下注文脱字，太平圣惠方作“二”。

汉防己三分 附子三分，炮裂，去皮脐 芍药三分 人参三分，去芦头 麻黄三分，去根节 当归三分，锉，微炒 秦艽三分，去苗 茯神三分 防风三分，去芦头 白术三分 细辛三分 甘菊花三分 甘草半两，炙微赤，锉 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥半合，搅令匀，更煎一两沸，不计时候温服。忌生冷、油腻、鸡、猪肉。

治偏风手足不遂，肌体不仁，筋脉拘急，时有疼痛，宜服防风散方：

防风三分，去芦头 白术三分 芍药三分 白芷三分 牛膝三分，去苗 狗脊三分 草薢三分，锉 薏苡仁三分 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 侧子一两，炮裂，去皮脐 当归三分，锉，微炒 羌活三分 麻黄三分，去根节 石膏二两^① 桂心三分

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷、油腻、猪、鸡、犬肉。

治偏风肌体虚弱，手足不遂，筋脉拘急，心胸烦闷，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 独活一两 酸枣仁三分，微炒 薏苡仁一两 防风三分，去芦头 赤茯苓一两 荆芥三分 芍药三分 黄耆三分，锉 五加皮三分 熟地黄三分

右件药捣细罗为散，每服二钱，以荆沥半合，酒一小盏，和暖，不计时候调服。

治偏风不遂，肌体烦疼，肢节无力，宜服五加皮散方：

五加皮一两 防风一两，去芦头 白术一两 附子一两，炮裂，去皮脐 草薢一两，锉 芍药一两 桂心一两 赤芍药一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 荆芥一两 羚羊角屑一两 丹参一两 麻黄二两，去根节 羌活二两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治偏风积年不差，脚手枯细，口面喎斜，精神不守，言语倒错，宜服茵芋散方：

茵芋三分 桂心三分 汉防己三分 附子三分，炮裂，去皮脐 侧子三分，炮裂，去皮脐 芍药三分 人参^②三分，去芦头 麻黄三分，去根节 当归三分，锉，微炒 赤芍药三分 秦艽一两，去苗 茯神三分 五加皮三分 防风半两，去芦头 白术半两 黄耆半两，锉 细辛半两 甘菊花半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。忌生冷、油腻、毒、鱼、滑物。

治偏风手足不遂，失音不语，口眼喎斜，宜服麻黄散方：

麻黄一两，去根节 防风一两，去芦头 附子一两，炮裂，去皮脐 芍药一两 桂心一两 犀角屑三分 前胡三分，去芦头 赤芍药三分 人参三分，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒令黄

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治偏风顽痹，心神冒闷，身体疼痛，宜服防风散方：

防风三分，去芦头 当归一两，锉，微炒 羌活半两 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 天雄半两，炮裂，去皮脐 附子半两，炮裂，去皮脐 赤箭半两 白术三分 乾姜半两，炮裂，锉 细辛半两 川乌头半两，炮裂，去皮脐 前胡一两，去芦头 白芷半两 莽草三分 麻黄一两，去根节 山茱萸半两 丹参半两^③ 人参三分，去芦头

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二^④钱。

治偏风不遂，心神烦闷，言语蹇涩，宜服枳壳丸方：

枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 丹参半两 赤茯苓一两 川升麻一两 黄耆一两，锉 防风三分，去芦头

① 两：太平圣惠方作“分”。

② 三：太平圣惠方作“一”。

③ 半两：太平圣惠方作“三分”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

羌活一两 人参一两，去芦头 羚羊角屑三^①分 薏苡仁二两 桂心一两 生乾地黄二两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，薄荷汤下一^②十丸。忌生冷、油腻、猪、鸡肉。

治偏风手足不遂，筋脉缓弱，肢节疼痛，宜服草薢丸方：

草薢一两，锉 白茯苓一两，微炒，去刺 赤茯苓一两 附子一两，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根节 防风一两，去芦头 羌活一两 人参一两，去芦头 羚羊角屑一两 柏子仁一两 薏苡仁一两 桂心一两 生乾地黄一两 当归一两，锉，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治偏风手足不遂，筋骨疼痛，宜服海桐皮丸方：

海桐皮一两 柏子仁三分 羌活三分 石斛一两，去根，锉 防风三分，去芦头 当归三分，锉，微炒 桂心一两 侧子一两，炮裂，去皮脐 仙灵脾一两 芎藭一两 麻黄一两，去根节 牛膝一两，去苗 莽草一两，微炙 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下三十丸。

治偏风手足不遂，皮肤不仁，宜服仙灵脾浸酒方：

仙灵脾一斤，好者

右细锉，以生绢袋盛，于不津器中，用无灰酒二斗卫生易简方一斗。浸之，以厚纸重重密封，不得通气，春夏三日，秋冬五日，后旋开取，每日随性暖饮之，常令醺醺不得大醉，若酒尽，再合服之，无不效验。合时切忌鸡犬见。神巧万全方同。易简方云：亦益阳事。

治风角弓反张诸方

夫风邪伤人，令腰背反折，不能俛仰，似角弓者，由风邪入于诸阳经故也。

治卒中风，身如角弓反张，口噤不语，宜服麻黄散方：

麻黄二两，去根节 防风一^③两，去芦头 羚羊

角屑一两 独活一两 五加皮一两 前胡一^④两，去芦头 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 人参一两，去芦头 芎藭一两 当归一两 石膏二两 杏仁

一两，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风口噤，身体拘急，如角弓反张，欲死者，宜服续命散方：

独活一两 防风一两，去芦头 麻黄二两半，去根节 附子一两，炮裂，去皮脐 细辛三分 芎藭三分 桂心一两 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 当归三分

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治中风角弓反张，心神烦乱，口噤不语，宜服犀角散方：

犀角屑一两 麻黄一两，去根节 防风三分，去芦头 石膏二两 桂心三分 白术三分 羌活一两 人参三分，去芦头 芎藭三分 白茯苓三分 细辛三分 当归三分 附子一两，炮裂，去皮脐 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治中风身如角弓反张，心胸满闷，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁一两 芎藭一两 当归三分 桂心一两 细辛三分 前胡三分，去芦头 羌活三分 茵芋三分 甘草半两，炙微赤，锉 生乾地黄三分 草薢三分 羚羊角屑三分

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候稍热服。

治中风身如角弓反张，筋脉拘急疼痛，

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 一：太平圣惠方作“二”。

④ 一：太平圣惠方作“二”。

宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 赤茯苓三分 芎藭三分 当归三分 酸枣仁三分，微炒 肉桂一两半，去粗皮 细辛半两 防风三分，去芦头 羌活一两 茵芋一两 丹参一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治中风，身如角弓反张，言语蹇涩，心神烦乱，宜服威灵仙散方：

威灵仙二两 独活一两 羚羊角屑一两 麦门冬一两，去心，焙 桂心一两 赤茯苓一两 防风一两，去芦头 细辛一两 麻黄一两，去根节 五加皮一两 薏苡仁一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，入淡竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治卒中风，身如角弓反张，眼斜口噤，宜服麻黄散方：

麻黄一两，去根节 羌活三分 附子三分，炮裂，去皮脐 防风三分，去芦头 桂心三分 薏苡仁三分 羚羊角屑三分 芎藭一两 当归一两 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治中风，身如角弓反张，口噤者，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 独活一两 羚羊角屑一两 白鲜皮一两 防风一两，去芦头 踯躅花一两，酒拌微炒 麻黄一两，去根节 芎藭一两 酸枣仁一两，微炒 川乌头半两，炮裂，去皮脐 桂心一两 牛黄一分，研入

右件药捣细^①罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以温酒调下二钱，频服以汗出为度。

治中风身如角弓反张，不语昏闷，宜服龙脑丸方：

龙脑一钱^②，细研 麝香一分，细研 乾蝎半两，

微炒 天南星半两，炮裂 朱砂半两，细研 阿胶半两，捣碎，炒令黄燥 香墨半两 白附子半两，炮裂 蝉壳一分 防风半两，去芦头 羚羊角屑半两 肉桂半两，去粗皮 羌活半两 乌蛇肉三分，酒浸，炙令微黄 牛黄一分，研入

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如绿豆大，每服不计时候，以温酒下十丸。

治中风角弓反张，口噤不语，四肢拘急，并肾藏风毒攻注，手足顽麻，一切急风，并宜服天麻丸方：

天麻一两 白附子一两，炮裂 天南星半两，炮裂 附子一两，炮裂，去皮脐 膩粉一分 牛膝一两，去苗 白僵蚕一两，微炒 乾蝎半两，微炒 羌活一两 槐胶一两 羚羊角屑一两 防风一两，去芦头 蝉壳半两 麝香一分，细研 朱砂半两，细研 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如鸡头实大，每服以生姜汁、薄荷汁各少计，入热酒二合相和，研下一丸，不计时候频服。

治风身体疼痛诸方

夫风身体疼痛者，由风湿搏于阳气故也。夫人阳气虚者，腠理易开，而为风湿所折，使阳气不得发泄，而与风湿相搏，于分肉之间相击，故疼痛也，诊其脉浮而紧者，则身体疼痛也。

治风身体疼痛，四肢懈惰，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 五加皮三分 麻黄三分，去根节 独活三分 当归三分 秦艽三分，去苗 赤茯苓三分 芎藭三分 桂心三分 草薢三分，锉 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷、油腻、毒鱼、滑物。

① 细：太平圣惠方作“粗”。

② 钱：太平圣惠方作“两”。

治风身体疼痛，筋脉拘急，不可俛仰，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 羌活三分 赤茯苓三分 薏苡仁三分 防风三分，去芦头 赤芍药三分 当归三分 芎藭三分 桂心三分 槟榔半两

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风身体疼痛，腰背拘急，宜服独活散方：

独活半两 附子三分，炮裂，去皮脐 防风半两，去芦头 麻黄三分，去根节 桂心半两 芎藭半两 薏苡仁一两 赤茯苓三分 牛膝三分，去苗 人参半两，去芦头 白术半两 茵芋半两 海桐皮半两，锉 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌生冷、油腻、毒鱼、滑物。

治风身体疼痛，头目昏重，宜服芎藭散方：

芎藭三分 防风半两，去芦头 麻黄三分，去根节 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 当归三分 白术半两^① 桂心半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 甘草半两，炙微赤，锉 蔓荆子半两 藁本半两 赤芍药三分

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治风身体疼痛，转侧不得，宜服防风散方：

防风三分，去芦头 薏苡仁一两 羌活三分 细辛半两 当归三分 仙灵脾一两 芎藭三分 肉桂三分，去粗皮 附子一两，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 骨碎补一两 枳实半两，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风气壅滞，身体疼痛，宜服五加皮散方：

五加皮三分 桂心半两 羌活三分 丹参三分 防风半两，去芦头 枳壳半两，麸炒微赤，去瓢 赤芍药三分 羚羊角屑三分 槟榔三分

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风身体疼痛，肢节不利，宜服茵芋散方：

茵芋一两 肉桂一两，去粗皮 海桐皮一两 芎藭一两 狗脊一两 防风一两，去芦头 牛膝一两，去苗 附子二两，炮裂，去皮脐 松节一两，锉 苍耳子一两，微炒 当归一两 羌活一两 木香一两 麝香一分^②，研入

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以温酒调下二钱，如不饮酒，荆芥薄荷汤下亦得。忌生冷、油腻、猪、鸡、犬肉。

治风走注疼痛诸方

夫风走注者，是风毒之气，游于皮肤骨髓，往来疼痛无常处是也。此由体虚受风邪之气，风邪乘虚所攻，故无其定止，是谓走^③也。

治风毒走注，疼痛不定，少得睡卧，宜服虎骨散方：

虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 败龟二两，涂酥，炙令黄 骊驎竭三分 赤芍药三分 当归三分 没药三分 自然铜三分，细研 牛膝一两，去苗 天麻一两 槟榔一两 五加皮一两 羌活一两 防风三分，去芦头 白附子三分，炮裂 桂心三分 白芷二^④分 神巧万全方三分 苍耳子三分，微炒 骨碎补三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。和剂局方一名乳香趁痛散。治男子、妇人，因气血虚弱，风毒邪气，乘虚攻注皮肤骨髓之间，与血气相搏，往来交击，痛无常处，游走不定，昼静夜甚，少得眠睡，筋脉拘急，不能屈伸。虎胫骨酥炙 败龟去裙，炙。各二两 简易方酥炙 骊驎竭细研 没药研 赤芍药去芦 当归去苗 自然铜醋淬，细研 简易方醋淬火煅九次 白芷 苍耳子微炒去刺 防风去芦叉 骨碎补去毛 肉桂去粗皮 白附子炮。各三分 简易方各

① 两：太平圣惠方作“分”。

② 分：太平圣惠方作“两”。

③ 走：太平圣惠方此下有“注”字。

④ 二：太平圣惠方作“三”。

二分 牛膝去苗，酒浸一宿 增注已上十二味各三两 五加皮去心 羌活去芦 天麻去芦 简易方酒浸一夕 槟榔各一两 右为细末，每服一钱，温酒调下不拘时。医方集成治风毒邪气，乘虚攻注经络之间，痛无常处，昼静夜甚，筋脉拘挛，不得屈伸。当归去苗 骨碎补 白芷^{南北经验方、袖珍方二两} 苍耳子^{微炒} 没药 麒麟竭^{细研 经验方、袖珍方二两} 防风去苗 肉桂去粗皮 赤芍药^{经验方、袖珍方二两} 牛膝去苗^{经验方、袖珍方一两} 自然铜^{醋淬，细碎} 白附子^{炮。各三两 经验方、袖珍方二两} 败龟酥炙，二两 五加皮 天麻 虎胫骨酥炙^{经验方、袖珍方、永类铃方二两} 羌活去苗 槟榔各一两 右为末，入研药，令匀，每服一钱，温酒调下，不拘时。

治风走注疼痛，及手足拘急，头痛不可忍，宜服乌头散方：

川乌头半两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂 川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗 天雄一两，炮裂，去皮脐 莽草一两，微炙 雄黄一两，细研 朱砂一两，细研 细辛半两 桂心半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下半钱。

治风走注疼痛，及白虎历节风等，宜服汉椒散方：

汉椒一两，去目及闭口者，微炒出^①汗 桂心三分 侧子一两，炮裂，去皮脐 麻黄三分，去根节 当归三分 木香三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下半钱。

治风走注疼痛，宜服桂心散方：

桂心 地龙^{微炒} 白僵蚕^{微炒} 漏芦 威灵仙 芎藭 白芷 当归 木香^{已上各半两}

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下一钱。

治风走注疼痛，来往不定，宜服仙灵脾散方：

仙灵脾一两 威灵仙一两 芎藭一两 桂心一两 苍耳子一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风走注疼痛不可忍，宜服虎骨散方：

虎胫骨一两 硃砂半两，醋化，涂虎骨上，慢火炙令黄 白芷一两 羌花一分，醋拌，炒令黑色 当归一两 漏芦一两 赤芍药三分 地龙一分，微炒 紫笋茶一两 桂心半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风走注疼痛方：

地龙一两，微炒 麝香一分，细研入

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风毒走注，肢节疼痛不可忍，宜服海桐皮煎丸方：

海桐皮半斤 牛膝半斤，去苗

已上二味并细锉，以水一斗，于大锅中煎至一升，用砂盆内烂研，绞取浓汁，即却于银锅中，渐渐入酒三升，煎为膏。

附子二两，炮裂，去皮脐 川乌头二^②两，炮裂，去皮脐 虎胫骨四两，涂酥，炙令黄 川大黄三两，性碎，微炒 桃仁二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 五加皮一两 赤芍药一两 肉桂一两，去粗皮 麻黄一两，去根节 当归一两 赤箭一两 地龙一两，微炒 木香一两 独活一两 没药一两 防风一两，去芦头 骨碎补一两 乳香一两 麒麟竭一两 乾蝎一两，微炒 天南星一两，炮裂 麝香半两，细研

右件药捣罗为末，入麝香，都研令匀，入前膏，和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。忌生油、毒鱼、滑物。

治风毒走注疼痛不定，宜服虎骨丸方：

虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 牛膝一两，去苗 天雄一两，炮裂，去皮脐 天麻一两 羌活一两 白附子二^③分，炮裂 防风三分，去芦头 桂心三分 酸枣仁三分，微炒 天南星三分，炮裂 乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 桑螵蛸半两，微炒 槐胶一两 桃胶半两 朱砂三分，细研 麝香一分，细研 当归一两 川

① 出：太平圣惠方作“去”。

② 二：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

大黄一两，锉，微炒

右件药捣罗为散，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温酒下二十丸。

治一切风毒，走注疼痛，宜服骨碎补丸方：

骨碎补一两 桂心一两 狗脊一两 木香一两
仙灵脾一两 附子三分，炮裂，去皮脐 川乌头三分，
炮裂，去皮脐 威灵仙一两 山茱萸一两 当归一两
甜瓜子三分 补骨脂一两，微炒 麻黄三分，去根节
白附子一两，炮裂 虎胥骨一两，涂酥，炙令黄 乾蝎
半两，微炒 天南星半两，炮裂 自然铜一两，细研 芎
藭三分 没药半两^① 赤芍药三分 朱砂半两，细研
白花蛇肉二两，酒浸，炙令黄 羌活^②分 白芷三
分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治风走注疼痛，宜服此方：

水银一两 枣十五枚，蒸熟，取瓤，和水银研令星尽
羌活三分 天南星三分，炮裂 乾蝎半两，生用

右件药捣罗为末，入水银、枣一处研和，丸如小豆大，别以膩粉拌令白色，阴乾，每服不计时候，以豆淋酒下五丸。

治风走注疼痛，宜服狼毒丸方：

狼毒一分 天南星半两 附子半两

右件药并生用，临捣合时，以净布裹，捶碎，用木臼内捣罗为末，后以石锅内煎醪醋成膏，和丸如梧桐子大，不计时候，以冷酒下两丸，如不饮酒，用冷水下亦得。

治风走注疼痛，上下不定，随痛处贴之，神效膏方：

牛皮胶一两，水溶作膏 神巧万全方牛膝一两，水煮研
为膏 芸苔子半两 安息香半两 附子半两，生用，
去皮脐 汉椒半两，生用

右件药捣细罗为散，入胶中，和成膏，万全方入牛膝中研成膏。涂纸上，随痛处贴之，立定。

治风走注疼痛不定，宜用此药随处熨之方：

芫花二两 柳叶半两 汉椒二两，去目 桂

心一两 桑根白皮二两 麸一升

右件药捣粗罗为散，用醋一升，拌炒令热，以青布裹，熨痛处，冷即更，入醋重炒，依前熨之，以差为度。

又方：

黑豆五升 芫花一斤 生姜半斤，切

右件药都炒，旋入醋拌，用青布裹，熨痛上，更番炒熨，以效为度。神巧万全方同。

又方：

针砂五^③两 砒霜半两 硃砂半两 雌黄半两
麝香一分 磁石半两

右件药捣为末，临时以醋拌炒令热，用热帛裹熨患处，立差。

治风走注疼痛，及四肢冷顽强硬，展缩不得，宜用此方：

皂荚一斤，不剥看 盐五升

右细锉，皂荚和盐炒热，以青布裹痛处，立差。

治热毒风诸方

夫热毒风者，皆由藏腑风虚，外邪所中，心肺壅热，风气在于胸心，或因吃热药，或饮酒过度，即头面肿热，心神烦躁，眼目昏昏，或时语涩，痰黏壅滞，皮肤壮热，面赤口乾，肢节不利者，是其候也。

治热毒风，攻头面赤肿，心膈烦热，肢节疼痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑三分 羌活半两 防风半两，去芦头
黄芩一两 白鲜皮一两 芎藭半两 川大黄一两，
锉碎，微炒 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 蕤蕤半两 牛
蒡子一两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌炙煨热面。

治热毒风，或^④上头面，微肿，时有烦热，宜服黄耆散方：

① 两：太平圣惠方作“分”。
② 一：太平圣惠方作“三”。
③ 五：太平圣惠方作“三”。
④ 或：太平圣惠方作“攻”。

黄耆一两，锉 汉防己三分 桑根白皮一两，
锉 赤茯苓一两 甘草半两，炙微赤，锉 白蒺藜二
两，微炒去刺 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 防风一两，去芦
头 羚羊角屑一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治热毒风，攻^①头面壅热，口乾心烦，
不欲吃食，宜服前胡散方：

前胡半两，去芦头 羚羊角屑一两 子芩半两
梔子仁半两 麦门冬一两，去心，焙 枳壳一两，麸炒
微黄，去瓢 防风^②一两，去芦头 甘菊花半两 沙参
半两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 石膏二两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治热毒风攻头面，烦热口乾，宜服青羊
角散方：

青羊角屑半两 黄芩半两 川升麻半两 栝
蒌根半两 石膏一两 川大黄一两，锉碎，微炒 玄
参半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。忌
炙煨物。

治热毒风攻头面，壅闷，口鼻乾，皮肤
瘙痒，宜服汉防己散方：

汉防己一两 茯神一两 白鲜皮一两 杏仁
一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 白蒺藜一两，微炒去刺
枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 黄芩一两 青羊角屑一两
豉^③ 羊角屑一两 沙参一两，去芦头 秦艽一两，去苗
麻黄一两，去根节 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治热毒风攻心腹烦闷，宜服犀角散方：

犀角屑一两 白鲜皮一两 黄芩一两 玄参
一两 葳蕤一两 葛根二两，锉 石膏三两 麦门
冬一两半，去心，焙 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至五分，去滓，入竹沥半合，更煎
一两沸，不计时候温服。

治热毒风，痰壅，头目晕闷，心神不宁，

宜服防风散方：

防风三分，去芦头 沙参半两，去芦头 犀角屑
一两 川升麻一两 木通一两，锉 羌活一两 秦艽
一两半，去苗 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 甘草一两，炙
微赤，锉 茯神一两 龙齿一两 前胡一两，去芦头

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一
中盏，煎至五分，去滓，入生地黄汁一合，
更煎一两沸，不计时候温服。

治热毒风攻头面，烦热，大肠不利，宜
服牛蒡子散方：

牛蒡子三两，微炒 羚羊角屑一两 槟榔一两
郁李仁二两，汤浸，去皮尖，微炒 青橘皮一两，汤浸，
去白瓢，焙 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣细罗为散，不计时候，以温水^④
调下二钱，以利为度。

治热毒风，心神烦躁，头目昏痛，宜服
天竹黄丸方：

天竹黄一两，细研 犀角屑半两 朱砂一两，细
研，水飞过 甘菊花三分 子芩一两 防风三^⑤分，
去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 石膏二两，细研，水飞过
苦参二^⑥分，锉

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼
蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，
煎竹叶汤下二十丸。

治热毒风，心神烦躁，头目眩晕，大肠
壅滞，宜服枳壳丸方：

枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 葳蕤三分 玄参二^⑦分
蔓荆子三分 防风三分，去芦头 麦门冬一两半，去心，
焙 沙参三分，去芦头 羚羊角屑半两 梔子仁三分
地骨皮三分 赤芍药半两 甘菊花半两 大麻仁
一两 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服不计时候，以温浆水下
二十丸。忌炙煨、热酒、猪肉。

① 攻：太平圣惠方无此字。

② 风：此下注文脱字，太平圣惠方作“半”。

③ 豉：太平圣惠方作“豉”。

④ 水：太平圣惠方作“酒”。

⑤ 三：太平圣惠方作“二”。

⑥ 二：太平圣惠方作“三”。

⑦ 二：太平圣惠方作“三”。

治热毒风壅，心神烦躁，头疼目赤，宜服红雪方：

川朴消 五斤，去滓 川升麻 三两 桑根白皮 二两，锉 犀角屑 二两 羚羊角屑 二两 朱砂 二两，细研 诃梨勒 三十颗 槟榔 二十枚 梔子仁 三十颗 苏枋木 六两

右件药细锉，以水一斗半，浸三宿，煎取五升，去滓，下朴消又煎，以柳木篦搅，勿住手，候稍稠即歇火，入朱砂，更搅令匀，入于新瓷盆内，候冷，即成红雪。每服含化一枣大，咽津；或为散，每服以温水调下一钱。

治热毒风攻脑，发落，头目昏闷，白屑甚者，宜用摩顶膏方：

乏铍铁 八两 黑铅 四两 诃梨勒皮 一两 陵零香 一两 莲子草 一两 防风 一两，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 花消 三两

右件药，细锉，绵裹，用清麻油二升^①，于通油瓷瓶中浸，密封七日后，取摩顶上及涂头良。

治头面热毒风，头黄发拳，头疮目赤悉主之，陵零香油方：

陵零香 半两 藿香 半两 甘松香 半两 白檀香 半两 马牙消 半两 莲子草 一分 没石子 五枚 诃梨勒 七枚 乾椹子 一两 沥卷油 二斤 乏铍子 铁 一斤

右件药，细锉，以绵裹，瓷瓶内，用油浸，密封七日后，取用摩顶甚良。

治脑中热毒风攻，眼内生障翳，兼镇心，定魂魄，摩顶油方：

生油 二斤 乏铍铁 半两 消石 一两 寒水石 一两 马牙消 一两 曾青 一两

右件药捣罗为细散，以绵裹入油中，都浸七日，可用少许于顶上及掌中摩之，并滴鼻中，甚妙。

治破伤风诸方

夫刀箭所伤，针疮灸烙，蹉折筋骨，痈肿疮痍，或新有损伤，或久患疮口未合，不

能畏慎，触冒风寒，毒气风邪，从外所中，始则伤于血脉，次^②则攻于藏腑，致身体强直，口噤不开，筋脉拘挛，四肢颤掉，骨髓疼痛，面目喎斜，如此之间，便致难救，此皆损伤之处，中于风邪，故名破伤风也。

治一切破伤急风，口噤，四肢抽掣，宜服朱砂散方：

朱砂 一两，细研 神巧万全方 半两 麝香 半两，细研 万全方 一钱 雄黄 一两，细研 天南星 一两，炮裂 白附子 一两，炮裂 母丁香 一两 藿香 一两 白花蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 桂心 一两 防风 一两，去芦头 蝉壳 一两 芎藭 一两 蔓荆子 一两 天麻 一两 白僵蚕 一两，微炒 麻黄 一两，去根节 川乌头 一两，炮裂，去皮脐 万全方已上十五味各半两

右件药捣细罗为散，入研了药令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治破伤风，身体拘急，手足搐掣，牙关急强，宜服羌活散方：

羌活 一两 乌蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 天麻 一两 防风 一两，去芦头 白附子 一两，炮裂 藁本 一两 麻黄 一两，去根节 白芷 一两 白僵蚕 一两，微炒 天南星 一两，炮裂 芎藭 一两 细辛 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 一两 当归 一两，锉，微炒 桑螵蛸 半两，微炒 乾蝎 一两，微炒 晚蚕蛾 半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治中破伤风，身体反强，牙关拘急，眼目翻张，宜服赤箭散方：

赤箭 一两 蝉壳 半两，微炒 乾蝎 半两，微炒 天南星 一两，炮裂 当归 一两 白僵蚕 一两，微炒 芎藭 一两 白附子 一两，炮裂 麻黄 一两，去根节 羌活 一两 桂心 一两 川乌头 一两，炮裂，去皮脐 朱砂 三分，细研 麝香 一分，细研 膩粉 三钱

右件药捣细罗为散，入后朱砂等三味，都研令匀，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治破伤风，口眼偏斜，四肢拘急，腰背强硬，宜服槐胶散方：

① 升：太平圣惠方作“斤”。

② 次：太平圣惠方作“又”。

槐胶二两 白花蛇二两，酒浸，去骨，炙令微黄
独活一两 白附子一两，炮裂 防风一两，去芦头 乾
蝎半两，微炒 乾姜半两，炮裂 天南星半两，炮裂 天
麻一两 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，入麝香，研令匀，
每服研薄荷汁半合，入酒三合，暖令温，调
下一钱，不计时候服。

治破伤风，身体强直，筋脉拘急，口眼
偏斜，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 川乌头一两，炮裂，去皮
脐 乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 乾蝎一两，微炒
天麻一两 天南星一两，炮裂 白附子一两，炮裂 防
风一两，去芦头 白僵蚕一两，微炒 蝉壳一两 麻
黄一两，去根节 藿香一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以
温酒调下一钱。

治破伤风，伤刀中箭，筋脉拘急疼痛，
宜服防风散方：

防风一两，去芦头 麻黄一两，去根节 川乌头
一两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，炮裂，锤 肉桂一两，去
粗皮 羌活一两 细辛一两 当归一两 乾蝎半两，
微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以
温酒调下一钱。

治破伤风，四肢不收，口中沫出，及中
贼风，并治之，独活散方：

独活一两 白僵蚕三分，微炒 乾蝎半两，微炒
附子一两，炮裂，去皮脐 防风三分，去芦头 芎藭一两
当归二^①分 麻黄一两，去根节 桂心一两 赤芍
药三分 天麻一两 细辛三分

右件药捣细罗为散，不计时候，以温酒
调下一钱。

治破伤风，牙关急硬，腰背强直，四肢
拘急，宜服天麻散方：

天麻半两 腻粉半两 乾蝎半两，微炒 硃砂
半两 防风半两，去芦头 细辛半两 川乌头半两，生
用，去皮脐 羌活半两 蝉壳一分，微炒

右件药捣细罗为散，入腻粉，都研令匀，
每服不计时候，以豆淋酒调下半钱。

追风散：如有破伤处，用此封闭疮口，
其风自出方。

天雄半两，去皮脐 桂心半两 半夏半两 川
乌头半两，去皮脐 天南星半两 密陀僧半两

右件药生用，捣细罗为散，每取三钱，
封疮口，其中如风雨声便差。

治破伤风及急风，宜服天南星散方：

天南星半两，炮裂 附子一分，炮裂，去皮脐 乾
姜半两，炮裂 半夏半分，汤洗七遍，去滑 汉防己半分^②
天麻一分 甜葶苈半分，隔纸炒令紫色 麝香一两^③，
细研

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以
温酒调下一钱。

治破伤风，角弓反张者，宜服阿胶散方：

阿胶三分，捣碎，炒令黄燥^④ 白附子三分，炮裂，
桂心三分 羌活三分 当归一两 天麻一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以
温酒调下二钱，频服，以出汗为效。

治破伤风及诸风，角弓反张，牙关急硬，
言语不得，宜服牛黄丸方：

牛黄半两，细研 龙脑一分，细研 麝香一分，细
研 水银半两，以少煮枣肉同研，令星尽 朱砂半两，细
研 硫黄半两，细研 硃砂半两，细研 腻粉半分 白龙
骨三分 天麻三分 牛膝三分，去苗 藁本三分 桔
梗三分，去芦头 白附子三分，炮裂 木香三分 白
僵蚕三分，微炒 肉桂三分，去粗皮 当归三分，锤，
微炒 防风三分，去芦头 附子三分，炮裂，去皮脐 天
南星三分，炮裂 独活三分 麻黄一两，去根节 乾蝎三
分，微炒 芎藭三分 蔓荆子三分 乌蛇^⑤二两，酒
浸，去皮骨，炙令微黄 犀角屑三分 蝉壳三分 羚羊
角屑三分 天竹黄三分，细研 槟榔三分

右件药捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜
和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时
候，以热酒下五丸，并吃三两服，当有汗出
为效。

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 分：太平圣惠方作“两”。

③ 两：太平圣惠方作“分”。

④ 燥：太平圣惠方作“爆”。

⑤ 蛇：太平圣惠方此下有“肉”字。

治破伤风，筋脉拘急疼痛，宜服羌活丸方。

羌活一两 芎藭一两 藁本一两 茵芋三分
麻黄一两，去根节 白附子二^①分，炮裂 牛膝三分，
去苗 麝香一分，细研 白龙膏三分 木香三分 防
风二^②分，去芦头 桂心三分 天麻一两 羚羊角屑
一两 乾蝎半两，微炒 当归一两，性，微炒 苍耳
喉头一两

右件药捣罗为末，入研了药令匀，煮枣肉，和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十丸，甚者，日四五服，以汗出为效。

治破伤风，筋脉拘急，腰背强直，牙关急硬，宜服追风丸方：

雀瓮内虫七枚 桑螵蛸七枚 乾蝎尾一分
半夏一分 芦荟一分 天南星一分 川乌头一分，
去皮脐 大蜘蛛二枚，乾者 乌蛇肉一分

右件药，并生用，捣罗为末，以熟枣瓤和，丸如大豆大，每服以豆淋酒下五丸，更内一丸于疮口中，上用薄纸盖之，当追风出，如吹动纸为验也。

治破伤风，身体拘急，口噤眼亦不开，宜服辟宫子丸方：

辟宫子一条，亦名守宫，酒浸三日，暴乾，捣罗为末 膩粉半分

右件药，同研令匀，以煮槐胶和丸，如绿豆大，不计时候，拗口开，以温酒灌下七丸，逡巡汗出差，未汗再服。

治破伤中急风，宜服天南星丸方：

天南星半两，生用 白附子三分，生用 膩粉半
分 龙脑一分，细研 乌蛇肉一两，生用 乾蝎半两，
生用 麻黄三分，去根节 附子一两，去皮脐，生用 牛
黄一分，细研 麝香半两，细研 朱砂三分，研细

右件药捣罗为末，都研令匀，以酒煮面糊和丸，如绿豆大，不计时候，以豆淋酒下七丸。

治一切破伤^③，角弓反张及诸风，宜服鹿角霜丸方：

鹿角一斤，以桑柴火及炭火烧，捣罗为末，又以浆水和作

团，再烧，如此九遍成霜 蛤粉五两 川乌头半两，炮裂，
去皮脐 麝香一两，细研 瓷药七两，捣罗为末，研令极细

右件药捣罗为末，更研令极细，煮糯米饭，和捣二三百杵，丸如弹子大，一丸分作两服，不计时候，以温酒磨下。

治破伤风，宜用乌头丸传之方：

川乌头一两，炮裂，去皮脐 盐半两 桑根白皮
一两，性 灶突内煤一两 面半两

右件药捣罗为末，以浓醋和拌，捣一二百杵，丸如梧桐子大，于破处，用醋研破一两丸封之。如无风，三五日其疮便可；如有风，即出却黄水，便差。神巧万全方同。

治中破伤风，口噤，筋脉拘急，不知人事，宜服此方：

天南星一两，炮裂 乾蝎一两，微炒 水银一两，
入少枣肉，研令星尽 附子半两，炮裂，去皮脐 乾姜半两，
炮裂，性

右件药捣罗为末，用枣瓤和丸，如绿豆大，不计时候，以温酒下十丸。

治破伤风，如角弓反张，筋脉拘急，口噤，宜服此方：

辟宫子七枚，微炙 天南星一两，炮裂 膩粉一
两 白附子一两，炮裂

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如绿豆大，每服不计时候，以温酒研下七丸，以汗出为效，未汗再服。

治风腰脚疼痛冷痹诸方

夫腰脚湿痹有^④是风、湿、冷三气相攻而成也。气胜则通行流转，不为留滞；风湿冷气胜，则住于腰脚，是为湿痹。风湿痹亦如虫行，觉则以手扪之，复不痛。春多入人筋肉间，夏入人气脉中，秋中人皮肤内，搔之湿痒生疮。风湿痹，冬多中人血脉腠理，则为诸风矣。本由外风邪入于格^⑤络气俞也。

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 伤：太平圣惠方此下有“风”字。

④ 有：太平圣惠方作“者”。

⑤ 格：太平圣惠方作“经”。

治风腰脚疼痛及冷痹，不任行李，宜服草薢散方：

草薢二两，锉 防风一两，去芦头 羌活一两 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心三分 当归三分 薏苡仁一两 石斛一两，去根节 牛膝一两，去苗 赤芍药一两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 酸枣仁三分，微炒

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水酒各半中盏，煎至六分，去滓，食前温服。忌生冷、油腻、毒鱼、滑物。

治下焦风虚，腰脚疼痛冷痹，不任行李，宜服羌活散方：

羌活一两 防风二①分，去芦头 五加皮三分 牛膝一两，去苗 桂心二分② 木香三分 附子一两，炮裂，去皮脐 酸枣仁一两，微炒 威灵仙三分 丹参三分 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 草薢一两，锉 当归一两，锉，微炒 松节一两，锉

右件药捣细罗为散，每服食前，以豆淋酒调下二钱。

治风腰脚冷痹疼痛，行李不得，宜服虎骨散方：

虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 败龟一两，涂酥，炙令黄 天麻半两 白附子半两，炮裂 乌蛇③一两半，酒浸，去皮骨，炙令微黄 附子一两，炮裂，去皮脐 海桐皮三分 防风半两，去芦头 羌活半两 芎藭半两 桂心三分 骨碎补三分，去毛 乾姜半两，炮裂，锉 牛膝一两，去苗 草薢半两，锉 熟乾地黄三分 当归三分，锉，微炒 麝香一分，研入

右件药捣细罗为散，入研了药令匀，每服食前，以温酒调下二钱。忌生冷、鸡、猪等肉。

治风腰脚疼痛冷痹，及四肢缓弱，宜服仙灵脾散方：

仙灵脾一两 附子一两，炮裂，去皮脐 当归一两，锉，微炒 草薢一两，锉 杜仲一两，去粗皮，炙令黄 木香一两

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治风腰脚疼痛冷痹，及四肢无力。宜服安息香散方：

安息香二两 附子二两，炮裂，去皮脐 虎胫骨二两，涂酥炙令黄

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下一钱。

治肝肾藏风毒流注，腰脚疼痛冷痹，及筋骨拘急，行李不得，宜服虎骨丸方：

虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 沉香半两 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 乾蝎半两，微炒 天麻一分 防风三分，去芦头 羌活一⑤分 天南星半两，炮裂 海桐皮一两 桂心三分 芎藭半两 白附子半两，炮裂 麻黄一两，去根节 赤芍药半两 羚羊角屑三分 硫黄半两，细研 川乌头半两，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 白僵蚕半两，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治风腰脚疼痛冷痹，筋骨无力，宜服牛膝丸方：

牛膝一两，去苗 草薢一两，锉 酸枣仁二⑥分，微炒 防风二⑦分，去芦头 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 丹参三分 附子一两，炮裂，去皮脐 芎藭三分 当归三分，锉，微炒 桂心三分 羌活三分 白茯苓三分 乳香一两 安息香一两 石斛一两，去根节

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空腹以温酒下二十丸，晚食前再服。忌生冷、油腻、猪、鱼、鸡、犬肉。

治风腰脚疼痛冷痹，宜服浸酒方：

虎胫骨一斤，涂酥，炙令黄 侧子五两，炮裂，去皮脐 当归五两，锉，微炒

右件药细锉，以生绢袋盛，以清酒一斗五升浸之，春夏三日，秋冬七日，每服暖一小盏服之，不耐酒人，随性饮之，常令醺醺。

治风腰脚冷痹疼痛，宜用贴熨乌头散方：

川乌头三分，去皮脐，生用

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 二分：太平圣惠方作“三两”。

③ 蛇：太平圣惠方此下有“肉”字。

④ 一：太平圣惠方作“三”。

⑤ 一：太平圣惠方作“三”。

⑥ 二：太平圣惠方作“三”。

⑦ 二：太平圣惠方作“三”。

右捣细罗为散，以醪醋调涂于故帛上，傅之，须臾痛止。

治风顽麻诸方

夫风顽麻者，由荣气虚，卫气实，风寒入于肌肉之间，使血气不能流通，其状搔之皮肤下似隔衣是也。诊其寸口脉缓，则皮肤不仁，脉数者生，牢急者死。

治顽麻风，搔之皮肤不知痒痛，宜服乌蛇散方：

乌蛇肉 五两，酒浸，炙令黄 天麻 一两 桂心 一两 羌活 半两 防风 一两，去芦头 麻黄 一两，去根节 白僵蚕 一两，微炒 苦参 一两，锉 踯躅花 半两，酒拌令匀，炒乾 人参 半两，去芦头 白蒺藜 三①分，微炒去刺 赤茯苓 一两 赤芍药 半两 威灵仙 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 芎藭 半两 天蓼木 一两

右件药捣细罗为散，每服空腹及晚食前，以温酒下二钱，忌猪、鸡肉。

治顽麻风及腰脚疼痛，宜服白头翁丸方：

白头翁 半两，去芦头，蒸五遍，焙乾 当归 半两 川大黄 半两，锉碎，微炒 羌活 半两 苦参 半两，锉 独活 半两 防风 半两，去芦头 牛膝 半两，去苗 仙灵脾 半两 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 桂心 半两 晚蚕蛾 半两，微炒 乌蛇肉 二两，酒浸，炙微黄

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下十丸，渐加至二②十丸。

治顽麻风，乌头丸方：

川乌头 半斤，用黑豆三升，水二斗，煮以黑豆烂熟为度，切作片子，曝乾 天麻 二两 黄耆 二两，锉 当归 二两，锉，微炒 羌活 二两 肉桂 二两，去粗皮 防风 二两，去芦头

右件药捣罗为末，用姜自然汁六两，蜜十二两，相搅令匀和药，捣三五百杵，丸如绿豆大，每日空心温酒下十丸，晚食前再服。

治手足顽麻风，天南星丸方：

天南星 一两，炮裂 天麻 一两 白附子 半两，炮裂 白僵蚕 半两，微炒 乌蛇肉 一两，酒浸，炙微黄 羌活 三分 赤茯苓 一两 乾蝎 一分，微炒 朱砂 半

两，细研

右件药捣罗为末，入朱砂更研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。忌羊血。

治身体顽麻风，宜服乌蛇丸方：

乌蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 防风 一两，去芦头 细辛 一两 白花蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 天麻 一两 独活 一两 肉桂 一两，去粗皮 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 苦参 一两，锉

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。神巧万全方同。

治身体手足有顽麻风，宜用皂荚膏摩方：

皂荚 肥者，五挺 川乌头 一两 乌蛇肉 二两 硫黄 三分，细研

右件药，以酒三升，浸皂荚经二③宿，神巧万全方三宿。揉取汁，入锅中，同乌头、乌蛇等，煎至一升，滤去滓，更熬令稠，离火入硫黄末，搅令匀，旋取摩顽处即效。

治风脚软诸方

夫肾主于脚，若体虚之人，腠理开疏，风邪之气，搏于肌肉，入于足少阴之经，流注于脚，则令缓弱也。此皆气血不足，风湿所攻，肾衰髓虚，行立无力，久而不差，故成脚膝风软也。

治风毒攻两脚软弱无力，行立艰难，宜服独活散方：

独活 一两 石斛 一两，去根，锉 海桐皮 一两，锉 防风 一两，去芦头 当归 一两 附子 一两，炮，去皮脐 羚羊角屑 一两 芎藭 一两 牛膝 一两，去苗 五加皮 一两 仙灵脾 一两 桂心 一两 汉防己 一两

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服。忌生冷、油腻，毒鱼、滑物。

治风毒攻肾藏，流注脚膝，软弱无力，

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

或时疼痛，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 石斛一两，去根铤 羌活三分 麻黄一两，去根节 草薢三分，铤 防风三分，去芦头 赤箭一两 牛膝一两，去苗 赤芍药三分 肉桂一两半，去粗皮 当归三分 木香三分 薏苡仁一两 槟榔一两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，又入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服之。

治风，脚膝软弱，筋骨缓纵，不能行立，宜服仙灵脾散方：

仙灵脾一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 石斛一两，去根铤 天麻一两 牛膝一两，去苗 麻黄一两，去根节 芎藭三分 五加皮三分 草薢三分，铤 丹参三分 桂心三分 当归三分 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 防风三分，去芦头 羌活三分 槟榔一两

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下一钱。忌生冷、油腻、猪、鸡肉。

治风，脚膝软弱，行立不得，宜服补益肾藏，强壮骨髓，利风毒，除缓弱侧子丸方：

侧子一两半，炮裂，去皮脐 天麻一两 独活一两 石斛一两，去根，铤 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，铤 鹿茸一两，去毛，涂酥，炙微黄 牛膝一两，去苗 附子一两，炮裂，去皮脐 当归①□两 肉桂二②两，去粗皮 威灵仙一两 五加皮一两 丹参一两 海桐皮一两，铤 安息香一两半 虎胫骨二③两，涂酥，炙令黄

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服以豆淋酒下三十丸，渐加至四十丸，空心及晚食前服。

治风脚膝软缓，不能履步，骨节无力，时有疼痛，宜服仙灵脾煎丸方：

仙灵脾五两 威灵仙五两 牛膝五两，去苗 黑豆一升 桑根白皮五两

右已上五味，细铤，以水二斗，煮至一斗，滤去滓，再煎至五升，入后药末。

天雄二两，炮裂，去皮脐 天麻二两 肉桂三两，去粗皮 酸枣仁二两，微炒 当归二两 虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 安息香二两

右件药捣罗为末，入前煎汁中，以慢火

熬令稠，以柳木篦不住手搅，候可丸即丸，如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下三十丸。忌生冷、油腻、猪、鸡肉。

治风脚膝软弱，履步不得，骨节疼痛，宜服蒴藶煎丸方：

蒴藶叶汁二升 海桐皮一两，铤 牛膝一两，去苗 羌活一两 当归一两 侧子一两，炮裂，去皮脐 桂心一两 仙灵脾一两 石斛一两，去根，铤 郁李仁一两，汤浸，去皮尖，微炒

右件药捣罗为末，先以好酒二升，和蒴藶汁，于银锅中熬令稠，和诸药末，捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治风毒，脚膝软弱，行立不得，宜服海桐皮浸酒方：

海桐皮 五加皮 独活 天雄 炮裂，去皮脐 石斛 去根 桂心 防风 去芦头 当归 杜仲 去粗皮，炙微黄 仙灵脾 草薢 牛膝 去苗 薏苡仁 已上各二两 虎胫骨 三两，涂酥，炙令黄 生乾地黄三④两

右件药细铤，以生绢袋盛，用清酒二⑤斗，春夏浸七日，秋冬浸二七日，每日时时暖饮一小盏，常令醺醺，不得大醉，重者不过两剂。若酒尽，旋旋添之，以药味尽即止。

治风，脚膝软弱，骨节疼痛，肢节无力，行步⑥艰难，宜服乌金煎方：

黑豆二升 茄子根 三斤，碎铤，以水三斗，与豆同煮至烂熟，去滓，更煎取汁五升，入后药末 桂心一两 羌活一两 芎藭一两 酸枣仁一两，微炒 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 防风一两，去芦头 草薢一两，铤 当归一两 仙灵脾一两 牛膝一两，去苗 附子二两，炮裂，去皮脐

右件药捣罗为末，入于前二味汁中，以慢火煎，柳木篦搅，勿令住手，可一炊时止，盛于瓷器中，每日早晨，以暖酒调下一茶匙，

① 归：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

② 二：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

⑥ 步：太平圣惠方作“立”。

日晚再服。

治风，脚膝软弱，宜服桑枝煎方：

桑枝 铤，三升 黑豆 一升 附子 五两，生用，碎铤
茄子根 铤，一升

已上四味，以水三斗，煮至一斗，滤去滓，再煎取五升，入后药末。

石斛 二两，去根，铤 天雄 二两，炮裂，去皮脐 天
麻 二两 芎藭 二两 牛膝 二两 去苗 桂心 二两

右件药捣罗为末，入前汁中，于银锅内，以慢火熬，用柳木篦不停手搅，候如膏，盛于瓷合中，每日空心，以热酒调下一茶匙，

晚再服。

治风，脚膝软弱，筋骨挛急疼痛，宜服天雄煎丸方：

天雄 二两，半生半炮裂，去皮脐 牛膝 二两，去苗 踯
躅花 选其好者，以酒浸一宿，来日取出，于甑内蒸一炊饭久，却晒令乾，又入酒中，更浸少时，更蒸，如此三度即止，晒乾后即用，一两半

右件药捣罗为末，以安息香一两，生蜜五两，同熬令稠，和前药末，令软硬得所，捣三二百杵，丸如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下十丸。

诸 风 门 五

圣 惠 方 三

治急风诸方

夫人性禀五行，以成五藏，岁有八节，乃布八风。人则因风所生，物则因风所长，风气虽能养物，亦能伤人，如水浮舟，还能覆也。夫急风者，是天地毒厉之气，非山川鼓振之风，世有体虚之人，不避寒湿^①，触犯之者，乃多中尔。其候，身背强直，口噤失音，筋脉拘急，鼻乾面黑，遍身壮热，汗出如油，目睛唇青，心神迷闷，痰涎壅结胸膈，喉中如拽锯声，脉候沉微，手足抽掣，苍卒之际，便至膏肓，故名急风也。

治急风，垂涎臂蹇，胸膈躁闷，宜服牛黄散方：

牛黄 一分，细研 龙脑 一分，细研 朱砂 三分，细研 雄黄 三分，细研 麝香 一分，细研 乌蛇肉 三分，酒浸，炙微黄 蝉壳 一分，微炒 天南星 三分，炮裂 白附子 三分，炮裂 侧子 半两，炮裂，去皮脐 白僵蚕 三分，微炒 芎藭 三分 防风 三分，去芦头 天麻 半两 紫葛 二^②分，锉 乾蝎 半两，微炒 甘菊花 半两 犀角屑 半两 麻黄 三分，去根节 羚羊角屑 半两 天竹黄 半两，细研 细辛 三分 藁木 三分

右件药捣细罗为散，入研了药，同研令匀，不计时候，以热酒调下二钱。

治急风，面青口噤，心膈有涎，不可出者，宜服附子散方：

附子 一两，以酒浸过，炮裂，去皮脐 白附子 一两，生用 白僵蚕 一两，生用 天南星 一两，生用 海桐皮 一两 狼毒 半两，以醋煮半日，细切，曝乾 麝香 一分，细研 半夏 一两，汤洗七遍，去滑 乾姜 半两，炮裂

右件药捣细罗为散，入麝香，都研令匀，

每服以热豆淋酒调下二钱，良久再服，必吐涎出，相次以热葱酒一盏投之，盖覆，令有汗为效。

治急风，四肢搐搦，口面喎戾，不知人事，宜服蚬蛭散方：

蚬蛭 一两，微炒 白附子 一两，炮裂 独活 一两 槐螺蛭 一两，微炒 白僵蚕 半两，微炒 天南星 半两，炮裂 腻粉 半两 天麻 一两 桂心 一两

右件药捣细罗为散，不计时候，以温酒调下一钱。

治急风，言语謇涩，心膈烦闷，四肢紧急，宜服乌蛇散方：

乌蛇肉 一两，酒浸，炙微黄 天南星 半两，炮裂 白附子 半两，炮裂 蝉壳 一分，微炒 白僵蚕 一两，微炒 天麻 一两 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 牛黄 一分，细研 附子 一两，炮裂，去皮脐

右件药捣细罗为散，不计时候，以温酒下二钱，薄荷汤调下亦得。

治急风，口眼不开，筋脉拘急，宜服阿胶散方：

阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 当归 一两，锉，微炒 乾蝎 半两，微炒 白僵蚕 半两，微炒 蝉壳 半两，微炒 桂心 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 麻黄 一两，去根节

右件药捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，良久，以葱酒投之，令汗出为效，未汗再服。

治急风，手足挛急，口噤项强，不知人事，宜服腊鸭散方：

腊月鸭 一只，去爪、嘴 腊月野狸肝 一具。已上

① 寒湿：太平圣惠方作“风寒”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

二味，同入瓷瓶中，以盐泥固济，候乾，以大火断令通赤，去火，取出，细研为散。天麻 三分 天南星 半两，炮裂 白附子 半两，炮裂 桑螵蛸 半两，微炒 藿香 半两 乾蝎 半两，微炒 蝉蜕 一分，微炒 乌蛇肉 三分，酒浸，炙微黄 白僵蚕 半两，微炒 天竹黄 半两，细研 阿胶 半两，捣碎，炒令黄燥 麝香 一分，细研 牛黄 一分，细研 龙脑 一分，细研 膩粉 一分

右件药捣细罗为散，与前二味相和，更研令匀，每服以温酒调下二钱，不计时候，频服以效为度。

治急风，及破伤^①角弓等风，并宜服天南星散方：

天南星 半两，水浸一宿，切作片子，焙乾 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 乾蝎 半两，微炒 肉桂 一两，去皱皮 白花蛇 一两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 白僵蚕 半两，微炒 细辛 半两 白附子 半两，炮裂 犀角屑 三分 膩粉 一分 天竹黄 三分

右件药捣细罗为散，不计时候，以温豆淋^②酒调下一钱。

治急风，顽涎壅闷，不知人事，宜服乾蝎散方：

乾蝎 一分，微炒 白僵蚕 半两，微炒 桑螵蛸 一分，微炒 蝉壳 一分，微炒 白附子 一分，炮裂 膩粉 一分

右件药捣细罗为散，不计时候，以温酒调下一钱。

治急风及破伤风，立效雄黄散方：

雄黄 三分，细研 牛黄 一分，细研 麝香 一钱^③，细研 白附子 三分，炮裂 蜘蛛 半两，微炒 天南星 三分，醋煮十沸，炙乾 白花蛇肉 一两，酒浸，炙微黄 天麻 二两 白僵蚕 半两，微炒

右件药捣细罗为散，入研了药令匀，不计时候，以温酒调下一钱。

治急风，四肢拘挛，牙关紧急，失音不语，宜服天麻散方：

天麻 一两 天南星 三分，炮裂 白附子 三分，炮裂 附子 一两，炮裂，去皮脐 麻黄 三分，去根节 桂心 三分 乌头 三分，炮裂，去皮脐 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 乾姜 半两，炮裂，性

右件药捣细罗为散，每服以豆淋酒调下二钱，盖覆，当有汗出，良久未^④汗，即再服之。

治急风，不省人事，宜服雄黄散方：

雄黄 半两，细研 龙脑 一分，细研 麝香 一分，细研 朱砂 三分，细研 阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 天南星 一两，炮裂 丁香 一分 香墨 半两 乾蝎 半两，微炒 蝉壳 半两，微炒 牛黄 一分，细研 膩粉 一分

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令匀，不计时候，以温酒调下一钱。

治急风，口噤项强，手足挛急，唇青面黑，宜服白花蛇丸方：

白花蛇 三两，酒浸，去皮骨，炙微黄 乾蝎 一两，微炒 白僵蚕 一两，微炒 白附子 一两，炮裂 川乌头 半两，炮裂，去皮脐 天南星 半两，炮裂 牛黄 半两，细研 防风 一两，去芦头 桂心 一两 麻黄 一两，去根节 鹿角胶 一两，捣碎，炒令黄燥 桑螵蛸 半两，微炒 半夏 一两，汤洗七遍，去滑 朱砂 三分，细研，水飞过 雄黄 半两，细研，水飞过

右件药捣罗为末，匀都研令^⑤，用天麻三两，捣罗为末，以无灰酒一大碗，慢火熬成膏，用和药末，更捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷酒研下十丸。

治急风，四肢拘急，口眼不正，言语蹇涩，宜服龙脑丸方：

龙脑 一分，细研 麝香 一分，细研 雄黄 一两，细研，水飞过 硫黄 一两，细研，水飞过 朱砂 一两，细研，水飞过 铅霜 半两，细研 天麻 二两 防风 二两，去芦头 独活 一两 桂心 一两 白附子 一两，炮裂 天南星 一两，炮裂 阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 木香 一两 人参 一两，去芦头 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 香墨 半两

右件药捣罗为末，都研令匀，用肥皂荚二斤，去黑皮，以水五升浸软，绞滤取汁，于银锅中慢火熬，稀稠得所，和前药末，更

① 伤：太平圣惠方此下有“风”字。

② 豆淋：太平圣惠方无此二字。

③ 钱：太平圣惠方作“分”。

④ 未：太平圣惠方作“不”。

⑤ 匀都研令：太平圣惠方作“都研令匀”。

捣五七百杵，丸如豉^①豆大，每服不计时候，以温酒化破十丸，服后别吃一盏热葱酒，令有汗出，至重者，并三五服差。

治急风，化涎，除口眼喎斜，言语蹇涩，宜服牛黄丸方：

牛黄 半两，细研 天南星 四两，生捣为末，用牛乳拌湿，炒令乾，如此三度后，细研 灶突中煤 一两，细研 白附子 二两，生捣为末，以生姜汁拌湿，炒乾，细研 水银 二两 铅 二两，与水银结为砂子，细研 乾蝎 二两，头足全者，捣罗为末

右件药都研令匀，炼蜜和令得所，入石脑油二两，捣三二千杵，丸如绿豆大，不计时候，以甘豆汤下十丸。

治急风，筋脉拘急，口眼喎斜，宜服土蜂丸方：

土蜂 十枚 雄黄 一分 硫黄 一分 膩粉 一钱 朱砂 一分 乾蝎 十枚，头足全者 蝉壳 十枚，微炒 龙脑 一钱 麝香 一钱

右件药都研为末，用槐胶和丸，如绿豆大，每服不计时候，以热豆淋酒下十丸，频服汗出为度。

治急风，四肢搐搦，筋骨疼痛，宜服乳香丸方：

乳香 一两，细研 乌头 半两，炮裂，去皮脐 雄黄 半两，细研 白附子 一两，炮裂 羚羊角屑 一两 附子 半两，炮裂，去皮脐 晚蚕蛾 一两，微炒 乌蛇 三两，酒浸，去皮骨，炙令黄 麝香 一分，细研 当归 三分 膩粉 一分 羌活 一两 防风 一两，去芦头 白僵蚕 一两，微炒

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热豆淋酒下十丸。

治急风及中恶不识人，面青，四肢逆冷，宜服玳瑁丸方：

生玳瑁 五两，捣罗为末 安息香 五两，用酒煮似糊，用绢滤去滓 朱砂 二两，细研，水飞过 雄黄 半两，细研 琥珀 一两，细研 麝香 一分，细研 龙脑 一钱，细研

右件药，都研令匀，以安息香糊和丸，如鸡头实大，用童子小便三合，生姜自然汁

半合，相和暖过，不计时候，研下三丸。

治急风，身背强直，面青口噤，心烦，言语不得，宜服牛黄丸方：

牛黄 一分，细研 雄黄 一两，细研，水飞过 朱砂 一两，细研，水飞过 水银 一两 硫黄 半两，并水银结为砂子，细研 麝香 一分，细研 阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 桂心 一两 天南星 半两，炮裂 独活 一两 白附子 一两，炮裂 赤箭 一两 铅霜 半两，细研 龙脑 一分，研入

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和丸，如绿豆大，不计时候，以热豆淋酒，研下十丸。

治急风，身强口噤，手足拘急，宜服铅霜丸方：

铅霜 一两，研入 犀角屑 半两 桑螵蛸 半两，微炒 赤箭 一两 白花蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 白僵蚕 一两，微炒 白附子 半两，炮裂 乾蝎 半两，微炒 天南星 半两，炮裂 附子 一两，炮裂，去皮脐 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 羌活 三^②分 乌头 半两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑^③□□ 防风 半两，去芦头 麝香 一分，研入

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，以水煮槐胶和丸，如绿豆大，不计时候，以温酒研下十丸。

治急风，口眼喎斜，四肢抽掣，宜服麝香丸方：

麝香 半两，细研 龙脑 一分，细研 牛黄 半两，细研 雄黄 三分，细研 犀角屑 三分 桂心 三分 羌活 三分 白花蛇 二两半，酒浸，去皮骨，炙令微黄 膩粉 一分 白附子 半两，炮裂 独活 三分 晚蚕蛾 三分 附子 一两，炮裂，去皮脐 蔓荆子 半两 防风 三分，去芦头 白僵蚕 半两，微炒 乾蝎 半两 天麻 一两半 芎藭 三分 白蒺藜 半两，微炒，去刺 半夏 三分，汤洗七遍，去滑 朱砂 一两，细研，水飞过 乳香 半两 羚羊角屑 半两 麻黄 三分，去根节

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，

① 豉：太平圣惠方作“藁”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 屑：此下注文脱字，太平圣惠方作“三分”。

以温酒下十丸。

治急风筋脉拘急，口面喎斜，宜服天雄丸方：

天雄一两，炮炙，去皮脐 麻黄一两，去根节 天麻一两 桂心一两 天南星一两，炮裂 半夏一两，汤洗七遍，去滑 羌活一两 膩粉半两 乾蝎一两，微炒 麝香一分，细研 朱砂一两，细研，水飞过 牛黄一分，细研 雄黄半两，细研 防风一两，去芦头 麝香^①一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以荆芥酒下十丸。

治急风，吐涎，四肢拘急，腰背强硬，宜服半夏丸方：

半夏半两 天南星半两 乾蝎半两 乌头半两，去皮脐

右件药并生用，捣罗为末，以黑豆面糊和丸，如绿豆大，每服不计时候，以温生姜酒下十丸。

治急风，腰背强硬，口眼牵急，宜服白荆花丸方：

白荆花半两，微炒 乌头一分，炮裂，去皮脐 半夏一分，汤洗七遍，去滑 膩粉半分 水银半分，以枣瓤研令星尽 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 天南星一分，炮裂

右件药捣罗为末，入水银，都研令匀，炼蜜和丸，如绿豆大，不计时候，以热酒下五丸。

治急风，眼前暗黑，心躁吐涎，四肢不举，宜服蛭螭丸方：

蛭螭半两，乾者 槐蚰粪半两 蚕沙一两，微炒 晚蚕蛾一分，微炒 乾地龙半两，微炒 蜘蛛半两，微炒 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 乌头半两，去皮脐，生用 天麻一两

右件药捣罗为末，用乌驴脑髓和丸，如梧桐子大，每服不计时候，以热酒下十丸，其药于腊月预修合之。

治急风，涎在胸膈，闷乱不已，宜服赤箭丸方：

赤箭三分 雄雀粪半两 天南星三分，炮裂 阿胶三分，捣碎，炒令黄燥 乾蝎二^②分，微炒 膩粉半两 麝香二钱，细研 半夏三分，汤洗七遍，去滑

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如绿豆大，不计时候，以温生姜酒研下七丸。

治急风，立效方：

土蜂子二七枚，针签灯上微炙^③ 乾蝎二七枚，全者，生用 雄黄半两，细研 牛黄一分，细研

右件药，都研极细，用粳米饭和丸，梧桐子大，不计时候，以温酒研下五丸。

治风痺曳诸方

夫风痺曳者，是肢体舒缓不收摄也。人以胃气养于肌肉经脉，若胃气衰损，其气则不实，气若不实，则经脉虚，虚则筋肉懈惰，故风邪搏于筋肉，即使痺曳也。

治毒风痺曳，手脚不遂，身体缓弱，或风入五藏，精神恍惚，多语言喜忘，有时恐怖，肢节烦疼，头眩心闷，腹满不食，宜服当归散方：

当归三分 羚羊角屑三分 川乌头半两，炮裂，去皮脐 黄芩半两 赤芍药半两 远志半两，去心 独活一^④分 五味子半两 防风半两，去芦头 芎藭半两 麻黄一两，去根节 秦艽三分，去苗 桂心半两 石斛半两，去根，锉 人参半两，去芦头 白茯苓半两 黄耆半两，锉 五加皮三分 石膏一两 杏仁三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。忌生冷、猪、鸡、犬肉、毒鱼、滑物。

治卒中恶风，口噤不能言，四肢痺曳，缓弱疼痛，风经五藏，恍惚，恚怒无常，宜服独活散方：

独活二两 白芍药一两 白术一两 葛根一两，锉 白茯苓一两 防风一两，去芦头 茵芋一两

① 麝香：此药重出，据太平圣惠方宜删。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 炙：太平圣惠方作“炒”。

④ 一：太平圣惠方作“三”。

细辛 一两 甘草 一两，炙微赤，锉 汉防己 一两 芎
劳 一两 酸枣仁 一两 桂心 一两 人参 一两，去芦头
五加皮 二两 麻黄 二两，去根节 川乌头 一两，炮裂，
去皮脐

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入竹沥一合，更煎一两沸，不计时候，稍热服。

治风奄忽不能言，四肢痺曳，皮肉痛痒不知，宜服防风散方：

防风 二两，去芦头 独活 ①一两 芎劳 一两 赤茯苓 一两 当归 一两 葛根 一两，锉 桂心 一两 麻黄 二两，去根节 附子 二两，炮裂，去皮脐 细辛 一两 汉防己 一两 甘草 一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治风虚百病，肢体痺曳不遂，宜服小八风散方：

人参 一两，去芦头 当归 一两 天雄 一两，炮裂，去皮脐 附子 一两，炮裂，去皮脐 防风 一两，去芦头 独活 一两 川椒 半两，去目及闭口者，微炒去汗 天门冬 一两半，去心，焙 乾姜 三分，炮裂，锉 山茱萸 半两 五味子 半两 前胡 一两，去芦头 麻黄 半两，去根节 白芷 三分 莽草 半两，微炙

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻、鲤鱼、猪肉。

治风邪所攻，肌肤虚弱，手足痺曳，筋脉不利，宜服赤箭丸方：

赤箭 二两 天雄 一两，去皮脐 丹参 一两 川乌头 一两，去皮脐 天南星 一两 独活 一两 防风 一两，去芦头 五加皮 一两 桂心 一两 白花蛇肉 一两 芎劳 一两 白附子 一两 牛膝 一两，去苗 仙灵脾 一两 白僵蚕 一两 桑螵蛸 一两 槟榔 一两 细辛 一两 酸枣仁 一两 乾蝎 一两 野狐肝 一两 蒺藜子 一两 草薢 一两，锉 麻黄 一两半，去根节 牛黄 半两，细研 朱砂 一两，细研，水飞过 麝香 半两，细研 龙脑 一分，细研

右件药并生用，都捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子

大，每服食前，以温酒下二十丸。忌生冷、油腻、毒滑鱼肉、羊血。

治风痺曳，手脚不能收摄，肌肤顽痹，筋脉不利，心神恍惚，骨节疼痛，宜服犀角丸方：

犀角屑 半两 羚羊角屑 半两 牛黄 一分，细研 麝香 一分，细研 天麻 一两 白附子 一两，炮裂 蝉壳 半两 牛膝 半两，去苗 防风 半两，去芦头 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 半两 当归 半两 芎劳 半两 羌活 ②□□ 白僵蚕 半两，微炒 五加皮 半两 乌蛇肉 二两，酒浸，炙微黄 薏苡仁 半两 麻黄 一两，去根节 朱砂 一两，细研，水飞过 远志 半两，去心 金箔 五十片，细研 银箔 五十片，细研 仙灵脾 一两 道人头 一两 地骨皮 半两

右件药捣罗末，入研了药，令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸，渐至三十丸。忌生冷、羊血。

治风痺曳，手足麻痺，屈伸不得，宜服仙灵脾丸方：

仙灵脾 一两 牛膝 一两，去苗 芎劳 一两 牛黄 一分，细研 麻黄 一两，去根节 乌蛇肉 二两，酒浸，炙微黄 天麻 一两 白附子 一两，炮裂 天雄 半两，炮裂，去皮脐 防风 一两，去芦头 独活 一两 当归 一两，锉，微炒 桂心 一两 细辛 半两 白僵蚕 一两，微炒 莽草 一两，微炙 朱砂 半两，细研 麝香 一分，细研

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以豆淋酒下十丸。忌毒滑鱼肉、羊血等。

治毒风痺曳，四肢不收，或挛急顽痹，宜服侧子丸方：

侧子 一两，炮裂，去皮脐 白附子 半两，炮裂 天南星 半两，炮裂 白僵蚕 半两，微炒 汉防己 半两 草薢 半两，锉 踯躅花 半两，酒拌炒乾 牛膝 半两，去苗 乌蛇肉 一两，酒浸，炙微黄 天麻 一两 羚羊角屑 半两 牛黄 一分，细研 麝香 一分，细研 硫黄 半两，细研 乾蝎 半两，微炒 桂心 半两 芎劳 半两

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 活：此下注文脱字，太平圣惠方作“半两”。

右件药捣罗为末，研入牛黄、麝香等，以水煮槐胶三两，更入少熟蜜同和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以热酒研下十九。忌生冷、油腻、毒滑鱼肉。

治柔风诸方

夫人血气俱虚，风邪入于阳，则皮肤缓，在于阴，则腹里急。柔风之状，皮外缓，则四肢不能收，腹里急，即不能仰息者，是其候也。

治柔风，身体疼痛，四肢缓弱不遂，宜服羌活散方：

羌活一两 桂心一两 熟乾地黄一两 葛根一两，锉 赤芍药一两 麻黄一两，去根节 甘草半两，炙微赤，锉 芎藭一两

右件药捣筛为散，每服五钱，以酒一中盏，水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至一盏二分，去滓，不计时候，分温二服。忌生冷、油腻、猪、鸡、鱼等。

治柔风，皮肤缓弱，四肢不仁，腹内拘急，骨节疼痛，宜服大续命散方：

麻黄一两，去根节 人参一两，去芦头 黄芩一两 赤芍药一两 芎藭一两 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁一两，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 防风一两，去芦头 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治卒中柔风，身体缓弱，四肢不收，烦热，腹内拘急，大小便涩，宜服当归散方：

当归一两 防风一两，去芦头 麻黄一两，去根节 白术一两 甘草半两，炙微赤，锉 白茯苓一两 附子一两，炮裂，去皮脐 生乾地黄一两 山茱萸一两 黄芩一两 桂心一两 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治柔风，肌肉软弱，身体疼痛，四肢不仁，宜服独活散方：

独活一两 桂心一两 芎藭一两 麻黄一两，去根节 防风一两，去芦头 白术一两 赤芍药一两 细辛一两 附子一两，炮裂，去皮脐 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治柔风，两脚疼痛，缓弱不仁，风经五藏，心神烦乱，肢节无力，宜服麻黄散方：

麻黄二两，去根节 附子一两，炮裂，去皮脐 白茯苓一两 独活一两 吴茱萸半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 秦艽一两，去苗 防风一两，去芦头 细辛一两 芎藭一两 桂心一两 乾姜一两，炮裂，锉 白术一两 人参一两，去芦头 汉防己一两 甘草半两，炙微赤，锉 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌生冷、油腻。

治柔风，四肢软弱，皮肤不仁，脚膝浮肿，行立无力，防风散方：

防风二两，去芦头 独活一两 牛膝一两，去苗 茵芋一两 芎藭一两 丹参一两 赤芍药一两 甘草一两，炙微赤，锉 细辛一两 泽漆一两 汉防己一两 麻黄一两，去根节 石膏一两 桂心一两 白茯苓一两 乌头一两，炮裂，去皮脐

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治柔风，筋骨缓慢，脚弱不能行立，宜服葛根散方：

葛根一两，锉 羌活三钱 乾姜一两，炮裂，锉 桂心一两半 半夏一两，汤洗七遍，去滑 防风二两，去芦头 甘草一两，炙微赤，锉 天麻二两 麻黄二两，去根节 天雄二两，炮裂，去皮脐 牛膝二两，去苗 草薢二两，锉

右件药捣筛为散，每服二①钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计

①二：太平圣惠方作“三”。

时候，热服，以常有汗为度。

治柔风，体虚里急，四肢缓痹不仁，宜服草薢散方：

草薢一两，锉 防风一两，去芦头 人参三分，去芦头 桂心三分 山茱萸半两 乾姜三分，炮裂，锉 川椒三分，去目及闭口者，微炒去汗 细辛三分 附子三分，炮裂，去皮脐 天雄半两，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 白术三分

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治柔风，皮肤虚缓，四肢不收，或时顽痹，腰脚无力，宜服天雄丸方：

天雄三分，炮裂，去皮脐 人参半两，去芦头 丹参半两 沙参半两，去芦头 白花蛇一两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 羚羊角屑半两 芎藭半两 白僵蚕三分，微炒 独活半两 防风三分，去芦头 牛膝三分，去苗 草薢半两，锉 麻黄三分，去根节 甘菊花半两 天麻一两 桂心三^①□ 当归半两 枳壳半两，麸炒微黄，去瓤 乾蝎半两，微炒 蝉壳半两，微炒 细辛半两 白蒺藜半两，微炒，去刺 仙灵脾三分 白附子三分，炮裂 蔓荆子半两 阿胶三分，捣碎，炒令黄燥 麝香一分，细研

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治柔风，四肢缓弱，及言语蹇涩，宜服乌金煎丸方：

羌活 独活 牛膝 去苗 附子 炮裂，去皮脐 白蒺藜 微炒，去刺 芎藭 牛蒡子 海桐皮 锉 防风 去芦头

右件药各一两，都捣罗为末，用黑豆七升，净淘，以水二斗，煮取汁二升，去豆，入前药末一半相和，却入银锅内，以文火煎成膏，又入余药末和丸，如梧桐子大，不计时候，以温酒下二十丸。

治柔风久不差，四肢缓弱，宜服牛蒡酒方：

牛蒡子 三两 生乾地黄 三两 枸杞子 三两 牛膝 五两，去苗

右件药，细锉，用生绢袋盛，以好酒二

斗，于瓷器内浸，密封，春夏七日，秋冬二七日后，每日空心服一小盏，晚食后再服，常令醺醺为妙。

治白虎风诸方

夫白虎风病者，是风、寒、暑、湿之毒，因虚所起，将摄失理，受此风邪，经脉结滞，血气不行，畜于骨节之间，或在四肢，肉色不变，其疾昼静而夜发，夜发^②即彻骨髓疼痛，其痛如虎之啮，故名白虎风病也。

治白虎风，风毒攻注，骨髓疼痛，发作不定，宜服羌活散方：

羌活一两 侧子一两，炮裂，去皮脐 秦艽一两，去苗 桂心一两 木香一两 芎藭一两 当归一两 牛膝一两，去苗 附子一两，炮裂，去皮脐 骨碎补一两 桃仁三十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，稍热服。

治白虎风，血脉结滞，骨髓疼痛，发作无时，宜服虎杖散方：

虎杖一两半 桂心一两 当归一两半 赤芍药一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 芎藭一两 枳实一两，麸炒微黄 羌活一两 防风一两，去芦头 秦艽一两，去苗 木香一两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍热服。

治白虎风，筋骨疼痛，至夜加甚，四肢懈惰，宜服赤芍药散方：

赤芍药一两 羌活一两 仙灵脾一两半 虎头骨二两，涂酥炙令黄 天雄一两，炮裂，去皮脐 芎藭一两 桂心一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以薤白汤调下二钱。

治白虎风，肢节疼痛，发即不可忍，宜服虎骨散方：

① 三：此下脱字，太平圣惠方作“分”。

② 夜发：太平圣惠方无此二字。

虎胫骨一两，涂酥炙令黄 白花蛇一两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 龙骨一两 天麻一两 防风一两，去芦头 乾蝎^①一两，微炒 桂心一两 当归一两 羌活一两 麝香一分^②，细研 白僵蚕一两，微炒 牛膝一两，去苗

右件药捣细罗为散，研令匀，每服不计时候，以热豆淋酒调下二钱。

治白虎风，痛彻骨髓，昼静夜发，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁半两，微炒 败龟三分，涂酥炙令黄 虎胫骨一两，涂酥炙微黄 羌活三分 牛膝三分，去苗 桂心三分 附子三分，炮裂，去皮脐 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 地龙一两，微炒 当归一两 没药半两 乳香半两 补骨脂三分，微炒 赤芍药三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治白虎风，疼痛不止，宜服当归散方：

当归一两 桂心一两 地龙一两，微炒 白僵蚕一两，微炒 威灵仙一两 漏芦一两 芎藭一两 白芷一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下二钱。

治白虎风，流注筋骨疼痛，宜服没药散方：

没药一两 独活一两半^③ 虎胫骨二两，涂酥炙令黄 晚蚕沙一两半，微炒 芎藭一两半 防风一两，去芦头 蔓荆子一两 当归一两 赤芍药一两 桂心一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以热酒调下二钱。

治白虎风，四肢疼痛，至夜转甚不可忍者，宜服白头翁煎方：

白头翁二两 牛膝三分，去苗 附子三分，炮裂，去皮脐 桂心三分 羌活三分 赤芍药三分 赤茯苓半两 人参半两，去芦头 防风三分，去芦头 虎胫骨一两，涂酥炙微黄 牡丹半两 当归三分 酥三合 生姜汁二合

右件药，都捣细罗为散，用好酒五升，都煎如饴，每服不计时候，以温酒调下一茶

匙，服药后，仍须炒蚕沙熨之为妙。

治白虎风，不计月日远近，夜加疼痛，走转不定，不可忍者，宜服麝香丸方：

麝香一分，细研 雄黄一分，细研 朱砂一分，细研 地龙三分，微炒 白附子半两，炮裂 芫花三分，醋拌炒令乾 斑猫五枚，用糯米炒令黄，去翅足 狼毒三分，锉，醋拌微炒

右件药捣罗为末，以醋煮面糊和丸，如绿豆大，不计时候，以温酒下五丸。

治白虎风，疼痛不可忍，宜服地龙散方：

地龙^⑤一两，微炒 好茶末一两 白僵蚕一两，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治白虎风，疼痛，走转不定，宜服此方：

虎胫骨二两，涂酥炙令黄 羌活一两 地龙一两，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治白虎风，走转疼痛，两膝热肿，宜服防风散方：

防风二两，去芦头 地龙二两，微炒 漏芦二两

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

又方：寿域神方治白虎历节风，百骨节疼痛不可忍。

虎胫骨一两，涂酥炙令黄 附子一两，炮裂，去皮脐 肘后方、神方、卫生易简方黑附子

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。肘后方、神方、易简方调下二钱，七日再服。

又方：

麒麟竭一两 硫黄一两，细研

右件药捣细罗为散，都研令匀，每服不计时候，以温酒调服一钱。

① 一：太平圣惠方作“半”。

② 分：太平圣惠方作“两”。

③ 半：太平圣惠方无此字。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 龙：太平圣惠方此下有“末”字。

又方：

地龙半两，微炒 阿魏半分 乳香一分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以好茶调下一钱。

治白虎风，疼痛走转不定，宜用雄黄散涂方：

雄黄一两 莽草一两 藜芦一两，去芦头 斑猫二十枚 赤小豆半合 白矾三分 芫夷三分 皂荚三分，烧灰 蛇床子二¹分 吴茱萸三分 硫黄半两，细研 附子一两，去皮脐，生用 巴豆十五枚，去皮心

右件药捣细罗为散，都研令匀，每用散一钱，以生油调，薄涂于痛处，日二易之。

治白虎风，痛走不定，无问老少，宜用地龙粪散熨之方：

地龙粪一升 红蓝花三两 炭灰五升

右件药，搅和熬令极热，以酹醋拌之，令匀，以故帛三四重裹，分作三裹，更替熨痛处，以效为度。

治白虎风，疼痛彻骨，不可忍，宜用熏药方：

精猪肉四两，切作片子 安息香二两

右将肉裹香，即用一瓶子，内著灰火，火上著一铜片子隔之，即安香于上烧之，以瓶子口就痛处熏之，以衣遮盖，勿令透气，三两上差。

治白虎风，寒热发歇，骨节微肿，彻骨疼痛，宜用鹁窠土丸摩之方：

鹁窠土二两 伏龙肝二两 飞罗面二两 砒黄一钱 水牛肉脯一两，炙令黄，别捣罗为末

右件药捣细罗为散，后入砒黄、牛脯末等，和令匀，每将少许以新汲水和如弹丸大，于痛处摩之，候痛止即取药，抛于热油铛中。

治白虎风，疼痛彻骨髓，不可忍者，宜用葱白熨方：得效方白虎风走注疼痛方。经验良方治风毒肿，白虎病名历节风。备预百要方白虎风肿痛方。此风痛如虫之啮也。

右取酹醋得效方、良方、卫生易简方三年酹醋。五升，煎三五沸，切葱白二升，得效方、良方三升，易简方二三升。煮一两沸，即漉出以布帛裹热熨痛处，

百要方又云冷易。极效。

治白虎风疼痛，宜服皂荚散傅之方：

皂荚 旅生乔麦 白蒺藜 谷精草 五灵脂 芸薹子已上各半两

右件药捣细罗为散，用酹醋调涂之效。

治刺风诸方

夫刺风者，由体虚之人，肤腠开张，为风邪侵也。其风邪走于遍身，而皮肤淫浊，巢氏病源淫跃。邪气与正气交争，风邪击搏，如锥刀所刺，故名刺风也。

治大风，周身皮肤肌体之内，如针所刺，精神昏昧，宜服火麻仁散方：

火麻仁三两 防风一两，去芦头 麻黄二两，去根节 陈橘皮一两，汤浸去白瓤，焙 桂心二两 独活二两 石膏二两 附子一两，炮裂，去皮脐 白蒺藜一两，微炒，去刺

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌猪鸡肉、生冷、油腻。

治体虚风邪所中，攻走皮肤，状如针刺，四肢不仁，筋脉拘急，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁二两 独活一两 茵芋一两 细辛一两 桂心一两 侧子一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 酸枣仁一两，微炒 麻黄一两，去根节 五加皮一两 羚羊角屑一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治刺风，皮肤顽痹，宜服羌活散方：

羌活一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 白鲜皮一两 枫香三分 乌蛇肉一两，酒浸，炙令黄 当归一两 防风一两，去芦头 肉桂一两，去皱皮 茵芋一两，炮裂，附子一两，炮裂，去皮脐 芎藭一两 酸枣仁一两，微炒 海桐皮一两，锉 麻黄二两，去根节 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻、湿面、毒滑鱼、

¹ 二：太平圣惠方作“三”。

肉。

治刺风，皮肤如针刺，或顽痹不仁，宜服天麻丸方：

天麻一两 踯躅花一两 独活一两 麻黄二两，去根节 附子一两，炮裂，去皮脐 白附子一两，炮裂 晚蚕蛾一两 乌蛇肉二两，酒浸，炙令黄 防风一两，去芦头 道人头一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 麝香半两，细研 桂心一两 当归一两 川乌头一两，炮裂，去皮脐

右件药捣罗为末，入麝香，都研令匀，炼蜜和捣二三百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸，如有汗出，切宜避风。

治刺风，遍身如针刺，肩背四肢拘急，筋骨疼痛，宜服白蒺藜丸方：

白蒺藜一两，微炒，去刺 茵芋一两 羌活一两 木香一两 羚羊角屑一两 附子一两，炮裂，去皮脐 白花蛇肉二两，酒浸，炙微黄 白附子一两，炮裂 当归一两，锉，微炒 乾蝎一两，微炒 薏苡仁三分 槟榔半两 牛膝一两，去苗 芎藭一两 牛黄一分，细研 麝香一分，细研 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，别研为膏 防风三分，去芦头 酸枣仁一两，微炒

右件药捣罗为末，入杏仁膏，相和令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。忌生冷、油腻、毒滑鱼、肉。

治头面风诸方

夫头面风者，由体虚之人，阳脉为风所乘也。诸阳之经，皆上走于头面，若运动劳役，阳气发泄，腠理开疏，而受之风邪，谓之首风。其状头面多汗，恶风头痛。又新沐头未乾，不可便卧，使头重身热，或则烦闷，又夏月露下卧，露堕面上，令面皮厚，喜成疮癣，乃作面风也。巢氏病源此下云：诊其脉寸口、阴阳、表里互相乘。如风在首，久不瘥，则风入脑，变为头眩。

治头面风，皮肤瘙痒，心膈烦闷，目眩头疼，宜服山茱萸散方：

山茱萸半两 甘菊花半两 荆芥穗半两 秦

芫三分，去苗 芎藭一两 茯神三分 蔓荆子三分 山梔子半两 羚羊角屑半两 汉防己半两 藜本三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入薄荷三七叶，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌湿面、油腻。

治头面风，皮肤不仁，头疼心闷，四肢不利，宜服蔓荆散方：

蔓荆子二^①分 防风半两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 山茱萸半两 麻黄三分，去根节 旋复花三分 甘菊花三分 芎藭三分 莽草三分，微炙 甘草半两，炙微赤，锉 羚羊角屑三分

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头面风，皮肤瘙痒，头目昏疼，上焦烦壅，宜服赤箭散方：

赤箭三分 前胡一两，去芦头 白蒺藜半两，微炒，去刺 黄耆半两，锉 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 防风一两，去芦头 羚羊角屑半两 甘菊花半两 甘草一分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治毒风上冲，头面赤热，或生细疮，皮肤瘙痒，心神烦躁，宜服乌蛇散方：

乌蛇肉二两，酒浸，炙微黄 羚羊角屑三分 人参三分，去芦头 赤茯苓三分 沙参三分，去芦头 麻黄一两，去根节 防风三分，去芦头 白蒺藜三分，微炒，去刺 白鲜皮三分 独活一两 黄芩三分 秦芫一两，去苗 川升麻三分 川大黄三分，锉，微炒 牛蒡子半两，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温浆水调服二钱。

治头面有风，牵引眼睛疼痛，偏视不明，宜服藜本散方：

藜本一两 细辛三分 秦芫一两，去苗 羌活三分 桂心半两 山茱萸半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 薯蕷三分 蔓荆子半两

① 二：太平圣惠方作“三”。

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治头面风，目眩耳聋，宜服薯蓣散方：

薯蓣一两 防风一两，去芦头 细辛半两 山茱萸半两 川升麻半两 甘菊花半两 蔓荆子半两 藁本半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治头面风，皮肤痒，肢节疼痛，头目不利，项强耳聋，宜服甘菊花丸方：

甘菊花三分 人参三分，去芦头 当归三分 防风半两，去芦头 秦艽半两，去苗 山茱萸半两 白鲜皮半两 黄耆半两，锉 汉防己半两 桂心半两 白术半两 白蒺藜半两，微炒，去刺 生乾地黄半两 独活半两 芎藭半两 细辛半两 苍耳子半两 薯蓣半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治热毒风攻头面，瘙痒如似虫行，时发风疹，宜服白蒺藜丸方：

白蒺藜三分，微炒，去刺 独活三分 羚羊角屑三分 防风三分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 薯蓣二^①分 地骨皮三分 莽草一两，微炙 葳蕤半两 苦参一两，锉 枫香一两 蝉壳半两，微炒

右件药捣罗为末，用炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。忌猪、鱼肉。

治头面风，瘙痒如虫行，上焦痰滞，藏腑壅塞，宜服皂荚煮丸方：

皂荚一斤，不蛀者，捶碎，以淡浆水二升，摆滤取汁，慢火熬成膏 乌蛇肉三两，酒浸，炙微黄 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 川大黄一两，锉碎，微炒 防风一两，去芦头 苦参一两，微炒 牛蒡子一两，微炒 天麻一两 荆芥一两

右件药捣罗为末，入皂荚煎和，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温浆水下三十丸。

治风头旋诸方

夫风头旋者，良由体虚，风邪乘于阳脉，

诸阳之经，皆上注于头面，风邪随入于脑，遂成头旋，亦因痰水在于胸膈之上，犯大寒，使阳气不行，令痰水结聚，而阴气逆上，风与痰相结，上冲于头，则令头旋也。

治上焦风痰攻，头目眩晕，心神烦乱，宜服汉防己散方：

汉防己一两 羚羊角屑三分 人参三分，去芦头 荆芥三分 芎藭三分 半夏半两，汤洗七遍，去滑 赤茯苓三分 旋复花半两 防风半两，去芦头 前胡一两，去芦头 细辛半两 麦门冬一两，去心，焙 枳实三分，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌饴糖、羊肉。

治上焦风痰，头旋目晕，不欲饮食，宜服前胡散方：

前胡一两，去芦头 白术一两 防风一两，去芦头 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 茯神一两 细辛半两 蔓荆子三分 半夏三分，汤洗七遍，去滑 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中^②盏，入生姜半分，薄荷三七叶，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风头旋晕闷，起则欲倒，宜服蔓荆子散方：

蔓荆子三分 赤箭半两 细辛半两 麦门冬一两，去心，焙 地骨皮半两 石膏一两 黄芩三分 防风三分，去芦头 羚羊角屑三分 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 芎藭三分 茯神三分 甘菊花三分 甘草半两，炙微赤，锉 半夏三分，汤洗七遍，去滑

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌热面、饴糖、羊肉。

治风头旋，上膈多痰，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 防风半两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 半夏半两，汤洗七遍，去滑 茯神一两 白芷半两 甘草半两，炙微赤，锉 附子三分，炮裂，去

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 中：太平圣惠方作“大”。

皮脐 芎藭半两¹

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候温服。简易方治一切头旋，本因体虚，风邪乘于阳经，上注于头面，遂入于脑，亦因痰水在胸膈间，犯大寒，使阳气不行，痰水结聚，上冲于头，则令头旋。羚羊角 茯神各一分 芎藭 防风 白芷 半夏 汤洗七次 甘草各半两 枳壳 附子各一分 右粗末，每四钱，水盏半²医方大成、集成一盏。姜三片，煎七分，去滓，温服。

治风头旋，心胸不利，宜服白术散方：

白术一两 前胡一两，去芦头 防风三分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 赤茯苓一两 蔓荆子三分 甘草半两，炙微赤，锉 半夏半两，汤洗七遍，去滑 芎藭三分

右件药粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风头旋，忽忽如醉，痰逆，不下饮食，宜服甘菊花散方：

甘菊花三分 天麻一两 石膏二两 芎藭三分 独活三分 防风三分，去芦头 白术三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 茯神一两 羚羊角屑三分 杜若三分 黄芩三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风头旋，发则心腹满急，眼晕欲倒，宜服芎藭散方：

芎藭三分 独活半两 防风半两，去芦头 赤茯苓三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 白术半两 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 黄芩半两 羚羊屑半两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风头旋眼晕，如似屋转，起即旋倒者，宜服远志散方：

远志三分，去心 防风一两，去芦头 芎藭一两 人参三分，去芦头 独活一两 葛根三分，锉 桂心半两 山茱萸半两 薯蓣三分² 白术半两 天雄半两，炮裂，去皮脐 茯神半两 莽草半两，微炙 甘菊花半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风头旋，手足厥逆，身体疼痛，心乱反倒如癫，发歇无恒，宜服独活散方：

独活一两 白术三分 防风三分，去芦头 细辛半两 人参半两，去芦头 乾姜半两，炮裂，锉 天雄一分，炮裂，去皮脐 桂心一分 栝楼根三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风头旋，目疼，身体痛，宜服山茱萸散方：

山茱萸一两 防风一两，去芦头 薯蓣半两 芎藭半两 细辛半两 甘菊花半两 天雄半两，炮裂，去皮脐

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风头旋，口喎目痛，耳聋，宜服天雄散方：

天雄三两³，炮裂，去皮脐 细辛三两 山茱萸三两 乾姜三两，炮裂 薯蓣七两 防风七两，去芦头 右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治风头旋，每⁴发眩冒，宜服鸱头丸方：

鸱头一枚，炙令黄 蓖茹一两 白术一两 川椒一两，去目及闭口者，微炒去汗

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治肺脾风痰攻心膈，烦满，头目旋晕，不纳饮食，宜服旋复花丸方：

旋复花半两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 石膏

① 半两：太平圣惠方作“三分”。

② 一分：太平圣惠方作“半两”。

③ 两：太平圣惠方作“分”。

④ 每：太平圣惠方作“每”。

二两 川升麻¹ 半两 前胡一两，去芦头 防风一两，去芦头 羚羊角屑三分 赤茯苓三分 白蒺藜三分，微炒，去刺 川大黄三分，锉碎，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 黄芩三分

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食后，煎竹叶汤下三十丸。

治风头旋，宜用摩顶细辛膏方：

细辛三两 当归三两 桂心二两 天雄二两，去皮脐，生用 白芷一两半 芎藭一两半² 乾姜一两 乌头一³两，去皮脐，生用 松柏叶各四两 生地黄五斤，取自然汁 朱砂一两，细研 猪肪三斤

右件药九味捣筛，如麻子大，以地黄汁浸一宿，先煎猪肪，销去筋膜，下火停冷，下地黄汁，并浸者药同煎，令白芷黄色，去滓，入朱砂末，用柳木篦，不住手搅，令凝，收于瓷合内，用摩头顶甚效。

治风头旋脑转，宜服蝉壳散方：

蝉壳二两，微炒

右捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。肘后方、卫生易简方同。

治风头旋，菊花酿酒方：

甘菊花开者。卫生易简方无甘字。

右件药，九月九日取曝乾作末，以糯米饭中蒸熟，每一斗米，用五两菊花末溶拌，如常酝法，多用细曲易简方面曲。为良，候酒熟，即压去滓，每暖一小盏服。

治风头旋，脑皮肿痹⁴，松花浸酒方：

松花并⁵合

右件药，春三月取五六寸，如鼠尾者，不计多少，蒸，细切一升，用生绢囊贮，以酒三升，浸五日，每服空腹暖饮五合，晚食前再服。

治头风目眩诸方

夫头风目眩者，由血气虚，风邪入脑，而牵引目系故也。五脏六腑之精气，皆上注于目，血气与脉并上为目系，系属于脑，后出于项中，血脉若虚，则为风邪所伤，入脑

则转而目系急，目系若急，故成眩也。诊其脉洪大而长者，风眩也。巢氏病源此下云：又得阳经浮者，暂起目眩也。风眩久不差，则变为痼巢源作癰也。

治头风目眩，心胸痰壅，不下饮食，及四肢不利，宜服杜若散方：

杜若一两 防风一两，去芦头 赤茯苓一两 山茱萸一两 蔓荆子三分 茵芋三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 飞廉三分 石膏一两 藁本半两 甘草半两，炙微赤，锉 芎藭半两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头风目眩，眼旋欲倒，头痛，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓤 麻黄三分，去根节 茯神一两 芎藭半两 前胡半两，去芦头 细辛半两 石膏二两 虎掌半两，汤洗七遍，生姜汁拌，炒令黄 黄芩半两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，入淡竹沥、荆沥各半合，更煎二三沸，不计时候，温服。

治头风目眩，痰逆头痛，水浆不下，宜服前胡散方：

前胡一两半，去芦头 旋复花三分 防风一两，去芦头 甘草半两，炙微赤，锉 飞廉半两 黄芩半两 杜若半两 防己半两 赤茯苓一两 石膏二两 芎藭半两

右件药捣粗罗为散，每服二⁶钱，以水一中盏，入甜竹茹一分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头风目眩，水浆不下，食辄呕吐，起即眩倒，宜服汉防己散方：

汉防己一两 杜若一两 防风一两，去芦头 细

1 川升麻：太平圣惠方作“川椒”。

2 半：太平圣惠方无此字。

3 一：太平圣惠方作“二”。

4 痹：太平圣惠方此下有“宜服”二字。

5 并：太平圣惠方作“半”。

6 二：太平圣惠方作“三”。

辛半两 虎掌半两，汤洗七遍，姜汁拌，炒令黄 附子半两，炮裂，去皮脐 桂心半两 甘草一分，炙微赤，锉 芎藭三分

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头风目眩，心腹满闷，不下饮食，宜服芎藭散方：

芎藭三分 杜若三分 天雄三分，炮裂，去皮脐 半夏半两，汤洗七遍，去滑 防风半两，去芦头 白术半两 赤茯苓三分 人参三分，去芦头 陈橘皮三分，汤浸去白瓢，焙 甘草一分，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头风目眩，晕闷，起即欲倒，不下饮食，宜服赤茯苓散方：

赤茯苓三分 防风三分，去芦头 甘菊花三分 天雄半两，炮裂，去皮脐 麻黄半两，去根节 细辛半两 芎藭半两 杜若三分 前胡三分，去芦头 白术三分 杏仁半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风热上攻，头旋晕闷，喜卧怔忡，起即欲倒，项背急强，宜服旋复花散方：

旋复花半两 蔓荆子半两 白术三分 麦门冬一两，去心，焙 前胡一两，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 甘菊花三分 半夏半两，汤洗七遍，去滑 防风半两，去芦头 川大黄一两，锉碎，微炒 甘草半两，炙微赤，锉 独活半两

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治头风目眩痛，宜服甘菊花散方：

甘菊花三分 茯神一两 犀角屑三分 防风一两，去芦头 川升麻三分 石膏二两 白芷半两 芎藭半两 甘草半两，炙微赤，锉 牡荆子一两 葛根一两，锉 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，竹叶二七片，煎至六分，去滓，不计时候，温服。神巧万全方同。

治头风目眩，如屋转旋倒者，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 芎藭一两 人参一两，去芦头 独活一两 葛根一两，锉 桂心一两 山茱萸一两 白术一两 远志一两，去心 薯蓣一两 神巧万全方已上五味各半两 茯神三分 万全方一分 莽草半两 万全方一分，加甘菊花三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治头风目眩，宜服茯神散方：

茯神一两 甘菊花一两 蔓荆子一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 地骨皮一两 石膏二两 防风三分，去芦头 甘草三分，炙微赤，锉 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以熟水调下二钱。

治头风，目眩痛及耳聋，宜服薯蓣散方：

薯蓣一两 防风一两，去芦头 细辛半两 山茱萸三分 杜若三分 白茯苓三分 芎藭半两 甘菊花半两 蔓荆子半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治头风目眩，恶风冷，心闷，不下饮食，宜服白芷散方：

白芷半两 防风一两，去芦头 白茯苓一两 细辛一两 芎藭一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 薯蓣一两 人参一两，去芦头 杜若半两 桂心三分 白术一两 前胡一两，去芦头

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以暖酒调下二钱。

治风毒气上攻，头痛目眩，宜服踯躅散方：

踯躅花一两，酒拌，微炒 白花蛇肉一两，酒浸，炙令微黄 天雄一两，炮裂，去皮脐 甘菊花半两 天麻一两 肉桂一两，去皱皮 藁本一两 细辛三分 羌活一两 秦艽一两，去苗 防风三分，去芦头 羚羊

角屑三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治头风目眩，风毒冲脑，脑户留热，及脑中诸疾，或脑脂流入目中，致令昏暗，往往头痛，旋闷脑疼，兼眼诸疾，及发不^①生白屑，目中风泪，宜用生发明目去诸疾，青莲摩顶膏方：

生油一升 真酥^②二两 莲子草汁一升 吴蓝一两 大青一两 葳蕤一两 槐子仁一两，微炒 山梔子仁一两 淡竹叶一握，已上六味，细锉，绵裹 长理石一两 盐花二两 曾生^③一两 川朴消二两

右件药，先取油、酥、莲子草汁三味，于铜锅中，以慢火熬令如鱼眼沸，即入绵袋内药，煎之半日，去药，别用绵滤过，又净拭铛，却入药油，煎令微沸，即下长理石等四味，以柳篦轻搅，十余沸膏成，收于不津器中。每用涂顶及无发处，匀涂，以铁匙摩之，令膏入脑即止，亦不得频，每二三夜一度摩之，摩膏后，头稍垢腻，任休^④寻常洗之，用桑柴灰洗头，更益眼矣。

治中风半身不遂诸方

夫半身不遂者，因脾胃虚弱，血气偏虚，风邪所侵故也。脾胃为水谷之海，是水谷之精，化为血气，润养身体，今脾胃既虚弱，即水谷之精润养不周，致今血气偏虚，而为风邪所侵，故半身不遂也。诊其脉，寸口沉细，名曰阳中之阴，病苦悲伤不乐，恶闻人声，少气，时时汗出，臂偏不举；又寸口脉偏绝者，则臂偏不遂，其人两手脉尽绝者，不可治也。

治中风半身不遂，头目昏痛，心烦体热，宜服麻黄散方：

麻黄二两，去根节 桂心一两 葛根二两半^⑤ 犀角屑一两 地骨皮一两 丹参一两 白术一两 独活一两 芎藭一两 石膏一两 甘菊花一两 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一

中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。忌油腻、毒滑鱼、肉。

治中风半身不遂，肢节无力，疼痛，宜服附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 五加皮一两 草薢一两 薏苡仁一两 桂心一两 牛膝一两，去苗 独活一两 当归一两 杜仲一两，去粗皮，炙微黄，锉 海桐皮一两 木香一两 仙灵脾一两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风半身不遂，身体筋脉挛急，肝心壅滞，宜服独活散方：

独活二两 黄耆二两，锉 防风一两半，去芦头 白鲜皮一两半 茯神二两 羚羊角屑一两半 桂心一两 酸枣仁二两，微炒 五加皮一两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治中风半身不遂，筋脉拘急，疼痛，宜服牛膝散方：

牛膝二两，去苗 羚羊角屑一两半 漏芦^⑥一两 败酱^⑦三钱 茯苓二两 酸枣仁二两，微炒 芎藭一两半 防风二^⑧两，去芦头 枳壳一两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，煎至六分，去滓，入荆沥一合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治中风半身不遂，宜服天麻散方：

天麻二两 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 白附子一两，炮裂 僵蚕一两，微炒 防风一两，去芦头 麻黄二两，去根节 甘菊花一两半 白鲜皮一两 藁本一两 羌活一两 独活一两 细辛一两 阿胶一两，

① 不：太平圣惠方无此字。
② 二：太平圣惠方作“三”。
③ 生：太平圣惠方作“青”。
④ 休：太平圣惠方作“依”。
⑤ 半：太平圣惠方作“锉”。
⑥ 一：太平圣惠方作“二”。
⑦ 三：太平圣惠方作“二”。
⑧ 二：太平圣惠方作“一”。

捣碎，炒令黄燥 乾蝎一两，微炒 当归一两 桂心一两 白茯苓一两 乾姜半两，炮裂，锉 甘草半两，炙微赤，锉，炮 神巧万全方无乾姜，有人参半两，白术一两

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。忌生菜、猪、鸡肉、油腻。

治中风半身不遂，筋脉挛急，行立艰难，宜服草薢丸方：

草薢三两，锉 牛膝三两，去苗 杜仲一两半，去粗皮，炙微黄，锉 酸枣仁二两，微炒 当归一两 防风二两，去芦头 丹参一两半^① 赤芍药一两半 桂心一两 石斛一两半，去根，锉 槟榔二两 郁李仁一两半，汤浸去皮尖，微炒

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以暖酒下三十丸。

治中风半身不遂，身体顽麻，宜服乌犀丸方：

乌犀角屑一两 羚羊角屑^②一两 天南星一两，醋浸一宿，炒令黄 天雄一两，炮裂，去皮脐 天麻一两 乌蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨 桂心一两 白僵蚕一两，微炒 乾蝎一两，微炒 防风二两，去芦头 麻黄二两，去根节 芎藭一两 独活一两 乾姜一两，炮裂，锉 川乌头一两，炮裂，去皮脐 白术一两 当归一两 白芷一两 细辛一两 牛膝一两，去苗 槟榔一两 青橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 白附子一两，炮裂 桑螵蛸一两，微炒 阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 牛黄一分，细研 麝香一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下十丸。

治中风半身不遂，或举体痹麻，宜服牛黄丸方：

牛黄一分，细研 麝香一分，细研 赤箭一两半 白僵蚕一两，微炒 白附子一两，炮裂 白花蛇肉二两，涂酥炙微黄 羌活三分 桂心三分 乾蝎二^③分，微炒

右件药捣罗为末，研入牛黄、麝香令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食前，以温酒下十五丸。

治肝肾久虚，外中风毒，半身不遂，肢节挛急，腰间痠疼，渐觉羸瘦，宜服赤箭丸方：

赤箭一两 茯神一两 五加皮一两 鹿茸二两，去毛，涂酥炙令黄 防风一两，去芦头 牛膝一两半，去苗 桂心一两 独活一两 蛇床子一两 兔丝子三两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 酸枣仁一两，微炒 山茱萸一两 巴戟一两 附子二两，炮裂，去皮脐 仙灵脾一两 草薢一两，锉 石斛二两，去根 熟乾地黄一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食前，以温酒下三十丸。

治中风半身不遂，言语蹇涩，肌肤顽痹，筋脉不利，骨节疼痛，宜服天雄丸方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑半两 牛黄一分，细研 麝香一分，细研 天麻一两 桑螵蛸半两，微炒 蝉壳半两 牛膝半两，去苗 附子一两，炮裂，去皮脐 桂心半两 当归半两 芎藭半两 羌活半两 白僵蚕半两，微炒 五加皮半两 乌蛇肉二两，酒浸，炙微黄 薏苡仁半两 麻黄一两，去根节 防风半两，去芦头 乾蝎半两，微炒 乳香一两 仙灵脾一两 道人头一两 朱砂半两，细研

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下二十丸，渐加至三十丸，日三四服。

治中风半身不遂，肢节疼痛无力，宜服仙灵脾浸酒方：

仙灵脾一两 天麻一两 独活一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 牛膝一两，去苗 桂心一两半 当归一两 五加皮一两 芎藭一两 石斛一两半，去根 茵芋一两 草薢一两 狗脊一两 海桐皮一两 虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 鼠黏子一两 苍耳子一两 川椒一两，去闭口及目，微炒，去汗

右件药，细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗浸之，密封，经七日后，每日不计时候，温饮一小盏。常令酒气相续，其酒出一盏，入

① 一两半：太平圣惠方作“二（一）两”。

② 二：太平圣惠方作“二”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

一盞，以药味薄即止。

治中风偏枯不遂诸方

夫中风偏枯者，由血气偏虚，则腠理开疏，受于风湿，风湿客于半身，在分腠之间，使血气凝涩，不能润养，久不差者，真气渐少，邪气独留，则成偏枯。其状半身不遂，肌肉偏枯，小小而痛，言不变，智不乱是也。邪初在分腠之间，宜温卧取汗，益其不足，损其有馀，乃可复治也。诊其胃脉沉大，心脉小牢急者，皆为偏枯，男子则发左，女子则发右，若不失暗舌转者，可治也。巢氏病源此下

云：三十日起，其年未滿二十者，三岁死，又左手尺中神门以后，脉足太阳经虚者，则病恶风、偏枯，此由愁思所致，忧虑所为。

治中风偏枯不遂，口眼不正，语涩，四肢拘急，宜服独活散方：

独活 半两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 芎藭 一两 防风 三分，去芦头 当归 一两，锉，微炒 细辛 一两 桂心 半两 赤箭 半两 羚羊角屑 半两

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盞，煎至六分，去滓，入竹沥半合，更煎一两沸，不计时候温服。忌生冷、油腻、猪肉。

治中风，偏枯不遂，言语謇涩，膈上热，心神恍惚，昏昏如醉，宜服竹沥饮子方：

竹沥 三合 羚羊角屑 半两 石膏 二两 茯神 一两 麦门冬 三分，去心 独活 三分

右件药，细锉，都以水三大盞，煎至一盞半，去滓，入竹沥，分为四服，不计时候温服之。

治中风偏枯，手足不遂，筋脉拘急疼痛，腹胁不利，宜服桂心散方：

桂心 一两 续断 半两 虎掌 半两，汤洗七遍，锉，生姜汁拌炒令黄 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 牛膝 一两，去苗 海桐皮 三分 草薢 三分，锉 犀角屑 三分 木香 三分 槟榔 一两 当归 三分 羌活 三分

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一大盞，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治中风偏枯，手足不遂，筋骨疼痛，宜服乌蛇散方：

乌蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 赤箭 一两 羌活 一两 防风 一两，去芦头 桂心 一两 海桐皮 一两 藁本 一两 草薢 一两，锉 独活 一两 当归 一两 阿胶 一两，捣碎，炒令黄燥 麻黄 一两，去根节 天雄 一两，炮裂，去皮脐 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 乾姜 一两，炮裂，锉 牛蒡根 一两，乾者，刮去皮

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻、鸡猪羊肉。

治中风，偏枯不遂，轻利四肢，宜祛风毒，麻黄散方：

麻黄 半两，去根节 羌活 半两 芎藭 半两 荆芥 半两 附子 半两，炮裂，去皮脐 独活 半两 防风 半两，去芦头 天麻 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 赤芍药 半两 桂心 半两 槟榔 半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治中风跛蹇，偏枯不遂，肢节疼痛，昼夜呻吟，宜服天雄散方：

天雄 一两，炮裂，去皮脐 白敛 一两 桂心 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 吴茱萸 半两，汤浸七遍，焙乾，微炒 乾姜 半两，炮裂，锉 薯蕷 一两 乾漆 一两，捣碎，炒令烟出 狗脊 一两 防风 一两，去芦头 当归 一两 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻。

治中风偏枯不遂，筋脉拘急，肢节疼痛，宜服山茱萸散方：

山茱萸 一两半 天雄 一两半，炮裂，去皮脐 麻黄 一两，去根节 川椒 一两，去目及闭口者，微炒去汗 草薢 一两，锉 桂心 一两 川乌头 一两，炮裂，去皮脐 防风 一两，去芦头 甘草 一两，炙微赤，锉 牛膝 一两，去苗 狗脊 一两 莽草 一两，微炒^① 石南 一两 踯躅花 一两，酒拌，炒令乾

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治中风偏枯不遂，手足挛急疼痛，宜服

① 炒：太平圣惠方作“炙”。

川乌头丸方：

川乌头 一两，炮裂，去皮脐 天南星 半两，炮裂
白僵蚕 三分，微炒 桂心 半两 赤箭 一两 安息
香 一分¹ 麝香 三钱，细研 牛黄 半两，细研

右件药捣罗为末，研入后二味，令匀，
炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食
前，麻黄酒下五丸，兼取麻黄末三两，以酒
二升，慢火煎如膏，放冷，丸如弹子大，每
服以冷酒或冷水研下一丸，须臾偏枯处有汗，
通手足舒展。

治中风偏枯不遂，常在床枕，转动艰难，
宜服牛黄丸方：

牛黄 一分，细研 麝香 一分，细研 朱砂 一两，
细研，水飞过 踯躅花 一两²半，酒拌，炒乾 乌蛇 三两，
酒浸，去皮骨，炙令微黄 羌活 一两半 人参 一两半，去芦头
白僵蚕 一两半，微炒 独活 一两半 天南星 一两，
炮裂 天雄 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一两，去苗 赤茯
苓 一两 威灵仙 一两 乌犀角屑 一两 防风 一两半，
去芦头 羚羊角屑 一两 芎藭 一两半 当归 一两半，
锉，微炒 草薢 一两，锉 天麻 一两半

右件药捣罗为末，入前研了药令匀，
炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食
前，以温酒下十五丸。

治中风偏枯不遂，肢节疼痛，行李艰难，
宜服龙脑丸方：

龙脑 一分，细研 雄黄 一分，细研 麝香 一分，细
研 朱砂 半两，细研，水飞过 牛黄 一分，细研 乳香
半两，细研 川乌头 一两，去皮脐，生用 乾蝎 半两，微
炒 白僵蚕 半两，微炒 天麻 一两 天南星 一分，炮
裂 羌活 一两 踯躅花 一分，酒拌，炒乾 白附子 三
分，炮裂 附子 一两，去皮脐，生用 白花蛇 一两，酒浸去
皮骨，炙令微黄 麻黄 五两，去根节，捣碎，以酒五升，煎取
一升，去滓，熬成膏 安息香 半两

右件药捣罗为末，研入前六味令匀，用
麻黄膏和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服
食前，以温酒下十丸。忌生冷、羊血、油腻、
毒滑鱼肉。

治中风偏枯不遂，口不收涎，宜服三灵
丹方：

朱砂 三两，细研如粉 雌黄 一两半，细研如粉 硫
黄 半两，细研如粉

右件药，先将雌黄硫黄于铛中消成汁，
后下朱砂末，搅令匀，候冷，却下桑柴灰汁，
煮三日三夜，旋添暖灰汁，候日足即住，
刮入鼎子中，以文火逼乾，出阴气尽，入固济
了合子中³，以二十斤火断⁴，候火销⁵至
三五斤，其药已在合底，作一片，候冷，凿
取，以甘草涂甘子瓷器中⁶，入水煮一日，
出火毒了，更研令细，入枣肉和研为丸，如
绿豆大，每日空心，以冷椒汤下三丸，渐加
至五丸，服之半月便差。忌羊血。

治中风偏枯不遂，骨节冷痛，宜服独活
浸酒方：

独活 一两 桂心 一两 防风 一两，去芦头 附
子 一两，炮裂，去皮脐 大麻子 二合 牛膝 一两 川
椒 二两，去目及闭口者，微炒去汗 天蓼木 二两，锉

右件药，并细锉，以生绢袋盛，以酒一
斗，密封头，浸三日后开，每日食前及临卧
时，暖⁷一中盏饮之，以药力尽为度。患者
不过三两剂必效。

治中风偏枯不遂，失音数年，宜服天蓼
木浸酒方：

天蓼木 十斤，细锉，以水一硕，煎至五斗，用此水造酒，
须及五斗，熟后浸后药 桑根白皮 半斤 地骨皮 半斤
石斛 半斤，去根 生地黄 半两 防风 半两，去芦头 远
志 半斤，去心 牛膝 半斤，去苗 兔丝子 半斤 槐子
半升⁸ 白蒺藜 半升，微炒，去刺 乌蛇 一条，酒浸，炙
令黄 乌鸡粪 五合，炒黄

右件药细锉，以生绢袋盛，入天蓼木

1 分：太平圣惠方作“两”。

2 两：太平圣惠方作“分”。

③ 入固济了合子中：太平圣惠方同。圣济总录卷九诸风门
风偏枯三灵丹方作“入合子内固济”，普济方卷九十七引圣惠方
三灵丹方与圣济总录同。

4 断：太平圣惠方作“煨”。

5 销：太平圣惠方作“炼”。

6 以甘草涂甘子瓷器中：太平圣惠方作“以甘草饮涂甘子瓷
器中”，普济方卷九十七引圣惠方三灵丹方作“以瓷器中”。

7 暖：太平圣惠方此下有“酒”字。

8 升：太平圣惠方作“斤”。

酒中，密封闭，冬月三七日，春夏二七日，量性饮之，令常有酒容，如觉热即减之，眼鼻及面口偏者，七日取正，手脚不遂者，半月内差，失音服之即语，此方神验，不具言之。

治中风偏枯不遂，行李¹艰难，出汗大效，皂荚丸方：

肥皂荚十挺 去黑皮，涂酥，炙令黄，去子 神巧万全方并子三两 羌活 二两 防风 三两，去芦头 乾薄荷 四两 附子 二两，炮裂，去皮脐 桂心 三两 万全方肉桂，又有柏子仁二两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒或薄荷汤下二十丸，日三服，常于患处有汗为效。

治中风偏枯不遂，手脚冷顽强硬，展缩不得，疼痛方：

皂荚一斤，不肿者寸截 盐 二斤

右件药相和，炒令热，以青布裹，熨冷麻疼痛处，以差为度。

治历节风诸方

夫历节风之状，短气，白汗出，历节疼痛不可忍，屈伸不得是也。此由饮酒后，腠理开，汗出当风之所致也。亦有血气虚，受风邪而得之者，风历关节，与血气相搏交击，故疼痛也。血气虚则汗出，风冷搏于筋，则不可屈伸，为历节风也。

治历节风，疼痛不可忍，肢节无力，宜服桂心散方：

桂心 一两 丹参 一两 牛膝 一两，去苗 附子 一两，炮裂，去皮脐 当归 一两 赤芍药 一两 木香 一两 草薢 一两，锉 麻黄 一两，去根节

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，每于食前温服。忌猪鸡犬肉、生冷、油腻。

治历节风，手脚曲戾疼痛，心神闷乱，宜服茯神散方：

茯神 一两 防风 一两，去芦头 当归 一两 天雄 一两，炮裂，去皮脐 麻黄 一两，去根节 甘草 一两，

炙微赤，锉 芍药 一两 独活 一两 远志 一两，去心 丹参 一两 桂心 一两 酸枣仁 一两，微炒

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，每于食前温服。

治历节风，四肢疼痛不可忍，宜服草薢散方：

草薢 一两，锉 汗防己 一两 赤芍药 一两 松节 一两 桂心 一两 丹参 一两 当归 一两 茵芋 一两 五加皮 一两 侧子 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一两，去苗 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，每于食前温服。忌生冷、猪鱼鸡犬肉。

治历节风，骨节疼痛，四肢微肿，行立无力，宜服赤芍药散方：

赤芍药 二两 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 二两 芍药 一两 当归 二两 汉防己 一两 草薢 一两，锉 桃仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 海桐皮 一②两

右件药捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，于食前温服。

治历节风，身体四肢无力，骨节疼痛，宜服海桐皮散方：

海桐皮 一两 附子 二③两，炮裂，去皮脐 麻黄 二两半，去根节 天麻 二两 牛膝 二两，去苗 桂心 一两 防风 一两半，去芦头 当归 一两 酸枣仁 一两，微炒

右件药捣罗为末，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，于食前温服。

治历节风，四肢疼痛，筋脉不利，宜服肉桂散方：

肉桂 二两，去皱皮 麻黄 一两，去根节 海桐皮 一两，锉 川乌头 一两，炮裂，去皮脐 黑豆 二两，炒熟

① 李：太平圣惠方作“立”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

五加皮一两 防风一两，去芦头 牛膝一两，去苗 附子二两，炮裂，去皮脐 松节一两，锉 道人头一两

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治历节风疼痛，宜服酸枣仁散方：

酸枣仁一两半，微炒 败龟二两，涂酥，炙令黄 虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 羌活一两 秦艽一两半，去苗 防风一两半，去芦头 牛膝一两，去苗 芎藭一两半 桂心一两 骨碎补一两 茵芋一两 附子一两，炮裂，去皮脐 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 当归一两半，锉，微炒 木香一两

右件药捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，空心及晚食前服。

治历节风，筋骨肢节疼痛，久不差，宜服松脂散方：

松脂五两，用桑^①灰汁一斗，煮至三升已来，倾入冷水内放凝，别用浆水一斗，再煮至三升已来，又倾入冷水内放凝，又用清水一斗，煮至五升已来，又倾入冷水内放凝，取出乾，即同入药用 虎胫骨三两，涂酥，炙令黄 天雄三两，炮裂，去皮脐 牛膝三两，去苗 酸枣仁二两，微炒 薏苡仁三两 羌活二两 白附子二两，炮裂 桂心一两 当归一两，锉，微炒 没药二两 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服食前，以温酒调下二钱。

治历节风，手足抬举不起，顽痹不仁，宜服虎骨散方：

虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 海桐皮一两，锉 麻黄一两，去根节 羌活一两 天麻一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 桂心一两 天雄一两，炮裂，去皮脐 道人头一两 牛蒡子一两，微炒 仙灵脾二两 牛膝一两，去苗

右件药捣细罗为散，每于食前，以豆淋酒调下二钱。

治历节风，流入腰膝疼痛，宜服天雄散方：

天雄一两，炮裂，去皮脐 独活一两 桂心一两 当归一两 酸枣仁二两，微炒 木香一两 乾蝎半两，微炒 枳壳半两，麸炒微黄，去瓢 麝香一分，细研

右件药捣细罗为散，研入麝香，令匀，

每服食前，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻、猪鱼鸡犬肉。

治历节风疼痛，手足顽痹，行步艰难，宜服仙灵脾煎方：

仙灵脾二斤 黑豆二升 茄子根二斤

已上三味，细锉，都以水三斗，煮至一斗，去滓，更煎至五升，即止。

桂心一两 羌活一两 芎藭一两 败龟一两，涂酥，炙令黄 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 防风一两，去芦头 草薢一两，锉 当归一两 安息香一两 赤箭一两 附子二两，炮裂，去皮脐 乳香一两

右件药捣罗为末，入于前三味汁中，以慢火煎，柳木篦搅，勿令住手，可一炊时止，盛于瓷器中，每服食前，以温酒调下一茶匙。忌生冷、油腻、猪鸡犬肉。

治历节风疼痛，宜服虎骨丸方：

虎胫骨六两 礞砂一两，先以醋一中盏浸化，于虎骨上涂炙，尽为度 桂心一两 当归一两 芎藭一两 防风一两，去芦头 芸薹子一两 地龙一两半，微炒 赤芍药一两 芫花三分，醋拌，炒令乾 海桐皮一两，锉 牛膝一两，去苗 乾蝎三分，微炒 侧子一两，炮裂，去皮脐 羌活一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治历节风，骨髓疼痛，挛急，久不差，宜服雄黄丸方：

雄黄半两，细研，水飞过 麝香一分，细研 天麻二两 乌蛇一两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 天雄一两，炮裂，去皮脐 当归三分 川乌头一两，炮裂，去皮脐 芎藭一两 五灵脂一两半 独活二两 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 天南星一两，炮裂 败龟一两，涂酥，炙令黄 乾蝎一两，微炒 白僵蚕三分，微炒 安息香二两 桂心一两

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下十丸。忌猪、鸡、鱼、犬肉。

治历节风，疼痛发歇不止，宜服川乌头丸方：

① 桑：太平圣惠方此下有“柴”字。

川乌头 半两，盐拌炒令黄，去皮脐 白花蛇肉 一两，酒浸，炙微黄 雄黄 半两，细研 白僵蚕 一两，微炒 天南星 一两，微炒 麝香 半两，细研 朱砂 半两，细研 膩粉 一分 天麻 一两 当归 一两 天雄 一两，炮裂，去皮脐 乾蝎 一两，微炒 麻黄 半两，去根节 蝉壳 一分，微炒 独活 一两 芎藭 半两 地龙 半两，微炒 乳香 半两

右件药捣罗为末，入研了药，更研令细，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下十五丸。

治历节风疼痛，皮坼及血出者，宜服茵芋丸方：

茵芋 三分 狗脊 三分 麻黄 三分，去根节 丹参 半两 五加皮 一两 杜仲 一两，去粗皮，炙微黄 朱砂 三分，细研，水飞过 甘草 半两，炙微赤，锉 侧子 一两，炮裂，去皮脐

右件药捣罗为末，研入朱砂令匀，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。忌羊血。

治历节诸风，百节疼痛，昼夜不可忍方：

虎胥骨 一具，涂酥炙令黄 肘后方、寿域神方、卫生易简方用虎头骨

右捶碎，以绢袋盛，用清酒二斗，浸五宿，随性多少暖饮之，妙。

治风虚多汗诸方

夫人腠肉不牢^①，而无分理，理^②粗而皮不致者，腠理疏也。此则易生于风，风入于阳，阳虚则汗出也，若少气口乾而渴，近衣则身热如火，临食则汗流如雨，骨节懈堕，不欲自营，此为漏风，由酒醉当风之所致也。

治风虚多汗，恶风寒颤，宜服防风散方：

防风 一两，去芦头 泽泻 一两 牡蛎 一两，烧为粉 苍术 一两，锉，炒微黄 桂心 三分

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温粥饮调下二钱。忌炙煨、热面。

治风虚汗出，少气，宜服牡蛎散方：

牡蛎 一两，烧为粉 白术 一两 防风 一两，去芦头

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以

温水调下二钱。恶风，倍防风；少气倍术；汗多出，面肿，倍牡蛎。神巧万全方同。

治风虚汗出不止，宜服石膏散方：

石膏 一两，研 甘草 一两，炙微赤，锉 苍术 一两，锉，炒微黄 麻黄根 一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温浆水调下二钱。

治风虚汗出不止，恶风头痛，宜服秦艽散方：

秦艽 三分，去苗 附子 一两，炮裂，去皮脐 石膏 一两 菖蒲 一两 麻黄根 二两 苍术 二两，锉碎，炒微黄 桂心 一两 防风 二两，去芦头

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温水调下二钱。

治风虚汗出不止，宜服石斛散方：

石斛 三分，去根，锉 附子 三分，炮裂，去皮脐 白术 三分 桂心 三分 秦艽 三分，去苗 黄耆 三分，锉

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温水调下二钱。

治风虚汗出，热闷甚者，宜服人参散方：

人参 二两，去芦头 牡蛎 一两半，烧为粉 石膏 三 两 甘草 一两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温水调下二钱。

治风虚汗出不止，宜傅麻黄根散方：

麻黄根 二两 附子 一两，炮裂，去皮脐 牡蛎 二 两，烧为粉

右件药捣细罗为散，以药末一两，和糯米粉一升，拌合匀，以粉汗上即止。神巧万全方同。

治风热诸方

夫风热者，由人肌体虚弱则腠理开疏，风邪之气，先中于皮毛，次入于手太阴之经，太阴者肺也，为五藏之华盖，外合皮毛，居其膈上，与心藏相近，上瞋风气壅滞，故令心肺烦热也。

① 牢：太平圣惠方作“生”。

② 理：太平圣惠方无此字。

治风热头痛，肢节烦疼，项背拘急，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 独活 一两 防风 一两，去芦头 黄芩 一两 细辛 一两 赤芍药 一两 甘草 一两，炙微赤，锉 人参 一两，去芦头 麻黄 二两，去根节 神巧万全方去节，一两半 石膏 三两

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风热攻于肝心，语涩烦躁，或四肢拘急，宜服麦门冬散方：

麦门冬 三两，去心，焙 茯神 二两 甘草 二两半，炙微赤，锉 木通 二两半，锉 犀角屑 一两 川升麻 一两半 川朴消 三两 防风 一两半，去芦头 独活 一两 人参 一两，去芦头 酸枣仁 一两，微炒

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，入荆沥半合，煎一两沸，放温，不计时候服。忌炙煨热面。

治风热恍惚烦躁，及筋脉拘急，宜服茯神散方：

茯神 一两 防风 一两，去芦头 黄芩 一两 葳蕤 一两 人参 一两，去芦头 羚羊角屑 一两 酸枣仁 一两，微炒 白鲜皮 一两 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入葱白二茎，豉五十粒，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治风热心肺壅滞，恒多烦闷，宜服丹砂散方：

朱砂 三分，细研，水飞过 犀角屑 半两 天竹黄 半两 秦艽 半两，去苗 白鲜皮 半两 沙参 半两，去芦头 寒水石 一两 麦门冬 二两，去心，焙乾 马牙消 半两，研入 川升麻 半两 甘草 半两，炙微赤，锉 龙脑 一钱，研入

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，每服不计时候，以温水调下一钱。

治风热心神烦闷，卧即多惊，口舌乾燥，头目不利，宜服牛黄散方：

牛黄 一分，细研 犀角屑 三分 梔子仁 三分 川升麻 三分 龙齿 半两，细研 茯神 三分 天竹

黄 三分，细研 人参 三分，去芦头 天麻 三分 白鲜皮 三分 甘草 一分，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，入研了药，令匀，不计时候，以竹叶汤调下一钱。

治风热心神壅闷，头目不利，口舌乾燥，皮肤枯槁，宜服真珠丸方：

真珠 半两，细研 牛黄 一分 朱砂 半两，细研 金箔 三十片 铁粉 半两 天竹黄 半两 玳瑁 半两 胡黄连 半两 犀角屑 半两 沙参 半两，去芦头 苦参 一两，锉 玄参 半两 石膏 一两，细研，水飞过 龙齿 半两，细研 甘草 半两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为末，入研了药令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以麦门冬汤下十五丸。

治风热语涩心躁，舌根急，四肢痛，腰背闷，气壅不通，宜服犀角丸方：

犀角屑 一两 槟榔 一两 人参 一两半，去芦头 防风 一两半，去芦头 羚羊角屑 一两 赤芍药 一两半 茯神 一两 桂心 一两 川大黄 一两半，锉碎，微炒 马牙消 一两半 地骨皮 一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温水下三十丸。

治风热发即头痛烦闷，不能食饮，睡卧不安，心神恍惚，宜服人参丸方：

人参 一两半，去芦头 铁粉 一两半 甘草 一两半，炙微赤，锉 黄连 一两，去须 石膏 二两 茯神 一两半 葳蕤 一两 黄芩 一两 麦门冬 一两半，去心，焙

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温水下二十丸。忌猪肉、热面、炙煨。

治风冷诸方

夫风冷者，由藏腑虚，血气不足，受风冷之气也。血气得温则通流，冷则凝涩，然风之伤人，有冷有热，若挟冷者，冷折于气血，使人面青心闷，呕逆吐沫，四肢疼冷，故谓之风冷也。

恒：太平圣惠方作“时”。

治风冷藏腑虚弱及腰脚疼痛，宜服巴戟散方：

巴戟 一两 五加皮 一两 草薢 一两，锉 牛膝 一两，去苗 石斛 一两半，去根，锉 神巧万全方去根苗 天麻 一两 白茯苓 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 虎胫骨 一两，涂酥，炙令黄 木香 一两 磁石 一两，烧醋淬七遍，细研，水飞过

右件药捣细罗为散，每于食前，以温酒调下二钱。忌生冷、油腻。

治风冷气攻注肾脾，致腹胁四肢疼痛，面色青黄，腰脚无力，肌体不仁，宜服天麻散方：

天麻 一两 羌活 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 白蒺藜 一两，炒，去刺 乾蝎 半两，微炒 硫黄 一两，细研，水飞过 草薢 一两，锉 木香 一两 槟榔 一两 乾姜 三¹分，炮裂，锉 肉桂 二²三分，去皱皮

右件药捣细罗为散，每于食前，以温酒调下二钱。

治诸风冷入藏腑，骨节疼痛，筋脉拘急，耳内蝉声，宜服雄黄丸方：

雄黄 半两，细研，水飞过 麝香 一分，细研 天麻 一两 桂心 半两 当归 三分 乾蝎 半两，微炒 石菖蒲 一两 乌蛇 二两，酒浸去皮骨，炙令微黄 天南星 一两，炮裂 白僵蚕 半两，微炒 附子 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一两，去苗

右件药捣罗为末，研入雄黄、麝香，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于空心及晚食前，以温酒下十丸。

治藏腑气血俱虚，风冷攻注，四肢疼痛，腰脚无力，宜服牛膝丸方：

牛膝 二两，去苗 羌活 一两 巴戟 一两半 桂心 一两 五加皮 一两 杜仲 二两，去粗皮，炙微黄，锉 补骨脂 一两半，微炒 石斛 一两半，去根，锉 安息香 一两 附子 二两，炮裂，去皮脐 乾姜 一两，炮裂，锉 当归 一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于空心、晚食前，以温酒下三十丸。

治风冷心腹四肢多疼，骨节时痛，宜服安息香丸方：

安息香 一两 石菖蒲 一两 当归 一两 桂心 一两 丁香 一两 朱砂 一两，细研，水飞过 没药 三分 芎藭 一两 椒红 一两，微炒 天麻 一两 乌蛇肉 二两，酒浸，炙微黄 附子 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一两，去苗 天南星 一两，炮裂 乾蝎 半两，生用 防风 三分，去芦头 麝香 一分，细研 木香 一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治风冷，四肢疼痛，腰脚缓弱，虚损无力，宜服草薢丸方：

草薢 二两，锉 薯蕷 一两 牛膝 二两，去苗 泽泻 一两 地肤子 一两 附子 二两，炮裂，去皮脐 乾漆 一两，捣碎，炒令烟出 石斛 二两，去根，锉 威灵仙 一两 狗脊 一两 茵芋 一两 钟乳粉 二两 熟乾地黄 一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治藏腑久虚，风冷所致四肢无力，背膊多疼，膀胱冷气流注，腰脚沉重，宜服祛风补益蚬螂丸方：

蚬螂 一两半，微炒 白附子 一两，炮裂 沉香 一两 肉桂 一两，去粗皮 芎藭 一两 槟榔 一两 木香 一两 天麻 一两 石斛 二两，去根，锉 巴戟 三分 白僵蚕 三分，微炒 羌活 三³分 肉苁蓉 二两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙令乾 当归 三分，锉，微炒 山茱萸 三分 附子 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一⁴两，去苗 白蒺藜 一两，微炒，去刺

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治风冷气，补虚损，暖藏腑，利腰脚，附子丸方：

附子 一两，炮裂，去皮脐 巴戟 一两 天麻 一两 牛膝 一两，去苗 防风 三分，去芦头 桂心 一⁵两 神

1 三：太平圣惠方作“一”。

2 肉桂：太平圣惠方作“桂心”。

3 二：太平圣惠方作“三”。

4 一：太平圣惠方作“二”。

5 一：太平圣惠方作“三二”。

巧万全方肉桂 芎藭 三分 独活 三分 石斛 一两，去根，
锉万全去根苗 肉苁蓉^① 一两，酒浸去皮，微炙 补
骨脂 一两 乾蝎 三分，微炒 草薢 一两，锉 椒红 一
两，微炒去汗 仙灵脾 一两 沉香 一两 安息香 一两
木香 一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温
酒下三十丸。

治腰腿风诸方

夫腰腿风者，为四肢不收，身体疼痛，
肌肉虚满，骨节懈怠，腰背^{巢氏病源}腰脚^{腰脚}，缓弱，
不自觉知是也。由皮肉虚薄，气弱不胜四肢^②
之风，故令风邪侵于分肉之间，流于血脉之
内使之然，经久不差，即变成水^③疾矣。神巧
万全方此下云：既云肌肉虚满，即风邪入肾之经络而然也。水热论
曰：诸肿俱属于肾是也。治法，当兼理肾为得。一云：不治变为水
气。

治腰腿风，肌肤虚弱，四肢缓弱，湿痹
不仁，心胸满闷，宜服芎藭饮子方：

芎藭 一两 白术 一两 薏苡仁 一两 桂心 一两
附子 一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑 一两 前胡^④
一两，去芦头 赤茯苓 一两 麻黄 一两，去根节 汉防
己 一两 赤芍药 一两 人参 一两，去芦头 丹参 一两
甘草 半两，炙微赤，锉

右件药，细锉，和匀，每服半两，以水
一大盏，煎至五分，去滓，食前温服，忌生
冷、油腻、毒滑物。

治腰腿风，肌肉虚满，肢节缓弱，皮肤
不仁，骨节疼痛，宜服防风散方：

防风 一两，去芦头 赤茯苓 一两 芎藭 一两 白
蒺藜 一两，微炒，去刺 麻黄 一两，去根节 桂心 一两
海桐皮 一两，锉 当归 一两 人参 一两，去芦头
白术 一两半 神巧万全方 独活^⑤ 二两 细辛 一
两 杏仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，枣三枚，煎至六分，去滓，
食前稍热服。

治腰腿风，肢节缓弱，腰脚无力，皮肤

湿痹，宜服侧子散方：

侧子 一两，炮裂，去皮脐 五加皮 二两 磁石 四
两，捣碎，水淘去赤汁 甘菊花 二两 汉防己 一两 草
薢 一两，锉 羚羊角屑 一两半 防风 一两，去芦头 薏
苡仁 二两 杏仁 一两半，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 赤
芍药^⑥ 二两 芎藭 一两 秦艽 一两，去苗 麻黄 二
两，去根节 甘草 一两，炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏煎至六分，去滓，食前稍热服。

治腰腿风，肌骨^⑦虚满，四肢不收，骨
节疼痛，腰脚缓弱无力，宜服独活散方：

独活 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 防风 半两，
去芦头 麻黄 三分，去根节 当归 半两，锉，微炒 薏苡
仁 三分 桂心 半两 赤茯苓 三分 牛膝 三分，去苗 茵
芋 半两 天麻 半两 海桐皮 半两，锉 赤芍药 半两
槟榔 半两 草薢 半两，锉 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣筛为散，每服四钱，以水一中
盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前稍
热服。

治腰腿风，藏腑虚弱，风湿所攻，致腰
脚缓弱，肌肉虚满，肢节疼痛，宜服赤箭丸
方：

赤箭 二两 赤茯苓 半两 芎藭 半两 防风 半
两，去芦头 白附子 半两，炮裂 桂心 半两 羚羊角
屑 三分 白术 三分 羌活^⑧ 三分 汉防己 半两 附
子 半两，炮裂，去皮脐 当归 半两 五加皮 半两 牛膝
半两，去苗 杜仲 一两，去粗皮，炙微黄，锉 石斛 半两，去根，
锉 麻黄 半两，去根节 海桐皮 一两，锉^⑨ 木香 半两
枳壳 半两，麸炒微黄，去瓤

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，
丸如梧桐子大，每于食前，以豆淋酒下二十
丸。

治腰腿风，体虚风邪所攻，肌肉肿满，

① 蓉：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

② 肢：太平圣惠方作“时”。

③ 水：太平圣惠方作“斯”。

④ 胡：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

⑤ 二：太平圣惠方作“一”。

⑥ 二：太平圣惠方作“一”。

⑦ 骨：太平圣惠方作“肤”。

⑧ 三：太平圣惠方作“半”。

⑨ 锉：太平圣惠方作“半”。

腰脚无力，骨节缓弱，四肢湿痹，宜服薏苡仁丸方：

薏苡仁 二两 神巧万全方一两 天雄 一两，炮裂，去皮脐 葳灵仙 一两 汉防己 一两 槟榔 一两 防风 半两，去芦头 羌活 半两 石斛 半两，去根，锉^① 枳壳 半两，麸炒微黄，去瓢 万全方无 五加皮 半两 桂心 半两 万全方肉桂 赤芍药 半两 牛膝 三^②分，去苗 当归 三分 赤茯苓 半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于食前，以温酒下三十丸。万全方二十丸。

治腿腿风，皮肤虚满，四肢缓弱，宜用苍耳子汤渍方：

苍耳子 五升，捣碎 羊桃根 三升，锉 蒴藋 三^③升，锉 赤小豆 二升 盐 一斤

右件药捣，水一石，煮取七斗，去滓，适寒温，避风处，渍所患处。

治中风手脚不遂诸方

夫诸阳之经，皆起于手足，而循行于身体，若人腠理开疏，气血不足，风邪伤于阳经，逐其虚处，即便停滞，与血气相搏，血气行迟，使机关舒^④纵，故令手足不遂也。

治中风手足不遂，肌肉顽痹，骨节疼痛，宜服五加皮散方：

五加皮 一两 桂心 一两 芍药 一两半 羌活 一两 秦艽 一两半，去苗 防风 一两^⑤，去芦头 杏仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 草薢 一两，锉 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 当归 一两半，锉，微炒 附子 一两，炮裂，去皮脐 牛膝 一两，去苗 薏苡仁 一两 丹参 一两

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，空腹温服，良久再服，衣覆得微汗，佳。忌生冷、油腻、毒滑、动风物。

治中风手脚不遂，关节疼痛，心胸躁热，宜服犀角散方：

犀角屑 一两 防风 一两，去芦头 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 独活 一两 桂心 三分 秦艽 一两半，去

苗 当归 一两半，锉，微炒 赤芍药 一两 仙灵脾 一两 葛根 一两半，锉 人参 一两，去芦头 赤茯苓 一两半 牛膝 一两半，去苗 熟乾地黄 二两 黑豆 三合，净淘，炒熟 右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候温服。若躁甚语涩者，每服加竹沥半合同服。

治中风手脚不遂，口面偏斜，语涩垂涎，宜服醋石榴煎方：

醋石榴皮 一两 防风 一两，去芦头 羌活 一两半 桂心 一两 白术 一两 赤箭 一两 附子 一两，炮裂，去皮脐 赤茯苓 一两 牛膝 一两，去苗 赤芍药 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 山茱萸 一两 羚羊角屑 一两

右件药捣罗为末，用酒五升，慢火熬成膏，盛于不津器中，每于食前，以暖酒调下半匙。

治中风手足不遂，肢节疼痛，宜服附子散方：

附子 二两，炮裂，去皮脐 桂心 二两 赤箭 一两 牛膝 一两，去苗 狗脊 一两 草薢 一两，锉 当归 一两 丹参 一两 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 仙灵脾 一两 海桐皮 一两

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱。

治中风手足不遂，肌肉冷痹，骨节疼痛，缓弱不随，宜服仙灵脾散方：

仙灵脾 一两 天雄 一两，炮裂，去皮脐 天麻 一两 独活 三分 牛膝 一两，去苗 芍药 三分 石斛 一两，去根 肉桂^⑥ 一两半，去粗皮 茵芋 三分 麻黄 一两半，去根节 当归 三分 侧子 三分，炮裂，去皮脐 乌蛇肉 一两，酥拌，炒令黄 虎胥骨 一两，涂酥，炙令黄 桑螵蛸 三分，微炒 丹参 三分 五加皮 三分 海桐皮 三分 防风 三分，去芦头 薏苡仁 三分 乾蝎 三分，生用 牛黄 一分，研入 麝香 一分，研入

① 锉：太平圣惠方无此字。

② 三：太平圣惠方作“一”。

③ 三：太平圣惠方作“五”。

④ 舒：太平圣惠方作“缓”。

⑤ 两：太平圣惠方此下有“半”字。

⑥ 桂：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

右件药捣细罗为散，入研了药令匀，每服食前，以温酒调下二钱。

治中风手足不遂，言语蹇涩，缓纵不仁，肢节疼痛，宜服丹砂丸方：

朱砂一两 天南星一两，生用 赤箭一两 附子一两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 牛膝一两，去苗 汉防己一两 白附子一两，生用 独活一两 白僵蚕一两，微炒 麻黄一两，去根节 芎藭一两 桂心一两 白花蛇肉一两，酥拌 炒令黄 蝉壳一两 川乌头一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑一两 乾蝎一两，生用 桑螵蛸一两，微炒 乌犀角屑一两 雄黄半两，研入 麝香一两，研入 牛黄一分，研入 龙脑一分，研入

右件药捣罗为末，入研了药，更研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服空心及晚食前，以温酒下十丸。

治中风手足不遂，骨节疼痛，肌肉顽麻，宜服石斛浸酒方：

石斛一两，去根 天麻一两 芎藭一两 仙灵脾一两 五加皮一两 牛膝一两，去苗 萆薢一两 桂心一两半 当归一两 鼠黏子一两 杜仲一两，去粗皮 附子一两半，炮裂，去皮脐 虎胫骨二两，涂酥，炙令黄 乌蛇肉一两，微炒 茵芋一两 狗脊一两 丹参一两 川椒一两半，去目及闭口者，微炒去汗

右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗，于瓷瓮中浸，密封，经七日后，每日旋取一小盏，不计时候温饮之。常令酒气相续，其酒取一盏，入一盏，以药味薄即止。

治风四肢拘挛诸方

夫风四肢拘挛，不得屈伸者，皆身体虚，腠理开，风邪在于筋故也。春遇痹为筋痹，则筋不得屈伸，邪客于机关，则使筋挛，邪客于足厥阴之经，巢氏病源客于足太阳之络。令人拘急背强也。足厥阴，肝之经也，肝主通诸筋，王在春，其经若虚，春又遇于风邪，则伤于筋，使四肢拘挛不得屈伸也。诊其脉，急细如弦者，为筋急足挛也。若筋屈伸不得，又遇于邪，则移变入肝，甚¹⁾病状夜卧则惊，

小便数也。

治风，四肢不利，筋脉拘挛，发歇疼痛，宜服防风散方：

防风一两，去芦头 羌活一两 黄耆一两，锉 五加皮一两 牛膝一两，去苗 丹参一两 酸枣仁一两，微炒 桂心一两 赤茯苓一两 麻黄一两，去根节 槟榔三分 当归三分 附子一两，炮裂，去皮脐 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢

右件药捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候温服。忌生冷、油腻、猪鸡犬肉。

治风，手足拘挛，百节疼痛，烦热心乱，恶寒，经日不能饮食，宜服薏苡仁散方：

薏苡仁二两 细辛二两 黄耆三分，锉 人参三分，去芦头 枳壳三分，麸炒微黄，去瓢 羚羊角屑三分 五加皮一两 赤芍药三分 独活一两 麻黄一两，去根节 天雄一两，炮裂，去皮脐 白术一两

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治风，四肢不仁，及不能语，但拘挛皆痛，不得转侧，宜服当归散方：

当归二两，锉，微炒 麻黄四两，去根节 桂心二两 芎藭一两 海桐皮一两，锉 乾姜一两，炮裂，锉 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 独活二两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候温服。

治风，口眼不正，语涩，四肢拘挛，宜服独活散方：

独活一两半 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 芎藭一两 防风一两半，去芦头 当归一两，锉，微炒 细辛三分 桂心三分 羚羊角屑三分 桑根白皮三分，锉 薏苡仁一两 酸枣仁一两，微炒

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，入竹沥半合，相和，不计时候，温服。

¹⁾ 其：太平圣惠方作“其”

治风毒攻四肢，筋脉拘挛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑一两 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 羌活一两 防风三分，去芦头 酸枣仁一两，微炒 桑根白皮二两，锉 天蓼木一两，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至五分，去滓，不计时候，温服。

治风毒入四肢，筋脉拘挛疼痛，宜服羌活散方：

羌活一两半 天麻一两半 芎藭一两 酸枣仁一两半，微炒 鹿角胶一两，捣碎，炒令黄燥 侧子一两，炮裂，去皮脐 羚羊角屑一两半 人参一两，去芦头 白附子一两，炮裂 牛膝二两，去苗 桂心一两 薏苡仁一两 乌蛇三两，酒浸，去皮骨，炙令黄 犀角屑三分 海桐皮一两，锉 地骨皮一两半 柏子仁一两半

右件药捣细罗为散，不计时候，以豆淋酒调下二钱。

治风，四肢筋脉拘挛，骨节疼痛，宜服天麻丸方：

天麻半两 乾蝎一分，微炒 没药一分 麻黄三分，去根节 地龙半两，去土，焙乾 朱砂一分，细研 麝香一分，细研 川乌头半两，去皮脐，生用 防风一分，去芦头 乳香半两

右件药捣罗为末，研入朱砂、麝香令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以薄荷酒下二十丸。忌羊血。

治风毒攻四肢，筋脉拘挛，宜服牛黄丸方：

牛黄半两，细研 麝香半两，细研 白附子一两，炮裂 乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 麻黄三分，去根节 白僵蚕二两，微炒 天麻一两半 羌活一两半 附子二两，炮裂，去皮脐 防风一两，去芦头 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 川大黄一两，锉碎，微炒 桂心一两 羚羊角屑一两

右件药捣罗为末，以无灰酒五升，于银锅内，用药末一半同熬，候如膏，入馀上药末，并牛黄、麝香，和捣三五百杵，丸如鸡

头实大，每服不计时候，以温酒嚼下三丸。

治风毒流注四肢，筋脉拘挛疼痛，少得睡卧，宜服酸枣仁丸方：

酸枣仁^①一两半，微炒 羚羊角屑一两半 防风一两半，去芦头 晚蚕沙^②一两半 附子一两^③，炮裂，去皮脐 藁本一两^④ 槟榔一两半 柏子仁一两 羌活一两 赤芍药一两 熟乾地黄二两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下三十丸。

治风毒所攻，四肢拘挛，骨节疼痛，脚膝无力，宜服草薢丸方：

草薢一两 酸枣仁一两，微炒 独活一两 附子一两，炮裂，去皮脐 芎藭三分 石斛一两，去根，锉 仙灵脾三分 丹参三分 牛膝三分，去苗 当归三分 防风三分，去芦头 桂心三分 狗脊三分 赤箭三分 虎胫骨一两，涂酥，炙令黄 乾蝎半两，微炒 海桐皮三分 木香三分 槟榔一两 麝香一分，细研

右件药，捣罗为末，入研了药，令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二^⑤十丸。

治风，四肢拘挛，筋骨疼痛，宜服乳香丸方：

乳香一两，细研 乌头半两，炮裂，去皮脐 雄黄半两，细研，水飞过 白附子一两，炮裂 羚羊角屑一两 附子半两，炮裂，去皮脐 晚蚕蛾一两，微炒 羌活一两 防风一两，去芦头 白僵蚕一两，微炒 乌蛇一两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 膩粉一分 麝香一分，细研

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服以热豆淋酒下十丸，如人行十里再服。

治风，四肢拘挛疼痛，宜服蜂儿丸方：

蜂儿一两 白花蛇肉一两 天雄一两，去皮脐

① 仁：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

② 沙：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

③ 两：太平圣惠方此下有“半”字。

④ 两：太平圣惠方此下有“半”字。

⑤ 二：太平圣惠方作“一”。

天南星一两 乾蝎一两 白僵蚕一两 桑螵蛸一两
地龙一两 麝香半两，细研

右件药，并生用，捣细罗为末，以酒煮槐胶入少炼了蜜，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下五丸。

治大肠风热秘涩不通诸方

夫大肠风秘涩不通者，是五藏气不调，阴阳偏有虚实，三焦不和，冷热并结也。胃为水谷之海，化谷精之气，流行荣卫，其糟粕传行大肠出焉。五藏三焦既不调和，冷热壅涩，结在肠胃，其肠胃本实，而又冷热气相并，津液枯燥，结聚大肠，胃中乾涩，故令大便不通也。

治大肠风热，秘涩不通，心腹壅闷，宜服犀角散方：

犀角屑三分 白鲜皮三分 防风三分，去芦头
麦门冬一两，去心 大麻仁一两 木通三分，锉 大腹皮三分，锉 川大黄一两，锉碎，微炒 甘草半两，

炙微赤，锉

右件药捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，食前温服。

治大肠风热，秘涩躁闷，宜服秦艽散方：

秦艽三分，去苗 防风一两，去芦头 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 大麻仁一两 槟榔一两 川朴消一两半 羚羊角屑一两 木香三分 甘草半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，食前温服。

治大肠风热，秘涩不通，四肢烦闷，宜服槟榔散方：

槟榔二两 木香三分 羌活三分 川朴消二两 牵牛子三两，微炒 陈橘皮一两，汤浸，去白瓢，焙 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药捣细罗为散，每服空腹，以生姜汤调下三钱，以利为度。

诸 风 门 六

圣 惠 方 四

治大风疾诸方

夫风病者，有四百四种，总而言之，不出五种，即是五风所摄。一曰黄风，二曰青风，三曰赤风，四曰白风，五曰黑风。人身中有八万户虫，若无，即人身不成不立，复有诸恶横病，诸风害于人身，所谓五种风作，便有五种虫生，能害于人。黄风生于黄虫，青风生于青虫，赤风生于赤虫，白风生于白虫，黑风生于黑虫，此五种风，皆是恶风，能坏人身，名曰疾风，或入五脏，即与脏合，故虫生也。其虫无量，在人身中，乃入骨体^②，来去无碍，若蚀人肝，则眉睫堕落；若蚀人肺，则鼻柱崩倒；若蚀人脾，则语声变散；若蚀人肾，则耳鸣啾啾，或如雷声。其脉来迟去疾，上虚下实，为恶风也。

治大风，肌肤不仁，头面身体生疮，颜色肿黑，腹内生虫，鼻柱崩倒，宜服朱砂散方：

朱砂一两，细研，水飞过 紫檀一两，锉 漏芦一两 雄黄一两，细研 雌黄半两，细研 白敛一两 石胆半两，细研 紫石英一两，细研，水飞过 牛黄三分，细研 阿魏半两，面裹煨，令面熟为度 犀角屑一两 龙骨一两 石膏一两，细研，水飞过 消石一两半

右件药捣细罗为散，入石药末，更同研令匀，每服食前，以温酒调下一钱。如饥，即宜吃小豆饭及枣汤。食勿令过饱，饱即其虫难出。服药后似淋，即以盆子盛著，当有虫出或当日便出，或三两日出者，或至七日虫出，见虫即旦^③服药，候虫尽便差。

治大风疾初觉，未生疮，肿头面，皮肤

顽黑瘙痒，宜服杏仁丸方：

杏仁一两半，汤浸去皮尖双仁，麸炒微黄 雷丸一两 贯众一两 木香一两 鸡头实一两，去壳 羌活一两半 附子一两半，炮裂，去皮脐 桂心一两 梔子仁一两 石斛一两，去根，锉 羚羊角屑一两 白术一两半 诃黎勒皮一两半 安息香一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下二十丸。

治大风，徧身结聚如桃李核，作疮，苦参丸方：

苦参五两，锉 生乾地黄四两 朱砂二两，细研，水飞过 薰黄半两 甘草一两，炙微赤，锉

右件药捣罗为末，研入朱砂令匀，炼蜜和捣二三百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下三十丸。

治大风，头面热毒，皮肤生疮，面上生结，如眉在，即宜服此石榴浸酒方：

酸石榴七枚，和皮捣烂 甜石榴七枚，和皮捣烂 人参二两，去芦头 苦参二两，锉 沙参二两，去芦头 丹参二两 苍耳子二两 羌活二两

右件药，细锉，绵裹，以无灰酒一斗，于一瓷瓶中浸之，密封头，春夏七日，秋冬二七日，每于食前，暖服一中盏。旋旋添酒，味薄即再合。

治大风疾，体生疮肿，瘙痒出脓，风毒极甚者，服柳枝煎防风丸方：

倒垂柳枝二斤 桑枝二斤 槐枝二斤 天蓼木枝二斤 仙灵脾叶二斤

① 户：太平圣惠方作“尸”。

② 体：太平圣惠方作“髓”。

③ 旦：太平圣惠方作“且”。

已上并锉，以水七斗，于大银锅中，煎取一斗，尽炒^①滤去滓，用晚蚕沙一升^②，令香，捣罗为末，入药汁中相和，再煎稀稠得所，取出，用瓷合盛，每用酒调下后丸药。

防风一两，去芦头 羌活一两 五味子一两 人参一两，去芦头 五加皮一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 赤茯苓一两 白鲜皮一两 甘菊花一两 松子一两，去壳 乌蛇三两，酒汤^③去皮骨，炒令黄 露蜂房一两，微炙

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒一中盏，入煎成药一茶匙调匀，食前下丸药三十丸。

治大风恶疾，腹内生虫，皮肤疮肿，手足欲堕，黑虎丹方：

天灵盖三两，涂酥，炙微黄 虾蟆一枚，去头脚，涂酥，微炙^④ 麝香一分，细研 桃仁二两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 雄黄二两，细研，水飞过 杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 人中白二两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，温粥饮下三十丸，服十日后，当有虫下，即愈。

治大风，皮肤生疮肿瘙痒，肢节疼痛，心膈痰壅，宜服乌蛇丸方：

乌蛇酒浸，去皮骨，炙令黄 玄参 沙参去芦头 人参去芦头 五加皮 防风去芦头 苦参 虎胫骨涂酥，炙微黄 天麻 败龟涂酥，炙微黄 羚羊角屑已上各一两

右件药捣罗为末，用皂荚十挺，以水二升，揉取浓汁，去滓，煎似稀饧，和药末，捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食后，以温水下三十丸。

治大风疾，皮肉变改，眉髭欲落，宜服白花蛇散方：

白花蛇五两，酒浸去皮骨，微炙 露蜂房二两，炙黄 苦参一两半，锉 防风一两，去芦头 丹参一两 梔子仁一两 薯蓣二两 秦艽一两，去苗 玄参一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 独活一两

右件药捣细罗为散，每日空心，用温酒调下二钱，晚食前再服。

治大风疾，肌肉欲坏，眼色变改，眉发落，语声散。宜服乳香散方：

乳香三两 天麻末三两 牛黄一两 麝香一两，细研 雄黄一两，细研 胡麻二斤，净水淘四十九遍，去浮者，取沉者用，蒸从卯时蒸至酉时止，用黑豆压之，次又用一重湿土盖之，恐釜内汤少，仍须时添热汤，至酉时后取出，炒令香燥即住，候冷，捣罗为细散，与诸药末同拌，令匀。

右件药捣，都研令匀细，每日空心及晚食前，用蜡面茶清调下二钱，初服，三日心逆，四日多睡，五日腰脚痛，可如醉人，是其候也。相次渐愈，只须长服此药，四癩必差。

治大风疾，肌肉欲坏，有虫，宜服雄黄散方：

雄黄半两，细研 雌黄一分，细研 雷丸三分 阿魏半两，面裹煨，令面熟为度 滑石半两 朱砂半两，细研 藜芦半两，去芦头 白敛半两 犀角屑半两 紫石英半两，细研，水飞过

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令匀，取端午日，或三元日，或季日，及六月六日，预合之。每服空心，以暖酒调下二钱。服药后，或觉心逆，不得便吐，吐即药无力。服药后，虫必出，甚验，如未应，次日再服。忌生血^⑤物，野狸肉。

治大风疾，天蓼散方：

天蓼叶半斤，乾者 天麻二两 何首乌一两，去黑皮 王不留行一两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以热浆水调下二钱。

治大风癩疾方：

金漆五合 乌蛇三两，酒浸去皮骨，炙微黄 防风三两，去芦头 桑螵三两，冬剥者 栝蒌根粉半升 续随子一两半，去皮

右件药，先将乌蛇、防风、桑螵等三味，捣罗为末，取自酝秫米酒三升，先用一升半，

① 炒：太平圣惠方无此字。

② 升：太平圣惠方此下有“炒”字。

③ 汤：太平圣惠方作“浸”。

④ 微炙：太平圣惠方作“炙微黄”。

⑤ 血：太平圣惠方作“冷”。

研续随子，绞取汁令尽，即并馀酒，同内于石锅中，煎三五沸，后将锅离火，乃下漆匀搅，候稍稠，下桑鹅、蛇肉等末，不住手搅，待泣泣，入栝蒌粉溶令匀，和捏作饼子，如钱许大，烈日晒乾。每服一片，烂嚼茶下，空心及晚食前服，服一百日内^①，鬓眉并生如常。

治大风疾，赤箭丸方：

赤箭 五两 赤怪 五两 茵芋 五两 地骨皮 五两
乌蛇 五两 白杨皮 十两，去皴皮

已上药，细锉，以水五斗，于釜内煮至一斗，滤去滓，澄清，再煎成膏。

防风 五两，去芦头 天麻 五两 青蒿末 五两

右件药捣罗为末，以煎成膏和丸，如梧桐子大，每服食前，以荆芥汤下十丸。

治大风，疮未出眉毛落方：

生漆 二两 生地黄 三斤，净^②洗，研绞取汁

已上二味相和，入于银锅中，以重汤煮，用柳木篦搅，候成膏，用和后药：

乌蛇 二两，酒浸去皮骨，炙微黄 白附子 一两，炮裂
雄黄 半两，细研如粉

右件药捣罗为末，更都研令匀，以前膏和丸，如梧桐子大，每夜后，以温酒下七丸，汗出为度。

治大风疾，宜服桂枝浸酒方：

桂枝 一两 芎藭 一两 独活 一两 甘草 一两，
炙微赤 牛膝 一两，去苗 薯蓣 一两 附子 一两，炮裂，
去皮脐 防风 一两半，去芦头 白茯苓 二两 天雄 一两
半，炮裂，去皮脐 茵芋 一两半 杜仲 一两半，去皴皮，炙
微黄 白术 一两半 蒺藜根 二两 乾姜 一两，炮裂
踯躅花 一两，醋拌，炒令乾 猪椒根皮 二两

右件药细锉，用生绢袋贮，以清酒二斗浸七日，满后，每日空心及夜临卧时，暖一小盏服之。

治大风疾，茵芋酒方：

茵芋 一两 乌头 一两，炮裂，去皮脐 天雄 一两，炮
裂，去皮脐 附子 一两，炮裂，去皮脐 川椒 一两，去目及
闭口者，微炒出汗 踯躅花 一两，醋拌，炒令乾 乾姜 一
两，炮裂 桂心 一两 防风 一两，去芦头 石南叶 一两

甘草 一两，炙微赤，锉 莽草 一两，炙微黄

右件药细锉，以生绢袋盛，以清酒一斗五升，浸之^③七日，满后，每日空心及夜临卧时，暖一小盏服之。

治大风神验方：

通明乳香 二十两 苦参 四两，肥好者，细锉

右先用好酒五升，浸苦参于瓷瓶内，以重汤煮一复时，其锅釜下火亦不用绝猛，但令常小沸为候，经一复时足，即取出，滤去滓，只将酒浸乳香，于银锅内煎如饴即止，入天麻末四两、大麻仁二两，别研如膏，入于乳香膏内，研搅令匀，慢火熬之，可丸即丸，如梧桐子大，每日空心及夜饭前，以大麻仁酒下二十丸。

大麻仁酒法：大麻仁三升，水淘令净，候乾，以酒一斗，浸一宿后，和酒研取白汁，以生绢滤过，却入瓷瓶中，以重汤煮数沸即止。每遍取一小盏，暖过下药，仍兼服后散，相间服之。

服前药后，宜服紫茄子根散方：

紫茄子根 切，曝乾，捣罗取末一斤 白药末 二两
甘草 炙微赤，捣罗取末一两

右件药，相和令匀，早饭后至晚，常均匀服三服，每服，以温水调下二钱。

治大风疾，百花煎方：

白蜜 二十两 酸石榴 七颗 生姜 半斤

右件药，将生姜、石榴并皮同杵，绞取汁，更滤令净，入蜜中相和令匀，用一瓷瓶，先秤知斤两，然^④入药蜜汁，后用三重蜡纸密封瓶头，置于釜中，重汤煮一复时，后时时秤，但除瓶斤两外，得二十两，便住。每服空心，以温酒调下一茶匙，晚食前再服。

治大风，腹脏有虫，令人皮肤生疮，语声变，眉鬓落，并宜服乳香煎方：

乳香 三两，细研 雄黄 二两，细研 预知子 二两，
捣末

① 内：太平圣惠方无此字。

② 净：太平圣惠方作“汤”。

③ 之：太平圣惠方作“三”。

④ 然：太平圣惠方此下有“后”字。

右件药，先以香末用水一斗，于银锅内，以慢火煎至五升，入预知子并雄黄，火熬成膏，入瓷器中盛。每日空心，以温酒调下一茶匙，后有虫如马尾，随大便出即愈。

治大风疾，神效方：

水银二两 硫黄一两，细研 松脂炼成者，二两，末

右件药，同入铤子内，火上结为砂子，以大乌鸦不损者一隻，以湿纸裹七重，又以泥裹作球，候乾，大火断^①令通赤，候冷取出，研入砂子及松脂末，都研令细，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空心，以温酒下五丸，晚食前再服。

治大风疾，宜服此方：

炼成松脂二两 杏仁一升，汤浸去皮尖双仁

右件药，先将杏仁捣碎，渐入水研绞取汁五升，入松脂煎五七沸后，乘热滤去滓，内瓷瓶中，更入酒五升，同封一宿，每于食前，暖一小盏服之。

治大风疾，狼毒散方：

狼毒三分，与油麻同炒令黄色，即去油麻 秦艽三分，去苗

右件药捣细罗为散，每服空心及晚食前，用温酒调服一钱。

治大风疾，摩勒香方：

摩勒香一斤，乳头内蒸光明者是

右件药细研，入牛乳五升，甘草末四两，于瓷合中盛，都搅令匀，以小桌子抬于庭中，安置卓剑一口，夜于北极下祷祝，去合子盖，露之一夜，来日却合了^②入甑中蒸之，炊三斗米熟即止，夜间依前祷祝，露之又蒸，如此三遍，方可服之。每服，抄一茶匙，以温酒调，空心及晚食前服之。如体上有疮者，以麸两石作一卧槽，令于内卧，服药后倍有恶物出，至三日三夜当愈。

治大风疾，天蓼粥方：

右取天蓼，刮去粗皮，碎锉四两，以水一斗，煎取一升，去滓，将汁煮糯米为粥，空腹食之。如病在膈上，即吐出；在中膈，

即汗出；在膈下，即转出，宜避外风。

治大风癰疾，肌肉顽痹，手足拘挛，久服轻身延年，好颜色不老方：

炼成松脂三斤

右捣研如粉，以夹绢袋盛，每服空心及晚食前，暖无灰酒调下二钱。

治大风疾，先宜服此宣泻皂荚丸方：

皂荚二十挺，一十挺去黑皮，涂酥，炙令黄焦，去子，捣罗为末，一十挺去皮子，捶碎

右以水五升，煎碎皂荚至一升后，以生布裹，掇滤去滓，重煎成膏，和前皂荚末，丸如梧桐子大，每服空心，以温酒下二十丸。得利后，方可别服治大风丸散，即早见效。

治大风鬓眉堕落诸方

夫大风病，鬓眉堕落者，皆从风湿冷得之。或因汗出入水得之，或冷水入肌体得之，或饮酒卧湿地得之，或当风坐卧树下及湿草上得之，或体痒搔之，渐渐生疮，经年不差，即为风疾。八方之风，皆能为患，客于经络，久而不去，与血气相干，则使荣卫不利，淫邪散逸，故面色败，皮肤伤，鼻柱坏，鬓眉落也。

治大风疾神验^③方。其风有五种，象五行金木水火土。黑虫者是业报之病，不可治也。馀四般虫，但服此药无不差者。此方是圣人之法，非凡俗所解，凡青黄赤白黑虫，在人骨^④体之中，往来无碍，若蚀人肝，则眉鬓先堕；若蚀人肺，鼻柱崩折，不闻香臭；若蚀人脾，语声变散；若蚀人肾，则耳鸣啾啾；心不受病，故不言之。若蚀人筋^⑤，肢节堕落；若蚀人肌，则顽痹不知痛痒，身上似有虫行，或有疱肉，起似桃李小枣，或多生疮癣，或状如鱼鳞，或形如榆荚。青黄赤黑，变易不定，从头起者名曰顺，从足起者名曰逆。风

① 断：太平圣惠方作“煨”。

② 了：太平圣惠方作“子”。

③ 验：太平圣惠方作“效”。

④ 骨：太平圣惠方作“身”。

⑤ 筋：太平圣惠方此下有“则”字。

起之由，皆因冷热交通，流于五脏，彻入于骨髓。气血内虚，风湿相搏，即便生虫。又因用力过度，食饮相违，酒后行房，汗入骨髓，亦患斯疾。若欲治者，先服此散，出虫为验，见青黄赤白便可治之，皆得除愈，若黑虫出者，此病无方对治也。其四般虫，肌肉欲坏，眉鬓堕落，皆可服雷丸散方：

雷丸一两 雄黄三分，细研 消石一两，细研 雌黄三分，细研 朱砂一两，细研，水飞过 阿魏一两，面裹煨，以面熟为度 藜芦半两，去芦头 犀角屑半两 紫石英半两，细研，水飞过 斑猫二十枚 芜青二十枚，与斑猫用油麻^①合同炒，麻熟为度，取出

右件药捣细罗为散，又用苦参五两、消石四两，捣碎，以生绢袋盛，入瓷瓶中，以无灰酒一斗，浸七日，密封头，每取一中盏，暖过，于食前调下散二钱。

治十年大风，毛发秃落，瘾疹生疮，气脉不通，抓搔不觉痛痒，莽草散方：

莽草三两，微炙 附子二两，炮裂，去皮脐 乾姜二两，炮裂，锉 石解二两，去根，锉 天雄二两，炮裂，去皮脐 细辛二两 踯躅花二两，酒拌炒令乾 白敛二两 川乌头二两，炮，去皮脐 石南二两 川椒一两，去目及闭口者，微^②去汗 桂心二两

右件药捣细罗为散，每服以温酒调下三钱，后以羊脯下药，日再服，勿大饱食。

治大风，眉鬓已落，却令再生方：

乌麻油一升 丁香一两 生姜汁一合 铁生末一合 附子三分 木香三分 诃黎勒皮三分 羊粪三十枚 垣衣二^③分

右件药捣细罗为散，入油及生姜汁中，以不津器盛，于马粪中埋三七日药成。涂药法，以中指点于生铁器中，摩三七^④下，即涂要生处，熟揩之，以乾为度，十五日内，眉鬓皆生。

治大风疾，卒无眉鬓者，乳香丸方：

乳香半两 人参半两，去芦头 紫参半两 沙参半两，去芦头 玄参半两 苦参半两，锉 天麻半两 甘菊花半两 枳壳半两，去瓢

右件药，并生用，捣罗为末，炼蜜和丸，

如梧桐子大，每食后，以温酒下二十丸，百日内好较^⑤，六十日内两鼻内出血不怪，是差候也。

治大风疾，眉鬓堕落，遍身结肿，皮肉顽痹，青盐散方：

青盐一斤 禹馀粮二斤 白矾一斤

右件药，捣细罗为散，更研令匀，入瓷罐子内盛，瓦子盖头固济，初用炭火二斤烧，渐渐添火至一秤已来，从早晨烧至夜，常须添炭，至一秤火尽为度，隔宿候冷，取之细研如粉，用夹熟帛包裹，取一生净土，水拌令浥浥，中心培药，两日出火毒，又别取胡麻子六斤，拣簸净洁，秤之，九蒸九曝毕，炒令香熟，捣罗为末，每二^⑥两胡麻末，管一两烧者药末，相和令匀，每服用荆芥茶调下二钱，空心及晚食前服，其效不可具述。

治大风疾，松叶浸酒方：

猪鬃松叶二斤，切 麻黄五两，去根节

右件药，细锉，以生绢袋盛，以清酒二斗浸，秋冬七日，春夏五日，日满开取，每服，温一小盏服，常令醺醺，以效为度。

治大风疾，令眉鬓^{寿域神方}眉发再生，侧柏叶丸方：经验良方治大风，头面髭发脱落。

侧柏叶 不计多少

右件药，九蒸九曝，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日三服，夜一服，以熟水下五十丸，良方五丸，神方五六十丸，卫生易简方五丸，十丸。百日即生。

治大风疾，头面生疮，眉发髭脱落，宜用此沐浴方：神巧万全方治大风癰疾，肌肉顽痹，沐浴方。

桑柴灰 热汤淋取汁

右用洗头面，以大豆水研取浆，解泽^⑦灰味弥佳；次用热水，入绿豆面濯之，取净，

1 一：太平圣惠方作“小”。

2 微：太平圣惠方此下有“炒”字。

3 二：太平圣惠方作“三”。

4 七：太平圣惠方无此字。

5 较：太平圣惠方作“转”。

6 二：太平圣惠方作“三”。

7 泽：太平圣惠方作“释”。

甚良，不过十度大效。三日一沐头，经验良方三日一浴。一日一洗面，甚良。卫生易简方同。得效方治疔风，即大风恶疾，癩是也。虽名曰风，未必皆因风，大率多是嗜欲劳动，气血热发，汗泄不避邪风，使淫气与卫气相干，则肌肉不仁，劳气泣浊，则肘热不利，故色败，皮肤疡溃，鼻梁塌坏，或自作不仁，极猥之业所致。久则或遍身白皮脱落如蛇蛻状。右用桑枝灰一斗，热汤淋取汁，洗头面，次用大豆及绿豆浆，添熟水，三日一浴，一日一洗面，却用侧柏叶蒸曝乾、白胶香各等分为末，蜜圆，温水下三七粒，日三服。

治大风癩疾，骨肉疽败，百节痠疼，眉鬓堕落，身体瘡瘡痒痛者，宜服此方：

马薪蒿 不问多少，一名马矢蒿，一名烂石草

右件药细锉，炒乾，捣细罗为散，每日空心及晚食前，以温酒调服二钱。

治大风疾，百灵藤粥方：

百灵藤 四两

右以水一斗，煎至二升，去滓，入粳米四合煮作粥，于温室中澡浴了服之，衣覆取汗，汗后，皮肤风退如麸片，每隔日一服，五六十日后渐愈，毛发即生。

治大风癩诸方

夫大风癩病者，皆是恶风及犯触忌害之所为也。初得病时，觉皮肤不仁，或淫淫苦痒，有似虫行，或癰疹赤黑，此皆为病之始起也，便急治之，断米谷毒鱼之类，食胡麻松术之辈，最为害^①也。大病之生，多从风起，初染之时，不将有害，风毒入于皮肤，不能自觉，或流通四肢，或在五脏，则令毛孔腠理壅塞不通，因兹气血乖离，遂致皮肤顽痹。初起状如钱大，或如手掌，渐渐引阔，犹同朽木，针刺不痛，或在头面，或上胸颈，习习弈弈，状若虫行，流移无常，身体痛痒，搔之成疮，久久则皮肤筋节坏散，故名曰癩。其间变状多端，癩名非一，今举其数种。木癩者，初得，眉睫不落，面目痒如生疮；火

癩者，生疮如火烧疮，或断人肢节，经久即眉睫堕落；金癩者，初得眉落，经久即虫食于肺，鼻柱崩倒；土癩者，身体生痞瘰，状如鸡子，或如弹丸，渐烂出于脓水；水癩者，先得水病，毒气留停，冒风发动，眉鬓皆落。又有蟋蟀癩者，有虫如蟋蟀，在人身之内，百节头皆有血出；面癩者，其虫无^②面，举体如艾^③，色白难治，熏药可愈；雨癩者，斑驳或白或赤，眉鬓堕落；麻癩者，状似癰痒，身体狂痒；蚘癩者得之，身体沉重，状如风癩；酒癩者，因酒醉卧黍穰上，汗出体虚，风从外入，落人眉鬓^④。凡诸癩皆须速治之，若多年即不可治也。

治大风癩，并万病痛疽疥癬，赤白风癩，骨肉疏败，百节烦疼，眉鬓发落，身体淫跃，痛痒无恒^⑤，目痛耳聋，口疮齩齿，千金散方：

天雄 半两，炮裂，去皮脐 细辛 半两 川乌头 半两，炮裂，去皮脐 莽草 半两，微炙 乾姜 半两，炮裂，性 石南叶 一两 石菖蒲 一两 防风 一两，去芦头 白术 一两 独活 一两半

右件药捣细罗为散，每于食前，用温酒调服二钱。神巧万全方同。

治大风癩，顽麻风，紫点白癩，宜服此方：

乳香 五两，黄明者，妙令软冷，捣 白胶香 五两，光明好者 松脂 五两，上好者 龙脑 三钱^⑥

右件药，将上三味同捣，入于银锅或石锅中，以水一斗五升，煮药二十沸，专看火候，勿使溢出，即写入冷水中，漉取药，又依前以水一斗五升，又炼，一依前法，如此三十遍，写入冷水中，漉出曝乾，细研如粉，入龙脑同研，令匀。每日空心及晚食前以冷酒调下一钱。

夫大风癩疾，白僵蚕丸方：

- ① 害：太平圣惠方作“善”。
- ② 无：太平圣惠方作“如”。
- ③ 举体如艾：太平圣惠方无此句。
- ④ 鬓：太平圣惠方作“须”。
- ⑤ 恒：太平圣惠方作“时”。
- ⑥ 钱：太平圣惠方作“两”。

白僵蚕 半两，微炒。蛇蛻皮灰 半两 皂莢刺灰 半两 虾蟆灰 半两 防风 半两，去芦头 薄荷根 半两 茵陈根 半两 兰香根 半两 蜥^① 半两，炙微黄 腰带皮灰 半两 皮巾子灰 半两

右件药捣罗为末，用乌蛇卵和丸，如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温酒下二十丸。

治大风癩，遍身癩疹，如半覆，烂桃杏大作疮，连年转甚者，宜服苦参丸方：

苦参 半斤，细锉，捣罗为末 生乾地黄 五两 朱砂 二两，细研，水飞过 薰陆香 二两

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心及晚食前，以温水下三十丸。

治大风癩病，丹砂丸方：

朱砂 半两，细研 水银 半两，以少枣瓤，研令星尽 桂心 半两 乾姜 半两，炮裂，锉 乌头 半两，炮裂，去皮脐 石菖蒲 半两 柏子仁 半两 川椒 半两，去目及闭口者，微炒去汗 藜芦 半两，去芦头

右件药，捣罗为末，入朱砂、水银，研令匀，取酒二升，先煎取五合，停温，入淳漆五合，熬搅令匀，然下^②诸药，可丸即丸，如梧桐子大，阴乾，每日空心及晚食前，用荆芥槐白皮煎汤下二丸。

治遍身白屑，搔之则痛，变作大风癩，苦参酿酒方：

苦参 五斤 露蜂房 五两 猬皮 一枚 曲 三斤

右件药，细锉，以水五斗合药，浸四日，炊米五斗并药曲，同酿酒如常法，熟，即每暖饮一中盏，日三服。

治大风癩，恶疮，何首乌散方：

何首乌 一斤，入白米泔浸一^③七日，夏月逐日换水，用竹刀子刮令碎，九蒸九曝 胡麻子 四两，九蒸九曝

右件药捣细罗为散，每服食前，用温酒调下二钱，荆芥薄荷汤茶调下亦得。神巧万全方同。

治五脏^④□□癩，并赤白诸癩，毒疮，遍身痛，桃枝汤浸浴法：

桃枝 一斤 枫枝 一斤 槐枝 一斤 柳枝 一斤 杉枝 一斤 松枝 一斤 桑枝 一斤 苦参 半斤 蒴藋 半斤 牛蒡根 半斤 枸杞根 半斤 秦艽 半斤 丹参 半斤 莽草 半斤

右件药，细锉和匀，分为四度，每度以东流水一石煎取七斗，去滓，看冷热，于暖室内浸洗后，衣盖卧避风。

治乌癩诸方

夫癩疾皆是恶风，及犯触忌害所得，初觉皮毛变黑，巢氏病源作异。或淫淫苦痒如虫行，或眼前见物如垂丝，言语无定，心常惊恐，皮肉之中或如桃李，癩疹赤黑，手足顽痹，针刺不觉痛，脚下痛顽，不得踏地，凡食之时，开口取气而鸣，语亦如是，身体生疮，痛痒而时如虫行，或两肘如绳缚，此名乌癩。又有黑癩。凡二癩之证，大同小异，故不别录也。

治乌癩，猬皮丸方：

猬皮 一枚，炙黄焦 魁蛤 一枚 蚺蛇头 一枚，涂酥，微黄 虻虫 三枚，炒微黄 蛭 三枚，炒微黄 鯪甲 三片，炙黄 葛上亭长 三枚，炒微黄 斑猫 三枚，糯米拌，炒令米黄 蜈蚣 一枚半，炙微黄，去足 附子 二枚，炮裂，去皮脐 蜘蛛 三枚，微炙 水蛭 三枚，炒微黄 巴豆 十五枚，去皮心研，纸裹压去油 雷丸 十五枚 水银 半两，以少枣瓤，研令星尽 川大黄 半两，锉碎，微炒 朱砂 半两，细研 桂心 半两 射网 半两 黄连 半两，去须 石膏 一两，细研，水飞过 川芒消 一两 龙骨 半两 川椒 半两，去目及闭口者，微炒去汗 甘遂 一分，与胡麻同炒，胡麻熟为度 白矾灰 一分 滑石 一分

右件药捣罗为末，入研了药令匀，炼蜜和丸，如小豆大，每服以温水下一丸，空心临卧各一服。未觉，每服加一丸，如小便茎中痛，即有虫下，皆已死也，细观形状。痛多，即减至一丸；痛少，即却加至二丸，以差为度。

治乌癩，皮肤变黑，生疮肿痛，杀虫，雄黄涂药方：

雄黄 一两 白矾 一两 紫石英 一两 白石英

① 蜥：太平圣惠方作“蜥”。

② 然下：太平圣惠方作“次入”。

③ 一：太平圣惠方无此字。

④ 藏：此下脱字，太平圣惠方作“大风”。

一两 马牙消 一两 太阴玄精 一两 金星礬石 一两
银星礬石 一两

右件药捣研为末，入瓷合中，用白土泥固济，候乾，用炭火五斤，烧令通赤即止，以土盖罨药合，候来日取出，于湿地上纸衬盆盖出火毒，三复时，再研如粉，取枫树胶煮汁和调，每日用涂之，以差即止。

治乌癩疮，久不差，硫黄散方：

硫黄 水浮石 槐白皮 寒水石 白礬
不灰木 蜗牛子 牡蛎 金星礬石 银星礬
石 蝉壳 握雪礬石 密陀僧 马牙消 麝
香 雄黄 雌黄 乱发灰 蜂窠灰

右件药，各一钱，唯白礬五钱，捣研为末，用水银半两，以津唾杀研如泥，别入膩粉一分，以生麻油四两，都调令匀，每于患处遍涂之效。

治乌癩，及诸癩遍身生疮，及多脓血，宜用大黑神膏方：

川乌头 半两 芎藭 半两 雄黄 半两，研后入 胡
粉 半两，碎后入 巴豆 十四枚，去皮 川升麻 半两 木
防己 半两 杏仁 十四枚，去皮 雌黄 半两，研后入 黄
连 半两，去须 白礬 半两 藜芦 半两 松脂 如鸡子大
黄柏 半两 乱发 如鸡子大

右件药，细锉如大豆粒，以猪脂二升，并药同煎，以乱发消尽，绵滤去滓，后入雄黄、雌黄、胡粉，调搅令匀，收于瓷合中，每取涂于疮上，一日一夜三度涂之，每度以热盐汤洗过，然后更涂之，勿令入口眼。

治乌癩，蜂房酿酒方：

露蜂房 五两 苦参 四斤

右件药，细锉，用水三斗，煮取一斗二升，去滓，用浸曲四斤半，炊秫米三斗，入曲药溶拌，如常酝法，酒熟，压去糟，每于食前暖一小盏服之。

治乌癩疮，杀虫方：

雄²黄 不限多少

右件药，细研如粉，以醋并鸡子黄搅令匀，涂于疮上，乾即更涂。

治白癩诸方

夫白癩病者，其语声嘶哑，目视不明，四肢顽疼，身体大热，心中懊懣，手脚缓纵，背脊拘急，肉如针刺，或生癩疹，而起往往正白，在皮肉里，鼻有息肉，目生白珠，当于瞳子视无所见，此名白癩也。

治白癩，鲛鲤甲丸方：

鲛鲤甲 三片，炙微黄 蝮蛇 半条，酒浸，炙微黄 斑
猫 二枚，糯米拌炒微黄，去翅足 蜈蚣 一枚，炙微黄，去足
魁蛤 半枚 虻虫 二枚，炒微黄 水蛭 二枚，生 蜘蛛
二枚，生乾者 蛭蟥 三枚，生 附子 二枚，炮裂，去皮脂
雷丸 十枚 水银 半两，与消石点^③汁，研令尽 消石
半两 川大黄 半两，锉碎，微炒 石膏 一两，细研，水飞过
巴豆 十五枚，去皮心研，纸裹压去油 桂心 半两 川椒 一
分，去目及闭口者，微炒去汗 川芒消 半两 射干 半两
滑石 半两 龙骨 半两 矾石灰 半两 黄连 半两，去须

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空心，及晚食前，以温水下两丸。

治周身白点，如脂如榆荚，搔之白屑落，或痒或痛，色白渐展，世呼为白癩，宜服苦参酝酒方：

苦参 五斤 露蜂房 五两 猬皮 一具

右件药，细锉，以水三斗，煮取一斗，去滓，浸细面^①五斤，炊秫米三斗拌，如常酝法，酒熟，压去糟，每于食前，暖饮一小盏。

治白癩风，天麻煎方：

天麻 一斤 天蓼木 三斤

右件药，锉如大豆粒，用水三斗，入银锅或石锅中，煎至一斗二升，滤去滓，却于慢火上，煎如稀汤，每于食前，用荆芥薄荷酒调下半匙。

治白癩方：

斑猫 二七枚，与糯米同炒，令黄 大蝮蛇 一条，乾者，
并头尾全用，炙微黄

① 礬：太平圣惠方作“礬”。

② 雄：太平圣惠方作“雌”。

③ 楮：太平圣惠方作“猪”。

④ 面：据前治乌癩蜂房酿酒方，应为“曲”字。

右件药，以酒七升，入瓷瓶中，用糠火煨酒及一升，滤去滓，收瓷合中，每取薄涂于白癩上。

又方：

马鞭草 不计多少

右捣细罗为散，每于食前，用荆芥薄荷汤调下一钱。寿域神方、卫生易简方同。

治大风出虫诸方

夫五脏生五虫，则成五癩，其虫各随五脏之色，四虫可疗，一虫黑者不可疗，亦有专心医治，时有差者，今以药出其虫，以验可疗不可疗也。

治大风出五虫癩，四色可治，唯黑虫不可治，宜先服阿魏雷丸散方：

阿魏 一分，生用 雷丸 半两 雄黄 半两，细研 朱砂 半两，细研 滑石 半两 石胆 一分，细研，神巧万全方无 消石 半两，细研，万全方无 白敛 一分 犀角屑 半两 牛黄 半两，细研 紫石英 半两，细研 水飞过斑猫 二十枚，糯米拌炒米黄，去翅足 芫青 二十枚，糯米拌炒米黄，去翅足

右件药捣细罗为散，入研了药，都研令匀，每日空心，以清酒调下一钱，饥即食小豆羹饭为良，切忌多食，食饱虫即出迟，旧西腹空，更服一钱，若觉小便似淋痛，不问早晚，即更服一钱，若觉欲小便如似痛涩，即就一瓷器中尿，尿出看之，其虫或如烂筋状，各逐其藏，辨虫之颜色也。

治大风，肌肤不仁，头面身生^②疮，颜色肿黑，腹内生虫，鼻柱崩倒，宜服朱砂散方：

朱砂 一两，细研，水飞过 紫檀 一两 漏芦 一两 雄黄 一两，细研 雌黄 半两，细研 白敛 一两 石胆 半两，细研 紫石英 一两，细研，水飞过 阿魏 半两，生使 牛黄 一分，细研 犀角屑 一两 龙骨 一两 石膏 一两，细研，水飞过 消石 一两半

右件药捣细罗为散，入石药末，更同研令匀，每食前，以温酒调下一钱，如饥，即宜吃小豆饭及枣汤，食勿令过饱，饱即其虫

难出，服药后，小便似淋，即以盆子盛看，当有虫出，或当日便出，或三五日方出者，或虫出即且服药，候虫尽便差。

治大风癩疾，眉鬓或落，鼻柱崩倒，肌肉变坏，宜服出虫治法，或下黑虫不可疗，余四色虫，并可治也。但服此水银雷丸散方：

水银 一分，与雄黄、硫黄点醋，用乳钵木槌，同研令星尽 雷丸 一分，末 阿魏 一分，生研 雄黄 一分 硫黄 一分 草薢 一分，微炒，捣为末 麝香 一钱，细研

右件药，都研令细，每服食前，用温酒调下一钱，晚食前再服，或有虫下，看其颜色，唯黑不可治也。

治大风癩，出五虫，独活散方：

独活 三分 雄黄 半两，细研 麻黄 半两，去根节 青黛 一分 水银 一分，与朱砂、雄黄同点醋研，杀尽水银为度 阿魏 一分，生研 雷丸 半两 朱砂 半两，细研 滑石 半两，细研 石胆 一分，细研 牛黄 一分，细研 紫石英 一分，细研 斑猫 四十枚，糯米拌炒微黄，去翅足 芫青 四十枚，糯米拌炒微黄，去翅足

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，每日空心及晚食前，用温酒调下一钱，每食，宜吃豆饭不得令饱，饱即其虫难出，虫出黑者，不堪治，余者并可疗。

治大风癩，熏出虫方：

艾叶 一两，末 砒霜 一两 水银 一两，并硫黄结为砂子 膩粉 一两 硫黄 一两 朱砂 一两 麝香 半两 阿魏 一两 猪牙皂荚 一斤，末 附子 一两，去皮脐 雄黄 一两

右件药并生使，都研为末，用纸四张，先布艾，次下掺皂荚末，次掺诸药末卷^③，却以刀切似饼饺子，安火碗内烧，安曲膝下熏，以衣被遮拥定，不令透出气，热闷即虫出。

治大风，遍身生疮，复^④脏有虫，眉鬓半落，语声欲破，宜服此下虫方：

乾虾蟆头 一两，炙令黄，为末 皂荚 一挺，去皮，

① 细：太平圣惠方此下有“研”字。

② 生：太平圣惠方作“上”。

③ 卷：太平圣惠方作“尽”。

④ 复：太平圣惠方作“腹”。

涂酥，炙微黄，去子，杵末

右件药研令匀，以竹筒引入羊肠内，只可一尺，系定两头，用麸二升，裹于饭甑中蒸熟，去麸，入麝香一钱，和捣，丸如梧桐子大，强壮者空心温酒下三十丸，劣弱者服二十丸，任意饮酒，取醉为度，专看大肠内有虫下，即差。

治风瘙痒诸方

夫风瘙痒者，由风邪气客于肌肉，则令肌肉虚，真气散，寒气搏于皮肤，外发腠理，巢氏病源此下云闭毫毛。淫邪与卫气相搏，阳胜则热，阴胜则寒，寒则表虚，虚则邪气往来，故多瘙痒也。巢源此下云：凡痹之类，逢热则痒，逢寒则痛。

治面上皮起，及身体瘙痒方：

芎藭^①二两 白术^②三两 山茱萸^③一两 防风^④三两，去芦头 羌活^⑤二两 枳壳^⑥三两，麸炒微黄，去瓢 麻黄^⑦二两，去根节 薯蓣^⑧二两 乌喙^⑨二两，炮裂，去皮脐 乾姜^⑩一两，炮裂，锉 白蒺藜^⑪二两，微炒去刺 甘草^⑫一两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，温服，日三服，忌热面、鸡、猪、鱼、蒜。

治风毒攻皮肤，瘙痒方：

枳壳^⑬二两，麸炒微黄，去瓢 防风^⑭二两，去芦头 黄耆^⑮二两，锉 白蒺藜^⑯一两，微炒，去刺 漏芦^⑰二两 秦艽^⑱二两，去苗 乌蛇^⑲三两，酒浸，去皮骨，微炙 川芒消^⑳二两 犀角屑^㉑二两

右件药捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，每于食后温服。

治风瘙，身体无处不痒，或生疮肿，宜服天麻散方：

天麻^㉒半两 防风^㉓半两，去芦头 枳壳^㉔三分，麸炒微黄，去瓢 芫蔚子^㉕三分 白僵蚕^㉖半两，微炒 白蒺藜^㉗一两，微炒，去刺 凌霄花^㉘半两，微炒 踯躅^㉙半两，微炒

右件药捣细罗为散，每于食前，用荆芥汤调下二钱。

治风热客于皮肤，遍身瘙痒。宜服乌蛇散方：

乌蛇^㉚二两，酒浸，去皮骨，微炙 乾蝎^㉛半两，微炒 玄参^㉜一两 秦艽^㉝一两，去苗 赤箭^㉞一两 麻黄^㉟半两，去根节 猪牙皂荚^㊱半两，炙黄 枳壳^㊲半两，麸炒微黄，去瓢 右件药捣细罗为散，每服，不计时候，以温酒调下二钱。

治遍身风瘙疮^㊳不可止，宜服苦参散方：

苦参^㊴一两，锉 苍耳苗^㊵一两 蔓荆子^㊶一两 牡荆子^㊷一两 晚蚕沙^㊸一两 白蒺藜^㊹一两，微炒，去刺 晚蚕蛾^㊺半两 玄参^㊻一两 胡麻子^㊼一两 蛇床子^㊽一两 天麻^㊾一两 乳香^㊿半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以紫笋茶调下二钱。

治风毒攻注皮肤，遍身瘙痒，烦热多汗，宜服乌金丸方：

槐鹅^①半斤 羌活^②一两 白附子^③二两 天麻^④三两 枳壳^⑤一两，去瓢 皂荚^⑥三十挺，肥者 踯躅花^⑦一两 麻黄^⑧一两，去根节 胡桃瓤^⑨一两 乌蛇^⑩一条，重三两 腊月鸦^⑪一隻，去足 腊月狐肝^⑫一具

右件药并细锉，以一固济了大瓷瓶，先内乌蛇、及鸦、狐肝等，歇口烧欲熟，过后下诸药，以大火断^⑬令通赤，得冷取出，入麝香半两，同研令细，以槐胶烂煮捣和，丸如梧桐子大，每服食后，以荆芥汤下二十丸。

治风瘙痒，皮中如虫行之状，宜服枳壳浸酒方：

枳壳^⑭五两，麸炒微黄，去瓢 秦艽^⑮四两，去苗 独活^⑯四两 肉苁蓉^⑰四两 丹参^⑱五两 蒺藜^⑲五两 松叶^⑳切，二^㉑升

右件药，细锉，用生绢袋贮，以清酒二斗五升，浸五七宿后，每服不计时候，暖一小盏服。

治风瘙痒不可止，宜用防风浴汤方：

- ① 二：太平圣惠方作“三”。
- ② 一：太平圣惠方作“三”。
- ③ 二：太平圣惠方作“三”。
- ④ 二：太平圣惠方作“三”。
- ⑤ 一：太平圣惠方作“二”。
- ⑥ 疮：太平圣惠方作“痒”。
- ⑦ 一：太平圣惠方作“二”。
- ⑧ 断：太平圣惠方作“煨”。
- ⑨ 二：太平圣惠方作“一”。

防风^①三两 蒴藋^②切，一升 羊桃根^③二两 石南^④一两 秦艽^⑤一两 川升麻^⑥□两 苦参^⑦三两 茵芋^⑧一两 白蒺藜^⑨一两 蛇床子^⑩一两 白矾^⑪一两 枳壳^⑫一两

右件药细锉，都以水七斗，煎至五斗，去滓，于暖室中洗浴，令汗出，宜避风冷。

治风瘙痒，不可忍方：

乌蛇^⑬二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 枳壳^⑭三分，麸炒微黄，去瓢 乾荷叶^⑮半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，用温蜜酒调下二钱。

治风痞瘰诸方

夫人阳气外虚则多汗，汗出当风，风气搏于肌肉，与热气并，则生痞瘰，状如麻豆，甚者渐大，搔之成疮也。

治风热，皮肤生痞瘰，痒痛，宜服羚羊角散方：

羚羊角屑^⑯一两 防风^⑰三分，去芦头 枳壳^⑱半两，麸炒微黄，去瓢 白蒺藜^⑲半两，微炒，去刺 川大黄^⑳一两，锉碎，微炒 玄参^㉑一两 乌蛇肉^㉒一两，酒浸，微炒 甘草^㉓半两，炙微赤，锉 秦艽^㉔三分，去苗

右件药捣筛为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，入牛蒡根汁半合，更煎一两沸，不计时候，温服。

治风热，毒气客于皮肤，遍身生痞瘰，状如麻豆方：

秦艽^㉕一两，去苗 防风^㉖半两，去芦头 黄芩^㉗半两 麻黄^㉘半两，去根节 枳壳^㉙三分，麸炒微黄，去瓢 牛蒡子^㉚三分，微炒 犀角屑^㉛半两 黄耆^㉜三分，锉 玄参^㉝半两 川升麻^㉞三分 甘草^㉟半两，炙微赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治脾肺风热，攻皮肤，生痞瘰，瘙痒不止，差而复发，宜服枳壳散方：

枳壳^㊱三分，麸炒微黄，去瓢 防风^㊲半两，去芦头 川升麻^㊳半两 白鲜皮^㊴半两 麦门冬^㊵一两，去心焙 白蒺藜^㊶三分，微炒，去刺 羚羊角屑^㊷三分 羌活^㊸三分 桑根白皮^㊹三分，锉 麻黄^㊺一两，去根节 甘草^㊻半两，炙微

赤，锉

右件药捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温服。

治风热，遍身生痞瘰，瘙痒，宜服乌蛇散方：

乌蛇^㊼二两，酒浸去皮骨，炙微黄 天麻^㊽三分 羌活^㊾半两 白鲜皮^㊿半两 桂心[㋀]半两 麻黄[㋁]三分，去根节 秦艽[㋂]三分，去苗 牛蒡子[㋃]三分，微炒 甘草[㋄]半两，炙微赤，锉 枳壳[㋅]半两，麸炒微黄，去瓢 蒲黄[㋆]半两 蔓荆子[㋇]半两 芎藭[㋈]半两 当归[㋉]半两 藁本[㋊]三分 白僵蚕[㋋]三分，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风热，皮肤瘙痒，生痞瘰，宜服荆芥散方：

荆芥[㋌]一两 牛蒡子[㋍]三分，微炒 蔓荆子[㋎]半两 天麻[㋏]半两 人参[㋐]半两，去芦头 黄芩[㋑]三分 防风[㋒]半两，去芦头 乌蛇肉[㋓]二两，酒浸，微炒 独活[㋔]半两 赤茯苓[㋕]一两 苦参[㋖]一两，锉 枳壳[㋗]半两，麸炒微黄，去瓢

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治风热，皮肤生痞瘰，搔之痒痛，沙参散方：

沙参[㋘]三分，去芦头 白蒺藜[㋙]三分，微炒，去刺 枳壳[㋚]三分，麸炒微黄，去瓢 白附子[㋛]半两，炮裂 白鲜皮[㋜]半两 天麻[㋝]半两 犀角屑[㋞]半两 丹参[㋟]三分 川大黄[㋠]半两，锉碎，微炒

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风热，头面皮肤瘙痒，烦闷，生痞瘰，枳壳丸方：

枳壳[㋡]二两，麸炒微黄，去瓢 天门冬[㋢]一两半，去心，焙 独活[㋣]一两半 白蒺藜[㋤]一两半，微炒，去刺 牛蒡子[㋥]一两 薏苡仁[㋦]一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣一二百杵，

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 麻：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

③ 肉：太平圣惠方作“皮”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

丸如梧桐子大，每于食后，以温水下三十丸。

治风瘙痒，生痞瘰，宜服蒺藜丸方：

白蒺藜 一两，微炒，去刺 秦艽 一两，去苗 羌活 半两 苦参 半两，锉 黄芩 半两 赤茯苓 一两 细辛 半两 枳壳 三分，麸炒微黄，去瓢 乌头^① 三两，酒浸去皮骨，炙微黄

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大^②时候，以温水^③下二^④十丸。

治皮肤风热，生疮，痞瘰，或痒痛，宜垂柳汤浴方：

倒垂柳 二斤，锉 白矾 二两，生使 杏仁 三两

右件药，以水一斗五升，煎至一斗，去滓，于无风处洗浴，极妙。

治风瘙痒，皮肤生痞瘰，体肿疼痛，宜用莽草膏方：

莽草 一两 当归 二两 芎藭 二两 大戟 二两 川椒 二两 附子 二两，去皮脐 细辛 二两 赤芍药 二两 芫花 二两 踯躅花 二两 蒺藜 二两

右件药，细锉，以醋三升，浸一宿，用猪脂三斤，都煎，令附子色黄为度，绵滤去滓，每取摩病处，日二三^⑤。

治风热，皮肤生痞瘰，苦痒成疥，丹参汤洗方：

丹参 四两，锉 苦参 四两，锉 蛇床子 三合，生用

右件药，以水一斗五升，煎至七升，去滓，承热洗之。

治风瘙，皮肤生痞瘰，搔之肿痒，柳枝汤洗方：

嫩柳枝 五两 茵陈 二两 苦参 五两 狼牙草 三两 青葙叶 二两 桃枝 五两 槐白皮 四两 蒺藜 五两 麻黄 二两，去根节

右件药，细锉和匀，每取一斤，以水五斗，煮取四斗，去滓，更入盐及朴消各二两，搅匀，看冷热，于温室中洗浴^⑥，洗罢，衣覆汗出差，切慎外风。

治风痞瘰方：牛膝捣细罗为散，每服食前，以温酒调下一钱。兼治骨疽风癰皆效。

治风身体如虫行诸方

夫人身体虚者，即风邪中于荣卫，溢于皮肤之间，与虚热相并，故游弈遍体，状若虫行也。

治风，身体如虫行，莽草散方：

莽草 一两，微炙 细辛 三分 人参 三分，去芦头 麻黄 半两，去根节 杏仁 一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 芎藭 三分 甘草 一分，炙微赤，锉 黄耆 一两，锉 天麻 一两半 防风 一两，去芦头 凌霄花 三分 白蒺藜 三分，微炒，去刺 当归 三分

右件药捣筛为散，每用药一分，水一大盏，煎至五分，去滓，不计时候温服。又取此药二两，用苦参五两，白矾五两，桃柳枝各五两，水一石二斗，同煎至七斗，布滤去滓，暖室中浴，浴后宜服前散。

治风，遍身如虫行，宜服柏子仁散方：

柏子仁 半两 附子 一两，炮裂，去皮脐 莽草 一两，微炙 石斛 一两，去根节^⑦，锉 牛膝 一两，去苗 草薢 半两，锉 赤芍药 半两 防风 半两，去芦头 桂心 半两 山茱萸 半两 细辛 半两 白术 半两 芎藭 半两 羌活 一两 天麻 一两 麻黄 一两，去根节 甘草 一两，炙微赤，锉

右件药捣细罗为散，每于食前，以温酒调下二钱。

治风，在头面眉间，如虫行，或头眩，目中泪出，宜服防风散方：

防风 一两，去芦头 桂心 半两 天雄 半两，炮裂，去皮脐 细辛 半两 乌头 半两，炮裂，去皮脐 朱砂 半两，细研 乾姜 半两，炮裂 莽草 半两，微炙 白蒺藜 半两，微炒，去刺 附子 半两，炮裂，去皮脐 人参 半两，去芦头 当归 半两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下一钱。

治风，皮肤瘙痒如虫行，头目旋闷，宜服莽草丸方：

- ① 头：太平圣惠方作“蛇”。
- ② 大：太平圣惠方此下有“每服不计”四字。
- ③ 温水：太平圣惠方作“蜜汤”。
- ④ 二：太平圣惠方作“三”。
- ⑤ 匕：太平圣惠方作“上”。
- ⑥ 浴：太平圣惠方作“浴”。
- ⑦ 根：太平圣惠方此下有“节”字。

莽草一两，微炙 天麻一两 川升麻一两 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 蝉壳一两，微炒 细辛一两 赤茯苓一两 蜘蛛半两，微炒 附子一两，炮裂，去皮脐 芍药一两 甘草一两，炙微赤，锉 麝香一分，细研

右件药捣罗为末，入麝香，同研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服食前，以温酒下十五丸。

治风，毒冲头面，痒痒如虫行身上，时有风疹，心神烦闷，宜服白蒺藜丸方：

白蒺藜一两，微炒，去刺 黄耆三分，锉 独活三分 白芷半两 防风半两，去芦头 薯蓣三分 枳实一两，麸炒微黄^① 人参三分^②，去芦头 黄连一两，去须 葳蕤半两 地骨皮半两 桂心半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣二三百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治毒风攻四肢，周身如虫行，搔之不解，宜服天南星丸方：

天南星半两 天麻半两 白附子半两，炮裂 羌活半两 白僵蚕半两，微炒 麻黄二分^③，去根节 白花蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 犀角屑二分^④ 槐胶半两，生用 梔子仁一两 槐实半两，微炒

右件药捣罗为末，别入膩粉一分，研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下十五丸。

治热毒风冲头面，痒如虫行，枳壳丸方：

枳实^⑤一两半，麸炒微黄 天门冬一两半，去心，焙 独活一两 黄连一两，去须 防风一两，去芦头 白蒺藜一两，微炒，去刺 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 苦参一两，锉 茵^⑥ 桂三分^⑦

右件药捣罗为末，炼蜜和捣二三百杵，丸如梧桐子大，每服不计时候，以温水下三十丸。

治身体痒，搔之，或生瘾疹如虫行，浴方：

羌蔚子五两 白蒺藜五两 羊桃根五两 苦参五两 蒴藿一斤 漏芦五两 盐三合 苍耳茎叶一斤 柳叶半斤

右件药，锉，以水一石，煎取七斗，去滓，饷^⑧食，看冷暖浴浸之，当汗出，水稍冷便出，宜避风，不过三上效。

治风，皮肤瘙^⑨痒，状如虫行，宜用此方：

蒺藜子三两 蛇床子二两 踯躅花二两 蒴藿根二两 凌霄花二两 苦参二两 大戟二两 川大黄二两 羌蔚子二两 白矾三两

右件药，锉，以水五升，酒三升相和，煎取三升，去滓，次入白矾末，更煎三五沸，以瓷器盛之，旋用涂于痒处。

治风，身体如虫行，雄黄丸方：

雄黄一两 炼成松脂三两

右件药，同研如粉，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心，及晚食前，用薄荷汤下十丸，槐胶汤下亦得。

治白癩风诸方

夫肺有壅热，又风气外伤于肌肉，热与风交并，邪毒之气，伏留于腠理，与卫气相搏，不能消散，令皮肤皴起，生白斑点，故名白癩风也。

治肺脏久积风毒，皮肤生白癩不止，苦参散方：

苦参三两，锉 露蜂房二两，微炙 松脂二两 附子^⑩一两，炮裂，去皮脐 梔子仁二两 乌蛇二两，酒浸去皮骨，炙微黄 木兰皮二两

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱，宜常吃萝卜菜，勿食鸡、雀肉，忌猪、鱼、大蒜、湿面等。

治身体顽麻，及白癩风，宜服此乌蛇散方：

① 黄：太平圣惠方此下有“去瓢”两字。

② 分：太平圣惠方作“两”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 二：太平圣惠方作“三”。

⑤ 实：太平圣惠方作“壳”。

⑥ 茵：太平圣惠方作“茵”。

⑦ 三分：太平圣惠方作“一两（分）”。

⑧ 饷：太平圣惠方作“饱”。

⑨ 瘙：太平圣惠方作“痛”。

⑩ 一：太平圣惠方作“二”。

乌蛇 三两，酒浸去皮骨，炙令黄 白僵蚕 二两，微炒
桂心 半两 独活 二两 天麻 二两 川乌头 半两，炮裂，去皮脐 细辛 半两 防风 半两，去芦头 胡麻子 二两 枳实 半两，麸炒微黄 蝉壳 半两 白附子 半两，炮裂 天南星 一分，炮裂

右件药捣细罗为散，每服不计时候，以温^①调下二钱。

治白癫风，遍身斑点瘙痒，白敛散方：

白敛 三两 天雄 三两，炮裂，去皮脐 商陆 一两 黄芩 二两 乾姜 二两，炮裂，锉 踯躅花 一两，酒拌，炒令乾

右件药捣罗为细散，每于食前，以温酒调下二钱。

又方：

附子 二两，去皮脐 神巧万全方炮 凌霄花 一两 川乌头 二两，去皮脐 万全方炮 防风 二两，去芦头 露蜂房 一两 踯躅花 一两

右件药细锉，以猪脂三斤，煎炼看药黄焦，去滓，候冷，于瓷合中盛，用摩风癩上，以差为度。

又方：

黑油麻 二升，九蒸九晒，去皮 桃仁 五两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 生乾地黄 五两

右件药捣细罗为散，每服以蜜水调下三钱，日再服。

治白癫风如雪色方：

硫黄 一两半 香墨 一两半

右件药，同研如粉，以生布揩癩上微伤，用醋和如膏涂之作疮，未瘥，更涂之。

又方：

附子 二两，去皮脐，生用 天雄 二两，去皮脐，生用 川乌头 二两，去皮脐，生用

右件药，细锉，以猪脂二斤，煎令附子色焦黄，去滓，候冷，于瓷合中盛，用摩风癩上，以差为度。

治白癫风方：

鸡子 两枚，和壳，以米醋一斗，浸经七日，看壳软，即取出鸡子白，用调后药 硫黄 半两，细研 附子 一枚，去皮脐，生用

右件药捣罗令细，用米粉一分，更相和，研令匀细，用鸡子白调涂之。

治白癫风方：

红灰藓 五斤 茄子根茎 三斤 苍耳根茎 五斤 右件药，并晒乾一处，烧灰，以水一斗，煎汤淋取汁，却于铛内煎成膏，以瓷合盛，别用好通明乳香半两，生研，又入铅霜一分 膩粉一分相和，入于膏内，别用炼成黄牛脂二两，入膏内调搅令匀，每取涂摩所患处，日三用之。

治白癫风，胡桃涂方

初生青胡桃 五颗 硫黄 半两，细研 白矾 一分，细研

右件药，都研为膏，日三两上涂之，差。

又方：

楸木白皮 五斤

右细锉，以水五斗，煎取五升，滤去滓，却于慢火上再煎如稠^②膏，用不津器收，每取膏摩于所患处，日二三上，效。

又方：

驴尿 生姜汁

右件药，等分相和，洗拭所患处。

又方：

桑柴灰 二斗

右于大甑内，蒸使气溜，取釜中汤淋汁，热洗不过五六度差。

治紫癫风诸方

夫紫癫风者，由皮肤生紫点，搔之皮起，而不痒痛者是也。此皆风湿邪气客于腠理，与气血相搏，致卫荣否涩，风冷在于肌肉之间，故令色紫也。

治紫癫风，白花蛇散方：

白花蛇 二两，酒浸，去皮骨，炙令微黄 麻黄 半两，去根节 天麻 半两 何首乌 半两 天南星 半两，炮裂 白附子 半两，炮裂 桂心 半两 草薢 半两，锉 白鲜皮 半两 羌活 半两 蔓荆子 半两 白僵蚕 半两，微炒

① 温：太平圣惠方此下有“酒”字。

② 稠：太平圣惠方作“糊”。

晚蚕蛾一分 防风半两，去芦头 乌犀角屑半两 磁石一两，烧醋淬七遍，捣碎，细研，水飞过

右件药捣细罗为散，研入磁石令匀，每于食前，以温酒调下二钱。忌热面、鸡、猪、鱼、蒜等。

治紫癜风，经效醋石榴丸方：

酸石榴七颗，去皮，置于一瓷盆子内盛，随炊饭甑上，蒸之令烂，即绞取汁 冬消梨二十颗，去皮核，研绞取汁 羌活一两 犀角屑半两 防风一两，去芦头 乾薄荷叶一两 蔚子^①半两 白附子半两，炮裂 苦参半两，锉 人参一两，去芦头 乌啄半两，炮裂，去皮脐

右件药，除汁外，捣罗为末，取前二味，煎如膏，和丸如梧桐子大，每服不计时候，以温酒下二十丸。

治紫癜风，去根源，代赭丸方：

代赭一两 铁粉一两，细研 金箔四十片，细研 朱砂半两，细研 当归半两 香墨半两 白矾一两，生用

右件药捣研令匀细，以水浸蒸饼和丸，如绿豆大，每服不计时候，用温蜜酒下二十丸，以蜜汤下之亦得。

治紫癜风方：

灰藿草不计多少，烧作灰，用重纸衬，水淋取汁，熬成膏 雄黄三钱^② 朱砂三钱 膩粉一钱 麝香半两^③ 虾蟆灰半两 硫黄半两 白矾灰半两

右件药，都研令匀细，以灰藿膏调涂所患处，乾即更涂之。

治紫癜风，硫黄膏方：

硫黄一两，细研 雄黄三分，细研 白矾一两，细研 硃砂半两 白附子半两 附子三分，去皮脐 蛇蛻皮一条

右件药捣罗为末，入研了药令匀，用油四两，黄蜡二两，先煎油三五沸，下蜡，后入药末，调煎成膏，每取涂摩所患处，日三度用之。神巧万全方同。

又方：

雄黄三分 硫黄三分 白矾一两

右件药，都研如粉，以猪脂调令匀，每取涂于患处，日三度用之。 卫生十全方

治紫癜风，雄黄不拘多少，用马齿苋捣取汁调傅，即差。

治紫癜风桑枝煎方：

桑枝十斤，锉 益母草三斤，锉

右件药，以水五斗，慢火煮至五升，滤去滓，入小铛内，熬为膏，每夜卧时，用温酒调服半合。

治紫癜风方：

硫黄二两，细研

右先以粗布，揩患处令伤，用面脂调硫黄末如膏，日三度，涂之。

治痲风诸方

夫风邪积热，居于肺腑，久而不散，流溢皮肤，令人颈边胸前腋下，自然斑驳，点点相连，色微白而圆，亦有紫色者，亦无痛痒，谓之痲风也。此皆风之与热，伏留肌腠之间，气血不和，乃生斯疾也。

治痲风，斑驳如白癍，乌蛇散方：

乌蛇三两，酒浸去皮骨，炙微黄 秦艽一两，去苗 芎藭一两 桂心一两 防风二两，去芦头 人参一两，去芦头 梔子仁一两 白鲜皮一两 丹参一两 沙参一两，去芦头 玄参一两 苦参二两，锉 川升麻一两 犀角屑一两 通草一两，锉 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 黄芩一两 白蒺藜一两，微炒，去刺 羌活二两

右件药捣细罗为散，每于食后良久，以温酒调下二钱。忌鸡、猪、鱼、蒜、热面等。

又方：

附子半两，去皮脐 硫黄半两，细研 苍耳一握，阴乾

右件药捣，同研为细散，用米醋调，先以布揩其上赤，即以药涂之，乾即更涂。

治身体痲风斑驳，女萎膏方：

女萎半两 附子半两，去皮脐 鸡舌香半两 木香半两 麝香一钱，别研 白芷半两

① 蔚子：太平圣惠方作“羌蔚子”。

② 三钱：太平圣惠方作“一两”。

③ 半两：太平圣惠方作“一钱”。

右件药，细锉，以腊月猪膏半斤，煎药看黄焦，便去滓，内入麝香，搅令匀，放凝，先以物磨痂疮上小伤，便博之。

治痂疮，蜀水花膏方：

蜀水花一两 白附子一两 白敛一两 当归一两 麝香一分，别研

右件药细锉和匀，以猪脂一斤，合煎诸药焦黄去滓，候冷，入麝香搅令匀，于瓷合中盛，用摩痂疮，以差为度。

治面及项忽生白○如白癣，名之痂疮，炊帚散方：

故炊帚半两 甑带半两 履底半两 蛇蜕皮半两

右件药四味，以月蚀夜，伺候正蚀时，都烧之成灰，研令细，每服，不计时候，以温酒调服二钱，仍以醋调药如膏，以涂傅驳上，即消。

又方：

硫黄三两，细研 附子一两，去皮脐 铁精一两，细研

右件药捣，同研为散，以三年米醋和，内瓷合中盛，密封七日，先以醋泔洗净，上拭乾涂之，三两日慎风。

治身痂疮风，斑驳方：

蒴藋二斤 木防己半斤

右件药并烧灰，以水淋取酽汁，洗痂疮讫后，别用醋研木防己涂之，即愈。

又方：

硫黄半两 臭黄一分

右都细研令匀，以生姜汁调涂，日三二度用之。

治痂疮风，苍耳丸方：

苍耳叶 不计多少，阴干

右件药捣罗为末，用五两，取粟米二合煮作粥，即研粥如膏，即用菰苳子，淘去浮者，炒令黄黑色，捣细罗为末，用一两，都相和令匀，丸如绿豆大，每日空心温酒下二十丸，晚食前再服。

又方：

羊蹄草根

右件药于生铁上酽醋磨，旋旋刮取，涂于患上，未差，更入硫黄少许，同磨涂之。

肘后方同。

又方：

青胡桃皮三箇 硫黄一分，细研

右件药，烂捣研之，入少许酱汁，调令相入，先以泔清洗之，然后涂于患上。

治痂疮风方：

乌蛇一条，酒浸去皮骨，炙微黄

右捣细罗为散，每服，以热豆淋酒调下二钱，日三服。

又方：五月收赤足蜈蚣，烧灰，醋调涂之。

又方：用自死蜚螂，捣为末，先以布揩痂上，热傅之，一宿差。

治风白驳诸方：

夫白驳者，是肺风流注皮肤之间，久而不去之所致也。多生于项面，点点斑白，但无疮及不瘙痒，不能早疗，即便浸淫也。

治面上白驳方：

帛帛一两 蝉头一两 苕帚一两 甑带一两 脯腊一两 故麻鞋底一两 蛇蜕皮一两

右件药，以月蚀之夜，盛蚀时，合烧细研为散，每服，以温酒调下一钱，日三服。更用醋调此散，涂之亦妙。忌鸡、鱼、猪肉、大蒜等。

治白驳方：

硫黄一两，研入 蛇蜕皮一条，烧灰 草决明一两② 半夏一两，生用 槲树皮一两，烧灰

右件药捣罗为细散，以清漆和之，薄涂白处，欲涂药时，先以巴豆中截摩白处，令皮微起，然后傅药，二三遍即愈。

又方：

雄黄一两 硫黄一两 附子一两，去皮脐，生用

右件药，捣罗为细散，研如面，醋调涂

① 腊：太平圣惠方作“醋”。

② 两：太平圣惠方此下有“生用”二字。

之。

又方：

川乌头一两，去皮脐 硫黄一两，研入
右件药捣罗为细散，以醋调涂之。

又方：

雌黄一分 硫黄一分 蛇蛻皮灰二条

右件药，同研令细，用醋调如膏，先以巴豆中截，磨白处，令皮起，然后傅药，三两遍即差。

又方： 取树孔中水，温热洗之，然后捣桂心^①、牡蛎等分为末，以面脂调傅白驳上，日二^②夜一，效。

又方： 先以新布揩令赤，用醋摩巴豆，涂之效。

又方： 用桂心捣罗为末，以唾调涂于驳上，日再涂即愈。

又方： 用蛇蛻皮烧灰，以醋涂调上，甚佳。肘后方同。

治一切风通用丸药诸方

灵宝丹方：

夫人之生，禀于五行，皆为五味之所伤也。爰自饮乳至于老年，莫不因风而损命，或食而伤饱，或不食而太饥，或饮啜太多，或乾渴乏水，或食酸咸，或茹辛辣，或冒热冲风，或大寒近火，或庭前看月，或树下承^③凉，或刺损肌肤，或扑伤肢体，或餐躁^④药，或饮甘泉，或久失节宣^⑤，或恒多恣纵，因此风趋百窍，毒聚一肢，遂使手足不仁，言语蹇涩，或痛连骨髓，或痹衰皮肤，铁^⑥痒如虫行，顽痹如铁石，或多痰好睡，或健忘多瞋，血脉不行，肉色乾瘦，或久在床枕，起便须人，语涩面虚，唯生不健，或偶萦疾苦，卒暴而终。男子则气引其风，女子则风随其血，未有不因风而损命，世人不能体会，但以药攻其内，安有风在五藏六府，四肢百脉，而汤散之类，曷能去之？假令相医，而用药乖误，虽有难经素问，三世十全，欲去沉痾，要其必应，弗可得也。夫以养药制烧药，烧

药制煮药，煮药制生药，生药制养药，其药通牙^⑦相制，通牙^⑧相使，君臣既具，父子固全，遂得阴阳，各获其叙。又阳药制阴以引其阴，阴药制阳，以引其阳。此药虽不能龙飞羽化而致神仙，得之服十豆许，寿限之内，永无疾苦。如患风疾，及扑伤肢节，十年五岁，运动不得者，但依法服之，十粒便效，重者不过三十粒。有人卒中恶暴亡者，但心头未冷，取药五粒，以醋调摩脐中，一千余遍，当从脐四面渐暖，待眼开后，以热醋研下十粒，入口即活，神验不可具载。凡病不问轻重，年月深浅，先以红雪通中散三钱，茶下，良久更以热茶投，令宣泻一两行，便依法煎姜豆汤和剂局方、御医要生薑黑豆汤。下三粒，当以他人热手，更摩所患处，良久局方更奥。热彻，当觉肉内有物，如火至病所。一二百日及一年内风疾，下床不得者，一服三粒，十服后便可行步。如患至重者，每一利后，隔日服五粒，又住三五日，即更利，服不过三十粒，^⑨要作日。平复如本。若打扑损多年，天阴即疼痛，动不得者，大验，只可五七服。服此药多者，疾去后，药力恒在，此药神验，功^⑨非人智能测也。具方如后：

光明砂一两半，打如皂荚子大，绢袋子盛，以升麦灰汁煮三复时，取出，研如粉 撮要四两半 硫黄一两，打如皂子大，绢袋子盛，以无灰酒煮三复时，取出研如粉 雄黄一两，打如皂荚子大，绢袋子盛，以米醋煮三复时，取出研如粉 自然铜一两，先捣碎，细研如粉，^⑩撮要用炭火烧，醋淬七遍，水飞为末，焙。各三两

已上四味，用一有盖瓷瓶子，先以金箔三片，^⑪撮要九片。铺于瓶子底上，便入硫黄，又以金箔两片^⑫撮要六片。盖之，次入雄黄，又以金箔两片^⑬撮要六片。盖之，次入朱砂，又以金箔两

① 桂心：太平圣惠方作“细辛”。

② 二：太平圣惠方作“三”。

③ 承：太平圣惠方作“乘”。

④ 躁：太平圣惠方作“燥”。

⑤ 宣：太平圣惠方作“宜”。

⑥ 铁：太平圣惠方作“瘰”。

⑦ 牙：太平圣惠方作“互”。

⑧ 牙：太平圣惠方作“互”。

⑨ 功：太平圣惠方作“切”。

片 撮要六片。盖之，次入自然铜，又以金箔三片 撮要九片。盖之，以瓶子盖合却，不用固济，于灰池内坐瓶子令稳，以火养三日三夜。第一日用熟炭火半斤，撮要一斤半。围瓶子，去瓶子三寸；第二日用熟火十两，撮要三十两。去瓶子二寸半；第三日用火一斤，撮要三斤。去瓶子二寸，以火尽为度，候冷，取药出瓶子，以纸三重裹药，于净湿土中培至来旦取出，更研令细。

磁石¹ 烧，以醋淬二十遍，捣罗，细研如粉 阳起石 研如粉 长理石 细研如粉 撮要研末飞水² 紫石英 细研如粉

已上四味，各二^③分，局方三分，撮要二两一分。用一有盖瓷瓶子，先入磁石，次入阳起石，次入长理石，次入紫石英，其所入金箔，一依前法，以盖子合之，其口不固济，用火养三日三夜，第一日，用熟炭火一斤，撮要三斤。去瓶子三寸，第二日用火三斤，局方半秤，撮要九斤。去瓶子二寸，局方、撮要二寸半。第三日用火半秤 撮要一秤半。去瓶子二寸，局方一寸。一日至夜，任火自消，候冷，取出药，用纸裹，入湿土中培，至来旦取出，更研令极细。

牛黄 龙脑 麝香 胆肭脐 酒刷、微炙 龙齿 虎胫骨 涂酒、炙令黄

已上六味，各一两，撮要各三两。捣罗为末，更细研如粉。

钟乳 十两，以绢袋子盛，先以长流水煮半日，后弃其水，别用水五斗，煎取一斗，煮后草药，留钟乳水三合，摩生犀角三分 撮要三十两，以绢袋盛，先以长流水煮半日，后并其水，别用水一石五斗，煎三斗，煮后草药，留钟乳水九合，磨生犀二两一分 远志 去心 巴戟 苦参 乌蛇 酒浸，去皮骨，微炙 仙灵脾 天麻 已上各一两一分 撮要各三两三分

已上六味捣粗罗为散，以前钟乳水一斗，煎至七升，撮要钟乳水三斗煎至二斗七升。用生绢滤去滓，澄清。

木香 肉豆蔻 去壳 撮要仁 鹿茸 去毛，涂酥，炙微黄 桂心 已上各一两半 局方肉桂去粗皮 撮要各四两半 延胡索 木胡桐泪 已上各三分 撮要各二两一分

已上六味捣粗罗为末，以前钟乳汁七升，

煎至四升，撮要钟乳水二斗七升，煎至一斗二升。以生绢滤去滓，澄清。

半夏 汤洗七遍，去滑 当归 已上各一两 局方去苗，撮要各三两

已上二味捣粗罗粗为散，以前钟乳汁四升，煎至三升，撮要钟乳水一斗二升，煎至九升。以生绢滤去滓，澄清。

皂荚子仁一两半，捣罗，研如粉 撮要四两半 川芒消 一两，细研 局方无、撮要三两 生地黄汁 一升 无灰酒 一升 童子小便⁴ 一升。撮要各三升

右件地黄汁等，合前药汁，都计六升，撮要共一斗八升。内银锅中，于静室内，以文火局方文武慢火。养至一升，撮要文武火养至三升。下金石药末在内，以柳木篦搅，勿令住手，看稀稠得所，去火，然后入牛黄等六味，搅令极匀，即下皂荚仁末，及磨了犀角水，以绵滤过，入在药内，然⁵局方、撮要然后。于⁶钵内，以乳锤令力士研三五千下。缘此药极粘如胶，须用力研之，研讫，分为三分，内一分，入上件芒消，局方一两。别更研令匀，并丸如绿豆大。其药有三名，一名归命丹，一名返魂丹，入芒消者，名破棺丹。如有中一切风，牙关紧急，及尸厥暴亡者，以热醋研三两丸，灌在口中，下得咽喉即活，如要常服即空心，以温酒下二丸。

治一切风，大黑神丸方：

曾青 一两 硫黄 一两 水银 一两，与硫黄结为砂子 朱砂 一两 雄黄 一两 白石英 一两 紫石英 一两 白矾 一两 黄丹 一两半 金箔 五十片 银箔 五十片 消石 一两 定粉 一两 太阴玄精 一两

已上药，都研令细，入于固济了瓶子中，其瓶子上开一小窍子，用出阴气，初以小火养二日，候阴气出尽，以盐泥塞窍，便以大火，断⁷令通赤，候冷，以湿砂土培瓶子一复时，出火毒毕，取出药，更研如粉。

1 烧：太平圣惠方无此字。

2 飞水：按文义应作“水飞”

3 二：太平圣惠方作“三”。

4 便：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

5 然：太平圣惠方此下有“后”字。

6 于：太平圣惠方此下有“乳”字。

7 断：太平圣惠方作“渐”。

白龙脑一两 麝香一两 牛黄一两半 膩粉一两
天竹黄一两 真珠末半两 琥珀半两

已上都细研，与诸药临时合和。

鹿胎一两半 乌蛇二两半，去皮骨 狸骨一两
虎胫骨一两半 甘草一两 败龟一两

已上并涂酥炙，捣罗为末。

天南星一两，炮裂 白附子一两，炮裂 天麻一两
麻黄一两半，去根节 乾蝎一两，微炒 蝉壳一两
桂心一两 木香一两 槟榔一两 独活一两 细辛
一两 白术一两 附子一两，炮裂，去皮脐 白僵蚕一
两，微炒 犀角屑一两半 羚羊角一两半

右件药捣罗为末，与诸药同研令匀，炼蜜和捣一二千杵，丸如酸枣大，每服，以豆淋酒研下一丸。忌一切毒滑鱼肉、动风物。

治一切风，神效黑神丸方：

雄黄 硫黄 水银与硫黄结为砂子^① 朱砂
金星礬石 太阴玄精 白石英 紫石英 悉
蔺脂 阳起石 曾青 定粉 黄丹 消石^②
已上各一两

已上药，都细研，入固济了瓶子内，盖上钻一窍子，盖口以六一泥，固济令蜜^③，先以文火养一复时，令出阴气尽，以泥塞窍，后以大火烧令通赤，待冷，用湿土培瓶子一日，出火毒毕，取出细研，入后药：

乌蛇肉二两，酒浸，炙微黄 天麻二两 天南星
一两，炮裂 麻黄二两，去根节 犀角屑一两 桂心一
两 白附子一两，炮裂 乾蝎二两，微^④□ 牛黄一两，
细研 麝香半两，细研 白龙脑半两，细研

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣五七百杵，丸如樱桃大，每服以豆淋酒下一丸。忌猪、鸡、毒滑、动风物。

治一切风，无不神效，大通丸方：

雄黄二两 雌黄二两 蜜陀僧二^⑤两 紫石
英二两 朱砂三两 黄丹五两 定粉一两 曾青二
两 铅霜一两 水银二两 金箔五十片 银箔五十片
生金屑一两 生银屑一两 磁石一两 滑石半两
绿矾半两 白矾一^⑥两 硫黄一两，并水银结为砂子

已上药，都细研，入一固济了瓶子中，瓶盖上钻一小窍子，用出阴气，初以火半斤，

去瓶子三寸，养三日，便以盐泥塞其上窍子，以火五斤，烧令通赤，便去火放冷，于净地上铺纸三重，将药末匀摊在上，以盆盖之，四畔，以土拥闭，经三复时，出火毒毕，研令极细，入后药末：

猪牙皂角三分，去黑皮，涂酥，炙令微焦，去子 伏
龙肝半两 香墨一两 丁香半两 槟榔半两 木香
一两 白僵蚕一两，微炒 蝉壳半两 乾蝎一两，微炒
白花蛇二两，酒浸炙，微黄 蛇蜕皮半两，炙微黄 龙
脑半两，细研 麝香半两，细研

右件药捣罗为末，入龙脑、麝香，并前石药，都研令匀，以面糊和捣五七百杵，丸如栋实大，每服，以薄荷酒研下一丸。忌生血物。

治一切风，黑星丹方：

曾青 杨梅青 胡椒青 桃花石 紫石
英 白石英已上各半两 硫黄 雄黄 光明砂
黄丹 定粉 水银已上各一两 生金屑一分 山
泽银屑一分 真珠末一分

已上药，捣罗入水银，都研令细，内瓶子中，密盖头，以盐泥固济，极乾，以慢火养一七日后，用大火断^⑦之，候冷取出，用甘草水泼地，以纸衬药，摊于地上，以盆合之，一复时后细研。

龙脑 牛黄 铅霜 麝香已上各一两 光明
砂 雄黄 犀角屑已上各一分

右件药，都一处细研，以面糊和丸，如皂荚子大，每服，以热酒下一丸。忌毒滑鱼肉、动风物。

治一切风，拒^⑧圣大通丸方：

硫黄 水银与硫黄结为砂子 自然铜 雄黄
朱砂 铅霜 定粉 黄丹 消石已上各一两

已上药，都细研，入瓷瓶内，以纸筋盐泥固济，盖上钻一窍子。四边泥令合，候极乾，用炭火三斤，渐渐逼出阴气令尽，以泥

① 子：太平圣惠方此下有“研”字。

② 消：太平圣惠方作“滑”。

③ 蜜：太平圣惠方作“密”。

④ 微：此下脱字，太平圣惠方作“炒”。

⑤ 二：太平圣惠方作“一”。

⑥ 一：太平圣惠方作“二”。

⑦ 断：太平圣惠方作“烧”。

⑧ 拒：太平圣惠方作“抵”。

塞窍子令密，用炭火一十斤已来，断^①令通赤，待稍冷，便以湿砂土三二斗，罨盖瓶子，勿令透气，一复时取出，向好纸上于湿地摊，以盆盖一宿，出火毒，研令极细。

天麻二两 白僵蚕二两，微炒 羌活二两 桂心一两 犀角屑一两 阿胶一两，捣碎，炒令黄燥 芎藭二两 白附子二两，炮裂 天南星二两，炮裂 附子二两，炮裂，去皮脐 乾蝎一两，炮^②炒 麻黄一两，去根节 川乌头一两，去皮脐，锤碎，以酒拌炒令黄 白龙脑半两 麝香半两 牛黄半两

右件药捣罗为末，入前药末，及龙脑等，都研令匀细，炼蜜和捣五七百杵，丸如鸡头实大，每服以温豆淋酒研下一丸。忌猪都^③、毒鱼、粘滑、动风物。

治风，黑神丸，不计急慢，并主之方：

硫黄半两，细研 朱砂半两，细研 水银半两 雄黄半两，细研

已上四味，先用硫黄、雄黄，于铤子内销^④作汁，次下水银、朱砂，便搅，结为砂子，后用一瓷合子，盖上钻一孔子，似黄米大，即安砂子在内，便用盐泥固济，只留孔子，放乾，先用火半斤，去合子四面，四寸已来，至一食间，即八面加火，放黑气出尽，便用湿纸片子，搭合上孔子，才乾则换，至三十片为度，其药已成，候冷细研，入后药：

麻黄一两，去根节 天麻半两 白附子一分，炮裂 乌蛇三分，酒浸，去皮骨，炙微黄 白僵蚕一分，微炒 桂心一分 乾蝎一分，微炒 天南星一分，炮裂 天雄一分，炮裂，去皮脐 独活一分 川乌头一分，炮裂，去皮脐 麝香一分，细研

右件药捣罗为末，每石药一两管草药二两，相和令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如豇豆大，每服，以豆淋酒嚼破下三丸。忌动风物。

治一切风，走马丹法：

朱砂一两 雄黄一两 硫黄一两 水银一两

已上四味，同研极细，墨染纸裹，用线系定，取巴豆一斤，和皮都捣粘烂，以瓷合内巴豆一半铺底，入前四味药在巴豆中心，

上又以巴豆盖之，如法固济，候乾，入炉中，用半秤火断^⑤，候火尽取出，并巴豆灰与四味药，同研极细，更入后药：

木香一分 天麻一分 犀角屑一分 白附子一分，炮裂 天南星一分，炮裂 丁香一分 肉桂一分，去皱皮 麝香一分，细研 龙脑一分，细研 白花蛇三分，酒浸，去皮骨，炙微黄 白僵蚕一分，微炒 乾蝎一分，微炒 附子一分，炮裂，去皮脐 藿香一分

右件药捣罗为末，与前药同研令匀，用汤浸蒸饼和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每日空心，以温酒下十丸，当取下如鱼油恶物一两碗，便是风之根本，忌动风物。

治一切风，龙脑丸方：

龙脑三分，细研 麝香半两，细研 真珠一分，细研 琥珀一分，细研 牛黄半两，细研 雄黄半两，细研 犀角屑三分 人参三分，去芦头 白茯苓一分 羌活三分 白花蛇肉一两半，酒浸，炙令微黄 腻粉一分 白附子半两，炮裂 独活半两 晚蚕蛾三分，微炒 附子半两，炮裂，去皮脐 蔓荆子半两 防风三分，去芦头 乌蛇肉一两，酒浸，炙微黄 麻黄半两，去根节 白僵蚕半两，微炒 乾蝎一两，微炒 天麻一两半 芎藭一分 槟榔一分 白蒺藜半两^⑥，微炒，去刺 半夏一分，汤洗七遍，去滑 零陵香半两 藿香一分 丁香三分^⑦ 朱砂一分，细研 乳香半两，细研 羚羊角屑半两 沉香半两 木香半两

右件药捣罗为末，与研了药，都研令匀，炼蜜和，捣一二千杵，丸如绿豆大，每服以温酒下五丸，薄荷汤下亦得。忌猪、鸡肉、毒滑、动风物。

治一切风，雄朱丹方：

雄黄一分，细研 朱砂一两半，细研，水飞过 天麻一两 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 肉桂一两半，去皱皮 乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 芎藭 蔓荆子 白僵蚕 微炒 牛膝去苗 草薢性 羚羊角屑

① 断：太平圣惠方作“烧”。

② 炮：太平圣惠方作“微”。

③ 都：太平圣惠方作“鸡”。

④ 销：太平圣惠方作“消”。

⑤ 断：太平圣惠方作“煨”。

⑥ 两：太平圣惠方作“分”。

⑦ 分：太平圣惠方作“两”。

白附子炮裂 槟榔 天南星炮裂 当归 藿香
甘菊花已上各半两 地龙微妙 乾姜炮裂，锉 羌活
独活 人参去芦头 麻黄去根节 天雄炮裂，去皮脐
踯躅酒拌，炒乾 防风去芦头 汉防己 白芷 白
茯苓 藁本 乾蝎微妙 蝉壳 牛蒡子微妙 龙
脑细研 麝香细研，已上各一分

右件药，捣罗为末，入研了药，同研令
匀，炼蜜和捣一二千杵，丸如樱桃大，以朱
砂末内衮过，合时不得令妇人、孝子、猫、
犬等见，每服以薄荷酒研下一丸。忌生冷、
猪、鸡、毒鱼、粘滑、动风物。

治一切风，太一丹方：

川乌头生用，去皮脐 乾蝎微妙 白僵蚕①
天麻 天南星生用 羌活 踯躅 朱砂细研 乳
香已上各一两 白附子半两，生用 附子去皮脐，生用
牛黄细研 雄黄细研，已上各半两 安息香一两半 麝
香②□分，细研 白花蛇肉③两半，酒浸，炙微黄 龙脑半
分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，别
以麻黄五两，去根节，捣碎，以酒五升，煎
至二升，去滓，入糯米一两，更熬成膏，次
下诸药末，和捣三五百杵，丸如绿豆大，以
腻粉内衮过，令乾，每服以温酒下七丸，忌
动风物。

治一切风通用，神效牛黄丸方：

牛黄半两，细研 龙脑半两 朱砂一两，细研，水
飞过 金箔一百二十片，细研 银箔一百二十片，细研 麝
香半两，细研 天麻二两 羌活一两 蔓荆子一两
仙灵脾一两 独活一两 白僵蚕一两，微妙 乌蛇
二两半，酒浸，去皮骨，炙微黄 麻黄一两，去根节 桂心
一两 乾蝎半两，微妙 白附子一两，炮裂 天南星
一两，炮裂 羚羊角屑一两 防风一两，去芦头 芎蒭
一两 人参一两，去芦头 当归一两 阿胶一两，捣碎，
炒令黄燥 白芷一两 细辛一两 附子一两，炮裂，去
皮脐 犀角屑一两 白茯苓一两 蝉壳三分

右件药捣罗为末，入研了药，令匀，炼
蜜和捣一二千杵，丸如鸡头实大，每服以温
酒嚼下一丸。

治一切风，香汗丸方：

牛黄细研 麝香细研 朱砂细研 龙脑细研
乾蝎微妙 鹿角胶捣碎，炒令黄燥 白僵蚕微妙，已上
各一分 白花蛇肉涂酥，炙微黄 白附子炮裂 白蒺
藜微妙，去刺 天麻 赤茯苓 白芷 羌活 独
活 蔓荆子 麻黄去根节 汉防己 木香 乌
蛇肉涂酥，炙微黄 槟榔 藁本 防风去芦头 芎
蒭 当归已上各一两

右件药捣罗为末，入研了药，更研令匀，
炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服，
以温酒嚼下三丸。服经一月，汗出皆香，经
一百日，洗面水自香，凡有风气，随汗而出，
如是中风者，薄荷酒研下五丸，合时，不得
令女人、孝子、猫、犬等见。

治一切风，乌犀丸方：

乌犀角屑半两 天麻一两 桂心一两 防风
一两，去芦头 羌活半两 附子一两，炮裂，去皮脐 人参
一两，去芦头 海桐皮一两 当归一两 芎蒭一两
乾蝎半两，微妙 羚羊角屑一两 草薢一两，锉 藁
本半两 蔓荆子半两 麻黄一两，去根节 白附子半
两，炮裂 白僵蚕一两，微妙 龙脑一分，细研 麝香一
分，细研

右件药捣罗为末，入龙脑、麝香等，研
令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如樱桃大，每
服一丸，嚼破，以薄荷酒下。

治一切风，及肢节走痛不可忍者，神效
麝香丸方：

麝香半两，细研 朱砂一两，细研，水飞过 牛黄
半两，细研 天麻一两 羌活一两 芎蒭一两 独活
半两 防风一两，去芦头 乾蝎一两，微妙 白僵蚕
一两，微妙 甘菊花一两 天南星三分，炮裂 败龟④
三分，涂酥，炙微黄 白花蛇三分，酒浸，去皮骨，炙微黄 桂
心三分 附子三分，炮裂，去皮脐 木香三分 蔓荆子
一两 人参三分，去芦头 地龙一两，微妙 海桐皮三
分，锉 乾姜半两，炮裂，锉 当归三分，锉，微妙 虎
胫骨三分，涂酥，炙令微黄

① 蚕：太平圣惠方此下注有“生用”二字。

② 香：此下注文脱字。太平圣惠方作“一”。

③ 一：太平圣惠方作“二”。

④ 三：太平圣惠方作“二”。

右件药捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，丸如小弹子大，每服以暖酒或薄荷姜汤，研下一丸，忌生冷、毒滑物、鸡猪肉。

治一切风，天麻丸方：

天麻二两 芎藭一两 羌活一两 桂心一两 附子一两，炮裂，去皮脐 藁本一两，去苗 防风一两，去芦头 细辛一两 乾蝎半两，微炒 白附子半两，炮裂 犀角屑半两 牛黄一分，细研 雄黄半两，细研 麝香一分，细研 朱砂一两，细研，水飞过 龙脑一分，细研

右件药捣罗为末，入研了药，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服，以温酒或薄荷汤，嚼下十丸。如卒中风不语，口噤不识人，迷闷者，研化服之。

治一切风，白花蛇丸方：

白花蛇肉三两，酒浸，炙微黄 晚蚕蛾微炒 天南星炮裂 白僵蚕微炒 当归 桂心 蕲藜 藁本 附子炮裂，去皮脐 白附子炮裂 天麻 羌活 芎藭 防风去芦头 麻黄去根节。已上各一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每于夜临卧时，以热酒服十丸，以衣被厚盖，勿令通风，知药力行，即须臾汗出，如无汗，即依前再服，以汗出为度，仍须避风为妙。

治一切风，龙脑丸方：

龙脑一分，细研 雄黄半两，细研 朱砂一分，细研 麝香一分，细研 阿胶一分，捣碎，炒令黄燥 丁香一分 天南星一分，炮裂 好墨半两 牛黄一分，细研 天竹黄一分，细研

右件药捣罗为末，都研令匀，取三月三日，以木蜜和丸，如豇豆大，每服以热酒，研一丸服之。

治一切风，雄黄丸方：

雄黄一分，细研 牛黄一分，细研 龙脑一分，细研 麝香半两，细研 白僵蚕一两，微炒 天南星一两，炮裂 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 天麻一两 白附子一两，炮裂 天雄一两，炮裂，去皮脐 乾蝎一两，微炒 半夏半两，汤洗七遍，去滑 蝉壳半两 独活一两 芎藭一两 腻粉半分 犀角屑半两 槐胶一两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，

丸如豇豆大，每服以温酒嚼下五粒。如心烦壅闷，惊风，即以荆芥薄荷汤下。忌动风物。

治一切风，玄英丹方：

雄黄一分，细研 牛黄一分，细研 龙脑半分，细研 白附子一两，生用 白花蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 天麻一两 白僵蚕一两，微炒 半夏半两，汤洗七遍，去滑 天南星一两，生用 天雄一两，去皮脐，生用 麝香半分，细研 独活一两 乾蝎一两，微炒 铅霜半两，细研 蝉壳一两^① 芎藭一两 腻粉一分 犀角屑一分 马牙消一两，烧令通赤，放冷，出火毒 硫黄半两 水银半两，并硫黄结为砂子，细研

右件药捣罗为末，都研令匀，炼蜜和捣三二百杵，丸如豇豆大，每服以薄荷酒研下七丸，日三四服。或中风四肢缓弱，宜于淋浴后服，厚盖出汗，避风。忌猪、鸡、毒滑、动风物。

治一切风，狐肝丸方：

狐肝一具 乌鸦一只，去嘴爪肚肠，晒乾，与狐肝一处，入瓶烧为灰 天南星半两，炮裂 天麻一两 藁香一两 白附子一两，炮裂 乌蛇二两，酒浸，去皮骨，炙微黄 桑螵蛸一两，微炒 乾蝎一两，微炒 白僵蚕一两，微炒 乌药一两 白蒺藜一两，微炒去刺 麝香半两，细研 朱砂半两，细研，水飞过 牛黄一分，细研 蝉壳半两

右件药捣罗为末，炼蜜和捣三五百杵，丸如绿豆大，每服以温酒下十丸。

治一切风，神效无比牛黄丸方：

半黄半两，细研 朱砂一两，细研，水飞过 麝香一分，细研 龙脑一分，细研 附子一两半，炮裂，去皮脐 羌活一两 白僵蚕一两半，微炒 白附子一两，炮裂 乾蝎一两，全者，微炒 芎藭一两 天南星一两，炮裂 当归一两 桂心一两 木香一两 天麻一两 防风一两，去芦头 槟榔一两 独活一两

右件药捣罗为末，入研了药，同研令匀，炼蜜和捣三五百杵，丸如樱桃大，每服以薄荷酒研下一丸，薄荷葱茶下亦得。御医撮要同。

① 丹：太平圣惠方作“丸”。

② 一：太平圣惠方作“一”。

③ 两：太平圣惠方作“分”。

治一切风，立效天南星丸方：

天南星一两，炮裂 白花蛇肉一两，酒浸，炙微黄
附子一两，炮裂，去皮脐 槟榔一两 肉桂一两半，去皱
皮 白附子半两，炮裂 独活一两 天麻一两 麻
黄一两，去根节 朱砂半两，细研 乾蝎一两，微炒 膩
粉半两

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子
大，每服以温酒下三丸，薄荷汤茶下亦得。
忌毒滑、鱼、肉、动风物。

治一切风，白丸子方：

附子半生，半炮，去皮脐 白附子半生，半炮 半夏
汤洗七遍，半生，半燥 天南星熟水洗，半生，半燥 天
麻 乾蝎生用 白花蛇肉酥拌，炒令黄 甘菊花
羌活 防风去芦头 芎藭 桂心 白僵蚕生用
白鲜皮 木香已上各半两 巴豆半两，去皮心研，纸裹
压去油，别研入 朱砂一分，细研 雄黄一分，细研 麝
香一分，细研

右件药捣罗为末，朱砂、雄黄、麝香等
研令匀，以糯米饭，和捣一二千杵，丸如梧
桐子大，用膩粉裹过，每服以暖酒下三丸。

又方：

天麻一两 乾蝎半两，生用 天南星半两，生用
附子半两，生用，去皮脐 芎藭三分 细辛半两 半夏
半两，生用 川乌头一分，生用，去皮脐 白附子半两，
生用 白僵蚕三分，生用 麝香一分，细研 麻黄半
两，去根节

右件药捣罗为末，以枣瓤和捣三五百杵，
丸如绿豆大，以膩粉裹过，令乾，每服以温
酒下三丸。

又方：

白附子一两，炮裂 白僵蚕一两，微炒 蝉壳半
两 乾蝎一两半，微炒 天麻一两 羌活一两 防风
一两，去芦头 侧子一两，炮裂，去皮脐 麻黄一两，去根
节

右件药捣罗为末，炼蜜和丸，如绿豆大，
以膩粉裹过，令乾，如中风不语重者，以暖
酒研下一十丸，当有汗出即差。如常服，即
空心温酒下五丸。

又方：

天麻 天南星炮裂 白附子炮裂 白花蛇
肉酒浸，炙微黄 附子炮裂，去皮脐 白僵蚕微炒，已上各
一两 膩粉一分 麝香一分

右件药罗为末，研入麝香、膩粉，炼蜜
和捣三二百杵，丸如梧桐子大，以胡粉裹过，
每服以温酒下三丸，忌毒滑物。

又方：

白附子一两，炮裂 天麻一两 雄雀粪一两
天南星酒拌，炒令黄 牛黄细研 麝香细研 乾蝎微炒
水银以少枣瓤，研令星尽，已上各一分

右件药捣罗为末，研入水银令匀，以枣
瓤和丸，如绿豆大，入膩粉中裹过，晒乾，
每服以温酒下三丸。

治一切风，大¹白丹方：

鹿角霜半两 瓷药七两，烧令通赤，候冷，捣罗细
研，水飞过 蛤粉七两 天南星三两，炮裂 白茯苓三两，
微炒，去刺 伊祁三两，微炒 麝香一两半，细研 川
乌头二两，生用，去皮脐 白花蛇肉²三两，酒浸，炙微
黄

右件药捣罗为末，入麝香，研令匀，以
面糊和捣五七百杵，丸如鸡头实大，每服以
豆淋酒研下一丸。

治一切风，龙脑丸方：

龙脑一分，细研 麝香一分，细研 朱砂半两，细
研 天南星一分，炮裂 白附子一分，炮裂 半夏一分，
汤洗七遍，去滑 甘草一分，炙微赤，锉 附子半两，炮裂，
去皮脐 川乌头一分，炮裂，去皮脐

右件药捣罗为末，以糯米粥和丸，如绿
豆大，每服以温酒下三丸

治一切风通用散药诸方

治一切风，大排风散方：

天麻³二两 羚羊角屑⁴三分 羌活一两
防风一两，去芦头 芎藭一两 甘菊花三分 山茱
萸三分 薯蓣三分 细辛三分 藁本三分 独活

1 大：太平圣惠方作“太”

2 白花蛇肉：太平圣惠方无此药。

3 二：太平圣惠方作“三”

4 二：太平圣惠方作“三”

两 秦艽 三分，去苗 麻黄 一两，去根节 枳壳 一两，麸炒微黄，去瓢 白蒺藜 一两，微炒，去刺 蔓荆子 三分 黄耆 三分，性 鹿角胶 三分，捣碎，炒令黄燥 酸枣仁 三分，微炒 丹参 半两 莽草 半两，微炙 地骨皮 半两 白鲜皮 半两 汉防己 三分 桂心 三分 附子 三分，炮裂，去皮脐 牛膝 三分，去苗 薏苡仁 三分 杜仲 半两，去皱皮，炙微黄，性 石南 半两 当归 二分 生乾地黄 三分 草薢 半两，性 侧子 三分，炮裂，去皮脐 苍耳苗 半两 乾姜 三分，炮裂，性 阿胶 三分，捣碎，炒令黄燥 犀角屑 三分 人参 三分，去芦头 白术 三分 川椒 三分，去目及闭口者，微炒去汗 白芷 三分 茵芋 三分 甘草 半两，炙微赤，性 杏仁 半两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药捣细罗为散，每服食前，以温酒调下二钱，生姜薄荷汤调服亦得。忌生冷、鸡猪肉。

治一切风，赤箭散方：

赤箭 一两 乌蛇肉 二两，酒浸，炙微黄 犀角屑 一两 藿香 一两 槟榔 一两 麻黄 一两，去根节 乾蝎 微炒 晚蚕蛾 微炒 蚕蚁 微炒 麝香 细研 龙脑 细研 朱砂 细研 牛黄 细研 芎藭 防风 去芦头 白术 人参 去芦头 茯神 当归 木香 牛膝 去苗 蔓荆子 白僵蚕 微炒 细辛 蝉壳 麝香 附子 炮裂，去皮脐 乾姜 炮裂，性 天南星 生用 桑螵蛸 微炒 白附子 生用。已上各半两

右件药捣细罗为散，入研了药，更研令匀，每服以薄荷酒调下一钱。忌生冷、猪、鸡肉。

治一切风，无问新久，服之皆效，大莽草散方：

莽草 一两半，微炙 木香 人参 去芦头 白术 半夏 汤洗七遍，去滑 草薢 性 仙灵脾 柏子仁 石斛 去根，性 牛膝 去苗 石龙芮 细辛 山茱萸 松脂 桂心 白附子 炮裂 乾蝎 微炒 杜仲 去皱皮，炙赤，性 赤芍药 防风 去芦头 芎藭 已上各三分 龙脑 细研 牛黄 细研 麝香 细研 雄黄 细研 铅霜 细研。已上各一分 天南星 炮裂 牛蒡子 微炒 羌活 巴戟 蝉壳 白僵蚕 微炒。已上各半两 附子 一两，炮裂，去皮脐 天麻 一两 麻黄 一两，去根节

乌蛇肉 一两，酒浸，炙微黄

右件药捣细罗为散，入研了药，同研令匀，每服以温酒调下一钱。忌生冷、猪鸡肉。治一切风，小莽草散方：

莽草 微炒 麻黄 去根节 天麻 各二两 草薢 性 防风 去芦头 芎藭 羌活 柏子仁 白术 细辛 松脂 炼过者 牛膝 去苗 山茱萸 泽泻 赤芍药 枳壳 麸炒微黄，去瓢 附子 炮裂，去皮脐 白附子 炮裂 天南星 炮裂 乾蝎 微炒 乌蛇肉 酒浸，炙微黄 当归 石龙芮 犀角屑 杜仲 去皱皮，炙微黄。已上各一两 白僵蚕 微炒，三分 半夏 半两，汤洗七遍，去滑 铅霜 三分，细研 牛黄 半两，细研 麝香 半两，细研 右件药捣细罗为散，入研了药，更研令匀，每服以温酒调下一钱。忌生冷、猪鸡、毒鱼等。

治一切风，羌活散方：

羌活 天麻 麻黄 去根节 香附子 人参 去芦头。已上各一两 胡麻子 细辛 藿香 牛膝 去苗 犀角屑 芎藭 桂心 当归 天雄 炮裂，去皮脐 蝉壳 白附子 炮裂 地龙 微炒 乌蛇肉 酒浸，炙微黄。已上各半两 晚蚕蛾 一分，微炒 乾蝎 一分，微炒 麝香 一分，细研

右件药捣细罗为散，研入麝香令匀，每服以温酒调下一钱，薄荷汤调服亦得。忌猪、鸡、毒鱼等。

治一切风，无问缓急，宜服天南星散方：

天南星 性，醃拌，炒微黄 白附子 炮裂 乾蝎 微炒 羌活 附子 炮裂，去皮脐 防风 去芦头 草薢 性 丹参 藁本 天麻 乌蛇肉 酒浸，炙微黄 桂心 威灵仙 牛膝 去苗。已上各一两 踯躅 半两，醋拌，炒令乾 川乌头 半两，去皮脐，性，酒拌，炒黄 犀角屑 半两 麻黄 二两，去根节 白僵蚕 半两，微炒 牛黄 一分，细研 麝香 一分，细研

右件药，捣细罗为散，入研了药，更研令匀，每服以豆淋酒调下一钱。

治一切风，藁本散方：

藁本 赤箭 羌活 独活 芎藭 防风 去芦头 肉桂 去皱皮 附子 炮裂，去皮脐 续断 五

① 二：太平圣惠方作“三”。

加皮 甘菊花 麻黄 去根节 赤芍药 细辛
乾蝎 微炒，已上各一两 当归 牛膝 去苗 枳壳 麸炒
微黄，去瓢 甘草 炙微赤，锉，已上各一两半

右件药捣细罗为散，每服以温酒调下一钱，薄荷汤调服亦得。忌生冷、猪鸡、毒鱼、动风物。

治一切风，龙脑散方：

龙脑 一分，细研 犀角屑 半两 羚羊角屑 半两
人参 一两，去芦头 防风 半两，去芦头 白芷 半两 独
活 一两 白僵蚕 半两，微炒 麻黄 一两，去根节 芎
劳 一两 天麻 一两 茯神 半两 桂心 一两 天门冬
一两，去心焙 牛膝 一两，去苗 藿香 半两 桑螵蛸 半
两，微炒 甘菊花 半两 白附子 半两，炮裂 乾蝎 半
两，微炒 牛黄 一分，细研 麝香 一分，细研 朱砂 半
两，细研

右件药捣细罗为散，入研了药，更研令匀，每服以温酒调下二钱。忌毒滑、动风物等。

治一切风，白花蛇散方：

白花蛇肉 二两，酒浸，炙微黄 白僵蚕 一两，微
炒 麝香 一分，细研 朱砂 一两，细研 羌活 二两 秦
艽 一两，去苗 附子 一两，炮裂，去皮脐 桂心 一两 牛
膝 一两，去苗 芎劳 一两 草薢 一两，锉 乾蝎 一两，微炒
防风 一两，去芦头

右件药捣细罗为散，入研了药，更研令匀，每服以暖酒调下一钱。忌生冷、鸡肉等。

治一切风，无问新久，秦艽散方：

秦艽 去苗 人参 去芦头 白术 当归 天雄
炮裂，去皮脐 附子 炮裂，去皮脐 川乌头 炮裂，去皮脐
乾姜 炮裂，锉 川椒 去目及闭口者，微炒去汗 防风 去芦
头 桂心 汉防己 草薢 锉 白敛 黄耆 锉
桔梗 去芦头 麻黄 去根节，已上各一两 山茱萸 细
辛 莽草 微炙 五味子 甘草 炙微赤，锉，已上各三分

右件药捣细罗为散，每服以温酒调下二钱。忌生冷、鸡猪肉。

治一切风通用煎药诸方

治一切风，暖藏腑，除风冷，天麻煎方：

天麻 二两，别捣罗为末 附子 炮裂，去皮脐 桂心
防风 去芦头 白附子 炮裂 独活 牛膝 去苗 石
斛 去根 鹿角胶 捣碎，炒令黄燥 补骨脂 微炒 草薢
锉 当归 芎劳 山茱萸 白蒺藜 微炒，去刺
海桐皮 锉 仙灵脾 巴戟 沉香 木香 已上各一
两 麝香 一分，细研

右件药捣罗为末，以无灰酒五升，入白蜜五合，同于银锅中，煎令减半，先下天麻末，煎良久，次下诸药末，以柳木篦搅，令稀稠得所，于瓷器中盛，每于食前，以温酒调下一茶匙。忌生冷、鸡猪、毒滑物。

治一切风，仙灵脾煎方：

仙灵脾 一斤，细锉，以酒七升，煮至三升²，滤去滓，
入后药末 附子 二两，炮裂，去皮脐 肉桂 二两，去皱皮
赤芍药 牛膝 去苗 鹿角胶 捣碎，炒 令微燥 草薢
锉 五加皮 酸枣仁 石斛 去根节 当归 木
香 乳香 已上各一两

右件药捣罗为末，于银锅中，入前煎在内，次入白蜜五合，下诸药末，用慢火熬，以柳木篦不住手搅，令稀稠得所，收于瓷器中盛。每食前以温酒调下一茶匙。忌猪、鸡。

治一切风，五枝煎方：

花桑枝 槐枝 桃枝 百灵藤枝 柳枝
已上各一斤，并细锉 黑豆 三升，净拣，水淘过，曝乾

已上药于釜中，用水三斗煮至一斗，滤去滓，却以慢火煎至五升，入后药：

附子 炮裂，去皮脐 肉桂 去皱皮 天麻 各二两 羌
活 狗脊 牛膝 去苗 仙灵脾 天蓼木子 芎
劳 当归 海桐皮 锉 藏灵仙 安息香 乳
香 槟榔 各一两

右件药捣罗为末，入前煎中，次入白蜜一升，以慢火熬，以木篦搅，不得住手，令稀稠得所，于瓷器中贮，每服以温酒调下一茶匙，空心及晚食前服。忌生冷、猪鸡、毒滑物。

治一切风，不以远近，服之皆效，百灵藤牛膝煎方：

1 二：太平圣惠方作“一”。

2 三：太平圣惠方作“二”。

百灵藤五斤，细锉，以水三斗，煎至一斗，滤去滓，更煎至五升。牛膝去苗 附子去皮脐 赤箭 仙灵脾 何首乌 鹿角胶 乳香 已上各二两

右件药捣细罗为末，入前煎中，别入白蜜五合同熬，以柳木篦搅令匀，如稀饧即止，收于瓷器中，每服，以温酒调下一茶匙，空心及晚食前服。忌毒滑物。

治一切风，天蓼木煎方：

天蓼木五斤，细锉，以水三斗，煎至一斗，滤去滓，却熬取五升。赤箭二两 独活 防风去芦头 芎藭 仙灵脾 牛膝去苗 天雄去皮脐 山茱萸 巴戟 藟藟 茵芋 海桐皮 桂心 沉香 已上各一两

右件药捣罗为末，入白蜜五合，相和于银锅中，慢火熬，以柳木篦搅，令稀稠得所，以瓷器盛，每服以温酒调下一茶匙，空心及晚食前服。

治一切风，石榴煎方：

酸石榴五枚，大者，于木杵臼中捣碎，入酒中煎。防风去芦头 羌活 芎藭 天麻 羚羊角屑 五加皮 仙灵脾 白附子 牛膝去苗 附子去皮脐 薏苡仁 天蓼木子 丹参 桂心 木香 已上各一两

已上一十六味捣罗为末

竹沥 梨汁 薄荷汁 牛蒡汁 白蜜 已上五味各五合

右件药，以无灰酒五升，先煎石榴至三升，滤去滓，次下诸药末，以柳木篦搅，次下竹沥、白蜜等五味，仍不住手搅，令稀稠得所，以瓷器盛，每服以温酒调下一茶匙，空心及晚食前服。忌生冷、猪鸡、毒鱼、粘滑、动风物。

治一切风，酸枣仁煎方：

酸枣仁五两，半生，半炒。藟藟 赤箭 羌活 海桐皮 仙灵脾 白蒺藜 石斛去根，锉 牛膝去苗 巴戟 附子去皮脐 当归 桂心 丹参 防风去芦头 芎藭 踯躅 骨碎补 羚羊角屑 木香 杜仲去粗皮，锉 狗脊 葳灵仙 已上各一两

右件药捣罗为末，以好酒五升，白蜜五

合，同于银锅中，以慢火熬，后下诸药末，用柳木篦不住手搅，令稀稠得所，入麝香末一钱令匀，于瓷器中盛，每服食前，以温酒调下一茶匙。

治一切风，花桑枝煎方：

花桑枝一斤，锉 海桐皮半斤 仙灵脾半斤 五加皮半斤 牛蒡根半斤

已上五味细锉，以水三斗煮至一斗，滤去滓，却入锅中，慢火熬至五升。

附子去皮脐 牛膝去苗 天麻 羌活 桂心 藟藟 羚羊角屑 虎胫骨涂酥，炙令黄 酸枣仁 当归 木香 乳香 槟榔 已上各一两

右件药捣罗为末，于前煎中，别入好酒二升，白蜜五合，同入银锅中，熬至三升，然下诸药末，以柳木篦搅令匀，看稀稠得所，即以瓷器盛，每服空心及晚食前，以温酒调下一茶匙。

治一切风，乌金煎方：

黑豆五升 桑树东南枝钱眼内穿得过者，三斤，锉 生姜半斤，切

已上三味，以水二斗，煮至一斗，滤去滓，于锅中，以慢火养至三升，入后药末。

牛膝去苗 赤箭 附子去皮脐 羌活 桂心 防风去芦头 木香 大麻仁 已上各二两

右件药捣罗为末，入前煎中，用慢火熬，以柳木篦搅令匀，看稀稠得所，于瓷器中盛，每服空心及晚食前，以温酒调下一茶匙。忌生冷、猪鸡、毒鱼、大蒜。

治一切风，其效如神，菊花煎方：

甘菊花蒸湿，捣如膏 枸杞子烂捣 神曲炒微黄，捣末。各二斤 生地黄四斤，研烂 肉苁蓉半斤，刮去皱皮，炙令乾，捣末 桂心半斤，捣末

右件药以无灰酒三斗，与前药拌，令匀，以瓷瓮盛之，上以瓷碗盖定，用纸筋盐泥固济，待乾，入马粪中，理四十九日，即停，

① 五：太平圣惠方作“三”

② 三：太平圣惠方作“一”。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 白附子：太平圣惠方作“子苓”。

⑤ 三：太平圣惠方作“一”。

得一年至十年，其色转黑，其味芳香。每服，以暖酒调下一茶匙，日三服。

治一切风，不问远近，桤叶煎方：

桤叶 半斤，细锉，如无叶，枝亦得 荆芥 半斤，细锉
已上二味，以水五升，煮取二升，滤去滓，澄清。

白蜜 五合 梨汁 五合 竹沥 五合

右件药相和，以新瓷瓶盛，用油单子盖紧，系于釜中，以重汤煮，勿令水入，从初五更煮至日出后即住，每服一小盏，日三服。

治一切风，桤枝煎方：

嫩桤叶 ① 三斤 牛蒡根 五斤

已上二味细锉，以水五斗煮待牛蒡根烂，至二斗已来，即去滓，澄滤，用煎后药。

石榴 二十颗，和皮捣碎，如非②时即用枝二斤代之 生木瓜 一③颗，和皮细切，如无生者，即用乾者，倍用代之 桑根白皮 五两，如无，以桑枝，细锉代之 羚羊角屑 三两 生姜 二两，细切 乌鸡粪 三④两

已上六味，以前桤枝汁煎之，至五升，滤去滓，入后药末。

乌蛇 二⑤两，酒浸，去皮骨，炙微黄 天麻 一两 羌活 一两 防风 一两，去芦头 桂心 一两 白茯苓 ⑥ 仙灵脾 一两 附子 一两半⑦ 去皮脐

右件药捣细罗为散，入前煎中，别入好酒二升、白蜜一升，以慢火熬，用柳木刮不住手搅，令稀稠得所，以瓷器盛，每服空心及晚食前，以温酒调下一茶匙。忌毒鱼、动风物。

治一切风，神效乌头煎方：

生乌头 五斤，以河水浸二⑧日，不注微⑨水 黑豆 一斗，净淘 生姜 半斤

右件药细锉，以水一石，煎取三斗，去滓，以生绢滤过，复煎如稀汤，以新瓷瓶盛，每日空心，以温酒调下半茶匙，至半月后，渐添至一茶匙，此外不可多服。药瓶常令近火，如人体暖，免令上醖。

治一切风，百灵藤煎方：

百灵藤 五斤，细锉

右以水三斗，慢火煎至五升，去滓，别

于净锅中，慢火煎成膏，以瓷器密盛，每服以温酒调下一茶匙，日三服。

治一切风疾，若能久服，轻健，明目黑髭，驻颜，南烛煎方：

南烛树 春夏取枝叶，秋冬取根及皮，拣择，细锉五斤 肘后方五升

右以水五斗，慢火煎取二斗，去滓，别于净锅中，慢火煎如稀汤，即以瓷瓶盛，每服以温酒调下一茶匙，日三服。

治一切风通用浸酒药诸方

治风，利关节，治顽麻，除疼痛，去挛缩，强腰膝，茄子根浸酒方：

乾茄子根 二斤，未著霜者，细锉，饭上蒸一炊时 苍耳子 一升，微炒，捣碎 牛膝 一斤，去苗 鼠粘子 一升，微炒，捣碎 大麻子 一升，微炒，捣碎 牛蒡根 一斤，切，酥炒黄 防风 三两，去芦头 草薢 二两 晚蚕沙 半升，微炒 枸杞子 半升，一半微炒，一半生用 败龟 二两，涂酥炙微黄，捣为末 虎胫骨 二两，涂酥炙微黄，捣为末 桔梗 二⑩两，去芦头 羌活 二两 秦艽 二两，去苗 附子 二两，炮裂，去皮脐

右件药，都细锉，以生绢袋盛，用好酒三斗浸，以瓷瓶盛，密封，经二七日开之，开时不得面对瓶口，每日空腹、日午、初夜、量力温服一盏，疾重者，不过一剂差。忌毒滑、鱼肉等。

治风，海桐皮浸酒方：

海桐皮 五加皮 独活 侧子炮裂，去皮脐 天麻 桂心 防风 去芦头 枳壳 麸炒微黄，去瓤 杜仲 去皱皮，炙微黄，已上各三⑪两 牛膝 五两，去苗 薏苡仁 六两 生地黄 半斤

① 叶：太平圣惠方作“枝”。

② 非：太平圣惠方作“无”。

③ 一：太平圣惠方作“二”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

⑥ 藜：太平圣惠方此下注有“一两”二字。

⑦ 半：太平圣惠方作“生”。

⑧ 二：太平圣惠方作“三”。

⑨ 注微：太平圣惠方作“住换”。

⑩ 二：太平圣惠方作“一”。

⑪ 三：太平圣惠方作“一”。

右件药，细锉和匀，以生绢袋盛，用清酒三^①斗浸之，春夏七日，秋冬二七日，每日随性饮一盞，常令有酒气，不得大醉。

治风，乌鸡酿酒方：

乌鸡一只，其鸡先以笼养，用大麻子五升，与鸡吃，吃尽，即使用鸡，去毛及肠胃，净洗拭乾，将其肉碎锉，毛即烧灰，亦同酿酒 羌活三两 桂心三^②两 牛膝四两，去苗 芎藭二两 附子三两，炮裂，去皮脐 防风三两，去芦头 草薢三两 熟乾地黄四两 乌蛇六两，酒浸去皮骨，炙微黄 独活五两 石斛三两，去根 虎胫骨五两，涂酥，炙微黄 当归二两 海桐皮五两 丹参四两 白胶香三^③两 地骨皮十两 五加皮十两 百灵藤十两 松节十两

右件药，都细锉和匀，以水二石，煎取五斗，与曲末，如常法同酿酒，候熟，即日饮三四盞。忌生冷、毒滑、动风物。

治丈夫妇人，骨节痠痛，行步艰难，肩背伛偻，言语謇涩，口喎面斜，中风失音，半身不遂等疾，宜服茯苓菊花浸酒方：

白茯苓五两 甘菊花二两 山茱萸二两 兔丝子三两，酒浸三日，曝乾，别捣为末 肉苁蓉二两，酒浸一宿，刮去皱皮 瓜蒌根二两 防风二两，去芦头 熟乾地黄二两 天雄二两，炮裂，去皮脐 牡丹二两 人参一两，去芦头 白术一两 牡蛎一两，烧为粉 黄耆二两 紫苑一两，洗去苗土 菖蒲二两 石斛二^④两，去根 柏子仁一升 杜仲二两，去粗皮，炙微黄 蛇床仁一两 远志二两，去心 附子二两，炮裂，去皮脐 乾姜二两，炮裂 赤芍药二两 牛膝二两，去苗 草薢二两 狗脊二两 苍耳子二两 虎胫骨一两，涂酥，炙微黄 鼠粘子一两，微炒 桔梗一两，去芦头 羌活二两 牛蒡子二两 枸杞子半两 晚蚕沙三两，微炒 续断二两

右件药，都细锉，和匀，每斤药以生绢袋盛，用酒二斗，于瓷瓮中浸，密封，二七日开封，每日平旦、午时、近晚、各温饮一盞，常令有酒容，不可过度，每取却一盞，即添一盞，如觉酒淡，药力稍减，即取滓，阴乾，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空心，以温酒下三十丸。忌生冷、油腻、

猪鸡肉、粘滑物。

治八风十二痹，五缓，六急，半身不遂，四肢偏枯，筋脉拘挛，肩髀疼痛，腰脊不能俯仰，胸肋膨胀，心烦，目眩，耳聋，咽喉不利；或贼风所中，痛如锥刺，行人皮中，无有常处；或四肢肌体，偏有冷痹，状如风吹，并宜服茵芋浸酒方：

茵芋一两半 细辛半两 天雄一两，炮裂，去皮脐 汉防己一两 川乌头一两半，炮裂，去皮脐 石斛一两，去根 踯躅一两，微炒 山茱萸 柏子仁 甘草炙微赤 木通 桂心 秦艽去苗 黄耆 乾姜炮裂 熟乾地黄 莽草微炙 附子炮裂，去皮脐 杜仲去粗皮 芎藭 王孙 泽泻 石南 防风去芦头 远志去心 牛膝去苗。已上各三分

右件药，细锉和匀，用生绢袋盛，以酒三斗，浸十日，空心温服一小盞，晚食前再服，以差为度。忌生冷、油腻、动风物。

治风，骨节疼痛，行李^⑤不任^⑥，列节浸酒方：

列节二两 防风一两，去芦头 茵芋一两 黄耆二两 羌活二两 桂心二两 海桐皮二两 虎胫骨二两，涂酥，炙微黄 牛膝二两，去苗 附子二两，炮裂，去皮脐 生乾地黄二^⑦两 芎藭一两 当归一两 枸杞子一两 白芷一两 败龟一两，涂酥炙微黄 黑豆二^⑧合，炒熟 五加皮一两 酸枣仁一两

右件药，细锉，和匀，以生绢袋盛，用好酒三斗，密封瓶头，浸经一七日后开取，每日空心、午时、及夜卧，热暖一小盞饮之，其酒旋旋更添，或将此酒下诸丸散亦得，忌生冷、猪鸡牛马肉。

治风及偏枯，腰膝疼痛，牛膝浸酒方：

牛膝八两，去苗 鼠粘子三两，微炒 防风二两，去芦头 牛蒡根四两 草薢二两 大麻子三合，捣碎

① 三：太平圣惠方作“一”。

② 三：太平圣惠方作“一”。

③ 三：太平圣惠方作“一”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

⑤ 李：太平圣惠方作“立”。

⑥ 任：太平圣惠方作“住”。

⑦ 二：太平圣惠方作“一”。

⑧ 二：太平圣惠方作“半”。

晚蚕沙^③三合 枸杞子二两 羌活二两 海桐皮二两
秦艽一两，去苗 黑豆^④三合，炒熟，捣碎 苍耳子二
两，捣碎 附子二两，炮裂，去皮脐 五加皮二两 茄
子根八两 虎胫骨二两，涂酥，炙微黄

右件药，细锉，以生绢袋盛，用好酒三斗，密封^②头，浸经七日，每日空心、午时及夜临卧，温饮一小盏，其酒旋添，味澹即换药。忌猪、鸡、毒鱼、粘滑物。

治风，五粒松叶浸酒方：

五粒松叶三斤，十月初采 麻黄三两，去根节 防风三两，去芦头 天雄^③二两，炮裂，去皮脐 独活三两 秦艽二两，去苗 肉桂三两，去皱皮 牛膝四两，去苗 生地黄一斤

右件药，细锉和匀，以生绢袋盛，用好酒四斗浸之，春秋七日，冬二七日，夏五日，日满，每服温一小盏，日三服。忌毒滑，动风物。

治风，无问新久，及偏治^④，顽痹不仁，肢节缓急，宜服此浸酒方：

茵芋 狗脊 川乌头炮裂，去皮脐 天麻 附子炮裂，去皮脐。已上各二两 独活二两 踯躅一两，炒黄 天雄二两，炮裂，去皮脐 牛膝三两，去苗 防风三两，去芦头 桂心一两半

右件药，细锉和匀，以生绢袋盛，用好酒二斗，浸十日，每服温饮一小盏，日三服，以效为度。忌生冷、毒鱼、鸡猪鹅鸭肉。

治风，经效鼠粘根浸酒方：

鼠粘根五斤，遍时勿令见风，密房内净洗，薄切，密瓮内阴乾 防风五两，去芦头 附子二两，炮裂，去皮脐 独活五两 汉防己二两 桂心二两 天麻二两 麻黄二两，去根节 生地黄八两

右件药细锉，用生绢袋盛，以无灰酒三斗浸之，密封，春夏七日，秋冬二七日开，每日空腹、日午、夜临卧，各温饮一小盏。

治风，骨髓及腰脚疼痛，行步稍难，兼风毒攻注皮肤，痒痛不知，宜服白花蛇浸酒方：

白花蛇一条，重半斤者，去皮骨，炙黄 虎胫骨一条，涂酥，炙微黄 当归一两半 芍药一两半 附子二

两，炮裂，去皮脐 桂心二两 熟乾地黄二两 防风二两，去芦头 山茱萸二两 萆薢二两 石斛二两，去根 牛膝二两，去苗 独活三两 细辛^⑤一两 黄耆二两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 天麻二两 肉苁蓉二两半，酒浸一宿，刮去皱皮用

右件药细锉，以生绢袋盛，以好酒三斗，于瓷瓮子内密封，浸七日后，随性暖饮，常令醺醺，勿令大醉，其酒旋添，酒味稍薄，即换药。忌生冷、粘滑、动风物。

治风，及白癞紫癞，乌蛇浸酒方：

乌蛇六两，酒浸，去皮骨，炙微黄 防风二两，去芦头 桂心二两 白蒺藜二两，炒，去刺 天麻三两 五加皮^⑥二两 羌活三两 牛膝二两，去苗 枳壳^⑦一两，麸炒微黄，去瓢 熟乾地黄四两

右件药细锉，以生绢袋盛，以无灰酒二斗，于瓷瓮中浸，密封七日后开，每日三度，温饮一小盏。忌毒、滑物，猪鸡肉。

治风，乌金浸酒方：

黑豆二升，紧小者，炒熟，捣碎 防风去芦头 桂心 附子炮裂，去皮脐 羌活已上各二两 熟乾地黄三两 乌鸡粪^⑧者，以大麻子喂，笼七日后，取粪一两

右件药细锉和匀，入于生绢袋中，用好酒二斗，于瓷瓮子中重汤缓火煮，候药瓮子内有香气即止，每日三度，温饮一小盏。

治风，桑枝浸酒方：

花桑枝一斤 垂柳枝一斤 槐枝一斤 羌活三两 牛膝三两，去苗 黑豆一升，炒熟 附子二两，炮裂，去皮脐 桂心三两 熟乾地黄二两

右件药细锉和匀，以生绢袋盛，用好酒五斗浸经七日后，每日食前后，任性暖饮一二小盏，不得令过度，但醺醺然，长有酒气为妙。忌生冷、毒鱼、猪肉。

治一切风，牛蒡子浸酒方：

① 三：太平圣惠方作“二”。

② 封：太平圣惠方此下有“瓮”字。

③ 二：太平圣惠方作“一”。

④ 治：太平圣惠方作“枯”。

⑤ 一：太平圣惠方作“二”。

⑥ 二：太平圣惠方作“一”。

⑦ 一：太平圣惠方作“三”。

⑧ 雄：太平圣惠方作“雌”。

牛蒡子 牛膝去苗 生地黄 枸杞子 乾桑椹 大麻子已上各半斤

右件药细锉，用生绢袋盛，以无灰酒三斗浸之，春夏七日，秋冬二七日开，每饮一小盏，常以酒气相继，日三五度饮之。忌生冷、毒滑、动风物。

治风，百灵藤酿酒方：

百灵藤十斤，以水一石，煎取三斗 神曲九两，微炒黄色，捣末 糯米三斗，炊作饭

右候饭冷，即熟揉曲末入饭中，并药汁，同入于瓮中，一如酝酒法，经三五日，看沫尽，即更炊一斗糯米饭，候冷，投入瓮中，即熟澄清，更三日后，每日不计早晚，温饮一小盏，服后，觉浑身汗出为效。

治风，立有奇效，天蓼木浸酒方：

天蓼木一斤，去皮，细锉

右以生绢袋盛，以好酒二斗，浸之，春夏七日，秋冬二七日即开，每日空心、日中、初夜各温饮一小盏。老小临时加减，如若长服，只可每朝一盏。

治风，附子浸酒方：

附子半斤，大者，炮裂，去皮脐

右细锉，以生绢袋盛，用好酒一斗，于瓷瓶中，密封浸七日，每服，温饮一小盏，日再服，以差为度。

治风，口偏眼急，枳壳浸酒方：

枳壳刮取上面青皮，三斤

右以微火，炒去湿气，以酒二斗浸之，其药瓶常令近火微暖，令药味得出，七日后随性饮之。

诸 风 门^七

圣 惠 方^五

治风腰脚疼痛通用

浸酒药诸方

治风腰脚疼痛，及皮肤不仁，筋脉挛急，宜服牛膝浸酒方：

牛膝^{去苗} 菖蒲 酸枣仁^{微炒} 芎藭 石斛^{去根} 仙灵脾 赤箭 虎胫骨^{涂酥，炙微黄} 桂心 附子^{炮裂，去皮脐} 草薢^{已上各二^①两}

右件药，细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗，于瓷瓶中浸，密封，经七日后开取，每温饮一盏，常令醺醺，不得大醉，酒尽更添，以药味薄即换之。忌生冷毒滑物。

治腰脚风毒攻注疼痛，草薢浸酒方：

草薢^三两 防风^二两，去芦头 牛膝^三两，去苗 独活^二两 芎藭^二两 山茱萸^二两 当归^二两 酸枣仁^{三^②}两，微炒 大麻仁^五两 石斛^三两，去根 桂心^二两 熟干地黄^三两

右件药，细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗，于瓷瓶中浸，密封七日后开取，每日三五度，温饮一盏，常令醺醺，无至大醉。

治风冷气攻，腰脚行立无力，石斛浸酒方：

石斛^{五^③}两，去根 牛膝^五两，去苗 五加皮^二两 羌活^二两 防风^二两，去芦头 附子^三两，炮裂，去皮脐 天麻^三两 海桐皮^二两 木香^二两 桂心^二两 虎胫骨^五两，涂酥，炙令微黄 芎藭^二两 甘菊花^二两 川椒^二两，去目及闭口者

右件药，细锉，用生绢袋盛，用好酒三斗，以瓷瓮子盛，密封头，浸经七日后开取，每日三度，温饮一小盏，每取却一盏，即添一盏，直候药味稍薄，即更换之。

治风气攻注，腰脚骨髓疼痛，宜服虎骨浸酒方：

虎胫骨^{半斤}，涂酥，炙微黄 熟干地黄^二两 石斛^{去根} 独活 防风^{去芦} 牛膝^{去苗} 丹参 桂心 当归 草薢 芎藭 酸枣仁^{微炒} 山茱萸 仙灵脾 五加皮 附子^{炮裂，去皮脐} 骨碎补^{去毛} 川椒^{去皮及闭口者，微炒，去汗} 白蒺藜^{微炒，去刺。已上各一两} 乌蛇^{一条，重半斤}，酒浸，去皮骨，涂酥，炙微黄

右件药细锉，以生绢袋盛，以好酒三斗，于瓷瓮中浸之，密封经七日后，每日空心、日午、近晚，各温饮一盏，常令醺醺，以差为度。忌生冷、油腻、猪、鸡、粘滑物。

治风冷，腰脚疼痛，屈伸不得，杜仲浸酒方：

杜仲^{去粗皮，炙微黄} 蛇床子 当归 芎藭 干姜^{炮裂} 秦艽^{去苗} 附子^{炮裂，去皮脐} 石斛^{去根} 桂心 细辛 茵芋 川椒^{去目及闭口者，微炒去汗} 天雄^{炮裂，去皮脐} 防风^{去芦头} 独活^{已上各二两}

右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒三斗，于瓷瓶中浸之，七日后开，每温饮一小盏，常令醺醺，不得大醉，酒尽，其药滓晒干，捣细罗为散，每服以酒调下二钱。

治风，腰膝疼痛，仙灵脾浸酒方：

仙灵脾^三两 桂心 防风^{去芦头} 虎胫骨^{涂酥，炙微黄} 羌活 草薢 芎藭 生干地黄 海桐皮 牛膝^{去苗} 骨碎补^{去毛} 附子^{炮裂，去皮脐} 已上各二两

右件药并细锉，用生绢袋盛，以清酒二

① 二：太平圣惠方作“三”。

② 三：太平圣惠方作“二”。

③ 五：太平圣惠方作“半”。

斗，于瓷瓶中浸，密封，经五日后，取随性饮之，酒少旋添，候药味薄，即再合，以差为度。忌生冷毒滑鱼肉。

治风气，暖藏府，利脚膝，止^①疼痛，酸枣仁浸酒方：

酸枣仁三两，微炒 羌活二两 牛膝二两，去苗
山茱萸二两 桂心二两 仙灵脾二两 草薢二两
芎藭二两 天麻二两 肉苁蓉二两，刮去皱皮 虎胫
骨三两，涂酥，炙微黄 生干地黄三两 甘菊花一两半
天雄二两，炮裂，去皮脐 桑寄生一两半

右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒三斗于净磁瓶中浸，密封瓶口，五日后开取，每日三五度，温饮一盏，常令醺醺，瓶中酒少，旋更添之，候药无味，即更修合，以差为度。忌毒滑物。

治风毒攻注，腰脚骨髓疼痛，皮肤冷痹，筋脉拘挛，屈伸不得，宜服茄子根浸酒方：

茄子根二斤，洗净，晒干 苍耳子一升，微炒，捣碎
鼠粘子一升，微炒，捣碎 牛膝一斤，去苗 牛蒡根一斤
防风三两，去芦头 草薢二两 桂心二两
羌活二两 秦艽二两，去苗 附子一两，炮裂，去皮脐
晚蚕沙半升 败龟二两 大麻子一升 虎胫骨
涂酥，炙微黄 枸杞子一升半，蒸半升，微炒

右件药细锉，以生绢袋盛，以无灰酒五斗浸之，封闭勿令透气，经十日后开取，开时不得面向瓶口，每日空腹、午时、近夜各温饮一盏，常令醺醺为妙。忌毒滑鱼肉、动风物。

治风毒气，攻腰脚，连骨髓，日夜疼痛，五加皮浸酒方：

五加皮三两 枳壳一两，麸炒微黄，去瓢 独活二两
地骨皮二两 防风一两，去芦头 丹参一两半
熟干地黄三两 牛膝二两，去苗 乌喙二两，炮裂，去皮脐
干姜一两，炮裂，锉 石南叶二两 虎胫骨五两，涂酥，炙微黄

右件药细锉，以生绢袋盛，用清酒二斗于瓷瓶中浸，密封，七日后开，每日三五度，温饮一小盏，常令醺醺，以差为度。

治风虚久冷，腰脚疼痛，食少羸瘦，颜色萎悴，行立无力，菊花浸酒方：

甘菊花四两 杜仲四两，去粗皮，炙微黄 当归二两
石斛二两，去根 黄耆二两 肉苁蓉二两，刮去皱皮
桂心二两 防风二两，去芦头 附子二两，炮裂，去皮脐
草薢二两 独活二两 钟乳粉四两 白茯苓二两 山茱萸二两

右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒二斗于瓷瓶中浸，密封，春夏七日，秋冬二七日后开取，每日三四度，温饮一小盏。

治风毒流入脚膝疼痛，行李^②不得，海桐皮浸酒方：

海桐皮 五加皮 独活 防风去芦头 干蝎生用
杜仲去皱皮，炙微黄 酸枣仁微炒 桂心 侧子炮裂，去皮脐 薏苡仁各一两 生干地黄二两^③

右件药锉如豆大，用生绢袋盛，以好酒二斗于瓷瓶中浸，密封，秋夏七日，春冬二七日后开取，每日不计时候，温饮一小盏。

治风，腰脚疼痛，宜服此浸酒方：

杜仲八两，去皱皮，炙微黄色 石南三两 羌活三两
防风二两，去芦头 附子三两，炮裂，去芦头 牛膝三
两，去苗

右件药细锉，以生绢袋盛，用好酒三斗于瓷瓶中浸，七日后开取，每日三四度，饮一盏。

治风毒攻^④脚膝疼痛，不能屈伸，及历节风等方：

牛膝三两，去苗 虎胫骨三两，涂酥，炙微黄 羚羊角屑三两
松节三两 枳壳三两，麸炒微黄，去瓢

右件药，细锉，用生绢袋盛，用好酒二斗于瓷瓶中浸，密封，春夏七日，秋冬二七日后开取，每日三四度，温饮一中盏，其酒旋添，药味稍薄，即换之。

治一切风通用摩风膏药诸方

治一切风毒，筋急，肿硬疼痛，摩风膏方：

野驼脂 腊月猪脂 狗脂 鹅脂

① 止：太平圣惠方作“上”。

② 李：太平圣惠方作“立”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

④ 攻：太平圣惠方此下有“注”字。

已上各二两一处细切，用清油一斤于锅子内同煎化尽，漉去滓。

桂心半两 没药半两 麒麟竭半两 白芷半两
白附子半两，生用 附子半两，生用 天麻半两 吴茱萸半两 青盐半两 马牙消一分 川朴消一分

右件药捣罗为末，入在油锅子内，用慢火从卯时熬至巳时已来，入黄腊六两，消尽腊，倾在合内，入麝香一分、雄黄半两、膩粉半两，三味一处烂研，入在药合内，用柳枝子搅令匀，每有患者，频摩之，立效。

治风顽痹，腰脚不遂，四肢拘挛，并马坠疼痛不可忍，及白癩诸疮，兼脚气等，乌头摩风膏方：

乌头 附子并生用 当归各二两 羌活 细辛 桂心 防风去芦头 白术 川椒 吴茱萸各一两 猪脂一斤，腊月者，若半^①得脱脂光^②好，去脂膜，煎脂化去滓，放冷。

右件药并细切如大豆，以头醋微淹之，经一宿，煎猪脂化去滓，内药缓火煎之，候附子黄色，即膏成，收瓷合中，有患者，频取摩之。宜用衣裹，切避风冷。

治风毒流注，骨节疼痛，筋脉挛急，宜用摩风白芷膏方：

白芷半两 防风半两，去芦头 附子半两，去皮脐 白芍药半两 当归半两 川椒半两，去目 羌活半两 独活半两 藁本半两 川乌头半两，去皮脐 细辛半两 生姜五两 白僵蚕半两 黄蜡五两 猪脂一斤半，水浸三^③宿，逐日二^④换

右件药都细锉，先煎猪脂去滓，入诸药，煎白芷色焦赤，以绵滤去滓，澄清，拭铛令净，慢火熬，入蜡销为度，用瓷合盛，每取少许，于火畔焙手摩之。

治一切痛风，摩风膏方：

当归三两 白芷一两 附子三两，生，去皮脐 细辛二两 桂心一两 天雄三两，生，去皮脐 干姜二两 芎藭二两 川乌头二两，生，去皮脐 朱砂一两，细研 雄黄二^⑤两，细研 醋三升 松脂半斤 生地黄三斤^⑥，捣绞取汁 猪脂五斤，炼成者

右件药细锉，以地黄汁及醋浸一宿，漉

出，入猪脂中，慢火煎之，候白芷色黄，即膏成，绵滤去滓，入丹砂、雄黄，及松脂等，以柳木篦搅令匀，于瓷器中盛，每取少许，摩于病上，如肋下聚如杯者，摩及涂之即差。又面目厘^⑦黑消瘦，是心腹积冷，酒调半匙，日三服，病无不愈。合时勿令妇人、鸡、犬小儿见之。

治风，身体痛痹，头风目眩，伤风项强，耳鼻俱塞，宜用神验膏方：

硫黄三两，细研 雄黄三两，细研 朱砂三两，细研 附子四两，生，去皮脐 天雄四两，生，去皮脐 人参三两，去芦头 当归三两 细辛三两 防风三两，去芦头 白芷三两 桂心三两 干姜三两 芎藭三两 川椒二^⑧两，去目及闭口者 独活三两 菖蒲三两 川大黄三两 藁本三两 白术三两 吴茱萸三两 松脂半斤，后入

右件药细锉，以酒浸一复时，然后别取生地黄半斤，捣绞取汁，同入猪脂中，以慢火煎之，取药味尽为度，以绵滤去滓，后下松脂、雄黄、硫黄、朱砂等，以柳枝不住手搅，至膏凝，收于瓷合中。病在内，即以酒服弹子大；病在外，即取弹子大热炙手摩之。

治风毒积年，四肢挛急，肌肉顽痹，气脉不宜通，腹中百病，不以老少，宜用神验摩风毒膏方：

牛膝去苗 赤芍药 当归 白术 白芷 川椒去目 厚朴去粗皮 雷丸 半夏 桔梗去芦头 细辛 吴茱萸 附子生，去皮脐 木香 大腹子 槟榔已上各一两 酥二两 野驼脂五两 腊月猪脂三斤^⑨

右件药细锉，以酒浸一宿，先煎猪脂，

① 半：太平圣惠方同。普济方卷一百十五诸风门引太平圣惠方乌头摩风膏方无此字。

② 光：太平圣惠方作“尤”。

③ 三：太平圣惠方作“二”。

④ 二：太平圣惠方作“一”。

⑤ 二：太平圣惠方作“一”。

⑥ 斤：太平圣惠方作“两”。

⑦ 厘：太平圣惠方作“黧”。

⑧ 二：太平圣惠方作“三”。

⑨ 腊月猪脂三斤：太平圣惠方作“野猪脂五两”。

然后入诸药，从平明^①至日入以慢火煎之，其膏即成，以绵滤去滓，却入铛中，然^②下酥并驼脂，待稍冷，收于瓷器中，每取如枣大，于患处摩之，仍须避风。若腹中有痛，即以酒化，如弹子大，空心服之。

治痛风及白虎风，脚膝筋脉不利，挛痛抽掣，鬼疰贼风，并骨髓疼痛，雄黄摩风膏方：

雄黄半两，细研 硫黄二两，细研 朱砂半两，细研
鬼箭羽 犀角屑 侧子生，去皮脐 羚羊角屑
鹿角胶 附子生，去皮脐 踯躅 川乌头生，去皮脐
木香 汉防己 牛膝去苗 细辛已上各五^③两 虎
胫骨六两 石斛去根 败龟 菖蒲已上各五两 熟
干地黄 沙参去芦头 薯芋 巴戟 芎藭 续
断 杜若 当归 秦艽去苗 狗脊 草薢 茵
芋 白敛 桂心 杜仲去粗皮 川椒去目 天雄
生，去皮脐。已上各一两

右件药细锉，以炼了腊月猪脂六斤，内铛中，同诸药以文火煎，自早至午，候药味尽，用新布绞去滓，更以绵滤净，拭铛，更煎炼，然^④入硫黄、雄黄、朱砂等，以柳木篦搅令匀，候凝，收于瓷器中，但有痛处，先用膏摩三二百遍，后涂膏于故帛上贴之。如内有风毒，即空心以温酒下，如弹子大。

治风痛及皮肤不仁，筋脉拘急，乌头摩风膏方：

川乌头生，去皮脐 防风去芦头 桂心 白芷
藁本 川椒去目 吴茱萸 白术 细辛 芎藭
白附子 藜芦 莽草 羌活已上各半两 黄腊五两
炼了猪脂一斤 生姜三两

右件药细锉，先以猪脂内铛中煎之，次入诸药，煎令白芷色黄，候药味出尽，以新布绞去滓，更以绵滤过，拭铛令净，重入膏于铛中，慢火熬之，次下黄蜡冷^⑤消，去火待稍凝，收于瓷器中，每有痛处，于火边焙手，乘热取膏摩之一二百遍，以手涩为度。

治风，肢节多疼，肌肉顽痹，或遍体疮癣，或瘾疹风瘙，宜用踯躅摩风膏方：

踯躅花 羌活 防风去芦头 芎藭 杏仁

汤浸，去皮 细辛 当归已上各一两 白敛 白及
白芷 丹参 苦参 玄参 桂心 附子去皮脐
川乌头去皮脐 皂荚去黑皮 汉椒去目 莽草 川
大黄已上各半两

右件药细锉，以米醋一升，拌令匀湿，经三宿，后以慢火炒令干，用腊月猪脂二斤，以慢火同煎一日，候药味出尽，以新布绞去滓，更以绵滤过，再入铛中煎，以柳木篦不住手搅成膏，候凝收于瓷合中，每取一弹子大，摩于痛上。如腊月煎之，经久不坏也。

治风，身体疼痛，手足顽麻，及伤寒身强，并宜用乌头摩风膏方：

川乌头五两，生，去皮脐 野葛一斤 莽草一斤

右件药细锉，用酒拌匀，经三日，以猪脂五斤与前药内铛中以草火煎之，以乌头色焦黄为度，用绵滤去滓，收于瓷器中盛，或有患者，近火摩三二千遍。

治一切风攻手足疼痛 通用淋蘸诸方

治风毒攻手足疼痛，或有赤肿，皮肤不仁，桑枝汤淋蘸方：

桑枝 柳枝 椒枝 杉枝 槐枝已上各一斤，
细锉 白矾三两 盐三两

右件药以水三斗煎取一斗五升，滤去滓，入白矾及盐，搅令冷热得所，淋洗痛处，汤冷更暖过用之。

治风毒攻手足，疼痛赤肿，行李^⑥不得，皮肤如小虫行，羊桃淋蘸方：

羊桃 蒴藋 白蒺藜 苍耳 海桐皮
柳树蠹末 商陆 蓖麻茎叶 水薹已上各一斤

右件药细锉，以水五斗煎至二斗，去滓，看冷热，淋蘸痛处。

① 明：太平圣惠方作“旦”。

② 然：太平圣惠方此下有“后”字。

③ 五：太平圣惠方作“一”。

④ 然：太平圣惠方此下有“后”字。

⑤ 冷：太平圣惠方作“令”。

⑥ 李：太平圣惠方作“立”。

治风，手足疼痛，皮肤瘙痒，露蜂房淋
蘸方：

露蜂房 水荭 茵芋 附子生，去皮脐。已
上各二两 蒴藋一两 川椒一两，去目

右件药细锉，以水五斗煎取二斗，去滓，
淋蘸痛处。

治风毒攻手足疼痛，五枝淋蘸方：

槐枝 柳枝 桑枝 椒枝 吴茱萸枝
已上各一斤

右件药细锉，以水五斗煎至二斗，去滓，
稍热避风，淋蘸三五度，差。

治风毒攻手足疼痛，或攻皮肤浮肿，附
子汤淋蘸方：

附子五两，生，去皮脐 生姜五两

右件药细锉，以水二斗煮三二十沸，去
滓，稍热避风淋蘸，馀滓更煎用之。

治风毒攻手足，疼痛顽麻，川乌头汤：

川乌头五两 汉椒二两 生姜五两

右件药，细锉，以水二斗煎至一斗，去
滓，入盐二两，频频淋蘸，以差为度。

又方：

蓖麻茎叶—①斤 椒枝一斤

右件药细锉，以水二斗煎取一斗，去滓，
看冷热，避风，淋蘸。

又方：

蒴藋二斤，细锉

右以水一斗煮五七沸，去滓，避风，淋
蘸。

又方：

猪椒根—②斤，细锉

右以水一斗煮五七沸，去滓，避风，淋
蘸。

又方：

葱白一斤 川椒二两

右以水一斗煎五七沸，去滓，避风，淋
蘸。

又方：

白杨树皮—③斤，细锉

右以水二斗煮取一斗，去滓，稍热淋
蘸。 备预百要方四肢风手足伸不收，屈
不伸方。白杨皮浸酒渍之，并治脚气。

又方：

桑枝一斤 槐枝一斤

右件药细锉，以水一斗煮五七沸，去滓，
避风，淋蘸。

又方：

赤小豆二斤 盐二两

右件药以水一斗煮熟，去滓，淋蘸。

药茶诸方

治风及气，补暖，萝摩茶方：

萝摩叶，夏采蒸熟，如造茶法，火焙干，
每旋取碾为末，一依煎茶法，不计时候服。

治风，补暖，石南芽茶方：

嫩石南芽，采蒸熟火焙，如造茶法，每
旋取碾为末，煎泼如茶，服之。

四时纂要

续命汤：主半身不遂，口喎，心昏，
角弓反张，不能言方。

麻黄六分，去节 独活六分 升麻五分 干葛
五分 羚羊角屑四分 桂心四分 防风六分 甘草
四分

右件药各切碎，用水二大升，先煎麻黄
六七沸，掠去沫，次下诸药，浸一宿，明日
五更，煎取八大合，去滓，分为两服，温温

服毕，以衣被盖卧，如人行十里，更一服，
准前盖卧，晚起避风。每年春分后，隔日服
一剂，服三剂，即不染天行伤寒，及诸风邪
等疾。忌生葱、菰菜、生冷等物。

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 一：太平圣惠方作“二”。

③ 二：太平圣惠方作“三”。

和剂局方

治诸风

至宝丹：疗卒中急风不语，中恶气绝，中诸物毒暗风，中热疫毒，阴阳二毒，山岚瘴气毒，蛊毒水毒，产后血晕，口鼻血出，恶血攻心，烦躁气喘，吐逆，难产闷乳，死胎不下。已上^①，并用童子小便壹合，生姜自然汁叁伍滴，入于小便内温过，化下叁圆至伍圆，经验秘方一丸至二丸。神效。又疗心肺积热，伏热呕吐，邪气攻心，大肠风秘，神魂恍惚，头目昏眩，眠睡不安，唇口干燥，伤寒狂语，并皆疗之。

生乌犀屑一本研 生玳瑁屑一本研 琥珀研朱砂研细，水飞 雄黄研，水飞。各一两 龙脑 麝香各一分，研 牛黄半两，研 安息香一两半，为末，以无灰酒搅澄飞过，滤去沙石，约取净数一两，慢火熬成膏 银箔五十片，研 金箔五十片，一半为衣

右将生犀、玳瑁为细末，入馀药研匀，将安息香膏重汤煮，凝成后，入诸药中，和搜成剂，盛不津器中，并旋圆如桐子大，玉机微义同。用人参汤化下叁圆至五圆。秘方一丸至二丸。又疗小儿诸痢，急惊心热，卒中客忤，不得眠睡，烦躁，风涎搐搦，每二岁儿服二圆，秘方二岁儿一丸十服。人参汤化下。御医撮要辰砂二两半，飞研 生犀二两半，镑 麝香一两一分，研 牛黄一两一分，研 龙齿二两半，水飞，研 玳瑁二两半，镑 金箔一百一十三箔，内五十箔为衣，馀入药 人参二两半，研 银箔五十箔，入药 雄黄一两一分，水飞 龙脑一两三分 琥珀二两半 安息香二两半，用酒二升半，熬成膏 天南星一两三分，用水煮软，切作片子，次以法酒一升三合，浸蒸七昼夜，焙干用 右件细末，用安息香膏，次入炼蜜，一处搜和为剂，旋丸如梧桐子大，每服三丸至五丸，细嚼人参汤下，小儿一丸至两丸，亦用人参汤化下。

润体圆：治诸风，手足不随，神志昏愤，语言謇涩，口眼喎僻，筋脉挛急，骨节烦疼，

头眩晕运，恍惚不宁，健忘怔忡，痰涎壅滞，及皮肤顽厚，麻痹不仁。

膩粉别研 白豆蔻仁 南番琥珀别研如粉。各半两 真珠末三分，别研如粉 白茯苓去黑皮 人参去芦 晚蚕蛾微炒 一本原蚕蛾 防风去芦一本一两 白附子炮 肉桂去粗皮，不见火 羌活去芦 芎藭各一两半 白龙脑 牛黄 生犀角末 雄黄水飞 乳香 辰砂水飞 羚羊角末 麝香已上八味，各别研如粉 沉香 木香 丁香三香，并不见火 藿香叶 槟榔 蒺藜子微炒 麻黄去根节 白僵蚕微炒，去丝嘴 肉豆蔻仁 黑附子炮，去皮脐 蔓荆子去白皮。已上各一两 半夏水煮三十沸，薄切，焙干，入生姜汁炒 川乌头炮裂，去皮脐尖，捣碎，炒黄 干蝎微炒。各二两 白花蛇酒浸，炙，去皮骨取肉 天麻去苗。各三两 独活去芦，三分 金箔陆拾片，为衣

右为细末，入研药^③匀，炼蜜搜和，圆如鸡头大，每服一圆，细嚼，温酒下，荆芥茶下亦得，加至贰圆。如破伤中风，脊强手搐，口噤发痼，即以热豆淋酒化破叁圆，斡口开灌下，少时再服，汗出乃愈。若小儿惊风诸痢，每服半圆，薄荷汤化下，不拘时候。

乌犀圆：治丈夫妇人卒中诸风，牙关紧急，膈上多涎^④，或语言謇涩，口眼喎斜，用薄荷汁与酒各少许，化叁圆服之，良久再服，立有大效。又治瘫痪，暗风痼病，手足潮搐，心神不安，遍身顽麻，肠风痔瘻，肾藏风毒，上攻下疰，妇人血风，头旋吐逆，皮肤肿痒，遍身疼痛。

硫黄为末，用瓷盏盛，慢火养成汁，入水银急炒如青泥成砂^⑤，细研 水银 附子水浸，炮，去皮脐 川芎 石斛去根 蝉壳去土，微炒 龙脑别研 朱砂细研，水飞

① 上：太平惠民和剂局方此下有“诸疾”二字。

② 两：太平惠民和剂局方此下有“半”字。

③ 药：太平惠民和剂局方此下有“令”字。

④ 涎：太平惠民和剂局方作，“痰”。

⑤ 成砂：太平惠民和剂局方无此二字。

雄黄细研，水飞 肉豆蔻仁微炒，一本去壳 牛黄别研。各半两 膩粉别研，一分 当归去芦头^①，浸，焙炒 乌犀镑。各二两 天南星汤浸，姜自然汁煮软，切片，焙干，炒黄 天麻酒浸，切，焙 阿胶杵碎，炒如珠 川乌头烧令通赤，留烟少许，入坑内，以盏子覆，用新土围之，食顷取出 陈皮汤浸，去白，微炒 白花蛇酒浸一宿，炙令熟，去皮骨，用肉 乌蛇酒浸一宿，炙令熟，去皮骨，用肉 白僵蚕去丝嘴，微炒 半夏汤洗柒次，姜汁浸叁宿，炒黄 羚羊角镑 干蝎微炙 羌活去芦头 独活去芦头^② 藿香叶去土 草薢微炙 肉桂去粗皮，不见火 麻黄去根节 白附子微炮 细辛去苗 防风去芦头，及叉股 槐胶缩砂仁一本三分 沉香不见火^③ 槟榔已上各一两 麝香别研，一两 晚蚕蛾微炒 木香不见火 一本一两 白术米泔浸一宿，切，焙，微炒 桑蛸螬微炒 厚朴去粗皮，姜汁涂，炙令熟 人参去芦头 一本一两 天竺黄细研 干姜炮裂 茯苓去皮 一本一两 藁本洗去土 一本一两 蔓荆子去白皮 枳壳去穢，切，麸炒 败龟酒醋涂，炙令黄 虎骨酒醋涂，炙令黄 何首乌米泔浸一宿，煮过，切，焙 丁香不见火^④ 白芷已上各三分 狐肝三具，腊月采取，同乌鸦一只，入新瓦罐内，以瓦盆子盖头，用泥固济，用炭火一秤，烧令通赤，待烟尽，取出候冷，研极细用 乌鸦一只，腊月采取，去鬣、翅、足

右件伍拾捌味，并须如法修事，捣研令细，炼白蜜合和，入酥再捣，叁^⑤伍千下，圆如梧桐子大，常服壹圆，不计时，薄荷汤或茶嚼下。

牛黄清心圆：治诸风痰痲不遂，语言蹇涩，心忪健忘，恍惚去来，头目眩冒，胸中烦鬱，痰涎壅塞，精神昏愤。又治心气不足，神志不定，惊恐怕怖，悲忧惨戚，虚烦少睡，喜怒无时，或发狂癲，神情昏乱。

牛黄一两二钱，研 麝香研 羚羊角末医方集成二两 龙脑研。各一两 当归去芦头 防风去苗叉枝 黄芩 白术 麦门冬去心 白芍药各一两半 柴胡去苗 白茯苓去皮 桔梗 杏仁去皮尖并双仁者，麸炒黄，别研 芎藭各一两二钱半， 肉桂去粗皮 阿胶碎炒 大豆黄卷碎，炒。各一两七钱半 蒲黄炒 神曲研，炒 人参去芦。各二两半 雄黄八钱，飞研 集成五钱 甘草铤，炒，五两 白敛 干姜^⑥各七钱半 犀角末

二两 金箔一千二百片，内四百片为衣 大枣一百枚，蒸熟去皮核，研乱成膏 干山药七两， 得效方乙两半

右除枣、杏仁、金箔、二角、及牛黄、麝香、雄黄、龙脑肆味外，为细末，入馀药^⑦匀，炼蜜与枣膏为圆、每两作壹拾圆，用金箔为衣，每服壹圆，温水化下，食后服。南北经验方、袖珍方同。 小儿惊痲，即酌度多少，以竹叶汤温温化下。简易方、永类铃方同。 御医撮要理一切风痲不仁，膈中热，消痰饮，止头痛，恶心呕吐，理风眩语涩，解虚热烦躁，倦怠少力，补心气，理健忘惊悸，及精神昏愤，意思不乐。 牛黄三钱，研 官桂半两，去粗皮秤用 金箔三百箔，内百箔为衣 麝香一分 蒲黄二两，研 犀角半两，镑 当归半两，去苗 雄黄二钱，水飞，研 干地黄三分 生脑子一分 山药一两三分 大豆黄卷半两，炒黄 阿胶半两，烱 神曲三分 人参三分 干姜一分， 炮 防风半两，去苗 黄芩半两 麦门冬半两，去心 白芍药半两 杏仁半两，去皮尖，烱 吴白术半两 柴胡一两，去苗 桔梗一两 白茯苓 川芎各一两 甘草一两半，铤 羚羊角屑一两 右件细末，次入金箔，拌匀细炼，蜜搜和丸，每两作一十丸，每服半丸，用竹叶汤化下，食后。兼理小儿惊痲，量岁数加减。

摩挲圆：治中风痲疾，半身不遂，口眼喎斜，言语蹇涩，精神昏塞，步履艰难，或肌肉偏枯，手足痺曳，或筋脉拘挛，不得屈伸，及气痲，并诸风，身体疼痛。

薰陆香^⑧滴乳香，别研 辰砂细研，水飞 生龙脑别研 乌犀镑屑，别为末 雄黄光明者，研飞 自然铜烧赤，醋淬 天台乌药一本八两 麝香别研。各四两 天麻去苗，洗，一斤 川乌炮裂，去皮脐尖 丁香 地榆去苗 黑参拣润者，洗焙干 木香各八两 真珠末二两，研 一本闕以龙齿代

① 头：太平惠民和剂局方此下有“酒”字。

② 芦头：太平惠民和剂局方作“苗”。

③ 不见火：太平惠民和剂局方无此三字。

④ 不见火：太平惠民和剂局方无此三字。

⑤ 叁：太平惠民和剂局方无此字。

⑥ 姜：太平惠民和剂局方此下注有“炮”字。

⑦ 药：太平惠民和剂局方此下有“和”字。

⑧ 香：太平惠民和剂局方此下注有“用”字。

右为细末研匀，炼蜜圆如楮实大，每服壹圆，温酒化下，不拘时候，服讫，避风处，衣被盖覆令汗出。患重者服一月全安，轻者半月差，初患五七服可安。御药院方同。御

医撮要理风中瘕及气痹，并诸风，身体冷：玄参 地榆去苗，洗 天麻去苗 乌头炮，去皮脐。各二两 自然铜一两，醋淬七遍 木香一两 龙脑半两，研 乌药一两，性，洗 麝香半两，研 丁香一两 朱砂一两，飞研 乌犀一两，镑 乳香一两，研 右件为末，炼蜜为剂，每丸如鸡头大，分四服，以温酒化下。如患重，则一丸作一服，吃药了于避风处，用衣被盖睡，令汗出透，患重者，服药一月安，轻立效。

透冰丹：治一切风毒上攻，头面肿痒，痰涎壅塞，心胸不利，口苦^①干涩，风毒下注，腰脚沉重，肿痛生疮，大便多秘，小便赤涩，及治中风瘫痪，一切风疾。

益智子去皮 川大黄去粗皮 茯神去木 仙灵脾叶一本洗，焙 蔓荆子去白皮 葳灵仙去芦，洗，焙 天麻去苗 白芷 山梔子去皮 白茯苓^②各半两 香墨烧，^③淬讫，细研 麝香研。各一钱一字，一本各一钱 川乌二两，用河水浸半月，三日一换水，切作片，焙讫，用盐一两，炒黄，去盐

右为细末，入研药匀，以炼蜜搜和，如麦饭相似，以真酥涂，杵臼捣万杵，如干，旋入蜜，令得所，和搜成剂，每服旋圆如梧桐子大，用薄荷自然汁同温酒化下两圆。如卒中风，涎潮昏塞，煎皂荚白矾汤放温，化肆圆灌之。瘫痪风每日服叁伍圆，渐觉有效，常服壹圆，疏痰利膈，用温酒下，食后服之。小儿惊风，入膩粉少许，薄荷汁化下半圆，立效。治瘰癧，用葱汤下壹圆。忌动风毒物。得效方同。

龙脑天麻煎：治一切风，及瘫痪风，半身不遂，口眼喎斜，语涩涎盛，精神昏愤，或筋脉拘挛，遍身麻痹，百节疼痛，手足颤掉，及肾藏风毒上攻，头面虚肿，耳鸣重听，鼻塞口乾，痰涎不利，下注腰脚膝缓弱，肿痛生疮。又治妇人血风攻注，

身体疼痛，面浮肌瘦，口苦舌干，头旋目眩，昏困多睡，或皮肤瘙痒，瘾疹生疮，暗风夹脑风，偏正头疼，并皆治之。

甜瓜子汤洗净 地榆去苗，刮削令净 川乌炮，去皮脐 浮萍草拣，洗净 黑参洗净。各五十两 天麻去苗，百两

已上为末，用雪水、白沙蜜各一十五斤零一十两同化开，用绢袋子滤过，银石器内慢火熬稠膏。

麝香研，四两 生龙脑研，八两

右为细末，除龙、麝外，用天麻乌头膏，和搜令匀，放冷，入龙麝再搜令匀，入臼内，捣千百杵，搓为挺子，每服一皂荚子大，与薄荷同嚼，茶酒任下，不计时候。治瘫痪风并服见效。如破伤风，豆淋酒下，要发汗，用煨葱、热酒，并服叁服，常服亦得。

牛黄小乌犀圆：治诸风，筋脉拘急，手足麻痹，语言謇涩，口面喎斜，心怔恍惚，痰涎壅滞，头目昏眩，肢节烦疼。及中风瘫痪，暗风痼病，肾风上攻，面肿耳鸣，下注腰脚，沉重疼痛，妇人血风，头旋吐逆，皮肤肿痒，遍身疼痛。

天麻去苗，二十两 地榆去苗，洗，焙 川乌炮，去皮脐 玄参洗，焙。各十两

已上四味，为细末，以水少许化蜜，同于石锅内，慢火熬搅成稠膏，放冷，次入后药。

牛黄研 麝香研 龙脑研。各一两 龙脑薄荷叶 浮萍草洗，焙 甜瓜子各十两 朱砂研飞生犀镑。各五两

右为细末，与前膏子一处搜和，圆如鸡头大，每服一圆细嚼，荆芥茶下，温酒亦得，不计时候。

娄金圆：治诸风，神志不定，恍惚去来，舌强语涩，心忪烦闷，口眼喎僻，手足弹曳，及风虚眩冒，头目昏痛，或旋晕僵仆，涎潮搐搦，卒中急风，不省人事，小儿惊风

1. 苦：太平惠民和剂局方作“舌”。

2. 苓：太平惠民和剂局方此下注有“去皮”二字。

3. 醋：太平惠民和剂局方作“酒”。

诸痼，并皆治之。

白僵蚕^①去丝，燼 黄耆^②去芦 藁本^③洗 麻黄^④
去根节 羚羊角^⑤ 一本无 羌活^⑥去苗 甘草^⑦
芍药 白茯苓^⑧去皮 犀角^⑨，各二两 白芷^⑩洗 川
芎^⑪各一两半 天竺黄 牛黄^⑫别研 龙脑^⑬研 麝香^⑭
一本研 白附子^⑮炮，各一两 人参^⑯去芦 细辛^⑰洗
一本去苗，洗，焙 防风^⑱去芦 天南星^⑲为末，以牛胆汁和饼，
阴干，各一两 甘菊^⑳去土，四两 天麻^㉑去苗 白花蛇^㉒
酒浸，去皮骨，炙，各三两 金箔^㉓一百片，为衣 生地黄^㉔
汁五升，入蜜一两，酒二升，酥一两半，慢火熬成膏，放冷 一本
蜜一两，作一斤

右为细末，以地黄汁膏子搜和，每两作五十圆，以金箔为衣，每服壹圆，细嚼温酒下。若中风涎潮不语，昏塞甚者，加至叁圆，用薄荷自然汁同温酒共半盏化药灌之，常服一圆，浓煎人参汤嚼下，薄荷汤亦得。小儿每服皂荚子大，薄荷汤化下。

龙虎丹：治丈夫妇人新得久患急风缓风，半身不遂，手脚筋衰，及风毒攻注，遍身疮疥，头风，多饶白屑；毒风，面上生疮；刺风，状如针刺；痼风，急倒作声；顽风，不认痛痒；疔风，颈生斑驳；暗风，头旋眼黑；瘡风，面生赤点；肝风，鼻闷眼眵；偏风，口眼喎斜；节风，肢节断续；脾风，心多呕逆；酒风，行步不前；肺风，鼻塞项疼；胆风，令人不睡；气风，肉似虫行；肾风，耳内蝉鸣，阴间湿痒。

何首乌^①去粗皮 天麻^②去苗 羌活^③去苗，洗^④ 川
芎^⑤洗 天竺黄^⑥生研 独活^⑦去苗 半夏^⑧汤洗七次，姜制
附子^⑨炮，去皮脐 藿香^⑩叶生 柴胡^⑪去苗 牛膝^⑫去苗，
酒浸，微炒 桔梗^⑬生 黑牵牛^⑭燼 硫黄^⑮结砂 细辛^⑯
去苗，洗，各二两 龙脑^⑰研，半两 白僵蚕^⑱去丝，炒
菊花^⑲去土 甘松^⑳洗，去土，焙 白芷^㉑生 五灵脂^㉒生
茴香^㉓去土^② 川乌^㉔炮，去皮脐 肉桂^㉕去粗皮 缩砂仁^㉖
生，各五两 防风^㉗去苗 干姜^㉘白者，炮 地龙^㉙去土，燼
白蒺藜^㉚燼 朱砂^㉛研^③，各三两 木香^㉜生 牙消^㉝研 真
雄黄^㉞研，飞 麝香^㉟别研 水银^㊱与硫黄用慢火结成沙子，各
一两 寒水石^㊲烧通赤，研，飞，一斤 乌蛇^㊳酒浸，炙，去
皮骨，八两

右为末，炼蜜为剂，每服一圆，鸡头大，薄荷酒嚼下，日进一服，重即两服。产后惊风，乱道见物，朱砂酒磨下；产后身多虚肿血风，频增昏沉，身如针刺，发随梳落，面黄心逆，并当归酒嚼下，日进两服。治伤寒，炒葱豉酒嚼下一二服，盖覆出汗立愈。小儿惊风，薄荷酒化下少许；大人急风，口噤失音等，薄荷酒化灌之。常服，茶酒^④，不拘时。

麝香天麻圆：治风痹，手足不随，或少力颤掉，血脉凝涩，肌肉顽痹，遍身疼痛，转侧不利，筋脉拘挛，不得屈伸。

麻黄^①去根节，二两 浮萍草^②重背干者，去度^③，四两
防风^④去芦 天麻^⑤各一两，并为末 安息香^⑥别研 麝
香^⑦研 乳香^⑧研，各一两 血竭^⑨别研细，三两 槐胶^⑩别研，
一两半 朱砂^⑪研，飞 没药^⑫别研细，各二两

右件药除研药外，将碾出药同研，拌匀，炼滤白沙蜜与安息香同熬过，搜成剂，入臼捣杵熟为圆，如弹子大，每服一圆，温酒或荆芥汤化下，空心服，患处微汗为效。如不欲化服，即圆如梧桐子大，每服叁拾圆，依前汤使下。

龙脑芎犀圆：消风化痰，除心肺邪热，去头面诸风，治偏正头痛，心忪烦郁，面热目眵，鼻塞脑昏，痰热咳嗽，咽膈不利。

生龙脑^①别研 山梔子^②去皮 生犀屑^③各一两 石
膏^④研 川芎^⑤各四两 阿胶^⑥碎，炒，一两半 朱砂^⑦四两，
一两为衣 麦门冬^⑧去心，三两 白茯苓^⑨去皮 人参^⑩去芦
细辛^⑪去苗 甘草^⑫炙，各二两

右除别研后入外，并为细末，炼蜜为圆，卫生宝鉴如樱桃大。每服壹圆至贰圆，细嚼，茶酒任下，食后服。宝鉴云：有于本方内加白豆蔻、龙脑、以金箔为衣。

① 洗：太平惠民和剂局方此下有“焙”字。

② 土：太平惠民和剂局方此下有“焙”字。

③ 研：太平惠民和剂局方此下有“飞”字。

④ 酒：太平惠民和剂局方此下有“任下”二字。

⑤ 度：太平惠民和剂局方作“土”。

⑥ 麻：太平惠民和剂局方此下注有“去芦鄂州者佳”六字。

⑦ 砂：太平惠民和剂局方此下注有“研飞”二字。

银液丹：治诸风，痰涎蕴结，心膈满闷，头痛目晕，面热心忪，痰唾稠黏，精神昏愤，及风痼潮搐，涎潮昏塞，并宜服之。

天南星为末，三分，一本炮 朱砂研，飞，半两 铁粉 水银结沙子。各三两 膩粉研，一两 黑铅炼拾遍，秤三两，与水银结沙为小块，同甘草十两，水煮半日，候冷，研

右研匀，面糊圆，梧桐子大，每服二圆，用薄荷蜜汤下，生姜汤亦可，微利为度，食后服。如治风痼，不计时服。

和太师牛黄圆：治卒暴中风，眩晕倒仆，精神昏塞，不省人事，牙关紧急，目睛直视，胸膈喉中痰涎壅塞，及诸痼潮发，手足痲痹，口眼相引，项背强直，并治之。

石燕火烧，醋淬九遍 雄黄研，飞 蛇黄火烧，醋淬九遍 辰砂研，飞 磁石火烧，醋淬九遍 石绿研，飞。各一两 轻粉细研 牛黄研 粉霜研 麝香细研。各半两 金箔为衣 银箔研。各一百片

右件都研匀细，用酒煮面糊和圆，如鸡头大，每服一圆，煎薄荷酒磨下。老人可服半圆，小儿十岁已下，分为四服，蜜水磨下，四岁已下，分为五服，未满一岁，可分为七服。如牙关紧急，以物斡开，灌之。

碧霞丹：治卒中急风，眩晕僵仆，痰涎壅塞，心神迷闷，牙关紧急，目眼上视，及五种痼病，涎潮搐搦。

石绿^①九度飞过，十两 附子尖 乌头尖 蝎梢各七十个

右将三味为末，入石绿令匀，面糊为圆，如鸡头大，每服急用薄荷汁半盏，化下一圆，更入酒半合，温暖服之，须臾吐出涎，然后随证治。如牙关紧，斡开灌之，立效。

雄朱丹：治中风涎潮，咽膈作声，目眩不开，口眼喎斜，手足不遂，应是一切风疾，并宜服之。

雄黄 朱砂 龙脑三因方 龙骨 麝香各研一钱 乌蛇去皮骨，生 三因方酒浸炙，去皮骨 白僵蚕去丝嘴，生 白附子生 天南星洗。各半两 一本及三因方洗，生

右除研外，余皆为末，炼蜜为圆，如梧桐子大，如中风涎潮，牙关不开，先用大蒜

一瓣，捣烂，涂在两牙关外腮上，次用豆淋酒化一圆，揩牙断上即开，续用薄荷酒，化下一两圆。如丈夫风气，妇人血气^②牙关紧急者，只用豆淋酒化药，三因方化一丸。揩牙断上即用^③。如头风目眩，暗风眼黑欲倒者，急嚼一两圆，薄荷酒三因方薄荷汤下。

八风丹：治诸风及痰热上攻，头痛面赤，目眩眩晕，鼻塞咽干，颈项不利，痰唾稠浊，神情如醉，百节疼痛，耳聩蝉鸣，面上游风，口眼蠕动。

寒水石火烧通赤，细研，水飞过，半斤 龙脑 麝香各细研，一分 白僵蚕微炒 白附子炮。各半两 天麻酒浸，焙 滑石细研。各一两 半夏白矾制，二两

右为细末，入研药同研令匀，炼蜜和圆，如樱桃大，每服一圆，细嚼，温荆芥汤下，茶清亦得，食后服。

牛黄生犀圆：治风盛痰壅，头痛目眩，咽膈烦闷，神思恍惚，心怔面赤，口干多渴，睡卧不安，小便赤涩，大便多秘。

牛黄细研 一本二钱半 生犀镑 龙脑细研。各二两半 半夏白矾制 牙硝细研 天麻去苗。各二十两 龙齿研，水飞 朱砂研，水飞 水银与铅同结沙子 铅各十两 膩粉细研 黄丹细研 雄黄研，水飞 羚羊角镑。各五两

右为末，炼蜜圆，每两作二十圆，每服一圆，温薄荷汤化下。中风涎潮，牙关紧急，昏迷不省，用膩粉一钱，药三圆，生姜自然汁七点，薄荷水同化下，得吐或利，逐出痰涎即愈。小儿风热痰壅，睡卧不安，上窜断齿，每服半圆。如急惊风，涎潮搐搦，眼目戴上，牙关紧急，用膩粉半钱，生姜自然汁叁伍点，薄荷水同化下一圆，量岁数，加減服。

辰砂天麻圆：治诸风痰盛，头痛目眩，旋运欲倒，呕哕恶心，恍惚健忘，神思昏愤，肢体疼倦，颈项拘急，头面肿痒，手足麻痹，常服除风化痰，清神思，利头目。

① 绿：太平惠民和剂局方此下注有“研”字。

② 气：太平惠民和剂局方作“风”。

③ 用：太平惠民和剂局方作“开”。

白附子炮，五两 天麻去苗，十两 天南星薑汁浸，切片子，焙干，二十两 麝香细研 白芷各一两一分 辰砂细研，水飞，五两，一半入药，一半为衣 川芎二两半

右为细末，面糊圆，如梧桐子大，每服贰拾圆，温荆芥汤下，不拘时候。

青州白圆子：治男子妇人半身不遂，手足顽麻，口眼喎斜，痰涎壅塞，及一切风，他药所不能疗者，小儿惊风，大人头风、洗头风，妇人血风，并宜服之。得效方治男子妇人手足瘫痪，风痰壅盛，呕吐涎沫，及小儿惊风，并皆治之。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

天南星三两 大成、集成、经验方、袖珍方、玉玃微义二两 白附子二两 半夏以水浸，洗过，白好者，用七两 川乌头去皮脐，半两。各生用

右为细末，以生绢袋盛，用井花水摆，未出者更以手揉令出，如有滓更研，再入绢袋，摆尽为度，放磁盆中，日中晒，夜露至晓，弃水，别用井花水搅又晒，至来日午，一本日早。再换新水搅，如此春五日，夏三日，秋七日，冬十日，去水晒干，后^①如玉片碎研，以糯米粉煎粥清为圆，如绿豆大，初服五圆，加至十五圆，得效方、大成、集成、经验方、袖珍方、铃方，常服二十圆。生姜汤下，不计时候。如瘫痪风，以温酒下二十圆，日叁服，至三日后，浴当有汗，便能舒展，服经三五日，呵欠是应，常服十粒已来，永无风痰膈壅之患。小儿惊风，薄荷汤下两叁圆。得效方、大成、集成、经验方、袖珍方、铃方下三五圆 王氏易简方

右并生用，各去皮脐，切片，以生绢袋盛，安瓷盆中，井花水浸，露、晒三昼夜，每旦易水，三日足，取晒干为末，以糯米粉为糊，搜和丸，如梧桐子大，每服叁拾圆，姜汤下。此药本方为末，以水浸之，每日易水，恐药之气味随水去尽，作效必缓，今易以片子，既免折阅，又带子药性，庶服之易效，本方所服圆数极少，恐难愈疾，今加圆数服之，更须以意增损。治一切痰涎为患，及中风偏废之疾，常服悉有功效。咳嗽痰实，咽喉

作声，老人小儿，皆宜服之。若小儿吐泻之后，发热者，多作慢脾惊风，当以此药与金液丹等分为末，米饮调下，才觉稍定，间以温药治之，其效甚著。男子妇人，小便白浊，乃思虑过多，致阴阳不分，清浊相干，此药极能分别。若心多惊悸，夜睡不宁，或复健忘，甚者状如癲痼，皆由心气或思虑伤脾，致痰饮中积，迷乱心经之所致，不宜遽用凉心之剂，当服此药，用温胆汤之类佐之。若心下怔忡，嘈杂眩暈，头目昏沉，肌肉跳动，颈项强痛，四肢痠疼，手足战灼^②，□□□□□遂，多因痰饮使然。若例作心病、风病，并寒湿治之，恐非其宜，亦当用此，仍以三生饮等药佐之。小儿气急，咽喉有声，或时发搐，或复咳嗽，宜以此药旋消磨之，圆小丸熟水咽下。一方用天南星、白附子等分，半夏倍之，滴水为圆，服之亦效。一方治大人妇人臂疼不可忍者，诸药不效，余云：此痰饮证也，宜以酒调局方桂苓丸一大粒，吞下五拾圆，不三四服即安。一方治气不顺，呕吐不止，痰涎盛者，宜以青木香圆、白圆子各叁肆拾圆，生姜汤吞下。一种咳嗽，直至嗽顿，呕吐饮食，与痰俱出尽，方小定，此名风痰壅盛，肝木克脾土，宜以此药为生料，加木香、全蝎、僵蚕、橘红、天麻、丁香各少许，大料煎服，随即收效。一方治小儿惊风，初搐未定者，宜以此药和苏合香圆研细，以生姜钩藤汤灌下一字即苏。易简方同。施氏说：局方治风痰，及洗头风、妇人血风、小儿惊风，悉皆主之。百一选方复加天麻、乾蝎、僵蚕、川姜，名加减青州白圆子，兼治喘嗽咯血，胸膈满闷，为效尤捷。王氏乃云：咳嗽痰实咽喉作声，老人小儿，皆宜服之，不知上焦有热者，服此则愈，甚有孕妇人尤不当服，以川乌、南星、半夏皆妨胎之药故也。如痰热当以玉液圆^③、金

① 后：太平圣惠方作“候”。

② 灼：此下脱字，王氏易简方作“甚者身半不”。

③ 玉液丸：方见本书卷一百一十六咳嗽门三。

珠化痰圆^①与之。玉液圆、金珠化痰圆 方见咳嗽门。

辰砂圆： 治诸风痰盛，头痛恶心，精神昏愤，目眩心忪，呕吐痰涎，胸膈烦闷。

天南星炮裂 白僵蚕^②去丝 白附子炮 蝎梢^③。各一分 辰砂细研，半两 硼砂细研 牛黄研。各一钱 半夏汤洗七次，一两

右为细末，同研令匀，水煮面糊圆，如梧桐子大，每服贰拾圆，用生姜荆芥汤下，不拘时。

牛黄金虎丹： 治急中风，身背强直，口噤失音，筋脉拘急，鼻干面黑，遍身壮热，汗出如油，目睛唇青，心神迷闷，形体如醉，痰涎壅塞，胸膈喉中拽锯声。

牛黄细研，二两半 雄黄研，水飞，一百五十两 金箔^④百片，为衣 生龙脑研，五两 天雄炮裂，去皮脐，一十二两半 白矾枯过 天南星为末，用牛胆汁和作饼子，焙干，加无牛胆即用法酒，蒸七昼夜 腻粉研 天竺黄研。各二十五两

右为末，炼蜜搜和，每壹两半作拾圆，以金箔为衣，每服一圆，以新汲水化灌之，扶坐使药行化，良久，续以薄荷自然汁，更研化一圆，灌之立愈。肥盛体虚，多涎，有风之人，宜常服此药随身备急，忽觉眼前暗黑，心膈闷乱，有涎欲倒，化药不及，急嚼一圆，新汲水下。小儿急惊风，一岁儿服绿豆大一圆，薄荷自然汁化灌之，更量岁数，临时加减。有孕妇人不得服。

防风圆： 治一切风，及痰热上攻，头痛恶心，项背拘急，目眩旋晕，心忪烦闷，手足无力，骨节疼痛，言语蹇涩，口眼瞬动，神思恍惚，痰涎壅滞，昏愤健忘，虚烦少睡。

天麻去苗，酒浸一宿 甘草炙 川芎洗 防风洗。各二两 朱砂半两，研，为衣

右为细末，炼蜜和圆，每两作拾圆，以朱砂为衣，每服一圆，荆芥汤化服，茶酒嚼下亦得，不拘时候。

川芎圆： 消风壅，化痰涎，利咽膈，清头目，治头痛旋晕，心忪烦热，颈项紧急，肩背拘倦，肢体烦疼，皮肤瘙痒，脑昏目疼，

鼻塞声重，面上游风，状如虫行。

川芎 龙脑薄荷叶去土^②。各七十五两 桔梗一百两 细辛洗，五两 防风去苗，二十五两 甘草^③，三十五两

右为细末，炼蜜搜和，每一两半，分作五十圆，每服一圆，细嚼，腊茶清下，食后临卧服。

薄荷煎圆： 消风热，化痰涎，利咽膈，御医^④要凉咽膈。清头目；治遍身麻痺，百节痠疼，头昏目眩，鼻塞脑痛，语言声重，项背拘急，皮肤瘙痒，或生瘾疹，及肺热喉腥，脾热口甜，胆热口苦；又治鼻衄唾血，大小便出血，及脱著伤风，并沐浴后，并宜服之。

川芎三十两 缩砂仁五两 龙脑薄荷叶去土^③，十斤 桔梗五十两 甘草四十两，炙 防风去苗，三十两

右为末，炼蜜圆，每两作叁拾圆，每^④一圆细嚼，茶酒任下。 王氏易简方龙脑薄荷叶一斤 川芎三斤 桔梗五两，去芦 甘草四两 防风三两 缩砂仁一两 右为末，炼蜜为剂，此药看之，若可忽，用之大有功，仓卒之中，亦可应手，解利[□]。有人痰嗽者，咯血羸瘦，无不目之为劳瘵，服瘵药愈甚，后以此药数服与之，痰嗽即愈，却徐徐调理，遂能平复。两眼暴赤肿痛，可以生薄荷取汁，更调此药令稀，贴两太阳，临卧更贴上下两眼眦，次日即散。 治肠风下血，可用此药贰贴，和雪糕丸，如梧桐子大，作二服，空心熟水下即止。 粪门红肿，或五痔发作，行坐不能者，以此药贰贴，生薄荷汁调稀作贰饼，饼上铺少脑子，以药对病，忍痛坐定，顷刻即消，无脑子，以朴消代之。

天南星圆： 治风化痰，精神爽气，利胸膈，消酒毒，止痰逆恶心，中酒呕吐。

天南星一斤，每箇重一两上下者，用温汤浸洗，刮去里外浮皮，并虚软处令净，用法酒浸一宿，用桑柴蒸，不住添热汤。

① 金珠化痰圆： 方见本书卷一百一十六咳嗽门三。

② 去土： 太平惠民和剂局方作“焙干”。

③ 去土： 太平惠民和剂局方无此二字。

④ 每： 太平惠民和剂局方此下有“服”字。

令釜满，瓶内气猛，更不住洒酒，常令药润，七伏时满，取出，用铜刀子切开一箇大者，嚼少许，不麻舌为熟，未即再炊，候熟用铜刀切细，焙干 麝香研 丁香各一两 龙脑研，一两半 辰砂别研，水飞，二两，用一半为衣

右为细末，入研药匀，炼蜜并酒和圆，每两作五十圆，朱砂为衣，每服一圆，烂嚼，浓煎生姜汤下，不计时候，酒后含化，除烦渴，止呕逆。

犀角圆：除三焦邪热，疏一切风气，治风盛痰实，头目昏重，肢节拘急，痰涎壅滞，肠胃燥涩，大小便难。

犀角镑 黄连去须。各十两 人参去芦，二十两 黑牵牛一百二十两，炒，别捣，先取粉六十两 大黄锉，八十两

右与牵牛粉合和为细末，炼蜜为圆，如梧桐子大，每服十五圆，至二十圆，临卧温水下，更量虚实加减。

皂角圆：治风气攻疰，头面肿痒，遍身拘急，痰涎壅塞，胸膈烦闷，头痛目眩，鼻塞口乾，皮肤瘙痒，腰脚重痛，大便风秘，小便赤涩，及咳嗽喘满，痰唾稠浊，语涩涎多，手足麻痹，暗风痼病，偏正头疼，夹脑风，妇人血风攻疰，遍身疼痛，心忪烦躁，瘾疹瘙痒，并宜服之。

甘菊花去梗 半夏汤洗七次 白矾枯过 知母 威灵仙洗 贝母去心，炒黄色 青皮不去白^①。各一两 一本去囊 槐角熅 干薄荷叶 皂角各五两，槌碎，以水一十八两六钱，揉取汁，用蜜一斤，同熬膏 牵牛子熅，二两

右为末，以皂角膏和圆，如梧桐子大，每服贰拾圆，食后生姜汤下。痰实咳嗽，蛤粉壅汁下；手足麻痹，生姜薄荷汤下；语涩涎盛，荆芥汤下；偏正头疼，夹脑风，薄荷汤下。御药院方同。

防风汤：治风虚发热，项背拘急，肢节不随，恍惚狂言，来去无时，不自觉悟，赤^②治脚气缓弱^③。此药温和不虚人。

防风去芦 半夏汤洗七次，切，焙 独活去芦 秦艽去苗土 麻黄去根节。各二两 升麻 白芍药 人

参去芦 甘草炙，锉^④ 远志去心 防己 黄芩 石膏别研 一本煨 当归去芦 白术各一两

右为粗末，入半夏片子令匀，每服肆钱，水二中盏，生姜七片，一本七八片。煎至一盞，去滓，取清汁六分，入麝香末少许，食前^⑤临卧热服。

大通圣白花蛇散：大治诸风，无问新久，手足弹^⑥曳，腰脚缓弱，行步不正，精神昏冒，口面喎斜，语言蹇涩，痰涎壅盛，或筋脉挛急，肌肉顽痹，皮肤瘙痒，骨节烦疼，或痛无常处，游走不定，及风气上攻，面浮耳鸣，头痛目眩，下疰腰脚，腰疼腿重，肿痒生疮，并宜服之。

白花蛇酒浸，炙，去皮骨，用肉 天麻去苗 防风去芦叉枝^⑦ 威灵仙去土 赤箭 厚朴姜汁制一宿，炙 甘草炙，锉 海桐皮去粗皮 藁本去土 草薢酒浸一宿 木香 干山药 肉桂去粗皮 杜仲锉，炒 当归去苗^⑧，酒浸一宿 白附子炮 虎骨醋炙 白芷 乾蝎炒 郁李仁去皮，别研 牛膝去苗 羌活去芦 菊花一本去枝梗 蔓荆子去白皮。各一两。

右为细末，每服一二钱，温酒调下，荆芥汤亦得，空心服。卫生宝鉴同。常服祛逐风气，通行荣卫，久病风人，尤宜常服，轻可中风，不过贰拾服，平复如常。御药院方同。

消风散：卫生宝鉴名人参消风散。治诸风上攻，头目昏痛，项背拘急，肢体烦疼，肌肉蠕动，目眩旋晕，耳聩蝉鸣，眼涩好睡，鼻塞多嚏，皮肤顽麻，瘙痒瘾疹。又治妇人血风，头皮肿痒，眉棱骨痛，旋晕欲倒，痰逆恶心。

白茯苓去皮 芎藭 羌活去芦 人参去芦 荆芥穗南北经验方半两 防风去芦叉 藿香叶 苍术方去土

① 不去白：太平惠民和剂局方作“去囊”。

② 赤：太平惠民和剂局方作“亦”。

③ 弱：太平惠民和剂局方此下有“甚效”二字。

④ 炙锉：太平惠民和剂局方无此二字。

⑤ 前：太平惠民和剂局方作“后”。

⑥ 弹：太平惠民和剂局方作“弹”。

⑦ 去芦叉枝：太平惠民和剂局方作“去苗”。

⑧ 苗：太平惠民和剂局方作“芦头”。

蝉壳去土，微炒 白僵蚕炒去丝 甘草铤，炒。各二两
经验方半两 厚朴去粗皮，姜汁炙 陈皮去白，焙。各半
两 得效方无防风、藿香

右为细末，每服贰钱，茶清调下。如久病偏风，每日叁服，便觉轻减；如脱著沐浴，暴感风寒，头痛声^①重，寒热倦疼，荆芥茶清调下，温酒亦得，可并服之；小儿虚风，目涩昏困，及急慢惊风，乳香荆芥汤调下半钱，不拘时候。经验良方同。得效方又云：

一方治口眼喎斜，半身不遂，多因下元虚弱，为风所乘，先服顺气药，次服补剂，却用茶清调此，吞青州白丸子。医方大成右为末，每服二钱，感风头疼，鼻流清涕者，用荆芥汤茶清调下，遍身疮癣，温酒下。医方集成、经验方、袖珍方、永类铃方同。

羌活散：治风气不调，头目昏眩，痰涎壅滞，遍身拘急，风邪寒壅，头痛项强，鼻塞声重，肢节烦疼，天阴风雨，预觉不安。

白茯苓去皮 羌活去芦 菊花去梗萼 川芎前胡去芦 黄芩 细辛去苗 枳壳去瓢，麸炒 蔓荆子去白皮 麻黄去根节 防风去芦叉 石膏细研 甘草铤，煨。各一两

右为末，入石膏令匀，每服贰钱，水壹大盏，生姜肆片，一本三四片。薄荷叁两叶，同煎七分，去滓，稍热服，不拘时。

八风散：治风气上攻，头目昏眩，肢体拘急烦疼，或皮肤风疮痒痛，医方大成、集成、袖珍方、永类铃方皮肤瘙癢疹成疮。及治寒壅不调，鼻塞声重。

人参去芦 黄耆去芦，铤 甘草铤，炒。各二斤 防风去芦叉枝 羌活去芦。各三斤 白芷 前胡去芦。各一斤 藿香叶半斤 一本及诸方去土

右为细末，每服贰钱，水壹中盏，薄荷少许，同煎至七分，去滓，食后温服，腊茶清调壹大钱亦得。小儿虚风，乳香腊茶清调服半钱，更量儿大小加减。

清神散：消风壅，化痰涎，治头昏目眩，心忪面热，头痛耳鸣，鼻塞声重，口眼瞤动，精神昏愤，肢体疼倦，颈项紧急，心

膈烦闷，咽嗑不利。

薄荷去土梗 荆芥穗各二十两 简易方各三两，得效方各二两，诸方去土 羌活去苗 防风去苗叉 人参去芦 檀香铤。各十两 简易方、得效方各一两 细辛去苗，洗，焙，五两 简易方半两，得效方五钱 甘草铤，二十两 简易方三两，得效方二两 石膏别研，水飞，四十两 简易方四两，得效方五钱，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方五两

右为末，每服贰钱，沸汤点服，卫生宝鉴同。入茶末点服简易方或茶清调下。亦得，食后。

虎骨散：一名乳香趁痛散。治男子妇人因气血虚弱，风毒邪气，乘虚攻注皮肤骨髓之间，与血气相搏，往来交击，痛无常处，游走不定，昼静夜甚，少得眠睡，筋脉拘急，不能屈伸。

虎胫骨酥炙 败龟去裙，炙 一本及简易方酥炙各二两 麒麟竭细研 没药研 赤芍药去芦 当归去苗 自然铜醋淬，细研 简易方醋淬，火煨九次 白芷苍耳子微炒，去刺 防风去芦叉^② 骨碎补去毛 肉桂去粗皮 白附子炮。各三两^③ 简易方各二两 牛膝去苗，酒浸一宿 一本及增注三两 五加皮去心 羌活去芦 天麻去芦 简易方酒浸一夕 槟榔各一两

右为细末，每服一钱，温酒调下，不拘时。医方大成治风毒邪气，乘虚攻注经络之间，痛无常处，昼静夜甚，筋脉拘挛，不得屈伸。苍耳子微炒，三两 五加皮一两 骨碎补三两 虎胫骨酥炙，一两 南北经验方、袖珍方、永类铃方二两 当归去苗，三两 天麻一两 自然铜醋淬，细碎 肉桂去粗皮。各三两 败龟醋炙，二两 白芷 麒麟竭细研 没药经验方、袖珍方三两 白附子炮。各二两 医方集成、铃方已上各三两 槟榔一两 羌活去芦，一两 防风去苗 经验方、袖珍方三两 赤芍药经验方、袖珍方二两 牛膝去苗。各一两 铃方各三两 右为末，入研药令匀，每服钱，温酒调下，不拘时。

骨碎补圆：治肝肾风虚，上攻下疰，

① 声：太平惠民和剂局方作“身”。

② 芦叉：太平惠民和剂局方作“苗”。

③ 各三两：太平惠民和剂局方 当归、肉桂、白芷、没药、防风剂量为“各三分”。

筋脉拘挛，骨节疼痛，头面浮肿，手臂少力，腰背强痛，脚膝缓弱，屈伸不利，行履艰难，并宜服之。

骨碎补刮去毛，炒 自然铜醋淬九次 草乌头炮，去皮脐 威灵仙去苗 缩砂仁 半夏洗七次。各半两 牛膝酒浸一宿，焙干 苡蓉酒浸一宿，切，焙 白附子炮 荆芥穗各一两 一本各半两 地龙去土，微炒 没药各二钱半

右为细末，酒煮面糊圆，如梧桐子大，每服五七圆，温酒下，妇人醋汤或当归酒下，不计时候，孕妇不宜服。

乌荆圆：治诸风缓纵，手足不随，口眼喎斜，言语蹇涩，眉目瞬动，头昏脑闷，筋脉拘挛，不得屈伸，遍身麻痹，百节疼痛，皮肤瘙痒，抓成疮疡。又治妇人血风，浑身痛痒，头疼眼晕，及肠风藏毒，下血不止，服之尤效，久服令人颜色和悦，力强轻健，须发不白。朱氏集验方治风症手足，亦治便血。

川乌头炮，去皮脐，一两 荆芥穗二两 简易方不见火

右为细末，醋面糊圆，如梧桐子大，每服贰拾粒，酒或熟水下，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、施圆端效方同，简易方酒饮茶清任下。有疾得效方有痰。食空时日三四服，卫生宝鉴同，简易方空心，日三服。无疾得效方无痰。早晨一服。有少府郭监丞，少病一本作府。风挛搐，头额简易方颞颥。宽鞞不收，手盛①颌简易方承颌。然后能食，服此六七服即瘥，遂长服之，已五十馀年，年七十馀，强健须发无白者。此药疗肠风下血尤妙，累有人得效，予所自②见，下血人服此而差者，壹岁之内，已数人矣。简易方一名荆附圆。

太阳丹③方见伤寒门。如圣饼子④方见诸气门。没药降圣丹⑤方见折伤门。

乳香没药圆⑥ 治男子妇人一切风气，通经络，活血脉，治筋骨疼痛，手足麻痹，半身不遂，暗风头旋，偏正头风，小中急风，手足疼痛，牙关紧急，四肢软弱，肾藏风毒，

上攻头面，下疰腰脚，生疮，遍体疼酸，并宜服之，孕妇不可服。

踯躅花炒 当归洗，焙干，炒 木鳖子去壳 藿黄⑦去枝梗 五灵脂拣去沙 僵蚕洗，去丝嘴，焙 白胶香拣 白芷各七十二两 抚芎一百单八两 草乌头六百四十八两，炒 地龙一百四十四两 威灵仙二百二十二两，洗 何首乌二百四十四两，洗

右为末，醋涂⑧圆，如梧桐子大，每服五圆，不可多服，食后用薄荷茶吞下，温酒亦得。

七圣散：治风湿流注经络间，肢节缓纵不随，或脚膝疼疼⑨，不能步履。朱氏集验方治老人脚膝疼痛，不可履地。

杜仲集验方姜炒 续断 萆薢 防风 独活 牛膝酒浸一宿 甘草⑩

右件各修事净，焙干半两为细末，每服贰钱，温酒调下，集验方食前服，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

白龙圆：治男子妇人一切风，遍身疮癣，手足顽麻，偏正头疼，鼻塞脑闷，大解伤寒，治头风。

川芎 藁本一本去土 细辛 白芷 甘草 各等分

右为细末，每四两药末，入煨了石膏末一斤，水搜为圆，每一两作捌丸，每服一圆，食后薄荷茶嚼下。风虫牙痛一圆，分作叁服，乾揩后盐汤嗽之，更用葱茶嚼下。

活血应痛丸：治风湿客于肾经，血脉凝滞，腰腿重疼，不能转侧，皮肤不仁，遍身麻木，上攻，头面虚浮，耳内常鸣，下疰，腰膝重痛少力，行履艰难。亦治项背拘挛，

① 盛：太平惠民和剂局方作“承”。

② 自：太平惠民和剂局方作“目”。

③ 太阳丹：方见本书卷五十二伤寒门二十六。

④ 如圣饼子：方见本书卷八十七诸气门二。

⑤ 没药降圣丹：方见本书卷一百八十七折伤门二。

⑥ 乳香没药丸：本方名为乳香没药丸，但方中无乳香、没药，存疑待考。

⑦ 黄：太平惠民和剂局方作“香”。

⑧ 涂：太平惠民和剂局方作“糊”。

⑨ 疼：太平惠民和剂局方作“痛”。

⑩ 草：太平惠民和剂局方此下注有“等分”二字。

不得舒畅，常服活血脉，壮筋骨，使气脉宣流。

草乌头一斤半，炮 一本一斤半，半炮 没药一十三两，别研 威灵仙二斤 一本洗 苍术六斤 米泔浸一宿，去皮 香附子去须毛，炒，七斤半 狗脊四斤，刮去毛 陈皮洗，去蒂，五斤半

右为细末，用酒煮面糊圆，如梧桐子大，每服十五圆至贰拾圆，温酒或熟水任下，不拘时候。久服忌桃、李、鸽、雀、诸血物。

四生散：治男子妇人肝肾风毒，上攻眼赤痒痛，不时羞明多泪，下注脚膝生疮，及遍身风癣，服药不验，居常多觉两耳中痒，正宜服此，无不取效。

沙苑蒺藜 川羌活 白附子 黄耆并生用 右件各等分为细末，每服贰钱，薄荷酒调下。如肾藏风下注生疮，以腰子医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方猪腰子。批开，以药末贰钱合定，纸裹以水润湿煨香熟，空心细嚼，以盐酒送下。

通关散：治中风伤寒，发热恶风，头痛目眩，鼻塞声重，肩背拘急，身体酸疼，肌肉跳动，牙关紧急，及久新头风，攻注①眼暗，并宜服之。

川芎一两 细辛半两 甘草 川乌 白芷 抚芎各二两 龙脑薄荷叶一两半

右为细末，每服壹大钱，葱白茶清调下，薄荷汤亦得。

四斤圆：治体虚气弱，风寒湿毒客于经络，血脉凝滞，腰腿沉重，筋骨缓弱，四肢酸疼，麻痹不仁，间或肿痒，脚膝简易方手脚。无力，隐痛拘挛，不能履地，一切新久诸肿简易方诸种。脚气，悉治之。一本治肾经不足，下攻脚，腿膝肿痒，不能屈伸，脚弱少力，不能踏地，脚心隐痛，行步喘乏，筋脉拘挛，腰膝不利，应风寒湿痹，脚气缓弱，并宜服之。

宣州木瓜去瓢，切，焙干 牛膝去芦，锉，焙 苁蓉洗净，切，焙 天麻去芦，细锉。各一斤

已上四味，如前修事了，用无灰酒五升，浸②五日，夏三日，冬十日足，取出焙干，再入：虎骨一两 一本及直指方、得效方二两，诸方酥炙 附

子二两，炮，去皮脐

右同为细末，用浸前药酒，打面糊为圆，如梧桐子大，每服三五十圆，或盐汤 一本空心，煎木瓜酒下或盐汤，简易方温酒或盐汤。吞下，食前服，此药常服补虚除湿，大壮筋骨。直指方右为末，用浸药酒，调面糊圆如桐子大，每服叁肆拾圆，食前温酒或豆淋酒下。又方加当归叁分，乳香、没药、五灵脂各半两，麝香一钱，名大四斤圆，用木瓜煎汤，亦治脚气。得效方同。

铁弹圆：得效方名大铁弹圆。治卒暴中风，神志昏愤，牙关紧急，目睛直视，手足痲痲，口面喎斜，涎潮语涩，筋挛骨痛，瘫痪偏枯，或麻木不仁，或搔痒无常，应是风疾，及打扑伤损，肢节疼痛，并皆治之，通经络，活血脉。

乳香 没药各一两，别研 五灵脂四两，为细末 一本酒浸，淘去沙石，晒干 麝香一钱，细研 得效方生麝香 川乌头一两半，为末 一本及直指方、得效方炮，去皮尖脐

右先将乳香、没药于阴凉处细研，直指方、得效方乳香以干竹叶包裹，用熨斗火熨过，即研成末 次入麝香，次入药末，再研，滴水和圆，如弹子大，每服一圆，薄荷酒磨③下，食后临卧服。

大圣一粒金丹：续添名大圣保命丹。治男子妇人急患中风，左瘫右痪，手足痲痲，口眼喎斜，涎潮语涩，遍身疼痛，偏正头风，凡属风疾，悉皆治之。

白蒺藜炒，去尖④ 五灵脂去石，研 白僵蚕炒，去丝嘴。各一两 细香墨磨汁 麝香净肉研 白矾枯，别研 没药别研 朱砂别研。各半两 大黑附子 大川乌头各炮去皮尖 新罗白附子炮。各二两 金箔二百箔，为衣

右黑附子、川乌头、白附子、白蒺藜、白僵蚕、五灵脂为末，后研白矾、没药、麝香、朱砂，合和，用井华水一盞，研墨尽为

① 注：太平惠民和剂局方作“痰”。

② 浸：太平惠民和剂局方此下有“春秋各”三字。

③ 磨：太平惠民和剂局方此下有“化”字。

④ 尖：太平惠民和剂局方此下有“刺”字。

度，将墨汁搜和，杵臼内捣五百下，圆如弹子大，续添作每一两作六圆。金箔为衣，窖干，每服壹粒，食后临卧，生姜自然汁磨化，入热酒服，再以热酒随意多少饮之，就无风暖处卧，衣被盖复，汗出即瘥，病少，每粒分贰服，忌发风物，孕妇不可服。王氏易简方大川乌炮，去皮脐 黑附子同上 白附子炮制。各二两 一方各一两 五灵脂一两，或作半两 白僵蚕一两，炒去丝，一方作半两 白蒺藜一两，炒去刺，或半两 没药半两，别研 朱砂半两，一作一分 白矾半两，枯，同研令十分细 麝香半两，研细，一作一字 香墨半两，火微窖 金箔二百片 右先将前陆味，同为末，却以后四味，研调同合，和令匀，用井花水一大盏，研墨尽为度，将汁搜和，用臼杵五百下，和圆如弹子大，金箔为衣，窖干，每服一粒，用生姜一两，去皮，擦取自然汁，将药圆于汁内磨化尽，用无灰热酒一大盏，浸汁温服，更随量多少，吃温酒一二升投之，以助药力，用衣被盖覆，如汗出为效，势重者，日进贰服，不计时候。是斋医方浙漕吕仲发传，治男子妇人一切风疾，气血俱虚，阴阳偏废，卒暴中风，僵卧昏塞，涎潮搐搦，不省人事，失音舌强，手足边曳，口眼喎斜，或瘫痪偏枯，半身不遂，语言蹇涩，举止错乱，四肢麻痹，及治癰痼倒卧，目瞑不开，涎盛作声，或角弓反张，目睛直视，口禁闷绝，牙关紧急，并治风搏于阳经，目眩头痛，耳作蝉鸣，皮肤瞤搐，频欠喜睡，项强拘急，不能回顾，及肾藏风虚，脚膝疼痛，步履艰难，偏风流注一边，屈伸不得，此药无问新久，并能治之，每服一粒，用生姜半两，和皮擦取自然汁，将药丸于姜汁内化尽为度，用无灰酒半盏，暖热，同浸化，温服，量病人酒性多少，更吃温酒一二升投之以助药力，次用衣被盖覆，使①卧汗出为效。势轻者，每服半丸，不拘时候，如有风疾，常服尤佳。补益五藏，固密真元，通流关节，祛逐风邪，壮筋续骨，又名保命丹，大有神效，不可具述，可宝，情济世。白

附子一两，炮 朱砂二钱半，研 大附子一两，炮，去皮脐 麝香二钱半，研 五灵脂半两，去石 川乌头一两，炮，去皮脐 白矾半两，枯了秤 没药半两，研 白蒺藜半两，炒去尖刺 细墨二钱半，磨汁 白僵蚕半两，净洗炒去丝 续添药材与局方一粒金丹同 右件为细末，拌匀，用前墨汁和药，每两分作六元，窖干，用金箔为衣，依前法服。得效方同。简易方治证与是斋方同，药材与局方同。右细末，合和用松烟墨半两，并花水磨汁搜圆，每两作六圆，用金箔二百片为衣，窖干，每一圆用生姜半两，取自然汁磨化，用无灰酒暖热半盏，同药温服，量病人酒性能饮多少，更吃温酒一二斗投之，以助药力，次用衣被盖覆，使卧汗出为效，势轻者半圆，不拘时。直指方同。叶氏于本方中去麝香，增天麻、防风、乳香，减没药、朱砂、白矾各一分。余依本法，治一切风，及头面诸风，皮肤不仁，多生癰疹，手足顽麻，名万灵丹。一法于本方前四味减半，后六味等分，制料、服饵之法并同，如病势危急，不暇求姜酒，即以白汤磨，先擦牙龈，牙关宽，便可灌药，药下即苏，亦名大圣一粒金丹。本方中增防风一两、全蝎一分，治中风瘫痪，涎潮不语，手足麻痹，痛痒不知，名大圣镇风丹。

乳香应痛圆：治一切风气，左瘫右痪，口眼喎斜，半身不遂，语言蹇涩，精神恍惚，痰涎壅塞，筋脉拘挛，或遍身顽痹，走注疼痛，脚膝缓弱，行步艰难。又治打扑伤损，瘀血不散，痛不可忍，或行路劳伤，脚膝浮肿疼痛，或肾藏风虚，上攻，面肿耳鸣，下注，脚膝沉重，及偏正头疼，攻注眼目，并皆疗之。

白僵蚕炒，去丝鬚 草乌头炮，去皮尖。各十二两 虎骨酥炙令焦 赤小豆生。各六两 龙骨四两半 一本酒浸一宿，焙干，研粉，水飞三度，日干 木鳖子七十箇仁②

① 使：太平惠民和剂局方作“便”。

② 木鳖子七十箇仁：太平惠民和剂局方作“木鳖仁七十二只，别研”。

乳香 六钱，重研 全蝎 七十箇，去尾针^① 蜈蚣 六条，去尾针，以薄荷叶裹，煨熟 天麻 去芦，洗 川牛膝 去芦，酒浸 川当归 去芦，酒浸 白胶香 炼过。各三两

右为细末，用醋糊圆，如梧桐子大，每服伍圆至柒圆，冷酒吞下，或冷茶清下亦得，不计时，忌诸热物，一时辰久，此药但临睡服，尤妙。忌热面炙烤、鲇脯、发热动风等物。

省风汤： 治卒急中风，口禁全不能言，口眼喎斜，筋脉挛急，抽掣疼痛，风盛痰实，旋晕僵仆，头目眩重，胸膈烦满，左瘫右痪，手足麻痹，骨节烦疼，步履艰辛，恍惚不定，神志昏愤，应一切风证，可预服之。

天南星 生用 防风 去芦。各四两 甘草 生用 半夏 米泔浸一宿 一本及玉机微义白好者，水浸洗，生用 黄芩 去粗皮。各二两 袖珍方一两

右咬咀，每服肆大钱，袖珍方一两。用水貳大盏，生姜拾片，煎至一中盏，去滓温服，不拘时候。 玉机微义右生姜煎汤^② 滓，每半两。

追风散： 治年深日近，偏正头痛，又治肝脏久虚，血气衰弱，风毒之气上攻，头痛，头眩，目晕，心忪，烦热，百节酸疼，脑昏目痛，鼻塞声重，项背拘急，皮肤瘙痒，面上游风，状若虫行，及一切头风，兼治妇人血风攻症，头目昏痛，并皆治之。常服清头目，利咽喉，消风壅，化痰涎。 又方见后。

川乌 炮，去皮脐尖 防风 去芦叉 石膏 煨 川芎 洗，去土 甘草 炙 荆芥 去梗 白僵蚕 炒，去丝嘴。各一两 天南星 炮 羌活 洗，去土 天麻 去芦 全蝎 去尾针 一本微炒 白附子 炮 地龙 去土 一本炙 白芷 各半两 草乌 炮，去皮尖 没药 细研 乳香 细研 雄黄 研。各一分

右为细末，每服半钱，入好茶少许同调，食后及临睡服。 直指方同。

乳香圆： 治一切风疾，左瘫右痪，口眼喎斜，半身不遂，语言蹇涩，清^③神恍惚，痰涎塞壅，手足弹曳，筋脉拘挛，或遍身顽痹，走注疼痛，脚膝缓弱，行步艰辛。又治

打扑伤损，瘀血不散，痛不可忍，或行路劳伤，脚膝浮肿疼痛，或肾脏风毒，上攻面肿耳鸣，下注脚膝沉重，并皆治之。

白附子 炮 天南星 炮 白芷 锉 没药 研 赤小豆 一本生 荆芥 去梗 藿香 洗，去土 骨碎补 去毛 乳香 研。各一两 五灵脂 去沙土 川乌 炮，去皮尖 糯米 炒。各二两 草乌头 炮，去皮尖 京墨 煨。各五两 松脂 半两，研

右为细末，酒煮面糊圆，如梧桐子大，每服拾圆至拾伍圆，冷酒吞下，茶清亦得，不拘时，忌热物一时辰。

黑神圆： 治男子女人 左瘫右痪，脚手顽麻，腰膝疼痛，走注四肢，百节皆痛，并宜服之。 又方见后。

熟干地黄 洗 赤小豆 一本生 干姜 炮 藁本 洗，去芦 麻黄 锉，去节，汤去沫 川芎 洗。各六两 草乌 一斤，炮去皮尖 藿香 洗，去土 烧^④墨 各半斤 一本醋淬 白芷 十二两 川乌 炮 甘草 锉。各十八两 羌活 不见火 甘松 洗，去土 当归 洗，去芦。各三两

右为细末，以水煮面糊圆，如龙眼大，每服壹貳粒，细嚼茶酒任下。如妇人血风，脚手疼痛，打扑伤损亦宜服之。

拒风丹： 治一切风，寻常些小伤风，头痛鼻塞，项强筋急，皆可服之。

天麻 去芦 甘草 各一两 直指方炒 防风 一两半，去芦叉 川芎 四两 茺菔 半两 细辛 叁钱半，洗去土 直指方半两

右为细末，炼蜜圆，如龙眼大，每服一粒，细嚼，荆芥汤或温酒送下亦得，食后服之立效。 直指方右末炼蜜和杵，每两作三十圆，每服壹圆，细嚼，荆芥酒下；伤风鼻塞，项强头疼，姜汤下。

急风散： 治男子妇人偏正头疼，夹脑风，太阳穴痛，坐卧不安。

生川乌 炮，去皮脐 辰砂 研，飞。各二两 生南

① 针：太平惠民和剂局方此下有“微炙”二字。

② 汤：按文义此下应有“去”字。

③ 清：太平惠民和剂局方作“精”。

④ 烧：太平惠民和剂局方作“香”。

星 四两，洗，去皮

右为细末，每用酒调涂痛处，兼治小儿伤风，鼻塞清涕，酒调涂囟门上，不可服之。

三生饮：治卒中，昏不知人，口眼喎斜，半身不遂，咽喉作声，痰气上壅，无问外感风寒，内伤喜怒，或六脉沉伏，或指下浮盛，并宜服之，直指方但脉沉无热者，可服。兼治痰厥气厥，及气虚眩晕，大有神效。

南星 生用，一两 川乌 生，去皮 附子 生，去皮。
各半两 木香 一分

右咬咀，每服半两，水二大盏，姜十五片，清家方、医方大成、玉机微义十片。前①至八分，清家方六分。去滓温服，大成又云：不省人事者，以苏合香圆擦牙，灌以生姜自然汁。不拘时候。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方与大成同。直指方右咬咀，每服三钱，水一盏半，姜十厚片，煎取半，微温服。简易方治卒中昏不知人云云，悉有神效。与本方同。口开手散，眼合遗尿，声如鼾睡者，并难治。药材与本方同。右咬咀，每服半两，水二盏，姜十片，煎六分，去滓温服。痰饮厥逆，气虚眩晕，止用本方；若头目昏疼，肌肉掣动，气息短急，及颠痫等忌，多由痰气所致，此药尤宜。亦有用天雄代附子者。气盛人用天南星八钱，木香二钱，咬咀，分二服，每服水贰大盏，生姜十四片，直指方水盏半，姜十片。煎至六分，去滓温服，名星香饮。气虚人用生附子半两，直指方四钱。木香二钱，咬咀，分二服，每服水二大盏，生姜十四片，直指方水盏半，姜十片。煎至六分，直指方煎取半。去滓温服，名附香饮。用天南星、生附子等分，咬咀，每服三四钱，加南木香少许，水二盏，姜十四片，煎至七分，去滓服，治中风麻痹，兼疗手足十指疼痛，名星附汤。用附子、乌头、天雄三味等分，生用薄切，每一两生姜对半，用水三盏，煎盏半，去滓温服，治中风风涎，不省人事，名三建汤。赵奉议方，用附子一枚七钱重者，天雄一枚一两重者，天南星一枚一两重者，并生用去皮脐，蝎梢半两，咬咀，生姜

煎服，治中风涎潮，牙关紧急，不省人事，正宜服此药，名雄附省风汤。用附子、天南星各一两，直指方各三两。生，用全蝎半两，直指方一分。川芎、防风各一分，咬咀，姜煎服，直指方每三钱，姜十片，气不和，加木香。治诸风卒中，涎潮痰厥，神昏，直指方语涩神昏。名大醒风汤。用天南星四两生，用防风二两，甘草一两，咬咀，每五钱，水二盏，姜十片，煎七分，去滓温服，治中风口噤，全不能语。左瘫右痪，口眼喎斜，半身不遂，手足顽麻，诸风痰作，头目眩晕，并皆治之。若气不和，加木香二钱半；头目如虫行者，加全蝎一钱；头晕疼痛者，加天麻半两煎，临熟入麝香少许，名三奇汤。资寿方用附子、南星各一枚八钱以上重者，生，去皮脐，咬咀，以水四升，姜三十片，同煎，候水减半，即滤去滓，调后药：蝎梢、白僵蚕炒黄去丝，各三钱，为末，分三服。治中风语涩涎盛，四肢不举，用附子一个，羌活、乌药各一两，咬咀，每半两，水四盏，慢火煎至二盏，去滓，分二服，治中风偏废，名羌活散。用熟附子、干姜等分，咬咀，每四钱，水一盏，煎至六分，去滓温服，中风口噤，四肢强直，失音不语，或卒然晕倒，口吐涎沫，状如暗风，手足厥冷，或复烦躁，名姜附汤。用熟附子、人参各半两，茴香炒、茯苓、山药各一分，粉草炙、干姜炮各七钱半，咬咀，生姜盐煎，治因房室虚乏，为风所中，恶风多汗，身疼骨痠，曰内风，名附子汤。王氏验方同。风之为病，善行数变，其中人也卒，其眩人也晕，激人涎浮，昏人神乱，仓卒之间，何者为治？治者不过乌、附、南星、木香辈，最为切用，亦须审量其人气体虚盛，然后投药，则万不失一，诸方用药皆相近，但略有少差耳！并集于三生饮下，以俟选择。易简方治证、药材与本方同。右咬咀，每服半两，水二盏，一本作二大盏。姜十片，煎至六分，去滓温服，或口噤不省人事者，用细辛、皂

① 前：太平惠民和剂局方作“煎”。

角各少许为细末，或只用半夏为末，以芦管吹入鼻中，候喷嚏，其人少苏，然后进药。一法气盛人，止用天南星捌钱，木香一钱，加生姜十四片，煎作两服，服之，名星香散。一法气虚人，用生附子，并木香、生姜，亦如前数煎服，名附香饮，或用天雄代附子亦效。痰涎壅盛者，每服加全蝎五枚，仍服养正丹镇坠之，以其用硫黄、黑锡皆有利性，则痰涎随去矣。因气中者，以沸汤化苏合香圆，乘热灌下，仍用前药汁浓磨沉香一呷许，再煎一沸，服之。凡初得病，疑似之间，皆可用此，俟服前药已定，审其得病之因，若灼然中风，方用省风汤、小续命汤之类。中寒则用附子理中汤、姜附汤之类。中湿则用白术酒、术附汤之类。一本此下云：中暑不附于此，可于续命饮方中求之。痰饮厥逆，气虚眩晕，止用本方，不必加减。若头目昏疼，肌肉颤动，气息短急，及癫痫等患，多由痰气所致，此药尤得其宜。澹寮方又云：施发著续易简方谓王氏云，治卒中，昏不知人，痰气上壅，咽喉作声，无问外感风寒，内伤喜怒，或六脉沉伏，或指下浮盛，并宜服之，其误后学多矣。殊不知中风、中寒、中湿、中气，六脉沉伏者，固可随证增损用之，若指下浮盛，其脉必浮而洪数，此即挟热中风之候，乌可投以乌附大热之剂？如或用此，是以火益火耳！须先以稀涎饮，微微去其涎，俟稍苏，然后以加减小续命汤发散之，斯为得矣。今之为医者，所习多易简，凡见中者，不辩其冷热，遽投三生饮，三生未效，易以三建汤，三建复然，其技止于重丹而已，欲侥幸万一之中，而有时足以害人，皆王氏启之也。更有中暑一证，亦使人噎闷，昏不知人，其脉则虚弱而微迟，或者不审，以三生饮治之，祸不旋踵，可不谨诸，是乃施发之说也。继洪尝读医余一编，有谓中风脉无不大者，非热也，是风脉也。又中疾，气郁痰结，脉多沉伏，故亦有浮而非热，沉而非实者，是乃王氏不拘脉而用三生饮之祖意也，亦未为全

不是，然则果其脉浮数而证有挟热，岂不误人哉！王氏又云：不问外感内伤，失之尤甚焉，固不可讳施发之说也，第施之辨脉，犹未详，攻王之辞，亦有强而夺理处，故愚尝谓诸师易简方论，交相抵诃，各有偏枯^①，且惟能纷纷于药裹^②，更不言及人之脏腑有阴阳，禀赋有厚薄，安得公论之士为之裁断云！

大醒风汤：治中风痰厥，涎潮昏运，手足搐搦，半身不遂，及历节痛风，筋脉挛急，并皆治之。

天南星 生用，八两 防风 生用，四两 独活 生用 附子 生，去皮脐 全蝎 微炒 甘草 生用，各二两

右咬咀，每服四钱重，水二大盏，生姜二十片，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、水类铃方水一盏，姜十片。煎至八分，去滓温服，不拘时候，日进贰服。

五痹汤：水类铃方又名舒经汤。治风寒湿邪，客留肌体，手足缓弱，麻痹不仁，或气血失顺，痹滞不仁，简易方不行。并皆治之。

羌活 白术 防己 各一两 片子姜黄 一两，洗，去灰土 甘草 微炙，半两

右咬咀，每服四钱重，水壹盏半，生姜十片，医方大成、南北经验方、袖珍方七片。煎至八分，去滓，病在上，食后服，病在下，食前服。医方集成同。简易方又云：治臂痹痛，用羌活一两 白术二两 片子姜黄四两 甘草一两，炙为粗末三钱，水壹盏半，煎至七分，去滓服，名舒荆汤。自闻尝苦左臂痹痛，或以为饮，或以为风、为湿，诸药悉投，继以针艾俱不效，一日见陈旻卿云：其亲苦此，且年高，难用药，有德清县尉传一方云，可三服而愈。盖是血气留滞，经络不行所致，非风、非饮、非气、非湿，但只能治腰以上疾，若腰以下则药力不至也，服三服而愈，余服之亦然，后见王伯举，因语及此，且恨不能治腰以下疾耳！伯举云：吾有方谓之五痹汤，与此用

① 枯：按文义疑作“估”。

② 裹：按文义疑作“里”。

药一同，但添海桐皮、当归、赤芍药三味各二两，如腰以下疾，则食前服，腰以上疾，则食后服，用之皆验。

寿星圆：治心腹因惊，神不守舍，风涎潮作，手足抽掣，事多健忘，举止失常，神情昏塞，并宜服之。

天南星 一斤，先用炭火三十斤，烧一地坑通红，去炭，以酒五升，倾坑内，候渗酒尽，下南星在坑内，以盆覆坑，周回用灰拥定，勿令走气，次日取出，为细末 **朱砂** 二两 **琥珀** 一两，各别研

右研停，生姜汁煮面糊圆，如梧桐子大，每服三十圆加至五十圆，煎石菖蒲人参汤送下，食后临卧服。严氏济生方治因病惊忧，涎留心胞，精神不守，谵言妄语，不得安卧。天南星一斤，生用 琥珀一两，别研 朱砂水飞，二两 右为细末，和匀，用生姜自然汁，打面糊为圆，如菉豆大，每服四十圆，不拘时候，用人参、石菖蒲煎汤送下，淡姜汤亦得。若心气狂甚，入铁艳粉一两。医方大成治因事惊心，神为^①守舍，以致事多健忘，或痰迷心窍，妄语，如有所见。天南星一斤，先用炭火三十斤，烧一地坑，通红，去炭，以酒五升，倾坑内，候渗酒尽，下南星在坑内，以盆覆坑，周回用灰拥定，勿令走气，次日取出，为末 朱砂 别研，二两 琥珀别研，一两 水类铃方或去琥珀亦效。济生方心气狂甚，加铁艳粉乙两 右各研，用生姜汁煮面糊为圆，如梧桐子，每服三十圆加至五十圆，煎石菖蒲人参 铃方有姜字。汤，食后送下。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

左经圆：治筋骨诸疾，手足不随，不能行步运动，但不曾针灸伤筋脉者，肆伍圆必效，此药尤能通行荣卫，导经络，专治心肾肝叁经，服^②小便少淋涩，乃其验也。又方见后。

木鳖子 去壳，别研 **白胶香** 研 **草乌头** 内白者，生，去皮脐 **五灵脂** 各三两半 **斑猫** 一百箇，去头足翅，少醋煮熟 **当归** 去土，一两

右后四味为末，与前二味和停，用黑豆去皮生杵粉壹斤，醋煮为糊和药，圆如鸡头大，每服壹圆，酒磨下。

活络丹：治丈夫元脏气虚，妇人脾血久冷，诸般风邪，湿毒之气，留滞经络，流注脚手，筋脉挛拳，或发赤肿，行步艰辛，腰腿沉重，脚心吊痛，及上冲腹肋膨胀，胸膈痞闷，不思饮食，冲心闷乱，及一切痛风走注，浑身疼痛。

天南星 炮 **川乌** 炮，去皮尖^③ **草乌** 炮，去皮尖^④ **地龙** 去土，各六两 **乳香** 研 **没药** 研，各二两二钱

右为细末，入研药和匀，酒面糊圆，如梧桐子大，每服贰拾圆，得效方止拾圆。空心日午，冷酒送下，荆芥茶下亦得。

七生圆：治丈夫妇人三十六种风，五般腰疼，打扑伤损，入骨疼痛，背膊拘急，手足顽麻，走注不定，筋肋一本作筋脉。挛缩。

五灵脂 去石 **松脂** 去木 **地龙** 去土 **川乌** 炮，去皮尖^⑤ **天南星** 炮 **荆芥** 去枝梗，各一两 **草乌** 去皮尖，二两

右为细末，醋打面糊圆，如梧桐子大，每服伍圆至柒圆，茶酒任下，久患风疾，并皆治之，孕妇不可服。

川芎茶调散^⑥ 方见伤寒门。

黑龙圆：治一切中风头疼。

天南星 洗 **川乌** 乌豆蒸叁次 一本去皮尖 **软石膏**^⑦ 各半斤 **京墨** 一两半 一本不烧 **干薄荷叶** **麻黄** 去根节，各四两 **香白芷** **藁本** 各二两 一本洗

右为细末，炼蜜杵圆弹子大，每服壹圆，薄荷茶嚼下。

惊气圆：治惊忧积气，心受风邪，发则牙关紧急，涎潮昏塞，醒则精神若痴，大宜服之。

紫苏子 炒，一两 **干蝎** 去针，微炒一分 医方大成去针尾毒，一钱 **附子** 去皮脐，生用 **花蛇** 酒炙熟，去皮骨 **白僵蚕** 微炒 **橘红** 大成一两 **天麻** 去苗 **麻黄** 去根节

① 为：按文义应作“不”。

② 服：太平惠民和剂局方此下有“后”字。

③ 尖：太平惠民和剂局方作“脐”。

④ 尖：太平惠民和剂局方作“脐”。

⑤ 尖：太平惠民和剂局方作“脐”。

⑥ 川芎茶调散：方见本书卷五十二伤寒门二十六。

⑦ 膏：太平惠民和剂局方此下注有“细研”二字。

南木香 大成一两 天南星 洗浸、薄切、姜汁浸一宿。各半两 朱砂^① 一分半，为衣 永类铃方云：一方去附子，加铁粉煎，金克肝木也，治狂厥之证

右为末，入脑麝少许，同研极停，炼蜜杵圆如龙眼大，每服壹粒，用金银薄荷汤化下，温酒亦得。医方集成、南北经验方、袖珍方、铃方与大成同。此方戊申年，军中一人犯法，褫衣将受刃，得释，神失如痴，与一粒服讫而寐，及觉病已失。江东提辖张载扬妻，避寇失心数年，授此方，不终剂而愈。又巡检黄彦妻，狂厥踰年，授此方去附子，加铁粉不终剂而愈。铁粉化痰镇心，抑肝邪，若多恚怒，肝邪太盛，铁粉能制服之。素问言：阳厥狂怒，治以铁烙^②，金制木之意也。

乳香宣经圆：治体虚，为风湿寒暑进袭，四气相搏，半身不遂，手足顽麻，骨节烦疼，足胫浮肿，恶寒发热，渐成脚气，肝肾不足，四肢挛急，遍身攻注，或闪肭打扑，内伤筋骨，男子疝气，妇人经脉不调，常服活血止痛，补虚壮筋骨。

威灵仙 洗，去芦 乌药 去木 茴香 淘去沙土，炒 川楝子 锉，炒 牵牛子 炒 橘皮 去白 草薢 微炙 防风 各二两 五灵脂 一本酒浸淘去沙石，晒干，研 草乌 乌豆一合同煮，竹刀切，透黑为度，去皮，焙 乳香 各半两 一本研

右为细末，酒糊为圆，如梧桐子大，每服五十圆，盐汤、盐酒任下，妇人醋汤下。简易方同。

换腿圆：治足三阴经虚，为风寒暑湿^③袭，挛痹缓弱，上攻胸胁肩背，下注脚膝疼痛，渐成风湿脚气，行步艰辛，足心如火，上气喘急，全不思食。

石南叶 羌活 一本去芦 石斛 酒浸 一本去苗 牛膝 酒浸 一本去苗 天南星 炮 黄耆 蜜炙 一本去芦 防风 去芦叉 草薢 一本微炙 薏苡仁 炒 天麻 一本去苗 当归 酒浸 一本去苗 续断 各一两半 木瓜 四两 槟榔 二两半

右为细末，酒煮面糊圆，如梧桐子大，每服五十圆，温酒盐汤任下。

四生圆：专治左瘫右痪，口眼喎斜，中风涎急，半身不遂，不能举者，悉皆治之。

五灵脂^④ 骨碎补 川当归 川乌头 去皮尖

右件各等分为细末，用无灰酒打面糊圆，如梧桐子大，每服七圆，渐加至拾圆、拾伍圆，温酒送下。如服此药，莫服灵宝丹，恐药无效。是斋医方、简易方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

轻脚圆：治左瘫右痪，脚弱不能行履。

白芍药 木鳖子 别研 白胶香 别研。各二两 是斋医方白服香 草乌头 四两，去皮 一本及是斋方、简易方 去皮尖 赤小豆 一两，别研为末，打糊 是斋方一升

右为细末，以赤小豆糊为圆，如梧桐子大，每服柒圆，旋加至拾圆，温酒或木瓜汤下。简易方不拘时。病在上，食后临卧服，病在下，空心服。忌热物少时。

大防风汤：祛风顺气，活血脉，壮筋骨，除寒湿，逐冷气；又治患痢后脚痛痿弱，不能行履，名曰痢风；或两膝肿大痛，脾胫枯腊，但存皮骨，拘挛跽卧，不能屈伸，名曰鹤膝风。服之气血流畅，肌肉渐生，自然行履如故。是斋医方此下云：善法寺僧，如真师孙遂良，绍熙壬子年，患痢之后，足履痿弱，遂成鹤膝风，两膝肿大而痛。脾胫枯腊，但存皮骨而已，拘挛跽卧，不能屈伸，待人抱持而后能起，如此数月，分为废人，淮东赵德远参议之甥，李二十七官人，惠以此方，服之气血流畅，肉亦渐生，遂能良行，不终剂平复如故，真奇方也。

熟干地黄 洗 防风 去芦 杜仲 去粗皮，炒令丝断 川当归 洗^⑤ 医方大成、袖珍方一两，诸方酒浸，焙 黄耆 微炙 白芍药 白术 各二两 羌活 去芦 牛膝 去芦 一本及诸方酒浸，切，微炒 人参 去芦 甘草 炙。各一两 附子 炮，去皮脐 川芎 各一两半。抚芎不可用 诸方洗 右为粗末，每服五钱，医方大成、集成、南北经

① 砂：太平惠民和剂局方此下注有“研”字。

② 烙：太平惠民和剂局方作“粉”。

③ 湿：太平惠民和剂局方此下有“进”字。

④ 脂：太平惠民和剂局方此下注有“去石”二字。

⑤ 洗：太平惠民和剂局方此下有“去芦”二字。

验方、袖珍方、永类铃方四钱 水一觥半，入姜钱七片，大枣一枚，同煎八分，去滓温服，空心食前。是斋方此下云：又有人云煎四物汤，下四斤丸，遂良既安，不曾服也。四斤丸治脚气往来，相搏作痛。

经进地仙丹： 治男子五劳七伤，肾气虚惫，精神耗减，行步艰辛，饮食无味，眼昏耳焦，面色黧墨^①，皮肤枯燥；女人血海虚冷，月经不调，脏寒少子，下部秽恶。又治诸痔瘕疮，肠风下血，诸风诸气，并皆疗之。

木鳖子 去皮 地龙 去土。各三两 覆盆子 白附子 兔丝子 酒浸 赤小豆 天南星 一本汤洗，姜汁制，焙 骨碎补 去毛 川羌活 何首乌 狗脊 金毛者，括去毛 萆薢 防风 去芦叉 乌药 各二两 川椒 去目^② 附子 炮 川牛膝 酒浸 苡蓉 酒浸^③。各四两 甘草 川乌 炮 白茯苓 白术 各一两 绵黄耆 人参 各一两半

右为细末，酒煮面糊圆，如梧桐子大，每服叁拾圆，加至肆拾圆，空心，温酒吞下。此方陶隐居编入道藏经云，是时有人母，幼年得风气疾，后击^④发挛结疼痛，久不能起，百治不差，卧床五十余年，脂肉消尽，仅存筋骨，乃于隐士处得此方，依方修合，日进貳服，才至五百余服，是母病顿除，发白再黑，齿落更生，至八十岁，颜色如二十岁人，筋力倍壮，耳聪目明。时有老奴常偷服其药，严冬御絺葛，履霜雪无寒色，负荷倍重于常时，行步如飞，疑为鬼物所凭，遂打杀埋于水傍沙中，久复为怪，而里俗且云，凡奴婢死为怪^⑤，但折其胫，令不得动作，遂掘出折其胫，见其髓^⑥尽实，如黄金色，折其臂亦然，灵效颇异，隐居云：此奴若不打杀，成地仙矣。

伏虎丹： 专治左瘫右疾。张徽猷方。

草乌头^⑦ 天南星 踯躅花^⑧ 白胶香 各一两 五灵脂 半两 蔓荆子 去白 生干地黄 白僵蚕^⑨ 各一分

右为细末，酒煮半夏末为糊，圆如龙眼大，每一圆分肆服，酒吞下，日进貳服。此方乃建康府乌巷有一老人，姓钟，平生好

道，朝夕瞻仰茅山，缘多酒，偶患风疾，百治无效，一日忽有一道人至，言其因酒大过，教服此药，道人遂不见，服之果验，乃知仙方。

乌药顺气散： 治男子妇人一切风气攻注，四肢骨节疼痛， 瘧寒方胸疼痛，王氏集验方胸背疼痛，经验良方胸胁疼痛。遍身顽麻， 医方大成此下云：凡卒中，手足瘫痪，言语蹇涩者，先宜多服此药，以疏气道，然后随证投以风药。 头目眩晕，及疗瘫痪，语言蹇涩，筋脉拘挛，又治脚气，步履艰难，脚膝软弱，妇人血风，老人冷气上攻胸臆，两胁刺痛，心腹膨胀， 腰仙活人心胸膈胀满，心腹刺痛。吐泻肠鸣。活人心此下云：远年近日加減一切治之。 三因方治风气不顺，手脚偏枯，流注经络，并湿毒进袭，腿膝挛痹，筋胸疼痛。 直指方治诸风战掉，拳挛，眩晕，喎邪，麻痹疼痛，亦主脚气。

麻黄 去根节 三因方去节，汤 陈皮 去白 良方各一两半 乌药 去木。各二两 川芎 白僵蚕 去丝嘴，炒 玉机微义半两 枳壳 去瓢，麸炒 白芷 甘草 一本炒 诸方或炙或炒 桔梗 各一两 诸方去芦 干姜 炮，半两

右为细末，每服叁钱，水壹盏，姜叁片，枣壹枚，煎七分，温服。四时伤寒，憎寒壮热，头痛，肢体倦怠，加葱白叁寸煎，并服出汗差；闪挫身体疼痛，大成身体不能屈伸。 温酒调服，遍身瘙痒，一本及瘧寒方、大成、良方抓之成疮。用薄荷叁叶煎。常服疏风顺气，孕妇不可服。 医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方与大成同。 三因方右为末，每服二钱匕，水一盏，姜叁片，薄荷七叶，煎七分，空心服。治气，去薄荷，用枣子二枚，同煎。 直指方、必用全书、之书同。

① 墨：太平惠民和剂局方作“黑”。

② 目：太平惠民和剂局方此下有“并闭口者，炒出汗”七字

③ 浸：太平惠民和剂局方此下有“焙”字。

④ 击：太平惠民和剂局方作“作”。

⑤ 怪：太平惠民和剂局方作“鬼”。

⑥ 髓：太平惠民和剂局方作“骨”。

⑦ 头：太平惠民和剂局方此下注有“炮”字。

⑧ 花：太平惠民和剂局方此下注有“炒”字。

⑨ 蚕：太平惠民和剂局方此下注有“炒，去丝”三字。

活人心右每用水姜葱半，酒煎服。有拘挛加木瓜、石斛；湿气加苍术、浙术、槟榔；脚膝浮肿加牛膝、五加皮、独活；遍身疼痛加官桂、当归、没药、乳香；腰疼加杜仲、八角茴香；虚汗加黄耆，去麻黄；潮热去军姜，加黄芩、青藤根；胸膈胀满加枳实、莪术；夜间疼痛加虎胥骨、石楠叶、青木香；头眩加细辛、好细茶；脚不能举动加麝香、羌活、防风；心腹刺痛加茴香；手足不能起头加川续断、威灵仙；阴积浮肿合和五积散；四肢皆有冷痹加川乌、附子、交桂；麻痺疼痛极者合和三五七散；左瘫右痪加当归、天麻、白蒺藜；二三年不能行者，合和独活寄生汤；妇人血气加防风、薄荷、荆芥；日夜疼痛，午间轻，夜又痛，合和神秘左经汤。

秘方换腿圆：治肾经虚弱，下注腰膝，或当风取凉，冷气所乘，沉重少力，移步迟缓，筋脉挛痛，不能屈伸，脚心隐疼，有妨履地，大治干湿脚气，赤肿痛楚，发作无时，呻吟难忍，气满喘促，举动艰辛，面色黧黑，传送秘涩，并皆治之。

薏苡仁 当归 去芦 肉桂 去粗皮 天麻 去苗
石南叶 附子 炮，去皮尖 羌活 去芦 防风 去芦又
天南星 汤洗，去滑，姜汁炙，炒 石斛 去根 萆薢 微炙
川牛膝 酒浸，焙 黄耆 蜜炙 续断 各一两 槟榔 半两
干木瓜 四两 苍术 米泔浸，焙，一两半

右为细末，面糊圆，如梧桐子大，每服叁拾圆至五拾圆，空心温酒，或木瓜汤吞下，日进二三服。常服舒筋骨，轻足，永无脚气之患。一本此下云，昔人有此疾，服之一月，脚力顿健，委有换腿之功。

左经圆：治左瘫右痪，手足颤掉，语言謇涩，浑身疼痛，筋脉 简易方、得效方 筋骨拘挛，不得屈伸，项背强直，下注脚膝，行履艰辛，骨节烦痛，不能转侧，跌扑闪肭，外伤内损，并皆治之。常服通经络，活血脉，疏风顺气，壮骨轻身。

生黑豆 一斤，以麝香二十一箇，去头足，同煮，候豆胀

为度，去斑猫不用，取豆，焙干 简易方、直指方、得效方、医方大成一升，永类铃方二升 川乌 炮，去皮脐，二两 乳香 一两，研 没药 一两半 简易方、得效方、大成、铃方一两 草乌 四两，炮 直指方炮，去尖

右为末，醋糊圆梧桐子大，每服叁拾圆，温酒下，不拘时。医方集成、南北经验方、袖珍方与大成同。简易方又云：又方用木鳖子 去壳，别研 白胶香 研 草乌 生，去皮脐 五灵脂 各三两半 当归 一两 斑猫 百个，去头足翅，少醋煮熟 为末，用黑豆去皮，生捣粉一斤，醋煮为糊，圆如鸡头子大，每服一圆，酒磨下。凡筋骨疾，不曾针灸伤筋络者，进四五圆立效，此药专治肝心肾三经，服后小便少，乃其验也，亦名左经圆。

木瓜圆：治肾经虚弱，下攻腰膝，沉重少力，腿脚肿痒，疰破生疮，脚心瘾痛，筋脉拘挛，或腰膝缓弱，步履艰难，举动喘促，面色黧黑，大小便秘涩，饮食减少^②。

熟干地黄 洗 一本洗，焙 陈橘皮 去瓤 乌药 各四两 石南藤 杏仁 去皮尖 牛膝 酒浸 苁蓉 酒浸，焙 续断 干木瓜 当归 各二两 赤芍药 一两 黑牵牛 炒，三两

右为细末，酒糊圆，如梧桐子大，每服叁伍拾圆，空心木瓜汤吞下，温酒亦得。

追风应痛圆：治一切风疾，左瘫右痪，半身不遂，口眼喎斜，牙关紧急，语言謇涩，筋脉挛急，百骨节痛，上攻下疰，游走不定，腰腿沉重，耳鸣重听，脚膝缓弱，不得屈伸，步履艰难，遍身麻痺，皮肤顽厚。又治妇人血风攻疰，身体疼痛，面浮肌瘦，口苦舌干，头旋目眩，昏困多睡，或皮肤瘙痒，瘾疹生疮，暗风夹脑，偏正头疼，并能治之。

五灵脂 酒浸，淘去沙石，晒干，五两半 川乌 炮，去皮脐 何首乌 各六两 威灵仙 狗脊 去皮^③。各四两 乳香 研，一两

右为细末，酒糊为圆，每服十五圆加至貳拾圆，麝香温酒吞下，只温酒亦得，食稍

① 一：太平惠民和剂局方作“二”。

② 少：太平惠民和剂局方此下有“无问久新，并宜服之”八字。

③ 皮：太平惠民和剂局方作“毛”。

空服。常服轻身体，壮筋骨，通经活络，除湿去风，孕妇不可服。

磁石圆：治肾脏风毒上攻，头面浮肿，耳鸣眼暗，头皮肿痒，太阳穴痛，鼻塞脑闷，牙齿动摇，项背拘急，浑身瘙痒，瘾疹生疮，百节疼痛，皮肤麻痹，下注脚膝，筋脉拘挛，不能屈伸，脚下瘾痛，步履艰辛，并宜服之。常服能补益，去风明目，活血驻颜。

磁石 烧醋淬二十遍，捣罗如粉，十两 川芎 肉桂 去粗皮 赤芍药 黑牵牛 炒，各四两 草乌 炮，去皮脐，十四两 牛膝 酒浸，焙，六两 黄踯躅 炒，八两

右为细末，酒糊为圆，每服叁拾圆，煨葱盐酒吞下，煨葱茶亦得。偏正头疼生葱茶下；妇人血风，浑身疼痛，头目眩晕，面浮体瘦，淡醋汤下。日进叁服，大有神效。

胡麻散：治脾肺风毒攻冲，遍身皮肤瘙痒，或生疮疥，或生瘾疹，用手搔时，浸淫或①疮，久而不差，愈而复作，面上游风，或如虫行，紫癜白癞，顽麻等风，或肾脏风攻注，脚膝生疮，并宜服之。

胡麻 十二两 苦参 荆芥 各八两 甘草 炙 威灵仙 各六两 何首乌 洗，焙，十两

右为细末，每服贰钱，薄荷茶点，食后服，或酒调，或蜜汤点亦得。服此药后频频洗浴，贵得汗出而立效。袖珍方同。

黑神圆：治一切风疾，及瘫痪风，手

足颤掉，浑身麻痹，肩背拘急，骨节疼痛，兼疗妇人血风，头眩眼晕，精神困倦。

牡丹皮 白芍药 川芎 麻黄 去根节，各四两 赤芍药 甘草 各十两 草乌 炮 荆芥 各六两 乌豆 八两 何首乌 米泔浸，切，焙，十二两

右为细末，水糊为圆，如鸡头大，每服壹圆，细嚼，茶酒任下，不拘时候。妇人血风流注，用黑豆淋酒下；小儿惊风，煎金银汤下；伤风咳嗽，酒煎麻黄下；头痛，葱茶下。

追风散：治证与前追风散同。

白僵蚕 微炒，去丝嘴 全蝎 一本及医方集成微炒 甘草 炙 荆芥 各二两 集成炒 川乌 炮，去皮尖 防风 去芦叉 石膏 焙研，各四两 川芎 三两 麝香 一两，研一本三两

右为细末，每服半钱，好茶调下，食后临卧服。南北经验方、袖珍方、永类铃方与集成同。常服清头目，利咽喉，消风化痰。

苦参圆：治心肺积热，肾脏风毒，攻于皮肤，时生疥癩，瘙痒难忍，时出黄水，及大风手足烂壤②，眉毛脱落③。

苦参 三十二两 荆芥 去梗，十陆两

右为细末，水糊为圆，如梧桐子大，每服叁拾圆，好茶吞下，或荆芥汤下，食后服。一切风疾，并皆治之④。

大 全 本 草

劳铁 主贼风，烧赤，投酒中，热服之。

自然灰 主白癞风、疔疡，重淋取汁，和醋，先以布揩白癞风破，傅之，当为创，勿怪。

经验后方治心风秘 水银一两 藕节八箇 先研藕节令细，次入水银同研成砂子，丸如鸡头大，每服二丸，磨刀水下，一二服差。

孙用和治虚风不一散

膩粉一两 用汤煎五度如麻脚，慢火上

焙干，麝香半两，细研如粉，每服一字，温水调，但是风，临时服半钱，或一钱匕，看虚实加减。

铁屑炒使极热，用投酒中饮酒，疗贼风痉，又裹以熨液⑤，疗胡臭有验。

① 或：太平惠民和剂局方作“成”。

② 壤：太平惠民和剂局方作“坏”。

③ 落：太平惠民和剂局方此下有“一切风疾，并皆治之”八字。

④ 一切风疾，并皆治之：太平惠民和剂局方无此句。

⑤ 液：本草纲目卷八铁落条引苏恭云：“裹以熨液下疗胡臭，有验”，据此，应作“熨”。

王氏博济治风痼驱风散：

铅丹二两 白矾二两 为末，用三角埴相斗，以七十纸铺埴上，先以丹铺纸上，次以矾铺丹上，然后用纸包，却将十斤柳木柴，烧过为度，取出细研，每服二钱，温酒下。

赤铜屑熬使极热，投酒中，服五合，日三，主贼风反折；又烧赤铜五斤，内酒二斗中百遍，服同前，主贼风甚验。

御药院治风疹疼痒不可忍，赤土不计多少，研碎，空心温酒调下一钱。

陈藏器本草云：半天河，在槐树间者，主诸风，及恶疮风瘙疥痒，亦温取洗疮。

外台秘要治身体白驳，取树木孔中水洗之，捣桂屑唾和，傅驳上，日三，白驳者，浸淫渐长，似癣但无疮也。

野人闲话，朱真人灵验篇，有病者，患风疾数年不较，掘坑，令患者解衣坐于坑内，遂以热汤上淋之，良久，复以簟盖之差。

图经曰：小金牙酒，主风症百病，虚劳，湿冷缓不仁，不能行步，近人用之多效，故著其法云。金牙 细辛 地肤子 莽草 干地黄 蒴藋根 防风 附子 茵芋 续断 蜀椒各四两 独活一斤 十二物，金牙捣末，别盛练囊，余皆薄切，并金牙共内大绢囊，以清酒四斗，渍之，密泥器口，四宿酒成，温服二合，日三，渐增。

缸中膏：

主中风发狂，取膏如鸡子大，以热醋搅令消，服之。

碧海水煮浴，去风瘙疥癣。

夏禹神仙经：菖蒲薄切，令日干者三斤，以绢囊盛之，玄水一斗清者 玄水者酒也。悬此菖蒲，密封闭一百日，出视之如绿菜色，以一斗熟黍米内封中，十四日间，出饮酒，则一切三十六种风，有不治者，悉较。

菊花 主丈夫 妇人 久患头风眩闷，头发干落，胸中痰结，每风发即头旋，眼昏暗，不觉欲倒者，是其候也。先灸两风池各二七壮，并服此白菊酒及丸，永差。其法，春末

夏初，收软苗阴干，捣末，空腹取一方寸匕和无灰酒服之，日再，渐加至三方寸匕，若不饮酒者，但和羹粥汁服之亦得。秋八月合花，收暴干，切取三大斤，以生绢囊盛贮，浸三大斗酒中，经七日服之，三日。常令酒气相续为佳。今诸州亦有作菊花酒者，其法得于此乎。

图经曰：篋中方疗中风才觉，不问轻重，便须吐涎，然后次第治之。吐法：用羌活五大两，以水一大斗，煎取五升，去滓，更入好酒半升和之，以牛蒡子半升，炒下筛，令极细，以前汤酒斟酌调服，取吐。如已昏眩即灌之，更不可用下药，及缪^①针灸，但用补治汤饵自差。

经验后方治中风不语，独活一两，锉，酒二升，煎一升，大豆五合，炒有声，将药酒热投，盖良久温服三合，未差再服。

张仲景治风湿身烦疼，日晡剧者，以麻黄杏仁薏苡仁汤 麻黄三两 杏仁三十枚 甘草 薏苡仁各一两 四物以水四升，煮取二升，分温再服。

图经曰：古方白蒿治癰疾多用之，深师方云，取白艾蒿十束，如升大，煮取汁，以曲及米一如酿酒法，候熟，稍稍饮之，但是恶疾，遍体面目有疮者，皆可饮之。又取马新蒿，捣末，服方寸匕，日三，如更赤起，服之一年，都差平复。

经验后方治头风，化痰，川芎不计分两，用净水洗浸，薄切片子，日干，或焙，杵为末，炼蜜为丸，如小弹子大，不拘时，茶酒嚼下一丸。

陈藏器本草云：络石煮汁服之，主一切风，变白宜^②老。

孙真人食忌：治白癰风，以白蒺藜子，生捣为末，作汤服之。

唐许裔宗，初仕陈为新蔡王外兵参军，

① 缪：普济方卷八十九诸风门疗中风才觉不问轻重便须吐涎方无此字。

② 宜：本草纲目卷十八络石条引陈藏器作“不”。

时柳太后感风不能言，脉沉而口噤，裔宗曰：既不能下药，宜汤气熏之，药入腠理，周时可差，乃造黄耆防风汤数斛，置于床下，气如烟雾，其夕便得语，药力熏蒸，其效如此，因附著之，便善医者，知所取法焉。

海药云：主风邪热极，宜煮白兔薤饮之，干则捣末，傅诸毒妙。

素问云：黄帝曰有病者，身热解堕，汗出如浴，恶风少气，此为何病？歧伯曰：病名酒风。帝曰：治之奈何？歧伯曰：以泽泻、术各十分，麋衔五分，合以二指撮，为后饭，可治。

食疗：生姜皮作屑末，和酒服，治偏风。

唐本注云：苍耳三月已后，七月已前刈，日干为散，夏水服，冬酒服，主大风，癰痼头风。

又食疗：苍耳治一切风，取嫩叶一石，切捣，和五升麦蘖团作块，于蒿艾中盛二十日，状成曲，取米一斗炊作饭，看冷暖，入苍耳、麦蘖曲，作三大升酿之，封一十四日，成熟，取此酒，空心暖服之，神验。封此酒可两重布，不得全密，密则溢出，又不可和马肉食。

图经曰：治癰，取干艾随多少，以浸曲酿酒，如常法饮之，觉痹即差，近世亦有单服艾者，或用蒸木瓜丸之，或作汤，空腹饮之，甚补虚羸，然亦有毒，其毒发，则热气冲上，狂躁不能禁，至攻眼有疮出血者，诚不可妄服也。

胜金方治中风口喎，以苇筒子长五寸，一头刺于耳内，四面以面密封塞，不透风，一头以艾灸之七壮，患右灸右耳，痛亦灸得。

药性论云：取牛蒡茎叶汁，夏月多浴，去皮间习习如虫行风，洗了，避风少时，又能搗切肿毒，用根叶入少许盐花捣。

药性论云：恶实研末，投酒中，浸三日，每日服三二盏，任性饮多小，除诸风，去丹石毒，主明目利腰脚。

刘禹锡传信方疗暴中风，用紧细牛蒡根，取时须避风，以竹刀，或荆刀刮去土，用生布拭了，捣绞取汁一大升，和灼然^②好蜜四大合，温分为两服，每服相去五六里，初服得汗，汗出便差，此方得之岳鄂郑中丞，郑顷年至颖阳，因食一顿热肉，便中暴风，外生^③卢氏为颖阳尉，有此方，当时便服，得汗随差，神效。

又篋中方：风头及脑掣痛，不可禁者，摩膏主之。取牛蒡茎叶，捣取浓汁二升，合无灰酒一升，盐花一匙，头塘火煎，令稠成膏，以摩痛处，风毒散自止。亦主时行头痛，摩时，须极力令作热，乃速效，冬月无苗，用根代之亦可。

食疗云：瘫痪及丹石风毒，石热发毒，明耳目，利腰膝，则取恶实末之，投酒中浸经三日，每日饮三两盏，随性多少。欲散支节筋骨烦热毒，则食前，取子三七粒，熟揅吞之，十服后甚良；细切根，如小豆大，拌面作饭，煮食尤良。

又皮毛间习习如虫行，煮牛蒡根汁浴之，夏浴避风，却入其子，炒过末之，如茶煎三七通，利小便。

齐民要术：地榆汁酿酒，治风痹，补脑。

食疗：小蓟取叶煮食之，除风热。

图经曰：张仲景治六十二种风，兼腹内血气刺痛，用红花一大两，分为四分，以酒一大升，煎强半，顿服之，不止再服。

外台秘要：治白癰风，以罗摩草白汁，傅上搯之令破，再傅三度差。

又方：治癰，马先蒿一名马矢蒿，捣末服方寸，日三，百日如更赤起，一年都差。

又方：疗偏风半身不遂，冷癖症，附子一两生用，无灰酒一升，右咬咀，内于酒中，经一七日，隔日饮之，服一小合差。

① 二：素问病能论作“三”。

② 和灼然：图经衍义本草卷十四牛蒡子条引传信方作“和著”。

③ 生：普济方卷八十九诸风门疗暴中风方作“孙”。

千金翼 治大风冷，痰癖胀满，诸痹等病，用大附子一枚，重半两者，两枚亦得，炮之，酒渍，春冬五日，夏秋三日，服一合，以差为度，日再服，无所不治。

又方： 治口噤，卒不开，捣附子末，内管中，开口吹喉中差。

百一方 治卒忤停中，不能言，口噤不开，生附子末，置管中吹，内舌下即差。

修真秘旨 治头风至验，以附子一箇，生，去皮脐，用绿豆一合，同入铫子内，煮豆熟为度，去附子，服豆，即立差。每箇附子，可煮五服，后为末服之。

图经曰： 胡洽治贼风，手足枯痹，四肢拘挛，茵芋酒主之，其方：茵芋、附子、天雄、乌头、秦艽、女萎、防风、防己、踯躅、石南、细辛、桂心各一两。凡十二味切，以绢袋盛，清酒一斗渍之，冬七日，夏三日，春秋五日，药成，初服一合，日日渐增之，以微痹为度。

斗门方治风气所攻，藏府积滞，用牵牛子以童子小便浸一宿后，长流水上洗半日，却用生绢袋盛，挂于当风处，令好干，每日盐汤下三十粒，极能搜风，亦善消虚肿，久服令人体清爽。

外台秘要治半身不遂，失音不语，取蓖麻子油一升、酒一斗，铜钵盛，油著酒中一日，煮之，令酒油熟服之。

杜壬治厉风，手指挛曲，节间痛不可忍，斩至渐落¹方：蓖麻一两去皮，黄连一两锉如豆，以小瓶子入水一升，同浸，春夏三日，秋冬五日，后取蓖麻子一枚，擘破，面东，以浸药水，平旦时一服，渐加至四五枚，微利不妨，瓶中水少，更添。忌动风食。累用得效。

续传信方治风痛，用天南星、踯躅花并生时同捣罗作饼子，甑上蒸四五过，以稀葛囊盛之，候要即取，焙捣为末，蒸饼丸如梧桐子，温酒下二丸，腰脚骨痛，空心服，仍前痛，食后服大良。

经验方治惊风坠涎，天南星一箇重一两，换酒浸七伏时，取出，于新瓦上周回炭火，炙令干裂，置于湿地，去火毒，用瓷器合盛之，冷捣末，用朱砂一分研，同拌，每服半钱，荆芥汤调下，每日空心午时进一二服。

成讷云：江陵府节度使，进稀莖丸方²，臣有弟讲³年三十一中风，床枕五年，百医不差。有道人钟针者，因睹此患曰：可饵稀莖丸，必愈。其药多生沃壤，高三尺许，节叶相对，其叶当夏五月已来收，每去地五寸剪刈，以温水洗泥土，摘其叶及枝头，凡九蒸九暴，不必大燥，但取蒸为度，仍熬捣为末，丸如桐子⁴，空心温酒或米饮下二三十丸，服至二千丸，所患忽加，不得忧虑，是药攻之力，服至四千丸，必得复故，五千丸当复丁壮。臣依法修合，与讲⁵服，果如其言。钟针又言：此药与本草所述，功效相异，盖出处盛在江东，彼土各呼猪为豨，呼臭为莖气，缘此药如猪莖气，故以为名。但经蒸暴，莖气自泯，每当服后，须吃饭三五匙压之，五月五日采者佳，奉宣付医院详录。张咏云：知益州进稀莖丸表⁶，臣因换龙兴观掘得一碑，内说修养气术，并药方二件，依方差人访问采觅，其草颇有异，金棱银线素根紫萋，对节而生，蜀号火杵，茎叶颇同苍耳，谁知至贱之中，乃有殊常之效，臣自吃至百服，眼目轻⁷明，即至千服，髭鬓乌黑，筋力校⁸健，效验多端。臣本州有都押衙罗守一，曾中风坠马，失音不语，臣与十服，其病立痊。又和尚智严，年七十，忽患偏风，

1 斩至渐落：本草纲目卷十七蓖麻条引杜壬方作“渐至渐落”。

2 成讷云江陵府节度使进稀莖丸方：大观、政和本草卷十一稀莖条作：“按江陵府节度使成讷进稀莖丸方表略云”。

3 讲：大观、政和本草卷十一稀莖条作“诤”。

4 丸如桐子：大观、政和本草卷十一稀莖条作“炼蜜丸如梧子大”。

5 诤：大观、政和本草卷十一稀莖条作“诤”。

6 张咏云知益州进稀莖丸表：大观政和本草卷十一稀莖条作：“知益州张咏进稀莖丸表略云”。

7 轻：大观、政和本草卷十一稀莖条作“清”。

8 校：大观、政和本草卷十一稀莖条作“轻”。

口眼喎斜，时时吐涎，臣与十服亦便得差，今合一百剂，差职员史员奏进。

图经曰：芭蕉油治暗风癰病涎作，晕闷欲倒者，饮之得吐便差，极有奇效，取之用竹筒插皮中，如取漆法。

又方：唐韦宙独行方主癰，遍体皆疮者，用葎草一担，以水二石，煮取一石，以渍疮，不过三作乃愈。

孙真人食忌：治中风失音方，桂一尺，以水三升，煎取一升，服取汁。

陶隐居云：松叶正是断谷所宜，细切如粟，以水及面饮服之，亦有阴干，捣为屑丸服者，人患恶病，服此无不差，比来苦脚弱，人酿松节酒亦皆急^①，松柏皆有脂润，又凌冬不凋，理为佳物，但人多轻忽，近易之尔！

外台秘要治恶风疾，松脂炼，投冷水中二十遍，蜜丸，服二两，饥即服之，日二，鼻断离者，二百日差，断盐及房事。

抱朴子：赵瞿病癰，历医不差，家乃齑粮，弃送于山穴中，瞿自怨不幸，悲叹涕泣，经月有仙人经穴见之，哀之，具问其详，瞿知其异人也，叩头自陈乞命，于是仙人取囊中药赐之，教其服百余日，疮愈，颜色悦，肌肤润。仙人再过示之，瞿谢活命之恩，乞遗其方，仙人曰：此是松脂，彼中极多，汝可炼服之，长服身转轻，力百倍，登危涉险，终日不困，年百岁齿不堕，发不白，夜卧常见有光明如镜。

药性论云：酸枣仁主筋骨风，炒末作汤服之。

图经曰：女贞实，烧其枝叶为灰，淋汁涂白癰风，亦可作煎傅之。

外台秘要疗凡脱拆拆骨诸疮肿者，切不可当风及多自扇，若中风即发瘥，口噤杀人，若已中风，觉颈项强，身中急束者，急服此方，竹沥饮二三升，若已口噤者，以物强发内之，忌冷饮食及酒，竹沥卒烦难得，可合十许束，并烧，中夹承取，投之可活。

孟诜云：患风瘙痒痛者，取茱萸一升，清酒五升，和煮取一升半，去滓，以汁暖洗。中贼风，口偏不能言者，取茱萸一升，清酒一升，和煮四五沸，冷服之，半升，日三服，得少汗差。

食疗云：皮肉痒痛，酒二升，水五升，茱萸子半升，煎取三升，去滓微暖，洗之立止。

肘后方：手足心风肿，椒盐末等分，醋和付之良。

孟诜云：损疮中风者，秦椒以面作馄饨，灰中烧之使热，断使口开，封其疮上，冷即易之。又法去闭口者，水洗，面拌煮作粥，空腹吞之，以饭压之，重者可再服，以差为度。

图经曰：治风厥，南唐筠州刺史王绍颜撰续传信方，著其法云，顷年予在姑熟^②之日，得腰膝痛不可忍，医以肾藏风毒攻刺，诸药莫疗，因览传信方，备有此验，立修制一剂，便减五分，步履便轻，故录之耳。海桐皮二两，牛膝、芎藭、羌活、地骨皮、五加皮各一两，甘草半两，薏苡仁二^③两，生地黄十两。八物净洗，焙干细锉，生地黄以芦刀子切，用绵一两，都包裹入无灰酒二斗浸，冬二七日，夏一七日，候熟，空心、食后、日午、晚卧，时时一杯，常令醺醺，合时不用添减，禁毒食。

陈藏器本草云：虎杖主风在骨节间及血瘀煮汁作酒服之。

外台秘要：治风热冲项，热闷，诃梨一枚以大者，芒消同于醋中^④搅令消，摩傅热处。

孟诜云：鹿生肉，主中风口偏不正，以生椒同捣，傅之，专看正即速除之，九月已后，正月已前，堪食之也。

① 急：图经衍义本草卷二十松脂条引陶隐居云作“愈”。

② 熟：本草纲目卷三十五海桐条引苏颂云作“孰”。

③ 二：图经衍义本草卷二十三海桐皮条作“一”。

④ 诃梨一枚以大者芒消同于醋中：外台秘要卷十五引近效疗风热冲项热闷方作“诃梨勒大者一枚，芒消三合，醋一升”。

又云：虎骨煮汤浴，去骨节风毒。

经验后方：白虎风走注疼痛，两膝热肿，虎胫骨涂酥炙，黑附子炮裂去皮脐各一两，为末，每服温酒调下三钱匕，日再服。

日华子云：狸肉治游风等病，又狸头烧灰酒服，治一切风。

孟诜云：驴头煨去毛，煮汁，以渍曲酝酒，去大风。

又：驴皮和毛煎，令作胶，治一切风毒，骨节痛，呻吟不止者消，和酒服良，又骨煮作汤，浴渍身，治历节风。

又云：丹雄鸡，主患白虎，可铺饭于患处，使鸡食之良，又取热粪封之取热，使伏于患人床下。

陈藏器本草云：黄脚鸡，主白虎病，布饭病处，将鸡来食饭，亦可抱鸡来压之。

又云：雄鸡胁血涂白癫风、痲风。

又云：白虎病，取鸡子，揩病处，……不过三度差。……鸡屎和黑豆炒浸酒，主贼风风痹，破血。

食疗云：鸱头烧灰，主头风目眩，以饮服之，肉食之，治癰痼疾。

练鹄治风疾，冬春间取，细锉，炒令香，袋盛于酒中浸，每取酒温服之。

食疗：治癰，可取白蜜一斤，生姜三斤，捣取汁，先秤铜铛，令知斤两，即下蜜于铛中消之，又秤知斤两，下姜汁于蜜中，微火煎，令姜汁尽，秤蜜斤两在，即休，药已成矣。患三十年癰者，平旦服枣许大一丸，一日三服，酒饮任下。忌生冷、醋、滑、臭物。

孟诜云：鲮鱼补五藏，逐十二风邪，患气人常作臃，空腹饱食，便以衣盖卧，少顷当汗出如白胶，汗从腰脚中出，候汗尽，暖五木汤浴，须忌风一日，更三五日一服，并治湿风。

朝野僉载：泉州卢元钦，患大风，唯鼻未倒，五月五日，取蚺蛇胆欲进，或云：肉可治风，遂一截蛇肉食之^①，三五日顿觉

渐可，百日平复。

朝野僉载：商州有人患大风，家人恶之，山中为起茅屋，有乌蛇坠酒罍中，病人不知，饮酒渐差，罍底尚有蛇骨，方知其由也。

外台秘要治痲风。取涂中死蜚蝗杵烂之，当揩令热，封之，一宿差。

孙真人：卒患偏风，口喎语涩。取白鱼^{即衣鱼}摩耳下，喎向左摩右，向右摩左，正即止。

外台秘要治偏风，半身不遂，及癰症方：

桃仁一千七百枚，去双仁尖皮，以好酒一斗三升浸，经二十一日出，日干，杵令细，作丸，每服二十丸，还将桃酒服之。

又方：治偏风，半身不遂，兼失音不语。生吞杏仁七枚，不去皮尖，日别从一七渐加至七七枚，七七日同^②而复始，食后即以竹沥下之，任意多少，每料一升，取尽。

篋中方：单服大麻仁酒，治骨髓风毒，疼痛不可运动者，取大麻仁水中浸，取沉者一大升，漉出，暴干，于银器中旋炒，直须慢火，待香熟，调匀，即入木臼中，令三两人更互捣，一二数令及万杵，看极细如白粉即止，平分为十贴，每用一贴，取家酿无灰酒一大瓷汤碗，以砂盆柳木槌子，点酒研麻粉，旋滤取白酒，直令麻粉尽，余谷即去之，都合酒一处，煎取一半，待冷温得所，空腹顿服，日服一贴，药尽全差，轻者止于四五贴则见效，大抵甚者，不出十贴，必失所苦耳，其效不可胜纪。

近效方：婆罗门僧，疗大风疾，并压丹石热毒，热风手脚不遂。用消石一大两，生乌麻油二大升，合内铛中，以土击，盖口以纸泥固济，勿令气出，细进火煎之，其药未熟时气腥，候香气发即熟，更生油麻油二

① 遂一截蛇肉食之：本草纲目卷四十三蚺蛇条引朝野僉作“遂取食之”。

② 同：外台秘要卷十四作“周”。

大升和合，又微火煎之，以意酌量得所，即内不津器中。服法，患大风者，用火为使，在室中重作小纸屋子，外然火，令患人在纸屋中发汗，日服一大合，病人力壮，日二服，服之三七日，头面疮疮皆灭，若服诸丹石药，热发不得食热物，著厚衣卧厚床者，即两人共服一剂，服法同前，不用火为使。忌风二七日，若丹石发，即不用此法，但取一匙内口中，待消咽汁，热除。忌如药法。

陈藏器云：糟豆炒令黑及热，投酒中渐渐饮之，去贼风风痹。

经验方：治破伤风神效，黑豆四十个，朱砂二十文，同研为末，以酒半盏，已上调一字下。

经验后方治大人小儿久患风痼、缠喉风，□咽喉^①，遍身风疹，急中涎潮等，此药不大吐逆，只出涎水，小儿服一字^②。瓜蒂不限多少，细碾为末，壮年一字，十五已下、老怯半字，早晨并华水下，一食，须含沙糖一块，良久涎如水出，年深涎尽，有一块如涎，布水上如鉴矣。涎尽食粥一两日，如吐多困甚，即咽麝香汤一盏，即止矣，麝细研温水调下。昔天平尚书觉昏眩，即服之，取涎有效。

又方：治一切风，口眼偏斜，青荆芥一斤，青薄荷一斤，一处砂盆内研，生绢绞汁于瓷器内，看厚薄煎成膏，余滓三分，去一分，漉滓不用，将二分滓日干为末，以膏和为丸，如梧桐子大，每服二十丸，早至暮，可三服。忌动风物。

孟诜云：头风目眩者，以清酒煮水苏汁一升服，产后中风服之弥佳。

图经曰：江南方有疗大风热痰，取大黄老茄子不计多少，以新瓶盛贮，埋之土中，经一年尽化为水，取出，入苦参末，同丸如梧子，食已，及欲卧时，酒下三十粒，甚效。

图经曰：丈夫妇人无故两脚肿满，连膝胫中痛，屈伸急强者，名骨风，其疾不宜针刺及灸，亦不宜服药，惟单煮水英浸之，

不经三五日即差，数用神验。

张仲景治风热痲痲，及惊痲痲，风引汤：紫石英、白石英、寒水石、石膏、干姜、大黄、龙齿、牡蛎、甘草、滑石等分，混合咬咀，以水一升，煎去三分，食后量多少，温呷不用滓，服之无不效者。

葵藿花收摘荫干为末，每服三二钱，饭后以温酒调服，治白痲风。

景天草干为末，水调，扫游风赤痲热者。

有人病遍身风热细疹，痒痛不可任、连胸、颈、脐、腹、及近隐处皆然，涎痰亦多，夜不得睡，以苦参末一两，皂角二两，水一升，揉滤取汁，银石器熬成膏，和苦参末为丸，如梧桐子大，食后，温水服二十至三十丸，次日便愈。

恶实，是子也，今谓之牛蒡，未去萼时，又谓之鼠粘子，根谓之牛菜，疏风壅，涎唾多，咽隔不利，微炒，同入京芥穗各一两，甘草炙半两，并为末，食后夜卧，汤点二钱服当缓、取效。子在萼中，萼上有细钩，多至百十，谓之芒，则误矣。

牵牛子，但黑色，可微炒，捣取其中粉一两，别以麸炒，去皮尖者，桃仁末半两，以熟蜜和丸，如梧桐子，温水服三二十丸，治大肠风秘，壅热结涩，不可久服，亦行脾肾气故也。

乱发，如鸡子大，无油器中熬焦黑，就研为末，以好酒一盏沃之，何首乌末二钱，同匀搅，候温，灌之下咽，过一二刻，再灌，治破伤风及沐发中风，极效。

醇酒三升，拌蚕屎五斗，用甑蒸热于暖室中，铺于油单上，令患风冷气闭及近感痲风人，就所患一边卧，看温热，厚盖覆汗出为度。若虚人，须常在左右，防大热昏冒，仍令头面在外，不得壅覆，未全愈，间再作。

① □咽喉：本草纲目引经验后方作“咳嗽”。

② 小儿服一字：此句与下文“十五岁已下，老怯半字”有矛盾，查本草纲目引经验后方无此句。

鳊鱼，生剖晒干，取小许，火上微灸，候油出，涂白剥风，以指擦之，即时色转，凡如此五七次，用即愈。仍先以白处微微擦动。

瓜蒂，去瓜皮，用蒂，约半寸许，曝极干，不限多少，为细末，量疾每用一二钱匕，膩粉一钱匕，以水半合，同调匀灌之。治风涎暴作，气塞倒卧，服之良久，涎自出，或

觉有涎，用诸药行化不下，但如此服，涎即出，或服药良久，涎未出，含沙糖一块，下咽即涎出，此物甚不损人，全胜石绿、硃砂辈。

治头目风，荆芥穗、细辛、川芎等为末，饭后汤点二钱，风瘰遍身，浓煎汤淋洗，或坐汤中。

诸 风 门_八

三 因 方

中 风 治 法

生姜生附汤：治卒中风，涎潮昏塞不知人，并主瘀冷癖气，胸满呕沫，头痛，饮食不消。

大附子一枚，生，去皮脐，切作八片

右以水二碗，生姜一两切，同煎至一大盏，去滓，温冷服。一法加沉香一钱；一法加辰砂末少匕。凡中风，无问冷热虚实。皆可服。盖此药能正气，消痰，散风，神效。

白散子：治肝肾虚，为风所袭，卒中涎潮，昏塞不语，呕吐痰沫，头目眩晕，上实下虚，真阳耗竭，兼治阴证伤寒，六脉沉伏，昏不知人。又治霍乱吐泻，饮食不进，及小便淋沥不通，眼赤口疮，咽喉冷痛。

大附子生，去皮脐 桂府滑石 各半两 圆白半夏 汤洗二十一次。三分

右为末，每服二钱，水二盏，姜七片，蜜半匙，煎七分，空腹冷服。霍乱，加藿香；小便不利，加木通、灯心、茅根煎，医方大成、集成、永类铃方同。此药就有差互，亦无所苦。

红龙散：治中风，开关窍。

朱砂 别研 五灵脂 各两半^① 茯神 去心中木 草薢 各一两 全蝎 半两 脑麝 各一钱，别研

右为末，每服二钱，酒调服，先服此，次服神异温风丹。袖珍方治一切中风，先开关窍，不致枯废，服此药后，治风药：朱砂 五灵脂^②一钱半 经验良方各一两半 全蝎五钱 茯神 草薢^③一两 脑子良方别研 麝香^④半钱 良方别研

右为末，每服二钱，酒调或煎荆芥汤、

薄荷汤下。

神异温风丹：治中风一切诸疾。

麻黄 五两，不去节，择净，生用 人参 白术 乾姜 炮。各二两 茯神 附子 炮，去皮脐 白胶香 别研 甘草 炙。各两半 乳香 别研 全蝎 炒。各一两

右将麻黄细锉，用水五升，熬去半，入蜜六两，又熬成膏，入前件药末，和丸如弹子大，每服一丸，温酒下，日三服。

独活丹：治风懿不能言，四肢不收，手足𦓐曳。

白芍药 栝楼根 独活 桂心 各二两 甘草 三两

右为锉散，每服四钱匕，姜五片，水二盏，医方大成、集成、袖珍方、永类铃方一盞。煎六分，去滓，入生葛汁一合，和匀服。

小竹沥汤：治中风涎潮，谵语医方大成、永类铃方不语。昏塞，四肢缓纵不收。

秦艽 去苗土，锉 防风 去芦，锉 附子 炮，去皮脐 独活 锉。各一分 大成、玉机微义各一钱

右水四盏，煎二盏，入生地黄汁、竹沥各半盏，煎三五沸，去滓，分四服，医方集成、南北经验方、袖珍方与大成同。不拘时热服。病去，以它药扶持，未知再作。

烧竹沥法：

新竹 简易方用青竹数竿，管见大全良方取新茎竹，医方大成筴竹数竿。截尺许长，简易方一尺二寸许，良方去两头节，永类铃方截筴竹长一尺，除去节。用两砖对立，相去八寸，置竹在上，每截破作二片，仰安砖上急

① 两半：三因极一病证方论作“半两”。

② 脂：袖珍方此下注有“各”字。

③ 薢：按文义此下注文疑有“各”字。

④ 香：袖珍方此下注有“各”字。

著火，良方下急著烈火 砖外两头，各置碗 简易方、大成作盏。以盛沥，沥尽，以绢滤澄清。良方澄清入药。夏秋须沉冷水中，良方、铃方并中。防沥酸。大热有风人，亦可单服，冷暖随人，勿过度，荆沥亦然。得效方同，医方集成、南北经验方、袖珍方与大成同。

独活散：治男子妇人气虚感风，或惊恐相乘，肝胆受邪，使上气不守正位，致头招摇，手足颤掉，渐成目昏。

独活 地骨皮 细辛 芎藭 菊花 防风 去叉 甘草炙

右等分为末，每服三钱，水觥半，煎一盏，去滓，取六分清汁，入少竹沥，再煎，食后温①，日两服。又法不用独活，有旋覆花。

仁寿圆：治肝肾气虚，风冷所中，筋脉踟动，口眼喎邪，常服补肝丸，行荣卫，养气血。

附子炮熟，去皮脐，一两 桂心 白茯苓 山茱萸 五味子 杜仲 去皮，姜制，炒丝断 续断 枸杞子 熟地黄洗 巴戟 去心 兔丝子酒浸湿，研 防风各两半② 牛膝酒浸，二两

右为末，蜜丸梧子大，每三五十丸，温酒盐汤，食前任下。

铁弹圆：治男子妇人一切风疾，无问远近，瘫痪中风，口眼喎斜，言语蹇涩，手足弹拽，难以称举，或发搐瘈，或如虫行，或失音不语，牙关紧急，脚不能行，身体顽麻，百节疼痛，精神不爽，头虚烦闷，夜卧不安，多涎，胸膈不利，口乾眼涩，多困少力。如破伤风，身如角弓，口噤不开，作汗如油及洗，头风脑重，眉梁骨痛，卒中不语迷闷；兼白癞风，遍身瘾疹，鼻多清涕，耳作蝉鸣，小儿惊风，天吊搐搦，妇人血风，手足烦热，夜多虚汗，头旋倒地，并皆治之。

白附子 没药别研 虎胫骨酒浸一宿，炙乾 全蝎 乌头炮，去皮尖 麻黄不去节 自然铜烧存性，醋浸一宿。各一两 白花蛇酒浸，半两 辰砂别研，一分 五灵脂一分 木鳖子二十个，去皮，别研不入罗 脑

麝③一分，别研 乳香 柳木槌研④

右为末，蜜丸弹子大，用无灰酒一升，浸一丸，分二十服，伤风鼻塞，分三十服，空心临卧各一服，大风五丸可安。

活络通经丸：治半身不遂，口眼喎斜，瘫痪诸风，通活经络，宣导凝滞，常服壮筋骨，助血脉，起偏废之疾，其效如神。

川乌头二两，一两生，不去皮尖；一两炮，去皮尖 草乌二两。制如上法 木鳖子三两三分，别研 斑猫百个，去头足并翅，醋煮香熟，焙乾 乌蛇酒浸，去皮骨，焙 白花蛇酒煮⑤，去皮骨，焙 好墨火煨 白胶香各两，别研 当归两半 五灵脂三两三分

右为末，将木鳖子末醋研为膏，和黑豆末一斤，好醋拌，一两作十丸，以墨为衣，空心食前，温酒盐汤，嚼下一丸。

舒筋保安散：治左瘫右疾，筋脉拘挛，身体不遂，脚腿少力，乾湿脚气，及湿滞经络，久不能去，宣导诸气。

乾木瓜五两 萆薢 五灵脂 牛膝酒浸 续断 白僵蚕炒，去丝 松节 白芍药 乌药去木 天麻 蕨灵仙 黄芪 川当归 防风去叉 虎骨各一两

右用无灰酒一斗，浸上件药二七⑥日，紧封扎，日数足，取药焙乾，捣为细末，每服二钱，用浸药酒半盏调下，吃酒尽，用米汤调下。又方：添金毛狗脊一两，却将乳香、白胶香各一两同研，入乾药末内。

松节散：治风寒冷湿，搏于筋骨，使筋挛制痛，行步艰难，但是诸筋挛缩疼痛，悉主之。

茯神中心木槌如米，一两 乳香一钱，研

右入银石器内炒，留两分性，为末，每服二钱，木瓜酒下。

芎桂散：治中风，四肢疼痛，及两足俱软，行履不便。

① 温：三因极一病证方论此下有“服”字。

② 两半：三因极一病证方论作“半两”。

③ 麝：三因极一病证方论此下注有“各”字。

④ 研：三因极一病证方论此下有“一分”二字。

⑤ 煮：三因极一病证方论作“浸”。

⑥ 二七：三因极一病证方论作“二十七”。

川乌头二两，切作片，水浸一宿，切作算子条，更以米泔浸一宿，不洗，日乾，麸炒微赤为度，乾了秤 川芎 两半
桂心一两 甘草炙 乾姜炮。各一分

右为末，每服二钱，温盐酒调下，日三服。

趁风膏： 治中风，手足偏废不举。

川山甲 左瘫用左足，右瘫用右足 红海蛤 如棋子者
卫生宝鉴云：一本海红蛤 川乌头 大者，生用。各二两

右为末，每用半两，捣烈葱白汁，和成厚饼，约径一寸半，贴在所患一边脚中心，用旧帛得效方旧绢。裹紧缚定，于无风密室中椅子上坐，椅前用汤一盆，将贴药脚于汤内浸，仍用人扶病人，恐汗出不能支持，候汗出，即急去了药，汗欲出，身麻木，得汗周遍为妙，切宜避风，自然手足可举，如病未尽除，候半月二十日以后，再依此法用一次，自除根本，仍服治风补理药。忌口远欲以自养。 经验良方同。

小黄芪酒： 大治风虚痰癖，四肢偏枯，两脚弱，手不能上头，或小腹缩痛，胁下挛急，心下有伏水，胁下有积饮，夜梦悲愁不乐，恍惚善忘，此内①风虚，五藏受邪所致。或久坐腰痛，耳聋，卒起眼眩头重，或举体流肿疼痛，饮食恶冷，涩涩恶寒，胸中痰满，心下寒疝，及妇人产后余疾，风虚积冷不除。

黄芪 附子去皮脐 川椒 去目并合口者 桂心 秦艽 牛膝 防风去叉 乌头 集验方用山药 白术 川芎 独活 细辛去苗 甘草各三两 大黄 葛根 山茱萸 乾姜各二两 当归二两半

右为锉散，少壮人无熬炼，虚老人微熬之，以绢袋盛，用清酒二斗渍之，春夏五日，秋冬七日，可先服食一合，不知至四十②合，日三服。此药攻痹尤佳，亦不令人吐闷。小热，宜冷饮食也；大虚，加苁蓉二两；下利，加女萎三两；多忘，加石斛、菖蒲、紫石英各二两；心下多水，加茯苓、人参各二两，山药三两。酒尽，可更以酒二斗，重渍滓服之，不尔，可曝滓，捣下筛，酒服方寸匕，不知，稍增之，服一剂，得力，令人耐寒冷，

补虚，治诸风冷，神妙。

窠朝议经进仙酒方： 治大风及偏风一切风疾，延年益寿。

牛蒡根 牛膝各一斤 秦艽 鼠粘子各二两 枸杞子炒，一斗 苍术 蒸烂，二斤 防风 蚕沙各二两 大麻子炒，别研，去壳，一升 桔梗 羌活各二两

右为锉散，无灰酒二斗，净瓮器内浸，密封，七日开，开时不得对瓶口，日进三服，每服一大盏，温服，常令面有酒色，甚者不过一斗。忌面食，并鱼肉动风物。 经验秘方治诸风，前监察御史兼西京留守窠文炳染风疾，手足拘挛，半身不遂，累蒙恩医不愈，奉先县尉李能有此方，极效，名曰 仙酒方，依法浸酒二斗，瑞竹堂方③ 口斗。未服药之先，非人不能起，止饮酒二升能舒手，三升能伸腰，四五升痊可，用傅④当世。 牛膝洗净，细切 桔梗去芦 秦艽去列文 防风去芦 羌活去芦，细切 晚蚕沙洗净，焙。各二两 堂方妙 牛蒡根一斤，去粗皮，细切 枸杞子二升 火麻子一斤，洗净 牛蒡子半升 苍术二斤，洗净，去粗皮，磁器内煮熟用 堂方二升 右为末，糯酒二斗，于大磁器内浸药，封口，第七日开封，勿令面近器口，恐药气犯人眼目，每服一盏，空心服，日三服，温服之。忌湿面、煎煊诸物， 堂方忌湿面、鱼。三个月。奉 敕送御药院，附灵宝上方，更加天麻半斤，洗净，枳壳二两，拣净，当归三两，地黄二两，同煎药浸酒。

不内外因中风凡例

凡因不内不外，而致风中者，亦各从其类也。如新沐中风，名曰首风；饮酒中风，名曰漏风，又曰酒风；入房中风，名曰内风，又曰劳风。治之各有方。

麋衔汤： 治因醉中风，恶风，多汗，少气，口乾善渴，近衣则身热如火，临食则

① 内：三因极一病证方论作“由”。

② 四十：三因极一病证方论作“四五”。

③ 方：此下脱字，瑞竹堂经验方作“一”。

④ 傅：按文义疑作“传”。

汗流如浴，骨节懈惰，不欲自劳，名曰漏风。

泽泻 白术 各一两 麋衔 半两

右为末，每服二钱，酒饮任调下，食前服。

附子汤：治房室竟中风，恶风多汗，汗出沾①衣，口乾上渎，不能劳事，身体尽疼，名曰内风。

附子生，去皮脐 人参各半两 茴香炒 茯苓山药 各一分 甘草炙 乾姜炮。各三分

右为锉散，每服四大钱，水二盏，姜三片，盐少许，煎至七分，去滓，食前服。

历节治法

乌头汤：治病历节，痛不可屈伸。

乌头五枚，锉，以蜜二升，煎取一分②，去乌头 甘草③ 麻黄去节 芍药 黄芪

右为锉散，每服四钱，水二盏，得效方盏半，永类铃方一盏。煎至七分，去滓，投前蜜，煎一合，空腹温服。千金有老姜、桂心、大枣，无黄芪、麻黄，治寒疝，腹中绞痛，贼风入腹，攻五藏，拘急不得转侧，叫呼发作有时，使人手足厥冷。

附子八物汤：治风历节，四肢疼痛，永类铃方治白虎历节，身痛。如槌锻不可忍。

附子炮，去皮脐 乾姜炮 芍药 茯苓 甘草炙 铃方恶甜者减之 桂心 各三两 铃方肉桂各二钱 白术 四两 人参 三两

右为锉散，每服四大钱，水二盏，煎七分，铃方水一盏煎。去滓，食前④。一方去桂心，用乾地黄二两。铃方又云一云⑤治疲极气虚，遍身酸疼，一方加乾姜、附子各半两。

独活寄生汤⑥：最治历节风，近人用之甚效，亦治腰背痛，及脚气流注。方见腰脚门。

瘰癧叙例治法 破伤风，破伤湿并附。

病者身热足寒，头项强急，恶寒，时头热，面赤，目脉赤，独头动摇，卒口噤，背反张。以发热恶寒，不恶寒，有汗无汗，分刚柔者，风寒瘰癧也。脉沉细，即为湿瘰癧。疮

疡未合，风入为破伤风；湿入为破伤湿。二者害人最急，仓卒不知其因，甚难忍。痈疽瘰癧，脓溃之后，尤宜谨之。产妇汗多，或因怒厥，皆成此病，治之各有方。

栝蒌桂枝汤：治柔瘰癧，身体强，兀兀然，脉反沉迟，自汗。

栝蒌根二两 桂心 白芍药 各三两 甘草炙，二两

右为锉散，每服四大钱，水盏半，姜五片，枣二枚，煎七分，去滓，温服，汗不透，食顷，啜热粥发之。

葛根麻黄汤：治刚瘰癧，无汗，小便少，气上冲胸，口噤不能语。葛根 四两 麻黄去节，三两 桂心 白芍药 甘草

右为锉散，每服四大钱，水盏半，姜五片，枣三枚，煎七分，去滓，食前服。

大⑦承气汤：治刚瘰癧，胸满，口噤，卧不著席，脚挛急，断齿。

大黄 四两，蒸 厚朴 八两，姜制 枳壳二两，麸炒，去穢

右为锉散，每服四大钱，水盏半，煎七分，去滓，入芒消二钱匕，煎熔服，得利，止后服。此以阳明养宗筋。阳明者，胃也，风湿寒入于胃，则热甚，宗筋无以养，故急，直利阳明以治其能养也。

参桂汤：治卒半身不遂，手足拘急，不得屈伸，身体冷，或智，或痴，或身强直不语，或生，或死，狂言不可名状，角弓反张，或欲得食，或不用食，或大小便不利，悉主之。

人参 桂心 当归 独活 黄芩 乾姜炮 甘草炙。各一分 石膏一两半 杏仁一佰六十箇，麸炒，去皮尖

右为锉散，每服四大钱，水一盏半，煎七

① 沾：三因极一病证方论作“沾”。

② 分：三因极一病证方论作“升”。

③ 草：三因极一病证方论此下注有“炙”字。

④ 前：三因极一病证方论此下有“服”字。

⑤ 云：按文义疑作“方”。

⑥ 独活寄生汤：方见本书卷十五诸风门三。

⑦ 大：三因极一病证方论作“小”。

分，去滓服。无汗加麻黄去节三分。

仓公当归酒：主贼风，口噤，角弓反张痙者。

当归 防风各三分 独活一两半 麻黄去节，一两一分 细辛去苗，半两 附子一箇，六钱重，炮，去皮脐

右为锉散，每服四钱，水酒各半盏，同煎七分，去滓，口不开者，挾开口，内汤一服苏，二服少汗，三服大汗，愈。

破伤风湿治法

防风散：得效方名玉贞散。治风自诸疮口入，为破伤风，项强，牙关紧，欲死。

防风去叉 天南星汤。各等分 澹寮方汤泡七次，玉机散义炮。

右为末，每服三钱，童子小便一大盏，煎至七分，热服。王氏集验方每服二三匙，童便五升，煎取四升，空心服。是斋医方治破伤风，及金刃伤、打伤扑损，玉贞散本事必用，两方皆有，但人不知，张叔潜知府云：此方极奇，居官不可阙，予宰清流日，以授直厅，医救欲死者数人，奇甚。天南星、防风，右等分为细末，破伤风以药敷贴疮口，然后以温酒调下一钱，如牙关紧急，角弓反张，用药二钱，童子小便调下。或因斗殴相打，内有伤损，以药二钱，温酒调下。打伤至死，但心头微温，以童子小便灌下二钱，并进三服。天南星为防风所制，服之不麻。瑞竹堂方、袖珍方同，经验秘方此下云：续再有一方，亦妙，追出黄水，水尽，为效，一日一换，其效如神。又方，用黄蜡一块，热酒化开，服与前玉贞散一对连用。管见大全良方胡氏夺命散：治破伤风，及金刃伤、打扑伤损，风自疮口入，令人项强，牙关紧急，角弓反张，口噤强直。防风去叉芦 天南星洗。各等分 右为细末，温酒调二钱服，仍以此药敷伤口。三因方以童子小便煎服云云同上。澹轩方：皮破伤风最可惊，防风为末等南星，先将小许贴疮口，温酒童便服顿轻。神效名方治破伤风。天南星半生半熟 防风去芦。二味各等分 右为末，

清油调涂疮上，追出黄水，为验。

牡蛎散：治破伤湿，口噤强直。牡蛎取末粉 管见大全良方煅研令极细。付疮口，仍以末二钱，煎甘草汤调下。得效方同。

香胶散：治破伤风，口噤强直。

鱼胶烧，七分留性

右研细，入麝香少许，每服二钱，酒调下，不饮酒，米汤下。又一方以苏木煎酒下。得效方、澹寮方、玉机散义同。卫生易简方用鱼胶烧灰存性，为末，酒调服，仍封疮口，山居四要方同。澹轩方：鱼胶能治破伤风，先煮一钱疮口封，别取烧灰为细末，麝香酒散立成功。

大风治法

凡治大风，须推其所因。凡因风寒湿热，劳逸饮食，与夫传染，不可混滥。散寒湿风湿，清热，调和气血，颖然不同，若例以泻风药治之，则失其机要矣。昔见一僧得病，状如白癞^①，卒不成疮，但每旦起，白皮一升许，如蛇蛻，医者谓多啖炙博所致，与局方解毒雄黄丸，三四服而愈，岂非得其因邪治之。

第一浴法：

麻黄根 地骨皮 草乌头各二两

右为锉散，研朴消二两，匀和，每用药二两，得效方一两。水一桶，椒一合，葱三十茎，艾叶一两，同煎十沸，入米醋一中盏，打匀，去滓，坐温室中，且用手巾搭四肢，候汤可浴即浴，令汗透面上如珠流，更坐室中，或睡片时尤佳，候汗解，方著衣，避风而出，五日再浴，如此两上浴，便服换骨丹。

换骨丹：

九肋鳖甲去裙 海蜈蚣细性，各半两 得效方各二两

右以盐泥固济，候乾，火煅存二分性，为末，巴豆半两，去皮膜，顺手研，青州枣七介，去核，入巴豆膏，在枣中，火烧令焦，存巴豆五分性，将枣、巴豆烂研如泥，入前二味末，同研匀，以醋煮糊为丸，如绿豆大，

① 癞：三因极一病证方论作“癩”。

每服七丸，虚者四五丸，用温薑汁下，候利恶物，如脓血烂鱼肠即住，即此三两服，未利，更加一二丸，得效方更加三丸。次服遇仙丹。

遇仙丹：

人参 紫参各一两 苦参 白僵蚕 去霜。各二两

右为末，白面糊丸，梧子大，每服三十丸，温盐汤吞下，食前日二，次服疏风散。得效方同。

疏风散：

山梔子仁一两半 大黄 白滑石 熟地黄 悬豆 酥炙焦黄。各二两 得效方无

右为末，入朴消半两，令匀，每服一钱，食后，淡茶清调下，次以佛手膏去疮。

佛手膏：去黑紫疮核。

斑猫 七介，去翅足 巴豆 七粒，去皮 杏仁 二七介，去皮 红娘子 二七介，去翅足 砒霜 一钱，别研 盆硝 一钱 得效方乙两 黄蜡 半两 韶粉 半两 沥青 研，半两 得效方乙两 硫黄 黄丹 各三钱 膩粉 炒，十钱 得效方乙两 绿豆 一合 槐角 三条 麻油 四两 乱发 鸡子大一两

右用油煎令发化，次下红娘子，次下巴豆、槐角等，逐味下，焦者漉出，方下硫黄、盆硝及丹粉等，以算子不住手搅，令匀，滴水成珠为度。用时先将针轻手刺疮核，用药一粟米大，放针处，次日挤疮，有黑臭脓血出，三两日，血渐少，次服去毒丹。

去毒丹：

赤芍药 甘草 滑石 各半两 得效方白滑石 巴豆 去皮，炒，别研后入 黑牵牛 一两，半生半炒 朴消 大黄① 一分

右为末，面糊丸，绿豆大，临卧时服十五丸，金银薄荷汤下，加至二十丸，得效方三十丸。次服甘草散。

甘草散：

甘草 滑石 各半两 得效方白滑石 山豆根 一两，生 大黄 一分，生 右为末，每服一钱，蜜熟水调下，日二服，次服解毒丸。

解毒丸：

瓜蒌根 三两 甘草 半两，炒 大黄 一分，生 朴消 一分，别研

右为末，面糊丸，如绿豆大，每服二十丸至三十丸，白汤下，次服福神丹。得效方同。

福神丹：

诃子 四介，炮 巴戟 炒 黑牵牛 生。各半两 甘遂② 三钱，生 赤小豆 四十九介，生

右为末，面糊丸，如绿豆大，每服十丸至十五丸，薄荷汤下，次用水膏药。得效方同。

水膏药：傅贴破处，及面脚上疮，令生肉。陈皮 去灰土，半斤，炒紫色 陈麦米 半升，炒紫 得效方陈米半斤 藿香 马蹄香 各一两 麝香 一钱，别研

右同为末，入麝香，用冷水调，扫傅疮上有脓处，如损破即煎槐枝汤洗，再上药。此十方，乃倪处士秘传，曾用有验，大要病人须能如法将息理会，敬而信之。

通天再造散：治大风恶疾。

郁金 半两，生 得效方一两半 玉机微义半钱 大黄 一两，炮 白牵牛 六钱，半生半炒 皂角刺 一两，炮，经年黑大者

右为末，每服五钱，日未出，面东，以无灰酒下，尽量为度。晚利黑头小虫，病稍轻者，止利如鱼肠 王氏集验方鱼脑。臭秽物。忌毒半月，得效方作年。但食稠粥软饭。渐生眉毛，得效方头毛。皮肤如常，甚者不过三两次，须将理，不可妄有劳动，及终身不得食牛、马、骡、驴等肉，犯者死不救。直指方治大风诸癩。川郁金 半两 绵纹皱大黄 一两，微焙 白牵牛 半生半炒，取仁，半两 黑色大皂荚刺 一两，焙 右细末，每服叁钱半，月首五更，面东，好酒调下。重者泄出黑头小虫，轻者泄如鱼肠烂肉，极臭，服药至无虫则瘥。肆箇月绝口味，但吃白粥白饭，恁忿室欲，永断牛、马、鹅、鸭等物，下药候至，勿令病人知，恐虫匿也。

① 黄：三因极一病证方论此下注有“各”字。

② 遂：三因极一病证方论作“草”。

三济丸：治如前。

当归 熟地黄 川芎 荆芥穗各二两 防风 细辛各一两 得效方去叶 桂心一分

右为锉散，先以醋一升，浸一宿，漉出，焙乾，再以生地黄一斤，捣汁，浸一宿，焙乾，酒一升，浸一宿，焙乾，旋入乳香半两，以余酒醋地黄汁释蒸饼，为丸如梧子大，用好川乌头一介，炮裂锉，荆芥穗半两，浸酒三升，旋温下药五十丸。

八叶汤：淋瀝大风疮。

桑叶 荷叶 地黄叶 皂角叶 藕叶 苍耳叶 菖蒲叶 何首乌叶

右等分，晒乾，烧存性为末，如面药，

洗手面身体得效方同。

料 筒

大风恶疾，疮痍荼毒，脓汁淋漓，眉鬚墮落，手足指脱，顽痹痛痒，颜色枯痒，得效方枯痒。鼻塌，眼烂，齿豁，唇揭，病证之恶，无越于斯，负此病者，百无一生，犹且爱恋妻孥，复著名利，不仁之行，仍欲更作，死而无悔，深可悲伤。凡遇此疾，切须断盐，及一切口味，公私世务，悉宜屏置，能不交俗事，绝庆吊，幽隐林下，依法治疗，非但愈疾，亦能因是而至神仙，所谓因祸而得福也。

卫生十全方

治卒中风，痰涎牙关紧急，不省人事。

南木香 半两，生用

右碾为细末，以生姜七片，天南星七片，瓜蒌子拾肆粒，浓煎取汤七分盏，调木香末，候温灌之。若牙关不开，自有开牙关药方在后。近世人医卒中风，便以附子等药与之，往往多不救。盖缘卒中风^①，逆遽进以风药，甚不相投，惟木香可以顺其气，助以姜、星、瓜子，以下其痰，庶几气顺而人醒，然后用星、附等药，若苍猝未能辨上项药材，急以苏合香丸一二丸，木香汤调与服，亦佳。

治急中风，或暴亡，牙关不开，不可进药者。

乌梅肉 细辛 麝香各一钱

右为细末，和匀，抄半钱许于牙关上揩之，并以皂角末搐鼻中，其口便开，可以灌前药。

治中气状如中风者，中气而以风药治之，十无一愈，中风而以气药治之，则气顺风散，应中风、中气不辨者，先服此。

川芎 人参 枳壳各一分 沉香 香附子 去皮毛。各二钱 木香一两

右为细末，每服三钱，以沸汤入盐少许，

点灌之。

治中风，四肢不举，痰涎闭塞不通。

猪牙皂角肆挺，不种者，去黑皮，炙 晋矾光明者，秤如皂角之半

右二味，为细末，和匀，每服抄半钱至三字匕，温水调了灌之，少顷，微微吐出冷涎，吐得一升许，便醒，次缓缓用药调治。简易方许学士方救急稀涎散，治中风忽然昏若醉，形体昏闷，四肢不收，涎潮于上，鬲气闭不通。肘后方治卒中风，昏昏若醉，形体昏闷，四肢不收，或倒或不倒，或口角似斜，微有涎出，斯须不治，便为大病，故伤人也。此证风涎潮于上膈，痹气不通，宜用。光明晋矾一两 猪牙皂角四斤，肥实并不管蛀者，去黑皮 右细末，研匀，轻者半钱匕，重者三钱匕，管见大全良方、得效方、肘后方、济世方、王氏集验方、经验良方、医林方、卫生易简方三字匕。温水调灌下，不大呕吐，但微微冷涎出一二升便得醒，醒次缓而调理，不可太吐，恐虚人。寿域神方同，直指方云：弱者不可吐，用养正丹三十丸，研细，南木香煎汤调下，仍与南星、附子豁痰归经，鸡心枳榔亦能疏风顺气。医方大成治证与简易方同。光明晋矾二两 医方集成一两 猪牙皂角四两，肥实不蛀者，去黑皮 右为细末，研匀，

① 风：杂病广要引卫生十全方作“气”。

每服一钱至二钱，温水调下。南北经验方、袖珍方、玉机要义同。

治中风语涩痰盛，四支不举。

大附子 一箇，重八钱已上者，生用，去皮脐 天南星 一箇亦重八钱已上者，生用，去皮底

右貳味，咬咀，以水肆升，生姜叁片同煮，候水乾过半，即滤去滓，分作两处，调后药，蝎梢 三钱重 白僵蚕 炒黄，去丝嘴，三钱重 并为细末，分作三服，以附子汤调下，未省再服，已省只服星附汤。

治中风，手足战掉，口眼喎斜，言语步履不正。

大川乌 五两，野水浸一宿，去皮脐 五灵脂 五两，去砂石 没药 二两，别研 当归 去芦，一两 乳香 透明者，一两，别研 天麻 一两 真麝肉 半两，别研

右同为细末，滴水为丸，如弹子大，每服一丸，生姜自然汁研，化开了，却暖好酒投服，日二，空心午食前服，数日便觉有效，一月可以全安，合时须重午日，净室内，莫令猫、犬、妇人见，此药治得病三四月者，的然效验。

治卒中风，癱倒伤损，及治走注痛风。

防风 白附子 羌活 天南星 川乌 去皮尖，生用。已上各一两 草乌 大者，生，去皮尖 熟乾地黄 半夏 煮汤泡拾次，姜汁浸一宿，焙 乌药 白僵蚕 炒去丝嘴。已上各半两

右为细末，酒糊丸如梧子大，每服十余粒，用姜汁和酒灌之，寻常只温酒下。

治痛风，遍身走注疼痛。

大草乌 五箇，生用，不去皮尖 大川乌 二箇，生用，不去皮脐 全蝎 二十一箇 黑豆 二十一粒，去皮，生用 地龙 半两，洗去土，生用 荆芥穗 半两 虎胫骨 半两，酥炙 白花蛇 酒浸三日，去皮骨，炙，用半两 天麻 没药 黄耆 各半两 乳香 透明者，一分，别研

右为细末，入真麝香一钱重，同研匀，煮浓糯米饮为丸，如绿豆大，每服貳拾丸，空心食前与临卧时温酒下，微出冷汗则差。

治风气走注，寻常有风疾者，宜常服。

羌活 独活 各二两 地龙 去土，一两 天麻 三分

乌头 炮，去皮尖，半两

右并为细末，用生蜜为丸，如梧子大，每服二十丸，薄荷汤酒任下。

治大风皮肉脱落，众药不效者。

萱草根 捣取汁，一盞 冬瓜 取汁，半盞

右将二汁和匀，入虢丹一两，轻粉半钱，以鸡羽刷皮肉上即愈。

治大风皮肉脱落。

羌活 独活 白蒺藜 炒去刺。各半两 人参 去芦，一两 仙灵脾 二两 防风 二两，叉尾者不用 苦参 二两

右并为细末，食后片时，荆芥伍穗，煎汤调二钱匕服。若鼻梁不塌，眼不断瞳人，一月便愈。

治男子妇人夹脑风、暗风、头旋，但是风疾皆效。

荆芥穗 麻黄 去根节 川芎 菊花 白僵蚕 炒 桂心 防风 苦参 人参 天麻 羌活 独活 乌蛇 酒浸二宿，去皮骨，炙香熟 威灵仙 地龙 去土。各二两 川乌 一两，生

右为细末，炼蜜丸如梧子大，每服十丸，温酒下，常服理一切风疾。

治肾脏风，攻注腰脚生疮。

川乌 一两，去皮尖 草乌 一两，去皮尖，二味以黑豆半升，水煮透软，日乾 天麻 沙苑蒺藜 去刺 地龙 去土 白附子 各半两

右同为细末，酒糊为丸，如梧子大，每服二十丸至三十丸，空心食前，盐汤盐酒送下。

壮心丸： 荣养气血，治太过不及有偏，荣卫气行不周，燥药过多，枯耗津液，虽无嗜欲，饮注经络似风，但服此药，不一月间，功效神验，更不尽述。

生地黄汁 一斤 枸杞子汁 一十二两 生姜汁 半斤

先以慢火，于银石器内，熬地黄汁去四两，次入枸杞子汁，又慢火熬去二两，更入生姜汁再熬，共留二斤肆两，复入药末如后：

大附子末 六钱 炒黄 川乌头末 炒黄 黄芪末 人参末 肉苁蓉末 五味子末 当归末

百合末 杏仁 去皮尖，研极细入 白茯苓末 兔
丝子末 九节菖蒲末 真阿胶末 已上各半两
右十三味，细末各秤，别用白蜜半斤，
略略熬入药末，和匀，同入煎膏子中，再用

文武火熬数沸，不住手打，令匀，用磁石器
内收之，每服一匙，麝香酒调下，温热呷，
不拘时候。

神巧万全方

治急风诸方论

经有急风候，又有卒中风候，又有风癰
候。夫急风与卒中理固无二，指风言则谓之
急风，指病而言、则谓之卒中，其风癰，盖
出于急风之候也，何者？经云：奄然忽不知
人，咽中塞窒窒然，舌强不能言，如此则是
中急风而生其候也。发汗身软者生；汗不出
身直者死。若痰涎壅盛者，当吐之。视其鼻
人中左右上白者，可治；一黑一赤吐沫者死。

治卒中欲死，风攻身体及五藏，言语謇
涩，神思昏昧，大驱风散方：

麻黄 二两，去节 芎藭 一两半 石膏 一两半 肉
桂 白芷 甘草 炙 乾姜 炮 当归 炒 黄芩
杏仁 去皮尖，炒黄。已上各三分

右件捣为散，每服四钱，以水一中盏，
煎至六分，去滓，不计时候稍热服，以汗出
为度。一法，入荆沥五合同煎，大验。

治风入藏，身体缓急不遂，及不能言，
小驱风散：

人参 肉桂 大川乌头 炮 麻黄 去节。各一两
甘草 炙 防风 汉防己 白术 黄芩 芎藭
赤芍药 白茯苓 各三分

右件为散，每服四钱，以水一中盏，入
生姜半分，煎至六分，去滓，不计时候，稍
热服，汗出为度。

治卒中风，痰壅盛，不记人事，并中恶
等疾，四神散：

乾蝎 瓜蒂 赤小豆 雄黄 通明者。各半两

右件四味为末，每服二钱，温水调下，
以吐为度。

五藏中风方论

夫风邪中人，皆缘虚而入，犹须辨识形
候，是何藏中风。肝藏中风，关节不利，筋
脉拘急，甚者但踞坐不得低头，若绕两目连
额，色微有青，唇面黄者，可治；若大青黑，
面一黄一白者，是肝已伤，不可复治。心藏
中风，精神离散，悲乐不常，面赤头痛，翕
翕发热，甚则但得偃卧，不得倾侧，汗出，
若唇赤汗流者，可治；若唇或青、或黑、或
白、或黄，皆是心坏为水，面目惺惺，时悚
动者，皆不可治。脾藏中风，身体怠堕，多
汗恶风，舌强语涩，唇口喎斜，肌肉不仁，
甚者神思如醉，手足不能动摇，踞而腹满，
身通黄，吐咸汁出者，可治；若手足大青者，
不可复治。肺藏中风者，其脉浮数，大肠不
利，皮肤不仁，或生疮毒，甚者偃卧，而胸
满短气，冒闷汗出，视目下鼻上下两边，下
行至口，色白可治；若色黄，为肺已伤，化
为血，不可复治；其人当妄，撮空指地，或
自拈衣、寻衣缝，不可治。肾藏中风，两脚
冷痹，缓弱不遂，面黧耳聋，语声浑浊，四
肢沉重，流注生疮，甚则腰痛，视肋左右未
有黄色如饼案大者，可治；若齿黄赤、须发
直、面土色者，不可治。

治肝中风，流注四肢，攻头面疼痛，言
语謇涩，上焦风热，口眼喎斜，脚膝疼痛无
力，宜服犀角散方：

犀角屑 石膏 各一两 羌活 羚羊角屑
各三分 人参 甘菊花 独活 芎藭 白术
酸枣仁 防风 黄芩 天麻 枳壳 麸炒 当归
黄耆 白芷 各半两 甘草 一分，炙

右件捣罗为散，每服三钱，以水一中盏，入生姜半分，同煎至六分，不计时候温服。

治肝藏中风，攻手足，缓弱无力，口眼喎斜，精神不定，行步艰难，宜服决明子丸方：

决明子 天雄 炮 犀角屑 天南星 炮裂 白花蛇肉 酥拌，微炙 独活 芎藭 白附子 炮 川升麻 白术 白僵蚕 微炒 防风 蔓荆子 当归 微炒 细辛 酸枣仁 微炒 草薢 已上各半两 牛黄 朱砂 麝香 各一分，研入

右件捣罗为末，入牛黄等匀分，炼蜜为丸，梧桐子大，每服二十丸，以豆淋酒下。

治心风，狂言多惊，迷闷恍惚，宜服镇心丸：

牛黄 钒霜 各一分，研入 天竹黄 朱砂 龙齿 远志 去心 生乾地黄 松脂 研，已上各半两 铁粉 三分 犀角屑 人参 茯神 麦门冬 去心。各一两 金薄 五十片

右件捣罗为末，和匀，炼蜜为丸，如小豆大，煎竹叶汤下七丸，不计时候。

治心风恍惚，妄语有所见闻，心悸志意不定，宜服茯神散：

茯神 人参 龙骨 犀角屑 各一两 铁粉 赤小豆 各半两 菖蒲 三分 金薄 三十片，研入

右件捣罗为末，入研末同和匀，每服不计，以金银汤放温，调下一钱。

治脾藏中风，肉热，肌皮淫淫如虫行，或腠理开，汗大泄，皮肤肉色不泽，唇鼻黄色，宜服细辛散：

细辛 白术 独活 附子 炮 防风 肉桂 各一两 麻黄 去节 厚朴 姜汁炙。各二两 枳实 甘草 炙。各半两

右件捣罗为末，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，不计时候服。

治脾藏中风，身体怠惰，四肢缓弱，恶风头疼，舌本强直，言语蹇涩，皮肤顽痹，宜服乌蛇丸：

乌蛇 用肉，一两，酥炙黄 天麻 独活 附子 炮 肉桂 各一两 人参 防风 细辛 当归 炒 白术 羚羊角屑 薏苡仁 乾蝎 炒 牛膝

芎藭 茯苓 天南星 白僵蚕 炒。各三分 麻黄 一两半，去节 牛黄 龙脑 麝香 各一分，研入 朱砂 半两，研入

右件，捣罗为末，入研了药，和匀，炼蜜杵为丸，梧桐子大，酒下十丸，加至十五丸。

治脾藏风壅，咽喉内涎唾如胶，心胸妨闷，语声不利，宜服坏涎丸方：

白矾 火煨 天竹黄 各半两 半夏 汤浸七遍，洗，去滑，麸炒 朱砂 研，水飞过 天南星 炮。各一两 金薄 五十片 皂荚子仁 半两，炒

右件药，先以半夏、天南星、皂荚子仁，捣罗为末，与诸药同研令匀，用烂粟米饭，和为丸，如绿豆大，每服七丸，生姜汤咽下。

治肺藏中风冷，头疼项强，背痛，鼻乾，心闷，语声不出，胸中少气，四肢无力疼痛，宜服独活散：

独活 细辛 附子 炮 甘菊花 麻黄 去节 白芷 五味子 紫苑 赤茯苓 肉桂 白术 芎藭 桑白皮 甘草 炙 杏仁 汤浸，去皮，麸炒 防风 已上各一两

右件药，捣罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎六分，去滓温服。

治积年肺藏风毒，遍身生疮，大肠壅滞，心神烦躁，宜服皂荚煎丸：

皂角 二斤不肿者，用一斤槌碎，以水一斗，浸一宿，绞取汁 梨 一十枚 生薄荷 一斤 生荆芥 一斤。已上三味入在皂角水内，同浸揉洗，令极烂，以生绢绞取汁 前皂荚 一斤，刮去黑皮，以酥二两涂之，慢火炙令黄焦，待酥尽为度 防风 葳灵仙 独活 羌活 甘菊花 各二两

右件，捣罗为末，以一半入在前药汁内，于银锅中慢火熬，看稀稠得所，入后一半药同为丸，如梧桐子大，一服二十丸，以温浆水下，不计时候。

治肾藏气虚，风邪折中，腰脚缓弱无力，视听不聪，腰脊痠疼，脐腹虚冷，颜色不泽，志意昏沉，宜服天麻丸：

天麻 肉苁蓉 酒浸一宿，去皮，炙 石斛 去根。各一两半 磁石 二两，烧令赤，醋淬七遍，研，水飞过 杜仲 去皮，炙 当归 炒 丹参 独活 天雄 炮 牛

膝 去苗 肉桂 去皮 草薢 蚬蛭炒 菖蒲 巴戟
去心 鹿茸 去毛，酥炙令黄 附子 炮

右捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子大，每服二十丸，空心酒下。

治肾藏中风，腰脊疼痛，不得俯仰，两脚冷痹，缓弱不遂，头昏耳聋，语音浑浊，四肢沉重，宜服独活散：

独活 附子 炮 桂心 天麻 当归 炒，已上各一两 甘草 炙 枳壳 麸炒 牛膝 去苗 甘菊花 白术 山茱萸 细辛 黄耆 菖蒲 草薢 丹参 防风 芎藭 已上各半两

右捣罗为末，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓温服。

瘫痪风方论

世传左为瘫，右为痪，此说尤非，何者？经既有偏中半身不遂之候，即瘫痪之候，当以左右俱中者名之。又说：以春夏得之难治，秋冬得之易疗。春夏者，阳气上腾，火力方盛，风火相得而王，故难治也。秋冬者，阳气降下渐微，即易疗也。此说亦未可必，惟其中之浅深为难易尔。治法兼理肝肾为得，盖肝主筋，肾主骨，风中肝肾，则筋骨瘫痪也。

治瘫痪风，大铁弹丸方：

大乌头 四两，生用，去皮脐，别杵末 五灵脂 四两，海澄令极细 没药 别研 乳香 别研 朱砂 研 无名异 血竭 研入，已上各三分 牛黄 麝香 研 龙脑 各一分

右十味，细研罗为末，滴水丸如小弹子大，每服一丸，以生姜自然汁二分盏，研化，热酒浸温服。

治瘫痪风，手足不遂，肌肉顽痹，筋脉拘急，心神不安，言语蹇涩，胸膈痰涎不利，宜服白术散：

白术 草薢 独活 肉桂 五加皮 甘菊花 汉防己 葛根 羚羊角屑 赤芍药 防风 芎藭 杏仁 汤浸，去皮尖，麸炒，令黄 侧子 炮去皮 甘草 炙黄，已上各一两 磁石 三两，碎研，水淘去赤屑 麻黄 二两，去节 薏苡仁 二两

右件十八味，捣为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎六分，去滓温服。

补肝肾久虚，外中风毒，肢节挛急，腰间痠疼，渐觉羸瘦，宜服鹿茸丸：

鹿茸 酥炙黄，去毛 石斛 去苗 草薢 槟榔 附子 炮，已上各二两 天麻 巴戟 去心 熟乾地黄 仙灵脾 山茱萸 酸枣仁 麸炒 蛇床子 杜仲 五加皮 肉桂 独活 防风 茯神 已上各一两 牛膝 一两半 兔丝子 三两，酒浸三日，晒乾

右件为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，食前以温酒下三十丸。

治中风半身不遂方论

经有偏风候，又有半身不遂候，又有风偏枯候。此三者大要同，而古人弱为之篇目。盖指风则谓之偏风，指疾则谓之半身不遂，其肌肉偏小者，呼为偏枯，皆由脾胃虚弱所致也。夫脾胃为水谷之海，水谷之精，化为血气，润养身体，今脾胃虚弱，则水谷之精养有所不周，气血偏虚，为邪所中，故半身不遂，或至肌肉枯小尔，治法兼治脾胃为得，如补脾丸之类，兼服之，方在脾病方中。

治偏风，手足不遂，筋骨疼痛，宜服海桐皮丸方：

海桐皮 石斛 去根 肉桂 侧子 炮，去皮脐，锉，焙 仙灵脾 芎藭 麻黄 去根节 莽草 微炒，炙 茱萸 白芷 牛膝 已上各一两 防风 柏子仁 羌活 当归 已上各三分

右件，捣罗为末，炼蜜和丸，梧桐子大，每服三十丸，温酒下，食前服。

风痺方论

风痺者，身无痛也。病在藏，四肢不收，智不乱，一旦臂不随者，风痺也。能言微有知，则可治；不能言者，不可治。足如履霜，时如入汤，胫股淫铄，眩闷头痛，时呕，短气汗出，久则悲喜不常，不出三年死。凡欲治此病，衣先后次第，不得漫投汤药，以失机宜，非但杀人，因兹遂为痼疾，当先服竹

沥饮子。

竹沥饮子方：患热风者，必先用于此，制其热毒方。

竹沥二升 生葛汁一升 生姜汁三合

右三味相和，温暖分为三服，旦暮晚各一服，觉四体百具似好，与麻黄散：

麻黄 防风各三分 芎藭 防己 附子炮 人参 芍药 黄芩 甘草炙 桂心 已上各半两 石膏三两 杏仁二十粒 羚羊角屑一两

右件，捣罗为末，每服四钱，水一大盏，生姜半分，竹沥一合半，生葛汁一合，同煎七分。忌生冷、酢滑、猪牛马驴肉、蒜、麦、酒。服前件汤散，渐觉少损，仍进后方。

疗卒暴风，口面僻邪，半身不遂，语不转，竹沥汤方：

竹沥外入 防己 升麻 桂心 芎藭 羚羊角屑各二两 麻黄三两 防风二两

右七味，为粗散，每服四钱，水一大盏，竹沥二合，同煎七分，滤去滓服。如常服加独活三两最佳，若手足冷，每一服加生姜三分同煎。药服不除，更进防风散：

防风 麻黄 芍药各三分 防己 桂心 黄芩 白术 附子炮 羚羊角屑各一两 甘草 人参 芎藭 独活 升麻各半两 石膏一两

右件一十五味，捣为粗散，每服四大钱，水一大盏半，竹沥二合，生姜一分，同煎九分盏，去滓服。若有气者，宜服芍药散：

芍药 防风 麻黄各三分 黄芩 防己 桂心 白术 人参 芎藭 独活 升麻 牛膝 石膏 橘皮 五加皮 羚羊角屑各半两 杏仁二十个，去皮尖 干葛一两

右件十八味，为粗散，每服四钱，水一大盏，入竹沥二合，生姜半分，同煎八分，滤去滓服。

凡风痲，服前汤得差讫，常服除余风，独活散：

独活 防风 防己 秦胶^① 黄耆 芍药 人参 白术 茯神 芎藭 远志 升麻 石斛 牛膝 丹参 羚羊角屑 甘草 厚朴

天门冬 五加皮 桂心 黄芩 地骨皮各半两 橘皮 麻黄 干地黄各一两半 槟榔 藁本 杜仲 乌犀角各一两 薏苡仁半升 石膏三两

右件三十二味，各细切，和匀，捣为粗散，每服四钱，水一盞半，生姜半分，同煎八分，滤去滓，日进二服。若或觉心中热烦，以竹沥代水煮之，生姜一味，临前药斟酌用之。

治风痲方论

经有风痲候，又有风角弓反张候。痲者，身体强直，口噤如发痫；状角弓反张者，腰背反折，不能俯仰。二者皆曰风邪，伤于阳之经而然也。治法一同。

治卒中风，身如角弓反张，口噤不语，宜服石膏散：

石膏 麻黄去根节各一两 防风 羚羊角屑 独活 五加皮 前胡 肉桂 附子炮 人参 芎藭 当归 杏仁汤浸，去皮尖，麸炒 甘草炙。已上各半两

右件捣罗为末，每服四钱，水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓，无时温服。

治中风角弓反张口噤不语，四肢拘急，并肾藏风毒攻注，手足顽麻，一切急风，並宜服天南星丸：

天南星炮 天麻 白附子炮 膩粉 牛膝 去苗 白僵蚕微炒 羌活 槐胶 羚羊角屑 防风各半两 干蝎微炒 蝉壳各一分 白花蛇一两，酒浸，去皮骨，用肉，炙 麝香一钱半，研入 黑附子半两，炮

右为末，入研了药，令匀，炼蜜和丸，鸡头大，每服一丸，以薄荷生姜汁和酒下。

治贼风反折，铜屑酒方：

赤铜屑四两

右熬令极热，投酒中，每服五合，日三，或无即以赤铜五斤烧，纳酒中百遍，服同前法。 备预百要方治贼风肢节拘急，赤铜

① 胶：普济方卷一百六诸风门作“朮”。

五斤烧赤，投二斗酒，百遍服之。

风寒热候方论

经曰：风之中人，或为寒热。寒者，谓腠理开，则洒然而寒，寒则衰饮食，在人瘦则外泄而寒，为寒中。一曰：使人面青心闷，呕逆吐沫，四肢痛冷。热者，谓腠理闭，则热而闷，若人肥则风不得外泄，为热中而目黄。一曰：其状使人恶风寒战，目欲脱，涕唾出，七八日，微有青黄脓涕出，如弹丸大，从口鼻出为善也，不出则伤肺，变咳嗽唾脓血。

治患风人多热，常宜服荆沥汤方：

荆沥 竹沥 生姜 各半斤

右三味相和，温温服之，每日相夹煮散服，日午服此平复，差乃止。

风眩方论

夫风眩之病，起于心气不足，胸上蓄热实，故有高风面热之所为也。痰热相感而动风，风心相乱则闷瞤，故谓之为风眩瞤。大人曰癰，小儿则为痼。一说：头风目眩者云云，次列于后。详见圣惠方。

治头风神白散： 养生方云：饱食仰卧，久成气病头风。又云：饱食沐发作头风。

石膏 白附子 炮 天南星 炮 白芷 甘菊花 京芎 天麻 各等分

右件捣罗为末，每服一钱，先嚼薄荷三五叶，温酒调下。

又方： 茶煎散。

麻黄 去节 荆芥穗 白附子

右三味为末，各等分，每服一钱，如茶点。

又方：

右以白芥子研贴痛处，立效。

治头风，并诸般风疾，白龙丸： 石膏 半斤，火煨过，如面，分为三停，留一停为衣 川乌头 去皮 甘草 天南星 各四两，各生用 肉桂 甘菊花 各二两 防风 白僵蚕 京芎 各一两半 牛膝 海桐皮

去皮，水浸 麻黄 去节用 甘松 洗 川白芷 藁木 洗，各一两

右捣罗为散，研和令匀，用糯米拣择净煮粥研烂，旋旋入药和匀，杵为剂丸，如大鸡头大，微干上衣，每服一丸，空心夜卧用煨葱暖酒嚼下。如中急风，用两丸，薄荷自然汁半盏，酒半盏，磨化灌下，衣被盖出汗；妇人血风，当归酒下；伤寒头痛，葱酒下；常服茶酒任下；小儿急慢惊风，量大小，金银汤磨下。

治偏头疼，旋复花散：

旋复花 草薢 虎头骨 酥涂，炙黄。各半两

右件为末，欲发时以温酒调下二钱，衣被盖出汗，立差。

治夹脑风，及洗头后伤风，头偏痛甚者，宜服神圣散：

麻黄 去根节 细辛 干蝎 半生半炒 藁香 各半两

右件为末，每服一钱，用荆芥汤或薄荷酒下。

大风方论

经言：大风五种，皆以五色言之，谓青、黄、赤、白、黑五者之风，能生五虫，五虫食人五藏。此说疑未别白，盖五藏之经，惟虚者风邪中之，既中风邪，始生虚热，虚热既盛，乃变生虫，如肝病生青虫，心病生赤虫，脾病生黄虫，肺病生白虫，肾病生黑虫。犹蠹生于木，反食于木，故食肝则眉睫堕落，食肺则鼻柱崩坏，食脾则卧，语声变散，食肾则耳鸣啾啾。其曰：蟋蟀面癰者，亦以虫所似言之，盖不越五色之证也。古人谓之恶疾，然亦多种不同所得，遍体无异，而眉发已落；有遍体已坏，眉须俨然；有诸处不异好人，而四肢腹背有顽处；重者，手足十指已有堕落。有患四体大寒，而重衣不暖者；寻常患热不能暂凉者；百体枯槁者；有津汁常不止者；有身体干痒搔骨，搔之白皮如面，手下作疮者；有疮痍荼毒乃叠而生，昼夜苦痛不已者；有直置顽钝不知痛痒者。此候虽

种种状貌不同，而难疗易疗，皆在病人，不由巫者，何则？此语口慎心违，不受医教，直希望药力，不求诸己，百余人差者十分有一。神仙传有数人皆因恶病而致，何者，由割弃尘累，怀颖阳之风，所以非止差病，乃由祸而取福也。一遇斯疾，即须断盐、一切公私物务，释然皆弃，犹如脱履，凡百口味，特须断除，渐渐断谷，不交后事，绝乎庆吊，幽隐岩谷，周年乃差，差后终身慎房。

服苍耳法：三月已后，七月以前，刈取苍耳为末，夏水服，冬酒，主大风，日二服，如丸用蜜，每服二十丸，满百日，甲错皮落，脱如凝脂。

风诸杂候方论

风病候多途，而岐伯论风止于四种，谓：偏枯、风痲、风懿、风痹而已。后之人又多其条例，至有一事数出，如前急风与卒中，各为方论，其于繁简，俱不得中，予今惟取人所难明者论之。其疾候晓然易明者，皆已之，故曰风诸杂候，用者当观其方之所生者可也，下去诸杂候者，亦此例。

治贼风面目口喎方：

夫风邪入于足阳明、手太阳之经，遇寒则筋急引颊，故使口面喎僻，其脉浮而迟者，可治。又养生方云：夜卧，当耳勿得有窍，风入耳中，多令口喎也。宜服小驱风散¹。

方在急风部中。

治贼风面目喎斜。宜服附子散方：

附子 肉桂各二两半 细辛 防风 人参 干姜各三两

右件六味为散，酒下二钱。

治一切风，走注肢节，痛不可忍者，神效，小乌犀丸：

乌犀 朱砂 天麻 羌活 芎藭 防风 干蝎 白僵蚕 甘菊花 地龙 蔓荆子各一两 干姜炮 牛黄研入 麝香研入。各半两 天南星炮 败龟酥涂，炙令黄 白花蛇酒浸，去皮骨，炙黄 肉桂 附子炮 木香 人参 海桐皮 虎胫骨酥炙，令黄色 当归微炒。各三分

右件捣罗为末，炼蜜和匀，丸如小弹子大，每服一丸，以暖酒或薄荷汤嚼下。

治风痰壅盛，胸膈不利，大去诸般风疾，四生丸：

半夏半斤 天南星五两 白附子四两 大附子二两

右四味，捣罗为末，净乳钵内，用水一斗半浸，逐日换水，春夏三日，秋冬七日，频尝，以不麻人，即去水于笊箕内，以厚纸澄干，再研细，以糯米糊和匀，丸如鸡头大，每服一丸，茶酒任下，更入少龙麝尤佳。

治大肠风热，结涩不通，葳灵仙丸：

葳灵仙 独活 芎藭 槟榔各一两 川大黄微炒 牵牛子各一两

右捣罗为末，炼蜜丸，如梧桐子大，食前温水下十五丸。

治肺藏久积风毒，皮肤生白瘰²不止，苦参散：

苦参三两 露蜂房炙 松脂 附子炮 梔子仁 木兰皮 乌蛇三两，酒浸去皮骨，炙

右件捣罗为末，每服二钱，温酒调下。

助道方

治中风气逆证

中风气逆有痰涎，苏合姜调灌下咽，次用省风小续命，多增木麝二香煎。

往往中风之证，多因喜怒不常，或饮食

停滞，或怒气伤神，思虑过度，损于心藏，用局方苏合香丸叁丸，生姜自然汁化开，灌下咽喉，次用局方省风汤、小续命汤，各加麝

¹ 小驱风散：方见本卷治急风诸方论中。

² 瘰：太平圣惠方卷二十四苦参散方作“癰”。

香、木香，依法煎服。

治年深恶毒疮

疮毒年深变癰风，眼圆鼻陷遍身红，风油要使乌沉和，两月调停有大功。

切详大风，或年深疮疾，或鼻梁崩倒，头面生疮，不能已者，局方乌沉汤五贴，真大风油壹两半，用微火化，夫风油成汁和乌沉汤，又用厚面糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸至四十丸，食后茶清调下，空心临睡服之，一月二月必见神效。

治风中半身不遂病

风中须将气饮详，姜调苏合橘皮汤，省风续命徐徐进，二药仍须入木香。

往往中风之证，多因心肾亏虚，喜怒不常，或强食停饮，或怒气伤神，过虑损心之所致也。先用局方苏合香丸姜汁调数丸，分为三服，却用橘皮汤点服之，次服省风汤、小续命汤，加木香依法煎服之。

治中风口眼喎斜证

口眼喎斜是中风，筋疼烦热遍身中，急煎五七加芍药，苏合香丸速有功。

风寒湿气留滞经络，忽然手足顽麻，口眼喎斜，项强筋疼，遍身烦热，未可使用风药，宜煎局方三五七散，加芍药三钱，用水三盏，生姜十片，煎取一盏半，去滓，作三次调苏合香丸三粒服饵，留滓再煎。

是斋医方

中 风

三建汤：治中风，风涎不省人事。

附子 天雄 乌头

右件等分生用，去皮脐，薄切，每药一两生姜一两，同水三大盏，王氏集验方二大盏。煎至壹盏半，去滓温服。王氏易简方云治寒中。

治卒暴中风，未可服它药，先以麝香煎五积散灌之。事林广记同。甚妙，候醒，随证治之。琐碎录同。苏训直李元特郎中皆云。

新武义唐丞季润名灌云：切记风中人，不可便服风药；气中人，不可便服气药。或觉有此证候，急用真好麝香肉三钱、乳钵内研令极细，以真清麻油，不拘多少，调令稀薄，可饮为度，即令患人服顿尽。须辨菜子油不可用。药少即见效，迟如牙关紧，即撬开灌入，候少苏省，然后服紫汤。其方用：川独活刷洗去沙土，薄片切，以豆淋酒煎浓汁服之，累服至一二斤，无害，服此二药永无手足偏废，语言蹇涩之患。后见得是中风，只服小续命汤之类，见得是中气，只须

服匀气药，自然无事也。渠作汉东教官得之。太守张少卫名玠云：屡试有效。季润亦以治数人矣，云：麻油麝香，又胜麝香煎五积散。

治大人小儿，虚风呵欠，止吐化涎，白附子散：

白附子半两，炮 天南星半两，炮 黑附子炮，去皮脐，一分

右为细末，每服二钱，水一盏，姜五片，慢火煎六分，不拘时候服。小儿一钱，水一盏，姜三片，慢火煎，不住手搅匀，至小半盏，分三服。吴内翰宣和癸卯在真州，李博士景开以治其孙甚效；绍兴辛亥康州陈侍郎彦修病风虚极昏，服三四服，醒然遂安。

治风湿及卒中：

生料五积散二钱 顺元散一钱 水一盏半，生姜五片 同煎至八分，去滓稍热服。

顺元散：出良方。沈存中叔祖钱氏时得此方，卖于民间，故吴中至今谓之沈家五积散。

大抵此药能温内外，但内外感寒，脉迟细沉

伏，手足冷，毛发恂慄，伤寒里证之类，大啜三两杯，当手足温，或汗乃愈。今世名医，多用此药，治气极效，和一切气，通包络，王氏集验方血络。无出此药，良方所述如此。得效方治卒中，昏不知人，口眼喎斜，半身不遂，咽喉作声，痰气上壅，六脉沉伏，或浮盛，兼治痰厥、饮厥及气虚眩晕。

乌头二两 附子 天南星各一两，三味皆炮 木香半两

右为粗末，每服三大钱，水一盞半，姜七片，煎至八分，稍热服。绍熙辛亥耿侍郎微中，服此而愈。后表弟唐仲举因冒风湿，手足缓汗，集验方缓弱。略不能动，伏枕已三日，欲转侧，须三四人扶策，甚以为虑，予教令服此，只三服，次日履地脱然，并风湿证不必加五积散。得效方又云：感风湿卒中，五积散合和服；不省人事，细辛，皂角少许为末，或只用半夏为末，以芦管吹入鼻中，候喷嚏少苏，然后进药；痰涎壅盛，每服加全蝎五枚，仍服养正丹，每服三七粒镇坠之，以其用硫黄、黑锡，皆有利益，则痰涎随去矣。因气中者，以沸汤化苏合香丸一粒，乘热灌下，仍用前药汗①浓磨沉香汁少许，同煎一沸服之；四体冷厥，用灵砂丹、岁丹二七粒兼服。方并见伤寒、痢冷、诸气门。

三圣散：大治手足风痹，诸方手足拘挛。口眼喎斜，左瘫右痪，骨节痠疼，脚弱无力，行步不平②。一切风疾，简易方风疾。又名舒筋散。

当归洗，焙 诸方洗炒 肉桂去皮 玄胡索灰炒 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方微炒，卫生易简方炒

右等分，为细末，每服二钱，温酒调下，空心临卧日进三服，除孕妇外者，悉皆可服。

朱氏集验方湘中黄槐卿父子，三世用此药，功效甚多。

醒风汤：专治男子妇人左瘫右痪，口眼喎斜，中风口噤，全不能语，及半身不遂，手足顽麻，一切风疾，並皆治之。

天南星二两，大者，汤炮 北扶③ 甘草二两，炮

防风四两，去芦头

为粗末，每服二大钱，水二大盞，煎至中盞，空心温服。

圆南仲显④治二十年，左瘫右痪，口眼喎斜，五种脚疼，服龙骨⑤丹又名火龙丸。

地龙四两，去土 玄胡索四两，生 松节二两 核桃肉十五个 乳香三钱 蜈蚣十四⑥ 蝎二条 没药三钱 草乌头四两，生，不去尖 蝎十四个，蜈蚣、蝎、蛇头三味用好酒一升，同煎，十数沸，取出，焙干

右为细末，用煮肉⑦药酒，打糊为丸，如梧桐子大，每服十丸，左瘫右痪，麝香酒下。郭医云：卢州李副将得此疾，以火龙丸、四生丸相间而服，不一年病去八九分。四生丸⑧见和剂局方。

大圣丹：博济方名乌龙丹，修制不同。

川乌去皮尖脐，切作片子，五两 五灵脂生用，新者，五两

右捣罗为细末，入脑麝少许，滴水搜和如弹子大，每一丸，年五十以上者，分作四分，有年纪人作六服，取生姜自然汁，隔宿浸软，就盞内以手调开，用薄荷酒化，仍再入脑麝少许于酒内，合此药时，以三月三日，五月五日，六月六日，或辰日，勿令孕妇鸡犬见，丸就以米筛，先铺穰草，将药丸摊在上，有风处，荫令自然干收之，不得霉损，以纱绢袋悬之，拈此药了，不得以手擦眼，服此药须忌两时热物。治男子妇人中风，半身不遂，言语蹇涩，行步不正，诸药无效。或久远鹤膝风，暗风，无不治之。服至三十日，除去根本；小儿分作八服。十五弟深患暗风十余年，得此药遂安。

① 汗：世医得效方作“汁”。

② 平：普济方卷九十七诸风门引是斋百一选方三圣散作“正”。

③ 北扶：仁斋直指附遗方论卷三、普济方卷九十三均无此二字。

④ 圆南仲显：普济方卷九十三诸风门引是斋百一选方无此四字。

⑤ 骨：普济方卷九十三诸风门引是斋百一选方作“虎”。

⑥ 四：此下脱字，普济方卷九十三诸风门引是斋百一选方作“个”。

⑦ 肉：普济方卷九十三诸风门引是斋百一选方无此字。

⑧ 四生丸：方见本书卷十九诸风门七。

治暗风：

蛇黄 不拘多少，米醋烧淬七次

右为末，每服二钱，温酒下，数服便愈，年深者亦效。

治暗风，百日内者，禹锡侄乳媪，亲曾得效。

天南星 二两大者，掘地坑，深尺余，火煨令红，去火，安顿南星在内，随手以米醋沃之，瓦盆盖一伏时，取出，洗去灰土，焙乾，为细末 琥珀 二钱，通明者，别研 朱砂 半两，别研

右拌匀，以猪心血为丸，如梧桐子大，每服十五丸，人参或麦门冬汤下，临卧服。

灵效丸： 治男女^①妇人痛风，钱教授闻礼^②。

锡磷脂 甘锅内煨通红 白胶香 好明净者研 五灵脂 如历青成块者 当归 洗净，去芦 白附子 没药 香白芷 草乌头 去尖 糯米 炒，令黄色 桑柴灰 须是纯桑木烧，它木不可杂。各一两

右为细末，用糯米糊丸，如梧桐子大，每服三四十丸，空心临卧温酒下。

锡磷脂丸：

锡磷脂 一两 自然铜 二两，同入甘锅内，火煨一时辰，醋淬 天雄 一对，炮，去皮脐 附子 一对，重六钱者，炮，去皮脐 草乌头 二两，炮，去皮脐 防风 没药 天南星 炮 赤小豆 炒 白僵蚕 白附子 破故纸 炒 川萆薢 五灵脂 胡芦巴 白胶香 各二两 乳香 半两 糯米 三合 骨碎补 四两，去毛

右一十九味为细末，好无灰酒，糊为丸，如梧桐子大，每服三二十丸，更量虚实加减，胡桃酒送下，空心服，大治诸风神效。竺参议操傅云：得之江东路铃韩宗愈参议之子友仁，苦瘫痪，服药踰年不效，得此方，初服便觉稍减，服至一料，便能行履，闻韩尝以医数人，皆有效也。

治痛风，高监之子服。

煎小续命汤，下防风丸。

治手足十指疼痛麻木， 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方麻木不仁。 孙盈仲尝患此，

其祖善医，云：有风而非虚，以此药之而愈。

得效方名香附汤。

附子 木香

右二味等分，锉为粗末，用姜如常法，煎木香随气虚实加减，如治足弱，去附子，用乌头甚妙。 简易方同。

除湿汤： 治一切中湿自汗渐渐^③恶风，翕翕发热，阳虚自汗，呼吸少气，风湿风温，表实里虚，表虚里实，腠理开疏，气道壅塞，虚汗盗汗，目黄身肿，小便不利，胸膈溢满，腰疼体痛，呕吐涎沫。葛丞相云：甚有效验。

白术 白茯苓 苍术 米泔浸 藿香叶 去土 甘草 橘红 厚朴 半夏 各一两 附子 六钱，炮 生姜 二两

右厚朴、半夏、生姜一处捣作饼子，焙乾，同众药为粗末，每服三钱，水二盏，姜钱十片，煎至一盏，不拘时候^④。

蠲痹汤 葛丞相方。 朱氏集验方治风湿相搏，身体烦疼，项臂痛重，举步艰难，及手足冷痹，腰腿沉重，筋脉无力。

羌活 去芦 姜黄 当归 去土，酒浸一宿 黄耆 蜜炙 赤芍药 防风 去芦。已上各一两半 甘草 半两，炙

右咬嘴，每服半两，水貳盏，姜五片，煎至一盏，去滓温服。 集验方不拘时候。 简易方： 治证与集验方同。 羌活 赤芍药 姜黄 当归 酒浸 黄耆 蜜炙 防风 去芦。各二两半 甘草 炙。半两 右咬嘴，每三钱，水一盏，生姜五片，煎至半盏， 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方煎七分。 去滓温服。

治臂腿之间，忽一两点痛，著骨不可忍。

羌花根

右一味，研为细末，米醋调，随大小傅之立止。卢州郭医云：此陶成一医者方，曾以治一妇人产后而得此疾者良验，但敷贴不住，须以纸花覆其上，用绢帛扎定也。

① 女：普济方卷九十七诸风门引是斋百一选方灵效丸作“子”。

② 礼：按文义此下应有“传”字。

③ 渐渐：普济方卷一百十八寒暑湿门引是斋百一选方除湿汤作“渐渐”。

④ 候：普济方卷一百十八寒暑湿门引是斋百一选方除湿汤作“服”。

回阳汤：治丈夫妇人、无问老幼，卒暴风、中、气中，左瘫右痪，手足不遂，语言蹇涩，口眼喎斜，筋脉挛缩，半身不举，不省人事，屡用果有神效。汉阳卓教授名揖傅。

乾姜 炮裂 益智仁 大川乌 炮，去皮脐。已上各一两 青皮 半两 附子 一只七八钱重者，生用，去皮脐

右为咀咀，每服秤半两，水二大盏，生姜十片，枣子一枚，入盐少许，同煎七分，去滓，空心食前温服，并滓再煎。简易方、医方

大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

治洗头风：

新通草 于新瓦上烧存性

右为灰，每服二钱，热酒调下，牙关紧者，斡开口灌。琐碎录、潘轩方同。

治大病后，虚头痛，琐碎录虚头风。四桂散，将煎熟时入，好腊茶一钱，服之良甚。

治头风，叶椿①：

白僵蚕 去丝嘴 良姜 等分

右为细末，每服半钱，白梅茶清调下，临发时服。

又方：川芎 二钱 附子 一两，炮去皮脐 熟乾地黄 半两，须日晒乾洒酒九蒸九曝者，市卖者，以绿矾搭色，不中用，或无即以好大川当归半两代之

右咀咀，每料分作五服，水一大盏，生姜三片，枣一枚，同煎至六分，去滓，入细磨木香水一蚰壳，再暖令热服。张裁衣得此方屡以医人，皆立效。

治头风：

大川乌 天南星 等分

右为细末，每服半钱，水一大盏，白梅一个，生姜五片，煎至五分服，久服可去根本。

治偏正头风，坠痰涎，散滞气，宽胸隔，久服清头目，强腰膝，十味如神丸：

晋矾 枯过 半夏 四十九粒，汤浸七次 天门冬 去心 南星 一个大者，姜汁浸，炮 五味子 各半两 麦门冬 去心 远志 去心，各一两 甘草 炙 白术 人参 各一分

右为末，生姜自然汁调，飞罗面煮糊丸

如梧桐子大，朱砂一分为衣，每服十丸，至十五丸，食后临卧，生姜汤下。峡州教授王执中，字叔权，永嘉人，其母患头风，卧病余半年，遍服头风药，虽少愈而未能去体，偶何用之来访云：祖母尝因惊避戎马奔走，得头风疾数年，有道人令服此而验，因传其方，既服遂脱然，王之母亦因风浪所惊而得此疾故也。或有因惊而患头风者，宜服此药。王有针灸经刊，行其自叙云尔。

香油②：疗头风白屑，头痒发落，头旋妨闷等方，富次律云甚妙。出四时纂要。

蔓荆子 三合 香附子 三十个，北地者佳 附子 零陵香 羊躑躅花 旱莲子 各一两 葶苈子③

□两半。以上七味，细锉，绵裹故帛半斤碎，用锉铁亦可

右用生麻油一大升，浸七日，取以涂发，油乾旋添，药气尽即易之。四时纂要同。

治紫白癩风：

右用生硫黄末，以生姜蘸擦之，随手去。

又方：生硫黄为末，生姜自然汁数点调润，以生附子或生乌头截作两段，蘸药擦之，浴时先以生布之类擦动使药。

又方：白矾、硫黄等分。

右为细末，以糟茄蒂蘸药擦患处，须浴时使之。直指方治赤癩白癩方：硫黄、明白矾 并生 右为末，姜汁调，茄蒂蘸药，擦两三次。

治白癩风，不拘远近，用乌鸡卵一枚，取清，先用硫黄碾为末，以鸡子清调匀，用生布一片，将药刷在布上，日中曝，反覆刷三四次，钉布子在板上，令不皱，候乾收起，遇浴罢，或动作劳苦，汗出之时，将布子于患处擦之，即愈。

治紫白癩风，四神散：

雄黄 雌黄 硫黄 白矾 并透明者

右等分研为末，每用时先浴，令通身汗

① 椿：普济方卷四十六头门引是斋百一选方此下有“方”字。

② 香油：普济方卷四十八头门引蔓荆实方一名集香油，药味同，据此，应作“集香油”。

③ 子：此下注文脱字，普济方卷四十八头门引蔓荆实方作“一”。

出，次以生姜蘸药，擦患处，良久以热汤淋洗，当日色淡，五日除根。

治白癫风：

草乌 半两 巴豆 一分，并细切

右用米醋和湿，以布裹，浴罢擦之，频浴为佳。

治大风：小四侄^①鸟梢蛇三条，事治令净，蒸煮熟去骨，取肉，焙乾为细末，用宿蒸饼为丸，如米粒大，以喂乌鸡，食尽蛇三条，然后烹鸡取肉为末，或丸或散，酒服之，丸时仍用宿蒸饼，每服三五十丸，甚者不过三鸡便愈。

治大风疾，神仙退风丹：华官使方。

知母 贝母 乌梅肉 海桐皮 金毛狗脊 去毛

右等分为细末，炼蜜丸如梧桐子大，每日空腹日中临睡各服三十元。又每夜第一次睡觉时，急于头边取三十丸便服，并用羊蹄根自然汁下。大忌酒及房事，一切发风之物，只吃淡粥一百日，皮肉渐皆复旧，半年后无所忌，服药时须每夜专令一二谨信人，就病人睡处坐守，才候第一次睡觉时，便扶起吃药一服，妙处在此。华官使亲见林承务名去疾，服之取效。治大风无如此神妙者。若不能禁忌，恐无益也。

治紫白癫风：

生砒霜 白矾 泥矾 各一钱

右为极细末，重罗，用生茄子蒂，擦患处，先浴后擦。

治皮风紫白癫风：

赤芍药 当归 苦参 各半两 赤土 一两

右为细末，生猪脂贰两，熬油去滓，同蜜一两作一处，调药，隔一宿，每服一大匙，热酒调下，空心食后各一服，二药并忌鸡、鸭、无鳞鱼、豆腐等刀镊。张仲友方。

治大风。汉阳水军王统领方：

苦参 地龙 去土

右等分，为细末，看病浅深多小，随意服，茶酒任下，不拘时候，皮肤有破处，用五灵脂细末，以清麻油调涂之。

治破伤风，及金刃伤，打扑伤损。张弥明知府家传御医李子厚方：黄蜡一块，热酒化服，立差。^①瑞竹堂方同。堂方又云：与前治破伤风玉真散一对连用。^②经验秘方同，玉真散见三因方防风散。

治紧急破伤风，神应丸：华官使方。

半夏 一两半 草乌头 三两 巴戟^③ 一两去壳

右生用，同为细末，好枣四两，换水煮烂，剥去皮，同药捣成剂，丸如莲子大。紧者，无灰酒磨一丸，慢者，半丸。吐涎或泻勿疑。轻者不须更服^④，审量老幼岁数虚实加减之，官使名光祖，向任统制官，尝重伤，服此得效。

琐 碎 录

中 风

中风涎潮昏塞不语者，可先将通关散搐鼻，关窍一通，即与大宝丹，无，或用牛黄清心丸。

中风口眼喎斜，鲮鱼血调蓖麻子肉，拌匀，左患右涂，以正为度。

凡卒中：只灌生姜自然汁，久自能醒，绝妙。

中风无药备用，急取顶心发一撮，毒掣之，以省人事为度。^①事林广记同。

中风：先服苏合香丸，及小木香丸。

凡人初中风，切不可先吃风药及附子，先吃气药，后吃附子，不妨。^②事林广记同。

① 小四侄：普济方卷一百十三诸风门引治大风方，无此三字。

② 巴戟：普济方卷一百十三诸风门引神应丸方作“巴豆”。

③ 更服：普济方卷一百十三诸风门引神应丸方作“服，更”。

中风人，医得手过头，方是复旧。

大风

大风疾，以花蛇生者，酒浸，顿服，大验。昔有监酒官患此，一日诣酿酒处遍尝，有一缸酒，气味特胜，以问酒工，答云：昨浸死一蛇，不敢申报，其蛇只在缸后视之有香气，其人知其花蛇也，尽饮此酒，一月而愈。永类铃方真花蛇散，服之效。太山老叟患此，家人弃之土窖中，得饮，病安，其饮瓮酒，经两月不知有蛇，随其中酒尽，但存蛇骨在瓮中。

患大风不拘久近，用真麻油半缸，入坐其中，浸七日，无不差者。

简易方

家藏方清神散：治风壅热盛甚，咽喉不利。

荆芥穗 龙脑叶 各二两 甘草一两，炒 川芎 牛蒡子 炒。各半两

右细末，每服二钱，沸汤调，食后服。

本事方清气散：调荣卫，顺三焦，治风壅，消痰涎，退烦热。

前胡 柴胡 去芦 川芎 枳壳 白术 青皮 羌活 独活 甘草 炙 茯苓 去皮 人参 等分

右为末，每服二钱，水一盏，荆芥一穗，煎七分服。此方败毒散中去桔梗，加白术、青皮，增损亦有理，用之良验。家藏方

治风壅热盛，涎潮气急，烦躁不宁，身热作渴，恍惚惊悸用：牛黄 石膏 各一两半 南星 曲一两 大黄 姜蚕 炒，去丝嘴 粉草 炙。各半两 朱砂 三钱，别研 脑子 三钱，别研

右为末，每服二钱，食后，新汲水调服，亦名清气散。

家藏方清凉丹：治风热壅实，上攻头面，口眼喎斜，语言不正，肌肉瞤动，面若虫行，一切风热。治伤寒热甚，狂言昏冒，刚痉，并皆治之。

头风

偏正头疼、夹脑风，用地龙去土，焙乾一分，乳香半两，别研为细末，每用半钱，以纸一条，掺药在上，捻作纸捻，不蘸油，香炉上烧，烟熏鼻内。

破伤风方：以草乌头生为末，擦在伤处，候觉痛，以好醋擦之。

又破伤风浮肿，用蝉脱不以多少，为末、葱涎调涂破处，即时取去恶水，立效。

又破伤风，有立殂者，唯以鳔胶一钱匕封之，又酒服一钱匕，则立苏醒。

又破伤风，如疮肿痛者，急寻路行人粪下土调傅之，立效。

天南星 四两，腊月用黄牛胆制者 牛黄 别研，三两 蝎梢 去毒，炒 石膏 各一两半 犀角屑 防风 去芦 甘草 炙 真珠末 白花蛇 酒浸，取肉 朱砂 别研 大黄 各一两 脑子 半两，别研

右细末，研匀，炼蜜丸，每两作十丸，每服一丸，薄荷汤化下，食后临卧服。

和剂方人参顺气散：易名通气驱风汤。治男子妇人血气虚弱，虚风攻症，肌体颤掉，肩背刺痛，手脚拳挛，口眼喎斜，半身不遂，头目眩晕，痰涎壅盛，语言謇涩，行步艰难，心忪气短，客风所湊，四肢拘急，鼻塞头疼，得效方，鼻塞，声重。脾胃不和，心腹刺痛，胸膈不快，少力多困，精神不爽，不管见大全良方作可。思饮食，呕吐恶心，霍乱吐泻；胎前产后，但是气虚百病，皆可服之。常服调荣卫，进饮食，去风，通滞气。

天台乌药 五两 桔梗 去芦 川白芷 川芎 甘草 炙 陈皮 去白 白术 各二两半 得效方各三两半 麻黄 去根节 枳壳 去穢，麸炒。各一两半 乾姜 炮，七钱半 得效方无 人参 去芦，半两

右细末，每三钱，水一盏，姜三片，良方二片。枣一个，煎八分，食前服。伤风鼻塞，

头疼，葱白薄荷同煎。妇人血气，当归煎。一方去白术、人参，加僵蚕、炒去丝嘴，每味用一两乾姜半两细末，生姜薄荷同煎，治风气不顺，手足偏枯，流注经络，并湿毒进袭，腿膝挛痹，筋骨疼痛，大有功效。若用治气，去薄荷，增枣煎，名乌药顺气散。血虚生风，气痹之状，亦类中风，世人呼曰中气^①，所谓热则生风，盖大纲之论，其实疼痛瘫痪，纵掣挛痹之证，因于血虚，气不流行者为多，间有起居不节，为贼风所中，亦必因虚而得，故治风以暖散中通良方通气^②为先，通则痰气不熏蒸，风亦自得以遽散，小续命汤，古今治风良方^③也，但无通气药，不可独用，复以此药兼而治之，成功必矣。得效方右为末，每服三钱，紫苏、木瓜煎汤调下，去白术，加乾姜、僵蚕，名乌药顺气散。卒中风，气不顺，手足偏枯，流注经络，四肢骨节疼痛，或身如板片，举动不得，筋脉拘挛，先宜多服，得手足间微汗为妙；又脚气步履艰难，脚膝软弱，妇人血风，老人冷气，上攻胸臆，两肋刺痛，咳嗽，心腹膨胀，为散每服四钱，生姜三片，红枣二枚，煎服；或闪挫身体不能屈伸，温酒调服，遍身搔痒，抓成疮，薄荷煎服。常服疏风，通滞气，调荣卫，进饮食，大有神效。一方每料加天麻一两，沉香五钱，亦效，并不拘时候。直指方治诸风战掉，拳挛，眩暈，喎邪，麻痹疼痛：川芎 桔梗 白术 白芷 陈皮 枳壳炒 甘草炙，一两，炒 麻黄去节 天台乌药去心。各一两半 人参 白姜炮。各半两 右为末，每二钱，姜枣煎服。简奇方加减顺气散，治男子中风瘫痪，手脚拳挛，口眼喎斜，半身不遂，头目旋暈，痰涎壅盛，语言蹇涩，行步艰难等证：天台乌药五两 桔梗去芦 川白芷 川芎 甘草炙 陈皮去白 白术各二两半 麻黄去根节 枳壳去瓤，麸炒。各一两半 人参 木香各半两 右咬咀，每服七钱重，水二盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，无时服。

叶氏录验方通顶散：初中风，口噤不

省人事者，先用此药搐鼻，令醒，方用别药。伤风头疼昏眩，妙甚。

黄踑躅一分，为末 雄黄一分，飞研 细辛半两，为末

右三味和停，不省人事时，挑少许，搐入鼻中，即醒，涎出口开，方可投药。治卒中，口噤不省人事者，用细辛、皂角各少许为末，或止用半夏为末，以芦管吹入鼻中，候喷嚏，苏后进药。药证病源云：或失音不语，精神昏愤者，如^③能言语，牙关紧急者，用细辛末，搐鼻，又揩牙。一法用白梅擦牙，更以菖蒲末著舌下，牙关即开，仓卒皆选用。

朱氏集验方同。

杨氏方天仙膏：治男子女人，卒暴中风，口眼喎斜。

天南星 草乌头各一枚 白僵蚕七枚 白芨一钱 袖珍方一个

右细末，生鲜^④血调，得效方、袖珍方调成膏。付喎处，觉正便用温水洗去。天南星末，生姜汁调摊纸上贴之，左喎贴右，右喎贴左，才正便洗去，名天南星膏。

资寿方解语汤：治中风客于心脾二经，舌强不能言，半身不遂，口眼喎斜，神气不清，一切风气，并皆治之。

附子炮 防风去芦 天麻 酸枣仁炒。各一两 得效方各二两 羚羊角屑 官桂各七钱半 甘草炙 羌活各半两

右为粗末，每半两，水二盏 医方大成、集成、袖珍方、永类铃方每服四钱，水一盞。煎八分，去滓，入竹沥两匙，再煎三两沸，温服无时，二滓并煎。取竹沥法：见前 治中风不能言，四肢不收，手足蹇曳：独活 白芍药 桂心 桔楼根各二两 甘草三两 锉散，每四钱，姜五片，水二盏，煎六分，去滓，入生葛汁一合和服，名独活汤。脾脉络胃，侠咽，连舌本，

① 气：普济方卷八十八诸风门引人参顺气散方作“风”。

② 方：普济方卷八十八诸风引人参顺气散方作“法”。

③ 如：按文义疑作“不”。

④ 鲜：普济方卷九十一诸风门引天仙膏方作“鲜”。

散舌下，心之别脉，系舌本，今心脾二脏受风邪，故舌强不能语也。

杨氏方神柏散：治中风不省人事，涎潮口噤，语言不出，手足躄曳，得病之日，便进此药，可使风退气和，不成废人。得效方、袖珍方、经验良方此下云：卒有此证，无药去处，用之得力。

柏叶一握，去枝 葱白一握同根 袖珍方去根

右同研如泥，用无灰酒一升，同煎一二十沸，去滓温服，朱氏集验方同。不拘时，如不饮酒，须分作四五服，服尽，方进他药。

许学士方救急稀涎散^①：治中风，忽然昏若醉，形体昏闷，四肢不收，涎潮于上，高气闭不通。方见卫生十全方。

胜金丸：治证如前。一名朱砂丸。

朱砂半两，别研 生薄荷半斤 瓜蒂末 藜芦末 各一两 猪牙皂角二两，捶碎，和薄荷一处搗取汁，慢火熬成膏 普见大全良方、永类铃方捶碎，水一升与薄荷一处搗取汁，慢火熬成膏

右将朱砂一分，良方一半。与二味研停，用膏子搜和，丸如龙眼大，以余朱砂为衣，温酒化下一丸，甚者二丸，以吐为度，得吐即省，不省不可治。必用方，论中风无吐法，引金虎碧霞为戒，且如卒暴涎生，声如引锯，牙关紧急，气闭不行，汤药不能入，命在须臾，执以无吐法可乎，但不当用银粉药，恐损脾坏人四肢尔。许学士云：予用此二方，每每有验，其或基本素弱，痰浮于上，乃精液不守，却忌于吐，吐甚痰脱，则精竭而毙矣。法当以好丹镇坠以主气，用南星、附子发痰归经，乃为善治。医林方治同前法，如稀涎散不能涎出，可用此药：薄荷八钱 猪牙皂角二钱，捣水一升，右二味，慢火熬成膏 瓜蒂一钱，微炒，为末 藜芦一钱，为末 硃砂半钱，为衣 右将四味，和皂角膏为丸，如樱桃大，每服三丸，温酒化下，以呕吐出涎为度，二药涎吐不出，其病难愈，如吐不止，以葱白汤止之。

全生方虎骨散：治半身不遂，肌肉乾燥，渐渐细瘦，时或疼痛，由血少气胜，风

邪留于脉络，荣卫不得运行，名曰偏枯，谨勿用麻黄药发汗，重亡津液，愈耗其血也，当润筋去风。

当归二两 赤芍药 川续断 白术 藁本 虎骨 各一两 乌蛇肉半两

右为细末，每二钱，温酒调下，食后服。骨中烦疼，加生地黄一两；脏寒自利者，加天雄半两，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

鸡峰方活血丹：治一边足膝无力，渐渐乾瘦，上牵胁肋，下连膝胫，筋脉挛急，妨于步履，由病后重亡津液，血少不能营养于筋故也。

乾地黄三两 白芍药 当归 川续断 白术 各一两

右为末，酒糊丸如梧桐子大，每三十丸温酒下。

太乙神精丹：治风痲、尸厥、鬼疰、飞尸

雄黄油煎七日 雌黄丹砂光莹者 曾青 磁石 各一两 金牙石六钱

右各研细，将雌雄二黄、丹砂、醋浸三日，曾青用好酒于铜器中浸，纸封，曝百日，急用七日亦得，如天阴，以火焙乾，六味同研匀，用砂合盛，令药满，得三分许，以此准合子大小，先以赤石脂末固缝，外用六乙泥固济讫，须候透乾，以晴明六合吉日合，别用泥作三个柱子，高五寸，令平稳如鼎足状，安合子下，置火三斤逐旋添炭，常令及五斤，只在合底，不得过口，五日为度，放冷水中浸合子，候泥透，剥去泥，将合子轻手取开，其药精英五色，尽在盖上，亦有三色者，纯白为上，研细枣肉丸如粟米大，每一粒饮服，如口噤牙紧，去前两齿灌下即苏。合六乙泥去^②：矾石 黄泥裹火烧一伏时研细 蚯蚓粪、咸土、盐、黄矾，远看如金丝，色精明，其色本绿，

① 救急稀涎散：方见本卷引卫生十全方“治中风，四肢不举，痰涎闭塞不通”方服法条下。

② 去：普济方卷一百六诸风门作“法”

以黄泥裹火烧通赤如血，取研，各用一两 黄泥一斤 右同为末，以纸筋一处捣和成泥。

叶氏方天香散： 专治久年头风，甚者只一二服，永除病根。

天南星 半夏 汤洗，令滑净，切 川乌 去皮 白芷 各等分

右咬咀，每四钱，水三盏，煎去一半，入姜汁半盏，煎至八分，温服，忌房事。

家藏方拒风圆： 治风虚痰厥，头疼眩晕，如舟车之上。

半夏 汤洗七次 南星 各二两 川芎 防风 去芦 羌活 去芦 独活 去芦 藁本 去土 细辛 去土。各一两

右细末，姜汁糊丸，梧桐子大，每三十丸，食后姜汤下。朱氏集验方同。

本事方定风饼子： 治风客阳经，邪伤腠理，背脊强直，口眼喎斜，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方作言语蹇①。体热恶寒，痰厥头痛，肉瞤筋惕，袖珍方手颤。鼻渊，及饮酒过多，呕吐涎沫，头目晕眩，如坐车船。常服解五邪伤寒，僻雾露瘴气，爽惠神志，诸风不生。

川乌 南星 川芎 乾姜 甘草 半夏 天麻 白茯苓 等分生用

右细末，姜汁丸，龙眼大，作饼子，生朱为衣，每服一饼，细嚼，热生姜汤下，不拘时。常服预防风疾。

本事方玉真丸： 治肾虚气逆上行，头痛不可忍，谓之肾厥。

硫黄 二两 硝石 一分 石膏 煅赤，研 半夏 汤洗七次。各一两

右末，姜汁糊丸，如梧子大，阴乾，每二十丸，姜汤或米饮下。三因方 治证如前，用：硫黄 石膏 南星 焰消等分为末，糊丸如梧子大，每三十丸，温酒下，名天南星丸。又一方，治肾厥痰饮头疼，诸药不效，用：硫黄 川乌 炮，去皮尖。各半两 朱砂 水飞，二两 南星 炮裂，一两为末，姜汁糊丸，梧子大，每十五丸，生姜薄荷汤下，名硫朱丹。

本事方钩藤散： 清头目，治肝厥头晕。

钩藤 人参 茯苓 茯神 防风 陈皮 麦门冬 去心 甘菊花 半夏 各半两 甘草 一分 石膏 一两 火煨

右粗末，每四钱，水盏半，姜七片，同煎八分，去滓温服。素问云：头痛癫疾，下虚上实，过在足少阴巨阳，甚则入肾；徇蒙招摇，目眩耳聋，下实上虚，过在足少阳厥阴，甚则入肝。徇蒙者，如以物蒙其首也。招摇者不定貌，目眩耳聋，皆晕之状。盖下虚者，肾虚也，肾厥则头痛；上虚者，肝虚也，肝虚则头晕。肾厥宜玉真丸，肝虚宜钩藤散。证治皆殊，故用药亦异，不可不明辨也。

回阳汤②： 治卒暴风 中气中瘫痪，手足不遂，语言謇涩，口眼喎斜，筋脉挛急，半身不举，不省人事，屡有神效。方见是斋医方。

桃溪回阳丹： 治证与回阳汤同。

川乌 洗 草乌 各三两，洗 地龙 洗 灵脂 洗 南星 洗。各一两 脑子 麝香 各少许

右日乾细末，蜜丸、鸡头子大，初服半丸，渐加小圆至大圆，姜汁磨化，温酒先嚼薄荷，日午、夜卧服，瘫痪不能行，服三十丸必愈，如中风不软，只口眼喎斜，服二三丸效。

是斋方载回阳汤，桃溪方载回阳丹，二方治证同，而用药异，皆汉阳军章教授家传，而编在两处，今集归一门，服之者可奏十全之效矣。

许学蹇③方星附散： 治中风虽能言，口不喎斜，而手足弹曳，脉虚浮而数，风中腑也。风脉④则口眼喎⑤，风中腑则肢体废，风中脏则性命危，凡风中腑宜汗而解。

黑附子 白附子 川乌 白僵蚕 没药 人参 白茯苓 等分 天南星 半夏 二味，薄切片，姜汁浸，亦等分用

右为粗末，每服二钱，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方三钱。水酒各一盏，同煎至八

① 湿：按文义应作“涩”。

② 回阳汤：方见本卷引是斋医方。

③ 蹇：据类证普济本事方应作“士”。

④ 风脉：类证普济本事方作“盖风中脉”

⑤ 喎：类证普济本事方此下有“斜”字

分，去滓，热服二三服，汗出差。曾在桐庐，有人患此证，三投此药，得汗手足能举。

叶氏方万金散：治风、补虚、顺荣卫、通血气、治腰膝沉重，脚弱无力。鬻官杜壬，以此治手足风累验，其婿孔宣传。

续断 杜仲 去粗皮，炙香，切 防风 牛膝酒浸，焙 细辛 华阴者 白茯苓 人参 桂 去粗皮，取有味处，不见火 当归 切焙 甘草 炙。各一两 川芎 独活 秦艽 去土 熟地黄 各半两 得效方切，酒拌微火炒，朱氏集验方无续断，加桑寄生、芍药各一两

右粗末，五钱匕，水二盏，集验方一盏。煎至一盏，滤去滓，不拘时，但空心热服。文潜云：予尝左臂不随，后已痊愈，而手指不便无力，试诸药不验，遂服此药，才半剂而愈。得效方又去血虚体弱，加鹿茸、肉苁蓉各半两 本事方有白芍药一两，共十五味，前十味秤两同后四味，各三两。细末每服二钱，水一盏，生姜三片，枣一个，同煎七分，空心前稍热服，名续断汤。录验方治手足麻木不仁：防风 去芦 秦艽 去苗 羌活 附子 炮，去皮脐 等分粗末，每三大钱，水一盏半，姜三片，煎至七分，去滓，入生地黄汁两合，再煎数沸，空心服，名小防风汤。

叶氏方十味锉散：治臂痛，医方大成、集成治中风血弱臂痛。连筋及骨，举动艰难。此药亦补心益血，养筋生力。

附子 三两，炮，去皮脐 当归 去土，洗，切 黄耆 炙 白芍药 各二两 川芎 不火 防风 去芦 白术 各一两半 肉桂 去粗皮，不火，一两 茯苓 熟地黄 洗净，用少酒熬令乾，焙之，各七钱半

右修制了，再秤，咬咀，每四钱，水一大盏，姜八片，枣三个，擘开，煎七分，去滓，通口服，食后临卧，永类铃方同。日三服，温覆厚衣将养。去黄耆、熟地黄，用当归、去芦，净洗，乾焙 白芍药、川芎、白术、人参、生附子 大者，炮裂，去皮脐，切作片 白茯苓、桂心 去粗皮 川独活 就羌活中拣色黄节劲者是，各一两 防风 去芦 两半 甘草 炙，七钱半 细锉，每三钱，姜八片，水盏半，煎八分，去滓，食前服。除寒邪，益

血气，名川独活汤。

资寿方黑龙丸：治诸风疾。夫风之为病，半身不遂，口眼喎斜，手足拘挛，或生痺曳^①，语言謇涩，心多惊悸，其状多端，各随所中，此由气血俱虚，腠理疏弱，风邪外中，真气失守，邪相于而生^②焉。

自然铜 一斤，好者，杵碎，用生铁铤子内，以炭火一秤，渐渐二三焰起，闻腥气，又闻似硫黄气，其药乃成，放冷，取出，如药有五色者，即甚妙也。然后安向净黄泥土上，着纸先衬其药，用盆子合之不得通风，一宿，出火毒，乳钵内研细，以水净淘黑汁，浓者收取，次更细淘，又取浓者，三五度，淘澄定，去清水，用新瓦盆内，将纸衬着，令自乾，如黑粉，一同秤六七两，用之，候炮制后药了，当却入。御医撮要铁铤子内，以炭火一秤，渐渐三二斤逼药，铤子令通赤，徐徐添火，可半日以来，其药有鬼焰起，闻腥气云云，余同本方 川乌 四两，略炮 麻黄 三两，去节 黑附子 炮裂 撮要三两 乌蛇 酒浸一夕，去皮骨，炙 厚朴 去皮，姜汁煮香 防风 撮要焙 苍术 麸炒 川芎 陈皮 撮要去白 白芷 白术 炒黄。各二两 撮要紫花白术一两，文武火炒黄，锉碎 芍药 撮要红芍药一两 吴茱萸 各一两半 撮要净拣水淘，一七遍 南星 半两 撮要生用，加乾蝎一两半

右并为末，与自然铜粉相和匀，捣细入炼蜜丸，梧子大，腊月合甚妙。男女中风，瘫痪半身不遂，起止不能者，空心服，临卧豆淋酒下一粒，六十日内必差。男女患筋骨腰膝疼痛，走疰不定，坐即刺腰，卧即刺背，行即入脚根，亦用豆淋酒下，须臾以葱粥一盏投之，衣被盖覆出汗，然后更吃一粒必差。如或患五七日，未得汗，亦如前法服，才入口，汗即出，便安。依法服二十日定愈。治破伤风、顽麻风、暗风、偏风，并用豆淋酒下一粒，至二粒，即见功效。丈夫元脏器^③痛，得效方虚气。脐下撮痛不可忍者，以槟榔一个，酒磨一半，入生姜自然汁少许，同煎五七沸，研二粒服之，须臾以小麦麸醋拌炒，

① 或生痺曳：普济方卷一百十五诸风门引简易方资寿黑龙丸此下有“或昏迷沉闷”五字。

② 邪相于而生：普济方卷一百十五诸风门引简易方资寿黑龙丸作“邪正相干而生”。

③ 器：普济方卷一百十五诸风门引简易方资寿黑龙丸作“气”。

熨脐下便止。治痲气发时，有搐得两头相就者，用槟榔一个，中分破，一半生用，一半炙黄，一处为末，酒一盏，葱白一握，同一处煎，葱熟倾盏内，候酒得所时，先呷两口槟榔酒，将葱白和药一粒，烂嚼，以煎酒咽之，但依法服，立效。须臾间下泄三二十介，得效方三二度即便愈。凡些小风疾，即一服差。忌动风、有毒物、休食。

家藏方大通丸：治证如后。

川乌头 炮，去皮脐 甘草 微炙。各八两 寒水石 二斤，用砂合盛，炭十斤，煨过，火尽为度 肉桂 去粗皮 荆芥穗 藿香叶 去土 薄荷叶 去土 藁本 洗去土，焙乾 香白芷 麻黄 去根，不去节，焙 没药 别研 天麻 去苗 牛膝 洗切 南星 炮 甘松 去土 乌药 川芎 各三两，焙 乳香 二两，别研

右细末，合和糯米糊为剂，每两作十五丸，男子女人一切风疾，每服一丸，磨化茶酒任下，不拘时。卒中不语，口眼喎斜，左瘫右痪，煨葱酒下。伤风头疼，夹脑风，生葱茶下。四肢头面虚肿，炒豆淋酒下。风热肿痛，生姜薄荷汁同调酒送下。胸膈痰实，旋晕昏闷，腊茶清下。浑身瘾疹，蜜汤下。下脏风攻耳内蝉鸣，煨猪腰子细嚼，温酒送下。腰疼腿痛，乳香酒下。风毒攻眼，冷泪昏暗，菊花茶下。乾湿脚气，木瓜酒下。妇人血气攻刺，当归酒下。血风疼痛醋汤下。

叶氏方灵宝丹：治一切诸风，瘫痪伤风等疾。

川乌 去皮尖，略炮 五灵脂 各三两 没药 一两半 胡椒^①□两 木香 乳香 研 朱砂 研 麝香 各一分，和朱砂为衣

右将前五味为细末，择辰日辰时，取东方井花水，入乳香末和煎药末，为丸如豆大，将朱砂、麝香为衣，每服一粒，生姜二片，同嚼，茶酒任下，不拘时。如伤风头痛^②，□胎风，荆芥汤下。

家传方乌龙丹：治瘫痪风，手足躄曳，口眼喎斜，语涩步艰。

大川乌 去皮脐，并尖，用五两 好五灵脂 五两 直

指方各二两

右为末，入龙脑麝香以多为妙，直指方麝射半钱。研和滴水丸，如弹子大，每一丸用生姜汁研化，次以暖酒调服，一日两服，空心食前才服五七丸，便觉抬得手，移得步，服十九丸，可以梳头，服三十丸定医一人。卫生易简方凡初中风一月内，未可用紧风汤散，先且化痰消滞，和胃顺气，盖以风虚未定，未有所归，多误投汤剂，却言无功，此药只治得半年内者，必不相误，合时三月三日，五月五日，六月六日，神在日，或辰日合之。百一方云：合时勿令孕妇鸡犬见，就以米筛先铺穰草，却将药丸摊在上，有风处，荫令自然乾，收之，不得罨损，以纱绢袋悬之，拈此药时，不得以手擦眼，服此药了，两时勿吃热物，久远鹤膝风、暗风皆治之、服至三十日，除去根本，年五十以上者，一丸分作四分，更年纪作六服、小儿作八服。有人患暗风十余年，得此遂安，名大圣丹。本事方治一切瘫痪风，用生草乌 不去皮 五灵脂 等分，为末，六月六日丸弹子大^③，四十岁以下分六服，病甚一丸分二服，薄荷酒磨下，觉微麻为度，名黑神丸。究源方治诸风痼，不问久远，用草乌 去皮 五灵脂 等分，细末，猪心血丸，如鸡头子大，每服一丸，薄荷、生姜汁浸汤，食后服，名保安丸。治卒急中风瘫痪，口眼喎斜，语言不正，不省人事，一切风证用：川乌 五两，炮微黄色 五灵脂 取净，二两半 没药 五两 乳香 一钱 研为末，炼蜜丸，弹子大，每一丸，如服药先以酒一盏，姜七片，薄荷七叶，同煎七分，去滓候温，入脑子一字，细嚼药一粒，窖气少时用前酒送下，临卧服。镇江刘节使宅传得此方，名梦仙备成丹。博济方乌头用河水浸一伏时。本事方治一切瘫痪风，用川乌 一两半

① 椒：此下注文脱字，普济方卷一百十五诸风门引灵宝丹方作“半”。

② 痛：此下脱字，普济方卷一百十五诸风门引灵宝丹方作“及”。

③ 六月六日丸弹子大：类证普济本事方作“六月六日滴水为丸，如弹子大”。

五灵脂四两 乳香 没药各一两 先将没药于阴凉处，当风细研，更用研了麝香一钱将下二味为细末，然后同前二味，再碾再研，滴水丸如弹子大，瓷合收之，每服一丸，薄荷酒磨下，名铁弹丸。

究源方手足蟬曳，言语謇涩，行履不正用：大川乌五两，去皮脐，生用五灵脂五两，拣去石 没药半两研 入麝香不拘多少，研细拌和，滴水丸，弹子大，每服一丸，生姜汁研化，热酒浸，量力服之，名乌龙丸。

本事方麝香丸：治白虎痲疔，诸风疼痛，游走无定，直指方此下有遍身瘙痒四字。状如虫噬，管见大全良方此下有或如锤敲四字。昼静夜剧，一切手足不测疼痛。得效方此下云：及脚痛。

川乌大八角者，三个。 诸方去皮脐 全蝎二十一个 黑豆二十一个 直指方二钱半 地龙半两，并生用 得效方云：一方加赤足蜈蚣一条，以草乌代川乌尤妙

右细末，入麝半字，良方、王氏集验方一字用研。糯米糊为丸，如绿豆大，每服七丸，甚者十丸，夜卧令膈空，得效方肚空。温酒下，微出冷汗一身便差。予得此方，凡是痲疔及不测疼痛，一二服便差。在歙川时，有贵家妇，遍身走疔疼痛，至夜则发，如虫噬其肌，多作鬼邪治。予曰：此真痲疔也，三服愈。

本事方麻黄散：治痲疔，宜发汗，得效方无汗宜发汗，永类铃方宜先发汗。

羌活一两 细辛华阴者 黄耆各半两 麻黄一两一分， 铃方制 黄芩三分 得效方无

右为粗末，每服五钱，水二盏，煎至八分，去滓温服，接续三四服，有汗慎风。

本事方因芋丸：治痲疔肿满疼痛。

牵牛子两半 郁李仁半两 茵芋 朱砂研 薏苡仁各一分

右细末，炼蜜杵丸，如梧桐子大，轻粉裹为衣，每服十丸至十五丸、二十丸，五更初，温水下，到晚未利，可二三服，快利为度，白粥将息。永类铃方同。

本事方芎附散：治五种痲，腿并臂间，发作不定，此脾胃虚，卫气不温分肉，为风寒湿所著。

川芎 附子 黄耆 白术 防风 当归 桂心 柴胡 甘草 熟地黄 各等分

右为粗末，每服四钱，水一盏半，姜三片，枣一个，同煎至七分，去滓，食前日三服。常服不生壅热，兼消积冷。

本事续断丸：治风湿，四肢浮肿，肌肉痲痹，甚则手足无力，筋脉缓急。

川续断 草薢 当归切，微炒 附子 防风 天麻各一两 乳香 没药各半两 川芎三分 右细末，炼蜜丸，梧桐子大，每三四十丸，或酒或饮，空心服。

本事增损续断丸：治荣卫涩少，寒湿从之，痹滞关节，不利而痛者。

人参 防风 鹿角胶 白术炮。各七两 乾地黄三两 黄耆 川续断 薏苡仁 牡丹皮 桂心 山茱萸 白茯苓 麦门冬 山芋 石斛各一两

右细末，炼蜜丸，梧子大，每服三四十丸，温酒空心下。

本事方粥法：治风寒湿痲痹不仁。

生川乌末

右用香熟白米作粥半碗，药末四钱，同米用慢火熬熟，稀薄不要稠，下姜汁一茶脚许，蜜三大匙，搅匀，空服啜之，温为佳。中湿，入薏苡仁末二钱，增米作一中碗服。此粥大治手足四肢不随，痛重不能举者，有此证预服防之。左氏云：风淫末疾，谓四肢为四末也。脾主四肢，风邪客于肝，则淫脾，脾为肝克，故疾在末，谷气引风湿之药，径入脾经，故四肢得安，此粥剂极有力。予尝治此方以授人，服者皆验。

圣惠方枳实酒：治遍身白疹，瘙痒不止，切不可全用风药治之。盖寒邪伏于肌肤，相搏凝滞而成疮，或天色冷则重，或因患风中，若遇天晴日暖则轻，宜用人参顺气散得效方乌药顺气散。为妙，更与此酒服，累用神效。枳实不拘多少，面炒黄，切片为粗末，每服二大钱，用酒浸，少时，去枳实，但饮酒最妙，用水煎枳实洗患处尤佳。

诸 风 门_九

王氏易简方

如圣饼子：治男子妇人气厥，上盛下虚，痰饮风寒，伏留阳经，偏正头疼连脑巅，吐逆恶心，目瞑耳聋。王氏集验方同。常服，清头目，消风化痰，暖胃。

川乌头炮 天南星洗 乾姜 各一两 甘草 川芎 各二两 天麻 防风 半夏 各半两 本事方有茯苓

右为细末汤浸，蒸饼和丸，捻成饼子，每服五六饼，姜汤或茶汤送下，更增饼数随意。治一切头疼并偏正头风，不问所因，久服更不再发，此药须自合，庶得药料臻志，易于作效。头疼甚者，更于芎辛汤方中求之；若初感伤寒，因汗而解，尚余头痛者，浓煎葱白生姜汤下。治中脘痰饮停积，及疗脾胃饮食所伤，温中快膈，尤得其宜。卢氏说：芎辛汤、如圣饼子、易简载治一切头疼，未足尽善，若风热痰作不已，则有寸金散。例用天麻 川芎 白芷 藿香 防风 人参 各半两 雄黄 三钱，研 地龙 去土、秤一分 甘草 一分 蝎 炒，一分 细末，每半钱，茶清调下，食后服立效。若风寒客于头中，偏痛无时，久久牵引两目，遂致失明，宜用白附子一两，炮 麻黄 不去节 川乌 炮，去皮尖 天南星 各半两 全蝎 五箇，去毒 乾姜 炮 朱砂 水飞 麝香 各一两 右细末，酒调一字服之，去枕少时。若偏头风痛不可忍，用细辛一两 雄黄 半两 别研为细末，每用一字，如左边痛，搐右鼻，右边痛，搐左鼻，名透顶散。若大病后气虚头痛，宜以四柱散煎熟，入腊茶一钱，服之甚良。若肝厥不足，气逆上行，头痛难忍，硫黄一两 石膏软者研不煨熟 半夏 各半两 硝石 半分 研为

细末，用生姜汁糊丸，梧桐子大，阴乾，每服叁拾丸，姜汤或米饮下，名玉真丸。一方用硫黄二两 硝石一两 研细，水丸如指头大，每一服细嚼，腊茶下。沐头洗项，水湿因而入脑，致痛如掣如钻，宜以瓜蒂为细末，患人口先含水，以瓜蒂末搐入鼻中，沥出恶水，其痛即愈，虽未尽八种名，是皆要紧之证良方也。施氏说：局方治气厥，上盛下虚，痰饮风寒，伏留阳经，偏正头疼，痛连脑巅，吐逆恶心，目瞑耳聋，常服，清头目，消风化痰，暖胃，每服五饼，同荆芥细嚼，茶酒任下，乃不言饼之大小，王氏易以姜汤：下二十饼，亦不言其大小如何，市肆，所卖者，欲见片数之多，而为饼甚小，使服者无准，若自修制，可丸如樱桃大，然后捺饼，每用拾饼，服之方应。王氏因局方有暖胃之说，遂云：疗脾胃饮食所伤，温中快膈，尤得其宜。殊不知局方所谓暖胃者，正恐寒痰在于胃脘，服此则可以去之，初不为饮食所伤设也，不然，则天麻、防风辈，岂消积化食之药耶？饮食所伤者，则木香橘皮丸主之。伤寒汗后，头疼者，宜服白龙丸，此药尤治风虫牙疼，研为细末，乾揩痛处，及用盐汤漱灌，更以葱茶嚼下即愈。

木香橘皮丸：治脾胃虚弱，饮食所伤，久不消化，或成泄泻，及气不升降，常服，温脾暖胃，快气进饮食。

荆三棱 炮，切 蓬莪术 炮，切 黑牵牛 微炒 乌梅 连核用 青皮 去白 橘红 各一两 缩砂仁 肉桂 去粗皮，各半两 木香 丁香 各一分

右细末，醋糊为丸，如梧桐子大，每服

叁拾丸，食后临卧熟水米饮吞下。

白龙丸：治男子妇人一切风，遍身疮癬，手足顽麻，偏正头疼，鼻塞脑闷，大解伤寒及头风。

川芎 藁本 细辛 白芷 甘草 各等分

右为末，用药壹两，入煨了石膏末四两，水搜为丸，每两作捌丸，每服一丸，食后薄荷汤嚼下。风虫牙疼一丸，分为三服，研细为末，乾揩疼处，后用盐汤漱灌，更用葱茶嚼下。

王氏集验方：川乌 炮，去皮尖 天南星 洗，炮 乾姜 各一两 甘草 炙 川芎 各二两 天麻 防风 去芦叉枝^① 半夏 生用。各半两 右为细末，汤浸蒸饼和丸，如鸡头大，捻作饼子，曝乾，每服五饼子，同荆芥三五穗细嚼，茶酒任下、熟水亦得，不拘时，常服，清头目，消风化痰，暖胃，加细辛。

卢氏诸风例

至宝丹、灵宝丹，品繁物珍，世多难辨，只长于省风，不长于起废，故不录。

大圣一粒金丹^②：治中风瘫痪，口眼喎斜，涎潮语涩，浑身疼痛，应一切风疾，悉皆治愈。方见和剂局方。

星附汤：

生附 一两 天南星 一分，并炮 全蝎 一分，炒 右粗末，每服三钱，水二盏，生姜十五片，煎至七分，去滓，放温服。

三建汤^③：方见是斋医方。以上二方治寒中。

大省风汤：治一切风，卒中，涎潮痰厥，神昏语涩。

大附子 一两，生，去皮脐 天南星 一两，生。 澹寮方切破，沸汤泡七次 全蝎 半两。 朱氏集验方、澹寮方，去尾毒及足 防风 二钱。 集验方二钱半 川芎 二钱半 右粗末，每服三钱，水三盏， 集验方水一盞半， 澹寮方水大盞。 姜七片，煎八分， 集验方煎七分， 澹寮方煎至六分。温服。

小省风汤：

防风 天南星 各三两 甘草 一两。一方一两半，炙 右粗末，每服四钱，水二盏，生姜十片，煎至八分，去滓，热服。治男子妇人左瘫右痪，口眼喎斜，中风口噤，全不能言，及半身不遂，手足顽麻，一切风疾。

大紫豆汤：

羌活 一两半 大豆 半升 酒 三升 右以酒浸独^④活，煎沸，别炒大豆极焦，急投酒中，密封候冷。以上治热中 澹寮方治中风头眩，恶风自汗，吐冷痰等证。以上三方乃治热中也，如冷中者，却当服三生饮、三建汤、星附汤之类。

直指方

诸 风

治卒中法：

圆白天南星 湿纸裹煨 南木香 苍术 生 白羊眼半夏 用百沸汤，就跳蘸少顷。各一钱半 辣细辛 甘草 生 石菖蒲 细切。各一钱

右件锉散，分作二服，水一盞半，生姜七厚片，煎取其半，乘热调苏合香丸三丸灌下，痰盛者，加全蝎二枚，炙。治一切卒中，不论中风、中寒、中暑、中湿、中气，及痰厥、饮厥之类，初作皆可用此。先以皂角去弦

皮，细辛或生南星、半夏为末，揭以管子吹入鼻中，俟其喷嚏，即进前药，牙噤者，中指天南星、细辛末，并乌梅肉频擦自开。

又法：

南木香 细锉，二钱 生南星 七片 生姜 七片 石菖蒲 二寸，搥碎

右煎取清汁，乘热调南木香末一钱，苏合香丸三丸与之。

① 枚：按文义疑作“根”字。

② 大圣一粒金丹：方见本书卷十九诸风门七。

③ 三建汤：见本书卷二十诸风门八。

④ 独：按文义疑“羌”字之误。

省风汤：

南星 炮，一两 防风 半两 甘草 炒，一分

右锉，每服三钱，姜十片煎服。气虚人加生附子、沉香；气逆加紫苏、木香；头痛而晕加全蝎；多痰加半夏。

铁骨丹： 治诸风瘫痪，拳挛，半身不遂。

川乌头 草乌头 各炮，去皮脐尖 川芎 当归 酒浸，晒 辣桂 川续断 洗晒 华阴细辛 补骨脂 炒 乌蛇 洗，酒浸取肉，晒乾，七钱半 直僵蚕 炒去丝 木鳖子 去壳，炒熟 天麻 酒浸，晒 巴戟 酒浸，尖①心晒 防风 滴乳香 没药 麻黄 去节 羌活 独活 坚白南星 炮熟 白蒺藜 炒，捣去刺 薏苡仁 苍术 炒，各半两 草薢 盐水煮乾 杜仲 去粗皮，槲，蜜注制，炒焦 牛膝 酒浸，晒，各一两 虎胥骨 洗，酒浸，炙焦 自然铜 烧红，醋淬化②次，各三两 白附子 炮 川五灵脂 各四钱 秦艽 全蝎 去毒，微炒，各二钱半 麝香 半钱

右细末，乳香、没药、麝别研，渐入拌和，以浸药酒调飞面煮糊，研筑丸弹子大，每服一丸，温酒磨下，或宣木瓜煎汤下，黑豆淋酒下，不拘时服，仍间用高良姜，碎一升，煎汤围熏荡浴最妙，未服药前，须以斑猫貳拾壹箇，去翅足，用黑豆壹建盏，慢火同炒焦，只用柴箇，并豆入全蝎十四枚，微炒，五灵脂二钱半为末，糕糊丸，麻子大，每貳拾壹丸老酒下，先去其风根。

增味五痹汤： 治风寒湿合而为痹，肌体麻痹不仁。

羌活 防己 片子姜黄 白术 海桐皮 当归 白芍药 各一两 甘草 炒，七钱半

右锉，每服三钱，姜十厚片煎服，病在上食后，病在下食前。

瓜蒂散： 吐法，右瓜蒂末一钱，熟水调下，若风颠证，须以瓜蒂散吐痰。

鹤膝风挛方： 紫金皮老酒煎，候温常服。

急风方：

朱砂 一字 轻粉 一点 巴豆 去油如霜，些儿 全

蝎一枚 蝉壳③两枚，去土

右末之，研和，大人尽剂，用薄荷泡汤调下；小儿分半，用乳汁调下，或吐痰，或泄毒物皆效。

卢江刘宝治痙良方归荆汤： 治风痙昏迷，吐沫抽掣，背脊强直，产后中痙通用。玉机微义治妇人产后中风，口吐涎，手足痙痲。

当归 荆芥穗

右等分，末之，每二钱，微义二分。水一盞，酒少许，煎七分灌下，如牙紧，用铜匙干，以鸡羽蘸药入口，或用童尿调下，或以芎劳代当归亦妙。

又方：

黑豆。 炒焦，好酒淋之，取清汁

右每酒一盞，独活锉三钱，煎七分，温服，又连续进剂以瘥为度。

太阳风痙证候，始则发热腹痛，喘息涎浮，次则牙紧头摇，十脂④微动，渐加项背强直，转侧不仁。甚者昏困失音，目睛直视，滑泄不禁，身腰反张，如此则十不救一。新产血虚汗出伤风，亦作痙证。凡产后发热，若舌謇唇急，手指微动，便急作风痙疗之。荆归汤、独活酒⑤。方见诸经门。人为邪气所干，则发而为病，若气、若血、若痰、若水、若风、若寒、若暑、若湿，腑脏表里，冷热虚实，各有受病之处，用药之法必究其原，而后可以起病，否则，前贤所谓猎不知兔，广络原野，冀一人获之，术亦疏耳，是可以人试伎乎哉！

风缓方论

风缓者，风邪深入而手足为之缓弛也。夫人四肢百脉，逢寒则挛急，遇热则柔缓，

① 尖：仁斋直指附遗方论作“去”。

② 化：仁斋直指附遗方论同，按文义疑“七”字之误。

③ 谷：仁斋直指附遗方论作“壳”。

④ 脂：仁斋直指附遗方论作“指”。

⑤ 荆归汤、独活酒：经查本书诸湿，门未见此方。按文义疑即上文之归荆汤和“又方”。

病在阳经，气行迟而关以纵，病在阴经，气行疾而关以收，此物理之常然也。然脾主肌肉四肢，胃为水谷海，所以流布水谷之气，周养一身，脾胃既虚，肢体失其所养，于是风邪袭虚，由腠理而入肌肉，由肌肉而入脾胃，安得不为之缓废乎？若曰：驱风之剂与助胃之剂不同，亦顾吾活法用之何如耳！抑余闻人之一身筋骨为状^①，肝主筋、肾主骨，肝肾气虚，风邪袭之，亦有肢体缓弱之证，然则先散其风而后益之，于此尤当加意。

排风汤、续命汤^② 方见千金方。加制半夏、鸡心大槟榔，增姜煎，先以此散风毒邪气。

苏合香丸：用沸汤泡，生姜汁调开，吞真料白丸子貳拾丸，日貳服。治手足风缓，或白丸子^③、安肾丸^④夹用，食前服。方见咳嗽门。不换金正气散^⑤ 方见诸寒门。加川芎、官桂煎，食前吞安肾丸治脾胃肝肾俱虚，风入四体筋骨，缓弱不仁，仍早晨常服，炒黑豆淋酒。

大铁弹丸：治中风瘫痪，口眼喎斜，筋骨挛疼，肢骨麻木。

自然铜 烧红，醋淬七次，一两半 虎胫骨 酒浸，炙黄 当归 酒浸，焙 白附子 炮 川乌 炮，去皮脐 五灵脂 炒 麻黄 去节，各一两 没药 乳香 全蝎 焙 安息香 白芷 直僵蚕 炒，去丝，各半两 乌蛇肉 酒浸，焙乾，三分 木鳖 二十一箇，去壳，炒熟 朱砂 麝香 各一分

右为末，以酒煮安息香，入飞白面为糊丸，弹子大，每一丸温酒磨下。

蝎附散：治肝肾气虚，风入筋胸^⑥，手足缓弱。

小附子 去皮 生草乌头 炮，去皮脐 苍术 炒 牛膝 酒浸，焙 川芎 当归 天麻 各半两 防己 白芷 黄耆 蜜炙 全蝎 焙，各一分

右末，每一钱，黑豆淋酒调下，兼用核桃肉研酒下，食前服。

虎骨酒：治诸风缓弱，及历节风，骨节酸疼。

虎胫骨 酥炙黄

右槌碎如米，每骨壹升，以酒叁升，浸五日，空心服壹盏，冷则暖之。

铁骨丹^⑦、方见前。铁弹丸^⑧：方见和剂局方。治诸风缓弛，其他用药，风类甚详。

历节风论

历节风之状，短气自汗，头眩欲吐，手指挛曲，身体魁癢，其肿如脱，渐至摧落，其痛如掣，不能屈伸。盖由饮酒当风，汗出入水，或体虚肤空，掩护不谨，以致风寒湿之邪，徧历关节，与血气搏，而有斯疾也，其痛如掣者，为寒多；其肿如脱者，为湿多；肢节间黄汗出者，为风多。遍身走痒，彻骨疼痛，昼静夜剧，发如虫啮者，谓之白虎历节。治法当以温药解其风寒湿之毒，或用和平则独活寄生汤辈可也。其白虎历节，游走痒痛，虫实为之。况夫脾主肌肉，虚则为痒，遇痒而进饮食，尚庶几焉，而虫亦屡饫，其间不至于频频啮也。书曰：若药弗瞑眩，厥疾弗瘳。似此证候，一名厉风，须当大作汤丸，未可拘以平常浅近之剂。

虎骨散：治白虎历节，走注痒痛，不得屈伸。

虎胫骨 酒炙黄，^⑨两半 白花蛇 酒浸，取肉，炙黄 天麻 自然铜 煨，醋淬七次 防风 白附子 炮 槟榔 官桂 当归 羌活 牛膝 白芷 川芎 僵蚕 炒，去丝，各一两 全蝎 焙 地龙 去土 乳香 没药 雄黄 各半两 麝香 一分

右末，每服二钱，食前以煖豆淋酒调下。

雄麝丸：治历节风，骨节疼痛，挛急痹顽。

安息香 五灵脂 天麻 各一两半 地龙 净

① 状：仁斋直指附遗方论作“壮”。

② 排风汤、续命汤：方并见本书卷之十四诸风门三。

③ 白丸子：方见本书卷十九诸风门七。

④ 安肾丸：方见本书卷一百五十一诸虚门九。

⑤ 不换金正气散：方见本书卷五十二伤寒门二十六。

⑥ 胸：仁斋直指附遗方论作“骨”。

⑦ 铁骨丹：方见本卷直指方“诸风”。

⑧ 铁弹丸：方见本书卷十九诸风门七。

⑨ ：仁斋直指附遗方论作“二”。

白僵蚕 微炒，各三分 全蝎 微炒 雄黄 各半两 麝香 一分 乌蛇 酒浸，取肉，炙 天雄 炮，去皮脐 当归 川乌 炮，去皮脐 川芎 南星 炮 官桂 虎胫骨 酒炙黄。各一两 川独活 二两

右末，炼蜜杵丸，桐子大，每服十五丸，食前温酒下。

海桐皮散： 治历节走注，骨节疼痛。

独活 萆薢 盐水浸，焙 川芎 当归 各三分 桃仁 去皮，焙 天麻 辣桂 牛膝 麻黄 去节 枳壳 制 海桐皮 白芍药 川乌 炮，去皮脐 松节 防风 杜仲 姜制 甘草 炙。各半两 麝香 一分 虎胫骨 酒炙黄，一两

右粗末，每服贰钱，姜伍片，枣贰枚，食前煎服。

独活寄生汤^①： 治历节风，亦治脚气。

方见腰脚门。

麝香丸^②： 治白虎历节，游走痒痛，状如虫啮。 方见简易方。

虎骨酒^③： 治历节诸风，百节疼痛。

方见前。

硫黄酒： 治恶风，头面肢体瘾疹魁瘰^④。

透明锋芒硫黄

右每服三钱，乳钵内研细，入醇酒再研，空心饮其清者，滓又研细入酒，饮之连日，如是硫黄能杀恶虫自大便下。

必用历节厉风方： 治手指 得效方手足。弯曲，骨节间痛甚。

蓖麻子 去皮，二两 黄连 去须，铤如豆，一两

右用新水二升，于磁甑内浸二药，密封柴日取出，逐日侵晨面东，以浸药水吞蓖麻仁一粒，柴日后，添两粒，微利不妨，以疗大风亦效。 玉机微义蓖麻法： 治厉风，手指挛曲，节间疼不可忍，渐至断落。蓖麻 去皮。 卫生易简方一两 黄连 铤。各二两 右以小瓶入水一升同浸，春夏三日，秋冬五日后，用蓖麻子一粒擘破，面赤^⑤，以浸药水吞下，平旦服，渐加至四五粒，微利不妨，水少更添水，忌动风物，累用得效。

返魂追命再造散： 治大风厉风。

川大黄 锦文皱者，一两 独生皂角刺 一两半

右末每服二钱，临夜冷酒调下，以净桶伺候泄虫，如虫口黑色，乃是多年，虫口赤色，是为方近。 金匱钩玄，年近。三数日又进一服，直候无虫，则绝根也。瘾疹若吃醋，则风疹食人。

神授丸^⑥： 治风寒湿合而为痹，遍身或半身麻木不仁，最能杀虫。 方见诸虚门。用增味五痹汤^⑦下，空心服。 方见前。

白虎风走注痒痛方： 鸡子揩患处，咒叁遍，愿送粪堆头。盖白虎是粪神，爱吃鸡子。患者下饭用黄脚鸡为妙，亦可抱鸡来压之，其痒自止。 得效方同。

头风方论

足太阳者，头之经也，六经伤寒，惟太阳受病最多，盖头居其上，当风寒之冲，一有间隙，则若项、若脑、若耳、若鼻，风邪乘虚，皆得而入之矣，况复栉沐取凉，饱食仰卧之不谨乎？头风为病，不必须有偏正头疼之证，但自颈项以上，耳、目、口、鼻、眉棱之间，或有一处不若吾之体焉，皆其渐也。有头疼，有头运，有头皮顽厚，不自觉知有口舌不仁，莫知滋味；或耳聋；或头汗；或目痛；或眉棱上下掣痛；或鼻中闻香极香；闻臭极臭；或只呵欠而作冒眩之状，凡此皆头风证也。治法大要，有热证者，消风散，用防风、荆芥煎汤下；无热证者，追风散，用薄茶清下。又有素患头风之人，或因伤风、寒、暑、湿，依证调理，已获轻安，未几，头风发作，则不必拘泥前药，当以头风和平之剂疗之，其或病驱^⑧老弱，先患头风，复

① 独活寄生汤： 方见本书卷九十五腰脚门二。

② 麝香丸： 方见本书卷二十诸风门八。

③ 虎骨酒： 方见本卷直指方“诸风”。

④ 魁瘰： 仁斋直指附遗方论作“魁瘰”。

⑤ 赤： 本草纲目卷十七蓖麻子条作“东”。

⑥ 神授丸： 方见本书卷一百五十诸虚门八。

⑦ 增味五痹汤： 方见本卷直指方“诸风”。

⑧ 驱： 按文义应作“驱”。

感寒邪，自汗不止，此等用药无附子又不可也。若夫太阳项强一证，无汗恶风，则为表实，合用葛根汤；汗出恶风，则为表虚，合用桂枝葛根汤。是又感受风邪，在头风界限之内者也，入水捕鱼，入林捕兔，要必知其所在斯可矣。妇人月候适行，辄敢梳篦，多成头风，痒^①痛满头，如水泡之状。

消风散：治头目昏痛，鼻塞冒运。

人参 羌活 川芎 白茯苓 白僵蚕 炒
藿香叶 荆芥穗 防风 甘草 炒 蝉壳 各二两
厚朴 制 陈皮 各半两

右末，每服二钱，防风、荆芥煎汤调下。

川芎茶调散：治诸风上攻，偏正头疼。

川芎 荆芥穗 各二两 香附 去毛 薄荷 各四两
白芷 羌活 细辛 甘草 炙。各一两 防风 三分

右末，每服二钱，食后茶清调下。

医方集成治诸风上攻，头目昏重，偏正头疼，鼻塞声重。薄荷 去梗，不见火，八两 川芎 四两 羌活 甘草 白芷 各二两 细辛 去叶，一两 袖珍云：一方无细辛 防风 去芦，两半 荆芥 去梗，四两 右为细末，每服二钱，食后茶清调下，常服清头目。医方大成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

究原抽刀散：治头风掣痛。

川乌 切片，姜汁浸，晒 雄黄 蝉退 去头足。各半两
川芎 细辛 各一两

右末，每服半钱，食后临卧茶清调下。

芎芷散：治头风风壅。

川芎 白芷 荆芥穗 软石膏 煨。等分

右末，每服一钱，食后沸汤调下。

香芷散：治头面诸风。

新白芷 锉，以萝卜汁浸，日乾

右末，沸汤调，食后服，或以些子搐入鼻，左用右，右用左，屡效。

又方：

新白芷 洗，晒

右为末，炼蜜丸，弹子大，每一丸，食后荆芥汤嚼下妙。王氏集验方都梁丸，治一切风邪头痛，及诸风眩晕。吴白芷 择大块白色者，刷去尘土，沸汤泡洗 右为细末，蜜丸如弹

子大，每服一丸，多用荆芥点腊茶细嚼下，食后常服。卫生易简方治偏正头风，及一切头疼。用香白芷二两为末，炼蜜丸，如龙眼大，每服二三丸，食后细嚼，茶清送下。

二陈汤^②方见诸症门。加荆芥，治头风，兼治痰壅酒壅。

如圣饼子：治偏正头疼，痛连脑项，吐逆恶心，耳聋目暗。

川乌 炮，去皮尖 南星 川白姜 各一两 川芎 甘草 各二两 天麻 防风 半夏 重洗去滑，生。各半两

右末蒸饼糊丸，鸡头大，捻作饼，日乾，每服五饼，同荆芥贰穗细嚼，姜汤下。

芎辛汤：治诸头疼及痰厥、饮厥、肾厥、气厥等证，但发热者，不可服。

附子 生 乌头 生 南星 乾姜 川芎 细辛 各一两 甘草 三分

右锉散，每服三钱，姜五片，茶芽少许，熟煎空心服。

活人书葛根汤：治太阳病，颈项强，无汗恶风，为表实。

葛根 一两 麻黄 去节，三分 官桂 芍药 甘草 炙。各半两

右锉散，每服肆钱，姜五片，大枣壹枚，煎服。

桂枝葛根汤：治太阳病，颈项强，汗出恶风，为表虚。

桂枝 芍药 甘草 各七钱 葛根 一两三钱

右锉散，每服四钱，姜五片，大枣壹枚，煎服。

头风方：

川芎 天麻 各半两 细辛 华阴者，去苗土 烂石膏 荆芥穗 白芷梢 甘草 微炙。各二钱 全蝎 炙，五箇

右末，白汤或茶清调，食后临卧服。消风散加蝉壳、白丸子加朱砂，姜汁汤下，皆要药。

① 痒：仁斋直指附遗方论作“牵”。

② 二陈汤：方见本书卷一百二十二诸症门二。

癩风方论

癩风即经所载疔风也。癩之名非一，证状多端，不出五种风，生五种虫是尔。黄风生黄虫，青风生青虫，赤风生赤虫，白风生白虫，黑风生黑虫，四虫犹可措手，惟黑虫未必有瘳。吁！此恶疾也。疮痍茶①毒，乍热乍寒，身体魁癩，手足指脱，眼烂鼻塌，齿豁唇翻，颜色枯黄，眉鬚堕落，顽痹痛痒，不能屈伸，病证之恶，莫甚乎此，然此虽出于风，必有所致。大率多因嗜欲无度，劳动气血，热发汗出，不避冷湿外风，遂致淫气与荣卫相干，卫气挟邪则肌肉不仁，荣气泣浊则脉络瘀热，故遍身痒溃，变坏人形。千金所谓自作不仁极猥之业。虽有悔言，而无悔心，故应如是。亦有传染触犯而得者，此则不谨之所招也。其虫在于病躯，去来无数，甚入骨髓，食人肝，则眉睫脱落；食人肺，则鼻柱颓崩；食人脾，则语音变散；食人肾，则耳鸣如雷；若食其心，则诸痛痒疮；心实司之，心不受触，触则死矣。人有斯疾，切须忌盐及一切口味，幽隐林泉，屏弃世务，蚤蚤救疗，庶为全人。治法以疏风、杀虫、逐恶血②辈，为之宣通，谨勿用补。此风从头起而下者顺，从足起而上者逆，顺则易，逆则难，又当识此。余于直指后集历节方论见之。大寒大热不得行淫，多致风癩，或久病尪羸，废其肢体。

本事神效追命散：治大风。

北大黄 七钱半。医林方半斤 大皂荚刺 一两。医林方半斤 川郁金 半两。医林方五两

右细末，每貳钱用真大风油入好酒温调，临睡服，隔两日再服，直候泄下无虫方瘥……。医林方右三味为细末，每服三大钱，用真大风油入无灰酒温调药末，临睡时服，脏腑转下，只就地上取下虫，如疾多年，其虫色黑，日近者，其虫色赤，隔三两日时，再服，直候无虫方是病瘥，即止。

皂棘汤：治大风。

皂荚刺 烧半生半灰，二钱 北大黄 一钱 轻粉 半钱

右末，酒调空心服，取下恶物，服药数日，齿出毒血甚臭。

皂角丸：治大风诸癩。

肥长皂角 二十条，先炙透，后去皮弦，其核自脱

右以皂角肉多用酒，慢火煎得稠粘，滤出清稠者，候冷，入雪糕杵为丸，桐子大，每五十丸，不饥饱，酒送下。

硫黄酒：煞癩风虫。

明硫黄 乳钵研细

右入酒调，空心饮清汁，明日添硫黄再研，入酒如前，或添大风油更好。

黑虎丹：治大风诸癩，恶虫内蚀，形骸变坏。

天灵盖 三两 虾蟆 二个去头足，烧存半生 生人中白 桃仁 浸去皮。各二两 麝香 一钱 硫黄 雄黄 各一两 穿山甲 熟灰 煨焦 老皂荚刺 烧存半生。各半两 轻粉 二钱半

右末，炼蜜丸，桐子大，每叁拾丸，月首五更米饮，连日服，取虫尽则愈，杀瘵虫通用。

乌蛇丸：治风癩，杀五虫。

胡麻子 四两 乌蛇肉 酒浸，焙 乾蜂房 炙。各半两 苦参 槟榔 独活 桃仁 浸去皮，日乾 白蒺藜 炒，杵，去刺。各一两 皂荚刺 炒焦 贯众 各七钱半 羌黄 雷丸 雄黄 硫黄 各半两 朱砂 二钱半 虾蟆 二箇，去头足，炙焦

右细末，以长皂角拾条，水叁升，掇取浓汁，去滓，煎成膏，和药末，丸如桐子，每叁拾丸，空心温酒下。

雄朱散：治大风。

雄黄 朱砂 滑石 阿魏 雌黄 雷丸 炒 藜芦 炒 硫黄 生犀角屑 各叁钱半 羌青虫 斑猫虫 各去翅足，糯米炒透。各用二十四介 黑皂荚刺 焙，七钱半

右细末，每服叁钱，天明温酒调下，明

① 茶：仁斋直指附遗方论作“荼”。

② 血：仁斋直指附遗方论作“毒”。

日再服。

雷丸散： 风癩取虫。

水银 硫黄 雄黄 各二钱半，用乳钵入点醋同研，
令星尽为度 雷丸 阿魏 贯众末 各二钱半 麝
香 半钱

右研极细，每壹钱，天明温酒调下，明
日又服。

虾蟆丸： 治大风，杀五虫。

乾虾蟆 一两，炙黄 肥长皂角 一条，先炙透，后去
皮弦核，蘸酒再炙

右为末，以竹管引入羊肠内，系两头，
用麸貳升，铺甑内，置麸上蒸熟，去麸入麝
半钱同捣，丸如桐子，每貳拾壹粒，空心温
酒下。

蔓荆丸： 治大风。

蔓荆子 苍耳 即藏粘子 枸杞子 牛蒡子炒
黑牵牛炒 胡麻 白芷 何首乌 藏灵仙 荆
芥穗 独活 蒺藜 炒，杵去刺 华阴细辛去苗叶土
直僵蚕 炒，去丝 道人头 去刺，取仁，晒。各半两 皂
荚刺 炒焦 苦参 大草乌 去皮尖，生。各一两

右细末，大风油和丸，桐子大，每貳拾
肆丸，食前茶清下。

必用厉风方^①，并返魂追命再造散^②，
皆治大风。胡麻散^③解风毒热气，癩疹瘙痒。
方见前。蜡矾丸^④癩风常服，以解内毒，方见癩疽门。

癩 风

癩风方：

鸡子 一枚，用醪醑浸一宿

右以针刺小穿，沥清汁，得效方滴膏烊为汁。
入砒末并缘^⑤豆末少许夹和，先以石札擦破，
次用青布蘸擦妙。事林广记：针刺小孔，沥取清液，入砒
霜绿豆许和匀，将粗布痛擦患处，以指点药指之亦妙。

癩风方：

雄黄 硫黄 黄骨丹 蜜陀僧 大南星
右等分为末，先用姜汁擦患处，次用姜
蘸药末擦，擦后渐黑，次日再擦，黑散则无
事矣。

头破伤风方： 大南星末水调涂四围，
水出为效。

朱氏集验方

诸 风

八生饮子： 治半身不遂，手足无力。皆
由饮食起居失节，阳气不敛，风邪所侵，若
服补剂，则风毒愈固，其病尤难治矣，宜以
主阳消阴，疏风去湿之药，必可取效，服之
旬日，以手足轻，脚膝有力为验。可戒羊肉、
猪头、动风气物，切不可针灸也。亦名建阳
汤：

天雄 二两。此药最佳，无则以大附子代之，去皮 大川
乌 二两，去皮 天南星 白附子 天麻 白术 各
一两 川芎 木香 全蝎姜汁拌，全用 半夏 各半
两，同天雄、附子、南星、川乌，并生用

右件并生用，锉如麻豆大，每服水五盏，
生姜壹两切片子，每药壹两半，文武火炼取
壹盏半，更以水三盏，再炼第二遍，取壹盏，

又用水叁盏，再炼第叁遍，取壹盏，共炼得
叁盏，壹处和合，作叁服，空心稍温服，一
日可服此三盏。何殿机复方。

舒筋丸： 治疗同前。

苍术 削成小块子 川牛膝 去芦，锉 肉苁蓉 锉
木瓜 去穢。各一两，并酒浸一宿，焙乾 虎胫骨 一两，酥炙
附子 一两半，炮，去皮脐 乳香 研 没药 研 官桂 不
见火 血竭 研细。各半两

右件为细末，酒煮面糊为丸，如梧子大，
每服五七十丸，以温酒空心送下，日二服。
何殿机复方，右二方，肖仲极服之曾有效。

八宝回春汤： 治男子妇人，一切诸虚

① 必用厉风方：方见本卷引直指方“诸风”。

② 返魂追命再造散：方见本卷引直指方“诸风”。

③ 胡麻散：方见本书卷十九诸风门七。

④ 蜡矾丸：方见本书卷一百七十四癩疽门五。

⑤ 缘：仁斋直指附遗方论作“绿”。

不足，风疾血气交攻，凝滞脉络，拘急挛拳，气不升降，瘫中疼痛，痰涎壅盛，脾胃不和，饮食不进。此药一则去风，二则和气，三则活血，大有神效。大凡病风，不可专服风药，攻之愈急则愈甚，但专服此药，轻者一月，重者二三月，自然而愈，且^①无再作。盖此药不专治风，而且和气，不专和气，而又且^②活血，血气和平，荣卫调顺，则其风证不攻而自去。

附子炮 人参 麻黄去节 黄芩 防己 香附子去毛 杏仁去皮 川芎 当归各二两 茯神一两半 陈皮一两 防风一两 白芍药五两 沉香半两 半夏一两半 川乌半两，炮 桂一两 白术二两 天台乌药半两 干姜一两 黄芪三两 甘草一两 熟地黄一两 生干地黄一两

右二十四味，去风八味，和气八味，活血八味，一处为末，咬咀，每服三钱，水一盞半，姜三片，枣一枚，煎一盞，空心通口服，合二服，滓再煎。此方常服有效不浅。得效方同。此方乃王翰林经进奉旨颁行，而谢子充少年亦感风疾，得此方，服之而安。

五虎汤：治中风瘫痪，目睛上视，牙关紧急，涎盛，痰壅方涎潮。昏塞不省人事。出卫生方。

南星 痰壅方汤泡 草乌 痰壅方去皮尖 川乌并炮去皮 痰壅方生去皮尖 半夏泡七次 皂角去皮弦子，炙 右等分，痰壅方此下云：生用。每三大钱，水二盞，姜十片，煎八分，温服，痰壅方煎至一盞，下。不以时。

十八味流气饮：治一身受风，寒，湿，热诸邪毒周徧，气脉上下不和。

羌活 独活 人参 枳壳 陈皮 白术 木香 防风 川芎 当归 桂 白芍药 甘草 白芷 黄芪 天台乌药 白茯苓

右等分为细末，枣汤调下江陵传来。

省风散：治气不和，为风寒邪湿之气着于手足，麻痹，头重偏疼，起居旋运，四肢倦怠，足胫缓弱，掣痛无时，每遇阴晦风寒，神思不清，痰气相逆，并宜预服。

羌活 防风 甘草 白茯苓各半钱 木香 分 人参 陈皮各二钱 天台乌药三钱 白术 两，面炒 南星半两，重者一只，炮，去皮，切如豆大 附子九钱，炮，去皮脐，切

右咬咀，每服四钱，大姜十片，枣二箇，煎，不拘时候。

二妙散：理气血则风自去。

当归 橘皮

右二味等分为末，以酒调服，为丸子亦可。

夏英公酒浸饮子：治风疾。已下四本宋元宪府手集坊。

防风细锉 草薢 羌活 秦艽 牛膝 败龟 虎骨 桔梗 晚蚕沙炒黄，各二两 枸杞子炒，五两 苍耳五升，去刺，搗碎，酥炙 干茄根八两，洗，锉，蒸熟

右十二味，用好酒二斗浸，瓶盛，封蔽二七日开，不得向面，恐气冲头目，每日午时空心及早晨各服一盞，常令有酒气一月，除一切风毒、湿痹、瘫痪等疾。

四君丸：治风顺气血。

生干地黄 熟干地黄 当归 木瓜

右四味等分，酒糊为丸，温酒下

醒风汤：治诸风痰作，头目眩暈。

南星四两，生，去皮用 防风一两 甘草二两

右为咬咀，每服五钱，水两盞，姜十片，同煎七分，去滓温服，不拘时候。气不升降者，加木香二钱半；面如虫行者，加全蝎一钱。

小防风汤：治手足不仁。

防风 秦艽 羌活 附子各二两，炮

右咬咀，每服三大钱，水一盞半，姜三片，煎七分，去滓，入生地黄汁两合，再煎，数服，空心服。

附子大独活汤：治男子妇人体虚中风，半身不遂，左瘫右痪，口眼喎斜，手足瘫痪，经脉挛缩，足膝软弱，四肢酷冷，肌肉麻痹，

① 且：朱氏集验方作“且”

② 且：朱氏集验方作“且”

骨间冷疼，行步艰难，及风湿相搏，关节酸痛，自汗恶风，项拘急，面目浮肿，兼疗八风五痹。久患头风，每遇阴雨^①，发则头疾^②，项强筋紧，头晕憎寒，呕吐不食，发渴不已，一切风气，虚损不足，并宜服之。

白姜 人参 肉桂 干葛 北芍药 当归各九两 川独活十六两 大附子九枚 防风 甘草各十二两

右为咀咀，每服三钱，水两盏，煎至一盏，去滓，无时温服，其验如神，中风者，此药不过十服，立见殊效也。

人参南星丸：治心虚，因为惊气所触，风邪乘虚而入，或因气触，或因惊触或因微热流入心经，则神志昏乱，涎潮，手足搐搦，如风之状。

天南星生 白附子生 白茯苓 天麻 人参 远志肉 酸枣仁炒熟

右等分为细末，薄荷水糊为丸，如梧子，食后或卧，用姜汤吞下三五十丸，却用生朱砂为衣。

附子煎：专治手臂无力，麻痹不仁，手足不随，风湿相搏筋骨诸疾，痛不能举。

大附子一枚，重八钱，慢火炮裂，去皮，切作十片，同生姜米泔淹一宿，去姜，薄片切，焙干 防风一两 骨碎补半两，去毛，炒 汉防己 白术各半两 乳香二钱，别研

右为细末，入乳香匀拌，好酒煮糊丸，每服二三十丸，空心温酒下。

紫金丸：治诸瘫痪，手足不随极妙。

天雄 附子 大川芎各一对 淮乌四两 人参 白附子 乳香 没药各半两 当归一两 山栀子十二两，研五两，余煮用 防风 降真乳半两，血竭尤佳 辰砂四钱 全蝎半两

右件生用，焙干为细末，酒煮糊丸，梧桐大，每服五七丸，空心温酒下。脚气，木瓜酒下；头风，生葱茶下；妇人冷心痛，艾醋汤下。

防风汤：治病后足履缓弱，酸痹，精神昏倦。

防风去芦 白术 北芍药白者 当归洗 人参 牛膝酒浸 杜仲制 黄芪炙 熟地黄 粉草 川芎 羌活各等分

右为末，每服三钱，水一盏，生姜三片，枣子一箇，煎七分，服不拘时候，湘中黄应明方。

黄耆六一汤：治风湿相搏，肌肉酸痛，先服渗湿汤，次用是药。

黄耆 当归 甘草

右等分咀咀，水一盏，姜枣煎，空心服。

麝香轻骨丹：治左瘫右痪，不论走注，并皆治之。

川草防胶独海桐，蝎皆半两与蜈蚣，羌活一倍同真麝，糯米糊丸最有功，选甚左瘫并右痪，不论走注及诸风，四肢麻痹多疼痛，虚损劳伤治一同，但把麝香酒研服，须臾为取病源通。

川乌 草乌 防风 白胶香 独活 全蝎 海桐皮各半两 蜈蚣 羌活各一两 真麝少许 右为末，糯米糊为丸，如弹子大，空心服，陈必胜方。

鹧鸪马丹：治风湿相搏，手足疼痛，及诸伤百损。

骨碎补去毛 自然铜醋煅 虎胫骨酒炙 败龟酒炙。各一两 川乌炮 草乌炒，去尖 各四两 半两钱五文醋煅 牛膝 地龙去土 五灵脂 当归 乳香 没药 川芎 草薢炙 羌活 藁本 天麻 防风 威灵仙去苗，各半两

右细末，酒糊为丸，如梧桐子大，病上，食后服，病下，食前服，遍身疼痛，不拘时，每服三五十丸，温酒下。淮西都统丁顺传，其效莫述。

有人病狂言，诸医欲下。一医云：当用附子，后服十全汤，次日脉大，服排风汤而愈。

温络汤：治气血不足，风冷留于经络，足胫寒冷，筋脉虚弱，久成寒痹，手足无力，

① 雨：朱氏集验方作“雨”。

② 疾：朱氏集验方作“疼”。

步履艰辛，骨节疼痛，多恶风冷。大壮筋脉，止疼痛，温四肢，下痰止眩晕。

白术 炒 川牛膝 酒浸 杜仲 炒 附子 炮 虎胫骨 酒炙。各一两 黄芪 七钱半 没药 乳香 甘草 人参 各半两 白姜 一两半 桂心 三分 当归 二两二钱 川芎 七钱半

右咬咀，水一盞，姜三片，木瓜二片，煎七分，食后服。

密陀僧散：治风惊气入心，语音不能者，密陀僧研如粉，以茶调一钱，一服即愈。

省风汤：

南星 一两半，炮 防风 一两半 甘草 半两

右咬咀，每服四钱重，水两盞，姜十片，煎八分，热服。气逆加紫苏、南木香各二钱半，气虚加生附子一两，沉香二钱半；胸膈不利有痰，加半夏一两，人参半两；头晕头疼，加天麻半两，全蝎二钱。煎熟，入麝少许，以上六分^①，载梁氏总药方并效。

乌犀丸：治左瘫右痪，口眼喎斜，头目眩晕，手足顽麻，浑身疼痛等疾。

草乌 六两，生用 川乌 三两半，炮，去皮 甘草 三两 甘松 一两半 麻黄 一两半，去节 白芷 一两 熟地黄 一两半 干姜 一两 当归 半两 羌活 半两 藿香叶 一两，净 藁本 一两 赤小豆 半两 京墨 半两，煨去胶 川芎 一两

右细末，别将黄秫米十五两为粉，作饼子煮熟，旋于钵内，入药末捣匀，丸如○^②大，每服一丸，用生姜一片同嚼，食后茶酒任下。此方何家一铺，远迹服饵，遂致温燥。王氏集验方此下有余二亲在日，乡里常寄来，时时服之，后来十六字。乡人林用卿尝从其家子弟学，因得此方传之。

乌药散：治中风不语，老人虚人可用之。

乌药 附子 一只 天雄 一只 沉香 大块。各一两 甘草 少许

右入钵磨各一钱，病势稍重，用水一碗，姜十片，煎半碗，空心服。气中，加木香半钱；无气，加人参半钱。

正舌散：治中风，舌本强，难转，语不正，神妙。

蝎梢 去毒，一分。 医林方二分 茯苓 一两，炒 袖珍方茯神去木，锉，炒。医林方神心炒 龙脑 薄荷 二两，焙。袖珍方一两，医林方鸡苏焙干，一两

右细末，每服二钱，袖珍方、医林方一二钱。温酒下，或搽牙颊亦得。得效方同。

川芎散：治中风、中气，先服此药。

川芎 人参 枳壳 各^③□两 沉香 香附子 各二钱 木香 一两

右细末，每服三钱，以沸汤入盐点灌之。

十二味正气散：治风中、气中。

陈皮 厚朴 半夏 藿香 甘草 人参 二钱半 茯苓 白术 石菖蒲 木香 远志 薏苡仁

右除人参外，余药各半两，咬咀，每服三大钱，水一盞，姜三片，枣一枚，煎八分服。以上四方载梁氏总要方，用之有效。

鄂渚小金丹：治诸风。

晚蚕砂 炒熟 草乌头 生用

右各^④为末，生地龙为丸，如少，则加醋糊为丸，每服四五丸，白汤下，多则麻人，甚妙。

芎辛散：治风化痰，清利头目，不思饮食。出鸡峰方。

北细辛 一两 川芎 一两 甘草 二钱半

右为末，每服二钱，水一盞，薄荷七片，煎至五分，去滓，不拘时候，温服。

青龙膏：治荣卫不和，阳少阴多，手脚举动不快。出鸡峰方。

白花蛇 不○者陆两，好酒煮，去皮骨，新瓦上焙干，取肉一两 狗脊 天麻 各二两

右细末，银孟子盛，无灰酒一升，入此三药，重汤煮稠如膏，银匙搅，细磨生姜半两，取汁同熬匀，珥罐内收，每服半匙头，好酒半盞，搅匀服，或汤亦可，食前饮之极佳，日二服，神效。

① 分：朱氏集验方作“方”。

② ○：比喻丸之大小。

③ 各：此下脱字，朱氏集验方作“一”。

果皮丸：治久患风疾，手足不随。

果州陈皮 川当归

右为末，酒煮糊为丸，汤酒任服，不拘多少，亲见人用之，取效神妙。

趁痛丸：腰臂痛秘方。

五灵脂 赤芍药各半两 川乌一箇 没药四钱 麝香一钱

右为细末，酒糊为丸，温酒空心下。朱仁卿传。

圣验黑神丸：成都府昭觉寺潜庵道人真本。

防风去芦，锉，焙 川乌炮 好墨锉，焙 川附子炮 檀香各半两 麦子去心，焙 藿香叶去土，焙 白茅 何首乌^① 锉，用生姜汁同泡了甘草三钱，浸二宿，焙，再浸焙。各七钱 干姜七钱 白僵蚕油炒，去丝 全蝎姜汁浸一宿，焙 天南星炮裂熟，片切，以姜汁小半盏，同泡了甘草三钱，锉，浸二宿，焙，再焙姜汁尽为度 白附子炮十分裂熟，以姜汁同泡了甘草三钱，浸二宿，焙，再浸，焙 阿胶水浸蒸，同糯米糊作丸。各七钱半 细辛去叶及土，锉，焙 白芷锉，焙 香附子炒，去毛，拍碎，以生姜汁同泡了甘草二钱，浸二宿，焙，余汁再浸 川芎锉，焙。各八钱 皂角灰烧烟燉 甘松去土，锉，焙，川者尤妙 半夏汤洗十次，炒沙令热，炮，片切，用生姜汁半盏，泡了甘草三钱，浸二三宿，焙，再浸，再焙。半两 草豆蔻拍碎，去皮膜，生姜汁浸一二日，焙，再浸，焙。六钱 白术锉，焙。一两二钱 缩砂仁去膜皮，轻焙。一两 麝香别细研，同药末 龙脑同麝研衰药末。各一钱 白甘草炮熟，锉，焙。一两七钱

右为细末，大钵中衰伴两日，极令匀，合糯米粉二两，添水煮糊，同阿胶膏和药，杵二千余杵，丸如鸡头大，焙令十分干，瓷瓶收置暖处。但此方修合虽好，然亦迟滞，不若修锉生料，众药同片切，生姜半斤或七两，甘草三两，于瓷罐内，用水一斗五升上下，文武火煮，水干为度，仍除出甘松、白茅、檀香、缩砂仁、藿香叶勿煮，止令项焙捣为末，庶香气全，所有煮者众药，亦令作一处焙，捣为细末就了，却令研脑麝同香松茅数件，大钵内衰三二日，令药味和，合

方作法，和捣为丸，煮药下水之诀，以水高众药一寸余许，文武火煮，若火裂药无味，却在酌量伺候。风为万病之根源，盖五脏所受不同，而引起疾证有异，善卫生者，此药不可缺，感证不同，改汤使服之。一切风疾，炒乌豆淬酒下；卒中僵倒，或醉酒不醒，生姜汤研三五粒灌下；小儿惊风天吊，五种痢疾，入京腻粉少许，煎金银薄荷茶下；沉寒痼冷，生姜汤下；一切气疾，回香汤下；头风暗风，荆芥汤下；咳嗽痰涎，半夏汤下；肺气攻卫，杏仁汤下；疟疾，乌梅汤下；水泻，干姜汤下；痢疾，甘草汤下；脚疾湿气，木瓜汤下；酒伤食积，胃气不和，陈皮姜汤下；肠风，胡桃酒下；伤寒次霎，葱豉汤下；时行疫疾，山岚瘴气，不伏水土，藁本汤下；中毒，甘草水研灌下；牙痛，夜卧含化；牙宣，填窍中；妇人血风，血气，当归酒下；血脏虚冷，赤白带下，血淋，血晕，烧棕榈灰研细调酒下；腰背疼痛，浑身劳倦，温酒下；常服，食后茶下。此药本决传之神圣，功效不可尽述，孕妇休服。

宿州红饼子：治男子妇人，诸般风疾，兼诸损。陈氏家传第一药。

何首乌 天南星 川芎 川乌各半两 苍术 僵蚕各二两 草乌一两 藿香 白芷各钱 雄黄半钱

右除僵蚕、雄黄外，以水净洗晒干为末，粳米粉糊捻饼子，如小钱大，上朱为衣，用刀切十字，待干，一饼分作四服，空心。偏正头风，生葱茶嚼下；打扑伤损，松节酒下；鼓椎风膝肿，浸川牛膝酒下；如牙疼，半饼嚼在疼处，先以葱汤下一服。

防风汤：治手足不仁，或肿不已，宜服之。

北防风 川升麻 川独活 川羌活 北芍药 甘草

右等分锉散，每服二钱，水一盏半，煎至八分，随证上下分。窒心，食后通口服，

^① 乌：朱氏集验方作“乌”。

如觉气通，逐旋服活血丹、地仙丹之类，此说，方系名医周祖累以收效，今闻有用之者，其应如响。

消风散：治口眼喎斜，半身不遂，多因下元虚弱，为风所乘。先服顺气药，次服补药，却用茶清调消风散，下青州白丸子而愈。广东谭兄传此方与友人何清之云：此药只服两三日见效，亦自有理。

仙茅散：治背膊、手足、头目、筋脉虚掣，一切风证，疼痛不可忍。

仙茅无则，以好苍术代之，一两 陈皮 枳壳炮厚朴制 官桂 秦艽各一钱 当归 白茯苓 白芍药 白芷 川芎 半夏饼各一钱半 麻黄不去节，二钱半 没药 甘草 川乌炮，各半两 白姜 乳香 川独活二钱 全蝎七箇 麝香半钱

右除桂、芷、麝、没、乳，余并炒转色，却入不炒药，同为细末，每服三大钱，炒大黑豆同木瓜荫酒，旋温调服，不拘时候。得

效方同。宝庆张医宗玉以此医胡龙图取效。

治紫白癜风：

蜜陀僧别研为末，五钱 自然铜研，重筛，五钱 砒别研为霜，用二钱 猪牙皂角五钱，为末

右为末和匀，先用热水揩洗去黑被，抹干，用水调药，薄薄揩拭肉上，令入肉纹，一日晚用一次、三次。

黄柏散：治谷道生泡，痒而复痛，此风毒流行证。

黄柏皮 黄连去须 白矾煨过 白蛇皮烧灰。各等分

右细末，重筛，入麝香、蜡茶少许，和匀，津唾调抹，爪破水出，则干糝。一方只用黄柏皮末一钱 枯矾半字 和匀，米泔调涂。此方专治行路揩挡，谷道痛，仍用水先洗。

唾调散：治同前。

五味子末唾调

严氏济生方

中风论治

医经云：夫风者，百病之长也。由是观之，中风在伤寒之上，为病急卒。岐伯所谓大法有四：一曰偏枯，二曰风痲，三曰风懿，四曰风痹，言其最重者也。外有五脏诸风，皆载之于千金矣，兹不复叙。大抵人之有生，以元气为根，荣卫为本，根气强壮，荣卫和平，腠理致密，外邪客气，焉能为害？或因喜怒，或因忧思，或因惊恐，或饮食不节，或劳役过伤，遂致真气先虚，荣卫失度，腠理空疏，邪气乘虚而入，及其感也，为半身不遂，肌肉疼痛，为痰涎壅塞，口眼喎斜，偏废不仁，神智昏乱，为舌强不语，顽痹不知，精神恍惚，惊惕恐怖，或自汗恶风，筋脉挛急，变证多端，治疗之法，当推其所自，若内因七情而得之者，法当调气，不当治风；外因六淫而得之者，亦先当调气，然后依所

感六气，随证治之，此良法也。但发直吐沫，摇头上撞，面赤如妆，或头面青黑，汗缀如珠，眼闭口开，声如鼾睡，遗尿不知人者，皆不可治。

八味顺气散：

白术 白茯苓去皮 青皮去白 香白芷 陈皮去白 天台乌药 人参各一两 甘草炙，半两 袖珍方三钱

右为细末，每服三钱，水一大盏，煎至七分袖珍方咬咀，水二盏，煎至一盏，去渣。温服，玉机微义同。不拘时候，永类铃方可加生南星、木香各三钱，加姜煎。仍以酒化苏合香丸间服，有风之人，先宜服此，次进治风药。医方大成、集成、南北经验方，必用全书、必用之书同。

星附汤：治因虚中风，痰涎壅塞，不省人事，脉来医方大成六脉沉伏，服凉药不得者。卫生易简方治中风痰壅，昏不知人，口眼喎斜，半身不遂。

附子去皮，生用 天南星生用。各一两 永类铃方兼寒，炮用 木香半两，不见火

右咬咀，每服四钱，水二盏，大成一大盏。生姜玖片，煎至七分，去滓，温服，不拘时候。兼寒者，当用熟星附；沉困甚，手足厥冷者，加川乌，名曰三生饮；不效，澹寮方作弱甚者，加天雄，名曰三建汤；痰涎壅塞，声如牵锯，服药不下，宜于关元、丹田二穴多灸之良。医方集成、南北经验方、袖珍方与大成同。

虎胫骨酒：治风偏枯半死，行劳得风，若鬼所击，四肢不遂，不能行步。但是一切诸风挛急之证，悉皆治疗。

石斛去根 石楠叶 防风去芦 虎胫骨酥炙 当归去芦 茵芋叶 杜仲锉，炒 川牛膝去芦 芎藭 金毛狗脊燎去毛 川续断 川巴戟去心。各一两

右件锉如豆大，以绢囊盛药，以酒一斗，渍之十日，每服一盏，荡热服，不拘时候。

医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

蠲痛丸：治诸风历节，令人骨节疼痛，肿满。古今以来，无问贵贱，往往苦之，此是风之毒害者也。

川乌一枚，生用 袖珍方一钱 黑豆七七粒，生，去皮 袖珍方七十粒 全蝎二七箇，去毒 袖珍方二十一个 地龙去土，半两 麝香半钱，别研

右为细末，用清酒糊为丸，如绿豆大，每服十五丸加至二十丸，临卧隔空用冷酒吞下，微汗不妨。医方大成、集成、南北经验方、永类铃方同。澹寮方麝香丸一名全蝎丸。一方无吴公，名蠲痛丸。治白虎病疔，厉风走注，疼痛遍身，及脚气作痛。全蝎二十一箇 川乌八角者，三个，生 地龙一两，去土 黑豆二十一粒 赤脚蜈蚣一条，去头尾 麝香一字 右生为末，病在上，酒打薄薄糊为丸，病在下，糯米糊为丸，每服七丸至十丸，麝香冷酒吞下，空心或临卧时服，麻木而微汗即安。今医家以草乌代川乌尤妙。

青龙妙应丸：治诸风挛急，遍体疼痛，游走无定，百药之所不效者。

穿山甲十五片，石灰炒 全蝎去毒，三七箇 地龙

去土，一两 蜈蚣七条，生用 麝香一字，别研 草乌生，去皮，一两 没药三钱，别研 乳香三钱，别研 得效方已上二味各三钱 松香半两 斑蝥七个，糯米炒，去头足 白僵蚕姜汁炒，半两 五灵脂三钱，去砂石

右为细末，酒糊为丸，如绿豆大，以青黛为衣，每服二十丸，不拘时候，温酒送下。忌食热物。

加减地仙丹：治风冷邪湿，留滞下焦，足膝拘挛，肿满疼痛 不能步履。

地龙炒，去土 五灵脂去石 乌药 白胶香 别研 椒红炒去汗 藏灵仙 木瓜去穢 赤小豆炒 黑豆炒，去皮 天仙藤 川乌炮，去皮 五加皮 苍术泔水浸，去黑皮，炒 木鳖子去壳油

右等分，为细末，酒糊为丸，如梧桐子大，每服七十丸，空心用盐酒盐汤任下。

二香三建汤：治男子妇人，中风虚极，六腑诸方六脉俱微，得效方六脉沉伏。舌强不语，痰涎并多，精神如痴，手足偏废，不能举运，此等证候，不可攻风，止可扶虚。

天雄生，去皮用 附子生，去皮用 川乌生，去皮用。各一两 木香不见火，半两 沉香旋磨水入 得效方浓磨水，临熟旋入。澹寮方旋磨水煎药，临熟时入

右咬咀，每服四钱，水二盏，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方盏半。生姜十片，煎至七分，去滓温服，空心食前。永类铃方此下云：虚极气乏，宜炮熟用。

白虎历节论治

夫白虎历节病者，世有体虚之人，将理失宜，受风寒湿毒之气，使筋脉凝滞，血气不流，蕴于骨节之间，或在四肢，肉色不变，其病昼静夜剧，其痛彻骨，如虎之啖，名曰白虎之病也。痛如掣者，为寒多；肿满如脱者，为湿多；汗出者，为风多。巢氏云：饮酒当风，汗出入水，遂成斯疾，久而不愈，令人骨节蹉跌。为癫病者，诚有此理也。

羌活汤：治白虎历节，风毒攻注骨髓，疼痛发作不定。得效方治白虎历节风，短气自汗，头眩欲吐，手指挛曲，身体魁瘰，

其肿如脱，其痛如掣，因体虚饮酒当风，汗出入水，受风寒湿毒之气，凝滞筋脉，蕴于骨节，或在四肢，肉色不变，昼静夜剧，痛彻骨，如虎啗不可忍，久不治，令人骨节蹉跌，一名痹风，须大作汤圆救治，不可以浅近之剂，则无验。

羌活去芦，二两 附子炮，去皮脐 秦艽去芦 桂心不见火 永类铃方肉桂 木香不见火 川芎 当归去芦 川牛膝去芦，酒浸 桃仁去皮尖，麸炒 骨碎补 防风去芦。各一两 甘草炙，半两

右咬咀，每服四钱，水一盞半，姜五片，

煎至七分，去滓温服，不拘时候。

虎骨散：治白虎风，肢节疼痛，发则不可忍。得效方此下云：或痒痛不得屈伸。

虎骨酥炙，二两 花蛇酒浸，取肉 天麻 防风去芦 川牛膝去芦，酒浸 白僵蚕炒去丝嘴 川当归去芦，酒浸 乳香别研 桂心不见火。各一两 永类铃方肉桂 甘草炙 全蝎去毒。各半两 麝香一钱，别研

右为细末，每服二钱，得效方一钱。温酒调服，或用豆淋酒调服亦可，不拘时候。

蠲痛丸^①：治诸风历节疼痛，及手足下侧疼痛。方见前。

严氏济生续方

风 评 治

夫中风者，风气中于人也。卒然中风，神昏如醉，四肢不收，涎潮于上，声如牵锯，牙关紧急，汤药不能下咽，命在须臾。但眼闭口开，声如鼾睡，遗尿者，皆所不治。当此之时，先宜用搐鼻法，俟其喷嚏，即以稀涎散灌之，若气苏神省，却按前方，施以治法。前贤方论中风无吐法，或为有吐法，考之二者，终不可吐，大率一时气闭不行，痰涎蓄聚，所以昏愤。盖痰涎者，乃养关节之物，岂可吐乎？痰涎既出，关节无所资助，虽曰苏省，多为偏废之人矣。如稀涎散，不犯银粉药，又不犯藜芦、瓜蒂药，不特不坏脾胃，其效尤著，岂不美欤！

搐鼻法：治卒暴中风，昏塞不省，牙关紧急，药不得下咽者。

细辛洗去土叶 猪牙皂角去子

右各一钱，研为细末，每用少许，以纸捻蘸药入鼻，俟喷嚏，然后进药。袖珍方同。

稀涎散：治风涎不下，喉中作声，状如牵锯。

半夏大者十四枚，生，切片 猪牙皂角一条，炙

右作一服，水二盞，煎一盞，去滓，入姜汁少许，温服，不能咽，徐徐灌之。

星香散：治诸风及痰厥。管见大全良方星香饮子：治气盛人卒中涎多。

天南星一两，生用 木香二钱

右咬咀，分作二服，水二盞，生姜十片，煎至七分，去滓，温服不拘时候。得效方治中风痰盛，服热药不得者。天南星八钱 木香一钱 右锉散，每服四钱，生姜十片，永类铃方三片。水一大盞煎，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、铃方、卫生易简方煎七分。温服。

省风汤：永类铃方名醒风汤。治中风痰涎壅塞，口眼喎斜，半身不遂，不省人事。

半夏生用 防风去芦 医方大成各一两 甘草半两，炙 全蝎去毒，三箇 白附子生用 川乌生用 木香 天南星生用。各半两

右咬咀，每服半两，水二盞，大成一盞。生姜十片，煎至八分，去滓温服，不拘时候。医方集成、南北经验方、袖珍方、铃方与大成同。

稀涎丸：治中风偏风，口眼喎斜，时吐涎沫，语言蹇涩，筋脉拘挛，手足缓弱，伏床不起之证，悉宜服之，久服耳目聪明，髭鬓乌黑，筋力壮健，多有效验。卫生易简方治中风，失音不语，偏风，口眼喎斜，时吐涎水，四肢麻痹，骨间疼痛，腰膝无力者。

① 蠲痛丸：方见本卷本篇“中风论治”

稀莖草一名火欬草

右五月五日，六月六日 易简方此下有九月九日四字。收采，洗去土，摘其叶，不拘多少，九蒸九曝。每一次蒸，用少酒、蜜水洒之，蒸一饭久，曝干，如此九遍，蒸曝日干为末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服百丸，易简方五七十丸。空心食前，温酒米饮任下。玉机微义同。此草

多生于沃壤间，带猪签 袖珍方带猪苓 气者是。

医方大成、集成、南北经验方、永类铃方同。

换肌丸： 治诸癰大风疾。

苦参三两 大风油一两

右将苦参为细末，入大风油及少酒糊为丸，如梧桐子大，每服五十丸，不拘时候，用温酒送下，仍将苦参煎汤，带热洗之为佳。

管见大全良方

治 诸 风

三倍汤： 治男子妇人，左瘫右痪，口眼喎斜，卒中涎盛，口噤不语，手足颤掉，顽麻，一切风疾，半身不遂，不能举者，悉皆治之。

炮南星三两 防风去芦叉一两 甘草炙半两

右为细末，每服二钱，水盏半，生姜十片，煎至七分，温服。仆加木香如防风数，与人，效又速。

控涎丹： 凡人忽患胸背、手脚、颈项、腰胯隐痛不可忍，连筋骨牵引钩痛，坐卧不宁，时时走易不定。俗医不晓，谓之走注，使用风药及针灸皆无益，又疑是风毒结聚，欲为痛疽，乱以药贴，亦非也，此乃痰涎伏在心膈上下，变为此疾，或令人头痛不可举，或神意昏昏多睡，或饮食无味，痰唾稠粘，夜间喉中如锯声，多流睡涎，手脚重坠冷痹，气脉不通，误认为瘫痪，亦非也，凡有此疾，但以是药，不过数服，其疾如失。

甘遂去心 大戟去皮 真白芥子

右等分为细末，煮面糊丸，如梧桐子大，晒干，食后临卧姜汤下五七丸。如疾猛气实，加丸数服不妨，其效如神。忌甘草药。

大豆紫汤： 治中风头眩，恶风自汗，吐清水。又治妇人产后百病，或中风困笃，背强，口噤直视，或但烦躁，身重痒剧者。

川独活一两半，如无真者，只用羌活 大豆半升 好酒三升

右先以酒浸独活，煎一二沸，别炒大豆极焦烟出，急投酒中，密封候冷，王氏易简方同。去豆，每服一二合，温服，日十服，得少汗则愈。一方无独活，只用豆淋酒调荆芥末亦妙，名愈风散。

木香煮散： 治偏风，左瘫右痪，脚气等疾，并素有风湿，诸药不效，常服，调气、进食、宽中。

麻黄去节 羌活 防风各三分 木香 槟榔 附子炮 川乌炮 白术 橘红 草豆蔻和皮 煨牛膝去芦酒洗 茯苓 当归酒洗 人参 杏仁去皮尖双仁 麸炒 甘草炙 桂心 川芎各半两

右咬咀，每服一两，水一碗，姜七片，煎至七分碗，去滓温服。大便不通，每服加大黄一钱，量老少加减；心腹胀，加藁朮、滑石末，每服各一钱，候汤成入之；膈上壅滞，咳嗽气急，加半夏、升麻、天门冬去心、知母末各二钱同煎，二滓再用水一碗半，再煎，服以衣被盖覆取汗，不过三五服差，其效如神。

续命煮散： 治风虚 袖珍方风气、留滞，心中昏愤，四肢无力，口眼喎动，或时搐搦，亡失津液，渴欲引饮。此能扶荣卫，去虚风。中风自汗，及产后中风自汗，尤宜服之。

防风去芦叉二两 袖珍方五钱 桂心七钱半 独活 当归 人参 细辛 葛根 芍药 川芎 甘草 远志去心 熟地黄洗 荆芥穗 半夏泡七

① 藁：普济方卷一百十五诸风门作“藁”。

次。各半两

右除半夏为粗末，入半夏和停，每服三大钱，水一盞，袖珍方每服一两，水二盞。姜三片，煎至七分，袖珍方一钱。去滓，无时温服，如汗多不止者，加牡蛎粉一分半。袖珍方一钱半。

独活汤：治风虚昏愤，不自觉地，手足弃纵，坐卧不能，或发寒热，血虚不能发汗药，及中风自汗，尤宜服之。

独活 羌活 人参 防风 当归酒洗 细辛 茯神去皮木 半夏泡，别切入 桂心 白薇 远志去心 菖蒲去毛 川芎各半两 甘草炙，三分

右除半夏为粗末，入半夏令停，每服五大钱，水盞半，姜五片，煎至七分，去滓，无时热服。袖珍方右咬咀，每服一两，水二盞，生姜五片，煎至八分，去渣，食后温服。

牛黄丸：治失音不语。

牛黄一钱 麝香半钱 辰砂已上并研 南星炮 白附子炮。各半两 蝎稍一分

右为细末，姜汁煮糊丸，如梧桐子大，每服十粒，无时候，淡姜汤下。

通关散：

白僵蚕炒，半两 羌活一分 麝香半钱

右为细末，每服二钱，先以姜汁少许调开，以沸汤浸，温服，无时候，又时以菖蒲末著舌下。

神仙解语丹：治风入心脾，言语蹇涩，舌强不转，涎唾溢盛，及疔淫邪搏阴，神内郁塞，心脉闭滞，暴不能言。

石菖蒲去毛 远志去心，甘草水煮 天麻 白附子炮 全蝎酒炒 羌活 牛胆酿南星如无，只地南星用 白僵蚕炒。各一两 南木香半两 辰砂研细，量用为衣

右为细末，面打糊丸，如梧桐子大，每服二十丸至三十丸，无时，生姜薄荷汤吞下。

细辛散方：

北细辛一味为细末，用好皂角一挺，去皮，以净刷蘸水就上刷，令作沫，然后以指蘸皂角沫点细辛散，于牙关紧处擦之，无时度。

芎羌散：治妇人患头风者，十居其半，每发必掉眩，如在车上，盖因血虚，肝有风邪袭之尔。素问云：徇蒙招摇，目眩耳聋，上虚下实，过在足少阳厥阴，甚则归肝，盖谓此也。

川芎一两 当归三分 羌活 旋覆花 北细辛 石膏 藁本 蔓荆子 防风 荆芥穗 半夏曲 熟地黄洗，焙 甘草炙。各半两

右为粗末，每服三钱，水一大盞，生姜五片，煎至七分，去滓温服，无时候。

雄朱蝎附散：治一切风邪头疼，夹脑风气，痰涎壅盛，呕逆恶心，口吐清水，暗风眩晕，眼见黑花，牙关紧急，口眼喎斜，面目瞤动，头项拘急，肩背引疼，耳痒目昏，四肢麻木，及沐头浴出，暴感风邪，头目昏痛，两太阳穴疼，远年头风，经隔岁月，乍差乍发，服诸药不效者，并皆治之。

白芷 藁本 僵蚕炒 川乌炮 麻黄去节。各一两 南星炮，三两 白附子炮 防风各半两 雄黄 辰砂并研 蝎稍炒。各二钱半

右为细末，每服半钱，煎葱茶调下，食后服，孕妇不可服。一方有川芎、细辛、旋覆花、乳香、麝香亦妙。

柏子仁丸：治肝虚风寒，邪气留于经络，致令臂痛，筋脉挛急，不得屈伸。

柏子仁去皮，炒，研 茯苓 熟干地黄洗，焙。各二两 枳实去穰，麸炒黄 覆盆子 五味子 附子炮去皮 石斛去根，切，酒炒 桂心 酸枣仁炒 鹿茸酥炙 黄耆蜜炙 沉香各一两

右为细末，炼蜜为丸，如梧桐子大，空心，温酒吞下三十丸。

茯苓丸：治中脘伏痰，臂痛不能举，时复转移，一臂脉沉细。

茯苓去皮，一两 枳实去穰，麸炒，半两 半夏二两，冷水洗 风化朴硝一分，研

右为细末，姜汁煮面糊丸，如梧桐子大，生姜汤下二十丸。

白芥子散：治风毒留于经络，故臂痛

1 桐：按文义此下应有“子”。

外连于肌肉，牵引背脾，时发时止。

白芥子炒，研 木鳖子去壳，炒，别研。各一两 没药研 桂心为末 木香为末。各二钱半

右研令匀，温酒调二钱匕，食后服。

舒经汤：治气血凝滞经络不行，臂痛不能举。

白术 海桐皮去粗皮 赤芍药 当归 各半两 片子姜黄一两 甘草炙 羌活各一分

右咬咀，每服三钱半重，水一大盏，煎至七分，去滓热服。一方加沉香、生姜煎，食后服。如治腰脚疼痛，空心服。 王氏集验方治臂痛，又名五痹汤，亦治腰下疾。

片子姜黄四两 甘草 羌活各一两 白术 海桐

皮 当归 赤芍药各二两 右粗末，每服三钱，水一盏，煎至七分，温服。腰以上者，食后服。腰以下者，空心服。余医一女子，年二十，忽患手疼，针指不得，遂服此药，不十服而愈。

调气散：治气滞不调，胸膈虚痞，宿冷不消，心腹刺痛。除胀满噎塞，止呕吐恶心，常服，调顺脾胃，进美饮食。

丁香 木香 檀香 白豆蔻仁各二两 缩砂仁四两 藿香叶 甘草炙。各八两

右细末，每服一钱，入盐一字，沸汤点服，不拘时。

修月鲁般经后录

蝉花饼子：头风。

川芎 甘草各二两 防风 天麻 细辛 半夏 蝉花微炒，去土 川乌炮，去皮脐。各半两 南星 荆芥穗 干生姜炮。各一两

右为末，汤浸蒸饼，捻作饼子，每服五七饼，食后茶汤下。

硫黄二钱 朴硝一两

右为末，猪油调，鼻内嗅之，后搽疥。

头风：

川乌五钱 川芎一两 菊花半两 白芷三钱 防风半两 细辛三钱 天麻半□ 羌活半□ 荆芥半□ 薄荷半□ 南星一两 甘草三钱 半夏一两 干生姜半两 蚕半两 全蝎三钱 香附半两 蝉花三钱

饼子同前。

三法六门

风 门

防风天麻散：宣明论治风，麻痺走注，肢节疼痛，中风偏枯，或暴音南北经验方、袖珍方 暴暗不语，内外风热壅滞，解昏眩。

防风 天麻 川芎 羌活 白芷经验方以上三味各二两 草乌头 白附子 荆芥 当归焙 经验方以上二味各二两 甘草 滑石以上各半两 宣明论、经验方、玉机微义二两

右为末，热酒化蜜少许，调药半钱，加至一钱，少时觉药行^①，微麻为度。如作丸，炼蜜和，弹子大^②热酒化下一丸，或半丸。

宣明论、微义一丸或半丸细嚼，白汤化下亦得。宣明论、经验方、袖珍方又云：散郁结，宣气通。如甚者，更服防风通圣散。

防风汤：

防风 麻黄 独活 秦艽去芦 黄芩 石膏 当归去芦 白术 已上各半两

右为粗末，入半夏片子，令搅匀，每服四钱，水二中盏，入生姜七片，煎至一盏，去滓，取清汁六分，入麝香少许，带热食后服。

祛风丸：宣明论治中风偏枯，手足战

① 少时觉药行：儒门事亲同。宣明论作“觉药力运行”。

② 如作丸炼蜜和弹子大：儒门事亲同。宣明论作“或炼蜜为丸如弹子大”。

掉，语言蹇涩，筋骨痛。

川乌炮，去皮脐 草乌炮 天南星 半夏姜制
绿豆粉宣明论各一两 甘草 川芎 僵蚕宣明论撞米
甘浸去丝 藿香 苓苓香 地龙去土 蝎稍炒。已
上各一两。宣明论各三钱 川姜半两宣明论炮

右为细末，药末一两，用绿豆粉一两，
以白面二两，滴水和丸，如桐子，阴干细嚼，
茶清下三五丸至五七丸，食后初服三丸，渐
加之。

消风散：

川芎 羌活去芦 人参去芦 白茯苓去皮
白僵蚕炒 蝉壳去土。已上各一两 厚朴去粗皮，姜制
陈皮去白。已上各半两

右为细末，每服二钱，茶清调下。

川芎散：

川芎 荆芥 甘菊 薄荷 蝉壳 蔓荆
子已上各二两 甘草一两炙

右为细末，茶酒任下三二钱。食后①
□。

搜风丸：单名入参半夏丸。

人参 茯苓 南星已上各半两 半夏 干生
姜 白凡生 □水石②已上各一两 蛤粉二两 薄
荷半两 藿香一分

右为细末，与藏用丸末各中停，水丸如
豌豆大，每服三十丸，生姜汤下。

当归川芎散：

当归 川芎已上各半两 甘草二两 黄芩四两
薄荷一两 缩砂仁一分

右为细末，温水调下一二钱。

愈风饼子：

川乌半两，炮制 川芎 甘菊 白芷 防风
细辛 天麻 羌活 荆芥 薄荷 甘草炙。已
上各一两

右为细末，水浸饼为剂，捏作饼子，
每服三五饼子，细嚼，茶酒送下，不计时候。

疏风丸： 通圣散一料加天麻 羌活
独活 细辛 甘菊 首乌各半两

右为细末，炼蜜和丸，弹子大，朱砂为
衣，每服一丸，细嚼，茶酒下。

通顶散：

石膏 川芎 瓜蒂已上各等分 藜芦少许

右为细末，鼻内搐。

胃风汤：

人参去芦 茯苓去皮 川芎 官桂 当归
芍药 白术

右件各等分为末，每服三钱，水一盞，
入陈粟米煎，空心服之。

香芎散： 神效名方 治偏正头风。

香附子炒 贯③芎 石膏水飞 名方乱绞者良
白芷 甘草 薄荷已上各一两 川乌头半两，炒，去
皮脐 名方炮裂

右为细末，每服二钱，温酒或茶清调下，
无时。

铁弹丸：

地龙去土 防风 白胶香 没药 草乌头
水浸，炮 木鳖去皮 白芷 五苓脂 当归已上各
用一两 细墨三钱 麝香另研 乳香二味各二钱，另研

右末，糯米丸弹子大，每服一丸，生姜
酒下。

宣明论

风论

素问云：诸风掉眩，强直支痛，痙戾里
急筋缩，皆足厥阴风木之位，肝胆之气也。

风者，动也；掉者，摇也。所谓风气甚而头目眩运，由风木王则是
金衰，不能制木，而木能生火，故风火多为热化，皆阳热多也。

风为病者，或为寒热，或为热中，或为寒中，
或为厉风，或为偏枯，或为腰脊强痛，或为
耳鸣鼻塞。诸证皆不俱④，其病各异，其名

① 后：此下脱字，儒门事亲作“服”。

② □水石：儒门事亲作“凝水石”。

③ 贯：儒门事亲作“川”。

④ 俱：宣明论作“仁”。

不同。经云：风者，善行数变，腠理开则洒然寒，闭则热而闷。风气俱入，以^①于诸脉分肉之间，与卫气相干，其道不利，致使肌肉愤瞋而有疡也。卫气所凝而不行，故其肉有不仁也。分肉之间，卫气行处，风与卫气相薄，俱行肉分，故气道涩而不利，气道不利，风热内爵，卫气相持，肉愤瞋而疮出，卫气被风爵，不得传偏升凝而不行，则肉不仁也。谓皮肉癢而不知寒热痛痒，如木石也。经曰：风者，百病之首也，其变化乃为他病无常，皆风气所发也，以四时五运六气，千变万化，冲荡推击无穷，安得失时而绝也。故春甲乙伤于风者，为肝风；夏丙丁伤于风者，为心风；季夏戊己伤于风者，为脾风；秋庚辛伤于风者，为肺风；冬壬癸伤于风者，为肾风。风中五脏六腑，自俞而入，为藏府之风。肺风之状，多汗恶风，色白时嗽，短气，昼则微，暮则甚；心风之状，上同善怒色赤，病甚则言不可快；肝风善悲，色微苍，嗑干善怒，时憎女子；脾风，身体怠堕，四肢不收，色薄微黄，不嗜饮食；肾风，面疣^②而浮肿，脊痛不能正立，其色炁^③隐曲不利。又曰：风寒热诸疾之始生也，人之藏府，皆风之起，谓火热阳之本。内经：曲直动摇，风之用也，眩运呕吐，谓风热之甚也。夫风热佛爵，风大生于热，以热为本，而风为标，风言风者，即风热病也。气壅滞，筋脉拘倦，肢体焦痿，头目昏眩，腰脊强痛，耳鸣鼻塞，口苦舌乾，咽嗑不利，胸膈痞闷，嗽呕喘满，涕唾稠粘，肠胃燥热，涩^④便溺淋闷，或夜卧寝汗，咬牙睡语，筋惕惊悸，或肠胃佛郁结，水液不能浸润于周身，而但为小便多出者，或温^⑤热内余，而时有溏泄者，或因亡液而成燥淋闷者，或因肠胃燥郁，小^⑥液不能宣行于外，反以停湿而泄，或燥湿往来，而时结时泄者，或表之阳和^⑦正气卫气是也。与邪热相合，并入于里，阳极似阴而战。烦渴者，表气虚故战，里热甚则渴。或虚气久不已者，经言：邪热与卫气并入于里，则寒战也，并出之于表，则发

热，并则病作，离则病已。或风热走注，疼痛麻痹者，或肾水真阴衰虚，心火邪热暴甚而僵仆，或卒中久不语，或一切暴音而不语，语不出声，或暗风痼者，或洗头风，或破伤风，或中风，诸潮搐，并小儿诸疳积热，或惊风积热，伤寒疫疠不^⑧能辩者，或热甚佛结而反出不快者，或热黑陷将死，或大人小儿风热疮疥，及久不愈者，或头生屑，遍身黑黧，紫白斑驳，或面鼻生紫赤，风刺瘾疹，俗呼为肺风者，或成风疔，世传为大风疾者，或肠风痔漏，并解酒过热毒，兼解利诸邪所伤，及调理伤寒，日^⑨发汗，头项身体疼痛者，并两感诸证，兼治产后血液损虚，以致阴气衰残，阳气郁甚，为诸热证，腹满涩痛，烦渴喘闷，谵妄惊狂，或热极生风，而风热燥郁，舌强口噤，筋惕肉瞋，一切风热燥证，郁而良方作结。恶物不下，腹满撮痛而昏者，恶物过多而不吐者，不宜服之，兼消除大小疮及恶毒，兼治堕马打扑，伤损疼痛，或因而热结，大小便涩滞不通，或腰腹急痛，腹满喘闷者，自气壅滞，筋脉拘倦以下，良方同。自或风热走注疼痛以下，腰仙活人心同。

防风通圣散：良方云：予在江北，凡见有诸风病者，必先用防风通圣散多效，考之方书治验尤多，今江南患者，服之尤效。经验秘方加味防风通圣散，治诸风证同，廉访服效。

防风^⑩经验良方去芦 川芎 当归 芍药 大黄良方锦纹者 薄荷叶 麻黄三法六门去根不去节，良方去根节，活人心去节 连翘良方去蒂 芒硝已上各半两。盆肖足^⑪ 石膏良方细纹者方解者非 黄芩 桔梗各一两 滑石三钱 六门三钱，良方六两 甘草一两 荆芥

① 以：宣明论作“行”。
② 疣：宣明论作“”。
③ 炁：宣明论作“如”。
④ 涩：宣明论作“结”。
⑤ 温：宣明论作“湿”。
⑥ 小：宣明论作“水”。
⑦ 和：宣明论作“中”。
⑧ 不：宣明论作“而”。
⑨ 日：宣明论作“未”。
⑩ 盆肖足：宣明论作“朴硝是者”。

白术 梔子 各一分 活人心、良方各一钱半。又良方用小者，大者非。玉机微义各半两，又云：一方去芒硝，加牛膝、人参、半夏

右为末，每服二钱，六门五七钱。水一大盏，生姜三片，煎至六分，温服。六门煎至七分热服。涎嗽加半夏，半两¹制。如服药不可无生姜同煎。

南北经验方、楠珍方同。秘方右咬咀，生姜葱白煎服，食前空心。良方右为粗末，每服三钱重，水一盏半，生姜三片，煎七分盏，去滓服，不拘时候。平常初感风寒，解利表里，每服五钱重，生姜五片，葱白数茎，豆豉一撮煎服，取汁立瘥。暴暗舌强，每料加石上菖蒲一两，常服。调理去芒硝加缩砂仁半两。治疮癣，或寻常疏风顺气，研为细末，汤酒随意调服。咳嗽，每料加半夏半两。治消渴，加括萎根一两，芒硝添成一两，服之妙。臞仙活人心右咬咀，如麻豆大，每服一两，生姜三片同煎，温服，日再服。劳汗当风，汗出为皴，郁乃痼，劳汗出于玄府，脂液所凝，去芒硝，倍加芍药、当归，发散玄府之风，当调其荣卫。倍云：风刺□生瘾疹，或赤或白，加麻黄、盐豉、葱白，出其汗。麻黄去节，并去芒硝，咸走血而肉凝，故不能发汗罢。依前方中加四物汤，黄连解毒三药，合而服之，日二服。故内经曰：以苦发之，谓热在肌表连内也。小便淋闷，去麻黄，加滑石、连翘，煎药汤，调木香末二钱匕，麻黄主表不主里，故去之。腰胁痛，走注疼痛者，加硝石、当归、甘草一服，各二钱，调车前子末、海金沙末各一钱。内经曰：腰者，肾之府。若破伤风者，如在表则辛以散之，在里则苦以下之，兼散之，汗下后，通利血气。祛逐风邪者，每一两内加荆芥穗、大黄各二钱，调全蝎末一钱，羌活末一钱。诸风潮搐，小儿急慢惊风，大便结闭，邪热暴甚，肠胃干燥，寝汗，咬牙，上窜，睡语，筋转，惊悸，肌肉蠕动，每一两加大黄二钱，梔子二钱，调茯苓末二钱，肌肉蠕动者，调羌活末一钱。经曰：肌肉蠕动，命曰微风。

风伤于肺，咳嗽喘急，每一两加半夏、桔梗、紫苑各二钱。打扑伤损，支节疼痛，腹中恶血不下，每一两加当归、大黄各三钱半，调没药、乳香末各二钱。解利四时伤寒，内外所伤，每一两内加益元散一两，葱白十茎，盐豉一合，生姜半两，水一大碗，煎至五七沸，或煎一小碗，温冷服一半，以筋投之即吐，罢后，服一半，稍热服，汗出立解。饮酒中风，身热，头痛如破者，加黄连须二钱，葱白十茎，依法立愈。慎勿用桂枝麻黄汤解之。头旋脑热，鼻塞浊涕时下，每一两加薄荷、黄连各二钱半。内经曰：胆移热于脑，则辛頞鼻渊，鼻渊者，浊涕下不已也。王注曰：胆液下澄，则为浊涕下不已，如水泉，故曰鼻渊也，此为足太阳脉与阳明脉俱盛也。气逆者，调木香末一钱服之。修月鲁般经后录：防风 川芎 当归 芍药 薄荷 连翘²半两 石膏 黄芩 枳³梗各一两 甘草二两 荆芥 白术 山梔⁴二钱半 大黄 麻黄 芒硝 各半两 贾同知无芒硝缩砂。一本无川芎、当归、白术、麻黄，有黄连、黄柏共十五味。评曰：内经论风者，百病之首也，其为病者，或寒热，或热中，或为寒中，或为疔风，或为偏枯，或为腰脊痛强，或为耳鸣鼻塞。诸证皆不可拘，其病各异，其名不同。又曰：风寒热诸证之始生也，人之脏腑皆风之起。火热阳之本也。曲直动摇，风之风也。眩运呕吐，风热之甚也，夫风热怫郁，风本生于热为本，而风为标。凡言风者，即风热之病也。谓火热甚则制金，金衰则木茂，木茂则生风木，或热微风甚，即兼至风热，或风微热甚，但治其热，则风自消矣。河间先生依内经，风摇于内，治以辛凉之旨，故出此方，主治一切诸风，以其能消风退热，散郁闭，开结滞，而使血气宣通，怫热除而愈矣。设势甚者，非调养剂所知，当行三法救疗。苟

1. 两：宣明论此下有“姜”字。

2. 翘：按文义此下应有“各”字。

3. 枳：按文义应作“桔”。

4. 梔：按文义此下应有“各”字。

信不及，此惑于世俗体虚生风于异论，捡用金石之缪方，必迁延困顿，竟至于死矣，诚可悲夫！河间先生又以此方加天水对停，名双解煎，以葱白、姜、豉普解风寒暑湿，饥饱劳役，内外诸邪所伤，无问无汗自汗，汗后劳役，但觉不快，便可通解得愈。妇人产后诸疾，小儿惊风、积热、疮疹诸证，无问日数，但服之，周身中外，血气宣通，病皆除愈。治症则加柴胡、桂枝。凡人衰老，肾水真阴损虚，风热燥郁积甚，精血涸竭枯燥而死，常用此药，扶补滋润可也。惟孕妇人及产后，复月事经水过多，并泄泻者，不可服。或治杂病即宜，乃平人常服之仙药也。如其病有变态，当随其脉证而治之。御药院方治一切风热郁结，气血蕴滞，筋脉拘挛倦，手足麻痹，肢体焦痿，头痛昏眩，腰脊强痛，耳鸣鼻塞，口苦舌干，咽嗌不利，胸膈痞塞，咳嗽喘满，涕唾稠粘，肠胃燥涩，便溺淋闷，或肠胃蕴热郁结，水液不能浸润于周身，而为小便出多者，或湿热内甚而有溏泄者，或表之正气，与邪热并甚于里，阳极以阴，而寒颤烦渴者，或热甚变为疟疾久不已者，或风热定注，疼痛顽麻者，或肾水阴虚，心火阳甚，热暴甚而中风，或暴暗不语，及暗风痼病，或破伤中风，时发朝搐，并小儿热甚惊风，或斑疹未出不快者，更热剧黑陷将欲死者，或风热疮疥久不愈者，并解酒热毒，及调理伤寒发汗不解，头项肢体疼痛，宜服之。得效方治一切风热，头目昏痛，肢体烦疼，咳嗽喘满，涕唾稠粘，口苦咽干，肠胃结燥。防风二钱半 川芎半两 石膏一两 滑石三两 当归一两 赤芍药半两 甘草炒，二钱半 大黄半两 荆芥穗二钱半 薄荷叶一两 麻黄半两，去根不去节 得效方去根节 白术半两 山栀子三钱 连翘半两 黄芩半两 桔梗半两 牛膝半两，酒浸 得效方去芦 人参半两 半夏半两，生姜制 右件药，同为粗末，每服四钱，水一盏，入生姜三片，煎至六分，去滓，温服，不计时候，医方大成、集成、永类铃方与得效方同。王氏集验方此下云：此方加乌药、香附、紫苏叶、陈皮、半夏、赤茯苓、槟榔

各一两，名疏风顺气散。日进三服。病甚者，五七钱至十余钱，极甚，须可下者，多服二三十钱，得利后，却常服三五钱，以意加减，病愈后，更宜常服三二钱，别无所损，使病不能再作。

贾同知通圣散：

防风 芍药各二钱半 甘草三两 荆芥三钱半 薄荷一两 黄芩二^①两 白术一分 石膏一两 川芎半两 滑石三两 当归半两 大黄半两 麻黄半两 山栀子一分 连翘半两 桔梗一两 无芒硝，无缩砂 南北经验方、袖珍方同

崔宣武通圣散：

防风 芍药 荆芥 当归 白术 山栀子各一分 川芎 大黄 滑石一本作薄荷 麻黄^② 连翘 黄芩 桔梗 缩砂各半两 甘草 石膏各一两 滑石三两

刘庭瑞通圣散：有缩砂，无芒硝，其余皆同。缘庭瑞于河间守真先生论^③师传之，枳^④ 南北经验方、袖珍方得师传之秘。从二年，始受于方，斯耳^⑤ 经验方、袖珍方作可。取为端而可准，凭以用之，兼庭瑞以用治病百发百中，何以疑之，因录。耳以漏^⑥ 笛^⑦。经验方、袖珍方以前药。庭瑞临时以意加减，一依前法，嗽加半夏半两，生姜制。

犀角丸：治风痼，日发作有时，扬手掷足，只吐痰次^⑧，不省人事，暗倒屈伸。

犀角末半两 赤石脂三两 朴硝二两 白僵蚕一两 薄荷叶一两

右为末，面糊为丸，如桐子大，每服二十丸至三十丸，温水下，日三服，不计时候，如觉痰多，即减丸数，忌油腻物。动^⑨ 症病目直，卒中口禁，背强如弓，卧摇动，手足搐搦，无汗，名刚为阳症，有汗，名加^⑩ 为阴

① 二：宣明论作“一”。

② 麻黄：宣明论无此药。

③ 论：宣明论作“札”。

④ 枳：宣明论作“随”。

⑤ 耳：宣明论作“且”。

⑥ 耳以漏：宣明论无此三字。

⑦ 笛：宣明论作“但”。

⑧ 只吐痰次：宣明论作“口吐痰涎”。

⑨ 动：宣明论作“风”。

⑩ 加：宣明论作“柔”。

痊，通三一承气下之妙。

搜风丸：治邪气上逆，以致上实下虚，风热上攻，眼目昏，耳鸣，鼻塞，头痛，眩运，躁热，上壅痰逆，袖珍方痰实。涎嗽，心腹痞痛，大小便结滞。清利头面，鼻聪耳鸣，经验良方作常服清利头目，开通鼻窍，聪耳明目。宣通血气。

人参 茯苓 天南星^{半两} 半夏^{一①两} 干
生姜 白矾^{生②} 寒水石^{一两} 蛤粉^{二两} 玉机
微义^{一两} 薄荷叶^{半两} 藿香叶^{一分} 良方^{二钱半}
大黄^{微义一两} 黄芩^{二两} 微义^{一两} 牵牛^{四两}
滑石^{四两}

右为末，滴水为丸，如小豆大，每服十九丸，生姜汤下，加至二十丸，日三服。

川芎石膏汤：治风热上攻头面，目昏眩，痛闷，风痰喘嗽，经验良方^{涩嗽}。鼻塞，口疮，烦渴淋闷^③。皴揭^④翳膜，清神利头，宣通气血，中风偏枯，解中外诸邪，调理汗^⑤病，劳复传染。

川芎 山梔子 芍药^{南北经验方各三两} 荆芥穗 当归^{经验方三两} 黄芩 大黄 菊花 人参 白术^{已上各半两} 石膏^{经验方二两} 防风^{经验方半两} 连翘 薄荷叶^{各一两} 滑石^{四两} 寒水石^{二两} 桔梗^{二两} 缩砂仁^{一分} 医方大成、集成、经验方、袖珍方、永类铃方^{三钱} 甘草^{三两}

右为末，每服二钱，良方四钱 水一盞，煎至六分，去滓，食后水调亦得。大成、集成、经验方、袖珍方、铃方热甚者，冷水调下。忌姜，醋，发热物。御药院方治一切风热上攻，头目昏眩，或痛或闷，或风痰喘嗽，或目疾时发，或生翳膜，或鼻塞口疮，烦躁多渴，或便溺淋秘或疮癣皴揭，并宜服之，清利头目，宣通气血，并一切风热，或中风偏枯，樵解中外诸邪所伤，及调理汗病，下之前后，并汗后余热，劳复传染等疾。石膏 防风 连翘 薄荷叶^{各一两} 川芎 山梔子 荆芥穗 当归^{切，焙} 芍药^生 大黄 菊花 人参 白术^{各半两} 甘草^{三两} 滑石^{四两} 寒水石 黄芩^{得效方半两} 桔梗^{各二两} 缩砂仁^{一分} 得效方^{三钱} 右为粗末，

每服三四钱，水一盞，煎至六分，滤汁温服，日进二三服，食后，得效方此下云：热甚者为末，冷水下。忌姜、醋、发热诸物。或为极细末，温水调下二三钱。

玉机微义治风热，防风通圣散 去朴硝、麻黄，加人参、寒水石、甘菊、砂仁。右为末，水煎。

川芎神功散：治风热上攻，偏正头痛。无问微甚久新，头面昏眩，清神。

川芎^{四钱} 甘草^{一分} 川乌头 吴白芷 天南星 麻黄^{各半两}

右为末，每服二钱，水一盞，生姜三片，煎至半盞，投清酒半盞。避风。

换骨丹：治瘫痪中风，口眼喎斜，半身不遂，并一切风痼，暗风，并宜服。颂曰：

我有换骨丹，传之极幽微^⑥，疏开惜^⑦者袖珍方病者。心，扶起衰翁臂，气壮即延年，神清自不睡，南山张仙翁，三百八十岁，槐皮芎术芷，仙人防首蔓，十件各停匀，苦味香减半，龙麝即少许，朱砂作衣缠，麻黄煎膏丸，大小如指弹，修合在深房，勿令阴大一本作人。见，夜卧服一粒，遍身汗津满，万病自消除，神仙为侣伴。

麻黄^{煎膏} 槐角子^{取子} 桑白皮 仙术 香白芷 川芎 蕨灵仙 人参 防风 何首乌 蔓荆子 苦参 木香 五味子 朱砂^研 龙脑^研 麝香^研

右为末，桑白单捣细，秤以麻黄膏和就，杵一万五千下，每两分作十丸，每服一丸，以硬物击碎，温酒半盞浸，以物盖，不可透气，食后临卧一呷咽之，衣盖覆，当自汗即差^⑧。袖珍方自出汗即差。以和胃汤调补，及避风寒，茶下半丸，盖出汗。入膏时如稠，再入水少许，煎动入药，唯少为妙，其麻黄膏不可多也。御药院方疗血滞而不流，

① 一：宣明论作“四”。

② 生：宣明论此下有“各二两”三字。

③ 闷：宣明论作“咽”。

④ 皴揭：宣明论作“眼生”。

⑤ 汗：宣明论作“诸”。

⑥ 微：宣明论作“秘”。

⑦ 惜：宣明论作“病”。

⑧ 当自汗即差：宣明论作“当自出汗即差”。

卫气遇而不通，风寒湿气相搏筋血之间，内舍偏虚，发为不遂之病，气感八风，血凝五痹，筋挛骨痛，瘫痪偏枯，一切风证，并皆治之，服之神妙，难以言宣。槐角子炒黄熟 桑白皮去粗皮，炙 川芎 苍术去皮 白芷 蔓荆子去萼 人参 葳灵仙 何首乌 防风已上各二两 苦参 五味子 香附子各一两 麝香半两，别研 麻黄一十斤 朱砂水飞，一两 右将麻黄去皮根不去节，用河水三石三斗三升，小斗七升是也。熬陆斗，滤去麻黄，澄清，再熬至二升半，入其余药末，每一两三钱作一十丸，朱砂为衣，每服一丸，用酒一盏，浸至晚溶化开，临卧服之。瑞竹堂方治卒中风，口眼喎斜，左瘫右痪，不能言，用此药与不卧散，汗出，其人必愈，有效。槐角子 桑白皮去赤皮 仙术 葳灵仙 人参 川芎 何首乌 蔓荆子 防风 香白芷已上各二两 五味子 木香 苦参已上各一两 脑麝各少许，研 麻黄五斤，去苗根，不去节 右麻黄用水二十升，以槐枝搅熬成膏子，留一升，取出，和诸药为丸，如弹子大，每服一丸，用生姜七片，带须葱头七茎，水一碗，煎至半碗，先将丸子研细，用葱姜汤热调服，便于暖处，厚衣被盖之，勿令透风，通身汗出是效也。

麻黄膏：治中风，不省人事，卒然倒地。刘先生快病法，右须王相日，乙卯日，采麻黄一秤，拣取根一寸长，取东流水三石三斗，以无油腻铛量大小，盛五柴斗者，可先煮五沸，掠去滓，逐旋添水，尽至三五斗以来，漉去麻黄，淘在盆中，澄定良久，用细罗子滤去滓，取清者，铛内再熬至一斗，再澄再滤，取汁再熬，至斗半已来为度，只是勤搅，勿令著底，恐焦了，熬时忌鸡犬阴人，澄时须盖覆，不得飞入尘土，其膏放一二年不妨，如特稠，用水解熬再匀。

茯苓半夏汤：治风热，痰涎吐溢，或眩晕头疼，喘嗽痞闷。

赤茯苓一分 半夏三枚，水煮，切作片子 黄芩一分 甘草 红皮一分 袖珍方红橘皮各一分

右为末，每服三钱，袖珍方一两、水二盏，生姜六片，煎至一盏，滤汁，分三次温服，此时袖珍方服无时。以效为度。

仙术芎散：治风热壅塞，头目昏眩，明耳目，消痰饮，清神。

川芎 连翘 黄芩 山梔子 菊花 防风 大黄 当归 芍药 桔梗 藿香叶各半两 苍术一两 甘草三两 荆芥穗 薄荷叶 缩砂仁各一分 石膏二两 滑石三两

右为末，每服三钱，水一盏，煎至七分，去滓，温服，食后细末点服亦得。袖珍方右咬咀，水二盏，煎至一盏，去渣，通口食后服。

松红散：治风热上攻阳明经络，面鼻紫色，风刺瘾疹，俗呼为肺风者，以胀¹ 袖珍方作肺。主鼻，而又浅在皮肤之内，皮肤属于肺。

舶上硫黄半两 白矾灰半两

右为末，少许入黄丹染与病人面色同，每上半钱，津液调涂之，洗速² 罢，临卧服防风通圣散效速。

神芎散：治风热上攻，头目眩痛，上壅鼻并牙齿闷痛。

川芎 郁金各二钱 荆芥穗 薄荷叶 红豆各一分

右为末，入盆硝二钱研匀，鼻内嚏三二刻耳许，力慢加药，病甚兼夜嚏。

万灵丸：治肾脏一切耳鸣，腰疼筋骨痛。

草乌头二两，炮 赤芍药 五灵脂 防风 黄耆 细辛 海桐皮 山茵陈 骨碎补 地龙各八钱 黑狗脊二两 牛膝 何首乌 蔓荆子 白附子 川乌头 巨胜子各八钱 苍术一两 羌花三钱，炒 黑牵牛半两 青皮二钱 御米子二钱，炒

右为末，酒面糊为丸，如桐子大，每服十丸至二十丸，温酒下，空心食前。

1 胀：宣明论作“肺”。

2 速：宣明论作“激”。

蚬螂丸：^① 治腰脚拳弯，鹤膝风^② 缩。

蚬螂 头尾全者 桃仁 生 白附子 阿魏 桂心 白芷 当归 安息香 用胡桃穰研。各一两 北漏芦 芍药 牛膝 地骨皮 羌活 各等分 威灵仙 廿分

右为末，面糊为丸，如弹子，空心，每服温酒化下一丸。 卫生宝鉴治鹤膝风及腰膝风缩。胡楚望博士病风症，手足指节如桃李，痛不可忍，服之悉愈。 蚬螂一条，头尾全者 白附子 阿魏 研 桂心 白芷 各一两 乳香 三分^③ 当归 北漏芦 芍药 威灵仙 地骨皮 牛膝 羌活 安息香 桃仁 各一两，生，同安息香研 没药 三分^④ 右拾陆味，蚬螂、桃仁、白附、阿魏、桂心、白芷、安息香、乳香、没药九味，同童子小便并酒二升，炒熟^⑤，冷处入余药，为末蜜丸，弹子大，空心温酒化下一丸，无时。

舒筋散： 治妇人血气并产后风热，搐搦舒筋，俗云鸡爪风。

人参 川芎 官桂 丁香 各半两 木香 天麻 酒浸，焙。各一两 井泉石 四两，另为末

右为末，每服三钱，井泉末三钱，大豆半升，净淘，好酒一大升，煮豆软，去豆，用豆汁酒调下，后以酒送下，盖覆汗出为效。

胜金丸： 治风热惊骇，不时旋运，潮搐，口吐痰沫，忽然倒地，不省人事，名曰痾病。

天南星 白僵蚕 细辛 乌蛇 真者，好酒浸，去骨 川乌头 生 皂角 炙黄 白矾 枯 桔梗 威灵仙 何首乌 草乌头 各两 荆芥穗 川芎 各二两

右为末，酒面糊为丸，如桐子大，每服十丸，食后温酒下。

比金散： 治伤寒冒风，头目痛，四肢拘倦，鼻塞。

荆芥穗 麻黄 白芷 细辛 何首乌 菊花 防风 石膏 川芎 薄荷 干蝎 草乌头 各等分

右为末，每服一钱，水一盏煎，温服，茶酒亦得。

神白丹： 治伤寒积热，及风生惊搐，或如狂病，诸药不效，此方不可尽述。

粉霜 一两，用白面陆钱和作饼子，炙热同研 铅白霜 一分 轻粉 半两

右为末，滴水为丸，桐子大，每服十丸至十五丸，米饮下，量虚实加减。

桃仁丸： 治一切风毒，遍身疼痛，四肢拘急。

草乌头 肉白^⑥ 桃仁 取霜。各一两 五苓指^⑦ 三两

右为末，酒煮面糊丸，如桐子大，以青黛为衣，嚼胡桃仁，以温酒下五丸，食后加減。

瓜蒂神妙散： 治头目昏眩，偏正头痛等。

焰硝 雄黄 川芎 薄荷叶 道人头 藜芦 各一分 天竺黄 一钱半，如无，以郁金代之

右为末，研细，含水，鼻中搐一字，神验。

清风散： 治头目昏眩，咽喉不利，痰涎壅塞。

石碌 一钱 朱砂 牙硝 雄黄 各三字 龙脑^⑧ 皂角 一字，去皮，炙黄，取末 瓜蒂 二钱 滑石 赤小豆 半钱

右为极细末，每服半钱，新汲水调下，如噤不省人事，滴水鼻中，或嚏者可治，为验。

灵砂丹： 治破伤风，一切诸风等。

威灵仙 黑牵牛 何首乌 苍术 半两 香附子 六两 川乌头 去尖 朱砂 二钱，衣 没药 乳香 各三钱 陈皂角 四钱，炙黄，去皮

右为末，把皂角打破，用酒二升半，春

① 蚬螂丸：宣明论本方各药剂量为“各等分”。安息香注文无“各一两”三字，威灵仙注文无“廿分”二字。

② 肋：宣明论作“筋”。

③ 三分：卫生宝鉴作“七钱五分”。

④ 三分：卫生宝鉴作“七钱五分”。

⑤ 熟：卫生宝鉴作“热”。

⑥ 肉白：宣明论作“生用”。

⑦ 指：宣明论作“脂”。

⑧ 龙脑：宣明论此下注有“一字”二字。

夏三日，秋冬七日，取汁，打面糊为丸，如桐子大，每服五丸。如破伤风，煎鳔酒下；如牙疼赤眼，捶碎，研三五丸，鼻嚏之。

天麻散：治头项痛，头面肿，拘急，风伤荣卫，发燥热。

川芎 细辛 地骨皮 苦参 南北经验方、袖珍方 已上四味各二两 何首乌 菖蒲 蔓荆子 薄荷叶 经验方、袖珍方 已上四味各一两 杜钱葵 袖珍方杜钱葵 牛蒡子 荆芥穗 蛇蛻草 葳灵仙 经验方、袖珍方二两 防风 已上各半两 天麻 一两 甘草 二两，炙

右为末，每服二三钱，用①蜜水调下，茶酒②任，不计时候。

新补薄荷白檀汤：治风③头昏目眩，

鼻塞烦闷，精神不爽。消风化痰，清头目。

白檀 一两 荆芥穗 二两 薄荷叶④ 甘草 四两，炙 瓜蒌根 二两 白芷 二两 盐 四两 缩砂仁 半两

右为末，每服一钱，百沸汤点，食后临卧，稍热温服。

新补菊叶汤：治一切风，头目昏眩，呕吐，面目浮肿者。

菊花 去梗 羌活 独活 旋复花 牛蒡子 甘草 各等分

右为末，每二钱，水一盏，生姜三片，同煎至七分，去滓，温服，食后。

东垣试效方

脉风成厉

戊申岁正月，段库病厉风，满面连须极痒，眉毛已脱落，须用热水沃之稍缓，每昼夜须数次，或砭刺亦缓。先师曰：风论中，夫厉者，荣卫热附其气不清，故使其鼻柱坏而色败，皮肤痒溃，风寒客于脉而不去，名曰厉风。治之者，当刺其肿上已，刺以锐针刺其处，按出其恶气，肿尽乃止，常食如常食，勿食他食，如以药治之，当破血去热，升阳去痒泻荣逆，辛温散之，甘温升之，行阳明经，泻心火，补肺气，乃治之正也。

补气泻荣汤：

升麻 六分 连翘 六分 苏木 三分 当归 全蝎 黄连 地龙 黄芪 已上各三分 生黄芩 四分 甘草 一钱半 人参 二分 生地黄 四分 桃仁 三箇 桔梗 半钱 麝香 少许 梧桐泪 一分 虻虫 去翅足，微炒 二箇 水蛭 炒令烟尽，两箇

右件锉如麻豆大，除连翘另锉，梧桐泪研，白豆蔻二分为细末，二味另放，麝香、虻虫、水蛭叁味为细末另放外，都作一服，水二大盏，酒一匙，入连翘煎至一盏六分，再入白豆蔻二味，并麝香等三味，再上火煎一二沸，去粗，稍热，早饭后，午饭前服。忌酒、湿面、生冷、硬物。

御药院方

风药

活命金丹：治中风不语，半身不遂，肢节顽痹，痰涎上潮，咽嗑不利，饮食不下，牙关紧噤，及解一切药毒、酒毒，发热，腹胀，大小便不利，胸膈痞满，上实下虚，气闭面赤，汗后余热不退，劳病，诸药不治，

无问老幼男子妇人，俱得服食。

贯众 甘草 板蓝根 干姜 各一两 卫生宝鉴干葛 龙脑 研，三钱 宝鉴二钱 麝香 研，三钱 牛黄 研，半两 生犀 珠子末 各半两 川大黄 一两半 辰

① 用：宜明论作“研”。

② 酒：宜明论作“水”。

③ 风：宜明论此下有“壅”字。

④ 叶：宜明论此下注有“四两”二字。

砂 四钱，一半入药，一半为衣 青黛 三钱 薄荷 半两
桂 三两 宝鉴三钱 甜消 一两

右件药捣罗为末，与研药一处搅匀，炼蜜同水浸，证饼为剂，每两作十丸，别以朱砂为衣，就湿真金箔四十箔为衣，腊月修合，磁器收贮，多年不坏。如疗风毒，茶清化下；解药毒，新冷水化下；汗后余热劳病，及小儿惊热，薄荷汤化下。已上并量病大小加减用之，大有效。

大辰砂丸：清头目，化痰涎，利咽喉，手足麻木，肢节疼痛，鼻塞声重，头昏目眩，项背拘急，皮肤瘙痒，卒生瘾疹，冒触风寒，并服之。

天麻 去苗，一两 防风 去芦头，二两 细辛 去苗叶土，半两 薄荷叶 半两 川芎 一两 甘草 炙，一两 吴白芷 一两 朱砂 一两，为衣

右件七味为细末，炼蜜丸，如弹子大，朱砂为衣，每服一丸，细嚼，食后生姜汤下，茶清亦得。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

龙脑川芎丸：消风除热，化滞消痰，聪利七窍，爽气清神。

薄荷叶 去土，五两三钱 川芎 一两 桔梗 一两半 甘草 微炒，一两 防风 去芦头，一两 袖珍方二两 缩砂仁 二钱 龙脑 研，六钱 白豆蔻仁 半两。袖珍方无薄荷、川芎、甘草

右件为细末，入研药匀，炼蜜为丸，每两作二十丸，每服二丸，细嚼，温茶清送下，食后服。

生朱丹：治诸风痰甚，头痛目眩，旋运欲倒，肺气郁滞，胸膈不利，呕哕恶心，恍惚健忘，颈项强直，偏正头痛，面目浮肿，筋脉拘急，涕唾稠粘，咽喉不利。常服清神爽气。

白附子 炮裂，去皮脐，半斤 石膏 烧通红放冷，半斤 龙脑 一字 朱砂 一两二钱半，为衣

右件三味为细末，烧粟米饭为丸，如小豆大，朱砂为衣，每服三十丸，食后茶酒任下。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

独活续命汤：治卒暴中风，不省人事，渐觉半身不遂，口眼喎斜，手足战掉，语言蹇涩，肢体麻痹，神情昏乱，头目眩重，痰涎并多，筋脉拘挛，不能屈伸，骨节烦疼，不得转侧，及治诸风，服之皆验。若治脚气缓弱，久服得差，久病风人，每遇天色阴晦，节候变更，宜先服之，以防暗瘕。

麻黄 去根节，一两 人参 去芦头，一两 黄芩 一两 芍药 一两 川芎 一两 甘草 性，燄，一两 防己 半两 杏仁 去皮尖，炒黄，细切，一两 桂 一两 防风 去芦头，一两半 附子 炮，去皮脐，细切，半两 白花蛇肉 三钱 独活 三钱 干蝎 三钱

右件为粗末，每服三钱，以水一盏半，入生姜五片，煎取一盏，去滓，稍热，食前服。

芎术汤：清神爽志，祛风消蕴，治头目昏痛，止鼻塞声重。

川芎 二两半 白术 二两七钱半

右二味为粗末，每服三钱，水一盏，入生姜五片，煎至七分，去滓，稍热服，或细末白汤点亦得。袖珍方右咬咀，每服八钱，水一盏半，姜五片，煎至八分，去滓，温服食后。

通顶散：治风痰旋运，头目大痛及偏正，不定发作，神志昏愤，或冒风寒，鼻塞声重。

藜芦 去苗土，半两 踟躅花 去土，一钱 藿香叶 去土，二钱

右为细末，每用纸捻蘸药，鼻内搐，不拘时。

木瓜虎骨丸：治风寒湿 瑞竹堂方 此下云：客于荣卫。合而成痹，脚重不仁，疼痛少力，足下痠痛，不能踏地，腰膝筋挛，不能屈伸，及项背拘急，手臂无力，耳内蝉鸣，头眩目运，及诸证脚气，行步艰难，并宜服之。

木瓜 骊麟竭 研 没药 各一两，研 乳香 研，半两 虎胫骨 涂酒炙，一两 木香 自然铜 醋碎十遍 枫香脂 败龟 醋炙，去裙襴 堂方醋炙黄 骨碎补 去毛 甜瓜子 桂 堂方正桂，去粗皮 当归 切，焙。 各一两

地龙 去土二两 安息香 一两 重汤酒熬入药 堂方二两

右件十五味，除研药外，为细末，拌匀，酒面糊为丸，如梧子大，每服三十丸，空心木瓜汤下，温酒亦得，渐加至五十丸。堂方食前临卧各进一服，忌食冷物、湿面、诸血等物。

上清白附子丸：治诸风痰甚，头痛目眩，旋运欲倒，呕哕恶心，恍惚不宁，神思昏愤，肢体倦疼，颈项强硬，手足麻痹，常服除风化痰，清利头目。

白附子 炮 半夏 汤洗七次 川芎 天南星 炮 白姜蚕 炒 菊花 陈皮 去白 旋复花 天麻 各一两 全蝎 炒 半两

右件十味，为细末，生姜汁浸，钐饼为丸，如梧桐子大，每服三十丸，食后生姜汤下。

石膏丸：治诸风痰涎，头痛目眩，旋运欲倒，心忪悸动，恍惚不宁，神思昏愤，肢体倦疼，颈项强硬，手足麻痹，常服，除风偏正头疼。

石膏 别研 白附子^① 炮 半夏 汤洗七次 川芎 天南星 炮 白僵蚕 炒去丝 菊花 拣净 陈皮 去白 旋复花 天麻 已上各一两 全蝎 炒 半两

右件一十一味，为细末，生姜汁浸，钐饼为丸，如梧桐子大，每服五十丸，渐加至一百丸，食后生姜汤下。忌粘滑、生硬等物。

四物附子汤：治风湿相搏，骨节烦疼，四肢拘急，不得屈伸，近之则痛，自汗而短气，恶风不欲去衣，或头面手足，时时浮肿。

附子 炮 去皮脐，一钱 桂 八钱 白术 六钱 甘草 炙，四钱

右四味，咬咀，每服称半两，水二大盏，生姜五片，煎至八分，去滓温服，不拘时。肘后方若骨节疼烦，不得屈伸，近之则痛，短气，得汗出，或欲肿者。附子二两 桂四两 术三两 甘草二两 水陆升，煮取三升，分三服，汗出愈也。

麒麟竭散：治寒湿搏于经络，疼痛不可忍。

血竭 南乳香 没药 水蛭 杵碎，炒令烟尽

麝香 白芍药 当归 各一钱 虎胥骨 涂酥炙黄，一钱六分

右件八味，每味各为细末，各抄一钱，和匀，每服三钱，温酒调下，食前服，痛立止，甚者不过二服。

蛇蝎续命汤：治卒中急风，牙关紧急，精神昏愤，口眼喎斜，不省人事，痰涎不利，喉中作声。

白花蛇 酒浸，去皮骨，焙 全蝎 炒 独活 去土 天麻 附子 炒，去皮脐 人参 防风 肉桂 去粗皮 白术 藁本 白附子 炮 赤箭 川芎 细辛 去叶 白僵蚕 去土灰，炒 甘草 炒 半夏 汤浸，细切 白茯苓 去皮 麻黄 去节，水煮三沸，去沫，细切。已上各一两

右件为粗末，每服五钱，水一盏，入生姜五片，煎至七分，去滓，稍热服，不拘时候。

不换金丹：玉机微义退风散热。

荆芥穗 白僵蚕 炒 天麻 甘草 炙 各一两 烟霞圣效方 已上各半两 羌活 去芦 川芎 白附子 生用 川乌头 生用 细辛 去叶 微义无 蝎梢 去毒，炒 藿香叶 各半两 薄荷 三两 防风^②

右件十三味为细末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，细嚼，茶酒任下。如口喎向左，即右腮上涂之便正。

乳香消风散：治诸风眩，偏正头疼，项背拘急，肢体烦疼，肌肉蠕痠，巨阳风虚，耳作蝉鸣，目涩多睡，鼻塞声重，清涕不止。

乳香 研 细辛 去叶 各一钱 川芎 半两 吴白芷 好者，二两 熟白 天南星 一两，捣为细末，以生姜一两，去皮细切，与天南星一处捣为泥，焙乾，如此制三次讫，焙干，杵碎，炒令微黄为度

右为细末，每服一钱，或加二钱，擦生姜，热茶点服，消风 医方大成、集成、水类铃方作感风则。并服出汗。

生犀丸：主心虚喜忘，烦悸，风涎不利，聪明耳目。治诸风颤掉，及治三十六种风，益精神，壮心气，或多健忘，寢寐足惊，

① 乎：御药院方作“子”

② 一：此下脱字，御药院方作“两”。

心常似忧，或松或动，往往欲倒，状类暗风，四肢颤掉，多生怯惧，每起烦躁，悲涕愁煎，并皆属心脏气亏，宜服此，以镇心神。

生犀镑，一两 天麻 炙黄，半两 败龟 酥炙，半两
牛黄 研，一分 茯神 去皮，一分 远志 去心，一分
人参 去芦头，一分 肉桂 去粗皮，一分 龙齿 酥炙黄，一分
朱砂 别研，一分 麝香 别研，半两 龙脑 研，一分 石
菖蒲 锉，半两 金箔五十片 银箔五十片 羚羊角
屑 半两

右件捣研极细，炼蜜为丸，如梧桐子大，食后临卧，温水化下二丸，或加四丸至七丸。

龙麝紫芝煎：善疗一切诸风，半身不遂，口眼喎斜，头旋耳鸣，鼻塞咽干，四肢麻木，疼痛，痰毒下注，腰膝沉重，筋挛骨冷，皮肤瘙痒，昏迷困倦，饮食进退，行步少力。

何首乌 天麻 去苗 吴白芷 防风 去苗 羌活 去苗 甘草 炙 黑附子 炮 甘松 胡椒 良姜 零陵香 藿香叶 肉桂 川姜 炮 白檀 半两 麻黄 去节。各一两 龙脑 二钱半 麝香 二钱半

右为细末，炒米粉四两黄色，糯米粥汁入白蜜二两，和就作铤子，一寸半长，每服一铤，细嚼，茶酒下，如病重，每服三铤子，日三服。

透空丸：治男子妇人，一切诸风，顽麻疼痛，上攻头目，下注腰脚，手背颤动。

香附子 藁本 藿香叶 地龙 去土 川芎 白僵蚕 炒 干姜 炮 甘草 炙 乾蝎 天麻 去苗 天南星 生姜制。各一两 白芷 炙，七钱 神曲 碎，炒 茴香 炒 麦蘖 净，炒。各二两半 胡椒 一两 川乌头 炮裂，一两二钱

右件杵为细末，每药末三两，白面六两，水和就丸，小弹子大，相连排放自空，夏月新瓦上发，每服一丸，细嚼，茶酒任下，食前服。

虎骨丸：治经络凝涩，骨节疼痛，筋

脉挛急，遇阴寒愈痛。

南乳香 另研，一两 没药 另研，一两 赤芍药 一两 血竭 另研，二钱半 熟干地黄 一两 当归 一两 虎胫骨 酥炙黄，一两

右件为末，用木瓜一枚，切破去子，入乳香末在内，以麻缕缠定，勿令透气，好酒二升煮至酒尽，取木瓜，去皮研如泥，更入熟蜜少许，杵和为丸，如梧桐子大，每服三十丸至五十丸，病在上，食后服，病在下，食前服，用温酒送下。

换骨丹：治中风瘫痪，久不愈，四肢辴曳不随，服诸药不效者。

麝香 研，半钱 桂 去粗皮。各一两半 麻黄 去根节，一十斤，河水七斗，煮减半，去滓，澄清，再煎如汤，磁器收贮 朱砂 二两，细研为衣 甘松 去土 川乌头 生，去皮脐 白芥子 炒 藿香 草乌头 生，去皮脐 海桐皮 炒 何首乌 羌活 龙脑 研 骨碎补 去毛，炒 牛膝 酒浸 藏灵仙 去土 桑白皮 炒 槐角 木鳖子 炒 自然铜 醋淬七遍，研细 青皮 去白 陈皮 去白。已上各一两 白芷 防风 甜瓜子 炒 草薢 炒 五灵脂 川芎 甘草 炙 苦参 白胶香 已上各半两

右为细末，用煎麻黄膏子，入少熟蜜，搜和成剂，丸如弹子大，以朱砂为衣，每服一丸，食后，搥碎，茶酒任下，或用生姜自然汁，更入酒半盏，化开服药，可更进酒一二盏投之，日二服，至三日，于当病处微有汗为效，至十日外大效，无不愈者，但药性稍热，病寒者多效。

清神散：治头风旋晕，面目瞤动，神志不清，鼻塞声重。

王瓜 细碎，炒令黑色，一两 川芎 一两 香附子 二两，炒 防风 薄荷叶 白芷 荆芥穗 羌活 细辛 去叶 甘草 炙。已上各一两

右件捣罗为细末，每服一大钱，食后，茶清点服，或温水亦得。

① 竭：御药院方作“竭”。

诸 风 门^十

御 药 院 方^二

金砂丹：治中风涎潮，失音不语，面赤，脉大数急，迷闷，口眼喎斜，但系风热之疾，半身躄曳，或伤寒刚痉痙痲方：

白花蛇 乌蛇 各酒浸，去皮骨，取肉 蝎梢 炒 白僵蚕 炒 犀角屑 玳瑁屑 天麻 人参 白茯苓 甘草炙。各一两 龙脑 研，一分 射香 研，一分 朱砂 研，五两 牛黄 研，一分 雄黄 研，一分 真珠 研，一分 天竺黄 研，一分 金箔 银箔 各二百五^① 十片 铁粉 研，一分

右件为细末，真石脑油和丸，每两作十丸，磁盒内收，每服取一丸，人参汤化下，或竹叶汤新汲水亦得。如中风不语，涎潮上管，又治刚痉柔痉，妇人产后角弓，只一服愈。

百全丸：流行经络，开发郁滞。

何首乌 雌雄各半，六两 天南星 二两半，用生姜二两半制 白附子 微炮，二^②两半 黄丹 炒，三^③两，入面内打糰

右除前项黄丹外，为细末，入前项黄丹三两，用白面二两半，用醋同调为糊和、有色为度，丸如梧桐子大，每服六七十丸，食后生姜汤下，温酒亦得。

辟风丹^④：治诸风疾无问新久者，半身不遂，口眼喎斜，语言蹇涩，精神昏愤，痰涎并多，咽嗑不利，及风虚头痛目眩，旋运欲倒，或心忪健忘，恍惚不宁，手足麻痺，颤掉无力，筋脉拘急，骨节烦疼，行步艰难，并宜服之。

独活 洗去土，焙干 防风 去芦头 吴白芷 桂 藁本 去土 麻黄 去节，微炒 白芍药 去皮 天麻 已上 各一两 川乌头 炮制^⑤，去皮，蜜碎炒黄，半两 藿香叶 去土，半两 川芎 七钱 羌活 去苗，三钱 甘草 锉，炒、

半两 白花蛇 酒浸，去皮骨，半两 白僵蚕 炒黄，三钱 全蝎 去毒，炒黄色，半两 朱砂 为衣，二两 白附子 炮裂捣碎，炒微黄，四钱 天南星 牛胆醋^⑥，炒黄，四钱 远志 汤浸，去心焙，三钱

右件捣罗为细末，炼蜜和丸，每两作十丸，朱砂为衣，每服一丸，细嚼或化服，用生姜汤送下，麝香汤亦得。如破伤风，豆淋酒下；急风痼病，人参汤下。不拘时候，此药功效，不可具述。

灵犀丹：治一切诸风，言语蹇涩，心神昏愤。

犀角屑 天麻 防风 川羌活 木香 吴白芷 甘菊 白僵蚕 炒 天南星 牛胆制 甘草 地骨皮 山药 薄荷叶 川芎 蔓荆子 麻黄 去根节 当归 桂 去粗皮。各一两 乾蝎梢 半两 麝香 另研，二钱 白花蛇 酒浸去皮骨焙乾，二两

右为细末，炼蜜和丸，每两作八丸，朱砂二两半为衣，每服一丸，不拘时候，细嚼，人参汤化下，或茶酒亦得。

犀角搜风丸：治风下痰，解结顺气。

牵牛头末 四两 乾生姜 半两 车前子 一两 白茯苓 去皮，一两 生犀屑 一两半 青皮 去白，三两 陈皮 去白，二两 枳实 麸炒，去穢，二两 木通 一两 木香 半两

右为细末，汤浸饼为丸，如梧桐子大，每服三十丸至五七十丸，食后温生姜汤下。

① 五：御药院方作“三”。

② 二：御药院方作“一”。

③ 三：御药院方作“二”。

④ 丹：御药院方作“汤”。

⑤ 制：御药院方作“裂”。

⑥ 醋：御药院方无此字。

旋覆花丸：治诸风痰实，头目昏眩，旋运欲倒，呕哕恶心，恍惚不宁，神思昏愤，肢体倦怠，颈项强硬，手足麻痹。常服除风化痰，清利头目，及偏正头痛，并宜服之。

旋覆花二两 防风去芦头 吴白芷 甘菊花 天麻 天南星炮 白附子炮 半夏汤洗 陈皮去白 芎藭 蝎梢去毒，炒 僵蚕炒去丝 石膏研。已上各一两

右件捣罗为细末，生姜汁煮面糊和丸，如梧桐子大，每服三四十丸，温生姜汤下或茶清亦得。食后服。经验秘方同。

独活丸：治风气上攻，头目疼痛，昏眩不快，利膈化痰。

独活 川芎 甘菊花各一两 乾蝎一分，炒 防风一两 半夏汤浸去滑，作饼子，炙，二两

右件五味，同为末，以半夏末，用生姜自然汁二大盏，煮如膏，和为丸，如豌豆大，每服七丸至十丸，荆芥薄荷汤下。

如圣散：治时气缠喉风，渐入咽塞，水谷不下，牙关紧急，不省人事。

雄黄细研 白矾飞过 藜芦厚去皮用心，并生用 猪牙皂角去皮炙黄

右件各等分，捣罗细末，每用一豆大，各鼻内搐，立效。

茵芋散①：治风寒湿痹，皮肉不仁，骨髓疼痛不可忍者，宜服茵芋酒。

茵芋 葶藶 蜀椒出汗 狗脊去毛 桂去粗皮 附子炮，各一两 牛膝去苗酒浸 石斛去根 生姜各一两半

右件九味，哎咀，以生绢袋贮，以酒一斗，浸经三两宿，每服一盏或二盏。酒服至半，再旋添新酒，觉药味淡再合。

青金丹：治中风不省，痰涎郁滞，在咽嗑间如拽锯声，连服三两丸，或吐或利后，精神出立省。

膩粉 粉霜 水银 锡结沙子。各一分 半夏汤洗过，生姜汁浸，为末三钱② 续随子去皮，研，一百二十个③ 滑石为末三钱 青黛三④钱 脑子 麝香各一钱

右件各为末，同研令匀，水丸如榛子大，

每服三两丸，煎葱白汤下，或薄荷汤化下。

七宝膏：治中风涎潮不下，精神昏愤，不省人事。

丹砂 牛黄 粉霜 脑子 水银 麝香 各一分 金箔二十箔

右件同研，水银星尽，枣肉为丸，如鸡头大，每服二三丸，薄荷汤磨下。

分涎丸：治中风忽然倒作，痰涎郁塞，不省人事。

水银 锡结沙子 粉霜 乾蝎为末。各半两 膩粉二钱 脑子 麝香 天竺黄 朱砂各一钱 天南星生用为末，一两

右件同研令匀，石脑油丸，如鸡头大，每服三五丸，薄荷汤化下，一岁小儿服半丸至一丸。

分涎散：治中风涎潮作声不得出，口噤手足搐搦。

藿香叶 乾蝎 白附子各一两 玉机微义各二两 丹砂 膩粉 粉霜各二两 天南星炮一两。已上藿蝎附天四味同为末 微义二两

右件同研匀细，每服一钱匕至二钱，薄荷汤或茶清调下，未吐利再服。卫生宝鉴同。

银粉丸：治中风痰涎不得下，精神昏塞，不省人事。

水银二两，锡结沙子，另研 天南星四两，牛乳拌匀，湿炒 突中煤 牛黄另研。各半两 白附子生姜汁拌匀炒，取二两 蝎梢 麝香另研。各一两

右件除另研外为细末，后同研令匀，炼蜜和丸，如弹子大，每服半丸，薄荷汤化下。如大便不利，薄荷汤调膩粉半钱匕下。小儿服，量虚实服，如大豆大一二丸。

龙脑安神丸：治男子妇人小儿，五积癰痼，无问远年日近，发作无时，服诸药不效，但服此药，无不痊愈。

茯神去粗皮取末 人参去芦头 麦门冬去心 乌犀取末 朱砂飞。各二两 真地骨皮 甘草取末

① 散：按文义应作“酒”。

② 钱：御药院方作“分”。

③ 个：御药院方作“斤”。

④ 三：御药院方作“二”。

桑白皮 取末。各一两 马牙消 另研，一钱 龙脑 另研
牛黄 另研 麝香 另研。各三钱 金箔 三十五箔

右一十三味为细末，炼蜜丸，如弹子大，金箔为衣，如有风痼病多岁，冬月用温水化下，夏月凉水化下，不拘时候，多岁病服，如二三年病，日进三服。小儿一丸分作二服。又治男子妇人虚劳发热喘嗽，新汲水一盞化开服，其喘满痰嗽立止。又治男子妇人语涩舌强，日进三服，食后温凉水化下。

牛黄铁粉丹： 治中风痰甚，精神昏愤，语言蹇涩，手足不随，诸药不效，服之神验。

牛黄 膩粉 朱砂 研 麝香 研 生犀末 脑子 研 铅白霜 雄黄 已上各一分 天南星 牛胆制 铁粉 川甜消 人参 已上各半两 金箔 银箔 各十片大者

右件一十四味，研细、炼蜜和丸，如鸡头大，每服二丸，以薄荷汤化下。

灵砂丹： 治风热郁结，气血蕴滞，头目昏眩，鼻塞清涕，口苦舌乾，咽嗑不利，胸膈痞闷，咳嗽痰实，肠胃燥涩，小便赤黄，或肾水阴虚，心火炽甚，及偏正头疼，发落齿痛，遍身麻木，疥癣疮疡，一切风热，并皆治之。

天麻 独活 羌活 细辛 石膏 防风 连翘 薄荷叶 各二两 川芎 山梔子 去皮 芍药 荆芥穗 当归 黄芩 大黄 生用 全蝎 微炒 菊花 人参 白术 已上各半两 朱砂 为衣 寒水石 生用 桔梗 各二两 滑石 四两 缩沙仁 一分 甘草 三

两，生用
右件同为细末，炼蜜为丸，每两作一十九丸，朱砂为衣，每服一丸，细嚼茶清下，食后。

加减薄荷煎丸： 治头目昏眩，口舌生疮，痰涎壅塞，咽喉肿痛，除风热，消疮疹。

薄荷叶 八两 川芎 一两 桔梗 ① 两 防风 一两 甘草 半两 缩沙仁 半两 脑子 半两 白豆蔻仁 一两

右件为细末，炼蜜和，每两分作二十丸，每服一丸，噙化下②。

四蒸木瓜丸： 治肝肾脾三经气虚，为风寒暑湿相搏，流注经络，竭日旷岁，治疗不痊，六气更变，作情不宁，必至发动，或肿，或顽痹，脚膝疼痛，不能自持，憎寒壮热。

葳灵仙 苦苧苳 黄耆 续断 苍术 橘皮 乌药 茯神木 各半两

右八味，为细末，大木瓜四箇，去顶穰，填药在内，却用顶兀盖定，酒洒蒸熟，研为膏，如梧桐子大，每服五十丸，空心温酒下，盐汤下。世传木瓜丸甚多，此方最有神效，当敬之。

大木香丸： 治偏风半身不遂，语言蹇涩，麻痹不仁，风毒注肿，痰潮涎出，精神昏愤。

木香 一两一分 天麻 桔梗 防风 天南星 姜制 半夏曲 黄耆 白芷 白鲜皮 海桐皮 羌活 川芎 当归 茯苓 去皮 麻黄 去根节 白僵蚕 炒 虎胥骨 酥炙。已上一十六味 各一两 白花蛇 酒浸取肉 乌蛇 酒浸取肉 犀角 镑 羚羊角 镑 人参 阿胶 炒 蝉壳 没药 桂心 已上各六钱③ 乾姜 炮 白附子 炮 全蝎 微炒 麝香 另研。已上四味 各四钱 牛黄 另研 脑子 另研。各二钱

右为细末，炼蜜和丸，如弹子大，朱砂为衣，每服一丸，生姜汤下，食前服。

清膈汤： 治风热，化痰，利咽膈，清头目，消疮疹。

甘草 锉，炒赤色 瓜蒌根 桔梗 炒黄色 紫苏叶 各二两 鸡苏叶 去土，三两 荆芥穗 四两 黍粘子 六两，拣净，炒炸

右为细末，每服一大钱，食后或临睡白汤点服。

增损防风通圣散： 治鼻塞不利，肺气不和。

黍粘子 桔梗 桑白皮 紫苑茸 已上各半两 荆芥穗 三两 甘草 二两。已上各生用

① 一：御药院方作“二”。

② 下：御药院方作“服”。

③ 钱：御药院方作“分”。

右为粗末，防风通圣散各一半，拌和匀，每服八钱，水一盞半，入生姜五片，同煎至七分，去滓温服，食后。

加脑子白豆蔻薄荷煎丸：

薄荷叶 八两 川芎 一两半 桔梗 二两半 甘草 二两 防风 一两半 缩沙仁 二钱半 加脑子 半两 加白豆蔻仁 一两

右为细末，炼蜜和丸，每两作二十丸，每服一丸，噙化服之。

天麻丸：治肺脏风热，鼻塞不通，常服凉膈，明目，治头昏脑闷。

龙脑薄荷叶 一十^①两 荆芥穗 去子 天麻 甘草 炙。各二两半 川芎 羌活 白芷 马牙消玄参 各一两半 川乌头 二钱^②半、炮制^③，去皮脐

右件为细末，炼蜜和丸，如鸡头大，每服一丸至二丸，细嚼，茶清下，食后。

芎枳丸：治心肺积热，去风郁痰实，清利头目，令气不止甚盛。

川芎 用淘米泔浸一宿，刷净沙土，焙乾秤 枳壳 用淘米泔浸三日三夜，去穢，再浸一宿，切作片子，麸炒微黄色

已上二味，各四两，并为细末，炼蜜放冷和丸，如梧桐子大，每服一百丸，食后临卧温水送下，日进二服。

薄荷煎：治头目昏眩，口舌生疮，痰涎壅塞，咽喉肿痛，除风热，消疮疹。

薄荷 一斤，取头末二两半^④ 川芎 半两，取末二钱 脑子 半钱^⑤ 研 甘草 半两，取末二钱^⑥半 缩沙仁 半两，取末二钱^⑦

右将上项药，拌和令匀，于药末内秤出半两为衣，用白沙生蜜五两半，和成剂，用明净冰^⑧于器盒内盛，上面放药，昼夜不歇，每两裁作二十块，每服三块，细嚼噙化亦得。

祛涎丸：治风痰上攻，头目昏痛，眩晕欲倒，呕哕恶心，恍惚健忘，神思昏愤，肢体烦痛，颈项拘急，头面肿痒，手足难举，或时麻痹。

天南星 四两 半夏 九两半 白附子 二两六钱 川乌头 七钱^⑧半

已上四味，并生为细末，用生绢袋盛，

以井花水揉洗澄滤，有滓再更研，入袋摆洗尽，瓷盆中日晒夜露，每至晓澄去宿水，别换井花水，搅匀晒，春五日，夏三日，秋七日，冬十日，去水晒乾如玉片，方入后诸药。

剑脊乌梢蛇 酒浸一宿去皮骨，焙乾，秤一两 川芎 二两 白花蛇 酒浸一宿^⑨去皮骨，焙乾，秤一两 天麻 二两 全蝎 一两，去毒，微炒 白僵蚕 一两，炒去丝嘴

右件同为细末，生姜自然汁煮面糊和丸，如梧桐子大，以飞研细朱砂一两，麝香末二钱为衣，风乾，密器中盛之，每服三十丸，食后煎生姜薄荷汤下。

至灵散：治偏头疼。

雄黄 研 细辛 去苗叶为末。各等分

右二味再同研，每服一字，左边头疼，搐入右鼻内，右边头疼，搐入左鼻内。肘后方，王氏集验方同。

二圣散：治风头痛，上焦壅滞，心膈烦热，及治偏头疼。

消石 细辛 去苗叶，华阴者。各一分

右二味捣研为细散，每用半字，发时搐入不痛边鼻内；如未已，方搐痛边鼻内；或用纸捻子蘸药经鼻中。

石膏散：治风壅头痛，眉骨痛。

石膏 研 芎藭 旋覆花 各一两 白附子 炮 细辛 去苗叶 甘草 炙。各一分

右六味，捣罗为散，每服半钱匕，腊茶调下，不拘时候。

芎藭散：治头目昏眩，肢体烦倦。

芎藭 菊花 荆芥穗 石膏 研细 甘草 各等分

右五味各生用，捣研为细散，每服一钱匕，热汤调下。

① 十：御药院方无此字。

② 钱：御药院方作“分”。

③ 制：御药院方作“裂”。

④ 半：御药院方无此字。

⑤ 钱：御药院方作“分”。

⑥ 钱：御药院方作“分”。

⑦ 冰：御药院方作“水”。

⑧ 钱：御药院方作“分”。

⑨ 一宿：御药院方无此二字。

神圣散：治偏头疼不可忍。

乾蝎 去土炒 藿香叶 麻黄 去根节 细辛 去苗叶。各等分

右四味，捣罗为细散，每服一钱匕，用薄荷叶酒调下。

上清散：治头痛，眉骨痛，眼痛。医方大成：治因风头痛，眉骨眼眶俱痛，不可忍者。医方集成、永类铃方同。

川芎 郁金 芍药 荆芥穗 南北经验方、袖珍方各一钱 薄荷叶 芒消 已上各半两 乳香 没药 各一钱 脑子 半钱

右为细末，每用一字，鼻内搐。

王瓜散：专治偏正头痛。

荆芥穗 一两半 木香 川芎 天麻 麻黄 去节 防风 去芦头 细辛 去苗 甘草炙 王瓜 灯心炒黄色。已上各半两

右同为细末，每服二三钱，热茶清调下，食后。

没药丸：治中风手足不随。

没药 乳香 丁香 木香 地龙 去土 生犀 镑 人参 去芦头 羚羊角 镑 朱砂 水飞 龙脑 麝香 各二钱半 天麻 一两 川乌头 炮制，半两 白花蛇 酒浸，取肉二钱半

右件为细末令匀，炼蜜为丸，每一两作十丸，金箔为衣，每服一丸，空心食前细嚼，温酒或温水送。

轻骨丹：治中风手足缓弱，肢节不身^①，筋脉挛急，瘫痪偏风，半身不遂，口眼喎斜，语言蹇涩，肌肉不生，一切诸风，并皆治之。常服此药，壮筋骨，补虚，注颜色，强骨生力，益真气，除骨髓间风邪。

独活 去土 牛膝 酒浸 兔丝子 酒浸 苁蓉 酒浸 草薢 蜜炒 金毛狗脊 去毛 川心芭戟 盐炒 骨碎补 去毛 破故纸 炒 葫芦芭 炒 大附子 炮，去皮脐 熟地黄 当归 去土 天麻 防风 去芦头 羌活 去土 白芥子 炒 川芎 五味子 炒 川乌头 炮，去皮脐 木香 已上各一两 木鳖子 半两 甜瓜子 半两，炒 地龙 半两，去土 全蝎 一两，炮^② 乳香 半两，另研 没药 半两，另研 续断 一两

已上二十八味，右为细末，酒煮面糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸至四十丸，食前温酒下。

浸酒：治诸头目腰脚筋骨风，益血添气力。

虎胥骨 八两，炙令黄，捣碎如棋子 丹参 天麻 各一大两 桂 牛膝 菝葜 人参 各一大两 乌头 二升，炒令得所 羚羊角 杜仲 芍药 各六分 薏苡仁 八分 南椒 半两，择去闭者^③

右一十三味，细锉，吹去末，生绢袋宽盛，沉于三斗酒中，浸令没，密封，经七日开，空腹量性饮，恒令微有酒气，取一盞，添一盞，药味薄则换。

龙脑清膈汤：治风热，化痰，利咽膈，清头目，消疮疹。

黍粘子 六两，拣净，炒碎 荆芥穗 四两 鸡苏叶 一两半，去土 甘草 锉，炒赤色 瓜蒌根 桔梗 炒黄色 紫苏子 炒，各二两 龙脑 二钱

右为细末，每服一二钱，食后或临睡白汤点服。

虚风丸：治一切虚风头痛，眩运欲倒，呕吐痰涎，牙关紧急，手足无力，麻木不仁，不省人事。

天蓼木 吴白芷 白鲜皮 白茯苓 去黑皮 川芎 独活 去芦头 防风 去芦头 天南星 酒浸，切片子，酒煮 天麻 酒煮 乌蛇 酒浸，去皮骨 全蝎 微炒 人参 去芦头 麻黄 去根节炒 甘草 锉炒 白术 细辛 去苗叶土 川乌头 炮制^④ 去皮脐 白僵蚕 去丝，微炒。已上各半两 天雄 炮制^⑤ 去皮脐 黑附子 炮制^⑥ 去皮脐。各三钱七分半 马牙消 另研 雄黄 飞研 朱砂 飞，研。各二钱半 龙脑 麝香 各半钱

右件二十五味，为细末，炼蜜为丸，每两作一十丸，每服一丸，温酒化下，或荆芥汤亦得，食后临卧服。

① 身：御药院方作“伸”。

② 炮：御药院方作“炒”。

③ 者：御药院方作“口”。

④ 制：御药院方作“裂”。

⑤ 制：御药院方作“裂”。

⑥ 制：御药院方作“裂”。

芎藭天麻丸：清利头目，消风化痰，宽胸利膈，心忪烦闷，旋运欲倒，颈项紧急，肩背拘倦，神昏多睡，肢体烦痛，皮肤瘙痒，偏正头痛，鼻塞声重，面目浮肿，并宜服之。

芎藭二两 天麻半两

右二味，为细末，炼蜜为丸，每一两半，作二十丸，每服一丸，食后细嚼，茶酒任下。

透开丸：治中急风，荣卫痹滞，头目昏运，额角偏痛，手足无力，举动战掉，语言謇涩，心神不宁。

麻黄去根节，二两 麝香研 天麻各半两 乳香研 没药研 地榆 黑参 甜瓜子 川乌头生，去皮脐。已上各一两

右件九味，同为末，以酒一升，慢火熬为膏，更重①入炼蜜，同和为丸，如梧桐子大，每服三十丸，温荆芥汤下，不计时候。

八仙丹：治大癩病

白附子 天麻 升麻 丹参 藏灵仙 细辛 赤箭各一两 蜈蚣一对，酥炙，去头足

右件八味，同为细末，每用一两八钱药末，用胡麻子淘净一升，重五两，炒令香熟，入药末同捣极细，炼蜜为丸，分作十丸，每日食后米饮嚼下一丸，日进三服。服之十日，或一月至两月，筋骨疼痛，是其验也，比至有验，且忌出入行动。

太白丸：治诸风头旋，额角偏痛，肢体拘倦，痰盛气壅，鼻塞声重，咽膈不利，清爽神志，解利四时邪气。

天麻 芎藭各一两半 附子炮去皮脐 细辛去苗叶，各二两 天南星二十②两 白附子五两 半夏一十五两，轻③煮焙乾 蝎梢一两，炒 寒水石烧熟，五十两 白僵蚕炒，三两 人参半两 阿胶三分，炙令熟燥

右件一十二味，同捣罗为末，水面糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，生姜汤下，不拘时服。

太白丹：治诸风，头目眩晕，偏正头痛，肢体拘倦，痰盛气壅，鼻塞声重，咽膈不利，清爽神志，解利四时邪气。

天南星二十两，炮 细辛去土 附子炮，去皮脐。各二两 芎藭 天麻各一两半 半夏一十五两，汤浸洗去滑，切作片子，焙乾 白附子五两，炮④ 蝎梢一两，炒 青皮去白 木香各三两 寒水石烧，一十两，一半为衣 白僵蚕去发⑤炒，三两

右为细末，生姜汁面糊和丸，如梧桐子大，用寒水石为衣，每服三十丸，生姜汤下，不拘时候。

太一散：治阳明经虚，风邪客入，令人口眼喎斜，麻木不仁，及惊风痙室，手足搐搦，不省人事。

独活去芦头，一两半 续断 杜仲炒，去丝 肉桂去粗皮 牛膝酒浸一宿 黑附子炮，去皮脐 白茯苓去黑皮 人参去芦头 防风去芦头 白芍药 当归去芦头，已上各一两 川芎 熟乾地黄 秦艽去芦头，土 甘草锉，炒，各一两半 细辛去苗叶土头节，一两

右件一十六味，为粗末，每服三钱，水一大盏，煎至七分，去滓温服，不计时候。

芎黄汤：治偏正头痛，外伤风鼻塞声重，清涕多嚏者。

荆芥穗三钱 全蝎五个，炒 大川乌头两个，炮，去皮脐，切碎，炒黄色 川芎半两 细辛去苗叶，一钱半 雄黄研，水飞，一钱

右件六味，各修制毕，碾罗为细末，每服半钱，茶少许，白汤点服，不拘时候。

旋覆花汤：治风热则面生赤瘵子，脑昏目疼，鼻塞声重，面上游风，状如虫行。

旋覆花去土 人参去芦头 赤茯苓去皮 黄芩去皮 柴胡去芦 枳实麸炒 赤芍药去皮 甘草已上各二两

右为散，每服二钱，水一大盏，袖珍方每服一两，水一盞半，入生姜五片，同煎至七分，袖珍方八分，去滓，食后服，日进三服。忌猪肉粗面等。

人参附子汤：治风湿，体疼痛欲折，

① 重：御药院方作“量”。

② 十：御药院方无此字。

③ 轻：御药院方作“洗”。

④ 炮：御药院方此下有“去皮脐”。

⑤ 发：御药院方作“丝”。

肉如锥刀所刺。

人参 去芦头 黑附子 炮,去皮脐 乾姜 炮制 芍药 茯苓 去皮 甘草 炙 桂心 各一钱半 白术 二钱
右件八味为细末,每服二钱,水一盞,同煎至七分,去滓温服,不计时候。

龙香散: 治偏正头痛不可忍者,并宜服之。

地龙 去土微炒,为末 乳香 各半两

右二味为细末,每用一钱,掺在纸上,作纸捻子,灯上烧令烟出,鼻内闻烟气。

蝎梢半夏丸: 治风壅痰实,咳嗽鼻塞,头目昏痛,手足麻木,颈项强急^①,筋脉不利,常^②祛风化痰,清爽头目。

蝎梢 去刺炒 白僵蚕 生姜汁炒,各半两 天南星 炮 半夏 汤洗七遍,用生姜制作曲 明天麻 去芦头 川独活 去芦头、土 白花蛇 酒浸取肉 川芎 去土 南青皮 去白 紫苏叶 拣木香 防风 去芦头,各半两

右件一十二味,修制讫,同为细末,用生姜自然汁,打面糊为丸,如梧桐子大,别用朱砂为衣,每服三十丸至五十丸,食后生姜汤送下。

通关散: 治风热上攻头目,筋脉拘急,痰涎壅滞,支节烦疼。

羌活 独活 防风 天麻 山梔子 大黄 甘草 各一两 滑石 二两

右件为粗末,每服三钱,水一盞,袖珍方每服八钱,水一盞半,生姜五片,煎至七分,袖珍方八分,去滓温服,食后。

胡麻丸: 治大风。

天麻 白附子 炮 人参 细辛 川芎 定风草 穷贼 川山甲 去土,炒黄色 丹参 升麻 玄参 何首乌 酒浸 紫参 蔓荆子 葳灵仙 防风 已上各一两 全蜈蚣 一对

右为细末,每用二两,用胡麻一斤,炒香为末,拌匀入蜜和丸,都分为九十丸,每服一丸,细嚼,温浆水下,日进三服,不拘时候,淡白粥服一百二十日,再不,再发次服。

川芎石膏汤^③: 方见宣明论。

葳灵仙: 味苦^④温无毒,主诸风,宣通五脏,去腹内冷滞,心膈痰水,久积癥瘕,痲痹气块,膀胱宿脓恶水,腰膝冷疼,及疗伤折。一名能消,久服无瘟疫疟,出商州上洛山及华山,并平泽不闻水声者良,生^⑤于众草,茎方,数叶相对,花浅紫,根生稠密,岁久益繁,冬月丙丁戊己日采,忌茗。图经云: 商州有人重病,足不履地数十年,良医殫伎莫能疗,所亲置之道傍,以求医者,一新罗僧见之,告曰:此疾一药可活,但不知此土有否?因为之入山求索,果得,乃葳灵仙也。使服之,数日能步履。崔元亮海上方著其法云:采得阴乾月馀,捣筛,温清酒和二钱匕,空心服之,如人本性杀药,可加及六七钱匕,利过两行则减之,病除乃停服。其性甚喜,不触诸药,但恶茶及面汤,以甘草、梔子代饮可也。崔氏海上集有云:葳灵仙一味,洗焙为末,以好酒和,令微湿,入竹筒内,牢塞口,九蒸九暴,如乾添酒,重洒之,以白蜜和为丸,如桐子大,每服二十丸至三十丸,至五十丸,温酒下。得效方葳灵仙圆:治肾脏风壅积滞,腰膝沉重。葳灵仙 酒洗酒浸柒日 右为末,炼蜜圆,梧桐子大,更初服、用温酒下八十圆,平明微利恶物,如青脓,即是风毒积滞也。如未动,其夜再服百圆,后吃少粥补之。潜斋方此下云:本草谓葳灵仙主风,有大功,但恶茶与面,经验方用面为圆,仍犯其所恶者,崔氏集用饭为圆,仍九蒸九曝以制之,极妙,葳灵仙亦合认识真者。卫生易简方治中风不语,手足不随,口眼喎斜,鼻流清涕,头旋目眩,言语涩滞,心胸痰积,口中涎水,手足顽痹,腰膝疼痛,久立不得,头痛尤甚,攻耳成脓而聋,又冲眼赤,及骨节风,遘腕风,肾脏风,胎风,头风,暗风,心风,大风,白癫风,并膈气,冷热诸气等证,并皆治之。用葳灵

① 急:御药院方作“直”。

② 常:御药院方此下有“服”字。

③ 川芎石膏汤:方见本书卷二十一诸风门上。

④ 苦:御药院方作“咸”。

⑤ 生:御药院方作“先”。

仙一味，冬三月，丙丁戊己日采，洗净焙乾为末，好酒和令微湿，入竹筒内，牢塞口，九蒸九曝，如乾添酒，重洒之，以白饭和捣为圆，如梧桐子大，每服二十圆至三十圆，温酒下。又方：但用葳灵仙阴乾为末，每日空心，温酒调二钱匕服，可渐加至六钱匕，利过两行则减之，病除乃停服。其性甚善，不触诸药，但恶茶及面汤，可煎甘草梔子汤代饮。盖此草生时，比众草最先采，以不间水声者良。 备预百要方中风大便秘涩方：葳灵仙细末，炼蜜和丸，如桐子大，空心酒温下六十丸，兼理脚重不能行步，忌茶。

甘菊花荆芥汤： 治风痰头痛，咽膈壅闷。

甘菊花 防风 旋覆花 川芎 各半两 皂角 酥炙，去皮子 石膏 碎，各一两 枳壳 麸炒，去穰 甘草 炙 荆芥穗 各七钱半

右九味，捣罗为粗末，每服三钱^②，水一盏，入生姜三片，同煎至六分，去滓，食后热服。

羌活丸： 治风气不调，头昏目眩，痰涎壅滞，遍身拘急，及风邪寒壅，头痛项强，鼻塞声重，肢节烦疼，天阴风雨，先觉不安。

羌活 去芦头 甘菊 麻黄 去根节 川芎 防风 去芦头 石膏 细研为末 前胡 去芦头 黄芩 细辛 去苗 甘草 锉烂 枳壳 去白 白茯苓 去皮 蔓荆子 去白皮。已上各一两 朱砂 飞，研一两半，为衣。 袖珍方五钱

右为细末，水面糊为丸，如梧桐子大，每服四十丸，生姜汤下，不拘时 袖珍方临卧食后服。

芎辛汤： 治膈痰风厥，头目昏痛，鼻塞声重，肩背拘急。

芎劳 半两 细辛 去苗土，一钱 甘草 炙，一钱半

右三味，为粗末，每服二钱，水一盏，煎至七分，去滓，食后温服。

虎骨木瓜丸： 治饮酒过度，寒湿停驻，经络不和，伤败气血，走注筋骨疼痛，昼静夜甚，或冒雾所伤，亦致筋骨走注，并妇

人血风疼痛，并皆治之。

虎骨 酥炙 南乳 香 研 没药 各一两 木瓜 天麻 苁蓉 牛膝 上项四味各二两，用好酒浸十日，取出焙乾为用

右为细末，将元浸酒作糊和丸，如梧桐子大，每服三十丸至五十丸，温酒送下，空心食前，日进二三服。

菊花散： 治风冷邪气入于脑，停滞鼻间、气不得宣散，结聚不通，故使鼻塞也。

甘菊花 防风 前胡 各一两 细辛 桂心 各半两 甘草 炙，二钱半

右件为细末，每服二钱，入乳香少许，煎荆芥汤调下，食后。

木香保命丹： 治男子妇人体虚腠开，中风，牙齿噤，口眼喎斜，手足偏枯，四肢拘挛，屈伸不得，麻痹不仁，惊痫等病；遍身瘙痒疼痛，头目昏暗，风入腹内，拘急切痛，体如虫行，心神恍惚，伤风瘴疫，偏正头疼，风病诸般冷气；兼疗男子妇人，脾胃气虚，或伤冷物，心腹大痛，脏腑不调，妇人产前产后中风病，壮热，体重，头疼，旋运欲倒，气闭血涩，房服不行。此药引血，调养荣卫，升降阴阳，补益五脏，好饮之人，酒煎一服，即发风动气之物，不能为患，或中酒痰作，昏倦力乏，饮食减少，一服见效，常服细嚼，温酒茶清任下，不计时候。如中风加薄荷汤化下，如不能咽者灌之，药下立效。若早晨一服，除诸风，永不患伤寒，时气壮热，壮元阳，理筋骨腿膝之患，化风痰，决滞气，温脾胃，进饮食。小儿急慢惊风，薄荷汤下，一皂子大。如人才觉，痰涎蓄滞，手足急麻，体脚缓弱，乃是中风之兆，急服此药，无不立愈之者。

木香 白附子 生用 官桂 杜仲 去粗皮，炒去丝 厚朴 去皮，生姜汁炒乾 藁本 去须上 独活 羌活 生用，去芦头 海桐皮 生 白芷 甘菊花 去上牛膝 去苗，酒浸三^③日，焙乾 白花蛇 酒浸三日，去皮骨，

① 间：按文义疑作“闻”。
② 钱：御药院方作“分”。
③ 三：御药院方作“一”。

焙乾。秤 全蝎^①炒 蘆灵仙 水浸去土 天麻 另捣
取末,去土 当归 去芦头,水浸去土,乾秤 蔓荆子 生,去
皮 虎骨 酒浸焦黄,去油或酥炙,或用粗心 天南星 蜜水
煮五七遍 大防风 去芦头,乾秤 山药 生用 甘草 酥
炙微黄 赤箭 生用。已上二十四味各一两 麝香 三钱真者,
另研 朱砂 上好者,一两半

右件为细末,其药分作十分,将麝香一分拌匀,炼蜜和丸,如弹子大,每服一丸,细嚼酒下,不计时候。

乌蛇丸: 疗诸风疾,无问久新,半身不遂,手足麻木,精神不爽,咽嗑不利,及风虚头痛,目眩欲倒,心忪健忘,恍惚不宁,心气不得下通,脾气滞而不散,筋脉拘

急,骨节烦疼,并皆治之。

独活 去芦头 防风 去芦头 吴白芷 人参 去芦头 桂心 藁本 去土 麻黄 去根节 芍药 天麻 去芦头。各一两 川乌头 去皮脐,捣碎,炒黄色 藿香叶 去土 乌蛇 酒浸,去皮骨 全蝎 微炒去毒 甘草 炙黄 生犀 镑。各半两 川芎 七钱 羌活 去芦头 白僵蚕 微炒 远志 去心 牛黄 研 天南星 牛胆制,微炒。各三钱 白附子 四钱,炮制^② 龙脑 研 朱砂 为衣。各二钱

右件为细末,入研药令匀,炼蜜为丸,每一两,作一十丸,以朱砂为衣,每服一丸,煎荆芥汤化下,或加至二丸,茶酒亦得化下,重身妇人,不宜服之。

得效方

风 科

虚证

通气驱风汤^③ 方见简易方。 加减续命汤^④ 方见千金方。

大省风汤: 治诸虚风涎潮,痰厥神昏,头晕语涩,手足搐搦,半身不遂,及历节风痛,筋脉挛急。

川芎 半夏 防风 各一两 甘草 炙,半两 全蝎 去毒,三箇 附子 生^⑤,去皮脐 川乌^⑥ 去皮脐 木香 南星 各半两

右锉散,每服四钱,水一盏半,生姜十片煎,温服不拘时候。气虚加沉香;气逆紫苏;胸膈不利有痰,倍加半夏人参;头晕头痛,加天麻半两,全蝎二钱^⑦,煎熟入麝香。热风左瘫右疾,口眼喎斜,口噤不能言,手足顽麻,于本方中去附子、川乌。

顺元散^⑧ 方见是斋医方。 二香三建汤^⑨ 方见严氏济生方。 一粒金丹^⑩ 方见和剂局方。 万金汤^⑪ 方见简易方。 八宝^⑫回春汤^⑬ 方见朱氏集验方。

真珠圆: 治肝虚为风邪所干,卧则魂散而不守,状若惊悸。

真珠母 三分,研细 卫生宝鉴三钱 当归 熟地

黄 各一两半 人参 酸枣仁 柏子仁 各一两 犀角 茯神 沉香 龙齿 各半钱 宝鉴各半两加虎睛一对,麝香三钱

右为末,炼蜜圆,梧桐子大,朱砂为衣,每服四五十圆,金银器 宝鉴、医方集成、南北经验方、袖珍方无器字。永类铃方无金银器三字。薄荷煎汤,食后吞下。宝鉴曰午夜卧服,医方大成同。

御风膏^⑭: 方见圣惠方。

治口眼喎斜,大鳝鱼一条,以针刺头上血,左斜涂右,右斜涂左,以平正即洗去,鳝放之。经验良方同。

虎骨酒: 治诸般风痹,手足疼痛,步履艰难,腿膝缓弱,久服身轻体健,行动快

① 蝎: 御药院方作“蝎”。

② 制: 御药院方作“裂”。

③ 通气驱风汤: 方见本书卷二十诸风门八引简易方人参顺气散方。

④ 加减续命汤: 方见本书卷十四诸风门二引千金方小续命汤条下。

⑤ 生: 世医得效方作“炮”。

⑥ 乌: 世医得效方此下注有“炮”字。

⑦ 二钱: 世医得效方作“一个”。

⑧ 顺元散: 方见本书卷二十诸风门八。

⑨ 二香三建汤: 方见本书卷二十一诸风门九。

⑩ 一粒金丹: 方见本书卷十九诸风门七。

⑪ 万金汤: 方见本书卷二十诸风门八名叶氏方万金散,经查世医得效方卷十三风科万金汤方药同。

⑫ 方: 世医得效方作“宝”。

⑬ 八宝回春汤: 方见本书卷二十一诸风门九。

⑭ 御风膏: 方见本书卷二十二诸风门十。

捷，大和气血，通行荣卫，补虚排邪，有益真气。

虎胫骨 酥炙，三两半 川当归 酒洗，焙 川附子 炮，去皮脐 大川乌 炮，去皮尖。各一两半 川羌活 经验良方去芦 川芎 独活 赤芍药 白术 杜仲 去粗皮，姜炒去丝 草薢 防风 去芦 肉桂 去粗皮 肉苁蓉 酒洗，焙 川牛膝 酒洗，焙 黄耆 去芦 金毛狗脊 烧去皮⁽¹⁾ 白茯苓 去皮 白蒺藜 炒，去刺 人参 去芦 天麻 已上各一两 良方去苗 川续断 一两

右锉散，以生绢袋盛了，用无灰酒一斗浸之，密封瓶口，春浸三日，夏二日，秋七日，冬十日，每服一杯，温过，空心服神效。留滓，日乾或焙乾，为末，酒糊圆，温酒下。

热证

金沸草散⁽²⁾：治卒中风痰上壅，头项强急，肢体烦疼，筋脉挛急，偏废⁽³⁾发热，先以解之。方见伤寒门。

人参羌活散：治风壅痰实，头目昏晕，遍体拘挛，头项强急，肢节烦疼，壮热烦渴。

前胡 羌活 人参 防风 天麻 赤茯苓 去皮 薄荷叶 蔓荆子 川芎 粉草 黄芩 枳壳 去穢 桔梗 川独活 各一两

右锉散，每服四钱，姜三片，桑白皮七寸煎，不拘时服。

星香饮⁽⁴⁾ 方见严氏济生续方。 防风通圣散⁽⁵⁾ 方见宣明论。

三黄汤⁽⁶⁾ 方见金匱方。

小省风汤：治左瘫右痪，口眼喎斜，口噤全不能言，半身不遂，手足顽麻。

防风 去芦 天南星 汤⁽⁷⁾ 炮。各三两 甘草 炙，一两

右锉散，每服四钱，生姜十片，水一大盏，煎至方煎至六分，去滓。热服。袖珍方右咬咀，水二盏，生姜五片，煎至一盏，去渣温服，不拘时候。气逆加紫苏木香一分；气虚加附子一两、沉香二钱；胸膈不利加半夏一两、人参五钱；头晕加天麻五钱、全蝎二钱，煎熟射香少许。

洗心散⁽⁸⁾：治因食热物过度，作成中

风，其状手足如火，烦躁眼赤，肌肉瞤动，筋脉拘挛，痰涎壅塞，大小便闭涩，依证用之大效。方见积热门。

四顺清凉饮⁽⁹⁾：治血热蕴结壅滞，遂成风证，烦渴喘闷，谵妄惊狂，舌强口噤。

小通圣散：治风热上攻，目赤头痛，咽疼，齿牙两颊肿满，口乾烦躁，筋脉挛急，并解酒毒。

当归 薄荷 羌活 防风 梔子 粉草 大黄 川芎 防风⁽¹⁰⁾ 桔梗 各一两

右锉散，每服四钱，水一盏半，灯心二十茎，青竹叶七皮煎，食后服，小儿急惊，可服二钱。

清神散⁽¹¹⁾ 方见和剂局方。

茶调散⁽¹²⁾ 治同上，或加石膏亦可。

方见头面门。 川芎石膏汤⁽¹³⁾ 方见宣明论。 消风散⁽¹⁴⁾ 方见和剂局方。 透冰丹⁽¹⁵⁾ 方见和剂局方。

解毒雄黄圆：治中风卒然倒仆，牙关紧急，不省人事，并解上隔壅热，痰涎不利，咽喉肿闭，一切热毒。

郁金 二钱半 巴豆 去皮油十四箇 雄黄 研飞，二钱半

右为末，醋煮面糊圆，绿豆大，每服七圆，用热茶清下，吐出顽涎立苏，未吐再服。如牙关紧闭，灌药不下者，即以刀尺铁匙，斡开口灌下。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类

① 皮：世医得效方作“毛”。

② 金沸草散：方见本书卷五十六伤寒门三十。

③ 废：世医得效方作“体”。

④ 星香饮：方见本书卷二十一诸风门九。

⑤ 防风通圣散：方见本书卷二十一诸风门九。

⑥ 三黄汤：方见本书卷十四诸风门二。

⑦ 汤：世医得效方作“浸”。

⑧ 洗心散：方见本书卷百五十七积热门。

⑨ 四顺清凉饮：本篇有方无药，世医得效方其组方为“大黄米下蒸切焙，赤芍药、当归去芦、甘草各等分。右锉散，每服三钱，水一盏半煎，食后临卧温服，小儿量大小虚实加减，微清利为度，加荆，芥穗尤妙”。

⑩ 风：世医得效方作“己”。

⑪ 清神散：方见本书卷十九诸风门七。

⑫ 茶调散：方见本书卷八十一头面门三。

⑬ 川芎石膏汤：方见本书卷二十一诸风门九。

⑭ 消风散：方见本书卷十九诸风门七。

⑮ 透冰丹：方见本书卷十九诸风门七。

⑯ 研飞二：世医得效方作“别研，四”。

铃方同。铃方又云：缠喉风及急喉闭最治。

大秦艽散：治风壅痰盛，四体重著，或软痿疼痛，或拘挛，麻痹，颤掉，口乾目赤，烦热，睡卧不宁。

条参^{去芦} 川羌活^{去芦} 枳壳^{去穰} 秦艽^{去芦}
赤芍药 苦梗^{去芦} 前胡^{去芦} 川芎 白芷 黄
芩 薄荷 桑白皮^{去赤} 天麻 防己 防风
粉草 荆芥穗 赤茯苓 木瓜 川牛膝^{去苗}
各等分

右锉散，每服四钱，水一盏半，姜三片煎，温服，不以时候。

通关散：治卒暴中风，昏塞不省，牙关紧急，药不得下咽下。

细辛 薄荷叶 牙皂^{去子} 雄黄^{各一钱}

右研为末，每用少许，铜管吹入鼻中，候喷嚏，然后进药。或用白梅擦牙，更以菖蒲末著舌下，牙关即开，仓卒可用。

通治

解语汤^① 方见简易方。

加味寿星圆：治因事惊忧，涎留心包，精神不守，事多健忘，谵言忘语，如有所见，不得安卧，或风痰潮作，手足抽掣，或心虚烦躁。

天南星^{三两} 母真珠^{一钱} 真琥珀^{五钱} 圆
白半夏^{六^②两} 枯矾^{五钱} 大朱砂^{一两} 细研为衣

右为末，生姜自然汁煮面糊为圆，梧桐子大，每三十五圆，淡姜汤下。心气狂甚，加铁膩粉一两；气不顺，人参汤下；惊悸，金银器灶心土汤；上热烦躁，淡竹叶麦门冬汤；宁心定志，石菖蒲汤；痰盛喘急，桑白皮汤；小儿急惊，麦门冬青竹叶汤；慢惊，冬瓜仁木香汤下。

排风汤^③ 方见千金方。

蝎麝白圆子：治男子妇人，半身不遂，手足顽麻，口眼喎斜，痰涎壅塞，及一切风，他药不能痊者，小儿惊风，大人头风，洗脑风，妇人血风。

半夏^{七两} 川乌^{一两} 白附子^{二两} 天南星^{三两}
天麻^{一两} 全蝎^{五钱} 防风^{一两} 生麝香^半

钱

右为末，姜汁糯米糊圆，梧桐子大，每服一二十圆，淡姜汤不以时吞下。瘫痪风，温酒下，日三服，一二日后，当有汗，便能舒展，经三五日，频呵欠是应。常服除风化痰，治膈壅。小儿惊风，薄荷汤下二三圆。

稀涎散^④ 方见卫生十全方。

苦丁香散：治风涎暴作，气塞倒卧，或有稠涎，诸药化不下者。

甜瓜蒂^{亦名苦丁香，日乾为末}

右每用一二钱，加轻粉一字，以水半合，同调匀灌之，良久涎自出。如涎未出，噙沙糖一块下药，涎即出，不损人。经验良方同。卫生易简方治风涎暴作气塞，用青甜瓜蒂约半寸许，曝乾，不限多少为末，量疾每用一二钱匕，膩粉一钱匕，水半合调匀，灌之，卧服良久，涎自出。如未出，含沙糖一块，下咽即涎出。此物甚不损人，全胜石碌硃砂诸药，亦治身面四肢浮肿，咳逆杀虫。

禹功散：治卒暴昏愤，不知人事，牙关紧硬，药不下咽。

黑牵牛末^{一钱} 茴香^{二钱半} 经验良方末

右用生姜自然汁，调药少许，灌入鼻中立醒。一方用牵牛、木香尤良。

又方：治暴患痰饮，不省人事。

右用生清油^{经验良方生清麻油} 一盏，灌入喉中，须臾逐出风痰，立醒，然后随证用药。

又方：治中风痰壅不能治。

猪牙皂角^{肥实者，去皮弦及子，二片} 玄胡索^{七箇}
青黛^{二钱}

右为末极细，用一字，以新汲水调成稀糊，令患者仰卧，男左女右，将药入病人鼻内，觉药味到喉少酸，令患者坐，却令咬笔筒一枚，涎尽为度。经验良方同。

① 解语汤：方见本书卷二十诸风门九。

② 六：世医得效方作“五”。

③ 排风汤：方见本书卷十四诸风门二。

④ 稀涎散：方见本书卷二十诸风门八引卫生十全方。

神柏散^①：方见简易方。

去风丹：治瘫风疾风经验良方缓风。大风，一切诸风，仍治脚气，袖珍方肺气。并撮扑伤打^②，及破伤风，服过佰粒，即为全人，尤能出汗。

紫色浮萍 不以多少 良方云：又名木萍

右以七月半旬，或望日采萍，择净者，先以盆盛水，以竹筛盛萍，于水盆上晒干，研为细末，炼蜜圆，如弹子大，每服一粒，豆淋酒空心食前化下。王氏集验方：中风手足瘫痪，浮萍碾末，豆淋酒下。采萍歌曰：不在山，不在岸，采我之时七月半，选甚瘫风与疾风，卫生易简方缓风。些小微风都不算，豆淋酒内下三丸，铁幞头上也出汗。瑞竹堂方：紫萍一粒丹，治一切风疾，累经效验。天生灵草无根干，不在山间不在岸，始因飞絮逐东风，泛梗青青飘水面，神仙一味起沉痾，采时须是七月半，选甚瘫风与大风，经验秘方缓风。铁幞头上也出汗。右采紫背浮萍草，摊于竹筛内，下著水，事林广记摊于竹篱上，下著水盆。晒干为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，用豆淋酒秘方广记黑豆淋酒。化下，及治脚气打扑伤损，浑身麻痹。广记又云：右世传昔日东京开河，掘得石碑梵书无能晓者，有至人林灵素，逐字辨译，乃是治中风方，名去风丹，治左瘫右痪，三十六种风，偏正头风，脚手不便，口眼喎斜，大风癰风，一切无名等风，及胎孕有伤，服过百粒，即为全人，其方与本草所载高供奉采萍歌小有异焉。

豆淋酒法：用黑豆半升，拣洗令净，炒令烟出，以无灰酒三升，浸一昼夜，去豆取酒用之，亦可常服。

枳皮酒：治中风身体强直，不得屈伸反覆。

右取枳树皮，细切一升，以酒二升，肘后方一升。浸一宿，每日温酒服^③半升，肘后方、卫生易简方服五合至一升。酒尽再作。经验良方云：枳树即今人所谓东橘者。

莱菔膏：治大人小儿禁口风。

皂角 不蛀者，炙，去皮子 萝卜 如无，以子代之 右以皂角为末，以萝卜同醋研，鸡翎蘸药，涂牙龈，即酥。经验良方同。

一得散^④ 方见千金方。

又方：治中风通身冷，口噤不知人者。

右用川独活四两，好酒一升，煎至半升，分温服。王氏集验方、经验良方、卫生易简方同。

独行散：治失音。

槐花一味，炒香熟，经验良方：瓦上炒令香熟，于地上出火毒。三更后床上仰卧，随意服，亦治咯血。

趁风膏^⑤ 方见三因方。

乳灵圆：治痛风，数年不能举^⑥，日夜呻吟，不数圆大效。

川乌 去皮脐生用，半两 生干地黄 酒浸一宿，一两 草乌头 小者，去皮脐，盐炒半两，去盐 木香 不见火，二钱半 五灵脂 拣去沙石，微炒 麻黄 去根节，微炒去汗 自然铜 火煅七次，米醋淬七次，另研 虎胫骨^⑦ 死虎尤好。各乙两，酥涂火炙存性研^⑧ 干木瓜 酸明者二两 滴乳香 好者，和灯心研二钱半为末，去灯心 败龟 乃江浙^⑨ 间卜筮钻过下龟壳者是，米醋浸三日，炙黄色，再用醋淬^⑩ 口钱半

右研细如粉，炼蜜去上白沫，为圆如龙眼大，每一两重，作十二圆，以带皮生姜自然汁，化开一圆，热酒服，更以酒半盏送下。病在下，空心食前服；病在上，食后停少时服，一日二服，口有少麻，勿疑。

追风独活散：治气虚感风，或惊恐相乘，肝胆受邪，使上气不守正位，致头招摇，手足颠掉，渐成目昏。

① 神柏散：方见本书卷二十诸风门八。

② 打：世医得效方作“折”。

③ 服：世医得效方作“膳”。

④ 一得散：本书诸风门无此方，世医得效方其主治及主方为：“治中风口噤，不知人事，产后中风。右用白术四两，水三升，煎一升，顿服”。

⑤ 趁风膏：方见本书卷二十诸风门八。

⑥ 举：世医得效方此下有“动”字。

⑦ 骨：世医得效方此下注有“射”字。

⑧ 研：世医得效方无此字。

⑨ 浙：世医得效方作“潮”。

⑩ 淬：此下脱字，世医得效方作“七”。

独活 正地骨皮 北细辛 大川芎 菊花 防风去义 甘草各等分

右锉散，每服三钱，水一盏半，煎取六分清汁，入少竹沥再煎，食后服。

仙桃圆：治丈夫妇人，手足麻痹，时发疼痛，腰膝气闭，作痛不止，或冷地冰身，血气不运，打扑闪肭不可忍，及瘫痪等疾。

生川乌三两 五灵脂四两 蕨灵仙五两

右各烧焙，经验良方洗焙。同研为末，醋糊圆，梧桐子大，每服七^①粒，加至九粒，盐汤吞下。妇人当归醋汤下，空心服。病甚者加至十五粒。忌茶，立效如神。

奇方：袖珍方、经验良方名破指散。治中风牙已紧，无门下药。

天南星末半钱，白龙脑袖珍方无白字。一字，频擦令热，牙自开。肘后方治急中风，目眶牙噤，无门下药者。用此末子，以中指点末揩齿，三二十，揩大牙左右，其口自开，始得下药，名开关散：天南星捣为末，白龙脑二件，各等分研，自五月五日午时合，患者只一字至半钱。卫生易简方同、寿域神方云：亦治小儿。

又治暗风倒地：北细辛为末，每挑一字，搐鼻中。经验良方同。

神应方：治诸风痼，久服其涎自大便中出。生白矾一两，研，好腊茶半两，经验良方同。炼蜜为圆，梧桐子大三十圆，再用腊茶汤下。

乌褐²圆：治手足拳挛，痛不可忍者。

乳香 没药另研 地龙去土 全蝎去足翅 草乌各五钱 乌药炒 经验良方一两 麝香一两 良方少许 蜈蚣一条，去足炒 川乌二支，生用，去皮尖

右为末，面糊圆，梧桐子大，每服七圆至十圆十五圆，用麝香少许，好小酒送下，空心服，服至七日略利，至半月，或满身发风丹，经月方没，多服其病安全，后常用生川乌、没药浸酒，日二服。通气驱风汤：加乳香、没药、生川乌、麝香小^③许，酒调服，不饮，木瓜汤下，服此忌热食一时。良

方又云：吉安城内李秀才妻，年六十五岁，于辛亥年，忽患手足不能伸屈，人以为历节风，壬子年二月，得永新州龙起宗出此方。合一料，服至七日，略溏利；至半月，风丹先从臀片上起，至遍身，七日方没；又服药至四分之一，其病全安，手足可行，至今无恙。后调理常用生川乌、没药浸酒，日二服；又常用乌药顺气散，加乳香、没药、生川乌、麝香少许，酒调服，如不饮酒，汤调下，无麝香亦可。服乌蝎丸，忌一时热食。

四神圆：治手足顽麻，痰涎壅盛，头目昏眩，肩背拘急。

大天麻 大南星各汤洗净 防风去芦 各乙两 薄荷叶半两

右为末，酒煮薄面糊圆，绿豆大，每服二十圆，荆芥生姜煎汤送下。袖珍方、经验良方同。

肾沥汤^④ 方见千金方。

乳香寻痛圆：治中风瘫痪不遂，手足蹇曳，口眼喎斜，或旋运僵仆，涎潮搐搦，卒中急风，不省人事。每服二十圆，黑豆淋酒下。风虚眩冒，项筋拘急，太阳穴疼痛，亦用生地黄汁调酒下；腰脚^⑤疼重，行步艰辛，筋脉挛促，俯仰不利，贼风所中，痛如锥刺，皮肤顽厚，麻痹不仁，或血脉不行，肌肉干瘦，生葱酒下，或生葱茶亦可；风湿脚气，腿膝无力，或肿或疼，不能举步，两脚生疮，脓血浸渍，痒痛无时，愈而又发，温盐酒下；打扑闪肭，筋骨内损，已经多年，每遇天寒，时发疼痛，没药酒下。

乳香 川乌 没药 五灵脂 白胶香 地龙 白姜 半夏 五加皮 赤小豆各等分

右为末，糊圆，随证汤引如前，並空心服。

牛黄清心圆^⑥ 乌荆圆^⑦ 青州白圆

① 七：世医得效方作“六”。

② 褐：世医得效方作“黠”。

③ 小：世医得效方作“少”。

④ 肾沥汤：方见本书卷十四诸风门二。

⑤ 脚：世医得效方作“胫”。

⑥ 牛黄清心圆：方见本书卷十九诸风门七。

⑦ 乌荆圆：方见本书卷十九诸风门七。

子^① 並方见和剂局方。

苏青圆： 和气字，散风痰，亦可常服。

右以苏合香圆^② 方见诸气门。与青州白圆子方见前。打和，姜苏汤化下。

蛇黄散： 治暗风忽然仆地，不知人事，良久方醒。 经验良方治暗风，远年日久不逾^③，皆可服。

蛇黄不以多少，米醋烧淬七次 良方云：广南道地者，火煨淬七次

右为末，良方重罗。每服二钱，温酒下，数服便愈，年深者亦效。

琥珀圆： 治暗风百日内者。

天南星二两，大者，掘地坑深尺余，火煨令红，去火，安南星在内，即以覆之，瓦盆盖一伏时，取出，洗去灰土，焙干为末 朱砂半两，别研 琥珀二钱，通明者，别研 真金箔十片

右拌匀，以猪猪心血为圆，梧桐子大，每服十五圆，人参或麦门冬汤下，临卧服。

辰砂圆： 治暗风年深日近发搐，不省人事。

好辰砂半两 好雄黄三钱。各研极细，再同一处研

右用乌鸡心内血和圆，梧桐子大，每服十圆，以煮猪猪心汤吞下。如不省人事，则灌下，仍灸百会穴九壮。 澹寮方同。

大九宝饮： 诸方名搜风大九宝饮。 治挟气中风已微，微去其痰，或非重热气实者亦可服。 医方集成治挟气中风，痰虽微去，当先服此，顺气并开其关窍，不致枯废，然后进以风药。

天雄气弱者以大附子代 南星炮 薄荷叶 地龙去土 木香 诸方不见火 全蝎 诸方去毒 防风 诸方去芦 沉香 各等分 麝香 别入

右铤散，每服四钱，水一盞半，集成每服两钱，水一盞。生姜五片，煎熟，入麝香啜服，不拘时候。 澹寮方、南北经验方、袖珍方、永类铃方与集成同。 澹寮方又云：继洪甲寅岁，主柳州报恩寺时，州教授林修职，招治其女尼瘴症，及至，则悲然谓尼昏厥已久，备棺衿，惟俟其喘息绝。余视之，唇脸犹颇有红赤色，脉亦微有而伏。告之曰：痰厥尚或可苏，为用半夏末搐鼻，

苏合香圆擦齿，便觉喉中噫噫有声，亟煎星香饮灌下，初似不能咽，且令人捋咽摩胸，遂能吞药，眼睛转动，继用附香饮、灵砂白丸子等，调理兼旬，气体复旧，咸谓真更生也。 又壬戌年间，会在连川，值寒新恩季沅伤寒病，医者过用竹叶后^④ 膏汤，遂成寒厥，四肢冷而强直，身亦无甚暖气，惟心胸稍温，且大小便泄而似不禁，脉尤微伏，亦已备后事，余谓此五虚证矣，法在不治，试为炮雄附乌大者各一隻，作三建汤，熟煎一碗，仍磨入沉香，葛令稍冷服，仍令人旋旋搦摩其肢体，又继用此汤吞岁丹叁拾粒，自午至晚，渐觉身体温暖，精神完复，调理数日而安。 又尝于封川，介轩徐制使诸疗一军士，闷绝昏厥，牙关紧噤，不省人事，惟喉中有声如拽锯，鼻息真如鼾睡，用猪牙皂角搐鼻，遂略喷嚏，牙关稍开，且急令人提挈其发，使颈项伸舒，而灌下独乌汤，一时稍苏，顷刻诸证复作，遂缚其发，于竹竿上，令人扶掖其体，以麝香擦齿，复灌下南星川乌汤，良觉苏醒，才越两时辰间，病证复作，幸为制稀涎饮已成，灌下一钱匕，顷刻吐出粘涎小半盞许，方得渐安。 凡此等证，区区三十年间，遇疗不一，虽非中疾，亦不过痰涎潮上，节闭咽膈，谓其源，则或因四气七情，或久病而下虚上盛，或小儿惊风客忤，或强壮气盛之男子妇人，为癲为狂，皆似风痰，而闭厥一时，救急亦只得用通关打痰药也，然前所用丹附，不可以为定法。且或生或炮，或多或寡，或压以大丹，或兼以紫苏、沉木^⑤ 香之类，或热服，或蕩冷而热因寒用，皆当有以权变，诚不可执也。

乌附圆： 去风疏气。

川乌二十枚，或用草乌一斤，第功效稍劣，油燻存心^⑥

① 青州白圆子：方见本书卷十九诸风门七。

② 苏合香圆：方见本书卷八十七诸气门二。

③ 逾：按文义应作“愈”。

④ 后：普济方卷一百五诸风门引澹寮方搜风大九宝饮作“石”。

⑤ 木：普济方卷一百五诸风门引澹寮方搜风大九宝饮无此字。

⑥ 心：世医得效方作“性”。

①点白。香附子半斤，姜汁淹一宿，炒

右焙干为末，酒糊圆，量数服之。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方每服十数圆，温酒下。若只用草乌，当妨②其麻木人也。然肌体肥壮之人，及有风疾人宜常服。澹寮方同。

藏灵仙圆③ 方见御药院方。

猿肝圆④：主四肢挛缩不伸等证，曾有人自幼年酒多，长而风痰，为酒使痰注骨节，四肢不能运动，服此有效。

茯神心木 白茯苓去皮 姜黄 白术炒 黄耆 羌活 五加皮 川乌炮，去皮脐 薏苡仁 木瓜去皮穢 半夏曲 神曲炒 天麻炮，去皮 白芍药 乳香别研 没药研 防风 独活 当归 玄胡索 桑寄生 海桐皮去粗皮 木香 陈皮 去白 枳壳炮，去穢 南星炮 地龙焙，去土 荆芥穗各五钱 麝香一钱 澹寮方为衣

右用猿肝一具洗净，煮存性，研烂，同酒面为糊，圆如梧桐子大，每服三十圆，温酒吞下，澹寮方此下云：猿、易大畜卦。郑康成注云：猿、豕去势也。不饮，木瓜汤下。

皂角六一圆：疏风活血，起瘫痪，除脚疾，乌须发，注红颜，肌肉不紧实⑤生风证，澹寮方好生风证。切宜此药。

川乌 草乌各一两 天台乌药 何首乌各二两 猪牙皂角五条⑥汤炮去皮弦 乌梅蜜裯⑦者去核，五十箇 乌豆一升

右锉如指面大，以冬月无灰酒好醋各二升，浸一宿，瓦铫内慢火煎干，取出晒焦，拣何首乌一味，别为末，煮膏，六味焙干为末，以前煮药余酒醋及何首乌膏和圆，每服三十圆，酒吞下。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

金汞灵丹：治卒暴中风奄忽，王氏易简方奄乎不省。手足蹇曳，口面喎斜，舌强痰盛，搐搦战掉，或角弓反张，目睛正⑧视，口禁闭绝，每日三服。中风数年，不能步履，服至十圆复旧，新中风三服可无事，常服半圆，滋养五脏，补益真元，通流关节，祛逐风邪，强筋健骨。

金箔二钱半，以火煅过，用法酒⑨淬五十次为度，细剪如丝 水银一两 易简方半两 辰砂半两 好硫黄一两 自然铜四两，捣细末，用甘锅子一箇盛之，不封，于地炉内以炭一斤煅之，火尽候冷取出，研细水飞，候干，却同四味同入乳钵研细如面，不见水银星子为度 生犀角半两，镑 羚羊角三分，镑 干蝎炒，去毒 白僵蚕炒，去丝 南星炮，去皮 藿香叶各半两 官桂一两 乌蛇三两，法酒浸软，剥去皮骨 白花蛇同上制 白术炒 白芷 川芎 破胡纸炒 草澄茄去蒂 羌活去芦 当归法酒浸。各一两 防风去芦 牛膝酒浸一宿、焙干 鹿茸火熏去毛、酥炙。各三钱 易简方澹寮方各三分 附子炮，去皮脐 川乌炮，去皮尖。各一两三钱， 易简方各一两一分 沉香半两镑 天麻一两五钱 木香三钱三分 安息香半两，别研 白附子炒 易简方三分，加葫芦巴炒三分

右先将二十六味为末，却连前五味拌和，入安息香膏搜和，再入白中杵伍佰下，每一两作十圆，每服一圆，空心细嚼，温酒吞下。澹寮方又云：至宝丹、灵宝丹长于省风，不长于起废，且亦品繁而物珍，世多难辨，故未暇录。

香附汤⑩：方见是斋医方。正舌散⑪ 仙茅散⑫方并见朱氏集验方。活络丹⑬方见和剂局方。黑龙圆⑭方见简易方。左经圆⑮方见和剂局方。

川芎散：治经验良方治男子妇人。鸡瓜⑯风，手口摇动，不能举物。良方此下云：服两料全安。

五加皮 海桐皮 川乌诸方炮或炮去皮尖 牡丹皮 川芎 赤芍药各五钱 干姜 肉桂各一钱 右为末，每服三钱，水一盞，将古铜钱一箇，入清油良方芝麻油。内浸，每煎药入钱同

① 一，世医得效方作“点”。

② 妨：世医得效方作“防”。

③ 藏灵仙圆：方见本卷引御药院方。

④ 猿肝圆：世医得效方作“茯神圆”。

⑤ 实：世医得效方此下有“人”字。

⑥ 条：世医得效方作“钱”。

⑦ 蜜裯：世医得效方作“熬过”。

⑧ 正：世医得效方作“上”。

⑨ 酒：世医得效方作“刃”。

⑩ 香附汤：方见本书卷二十引御药院方。

⑪ 正舌散：方见本书卷二十一诸风门九。

⑫ 仙茅散：方见本书卷二十一诸风门九。

⑬ 活络丹：方见本书卷十九诸风门七。

⑭ 黑龙圆：方见本书卷二十诸风门八。

⑮ 左经圆：方见本书卷十九诸风门七。

⑯ 瓜：世医得效方作“爪”。

煎，不拘时服。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。良方又云：临卧不吃食，再进一服。

枳实酒^① 方见简易方。

贴药羌花散：治臂^②腿间忽一两点痛著骨，不可忍。

羌花根研为末，米醋调，随大小傅之。

天仙膏^③ 方见简易方。

洗方：治风损风肿及疮等^④。

石楠叶、马鞭草、贴壁草、煎汤洗。

烧竹沥法^⑤ 方见三因方。

疔风

得效第一方^⑥ 方见圣惠方。

仙方治大风恶疾双眼昏，咫尺不辨人物，发眉自落，鼻梁崩倒，肌肤疮如苔藓，势若不可救，此方特效。经验良方感应神仙传，崔言者，职隶左道骑军，一旦得疾，双眼昏云云势不可救，偶遇道人自山谷中出，得授其方。寿域神方治癰恶风。

右用皂角刺三斤，永类铃方、卫生易简方、神方一二斤炭火蒸久，良方放于甑内用炭火蒸一日晒干为末，神方，烧灰九蒸九晒，研为末浓煎^⑦铃方，食后浓煎，易简方、食上浓煎大黄汤下一^⑦匕服，良方、易简方一钱匕，神方，食后调一钱匕服旬日间眉发再生，肌肤悦润，眼目愈明。医林方乌龙散：皂角不以多少，捣烂蒸九遍、阴九遍，烧存性，用盆一介盖之右为细末，每服三四钱，大黄汤调下。

解毒雄黄圆^⑧：治多啖炙博，成此疔风，茶清下三四服，效。方见积热门。

浴法^⑨ 换骨丹^⑩ 遇仙丹^⑪ 疏风散^⑫ 佛手膏^⑬ 去毒丹^⑭ 甘草散^⑮ 解毒圆^⑯ 福神丹^⑰ 水膏药^⑱ 通天再造散^⑲ 三济圆^⑳ 八叶汤^㉑ 方并见三因方。

疾风

排风汤^㉒：治五脏风疾风，亦治风毒，脚气肿痛，每服三钱，水一盏半，生姜四片，煎温服。方见千金方。

加减续命汤^㉓：治中风诸风，迷仆涎潮，舌强语蹇，或昏愤痿弛，或厥冷拘挛，不论表里浅深，服之效。方见千金方。

苏合香圆^㉔：理气，气和则风散。方

见诸气门。

不换金正气散^㉕：服之则气顺血行，疾风自解。方见伤寒门。

一粒金丹^㉖：疏风健筋骨。方见和剂局方。大铁弹圆^㉗ 大四斤圆^㉘ 方并见和剂局方。

历节风

羌活汤^㉙：方见严氏济生方。

趁痛圆：治走注历节诸风软痛，卒中倒地，跌扑伤损。

草乌头三两，去皮脐 诸方不去皮脐。医方集成二两 熟地黄^㉚或^㉛生者 南星 半夏曲 白僵蚕 乌药各半两，並日干

右为末，酒糊圆，梧桐子大，诸方此下云，晒干。每服五七粒，空心，日午夜卧温酒下，如跌扑伤损痛甚，姜汁和酒，研十粒^㉜诸方拾数粒。涂伤处。卒中倒，姜汁茶清研五七粒，灌下

① 枳实酒：方见本书卷二十诸风门八。

② 臂：世医得效方作“臂”。

③ 天仙膏：方见本书卷二十诸风门八。

④ 等：世医得效方作“痒”。

⑤ 烧竹沥法：方见本书卷二十诸风门八。

⑥ 得效第一方：本书诸风门无此方，据世医得效方补：“得效第一方治疔风，即大风恶疾癰是也，虽名曰风，未必皆因风，大事是嗜欲劳动，气血热，发汗泄，不避邪风，使淫气与卫气相干，则肌肉不仁，劳气泣浊，则腠热不利故色败，皮肤痒溃，鼻梁塌坏，或自作不仁，极疲之业所致，久则或遍身白皮脱落如蛇蛻状。右用桑枝灰一斗，热汤淋取汁，洗头面，次用大豆及绿豆浆添熟水，三日一浴，一日一洗面，却用侧柏叶蒸晒干，白胶香各等为末，蜜圆温水下，三七粒，日三服。”

⑦ 一：世医得效方此下有“钱”字。

⑧ 解毒雄黄圆：方见本书卷百五十七积热门。

⑨ 浴法：方见本书卷二十诸风门八。

⑩ 换骨丹：方见本书卷二十诸风门八。

⑪ 遇仙丹：方见本书卷二十诸风门八。

⑫ 疏风散：方见本书卷二十诸风门八。

⑬ 佛手膏：方见本书卷二十诸风门八。

⑭ 去毒丹：方见本书卷二十诸风门八。

⑮ 甘草散：方见本书卷二十诸风门八。

⑯ 解毒圆：方见本书卷二十诸风门八。

⑰ 福神丹：方见本书卷二十诸风门八。

⑱ 水膏药：方见本书卷二十诸风门八。

⑲ 通天再造散：方见本书卷二十诸风门八。

⑳ 三济圆：方见本书卷二十诸风门八。

㉑ 八叶汤：方见本书卷二十诸风门八。

㉒ 排风汤：方见本书卷十四诸风门二。

㉓ 加减续命汤：方见本卷引千金方。

㉔ 苏合香圆：方见本书卷八十六诸气门二。

㉕ 不换金正气散：方见本书卷五十二伤寒门二十六。

㉖ 一粒金丹：方见本书卷十九诸风门七。

㉗ 大铁弹圆：方见本书卷十九诸风门七。

㉘ 大四斤圆：方见本书卷十九诸风门七。

㉙ 羌活汤：方见本书卷二十一诸风门九。

㉚ 或：世医得效方作“故”。

立醒。潘家方、医方大成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。
潘家方又云：本事方谓是大智禅师方，昔有人脚腰筋骨痛，又在舟中为风吹，肿了四肢，服此药，仍用姜汁调此药，肿处甚效。

附子八物汤^① 乌头汤^② 方并见三因方。虎骨散^③ 方见严氏济生方。麝香圆^④ 方见简易方。

独活寄生汤^⑤：治历节风，温解风寒暑湿之毒，亦治脚气。方见腰脚门。

麻黄散^⑥ 方见简易方。

神授圆：治白虎历节痛甚，肉理枯虚生虫，游走痒痛，兼治痹疾，半身麻木，杀传尸瘵虫效。

正川椒色红大者，去子，并合口，以黄秆纸二重，托于炉上，炒出汗，取倾地上，用沙盆盖以灰，围盆弦约时许

右为末，老酒浸白糕为糊圆，梧桐子大，每服三四十^⑦圆，食前盐汤下，治痹辣桂煎汤下，腰痛茴香酒下，肾冷盐汤^⑧。

历节痹风方^⑨ 方见直指方。白虎风走注痒痛方^⑩ 方见圣惠方。

又方：用芥菜子经验良方云，一名辣子。为末，鸡子白傅之。袖珍方同。

撮风酒：治白虎历节风，及诸般风湿，流注四肢，大风鹤膝，一切风疾，四肢拘挛，不能坐立，凡是骨节去处，皆尽浮肿，夜痛号哭，诸药不效，重者服至两料愈矣。经验良方治白虎历节风云云：一切风疾，此方系龙兴路在城幔笠铺李家刊行，有子七岁，患四肢拘挛，不能坐立，凡是骨节去处，尽皆浮肿，夜痛号哭，诸药不效，遇一云游道人，索纸写下此方，而往合两料，服至一月全安。

寻风藤一两 五加皮一两半 虎胫骨良方二钱半 乌药 石楠叶良方二钱半 苍术各五钱 三角尖一两，石上生者佳 骨碎补七钱^⑪半 青木香 蕨灵仙 川续断 当归 乳香 川羌活 北细辛各二钱半 青藤根一两 川牛膝四钱 防风五钱 南木香二钱半 石薜荔一两，石上生者佳 苏木 甘草节五钱 生姜一两半 大川乌一支分作四分，只生用一分

右二十四味，锉碎，用无灰酒一坛，将

药盛于布袋内，放酒坛中，油纸封缚，仍以锅盛水，将坛于锅内，用慢火自辰时煮至午时，连坛取出，良方取出冷放。每日不拘时候，随意温服药酒，如夏月恐停久作酸，只半料，用小坛酒，依上煮服。

癰风

何首乌散：治肌肉顽麻，紫癰白癰风。

荆芥穗 蔓荆子去皮 蚬蛸草去土 蕨灵仙洗 何首乌 防风去芦 甘草炙，各等分

右为末，每服二钱，食后温酒调下。

如圣膏：治癰风。诗曰：紫癰白癰两般风，附子经验秘方、寿域神方、简奇方白附子。硫黄最有功，姜汁调匀茄蒂蘸，擦来两度^⑫。更无踪。潘家方注云：姜汁调硫黄末，以附子手蘸猛擦亦得。事林广记云：一方去附子加磨石，专疗白癰。先以布擦洗其疮令损，却以茄蒂蘸药擦。一说：白癰风用白茄蒂，紫癰风用紫茄蒂。潘家方同。

又方：硫黄一两，米醋煮一日，海螵蛸二箇，急救仙方、寿域神方、卫生易简方三个。并为末，浴后以生姜蘸药熟^⑬擦，避风少时，数度绝根。经验良方同。

又方：鸡子一枚，用酩醋浸一宿，以针刺小穿，滴青烱为汁，入砒霜并绿豆末少许和匀，用石扎擦破，青布蘸擦。

又方：

雄黄 硫黄 黄丹 密佗僧 大南星各等分

右为末，先用姜汁擦患处，次用姜蘸药末，擦后渐黑，次日再擦，黑散，则无恙矣。

① 附子八物汤：方见本书卷二十诸风门八。

② 乌头汤：方见本书卷二十诸风门八。

③ 虎骨散：方见本书卷二十一诸风门九。

④ 麝香圆：方见本书卷二十诸风门八。

⑤ 独活寄生汤：方见本书卷九十五腰脚门二。

⑥ 麻黄散：方见本书卷二十诸风门八。

⑦ 三四十：世医得效方作“五七十”。

⑧ 汤：世医得效方此下有“下”字。

⑨ 历节痹风方：方见本书卷二十一诸风门九。

⑩ 白虎风走注痒痛方：方见本书卷十七诸风门五其方名为“葱白煎方，注文为本方名”。

⑪ 钱：世医得效方作“分”。

⑫ 熟：世医得效方作“热”。

破伤风

急风散：治久新诸疮，破伤中风，项强背直，腰反折^①，噤不语，手足抽掣，眼目上视，喉中锯声，及取箭头。

麝香研一字 丹砂一两 生黑豆一分，同草乌为末
草乌三两，半生用，半焙存性，米醋同淬

右为末，和匀，破伤风以酒一盏，调半

钱服，神效。如出箭头，先用酒一盏，调服半钱，却以药贴箭疮上。瘡瘻方同。

舒筋法

治破伤后，筋挛缩不能伸，他病筋缩亦可用。大竹管长尺余，钻一窍，系以绳，挂于腰间^②坐贴，举足搓滚之，勿计工程，当久有效。

澹 轩 方

头 风

老少头风总一般，良姜细末等僵蚕，白梅汤点三钱许，才发之时服便安。

白芷须经日晒香，草乌等分炒令黄，一钱细末葱茶点，此是头风快捷方。

癩 秃

癩疮头秃发无根，先把栗蓬钻血开，腊

月猪脂和蚌粉，频频涂傅发生来。

赤游风肿

捣罗白豆治游风，清水和涂最有功，又复还须护火草，水调末服乃能攻。

游风蜜炙黄白皮，细末还加燕垒泥，先煮茅根茶叶洗，麻油涂傅用轻篦。

肘 后 方

治中风诸急方

若发狂者，取车轂中脂如鸡子，热温淳苦酒，以投脂甚搅令消，服之令尽。

若身体角弓反张，四肢不随，烦乱欲死者，清酒五升，鸡白矢一升，捣筛，合和扬之千遍，乃饮之，大人服一升，日三，少小^{寿域神方}小者。五合差。

若头身无不痛，颠倒烦满欲死者。取头垢如大豆大服之，并囊贮大豆，蒸熟，逐痛处熨之，作两囊，更番为佳。若无豆，亦可蒸鼠壤土熨。^{寿域神方}同。

若但腹中切痛者，取盐半斤，熬令尽，

著口中，饮热汤二升，得便吐愈。^{寿域神方}用盐四两，炒干候冷，用一二匙，著口中，用热汤一盏咽下，以吐为好，如不吐，再服。

又方：附子六分，生姜三两，切，以水二升，煮取一升，分为再服。

若手足不随方，取青布烧作烟，就小口器中，熏痛处。

又方：豉三升，水九升，煮取三升，分三服。又取豉一升，微熬，囊贮，渍三升酒中，三宿，温服，微令醉为佳。

① 折：世医得效方此下有“口”字。

② 间：世医得效方此下有“平”字。

若身中有掣痛，不仁不随处者，取干艾叶一斛许，丸之，内瓦甑下，塞余孔，唯留一目，以痛处著甑目下，烧艾以熏之，一时间愈矣。

又方：取朽木削之，以水煮令浓，热灼灼尔，以渍痛处，效。

若口噤不开者，取大豆五升热令黄黑，以酒五升渍取汁，以物强发口而灌之，毕，取汗。

若身直，不得屈伸，反覆者，取槐皮黄白者切之，以酒共水六升，卫生易简方以酒或水六升。煮取二升，去滓，适寒温，稍稍服之。

若四肢逆冷，吐清汁宛转啼呼者。取桂一两，卫生易简方桂心二两。咬咀，以水三升，煮取二升，去滓，适寒温，尽服。

若关节疼痛，蒲黄八两 附子一两炮合末之，服一钱匕，日三，稍增至方寸匕。

若中缓风四肢不收者。豉三升，水九升，煮取三升，分为三服，日二作之，亦可酒渍煮饮之。卫生易简方无煮字。

若卒中风瘫，身体不自收，不能语，迷昧不知人者，陈元狸骨膏^①至要。方见杂病门。

简易济众治中风口噤不开，涎潮吐方：

用皂角一挺，寿域神方一根。去皮，涂猪脂，炙令黄色，为末，每服一钱匕，非时温酒服。如气实脉大，调二钱匕；如牙关不开，用白梅揩齿，口开即灌药，以吐出风涎，差。卫生易简方同。

又治中风不省人事，牙关紧急者。卫生易简方此下云：声拽锯，口出涎沫。藜芦一两，去芦头浓煎，防风汤浴过，焙干，碎切，炒微褐色，捣为末，每服半钱，温水调下，以吐出风涎为效，如人行二里，易简方三里。未吐再服。

又治胆风毒气，虚实不调，昏沉睡多。酸枣仁一两，生用 金挺蝎茶二两，以生姜汁涂灸，令微焦，捣罗为散，每服二钱，水七分，煎六分，无时温服。

治三年^②寿域神方三十年。中风不较^③者。松叶一斤，细切之，以酒一斗，煮取三升，顿服，

取汁出，立差。

治偏风及一切风，桑枝锉一大升，用今年新嫩枝，以水一大斗，煎取二大升，卫生易简方三升。夏用井中沉，恐酢坏，每日服一盞，空心服尽，又煎服，终身不患偏风。若预防风，能服一大升，佳。 备预百要方：桑枝细切一小升，炒令香，以水三大升，煎取二升，一日分三服桑枝平，不冷不热可常服，疗体中风痒，干燥脚气，风气，四肢拘挛，上气喘羸，肺嗽。消食，利小便，轻身，耳目聪明。兼治口干。一切仙药不服桑枝煎不服^③。宋许学士云：予尝臂痛诸药不效，依此数剂，臂病寻愈。

葛氏方治中风寒，痉直口噤不知人。难尿白一升，熬令黄，极热，以酒三升和搅，去滓服。

千金翼方治热风汗出，心闷，水和云母服之，不过，再服，立差。卫生易简方同。

经验后方治中风及壅滞，以旋覆花^④经验良方云：即金沸草。洗尘令净，捣末炼密丸，如梧子大，夜卧以茶汤下五丸至七丸、十丸。卫生易简方同。

又方：解风热，疏积热，风壅，消食，化气，导血，大解壅滞。大黄四两，牵牛子四两，半生半熟，为末，炼密丸如梧子大，每服茶下一十丸，如要微动，吃十五丸，冬月宜服，並不搜搅人。

集验方治风热心躁，口干狂言，浑身壮热及中诸毒，龙脑甘露丸：

寒水石半斤，烧半日，净地坑内，盆合四面，湿土壅起，候经宿取出，入甘草末，天竺黄各二两，龙脑二分，糯米膏丸，弹子大，蜜水磨下。

图经曰：治历节诸风，骨节疼痛，昼夜不可忍者。没药半两，研，虎脑骨三两，涂酥炙黄色，先捣罗为散，与没药同研令细，温酒调二钱，日三服，大佳。卫生易简方同。

① 陈元狸骨膏：本书及肘后方无此方名，仅有苍梧道士陈元膏疗百病方，见本书卷一百九十六杂病门二。

② 较：肘后备急方作“效”。

③ 服：按文义应作“效”。

松节酒：主历节风，四肢疼痛如解落。

松节二十斤，酒五斗，渍二七日，服一合，日五六服。备预百要方，历节风方：松节四十斤，细锉，以水四石，煮取一石，以糯米酿酒，如常酝法，随性服之。

斗门方治白虎风所患不以，积年久治无效，痛不可忍者。用脑麝枫，柳皮，不限多少，细锉焙乾，浸酒常服，以醉为度，即差。今之寄生枫树上者，方堪用，其叶亦可制，砒霜粉尤妙矣。

治痲风。酢磨硫黄，傅之，止。

治中风烦热，皮肤瘙痒。用醍醐四两，每服酒调下半匙。卫生易简方同。

集验方治风气客于皮肤，瘙痒不已。蜂房炙过，卫生易简方微炙。蝉蜕等分为末，酒调一钱匕，日三服。

又方：蝉蜕、薄荷，荷叶^①等分为末，酒调一钱匕，日三服。卫生易简方同。

北梦锁言云：有一朝士，见梁奉御，诊之曰：风疾已深，请速归去，朝士复见鄆州马医赵鄂者，复诊之，言疾危，与梁所说同矣，曰：只有一法，谓^②官人试吃消梨，不限多少，咀齧不及，绞汁而饮，到家旬日，唯吃消梨，顿爽矣。卫生易简方，治一切风疾，宜多吃梨，可愈，正月勿食梨。

主头风沐头。吴茱萸二升，水五升，煮取三升，以绵染拭发根。

治卒风暗不得语方

治卒不得语方：

以苦酒煮瓜子，薄颈一周，以衣苞，一日一夕乃解，即差。

又方：锉谷枝叶，酒煮熟灰中，沫出，随多少饮之。

治卒失声，声噎不出方：

橘皮五两，水三升，煮取一升，去滓，顿服，倾合服之。

又方 寿域神方中风不语。浓煮苦竹叶，服之

差。

又方：通草、乾姜、附子、茯神各一两，防风、桂、石膏各二两，麻黄一两半，白术半两，杏仁三十枚。十物捣筛为末，蜜丸如大豆大，一服七丸，渐增加之，凡此皆中风，又有竹沥诸汤甚多，此用药虽少，而是将治所患，一剂不差，更应服之。

又方：矾石桂、末，绵裹如枣，内舌下，有唾出之。备预百要方，舌强不能言方：白矾一分烧灰，桂心一分末，小许付舌下。

又方：烧马勒嘴铁令赤，内一升苦酒中，破一鸡子，合和饮之。

若卒中冷，声嘶哑者：甘草一两，桂二两，五味子二两，杏仁三十枚，生姜八两，合^③切，以水七升，煮取二升，为二服，服之。

经验后方治中风不语。独活一两，锉酒二升，煎一升，大豆五合，炒有声，将药酒热投，盖良久，温服三合，未差再服。卫生易简方：用独活一两，清酒二升，浸熬升半，以大豆五合，炒烟出，投酒中，名豆淋酒，饮三合，口噤者灌之，日进三四服，自愈。

治中风不语，喉中如拽锯声，口中涎沫。王氏集验方名取涎丸，卫生易简方，此下云，不省人事，牙关紧急。取藜芦一分，天南星一箇，去浮皮，却脐子上陷一箇坑子，内入陈醋二^④椀斗子，四面用火逼，令黄色，集验方天南星大者一个，去浮皮，锅中作坑，入醋令八分满，四面用火逼醋乾黄色。同一处捣，再研极细，用生面^⑤集验方面糊。为丸，如赤豆大，每服三丸，温酒下。集验方此下云：良久吐涎为效，如吐不止，用冷葱汤呷即止。

莽草膏：疗诸贼风肿痹，风入五脏，恍惚方：

① 荷叶：肘后备急方无。

② 谓：肘后备急方作“请”。

③ 合：肘后备急方无此字。

④ 二：肘后备急方作“一”。

⑤ 面：肘后备急方作“蜜”。

莽草一斤 乌头 附子 踯躅各三两，
四物切，以水苦酒一升，渍一宿，猪脂四斤，
煎三上三下，绞去滓，向火以手摩病上，三

百度，应手即差。耳鼻病，可以绵裹塞之，
疗诸疥癣杂疮。

卫生宝鉴

中 风

小续命汤：通治八风五痹痿厥等疾，
以一岁为总，六经为别，春夏加石膏、知母、
黄芩，秋冬加官桂、附子、芍药，又于六经
别药内，随证细分加减，自古名医不能越
此。拔粹方，内经曰：人之气以天地之
疾风名之，故中风者，非外来风邪，乃本气
病也。凡人年逾四旬，气衰者，多有此疾，
壮岁之际，无有也。若肥盛则间有之，亦形
盛气衰，如此治法，和脏府，通经络，便是
治风，然轻重有三：中血脉则口眼喎邪，亦
有贼风袭虚伤之者也；中府则肢废；中脏则
性命危急。此三者，治各不同，如中血脉，
外有六经之形证，则从小续命汤加减，及疏
风汤治之。中府内有便溺之阻隔，宜三化汤，
或局方中麻仁丸通利，外无六经之形证，内
无便溺之阻隔，宜养血通气，大秦芫汤，羌
活愈风汤治之。中藏痰涎昏冒，宜至宝丹之
类镇坠。若中血脉，中府之病，初不宜用龙
麝牛黄，为麝香治脾入肉，牛黄入肝治筋，
尤脑入肾治骨，恐引风深入骨髓，如油入面，
莫之能出，又不可一概用大戟芫花甘遂泻大
便，损其阴血，真气愈虚，方列于后：袖珍方
同。

麻黄 去节 人参 去芦 黄芩 去腐 芍药 甘
草 炙 川芎 杏仁 去皮尖炒 防己 官桂 各一两
防风 一两半 附子 炮，去皮脐，半两

右十一味，除附子、杏仁外，为粗末，
后入二味和匀，每服伍钱，医林方五七钱。水一
盏^①，生姜五片，煎至一盏，去滓，稍热服。

袖珍方每服一两，生姜二片，水二盏，煎至一盏，去滓通口服。食
前。始^②治中风，不审六经之形证加减，虽

治与不治无异也。内经云：腠理开则淅然
寒，闭则热而闷。知暴中风邪，宜先以加减
续命汤药证治之。若中风无汗，恶寒，麻黄
续命汤主之。于本方中加麻黄防风杏仁一倍，
宜针太阳经至阴出血，昆仑举跻。中风
有汗恶风，桂枝续命汤主之，于本方中加桂
枝、芍药、杏仁一倍，宜针风府，已上二证，
皆太阳经中风也。中风无汗，身热，不恶寒，
白虎续命汤主之。于本方中加石膏二两，知
母二两，甘草一两。袖珍方、拔粹方石膏、知母一料中
各加二两，甘草加一倍。中风有汗，身热不恶风，袖
珍方不恶寒。葛根续命汤主之。于本方中加葛根
二两，袖珍方拔粹方一倍。桂枝、黄芩各一倍，宜
针陷谷，刺厉兑。针陷谷者，去阳明之贼邪，
刺厉兑者，泻阳明之实^③也。已上二证，皆
阳明经中风也。中风无汗身凉，附子续命汤
主之。于本方中加附子一倍，乾姜加二两，
甘草加叁两，袖珍方二两。宜针隐白，去太阴之
贼邪，此一证，太阴经中风也。中风有汗无
热，桂枝附子续命汤主之。于本方中加桂枝、
附子、甘草一倍，宜针太溪，此一证，少阴
经中风也。凡中风无此四经六证袖珍方、拔粹方作
四证六经。混淆，系于少阳厥阴。或肢节挛痛，
或麻木不仁，宜羌活连翘续命汤主之。于本
方中加羌活、连翘，小续命八两^④，羌活肆
两，连翘陆两。右古之续命，混淆无别，今
立分经治疗，又分各经针刺，无不逾也。治
法厥阴之井大敦，刺以通其经，少阳之经绝
骨，灸以引其热，此通经引热，是针灸同象，
治法之大体也。

① 盏：卫生宝鉴此下有“半”字。

② 始：卫生宝鉴作“凡”。

③ 实：卫生宝鉴此下有“热”字。

④ 羌活、连翘、小续命八两：卫生宝鉴无此九字。

大秦芎汤：治中风外无六经之形证，内无便溺之阻隔，是知为血弱不能养于筋，故手足不能运动，舌强不能语言，宜此药养血而筋自荣也。

秦芎 石膏各二两 甘草 川芎 当归 芍药 拔粹方、袖珍方白芍药 羌活 独活 防风 黄芩 白术 白芷 茯苓 拔粹方、袖珍方、玉机微义白茯苓 生地黄 熟地黄 各一两 细辛 半两

右十六味咬咀，每服一两，水二盏煎至一盏，去滓，温服，无时，如遇天阴，加生姜七片煎，如心下痞，每服一两加枳实一钱煎，此是秋冬药，如春夏，加知母一两。

凡中风外有六经之形证，先以加减续命汤，随证治之，内有便溺之阻隔，复以三化汤导之。

厚朴姜制 大黄 枳实 羌活 各等分

右四味咬咀，每服叁两，水三升，煎至一升半，终日服，以微利则已。王氏集验方同。若内邪已除，外邪已尽，当服愈风汤，以行中道，久服大风悉去，纵有微邪，只从愈风汤加减治之。然治病之法，不可失于通塞，或一气之微汗，或一句之通利，如此乃常治之法也。久之清浊自分，荣卫自和矣。拔粹方、袖珍方、医林方同。玉机微义右锉，每服一两，水煎。

羌活愈风汤：疗肾肝虚，筋骨弱，语言难，精神昏愤，是中风湿热内弱者，是为风热体重也。或瘦一^①臂肢偏枯，或肥而半身不遂。或恐而健忘，喜以多思，思忘之道，皆精不足也。故心乱则百病生，心静则万病息，是以此药能安心养神，调阴阳，无偏胜。

玉机微义此下云：治中风内外无邪，服此药以行中道。经验秘方愈风汤：凡初觉风动，便服此药，不致倒仆，已病者常服之。同廉访经验。

羌活 甘草炙 防风 诸方去芦 防己 黄芪 诸方去芦 蔓荆子 川芎 独活 细辛 诸方去苗 枳壳 诸方麸炒去穰 麻黄 去根 地骨皮 诸方去骨 人参 诸方去芦 知母 诸方去皮 甘菊 薄荷 去枝 白芷 枸杞子 当归 诸方去芦 杜仲 炒，诸方或去须，或

去丝 秦芎 诸方去芦 柴胡 诸方去苗 半夏 诸方汤洗姜制 厚朴姜制 前胡 熟地黄 二十六味各二两 白茯苓 三两 拔粹方去皮 黄芩 三两 南北经验方去腐四两 生地黄 经验方三两 苍术 石膏 各四两 芍药 四两 经验方去皮、拔粹方、秘方、医林方、微义三两 桂 一两 拔粹方、经验方泔浸，医林方已上各随宜炮制

右三十三味，重七十五两，咬咀，每服一两，水二盏，煎至一盏，秘方煎至七分。去渣温服，如遇天阴，加生姜三片煎，空心壹服，临卧再煎渣服。袖珍方与经验方同。俱要食远，空心咽下二丹丸，为之重剂，临卧咽下四白丸，为之轻剂，立其法，是动以安神，静以清肺。假令一气而微汗，用愈风汤叁两，加麻黄一两，医林方一倍。匀作肆服，每服加生姜五七片，空心服，以粥投之，得微汗则佳。如一句之通利，用愈风汤叁两，加大黄一两，亦匀作肆服，医林方四五服。每服生姜五七片，临卧煎服，得利为度，此药常服之，不可失于四时之辅。如望春大寒之后，本方中加半夏、医林方半夏二两、通四两。人参、柴胡各二两，通前^②肆两，谓迎而夺少阳之气也。如望夏谷雨之后，拔粹方望夏之月半。本方中加石膏、黄芩、知母各贰两，拔粹方、医林方石膏二两、通六两、黄芩二两、通五两，知母二两，通四两。谓迎而夺阳明之气也。如季夏之月，本方中加防己、白术、茯苓各贰两，拔粹方、医林方防己二两、通四两，白术二两、茯苓二两、通五两。谓胜脾土之湿也。如初秋大暑之后，本方中加厚朴贰^③两，藿香一两，桂一两，拔粹方、医林方厚朴二两、通四两，藿香二两、桂一两、通二两。谓迎而夺太阴之气也。如望冬霜降之后，本方中加附子官桂各一两，当归二两，拔粹方、医林方附子^④□两、官桂^⑤□两、当归二两、通四两。谓胜少阴之气也。如得春气候，减冬所加药，四时加减类此，虽立此四时加减，更宜临病之

① 一：卫生宝鉴作“而”。

② 通前：卫生宝鉴作“木通”。

③ 贰：卫生宝鉴作“一”。

④ 附子：此下脱字，普济方卷一百十四诸风门引济生拔粹方作“一”。

⑤ 官桂：此下脱字，普济方卷一百十四诸风门引济生拔粹方作“一”。

际，审病之虚实，土地之所宜，邪气之多少，此药具七情六欲四气，无使五脏偏胜，及不动 按粹方反不动。于荣卫，如风秘服之则永不结燥，久泻服之，能自调适。初觉风气，能便服此药，及新方中天麻丸各一料，相为表里，治未病之圣药也。若已病者，更宜常服，无问男女老幼，小儿风痼，医林方此下有摘撰二字。急慢惊风，皆可服之，神效。如解利四时伤寒，随四时加减法服之，果如圣矣。玉机微义右每服一两，水煎，如微汗，加麻黄，如通利，加大黄，更有四时加减法。就以此汤咽下四白丹，清肺养魄；二丹元安神定志，和血，是动以安神，静以清肺。

四白丹：能清肺气，养魄，谓中风者多昏冒，气不清利也。

白术 南北经验方、袖珍方一两 砂仁 白茯苓 经验方、袖珍方一两 香附 袖珍方白附子 防风 川芎 各半两 甘草 人参 各半两 白芷 一两 羌活 独活 薄荷 各二钱半 医林方三钱半 藿香 医林方二钱 白檀香 各一钱半 知母 细辛 各二钱 甜竹叶 二两 麝香 一钱另研 医林方一字 龙脑 另研 牛黄 各半钱，另研

右二拾味为末，蜜丸，每两作十丸，临卧嚼一丸，分五七次，细嚼之，煎愈风汤 经验方、袖珍方愈风汤。咽下，能上清肺气，下强骨髓。按粹方同。

二丹丸 治健忘，养神、定志、和血，内以安神，外华腠理。

丹参 天门冬 熟地黄 各一两半 甘草 麦门冬 去心 白茯苓 各一两 按粹方茯苓、医林方茯神 人参 远志 去心 朱砂 各半两，研为衣，气宜保命集内有菖蒲 ^① 半 按粹方无

右十味为末，蜜丸，桐子大，朱砂为衣，每服五拾丸至一百丸，空心食前，煎愈风汤送下。常服安神定志，此治之法，一药安神，一药清肺，故清中清者，归肺以助天真，清中浊者，坚强骨髓，医林方血中。之清者，荣养于神，医林方血中。之浊者，荣华腠理尔。

中风杂说

风者能动而多变，因热胜 医林方因热而生热胜。则动，宜以静胜燥，是养血也。宜和，是行荣卫壮筋骨也。天麻丸主之，非大药不能治也。

附子 一两，炮 天麻 酒浸三宿，晒 按粹方、医林方 焙 乾 牛膝 酒浸一宿，焙 按粹方、医林方 酒浸三日，焙 草薢 另研为末 玄参 各六两 杜仲 七两炒 医林方六两，锉 炒去丝 当归 拾两全用 羌活 十两 或十五两 医林方十两，玉机微义十四两或十五两 生地黄 十六两 医林方十两 独活 五两 医林方无

右十味为末，炼蜜丸如桐子大，每服五七十丸，病大加至百丸，空心食前，温酒或白汤送下，平明服药，日高饥则食，不饥且止食，大忌壅塞，失于通利，故服药半月，稍觉壅塞，微以七宣丸疏之，使药再为用也。牛膝、草薢 强壮筋骨，杜仲使筋骨相著，羌活、防风 医林方天麻。治风之要药，当归、地黄 能养血和荣卫，玄参主用，附子佐之行经也。按粹方 天麻除风痹，牛膝强筋，玄参枢机管领，草薢壮骨，杜仲使筋骨相著，当归和养血，羌活去骨节间风，生地黄益真血，附子行诸经不止，独活去肾间风邪。如风痼病不能愈者，吐论厚朴丸，出洁古家珍，其本方后，另有此病加添药，如中风自汗昏冒，发热不恶风寒，不能安卧，此是风热烦躁，泻青丸主之；如小便少，不可以药利之，既自汗，津液外泄，小便内少，若利之，使荣卫枯竭，无以制火，烦热愈甚，俟热退汗止，小便自行也。兼此证属阳明经，大忌利小便，须当识此。

中风见证

泻青丸：治中风自汗昏冒，发热不恶寒，不能安卧，此是风热烦躁之故也。

当归 川芎 梔子 羌活 大黄 防风 龙胆草 各等分

右末，蜜丸弹子大，竹叶汤化下壹丸。

① 半：卫生宝鉴作“一”。

此方去梔子，加独活、防风、甘草、菊花、蝉退、川芎，丸服。

凡人初觉大指次指麻木不仁，或不用者，三年内有中风之疾也。宜先服愈风汤、天麻丸各壹料，此治未病之先也。是以圣人治未病，不治已病。

中风人多能食，盖甲己化土，脾盛故能多食，由此脾气愈盛，下克肾水，肾水亏则病增剧，宜广服药，不欲多食，病能自愈。

中风病多食者，风木盛也。盛则克脾土，脾受敌则求助于食。经曰：实则梦与，虚则梦取是也。当泻肝木，治风安脾，脾安则食少，是其效也。

中风人初觉，不宜服脑麝，恐引风气入骨髓，如油入面，不能得出。如痰涎潮盛，不省人事，烦热者，宜用之下痰，神效。

独圣散：治诸风膈实，诸痢痰涎，津液壅，杂病亦然。

右瓜蒂一味，不拘多少，锉如麻豆大，炒令黄为末，量病人新久虚实大小，或壹钱，或貳钱末，用茶壹钱，酸薑汁水壹盏，调下，须是病人隔夜不食，晚食服药不^①吐，再用温薑水投之。寿域神方同。如吐风痼，加半钱全蝎炒。如湿肿，加赤小豆末壹钱。如吐虫，加狗油五七点，雄黄末壹钱，甚者加芫花末半钱，立吐其虫出。凡吐，须天色清明，阴晦不用，如病卒暴，不拘此法。吐时，辰巳午前为妙。内经曰：平旦至日中，天之阳，阳中之阳也。若论四时之气，故仲景大法春宜吐，是天气在上，人气亦在上，一日之气，则寅卯辰时也。故宜早不宜晚，此药不可常用，大要辨其虚实，实则瓜蒂散，虚则梔子豉汤，腹满加厚朴，不可一概用之。吐罢可服降火利气安神定志之剂。此方出气宜保命集。

风中血脉治验

太尉忠武史公，年六十八岁，于至元戊辰十月初，侍国师于圣安寺丈室中，煤炭火

一炉在左侧边，遂觉面热，左颊微有汗，师及左右诸人皆出，因左颊疏缓，被风寒客之，右颊急，口渴于右，脉得浮紧，按之洪缓。予举医学提举忽君吉甫专科针灸，先于左颊上灸地仓穴一七壮，次灸颊车穴二七壮，后于右颊上热手熨之，议以升麻汤加防风、秦艽、白芷、桂枝、发散风寒，数服而愈。或曰：世医多以续命汤等药治之，今君用升麻汤加四味，其理安在？对曰：足阳明经起于鼻，交頞中，循鼻外，入上齿中。手阳明经亦贯于下齿中，况两颊皆属阳明，升麻汤乃阳明经药，香白芷又行手阳明之经，秦艽治口噤，防风散风邪，桂枝实表而固荣卫，使邪不能再伤，此其理也。夫病有标本经络之别，药有气味厚薄之殊，察病之源，用药之宜，其效如桴鼓之应，不明经络所过，不知药性所主，徒执一方，不惟无益，而又害之者多矣。学者宜精思之。

秦艽升麻汤：治中风 玉机微义治风寒客。手足阳明经，口眼喎斜，恶风恶寒，四时拘急。微义此下云，脉浮紧。

升麻 葛根 甘草炙 芍药 人参各半两
秦艽 白芷 防风 桂枝各三钱

右咬咀，每服一两，水二盏，连须葱白三茎，长二寸，煎至一盏，去粗，稍热服，食后服药毕，避风寒处卧，得微汗出则止。

犀角升麻汤：治中风麻痹不仁，鼻额间痛，唇口颊车发际皆痛，口不可开，虽语言饮食亦相妨，左额颊上如糊急，手触之则痛，此足阳明经受风毒，血凝滞而不行故也。

犀角一两二钱半 升麻一两 防风 羌活各七钱
川芎 白附子 白芷 黄芩各半两 甘草二钱半

右为末，每服五钱，水二盏，煎至一盏，去粗，温服，食后，日三服。

足阳明者，胃也。经云：肠胃为市，如市廛无所不有也。六经之中，血气俱多，腐熟水谷，故饮食之毒，聚于肠胃，此方以犀

① 不：儒门事亲作“下”。

角为主，解饮食之毒也。阳明经络，环唇挟口，起于鼻，交额中，循颊车，上耳前，过客主人，循发际，至额颅，故王公所患，此一经络也。以升麻佐之，余药皆涤除风热，升麻，黄芩，专入胃经为使也。

风中腑兼中脏

顺德府张安抚，字耘夫，年六十一岁，于己未闰十一月初，患风证，半身不遂，语言蹇涩，心神昏愦，烦躁自汗，表虚恶风，如洒冰雪，口不知味，鼻不闻香臭，闻木音则惊怖^①，小便频多，大便结燥，若用大黄之类下之，却便饮食减少，不敢用，不然则满闷，昼夜不得瞑目而寐，最苦，于此约有三月余。凡三易医，病全不减，至庚申年三月初七日，又因风邪，加之痰嗽，噤^②干燥，疼痛不利，唾多，中脘气痞似噎。予思内经有云：风寒伤形，忧恐忿怒伤气，气伤脏乃病，脏病形乃应。又云：人之气以天地之疾风名之，此风气下陷入阴中，不能生法上行，则为病矣。又云：形乐志苦，病生于脉，神先病也，邪风加之，邪入于经，动无常处，前证互相出见，治病必求其本，邪气乃服^③，论时月则宜升阳，补脾胃，泻风木；论病则宜实表里，养卫气，泻肝木，润燥益元气，慎喜怒，是治其本也。宜以加减冲和汤治之方：

柴胡 黄芪 各五分 升麻 当归 甘草 炙各三分 半夏 黄柏酒洗 黄芩 人参 陈皮 芍药 已上六味各二分

右十一味咬咀，作一服，水二盏，煎至一盏，去粗，温服。如自汗，加黄芪半钱，嗽者，加五味子貳拾粒，昼夜不得睡，乃因心事烦扰，心火内动，上乘阳分，卫气不得交入阴分，故使然也。以朱砂安神丸服之。由是昼亦得睡，十日后，安抚曰：不得睡三月有余，今困睡不已，莫非他病生否？予曰：不然，卫气者，昼则行阳二十五度，夜则行阴亦二十五度，此卫气交入阴分，循其天度，

故安抚得睡也，何病之有焉！止则^④眼白睛红，隐涩难开，宜以

当归连翘汤洗之方：

黄连 黄柏 各五分 连翘 四分 当归 甘草 各三分

右作壹服，水二盏，煎至壹盏，去粗，时时热洗之。十三日后，至日晡，微有闷乱不安，于前冲和汤中，又加柴胡三分，以升少阳之气，饮三服，至十五日，全得安卧，减自汗恶寒躁热，胸膈痞，元小便多，服药之后，小便减少，大便一二日一行，鼻闻香，口知味，饮食如常，脉微弦而柔和，按之微有力，止则^⑤咽喉中妨闷，会厌后肿，舌赤，早晨语言快利，午后微涩，宜以

玄参升麻汤治之方：

升麻 黄连 各五分 黄芩 炒四分 连翘 桔梗 各三分 鼠粘子 玄参 甘草 白僵蚕 各三分^⑥ 防风 一分

右十味咬咀，作一服，水二盏，煎至七分，去粗，稍热噙嗽，时时咽之，煎^⑦证良愈，止则牙齿无力，不能嚼物，宜用

牢牙散治之方：

羊筒骨灰 升麻 各三钱 生地黄 黄连 石膏 各一钱 白茯苓 人参^⑧五分 梧桐律^⑨ 三分

右为极细末，入麝香少许，研匀，临卧擦牙后以温水漱之。

安抚初病时，右肩臂膊痛无主持，不能举动，多汗出，肌肉瘦，不能正卧，卧则痛甚，经曰：汗出偏沮，使人偏枯。予思内经云：虚与实邻，决而通之。又云：留瘦不移，节而刺之，使经络通和，血气乃复。

① 怖：卫生宝鉴作“悸”。

② 噤：卫生宝鉴作“咽”。

③ 服：卫生宝鉴作“覆”。

④ 则：卫生宝鉴作“有”。

⑤ 则：卫生宝鉴作“有”。

⑥ 三：卫生宝鉴作“二”。

⑦ 煎：卫生宝鉴作“前”。

⑧ 参：卫生宝鉴此下注有“各”字。

⑨ 律：卫生宝鉴作“泪”。

又言：陷下者灸之。为阳气下陷入阴中，肩膊时痛，不能运动，以火导之，火引而上，补之温之。已上证皆宜灸刺，谓此先刺十二经之井穴，于四月十二日，右肩臂上，肩井穴内，先针后灸二七壮，及至疮发，渐于枯瘦处，渐添肌肉，汗出少，肩臂微有力。至五月初八日，再灸肩井，次于尺泽穴各灸二十八壮，引气下行，与正气相接，次日臂膊又添气力，自能摇动矣。时值仲夏，暑热渐盛，以清肺饮子补肺^①，养脾胃，定心气。

白芍药 五分 人参 升麻 柴胡 各四钱 天门冬 麦门冬 去心 各三分 陈皮 二分半 甘草 生黄芩 黄柏 甘草 炙 各二分

右十一味咀咀，作一服，水二盏，煎至一盏，去粗，温服，食后。汗多者加黄芪五分，后以润肠丸治胸膈痞闷，大便涩滞。

麻子仁 另研 大黄 酒浸 各一两半 桃仁 泥子 当归尾 枳实 麸炒 白芍药 升麻^② 半两 人参 生甘草 陈皮 各三钱 木香 槟榔 各二钱

右十二味，除麻仁桃仁外，为末，却入二仁泥子，蜜丸桐子大，每服柴胡拾丸，温水食前送下。初六日得处暑节，暑犹未退，宜微收实皮毛，益卫气，秋以胃气为本，以益气调荣汤主之，本药中加时药，使邪气不能伤也。方：

人参 三分，臣 益气和中， 当归 二分，佐 和血润燥， 陈皮 二分，佐，去白 顺气和中 熟地黄 二分，佐 养血润燥、泻阴火， 白芍 四分，臣 补脾胃，微收，治肝木之邪， 升麻 二分，使 使阳明气上升，滋荣百脉， 黄芪 五分，君 实皮毛，止自汗，益元气， 半夏 泡，三分，佐 疗风痰，强胃进食， 白术 二分，佐 养胃和中，厚肠胃， 甘草 炙，二分，佐，引用 调和诸药^③，温中益气， 柴胡 二分，使 引少阳之气^④，出于胃中，乃风行于天上， 麦门冬 三分，去心，佐 犹有暑气未退，故加之，安肺气，得秋分节不用。

右十二味咀咀，作壹服，水二盏，煎至一盏，去粗，温服，忌食辛热之物，反助暑

气^⑤，秋气不能收也，正气得复而安矣。

风中腑诸方

大通圣白花蛇散^⑥： 方见和剂局方。

犀角防风汤： 治一切诸风，口眼喎斜，手足瞤拽，语言蹇涩，四肢麻木，并皆治之。

犀角 防风 甘草 炙 天麻 羌活 各一两 滑石 三两 石膏 一两半 麻黄 七钱半，不去节 独活 山梔子 各七钱 荆芥 连翘 当归 黄芩 全蝎 炒 薄荷 大黄 各半两 桔梗 半两 白术 细辛 各四钱

右二十味咀咀，每服五钱，水二盏，生姜十片，煎至壹盏，去粗，稍热服，未汗再壹服。如病人脏气虚，则全去大黄。

木香丸： 疏风顺气，调荣卫，宽胸膈，清头目，化痰涎，明视听，散积滞。

槟榔 大黄 煨 各二两 陈皮 去白，焙，一两 木香 附子 炮 人参 各一两 官桂 川芎 羌活 独活 三棱 炮 各半两 肉豆蔻 六箇，去皮

右拾贰味为细末，每料末贰两，入牵牛子，净末壹两，蜜丸桐子大，每服拾丸至拾五丸，临卧生姜橘皮汤下，此药治疗极多，不可具述。

续命丹： 治男子妇人，卒中诸风，口眼喎斜，言语蹇涩，牙关紧急，半身不遂，手足瞤拽，顽麻疼痛，涎潮闷乱，妇人血运血风，喘嗽吐逆，睡卧不宁。

川芎 羌活 南星 姜制 川乌 炮，去皮 天麻 白鲜皮 当归 防风 海桐皮 地榆 虎骨 熟地黄 朱砂 乌蛇 生 铅白霜 乾蝎 各一两 肉桂 一两 牛黄 雄黄 各三钱 轻粉 二钱或一钱 麻黄 去节，四两，以好酒三升，煮至一升^⑦，不用麻黄，用酒

右贰拾壹味为末，麻黄酒汁入蜜半斤^⑧

① 肺：卫生宝鉴此下有“气”字。

② 麻：卫生宝鉴此下注有“各”字。

③ 诸药：卫生宝鉴作“胃气”。

④ 气：卫生宝鉴此下有“使”字。

⑤ 气：卫生宝鉴作“邪”。

⑥ 大通圣白花蛇散：方见本书卷十九诸风门七。

⑦ 煮至一升：卫生宝鉴作“浸三昼夜”。

⑧ 斤：卫生宝鉴作“升”。

同熬成膏，和前药末，为丸弹子大，每服壹丸，豆淋酒下，或葱汁化下，不拘时候。张文叔传此二方，戊辰春，中书左丞张仲谦患半身不遂麻木，太医刘子益与服之，汗大出，壹服而愈，故录之。

疏风汤：治半身不遂麻木，及语言微涩，季春初夏宜服。拔粹方治半身不遂，肢体麻痹，筋骨疼痛。袖珍方同。

麻黄 三两去节 杏仁 炒^①去皮 益智仁 各一两 甘草 炙 升麻 各半两 拔粹方、袖珍方各五两

右伍味，㕮咀，每服伍钱，拔粹方一两。水壹小碗，煎至六分，去粗，温服。拔粹方热服，袖珍方每服一两，水二盏，煎至一盏，去渣，通口服。脚登^②热水葫芦，以大汗出，去葫芦不用。拔粹方袖珍方此下云：冬月不可。

趁风膏^③ 方见三因方。

风中脏诸方

活命金丹^④：治中风不语，半身不遂，肢节顽麻，痰涎上潮，咽嗑不利，饮食不下，牙关紧急，口噤，及解一切酒毒、药毒，发热腹胀，大小便不利，胸膈痞满，上实下虚，气闭面赤，汗后余热不退、劳病，诸药不治，无问男女老幼，皆可服之。方见御药院方。

至宝丹方：

辰砂 生犀 玳瑁 雄黄 琥珀 人参 六味各五两 牛黄 二两半 麝香 龙脑 各一两二钱半 天南星 二两半，水煮软，切片 银箔 二百五十片，入药 金箔 二百五十片，半入药，半为衣 安息香 五两，用酒半升，熬成膏 龙齿 二两，水飞

右十三^⑤味为末，用安息香膏，重汤煮烱搜剂，旋丸梧子大，每服三丸至五丸，人参汤下，小儿一两丸。

至圣保命金丹：治中风口眼喎斜，手足挛拽，语言蹇涩，四肢不举，精神昏愤，痰涎并多。

贯众 一两 生地黄 七钱 大黄 半两 青黛 板兰根 各三钱 朱砂 研 蒲黄 薄荷 各二钱半 珠子 研 龙脑 研 各一钱半 麝香 一钱，研 牛黄 二钱

半，研

右拾贰味为末，入研药和匀，蜜丸鸡头大，每服一丸，细嚼，茶清送下，新汲水亦得，如病人嚼不得，用薄荷汤化下，无时，此药镇坠痰涎，大有神效，用金箔全^⑥衣。

牛黄通膈汤：初觉中风一二日，实则急宜下之。

牛黄 研，三钱 朴硝 叁钱，研 大黄 甘草 各一两，炙

右肆味，除研药为末，每服一两，水二盏，除牛黄朴硝外，煎至壹盏，去粗，入牛黄朴硝，一半调服，以利为度，须动三五行，未利再服，量虚实加减。

呵子汤：治失音不语。

呵子 四箇^⑦，半生半炮 桔梗 一两，半生半炒 甘草 二寸，半生半炒

右叁味为末，每服五钱，用童子小便壹盏，煎五七沸，温服，甚者不过三服。

正舌散：治中风舌强语涩。

雄黄 研 医林方研水飞 荆芥穗 各等分

右为末，每服贰钱，豆淋酒 寿域神方黑豆淋酒。调下。医林方空心临卧调下。

茯神散：治证同前。

茯神心 炒，一两 薄荷 焙，二两 蝎梢 去毒，二分^⑧

右为末，每服壹贰钱，温酒调下。

胜金丹：治中风涎潮，卒中不语，合吐利者，当服此，吐利风涎。

青薄荷 半斤^⑨ 猪牙皂角 二两，同薄荷以水二升，揉取汁尽，用银石器内，慢火熬成膏 瓜蒂末 一两 朱砂 研，一两，留少许为衣 粉霜 半两，研 洛粉 一钱，水银重粉是

① 炒：卫生宝鉴无此字。

② 登：卫生宝鉴作“醒”。

③ 趁风膏：方见本书卷二十诸风门八。

④ 活命金丹：方见本书卷二十一诸风门九。

⑤ 三：按文义应作“四”。

⑥ 全：卫生宝鉴作“为”。

⑦ 箇：卫生宝鉴作“两”。

⑧ 分：卫生宝鉴作“钱”。

⑨ 斤：卫生宝鉴作“两”。

右以上四物研匀，入前膏，丙^①入臼内，杵叁貳千杵，丸如櫻桃大，以朱砂为衣，每服壹丸，酒磨下，急即研细，酒调灌之。癰中前如觉有证状，每于四孟月服壹丸自余^②。有病方可服。

分涎散^③ 方见御药院方。

风邪入肝 出许学士本事方

真珠丸^④：治肝经因虚，内受风邪，卧则魂散而不守，状如惊悸。方见得效方。

独活汤：

独活 黑者 人参 羌活 防风 前胡 细辛 沙参 五味子 白茯苓 半夏曲 酸枣仁 甘草 各一两

右拾貳味，哎咀，每服肆钱，水壹盏半，生姜三片，乌梅半箇，煎七分，去粗，温服，不拘时。绍兴癸丑，予侍^⑤次四明，有董生者，患神气不宁，卧则梦飞扬，虽身在床而神魂离体，惊悸多魔^⑥，通宵不寐，更数医无效，予为诊视之。询曰：医作何病治之？董曰：众皆以为心病。予曰：以脉言之，肝经受邪，非心也。肝经因虚，邪气袭之，肝藏魂者也。游魂为变，平人肝不受邪，卧则魂归于肝，神静而得寐，今肝有邪，魂不得归，是以卧则魂扬若离体也。肝主怒，故小怒则剧。董生欣然曰：前此未知闻也，虽未服药，似觉沉疴去体矣。愿求药治之。予曰：公且持此说，与众医议所治之方，而徐质之，阅旬日，复至云：医遍议古今方书，无与病对者，故予处此二方以赠之，服壹月而病悉除，此方以真珠母为君，龙齿佐之，真珠母入肝为第一，龙齿与肝同类故也。龙齿虎睛，今人例以为镇心药，殊不知龙齿安魂，虎睛定魄，各言其类也。东方苍龙，木也，属肝而藏魂，西方白虎，金也，属肺而藏魄，龙能变化，故魂游而不动，虎能专静，故魄止而能守，予谓治魄不宁者，宜以虎睛，治魄飞扬者，宜以龙齿，万物有成理而不说^⑦，亦在夫人达之而已。

中脏治验

真定府临济寺赵僧判，于至元庚辰八月间，患中风，半身不遂，精神昏愤，面红颊赤，耳聋鼻塞，语言不出，诊其两手六脉弦数，尝记洁古有云：中脏者多滞九窍，中腑者多著四肢，今语言不出，耳聋鼻塞，精神昏愤，是中脏也。半身不遂，是中腑也。此脏腑俱受病邪，先以三化汤壹两，内疏三两行，散其壅滞，使清气上升，充实四肢。次与至宝丹，加龙骨、南星，安心定志养神治之，使各脏之气上升，通利九窍，五日，音声出，语言稍利，后随四时脉证加减，用药不旬^⑧，即稍能行步，日以绳络其病脚，如履阈或高处，得人扶之，方可踰也。又刺十二经之井穴，以接经络，翌日不用绳络，能行步，几百日大势皆去，戒之慎言语，节饮食，一年方愈。

治风杂方

祛风丸：有人味喜咸酸，饮酒过多，色欲无戒，添作成痰饮，聚于胸膈，满则呕逆、恶心、涎流，一臂麻木，升则头目昏眩，降则腰脚疼痛，深则左瘫右痪，浅则蹶然倒地。此药宽中祛痰，搜风理气，和血驻颜，延年益寿。

半夏 姜杵作饼，阴乾 荆芥 各四两 槐角子 麸炒黄 白矾 生用 陈皮 去白 朱砂 研。各一两，一半为衣

右陆味为末，生姜汁打糊为丸，桐子大，每服叁拾丸，生姜、皂角子仁汤送下，日貳服，早晨临卧服。

轻骨丹：主中风瘫痪，四肢不遂，风痹等疾。

苦参 三两半 桑白皮 土下者 白芷 苍术

① 丙：卫生宝鉴作“内”。
② 余：卫生宝鉴作“愈”。
③ 分涎散：方见本卷引御药院方二。
④ 真珠丸：方见本卷引得效方风科，虚证。
⑤ 侍：卫生宝鉴作“待”。
⑥ 魔：卫生宝鉴作“魔”。
⑦ 说：卫生宝鉴作“失”。
⑧ 旬：卫生宝鉴作“勾”。

甘松 另用^①□子挺者 川芎 各四两 麻黄 锉去节,五两^②,
用河水三升,煮至一升,去粗,熬成膏

右七味为末,入前麻黄膏,和丸弹子大,
每服壹丸,温酒壹盏,研化温服之,卧取汗,
五七日间再服,手足当即轻快,卒中涎潮分
利涎后用之。

当归龙胆丸: 治肾水阴虚,风热蕴积,
时发惊悸,筋惕搐搦,神志不宁,荣卫壅滞,
头目昏眩,肌肉痠痠,胸膈痞满,咽嗑不利,
肠胃燥涩,小便淋闭,筋脉拘急,肢体痿弱,
暗风痼病。常服宣通血气,调顺阴阳,病无
再作。

当归 龙胆草 大梔子 黄连 黄柏
黄芩 各一两 大黄 芦荟 青黛 各五钱 木香 二钱
半 麝香 五分,另研

右拾一味为末,蜜丸小豆大,每服二拾
丸,姜汤送下,食后。张文叔传此方。

风药圣饼子: 治男子妇人,半身不遂,
手足顽麻,口眼喎斜,痰涎壅盛,及一切风,
他药不效者。小儿惊风,大人头风,洗头风,
妇人血风,并皆治之。

川乌生 草乌生 麻黄 去节。各一两 白芷 二两
苍术 何首乌 川芎 白附子 白僵蚕 各五钱
防风 乾姜 藿香 荆芥 各二钱半 雄黄 一钱六分

右拾肆味为末,醋糊丸,如桐子大,捻
作饼子,每服贰饼,嚼碎茶清送下,食后服。

乌荆丸^③ 方见和剂局方。

搜风润肠丸: 治三焦不和,胸膈痞闷,
气不升降,饮食迟化,肠胃燥涩,大便秘难。

沉香 槟榔 木香 青皮 陈皮 京三
棱 槐角 炒 大黄 酒煨 萝卜子 炒 商^④壳去穢,
炒 枳实 麸炒。各半两 郁李仁 一两,去皮

右拾貳味为末,蜜丸如桐子大,每服五
陆拾丸,热白汤送下,食前,常服润肠胃,
导化风气。

澡洗药: 治一切诸风,及遍身瘙痒,
光泽皮肤,可常用。

乾荷叶 三十二两 葳灵仙 十五两 瑞竹堂方,袖珍
方一斤 蒿本 十六两 零陵香 十六两 茅香 十六两

藿香 十六两 甘松 白芷 各八两

右捌味为粗末,每服貳两,生绢袋盛水
貳桶,约肆斗,煎四五沸,堂方数十沸,袖珍方数沸。
放热于无风处,淋渌洗了,避风少时,如水
冷,少时更添热汤,斟酌得所使用,勿令添
冷水,不添药末。

拈痛散: 治肢节疼痛,熨烙药。

羌活 独活 防风 去芦叉 细辛 肉桂
白术 良姜 麻黄 不去节 天麻 去苗 川乌 生用去
皮 葛根 吴茱萸 乳香 研 小椒 去目 全蝎 生
用 当归 去苗。各一两 川姜 生,半两

右拾七味为粗末,入乳香研匀,每抄药
拾钱,痛甚者拾五钱,同细盐一升炒令极热,
熟绢袋盛,熨烙痛处,不拘时,早晚频用,
药冷再炒一次,用毕甚妙,药不用。

破伤风诸方

乌梢散: 治破伤风及洗头风,神效方。

乌梢蛇 酒浸一宿,去骨,六钱 外科精义酒浸三夜,去
骨,火上炙黄色,五钱 麻黄 去节,一两 精义一钱 草
乌 切开内百^⑤ 蜜姜 黑附炮 川芎 白附 天
麻 各半两 蝎梢 二钱半

右为末,每服一钱,热酒调下,日三服,
重者三五日见效。精义此下云:此证只宜早治,但邪气入
脏则难治。

四般恶证不可治,第一头目青黑色,第
二额上汗珠不流,第三眼小目瞪,第四身上
汗出如油。

朱砂丸: 治破伤风,目瞪口噤不语,
手足搐搦,项筋强急,不能转侧,发则不识
人方。

朱砂 研 半夏 先^⑥ 川乌 各一钱 凤凰台 三
钱 雄黄 五分 麝香 一字

右为末,枣肉丸如桐子大,每服壹丸或

① 用: 此下脱字,卫生宝鉴作“梔”。

② 五两: 卫生宝鉴作“往返”。

③ 乌荆丸: 方见本书卷十九诸风门七。

④ 商: 卫生宝鉴作“枳”。

⑤ 百: 卫生宝鉴作“白”。

⑥ 先: 卫生宝鉴作“洗”。

貳丸，冷水送下，以吐为度。

天麻丸：治破伤风，神效不可言。

天麻 川乌 生、去皮。各三钱 草乌 生 雄黄
各一钱

右为末，酒糊丸，如桐子大，每服拾丸，
温酒送下，无时。寿域神方同。

疔 风 证

内经云：脉风成疔，此疾非止肺肾脏
有之，以其病发于鼻，俗呼为肺风也。鼻准
赤而①胀大，乃血随气化也。气既不施则血
聚，血聚则肉烂而生虫，此属厥阴，前痔②
之论详矣，肉中生虫③，□□赤大，以药疏
之，可用局方升麻汤，下钱氏泻青丸是也。
余病各随经而治之。拔粹方同。疔风成癰，桦皮
散主之。此药出局方，从少至多，服五七月
后，灸承浆七壮，疮愈药④灸，病愈再灸，
同止⑤。

桦皮散：治肺脏“风毒，遍身疮疥，
及癰疹痒痒。

杏仁 去皮尖，用水一碗，煎令减半，取出令乾，另研
荆芥穗 各二两 枳壳 去穢，用炭火烧存性 桦皮 烧存性。
各四两 甘草 炙，半两

右五味为末，每服貳钱，食后温酒调下，
日进叁服 拔粹方治肺脏风毒，遍身疮疥，
及癰疹痒痒成疮，面上风刺粉刺。桦皮 四两，
烧灰 荆芥穗 二两 杏仁 二两，去皮尖，用水一碗，于银
器内热去水一半 已来，放令乾用 炙甘草 半两 枳壳 四
两，去穢，用炭火烧欲灰，于湿纸上令乾 右件除杏仁外，
余药为末，将杏子另研，与诸药和匀，磁合
内放之，每服三钱，食后温水调下。玉机微义同。

凌霄散：治疔风神效。

蝉壳 地龙 炒 僵蚕 全蝎 各七箇 凌霄
花 半两

右为末，每服二钱，热酒调下，无时，
于浴室中常存汤中一时许，服药神效。拔粹方，
玉机微义同。

四圣保命丹：

大黄 半两 黄柏 半斤 苦参 荆芥 各四两 蛤

蟆 一箇，烧灰

右为末，蜜和匀，分作壹百貳拾丸，每
服壹丸，温酒送下，食远，日叁服，忌肉酱。

祛风散：

大蚕砂 五升，筛净水淘二遍，控^⑦乾 东行 蝎虎
一条，焙乾，白面四斤或五斤拌蚕砂^⑧为络索，曝乾

右^⑨每服一貳合，熬柏叶汤调服，食前，
日叁服。

柏叶汤：

东南枝上摘柏叶一秤，水壹桶，煮叁沸，
去粗，瓮盛起，旋熬蚕砂调服，初服苦涩，
三五日后甜，十日四肢沉重，便赤白痢，壹
月后发出疮疙瘩，四拾日后疮破用。

乌龙散：

倒悬青灰二钱 乌鸡子皮，用柏油调搽于
破疮疙瘩上。

神效天麻汤：治疔风。

胡麻 半斤^⑩，研 天麻 二两 乳香 七钱半，研
右为末，每服五钱匕，腊茶调下，日叁
服，服半月，两腰眼灸四拾壮，忌动风物。

换肌散：治大风年深久不愈，以至眉毛
堕落，鼻梁崩塌，拔粹方、玉机微义崩坏。额颅肿破。

白花蛇 黑乌蛇 各酒浸一宿 地龙 去土。各三两
蔓荆子 蕨灵仙 荆芥 甘菊花 沙苑蒺藜
苦参 紫参 沙参 甘草 炙 不灰木 木贼
九节菖蒲 天门冬 赤芍药 定风草 微义寒风草
何首乌 各三两 胡麻子 炒黄 木鳖子 草乌 去皮
苍术 微义泔浸去皮 川芎 以上二十四味各三两 微义各一两
天麻 二两 微义一两 细辛 当归 白芷 各一两

右貳拾玖^⑪味为末，每服伍钱匕，温酒调
下，食后，酒多为妙，服至逾月，取效如神。

① 而：卫生宝鉴作“肿”。

② 痔：卫生宝鉴作“证”。

③ 虫：此下脱字，卫生宝鉴作“鼻准”。

④ 愈药：卫生宝鉴作“轻再”。

⑤ 止：卫生宝鉴作“上”。

⑥ 脏：卫生宝鉴作“瘡”。

⑦ 控：卫生宝鉴作“晒”。

⑧ 妙：卫生宝鉴作“砂”。

⑨ 右：卫生宝鉴此下有“为末”二字。

⑩ 斤：卫生宝鉴作“升”。

⑪ 玖：卫生宝鉴作“八”。

如圣散： 淋洗大风疾，大有神效。

顽荆子 苦参 玄参 袖珍方无 紫参 厚朴 荆芥 沙参 陈皮 麻黄 去节。各一两 蔓荆子 防风 白芷 葳灵仙 各二两 桃柳枝 各一把

右为末，水五升，药叁钱，煎数沸，临卧热洗之。袖珍方服之。忌酒、湿面、五辛之物。拔粹方同。

醉仙散： 治大风疾，遍身瘾疹，痒痒麻木。

胡麻子 蔓荆子 牛蒡子 枸杞子 各半^① 两，一处同炒 玉机微义各一两 白蒺藜 袖珍方无白字 苦参 瓜蒌根 袖珍方无 防风 各半两 轻粉 少许 微义一钱，袖珍方花粉半两

右为末，每服壹钱，茶清壹盏调下，袖珍方、拔粹方、微义每用十五钱，入轻粉一处拌匀空心，日午、临卧，各壹服，服后五七日，先于牙缝内出臭涎，浑身疼痛，微义此下有昏闷如醉四字。次后便利脓血，病根乃去。 金匱钩玄：牛蒡子、蔓荆子、枸杞子、胡麻仁、各半两，已上四味，同为粗末，炒紫色为度。白蒺藜、苦参、天花粉、防风 各半两 右八味同为细末，每一两半，入轻粉二钱，拌匀，大人用一钱，空心日午临卧各一服，淡茶汤下，服后五七日间，先于牙齿缝内出臭涎水，浑身觉疼，昏闷如醉，利下恶臭屎为度，量大小虚实，加减与之。证候重而急者，须先以再造散下之，候补养得还，复可与此药，服此药须断盐、酱、醋、诸般鱼、肉、椒料，果木、煨烧炙煨等物，止可淡粥及煮熟时菜，亦须淡吃，茄亦不可食，唯有乌梢花蛇可以淡酒煮熟食之，以助药力。

加减何首乌散： 治紫白癜风，筋骨疼痛，四肢少力，眼断白人，鼻梁崩塌，皮肤疮疥及手足皴裂，睡卧不稳，步履艰辛。

何首乌 蔓荆子 石菖蒲 荆芥穗 甘菊花 枸杞子 葳灵仙 苦参 各半两

右为末，每服叁钱，蜜茶调下，无时。

戊寅岁正月，段库使病大风，满面连颈

极痒，眉毛已脱落，须以热汤沃之则稍缓，昼夜数次沃之，或砭刺亦缓。先师曰：脉风者疔风也。荣卫热附，其气不清，故使鼻柱坏，皮肤色败。大风者、风寒客于脉而不去，治之当刺其肿上，以锐针针其处，按出其恶气，肿尽乃止，常食方食，勿食他食，宜此补气泻荣汤治之。此药破血散热，升阳去痒，泻荣，辛温散之，甘温升之，以行阳明之经，泻心火，补肺气，乃正治之方。

升麻 连翘 各六分 玉机微义各六钱 桔梗 五分 黄芩 四分 生地黄 四分 苏木 黄连 黄芪 全蝎 各三分 人参 白豆蔻 各二分 甘草 一分半 地龙 三分 桃仁 三箇 蟾虫 去足翅，三箇 胡桐泪 一分，研麝香 少许，研 当归 三分 水蛭 三箇，炒通尽

右拾玖味，除连翘别锉，胡桐泪研，白豆蔻为末，麝香、蟾虫、水蛭令为末，余药都作壹服，水贰盏，酒壹盏，入连翘同煎至一盞，去粗，微义都作一服，水二盏，煎入酒一盞，至一盞六分、入连翘煎，去滓。再入胡桐泪、白豆蔻二味末，并麝香等，再上火煎至七分，稍热服，早饭后午饭前服，忌酒面生冷硬物。

头风论并方

肝经风盛，木自摇动。 尚书云：满招损。 老子云：物壮则老，故木凌脾土，金来克之，是子来与母复仇也。使梳头有雪皮，见肺之证也。肺主皮毛，大便实，泻青丸主之。虚者，人参消风散主之。

人参消风散^② 龙脑芎犀丸^③ 清神^④ 散^⑤ 方并见和剂局方。

雷 头 风

清震汤： 治头面疙瘩肿痛，憎寒发热，四肢拘急，状如伤寒。

① 半：卫生宝鉴作“一”。

② 人参消风散：方见本书卷十九诸风门七。

③ 龙脑芎犀丸：方见本书卷十九诸风门七。

④ 清神：卫生宝鉴作“神清”。

⑤ 清神散：方见本书卷十九诸风门七。

升麻汤^① 一两 苍术 一两 荷叶 一箇全，一方荷
叶一箇，烧，研细，煎药，调服亦可

右咬咀，每服五钱，水壹盏半，煎至七
分，去粗，温服，食后。雷头风诸药不效者，

证与药不相对也。夫雷者，震卦主之，震仰
盂，故药内加荷叶，象其震之形状，其色又
青，乃述类象形也。

① 汤：卫生宝鉴无此字。

诸 风 门十一

澹 寮 方

中 风

星香饮：治中风有热，气实者服之。

天南星 汤炮七次，八钱 木香 一钱

右咬咀，分貳服，每服用生姜七片，水一盞半，煎至一盞，温服。

附香饮：

生附子 八钱重 木香 一钱重

右如前方，加生姜煎，但既用附子，则气虚者及平日宜于附子，方可骤服，若审是挟热而大小便不通者，不可多也。易简方谓可以天雄代附子。

大星附汤：治风中腑而脉虚浮数，痰涎昏冒，喎斜，牵掣不遂等证。

天南星 半夏 二味切片，姜汁浸 黑附子 白附子 川乌 三味生，去皮 白僵蚕 洗炒 白茯苓 去皮 人参 没药 研

右等分，并咬咀，每服三钱，水酒各一盞，同煎至八分，热服，令微汗出即差。

三公散：治诸口眼喎斜。

蜈蚣 一蜜炙，一酒浸，一纸裹煨熟，共三条，各去屎 南星 三箇，每箇切作四段，逐箇如蜈蚣法制 白芷 半两

右为细末，入真麝香少许，热酒调一钱，食后服。

有男子年六十，脚生疮，因食肉不安，医利得愈，时出外中风，汗出头面暴肿紫黑色，多睡，耳轮上有浮胞小疮，黄汁出，乃与小续命汤，倍加羌活，服之而愈。本草序例。

又有人五七年病右手筋急拘挛，言语稍迟，左手上二部，右手下二部脉弦紧，与小续命汤加薏苡仁一两，以治筋急，减黄芩、

人参、芍药各半，以避中寒，杏仁只用百五粒，后云尚觉大冷，减前三味，加当归一两，果遂安愈。同上。活人书小续命汤，分两不同，主治中风及脚气痹弱，不能转侧，小儿慢惊，用水一盞半，煎取药汁一盞，入生姜汁，再煎一二沸，日三夜二服。柔痉自汗，去麻黄，夏间及有热证者，减桂一半，冬及春初去黄芩。崔氏外台无防己。庞安常小续命汤尤妙，录全方于后：

麻黄 去根节，一两，气实者全用，气虚者用一半，以威灵仙代一半 木香 一两，不火 砂仁 一两 人参 去芦，一两 芍药 一两 甘草 炙，一两 杏仁 去皮尖，炒，一两 汉防己 一两 桂心 去粗皮，一两 北防风 一两半 附子 炮，去皮脐，半两 川乌 炮，三分 白芍药 一两 黄芩 七钱 中 独活 一两

右为咬咀，每服叁钱半，生姜五片，枣子一枚，煎至柒分，去滓，食前温服。主治半身不遂，口眼喎斜，手足战掉，语言謇涩，肢体麻痹，神思昏乱，头目眩重，痰涎壅盛，筋脉拘挛，屈身转侧不便，涕唾不收，但是诸风，服之作效。

皂角煎：治肾脏风毒，应腰脚走注，及下注疮，大便风秘等。

大皂角 去皮弦，槌碎，浸煮去滓，炼膏。一法只以净皂角末，煮膏 石菖蒲 洗 章柳根 洗 赤小豆 黑豆 炒，各四两 川乌 炮，去皮尖 草乌 同上，各二两 五灵脂 半两

右为末，以前皂角膏为圆，每服二十圆，盐酒吞下。

趁痛圆①：治走注历节，诸风软痛，

① 趁痛圆：方见本书卷二十二诸风门十。

卒中倒地，跌扑伤损。方见得效方。

定痛圆：

草乌 苍术 晚蚕沙

右为末，酒糊为圆，赤土为衣。

养肾散：治腰脚筋骨间疼痛，不能步履，其效如神。

苍术 去粗皮，一两 乾蝎 洗去土，半两 天麻 三钱
草乌 生，去皮脐 黑附子 炮，去皮脐，各二钱

右为细末，拌和，肾气豆淋酒调一大钱。豆用黑大豆，能除去腰脚筋骨疼痛，其效如神，药气所至，麻痹少时，须臾，疾随药气顿愈。如是骨髓中痛，用胡桃酒调此药，伤寒中风皆治。百一选方载：忠州太守陈逢原，因暑中取凉食瓜，至秋忽然右腰腿间疼痛，连及膝胫，曲折不能，经月，右脚艰于举动，凡治腰脚药，服之无效，得此养肾散，才一服，移刻举身麻痹，不数服，脚能屈伸，再一服，即康宁。又本州监酒，年四十，虚损

两脚不能行步，进此药二服，迤邐可行，三服驰走。卢祖常易简方纠缪谓：有子弟者，忽两足拳连，腰疼楚，脉弦紧甚，此证两感，寒多于风，只投百一选方养肾散，随效。惠倅李奉议亦尝谓余曰：其家曾有妇人，腰脚不能转动，用此药即效，皆风寒两感也。

天南星散：治破伤风，游入四肢，强硬口不能言。

天南星 生用 防风 去芦，生用 草乌头 生，去皮尖。各二两半 蜈蚣 一条，全者去头足，炙黄

右为细末，每服一钱，热酒调下。

追风散：治破伤风。

蝉退 去土，不以多少

右件为细末，掺在疮口上，毒气自散。

醒风汤：治卒中风倒地，牙紧眼闭者。

以皂角搯碎，泡汤八分碗，吴氏集验方八分半碗。令浓，入透明白矾二钱，挑牙关开灌之，以鹅毛扫药上舌，痰出即愈。

居家必用

麝香膏：凡医中风证，如初觉中风，切勿妄投寒凉之剂，若寒药入腹，不惟使血脉凝涩，遂为废人，或寒凉过多，使真气先脱，深为可戒，但先与真好香之麻油，调麝香末二钱，仍别研青州白圆子百馀粒，同二味灌之，药一下咽，风便慢，涎便下，方可进药，此要法也。然后用大川附子一只，重七八钱者，右用黑豆汁两盏半，同附煎至一盏，漉去附子，只服豆汁，第二日将先煮过附，切作两半片，再用黑豆汁两盏，煎至七分一盏，又漉出附子，只服豆汁，第三日将附子切作四片，用豆汁依前煎服，第四日将附子切作四块，依前煎服毕，将附子焙乾，碾为极细末，用豆汁调，分作三服，服之病去七八矣，别为调理。

愈风丹：治癰疾，大有神效。

皂荚 一斤，不蛀者，去皮弦，锉作四指许，无灰酒浸一宿，漉出，用新汲水一碗，捶作浓汁，滤去滓，以铍石少器，慢火熬成膏子，苦参 四两，为细末 土蝮蛇 一条，又名摘口倒，又名种金头，又名地鼈，南人俗呼曰饭锹头，头尾全用，荫干，为细末

右同前药以皂角膏子，丸如桐子，每服七八十丸，空心，用通圣散一两煎，如常法送药，日进二服，服三日后，入浴，出大汗一遍，重者不过服三次。如病小者，用乌梢蛇，或白花蛇各一条亦得。如病人脏腑软，通圣散内去大黄、芒硝。忌房室事、湿面、猪肉一切动风之物。本草云：蝮蛇肉酿酒，疗癰病，诸痿心腹下痛，结气可服，如无此疾，切不可乱服。

必用全书

诸风证

加减青州白圆子：治痰嗽，诸风。张良甫左丞常服。

齐州半夏 南星 去浮皮 川乌 去皮脐，三只 天麻 全蝎 去毒。各二两

右件将前三味水浸软，切作片子，用生绢袋盛，水盆浸之，春六夏三秋七冬十，每日一换水，白日曝，夜露，搭了曝乾，同天麻、全蝎为末，用糯米粥清为丸，桐子大，每服必用之书此下有五七丸三字。或十丸、十五丸，生姜

汤下，食后临卧服。

头风

八味顺气散方同前。头风无痰不发故也，服此愈。

珍珠散：治偏正头疼，眼疼，牙疼，并皆治之。

米珠一字 桂府滑石二两 没药半两 乳香半两 马牙盆硝一两 麝香 脑子各少许

右为极细末，每用一字，噙水，鼻中吹之，妇人童子吹，男子女儿吹。

必用之书

杂类

治白癩风方：

生姜蘸硫黄，于上擦之，即愈。

王氏集验方

治诸风

全蝎散：治偏正头疼，一切头风，两太阳穴疼，不可忍者。

川乌炮 草乌炮。各半两 麻黄一两半 川芎 防风 羌活 各一两 地龙去土 雄黄各三钱 全蝎 十介

右为极细末，每服半钱重，食后睡时茶清调下，仍以少许贴太阳穴。一方加苍术、细辛尤妙。

乌术丸：治一切伤风头疼，手足疼痛，及伤损筋骨疼痛。

苍术四两，不去皮 草乌四两，不去尖 生姜四两 葱连须四两

右一处插烂，煮三宿，夏一宿，焙乾为

细末，面糊丸，如梧桐子大，每服二十丸，葱汤送下，服药忌食热物，饷顷。

神圣饼：治一切头风。

天麻去芦 细辛去叶并土 当归去芦 南木香 人参 川芎 防风 香白芷各半两 川藜芦三钱 粉草

右为末，薄糊为剂，捏成饼子，每服三五饼，细嚼，茶清下，就用蜜粘一饼，贴太阳穴。

神仙解语丹：治心脾经受风，言语蹇涩，舌强不转，永类钤方此下云：半身不遂。涎唾溢盛，乃疗淫邪搏阴，神内郁塞，心脉闭滞，暴不能言。

白附子炮 石菖蒲去毛 远志去心，甘草水浸十沸 天麻 全蝎 酒炒铃方去毒 羌活 白僵蚕炒

南星 牛胆酸，如无，只炮。各一两 木香 半两

右为末，面糊为丸，如梧子大，量入辰砂为衣，每服二十丸至三十丸，生薄荷汤吞下，无时候。

中风口面喎斜 以石灰，向右即于左边涂之，向左即于右边涂之，才正如旧，即须以水洗下，大妙。

又方皂角膏：皂角煮成膏，如前贴洗。

治瘫痪风，手足弹曳，口眼喎斜，语言蹇涩，履步不正，乌头丸：

乌头去皮脐，五灵脂各五两，为末，入龙脑、麝香，研令细匀，滴水丸如弹子大，每服一丸，先以生姜汁研化，次暖酒服之，日两服，空心晚食前服，一人只叁拾丸，服得五七丸，便觉抬得手，移得步，十丸可以自梳头。

青州白丸子（陈书林方）：

大半夏 汤洗七遍 白附子 洗炮 川乌 炮，去皮脐 天南星 洗炮 天麻 全蝎

右等分细末，生姜自然汁煮糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，食后茶清下，熟水亦得。如瘫痪风，温酒下，日进三服。常服永无风痰膈塞之疾。小儿惊风，薄荷汤化下贰丸。国初青州谢家有老人，游山中，见异人对奕，老人旁观，久之，奕者曰：汝饥否？曰：然。遂指桃树，汝食之，此老人摘一颗，食已腹饱，少顷欲归，异人曰：汝家已更两世，今虽还家，子孙亦不复识，旦为我守此门，若有变怪，切不可开，异人遽起不见，良久，但闻丝竹之声，簪簪而来，老人开户视之，则异人已对坐于门外，曰：吾固戒，汝不从吾言是无分也。今有数方，授汝归，使子孙售于世，可以致富，遂将老人推出，堕于老人之宅，子孙惊怪，奔告邻里，里人曰：汝家八十年前大父入山，寻不见，即此老人也。子孙方信，以方鬻之，果为润屋。至仁庙时，有旨令其家上白丸子方，

其家深恐其间药不便于至尊服饵，遂易之以进。其后子孙有为房陵宰者，亲与番阳余童端学言其事，且传真方。余时职教房陵，辛丑岁中秋，王少愚以郡檄至传其所闻，因笔之，余得之，今浙漕叶景夏服之，果异于常者。

治睡中风吹手足，或酸或疼或肿。用炒热盐，徐徐熨之，微有汗出，即愈。陈书林余来武昌，舟中睡著，为风所吹，右臂酸肿，叩之梢人云：用盐熨之，两日而愈也。

治大风疾：枫木子烧灰，存性，研细，罗过，与轻粉等分，同麻油调涂，如湿乾掺之。轻验良方同。

治大风癩痢，头风湿痹，毒在骨髓，苍耳散：

苍耳壹味，以三月以后，七月以前刈，日乾为散，夏水服，冬酒服，日二服，丸服二十、三十丸，散服一二匕，服满百日，病当出如痂疥，或痒汁出，或斑駁甲错皮起，后乃皮落，肌如凝脂，令人省睡，除诸毒螫，杀疳湿蟹，久服益气，耳目聪明轻建^①，强志，主腰膝中风毒尤良。忌食猪肉、米泔，亦去狂狗毒。医林方治大风，或三月或七月，采苍耳叶阴乾，为末，每服五钱，蜜水调下。

治偏头疼，草拨散：

草拨一味，研细，每用一字，左疼吹右鼻，右疼吹左鼻效。卫生易简方治偏头风，用草拨为末，令患者口中含，左边痛左鼻吸一字，右边痛右鼻吸一字，甚效。

芎辛汤：治风寒在脑，或感邪湿，头重痛，眩暈欲倒，呕吐不定。

川芎一两 细辛 白术 甘草 炙。各半钱

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，茶芽少许，煎至七分，去滓温服，不拘时候。

① 建：按文义应作“健”。

拔粹方

天麻丸^①：行荣卫，壮筋骨。方见伤寒门。如风痼病，不能愈者，吐论后厚朴丸治之；如中风自汗，昏冒发热，不恶风寒，不能安卧，此是风热烦，泄青丸主之；如小便不利，不可以药利之，既以自汗，则津液外亡，小便自少，若利之，使荣卫枯竭，无以制火，烦热愈甚，当候热退，汗止，小便自行也。

破伤风证

夫风者，百病之始也。清静则腠理闭拒，虽有大风苛毒，弗能为害。故破伤风者，通于表里，分别阴阳，同伤寒证治，人知有发表，不知有攻里、和解，此汗、下、和三法也。诸疮不差，荣卫虚，肌肉不生，疮眼不合者，风邪亦能外入于疮，为破伤风之候，诸疮上灸及疮著白痂，疮口闭塞，气虽通泄，故阳热易为郁结，热甚则生风也。故表脉浮而无力，太阳也，在表宜汗；脉长而有力，阳明也，在里宜下；脉浮而弦小者，少阳也，半在表半在里，宜和解。若明此三法，而法不中病者，未之有也。

白术汤：治破伤风，大汗不止，筋挛搐搦。

白术 葛根 芍药 各一两 玉机微义芍药二两
升麻 黄芩 各五钱 甘草 二钱半

右咬咀，每服一两，微义一钱。水煎服，袖珍方水二盏，煎至一盏，去滓，温服。无时。

江鲮丸：治破伤风，惊而发搐，藏府秘涩，知病在里，可用下之。

江鲮 锉炒 玉机微义锉烧 野鸽粪 炒 白僵蚕 各半两 雄黄 一两 蜈蚣 一对 微义炙 天麻 一两 微义只用前四味，名左龙丸

右为细末，分作三分，二分用烧饭为丸，桐子大，朱砂为衣，一分入巴豆霜二钱半，亦以烧饭为丸，桐子大，微义作将一分入巴豆霜一钱，用和，亦以烧饭为丸，如桐子大，不用朱砂为衣。每服朱衣丸

十丸 袖珍方三十九，微义二十九。加巴豆霜丸一丸，第二服二丸，加至利为度，再服朱衣丸病愈止。

羌活防风汤：治破伤风，邪初传在表。

羌活 防风 川芎 藁本 当归 芍药 甘草 各四两 地榆 细辛 各二两

右咬咀，每服五钱，水煎，袖珍方每服一两，水二盏，至一盏，去滓，温服，不拘时量紧慢加减用之，热则加大黄三两，大便秘则加大黄一两，缓缓令过，热甚更加黄芩二两。玉机微义水煎热服，无时，热则加大黄、黄芩各二两

白术防风汤：若服前药玉机微义作服发表药。过，袖珍方此下有多字 有自汗者。

白术 黄耆 各一两 防风 二两

右咬咀，每服五七钱，水煎。袖珍方水二盏，煎至一盏，去滓，温服，不拘时候。破伤风，藏府秘，小便赤，用热药自汗不休，故知无寒也，宜速下之，先用芎黄汤，三二服后，用大芎黄汤下之。微义水煎温服，无时，藏府和而自汗者，可服此药，若藏府秘，小便赤，自汗者，无寒也，宜下之，用大芎黄汤。

芎黄汤：

川芎 一两 黄芩 六钱 甘草 二钱

右咬咀，水煎。袖珍方水二盏，煎至一盏，去滓，温服，不拘时候。

大芎黄汤：

川芎 五钱 袖珍方、玉机微义一两 羌活 黄芩 大黄 各一两

右咬咀，水煎。袖珍方每服一两，水二盏，煎至一盏，去滓，温服不拘时候。微义五七钱，水煎，温服，藏府和为度。

羌活汤：治半在表半在里。

羌活 菊花 麻黄 川芎 白茯苓 防风 石膏 前胡 黄芩 蔓荆子 细辛 甘草 枳壳 已上各一两 薄荷 白芷 各半两

右咬咀，生姜同煎，日三。袖珍方每服一两，水二盏，生姜三片，煎至一盏，去渣，

^① 天麻丸：方见本书卷二十二诸风门十。

通口服，食后，渣再煎服。玉机微义每服五钱，水煎，入生姜五片，热服，日二三。

防风汤：治破伤风，同伤寒表证，未传入里，宜急服此药。

防风 羌活 独活 川芎 各等分

右咬咀，水煎服，袖珍方水二盏，煎至一盏，去渣，通口服，不拘时候。玉机微义每五钱，水煎服。后宜调蜈蚣散大效。

蜈蚣散：

蜈蚣一对 鳔五钱 左盘龙五钱炒烟尽用

右为细末，用防风汤调下，如前药，解表不已，觉直转入里，当服左龙丸，服之渐渐看大便。袖珍方作脏腑。硬软，加巴豆霜。玉机微义蜈蚣一对 鳔三钱 右为细末，用防风汤调下，如表解不已，觉转入里，常服左龙丸。即后江鳔丸四味是也。又蜈蚣散治里和至愈可服：蜈蚣一对 鳔五钱 左盘龙五钱，炒烟尽，野鸽粪是也。右为细末，每服一钱，清酒调下，治里至愈可服，但有里证不可服，次当下之，用蜈蚣散四钱，巴豆霜半钱，烧饭为丸，如绿豆大，每服一丸，加至六七丸，清酒调蜈蚣散少许送下，宜利为度。

左龙丸：治直视^①在里者。

左盘龙五钱，炒 白僵蚕五钱，炒 鳔五钱，炒 雄黄一钱，研

右同为细末，烧饭为丸，桐子大，每服十五丸，温酒下，如里证不已，当于左龙丸内一半末加入巴豆霜半钱，烧饭为丸，桐子大，同左龙丸一处，每服加一丸，渐加服至利为度，若利后，更服后药，若搐搦不已，亦宜服后药，羌活汤也。袖珍方同。

羌活汤：

羌活 独活 地榆 防风 各一两

右咬咀，水煎，袖珍方水二盏，煎至一盏，去渣，通口服。如有热加黄芩，有涎加半夏，若病日久，气血渐虚，邪气入胃，全气养血为度。

养血当归地黄汤：

当归 地黄 芍药 川芎 藁本 防风 白芷 各一两 细辛 五钱

右为粗末，水煎。玉机微义同。

祛风至宝丹：治诸风热等证。

防风一两半 石膏一两 川芎二两半 滑石三钱 当归二两半 芍药一两半 甘草二两 大黄半两 袖珍方一两 白术一两三钱 连翘半两 荆芥穗五钱 薄荷叶半两 麻黄半两，去根 不去节 山梔子六钱 黄芩一两 芒硝半两 桔梗 熟地黄 天麻 人参 羌活 独活 各一两 黄连 黄柏袖珍方柏子 细辛 各半两 全蝎五钱

右为极细末，炼蜜为丸，弹子大，每服一丸，细嚼茶酒任下，临卧。

起死神应丹：治风瘫痪，四肢不举，手足麻痹等证，汗剂也。

麻黄五斤，去根节，河水三斗，沙锅内熬数十沸，去滓，再熬成膏，至半碗 甘松 苍术 桑白皮 吴白芷 浮萍草 川芎 苦参 已上各三两

右同为细末，用麻黄膏子为剂，丸如弹子大，每服一丸，温酒一大盏研化，临卧服，于不透风处睡，汗出为度，隔五七日再服一丸，大有神效，不可具述。采浮萍草法：不在山，不在岸，采我之时七月半，选甚痿风与疾风，些小微风都不算，豆淋酒内下三钱，铁镬头上也出汗。马书史传。神效名方麻黄去根节，河水五升，熬，去滓，可成膏子五斤 白芷二两 桑白皮二两 苍术二两，去皮 甘松二两，去土 川芎三两 苦参三两半 加浮萍二两 已上各为细末，用膏子和丸，如弹子大，每服一丸，温酒一盞化下，临卧服之，微汗出勿虑，如未安，隔三二日再服，手足即时轻快，及治卒中风邪，涎潮不利，小儿惊风，服之立效。

治破伤风将欲死者：

川乌头生 天南星生 半夏生 天麻去芦，各等分

右为细末，每服一钱，豆淋酒调下，稍温服，次用酒二盏玉机微义一二盏。投之，若牙噤，戟开灌之，但药得下，无不活者。

吐剂独圣散：

瓜蒂不以多少，锉细，微妙 右为细末，藿汁

① 视：普济方卷一百十三诸风门引保命集方作“转”。

调下，肋痛加全蝎，头痛加郁金，好茶中停为茶调散。

疔 风 证

疔风者，荣气热附，其气不清，鼻柱坏而色败，皮肤痒溃，风寒客于脉而不去，故名疔风，又曰脉风，俗曰癩。治法刺肌肉百日，汗出百日，凡二百日，须眉生而止。先桦皮散从少至多，服五七日，灸承浆穴七壮，灸疮愈，再灸再愈，三灸之后，服二圣散，泄热祛血之风邪，戒房室，三年病愈。

桦皮散①方见卫生宝鉴。

二圣散：治大风疔疾。将皂角刺一二斤，烧灰研细，煎大黄半两，调下二钱，早服桦皮散，中煎升麻汤，下泄青丸，晚服二圣散，此数等之药，皆为缓疏，泄血中之风热也。玉机微义同。

七圣丸、七宣丸皆治风壅邪热，润利大肠，中风、风痼、疔风，大便秘涩，皆可服之。

头 风 证

肝经风盛，木自摇动，梳头有雪皮，乃肺之证也，谓肺主皮毛，实则泄青丸主之，虚则消风散主之。

雷 头 风 证

夫雷头风者，震卦主之，诸药不效，为与证不相对也。

升麻汤 一两 苍术 一两 荷叶 全一个

右为细末，每服五钱，水煎，或烧荷叶一个，研细，用前药调服亦可。

大 头 风 证

夫大头风证者，是阳明邪热太甚，资实少阳相火而为之也。多在少阳，或在阳明，或在太阳，视其肿势在何部分，随经取之。

湿热为肿，水盛为痛，此邪见于头，多在前，后，先出治之，大不宜药速，速则过其病，所谓上热未除，中寒复生，必伤人命。此病是自外而之内者，是血病，况头部分受邪，见于无形迹之部，当先缓而后急。先缓者，谓邪气在上，著无形之部分，既著无形，无所不至，若用重剂速下，过其病难已。虽无缓药，若急服之，或食前，或顿服，皆失缓体，则药不能得除病，当徐徐浸渍无形之邪也，或药性味形体据象，皆要不离缓体是也。且后急者，谓缓剂已泻，邪气入于中，是到阴部，染于有形质之所，若不速去，则损阴也，此终始却为客邪，当急去之，是治客以急也。且治主当缓者，谓阳邪在上，阴邪在下，若急治之，不能解纷而益乱也。治客以急者，谓阳分受阴邪，阴分受阳邪，此客气急除去之也。假令少阳、阳明为病，少阳为邪，出于耳前后也，阳明为邪者，首大肿也，先以黄芩黄连甘草汤，通炒过，锉，煎，少少不住服，或剂毕，再用煨黍粘子，新瓦上炒香，同大黄煎成去滓，内芒硝，俱各等分，亦时时呷之，无令饮食在前，得微利及邪气已，只服前药，如不已，再同前次第服之，取大便利，邪气则止。如阳明渴者，加石膏。如少阳渴者，加瓜蒌根。阳明行经，升麻、芍药、葛根、甘草。太阳行经，羌活、防风之类。

黑白散：治大头风如神。

黑乌蛇 酒浸 白花蛇 去头尾，酒浸 雄黄二钱
大黄 煨，半两

右为极细末，每服一二钱，白汤调下，无时。

消毒丸：治时毒疮瘡恶证。

大黄 牡蛎烧 白僵蚕 炒各一两

右为细末，炼蜜为丸，弹子大，新水化下一丸，无时，内加桔梗黍粘子汤尤妙。

① 桦皮散：方见本书卷二十二诸风门十。

瑞竹堂方

诸 风

匀气散：此方前代曾服有效风药，服之十三日安，可治腰腿疼，半身不遂，手足不能屈伸，口眼喎斜，风气、中风、中气，使用风药治之，十无一愈，当以气药治之，气顺则风散，近有人服之见效。经验良方顺风匀气散，赣州路赵总管随朝，曾患风疾，诸药不愈，因得此方，其疾如失，常服能治腰腿疼痛，半身不遂，不能屈伸，口眼喎斜，中风，中气，并皆治之。

白术四两煨 沉香五钱，镑 天麻一两 天台乌药三两 南北经验方、秘珍方二钱，卫生易简方四两 青皮五钱，去穢 白芷 甘草各五钱 人参去芦 经验秘方、易简方五钱，良方七钱

右为咀咀，每服三钱，水一盏半，生姜三片，紫苏五叶，木瓜三片，枣子一枚，煎至七分，去滓，空心温服。良方云：病在上，食后服，不计日服。

真珠散：治头风及偏正头疼。

盆硝七钱半，研 白滑石一两研 乳香一钱半，研 片脑少许，研

右另研为细末，再同研极细，每用一字，口噙水，鼻内搐之。

麝香散：治卒风哑中，忽然倒地，不省人事，左瘫右痪，口眼喎斜，诸药未服者，服此药。

真麝香二钱或三钱，研细 真香油二三两

右若遇此证，急将麝香研细，调入清油内搅匀，将患人口幹开灌下，其人自苏，不惟只治中风，又全其后，语言不聾，手足不瘫，服此药后，方服顺气疏风之药，为麝香通关，余药可以能行至病所也。

脑麝祛风丸：治左瘫右痪，游平阜 经验秘方平章。服此药得愈，最有效验。

白花蛇头一个，带项三寸，酒浸，炙 乌梢蛇尾两

个，长七寸，酒浸，炙 川乌头尖三个，去黑皮 附子底四个，去黑皮 天南星炮 半夏姜制 白附子 细辛去叶 防风去芦 天麻 全蝎去毒，炒 白僵蚕去丝紫，炒 草乌头炮。已上各半两 脑麝各一分，研

右为细末，姜汁糊为丸，如桐子大，朱砂为衣，每服五十丸，煎小续命汤送下，不拘时候服。

圣灵丹：治男子妇人，风湿相搏，气痹，传于手足，麻肿疼痛，久则偏枯，及脚气，不能行履，大治瘫痪风湿，手足复旧。

选两川乌生，去皮脐，切片 草乌去皮尖，切片，盐炒香熟去盐。已上各半两 麻黄去根节，微炒去汗 生地黄洗，去苗，锉碎，酒浸一宿，焙 经验秘方生熟地黄 五灵脂拣去砂石，微炒，不得过失 虎胫骨醋浸，火炙酥黄色 秘方不可用他骨，醋浸一宿，火煨赤，存性 自然铜醋淬七次。已上各一两研 秘方火煨红，米醋淬碎 广木香二钱半 乳香另研 秘方二钱半 没药炙，各钱半，另研 乾酸木瓜生者八两 秘方二两，味酸者，炒 甜瓜子炒黄色，一两 沉香五钱，镑 败龟底下封者，醋炙黄酥，七钱半 秘方醋浸一宿，炙黄，无没药、甜瓜子、沉香

右为细末，炼白砂蜜，冷定和搜成剂，每一两重分为一十二丸，每服二丸，隔夜生姜自然汁用磁盏浸至天明，空心化开，温酒调服，再饮半盏，热酒送下，日进一服，唇吻微麻无妨。秘方右细末，炼蜜丸如龙眼大，每两重作十二丸，一丸一服，细嚼生姜自然汁少许，用热酒三二杯送下，酒化开亦可，空心晚下各一服，初服口唇吻间有少微麻勿疑，忌油腻、湿面等物。经验良方灵丹，昔武昌见有疮科朱太医，因随军交趾得病，痛风数年不能举动，日夜呻吟，湖广行枢密院刘都事闻而怜之，与药，不数丸而安，人皆知之。省郎许显之与刘善得其方，曰灵丹。川乌头去皮脐，生用半两 生乾地黄酒浸一宿，一两 木香不见火，二钱半 草乌头小者，去皮脐，盐炒，半两，去盐 麻黄去根节，微炒去汗，一两 五

灵脂 拣去沙石，微炒，一两 自然铜 火煅七次，米醋淬七次，一两。另研 乾木瓜 酸明者，二两 虎胥骨 酥涂，火炙存性，其他骨不用，射死虎尤好，一两 滴乳香 好者和灯心另研二钱五分为末，去灯心 败龟 乃江浙间卜筮钻过下截龟壳者是，米醋浸三日，炙黄色，再用醋淬，七钱五分重

右十一味，研细如粉，炼蜜去上白泡，和前药为丸，如龙眼大，每一两重作十二丸，以带皮生姜自然汁化开一丸，热酒服之，更以酒半盏送下，如病在下，空心食前服，如病在上，截食后停片时服，一日二服，口有小麻勿疑。

七乌丸： 治瘫痪，风湿寒痹脚疾证。张君宝服验。

草乌 去皮脐，生用，切作大块 何首乌 作大片，忌铁器 乌药 细切 川乌 已上各二两 乌梅 五十个，槌碎 黑豆 半斤，拣洗净 猪牙皂角 二两，去皮弦，切作半寸

右用无灰酒二升，米醋二升，同上项药一处，装于磁瓶内，浸二宿，用文武火煮，约存一升，药汁取出，焙乾为细末，仍用药汁打糊为丸，如梧桐子大，或药汁少，益以酒醋，空心盐汤下五七十丸，脚气木瓜汤下，乾物压之，与活络丹相间服。

活络丹： 治男子妇人瘫痪，筋挛，骨痛，腰膝疼痛，口眼喎斜，语言蹇涩，目晦，耳聋，头风等证，近用治心气痛病证尤验。张君宝服验。

草薢 四两 金毛狗脊 四两，切作片，去毛 川乌 五钱，去皮脐，切四块 苍术 五钱，去皮，切作片，炒 杜仲 五钱，细切，姜汁浸炒，去丝 破故纸 拣炒 仙灵脾 切 吴茱萸 炒 续断 各五钱，切 小茴香 炒 独活 各乙两，切 猪牙皂角 去皮弦，三两，切作一寸 薏苡仁 三两

右通作一处，用好酒三升，于磁瓶内浸一宿，次日以文武火煮至约酒汁一升，控出，焙乾为细末，用煮药酒将面糊为丸，如梧桐子大，每服五七十丸，空心温酒或盐汤送下，与七乌丸相间服。孕妇不可服此二药。

甜瓜子丸： 治风湿相搏，腰脚疼痛，服之大效。

甜瓜子 二两，净炒黄色 乾木瓜 乙两半，去皮穢 威灵仙 乙两 川乌头 半两，炮，去皮脐

右为细末，酒煮面糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒送下，避风处少息，汗出为度，服药后当日忌食热物及相反药材与半夏、瓜蒌、贝母、白芨之类，如病在上食后，如病在下食前服。

愈风丹： 治诸般风证，偏正头风。

通圣散 四物汤 黄连解毒汤 各一料，加后药

羌活 细辛 去叶 甘菊 天麻 何首乌 薄荷 独活 已上各一两

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，细嚼，不计时候，茶酒 柚珍方茶清任下。

飞步丸： 治阴阳风湿脚气，手臂举动不起，无问远近，并皆治之。

紫金皮 二斤，取头末八两，拣时曝似脑子，味透顶者方佳，又名滑藤根 五加皮 二两五钱，焙乾 肥川乌 二两五钱，去皮，生用 苍术 二两五钱，米泔水浸一宿，焙乾 木鳖子仁 四两，竹刀切片，用三年米醋浸三宿，其油已去，焙乾

右五味为细末，醋糊为丸，如似两鱼眼睛大，每三十至五十丸，空心用盐木瓜少许，细嚼和药，无灰酒送下。忌动风物。

复春丸： 治腰脚风湿，劳损，手足麻痹，筋骨疼痛，不能屈伸，活血注颜补虚。

草薢 四两 破故纸 炒 杜仲 炒，去丝 胡芦芭 炒 木通 各二两 骨碎补 去尾 虎骨 酥炙 乳香 研 槟榔 没药 木香 各乙两半 甜瓜子 三两，炒 牛膝 去芦，酒浸，焙乾 巴戟 各二两，去心 胡桃仁 乙百个，去皮，另研极细 黑附子 一两，炮

右件一十五味为细末，与胡桃一处，再研极细，酒糊为丸，如梧桐子大，每服四五十丸，食前温酒送下。

黑弩箭丸： 治风湿证。

两头尖 五灵脂 各乙两 没药 另研 当归 乳香 已上各三钱，研

右为细末，醋糊为丸，如桐子大，每服

1) 浙：按文义应作“潮”。

一十丸至五十丸，临卧温酒送下，忌油腻湿面、孕妇勿服。

骗马丹：治男子妇人中风，口眼喎斜，痰涎壅盛，语言蹇涩，手足不仁，筋脉拘挛，肢体不举，或寒湿相搏，肌肉顽麻，传入经络，筋骨疼痛，腰脚浮肿，难以屈伸，或寒湿脚气，或打扑损伤，筋骨髓断蹉跌，皮肤瘙痒，风毒疮疡，并宜服之。成提举经验方。

真川乌二两，炮 川芎七钱 真苏木 地龙各半两，去土 草乌头炮 续断酒浸 白芷 牛膝去芦，酒浸 肉苁蓉酒浸 滴乳 灯草碾 明松香 研 木鳖子去壳，不去油 虎胫骨酒浸，炙 骨碎补酒浸 自然铜醋碎①七次，水飞 败龟板各一两，新瓦煨红，用好醋制净，令黄色 全蝎三钱，去毒，炒 经验秘方无川芎、草乌头、续断、白芷

右件碾为细末，用煮酒打，陈米粉为丸，如桐子大，每服五十丸，食后温酒送下。

草灵宝丹：治一切风疾，及风湿走注疼痛，口眼喎斜，手足顽麻，大有神效，药味俱要拣净，然后秤分两须要精，最不可草率。

川芎 枸杞子 当归去芦，净 细辛去苗叶土，净 白芍药 荆芥去根，净 五加皮去骨，净 白鲜皮去骨，净 菊花去根梗，净 枳壳去瓤，净 薄荷去根梗 威灵仙去土，净 木香四两 粉甘草炒，净 川附子炮裂，去皮脐，净 草乌头炮裂，去皮脐，净 没药研 香附子炒，去毛，净 金毛狗脊炒去毛，净 人参去芦，净 地骨皮去骨土，净 防风去芦，净 香白芷 柴胡去苗土，净 升麻去芦，净 麻黄去根节，净 乌药已上各四两 天麻四两，酒浸，去苗 川楝子去核取肉，四两，炒 何首乌四两，酒浸 白术去芦，净，四两，煨 石斛去根，净，四两，炒 自然铜四两，煨，醋淬七次，研，水飞 车前子四两，酒浸 白牵牛四两，炒，取末 地龙去土，净，四两，炒 麝香一两，一半为衣，研 乳香研 朱砂二两，为衣，研 川乌头炮裂，去皮脐，净，四两 槐角子四两，炒 大黄四两，炒 乌鸦二只，腊月者，泥固济，炭火煨红，取出用 乌梢蛇一条，酒浸，取肉，四两，炙 风梢蛇一条，酒浸，取肉四两，炙 白花蛇二条，酒浸，取肉，四两，炙 药末成，然后定

蜜分两

右件为细末，炼蜜为丸，如大龙眼大，每服一丸，空心临卧细嚼，用无灰酒送下，芽茶清亦可，腊月最修合。

换骨丹②：治卒中风，口眼喎斜，左瘫右痪，不能言，用此药与不卧散，汗出其人必愈，有效。方见宣明论。

搐药不卧散：

藿香 石菖蒲花黄者 人参 藜芦去苗叶，取根 芍药 谷精草 苦丁香 石膏研 川芎 甘草

右一十味停，分为细末，每用三字，口噙水，左右鼻内搐之，作涕为效，与前方换骨丹一对药。

如神散：治风湿手臂痛，左瘫右痪，风气等证。

真皂角去皮弦，八两 海亦儿半两，即合孩儿香茶者是 北枣四两

先将皂角熬成清汁，滤去滓，将枣儿并海亦儿用桑柴文武火熬乾，取出枣儿，磁器内收顿，如熬至七分，取汁一盞，逐旋添，熬乾为度，每服两三箇，细嚼咽下。后饮酒一盞，三四箇之上，不得多吃。经验秘方治左瘫右痪，刘引进传北枣儿四两 大皂角四两，炮，去皮弦 孩儿五钱 右用水四大碗，先下皂角，炭火上用银器或砂锅熬至两碗，滤去皂角，再下锅入枣儿孩儿末，煎至水尽乾，取出阴乾，日进二服，空心临卧，每服枣儿二枚，细嚼，温酒送下，不问新旧瘫痪，并治大效。

麝香虎骨散：治男子因气虚血弱，风毒邪气，乘虚攻注，皮肤骨髓之间，与气相搏，往来交击，痛无常处，游走不定，或日轻夜重，筋脉拘急，不能伸屈，皆治之。杭州杨清之教授传。

虎胫骨酥炙，半两 败龟板半两，炙 麒麟竭

① 碎：瑞竹堂经验方作“淬”。

② 换骨丹：方见本书卷二十一诸风门九。

研 赤芍药 没药 研 自然铜 醋淬，研 白附子
炮 苍耳子 炒 当归 骨碎补 去毛 防风 肉
桂 去粗皮 白芷 各一分 牛膝 去苗，酒浸 五加皮
川羌活 槟榔 川天麻 各二钱半

右件一十八味，如修制就，入麝香在内
为末，每服二钱，用热水少许调服，空心服
之，比服此药之先，煎生料五积散三服，次
日服此药。

乳香应痛丸： 治手足麻痺，筋骨疼痛，
补虚注颜。

苍术 半斤，或四两，制 川乌 炮 草乌 各一两半，
炮 地龙 去土，半两 五灵脂 一两半，砂石，研 芍药
胡芦巴 破故纸 炒 自然铜 火煅碎 川椒 炒出汗
茴香 炒 两头尖 甜瓜子 炒 白僵蚕 炒
白附子 当归 牛膝 各半两，酒浸 乳香 没药
细辛 各三钱，去叶 血竭 二钱半，研

右为细末，醋糊为丸，如梧桐子大，每
服五七丸至十丸，空心温酒送下，乾物压之，
盐汤亦可。

薏苡仁汤： 治手足流注疼痛，麻痺不
仁，难以屈伸。

薏苡仁 去皮，乙两 当归 去芦，乙两 芍药
麻黄 去节 桂 去粗皮，各乙两 甘草 去皮，乙两，微炒
苍术 去粗皮，四两，米泔浸一宿，炒

右为咀咀，每服五钱，水二盏，生姜五
七片，煎至七分，去滓，食前温服，若病人
汗出者，减麻黄，病人内热者，减桂，看虚
实加减服之。

遇仙如意丸： 治诸风疾病，及患恶疮，
妇人月事不见，产后胸中恶物，尽皆治之，
大有效验。

白茯苓 去皮 陈皮 去白 青皮 去穢，各一钱 丁
香 木香 人参 各二钱 白术 煨 白豆蔻仁 缩
砂仁 官桂 去皮 荆三棱 炮 石菖蒲 炒，去毛 远
志 去心 广茂 炮，各三钱 乾山药 半两 甘草 去皮，
少许 香附子 五两 牵牛头末 八两加二

右为细末，好醋糊为丸，如梧桐子大，
每服一百二十丸，看老幼虚实加减丸数，临
卧温水送下。凡食不可太饱，可食粥五七日，

忌生冷、硬物、酒、肉、鱼、面。若风疾病，
加地骨皮一两；若气蛊、水蛊，每服三百丸，
一服立消，大效。此药微利三五行，欲要止
脏腑，吃凉水一口便住利，后服甘露散一服
即补。

甘露散： 服如意之后，便服此药即补，
能分阴阳，大有效。

白滑石 六两，烧 泽泻 甘草 各乙两，去皮 人
参 茯苓 白术 木猪苓 各半两，去黑皮

右为细末，每服三钱，白汤调服，要分
阴阳，蜜和丸，如弹子大，每用白汤化开，
加稀面糊调服之。

加味三生丸： 治风痰气壅。

南星 半夏 天麻 白附子 人参 已上各
一两

右皆生用，碾罗为极细末，生姜自然汁
打糊为丸，如梧桐子大，每服三五十丸，食
后临卧姜汤送下。

徐神翁神效地仙丹： 治筋骨疼痛，打
扑损伤，仙术汤送下，除寒湿，进饮食。

川乌 乙个，去尖 草乌 五个，去尖 荆芥 去枝，半
两 苍术 乙两，米泔浸一宿，炒 自然铜 一字，研 白
芷 地龙 没药 各半两，研 乳香 半钱，研 莒荑
种 黄瓜种 梢瓜种 木鳖子 各乙钱 半两钱
二文

右为细末，米醋糊为丸，如梧桐子大，
每服一十丸，食后温酒送下。

白花蛇造酒方：

治大风。每白花蛇一条，蒸米一斗，经验
秘方二斗。缸底先用酒曲，次将蛇用绢袋盛之，
顿于秘方作碗放。面上，然后糜秘方作酒羹。卫生易简方作
以蒸饭。和匀，顿于蛇上，用纸封缸口，候三七
日，开缸取酒，将蛇去皮骨为末，每服酒一
盏，温服蛇末少许，仍将酒脚并糟做饼，食
之尤佳。

追风丹： 前大军库张提领患白癫风，
服之愈。

① 胸：瑞竹堂经验方同。普济方卷一百十五引瑞竹堂方遇
仙如意丸作“腹”。

苍术 米泔浸一宿，焙 何首乌 荆芥穗 苦参 已上各等分

右件为细末，好肥皂角三斤，去皮弦，于磁器内熬为膏，和为丸，如梧桐子大，每服三、五十丸，空心酒茶任下，忌一切动风之物。南北经验方、袖珍方同

真方白丸子：治风，可常服，永无风疾隔壅之患。吕九山总管家用秘方。

大半夏 汤泡七次 白附子 洗净，略炮 天南星 洗净，略炮 川乌头 去皮尖，略炮 天麻 全蝎 去毒，炒 木香 枳壳 各乙两，去穢，炒

右为细末，生姜自然汁打糊为丸，如梧桐子大，每服 经验秘方每日 一、二十丸，食后临卧服，茶清熟水送下，瘫痪风温酒送下，日进三服，小儿凉风，薄荷煎汤送下二丸。南北经验方、袖珍方同

如神救苦散：治左瘫右痪，风湿痹，走注疼痛，无问男子妇人，远年日近，并皆治之。

御米壳 乙两，去顶，蜜炒 陈皮 五钱，去白 虎骨 酥炙 乳香 研 没药 研 甘草 各二钱半

右为细末，除乳香、没药另研外，每服三钱，水一盞半，煎至八分， 经验秘方此下有却入乳没四字。连滓热服，病在上食后，病在下食前，如煎药一顺搅之，秘方作须一顺搅之。修合精制，勿差分两，忌猪、马、驴、鱼、兔等肉。

龙虎丹：治男子妇人，心神恍惚，阳明经大盛，时复惊惧失位，口发狂言，不避亲疏，一切风病 经验秘方风痼。等证。

龙骨 研 虎骨 酥炙 人参 箭头朱砂 研 远志 甘草 水煮，去骨 酸枣仁 已上各一两，炒，去壳 大天南星 三四枚，泔水浸洗，去皮滑涎，控乾，竹刀刮成细末，装朱砂末，以南星末盖之 猪心 一个，取新杀猪猪，带血热心，内置南星，在内以灯草裹猪心，外用麦门冬草洗净不以多少包，盛之甑上，九蒸九曝，取出南星，于金银器内盛之，取日精月华之气，曝露七昼夜，捣罗为末，后加余药，同和匀

右为细末，用无灰酒打面糊，冷定和搜成剂，丸如梧桐子大，每服五七十丸，空心温酒送下，小儿丸如黄米大，每服三五十丸，煎人参汤送下，病甚者不过二十服即愈，除

根不发。

治紫癜风：

用舶上硫黄，不以多少，用米醋化开，将茄蒂蘸硫黄醋，磨擦癜风处。 经验秘方、卫生易简方、简奇方同。

治诸般癜风：

用猪牙皂角，不以多少，用炭火烧成灰，每服一钱，空心好酒调服。 经验秘方、卫生易简方同。

透骨膏：治一切风湿走注疼痛。

生熟地黄 马鞭草 各半斤 吴茱萸 白面 各三两 骨碎补 败姜屑 各四两，乾生姜是也 鳖甲 三斤，炙 蒲黄 二两

右为细末，用米醋调似膏子，于火上温热，摊于痛处，用纸裹著，候药冷再炒，如此七冷，于避风处用。

接骨丹：逐湿气，定痛疼肿疾，并皆治之。

骨碎补 去毛，一斤 败姜 生地黄 去土，洗净，各一斤 蒲黄 半斤 白面 二斤

右为细末，一处拌匀，用隔年好米醋熬，滚热调药，放温于痛处，如药冷再用热醋调敷，如此七次，用髹包之，大有神效，此一料分作七处，七日用之。

四圣紫金丹：治男子妇人，左瘫右痪，口眼喎斜，中风疾病，依方修合，志心服饵，大病不过三服，初得一服效验。

槐实子 文武火熬炒黄色 猪牙皂角 酥炒黄色，去了荆芥穗 拣净，生用 甘菊花 炒。已上各等分

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，病重者每服一丸，细嚼茶清送下。病轻者临时加减，微汗出为验，如汗后体热难忍，嚼甘草解之。 经验秘方、卫生易简方、简奇方同。

祛风导气化痰丸：治男子妇人，咳嗽气积，呕吐痰涎，头目昏晕，半身不遂，中风偏瘫，口眼喎斜，他药不疗者。

乌叠泥 天南星 各三两 半夏 七两 白附子 二两，生，焙 天麻 一两，酒浸，焙 川乌 半两，炮，去皮脐 全蝎 一两，不去毒，用薄荷叶^①

^① 叶：瑞竹堂经验方此下有“炙”字。普济方卷九十四诸风门引瑞竹堂方此下有“炒”字。

右各取净末，除南星半夏生取末，以绢袋盛，安磁器中，新水浸，日晒夜露三昼夜，每早换水，三日取出，晒乾为细末，各依分两秤，相和，重罗，用真苏合油三两，如无，苏合香丸膏子亦可。如不敷，入糯米粉打薄糊为丸，如梧桐子大，每服五七十丸，食后临卧姜汤下，日进二服，药阴乾，不要晒乾及焙。

治风湿脚气：

好川乌 一两，生用 无名异 二两，研 石亭脂

一两，生用，研

右件为细末，用葱白捣烂，组自然汁为丸，如梧桐子大，每服只一钱重，空心生葱、淡茶吞下，一已^①止一服。

敷药：

草乌 白芷 防风 独活 羌活

右等分为细末，用生地龙数条研烂，酸米醋调敷。

破伤风欲死者，用蜈蚣碾为细末，擦牙，吐去涎沫立苏。经验秘方、简奇方同。

医方大成

风

杨氏家藏方夺命散：治暴卒中风，涎潮气闭，牙关紧急，眼目上视，破损伤风，搐搦潮作，及小儿急惊风证，并皆治之。

甜葶苈 香白芷 天南星 半夏汤洗，去滑巴豆 去壳，不去油。五味各等分，并生用

右为细末，每服半钱，用生姜自然汁一呷调下，牙关紧急，汤剂灌不下者，此药辄能治之，小儿以利痰或吐为愈。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

和剂方人参顺气散：治感风头疼，鼻塞声重，及一应中风者，先宜服此药，疏通气道，然后进以风药。

乾姜 人参 各一两 川芎 去芦 甘草炙 苦梗去芦 厚朴去皮，姜制 白术去芦 陈皮去白 白芷 麻黄 去节，各四两 乾葛 三两半 永类铃方云：一方加姜蚕乙两，乾姜半两，去白术、人参

右咬咀，每服三钱，水一盏，姜三片，枣一个，薄荷五七叶，同煎八分，不拘时热服，袖珍方同。如感风头疼，咳嗽鼻塞，加葱白煎。医方集成、南北经验方同。铃方此下云：简易加乌药、枳壳，去厚朴、乾葛，等分不同，专通滞气。

简易方雄附醒风汤：治中风涎潮，牙关紧急，不省人事。

附子 一个，七钱重 天雄 一个 南星 一个，冬，一

两重，并生用，去皮脐 蝎梢 半两

右咬咀，每服五钱，水盏半，姜七片，煎七分，不拘时。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

简易方羌活散：治中风偏废。

附子 一个 羌活 乌药 各一两

右咬咀，每服四钱，水一盏，煎七分，去滓，温服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。永类铃方右咬咀，半两，水四盏，煎二盏，分二服。

杨氏家藏方牵正散：治中风，口眼喎斜，半身不遂。

白附子 白僵蚕 全蝎 去毒，并生用

右等分为末，每服二钱，热酒调下，不拘时。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、卫生易简方同。

百一选方加减青州白丸子：治卒中风邪，半身不遂，口眼喎斜，痰涎闭塞，及小儿诸风，并皆治之。

白附子 天南星 半夏 川姜 各二两 天麻 白僵蚕 全蝎 各一两 川乌头去皮尖，半两

右并生用为细末，面糊为圆，如梧桐子，每服三五十圆，生姜汤下，不拘时。如瘫风，温酒下；如小儿惊风，薄荷汤下。医方集成、南

① 已：瑞竹堂经验方作“日”。

北经验方、袖珍方、永类铃方同。

三因方附子汤：治中风挟寒，手足不仁，口眼喎斜，牙关紧急。

附子 炮，去皮脐 南北经验方六钱 桂心 各半两 细辛 去苗 防风 去叉 人参 经验方已上四味各半斤 乾姜 炮。各六钱

右咬咀，每服四钱，水盞半，姜五片，枣一个，煎七分，食前服。医方集成、永类铃方同。

三因方防风汤：治中风挟暑，卒然晕倒，口眼喎斜。

防风 泽泻 桂心 杏仁 面炒，去皮尖 乾姜 炮 甘草 炙，各等分

右咬咀，每服四钱，水盞半，煎七分，食前服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

杨氏家藏方太白散：治诸风痰涎壅盛，手足不仁，及产后血虚中风。

天南星二钱半，炒 乌蛇肉三钱 蝎梢去毒，炒，二钱 白附子生用，三钱 川乌头尖生用，去皮，三钱，永类铃方二钱

右为末，每服二钱，水一盞，入蜡茶半盞，葱白一寸煎，温服。医方集成同。

杨氏家藏方黄石散：治心风发狂。

狗肝一具 硝石 黄丹 二味各一钱半

右件硝石、黄丹研匀，将狗肝披开，掺药在内，以麻缠缚，用水一升，煮熟，将肝药细嚼，用煮汁送下，不拘时。医方集成、永类铃方同。

本事方乌头汤：治风寒冷湿留痹，筋脉拘挛，不得转侧。

大乌头 细辛 川椒 甘草 秦艽 附子 官桂 白芍药 各七分 乾姜 白茯苓 防风 当归 各一两 川独活 一两三钱半

右咬咀，每服三钱，水一盞，枣二枚煎，空心服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

本事方木瓜煎：治肝肾二脏受风，筋急项强，不可转侧。

宣州木瓜 两个，取盖，去穢 没药 二两，研 乳香 一分，研

右二味，入木瓜内，用盖子合了，竹签

定之，饭上蒸三四次，研烂成膏子，每服三五匙，用生地黄汁半盞，无灰酒二盞拌和，暖热化膏吞下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

总录侧子散：治中风手足不遂，言语蹇涩，今用之累验。

侧子一两，炮 附子一两，炮 罗参一两 白术一两，煨 白茯苓一两，去皮 防己七钱 南北经验方、袖珍方七钱半 防风去芦，一两 麻黄去根节，二两 永类铃方去节，一两 甘菊花去梗，二两 北细辛去苗，二两 肉桂去皮，一两 赤芍药一两 当归去芦，酒浸，一两 川芎一两 白茯神去皮木，二两 铃方一两 粉草五钱，炙 铃方七钱 秦艽去芦土，一两

右咬咀，每服五钱，水盞半，姜三片，枣一个煎，不拘时。医方集成同。

杨氏家藏方独活散：消风化痰，治头目眩晕。

川芎 独活去芦 防风去芦 藁本去土 旋覆花 蔓荆子 细辛去叶土，各一两 石膏研 甘草炙，各半两

右为细末，每服二钱，水一大盞，姜三片，煎七分，食后热服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

杨氏家藏方防风散：治头目不清，常服去风明目。

防风去芦 川芎 香白芷 甘菊花 甘草炙

右各等分为末，每服二钱，食后荆芥汤调下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

杨氏家藏方荆芥圆：治一切风邪，上攻头目，咽膈不利，或伤风发热，头疼鼻塞，声重，并皆治之。

荆芥穗十二两 天麻去苗 附子炮 白附子炮 乌药 当归洗 川芎各一两

右为细末，炼蜜为圆，每一两作十圆，朱砂为衣，每服一圆，食后细嚼，茶酒任下。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

杨氏家藏方甘菊圆：治风痰壅盛，头目昏痛，鼻塞耳鸣，头皮痛痒，并宜服之。

天南星 四两，洗，焙，为末，以好酒一升煮成膏，与炼蜜同搜 鸡苏 去土，四两 荆芥穗 二两 细辛 去叶土，二两 川芎 防风 甘草 炙。各两半 白僵蚕 炒，去丝猪 菊花 各一两

右件，除南星外，并为细末，次入南星膏子，并炼蜜和圆，如梧桐子，每服二十圆，食后生姜汤下。医方集成、永类铃方同。

南北经验方

徐同知方千金保命丹：治诸风痰厥，不能语言，心忪健忘，恍惚去来，头目晕眩，胸中烦郁，痰涎壅塞，抑气攻心，精神昏愤。又治心气不足，神志不定，惊恐怕怖，悲忧惨蹙，虚烦少睡，喜怒不时，或发狂颠，神情昏乱，及小儿惊痫，惊风，抽搐不定，及大人暗风，并羊颠、猪颠，发叫如雷，此药大能治之。

朱砂一两 真珠三钱 南星一两 麻黄 去根节 白附子 炮 雄黄 龙脑 各半两 琥珀 三钱 姜蚕 炒 犀角 门冬子 去心 枳壳 地骨皮 神曲 茯神 远志 去心 人参 柴胡 各一两 金箔 一薄片 牛黄三钱 天麻半两 胆矾五钱 脑子 少许 麝香 少许 牙硝 四钱 毫车 天竹黄 防风 甘草 桔梗 白术 升麻 各乙两 蝉脱 各半两 黄芩 二两 袖珍方一两 荆芥 二两

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服

一丸，薄荷汤化下，不拘时候。忌猪、羊、虾、核桃动风引痰之物，及诸生血。更加大川乌 炮，去皮脐 半夏 生姜汁浸 白芷 川芎 各一两 猪牙皂角 一两 右和前药，作末为丸。

宣明方解风散主之，治风成寒热，头目昏眩，肢体疼痛，手足麻痹，上膈壅滞。

人参 川芎 独活 麻黄 去节，汤洗，焙。各一两 细辛 去苗，半两 甘草 袖珍方一两

右为末，每服三钱，水一盏半，生姜五片，薄荷叶少许，同煎至八分，不计时候。

宣明方大川芎圆：治首风旋晕眩急，外合阳气，风寒相搏，胃膈痰饮，偏正头疼，身拘倦。

川芎一斤 天麻 四两，郢州者

右为末，炼蜜为圆，每两作十圆，每服壹圆，细嚼，茶酒下。袖珍方同。

袖珍方

风

差①活散：治风气不调，头目昏眩，痰涎壅滞，遍身拘急，及风邪塞壅，头痛项强，鼻塞声重，肢节烦疼，天阴风雨，预觉不安。

前胡 羌活 麻黄 白茯苓 川芎 黄芩 甘草 蔓荆子 枳壳 细辛 石膏 菊花 防风 各一两

右咬咀，每服一两，姜四片，薄荷三叶，水二盏，煎至一盏，去渣温服，食后。

天南星膏：治卒暴中风，口眼喎斜。用天南星，不以多少为末，生姜自然汁调，左喎贴右，右贴左正，洗去。

防风汤：治卒然口眼喎斜，言语牵急，四肢无故，别无所苦。

防风一两 羌活半两 甘草一钱

右②水二盏，煎至一盏，入麝香一字，细研，温服。

① 差：袖珍方作“羌”。

② 右：袖珍方此下有“咬咀。每服五钱”六字。

无名丹^①：

麝香二钱 京墨烧烟尽，一钱 乳香 没药 各七钱半 白胶香 一两。各研 草乌 去皮脐，一两半 五灵脂 地龙 去土 木鳖子 各一两半 当归 七钱半

右为末，与前药和匀，右用糯米为丸，如鸡头实大，温酒下一丸神效。专治寒湿脚气，无问远年日近，一切走注疼痛不可忍，临发时空心服一丸，赶到脚面上赤肿痛不散，再一丸，赶至脚心中出黑汗，乃除根。如病在上，食后临卧酒下，汗出定疼为验，及风重瘫痪，麻痺不仁，手足不能屈伸，偏枯，酒下二丸，进二服，初风不省人事，牙关不开，研二丸，酒调灌下，以省为验。

破伤风奇妙：

树上螳螂交住螳

右为末，每服一字，酒调下，不拘时候。

搜风顺气丸：治三十 经验秘方、良方此下有六字。种风，七十二般气，去上热下冷，腰脚疼痛，四肢无力，多睡少食，渐渐羸瘦，颜色不定黄赤，恶疮下疳，口苦无味，憎寒毛耸，积年癥瘕气块，丈夫阳事断绝，女子久无子嗣，久患寒疟，吐逆泻痢，变成劳疾，百节酸疼，初生小儿及百岁老人，皆可服，补精驻颜，疏风顺气。

车前子二两半 白槟榔 大麻子 微炒，去壳，另研 郁李仁 汤泡，去皮，研 兔丝子 酒浸，焙炮，晒干 秘方、良方酒浸，焙乾，另研，为饼，晒干，却入药用 山药 各二两 枳壳 秘方、良方去穰，麸炒 防风^② 独活 各一两 锦文大黄 二两 秘方、良方五两，半生用，半湿纸裹煨，加川牛膝酒浸三夕，二两，山茱萸去核，一两

右为末，炼蜜丸，秘方此下有桐子大三字。每服二十丸，酒茶米饮下，百无所忌，早晨临卧各一服。服经一月消食，二月去肠内宿滞，三月无倦少睡，四月精神，秘方精神强盛。五月耳目聪明，六月腰脚轻健，一年百病皆除，老去返少，孕妇勿服。如服药觉脏腑微动，以羊肚肺羹补之。良方如无肚肺，白粥亦得。久患肠风便血，用药治之除根。如颤语蹇涩，及瘫痪，授以此方，随^③平复。若酒后不能饮^④，一

服宿醒消尽，百病不生，无病不治。秘方又云：柳公母，大宜人李氏，自五十岁以后，常苦大腹闭涩，每闭结，即头风血气诸疾并作，虽服刘家青金丹百十粒，药力行，遂暴下，又用青木香散止之，水谷稍分，旋即秘涩，疏通既数，荣卫虚损，疲瘠疲困，不胜衣服。崇宁甲申，余得邑善化，一日收舍弟播书，言老母自五月来连绵闭涩，从腰膝至足如水冷，覆以绵被，殊无温暖。韩教授举福唐人言，渠祖母昔年曾感此疾，久不能行动，渠娶游氏，得蔡君谟所藏异方，服之一日，即腰膝温暖如初，大便从此不闭，平日头风血气诸疾消除，饮食快美，肌肤充肥，迨今七十七，而步履轻健，耳目聪明，皆韩同年之功也。余有乡人，少年豪饮，得一脾疾，面黄、皮促、气短不舒，饮啜俱废，及潭州司法季卞，久患肠风便血，皆用此药治之，即除根源。余通判邵阳，日随王仲及舍人，自请解官还部中，见其手颤，言语蹇涩，似有瘫痪，授以此方，遂至平复如常。此药治三十六种，七十二般风气。若酒后临卧，不问老少，能饵一服，即宿醒消尽，百病不生，真济世卫生之方。自度岭来，录与僚友，皆服食有效，不可胜记。使韩同年之名，与此方同为不朽。政和三年正月，柳州柑子堂记良方又云：此方往年戴总管任武昌，与辛尚书善，而亲授此方，后有里友周草庭任茶运司幕官，亦得此方，士夫服之甚验。予谓此药多用大黄，补泻疑信，未熟方之旨，遂考药性，并黎居士简易方所载相同。夫大黄下品之药为主，推陈致新；用兔丝子、车前、牛膝、独活、山药皆神农所尝上品，主养命益气延年；郁李仁主治病，滑利神机，运动周身，当泻则泻，当补则补，除邪愈疾，前时良医所谓陈莖去而肠胃洁，癥瘕尽而荣

① 丹：袖珍方此下有“秘方一名一粒金丹”八字。

② 风：袖珍方此下有“去芦”二字。

③ 随：袖珍方此下有“至”字。

④ 不能饮：袖珍方作“能进”。

卫昌。不补之中有真补者，存此方之旨也。
且如经验，曩有福唐韩教授祖母，患腰足冷痛，不能行，遂服之一日，腰脚温暖能行。

御风丹：治一切中风，半身不遂，神昏语謇，口眼喎斜，妇人头风，血风，暗风，倒仆，呕哕涎痰，手足麻痹。

川芎 白芍药 桔梗 细辛去叶 白僵蚕
炒 川羌活 天南星姜制各半两 麻黄去根节 防风 白芷各一两半 乾生姜 甘草炒各三钱 施圆
端效方三分 朱砂二钱半，为衣

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，热酒化下，食前日三服，神昏有涎者，加朱砂二钱半。

防风汤：治中风内虚弱，语言謇涩。

石膏①一两半，酒炒 地黄 杜仲去皮，切，姜汁炒 丹参各一两一钱 防风 川芎 麦门冬 桂心 川独活各一两

右咬咀，每服八钱，枣子二枚，煎至八分，去滓，温服，不拘时候。

定风散：治风狗咬破，先口嚼浆水洗净，用绵搥乾贴药，更不再发，大有神效。

天南星生 防风

等分为末，乾，上药，更不再发，无脓，不可具述。

清气散：治风壅痰涎上膈，烦热。

前胡 柴胡 川芎 枳壳 白术 青皮 羌活 独活 甘草 茯苓 人参各等分

右咬咀②，水二盏，煎至一盏，去渣，温服，食后，愈加荆芥一穗。

如圣散：治破伤风，止血定疼。

苍术三两 川头乌炮，去皮，一两 草乌头炮，去皮，一两 两头尖二十箇，炮，去皮 天麻 川芎 白芷 防风 细辛各一两 雄黄五钱 如损骨加乳香五钱

右为末，每服一钱，酒调下，不拘时候服。

治破伤风，手足颤掉不已者：

人手足指甲炒绝烟六钱 朱砂外台、精义另研 天南星姜制 独活各二钱 精义去皮

右为末，每服一钱，精义右为末，分作三服。酒调

下，不拘时候。

大乌药顺气散：治诸风气，手足瘫痪。

归芍地黄芎，乌药陈地龙，香附缩砂枳，芩半与防风，苏桔并甘草，乳没沉香停，姜枣均煎服，诸风气立通。

治暗风倒地③，细辛不拘多少为末，每一字搐鼻中。

补气汤：治皮肤间有麻木，此肝气不行也。

黄耆 甘草一两 白芍药一两半 泽泻五钱 橘皮一两半

右咬咀④，水二盏，煎至一盏，去渣，通口服，不拘时候。

防风汤⑤：治风寒汗出，肩背中风，小便数欠者。风热乘其肺，使⑥气郁甚也，当泻风热以⑦。

柴胡 黄耆 升麻 羌活 防风 陈皮 人参 甘草半钱 藁本二分 白豆蔻 黄蘗二分

右咬咀，水二盏，煎至一盏，去渣，食前通口服，气壅盛者宜服，面白者勿服。

衍义本草治风涎暴作，气塞倒卧，或有涎，用诸药化不得者：

苦丁香为末一二钱，加轻粉一字，水半合，调匀灌之，良久涎自出，如未出，含沙糖一块，下咽涎出，此药不损人。

清阳汤：治口喎，颊腮急紧，胃中火盛，必汗不止，而小便数也。

升麻 黄耆 当归身各二钱 葛根一钱半 红花一分 苏木半钱 甘草一钱 黄柏一分 生草半钱 桂枝一钱

右咬咀，酒二盏，煎至一盏，去滓，温服。

① 石膏：袖珍方作“石斛”。

② 咀：袖珍方此下有“每服一两”四字。

③ 治暗风倒地：袖珍方作“搐鼻散：治暗风倒地，不省人事”。

④ 咀：袖珍方此下有“每服一两”四字。

⑤ 防风汤：袖珍方本方尚有“青皮”。各药剂量为升麻一钱、藁本三分，甘草、黄柏同，余药亦未注明剂量。

⑥ 使：袖珍方此下有“肺”字。

⑦ 以：袖珍方此下有“通气”二字。

胃风汤：治虚风证，能食，麻木，牙关急搐，目肉蠕眴，胃中有风，面肿。

白芷一钱二分 升麻二钱 葛根一钱 苍术一钱 甘草一钱半 柴胡 藁本 羌活 黄柏 草豆蔻各三分 麻黄半钱 蔓荆子一分 当归身一钱

右咬咀，水二盏，姜三片，枣子一枚，煎至一盏，去滓，温服。

乌龙丸：治诸风。

乌头三两 天南星 半夏曲 姜蚕炒 乌药 白胶香 另研，各半两

右为末，酒糊丸，如梧桐子大，每服四丸，空心酒下。

镇风丹①：

旋德草乌一两，去皮脐 五灵脂 去沙石，净用

右为末，入麝半两，再碾极细，用飞罗面、好酒捣成膏，每两作十块，同生姜汁破好酒磨化下②。

归来轩毡道人风药：

红曲半斤 苍术 乌药 天花粉 何首乌 白芷 陈皮 蝉壳 川楝子 补骨脂 天南星 炮 苏木 藁本 鹭丝藤 黑牵牛 姜蚕 五灵脂 地龙 宣木瓜 香附子 荆芥 川芎 当归 细辛 草薢 蚕沙 赤芍药 防风各半斤 草乌二十二斤 川乌五斤 乳香四两

右为末，面糊丸，如黄豆大，治男子妇人左瘫右痪，口眼喎斜，八种头风，五种腰疼，筋骨缩疼，半身不遂，手足麻木，血风燥痒，疮癣疥癩，眼流冷泪，一切风痰，并皆治之。每服③早饭后服二丸，临卧服二丸，嚼碎，茶送下，酒亦得，孕妇勿服。

神仙飞步丹：治男子诸风湿瘫等证。

苍术八两 草乌四两，不去皮尖 杜芎 香白芷各二两

右咬咀，用生姜四两，连须葱四两，捣细和前药，拌匀，以磁器筑药于内，令实，纸封瓶口，勿令出气，春三、夏二、秋七、冬九日，以天气凉暖为候，取出晒干，或焙干，与姜葱一同为细末，醋糊丸，如梧桐子大，每服十五丸，空心茶酒任下，忌热物，

加至二十丸，孕妇勿服。妇加木香，酒茶下。

右方如前，只用败龟板醋炙数次，以酥为度，碾为末，用淡醋姜汁水调成膏，以鹅毛敷患处，立效。

保命丹：治破伤风。

辰砂 麝香另研 川乌头 去皮尖 大半夏生。各一钱 藜芦 去土，三钱 雄黄 半钱

右三味④为末，和匀，熟枣肉丸如鸡头实大，每服一丸，细嚼，温酒下。若病牙关急，斡开灌药，病人吐涎为效。如吐，葱汤止之，不吐更用半丸，大有神效。

一字散：如前。

金头蜈蚣一枚⑤，去头足，炙 草乌头 去芦。各半两 天麻 半两 全蝎 十个 香白芷 少许

右为末，每服一字，发热，茶清下，发寒，温酒、半夏茯苓汤下。

如圣散：大有效验，治一切金刃所伤，血不止，牙关紧急皆治。

香白芷 川芎 防风去芦。各五钱 细辛五钱 雄黄二钱半 草乌 去皮脐，四钱 两头尖 去皮脐，四钱 苍术 米泔浸一宿，去皮，一两

右为极细末，血不止干贴。破伤风牙关紧急，用热酒一盏，调服一钱，又贴破处。风牙虫疼，干擦之，流涎即愈。狗咬蛇伤，煎盐汤洗净，干贴，用热酒调半钱服，如重车行五里，并服三服，如重，服一钱，小儿量力减服。多年不效恶疮，煎葱白盐汤浆水口嗽，洗去脓血一二次，拭干贴，一切蜂蝎小虫所伤，唾调于痛处贴之，如妇人产后，败血上冲下注，热酒调服一钱。忌腥荤、面、油腻等物。

犀角饮子：治风热上壅，两耳聋闭，内外肿痛，脓水流出。

犀角 菖蒲 木通 玄参 赤芍药 赤豆 菊花 各一两 甘草 半两

① 丹：袖珍方此下有“一名黑神丸”五字。

② 下：袖珍方此下有“一方无麝香，六月六日圆，弹子大，薄荷酒磨下”等字。

③ 服：袖珍方无此字。

④ 三味：袖珍方无此二字。

⑤ 一枚：袖珍方作“二条”。

右咬咀，每服一两，水二盏，生姜三片，煎至一盏，去滓，温服，食后。

如圣散：治诸风湿①。

川乌 草乌 白芷 细辛各四两 防风 二两

全蝎 天麻 白术 各一两 川芎 麻黄 各一两二钱
苍术 半斤

右为细末，每服一钱，酒调②。

永类铃方

大风

经所载厉风者，即大风恶疾癩是也。虽名曰风，未必皆因风，亦嗜欲劳动气血，热发汗泄，不避风冷湿，使淫气与卫气相干，致肌肉愤臃，气有所凝，则肌肉不仁，荣气泣浊，腑热不利，故色败，皮肤疡溃，鼻梁阙坏，负此疾者，百无一生，惟洗心涤忤，服药求效，忌啖炙博，咸味，宿业缘会，亦有传染者，从头起生者为顺，从足起生者为逆，难治，虫生于五脏，象五行、五色，惟黑虫无治法，其他尚可救。其脉来迟去疾，上虚下实，为恶风也。治之先明所因，若例以泻风药治之，则失之矣。昔有僧，所患状如白癩，卒不成疮，每旦起白皮一升许，如蛇脱。医言多啖炙博所致，与局方解毒雄黄元愈。

庐山胡以方，尝患此，在北方收效，传方：

用杏仁、铁屑、夜明沙、朴硝、枸杞根、
即真地骨皮。右等分为末，入柏子油内煎三两沸，去滓，用油搽。南方少得柏子油，以老柏节有油者，烧沥亦可，并治疥疮，诸恶疮。

袁高致传来以方本云：以田菜子根为枸

杞根等分皆同，外有服药并洗药：

苍术 二两半 白芷 乙两 天麻 乙两 白蛇 净
远志肉 全蝎 自然铜 牵牛 净北细辛
白术 地龙 甘草 姜蚕 狗脊 青皮 陈
皮 各一两 南木香 草乌 麻黄 苦参 各半两
薄荷 当归 京芥 川乌 防风 藁本 各乙两
半 乳香 没药 各三钱 穿山甲 川芎 人参
各二两 乌蛇 三两 麝香 二钱 龙脑 乙钱 二味，别研

右为末，蜜炼元，梧子大，不拘时四十元服。

洗药：

苍术 防风 荆芥 细辛 川乌 苦参
麻黄 地骨皮 何首乌 百草泽各二两，锉
散煎，常洗搽药，当瓦罐熬半个时。

一方：大黄、皂角刺各半斤，郁金五两，为末，酒调下虫。

又：炼松脂和好雄黄作丸服，抱朴子载：癩病，炼松脂服之，久服夜卧，常见有光，大如镜，奇效。

选奇神效散：

黄蘗三钱为末 皂角刺灰三钱 二味研匀，作一服，温酒调下，晚勿食，空心服，至二更取下虫，并不损人，利后三两日，但进白粥及补气药，忌猪、鸡、面、动风物。

经验秘方

三军上马无敌丸：治一切风中，半身不遂，浑身麻痹，风湿。

川牛膝 怀州者好 当归 乾木瓜 乳香 防风 苍术 米泔水浸、炒 川草薢 狗脊 虎骨 没药 各等分

右为细末，酒糊为丸，如桐子大，空心

温酒或盐汤任下。

三军上马无敌丸：治手足因感寒湿，

① 湿：袖珍方此下有“并破伤风”四字。

② 酒调：袖珍方作“温酒调下”，此下并有“如金疮血出者，用药贴之，汗出即愈。如诸疮贴患处，头风口噙水鼻内搐之。一方有桔梗，无全蝎、麻黄”等字。

在于行步，经络或冷或痛，骨节酸疼，及治左瘫右痪，不问久近，并治之。

杜仲 去粗皮，一两，细锉，酒浸，炒去丝 萆薢 一两，细锉，酒浸，焙 川牛膝 去芦，一两重，酒浸，焙 防风 去芦，一两 木瓜 一两，淡者好 金毛狗脊 去毛，一两，细锉，微妙 虎胫骨 一两，文武火，用酥炙香 苍术 一两，切片，酒浸，焙乾 天麻 一两 桃仁 一两半 乳香 七钱，另研入 没药 七钱，研入

右各等分，如前为细末，搅匀，将元浸药酒，煮面糊丸，如桐子大，晒乾，每服五十丸，加至八十丸，随病上下，食前食后温酒送下。忌生冷物、海味。

乌犀丸： 治一切风热壅滞，大便秘涩，小便黄赤，烦躁喘满，腰脚重痛，并治脚气。

黑牵牛 四两，生用 皂角 二两，不皴者，炙令香，刮去皮子 细松烟墨 半两，烧令烟断

右为细末，面糊为丸，如桐子大，每服五十丸，温熟水送下，临卧服，取利一次，宜量虚实加减。

牛犀散： 治一切风热、毒气攻注，遍身生疮。

大黄 半两，湿纸裹，煨令熟 山梔子 半两，微妙 甘草 炙 当归 去芦头 连翘 防风 去芦头，四味各一两 生犀角 二钱半镑

右为细末，每服二钱，温热酒调下，食后或因饮酒时，每饮一盏入药半钱。疮疮本戒酒，此反以酒引药入经络治病，又不坏酒味。

风湿疼痛病：

豆粉 一匙 白面 二匙

右件二味，同炒黄为度，用木瓜酒、生姜自然汁为膏子，于患处贴之。

祛风顺气丸： 治口眼喎斜，半身不遂，及酒食所伤一切等病，此药祛风顺气。系庆元李御史方。

木香 槟榔 川芎 天麻 陈皮 去穢 半夏 青皮 去穢 车前子 乾生姜 防风 去芦 猪牙皂角 各一两 大黄 四两 牵牛头末 八两

右为细末，煮陈米饮为丸，梧桐子大，

每服五七十丸，茶清、温酒、温水任下，临卧服，夏月加青皮一倍，秋加车前子、川芎一倍。

加减顺气散： 治男子中风瘫痪，手脚拳挛，口眼喎斜，半身不遂，头目眩晕，痰涎壅盛，语言蹇涩，行步艰辛等证。

天台乌药 五两 桔梗 去芦 川白芷 川芎 甘草 炙 陈皮 去白 白术 各二两半 麻黄 去根节 枳壳 去穢，麸炒，各一两半 人参 木香 各半两

右咬咀，每服七钱重，水二盏半，生姜五片，煎至八分，去滓，无时服。简奇方同。

乳香趁痛丸： 治浑身麻痹，拘急疼痛，活血舒筋。

木瓜 乳香 另研，各一两 官桂 半两，不见火 五灵脂 一两半，炒 当归 一两半，去芦，酒浸 木香 一两，不见火 川牛膝 去芦，酒浸，焙乾，一两 没药 半两，另研 虎骨 一两，醋炙 川乌 生，去皮脐，半两

右细末，酒糊为丸，桐子大，每服五十丸，空心食前，温酒、姜汤任下。

又方：治效同前，前药薰洗，后药服之。

荆芥 防风 木通 天南星 金银花 木瓜皮 香白芷 苦参

右各五钱，用水三五桶，以文武火煎，每日一洗，如此三五日后，隔二三日再洗。

川乌 生姜 四两，去皮 连根葱白 四两 苍术 四两，菲山者，切成薄片，用无灰酒浸，夏一日夜，春秋二日夜，冬三日夜

右为细末，好米醋糊为丸，桐子大，每服十五丸至二十丸，空心盐汤、温酒任下，忌一应热汤、热食，勿即饮食。

赤龙丸：江大丞验方

荆芥 草乌 破故纸 炒各二两半 羌活 白芷 乌豆 川牛膝 各一两 黑牵牛 炒 茴香 炒 紫金皮 川萆薢 各半两 川芎 七钱半 木瓜 三钱 独活 一两半

右细末，酒糊为丸，桐子大，土朱为衣，每服二十丸。诸般风瘫痪，黑豆酒下；偏正头风，川芎茶下；风眼牙疼，薄荷汤下；气滞腰疼，茴香汤下；腿脚肿痛，木瓜酒下；

风湿脚气，木瓜酒下；走注风，防风酒下；鸡爪风，麝香酒下；皮肤燥痒，火麻子研酒下；风疮下疳，赤豆酒下；破伤风，乳香酒下；瘰癧，荆芥茶下；胎前、产后诸风，当归酒下；痈疽肿痛，生姜酒下；气血凝滞，生地黄研酒下；肾经湿痒，飞过盐沸酒下；筋骨拘挛，松节酒下；肠风痔漏，槐花酒下；风痰喘嗽，生姜半夏汤下；口眼喎斜，木香、前胡酒下；诸痢，朱砂麝香酒下；小儿惊风，朱砂薄荷酒下。

治风昏气厥不省，痰壅失音 大名安仲立治法：

龙脑 牛黄 青黛 乌犀 朱砂 各等分

右细末，每服一钱，新汲水同蜜匀调服之，神清为验，竹沥油亦好。简奇方同。

三宝散： 治效同前。陆祥卿传。

脑子 二分 牛黄 二分 朱砂 六分

右细末，取竹沥油匀调，每服一钱。

仙酒方，汴梁王宰传云：朝义大夫前监西留守兼御史台公襄悦表称：臣自染大风疾，手足拳挛，半身不遂，经今数年，蒙恩放臣，专以医治，遇奉天县尉李先纯与臣此药，臣依方浸酒，臣自得病，非假人力不能转动，饮至二升，乃能自转，三升脚伸，四升腰缓能行，一斗病除。

牛膝 一斤，洗净，切 秦艽 洗净，细切 桔梗 洗净，切。各一两 蚕沙 净，炒 羌活 洗净，切 防风 洗净，切 人参 拣净，切 马尾当归 各二两，亦切 黍粘子 洗净，切 枸杞子 净，炒 火麻子 净洗，炒。各半两 苍术 二斤，净过洗之，蒸过用

右用无灰清糯米酒二斗，磁缸内入药浸之，用七重纸密封，于无人静处放七日，药成开缸时，人面不得对缸口，每日空心温酒一盏，日三服，大治诸中风，半身不遂，腰脚缓弱，手臂顽麻，左瘫右痪，抽掣痺拽，一切风热等疾，大效。

肺风散： 治肺风及面上红紫癩风。

人参 一两九钱 甘菊花 一两半钱 何首乌 二两一钱 大黄 一两半钱 当归 五钱半 香附子 二两一钱

枸杞子 三两五钱 朱砂 二钱半 加通圣散一料。

右细末，炼蜜为丸，弹子大，以朱砂为衣，每服一丸，食后临卧细嚼，茶清下，大忌酒。

加减愈风汤： 治风湿肿痛。贾冲霄验方。

通圣散 一两 四物汤 五钱 黄连解毒汤 五钱

右为末，每服五钱，水一大盏，煎至七分，去滓，热服，无时。

玉液汤： 治诸般风疾，麻痺瘫痪，动止不得。汴梁州判王义甫患风年半，服此药酒，未及二斗，疾痊，乃传之祁闰甫。

牛膝 一斤 天麻 五两 秦艽 一两 防风 二两 枸杞 二两 蚕沙 二两，拣净 大栗子 炒熟，用肉一斤 桔梗 二两 当归 一两八钱 苍术 二斤，泔浸，去皮，蒸熟 地黄 一两八钱

右俱各洗净，细切，用无灰酒二斗，磁缸内浸，用白纸七重，封七日，勿教妇人封，取用药时，人面不得于缸口上觑，每服酒一盏，日进三服，虽患年深，亦不过二斗酒，常服永除风疾，百病不生。忌湿面、动风之物，大效。简奇方同。

治风湿遍身疼痛膏药方：宝右丞经验。

苦参 一两 砂仁 升麻 大黄 各一两 天南星 木鳖子 各半两 黄连 白附子 半夏 海螵蛸 蜂房 荆芥 草乌 良姜 降真节 黄柏 草薢 败龟板 九肋鳖甲 各一两 贝母 花椒 苦杖 防风 黄耆 人参 蝉退 苏木节 川芎 桑白皮 黄芩 白芷 龙骨 大腹皮 乳香 另研为末 没药 另研为末 皂角刺 乾地龙 杜牛膝 五加皮 蓖麻子 川乌 独活 全蝎 各半两 蜈蚣 二条 见种消根 苦竹 桃柳枝 槌碎。各半两 清香油 五斤 好抚丹 一斤半

右并锉碎，香油浸三日，用慢火熬，早至巳时，滤去药滓，待熬至茶合色，滴水内成膏，然后下乳香、没药，须臾下黄丹，搅匀，下丹时抽火放冷，不要火紧，以柳枝搅成膏为度，此方出疮科经义，梁企贤提举加此五味：血竭 半两 白敛 一两 白及 一两 赤芍

药一两 玄参一两

匀气散：专治风气，凡言风中、气中者，便以风药治之，十无一愈，以气药治之，气顺而风自散。王子通平章传之。

白术四两 天台乌药二两 青皮半两 沉香半两 甘草半两，炙 白芷半两

右细末，每服二钱，水一大盏，生姜五片，紫苏五叶，木瓜三片，枣一枚，煎至七分，食前温服。

风湿疼痛熏洗方：崔左丞常用。

防风 荆芥 地骨皮 蛇床子 草乌头 官桂 良姜 藁本 独活 木通 麻黄 金银花

右各等分，为粗末，煎熬薰汤，如遍身肿湿，或疼痛，可用药末三四两，盛于小布绢袋中，以隔年带须葱三二十枚，分为两把，各将葱梢结定，水三桶，同煎至七分，仍先置大木盆，又用小板床跨于盆口上，又用一小板儿于盆口上，稳坐定，二足踏于板上，以雨衣毡被盖定，急盛药水于盆内，先薰，如不胜热气，薰膝亦可，微将雨衣揭去地三五寸，须臾却放着地，如再不胜，依前揭，放至水可入手，方去其雨衣，将葱二把，递互蘸水，满身擦洗，又至水可以入身，于盆内坐定洗浴，水冷即止。如腰以上病，可用药三两，葱如前，水二桶；腰下病，可用药二两，葱如前，水一桶半，或床或炕稳坐定，亦用小板于盆上，二足踏定。腰以下用者，以毡脐下紧系定。膝以下用者，软毡于膝上紧裹定，作热蒸膝，各依前揭毡。如不任疼痛者，量加乳香、没药，仍用开除平破日妙，如血气凝滞，酌量用药葱水，乃张彦祥方。

治风湿疼痛方：韩安卿签事试验。

芥子 芸台 蚕沙 以上各一小盏 川山甲七片，火炒过

右细末，新汲井水调，用银钗儿搅匀，稠粘时用旧年蚕连纸摊于纸上，就患处贴，若热烧疼痛，将凉水搽上救之。

万金散：治一切诸风，破伤风，狗咬，

及小儿慢惊风。高子安得效方。

泽乌头六两 吴白芷五两 甘草四两 雄黄二钱半 藿香二钱半

右细末，每服钱抄半钱，温酒调下。病重者一钱，小儿加减用。

浸虎骨酒方：专治一切风疾，乃刘总管传云：丞相史史深，沐圣恩，叨居相职，节宣不谨，遂染风邪，手足拘挛，不堪跪拜，宣医诊治，良剂屡投，今越十年，略无寸效，乞赐归里，广访名医，于七年十二月，至奉先驿获遇异人，问^①臣疾状，传授一方，大臻灵效，臣依法浸酒一斗，未服药前，非人不能起止，饮及一升，便手可梳头，二升手足屈伸有力，三升语言舒畅，行履如故，四升四肢通暖，五升百节俱遂，举步如飞，即经验方，乞赐圣旨，颁行天下，使尔黎元，咸跻寿域，臣下情无任感幸之至。

防风二两，拣去芦，主大风头晕，风行周身，骨节疼痛，四肢拘挛 秦艽二两，治寒湿风痹，肢节疼痛，语言蹇涩 草薢二两，治寒湿风痹，腰背骨节疼痛 羌活二两，治风邪去湿，百节酸疼 虎骨二两，酥炙，壮筋骨 川牛膝二两，去芦，治手足麻痹，四肢不遂，不能屈伸 败龟壳二两，槌碎，治风邪痲痹，不能举动 晚蚕沙二两，炒黄色，治风，诸节不遂，皮骨顽痹，腹内宿冷，腰节疼痛 枸杞子五两，治五脏内邪毒，风湿酒痹，坚强筋骨，利大小便 苍耳四两，炒黄色，槌碎，去风湿毒气，四肢拘疼，聪耳明目，强志轻身 川乌二两，炮，去皮脐，治中风，消冷痰，益阳事 松节二两，壮筋骨 当归二两，治中风肿，汗不出，湿痹，活血定疼

右细锉碎，用无灰酒一斗，入药浸在坛内，牢固密封，俟十四日，开坛取酒，每日早、午、夜三时，各取酒一盏服之，勿令药力断绝，候病痊时，将药晒乾为末，酒糊为丸，如桐子大，每服三五十丸，空心用好酒送下，间服小续命汤佐之，大效。

冲和汤：又名加减防风通圣散。治感冒三四日不解，微生烦渴口乾，及风热上壅，微觉半身不遂，口眼喎斜。

^① 问：按文义应作“问”。

通圣散一料，内除去皮，芒硝、黄芩不用，滑石减半加防风半两 荆芥七钱半 薄荷半两 甘草三两，炒一两七钱半，生用一两二钱半 苍术去皮，二两半

右用生姜、葱白煎服，如感冒三四日不解，微生烦渴，口乾者，如解，以药服之，汗出必愈。如风热上壅，微觉半身不遂，口眼喎斜者加：羌活 独活 天麻各一两 细辛半两 全蝎三钱 如大便闭，另加大黄，依上如法服之，必效。

犀角退热饮子：治中风半身不遂，不能言语，口眼喎斜。

犀角三钱 黄芩去腐，净，五钱 滑石七钱 人参去芦，二钱半 防风去芦，三钱半 薄荷叶四钱 桔梗二钱半 甘草二钱半 麻黄去根节，二钱半 芒硝二钱 大黄二钱 葛根微自汗者，加二钱，无汗则不用

右为粗末，每服三钱，水一大盏，生姜三片，煎至七分，温服，无时。

祛风丸：专治风痰，酒饮过多，去上热，暖下元，此药不可无，大效。

木香 槟榔 青皮去穢 陈皮去白 枳壳麸炒，各一两 车前子炒 防风去芦头及叉 天麻去苗，各半两 半夏一两半，洗七次 川大黄二两半，去皮，生熟各半 黑牵牛头末四两 乾生姜一两 猪牙皂角烧灰存性，一两

右细末，生姜汁稀面糊为丸，桐子大，每服五十丸，生姜汤下。

温胆汤：定心志。

陈皮二钱 半夏一钱半 茯苓一钱 枳实半钱 甘草半钱 远志一钱 酸枣仁半钱

右作一服，水二盏，生姜七片，煎至八分，空心温服，滓再煎。

镇心汤：杭州蒋养斋服效。

妙香汤 五苓散

右合和，以灯草汤下。

牛犀丸：治男子妇人卒中不省，半身不遂，脚腿麻痺疼痛，腊月合就，救人大效。松江陆悦道服效。

牛黄 麝香 脑子各半钱 没药 沉香 檀香 乳香 辰砂 血竭各一钱 川芎 两头

尖各一钱半 川乌 黑附子 白附子各半两 防风 天麻 五灵脂 麻黄 薄荷 何首乌各半两 牛胆 天南星半两 生犀角屑二钱，另研加

右细末，炼蜜为丸，弹子大，朱砂为衣，每服一丸，用生姜自然汁半盏，酒半盏，同化开，临卧服。

单治麻风癩疾：建德路徐大夫赣州廉同知服效。

皂角针三两 水银一钱

右二味，一处烧炼存性，细末，胶糊丸，如桐子大，每服二丸，用大风油一钱重，茶清食前送下，一日进三服，忌盐酱诸般肉食，且吃白粥，安可后如故，仍忌母猪肉、香油，此药三日便效。

禹余粮散：治痢疾。

禹余粮生用 防风去芦 官桂去粗皮 白芍药 远志 独活 人参 石膏生用 牡蛎生用 秦艽各一两 防己 石菖蒲 雄黄 伏神 蛇脱 白术各五钱

右咬咀，每服四钱，水一钟，煎至半钟，温服无时。忌猪、羊、虾、蟹海味等物。

上清川芎丸：利气化痰，去大风热，消导。

川芎七两半 薄荷一十五两 桔梗七两半 防风二两半 甘草三两 细辛五钱 白砂仁十个 脑子三分

右细末，炼蜜为丸，如荔枝子大，临卧噙化。

治手足顽麻：门馆项先生传。

鼠粘子俗名牛蒡子，四两仲，二两炒香熟，二两生用 天麻二两 防风三两，去芦 羌活一两 独活半两 白附子一两 如足顽者，加牛膝一两，去芦

右锉散，入磁器瓶内，用无灰好酒，春浸七日，夏三日，秋五日，冬十日，手患者食后温服，足患者食前服，能饮十盏者，只服二盏，日服五次，但常要酒气不绝，饮酒二日后，用草乌头切去脐，用酸醋半盏，浸切处一头过一宿，次日用乌头醋浸处，点盐

擦患处。

治风疾，百骨疼痛，不能动止，一味石薊叶，浓煎汤，熏至温，入手洗之，但汤气至疼处，其疼即止。庆元路吏项茂卿服效。

迎风丹：前大军库张提领患白癜风，服效。

苍术 何首乌 荆芥穗 苦参 各等分

右细末，好肥皂角三斤，去皮弦，于磁器内熬为膏，和为丸，如桐子大，每服三五十丸，空心酒茶任下，忌一切动风之物。

又方：治白癜风用猪屎花泉州人曰海南菜 用菜子同面和作烧饼，又将菜油盐食之。

身上瘙痒：用生姜割破，就痒处搽便住。

中 风

治卒中风，不省人事，寿域神方、卫生易简方此下有痰壅二字。用白矾二钱，生为末，生姜自然汁调匀，开口灌，若涎不吐，急救仙方作其涎或吐。或化下即苏。简奇方同。神方、易简方生姜自然汁调，转开口灌下，化痰或吐即醒

治中风：

用真麝香三钱，细研，用苏合香丸二丸，好香油调匀，一同灌下，即效，后服均气散。简奇方同。

头 风

治偏正头风，嚏鼻药，词寄西江月云：此药最为奇妙，细辛甘草人参。藜蘂简奇方藜芦。川芎一钱停，半钱盆硝为定。拣定浑身壮热，更论偏正头风。将药一字到鼻中，当下教贤无病。

治偏正头疼：

川芎一两，锉，微炒 香白芷二两半，微炒 乌头半两，炒熟 甘草一两，锉，微炒

右细末，薄荷叶煎三沸汤，入茶清少许调下，每服二钱。

治急头疼用石膏细末，好茶调下一盏，立效。

治伤风洗头风：

蝎梢二钱半 麻黄去节，一两 蜜姜根 草乌头 川芎 白附子 乌梢好酒浸三夜，去皮，火上炙乾黄色 天麻 黑附子炮，去皮。各半两

右细末，每服一钱，热酒调下，日三五服，重者亦三五日效。此证宜早治，但邪气入脏则难治，有四证难治，一头面青；二汗珠不流；三眼小瞪；四身上汗出如油。

治头风：

葱连根，十茎 生姜十片 芽茶一撮

临睡煎服。如伤风头疼，加淡豆豉一撮。

简奇方同

治偏正头风：(郭巨卿经验)

川芎 道人头各一两 白芷 细辛根 石膏各五钱

右细末，鼻内嚏之，先令口含凉水，庶药不入喉，如未效，用清茶调服。

又方：诸般头风：六月初伏一日，早不犯红日，禁语，采苍耳心阴乾，无灰酒浸服之，不过一斗，其效如神。

偏头风疼痛：

草乌去皮尖，生用

右细末，用薤白去根，研烂为丸，桐子大，将橘叶夹丸儿阴乾，食后每服一饼，茶芽煎汤嚼下，如伤风、头风、发热、咳嗽、痰壅，先服人参散即人参散毒汤两贴，然后服此饼，大去伤风痰壅。

洗头月日¹方见眼门。

盞落汤：治偏正头风。

麻黄净，去根，七钱半 人参去芦，五钱 陈皮去白，七钱 甘草去皮，八钱 御米壳去腹穢顶蒂，三钱

右咬咀，每服五钱，生姜七片，煎至七分，温服。

破 伤 风

破伤风：白面经验良方烧盐 盐各一撮，新水调涂之。简奇方同。

又：鰓不以多少，于一仰一合，瓦内炭火烧烟尽，研细，热酒调下，汗出即愈。

¹ 洗头月日：方见本书卷七十眼门七。

又：苏枋木，锉，煎浓汁，灌疮口中，十数盏，不令绝，候疮中黄水出为妙。

破伤风疮口作白痴无血者，杀人最急，治之雄雀粪，直者是，研细，热酒调半盏服。简奇方同。

破伤风死者：

新生蚕蛾 阴乾

右为细末，每服一钱，温酒调下，被盖汗出为度，大效。简奇方同。

破伤风：

蜈蚣一对 全蝎一十四个，微炒 鱼鳔半两 麝香少许 五味子一钱

右为细末，用炒黑豆热淋豆酒，调小钱

半钱，淋酒调下，温服，又用酒浸熟黑豆水调服。

又方：

川乌六钱 吴白芷五钱 甘草四两 藿香二钱半 雄黄二钱半

右为极细末，病大每服一钱半，病小一钱，温酒送下，不拘时候，汗出为效。

破伤风牙关紧噤：草乌头去皮，防风为末，雄黄别研，等分，每服一字，热酒调灌之。亦治洗头风，噤牙关者，如破伤风身体强硬，更用天南星二两，防风一两，为末，先以热小便洗疮贴之，有紫汁出是效。

经验良方

张仲景治六十二种风，兼腹内血气刺痛。右红花一大两，分为四分，每分水一大盏，煎一半，顿服，不止再服。

治一切风湿痹，食医心鉴备预百要方风寒湿痹。四肢拘挛：

右苍耳子三两为末，水一升半，煎七分，心鉴百要方七合。去滓服。寿亲养老书食治，老人风冷痹，筋脉缓急，苍耳茶方：苍耳子二升 熟杵为末 必用全书、必用之书熟捣为末。右每日煎服之，代茶常服，极治风热，明目。

治中风口眼喎斜者：

右用石灰卫生易简方硬石灰。一合，醋炒如泥，备预百要方作和醋。斜向右涂左，向左涂右，立正即洗。

治头风脑骨痛，水浸皂荚，春浸三日，夏秋五日，冬十日，就水洗净，新瓦焙乾为末，每用一字，茶调服，又将少许吹入鼻中。

加味青州白圆子：治丈夫妇人，卒中风邪，半身不遂，口眼喎斜，痰涎闭塞，喘嗽咯血，胸膈满闷，小儿惊风，妇人血风，大人洗头风，并宜服之。

白附子 天南星 半夏 川姜各二两 白姜蚕 天麻 乾蝎各一两 川乌头去皮尖，半两

右八味，并生用，为细末，白面糊丸，如梧桐子大，每服三五十丸，生姜汤下，不拘时。如瘫风温酒下；小儿惊风薄荷汤吞下五丸。常服安神定志，去风痰，鬲壅滞疾。有孕妇人不宜服。里人周草庭云：以前八味一料为末，加真料苏合香丸貳两，姜汁糊丸，如梧桐子大，薄荷汤下，小儿偶患惊风，生姜薄荷汤磨化三五丸灌之，立定。

四宝丹：治男子妇人一切风疾。

金毛狗脊 盐泥固济，火煨红，去皮，用肉，出火气，锉 萆薢 苏木节 川乌生用

右各等分，为细末，米醋糊为丸，如梧桐子大，每服貳十丸，温酒或盐汤下，病在上，食后服，病在下，空心服。吴氏集验方同。

治气中已死方：

右理中圆貳圆，浓煎橘皮汤下，若口噤便捏了鼻，斡开牙下药，立活。旧吴倅母中死，召名医十人，皆不效，遂请皇甫先生至，问十人等何证，皆云中风，皇甫大笑，宜人几死于诸公手，遂下此药立苏，云：人多于气中，少于风中。

秘方小续命元：治男子妇人久近风湿脚气，此方泰州苏教授患风湿穿心脚气，遍

身浮肿，气喘，本州大守女患此疾，得一至人，授方服之愈，此方传与教授，服亦愈。

汉防己 桂 去粗皮 人参 去芦 杏仁 去皮尖，炒赤 白芍药 甘草 麻黄 去根节 芍药 各一两，净 防风 去芦，一两半 附子 去皮脐，半两，人壮实不可用 何首乌 四两 川牛膝 一两 草乌头 去皮尖，切片，炒

黄，半两 黄芩 去芦

右为细末，先用大木瓜二箇，好酒一瓶，小锅炭火慢煮十分烂，去皮穰，于瓦盆内，研烂，搜和前药，如硬燥，就用煮木瓜酒添，搜和为丸，如梧桐子大，每服三十元至五十元，空心温酒下，常服除根。

医 林 方

金凤丹： 中风不语，半身不遂，一切大小诸风，气痹，并皆治之。

脑子 半钱 麝香 一钱半 血竭 没药 各二钱半 丁香 木香 白檀 乳香 人参 官桂 白豆蔻 肉豆蔻 麻黄 去节 地龙 去土 香附子 炒全蝎 已上各半两 朱砂 藿香 槟榔 真 缩砂仁 甘松 去土 海桐皮 白芷 白僵蚕 炒去丝。各半两 天麻 当归 去芦 白茯苓 去皮 贯芎 已上各半两 生地黄 熟地黄 甘菊花 荆芥穗 去土，已上二两半 白术 桔梗 芍药 已上二两半 薄荷叶 去土 石膏 滑石 自然铜 细辛 去土 草乌头 去芦 川乌头 炮，去皮。已上各四两 拣甘草 防风 去芦 槐角 已上各五两 地骨皮 刮去粗皮，秤八两

右件四十六味，如法拣择修制，同捣罗为细末，炼蜜成剂，每两分作六丸，金箔为衣，于磁器中盛药，每服半丸，细嚼，茶酒送下，如病上食后，病下食前，所患风证，重者每服一丸。忌食发风之物。

越桃散： 利鬲，调五脏，搜风，除燥热，活血，理气，此药与金凤丹相兼服之，中风人累经神效。

上等川芎 石膏 山梔子 连翘 草龙胆 汉防己 芍药 蔓荆子 何首乌 荆芥穗 去土 薄荷叶 已上各半两 当归 去芦 生地黄 甘草 已上各一两 大黄 二两半，去皮称 麻黄 去节，一两半

右件为粗末，每服五钱，水二大盏，生姜三五片，煎至六分，去滓，温服，不计时候，日进一服，量虚实老幼加减。忌湿面、乾姜。

祛痰丸： 有人味喜咸酸，饮酒过多，色欲无戒，作成痰饮，聚于胸膈，满则呕逆恶心，流则一臂大痛，升则头面昏眩，降则腰脚疼痛，深则左瘫右痪，浅则蹶然倒地，此药宽中祛痰，搜风，理气和血，注颜延寿。

半夏 四两，生姜四两，一处和匀，捏作饼，阴乾 白矾 一两，生 荆芥穗 去土，称四两 槐角子 一两，面炒黄 陈皮 一两，温水浸一宿，去白 朱砂 一两，水飞，一半入药，一半为衣

右为细末，生姜汁面糊丸，桐子大，每服三十丸，生姜皂子仁汤送下，早晨临卧一服。中风三年，服月余痊可；五年以里，百日痊可，此药大有神效，大忌驴、马、猪、狗肉、湿面、蘑菇、桑蛾、芋头、黄头、黄瓜、茄子发病之物。

半天丸： 治风痰。

半夏 二两 天南星 一两 皂角 炙，二两 白附子 白矾 各一两生

右同为细末，生姜汁打面糊为丸，如桐子大，每服三十丸，生姜汤送下，食后。

乳香趁痛疼丸： 治中风肢体疼痛。

乳香 自然铜 骨碎补 甜瓜子 地龙 五苓芝 没药 已上各一两 乾蝎 一两，另为末

右件为细末，乾蝎打面糊为丸，每服三四十丸，葱白汤送下，不计时候。

癩风洗浴法：

暖房一所，不透风气，用大瓮一箇，埋在地内，用荆芥一十五斤，地骨皮一十五斤，锉碎，用河水二檐，同熬至一半，入百药滓二斤，同熬尽去了已上滓，水在大瓮内，洗

浴遍身，可坐三四时辰，汗出多为妙，良久针刺遍身，血出为妙，依前法，十日洗一遍，水休大热，洗四次即愈，后可服乌龙丸。

乌龙丸：

大枣 七个，去核，分开，入巴豆七个，去心皮，盛在枣内，用纸实封了，于炭火上烧作茶褐色 半夏 七个

右同捣为末，丸如桐子大，匀分为二服，临卧大黄汤送下，服至天明，取下物似鸡子浓球儿，不以多少为效，待三五日，可服追命散。

追命散¹ 方见直指方

雷头风：

蚕沙 乾桑叶 健羊丸 羊粪是也

右各等分，为细末，每服三钱，食后茶清调下。

乌龙散² 方见得效方。又可服换骨丹。

换骨丹：

人参 丹参 紫参 沙参 玄参 苦参 天麻 定风草 如无此，以天麻代之 防风 细辛根 白附子 葳灵仙 何首乌 莠贼 山豆根 川山甲 蔓荆子 川芎 各半两 胡麻子 一斤，三棱者，真水淘，微炒香熟，另研。六棱者，去圣子，不入药 蜈蚣 一对

右件，除胡麻子外，为细末，后入胡麻子，同研细为丸，每一丸半两重，细嚼，温浆水送下，日进一服，不拘时候。

趁痛丸： 治白虎风，昼静而夜痛，壮若虎咬，先用此药下过。

甘遂 白芥子 白面 大戟 各一两

右为细末，水和捏作饼子，炒令黄色，再为末，面糊为丸，如桐子大，每服四五十丸，温水送下，已利为效，走注疼痛，以可服之，又可服如意通圣散。

虎骨散： 治白虎风，昼静而夜痛，是风寒湿三气不调，妇人多有此疾。

虎骨 酥炙 没药 已上等分

右为细末，每服五钱，酒煎，和滓热服，食前。

治破伤风：

晋枣 一个，去核 芭豆 一个，去皮 草乌头 一个，为末

右将枣盛芭豆，纸裹慢火内烧令茶褐色，三味同捣为丸，如桐子大，每服十一二丸，茶酒任下，已大便利为效。

黑虎散： 治头风。

两头尖 荆芥 藿香 石膏 薄荷 天麻 羌活 细辛 独活 黑虎 烧皂角存性是也。已上各等分 右件为细末，每服一钱，食后茶酒清调下。

治头风眩运，额痛，恶心呕吐：

郁金 滑石 川芎 各半两

右为细末，每服二钱，薑汁调下。

① 追命散：方见本书卷二十一诸风门九。

② 乌龙散：方见本书卷二十三诸风门十一。

诸 风 门_{十二}

烟霞圣效方

诸 风

治男子妇人中风，左瘫右痪，行步艰难，语言蹇涩，口眼喎斜，并皆治之。

苍术四两，泔浸一宿 草乌头四两，酒浸一宿

右件二味，切作片子，焙干，同为细末，用浸乌头酒，打面糊为丸，如桐子大，每服二十丸，空心一服，临卧一服，日进二服。如中风人服药时，于热炕上，休交冷处，汗出为效。

歙墨丸： 出陵县曹家

麝香一钱 泽乌头四两 五灵芝四两 防风四两 细墨四两 甘草三两半 乳香一钱

右件为细末，熬麻黄膏子，用好酒寒食面同和成圆，如弹子大，每服一圆，细嚼。左瘫右痪，打扑损伤，苦酒甜瓜子汤送下；头风，茶清下；筋骨疼痛，温酒下；解伤寒温与汤下；疮疖肿痛，酒煎枯萎根汤下。

苦参丸： 治婆罗风疾，一切癩病。

苦参二斤 皂角半片，去皮子核，酒浸软，为用

右苦参为末，皂角搥碎，水内揉搓，绝净去滓，熬成膏子，滴水不散，就前末和丸，如桐子大，每服三二十圆，温酒下。忌油腻、酸、辛物。

通应散： 治破伤风。

天南星炮 白僵蚕炒 干蝎炒 蜈蚣炮、各等分

右件同为细末，每服半钱，酒调灌之，立愈。

神力散： 治破伤风。

右一味草乌头尖，为细末，每服一字，温酒服，立止。 寿域神方：破伤风搐搦，

角弓反张，用草乌头不以多少，研为细末，每用一二字，温酒调服，出汗神效。

蜈蚣散： 寿域神方，破伤风搐搦，角弓反张。

蜈蚣一对 全蝎一对 神方并去毒，炒

右为细末，如搐时，每用一字，神方一二字。鼻内嚆之。

金花一字散： 治破伤风。

草乌头 防风 雄黄各半两 香白芷二钱

右件为细末，每服一字，温酒调下。卫生易简方：破伤风强直，用雄黄、草乌、防风等分，为末，每服二三钱，温酒调下，忌热物。一方加白芷。

鳔蜡丸：

右用鳔，烧灰存性，熔黄蜡丸，如桐子，每服十丸，温酒送下。

又方： 人手指甲烧灰，酒服立愈。

急救丸： 治破伤风。

半夏 草乌头 枣去核，已上各一枚

右件同捣成剂，如昏时，温酒化开灌之。如人行五里，吐为效，若醒时，自嚼一半，温酒送下。未全愈者，再服一半，此药，欲死者可救。

胜金散： 治一切破伤风。 寿域神方破伤风搐搦，角弓反张。

斑毛头神方斑毛头 蝎梢尾 草乌头尖 黑附子底。已上各等分

右件为细末，每服一字，新水调服，汗出为效。 神方细研为末，量伤加减，热酒调服。卫生易简方同。

十物独活汤： 疗风半身不遂，口不能

言。

独活_{四两} 桂心_{五两} 生葛_{八两} 甘草_炙 防风 当归_{各二两} 生姜_{十两} 附子_炮 芍药_{各一两} 半夏_{一升，洗}

右以水一斗，煮取三升，分为三服，日进三服，大效。忌海藻、生葱、猪羊肉、锡。

治破伤风：

巧燕粪_{微炒，不以多少}

右为细末，每服一钱，热酒调下，病重者三钱。

又方： 乌鸡粪以同前药用之。

必胜散： 治偏正头痛，夹脑风。

雄黄 川芎_{各等分}

右二味，分为细末，含水嚙之，立效。

治偏头风：

雄黄_{一钱} 盆硝_{三钱}

右研为细末，每用一字，噀水，鼻内疼处，左右嚙之。

祛风散： 治偏正头疼痛，鼻塞不通。

细辛 苍茸 贯芎 白芷 石膏 当归

右件等分为末，口嚙水，鼻内嚙之半字，服茶调半钱。

治中风舌强语涩：

茯神_{微炒，一两} 鸡苏_{二两} 蝎梢_{去毒，一分}

右为末，每服二钱，温酒调下。

桤花散： 治遍身风瘙痒，重则昏迷不省。

桤柳花_{无花用叶，无叶用枝，然不及用花} 蛤粉 当归 甘草_{各等分}

右为末，研匀，每服四钱，温水调下，略睡，良久再服。

木郁丹： 治风热痰壅，清头目。

白药子_{二两} 细辛_{半两} 藿香叶_{二两} 赤茯苓 甘草_{各半两}

右为细末，入糖二两和匀，水浸，蒸饼为丸，弹子大，蛤粉为衣，每服一丸，细嚼热水下。

治风热痰：

藁本_{末，二钱} 腻粉_{一两}

右研匀，看多少，入小油同调和，稀稠得所，银器内熬成膏，放冷涂之。

百嚼丸治诸风：

川芎 皂角_{用黑豆一合，水一碗，同煮豆熟。各二两} 槐角_{四两，炒} 甘菊花 荆芥穗_{各八两}

右为末，炼蜜为丸，弹子大，每服一丸，细嚼，茶酒任下。

立圣散： 治中风牙关紧急，口不能开。

海带_{一两} 白梅_{等分}

右末揩牙，少顷便开。

寿亲养老书

治老人风热上攻，头旋运闷，喜卧怔忡，起即欲倒，背急身强，旋覆花散： 女人通用。

旋覆花_{半两} 前胡_{一两} 麦门冬_{一两，去心} 蔓荆子_{半两} 白术_{三分} 枳壳_{三分，去瓢，麸炒} 甘菊花_{三分} 半夏_{半两，姜汁煮} 防风_{半两} □黄^①_{虚人者用石膏} 独活_{半两} 甘草_{半两}

右为末，每服三钱，水一中盏，入姜半分，同煎至六分，去滓，温服不计时候。

老人补壮筋骨，治风走注疼痛，并风气上攻下注，羌活元：

羌活 牛膝_{酒浴过，焙干} 川楝子 白附子

舶上茴香 黄耆_{去皮，锉} 青盐 巴戟_{去心} 黑附子_{炮裂，去皮脐} 沙苑白蒺藜

右件等分，一处捣罗为末，酒煮面糊为元，如梧桐子大，每服十元，空心临卧盐汤下，看老少加减服。

藁本散： 治妇人血气，丈夫筋骨风，四肢软弱，及卒中急风，并寸白虫，但常服，并皆攻治，或要出汗解伤寒，汤使如后： 此方是孟相公进过。

① □黄： 寿亲养老新书亦阙，按注文中虚人者用石膏，似为“大黄”。

藁本 牛膝酒浸一宿，焙干 当归 麻黄去节。
已上各一两 羌活 独活 防风 肉桂去粗皮，秤
芍药 菊花 续断 五加皮 芎藭 甘草
赤箭 枳壳麸炒，去瓤。已上各半两 黑附子大者一个，
炮制，去皮脐 细辛一分，去叶，秤

右件药一十八味，并须州土好者，使水
洗过，细锉焙干，捣罗为末，空心温酒下二
钱，如不饮酒，薄荷汤下。发汗解伤寒热，
葱白酒下二钱，并服三五服为妙。

治老人风冷，展筋骨，续断散方：

续断一两 牛膝二两 芎一两 木瓜二两

右为细末，空心时，温酒调下一大钱。

治老人一切风，乌犀圆：

天麻二两 地榆一两 川乌头一两，炮制去皮
龙脑薄荷四两 藿香叶一两 皂角三^①挺，不种者，
烧红，入水中浸之 龙脑少许 麝香少许

右为末，炼蜜为膏，如皂子大，每服一
圆，嚼吃，小儿半圆已下，薄荷茶酒调下。

治风气神白散：

白芷二两 甘草一两

右锉成骰子大，慢火一处炒令深紫色，
勿令焦黑，放地上出火毒，杵为末，每服一
钱半，水八分一盞，姜二片，枣二箇，同煎
至六分，通口服，如^②□伤寒时疾，去枣姜，
却入葱白三寸，豉五十粒，依前服，如人行
五七里已来，更服汗出为妙。

施圆端效方

诸 风

白龙丸： 治男子妇人，卒暴中风，口
眼喎斜，神昏涎堵，筋脉拘急，肢体顽痹，
头目旋运，呕逆恶心，皮肤瘙痒，偏正头疼，
暗风倒仆，男子肾风，妇人血风，伤风咳嗽，
声重，鼻渊，小儿慢惊，吐泻霍乱，手足厥
冷，湿风痙病，痲疯潮搐，昏乱不省，一切
诸风，效述不尽。长安宁李家方。

白附子 明天麻 藁本去土 缩砂仁 荆
芥穗 川羌活 细辛去叶 川独活 薄荷叶
藿香叶 麻黄去根节 甘松去土。各一两 葛根
防风 白芷 川芎 桔梗 香附子炒 甘草炒
川乌生，去皮 石膏各两 寒水石烧，一斤半

右为细末，鹅梨汁和丸，每两作一十丸，
别用水石粉为衣，阴干，每服一丸，细嚼茶
酒任下，食后日二服。嗽含化，伤风葱白酒
下，小儿薄荷酒下。难衣用绿豆粉飞过，与
水石粉同匀衣之妙。

乌龙丸： 治中风瘫痪，手足不随，语
謇口喎，筋骨痛，与小续命汤相助服之大妙。

古洹张君玉。

川乌去皮脐 五灵脂明者，微炒。各四两 拯济

加乳香一两 没药一两 麝香二钱

右为细末，酒煮面糊为丸，如弹子大，
阴干，每服一丸，热酒化下，空心晚食前，
日二服。作小丸如桐子大，每服二十丸亦可，
炼蜜为丸亦得。

化风丹： 治一切中风，半身不遂，语
言謇涩，神昏错乱，洗头破伤，血风惊风，
服之皆效。沙麓李道净。

防风二两 羌活 独活各一两 麻黄去根节
白芷三钱 川芎 桂枝 川乌炮，去皮脐 藁本去土
茯苓去皮 白附子 全蝎去毒 甘草炒 皂角烧
存性。各半两

右为细末，水浸饼为丸，如弹子大，
阴干，每服一丸，细嚼，温酒下，日三服。涎
堵，薄荷酒下；破伤，豆淋酒下；伤风，葱
白酒下；妇人血风，当归酒下；小儿惊风，
人参薄荷酒下。

蒜涂法： 治口眼喎斜。成安高庆之。

右用橡斗盛蒜泥，涂合骨^③穴，右喎左
贴，左喎右贴，扯正止之。

① 三：寿亲养老新书作“一”。

② 如：此下脱字，寿亲养老新书作“患”字。

③ 骨：按文义疑作“谷”。

蜈蚣一字散： 治破伤风。武安张八郎祖传信用方。

草乌生，去皮脐 麻黄去根节 雄黄 明蜈蚣炮，存性 白附子 防风各二钱 桑蜈蚣一钱

右为细末，每服一字，温酒调下，食后日进二三服。

小消风散： 治伤风头痛，鼻渊声重，面赤多嚏，自汗恶风。洹水马公方。

川芎半两 荆芥穗 薄荷叶 苍术炒 川乌炮，去皮 石膏 甘草炒 防风各一两

右为细末，每服一钱，热酒或茶调下，不拘时候服。

小追风散： 治破伤，洗头风，口眼^①项强，潮搐。鹤壁梁仲安。

明雄黄一钱 草乌生，去皮 蝎尾去毒 蝉壳各一钱 乌蛇酒浸，二钱 防风三钱

右为细末，每服一字，热酒调下，食前，日进三服。

大紫苑丸： 治诸风偏枯，风痼暗风，五癩大风，眉发退落，肢体顽痹，五噎五膈，九种心痛，八种痞闷，五邪失心，或歌或哭，如鬼所使，积癖气块，黄疸水肿，妇人经病，脐腹疔痛，疟疾连年不差，一切风痹，不知痛痒，并宜服之。太原段教书。前一十五味局方温白丸。

紫苑茸 吴茱萸汤洗七次，焙 菖蒲 厚朴姜制 柴胡茸 桔梗 皂角去皮子，炒黄 茯苓去皮 官桂 干姜炮 黄连净 蜀椒去目，并闭口者，炒 巴豆霜 人参冬 羌活 苁蓉酒浸，焙 槟榔 川大黄 当归切，焙 陈皮去白 防风 麦门冬去心，焙 熟地黄焙 汉防己 车前子炒 白术 鳖甲去裙襴、醋炙。各半两 川乌头炮，去皮，二两半

右为细末，入巴豆霜匀，炼蜜为剂，捣千下，油单裹旋丸，如桐子大，每服三丸，温酒下，米饮亦得。

小灵脂丸： 治一切风虚湿冷，肢体疼痛，痹不能行。新镇杜巨川。

防风一两 五灵脂 川乌头炮，去皮。各二两

右为细末，酒糊为丸，如桐子大，食前酒送下七丸，日进二服。

仓公当归酒： 治贼风口噤，角弓反张，痙病。浚州康子明方。

当归 防风各三钱 独活一两半 麻黄去节，一两一分 附子七钱，炮，去皮脐 细辛去叶，半两

右为细末，每服四钱，水酒各一盏，同煎至五分，一盏许，去滓，温服，一服苏，二服微汗，三服大汗出而愈，口噤灌之。

夺命还真丹： 治一切痙疾，中风痙病，将死不救，洗头风，惊痫吐涎，暗风血风，妇人产前产后血气不调，及诸筋骨节疼痛神效，具述不尽。东岳石碑方。

天麻 人参 木香 白术 兔丝子酒浸 藁本去土 川独活 川芎各一两半 白僵蚕炒 黄芩 全蝎去毒 半夏姜制 熟地黄焙 蔓荆子 甘草炒 桂 生地黄 地骨皮 薄荷叶 黄连净 菊花各一两 防风 茴香炒 知母 杜仲炒丝断 茯苓 柴胡茸 桔梗 陈皮去白 枳壳炒去穢 石膏 当归焙。各二两 羌活三两 白芍药 麻黄去节。各二两半 细辛去叶，半两 蛤蚧一对，炙 金箔四十箔为衣

右为细末，炼蜜为丸，每两作十丸，细嚼，热酒热茶下，不拘时。妇人调血，香附子末，酒调送下，食前，日进三服。大名府路行省冉公传方。

玉饼子： 治妇人头风，恶寒风冷，昏闷呕逆。宁守道方。

川乌炮 干姜炮 天南星炮。各半两 川芎 甘草炒 防风各一两 天麻 半夏姜制。各一分

右为细末，证饼为丸，如弹子，捏作饼子，每服一丸，荆芥穗同嚼，茶下无时。

小灵宝三倍丸： 治痙疾中风，半身不遂，语言蹇涩，口眼喎斜，肢体麻痹。大名乐德全。

草乌头一斤，用黑豆一斗，同煮，豆烂熟，去豆不用 苍术二斤，泔浸，去皮 葱白三斤，细切

右以三味，同捣为剂，焙干为细末，好醋面糊为丸，如桐子大，每服十丸至二十丸，食前温酒下，日进三服，大效。

① 口眼：按文义此下疑有“歪斜”二字。

乌姜丸：治诸中风，口眼喎斜。武安张八善友方。

川乌 草乌 干姜 良姜 各一两

右四味，切碎，好醋一碗，煮醋尽，细切，慢慢炒干，为细末，醋面糊为丸，如桐子大，每服五七丸，茶清送下，食前，日进

二服。忌热食一时。

乌龙丸：治中风，肢体麻痹，顽疼少力。张君玉祖方。

川乌 炮，去皮脐，生亦得 五灵脂 明者。各二两

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，温酒化下一丸，食前服。

吴氏集验方

诸 风

乳香圆：治诸风，左瘫右患，口眼喎斜，脚手无力，四肢沉重。

乳香一两，别研 没药一两，研 川乌一两，炮，去皮尖 草乌二两，生，去皮尖 蚕沙一两，酒浸半日 荆芥穗一两 破故纸一两，瓦上炒 川芎一两 海桐皮一两，去皮 自然铜一两，醋煮炒干 赤小豆一两半，净洗，焙干

右为末，酒糊圆，梧桐子大，每服十五圆至二十圆，临卧酒□□□□茴香酒下，脚痛煎木瓜汤，空心下。

二圣圆：治瘫痪风，手足蹇曳，口眼喎斜，言语蹇涩，步履不止。

大川乌 五两，生，去脐尖皮，秤 五灵脂 五两

右二味，同研为末，入龙脑、麝多为妙，

同研令细，滴水圆如弹子大，每服一圆，先以生姜自然汁研化，次以温酒调服，一日两服，空心。凡初中风，一月内未得用紧药治风，先且化痰消滞，和胃顺气，以风虚未定所归，多误投汤药，三月三、五月五合之。

天麻散：治震风心邪。

川乌一两，生 桂半两，生，去粗皮 半夏半两，生 天麻一分，生 天南星半两，炒

右并为末，每服半钱，酒一盏调下，日三服，饥饱相夹服，忌猪肉、毒物。

焦鹁散：治破伤风。

以腊月活鹁一只，无灰酒一斗，以鹁浸酒瓶中，用砖盖瓶口，大火煨红为度，破瓶，取鹁，研细末，入麝香少许，热酒调服，兼治男子妇人急头风。

神 效 名 方

破 伤 风 邪

辰砂夺命丹：

凤凰台 川乌头生。已上各二钱 麝香 少许 朱砂 少许

右为细末，枣肉和为丸，如弹子大，朱砂为衣，罂酒送下，量病人年甲虚实，加减用之，小儿半丸，以吐为度，不止以葱白汤解之。

治破伤风：病人耳塞，并爪甲上刮末，唾津调涂疮口上立效。无疮口者难用。

治破伤风：

乌梢尾一箇 两头尖四箇 全蝎四箇

右三味，为细末，另用石灰五升，柴灰五升，沸汤五升，淋灰水澄清，下药熬之，铁锅器内搅成膏子，如稠用唾津调，先用温浆水洗净疮口，后涂药，即时药行吐黄水，一日以新水漱口即愈。

又方：

白芷生用 草乌头尖生用，去皮。二味各等分

右为末，每用半钱，冷酒一盏，入葱白少许，同煎服之，如人行十里，以葱白热粥

投之，汗出立愈，甚者不过二服。

又方蜈蚣散：

蜈蚣头 乌头尖 附子底 蝎梢 四味各等分
右为细末，每用一字，或半字，热酒调下，如噤了牙关，用匙尾斡开灌之。

治阴毒伤寒破伤风：

草乌头 七箇，文武火烧熟，去牙头 麝香 半钱 朱砂 一钱

右为细末，每服一字，以热酒调下，食前服之，汗出为度。忌猪、兔、鱼、鳖、粘羶肉。

诸风疾证

不老丹： 治一切诸风，常服乌髭、注颜、明目、延年。

苍术 四斤，米泔浸软，竹刀子刮去皮，切作片子。内一斤用椒三两，去白，炒黄，去椒；一斤盐三两，炒黄去盐；一斤好醋一升，煮泣尽；一斤好酒一升煮令泣尽 何首乌 二斤，米泔浸软，竹刀子刮去皮，切作片子，用瓦甑蒸，先铺黑豆三升，干枣二升，上放何首乌，上更铺枣二斤，黑豆三升，用炊单覆着上，用盆合定，候豆枣香熟，取出，不用枣豆 地骨皮 去粗皮，秤二斤

右件于石臼内捣为细末，候有榘汁搜和如软面剂相似，磁盆内按平，上更用榘汁药上高三指，用纱绵帛覆护之，昼取太阳，夜取太阴，候干再捣罗为细末，炼蜜和丸，如桐子大，空心温酒下六十丸。忌五辛之物。

四仙丹：

春甲乙采杞叶 夏丙丁采花 秋庚辛采子 冬壬癸采根皮

右为细末，以桑榘汁为丸，每服五十丸，茶清酒任下。

愈风丹：

芍药 川芎 白僵蚕 炒 桔梗 细辛 去叶 羌活 已上各半两 麻黄 去节 防风 去芦 白芷 天麻 全蝎 炙。已上各一两 甘草 三钱 南星 半两，生姜制 朱砂 半两，为衣

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，细嚼茶酒任下。

治诸风疥癣及癩：

浮萍 一两 荆芥 川芎 甘草 麻黄 已上各半两 或加芍药、当归

右为粗末，每服一两，水一碗，入葱白根、豆豉同煎至一半，无时服，汗出为度。

玉机微义同。

治癩涂眉法：

半夏 生用 羊粪 烧焦。已上各等分

右为末，生姜自然汁调涂。 卫生易简方、玉机微义同。

五九散： 治癩。

地龙 去土 蝉壳 白僵蚕 凌霄 全蝎 已上各九箇

右同为末，只作一服，热酒调下，浴室中汗出粘臭气为效。

苦参散： 治厉风。

苦参 取头末，秤二两 猪肚 一箇去脂 卫生易简方 雄猪肚

右以苦参末掺猪肚内，用线缝合，隔宿煮软取出，洗去元药。先不吃饭五顿，至第二日先饮新水一盞，后将猪肚食之，如吐了，易简方如一了。再食之，食罢待一二时，用肉汤调无忧散五七钱，取出小虫一二万为效。后用皂角一斤，不蛀者，去皮弦及子，槌碎，用水四碗，煮至一碗，用生绢滤去滓，再入苦参末搅熟，希面糊膏子相似，取出放冷，后入余药相和，药附于后：

何首乌 二两 防风 一两半 芍药 五钱 人参 三钱 当归 一两，焙

右为细末，入皂角膏子为丸，如桐子大，每服三五十丸，温酒或茶清送下，不计时候，日进三服，后用苦参、荆芥、麻黄煎汤洗冷。 易简方此下有汤浴洗三字。

事林广记

癩风，用鸡子一枚，醃醋浸过宿，针刺

小孔，沥取清液。

山居四要

诸 风

天^①头 卫生易简方摇头。风用井底泥调大黄、芒硝末涂之。

中风 多以香油或生姜汁灌之，吐即醒。

服风药多不省人事。浓煎甘草 卫生易简方一两。同生姜自然汁 卫生易简方一盞。饮之。

破伤风 卫生易简方破伤风强直。用桑条尺许长，十数根，火上炙取汁，热酒调下。

新 效 方

黄精丸： 治疔风并癰疥。

紫背浮萍 苍耳草 鼠粘子 三味各四两微炒

乌梢蛇肉 剖为中半，酒浸，去皮骨，焙干 黄精各八两

右五味生用，杂捣焙干为末，白面糊丸，梧桐子大，每服五七十丸，白汤下。

外 科 精 义

防风散： 治破伤疮疡风邪，或身体疼痛，风邪攻注挛急，及皮肤瘙痒，麻木不仁，头昏闷，牙关紧，欲成破伤风者。

防风一两 藁本 羌活 地骨皮 荆芥穗 已上各半两

右为细末，每服三钱，温酒调下。

治破伤无问新旧：

石灰

右用一味，验疮口大小，尽干涂之，不须封裹，神效。

急 救 仙 方

救 急 死

救卒中风，不省人事，多因痰壅。用白矾二钱仲，生研末，生姜自然汁调，斡开口灌下，其涎或吐或化下便醒。

治头风如神丹： 治头疼不可忍。

光明硫黄 硝石 各一两

同研细，水员如指头大，空心茶嚼下。

又三灵散： 治八般头风。

草乌 细辛 等分 黄丹 少许 为极细末，搐入鼻中。 卫生易简方同。

紫虚元君头风丹：

大川乌 选两者，以河水煮一沸，去水于净处再煮，凡七次，咬咀，次以盐炒黄色为度 卫生易简方极大者一枚 辽

细辛 四两仲，去芦土，酒浸 麝香 少许 高细茶芽 半斤 右为末，每服三钱，食后临卧，茶清调下，少时更以热汤催汗出，或鼻出涕为度。

治猪^②寒风证如圣散： 不问男女年久者皆效。

藏灵仙多 防风 荆芥 防己 麻黄 杏仁 细辛 川芎 白芷

等分咬咀，姜三片，用好酒煎热服，待发时服，后用黄荆柴大者以火炙，取两头汗，水调腊酒，吞下金箔镇心丸。忌发风、诸毒食。

① 天：山居四要作“义”。

② 猪：按文义应作“诸”。

治大风脩然子论

夫大风者，所犯异证多端。或因嗜欲无度，劳伤血气；或蓄大怒，忧愁惊恐，抑郁不伸；或体虚肤空；或醉酒当风；或热解脱，汗出入水；或浴后迎风；或醉卧露地；或手足破伤，引入风毒；或卒风暴雨，寒水湿障，侵入肌肤。当时感受，以至大风之患病，因以流注经络，传于脏腑，发于四肢内外，薰蒸而成泡癰。夫病之源，有三证五死。一种者水风，二种者传变，三种者自不调搽。五死者：一曰皮死，麻木不仁；二曰肉死，割切不痛；三曰血死，溃烂成脓；四曰筋死，手足脱落；五曰骨死，鼻梁崩塌，眼断唇番，以至声哑不能救治。一风者肺经受证，先落眉毛；二风者，肝经受证，面起紫泡；三风者，肾经受证，脚底先穿；四风者，脾经受证，遍身如癰；五风者，心经受证，先损其目。或有坟墓、居址、祖宗、父母、夫妻、家人等递相传者；或在外不谨粪坑、房室、床铺、衣被、桥上、树下歇息去处，命值委死凶星，遭此恶疾，缠污其间，形状所以不同，痛苦难忍，欲求治之，不可得济，或一年半载而死者有之。大凡感此疾者，宜早救疗，则易痊可，当详审区别治疗，或差则毫厘千里矣。柰明医达士，且畏其鄙猥，多不留心。一等无学之人，乱传手法，纵意刀针放血，烧砒艾薰取涎，诸毒草药用油浸身，从其医者，百无一效，亦或有少减，久而再发。若不遇良方妙药，吕^①至病死。欲求医治，宜别居静室，断酒戒色，涤虑洗心，皈告神明，真诚忏悔，仍忌发风、动气、荤腥、盐酱、生冷之物，勿食，切须耐性宽心，然后可服众药，随意加减，修制圆散，依法服之，治无不痊。先用泻恶血员药服饵，如脓溃烂，洗汤熏洗，旬日之内，皆是好肉，白^②有疮痍，渐消不发。耳鼻通烝，皮肤觉快，眉须再生，颜色悦泽，安和五脏，其功效岂能尽笔乎？方具如后。

消风散： 第一日服。

香白芷一两 全蝎一两，去尖 人参一两

右为末，每服二钱，仲午间止吃粥，忌生姜、胡椒，一切性热之物。晚间不吃夜饭，次日空心温酒调下，早饭放迟吃，身上微燥为妙。 卫生易简方治大风，须令病人别居静室，断酒戒色，耐性宽心，忌一切发风、动气、荤腥、盐、酱、生姜、胡椒、生冷、性热之物，止宜食淡饭糜粥，乃可治疗。先用：白芷、全蝎、人参各一两为末，每服二钱，晚饭休吃，次日空心，温酒调下，身上微燥为效。

追风散： 泻血药，第二日服。

大黄六两 川蝉肚即郁金一两八钱仲，用少者，妙皂角刺一两

右为末，初服六钱，或七钱，或五钱仲，入大风油二钱半仲，净朴消少许，用好煮酒一碗调化，不可热，微温服，晚粥不食，直待戌时，放温水一碗，于桌上盆内，更以糖煎或蜜煎少许，安放盘中，不得令患者先见药，服药了，放碗即用水盥漱毕，以蜜煎过口。切不可卧，令人伴坐良久，肚腹大痛最妙，泻十数次不妨，过毕用薄粥补之。此过药，大凡老弱不可治矣。五十以下可治，精壮者，十日内三服，谓如正月初一日服消风散，初二日服追风散，初三日服磨风元，初四日又服消风散，初五日又服追风散，初六日又服磨风元。瘦弱者十日内一服，稍痊如壮健人，十日内一服，服到两月后，二十日一服，切须记其日数。 卫生易简方用大黄三两，郁金一两，皂角刺五钱，共为末，每服五六钱，入大风油一钱半，朴硝少许，好酒一碗，调化，晚粥休吃，至戌时温服，以水盥漱，用蜜煎过口，切不可卧良久，腹痛泻数次不妨，却用薄粥补之，老弱则不可治，此药于服上药后次日服。

磨风圆： 第三日服，日进二服。

① 吕：疑“吕”之误，即古文“以”字。

② 白：按文义应作“旧”。

川当归 羌活 独活 川芎_{小者} 明天麻 细辛 防风 荆芥 蕨灵仙 麻黄_{去节} 何首乌 石京子_{卫生简易方无} 牛蒡子 虾蟆叶 苍耳草 皱面草_{即地松}

右十六味，各一两仲，晒干为末，不可见火，好酒煮米糊丸，如桐子大，每服三十丸，食前食后皆可，日二服。

洗药：卫生简易方洗烂疮药。

地骨皮 荆芥 苦参 细辛_{各三两仲}

右锉碎和匀，每次用二两，_{易简方三两}。以河水煎，熏洗遍身，出血为效。如洗必用大浴桶或缸内，要汤宽，浸通身良久妙。

敷药：治疮大烂，遍身涂之，第四日傅。

黑狗脊_{即杜仲坚者}，二两 蛇床子_{四两} 寒水石_{二两} 硫黄_{六钱} 白矾_{枯，二两} 朴消_{少许，临付入} 右为细末，用腊猪油或香油调傅妙。_{卫生简易方同}。如疮未烂，不必傅洗。

增添别本治一切风疾，肌肉顽麻，皮肤瘙痒，遍身疥癩，风痹，诸般疮疾瘾疹，面上游风，或如虫行，紫白囊风，或肾脏风，攻注腿脚生疮，并皆治之。

光乌_{二两} 当归_{一两} 何首乌_{三两} 白芷_{二两} 苦参_{二两} 蕨灵仙_{去芦头，三两} 蔓荆子_{一两半} 独活_{一两} 芎须_{一两} 防风 荆芥穗_{各二两} 羌活 赤芍 白蒺藜_{去刺炒} 白附子 山梔子_{各一两} 地龙_{去土，三两} 乌蛇_{一条，用好酒浸，煮干，去骨取肉，晒干或焙}

右前件俱为末，却入后二味：

胡麻_{炒，二两} 大风子_{去壳，三两} 二味一处为末，同前和匀，以酒煮米糊丸，梧桐子大，每服三四十丸，茶酒任下。

又方：

蕨灵 何首乌 地松 防风 蔓荆子 荆芥 虾蟆草 细辛 牛蒡子_{酒浸} 猪牙皂 当归 苍耳 天麻 甘草_炙 羌活 独活 麻黄_{去节} 泽兰 川芎 苦参

右等分为末，同前糊丸，梧子大，每服四五十丸，茶酒任下。

又生眉毛药：

皂角刺_{焙干} 鹿角_{烧灰存性}

右等分为细末，生姜汁调涂眉上，一日一次，则眉毛自然生矣。

治紫囊风：知母磨醋擦。_{卫生简易方同}。

玉机微义

中 风

发表之剂

金匱续命汤^① 方见金匱方。

按：心、肺、脾、胃、肝之药也，又太阳经血气药也。

千金大续命汤：比前方无人参，有黄芩、荆沥。_{元戎作竹沥}。

局方小续命汤^② 方见千金方。

按：心、肺、脾、胃、肝、三焦、命门药也。古今录验有白术无杏仁。救急，无芎蒭、杏仁，只十味；延年，无防风。机要春夏加石膏、知母，秋冬加桂、附、芍药。

易老六经加减法^③ 详见卫生宝鉴。

麻黄续命汤 桂枝续命汤 白虎续命汤 葛根续命汤 附子续命汤 羌活连翘续命汤

按：续命汤，治太阳外感风邪之药。然外感挟寒者多，故用桂枝等辈，千金等方所收此类之药甚多，无分经络，不辨虚实寒热。所谓虽多，亦奚以为？易老分六经，庶乎活法也。丹溪曰：局方比要略少当归、石膏，多防风、附子、防己，果与仲景意合否也？仲景谓汗出则止药，局方则曰久服差，又曰治诸风，似皆非仲景意，然麻黄防己，可久

① 金匱续命汤：方见本书卷十四诸风门二。

② 局方小续命汤：方见本书卷十四诸风门二。

③ 易老六经加减法：见本书卷二十二诸风门十。

服乎？诸风可通治乎？

局方排风汤^① 方见千金方。

丹溪曰：此云治邪气入藏，而又曰风发，又似有内出之意。夫病既在五藏，道远而所感深，用麻黄以发其表，宁不犯诛伐无过之戒乎？

按：此与小续命相类，而无所发明，因世俗用之，故收入，其余雷同，发散风寒者，并略去。

宝鉴秦艽升麻汤^② 方见本方。

按：此治风寒外入阳明经，即小续命之变法也。古人续命，虽有加减之不同，大抵多因太阳一经之药，今特留此方，以见风邪所伤，有六经之异也。

宝鉴不换金丹^③ 方见御药防方。

按：古方治风解表，多兼用热剂，至守真开发，凉剂始行，然此等方极多，姑存此以见意，若防风通圣散，治风热虽佳，则又表里之剂也。

攻里之剂

机要三化汤^④ 方见卫生宝鉴。

此治风邪入里之下药也，即伤寒用承气之意，非内实者不可^⑤。

子和搜风丸^⑥ 方见宣明论。

按：此方名为搜风，其实乃下实热痰之药。

发表攻里之剂

宣明防风通圣散^⑦ 方见本方。

按：此乃肺、脾、膀胱、胃、肝、心经之药也。又表里血气之药也。海藏云：防风、麻黄汗剂也，大黄、芒硝下剂也，栀子、滑石利小便也。发表攻里，合而并进，故治杂病则佳，治伤寒伤风有失。仲景云：发表攻里，本自不同，在大定间，此药盛行于世而多效，何哉？当时虽市井之徒，口腹备，衣著全，但志乐而形不苦，然是凉亦多效而少失。变乱之际，藿盐糟糠，有所不充，加以天地肃杀之运，敢用凉药如平泰之世耶？故多失而少效。有如仲景用桂，其当汉之末

也。韩只和戒桂枝，当宋之隆时，时世之异，不可不知。

川芎石膏汤^⑧ 方见宣明论。

按：此乃通圣散加减药法也。刘张此等方极多，兹不详录。

调血养血之剂

机要大秦艽汤^⑨ 羌活愈风汤^⑩ 天麻丸^⑪ 方并见卫生宝鉴。

按：已上三方，东垣云：调经养血安神之剂。然风而挟虚，理宜补养。仲景治风虚，脚气，用八味丸，略露端绪，而世人莫能扩充之也。局方骨碎补丸，治肝肾风虚。换腿丸治足三阴经虚。专用疏通燥疾之药，既失之矣！此三方较之局方虽优，亦所得不偿所失也。何以为然？秦艽汤、愈风汤虽皆有补血之药，而行经散风之剂居其大半，将何以养血而益筋骨也？天麻丸养血壮筋骨，庶几近理。

理气之剂

局方乌药顺气散^⑫ 方见本方。

按：严氏调气之设，或出于此也。太阴阳明气药也。药性主治，恐未必然。

严氏八味顺气散^⑬ 方见严氏济生方。

按：严氏谓：真气虚而得此疾，法当调气，故用此药，补虚行风，虽此论迥出前人，其用药则未也。何者？四君子补脾胃中气药也，更用白芷，去手阳明经风，乌药通肾胃间气，陈皮理肺气，青皮泄肝气，若风果在手阳明经，而肝肺肾胃之气实者可用，但人身经有十二，皆能中邪，五藏之气，互有胜负，此方安能尽其变乎？又况真气先虚之

① 局方排风汤：方见本书卷十四诸风门二。
② 宝鉴秦艽升麻汤：方见本书卷二十二诸风门十。
③ 宝鉴不换金丹：方见本书卷二十一诸风门九。
④ 机要三化汤：方见本书卷二十二诸风门十。
⑤ 可：玉机微义此下有“用”字。
⑥ 子和搜风丸：方见本书卷二十一诸风门九。
⑦ 宣明防风通圣散：方见本书卷二十一诸风门九。
⑧ 川芎石膏汤：方见本书卷二十一诸风门九。
⑨ 机要大秦艽汤：方见本书卷二十二诸风门十。
⑩ 羌活愈风汤：方见本书卷二十二诸风门十。
⑪ 天麻丸：方见本书卷二十二诸风门十。
⑫ 局方乌药顺气散：方见本书卷十九诸风门七。
⑬ 严氏八味顺气散：方见本书卷二十一诸风门九。

人，亦难用此也。

理血之剂

良方治风六合汤：治风虚眩运。机要

同。

四物四两 秦艽一作防风 羌活

右粗末，水煎服。

愈风汤^① 方见妇人产后续。

治妇人产后中风，口吐涎，手足痲痲^②。

方见直指方。

按：风本阳邪。故内经曰：阳受风气，又曰贼风虚邪者，阳受之，所以诸方，皆用气分之药多，血分之药少，惟此二方，以产后得疾，多因血虚，故专用行血之药。

通关透肌骨之剂

局方至宝丹^③ 牛黄清心丸^④ 方并见本方。

发明云：凡用丹剂者，为风入骨髓，不能得出，故用龙、麝、牛、雄、犀、珀、珠、金，皆入骨髓透肌肤之剂，使风邪得以外出也。若中血脉，中府之病，初不宜用龙、麝、牛黄，恐引风入骨髓，如油入面，莫之能出，若中藏痰涎昏冒烦热者，宜用之下痰镇坠清^⑤神。

治痰通经诸方

局方青州白丸子^⑥ 三生饮^⑦。方并见本方。

按：中风之病，多因痰得，已上二方，乃行经治寒痰之药也。相类之方极多，兹不再录。

局方省风汤^⑧ 方见本方。

按：此治风痰挟热之药也。

济生导痰汤^⑨：治痰涎壅盛，或胸膈留饮，痞塞。方见咳嗽门。

按：此治痰泄痞之药，世俗用之者众，姑存之。

千金地黄煎^⑩ 竹沥汤^⑪

荆沥汤^⑫ 方并见本方。

三因小竹沥汤^⑬ 方见本方。

丹溪曰：竹沥，本草言大寒，其意以与石膏芩连同类，而诸方治产后胎前诸病，及金疮口噤，与血虚、白^⑭汗、消渴、尿多，

皆是阴虚之病，无不用之，何世俗因其大寒二字，弃而不用。内经云：阴虚则发热，夫寒而能补^⑮，大热者，大寒，言其功也，非以气言也。又况假火而成，何寒之有？

按：竹沥等方，兼大黄附子者，分寒热之异，用兼荆沥者，视痰气之虚实，葛汁、秦艽、独活、地黄、门冬等，又随经而用也，不可不知。

杂方

衍义治风涎潮塞气不通。

皂角炙，一两 白矾生，半两 轻粉半钱

右末，水调一二钱灌之，须臾吐涎，用矾者，分离下涎也。

易简稀涎散^⑯ 方见卫生十全方。宝鉴分涎散^⑰ 方见御药院方。千金藁耳散^⑱ 方见本方。济生稀荳丸^⑲ 方见本方。

圣惠方治中风口喎，巴豆七箇云云^⑳。

方见本方。

宣明防风天麻散^㉑。方见三法六门。

经验如圣散：治中风身体麻木走痛，

① 愈风汤：本书妇人产后续未见此方，玉机微义其组方为“荆芥略炒为末。右每服三钱，豆淋酒调下，用童便亦可，其效如神”。

② 治妇人产后中风，口吐涎，手足痲痲：方见本书卷二十一诸风门九引直指方名归荆汤。

③ 局方至宝丹：方见本书卷十九诸风门七。

④ 牛黄清心丸：方见本书卷十九诸风门七。

⑤ 清：玉机微义作“精”。

⑥ 青州白丸子：方见本书卷十九诸风门七。

⑦ 三生饮：方见本书卷十九诸风门七。

⑧ 省风汤：方见本书卷十九诸风门七。

⑨ 济生导痰汤：方见本书卷一百十七咳嗽门四。

⑩ 千金地黄煎：方见本书卷十四诸风门二。

⑪ 竹沥汤：方见本书卷十五诸风门三。

⑫ 荆沥汤：方见本书卷十五诸风门三。

⑬ 三因小竹沥汤：方见本书卷二十诸风门八。

⑭ 白：玉机微义作“自”。

⑮ 补：玉机微义此下有“正与病对，竹沥味甘性缓能除阴虚之有”十六字。

⑯ 易简稀涎散：方见本书卷二十诸风门八有此方而无方名，药味同。

⑰ 宝鉴分涎散：方见本书卷二十二诸风门十。

⑱ 千金藁耳散：方见本书卷十四诸风门二。

⑲ 济生稀荳丸：方见本书卷二十一诸风门九。

⑳ 圣惠方治中风口喎，巴豆七箇云云：方见本书卷十五诸风门三。

㉑ 宣明防风天麻散：方见本书卷二十一诸风门九。

眩运头疼，牙关紧急，手足搐搦，涎潮闷乱，及破伤风一切证。

苍术一斤 川芎八两 细辛四两 防风 白芷各八两 草乌四两 川乌五两 天麻二两

右为末，每服半钱或一钱，温酒调下，茶清亦得，如风狗蛇蝎等所伤，先用浆水口含洗净，用此贴上，仍服之至效，金疮血出不止，贴上立定。

疔 风

驱风之剂

局方桦皮散^① 方见卫生宝鉴。

按：此太阴阳明经药，出厥阴例。

家珍凌霄散^② 方见卫生宝鉴。

元戎^③治风疾癰病，遍身生疮。

天麻七钱半 荆芥二钱半 薄荷二钱半 白花蛇四两，酒浸

右为末，好酒二升，蜜四两，石器中熬成膏子，每服一盞，温服日三，煎饼压下，急于暖处令汗出，十日效。

按：此已上二方，厥阴例药也。

子和治风疥癬及癰^④ 方见神效名方。

宝鉴换肌散^⑤ 方见本方。

按：此出少阴诸风例药也。

去风养血之剂

易老祛风丸： 治疥癰。经曰：脉风成病即癰也。

黄芪 枳壳 防风 芍药 甘草 熟地黄 地骨皮 枸杞子 生地黄^⑥

右九味木杵臼为细末，炼蜜为丸，桐子大，白汤下五十丸。

按：此出少阴诸风例药也。

东坡四神丹： 医未有专此四味者，久服可愈大风疾。

羌活 玄参 当归 熟地黄

按：此出少阴肾气例药也。

破血泻热补气之剂

补气泻营汤^⑦ 方见卫生宝鉴。

取涎之剂

宝鉴醉仙散^⑧ 方见本方。

按：丹溪方，轻粉二钱，药八味，各半两，前四味为粗末，炒紫色为度。云：须量人大小虚实与之。证候重而急者，须先以再造散下之，候补养得还，复与此药。服此药，须断盐、酱、醋、诸般鱼肉、椒料、果实、煨烧炙博等，止可淡粥，及煮熟时菜^⑨亦须淡食，茄亦不可食，惟诸般蛇，以淡酒蒸熟食之，可以助药。

攻下之剂

病机二圣散^⑩ 方见援粹方。 三因通天再造散^⑪ 方见本方。

按：以上二方并厥阴例药也。

杂方

元戎生眉散：

桑寄生 南星 半夏 没药 各一钱

右为细末，姜自然汁调成膏子，先用自然铜擦过，次以此涂之。

漂洗药：

何首乌 荆芥 防风 马鞭草 蔓荆子 右为粗末，每二两，水一斗，煎十数沸，得药力无风处漂洗。

本事方蓖麻法^⑫：

治疗风手指挛曲，节间疼不可忍，渐至断落。 方见直指方。

按：宝鉴以此二味，用银石器著，水大碗煮，水尽即添，熬三日二夜取出，只用蓖麻阴乾，切作四段，计五粒二十段，作一服，荆芥汤下，用治诸痼病。

① 局方桦皮散：方见本书卷二十二诸风门十。

② 家珍凌霄散：方见本书卷二十二诸风门十。

③ 戎：玉机微义此下有“方”字。

④ 子和治风疥癬及癰：本书诸风门无此方，玉机微义其组方为“浮萍一两，荆芥、川芎、甘草、麻黄各半两，或加芍药当归。右为末，每服一两，水一碗，入葱白豉同煎至一半，无时服，汗出为度”。

⑤ 宝鉴换肌散：方见本书卷二十二诸风门十。

⑥ 黄：玉机微义此下有“各等分”三字。

⑦ 补气泻营汤：方见本书卷二十二诸风门十。

⑧ 宝鉴醉仙散：方见本书卷二十二诸风门十。

⑨ 菜：玉机微义作“菜”。

⑩ 病机二圣散：方见本书卷二十三诸风门十一。

⑪ 三因通天再造散：方见本书卷二十诸风门八。

⑫ 本事方蓖麻法：方见本书卷二十一诸风门九。

破 伤 风

治表之剂

病机羌活防风汤^① 防风汤^② 蜈蚣散^③

蜈蚣散^④ 方并见拔粹方。

发表雄黄散： 里和至愈可服。

雄黄一钱 防风二钱 草乌一钱

右为细末，每服一字，温酒调下。

天麻雄黄散： 治表。

天南星三钱 半夏 天麻各五钱 雄黄二钱半

右为细末，每服一钱，温酒调下，如有

涎，加大黄为下药。

三因防风散^⑤ 香胶散^⑥ 方并见本方。

元戎^⑦治破伤风欲死者^⑧。 方见拔粹方。

治破伤风：

蝎梢七条，为细末，热酒调下。

按：此以上八方，并厥阴例药也。

治半表里之剂

病机羌活汤^⑨ 方见拔粹方。

按：此三阳经药也。

地榆防风散： 治破伤风，半在表，半

在里，头微汗，身无汗，不可发汗，宜表里治之。

地榆 防风 地丁草 马齿苋 各等分

右为细末，每服三钱，温米汤调服。

治里之剂

病机大芎黄汤^⑩ 方见拔粹方。

按：此三阳经药也。此自汗非表证，乃里实也。如阳明病汗多，急下之。

江鲮丸^⑪ 方见拔粹方。

按：此厥阴例药也。

治汗之剂

病机白术防风汤^⑫ 方见拔粹方。

按：此手少阳，足阳明、太阴、太阳经药也。

白术汤^⑬ 方见拔粹方。

按：此阳明、太阴经药也。

理血之剂

养血当归地黄散^⑭。 方见拔粹方。

按：此厥阴四物例药也

杂方

如圣散^⑮ 方见前。

一方本药内加两头尖二两。

瞿仙活人心

风药辟巽锭子： 治大人一切诸风，破伤风，小儿急慢惊风，第一风药。

全蝎二十箇，生用 牛胆南星七钱 防风半两
白附子半两 乾生姜三钱 川乌半两 天麻半两
川芎半两 白芷半两 人参半两 牛黄三钱 朱砂一两
麝香二钱 薄荷半两 片脑三钱 木香半两
白术半两 茯神半两 白姜蚕二十箇，生用

右为细末，用麻黄一斤，甘草半斤，蜂蜜二两，煎作膏子，稀稠得宜，前次药末，印作锭子，金箔为衣。小儿急惊风，手脚搐搦，用金银磨汤化下一锭；慢惊风，昏昏如眠，不醒人事，四肢不收，姜汤下。大人破伤风，诸风，用温酒化下。

风气捉虎丹： 专治风寒暑湿，脚气，

无问远年近日，一切走注，疼痛不可忍，临发时空心服一丸。赶到脚面上，赤肿痛不散，再一丸，赶至脚心中，出黑汗乃除根。如病

- ① 病机羌活防风汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ② 防风汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ③ 蜈蚣散：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ④ 蜈蚣散：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑤ 三因防风散：方见本书卷十九诸风门七。
- ⑥ 香胶散：方见本书卷十九诸风门七。
- ⑦ 戎：玉机微义此下有“方”字。
- ⑧ 元戎治破伤风欲死者：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑨ 病机羌活汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑩ 病机大芎黄汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑪ 江鲮丸：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑫ 病机白术防风汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑬ 白术汤：方见本书卷二十三诸风门十一。
- ⑭ 养血当归地黄散：方见本书卷二十三诸风门十一，散作汤，药物同。
- ⑮ 如圣散：方见本卷本篇中风杂方。

在上，食后临卧酒下，自然汗出定痛，为验。及风重瘫患，麻痹不仁，手足不能屈伸，偏枯，酒下二丸，进二服，初风，不省人事，牙关不开，研二丸。酒调灌下，一省为验。

麝香 二钱半 京墨 烧烟尽，一钱半 乳香 没

药 各七钱半 白胶香 一两半，各研 草乌 去皮脐，一两半 五灵脂 地龙 去土 木鳖子 各一两半，净捶去油尽 当归 七钱半，晒乾

右为末，与前药和匀，用糯米糊为丸，如鸡头实大，温酒下一丸，神效。

寿域神方

诸风部

治三十六种风，用马齿苋一石，水二石，煎令味尽，去滓，澄清，入黄蜡三两，熬成膏，每服酒调一匙服之。卫生易简方此下云：有疮以膏涂。

治诸风，五月五日午时，乾方割取苍耳叶，洗晒为末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服十丸，日三服。若身体有风处，皆作粟肌出，或如麻豆粒，此为风毒出也，可以针刺，黄汁出尽乃止。

暗风痼病涎作，晕闷欲倒。用芭蕉油饮之，得吐即安。卫生易简方同。

治白虎历节风，百骨节疼痛不可忍。用松节、羌活、独活各等分，浸酒煮过，每日早空心一杯。

一方 卫生易简方治风毒骨髓疼痛。用芍药二分，虎骨一两，炙为末，夹绢袋盛，酒三升，浸五日，每服二合，易简方三合。日三服。

中风部

经云：凡指麻者，三年内当有大风至，宜先服愈风汤、天麻丸各一料，此治未病之先也。见医家群类方书。

中风不语：用乌龟尿少许，点舌下神妙。取尿法以龟坐荷叶上，用猪鬃鼻内刺之。

卫生易简方同。

一方：以醋煮瓜子，铺颈一周，以衣包之，一日夕乃解，差。

一方：煮黑豆汁，令如饴，含之，浓煮汁饮之亦可。

一方：煮豉汁一盞，和好酒半盞，搅匀，分三服，一日服尽。

破伤风部

破伤风搐搦，角弓反张，用蝉蜕二钱，烧灰为末，温酒调服。卫生易简方同。

一方：用人耳中垢，不拘多少，纸上焙乾为末，入熟艾中和匀，做成小艾炷七箇或十箇，灸患处即愈。卫生易简方同。

一方：用防风、天南星等分为末，每服二三匙，以童子小便调服，神效。卫生易简方治破伤风强直，用防风、天南星等分为末，以醋调作臍贴上，及用二三匙童便煎服，极效。

瘫痪部

治瘫痪风，及诸风手脚不遂，腰腿无力。卫生易简方治风冷瘫痪。用蚕沙五斗，卫生易简五升。好酒三升，酒拌甑内蒸热，暖室中，铺于油单上，令患者就所患一边，厚盖覆，汗出为度，仍令头面不得壅覆，如未痊再作。

一方：卫生易简方治风痹痿痹，口噤及产后诸风。用大豆炒黑，烟未断及热投酒中，良久，取酒热饮。备预百要方大豆炒黑，及热投酒，温服，后食豆，常用治诸风。

赤白癩部

附汗斑

治赤白癩风，用羊蹄根去心，和肥皂捣烂，丸如弹子大，一丸布包擦，一丸浴洗，三四次可愈。卫生易简方同。

一方：用焯鳅鳝腥涎水，再滚以暴灰升许，搅匀，浴洗凉乾，却以清水再洗，如

此三四次可愈。卫生易简方同。

一方：用蛇蛻皮煎汁傅之。卫生易简方同。

一方：猪胰用酒浸少时，于饭上蒸，熟食之，或用猪肚白煮服之，此二物每服要一顿食尽一具，不过十数是效。忌房事，不忌不效。

治汗斑 用海螵蛸三钱，硫黄、白矾、焰消各二钱，为末醋调，以生姜蘸药搽患处立妙。

一方：用旱莲草、皂矾，一同捣烂，搽患处。

一法：夜静以自己小便洗之妙。

大风癩部

癩疾始起于闽间，故闽人有过癩之术，乃岛夷海蛮恶疾也。中土人过之难愈，当先用汗吐下三法治之，然后用药。

治大风癩疾，骨肉疽败，百节酸疼，眉鬓堕落，身体痒痛。以茺蔚苗，细锉为末，每服二钱匕，空心及临睡，用温酒调下妙。

一方：用大蝮蛇一条，勿令伤，以酒

渍之，大者一斗，小者五升，以糠火煨令熟，稍稍取蛇一寸许，以腊月猪膏和，涂疮上妙。

一方：取白蜜一斤，生姜二斤，捣取汁，先下蜜于锅中，候溶却，入姜汁于蜜中，搅匀，微火熬，令姜汁尽，炼熟，收贮磁器内。患三十年癩者，平旦服枣许大一丸，一日三服，用酒任下。忌生冷、醋滑、臭物，功效甚多，活人众矣，不能一一具之。备预百要方白蜜一斤，生姜二斤，捣取汁，先秤铛，知其斤两，即下蜜于铛中消之，又秤此盛蜜之铛，知斤两，即下姜汁于铛中，以微火煎之，令其姜汁尽，秤蜜斤两，在即止药成，平旦服枣大许一丸，以酒下，日三。忌生冷等物。

治大风癩，令眉发再生。抱朴子云：蛮夷蛇酒，服之可疗。李肇国史补云：李翱之弟入广，因有大风疮疾，土人谓惟蛇酒可疗，食之数日，忽化为水，惟毛发存焉。盖中国人禀受，与蛮夷气候不同，诚恐误人，可宜子细。

卫生易简方

诸 风

治中风口偏：用生鹿肉并生椒，同捣傅之，右患傅左，左患傅右，看正即除之。

治卒中风不语：以竹烧沥，灌饮之良。

治心脏风热，气壅膈胀：用薄荷煎作茶饮立效。及治中风失音，吐痰除贼风头风，下气消宿食，阴阳毒气，伤寒头痛，能引诸药入荣卫。

治初中风，一日内瘫痪：用胆矾研细，每服一字，温醋汤下，立吐出涎。

治暴风口噤，金疮^①：用垣衣酒渍服之，甚效。

治中风口眼喎斜：以白水牛鼻炙热，于不患边熨之渐正。

治风壅痰涎唾多，咽膈不利：用牛蒡子微炒，荆芥穗各一两，甘草炙半两，共为末，食后临卧，汤点二钱服。

治痰癖卒风：生姜八两，附子四两，水五升，煮取二升分再服。禁猪肉，冷水。

治遍身风痒生疮疥：用蒺藜子苗，煮汤浴洗。

治热风心胸烦热：用生大豆^②于食后服半两。明目镇心，温补，益颜色，不忘。

治久风湿痹，筋挛膝痛：用黄卷一升，熬香为末，空心暖酒调一匙服。亦除五脏胃气结聚，去面黥^③痣，润皮毛。黄卷，以大豆为芽，孽生便乾之者是也。

① 金疮：卫生易简方此下有“出血”二字。

② 生大豆：卫生易简方此下有“即黑豆”三字。

③ 黥：卫生易简方此下有“黑”字。

治风毒脚膝挛急，骨节疼痛：豉五升，九蒸九曝，酒一斗，浸经宿，空心，随性^①缓饮之。

治中风口噤不语，及虚劳血癖，心腹搅痛：用乳香细研方寸匕，酒煎苏木汤调服，立吐恶物。

治痲节诸风，百节酸疼：用松脂二十斤，酒五斗，渍三七日，每服一合，日五六服。

治中贼风，口偏不能语者：用茱萸酒一升，煮四五沸，冷服半升，日三服，得少汗差。

治中风不语：以苦酒煮白芥子，傅头一周，以帛包之，一日一夜，乃差。

治风顺气利肠：用苏子一升，微炒，杵碎，生绢袋盛，于三斗清酒中浸三宿，少少饮之。

治风瘙痒痛：用茱萸一升，酒五升，煮一升半，去滓，暖洗。

治风气所攻，脏腑积滞：用牵牛子，以童便浸一宿后，长流水上洗半日，却用生绢袋盛，挂于当风处令乾，每日盐汤下三十粒。极能搜风，亦善消虚肿，久服人体清爽^②。

治风痰鼻塌^③：用蓖麻子不拘多少，去皮擘为两片，以黄连等分，槌碎，同置水中，浸七宿^④后，空心日午卧时，用浸药水吞下一片，水尽旋添，勿令乾。服两月后，吃大蒜猪肉试验，如不发动便是效。若发动时依前再服，直候不发，如只腿胀，用针出毒物，累有效验。

治虚风不省人事，吐泻不止，或取转多^⑤四肢发厥：用天南星为末，每服三钱，大枣三枚，水一盞，煎八分，温服。未省再服，则四肢渐暖，神识便省。

治中风心肺风热，手足不随，及风痹不仁，恍惚烦躁：用熊肉一斤，如常法调和作腌膳，空腹食之。若腹中有积聚痼疾者，食熊肉，终身不愈。

治中风急喉痹欲死者：用白僵蚕焙黄为末，生姜自然汁调灌，下喉立愈。

治风劳毒肿痛，或牵引小腹及腰痛：用桃仁一升，去皮、尖、双仁，炒令烟出，热研如膏，以酒三升，和匀，一服取汗，再服差。

治偏风卒^⑥身不遂，失音不语：用生杏仁七枚，不去皮尖，吞之，从一七加至七七枚，周而复始，夜^⑦后即以竹沥下之。任意多少，日料一升取尽。

治诸风：用胡麻合苍耳子服之良。

治卒中风头面肿：用腊猪脂和傅之。

治风热毒攻，目睑四肢肿痛：腊月以新瓦罐注热水，用朴硝二升，投汤中，搅匀，挂北檐下，硝渗出收之，以人乳汁调半钱，扫，应手神验。

治热毒浮风，及消渴、风疹、丹毒：用绿豆研汁煮饮，或就煮食，益气力，润皮肉，可长食。

治中风失音：用韭研绞汁服，亦治心脾骨疼甚，然此物多食，则昏神暗目，又不可与蜜同食，其花食之，动风。

治一切冷毒风气：用独蒜烂捣，和雄黄、杏仁为圆，空腹饮下三圆，静坐少时，若鬼气者，当毛出即差。并治肾气，止霍乱吐泻腹痛，除邪辟瘟，去蛊毒，疗劳疰痲癖。

治诸风缓纵，言语謇涩，遍身顽麻，皮肤瘙痒：用川乌去皮脐炮一两，荆芥穗二两，共为末，醋糊丸，如梧桐子大，每服二十圆，温酒热水任下。及治妇人血风^⑧，头疼，眼晕，并肠风下血不止，服之尤效。

治惊风坠涎：天南星一箇，重一两，换酒浸七伏时，取出，于新瓦上周回炭火炙令

① 性：卫生易简方作“量”。

② 人体清爽：卫生易简方作“损人”。

③ 鼻塌：卫生易简方此下有“并治癫风，手指挛曲，节间痛不可忍”等字。

④ 同置水中浸七宿：卫生易简方作“同置水瓶中浸，春秋五日，夏三日，冬七日”。

⑤ 取转多：卫生易简方作“数转筋”。

⑥ 卒：卫生易简方作“半”。

⑦ 夜：卫生易简方作“服”。

⑧ 风：卫生易简方作“气”。

乾，别置于湿地去火毒，用瓷器盛之，冷捣末用朱砂一分同研，每服半钱，荆芥汤调下，每日空心午时进二服。

治中风口噤：用荆茎、竹茎、火烧取津液，一合饮之，风噤自退。

治中风烦热，失音，头痛，头风，惊悸，小儿惊痫：用淡竹叶一握，煎汤服。

治风气活血去头风：用白摇草，一名杜当归，取根煎服。

治中风左瘫右痪，口眼喎斜：用川乌去皮、五灵脂、当归、骨碎补等分为末，酒糊圆，如桐子大，每服十丸至十五丸，温酒下。

治肝肾二脏受风，筋急项强，不可转侧：用木瓜二箇，取盖去穰，没药二两，乳香一分，研细入木瓜内，仍盖签定蒸烂，研成膏，每服三五匙，以生地黄汁半盏，无灰酒一盏，和热化膏吞下。

治诸风跱^①气：用川乌二十箇，香附子^②半斤，姜汁浸一宿，炒为末，酒糊圆，如桐子大，每服十数圆，温酒下，肌体肥壮及有风疾者，宜常服^③。

治风化痰，安神定志，利咽膈，清头目：用枯白矾、飞辰砂各半两，别研，南星炮，一两，半夏洗七次，姜汁和作曲三两，为末，姜糊丸，如桐子大，辰砂为衣，每服二十圆，食后姜汤下。

治瘫痪四肢不举，风痹等疾：用麻黄五斤，去根节，河水五升，熬久去滓，再熬成膏。白芷、桑白皮、苍术去皮、甘松、萆薢各一两，川芎三两，苦参三两半，为末，以膏为圆，如弹子大，每服一圆，温酒一盏化下，临卧服，微汗出勿虑。如未安，隔三二日再服，手足即时轻快，及治卒中风邪，涎潮不利，小儿惊风，服之立效。

治男妇远近风中，左瘫右痪，语言謇涩，风湿脚弱，手足拘挛不能行立：用杏仁去皮尖、麻黄去根节、地骨皮去粗皮、木鳖子去皮壳各四两，为粗末，用砂锅一口，水一

斗五升，熬至七升，去滓，再熬至一升，分作四分，用好酒一盏，食后调服，即睡下，从顶至足，通身汗出，第三日再服，大疾不过三服必愈。

治左瘫右痪，口眼喎斜，头风寒湿气：用天麻、川芎、防风、细辛、白芷、川乌炮去皮脐、羌活、荆芥穗、僵蚕各一两，薄荷三两，全蝎、粉草、藿香去土、朱砂水飞研细各半两，麝香、珍珠、琥珀各一钱。为细末，炼蜜圆，如弹子大，金箔为衣，空心茶清或酒送下一圆。若蛇狗咬破伤风，牙关紧急，先用一圆擦牙，后用茶清调下一圆；如小儿初觉出痘疹，即用茶清调一圆与服，大能安魂定魄，疏风顺气。

治半身不遂，左瘫右痪，一切风证：用防风、川芎、甘草、石膏、当归、荆芥穗、白芍药、麻黄不去节各一两，人参八钱，薄荷叶七钱，附子去皮脐五钱，俱为细末，先用麻黄二斤，锉碎，以水二斗浸，春秋五日，夏三日，冬七日，熬乾一半，滤去滓，再熬约剩二碗和前药末，圆如弹子大，金箔为衣，一日服一圆，茶酒任下，仍要避风出汗，重者五七圆效，未服药先服愈风散一二服。

愈风散：

用大黄一两，朴硝八^④钱，当归二钱，为末，每服三钱，空心白汤调下。

治中风口眼喎斜，左瘫右痪，一切风疾，不能言语，并伤寒头痛发热，并皆治之：用槐角子、桑白皮、苍术、威灵仙、川芎、人参、何首乌、蔓荆子、防风、香白芷各二两，五味子、苦参、荆芥穗、木香各一两，脑子、麝香各三钱半。为末，先以麻黄五斤，去根不去节，水三斗，浸透，锅内熬乾^⑤一半，滤去滓，又熬成膏，和前药末，圆如弹子大，每服一圆，酒调服，或用生姜七片，

① 跱：卫生易简方作“踈”

② 香附子：卫生易简方作“姜制香附子”

③ 服：卫生易简方此下有“愈”字

④ 八：卫生易简方作“一”

⑤ 熬乾：卫生易简方作“乾煎”。

连须葱白七根，水一碗，煎半碗，细研一圆，调服，于无风暖处，厚衣被盖之，通身汗出，其病即愈，甚效。

治一切风疾，浑身瘙痒：用胡麻、威灵仙、何首乌、苦参、甘草、石菖蒲等分为末，每服三钱，酒调下。

治一切风疾等证：用川乌、草乌，俱炮裂去皮脐、何首乌酒浸、石斛炒、麻黄去根节、白术煨、防风、细辛、川芎、当归、白芷、荆芥穗、白附子炮各一两。为末，炼蜜圆，如弹子大，每服一圆。诸风瘫痪防风煎酒下；头风川芎汤下；风气疼乳香汤下；白癫风茶清下；暗风茺萸汤下；紫癫风防风汤下；心风朱砂汤下；眉毛脱落茶清下；肝风冷泪荆芥汤下；惊风薄荷汤下；撮口风朱砂汤下；肠风蒜水下；掌肿风天麻汤下；吐嗽生姜汤下；伤寒柴胡汤下；鼻塞声重细辛汤下；气疾白术汤下；赤眼热毒井花水下；肚疼良姜汤下；五淋便涩盐汤下；小儿嗽用半圆，金银花汤下。忌油腻、热物。

头 风

治头风，胸中冷，面上游风，目泪涕唾：用川芎苗，细嚼茶清送下。

治头脑风，伤风，小儿风涎：用薄荷叶，每日食后嚼下三两片，大能凉上膈去风痰，通关膈。

治诸头风，及面上游风：用排风草为末，每用一字，搐鼻中，自然头目清爽，去风清上。

治头目风：用荆芥穗、细辛、川芎，等分为末，食后，汤点三^②钱服。

又方：用桃仁五合，去皮^③，以粳米饭浆研令细，以浆水绞取汁，令桃仁尽方止，微温洗面，极妙，令人光润延年。

治头风：用川芎水洗净，薄切焙乾，为末，炼蜜丸，如弹子大，不拘时，茶清嚼下一丸^④。

又方：用大附子一箇去皮脐，绿豆一

合，同煮豆熟为度，去附子服豆，即差，每箇附子可煮五服后，为末服之。

治头风目眩：用水苏清酒煮汁一升服，及以汁洗头，令发香，白屑不生，烧灰淋汁，洗亦好。

治头风：用山豆根捣为末油调涂。

治初得头风：用童便和葱豉作汤，饮佳。

治头风：用端午日采苍耳二两，茵陈一两，甘草半两，为末，每服五钱，热酒或热茶调下。

又方：用苍耳、川芎、当归等分为末，每服三钱，临卧茶清调服。

又方：用光明硫黄硝石各一两，研细^⑤，水圆如指头大，空心茶嚼下，并治头疼不可忍。

又方：用苦丁香、川芎、藜芦等分为末，口噙水，吹入鼻内。

紫白 癫风

治紫癫白癫风：用榆树皮烧灰，存性为末，糟茄蘸擦。

治白癫风：用灰藿烧灰三四度，淋取汁涂之。并蚀瘰肉，除面黥黑子，煮食杀三虫。

又方：用苍术米泔浸一宿，焙乾，何首乌、荆芥穗、苦参等分为末，以皂角三斤去皮弦于瓷器内熬为膏，和丸如桐子大，每服三五十丸，空心茶酒任下。忌一切动风之物。

大 风

治大风癰疾，肉败眉坠，身体痒痛：用马先蒿，炒为末，每日空心食前及晚，温酒调三钱匕，日三服。

① 风：卫生易简方作“气”。

② 三：卫生易简方作“二”。

③ 皮：卫生易简方此下有“尖”字。

④ 丸：卫生易简方此下有“中病即止，久服令人暴亡”十字。

⑤ 细：卫生易简方此下有“末”字。

治大风身痒：用蛇床子，煎汤浴洗。

治大风：用云母煅粉为丸，服极效。

治癩疾：用苦参五斤^①，细切，好酒三斗，浸三十日，每次一合，日三，常服即差。

备理百要方觉瘦则差，又云：古传云，醉卧黍壤中得此疾。

治大风，并丹石热毒，热风手脚不遂：用硝石一两，生乌麻油二升共置铛中，以土壅盖口，纸泥固济，勿令气出进，火煎，未熟时气腥，香即熟，更以生麻油二升，合和煎之，得所，即收不津器中。服法：患大风者，用火为使，在室中重作小纸屋，外燃火，令患人在纸屋中，服一大合，发汗；力壮者，日二服，至三七日，头面疮疮皆灭。

治大风：用蝮蛇胆及肉食之，三五日便效，百日平复。

治风癩百病：用大麻仁四升，水六升，猛火煮，令芽生，去滓，煎取七升，空心服，或发或不发，或多狂语，勿怪之，但人摩手足须定，进二剂愈。

治大风：用紫背浮萍晒乾二两，当归、生地黄各一两，俱酒浸一宿，川芎、赤芍药各一两。生用共为末，每日空心温酒调一钱服，及相间用雄猪脏，脂盈者五七寸，入舶上硫黄末五钱，火上炙黄，待硫黄性烧尽，作片食服，两月应效。如治脚气，用白汤一盞，入好酒半盞调服；头风，临卧白汤调服；风湿腰腿骨节疼，皆用酒服。

治大风：苍耳草，端午或六月六，五更带露采，捣烂，绞汁熬膏，用斤半鲤鱼一箇，剖开不去肠肚，入膏子一铤在内，用线缝之，以好酒二^②碗，慢火煮乾为度，令病者吃尽鱼，不过三四箇即愈，吃淡一百日。

治大风及诸风疾：用苍耳为末，大风油丸，如桐子大，每服三四十丸，荆芥茶汤下，不拘时，去风活血。

治癩：用地龙去土、蝉壳、白僵蚕、凌霄、全蝎各九枚，同为末，只作一服，热酒调^③，浴室中汗出粘臭气，为效。

治风眉毛脱落，肌肤折裂：用防风通圣

散，加苦参、天麻、蝉壳，早晚各一服，至百贴，必愈。忌房室、盐、酱、荤腥、生冷、油腻。

破 伤 风

治破伤被风浮肿：用杏仁研烂，厚傅上，却燃烛遥炙之。

治破伤风强直：用晚蚕蛾研为末，揭起疮痂上药，却盖之，用醋调面糊封之，须臾风出后，更揭余半，依前治之，其风出尽，更服风药。

又方：用胶如疮大一片，浸湿，火炙熔，贴之大妙。

又方：用竹沥饮，二三盞，口噤者斡开灌之。忌冷饮食及酒。

治破伤风及金刀伤，打扑损：用黄蜡一块，投热酒中，化开，服立效。与前方防风、南星连用^④。

又方：用威灵仙末半两，独蒜一枚，香油一钱，同捣，热酒调服，汗出即效。

治痲风，并鼠痿：用途中死蜣螂，杵烂，封之一宿，差，或烧为末，苦酒和傅，数过愈，先以盐汤洗，亦治疗疮。

治痲风及三年：用乌贼鱼骨，醋磨，先以布擦肉赤，即傅之。

治痲风：用羊蹄根于生铁上好醋磨旋，刮涂患上，未差，入硫黄同磨。

① 斤：卫生易简方作“两”。

② 二：卫生易简方作“一”。

③ 调：卫生易简方作“下”。

④ 防风南星连用：卫生易简方作“用防风、天南星等分为末，以醋调作糊贴上，及用二三匙重便煎服”。

金匱钩玄

中风大率主血虚有痰。治之，治痰为先，或作属虚挟火与湿，亦有死血留滞者，外中于风者少^①，亦有中气者，当从痰治，顺气化痰。

半身不遂大率多痰，在左，属死血无热^②；在右，属痰有热气虚。

左，四物汤等加桃仁、红花、竹沥、姜汁。

右，二陈、四君子等加竹沥、姜汁。

痰壅盛者，口眼喎斜者，不能言者，皆当吐。

吐法：轻用瓜蒂、虾汁皂角，重用藜芦半钱，或三钱^③加射香，灌入鼻内，或口内，吐痰出，一吐不已，再吐之，亦有虚而不可吐者。又法以猪牙皂角、白凡等分为末，姜汁调下。名稀涎散。

气虚卒倒，参芪补之；气虚有痰，浓煎人参汤，合竹沥姜汁；血虚宜四物汤，俱用姜汁炒^④；泥痰再加竹沥、姜汁入内服；能食者，去竹沥，加荆沥。

血虚者四物汤补之。

挟痰者，亦用竹沥、姜汁。

脉诀内言：诸不治证见，则不可治；筋枯者不治^⑤。动则筋痛者，是筋枯，以其无血滋润其筋^⑥故也。

治痰气实能食，用荆沥；气虚少食，用竹沥。此二味开经络，行^⑦气，入四物汤中，用必少用^⑧姜汁^⑨。

肥白人多湿，用附子乌头行经。初昏倒，拈^⑩人中，至醒，然后用^⑪痰药二陈、四物、四君子等汤加减用。

痛风四支百节走痛，风热、风湿、血虚、有痰^⑫大法。

苍术 南星 川芎 白芷 当归 酒黄芩

在上者加羌活、威灵仙、桂枝；在下者，

加牛膝、防己、木通、黄柏；血虚者多用芎、归、佐以桃仁、红花。薄桂治痛风，无味而薄^⑬，独此能横行手臂，领南星、苍术等^⑭。

治上中下痛风药方：

南星^⑮二两 台芎一两 白芷半两 桃仁半两
桂枝二钱^⑯ 横行手臂 汉防己半钱，下行 草龙胆半钱，下行 苍术二两 黄柏二两，酒炒 红花一钱^⑰，酒洗 威灵仙三钱，上行 神曲一两，炒 羌活三钱，走通身百节

张子原气血虚，有痰浊、阴火痛风。

人参一两 白术二两 熟地黄二两 黄柏二两，炒黑 山药一两 海石一两 琐阳半两 乾姜半两，烧灰，取其不走 南星一两 败龟板二两，炙 右为末，酒糊丸^⑱。

治臂痛：半夏一钱 陈皮半钱 茯苓半钱 苍术一钱^⑲ 威灵仙三分 酒芩一钱 白术一钱 香附一钱 南星一钱 甘草少许

破伤风治法同伤寒，可汗，可下，可和解。头风，亦有痰者^⑳。

左属风，荆芥 薄荷；属血，川芎 当归^㉑。

① 少：金匱钩玄无此字。

② 热：金匱钩玄作“血”。

③ 钱：金匱钩玄作“分”。

④ 炒：金匱钩玄此下有“恐”字。

⑤ 治：金匱钩玄此下有“举”字。

⑥ 其筋：金匱钩玄无此二字。

⑦ 行：金匱钩玄此下有“血”字。

⑧ 用必少用：金匱钩玄作“必用”。

⑨ 汁：金匱钩玄此下有“助之”二字。

⑩ 拈：金匱钩玄作“急掐”。

⑪ 用：金匱钩玄此下有“去”字。

⑫ 有痰：金匱钩玄无此二字。

⑬ 薄：金匱钩玄此下有“者”字。

⑭ 等：金匱钩玄此下有“治之”二字。

⑮ 二：金匱钩玄作“一”。

⑯ 二钱：金匱钩玄作“三钱”，此下无“横行手臂”四字。

⑰ 钱：金匱钩玄此下有“半”字。

⑱ 酒糊丸：金匱钩玄作“粥为丸”。

⑲ 君：金匱钩玄作“半”。

⑳ 亦有痰者：金匱钩玄作“有痰者多”。

㉑ 归：金匱钩玄此下尚有“芍药”一味。

右属痰，苍术 半夏； 属热，黄芩。

搐药有用草拔、猪胆者。

御医撮要

大灵宝丹：理一切风。

天麻 乌蛇 酒浸，去皮骨，炙 天南星 炮。各二两
黑附子 炮，去皮 白附子 川芎 僵蚕 蔓荆子
乾姜 炮 肉桂 去皮。各一两 防风 一两半 麻黄 二两，
去节，秤三分 当归 三分 龙脑 一分 麝香 一分 朱
砂 三分，为衣

右件细末，炼蜜为丸，如莲子大，每服
一丸，温酒下。如急风瘫痪，薄荷汤下三丸，
衣服盖出汗。

愈风丹：理一切风，凉风。

龙脑薄荷 三两 天麻 二两 天南星 一两半
白附子 一两 玄参 一两半 大川乌头 一两半

右为细末，后入龙脑、麝香各一分，研
令极细，以怀州皂荚二挺，去皮子，切碎，
入水三升，浸一宿，掇取浓汁，去滓，同蜜
半升，入银器内，以文武火熬成膏一升，已
下即止，将此膏和前药，若药乾，即以炼蜜
和入臼内，捣一千杵，丸如大鸡头大，每服
一丸，不拘时候，茶酒任下。

碧琳丹：理痰涎潮盛，卒中风不语，
备急太效。

生碌 二两。出依州。石碌是也。净洗，于乳钵内研如粉，
以水飞过，去沙石，摊于纸上晒干。硃砂 一两，以水化去砂
石，澄清，入碌粉于新白器内，慢火熬令乾。

右件辰日辰时，取面向辰位上修合，再
研令匀，入麝香一分，又同研细，煮糯米粥
和为丸，如弹子大，阴乾。如卒中者，每丸
作二服，用薄荷酒磨下；瘫痪并一切风疾，
用朱砂酒磨下；如犯药毒，亦同煎法服之。
候吐出脓涎青碧色，并泻下恶物为验。合
时于净室内，无令妇人、四足见，忌动风毒物，
常服一丸，可分作六服，空心服，后用小食
压下。

饼子急风丹：理急风。

川乌头 草乌头 半夏 茯苓 天南星

白附子 乾姜 天麻 各一两 莘萸 半两

右为末，秫米糊为饼，朱砂为衣，分作
二十五饼，乾，每用一饼子，分十二服，常
服大豆茶酒，微嚼下。伤寒葱酒下两服，用
热葱羹投，衣被出汗；瘫痪破伤风，豆淋酒下；
手足不随，遍身瘙痒，及紫白癰风，用薄荷
酒下；顽摩^①风，用荆芥酒下；肾藏风，筋
骨疼痛，用黄蓍酒下；湿痹用茶酒下；妇人
一切风，生姜薄荷汤酒下。

宣补大黄丸：理三十六种风，七十二
般气，压上热，去下焦冷，腰脚疼痛，四肢
无力，多睡少食，积年癰瘕气块，丈夫世事
断绝，女人久来无子，渐加羸瘦，颜色不定，
或黄或赤，身上忽生恶疮，口苦憎寒，遍身
毛竖，及久患寒疟，吐逆泻痢，变成劳疾，
百节痠疼，头旋心烦，卧梦不安，肌肉焦瘦，
上气咳嗽，如此之状，直从新生孩子，及至
百岁老儿，并宜服之。百疾消除，延年益寿，
长肌肉，补骨体，驻颜益气。

川大黄 五两 白槟榔 郁李仁 大麻仁
牛膝 各二两 兔丝子 二两，酒浸，别捣 车前子 二两半
防风 独活 山茱萸 枳壳 各一两，麸炒 薯蓣
二两

右件细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服
二十丸，酒或粥饮下，百无所忌，平旦临卧，
各一服。经一月消食，二月去腹内宿秽，三
月无倦少睡，四月精神强盛，五月耳目聪明，
六月腰脚轻健，一年万疾不生，老者返少，
孕妇不得服。

灵宝丸：理三十六种风疾，服之必愈。

天麻 洗 天南星 白附子 独活 白僵
蚕 川乌头 羌活 洗 乾蝎 全者 各一两 牛黄
分，细研，旋入 麝香 半分，细研，旋入 龙脑 一分，
细研，旋入

① 摩：按文义应作“麻”

右件药净洗，日内晒乾，不用近火，捣为细末，炼蜜为丸，如豌豆大，诸色风疾，每服五丸，薄荷暖酒下。女人血风，更入少当归末。温酒下；如是瘫痪风，下床不得，令先用白矾半两，为末，葱十茎，煎汤温浴，后用薄荷自然汁、温酒下三十丸，以衣被盖覆出汗，更宜别服补药。如是男子妇人，疥癣、瘰癧，并须依前法澡浴，服三十丸，出汗，当日必差，小儿疮疥，亦须如是浴，每一岁一丸，并须出汗，永差。忌热面、猪、鱼、毒物。

七圣丸：搜风顺气。

白槟榔 木香 川芎 羌活 桂心 各一两
郁李仁 一两半，汤浸，去皮尖，炒黄紫色 川大黄 一两一分，锉碎，炒

右件罗末，炼蜜为丸，如桐子大，温酒下七丸，不计时候，如要通转，加七丸。

香犀丸：理一切风虚，头目旋眩。

乌犀 镑末 细辛 藁本 防风 各一两 芍药 白附子 龙脑 薄荷 白豆蔻 缩沙仁 藿香叶 各半两 皂荚 一斤，烧灰，别研 甘草 一两半，微炙 龙脑 麝香 各一分，别研

右为末，炼蜜和丸，如樱桃大，每服一丸，嚼破，温酒下，薄荷汤亦得，不拘时候。

菊花汤：理风气。

菊花 五两，蒸过，轻炒 甘草 一两半，炙 人参 白茯苓 各一两半

右为细末，每服半钱，如茶点进。

防风浴汤：主诸风顽痹，皮肤不仁，瘙痒麻木。

防风 羊桃根 各三两 石南 秦艽 茵草 蒺藜子 蛇床子 白芨 枳壳 各一两 苦参 三两 升麻 一两

右件合煎浴之。

备预百要方

诸 风

四肢风，手足伸不收，屈不伸方：

白杨皮浸酒渍之，并治脚气。

又治手足不遂，腰脚软，皮肤顽痹方：络石汁常服，一切风大佳。

又蜀椒去合眼者，浸酒常服，熨病处亦佳。

又治贼风，肢节拘急方：急风也。蔓椒茎煮汁酿酒，常服。又叶蒸熨，取汁大佳。

又薄荷、荆芥、浓煮服之。

又治腰胯痛，暂停不得方：鹿角长五寸，烧赤，内二升酒，浸一宿，服之。

又治肾冷，腰痛如锥刺，不可动方：鹿角屑熬微黄，更末，空心酒下方寸匕。

又中风，半身不遂，手足不仁方：松叶生捣，盐相和，盛袋蒸之，热熨不至伤肌，冷易，日五六度。

四肢挛缩方：

木果实捣碎，以蒸甑^①之，并所蒸水，置入沐，勿令泄气。尚书金柈经验。

又中风方：车前茎叶根实，水煮，置于座下蒸熨，勿泄气，良久后，入其水温浴。

风痹不仁，四肢卒痛方：

五加皮根细切一斗，盛袋，入五斗酒瓮中，春夏经五日，秋冬七日，空心温服三合。忌生冷、油滑物。

手足不随，及皮肤游风、刺风方：

独活 五加皮 柏叶 松叶 牛膝 射干 苦参 白头翁 菖蒲

右九味，各切二升半，以水十二斗，煮取四斗，粘米、粳米各一斗半，细曲若干作酒，随性饮之。

皮肤风痒，明目枳壳方：

枳壳一两 为末，水一升，入末少许，如茶煎服之。食医心鉴同。

① 蒸甑：按文义应作“甑蒸”。

转筋风方：

古绵以醋浸甑中，蒸乘热，裹病处，冷更易。

转筋风入肠中方：

取釜底黑和酒服。

又转筋方：

车毂中脂涂足下。

又暖水稍热，浴桶中坐浸。

又烧古梳为末，酒服一枚。

诸风食治

千金月令

正月防风以去四肢风：

右取防风二大分，煮取汁作粥。

食医心鉴

论中风疾状食治诸方

黄帝曰：岁之所以多风疾之病者，何气使然？师旷对曰：此八正之候，常以冬至之日，风从南方来者，名为虚风，贼伤人者也。以夜至，万民皆卧，而不犯之也，故其岁，万民少病。以其昼至，万民懈堕，而皆中于风，故万民多病。虚邪入客于骨，骨^①而不发于外。至于立春^②，气大发腠理^③。立春之日，风从西来者，万民皆中于虚风^④，邪相搏，经气绝伐^⑤，故诸逢其风，而民之遇其雨者，名遇风岁露焉，因岁之和，少贼风，无病死者，岁多贼风邪之气，寒温不适，则多病矣。风从南来者，名曰大弱，其伤人也，内舍于心，外舍于脉，其气上主为热。风从西南方来者，名曰谋风，其伤也，内舍于脾，外舍于肥肉，其气主为弱风。从西方来者，名曰刚风，其伤也，内舍于肺，外在皮肤，其气为燥。风从西北方来者，名曰折风，其伤人也，内舍于小肠，外^⑥手太阳之脉，脉绝则泄，闭则结，不通则喜暴死。风从北方来者，名曰大刚之风，其伤也，内舍于肾，外在骨肉，及臂筋脉，其气主为寒痹。风从东北方来者，名曰飧风，其伤人也，内舍于肠，外在两胁腋骨下，及四肢节。风从东方

来者，名曰婴儿之风，其伤人，内舍于脾，外在筋，筋细^⑦其气为湿脾。风从东南方来者，名曰弱风，其伤人也，内舍于胸，外在肉，其气主为体重。凡八风者，皆从其虚之乡来，乃能病人，三虚相搏，则为暴病卒死。两实一虚，则为淋；露寒犯其雨湿之地，则为痿。故圣人避邪风如避矢石，其三虚而偏中于邪风，则为系仆偏枯矣。

治^⑧风心脾热，言语蹇涩，精神昏愤，手足不随，宜吃葛粉索饼方：

葛粉 四两 荆芥 一握 圣惠方加香豉二合

右以水四升，煮荆芥六七沸，去滓，澄清，软和葛粉作索饼，于荆芥汁中食之。圣惠方右件药以水三大盏，煮豉及荆芥，取两盏半，去滓，和葛粉作汁，中煮令熟，空腹食之。神巧万全方同。

治中风，心脾热，言语蹇涩，精神昏愤，手足不随，口喎面戾。宜服粟米粥方：

① 骨：食医心鉴无此字。

② 春：黄帝内经太素此下有“阳”字。

③ 理：黄帝内经太素此下有“开”字。

④ 风：黄帝内经太素此下有“此两”二字。

⑤ 伐：黄帝内经太素作“代”。

⑥ 外：食医心鉴此下有“在”字。

⑦ 筋细：食医心鉴作“络”。

⑧ 治：食医心鉴此下有“中”字。

白粳米三合 荆芥 藜河叶各一握 圣惠方薄荷叶

右以水三升，煎荆芥、藜河，取汁一升半。圣惠方以水三大盏，煮荆芥、薄荷、豉三合，取汁一盏，澄滤，投米煮粥，空心食之。备预百要方同。

治中风、五藏壅热，言语蹇涩，手足不随，神情冒昧，大肠涩滞，宜吃冬麻子粥方：

冬麻子半升 白米三合

右以水二升，研滤麻子，取汁煮粥，空心食之。备预百要方同。必用全书治老人中风汗出，四肢顽痹，言语不利，麻子五合，熬，细研，水淹取汁。粳米四合，净淘研之。煮饮食之。必用之书同。寿亲养老书，右以麻子煮作饮，空心渐食之，频作，极补益。

治中风，言语蹇涩，手足不随，大肠壅滞，圣惠方此下有筋脉拘急四字。宜食薏苡仁粥方：

薏苡仁三合 冬麻子半升

右以水三升，圣惠方三大盏。研滤麻子取汁，用煮薏苡仁，煮粥，空心食之。备预百要方同。

治中风，手足不随，言语蹇涩，呕吐烦躁，昏愤不下方：圣惠方不下食，宜吃葛粉粥方。

白粳米饭半升，以浆水浸 葛粉四两

右漉出粟饭，以葛粉拌令匀，于豉汁中煮，调和食之。

治中风，头痛心烦，若不下食，手足无力，筋骨疼痛，口面喎，言语不正，宜吃薏苡仁粥方：

葱白 藜河各一握 圣惠方、神巧万全方薄荷 牛蒡根切，五合 万全方半斤，切洗，去粗皮 豉三合，圣惠方二合 薏苡仁捣，三合

右以水四升，煮葱白、牛蒡根、藜河等，圣惠方、万全方以水五大盏，煮葱白、牛蒡根、薄荷、豉等。取汁二升半，去滓，投薏苡仁煮粥，空心食之。备预百要方同。

治风，头目眩，心肺浮热，手足无力，筋骨烦疼，言语似涩，圣惠方言语蹇涩，一身动摇。宜食蒸驴头方：

乌驴头一枚

右焯治如法，蒸令熟，重蒸任性，著盐

醋椒葱食之。圣惠方右蒸令极熟，细切，更于豉汁中煮著椒葱盐，重煮点少许酥，任性食之，驴肉亦可作腌脸，或煮食之亦得。寿亲养老书，食治老人中风，头旋目眩，身体厥强，筋骨疼痛，手足烦热，心神不安，乌驴头方：乌驴头一枚，炮，去毛，净治之。右以煮令烂熟，细切，空心以姜醋五味食之。渐进为佳，极除风热，其汁如醪酒，亦医前患尤效。

治中风，手足不随，筋骨疼痛，心烦躁，口面喎斜，宜吃蒸乌驴皮方：

乌驴皮一领

右焯洗，如法蒸令熟，切于豉汁中，五味更煮，空心食之。圣惠方同。

治风眩羸瘦，小儿惊痫，丈夫五劳，手足无力。宜吃蒸羊头肉方：

白羊头一具 卫生易简方无白字

右焯治如法，蒸令极熟，切，以五味汁和调食之，圣惠方此下云：或作脍，入五辛酱醋食之亦得。易简方云：羊肾作羹，食治肾劳，损精竭。必用全书治老人中风，心神昏昧，行即欲倒，呕吐，白羊头一具，治如常法。右以空心，用姜醋渐食之为佳。

必用之书、寿亲养老书同

治中风，心肺热，手足不随，及风痹不仁，筋急五缓，圣惠方五缓六急。恍惚烦躁，宜吃熊肉脂膳。圣惠方作腌脸下同。方：

右以熊肉一斤，如常法切脂膳，调和，空心食之。肘后方同。卫生易简方此下云：若腹中有积聚痼疾者，食熊肉终身不愈。

治诸风湿痹，筋挛膝痛，积热口疮，烦闷，大肠秘涩，宜服大豆妙方：

大豆黄一两，作末 圣惠方黑豆半升，煮令熟 土苏半斤 圣惠方五两

右相和令匀，不约时，煮烂后，圣惠方作个问食前后。食一两匙。

治风寒湿痹，五缓六急，骨中疼痛。圣惠方此下有不能屈伸四字。宜食乌雌鸡羹方：

乌雌鸡一只

右治如法，煮令极熟，细擘，以豉汁、

葱、姜、椒酱作羹食之。圣惠方空腹食之。

治诸风，脚膝疼痛，不能践地，宜吃蒸鹿蹄方：

鹿蹄 四只

右治如食法，煮令极熟，擘取肉，于五味中重蒸，圣惠方五味汁中，煮作羹，空心服之。

治头风，寒湿痹，四肢拘挛，宜吃蒸苍耳菜方：

苍耳嫩叶 一斤 土苏 一两

右煮苍耳叶三五沸，漉出，五味调和食之。圣惠方右件药，先煮苍耳三五沸，漉出，用豉一合，水二大盏半，煎豉取汁一盏半，入苍耳，及五味调和作羹，入酥食之。

治中风毒，心烦口乾，手足不随，及皮肤热疮，宜吃蒸牛蒡叶方：

牛蒡肥嫩叶 一斤 土苏 半两 圣惠方、神巧万全方酥 一两

右细切牛蒡叶，煮三五沸，漉出，于五味汁中，重蒸点苏食之。

浸酒茶叶诸方

治大风，手足瘫痪，一身动摇，驴头酒方：

乌驴头 一枚

右焯洗，如法煮熟，和汁浸曲，如常家酝酒法，候熟，任性饮之。

治久风湿痹，筋挛膝痛，胃气结积，益气止毒热，去黑痣面黥，皮肤光润，牛膝浸酒方：

牛膝根 二斤，洗切 豆 一斤 生地黄切，二升

右以酒一斗五升浸，先炒豆令熟，投诸药酒中，经三两宿，随性饮之。忌牛肉。

备预百要方同

治风毒在骨节，疼痛不可忍，虎胫骨浸酒方：

虎胫骨 二斤，炙令黄，锉 牛膝 二两 芍药 三两 防风 四两 桂 一两、百要方桂心 二两

右并锉，以生绢袋盛，浸酒二斗，经三两宿，随性饮之。忌牛肉、生葱。

治脚膝顽麻无力，头目眩，五藏虚，乌粘子浸酒方：

乌粘子 二升 甘菊花 四两 天蓼木 二斤，锉

右以酒一斗，浸经四五宿，随性饮之。

治手足痹弱，不可持物，行动无力，及耳聋，肾藏虚损，益精保神守中，石英磁石浸酒方：

白石英 十两，锉 磁石 十两，研，以水浮去浊汁

右以生绢袋盛，以酒一斗五升，浸三五宿，任性暖饮之，酒尽旋入。

治风湿痹顽，五缓六急，野驼脂酒方：

野驼脂 一升 圣惠方一斤，炼熟，滤去滓

右炼滤。圣惠方收于瓷合中。每日空心暖酒一盏，入野驼脂半两许，圣惠方暖酒一中盏，调下半匙和服之。寿亲养老书食治，老人风热烦毒，顽痹不仁，五缓六急，驼脂酒方：野驼脂 五两，炼之为上 右空心，温酒五合，下半匙已上，脂调令消，顿服之，日二服，极效。

治风击肘后方，必用全书风挛，拘急，偏枯，血气不通利，雁脂酒方：圣惠方治中风挛急，疼痛方。

右以雁脂四两，炼滤过，圣惠方五两，炼熟滤过，收于合中。全书五两，消之令散 每旦诸方每日空心暖酒一盏，以雁脂一匙，圣惠方半匙，全书半合许和饮之。寿亲养老书、必用之书与全书同

治头风，口动眼瞤，脚膝顽痹无力，小便数，薯蓣酒方。

生薯蓣 半斤，去皮 酒 三升

右以酒一升，煎一沸，旋下薯蓣，旋旋添酒，薯蓣熟，入酥蜜、葱、椒、盐，空心服之。

治风虚湿痹，脚膝无力，筋挛急痛，巨胜酒方：

巨胜 三升，炒 备预百要方炒去皮 薏苡仁 一升 生乾地黄 半斤，切

右以生绢袋盛，用酒二升浸，经三五宿，任性暖服之。必用全书治老人风虚痹弱，四肢无力，腰膝疼痛。巨胜 二斤，熟 寿亲养老书一升 薏苡仁 二升 乾地黄 半升，切 养老书半斤 右

以绢袋贮，无灰酒一斗渍之，勿令泄气，满五六日，任性空心温服。必用之书、养老书温服一二盏尤益。

治野鸡痔下血，除目暗，槐叶茶方：
右以嫩槐叶一斤，一如造茶法，为末，

如茶煎服之。必用全书治老人热风下血，明目益气除邪，治齿疼，利藏府气，宜食之。
槐叶嫩者五斤，蒸令热，为片晒干，作茶捣罗为末。右每日煎如茶法，服之恒益，除风尤佳。必用之书、寿亲养老书同。

圣惠方

食治中风诸方

夫风者，四时五行之气，分布八方，顺十二月，终三百六十日，各以时从其乡来，为正气之风。风在天地为五行，在人为五藏之气，生长万物，非毒疔之气，人当触之，遇不胜之气乃病。人之在身，唯血与气。故身内血气为真，身外风气为邪。邪者风也，是以圣人言避风如避矢，故今人中风多病死者，是不避风邪毒气也，宜以食治之。

治中风，手足不遂，口面喎偏，言语蹇涩，精神昏闷，宜食豉粥方：

豉半升 荆芥一握 薄荷一握 葱白一握，切 生姜半两，切 盐花半两 羊髓一两

右件药，先以水三大盏，煎豉、荆芥等十余沸，去滓，下薄荷等，入米煎作粥食之。

治中风，五藏壅热，言语蹇涩，手足不遂，神情冒昧，大肠涩滞，宜吃冬麻子粥方：

冬麻子半升 白粱米三合 薄荷一握 荆芥一握

右件药，以水三大盏，煮薄荷等取汁二盏，去滓，用研麻子滤取汁，并米煮作粥，空腹食之。神巧万全方同。

治中风伤寒，壮热头痛，初得三二日，宜服发汗豉粥方：

豉一合 荆芥一握 麻黄三分，去根节 葛根一两，桂 栀子仁三分 石膏三两，捣碎绵裹 葱白七茎，切 生姜半两，切 粳米二合

右以水三大盏，都煎至二盏，去滓，内米煮作稀粥服之，汗出为效，如未有大汗，

宜再合服之。

治中风，手足不遂，言语蹇涩，精神昏愤，宜吃葛粉拔刀方：

葛粉四两 荆芥半两 神巧万全方半斤 葱白一握，切 生姜半两，切 万全方半斤 川椒五十枚，去目及闭口者 香豉一合 盐花半两 羊筒骨髓一两

右件药，以水五大盏，先煎荆芥等取汁三盏，和葛粉切作拔刀，入汁中煮熟，顿食之。

治中风，筋脉挛急，不可屈伸及风湿等，宜吃薏苡仁粥方：

薏苡仁二合 神巧万全方一合 薄荷一握 荆芥一握 葱白一握 豉一合

右件药，先以水三大盏，煎薄荷等取汁二盏，入薏苡仁，煮作粥，空腹食之。

治中风，筋骨风冷顽痹，或多不睡，宜吃酸枣仁粥方：

酸枣仁半两，炒令黄，研末，以酒三合浸汁 粳米三合

右件药，先以粳米煮作粥，临熟，下酸枣仁汁，更煮三五沸，空心食之。

治中风烦热，皮肤瘙痒，醍醐酒方：

醍醐四两

右件药，每服以暖酒一中盏，调下半匙。

治心虚，风眩头痛，宜服薯蕷拔粥方：

生薯蕷不限多少，去皮，磨如稀面^①

右和白面，作拔粥于豉汁中煮，入五味调和食之。

治风不论冷热，宜吃天蓼木粥方：

^① 面：太平圣惠方作“糊”。

天蓼木半斤，捣为末

右以水一大盏半，入末半匙，煎至一盏，去滓，澄清，入米一合煮粥，空心食之。

食治风热烦闷诸方

夫风热者，由肤腠虚，风热之气，先伤皮毛，而入于肺，风在胸膈，心肺壅滞，则令人头面浮热，心神昏闷，故谓之风热也。宜以食治之。

治风热，心胸烦闷，不得睡卧，宜食酸枣仁煎饼方：

酸枣仁三分，炒熟，捣末 人参一分，末 神巧万全方一两，末 茯神一分，末 糯米四两，水浸，细研 白面四两

右件药末，入米面中，以水调作煎饼，食之，要著肉臛、五味食之並可。

治热毒风，心膈烦闷，或小便赤涩，淡竹沥粥方：

淡竹沥一合 石膏一两，捣碎 黄芩一分，捣碎 粟米二合 蜜半合

右先以水二大盏半，煎石膏、黄芩至一盏半，去滓，下米煮粥，欲熟入竹沥及蜜，搅匀，候熟，任意食之。神巧万全方同。

治心胸结气，烦闷恐悸，风热惊邪，口乾，茯苓粥方：

赤茯苓一两 麦门冬一两，去心 粟米①合

右件药，细锉，先以水二大盏半，煎至一盏半，去滓，下米煮作粥，温温食之。

治风热烦闷，心悬肠癖，腹中邪气，养脾胃气，助十二络脉，通九窍，安神除恍惚，大枣粥方：

大枣二七枚 茯神半两 粟米二合

右件药细锉，先以水二大盏，煮至一盏

半，去滓，下米煮粥，温温食之。

治风热攻心，烦闷恍惚，神思不安，煮梨汤方：

梨三枚，切 沙糖半两

右以水一大盏，煎至六分，去滓，食后分温二服。神巧万全方同。

治风热烦闷，口干多渴，宜服煮天门冬方：

天门冬二斤，去心 蜜二合

右以水五升，煮天门冬十余沸，漉出，以新汲水淘三五遍，沥乾，又以水三升，和蜜，又煮三五沸，和汁，收于不津器中，逐日吃三两，及饮汁一合，立效。

治风热多睡，头痛烦闷，宜服木通粥方：

木通二两，性 粳米二合

右以水二大盏，煮木通取汁一大盏半，去滓，下米煮粥，温温食之。

治风热攻心，烦闷不已，豉粥方：

豉二合 青竹茹一两 米二合

右以水三大盏，煎豉、竹茹取汁一盏半，去滓，下米煮粥，温温食之。

压②风热，解丹石诸毒，蒸牛蒡方：

牛蒡嫩叶一斤，洗如法，好酥随多少

右燥牛蒡叶熟，更洗去苦味，重以酥及五味蒸炒食之，兼堪下饭。秋冬用根佳，春夏用叶。

又方：

右牛蒡根捣绞取汁，每服二合，日三服。

又方：

右茅根，捣绞取汁一大盏，食后分为四服。

必用全书

食治诸风方

大豆酒方： 治老人卒中风，口禁，身

体反张不语。

① 一：太平圣惠方作“二”。

② 压：太平圣惠方作“治”。

右大黑豆一升，熬熟，必用之书、寿亲养老书
大豆二升熬之。即下无灰好旧酒一升，养老书清酒
二升，右煎豆令声绝，即下酒，投之。煮一二沸，去滓，
顿服之，覆卧取汗差，口噤拗灌之。阴证急
伤寒，服此神效。

乌鸡臠方：治老人中风烦热，言语涩
闷，手足热。

乌鸡半斤，细切 麻子汁五合 葱白一把
右煮作臠，次下麻汁、五味姜椒令熟，
空心食之，补益。必用之书、寿亲养老书同。

蒜煎：治老人中风，邪毒脏腑壅塞，
手足缓弱，大补肾气。

大蒜一斤，去皮，细切 寿亲养老书一升 大豆黄
炒，二斤 养老书二升

右以水一升，和二味，微火煎之，似稠即
止，空心，每服食啖三二匙。

补肾地黄酒：治老人风湿痹，筋挛骨
痛，润皮毛，益气力，补虚乏，止毒，除面
奸宜服。

大豆二升，熬之 生地黄一升，切 生牛蒡根
一升，切

右以绢袋盛之，以酒一斗，浸之五六日，
任性空心温服，常服一二盏佳。必用之书、寿亲养
老书温服三二盏，恒作之尤佳。

经验秘方

风瘫重证，用野狐一箇，剥去皮，刮肉
成片，糯米三斗，依造羊羔法，骨打折熬浆，

用面曲酿酒，一般酒熟，磁器内盛放，朝暮
随意温服。

经验良方

治筋脉拘挛，久风湿痛，下气，除骨中
邪气，利肠胃，消水肿，久服轻身益气。

右薏苡仁一升，捣为末，以水作粥，空
心服。

寿亲养老书

食治诸风方

食治老人中风，言语蹇涩，精神昏愤，
手足不仁，缓弱不遂方：

葛粉五两 荆芥一握 豉五合

右以搜葛粉如常作之，煎二味取汁，煮
之下葱椒五味臠头，空心食之一二服，将息
为效。忌猪肉、荞面。

食治老人中风，口面喎偏，大小便秘涩，
烦热，荆芥粥方：

荆芥一把，切 青粱米四合，淘 薄荷叶半握，切
豉五合，绵裹

右以水煮，取荆芥汁，下米及诸味，煮
作粥，入少盐醋，空心食之，常服佳。

食治老人中风，缓弱不仁，四肢摇动，

无气力，炙熊肉方：

熊肉一斤，切 葱白半握，切 酱椒等

右以五味腌之，炙熟，空心冷食之，恒
服为佳，亦可作羹粥，任性食之尤佳。

食治老人中风，口目瞬动，烦闷不安，
牛蒡饴饴方：

牛蒡根切，一升，去皮，晒干，杵为面 白米四
合，净淘研之

右以牛蒡粉和面作之，向豉汁中煮，加
葱椒五味臠头，空心食之，恒服极效。

食治老人中风，四肢不仁，筋骨顽强，
苍耳叶羹方：

苍耳叶五两，切，好嫩者 豉心二合，别煎

右和煮作羹，下五味椒姜调和，空心
食之尤佳。

食治老人中风，热毒心闷，气壅昏倒，
甘草豆方：

甘草一两 乌豆三合 生姜半两，切

右以水二升，煎取一升，去滓，冷渐食
服之，极治热毒。

运化玄枢

季秋之月，初九日，以菊花酿酒，治头风。
其日收枸杞根，浸酒服，令人不老，去
一切风。

其日以菊花曝乾，取糯米一斗，蒸熟，
入菊花末五两，搜拌如常酝法，多用细面曲
为佳，候熟，每服一杯，治头风头旋。

卫生易简方

诸 风

治风寒湿毒，四肢挛急，及脚气疼，不

可践地。用紫苏二两，杵碎，水二升，研取
汁，煮粳米二合，作粥，和葱、豉、椒、姜
食之。

备预百要方

诸 风

虚肥积年，气上如水病，面肿，脚不肿

方：

楮叶八两 以水一斗，煮取六升，去滓，内
米煮粥食之。

诸风禁忌

巢氏病源

风失音不语候

养生方云：醉卧当风，使人发暗。

风 口 喎 候

养生方云：夜卧当耳勿得有孔，风入耳
中，喜令口喎。

风 痹 候

养生方云：因汗入水，即成骨痹。

又云：忍尿不便，膝冷成痹。

又云：大汗勿偏脱衣，喜偏风半身不

随。

养生经要集云：大汗急傅粉，著汗湿衣，
令人得疮，大小便不利。

刺 风 候

养生方云：触寒，来寒未解，食热物
亦成。

头 面 风 候

养生方云：饱食仰卧，久成气病头风。

又云：饱食沐发，作头风。

又云：夏不用露面卧，露下堕面上，

令面皮厚，喜成癖。一云作面风。

又云：人常须日已没食讫，食讫，即更不须饮酒，终天不干呕。诸热食腻物，不饮冷醋浆，喜失声失咽，热食枕手卧，久成头风目涩。

诸 癩 候

养生禁忌云：醉酒露卧，不幸生癩。

又云：鱼无鳃，不可食，食之令人五月发癩。

千 金 方

正月不得食生葱，令人面上起游风。

犬、猴、鼠。

风 眩

右十二相属肉物，皆不得食，及以为药，牛黄、龙骨齿，用不可废。

虎、兔、龙、蛇、牛、马、猪、羊、鸡、

千 金 月 令

谷 之 禁

正月乔麦合猪羊肉，成风癩。

醉汗出，当以粉干之，不^①□成风痹。

凡新沐浴，莫当风，勿湿系发，勿湿便卧，令人头风眩闷。

山 居 四 要

醉卧黍稷中，成大风。

猪头并猪鬃，有风疾者忌食。

野鸡与鲇鱼同食，生癩。

猪肉与生姜同食，发大风^②。

诸 风 针 灸

千 金 方

风 痲

治风痲不能语，手足不遂方：

度病者手小指内岐间至指端为度，以置脐上，直望心下，以丹注度上端毕，又作两度，续所注上，合其下，开其上，取其本度，横置其开上，令三合，其状如到作某^③字形，男度左手，女度右手，嫌不分了，故上丹注三处，同时起火灸之，各一百壮愈。

风 眩

其法以绳横度口至两边，既得口度之寸数，便以其绳一头更度鼻，尽其两边，两孔间得鼻度之寸数，中屈之取半，合于口之全度，中屈之。先觅头上回发，当回发灸之。以度度四边左右前后，当绳端而灸，前以面为正，並依年壮多少，一年凡三灸，皆须疮，瘡又灸，壮数如前，若连灸，火气引上，其数处回发者，则灸其近当鼻也，若回发近额

① 不：此下脱字，按文义应作“尔”。

② 风：山居四要此下有“与茺葵同食烂人肠”八字。

③ 某：备急千金要方作“么”。

者，亦宜灸，若指面为癰，则阙其面处，然病重者，亦不得许此也。

风 病

率谷主醉酒风热，发两目眩痛。甲乙云：不能饮食，烦满呕吐。完骨主风，头耳后痛，烦心。甲乙云：及足不收失履，口喎僻，头顶摇，痠痛，牙车急。

阳谷主风眩，惊，手卷，泄风汗出，腰项急。甲乙手卷作手腕痛。阴跷主风暴不知人，偏枯不能行。解溪主风从头至足，面目赤。侠溪主胸中寒，如风状，头眩两颊痛。昆仑主狂易大风。

临泣主大风目痛。甲乙云：外眦痛。付

阳主痿厥，风头重痛。涌泉主风入腹中。巨阙、照海主痠痹，引脐腹短气。又云：照海主大风，默默不知所痛，视如见星。内关主手中风热。

间使主头身风热。商阳主耳中风生。

关冲主面黑渴风。天井、神道、心输主悲愁恍惚，悲伤不乐。又云：天井主大风，默默不知所痛，悲伤不乐。

命门主痠痹，里急腰腹相引。后溪主风身寒。掖门主风寒热。上关主痠，沫出，寒热，痠引骨痛。中胆输、长强、肾输主寒热痠反折。脾输、膀胱输主热痠引骨痛。

神 巧 万 全 方

五藏中风

风者从五藏俞入诸藏，子细详审，随其俞穴上，急灸一百壮，谓肝风灸肝俞，心风灸心俞之类是也。

风 痹

曲池、列缺主身浸淫时寒。风市主缓

纵五痿痹，膊脚疼冷不仁。中渚主寒气，在分肉间痛，苦痹不仁。丰隆主身湿。阳陵泉主脾枢、膝、胫骨摇酸，痹不仁。筋缩诸节酸析。漏谷主久湿痹，不能行。商主丘^①久立骨痹烦。中封主痿厥，身体不仁，少气身湿重。临泣主身痹，洒淅振寒。凡身体不仁，先取京骨，后取中封、绝骨，皆泻之。

直 指 方

心 中 风

心风偃卧热而暗，唇赤其身有汗生，白黑青黄唇上见，停停时悚扁医惊。

心中风，偃卧不能倾侧，发热失音，其舌焦赤，汗流唇赤者，可治，灸心俞。若唇上白黑青黄，乃心坏为水，面目停停，时时悚动者，並不治。

肝 中 风

肝家踞怒不低头，左肋偏疼筋急搜，额

目唇青为可疗，目黄目白使人愁。

肝中风踞坐不能低头，上视，多怒，左肋偏疼，诸筋挛急，头目眊动，其目青，绕两目连额微青，面黄者可治，灸肝俞^②。若大势青黑，其目一黄一白者不治。

肾 中 风

肾中踞而腰脊疼，面浮耳黑贼风生，肋无黄迹能痊愈，直发泥容旦暮倾。

① 主丘：按文义应作“丘主”。

② 愈：仁斋直指方作“俞”。

肾中风踞坐，腰脊痛引小腹，面上浮肿，其耳黑，视左右胁，未有点点黄色者，可治，灸肾俞。若胁上黄点，面如土色，鬓发直，齿黄赤者，不治。

肺 中 风

肺风喘促满胸堂，偃卧紫紫燥异常，口鼻之间须要白，寻衣肺坏色忧黄。

肺中风偃卧，胸满气短，喘息时嗽，燥闷汗出，其鼻白，目下及鼻四围以至于口，色白者可治，灸肺俞。若色黄，乃肺坏为血，其与寻衣摸空者，並不治。

脾 中 风

脾中风兮肌肉润，踞而腹满吐咸酸，唇并肢体通黄痿，手足胼青疗已难。

脾中风踞坐，腹满，皮肉润动，四肢放纵，其唇黄，身通黄，吐咸汁者可治，灸脾俞。若手足青且冷，或目下青並不治。

胃 中 风

胃病根源饮食来，抬肩喘息气难开，口张额汗腹中满，浮诊双关脉大哉。

胃中风腹满填胀，膈塞不通，张口喘息，额上多汗，孙地仙所谓新食竟取风，为胃风是也。或曰：风中诸脏，不关诸府，是亦一说。然胃为水谷之海，五脏皆取气于胃，故並存之。

得 效 方

风 科 通 治

治痰涎壅塞，声如牵锯，服药不下，宜

于关元、丹田二穴多灸之良。

凡有赘疣诸痣，但将艾炷于上灸之三壮，即除。

卫 生 宝 鉴

中 风 针 法

失音不语。天鼎暴暗并喉痹。合谷

暗不能言。阴郄暗不能言。灵道通谷支沟，暴暗不语。三阳络暴瘕不能语。间使暗不能言。

医 林 方

中风灸法：出范子点记方：一人口眼喎斜，忽然而涎胡闭塞，或左右半身不随，是中风，可作中风治，可服稀涎散，微微口中涎出，又不可大吐之。稀涎散口中涎不出者，

可以大吐之，大吐药不效者不治也。后可灸十二穴，得气通而活。凶会、颊车、地仓百会、肩井、曲池、风市、足三里、绝骨间使、风池，依而用之，无不效矣。

经 验 秘 方

灸破伤风法：

右用蛭蟥虫，口稳于破疮

口上，用艾灸虫尾，虫口内干为效。

寿域神方

破伤风搐搦，角弓反张，用人耳中垢，不拘多少，纸上焙干，为末，入熟艾中和匀，

做成小艾炷七箇或十箇，灸患处即愈。

诸风导引

巢氏病源

风偏枯候

养生方导引法云：正倚壁，不息行气，从头至足止，愈疽，疝、大风、偏枯，诸风痹。

又云：仰两足指，五息止，引腰背痹、偏枯，令人耳闻声，常行眼耳诸根，无有罣碍。

又云：以背正倚，展两足及指，瞑心，

从头上引气，想以达足之十趾及足掌心，可三七引，候掌心似受气止，盖谓上引泥丸，下达涌泉是也。

又云：正住倚壁，不息行气，从口趣令气至头始止，治疽痹，大风偏枯。

又云：一足踞地，足不动，一足向侧相转，身欹势并手尽急迴，左右迭二七，去脊风冷，偏枯，不通润。神巧万全方此下云：大汗勿偏脱衣，主中偏风，半身不遂。

风四肢拘挛不得屈伸候

养生方道引法云：手前后递互拓极势三七，手掌向下，头低面心，气向下至涌泉仓门，却努一时取势，散气放纵，身气平，头动髀前后欹侧柔转二七，去髀并冷血筋急，渐渐如消。

又云：两手抱左膝，生腰，鼻内气七息，展右足，除难屈伸拜起、胫中痛萎。

又云：两手抱右膝著膺，除下重难屈伸。

又云：踞坐，伸右脚，两手抱左膝头，

生腰，以鼻内气，自极七息，展左足著外，除难屈伸拜起、胫中疼痛。

又云：立身上下正直，一手上拓，仰手如似推物势，一手向下如捺物极势，上下来去，换易四七，去髀内风、两髀并内冷血、两掖筋脉挛急。

又云：踞伸左脚，两手抱右膝，生腰，以鼻内气，自极七息，展左足著外，除难屈伸拜起、胫中疼。

风身体手足不随

养生方导引法云：极力右掖，振两臀，不息九通，愈臀痛、劳倦、风气不随。振两臀者，更互踟躞，犹言厥，九通中间，偃伏

皆为之，名虾蟆行气。不已，愈臀痛、劳倦、风气不随，久行不觉痛作痒^①，种种形状。

^① 作痒：诸病源候论作“痒作”。

又云：偃卧，合两膝，布两足，生腰，口内气，振腹七息，除壮热疼痛、两胫不随。

又云：治四肢疼闷及不随，腹内积气。床席必须平稳，正身仰卧，缓解衣带，枕高三寸，握固者以两手，各自以四指把手拇指，舒臂令去身各五寸，两脚竖指，相去五寸，安心定意，调和气息，莫思余事，专意念气，徐徐漱醴泉者，以舌舐略唇口牙齿，然后咽唾，徐徐以口吐气，鼻引气入喉，须微微缓作，不可卒急强作，待好调和引气，勿令自闻出入之声，每引气，心心念送之，从脚趾头，使气出，引气五息六息，一出之为一息，一息数至十息，渐渐增益，得至百息，二百息，病即除愈，不用食生菜及鱼肥肉，大饱食后，喜怒忧悲，悉不得辄行气，惟须向晓清静时，行气大佳，能愈万病。

风痹手足不随候

养生方导引法云：左右拱手，两臂不息九通，治臂足痛，劳倦，风痹不随。

偏风候

养生方导引法云：一手长舒，仰掌合掌，一手捉颊，挽之向外，一时极势二七，左右亦然，手不动两向侧势急挽之二七，去头骨急强，头风脑旋，喉痹，膊内冷注偏风。

又云：一足踰地，一手向后长舒努之，一手捉涌泉急挽，足努手挽，一时极势左右易，俱二七，治上下偏风，阴气不和。

风不仁候

养生方导引法云：赤松子曰偃卧，展两胫两手足外踵指相向，以鼻内气，自极七息，除死肌不仁、足寒。

又云：展两足上，除不仁，胫寒之疾也。

风湿痹候

养生方导引法云：任臂不息十二通，

愈足湿痹不任行，腰脊痹痛。又正卧，叠两手著背下，伸两脚不息十二通，愈足湿痹不任行，腰脊痛痹，有偏患者，患左压右足，患右压左足，久行手亦如足，用行满十方止。

又云：以手摩腹，从足至头，正卧踞臂，导引以手持引足住任臂，闭气不息十二通，以治痹湿不可任，腰脊痛。

风湿候

养生方真诰云：栉头理发，欲得多过，通流血脉，散风湿，数易栉，更番用之。

风痹候

养生方云：一曰以右踵拘左足拇趾，除风痹。二曰以左踵拘右足拇趾，除厥痹。三曰两手更引足趺置膝上，除体痹。

又云：偃卧，合两膝头，翻两足，生腰坐，口内气，胀腹，自极七息，除痹痛热痛、两胫不随。

又云：踞坐生腰，以两手引两踵，以鼻内气，自极七息，布两膝头，除痹呕引两手。

又云：偃卧，端展两手足臂，以鼻内气，自极七息，摇足三十而止，除胸足寒，周身痹厥逆。

又云：正倚壁，不息行气，从头至足止，愈大风偏枯诸痹。

又云：左右手夹据地，以仰引腰五息止，去痿痹，利九窍。

又云：仰两足指，引五息，止腰背痹枯，令人耳闻声，久行，眼耳诸根，无有挂碍。

又云：踞，伸右脚，两手抱左膝头，生腰，以鼻内气，自极七息，除难屈伸拜起，胫中痛疼痹。

又好云：左右拱两臂，不息九通，治臂足痛，劳倦，风痹不随。

又云：凡人常觉脊倔强而闷，仰面努膊并向上，头左右两向摆之，左右三七，一

住，待血行，气动定，然始更用，初缓后急，不得先急后缓，若无病人，常欲得旦起午时日没三辰，如用辰别二七，除寒热病脊腰颈项痛风痹，两膝颈头，以鼻内气，自极七息，除腰痹背痛，口内生疮，牙齿风，头眩尽除。

风 冷 候

养生方导引法云：一足踞地，足不动，一足向侧，如丁字样，转身欹势，并手尽急回，左右迭互，去脊风冷，偏枯，不通润。

又云：蹲坐，身正头平，叉手安额下，头不动，两肘向上振摇，上下来去七七，持手三七，放纵身心，去乳房风冷肿闷，鱼寸不调，日日损。

又云：坐，两足长舒，自纵身，内气向下，使心内柔和适散，然始屈一足，安膝下，长舒一足，仰足趾向上，使急仰眠，头不至席，两手急努向前，头向上努挽一时，各各取势，来去二七，迭互亦然，去脚疼，腰髀冷血冷风，日日渐损。

又云：长舒足，肚腹著席安，徐看气向下，知有去处，然始著两手掌拓席，努使臂直，散脊背气向下，渐渐尽势，来去二七，除脏腑内宿冷，脉急腰髀风冷。

又云：欲以气出汗，拳手屈膝侧卧，闭气自极，欲息气定，复闭气，如此汗出乃止。复转卧以下居上，复闭气如前，汗大出乃止。此主治身中有风寒，欲治股胫手臂痛法，屈一胫一臂，伸所病者，正偃卧，以鼻引气，令腹满，以意推之，想气行至上，温热即愈。

又云：肚腹著席，长舒一足，向后急努足指，一手舒向前尽势，将一手向背上挽足倒极势，头仰蹙背使急，先用手足斜长舒者，两向自相挽急，始屈手足共头，一时取势，常记动手足先后，交番上下，来去二七，左右亦然，去背项腰膝髀并风冷疼闷，脊里倔强。又云：坐正，两手向后捉腕反向，

拓席尽势，使腹眩眩上下七，左右换手亦然，损腹肚冷风宿气积，胃口冷，食饮进退，吐逆不下。

又云：凡学将息，人先须正坐并膝头足，初坐先足趾相对，足跟外扒，坐上欲安稳，须两足跟向内相对，坐上足指外扒，觉闷痛，渐渐举身似疑，便坐上，待共内坐相似，不痛，如双竖足跟向上坐上，足趾并反向外，每坐常去膀胱内气，膝冷两足冷疼，上气腰痛，尽自消适。

又云：长舒一足一脚，屈两手，挽膝三里，努膝向前身，却挽一时取势气内散消，如似骨解，迭互换足，各别三七，渐渐去髀脊冷风冷血筋急。

又云：两手向后，倒挽两足，极势，头仰足指向外努之，缓急来去七，始手向前直舒，足自摇，膝不动，手足各二七，去脊腰闷风冷。

又云：身平正，舒两手向后，极势，屈肘向后，空捺四七，转腰垂手，向下手掌，四面转之，去臂内筋急。

又云：两手长舒，合掌向下，手高举，与髀齐，极势，使髀闷痛，然始上下摇之二七，手下至髀还，上下缓急，轻手前后散振七，去髀内风冷疼，日消散，只手前拓，努手合掌向下。

又云：手掌倒拓，两髀并前极势，上下旁两掖，急努振摇，来去二^①七竟，手不移处，努两肘上急势，上下振摇二七，欲得拳两手七，因相将三七，去项髀筋脉急努，一手屈拳向左，一手捉肘头，向内挽之，上下一时尽势，屈手散放，舒指三，方转手，皆极势四七，调肘髀骨筋急强，两手拓向上极势，上下来去三七，手不动时两肘向上，极势七，不动手肘臂，侧身极势，左右迴三七，去颈骨冷气风急，前一十二件有此法，能使气人行之，须在疾中可量。

^① 二：诸病源候论作“三”。

风 气 候

养生方导引法云：一手前拓使急，一手发乳房，向后急挽之，不得努用力气，心开下散，迭互相换手三七，始将两手攀膝头，急促身向后极势三七，去腕闷疼，风府、云门^①。

头 面 风 候

养生方导引法云：一手拓颐，向上极势，一手向后长舒，急努，四方显手掌，一时俱极势四七，左右换手皆然，拓颐手两向共头欹侧转身二七，去臂膊头风眠睡。又云：解发东向坐，握固不息一通，举手左右导引，手掩两耳，治头风，令发不白，以手复将头五通脉也。

又云：端坐生腰，左右倾头闭目，以鼻内气，除头风，自极七息止。

又云：头痛，以鼻内，徐吐出气，三十过休。

又云：抱两膝自弃于地，不息八通，治胸中上至头诸病，取^②目鼻喉痛。

又云：欲治头痛，闭气令鼻极偃卧乃息，汗出乃止。

又云：叉两手头后极势，振摇二七，手掌翻覆安之二七，头欲得向后仰之，一时一势，欲得欹斜四角，挽之三七，去头掖膊肘风。

风 头 眩 候

养生方导引法云：以两手拘右膝神巧万全方左右膝。著膺，除风眩。

又云：以两手承辘轳倒悬，令脚反在其上元，愈头眩风癫，坐地舒两脚，以绳絆之，大绳絆讫，拖辘轳上来下去，以两手挽绳，使脚上头，下使离地，自极十二通。愈头眩风癫，久行身卧空中，而不堕落。

又云：一手长舒，合掌仰，一手捉颐，挽之向外，一时极势二七，左右亦然，手不

动两向侧极势，急挽之二七，去颈骨急强，头风脑旋，喉痹，膈内冷注偏风。

又云：凡人常觉脊背倔强，不问时节，缩咽膈内，仰面努膈井向上，头左右两向，掇之左右三七，一住，待血行气动住，然始更用，初缓后急，不得先急后缓，若无病人，常欲得旦起午时日没三辰，辰别二七，除寒热病，脊腰颈项痛风痹，口内生疮，牙齿风颈头眩，众病尽除。

又云：坐地交叉两脚，以两手从曲脚中入，低头叉项上，治久寒，不然能自湿，耳不闻声。

又云：脚著项上，不息十二通愈。

又云：大寒不觉暖热，久顽冷，患耳聋目眩病，久行即成法，法身五六，不能变也。

又云：低头不息六通，治耳聋目眩，咽喉不利。

又云：前大侧，牢不息六通，愈耳聋目眩，随左右聋伏並两膝耳著地，牢强意多用力至大极，愈耳聋目眩病，久行不已，耳闻十方，亦能倒头则不眩也，八件有此术，亦在病疾难为。

风 邪 候

养生方导引法云：脾主土，土暖如人肉，始得发汗，去风冷邪气，若腹内有气胀，先须暖足，摩脐上下并气海，不限遍数，多为佳，如得左回右转三七，和气如用，要用身内一百一十三法，回转三百六十骨节，动脉摇筋气血布泽，二十四气和润，脏腑均调和气在用，头动转摇振，手气向上，心气则下，分明知去知来，莫问平手欹腰，转身摩气，屈蹙回动尽，心气放散，送至涌泉，一一不失，气之行度，用之导益，不解用者，疑如气乱。

① 门：诸病源候论此下有“气散”两字。

② 取：诸病源候论作“耳”。

鬼 邪 候

养生方云：上真人诀曰夜行常琢齿，杀鬼邪。

又云：仙经治百病之道，叩齿二七过，辄咽气二七过，如三百通乃止，为之二十日，邪气悉去，六十日小病愈，百日大病除，三蛊伏尸皆去，面体光泽。又无生经曰：治百病，邪鬼蛊毒，当正偃卧闭目，闭气内视丹田，以鼻徐徐内气，令腹极满，徐徐以口吐之，勿令有声，令入多出少，以微为之，故存视五脏，各如其形色。又存胃中，令鲜明

洁白，如素为之，倦极汗出乃止，以粉粉身，摩捋形体，汗不出而倦者，亦可止，明日复为之。又当存作大雷电隆隆，鬼鬼走入腹中，为之不止，病自除矣。

又云：封君达常乘青牛，鲁女生常乘驳牛，孟子绰常乘驳马，尹公度常乘青骡。时人莫知其名字为谁，故曰欲得不死，当问青牛道士，欲得此色，驳牛为上，青牛次之，驳马又次之。二已者，顺生之气也，故云青牛者，乃柏木之精，驳牛者，古之神示之先，驳马者，乃神龙之祖也。云道士乘此以行于路，百物之恶精，疫气之疠鬼，长摄之焉。

诸 寒 门

三 因 方

叙 中 寒 论

夫寒者，乃天地杀厉之气，在天为寒，在地为水，在人脏为肾。故寒喜中肾，肾中之，多使挛急疼痛，昏不知人。挟风则眩暈，兼湿则肿疼，治之唯宜温剂，不可吐下，皆逆也。然寒性虽喜归肾，五脏皆能中之，若中于经络之表则易散，入里则不消，与伤寒脉证无异，但轻重不同，其有本藏即中寒者，经论既载，不可不辨明也。详论在伤寒门。

五 藏 中 寒 证

肝中寒者，人迎与左关上脉紧而弦。肝虚中寒，乃母子相因，弦多则吉，但紧不弦，舌卷囊缩，为不利，故使本部脉紧如切绳。肝中寒之状，其人洒洒恶寒，翕翕发热，熏然面赤，濈濈如有汗，胸中烦热，胁下挛急，足不得伸。

心中寒者，人迎与左寸口脉紧而洪。心虚中寒，贼邪相克，脉应本部，洪滑则吉，

但紧，舌乾焦，为不利。心中寒之状，其人如啖韭蜃状，剧则心痛掣背，背痛掣心，犹如蛊注，恶寒四肢厥，自吐，少间，顷时复发，休作不已，昏塞不知人。

脾中寒者，人迎与右关上脉紧而沉细，脾虚中寒，寒邪乘克，脉应本部，长则吉，沉紧，唇揭，为不利。脾中寒之状，心腹腹胀，四肢挛急，噎噎不通，藏气不传，或秘或泄。

肺中寒者，人迎与右寸口脉紧而涩，肺虚中寒，母子相感，脉应本部，浮者为吉，但紧而涩，鼻乾燥，为不利。肺中寒之状，喜吐浊涎，气短不能报息，洒洒而寒，吸吸而咳。

肾中寒者，人迎与左尺中脉沉紧而滑，肾虚中寒，寒喜中肾，以类相从，脉应本部沉滑者吉，紧涩，耳轮黑，目睛眵，为不利。肾中寒之状，色黑气弱，吸吸少气，耳聋腰痛，膝下清，拘挛而疼，昏不知人。余例见伤寒门。

简 易 方

寒 证 论

寒者天地杀厉之气，中伤于人，不急治之，随经传变，生死存亡，旬日而见。是以古人谓之大病，况寒邪传经，治自太阳，逆传阳明，至于厥阴而止。脉证不同，用药亦异，要当随其经络传变，仍以证之与脉，兼而别之，直要辨别分明，然后施之治法，则

万不失一。如或经络不分，脉理不明，表里莫辨，阴阳交互，汗吐下法差缪，药一入咽，生死立判，可不慎哉！其唯治法，张仲景伤寒论为祖，而无求于活人书最为详备，成无己明理论、许学士百门^①歌，互相发明，使后之学者，胸中了然，指下无疑，识病推因，若合符节，兹不繁引。予今采集前贤必

^① 门：许叔微著有《伤寒百证歌》，据此，应作“证”。

验之方，近代名医历试之说，切于时用者，抄于本方，以备仓卒，加或日深传变，证状

乖异，当自择医，不可拘执。

直指方

中寒论

寒者严凝杀厉之气也。人以肾为根本，惟肾则受寒，惟寒则伤肾，肾气一虚，寒邪交作，急痛拘挛，战掉强直，昏迷厥冷，口噤失音，此中寒也。无汗恶寒，头疼面惨，发热拘急，手足微寒，此伤寒也。霍乱转筋，洞泄下痢，乾呕吐逆，积饮停痰，此寒邪入肠胃也。以至为咳嗽，为虚劳，为疝瘕，为脚气，为带漏，为遗精，为痲症，为诸痛，

寒亦主之。人惟肾气不充，疏于谨护，非特霜凝冰泫之谓寒，或者炎天暑月当风取凉，卧地受冷，使寒邪之气，自皮肤而达经络，自经络而入脏腑，如前数证，皆得以恣睢四出矣。温肾御寒，如乾姜、附子、川乌、天雄辈，佐之以养正，灵砂，此固药笼中物，然寒伤荣气，徒知温肾，而不知温血，恐未必有十全之功。是则官桂、当归又温血之上药也。不然古人何以致意于寒泣血云。

严氏济生方

中寒论

素问云：冬三月是谓闭藏，水冰地坼，无扰乎阳，早卧晚起，必待日光，此去寒就温之意也。不善调摄，触冒之者，卒然眩暈，

口噤失音，四肢强直，或洒洒恶寒，或翕翕发热，面赤多汗。大抵中寒脉必迟紧，挟风则脉浮，眩暈不仁，兼湿则脉濡，肿满疼痛。治之之法，切不可妄下妄吐，惟当温散之。

管见大全良方

中寒证治

若遇极寒之时，忽然气厥暈闷，不省人

事，皆由体虚气弱，而中寒气，当以附子理中汤治之。

治病百法

寒

夫寒者，是太阳寒水之主也。诸寒^①冷湿痹，肘臂挛急，秋湿既多，为咳为嗽，痰厥心痛，心中澹澹大动，胸胁胃脘痛不可食，食已不饥，吐利腥秽，屈伸不便，上下所出

不禁，目盲，坚痞，色食，渴而饮冷，积水足浮肿，囊缩，四支冷，爪甲青，心火为病。

姜附汤 四逆汤 二姜汤 术附汤 大已寒丸 理中丸

^① 寒：儒门事亲作“恶”。

治法杂论

寒 门

经曰：寒疡流水，俗呼为冻疮，因冬月行于冰雪中而得此证。或经年不愈者，用坡野中净土，晒乾，以大蒜研如泥土，捏作饼子，如大观钱厚薄，量疮口大小贴之，以

火艾加于饼上，灸之不计壮数，以泥乾为度。去乾饼子，再换湿饼，灸不问多少，直至疮痂觉痛痒，是疮活也。然后口含浆水洗渍，用鸡翎一二十茎，缚作刷子，于疮上洗刷净，以此洗刷，不致肌肉损伤也。以软帛拭乾，次用木香槟榔散傅之，如夏月医之更妙。

宣 明 论

诸 寒

寒者上下所生水液，澄澈清冷，谷不化，小便清白不涩，身凉不渴，本末不经，有见阳热证，其脉迟者是也。此因饮食冷物过多，阴胜阳衰而为中寒也。或冷热相击而反阳气

拂郁不能宣散，拂热内作，以成热证者，不可亦言为冷，当以成证辨之。夫湿热吐泻，当见阳脉，若亡液气虚，亦能反见诸阴脉也。当以标本明之，不可妄治，或热证误服白术调中汤温药，亦能开发阳气，宣通而愈，别无加害也。

拔 粹 方

诸脉按之无力所生病证

六脉中之下得弦细而涩，按之无力，腹中时痛，心胃控掣，阴阴而痛，或大便泄泻，鼻不闻香臭，清涕不止，目中泣出，喘喝痰嗽，唾出白沫，腰沉沉苦痛，项背胸皆时作痛，目中流火，口鼻恶寒，时头痛目眩，苦振寒不止，或嗽或吐，或呕或哕，则发躁蒸蒸而热，如坐甑中，必得去衣居寒处，或

饮寒水则便过，其振寒复至，气短促，胸中满闷而痛，必有膈咽不通，欲绝之状，甚则目瞪，声闻于外，而泪涕涎痰大作，方过其发躁，须臾而已，振寒复至，或面白而不泽者，脱血也，悲愁不乐，情惨惨，意悲悲，健忘或善嚏间出，此风热大损，寒水燥金之复也。如六脉细弦而涩，按之空虚，此大寒证，亦伤精气，以辛甘温甘热滑润之剂，大泻西方北方则愈。

医 方 大 成

寒

寒为天地杀厉之气，故见于冬则为冰、为霜，草木因之而摧败，鸟兽各巢穴以自居，气体虚弱之人，或调护失宜，冲斥道途，一时为寒气所中，则昏不知人，口噤，失音，

四肢僵直，挛急疼痛，或洒洒恶寒，翕翕发热，面赤若有汗，五脏之虚者，皆能有所中也。其脉多迟而紧；挟风则脉带浮，眩暈不仁；兼湿则脉濡而四肢肿痛。治疗之法，只宜以姜附之药，温散寒气，切不可妄有吐下，如舌卷囊缩者难治。

永类铃方^①

中 寒

寒脉迟紧，挟风带浮，眩晕不仁，兼湿带濡，肿满疼痛，寒喜中肾，为挛急疼痛，中表易散，入里则不消，与伤寒脉证同，重则为中，若舌卷囊缩者难治。

肝脉人迎并左关紧而弦，心脉人迎并左寸紧而洪，脾脉人迎并右关紧而沉，肺脉人迎并右寸紧而涩，肾脉人迎并左尺紧而滑，气口紧盛。

肝，恶寒发热，面赤如有汗，胸中烦，胁下挛急，足不得伸；心，如啖韭薤，甚则心痛掣背，恶寒四肢厥，自吐，昏塞不省；脾，心腹胀，四肢挛急，噎噫不通，藏气不

传，或秘或泄；肺，善吐浊，气短不能报息，洒洒而寒，吸吸而咳；肾，色黑气弱，吸吸少气，耳聋腰痛，膝下拘疼，昏不知人。夹食，系不内外因。

不可汗下，惟当温散。昏塞不省，或用苏合香者，诸香主散气，药性差凉当审微甚，甚则以姜附汤为主，微则不换金正气散可加附子，附子五积散；脐腹痛，四肢厥，附子理中汤、姜附汤，入肝加木瓜，入肺加桑白皮，入脾加术，入心加茯苓；霍乱转筋，四柱散、四顺附子汤（即附子理中汤去白术用生附子，盖白术闭气，生附能散风寒，又胜理中汤）；虚寒甚者三建汤、二香三建汤。灸脐下，通五脏虚实并瘤冷门；夹食宜治中汤。

金匱钩玄

寒主乎温散。有卒中天地之寒气，有口 伤生冷之物。

三 因 方

中 寒 治 法

附子理中汤：灌家方名理中汤。治五脏中寒，口噤，四肢强直，失音不语。灌家方或但晕闷手足厥逆。昔有武士守边，大雪出帐外观瞻，忽然晕倒，时林继作随行医官，灌以此药，两剂遂醒。

大附子 去皮脐 人参 乾姜 炮 甘草 炙 白术 各分 灌家方妙

右为锉散，每服四大钱，水一盂半，煎七分，去滓，不以时服，口噤则斡开灌之。

得效方同。直指方治中寒、中湿，呕逆虚弱。

人参 白术 乾姜 炒 熟附子 各一两 甘草 炒，半两 右咬咀，每三钱，姜五片，食前煎服，

少血加当归。

乾姜附子汤：得效方名姜附汤。治中寒，卒然晕倒，或吐逆涎沫，状如暗风，手脚挛搐，口噤，四肢厥冷，或复燥热。

乾姜 炮 附子 炮，去皮脐 得效方各乙两

右为锉散，每服四钱，水盂半，煎七分，去滓，食前服。入肝加木瓜，入肺加桑白皮，入脾加术，入心加茯苓，随证加之。得效方此下云：挟风加防风，兼湿多加白术，筋脉挛急加木瓜，肢节疼痛加桂心、人参、白术各等分，仍须暖室添衣被火等围护。易简方姜附汤：治中风口噤，四肢强直，失音不语，或卒然晕倒，口吐涎沫，状如暗风，

^①永类铃方：此下部分原文系表格，为了便于阅读，依本书体例特改为文字。

手足厥冷，或复烦躁。阴证伤寒，大便自利，而发热者，尤宜服。兼治中脘虚寒，久积痰水，心腹冷痛，霍乱转筋，四肢厥逆。乾姜 熟附子 各二两 右咬咀，每服四钱，水二盏，煎至六分，按神方水一盏半，煎至七分。去滓温服。若其人未苏，则先用三生饮方中治法，次方服此，或虑此药太燥，即以附子理中汤，相继服饵。姜附汤本治伤寒，经下之后，又复发汗，内外俱虚，身无大热，昼日烦躁，夜即安静，不呕不渴，六脉沉伏。一方附子生用，名白通汤，治伤寒发热，大便自利。一方用白通汤倍加白术，甘草减半，名生附白术汤，治中风湿，昏闷恍惚，腹满身重，手足缓纵，津津按神方作 繁繁自汗，失音不语，便利不禁。一方用姜附汤，加麻黄、白术、甘草、人参等分，名附子麻黄汤，治中寒湿，昏晕缓弱，腰背强急，口眼喎斜，语声混浊，心腹腹胀，气上喘急，不能动转，已上证候，各宜详审用之。直指方姜附汤，治中寒厥冷，强直失音，口噤，吐沫，或阴盛发燥。熟附子 三法六门一两生用，去皮脐，细切 乾姜 炮，等分 六

门二两，另为粗末 右咬咀，每服三钱，水盏半，煎半，六门一盏。空心温和服，亦治洞泄、呕吐。医方大成姜附汤：治体虚中寒，昏不知人，及脐腹冷痛，霍乱转筋，一切虚寒，并皆治之。乾姜一两 附子 生，去皮脐，细切一枚 永类铃方半两 右咬咀，每服三钱，水盏半，煎七分，食前南北经验方，袖珍方、寿域神方，卫生易简方同，医方集成食后。温服。 澹寮方姜附汤，治卒中风痰壅塞。生姜八两，附子减半并用生者，自陈氏三因方用等分炮熟姜附，王氏因之改乾姜为生姜，附子用熟者，然既知其未稳当，从古方可也。乃持两端以尝试，未为切当，其云：治中寒口噤，与阴证伤寒，岂知阴证伤寒，下利不渴，手足逆冷，小便反利，汗出过多，脉微欲绝，此将脱之证，兼服炮姜、炮附，亦未为过，今中寒晕倒，口吐痰沫，而遽服熟附，乌知寒邪不因补而盛耶，当先以生姜附与之，或未效，徐投以半生半熟者，人或虚甚，然后以熟姜附未晚也。是虽陈氏不审之故，而王氏不能发明之，安得不任其咎。续易简方。

助 道 方

治中寒中气证

中寒中气忽然厥，术附加煎苏合香，惟有老人多气弱，须吞养正助元阳。
中寒中气之候，四肢厥逆，口噤，牙关

紧急，痰涎壅盛，如中风状者，用局方术附汤一贴，生姜二十片，水二盏，煎八分，去滓，后调局方苏合香丸二粒，并进二服，或气短头晕，手足厥逆未退者，可送养正丹伍拾粒至百粒，奇效必愈。

直 指 方

中寒证治

不换金正气散：解散寒邪。

苍术炒 橘红 半夏曲 厚朴制 藿香叶 各一两 甘草炒，三分

右锉散，每服三钱，姜五片，枣二枚，煎服。

养胃汤：治外感寒邪，内伤生冷。

苍术炒 厚朴制 半夏曲 各一两 人参 茯苓 草果 藿香 各半两 橘红 七钱半 甘草炒，三钱半 右锉，每服三钱，加桂半钱，姜七片，乌梅半箇，煎服。

姜桂散：温中散寒生①。

① 生：按文义此字疑衍。

乾姜 良姜 各半两 辣桂 木香 半夏曲
甘草 炒。各二钱半

右锉散，每服三钱，姜五片，枣二箇，煎服。

沉附汤：治虚寒无阳，胃弱乾呕。

熟附子 乾姜 炮。各半两 沉香 白术 各一分
甘草 炒，一钱半

右锉，每三钱，姜五片煎，食前服。

附子散：伤寒阴证唇青面黑，身背强痛，四肢厥冷，及诸虚沉寒。

熟附子 三分 官桂 当归 白术 各二分 乾姜 炮 半夏曲 各一分

右锉，每服三钱，姜五片，枣二枚，食

前煎服。

五丹圆^①：治沉寒痼冷。方见血病门。

应梦人参散：治伤寒身热头疼，亦主痰嗽。

人参 白术 白芷 乾葛 北梗 青皮
各三分 甘草 炒，一两 乾姜 一钱半

右为末，每服二钱，姜枣煎服。

败毒散：伤寒热证通用。

人参 赤茯苓 川芎 北梗 羌活 独活 前胡 柴胡 枳壳 制 甘草 炒。等分

右锉散，每服三钱，姜五片，煎服。人参羌活散用药亦同。

严氏济生方

中 寒

姜附汤：治五脏中寒，口噤，四肢强直，失音不语，或卒然晕闷，手足厥冷。

乾姜 炮 附子 炮，去皮脐 甘草 炙。各等分

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，煎至七分，去滓，温服，食前。挟风不仁，加防风半两。兼湿肿满加白术半两。筋脉挛急，加木瓜半两。肢节疼痛，加桂心半两。清寒方同。

三 法 六 门

寒

四逆汤：

甘草 三两 乾姜 半两 附子 半两，生用，去皮脐，切作片子

右为粗末，每服三五钱，水一盏半，煎至一盏，去滓，温服无时。

二姜汤：

良姜 乾姜 炮。二味各三两

右为细末，酒煮糊为丸，桐子大，每服三十丸，空心米饮汤下。

术附汤：

黑附子 重一两 白术 一两半 甘草 七钱半，炙

右为细末，每服三五钱，水一盏半，生姜五片，枣二枚，擘破，同煎至一盏，去滓

温服，食后。

大己寒丸：

附子 炮，去皮脐 川乌头 炮，去皮脐，锉作豆大，再炒黄 乾姜 炮裂 良姜 炒 官桂 去粗皮 吴茱萸 炒。
已上各一两

右为细末，醋糊为丸，桐子大，每服五七十丸，米饮下，食前。

理中丸：

人参 去芦 白术 乾姜 甘草 炙 附子 炮去皮脐。各一两

右为细末，炼蜜为丸，每两作十丸，弹子大，每服一丸，以水一盏化破，煎至七分，稍热服，空心。

① 五丹圆：方见本书卷八十五血病门二。

平胃散：

厚朴^{姜制} 陈皮 二味各三两 苍术 五两，泔浸
甘草^① 二两，炒

右为末，每服二钱，水一盏，生姜三片，
枣二枚，煎至七分，去滓，食前温服之。

养脾丸：

乾姜 炮 缩砂 各二两 茯苓 去皮 人参 去芦
麦蘖 炒。各一两 白术 半两 甘草 炒，一两半

右为细末，炼蜜和丸，每两作八丸，每
服一丸，细嚼，生姜汤下。

拔粹方

姜附汤^②： 治中寒口噤，四肢强直，
失音不语，或卒然晕倒，口吐涎沫，状如暗
风，手足厥冷，或复烦躁，兼治阴证伤寒，
大便自利而发热者。方见三因方。

沉香桂附丸：

沉香 附子 炮，去皮脐 乾姜 炮 良姜 炮，炒
官桂 去皮 茴香 炒 川乌头 炮，去皮脐，锉作小块子，如
豆大，再炒令黄用 吴茱萸 汤浸洗去苦，炒

右各一两为细末，用好醋煮面糊为丸，

如桐子大，每服五七十丸，熟米饮送下，空
腹食前，日进二服。忌生冷硬物。

十全大补汤：

人参 肉桂 川芎 熟地黄 茯苓 去皮
白术 甘草 黄耆 当归 去芦 白芍药

右件一十一味，锉为粗末，每服二钱，
水一盏，入生姜三片，枣二枚，同煎至七分，
去滓，温服，不拘时候。

医方大成

寒

和剂方生料五积散： 治感冒寒邪，头
疼身痛，项背拘急，恶寒呕吐，或有腹痛。
又治伤寒，发热头疼，恶风，无问内伤生冷，
外感风寒，及寒湿客于经络，腰脚酸疼，及
妇人经血不调，或难产，并治之。

白芷 三两 陈皮 去白，六两 厚朴 去皮，姜制，四
两 桔梗 去芦，十二两 南北经验方二两 枳壳 去瓤面炒，
六两 川芎 甘草 炙 茯苓^③ 各三两 苍术 米泔浸
去皮，二十四两 当归 去芦，三两 麻黄 去节^④ 六两 肉

桂 去皮 芍药 各三两 乾姜^⑤ 四两 半夏 汤洗^⑥ 三两

右咬咀，每服四钱，水一盏，姜三片，
葱白三个，煎七分，热服。冒寒用煨姜；挟
气则加茱萸；妇人调经催^{袖珍方作难}产则入艾
醋。医方集成、永类铃方同。

和剂方理中汤： 治五脏中寒，口噤失
音，四肢强直，兼治胃脘停痰，冷气刺痛。

人参 乾姜^⑦ 甘草^⑧ 白术 各等分

右咬咀，每服四钱，水一盏，煎服。卫生
易简方煎七分，去滓温服。三因方加附子名附子理中
汤。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

南北经验方

寒

和剂方正气散^⑨： 治伤寒阴证，憎寒
恶风，正气逐冷。

半夏 厚朴 各三两，为末 生姜 四两，研烂，同为饼

- ① 二：儒门事亲作“三”。
② 姜附汤：方见本卷引三因方“中寒治法”。
③ 苓：太平惠民和剂局方此下注有“去皮”二字。
④ 去节：太平惠民和剂局方作“去根节”。
⑤ 姜：太平惠民和剂局方此下注有“煨”字。
⑥ 洗：太平惠民和剂局方此下有“七次”二字。
⑦ 姜：太平惠民和剂局方此下注有“炮”字。
⑧ 草：太平惠民和剂局方此下注有“炒”字。
⑨ 正气散：太平惠民和剂局方本方中尚有“白术一两”。

子，微炒 藿香叶 陈皮各乙两 甘草七钱，炒
右为细末，每服二钱，生姜三片，枣一

枚，水一钱煎七分，食前稍热服，常服顺气
宽中，辟除瘟疫。袖珍方同。

永类铃方

诸 寒

澹寮方五积交加散：治内感风寒，上膈蕴热。

五积散 人参败毒散

右二件等分和匀，每四钱，水一盞，姜五片，枣乙个，煎八分，温服。

十味芎苏散：治四时伤寒，发热头疼。

川芎七钱 紫苏叶半两 乾葛半两 甘草三钱
柴胡半两 茯苓半两 半夏制，六钱 枳壳制，三钱
桔梗二钱半 陈皮三钱半

右咬咀，每三钱，姜枣煎服。

简易方冲和散：感冒风温之气，头目不清，鼻塞声重，肢体倦怠，伸欠泪出。

苍术六两 荆芥穗二两 甘草乙两乙钱半

右咬咀，水煎热服，无时。

易简方温胆汤：伤寒一切病后，虚烦不得睡卧，兼治心胆虚怯。

半夏制 枳实各乙两 净陈皮乙两半 甘草四钱 茯苓三分

右咬咀，四钱，水盞半，姜七片，枣乙个，竹茹一块，煎七分，食前热服。

杨氏家藏十味和解散：治头疼发热，发散寒邪。

白术二两 桔梗乙两 人参 当归洗焙 净

陈皮 枳壳制 赤芍药 防风 甘草炙。各乙两
厚朴性，半两

右咬咀，四钱，水一盞，姜三片，葱三个，煎热服，无时。

御药院增损白术散：病后最宜服之，生津止渴，顺气化痰。

白术 葛根 茯苓 藿香 人参 木香
各乙两 陈皮净，二两 乾生姜乙钱

右咬咀，四钱，水一大盞，煎七分，温服，无时。

济生竹叶汤：治伤寒大霍乱，吐泻后心虚烦闷，内热不解。

竹叶 麦门冬去心 人参 茯苓 小麦炒
半夏制。各乙两 甘草炙，半两

右咬咀，四钱，水盞半，姜五片，煎八分，温服。

本事鹄石散：治伤寒发狂，逾垣上屋。

黄连 寒水石各等分

右细末，每二钱，煎甘草汤，候冷调下。

柴胡散：治伤寒病后邪入经络，体瘦肌热，或又咳嗽。

柴胡四两 甘草乙两

右为末，每二钱，水一盞，煎八分，食后热服。

寿域神方

寒 部

中寒腹痛，用食盐一大把多，饮水送下，忽当吐即愈。

一方：掘土作小坑，以水满坑中，熟搅取汁，饮之，名地浆。

元脏虚冷，腹痛虚泻：生硫黄五两，

青盐一两，细研蒸饼为丸，如绿豆大，每服五丸，热酒空心送下，以食压之。

胃寒五脏风冷，心腹痛，吐青 卫生易简方作清。水，用胡椒研酒服之，亦宜汤服。若冷气吞三七粒。

脾胃冷逆，霍乱腹痛，心脾痛，用良姜为末，米饮调三钱服。 卫生易简方佛手根即高良姜。

一方：用生花椒择去黑子并闭口者，以四十粒，浆水浸一宿，令口合，空心新汲水下。卫生易简方治腹内虚冷，用生椒云云，新汲水下，去积冷，暖脏腑，久服驻颜黑发，明目，令人思食。

治膈下冷气，或酒食饱满，常服：用青橘皮四两，汤浸一宿，去穰，入盐七钱，拌匀，炒焦，为末，每服一钱半，茶末半钱，水一盏，煎七分，温服，如不用茶，沸汤点亦妙。

卫生易简方

诸 寒

治胃虚中寒，停痰留饮，嘔逆呕吐，用半夏二钱汤洗七次炒黄^①，丁香半钱，藿香一钱，水一盏，姜七片，煎七分，食前温服。

治肠胃虚寒，心腹冷痛，泄泻不止，用乾姜炮，附子炮去皮脐，肉豆蔻面裹煨，等分为末，米糊圆，如桐子大，每服五十圆，空心米饮下。

治胸腹冷气，用沉香、乌药同磨，作汤服。

治脾肾虚寒，肠鸣泄泻，胸膈不快，饮食不化，用破故纸炒四两，木香不见火一两，肉豆蔻面裹煨二两，共为末，灯心煮枣肉，圆如桐子大，每服七十圆，姜盐汤

下。

治老人中寒下虚，心腹膨胀，不喜饮食，用附子炮去皮脐，厚朴姜制炒，等分，每服四钱，水一盏，姜枣煎八分，温服不拘时，加少木香尤妙。

治胃寒饮食不化，及呕吐翻胃，用高良姜、陈皮，等分为末，炼蜜圆如桐子大，空心饮下十圆。久服令人肥白，身香，及下一切宿冷脚气，湿风，破癥结，止嗽润心肺，消痰补虚，调中下气，益五脏，利大小便。

治胃脘虚寒，痰饮留滞，痞塞不通，气不升降，用良姜、乾姜炮、陈皮、青皮各一两，半夏汤洗去滑^②二两，为末，姜糊圆，如桐子大，每服三十圆，生姜汤下。

诸 寒 针 灸

寿 域 神 方

治冷病灸心肺骨尖上三壮。

诸 暑 门

巢 氏 病 源

冒热困乏候

人盛暑之时，触冒大热，热毒气入藏府，

则令人烦闷，郁冒，至于困乏也。

① 汤洗七次炒黄：卫生易简方作“姜汁拌炒”。

② 汤洗去滑：卫生易简方作“制”。

和剂指南

论伤暑证候

夏月伤暑，亦云伏暑，谓其人从热中来，便从凉处坐卧，不知被外凉冷之气闭暑热气，伏在腠理中，不能发泄，故曰伏暑。其证自汗恶寒，或背恶寒而渴，或面垢如未洗面人，或板齿燥，当门二齿乾，是伏暑也。呕逆而渴者，及卧不及席者，是伤暑也。可与五苓

散、桂枝丸、大顺散、香薷散。发热甚者，可与香薷散、竹叶汤、枇杷叶散、小柴胡汤，冷服立效。

论伤暑吐泻

中暑呕吐，发热闷乱，或霍乱吐泻，可与消暑丸、五苓散、桂苓圆、香薷散之类。

三因方

中暑论

中暑，其脉阳弱而阴虚，微迟似芤。夫暑，在天为热，在地为火，在人藏为心，故暑喜归心，中之，使人噎闷，昏不知人。入肝，则眩晕顽痹。入脾，则昏睡不觉。入肺，则喘满痿躄。入肾，则消渴利小便。凡中喝死，治之切不得用冷，唯宜温养，得冷则死，道途无汤，即以热土熨脐中，仍使更溺，概可见矣。若发其汗则恶寒甚，加温针则发热甚，下之则淋甚，治之不可不谨也。然伤暑中喝，其实一病，但轻重不同。新校正要略者，乃云伤寒家别有喝病，非也。详论治法见后。

中暑凡例

中暑闷倒，急扶在阴凉处，切不可与冷，当以布巾衣物等蘸热汤熨脐中及气海，续以汤淋布上，令彻脐腹，暖即渐醒，如仓卒无汤处，搗道上热土于脐，以多为佳，冷即

易。古法道途无汤，即搗热土于脐上，仍拨开作窝子，令人更溺于其中以代汤，续与解暑毒药，如白虎竹叶石膏汤。凡觉中暑，急嚼生姜一大块，冷水送下，如已迷乱闷，嚼大蒜一大瓣，冷水送下，如不能嚼，即用水研灌之，立醒。路中仓卒无水，渴甚，急嚼生葱二寸许，津同咽，可抵饮水二升。

伤暑叙论

伤暑者，乃夏至前后各三十日有奇，少阳相火用事之时也。炎热大行，烁石流金，草萎河涸，人或伤之，则发热自汗，面垢背寒，倦怠少气，以暑消气，气消血散，与伤寒相类。此是夏间即病，非冬伤寒，至夏发为热病也。当以脉别之，伤暑脉虚无力，盖因气血消散，致血虚弱；伤寒则泣血而闭，脉紧而有力，大不同也。要略言伤寒家别有喝病，盖论次者，见其一条别在后，故有是说，轻重不同，识者当自知之。

简易方

暑证论

四时之内，惟夏一季，是人蛻精神之时，

最难调摄，心旺肾衰，肾化为水，至秋渐凝，及冬始坚，当此之际，正宜温药补助，饮食亦当稍热，饮冷食生，皆致病之因也。况暑

毒多从口鼻入，凝于牙颊，远行作劳，人遇止息，须漱口勿咽，如觉入咽，宁呕去之。盖夏月伏阴在内，肠胃冷滑，易于伤动，暑毒一入，遍于五脏六腑，为病最急，夏月小有感冒，无问风寒暑湿，头痛寒热，烦躁昏闷，霍乱疟痢，皆当先服五苓散，然后随证以他药主之。其实猪苓、茯苓利水道，白术、

肉桂有实表之功，若用以治病，无有不愈。其或士夫当隆暑之时，无病而以五苓散，例为夏间常服之药，但知可以解暑除烦，而不知内有泽泻，最能伐人肾气，肾者人之根本，当根本不充之时，轻进是药，将以为利，适以为害，可不谨哉！琐碎录云：隔年五苓散不可服，服之杀人，良以此也。

直指方

中暑论

人有常言，伤暑做出百般病，其果厚诬哉！盖暑之入人，伏于三焦肠胃之间，至有兼旬累月而不可测识者。如呕吐，如中满，如泄泻，如下痢，如焦渴，如发疟，如腹痛，如下血，以至诸热等证。苟因暑得之，其根未除，虽百药遍尝，难施其巧。夫人心胞络与胃口相应，胃气稍虚，或因饥冒暑，故暑气自口鼻而入，凝之于牙颊，达之于心胞络，如响应声，遇暑以还，急漱口而勿咽可也。若觉暑毒逼塞咽喉，尤当灌涤而吐之。伤暑脉虚，面垢，自汗，身热，背寒，烦闷，大渴，倦怠少气，毛耸恶寒，或头疼，或霍乱，或四肢厥冷，但身体无痛。经云：热则诸毛孔开，故洒然恶寒，体认不精，妄以伤暑为

伤寒，误人不小。然而暑家何以脉虚？暑能消气，气消则血散，脉安得而不虚，其或六脉沉伏，冷汗自出，闷绝而昏不知人，此则中暑证候，又加重耳。治法大要，虽贵于驱暑，尤贵于和中，二者并行，则其间杂证，不战而自屈，若汗若下，若用药差冷，古人戒之，虽然夏月伏阴在内，暑家气虚，脉虚，或饮水过多，或冷药无度，伤动其中，呕吐不食，自利不渴，此则外热里寒，无惑乎伤暑伏热之说，非理中汤不可也。又有冷药过度，胃寒停水，潮热而呕，或身热微烦，此则阳浮外而不内，非小半夏茯苓汤不可也。抑犹有戒焉？暑家脉虚，面黧，冷汗洒然，毛耸，手足微寒，苟不明辨其里热之证，误以刚剂投之，抱薪救焚，不发黄则发斑，甚者蓄血闷乱而毙矣！吁，可畏哉！

管见大全良方

中喝证治

若因盛暑在途，忽然僵仆不省人事，当作中喝治之。此疾皆由饥而感冒暑热之气而得之，宜用白虎汤或来复丹，研细浓煎，紫苏汤调灌，或以大黄龙圆服之即省。若在荒野僻陋之处，一时无药，但以大蒜细研，以汤调灌，亦得苏省。切不可冷水灌之，断不能活，宜用布巾蘸热汤，不可大段灼人，熨脐上下必省。若偶在无人所居之境，一时

无汤，可移病人安于树阴之下，却掬路上热土，安于病人脐上，仍拨开作一窍，以人注尿于其中，得暖即活。

伏暑证治

夫伏暑之证，从暑中来，凉处坐，其暑喜伏于内。素问云：因于暑，汗，烦则喘喝，静则多言，体若燔炭，汗出而散。中暑则背寒面垢，如尘埃著面，又如涂油，齿乾，前齿乾燥。烦冤手足微冷，烦渴口燥，四肢却不痛

重，但觉倦怠，洒洒然毛耸恶寒，发热烦闷，其脉微弱，按之无力者，伏暑证也。甲乙经云：脉虚身热，得之伤暑者此也。宜白虎汤，立秋后乃亡血诸虚家不可用。小柴胡汤煎成沉冷服。痰逆恶寒者，橘皮汤。不恶者，竹叶石膏汤

主之。头疼、恶心、烦躁、心下不快者，与五苓散。渴甚者，酒蒸黄连丸主之。常服预防暑气者，宜消暑圆，大黄龙圆，枇杷叶散，桂苓圆，黄连香薷散，可选而用之。

治病百法

暑

夫暑者为少阴君火之主也。诸痛痒疮疡，痈疽肿毒，及胸中烦热，噎乾咳喘，唾血泄血，肘肿，肩脾背内痛，心痛肺胀，腹胀蔚^①闷，风湿病多发，风伤于荣，温伤于卫，血为荣，气为卫，其脉两手多浮^②。自汗出，身重，多睡必鼾，三日以里，且宜辛凉解之，

或辛温解之，如不已，里^③证未罢，大不可下，如下则胃中虚空，四日之外，表热入里，则谵语口乾，发疹潮热，直视失溲者，十死八九。肺金为病，人气在胸，及小儿疮疹丹嫫，但发人气在腹。

白虎汤 桂苓甘露散 化痰玉壶丸 益元散 玉露散 石膏散。

十形三疗

暑形

小郑年十五，田中中暑，头痛，困卧不起，戴人以双解散汗之，又以葱醋汤投之，未解，薄晚又以三花神祐丸大下之，遂愈。

又：张叟年七十一，暑月田中因饥困伤暑，食饮不进，时时呕吐，口中常流痰水，

腹胁作痛，医者概用平胃散、理中丸、导气丸不效，又加针灸，皆云胃冷，乃问戴人。戴人曰：痰属胃，胃热不收，故流痰水，以公年高，不敢上涌，乃使一筋探之，不药而吐之，出涎一升，次用黄连清心散、导饮丸、玉露散以调之，饮食加进，惟大便秘，以生姜大枣煎调胃承气汤一两夺之，遂愈。

卫生宝鉴

中暑霍乱吐利治验

提学侍其公，年七十九岁，至元丙寅六月初四日中暑毒，霍乱吐利，昏冒终日不省人事，时夜方半，请予治之，诊其脉洪大而有力量，一息七八至，头热如火，足寒如冰，半身不遂，牙关紧急，予思内经五乱篇中云：清气在阴，浊气在阳，荣气顺脉，胃气逆行，乱于胸中，是谓大悞。云云。乱于肠胃则为霍^④，

于是霍乱之名，自此而生。盖因年高气弱，不任暑气，阳不维阴则泻，阴不维阳则吐，阴阳不相维，则既吐且泻矣。前贤见寒多以理中丸，热多以五苓散为定法治之，今暑气

① 蔚：儒门事亲作“郁”。

② 浮：儒门事亲作“沉”。

③ 里：儒门事亲作“表”。

④ 霍：儒门事亲此下有“乱”字。

极盛，阳明得时，况因动而得之，中喝^①明矣。非甘辛大寒之剂，则不能泻其暑热，堕浮溜之火，而安神明也。遂以甘露散，甘辛大寒，泻热补气，加白茯苓以分阴阳，约重

一两，冰水调灌，渐渐省事，而诸证悉去，后慎言语，节饮食三日，以参术调中汤之剂，增减服之，理正气，逾十日后方平复。

澹寮方

中暑

夫在天为暑，在地为火，在人脏为心，故暑喜中心，亦各从其类也。然谓中暑者，乃至重也。其证眩晕，昏不知人。又谓伏暑者，其人自暑中来，便自坐卧冷地，为冷气闭，伏暑气在腠理，不能发泄，故曰伏暑。其证自汗、恶寒，或背寒而面垢，谓面如赭也。或渴而板齿当门齿也。燥，其病犹轻，暑脉虚者，热伤气而不伤形也。中暑闷乱，切不可便与冷水，及卧冷湿地，得冷则死。惟当温养，或用布衣蘸热汤熨脐中，仍续以汤淋布上，

及气海，或搗热土，置脐心，更令人漩溺于土上，候渐苏，以米汤徐徐灌之，然后随证调治。近来江浙间中暑，多有搐搦不省人事者，其脉浮而虚。浮为风，虚为暑，此中暑而挟风，故有是证，俗名暑风。宜先以温熟水化苏合香丸灌之，俟其苏省，又进黄连香薷饮加羌活煎。本草百药，有疗风、疗湿、疗寒，或三气兼治，各于品下明载，惟无一字言及何品可以疗暑，后之智者，处方为之通心利小便，正使暑气不能节闭也，学者亦宜知之。

圣济总录

中喝统论

盛夏炎热，人多冒涉路途，热毒入伤，微者客于阳经，令人呕逆头眩，心神懊闷，汗出恶寒，身热发渴，即时不治，乃至热气伏留经络，岁久不除，遇热即发，俗号暑气，

甚者热毒入内，与五藏相并，客邪炽盛，郁瘀不宣，致阴气卒绝，阳气暴隔，经络不通，故奄然闷绝，谓之中喝。此乃外邪所击，真藏未坏，若遇救疗，气通则苏。但治热喝，不可以冷物，得冷则不救，盖外以冷触，其热蕴积于内，不得宣发故也。

医方大成

暑

暑之为气，在天为热，在地为火，在人脏为心，是以暑之中人，先著于心。凡中之者，身热头痛，烦渴口燥，甚则昏不知人，手足微冷，或吐或泻，或喘或满。入肝则眩晕顽痹；入脾则昏睡不觉；入肺则喘满萎顿；入肾则消渴，其脉多沉伏。一时昏中者，切

不可便与冷水，并卧湿地。古法当以热汤先灌，及用布衣蘸热汤，熨脐下及气海，续续以汤淋布上，令暖气透彻脐腹，俟其苏省，进以黄连香薷散、五苓散。若体虚者，冷香饮子。霍乱吐泻，来复丹、二气丹。夹食则用胃苓汤。若挟风则其脉沉而浮，证有搐搦，当于黄连香薷散内加羌活煎服，却不可作惊

^① 喝：儒门事亲作“暑”。

痼治之，多致不救，此方乃严氏累用之而有验者。若旅途中卒然晕倒，急扶在阴凉处，掬道上热土，于脐上，拨开作窍，令人尿于

其中，以待求热汤并生姜或大蒜各一块嚼烂，以汤送下，立醒。

永类铃方^①

中暑

暑之为气，在天为热，在地为火，在人脏为心，故暑之中人，先著于心。古经不载暑乃为六淫中无形之火，率以五行中有形之水制之。暑中脘虚弱，引饮停膈，为痰为饮，滞于肠胃，为湿为渍，痰至秋则疟，湿至秋则为痢。中之者微，则身热头痛，烦渴口燥，甚则吐泻喘满，手足微冷，昏不知人，切不可与冷水，卧湿地，古法以布以蘸热汤熨脐中及气海，或掬路旁热土，置脐中，更潮之，或嚼姜蒜，以热汤灌之；或置大蒜两鼻中，渴甚嚼生葱，同津咽下良。暑挟风为暑风，若针则发热，下则成淋，发汗则恶寒。

脉：肝，以人迎合五脏；心，本部脉；脾，阳弱阴；肺，虚微沉似芤；肾，浮而虚。气口紧盛。

病证：肝，眩晕顽痹；心，噎闷昏不知人；脾，昏睡不觉；肺，喘满痿躄；肾，消渴小便赤涩。夹食系不内外因。

治：昏闷不省，先用苏合香丸，生姜自然汁搽灌；躁热头痛、自汗、泻、渴而吐，小便赤少，五苓散、香薷散加姜制黄连、活人香薷散加黄连去扁豆，以冷服速效；中暑毒，汗出恶风，身热而渴，简易取白虎汤、竹叶石膏汤甚效，消暑丸并来复丹灌之；烦渴昏眩欲死，简易地余散；中喝面垢，冷汗，昏死，脉沉伏，简易大黄龙丸、来复丹灌之，用熨脐法；暑风作痼，灌以苏合香丸，并服黄连香薷散加羌活。通见后。夹食胃苓汤。

伤暑

热伤气，暑伤心，伤暑乃夏至前后各三

十日，人伤之则发热，自汗头痛，往来寒热如疟，烦渴眩晕，呕吐泄泻，昏闷不清，倦怠少气。以热能消气^②消血散，故脉浮而虚。经云：寒则诸毛孔闭，闭则热而闷，热则毛孔开，开则洒然寒。此伤寒有热闷，伤暑有恶寒之证，不同以此。且夏间即病，非经所谓冬伤寒夏发热也。尤以背寒、面垢、齿燥而渴为异，惟当通心气，利小便也。

消暑除烦渴，简易缩脾饮。老弱人加附子，又集人参灌热散。

身热头痛，局方五苓散、三白散。

脉浮虚，渴泻，小便赤少，兼胃热，御院益黄散。

引饮，腹胀泻利，小便少，御院甘露饮、桂苓丸。呕渴烦眩，局方枇杷叶散。

脉沉滑，痰饮呕渴，局方消暑丸、小半夏茯苓汤。

脉虚迟，引饮，脾胃受湿，霍乱吐泻，局方六和汤、大顺散、百一选十味香薷汤。

脉沉滑，体虚烦躁引饮，服凉药不得，济生冷香饮子。伤生冷百一选冷香汤。

脉沉虚，下虚里寒，外热泄泻如水，局方来复丹。

中脘痞结，伤冷呕泄，济生二气丹。身热头疼如脾寒，百一选大黄龙丸。

脉沉细，气虚伤冷，外热里寒，身痛自利，吐泻不渴，如阴证四逆，附子汤、附子理中汤。

① 永类铃方：此下部分原文系表格，为了便于阅读，依本书体例，特改为文字。

② 气：三因极一病证方论伤暑叙论有“以暑消气，气消血散”句，据此，此下疑有“气”字。

经验良方

中暑

活人书问云：中暑即背寒面垢，其面如涂油。类纂云：面垢者，阳证也。一多面尘，若尘埃之著面，手足微冷，烦渴口燥，但觉倦怠，四肢却不痛重，其脉微弱，按之无力，白虎汤主之。痰逆恶寒者，橘皮汤主之；不

恶寒者，竹叶汤主之；头疼恶心，烦躁，心下不快者，五苓散最妙。又问中暑何故洒洒然毛耸恶寒？答曰：经云四时八风之中人也，因有寒暑，寒则皮肤急，腠理闭；暑则皮肤缓，腠理开，开则洒然寒，闭则热而闷，近人多不明中暑，或作热病，治法之复用温热药，必致发黄斑出，更为畜血，尤宜戒之。

玉机微义

诸经叙暑热脉证

内经曰：夏至日后病热为暑^①，暑当与汗皆出勿止。因于暑，汗，烦则喘渴，静则多言，体若燔炭，汗出而散。脉虚身热，得之伤暑。

难经曰：伤暑得之为正邪火自病也。当恶臭，其病身热而烦，心痛，其脉浮大而散。

伤寒论曰：太阳中热者，喝是也。其人汗出恶寒，身热而渴也。太阳中喝者，身热疼重，而脉微弱。此亦夏月伤冷水，水行皮中所致也。太阳中喝者，发热寒^②寒，身重而疼痛，其脉弦细芤迟，小便已，洒洒然毛耸，手足逆冷，小有劳，身即热，口开板齿燥，若发汗，则恶寒甚，加温针，则发热甚，数下之，则淋甚。

谨按：许学士云伤暑其脉弦细芤迟，何也？内经曰寒伤形，热伤气。盖伤气而不伤形，则气消而脉虚弱，所谓弦细芤迟，皆虚脉也。仲景以弦为阴，而朱肱亦曰中暑脉细弱，则皆虚脉也，可知矣。

论中暑中热受病不同

洁古曰：静而得之为中暑，动而得之为中热。中暑者阴证，中热者阳证。

东垣曰：暑热之时，无病之人，或避暑

热，纳凉于深堂大厦，得之者，名曰中暑。其病必头痛恶寒，身形拘急，肢节疼痛，而烦心，肌肤火热，无汗，为房室之阴寒所遏，使周身阳气不得伸越，多以大顺散热药主之是也。若行人或农夫，于日中劳役得之者，名曰中热，其病必苦头痛，发躁热恶热，扪之肌肤大热，必大渴引饮，汗大泄，无气以动，乃为天热外伤肺气，苍术白虎汤凉剂主之。

按：此论中暑，即仲景所谓喝是也。此只作暑热分之，可见有阴阳二证，受病不同。然夏月受病，有阴寒所遏，使周身阳气，不得伸越，以大顺散主之者，为中暑。盖当暑月名之，犹冬月发热为伤寒也。但中热治例，虽云用苍术白虎汤，而又处清暑益气之法，况大顺散一方，是仲景太阳例药，然东垣施用，谅不如此，必有若益气汤证例发挥晬晬者，惜乎无传，故使后人不能无疑也。详后所论，矧中暑证，亦有于劳役动而得者，中热亦有于避暑静而得之。大抵因人元气虚实不同，故所受亦异，为治岂得而无变法哉！

论暑伤五脏为证不同

陈无择曰：暑热喜归心，心中之使人噎

^① 夏至日后病热为暑：玉机微义作“先夏至日为病温，后夏至日为病暑”。

^② 寒：玉机微义作“恶”。

闷，昏不知人。入肝则眩晕顽痹。入脾则昏睡不觉。入肺则喘满痿躄。入肾则消渴。凡中此下^①，治之切不得用冷，唯宜温养，得冷则死。道途中无汤，即以热土熨脐中，仍使更溺，概可见矣。凡觉中暑，急嚼生姜一大块，水送下。如已迷闷，嚼大蒜一大瓣，水送下。如不能嚼，水研灌之立醒。

谨按：暑喝之证，变异不等，亦岂止归五脏也。冷热当凭脉证用之。盖人之形气有虚实，所感有轻重，轻则后时而发，至秋成疟痢是也；重则即时发者，如已上之证。至有轻变重，重变轻，亦自感有浅深，传有兼并尔。况人之形志苦乐不一，岂得无变异乎？大抵四时之证皆然。

论暑热伤气为痿厥诸证

东垣曰：夫脾胃虚弱，必上焦之气不足，遇夏天热盛，损伤元气，怠惰嗜卧，四肢不收，精神不足，两脚痿软，遇早晚寒厥，日高之后，阳气将旺，复热如火，乃阴阳气血，俱不足也。或四肢困倦，精神短少，懒于动作，胸满气促，肢节沉疼，或气高而喘，身热而烦，心下膨痞，小便黄而少，大便不^②而频，或利出黄糜，或如泔色，或渴或不渴，不思饮食，自汗体重，或汗少者，血先病而气不病也。其脉中得洪缓，若湿气相搏，必加之以迟。迟，病虽互换少差，其天暑湿令则一也。宜以清燥之剂治之。或有所远行劳倦，逢大热而渴，渴则阳气内伐，内伐则热舍于肾。肾者水脏也，今水不能胜火，则骨枯髓虚，足不任身，发为骨痿者，生于火热也。此湿热作痿，令人骨乏无力。或热厥而阴虚，或寒厥而气虚。厥者，四肢如在火中，为热厥，四肢寒冷者，为寒厥。寒厥则腹中有寒，热厥则腹中有热，为脾主四肢故也。

按：此论暑热证候，即同冬月伤寒传变，为证之不一也。彼为寒邪伤形，此则暑热伤气。若真气元气虚甚受病，忽一^③于一时不救者，与伤寒阴毒顷刻害人实同。故东垣启

是病例，大开后人之盲瞶矣。学者当审究其机宜，与痿门兼天^④。

论暑为疟痢

详见诸疟门、诸痢门。

论暑为吐泻霍乱

详见^⑤

论中暑宜补真气

东垣曰：夫脾胃虚弱，遇六七月间，河涨霖雨，诸物皆润，人汗沾衣，身重短气，甚则四肢痿软，行步不正，脚歇眼黑，此肾水与膀胱俱竭之状也，当急救之。滋肺气以补水之上源，又使庚大肠不受邪热，不令汗大泄也。汗泄甚，则止^⑥津液，七神无所依。津液相成，神乃自生。津者，庚大肠所主，三伏之义，庚金受囚，木无可制，故风湿相搏，骨节烦疼，一身尽痛，亢则害，承乃制是也。五月常服五味子，是泻丙火，补庚大肠，益五脏之元气。壬膀胱之寒已绝于巳，癸肾水已绝于午，今更逢湿旺助热为邪，西方、北方之寒清绝矣。圣人立法，夏月宜补者，补天元真气，非补热火也，今人夏食寒是也。为热伤元气，以人参、麦门冬、五味子生脉，脉者，元气也。

谨按：王太仆曰：苍天布气，尚不越于五行，人在气中，岂不应乎天道。然为医者，不审阴阳消长，升降浮沉之理，将何所据焉。故丹溪先生有夏月伏阴在内论，深明东垣未悉之旨。因附于左，宜参考焉。

丹溪曰：天地以一元之气，化生万物。根于中者，曰神机；根于外者，曰气立，万物天地，同此一气，人灵于物，形肖天地，参而为三者，以其得气之正而通之。故天地之气升，人之气亦升。天地之气浮，人之气

① 此下：三因极一病证方论作“喝死”。

② 不：玉机微义作“濡”。

③ 一：玉机微义作“有”。

④ 天：玉机微义作“看”。

⑤ 见：按文义此下应有“吐泻霍乱门”五字。

⑥ 止：玉机微义作“亡”。

亦浮。降亦降，沉亦沉，人与天地同一橐籥也。子月一阳生，寅月三阳生，此气之升也。巳月六阳生，阳尽出于地之上矣，此气之浮也。人之腹属地，气于此时浮于肌表，散于皮毛，腹中之阳虚矣。经曰：夏月经满气溢入经络，受血皮肤充实。长夏经络皆盛，内溢肌中。又曰夏气在经络，长夏气在肌肉。所以表实者，里必虚。世言夏月伏阴在内，此阴字有虚之义，若作阴冷看，其误甚矣。或曰以手扪腹，明知其冷，而何前人治暑病，有用王龙丹、大顺散、桂苓玉^①单煮良姜与缩脾饮用草果等，皆行温热之剂，何吾子不思之甚也。予曰：经言春夏养阳，王太仆谓春食凉，夏食寒，所以养阳也。其意可见矣。若夫凉台水馆，大扇风车，阴木寒泉，水果冰雪，寒凉之伤，自内及外，不用温热，病何由安，详玩其意，实非为内伏阴冷而用之也。前哲又谓升降浮沉，则顺之；寒热温凉则逆之。若谓夏月火令之时，妄投温热，宁免实实虚虚之患乎。或曰巳月纯阳，于理或通，五月一阴，六月二阴，阴气既动，岂无阴冷。曰此阴之初，动于地下也。四阳浮于地上，燔灼焚炎，流金烁石，何冷之有。孙真人生脉散，令人夏月服之，非虚而何。

论暑火证治大法

贾元良曰：暑者相火行令也。夏月人感之，自口齿而入，伤心包络之经。其脉虚，

外证头疼，口乾面垢，自汗，倦怠少气，或背寒恶热，气甚者迷闷不省，而为霍乱吐利，痰滞呕逆，腹痛泻利下血，发黄生斑，皆是其证。甚者，火热制金，不能平木，搐搦不省人事，其脉虚浮。一曰浮者风也，虚者暑也，俗名暑风证者，皆是相火甚而行令也。先以温水化苏合香丸，次进黄连香薷饮加羌活，只用双解加香薷尤良。大抵治暑之法，清心利小便甚好，若自汗甚者，不可利小便，宜白虎汤清解之，次分表里治之，如在表，头疼恶寒，双解散加香薷，及二香散、十味香薷散之类解之。如在半表半里，泄泻烦渴，饮水吐逆，五苓散治之，热甚烦渴者，益元散清之。若表解里热甚，宜半夏解毒汤下神芎丸，酒蒸黄连丸等。或人平生素弱，及老人冒暑，脉微下利，渴而喜温，或厥冷不省人事，宜竹叶石膏汤加熟附半箇，冷饮，次以来复丹、五苓散治之。凡夏月暑证不可服诸热燥剂，致斑毒发黄，小水不通，闷乱而死矣。

按：此言治暑之法，可谓详备。然云暑风相火为病，而先用苏合香丸，至用双解，皆当审谛脉证施治，不可少有差失。详苏合香但可用于阴寒所遏，或内伤生冷太过，及气中或中恶者，此等又不可谓之暑风相火之证矣。盖暑证有阴阳，二者不同，治法寒热霄壤之隔，学者慎之。

金匱方

太阳中喝，发热恶寒，身重而疼痛，其脉弦细扎迟，小便已，洒洒然毛耸，手足逆冷，小有劳，身即热，口前开，板齿燥。若发其汗，则其恶寒甚，加温针，则发热甚，数下之，则淋甚。太阳中热者，喝者^②也。汗出恶寒，身热而渴，白虎加人参汤主之。

白虎加人参汤方：

知母 六两 石膏 一斤，碎 甘草 二两 粳米 六

合 人参 三两

右五味，以水一斗，煮米熟汤成，去滓，温服一升，日三服。

太阳中喝，身热疼重，而脉微弱，此以夏月伤冷水，水行皮中所致也。一物瓜蒂汤主之。

① 玉：玉机微义作“丸”。

② 者：金匱要略方论作“是”。

一物瓜蒂汤方：

瓜蒂 二七^①箇

右銼，以水一升，煮取五合，去滓，顿服。

凡中喝死，不可使得冷，得冷便死。疗之方：屈草带，绕喝人脐，使三两人溺其中，

令温。山居四要同。亦可用热泥和屈草，亦可扣瓦碗底按及车缸以著喝人，取令溺，须得流去，此谓道路穷卒无汤，当令溺其中，欲使多人溺，取令温，若汤便可与之，不可泥及车缸，恐此物冷，喝既在夏月，得热泥土，暖车缸，亦可用也。

千金方

治热喝方：

取道上热尘土，以塞心上，少冷即易，气通止。

又方：令喝人仰卧，以热土塞脐上，令人尿之，脐中温即愈。备预百要方同。

又方：可饮热汤，亦可内少乾姜、圣惠方无。橘皮、甘草煮饮之，稍稍咽，勿顿使饱，但以热土及熬灰土，塞脐上佳。

又方：浓煮蓼，取汁三升，饮之即愈。

圣惠方一大盏，分二服，饮之愈。不瘥，更灌。圣济总录：生蓼不拘多少，用水浓煮，绞汁一二盏，灌之。卫生易简方：治夏日喝死，用水蓼浓煮汁三升灌之。寿域神方同。备预百要方热喝死，浓煮蓼汁，令饮。

又方：张死人口令通，以暖汤徐徐灌

口中，小举死人头，令汤入腹，须臾即苏。琐碎录：中暑伏热于道途者，切不宜以冷水沃之。先以汤半盏饮之佳。圣济总录治中热喝不省方：右以物斡开口，暖汤徐徐灌之，仍少举其头，令汤入腹，备预百要方同。即苏。

又方：使人嘘其心令暖，易人为之。

又方：抱狗子若鸡，着心上熨之。

又方：屋上南畔瓦热熨心，冷易之。

又方：灌地浆一盏即愈。圣惠方同。

又方：地黄汁一盏服之。圣惠方同。圣济总录治热喝欲死闷乱方：生地黄洗捣取汁一盏，旋旋灌之。备预百要方热喝死，生地黄汁令愈。

又方：水半升，和面一大抄服之。

海上仙方

暑月伤寒

三伏路中人伤热，急取车轮土五钱，盏内澄清服尽了，身轻体健走如烟。

圣惠方

治热喝诸方

夫夏月炎热，人冒涉途路，热毒入内，与五脏相并，客邪炽盛，郁瘀不宣，致阴气卒绝，阳气暴壅，经络不通，故奄然闷绝，谓之喝。然此乃外邪所击，真藏未坏，若便遇救疗，气宣则苏也。夫热喝不得太冷，将

息得冷即困，此谓外卒以冷触其热，热毒蕴积于内，不得宣发，故闷绝而死也。

治热喝心闷方：

右取面一两，以温水一中盏，搅和服之。圣济总录治中暑毒热喝不省方：白面不拘多少，右一味，用热汤调二钱匕，灌之。

① 七：金匱要略方论作“十”。

又方：

黄连 半两，去须

右以水一大盏，煎至五分，去滓，温服之。

和剂局方

中暑

大顺散：治冒暑伏热，引饮过多，脾胃受湿，水谷不分，清浊相干，阴阳气逆，霍乱呕吐，脏腑不调。

甘草 三十斤，锉寸长 卫生宝鉴三斤 乾姜 杏仁 去皮尖 一本及诸方妙 肉桂 去粗皮。各四斤 一本炙

右先将甘草用白砂炒及八分黄熟，次入乾姜同炒，令姜裂，次入杏仁又同炒，候杏仁不作声为度，用筛隔净后，入桂一处捣罗为散，每服二钱。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、玉机微义三钱。水一中盏，煎七分，去滓，温服。如烦躁，并花水调下，不拘时，沸汤点①亦得 宝鉴：右为末，每服三钱，白汤调下，不拘时服。

香薷圆：治大人小儿伤暑伏热，躁渴瞤闷，头目昏眩，胸膈烦满，呕哕恶心，口苦舌乾，肢体困倦，不思饮食，或发霍乱，吐利转筋，并宜服之。

乾木瓜 紫苏 去粗梗 香薷 去土。各一两 一本及袖珍方各十两，得效方去梗 白茯苓 去木 得效方白茯苓去皮 藿香叶 去土 檀香 桂 甘草 锉炙 丁香 各半两

右为细末，炼蜜和匀圆，每一两作三十圆，三四方、得效方蜜圆弹子大。每服一圆至二圆，细嚼，温汤下，或新汲水化下，小儿半圆，不拘时。袖珍方右为细末，姜汁蜜丸桐子②，每服五十丸，水下。

枇杷叶散：治冒暑伏热，引饮过多，脾胃伤冷，饮食不化，胸膈痞闷，呕哕恶心，头目昏眩，口乾烦渴，肢体困倦，全不思食，或阴阳不和，致成霍乱，吐利转筋，烦躁引饮。

麦门冬 汤洗，去心 白茅根 木瓜 甘草 炙。

各一两 枇杷叶 去毛净炙 陈橘皮 去白 丁香 各半两 卫生宝鉴、南北经验方一两，经验良方二钱半 香薷 三分 得效方三两，良方七钱半 厚朴 去粗皮，姜汁炙，四两 增注和剂半斤，得效方、宝鉴、医方大成、集成、经验方、袖珍方、永类铃方半两

右为细末，每服二钱，水一盏，生姜二片，煎七分，去滓，温服。温水调亦得，如烦躁用新汲水调下，不拘时。小儿三岁已下，可服半钱，更量大小加减。得效方右锉散，每服五钱，水一盏半，生姜三片，煎服。烦躁，沉冷服。如脾虚感暑，呕吐不食，以此药煎，去滓 吞消暑圆六十粒，立效。体本虚，呕吐昏倦，手足冷，除茅根、麦门冬，加附子炮用。

桂苓圆：大解暑毒。

肉桂 去粗皮，不见火 茯苓 去皮。各等分

右为细末，炼蜜为丸，每两作八丸，每服一丸，用新汲水或熟水嚼下，化下亦得。医方大成治冒暑烦渴，饮水过多，心腹胀满，小便赤少。肉桂 去皮 赤茯苓 去皮。各五两 玉机微义一两 右为末，蜜圆，每两作十圆，每服一圆，细嚼，白汤冷水任下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方，卫生易简方同。

解暑三百③散：治冒暑伏热，引饮过多，阴阳气逆，霍乱呕吐，小便不利，脏腑不调，恶心头晕，并皆治之。

白茯苓 白术 泽泻 各等分

右咬咀，每服半两重，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、卫生易简方四钱。水一盏，姜五片，灯心十茎，煎八分，去滓服，不拘时。

① 点：太平惠民和剂局方此下有“服”字。

② 子：袖珍方此下有“大”字。

③ 百：太平惠民和剂局方作“白”。

消暑圆：玉机微义名消毒丸。治伤暑，发热头热。

半夏 醋五升煮乾 茯苓 去皮经验秘方白茯苓 甘草 生用。各半斤

右为细末，以生姜汁作薄糊为圆，如梧桐子大，每服五拾粒，水下。秘方熟水送下，不拘时候。易简方治疗之法见和剂局方半夏一斤，醋五升煮 茯苓 半斤 甘草 四两，生用，一方不用右为末，以生姜汁打面糊为圆，如梧桐子大，每服五七十圆，熟水下。此药合时须用好醋煎煮半夏，姜汁打糊，勿杂生水，臻志修合，用之极效。中暑为患，药下即苏，伤暑发热，头疼，简易方此下有恶心二字。用之尤验。夏间常服，止渴利便，虽多饮水，亦不为害，应是暑乐^①皆不及之。脾虚感暑，呕吐不食，宜以局方枇杷叶散作生料煎煮，吞下六七十圆，立效。暑中食生冷等物过多，或胸膈痞塞，呕吐清水，或乾呕者，宜以生姜汤调小乌沉汤，吞下即差。若痰饮停节^②，或饮食所伤，简易方、得效方或饮食所伤，作中脘不快，头眩喜呕。并用姜汤下。简易方、秘方入夏之后，不可阙此。江湖间有消暑圆，用醋煮半夏，酒煮黄连，各半斤，枳壳净炒，茯苓各四两 右为末，醋煮糊为圆，每服五十圆，任意吞下，冒暑多渴，脏腑不调者，服之多验。简易方大治暑毒，烦躁闷乱欲死。又名消毒圆，得效方治中暑烦渴，晕眩寒热，烦躁闷乱，或似欲绝者，正名生料消暑圆。茯苓 半斤 甘草 半斤，生 半夏 一斤，醋醋五升煮乾 潘豪方锉成两边，甚小者，不必锉，醋五升煮乾 右末姜汁煮糊圆，如梧桐子大，每百圆，熟水咽下。得效方每服三十圆，新汲水下。缩砂仁麦门冬汤下尤佳。云云，与易简方同。直指方治伤暑，伏热生痰，以致头痛，中痞。半夏 半斤，洗净，醋二升半，煮乾别碾 茯苓 甘草 生。各四两 右末之，用醋并姜汁调，半夏煮糊，圆桐子大，每服七十圆，熟水下，暑药皆可下。医方大成治伏暑引饮，脾胃不利半夏 醋煮一斤 甘草 生用 茯苓 去皮。各半斤 右为末，姜汁煮糊为圆，如梧桐子，每服五十圆，热汤下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、卫生易简

方同。

缩脾饮：解伏热，除烦渴，消暑毒，简易方此下云饮食生冷过多，致霍乱吐泻者。止吐利；霍乱之后，服热药太多，致烦躁者，并宜服之。

白扁豆 去皮，炒 乾葛 锉。各二两 草果 煨，去皮 乌梅肉 一本净 卫生宝鉴、南北经验方、袖珍方二两 缩砂仁 宝鉴、经验方、袖珍方二两 甘草 各四两 一本炙，永类铃方云，一方加生姜，去甘草

右咬咀，每服四钱，水一大碗，煎八分，去滓，以水沉冷服 医方大成、集成、玉机微义同。以解烦，或欲热欲温任意服，代熟水饮之极妙。宝鉴右咬咀，每服五钱，水二盏，煎至一盏，不拘时，任意代熟水饮之极妙。简易方又云：高年人加附子二两，煎如前法，暑月以此代熟水饮之极妙，名增损缩脾饮。一方用草果仁 粉草 各二两 乌梅肉 炒乾，四两 乾姜 炮，一两 咬咀，煎澄清汁服，治脾弱胃寒，不思饮食，口舌乾燥，不生津液，功效如神，亦名缩脾饮子。得效方治伏暑热烦渴燥闷，乾呕霍乱 草果 去皮 缩砂 去壳 乌梅 去核。各乙两 乾葛 白扁豆 生姜 切片，日乾。各五钱 重 右锉散，每服五钱，水一盏，煎至八分，浸冷服，或欲温欲热亦可斟酌。伤暑发热，头目痛，用以吞消暑圆。潘豪方同。

黄龙圆：得效方名小黄龙元。治丈夫妇人伏暑，发热作渴，呕吐恶心，及年深暑毒不差者。

黄连 去须，三十二两 得效方一斤，卫生易简方一升 好酒 五升 得效方二升半，易简方三升

右黄连以酒煮乾为度，研为细末，用面水煮糊，搜和为圆，如梧桐子大，每服三十圆，熟水吞下。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。又疗伤酒过多，藏毒下血，大便秘泻，用米饮吞下，食前进，一日两服。简易方同。简易方又云：若盛夏于道途间，为暑气所中，闷倒不省人事者，急扶在阴凉之处，切不可与冷水，当以布巾衣物等，蘸热

① 乐：太平惠民和剂局方作“药”。

② 节：太平惠民和剂局方作“积”。

汤，熨脐下及丹田气海，续以汤淋布上，令彻脐腹温，温即渐苏醒，若商贾及庸雇之人，仓卒无汤，掘路中热土于脐上，仍拨开作窍，令人更尿其中，更以大蒜烂研，以水调灌下。一用道中热土，与大蒜等分，烂研，冷水调服，仍以大蒜少许，置鼻中气透即苏。易简方此下有续与白虎汤、竹叶石膏汤之类十二字。凡觉中暑，急嚼生姜，冷水一大碗咽下。暑气中人，谨不可搦以冷水，不宜单用冷水灌之。来复丹、消暑圆皆可用也。中暑证面垢，六脉沉伏，冷汗自出，昏不知人，先以汤巾如前法熨脐腹，次以来复丹为末，冷水调灌之。仍用白虎汤、用石膏四两，知母一两半，甘草七钱半，煎法如竹叶汤，见温胆汤。竹叶石膏汤服之。此一定之法，不可改易。多有病家无主，病人亲故问疾，各立一说，各传一方，皆谓屡经作效。来者既众，议论纷然，不知孰是，犹豫之间，遂致困笃，莫若参以外证，确意服药，无信浮言，以贻

后悔。得效方又云：酒及热物过度吐血，茅花汤下。

冰黄散：三因方、得效方名却暑散。治冒暑伏热，头目昏晕，呕吐泻痢，口乾烦渴，背寒面垢。

生姜 切碎，搜面日乾 寒食面各一斤 澹寮方飞罗面亦可，以生姜同捣烂，拌作饼子，晒令十分乾燥，又同前二味碾赤茯苓 去皮 甘草 生用。各四两

右为细末，每服二钱，新汲水或冷熟水调下，三因方或汤点服。不拘时候。澹寮方

又云：盛暑中，因热作泻血、衄血、便血、及渴燥，皆可服，非新汲水，即茅花煎汤下。

水浸丹：治伏暑伤冷，冷热不调，霍乱吐利，口乾烦渴。

巴豆 大者二十五枚，去皮膜，研细，取尽油如粉 黄丹 炒，研罗过，取一两一分

右同研匀，用黄蜡熔作汁，别为圆，如梧桐子大，每服五圆，以水浸少顷，别以新汲水吞下，不拘时候。

大 全 本 草

别说云：蜡霜治暑月汗渍，腋下赤肿，及痈疮，以和蚌粉傅之立差，瓦木上以鸡毛羽扫取，收瓷瓶中，时久不坏。

食疗云：夏月热，烦闷不止，捣小蓟

叶，取汁半升，服之立差。

图经曰：俗间虎杖根以甘草同煎为饮，色如琥珀可爱，瓶盛，置井中令冷彻如冰，极解暑毒，其汁染米，作糜糕益美。

三 因 方

中 暑 治 法

大黄龙圆：治中暑，眩晕，昏不知人，或身热，恶寒，头痛，状如伤寒，或往来寒热，烦躁，渴甚，呕吐，泄泻。常服去暑毒，分利阴阳。

硫黄 消石 各一两 雄黄 通明者 滑石 白矾 各半两 澹寮方枯过 寒食面 四两 直指方飞罗白面

右为末，滴水为丸，如梧子大，每服五丸至七丸，渐加至二十丸，直指方每服十五圆至二十圆。新汲水下。昏塞不知人，则以水化开灌

之。中暑忌得冷，此药却似^①得效方作以冷水下之，乃热因寒用，疑者释之。澹寮方又云：中暑忌冷水，此药用硫黄，故欲热因寒用也。一方用硫黄 硝石 晋矾 滑石 各一两 白面 六两 滴水丸，新汲水吞下五十粒，名玉壶丸，治状与此方同。卢祖常纠缪谓：有李昭文患渴疾，卢诊之曰：莫暑月得疾否？李曰：然。卢煎参汤，候极冷，咽下玉壶丸，遂愈，即此药也。是斋医方治中暑身热，头疼，状如脾寒，或半热半寒，或寒热往来，

^① 似：三因极一病证方论作“以”。

或烦渴呕泄，昏闷不省，或不能饮食。此方曾合治暑甚妙。尝有中喝，已昏欲死者灌之立苏。李子英舶上硫黄 硝石 各一两 白矾 半两 直指方枯 雄黄半两 滑石半两 白面四两，飞罗者右五味，研为极细末，入面在内，滴水为丸，如梧桐子大，每服十丸至二三十丸，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方每服三十九。新汲水下，小儿黍米大，^①管见大全良此下云：量大小加减与服。如无硝石，以盆硝代之。简易方同。

伤暑证治

病者身热，恶寒，头痛，状如伤寒，或往来寒热如疟，烦躁渴甚，眩晕呕吐，背寒面垢，泄泻，昏闷不清，其脉阴阳俱虚缓而微弱，皆由伤暑之所致也。

五苓散：治伤暑烦渴，引饮无度，兼治伤寒温热，表里未解。简易方此下有头痛、发热、□燥、咽乾八字。烦渴引水，水入即吐，或小便不利，及汗出表解，烦渴不止，又治霍乱吐利，黄疸湿疫。玉机微义治暑湿为病，发热头疼，烦躁而渴。

泽泻二两半 简易方五两 桂心一两 简易方肉桂二两 猪苓 去皮 赤茯苓 诸方去皮 白术 各一两半 简易方各三两

右为末，每服二钱，^{微义三二钱}沸汤下，不以时服，讫，多饮热汤，汗出即愈。得效方同。得效方又云：温热病加甘草一两，炙，瘀热在里，身发黄疸，浓煎茵陈汤，食前服；疸病发渴，及中暑引饮，白水调服；小儿加白术末少许；发虚热，每料绵黄芪、人参、麦门冬去心各一两；简易方发虚热加绵黄耆、人参末少许服。分阴阳，退寒热，山茵陈、车前草，每服各二根；止泻加紫苏、陈米各少许，姜汁半匕；久痢加肉豆蔻伍钱，每服盐梅一枚；赤痢乌梅一枚，粟壳二枚去蒂赤膜醋炒；白痢粟壳二枚，制同上，粟米一撮；腹痛南木香半钱；渴乌梅一箇，枇杷叶二皮去白毛，糯米一撮；伏暑鼻衄，白茅花一握；小便血以生料者，每服加梔子三个，车前子一撮；烦

热心神恍惚，朱砂一字，灯心二十茎，麦门冬二十粒去心，淡竹叶十皮，车前草二根；伤暑吐血，白茅花一握；热泻车前子一撮，麦门冬二十粒去心；暑湿泻紫苏五叶，木瓜三片，车前子一撮；伤暑头痛，浓煎葱白汤；大便水泻，小便不利，加真车前子末少许。又方治燥渴，去桂心，加入参谓之春泽汤。湿泻身痛，加苍术少许。秋多淫雨，人患湿疫，在冬时服之效。澹寮方治中暑头疼，身热烦躁，发渴，仍治伤寒瘀热在里，中湿，小便不利等证。木猪苓 去皮 赤茯苓 去皮 白术 去芦，炒。各一两半 泽泻 二两 肉桂 去粗皮，一两 右为细末，每服三钱，夏月背寒头痛，发热无汗，小便涩，浓煎葱白汤调，乘热服，冲令额上有汗为效。或只用百沸汤调，热服，及续啜热汤，冲令汗出。或冒暑极热之际，新汲水调亦可。大便水泻，小便不利，加车前子末煎服，不宜过多；瘀热在里，身发黄疸，浓煎茵陈汤调。一方加辰砂末，尤治瘀热心烦。医说载：毛崇甫因母病，孝敬感于北辰，梦授此药，但五苓散用桂，小柴胡用人参，正气用厚朴，备急圆用乾姜之类，欲其刚柔相济，亦存攻守之意。故方书谓五苓散无桂及隔年者，俱不可用。近日铺家有去桂五苓散，不知者为其所误，若去桂而入参，却谓之春泽汤，治躁渴有效。彭宅秘传良方又谓：五苓散可用生姜汁为圆，鸡头大，如煎五苓散法，煎服，道涂间，亦可乾嚼，用冷水咽，皆妙药也。医方大成治中暑烦渴，身热头痛，霍乱吐泻，小便赤少。^{卫生宝鉴}此下有或饮水即吐，亦宜服之九字。如心神恍惚，加辰砂，又名辰砂五苓散：泽泻 二十五两 白术 去芦，十五两 猪苓 去皮，十五两 肉桂 去粗皮，十两 赤茯苓 去皮，十五两 右为细末，每服二钱，热汤调下，不拘时。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。铃方又云：一方作末子，浊入胃，哎咀，清入脾。

桂苓圆：治烦渴、消痰饮、宽胸膈。

桂心 白术 各二两 赤茯苓 三两 乌梅肉 两

^① 良：按文义此下应有“方”字。

半 干生姜一两 甘草炙，半两

右为末蜜丸，弹子大，每一丸至二丸，嚼细，熟水下。

消毒圆：治中暑烦渴，晕眩寒热。

半夏一斤，七次汤去滑，米醋煮令透 茯苓 甘草

生。各半斤

右为末，蜜丸，梧子大，每服三十圆，新汲水不以时服。

助道方

治中暑方

暑中妙剂孰为宜，官局方中有缩脾，甘草干姜加草果，乌梅煎冷又何疑。

切详暑月之际，天气炎隆，暑邪侵犯，

宜用局方缩脾饮三贴，加干姜三块，如小钱大，灰火炮，甘草三寸，微炙，水两碗，生姜二十片同煎，取一大碗，去滓，分为五六次，随意冷热服，果有奇效。

是斋医方

中暑

治中暑不拘老少皆可服。朱子新传：不蚰皂角，不计多少，刮去黑皮，烧烟欲尽，用盆合于地上，周围用土遮缝，勿令透烟，每一两皂角灰，用甘草末六钱，每服一钱，新汲水调下。如气虚人，用温浆水调下；昏迷不省者，不过两服。吴内翰备急方：用皂角五斤，去皮弦，炙焦黑，存性，甘草五两。琐碎录治中暑：得效方名皂荚汤，治中暑不省人事。皂荚①□两烧灰，甘草一两，微炒，并为细末，每服二钱，温汤或新水调下，得效方、澹家方、永类铃方同。事林广记云：又方入白矾半两。神妙。又皂荚烧灰存性，为细末，每四两，入甘草一两，白矾半两，新汲水调下，名曰乌金散。

水瓢元：治冒暑毒，解烦渴。（中书何舍人希深方）：

乌梅肉四两 甘草二两 青盐二两 干木瓜一两 檀香一两 白茯苓一两 麝香二钱半，蜜炼过，随药加减使

右除麝香别研，余并为细末，炼蜜为丸，每两作三十丸，每服一丸，含化，或新汲水温水嚼下，不拘时候。

黄龙丸：

半夏半斤，酢醅一斗，浸三日，入银器中，慢火熬，醋尽取出，以新汲水洗，晒干 甘草一两

右二味为末，生姜自然汁和丸，如梧桐子大，食后新汲水下三十丸至五十丸。

冷香汤：治夏秋暑温，恣食生冷，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方此下有脾胃不利四字。遂成霍乱，阴阳相干，脐腹刺痛，胁肋胀满，烦躁，引饮无度。王元礼传。

良姜二两 檀香二两 附子二两，炮裂去皮脐 丁香二钱 川姜三分，炮 袖珍方炮，去皮 甘草二两，炒令赤 草豆蔻五个，去皮，面裹煨 诸方去壳

右为细末，每用药末五钱，水二升，煎十数沸，贮瓶内，沉井底，作熟水服，大能消暑止渴，服之永无霍乱疾。

十味香薷饮：治脾胃不和，乘冒暑气，心腹膨闷，饮食无味，呕哕恶心，五心潮热，力乏体倦，宜服之。常服消暑健脾，进饮食。傅公实方。玉机微义治伏暑，身体倦怠，神昏头重，吐利。

香薷叶一两 医方大成、集成、袖珍方、微义无叶字 人参去芦 陈皮温汤浸少时，去白 白术 白茯苓 黄耆去芦 厚朴去粗皮，锉碎，生姜自然汁拌和，炒至黑色 干木瓜 白扁豆炒，去壳 甘草炙，半两。已上各半两

① 荚：此下脱字，世医得效方作“一”。

右为粗末，每服三钱，水一盏，枣一枚，同煎至七分，去滓，不拘时候服。微义咬咀，水煎，每服一两。集成右为末，每服二钱，热汤冷水调下。南北经验方、永类铃方同。

龙须散：治冒暑伏热，心膈躁闷，饮水过度。

甘草一两半，炙 五倍子二两 飞罗面二两 白矾一两，枯 澹寮方生用 乌梅一两，去仁不去核

右五味并为细末，每服二大钱，新汲水调下。此方即吕显谟家濯热散。简易方同。澹寮方右五味为细末，每服二大钱，因暑，作利，作泻，发渴，并可加诃子肉，滴水为圆，谓之龙涎圆。仍以末子调饮吞下，霍乱作渴，心烦，衄血吐血，小便血，并用新汲水调下。得效方名濯热散。治伤暑迷闷，经验良方、袖珍方此下有不省人事四字。及泄泻霍乱，作渴，立效。亦能解诸袖珍方作暑。毒。白矾良方、袖珍方生，半两，研 五倍子诸方生 乌梅去核 诸方去仁，槌破，焙 甘草各乙两 良方、袖珍方一两半，炙 赤一方生用，一方生用 右为末，入飞罗面四两，拌匀，每服二钱，新汲水调下，虽平日不敢饮冷者，服之不妨，真有奇效。为圆良方此下有参政易名濯热散，滴水为圆十二字。如弹子大，阴干冷水调下诸方嚼下。亦可。

治中暑玉壶元：

舶上硫黄一两 焰硝一两 滑石一两 白矾各一两

右四味捣罗为细末，入上等白面六两，拌和令匀，用新汲水为丸，如梧桐子大，每服二十丸，新汲水吞下，如闷乱欲死者，以

水调灌之立苏，其效如神。

治暑喝逡巡闷绝不救者。石林避暑录云：亲治一御马之仆，立苏。且云：沉存中尝著其说。寿域神方：中暑热渴死。急救仙方、卫生易简方、备预百要方同。

道上热土 大蒜

右略等多少，烂研，冷水和，去滓脚，饮之即差。必用全书、之书同。又云：仍掘道上热土，覆脐腹妙。此方在徐州沛县城门上板书揭之，不知何人所施也。琐碎录盛暑中行，忽中暑，昏闷仆地，急取道上热土，水调服之，如有大蒜，用三两瓣，同研尤妙。事林广记同。经验良方凡中暑气，卒然昏倒在地，宜扶扛病人于阴凉处，急取大蒜一握，道路上日晒热土，杂研烂，以新水和之，滤去滓，决其齿灌之，药到腹即苏，神仙备急方。

水葫芦元：

川百药煎三两 人参三钱重 甘草 麦门冬 乌梅肉 白梅肉 干葛已上各半两

右为细末，面糊为元，如鸡头大，每服一元，含化，夏月出行一元，可度一日。

治中暑，昏迷不省人事，欲死者地榆散，并治血痢。华官使传。简易方、得效方泼火散：伤暑烦躁，发渴，口干，及治血痢，妇人热崩。

地榆 赤芍药 黄连去须 青皮去白

右等分为细末，每服三钱，浆水调下。

得效方每服一钱、冷水调下。如无，只以新汲水调亦得。血痢水一盏，煎至七分，去滓温服。

经验良方、澹寮方与得效方同。

琐 碎 录

中 暑

如中暑时，急以新水滴两乳即苏。山居四要中暑发昏，以新汲水滴两乳，寿域神方、卫生易简方滴入鼻孔。以扇搦之。重者，以地浆灌则省，与冷水饮则死。

飞罗面新水调下，不拘多少，治中暑。

圣济总录治中热喝方：

右用生面一匙，沸汤调及半碗，纸盖碗口，少时微热，呷之大效。

寒食日以纸袋盛面挂当风处，中暑调水服。

百药煎、腊茶为细末，乌梅肉为元，如鸡子事林广记作头。大，含化，治暑渴，名曰水瓢元。

小柴胡汤：治中暑发闷。

平胃散：用蒜元，夏月服之却暑。事林广记同。

煎香薷点茶，大治暑气。

简 易 方

暑 证

和剂方香薷散：治脏腑冷热不调，饮食不节，或食腥鲮生冷过度，起居不节，露卧湿地，当风取凉，而风冷之气归于三焦，传于脾胃，脾胃得冷，不能消化水谷，致令真邪相干，肠胃虚弱，饮食变乱于肠胃之间，便致吐利，心腹疼痛，霍乱气逆。有心痛而先吐者；腹痛而先利者；心腹痛而吐利俱发者；发热头痛，体疼而复吐利虚烦者；转筋拘急疼痛者；但呕而无物出者；四肢逆冷而脉欲绝者；烦闷昏塞而欲死者，此药悉能治之。医方大成治伏暑引饮，口燥咽干，或吐或泻，並皆治之。一方又加黄连四两，用姜汁同炒令黄色，名黄连香薷散。如有搐搦加羌活煎服。

香薷去土，四两 大成、必用全书、之书一斤，卫生易简方二钱 厚朴去皮，姜汁炙香 白扁豆各二两 大成、全书、之书微炒，各半斤。易简方各一钱

右咬咀，每服三钱，得效方五钱。水一盞，酒一分，大成少许。同煎至七分，去滓，水中沉冷，连进二服，不拘时候。医方集成、南北经验方、袖珍方、水类铃方与大成同。一方加黄连煎。必用全书又云：活人书方不用白扁豆，加黄连四两，锉碎，以生姜汁同研匀，炒令黄色，名曰黄连香薷散。此药功效甚速，不可尽述。

必用之书同。得效方又云：治中暑复伤风，搐搦不省人事者，宜先服苏合香圆，候其苏省，却以此药加黄连、羌活各一钱。暑湿肿满，香苏散合和，加生姜三片，木瓜二片，车前草二根。伏暑头疼，小便涩浊，加山茵陈、车前草各二根。霍乱吐利，加木瓜二片，藿香少许，生姜三片。伤暑腹痛，加陈大蓼

三寸，陈壁土一指头大，木瓜二片。脏腑有热便血，加黄连、厚枳壳、乌梅各一钱。小便血加瞿麦穗一钱，车前子一撮，灯心二十茎。感暑湿手足缠痛痹冷，合和香苏散，每服四钱，姜三片，木瓜二片，陈大蓼三寸煎服，留滓再加葱叶、橘叶、椒叶、陈大蓼各一握，水一斗，煮七分，先熏后洗立效。脚气作痛，行步艰辛，每料加入木瓜、羌活、炒苍术、枳壳去穰、陈皮、半夏、甘草各一两，成十味，每服加生姜三片，葱白二根。脾胃不和，呕逆恶心，冒暑，心腹胀满，去羌活，加藿香、乌梅各一钱。壮热大渴，肚皮热，或五心热，加灯心二十茎，麦门冬去心，白茅根各一钱，淡竹叶十皮，晚禾根净洗一握。四时感冒，呕泄，亦合和香苏散，每服四钱，加生姜五片，木瓜二片。诸热毒，小便赤浊，每服四钱，加车前子、黄连去须各一钱，则清利。以上皆温服。暑月烦躁，潮热甚，加茵陈、车前草各二茎，苦竹叶七皮，山梔子三枚，擘破。心胸烦躁，只依本方，宜清煎並冷服。暑月潮泻，亦加乌梅、车前子一钱，陈米一撮。暑月虚人腹痛呕泄，加丁香、白术、炮附子、木瓜各半钱，生姜五片，亦名六和汤。解暑和脾胃，加入参、陈皮、白术、白茯苓、黄耆、木瓜、甘草，每料各一两，亦名十味香薷散。伤暑单有头痛，正方加山茵陈，多服取效。以上並热服，常服消暑健脾，或为末炼蜜为膏，酒服亦妙。

陈大蓼须用家园种者，江边赤蓼则不用。卫生宝鉴黄连香薷汤：黄连四两 香薷一斤 白扁豆微炒、半斤 厚朴去皮，姜汁炙熟，半斤 右咬咀，每服五钱，水貳盞，入酒少许，煎至壹盞，沉冷，不拘时服。经验秘方香薷汤：治饮食不节，

冷物过多，硬物壅驻，食毕惊忧，喜怒，劳役，动气，致令脾胃不和，霍乱呕吐，胸膈满闷，心腹疼痛，及冒暑伏热，少进饮食，四时伤寒，并进三服即痊。如细末者，每服二钱，入盐少许，煎数沸，不拘时候。香薷^{半斤}厚朴^{扁豆各四两}右件，每服五钱，水一盞、酒半盞煎，冷服。玉机微义香薷饮：治一切暑热腹痛，霍乱吐利，烦心等证。香薷^{一斤}厚朴^制白扁豆^{各半斤}右咬咀，每服三四钱，水煎。黄连香薷饮：香薷^{一斤}厚朴^{制半斤}黄连^{四两}右咬咀，每二三钱，水煎。简奇方治中暑，昏迷不省人事。香薷^{半斤}厚朴^{扁豆各四两}右件，每服五钱，水一盞、酒半盞煎，冷服。

活人书香薷散：治阴阳不顺，清浊相

干，气射中焦，名为霍乱。由饱食腥醢，复啖乳酪，海陆百品，无所不食，多饮寒浆，眠卧冷席，风冷之气伤于脾胃，诸食结而不消，阴阳二气壅而不反，阳气欲降，阴气欲升，阴阳交错，变成吐利不已，百脉昏乱，荣卫俱虚，冷搏于筋，正宜服之。

香薷穗^{一两半}厚朴^{去皮}黄连^{各二两}，入生姜^{四两}，同研匀，炒紫色。

右粗散，每三钱，水一盞，酒半盞，银石器内，慢火同煎至七分，去滓，用新汲水频频浸换，令极冷，顿服之，冷则效速也。非时吐利，霍乱，腹中撮痛，大渴烦躁，四肢逆冷，冷汗自出，两脚转筋，疼痛不可忍者，须井水浸令极冷，顿服乃效。

直指方

中暑证治

五物香薷汤：驱暑和中通用。

香薷^{三两}白扁豆^{姜制}厚朴^制白茯苓^{各一两半}甘草^{炙，一两}

右锉，每服三钱，水煎温服。袖珍方右咬咀，水二盞，煎至一盞，去滓，温服。无白茯苓、甘草，加黄连，名黄连香薷散。

香薷缩脾饮：驱暑和中，除烦止渴。

缩砂仁^{二两}草果仁^{乌梅肉}香薷^{甘草炒。各两半}白扁豆^{姜制}白干葛^{各一两}

右锉，每服三钱，姜五厚片，水煎，微温服。袖珍方云：本方加香薷^{四两}生姜^{五片}每服一两，水二盞，煎至一盞，去滓，温冷服之。

香薷锉散：解暑毒，止霍乱。

香薷^{二两}厚朴^{制，一两}茯苓^{陈皮}甘草^{炙。各半两}良姜^{三钱}

右锉细，每服二钱半，盐一捻，水煎服。

五苓散^①：治伤暑烦渴，引饮过多，

小便赤涩，心下水气。方见水肿门。

小柴胡汤^②：治伤暑，外热内渴，方见血病门。于内更加生姜为妙。得效方治伤暑外热内渴，于内更加生姜三片，乌梅一箇，麦门冬三十粒去心，煎服，不拘时候。方见伤寒门^③。

竹叶石膏汤：治伏暑内外热炽，烦躁大渴。得效方、袖珍方同。方见伤寒门^④。玉机微义治暑热发渴，脉虚。

石膏^{半斤}微义^{一两}半夏^{汤洗七次，切，焙。一两二钱半}微义^{二钱半}麦门冬^{去心，二两七钱半}微义^{半两}人参^{甘草炒。各一两}微义^{各二两}

右粗末，每服二钱，姜五片，青竹叶七片，梗米百粒，水煎服。澹寮方治伤寒伏暑，表里俱虚，发热烦闷，或得汗亡津液，燥热未解，亦宜服之。石膏^{别研，四两}半夏^{汤洗七次，切，七文重}麦门冬^{去心，一两一分}人参^{去芦}甘草^{各半两，炙，锉}右咬咀，每服三钱，水

① 五苓散：方见本书卷一百二十八水肿门三。

② 小柴胡汤：方见本书卷八十五血病门二。

③ 方见伤寒门：得效方小柴胡汤见本书卷五十六伤寒门三十。

④ 方见伤寒门：得效方竹叶石膏汤见本书卷五十六伤寒门三十。

二钱，入青竹叶、生姜各五六片，煎至一盞半，去滓，入粳米百余粒，再煎，米熟去米，温服，不计时候。若表里俱虚，下利发热，去石膏加附子，煎服，名既济汤。

六和汤：治暑证身热，呕不甚渴。

人参 半夏曲 杏仁去皮，微炒 甘草炒 缩砂仁各一两 茯苓 藿香 宣木瓜 扁豆制。各二两 厚朴制，三两 香薷四两

右锉，每服三钱，姜五片，煎服。内伤生冷通用。得效方治心脾不调，气不升降，霍乱转筋，呕吐泄泻，寒热交作，痰喘咳嗽，胸膈痞满，头目昏痛，肢体浮肿，嗜卧倦怠，小便赤涩，并伤寒阴阳不分，冒暑伏热烦闷，或成痢疾，中酒烦渴不食，妇人胎前产后，並宜服之。人参 缩砂 甘草炙 杏仁去皮尖 半夏汤泡七次。各三两 卫生宝鉴、儒素方、袖珍方、永类铃方、经验良方各一两 白扁豆 姜汁略炒 赤茯苓去皮 藿香叶拂去尘 木瓜各二两 香薷去梗 厚朴姜汁制。各四两 右锉，每服四钱，宝鉴五钱，袖珍方一两。水一盞半，宝鉴、袖珍方二盞，铃方一盞。生姜三片，良方五片。枣子一枚，煎至八分，宝鉴、袖珍方一盞。去滓，不拘时候服。

二陈汤①：治伤暑复感冷及内伤生冷。

得效方此下有呕吐二字。方见咳嗽门。

半夏制 橘红各五两 茯苓三两 甘草炙，一两

右咬咀，每服三钱，姜七片，小乌梅一枚，煎服，感冷更添生姜。

小半夏茯苓汤②：方见水肿门。

来复丹：均平阴阳，治中暑昏迷，霍乱吐泻。医方大成治上盛下虚，里寒外热，伏暑泄泻如水。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。玉机微义治伏暑泄泻，身热脉弱。

透明硫黄 硝石各一两，並为细末，入定磬内，以微微火慢炒，用柳篦不住手搅，令阴阳气相入，再研极细 大成同硫黄为末，入碟内，以微火炒，用柳篦搅，不可火大，过慈伤药力，再研极细，名二气末 元精石一两，研细水飞 大成大阴玄精石 五灵脂五台山者，水浸去砂石，日乾 陈橘皮去白 青橘皮去白，二两

右灵脂、二橘皮为细末，次入元精末及硫黄、硝石末，和毕，以好醋打糊圆，豌豆大，每服五十圆。大成、集成、经验方、袖珍方、铃方、微义三十圆。空心米饮下，或五苓散下，或水研灌亦得。

大黄龙圆③：方见三因方。来复、黄龙大抵性温，道途中暑昏仆，即扶起，以手巾蘸热汤暖其脐腹，即渐苏醒，次以来复丹为末，井水调下。无药则以大蒜细研，新水调与之，仍以蒜少许置鼻中。或谓中暑最忌得冷，来复、黄龙并蒜，以水调下者何？盖其药性温，因寒而发用也。

朱氏集验方

中 暑

水沉汤：治伏暑伤冷，霍乱转筋，虚烦躁渴，心腹撮痛，吐利交作，四肢厥冷。

香薷叶 厚朴各三两 白茯苓 白扁豆炒，去皮。各二两 丁香 甘草各半两

右锉散，每服三钱，半酒半水煎，水中沉冷服，不拘时候。

严氏济生方

中 暑

二气丹：治伏暑伤冷，二气交错，中脘痞闷，或头痛恶心，医方大成作或泄或呕。並皆

治之。

硝石 硫黄等分

- ① 二陈汤：方见本书卷一百十八咳嗽门五。
- ② 小半夏茯苓汤：方见本书卷一百二十八水肿门三。
- ③ 大黄龙圆：方见本书卷二十五诸暑门一。

右为末，于银石器内，文武火上，炒令鹅大成无鹅字。黄色，再研细，用糯米糊为圆，如梧桐子大，每服肆十圆，新汲水送下，瘧瘵方同。不拘时候。医方集成、南北经验方、袖珍方、水类铃方、卫生易简方与大成同。

冷香饮子：治老人虚人，伏暑烦躁，引饮无度，恶心疲倦，服凉药不得者。玉机微义治伤暑喝，霍乱腹痛，烦躁，脉沉微或伏。

草果仁三两 附子炮，去皮脐 橘红各一两 甘草炙，半两

右咬咀，每服一两，水二盏，生姜十片，煎至半盏，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、水类铃方煎一半。去滓，沉冷旋旋服，不拘时候。得效方、瘧瘵方同。

加味香薷饮^①：治伏暑伤冷，霍乱转筋，烦渴，心腹撮痛，吐利交作，四肢厥冷。方见诸症门。

管见大全良方

橘皮汤：治伏暑，痰逆恶寒。

人参一分 甘草炙，半两 橘红二两

右为粗末，每服五钱，水一盏二分，生

姜四片，枣一个，筴竹青一块如钱大，煎至八分，去滓，热服。

易简方

缩脾饮：解伏热，除烦渴，消暑毒，止吐利。霍乱之后，服热药太多，致烦躁者，宜浸令如冰，冷服之。

草果仁四两 乌梅三两 甘草二两半

右咬咀，每服五钱，水一碗，生姜十片，煎至八分，浸以熟水，浸令极冷，以解烦渴，或欲热欲温，並任意服之。一方用草果乌梅 缩砂 甘草各等分 干葛 白扁豆各减半老人加附子，煎如前法，暑月用此，代熟水饮之，极妙。若伤暑，发热，头疼，宜用此下消暑圆。若因饮食生冷过多，致霍乱

吐泻者，亦宜用此，然须先以治中汤、二陈汤之类煎服，仍服来复丹，或烦躁者，方以浸冷香薷饮用香薷一斤，厚朴、扁豆减半，每服四钱，水一盏，入酒一分，煎七分，去滓，水中沉冷，连进三服。服之，自然平愈。今人往往读香薷饮之证，才见霍乱，遽尔投之，殊不知夏月伏阴在内，因食生冷，以致霍乱，岂宜投以浸冷之药？故合先治中脘，次^②以香薷散解其烦躁，不可不知。若饮水过多，小便赤涩者，当服五苓散。太^③见参苏饮。以其能利水道，有泽泻、茯苓故也。此下详见局方黄龙圆下。

三法六门

暑

化痰玉壶丸：

南星 半夏並生用 生^④麻已上各半两 白面

三两

右为细末，滴水丸如桐子大，每服三十丸，用水一大盏，先煎令沸，下药煮，候浮

即热^⑤漉出，放温，别用生姜汤下，不拘时候。

玉露散：治暑。

① 加味香薷饮：方见本书卷一百二十二诸症门二。

② 次：易简方作“方”。

③ 太：易简方作“方”。

④ 生：儒门事亲作“天”。

⑤ 热：儒门事亲作“熟”。

寒水石 滑石 石膏 瓜蒌根已上各四两
甘草二两
右为细末，每服五钱，重新水调下。袖珍方同。

石膏散：
石膏一两 人参去芦 甘草炙。各半两
右为细末，新水蜜水调三钱，生姜汤亦可。

东垣试效方

暑热伤气

商人杜彦达，五月间，两手指麻木，四肢困倦，怠惰嗜卧，乃热伤元气也。以人参益气汤主之。

人参益气汤：

黄芪八钱 生甘草半两 甘草炙，二钱 人参半两 升麻二钱 白芍药三钱 五味子百四十箇 柴胡二钱半

右件咬咀，分作四服，玉机微义同。每服水二盏，煎至一盏，去滓，稍热服，食远，神效。

芍药补气汤：治皮肤间麻木，此肺气不行也。清古老人立此方，神效。

黄芪一两 白芍药一两半 橘皮不去白，一两 泽泻半两 甘草炙，一两

右件咬咀，每服秤半两，水二觔，煎至一盏，去滓温服。如肌肉麻木，必待泻营而愈。如湿热相合，肢体沉疼，当泻湿热。

导气汤：治两腿麻木沉重。

黄芪八钱 甘草六钱 五味子一百二十个 升

麻二钱 柴胡二钱 当归尾 泽泻各二钱 红花半钱 陈皮一钱 青皮四钱

右件咬咀，分作四服，每服水三大觔，煎至一觔，去滓，热服食前。

茯苓燥湿汤：治六七月间，湿令大行，湿令行，子能令母实，热旺也，湿热大胜，必刑庚大肠。以天令言之，则清燥之气绝矣。古人之法，夏月热，以救热伤天真元气，燥金若受湿热之邪，是绝寒水生化之源，源绝则肾亏，痿厥之病大作，腰已下痿软、瘫痪不能动矣。何止行步不正，两足欹侧，更宿有湿热之证，当急救之。

黄芪一钱半 苍术一钱 白术半钱 橘皮半钱 人参三分 五味子九箇 麦门冬 当归身 生地黄酒 曲末二分 泽泻半钱 白茯苓三分 猪苓二分 酒黄柏二分 柴胡一分 升麻三分 黄连一分 炙甘草一分

右件咬咀，每服半两，水二盏半，煎至一盏，去滓，空心服。

诸 暑 门二

得 效 方

伤 暑

桂苓甘露散：治伤寒中暑冒风，饮食中外一切所伤，传受湿热内甚，头痛口乾，吐泻烦渴，喜饮冷，小便赤涩，大便急痛，湿热，霍乱吐下，腹满痛闷，及小儿吐泻惊风。

茯苓 乙两，去皮 甘草 二两，炙 玉机微义无 白术 半两 泽泻 乙两 桂 半两，去皮 石膏 二两 寒水石 二两 滑石 四两 猪苓 半两

右为末，每服三钱，微义二三钱 温汤调下，新水亦得，生姜汤尤良，小儿每服一钱。经验良方云：一名桂苓白术散。一方甘草一两半。医方大成桂苓甘露饮治伏暑，引饮过度，腹肚膨胀，霍乱泻利，并皆治之。白茯苓 去皮 白术 猪苓 去皮 滑石 研，二两 寒水石 研 永类铃方 二两 甘草 炙 泽泻 各一两 肉桂 去皮，半两 右为末，铃方二石，别研。拌匀，每服三钱，热汤冷水任下，卫生宝鉴此下有不拘时服四字。入蜜少许亦好。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

来复丹①：治上盛下虚，里寒外热，伏暑泄泻如水，及治中暑。方见痼冷门。

通苓散②：治伤暑，潮热烦渴，小便不利。方见泄泻门。

每服三钱，水一盏半，灯心二十茎、麦门冬二十粒去心、淡竹叶十皮、车前穗五茎煎，不拘时候服。渴甚，晚禾根少许、白茅根五茎、枇杷叶二皮去白毛蜜涂微炙，煎服。

中暑 又名中喝

益元散：治中暑，身热呕吐，热泻赤

痢，癃闭涩痛，利小便，益精气，通九窍六府，消蓄水，止渴，除烦热心躁、百药酒食等毒，解疫疠及两感伤寒，及妇人下乳催生、兼吹乳、乳痛，孕妇莫服。经验良方一名六一散 治身热，呕吐泄泻，肠癖下痢赤白；治癃闭淋痛，利小便；偏主荡胃中积聚寒热，益精气，通九窍六府津液，去留结，消蓄水，止渴利中，除烦热心躁；治腹胀痛，补益五脏，大养脾肾之气，理内伤阴痿，安魂定魄，补五劳七伤，一切虚损；主痼瘕，惊悸健忘；止烦满短气，脏伤咳嗽；疗饮食不下，肌肉疼痛；治口疮牙齿疳蚀，明耳目，壮筋骨，通血脉，和气血，消水谷，保真元，解百药、酒食邪毒，耐劳役饥渴寒热，辟中外诸邪所伤。久服强志轻身，驻颜延寿。及解中暑，伤寒，疫疠，饥饱劳损，忧思恐怒，汗后遗热，劳复，并解两感伤寒，宣通结滞，及妇人下乳催生，产后血损阴衰虚热，一切热证，并宜服之，兼吹乳乳癰，频服即愈。孕妇不服，盖滑胎故也。

白滑石 六两 良方无白字 甘草 一两，炙

① 来复丹：本书卷一百五十七痼冷门二查无此方，世医得效方其组方为：“消石一两，同硫黄并为末，入定钵内，以微火温炒，用柳篦子不住手搅，令阴阳气相入，不可太过，恐伤药力，再研极细 太阴玄精石一两，研，飞 青皮去白，二两 陈皮去白，二两 五灵脂须择五台山者，用水濯去沙石，晒干，二两 舶上硫黄用透明不夹沙石者，一两 右用五灵脂、青皮、陈皮为末，次入玄精石末，及前消石、硫黄末拌匀，以好酒磨打糊丸，豌豆大，每服三十粒，空心，粥饮吞下，甚者五十粒，小儿三五粒，新生儿一粒。小儿慢惊风，或吐利不止，变成虚风搐搦者，非风也，胃气欲绝故也，用五粒研碎，米饮送下；老人伏暑迷闷，紫苏汤下；妇人产后血逆，上抢闷绝，并恶露不止，及赤白带下，并用醋汤下。常服和阴阳，益精神，熏腰肾阴湿，止腹痛冷疼，立见神效。应诸疾不辨阴阳证者，并宜服之，灵异不可具记”。

② 通苓散：方见本书卷之四十二泄泻门二。

右为极细末，每服三钱，蜜少许，温水调下，无蜜亦得，日三服，良方无时，日三服。欲冷，新汲水调下，发汗煎葱白豆豉汤，良方调下四钱。并三四服。此药良方此药寒凉。解散，热甚多服，无害有益。医方大成治中暑身热，小便不利。此药性凉，除胃脘积热。滑石六两，好者甘草微炒，一两右为末，每服三钱，加蜜少许，卫生宝鉴不用蜜。热汤冷水任下。三法六门蜜水新水调下。如欲发汗，以葱白豆豉汤调下。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、卫生易简方同。

来复丹：方见瘧冷门。治中暑昏迷，霍乱吐泻，每服五十丸，米饮吞下，五苓散①调下亦可，方见伤暑类。或水研灌亦效。

白虎汤②：治中暑手足微冷，烦渴，四肢不通。方见伤寒门。

橘皮竹茹汤③：治中暑痰逆恶寒。方见咳逆门。

竹叶石膏汤④：治中暑不恶寒，烦渴。方见伤寒门。

五苓散：治中暑头疼，恶心烦躁，心下不快。方见三因方。

香薷散⑤：治中暑霍乱吐泻。方见简易方。

小柴胡汤⑥：治中暑烦热，口干，候极冷服之。方见伤寒门。

白虎加入参汤⑦：治太阳中喝，其脉弦细扎迟，小便已，洒然毛耸，口前开⑧板齿者⑨，何故洒然毛耸？缘腠理司开阖，寒则皮肤急，腠理闭，热则皮肤缓，腠理开，开则洒然寒，闭则热而闷。方见伤寒门。

王氏易简方

伤暑

五苓散：窃详神农本草，百药性味德用，有疗风、疗寒、疗湿、或三气兼治，各于品下明载，惟无一字言及何品可以疗暑，先贤深造暑乃天地间六淫中无形之火，幸而天地间五行中有有形真水可以制伏扑灭，方将独饮其水，于中却有中脘虚弱之人，饮之滞于胸膈，则为痰为饮，滞于肠胃则为湿为渍，痰至秋则可为疟，湿至秋则可为痢，故借治伤寒温热病五苓散以主之。盖取五苓散中，品味有猪苓、泽泻、赤茯苓通利水道，白术且能逐水，官桂能宣导百药，辛而散之，故诸暑药必皆赖新汲水调服，虽然五苓散不若消暑丸为妙，气滞化为痰有如炙脔，吐咽不下，然终不若局方七气汤为稳当也。

七气汤：

熟半夏五两 人参一两 官桂一两 甘草炙，锉，一两

右咬咀，每服三钱，水一盏半，生姜五

片，煎七分，去滓，稍热服。治虚冷上气，及寒气、热气、怒气、恚气、喜气、忧气、愁气，内结积聚，坚牢如杯，心腹绞痛，不能饮食，时发时止，发即欲死。此汤之巧，盖以半夏之性，可为君子，可为小人，各随其所流而为之。其详见于和剂类例。今半夏辅人参、甘草，而人参为君，甘草国老，故能使其和五脏，调七情，顺诸气，诸气既顺，不滞为痰，病可去矣！然而诸气成疾，有若同门失懽，惟和而已，然后无藏怒宿怨，愚每每用以调七情，如鼓应桴，即近而言，有妇人患气奔息急甚危，愚诊曰：此小病耳。或者曰：气出如许，七日不食，胡为小病？愚曰：

① 五苓散：方见本书卷二十五诸暑门一。

② 白虎汤：方见本书卷四十三伤寒门十七。

③ 橘皮竹茹汤：方见本书卷一百十三咳逆门。

④ 竹叶石膏汤：方见本书卷四十四伤寒门十八。

⑤ 香薷散：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑥ 小柴胡汤：方见本书卷四十三伤寒门十七。

⑦ 白虎加入参汤：方见本书卷四十五伤寒门十九。

⑧ 前开：世医得效方作“开前”。

⑨ 者：得效方同，金匱作“爆”。

气奔脉搏，他无一毫外证，此名奔气，有奔气汤可以治之，止以七气汤加吴茱萸料二大剂，每服五钱，与服半夜，气平如故。又一妇人，患发热头痛，以帛裹首，有识无识，咸谓感冒，治药杂进，至生附、熟附互投。愚诊其脉，溢出鱼际，愚曰：非感冒，乃气疾耳。盖以阳浮于外，气不归元，故发为热加以气，煮半夏一斤，赤茯苓四两，生甘草二两，为末，生姜自然汁丸，梧桐子

大，每服三五十圆，新汲水下，细嚼尤好，胜五苓者，以五苓有猪苓、泽泻、赤茯苓能泻肾经，兼有目疾者，不宜服，秋深亦非宜也。

香薷饮：局有见卖，不录其煎煮，必用酒水以分冷热，须水浸令十分冷服，亦不外新汲水之意，专治夏月恣饮冰雪、瓜果、臃脍，变为霍乱，至要之剂。孙王谓不宜冷服，谬甚，后学鉴此，以为矜式。

澹 轩 方

中 暑 汤熨脐下暖

行人中暑命须臾，大蒜研来烂似糊，并取道旁当热土，水和涂足灌令苏。

夏 日 代 冰

瓶入沸汤单若封，绳悬投浸井之中，隔朝取饮如冰冷，乌豆煎汤亦可供。

澹 寮 方

凡中暑，经验良方中暑于乡落无药处。急嚼生姜一大块，冷水送下，如已迷闷，嚼大蒜一大瓣，冷水送下，如不能嚼，以水研灌之，立醒。

路中仓卒，无水渴甚，急嚼生葱二寸许，津同咽下，可抵水二升。

卫 生 宝 鉴

长夏湿热胃困

有长夏五六月湿热之时，人困倦，四肢不收，精神短少，胸满短气，肢节疼痛，气高^①而喘，身热而烦，或大便泄利而黄，或白泔色，或渴，或不渴，或不饮食，或小便

频数而黄，治用清暑益气汤^②。方见伤寒门

消暑十全饮：消暑气，进饮食。

人参 厚朴^{姜制} 白术 香薷 木瓜 白扁豆 黄芪 陈皮 白茯苓 甘草各等分

右咬咀，每服五钱，水二盏，生姜三片，煎至一盏，不拘时服。

圣 济 总 录

中 热 喝

热喝之病，由冒犯暑热邪气也。其脉弦细芤迟，其状汗出恶寒，身热而渴，体重疼痛，小便已，则洒洒然毛耸，四肢厥冷，微劳动即热，口开齿燥。经所谓脉虚身热是为

伤暑，此不可汗下，汗之则恶寒甚，加温针则发热甚，数下之则淋甚，宜以除去热邪之药治之。

① 高：卫生宝鉴作“促”。

② 清暑益气汤：方见本书卷之五十八伤寒门三十二。

治中热喝，头痛汗出，恶寒发热而渴，白虎汤方：

知母六两 石膏碎，一斤 甘草二两 粳米六合
右四味咬咀，如麻豆大，每服五钱匕，水一盞半，煎米熟汤成，去滓温服，日三。一方加人参三两。 南北经验方治伏暑呕吐。石膏四两 知母一两 甘草一分 粳米一合 右为铤散，每服水煎，热服。如伏暑作寒热未解，宜和五苓散，同煎服。伏热后或冷水沐浴，或吃冷物，清气在脾，不觉解，令日作寒慄壮热，浑身洒淅，宜加桂煎服，出汗便解。袖珍方同。 三法六门知母一两半，去皮 甘草一两 粳米一合 石膏四两，乱纹者，另为末 右铤如麻豆大，粳米拌匀①，水一盞，煎至六分，去滓，温服无时，日三四服。或眩呕者，加半夏半两，姜制②。 玉机微义人參白虎汤：治暑热发渴，脉虚。人參一钱半 知母二钱 石膏半两 甘草一钱 右咬咀，入粳米一合，水煎。

治伏暑吐逆，小香薷汤方：

香薷二两 人參一两 白扁豆半两

右三味，粗捣筛，每服三钱匕，水一盞，煎至六分，去滓，温服，不拘时候。

治伤暑中喝，解毒丸方：

半夏醋浸一宿，滤出，暴乾 甘草炙，铤。各一斤 赤茯苓去黑皮，二两

右三味，捣罗为细末，生姜自然汁和丸，如梧桐子大，每服四丸，加至八丸，新汲水下。如昏闷不省者，生姜自然汁下。

治伤暑烦渴不止，竹茹汤方：

竹茹一合，新竹者 甘草一分，铤 乌梅两枚，椎破

右三味，同用水一盞半，煎取八分，去滓，放温时时细呷。

治伏暑头痛，心胸烦闷，旋运恶心，不思饮食，小抱龙丸方：

半夏醋浸一宿，银石器中煮醋尽，焙 甘草炙，铤。各等分

右二味，捣罗为细末，生姜自然汁煮，

稀面糊丸，如梧桐子大，阴乾，每服十丸，新汲水下，食后临卧服。

治中暑烦躁，香薷散方：

香薷二两

右一味捣罗为散，每服二钱匕，水一盞，煎取七分，不去滓，温服，不拘时候。

治中暑烦躁，多困乏力，消暑散方：

人參捣末 白面等分

右二味和匀，每服二钱匕，新水调下，不拘时候。

治暑气，每到夏月即发，四肢无力，不思饮食，槟榔饼方：

槟榔铤 瞿麦穗 茴香子炒 荆芥穗 麦蓝子 大黄煨，铤。各一分

右六味，捣罗为末，用面三钱，和作六饼，慢火烧熟，每日空心烂嚼一饼，温酒下。

治暑气甘露散方：

黄连去须，铤。一两 吴茱萸半两

右二味同炒，以茱萸黑色为度，放地上出火毒，不用茱萸，将黄连捣罗为细散，每服半钱匕，食后茶清或新水调下。

治一切伏热，烦躁困闷，菝葜散方：

菝葜 贯众捣碎，刮去毛。各一两 人參 甘草炙，铤。各半两

右四味，捣罗为散，每服二钱匕，水一盞，煎至七分，温服，如热渴，即冷作饮。

治伤暑，胸膈躁闷，昏运倒仆欲死，解毒散方：

商陆根 切开，如血色者，阴乾

右一味，捣罗为散，每服一钱匕，新汲水调下。牛、马、驴、骡喘急热发倒卧③，调三钱灌之，立止。

治暑毒及心经积热，大黄丸方：

大黄铤，炒 甘草炙，铤 黄连去须 恶实微妙 荆芥穗等分

右五味，捣罗为末，炼蜜丸梧桐子大，每服二十丸，温水下，食后服，若为散，水

① 匀：儒门事亲此下有“另”字。

② 姜制：儒门事亲作“姜汁制过用之”。

③ 卧：圣济总录作“仆”。

调亦得。

治暑毒躁闷，甘露丸方：

寒水石 火煨候冷，夹绢袋盛，井底浸七日，取出，令乾研，四两·天竺黄 半两 马牙消 研，二两 甘草 锉，一两 龙脑 半钱

右五味为末，糯米粥丸，鸡头大，每服一丸，生姜蜜水磨下。

治暑毒，抱龙丸方：

黄芩 去黑心 大黄 锉，炒 黄药子 生乾地黄 焙 蓝根 甘草 炙，锉。各一两 雄黄 研，半两 龙脑 研 麝香 研。各一钱

右九味为细末，牛胆汁和丸，如弹子大，每服一丸，冷盐汤嚼下。

治暑毒，烦渴狂躁，呕吐头疼，困倦，不灰木散方：

不灰木 二两 滑石 寒水石 甘草 锉。各一两 蓼 蓝根 一两半

右五味，并生捣罗为散，每服二钱匕，研生粟米泔，入沙糖一枣大，同化服，不拘时候，合时避日色火气。

治暑毒，救生散方：

脂麻 新者三两 卫生易简方胡麻一升

右一味，炒令黑色，取出盘内摊冷，碾为细末；新汲水调下三钱匕，或丸如弹子大，新水化下一丸，凡著热，外不得以冷物逼，外得冷即毙。

治中喝，解暑毒烦躁，冰壶散方：

不灰木 烧 玄精石 生，研 金星石 银星石 马牙消 生。各半两 甘草 炙，锉，一两 消石 一分

右七味，各捣研为散，先将甘草铺在铤内，次入诸药炒，良久移放地上，以铤冷为度，重研过，每服一钱匕，新汲水调下，或生姜汁水调下。

中喝闷绝

中喝之病，令人闷绝者，热毒伤藏也。盖心藏神而恶热，若冒触暑毒，蕴积于五藏，则阴阳不能升降，经络不得宣通，故奄然闷绝，然真藏未坏，救疗有方，得气宣即苏，

亦不可待其自苏，又不可犯冷，若外犯冷，则与热气相拒，气愈不通，而毙矣。

治中热喝不省方：

大蒜 不拘多少，去皮，捣烂

右一味，用新水调匀灌之。 寿域神方中暑毒，用大蒜三两瓣，细嚼，温汤送下，仍禁冷水即愈。 卫生易简方同。

治中热喝不省方：右以泥周绕喝人脐，使三四人溺其中，亦可屈革①带或扣漆碗底或脱车缸安著脐上，令溺，不使流去，然此谓路途无汤可用，乃令人溺取温，若有汤不必溺也。仲景不云泥及车缸，盖此物必冷，喝人忌冷，若得热汤和泥及火烧车缸，方可用也。 寿域神方中暑发昏，屈革带溺脐中则活。 卫生易简方同。又云中喝至死，不可使得冷，得冷即死。

又方：

右取生菖蒲，不拘多少，捣绞取汁，微温一盏灌之。

又方：

右先掘地作坑，取蜜半盏，倾坑中，以新汲水两盏投之，搅匀，澄，取浆一盏，灌之。

治中热喝死方：

右取路上热尘土，以塞其心，冷复易，候气通乃止。 备预百要方同。 寿域神方三伏中暑，途中卒死者，用车轮土五钱，冷水调，澄清，服之妙。 卫生易简方同。

治热喝欲死闷乱方：

右以口嘘其心上，便捣地黄汁一盏灌之，仍灸两乳头各七壮。 备预百要方令人呵心上使暖。

治中热喝垂死，备急陈橘皮汤方：

陈橘皮 汤浸，去白，焙 干姜 炮 甘草 炙

右三味，各等分，粗捣筛，每服三钱匕，以水一盏，煎五七沸，去滓，稍稍令咽，勿顿与之，以苏为度。

治中喝垂死，备急救生丸方：

乾姜 炮 甘草 炙 黄药子 板蓝根 各四两

① 革：圣济总录同，金匱作“草”。

犀角 镑，一两

右五味为细末，炼蜜丸，如弹子大，每服一丸，热汤化服，立效。

治心中热，则精神冒闷，黄连散方：

黄连 鸡爪者，不拘多少，去须

右一味为细散，每服二钱匕，浓煎，灯心汤调下，得洩则愈。盖心恶热，苦入心，热传小肠，则气下通，故得洩则愈，灯心通利小便故也。

治中暑喝毒，闷乱昏沉，凝水石丸方：

凝水石 瓶子内烧过如粉 乾姜 烧灰。各一两 甘

草 炙，三钱 甜消 半两

右四味捣罗为末，炼蜜丸，如弹子大，每服一丸，生姜汤化下。

治中暑毒，闷乱不省人事，万金散方：

硫黄 研 蛤粉 各一两

右二散，研为细末，每服一钱匕，新汲水调下。

治中喝，冒闷吐逆，头痛出冷汗，玉珠散方：

硫黄 舶上者 滑石 色白者 凝水石 烧。各一两

右三味，捣研为散，每服二钱匕，艾汤调下。

南北经验方

暑

张子和方桂苓甘露散：消暑气，除烦渴。 玉机微义治伏暑，发渴脉虚。

官桂 半两 人参 藿香 各半两 茯苓 白术 甘草 葛根 泽泻 寒水石 各乙两 滑石 二两 木香 一分 微义一钱，加石膏一两

右为细末，每服三钱，白汤下，新水生

姜汤以可。袖珍方同。

宣明方五苓汤：治伤寒中暑，大汗后胃中乾，烦躁不得眠。

猪苓 去皮 茯苓 去皮 白术 各半两 桂 一分，去皮 泽泻 袖珍方三分

右为末，每服二钱，热汤调下愈妙，加滑石二两 甚佳。喘咳烦心，不得眠者加阿胶。

半两，枯，夏月大暑，新水调服立愈。

袖珍方

暑

二香散：治暑湿相搏，霍乱转筋，烦渴闷乱。

藿香正气散^① 方见伤寒门。 黄连香薷散^② 方见简易方。

右用姜葱煎。

香朴饮子：治伏热吐泻，虚烦闷乱。

人参 茯苓 甘草 紫苏 木瓜 泽泻 香薷 半夏 扁豆 陈皮 乌梅 朴硝

右等分，姜枣煎。

桂苓白术散：治冒暑湿热，吐泻转筋，腹痛，小儿可服。

官桂 茯苓 白术 各五钱 甘草 泽泻 石膏 寒水石 各一两 滑石 二两

右为末，每服三钱，热汤新汲水或生姜汤调下。

加味五苓散：治伏暑热二气，及冒湿泄泻注下，或烦或渴，或小便不利。

赤茯苓 泽泻 猪苓 官桂 白术 各一两 车前子 五钱

右咬咀，水二盏，生姜三片，煎至一盏，去渣服，或进来复丹亦可。

① 藿香正气散：方见本书卷五十六伤寒门三十。

② 黄连香薷散：方见本书卷二十五诸暑门一。

经验秘方

中暑

醍醐汤：消食助脾，解暑止渴，有益无损。湖广平章丞相大人，每遇三夏，预备此汤，名曰醍醐，随行将带，或用沸汤，或用冰水，任意调用。

乌梅 去子，取净肉，晒干，称一秤，另为细末 **草果** 去皮，并子上脂膜皮儿，一两 **好蜜** 五斤 **缩砂仁** 去壳，取肉 **好檀香** 齐头，切薄片儿，晒干为末，极细。各五钱

右将后三味为极细末，先将蜜炼去浮沫，次将乌梅末作两三次下蜜内煎，搅调匀，再下三味香药，略煎，然后离火，以磁瓶盛收，逐时取用，诚良诀也。简奇方同。

破暑汤：专治暑月痰饮呕逆。

人参 二钱 **半夏** **白茯苓** 各四钱

右作一服，生姜七片，先用水一盞，浸药煎沸，再将水一盞，渐渐点至药熟，去滓，温服。

甘露散：治中暑热毒，霍乱吐泻，烦躁不宁。

拣甘草 五两 **滑石** 一斤 **白术** 二两 **茯苓** 三两 **人参** 一两半 **泽泻** 二两 **桂** 半两

右为细末，新水或沸汤调服，如要去湿肿，水一碗，竹叶、灯心煎半两，温服食后。

治暑风中，不发语言，不省人事，以萝卜子研极细末，新汲水调服大效。简奇方同

柚术丸：治时暑暴泻不止，心腹痞闷，不思饮食，服之大效。

苍术 半斤，泔浸去粗皮，晒，炒黄色 **神柚**①

右为细末，水面糊为丸，如梧桐子大，每服五六十丸，米汤送下，温水亦可，食前。

十全香薷饮：

香薷 二两 **厚朴** 钱半，炒 **茯苓** 炒，四钱 **木瓜** 钱半，炒 **扁豆** 钱半，炒 **缩砂仁** 五钱 **甘草** 钱半，炒 **藿香** 二钱半 **杏仁** 一钱半 **半夏** 一钱半

右各一两，重水煎。

加味香薷饮：

香薷 **厚朴** 姜制 **白扁豆** **甘草** **黄连** **槟榔** 各等分

右咬咀，水煎，如中暑又中风者，更加羌活。

凡中热死，不可便与冷物，多死。救之方：取道中热土，多积心下。

又众人嘘其心令暖。

又取屋上热瓦，熨心下。

又令病人仰卧，以热土壅脐上，令人尿脐中，温即愈，土冷别换。

又延胡索为末，汤调二钱服。

又汗头巾汤浸洗汁服。

又乾姜、橘皮、甘草煎汤，少少与之，暑月远行，常吃少麻粬，即不中暑，嚼少生葱，亦解热渴。

救伏暑死，不可使冷，冷即死，宜用温汤常摩洗其心腹间，如路途切急，用热土置腹脐间，令人更尿其脐中，即活。急救仙方同。

香薷汤：主中暑昏迷，不省人事。

香薷 四两 **白扁豆** 微炒 **厚朴** 姜制。各二两
右为粗末，每服三四钱，水一盞半，煎至七分，去滓，凉服。

经验良方

中暑

凡中暑病证，脉来隐伏，又曰中暑，脉

虚，未请到医人，又当观验病者，面垢唇紫，

① 柚：卫生宝鉴此下注有“半斤”二字。

外证如何，方可用药，偶有差互，死生立判，夏月偶有此病，必当详审。

凡暑月间，忽有男女老幼，昏闷不省人事，手足搐搦，或角弓反张，如小儿惊风之状，或上吐下泻，其热如火，皆因伏暑，兼感风而得此证，当服枇杷叶散，如乡村僻地无问药处，只以枇杷叶炙去毛为末，用西瓜一箇，捣汁调叶末灌之醒，然无事。误投他药，十有九死。

治一切中暑证。方见伤寒内五苓散^①、香薷散^②、白虎汤^③。

加减十味香薷汤：夏月常服，清头目，去暑湿，顺气清神理脾。

香薷穗四两 白扁豆炒 厚朴姜制 茯神

去皮木 紫苏叶 甘草 陈皮去白。各二两 檀香一两 乾木瓜二两 丁香半两

右为细末，百沸汤调服。治秋暑用青蒿二两，木瓜、半夏、生姜各半两，同煎八分，滤过，用锡器盛于井水中，浸极冷，不拘时，任意服。

治中暑，取屋上热瓦，熨心下。

又方令病人仰卧，以热土壅脐上，令小儿尿之脐中温即愈，中暑昏闷，用路上日晒热土壅脐，稍醒不宜便以冷水、冷物吃。

治伏暑，吐泻转筋，浓煎姜枣汤调下项药，或黄连香薷散、五苓散、益元散、桂苓甘露饮、龙须散。

必用全书

中暑

治暑证，诸药不救者，朱砂研细，冰水调灌下，立差。必用之书同。

出陆须知云：凡行役之人，只可食蒜，饮水解渴，勿服暑药，直至脐下，久成痼疾，为害非轻，歇定服暑药则可。必用之书同。

山居四要

旅途中暑者，卫生易简方此下有移置阴处四字。急就道上掬热土于脐上，拨开作窍，令人尿其

中，次用生姜、大蒜细嚼，热汤送下。

新效方

玉龙丸：治中暑霍乱吐泻。

生小麦面六两 生明矾 生硫黄 朴硝 滑石 四味各一^④□

右五味各末，水丸梧子大，每服五十丸，熟水下。

玉机微义

暑

清暑之剂

局方香薷饮^⑤ 方见简易方。

- ① 五苓散：方见本书卷四十三伤寒门十七。
- ② 香薷散：方见本书卷五十三伤寒门二十七。
- ③ 白虎汤：方见本书卷四十三伤寒门十七。
- ④ 一：此下脱字，证治准绳类方玉龙丸作“两”。
- ⑤ 局方香薷饮：方见本书卷二十五诸暑门一。

按：此手足大阴药也，世俗用于暑月中煎饮，然气虚^①不可过多，盖厚朴乃泄气下气药也，虽活人书用后方，亦只是治暑火清心而已，故例不可不分。

黄连香薷饮^② 方见简易方。

按：此手^③太阴少阴药也。

益气之剂

局方人参白虎汤^④ 方见圣济总录。

按：此手太阴足阳明药也，出太阳例。

竹叶石膏汤^⑤ 方见直指方。

按：此足阳明、手足太阴经药也。

东垣人参益气汤^⑥ 方见本方。

按：此手足太阴足阳明少阳经药也。

清暑益气之剂

宣明益元散^⑦ 方见泄泻门。

按：此足太阳足三阳经药也。

选方十味香薷散^⑧ 方见是斋医方。

按：此手足太阴经药也。

东垣清暑益气汤：治长夏湿热蒸人，人感之，四肢困倦，精神^⑨少，懒于动作，胸满气促，支节疼，或气高而喘，身热而烦，心下膨闭，小便黄而数，大便溏而频，或痢或渴，不思饮食，自汗体重。

黄芪 升麻 苍术 各一钱 人参 白术 神曲 陈皮 各半钱 甘草 炙 黄柏 麦门冬 当归 各三分 葛根 二分 五味 九筒 泽泻 青皮 二分

右咬咀，水煎。

按：此手足太阴少阴足阳明经药也。仲景太阳中喝证例，禁汗下温针，无治法，宜是阳主之，所谓发千古之秘也。

温散之剂

五苓散^⑩ 方见三因方。

桂苓丸^⑪ 方见和剂局方。

按：已上足太阳例药也。

缩脾饮^⑫ 方见和剂局方。

按：此手足太阴少阴足阳明经药也。

消暑十全饮：

香薷 扁豆 厚朴 甘草 紫苏 白术

茯苓 藿香 木瓜^⑬ 檀香^⑭

右咬咀，水煎。

按：此手足太阴之剂，气药也。然已上二方，今世俗多用，姑存之以备取择。

消毒丸^⑮ 方见和剂局方。

按：此足三阳少阴、手太阴经药也。

大顺散^⑯ 方见和剂局方。

按：此太阳例药。

冷香饮子^⑰ 方见严氏济生方。

来复丹^⑱ 方见直指方。

按：此出厥阴例药也，通利三焦，分理阴阳，温胃开结，治挥霍变乱，神志昏愤，元气下陷者，甚捷。然病因暑火湿热者勿用。

治湿热之剂

子和桂苓甘露饮^⑲ 方见南北经验方。

宣明桂苓甘露饮^⑳ 方见得效方。

局方辰砂五苓散：治伏暑烦渴，头疼身重，泄泻。

本方加辰砂

右为末，每二三钱，或水或汤调下。

按：此三方，并太阳经药，然有温散、淡渗、解表不同也。

治火之剂

黄连解毒汤^㉑：治暑热证，脉洪实而渴。

① 虚：此下脱字，玉机微义作“者”。

② 黄连香薷饮：方见本书卷二十五诸暑门一。

③ 手：玉机微义此下有“足”字。

④ 局方人参白虎汤：方见本卷引圣济总录。

⑤ 竹叶石膏汤：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑥ 东垣人参益气汤：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑦ 宣明益元散：方见本书卷一百四十三泄泻门三。

⑧ 十味香薷散：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑨ 神：玉机微义此下有“短”字。

⑩ 五苓散：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑪ 桂苓丸：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑫ 缩脾饮：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑬ 瓜：玉机微义此下注有“各等分”三字。

⑭ 香：玉机微义此下注有“少许”二字。

⑮ 消毒丸：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑯ 大顺散：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑰ 冷香饮子：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑱ 来复丹：方见本书卷二十五诸暑门一。

⑲ 子和桂苓甘露饮：方见本卷引南北经验方。

⑳ 宣明桂苓甘露饮：方见本卷引得效方。

㉑ 黄连解毒汤：方见本书卷一百五十八火门引三法六门。

大金花丸^①：治一切火热暑证。

实者。方并见火门。

神芎丸^②：治一切湿热内甚，火暑之

寿域神方

暑部

苏，后搅地浆饮之半碗，即痊。

中暑毒，用小青叶，先以井水浸去泥，

控乾，入砂糖搗汁，急灌之。卫生易简方同。

三伏中暑，途中卒死者，就用途中热塘灰半升，安在脐中作窝，令人就窝中溺满即

卫生易简方

诸暑

用楝实煎汤浴洗良。

治人中热，失心燥闷。

金匱钩玄

暑

秋初夏末，头痛脚软，食少体热，补中

益气汤中去柴胡、升麻，加炒黄柏；挟痰，止用南星、半夏、陈皮之类，或生脉散。

黄连香茹饮 痰加半夏 虚用参芪

或清暑益气汤

暑风

注夏

挟火、挟痰实者，可用吐法。

属阴虚元气不足。

御医撮要

白虎汤：理暑喝所中，头痛憎寒壮热，自汗出，大渴烦躁，口中不和，面口^③，身重，难以转侧，谵语遗尿等病。

去皮，三两 粳米 三两

右为末，每服四钱，水一盏半，煎至八九分，去滓，取六分清汁，温服，日三夜二。

知母 六两 甘草 炙，二两 石膏 一斤 桂心

备预百要方

暑伤肌肤，疮烂，或因搔成疮汁出方：

乾壁土细末傅。

① 大金花丸。方见本书卷一百五十八火门引三法六门。

② 神芎丸。方见本书卷一百五十八火门引玉机微义。

③ 口。按文义疑作“垢”。

食 治

运 化 玄 枢

孟秋之月中暑者，宜食竹叶粥，其法取淡竹叶一握，梔子两枚，切熬，以水煎，澄取清汁，入细粳米研取汁下米于竹叶梔子汁

中旋点泔煮之，候熟，下盐花，进之，此方难服，用者少。

诸 湿 门 附四气兼中

三 因 方

中 湿 论

中湿者，脉沉而细微缓，以湿溢人肌，肌浮，脉则沉细。夫湿者，在天为雨，在地为土，在人藏为脾，故湿喜归脾，脾虚喜中湿，故曰：湿流关节，中之，多使人腹胀，四肢关节疼痛而烦，久则浮肿，喘满，昏不知人。挟风则眩暈呕哕，兼寒则挛拳掣痛。治之不得猛发汗及灼艾，泄泻，惟利小便为佳，故论云：治湿不利小便，非其治也。大汗大下皆死。详论治法，见诸暑门。

经云：湿为停著，凡关节疼痛，重痹而弱，皆为湿著。若气不平，亦使人半身不遂，口眼喎斜，涎潮昏塞，此中湿之候也。夫寒热风湿，皆能并合为病，所谓风湿、寒湿、湿温者，其证各不同，为治亦别，不可不辨。若治风湿、寒湿，当发其汗，但微微似汗出，则风湿俱去。若大汗出，风去，湿不去，则不能愈。若治单单中湿，只宜利小便，忌不得以火攻，并转利，湿家下之，额上汗出，微喘，小便不利者，死。若下利不止者，亦死。论曰：治湿不利小便，非其治也。

伤 湿 叙 论

简 易 方

湿 证 论

湿者天之阴雨宿雾，地之山泽蒸气，人或中之，必溢于血脉而流于关节也。其或久处卑湿，常住水泾，或冒雨露而行，劳伤汗出，衣裹冷湿，皆能为病，经云：湿为停著。

左传曰：雨淫腹疾。是以受湿之人，一身痛重，百节痠疼，四肢肿满，筋脉弛长，发热恶寒，小便秘涩，大便殭泄也。若气不和平，湿中稍重，亦令人半身不遂，口眼喎斜，涎潮昏塞，有类风证。治之之法，宜利小便，治湿不利其小便，非其治也。宜于渗湿汤方

下求之，忌不得以火劫、发汗并妄转泻。湿家误汗，必作痉，令人角弓反张，如中风状；下之则额上汗出，微喘，小便不利者死，下利不止者亦死。夫寒热风湿，皆能并合为病，故有风湿、寒湿、湿温证各不同，为治亦别，不可不明辨也。风湿者，是风气与湿气相搏也，其证肢体烦重，不可转侧，筋脉掣痛，不得屈伸，额上微汗，不欲去被，或身微肿，欲发其汗，但漉漉身润，则风湿俱去。若大发其汗，则风气去而湿气在矣，宜与桂枝附子汤治之。寒湿者，寒气与湿气相并也，其

证身体烦疼，无汗，恶寒发热，脉浮缓而细，宜与麻黄白术汤以发散实表，除湿去寒也。湿温者，其人常伤于湿，因而中暑，或汗未干即浴，湿热相搏，则发湿温病，苦两胫逆冷，叉胸多汗，头目痛苦，妄言，恶寒及热，关节尽疼，手足倦怠，不自胜持，其脉阳濡而弱，阴小而急，治在太阴，宜与茯苓白术汤，不可发汗，汗出必不能言，耳聋，不知痛所，在身青而色变，名曰重喝，如此死者，医杀之耳。

直指方

中湿论

天气下降，地气上腾，二气薰蒸，此即湿也。岂必水流湿而后为湿哉！且风之撼动，人知其为风；寒之严凝，人知其为寒；暑之炎热，人知其为暑。惟湿之入人，行住坐卧，实薰染于冥冥之中，人居戴履受湿最多，况夫湿能伤脾，脾土一亏，百病根源发轫于此矣。滞而为喘嗽，渍而为呕吐，渗而为泄泻，溢而为浮肿，湿瘀热则发黄，湿遍体则重著，湿入关节则一身尽痛，湿聚痰涎则昏不知人。至于为身热，为鼻塞，为直视，为郑声，为

虚汗，为脚气，为腹中胀，脐下坚，为小便难，大便自利，皆其证也。湿家不可汗，汗之则发痉，热而痉者毙，又不可下，下之则额汗，胸满微喘而嘔，小便淋闭，难以有瘳。治湿之法，通利小便为上，益脾顺气次之。半夏、茯苓、苍术、白术、官桂、乾姜皆要药耳。其若小便挟热不利，则赤茯苓、防己辈自有奇效。大抵湿之为病，易至沉深，渐润之余，沦肌浹髓于斯时也。须以术、附、姜、桂作大剂与之，药力相接，病当渐解，不可以旦暮而责效焉。要之治湿莫若生附苍术为快。

严氏济生方

中湿论

活人书云：风雨袭虚，山泽蒸气，令人中湿，湿流关节，身体烦痛，其脉沉缓为中湿。大抵中湿变证万端，挟风者为烦热，为

流走，为拘急，兼寒者为痛，为浮肿，与风寒二气合则为痹，皆由中湿而后挟以异气而然也。治湿之法，不可大发汗，慎不可以火攻之，唯当利其小便，医经所谓治湿不利小便非其治也。

管见大全良方

中湿证治

若遇风雨袭虚，山泽蒸气，民多中湿，亦能令人一身尽痛，气厥不省人事，当作中湿治之，宜以术附汤、异功、五积散。

感湿证治

经云：风雨袭虚，山泽蒸气，民多受湿，

湿流关节，则一身尽痛，发热身黄，小便不利，大便反快，六脉濡弱，此感湿证也。轻者与渗湿汤、不换金正气散、和解散；甚者异功、五积散、术附汤。不任热药或小便不利者，五苓散主之。外台秘要云：治湿不利小便非其治也。

治病百法

湿

夫湿者，为太阴湿土之主也。诸湿肿满，霍乱泄注，胛肿骨痛，及腰膝头项痛，风痹痿厥，唾有血，心悬如饥，热痛，始作三阳受之，一日太阳，二日阳明，三日少阳，可

汗而已，如四日太阴，五日少阴，六日厥阴，可下而已，或七日不愈，再传至十三日，大邪皆去，六经悉和则愈矣，肾水为病。

五苓散 葶苈木香散 白术木香汤 益元散 大橘皮汤 神助散 桂苓白术丸

治法杂论

湿 门

凡男子妇人，病水湿泻注不止，因服豆蔻乌梅姜附酸热之剂。经曰：阳气耗减于内，阴精损削于外，三焦闭溢^①，水道不行，水满皮肤，身体痞肿，面黄腹大，小便赤色，两足按之陷而不起。内经曰：诸湿肿满，皆属脾土。可用独圣散吐之，如时月寒凉，宜于煖室不透风处，用火一盆，藉火力出汗，次以导水禹功，量病人虚实，泻十余行，湿去肿减，则愈矣。是汗、下、吐三法俱行，三法行毕，藏府空虚，先宜以淡浆粥养肠胃三两日，次服五苓、益元同煎，或灯心汤调下亦可。如大势未尽，更服神助^②散，可以流湿润燥，分阴阳，利水道，既平之后，宜

大将息，慎忌油盐酒果房室等事三年，则不复作矣。

凡上喘中满，酸心腹胀，时时作声，痞气上下不能宣畅，叔和云：气壅三焦，不得昌是也。可用独圣散吐之，次用导水禹功散，轻泻三五行，使上下无碍，气血宣通，并无壅滞，后服平胃散、五苓散、益元、甘露散，分阴阳，利水道之药，则愈矣。

凡老人久病，大便涩滞不通者，可服神功丸，麻仁丸，时时服葵羹藁菜，自然通利也。

凡三消者，内经所谓肺消渴等，可取生藕汁，服之则愈。

① 溢：儒门事亲作“塞”。

② 助：儒门事亲作“功”。

宣明论

诸 湿

湿本土气，火热能生土湿，故夏热则万物湿润，秋凉则湿复燥乾也。湿病本不自生，因于火热拂郁，水液不能宣行，即停滞而生水湿也。凡病湿者，多自热生，而热气尚多

以为兼证，当云湿极^①亦犹风热义同，虽病水寒，不得宣行，亦能为湿，虽有此异，亦以鲜矣，或胛肿体寒而有水者，以为畜热入里极深，本非病寒也，及夫寒热吐泻因得湿而成也。

澹 寮 方

中 湿 门

中湿乃变证多端，举其大概，则湿流关节，肢体疼痛，腰脚沉重，小便秘涩。若挟风则为烦热，为流走，为拘急。若兼寒则为大痛，为浮肿。与风寒二气合则为痹。皆由中湿气而然。治湿不可大发汗，不可以火攻，当利其小便也。风湿不可汗下。春夏之交，病如伤寒，其人汗自出，肢体重痛，转侧难，小便不利，此名风湿，非伤寒也。阴雨之后

卑湿，或引饮过多，多有此证，但多服五苓散，小便通利，湿去则愈，切忌转泻、发汗，小误必不可救。初虞世云：医者不识，作伤寒治之，发汗死，下之死。己未年，京师大疫，正谓此，既自得其说，救人甚多。壬辰年，守官洪州一同官妻有此证，因劝其速服五苓散，不信，医投发汗药，一夕而毙，不可不谨也。大抵五苓散能利水去湿，胸中有停饮，及小儿吐哕，欲作痢，服五苓散最效，初君之说详矣。信效方

医 方 大 成

湿

湿之为气，冲溢天地之间，流注四时之内，体虚之人，或为风雨所袭，或卧卑湿之地，远行涉水，或感山泽蒸气，或汗出衣里冷，则浸渍脾肾，皆能有所中伤。著肾者，腰痛身重，如坐水中，小便不利；著脾则四

肢浮肿，不得屈伸。若挟风，则眩晕呕哕，心间烦热；兼寒则拳挛掣痛，无汗恶寒；带暑则烦渴引饮，心腹疼痛，面垢恶寒。凡感湿之证，其脉多沉缓而微，其证多四肢倦怠不举，法当疏利小便为先，决不可轻易汗下，并用火攻。若有泄泻等证，又当于各类求之。

永 类 铃 方^②

中湿 通见伤湿五痹水肿门

湿喜归脾著肾。经云：风雨袭虚，山泽蒸气，人多中湿，关节重痛。又曰：诸痉强

直，积饮，痞膈中满，霍乱吐下，体重，甚

① 极：宣明论作“热”。

② 永类铃方：此下原文系表格，为了便于阅读，依本书体例，特改为文字。

则附肿。挟风为眩暈，吐喘，烦热，走注，拘急；挟寒为掣痛，为浮肿，无汗恶寒；挟暑烦渴，心腹疼，面垢，背寒；挟风寒二气为痹，皆不可大发汗，不可以火攻，惟当利小便为切要，尤不可轻下。真诰云：诸风湿，栝头理发，欲得多过，通流血脉，数易栝用之。

肝以人迎。常欲人蹈其胸^①上，未苦常欲饮熟^②，风湿三因麻黄白术散、生附白术散。

脾合各脏本部脉，四肢浮肿，身重如石，不能反身转侧，局方术附汤，简易集防己黄芪汤、桂枝附子汤、蠲痹汤、济生羌活汤、羌附散、御院四物附子汤。

肾伤湿脉多沉微缓细，身重腰冷，如坐水中，形如水状反不渴，小便自利，饮食如故，本事薏苡仁散。寒湿，济生渗湿汤、百一选除湿汤、仁斋除眩汤、简易集三因麻黄白术散、术附汤、附子麻黄汤、白术酒。

心肺，湿部云：湿惟中足三阴，故不及心肺。暑湿，局方五苓散、三因白术茯苓乾姜汤、苓术汤、茯苓白术汤、防风汤；肾湿，三因肾著散、仁斋生附汤、局方青娥丸。

内因气不平，喎斜不遂，涎潮昏塞，脉沉伏带急；不内外因，引饮而中湿，脉沉滑，亦为湿证。苏合香丸、三因生附白术汤、附子汤、局方茯苓半夏汤、倍术丸；挟热脐下有悸者，五苓散。

伤 湿

湿为停著，治风湿、寒湿，止当微汗，

若单中湿，只利小便，忌以火攻，并转利，若利之，额汗出，小便不利，微喘者死，下利不止亦死。治湿无如术，然白术性缓，不如苍术之烈，川芎亦能逐水。挟热而小便不利，必用茯苓防己等以通之，又须看所感轻重，若已入脏腑，必为呕泄，喘满，四肢重痛，为郑声，为直视，为浮肿，脐下坚硬，为虚汗，非风寒之易攻，必雄、附、姜、桂、橘、术等作剂，以生附、苍术为主，久服作效。

风湿身疼，日晡发热，不能转侧，短气，汗出恶风，不欲去衣，脉弦而细，或身微肿，汗出当风所致。桂枝附子汤。

风湿寒，身重恶风，喘满，下气上冲，脐下连脚冷痹，不能屈伸，骨节烦疼，近之则痛极，脉浮紧而细。渗湿汤、术附汤、防己黄芪汤加附子。

寒湿，身体烦疼，无汗，恶寒发热，脉浮缓而细，麻黄白术散。发散实表阴湿去寒。

风湿温，烦渴引饮，心腹冷痛，面垢，恶寒恶风，饥不能食，眩暈，呕吐，脉尺寸具浮，此伏暑中风湿也，白术茯苓乾姜汤。治在少阴厥阴，不可汗。

暑湿、风温，恶寒反热，自汗，关节痛，头眩，手足倦，脉阳濡而弱，阴小而急，暑湿所致也。头痛身热，两胫冷汗出，喘息，四肢倦极，先伤风，后伤暑风温，茯苓白术汤。治在太阴，不可汗，汗则不能言，耳聋痛，身青，面色变，名曰中喝，危矣。

玉 机 微 义

湿 门

内经叙湿为诸证

经曰：诸湿肿满、皆属脾土。湿胜则濡泻。地之湿气，感则害人皮肉筋脉。

原病式曰：诸痉强直，积饮宿膈中满，霍乱吐下，体重附肿，肉如泥，按之不起，

皆属于湿。

脉法

脉经曰：脉沉而缓，沉而细，微缓者，皆中湿。脉浮风湿。脉大或浮虚而涩者，皆寒湿。脉来滑疾，身热烦喘，胸满

① 胸：按文义应作“胸”。

② 熟：按文义应作“热”。

口燥，发黄者，湿热。脉洪而缓，阴阳两虚，湿热自甚。脉洪而动，湿热为痛也。

论湿为痿为痹为痛为肿所挟寒热不同

内经曰：因于湿，首如裹，湿热不攘，大筋软短，少筋弛长，软短为拘，弛长为痿。因于气为肿，四维相代，阳气乃竭。

按：丹溪曰：湿者土之浊气，首为诸阳之会，其位高，其气清，其体虚，故聪明系焉。浊气熏蒸，清道不通，沉重不利，似乎有物蒙之，失而不治，湿郁为热，热留不去，大筋软短者，热伤血不能养筋，故为拘挛；小筋弛长，湿伤筋不能束骨，故为痿弱。因于湿，首如裹，各三字为句，湿热不攘以下，各四字为句，文整而意明，第四章因于气为肿，下文不叙，恐有脱简，然王注曰：素常气疾，湿热加之，气湿热争，故为肿也。邪气渐盛，正气渐微，阳气衰少，致邪代正，气不宣通，故四维发肿，诸阳受气于四肢也。但今人见膝间关节肿疼，全以为风治者多误矣。

风寒湿三气杂至，合而为痹也。湿气甚者，为著痹也。其多汗而濡者，阳气少，阴气盛也。伤于寒湿，肌肤尽痛，名曰肌痹。

谨按：湿证挟寒内甚，则腹痛下利，外甚则四肢沉重疼痛，或肌肉濡溃，痹而不仁也。挟风多外甚而身重痛汗出；挟热内甚则湿痢，外甚则或痛、或热、或肿、发黄。如此等证，虽内伤外感不同，况有错杂之邪合至，当论其先后多少分治可也。

寒湿之中人也，皮肤不收，肌肉坚紧，荣血泣，卫气去，故曰虚，虚者，聂辟气不足，按之则气足以温之，故快然而不痛。

按：东垣曰：此清虚之地，气伤人也，必从足始，故地之湿气感则害人皮肉筋脉。夫百病之变，皆生于风雨寒暑，及饮食居处，阴阳喜怒。针经解云：若身形不虚，外邪不能伤也。

要略曰：太阳病，关节疼痛而烦，脉沉而细者，此名中湿，亦曰湿痹，其候小便不利，大便反快，但当利其小便。一身尽痛，发热日晡所剧者，此名风湿，此病伤于汗出当风，或久伤冷所致也。风湿脉浮，身重汗出恶风。风湿相搏，身体疼烦，不能转侧，不呕不渴，脉浮虚而涩。风湿相搏，骨节疼烦，掣痛不得屈伸，近之则痛剧，汗出短气，小便不利，恶风不欲去衣，或身微肿也。

按：已上论风湿寒湿之异。

湿家之为病，一身尽疼，发热身色如熏黄也。湿家病，身疼发热，面黄而喘，头痛鼻塞而烦，其脉大，自能饮食，腹中和无病^①，在头，中寒湿，故鼻塞，内药鼻中则愈。

按：已上前一病本湿热证例，而论不言热，无治法，当分出之，湿家者，唯东南方湿热证多。丹溪曰：湿热相火，为病十居八九。东垣有湿热证例，详见热门。

论中湿为脾虚所致

陈无择曰：脾虚多中湿，故曰湿流关节，中之多使人腹胀，四肢关节疼痛而烦，久则浮肿喘满，昏不知人。挟风则眩晕呕哕，兼寒则拳拳掣痛。治之不得猛发^②及灼艾泄泻，惟利小便为佳也。

谨按：脾虚中湿，内因多中满痞膈泻痢，外感多为痿痹肘肿疼痛等证，盖脾主肌肉尔。况有挟风寒暑热不^③详前人以挟风与湿在表者宜解肌。兼寒与在半表里者宜温散、宜渗泄。唯湿热在里宜下。里虚者宜分消实脾土为上。外感非脾虚宜汗之、灸之，要在适中病情也。

论湿生痰饮 详见咳嗽门。

论湿为泻痢咳疟等证 详见泄泻诸痢等门。

论湿病似中风 详见诸^④风门。

① 病：玉机微义此下有“病”字。

② 发：玉机微义此下有“汗”字。

③ 不：玉机微义此下有“一”字。

④ 诸：玉机微义作“中”。

论湿为脚气 详见脚气门。

治湿大法

贾真孙曰：湿为土气，火热能生湿土，故夏热则万物湿润，秋凉则万物干燥，湿病本不自生，因热而怫郁，不能宣行水道，故停滞而生湿也。况脾土脆弱之人，易为感冒，岂必水不流而后为湿哉！人只知风寒之威严，不知暑湿之炎暄，感人于冥冥之中也。病式云：诸痉强直，积饮等证，皆属于湿，或腠肿体寒，而有水气，里必小便赤少不通，或渴，是蓄热入里极深，非病寒也。大抵治法，宜理脾清热利小便为上，故治湿不利小便，非其治也，宜桂苓甘露，木香、葶苈、木通治

之。守真师曰：葶苈木香散下神芎丸，此药下水湿，消肿胀，利小便，理脾胃，无出乎此也。腹胀脚肿甚者，舟车丸下之，湿热内深发黄，茵陈汤下之，或佐以防己黄芪，一身尽肿痛，或无汗，是湿流关节，邪气在表，宜五苓散加官桂、苍术微汗之，不可大汗。若自汗出多，热燥津液，内水不利，切勿利之，重损津液也，宜防风白术甘草汤主之。其湿证有二，湿热证多，湿寒证少，当以脉证明辨之，如脉滑数，小便赤涩引饮，为湿热证，若小便自利清白，大便泻利，身疼自汗，为寒湿证，治之宜茯^①苓散加生附、苍术、木瓜主之。

金 匱 方

湿

太阳病，关节疼痛而烦，脉沉而细一作缓者，此名湿痹，玉函云中湿。湿痹之候，小便不利，大便反快，但当利其小便。湿家之为病，一身尽疼，一云疼烦。发热，身色如熏黄也。湿家其人但头汗出，背强，欲得被覆向火，若下之早，则哕，或胸满，小便不利，一云利。舌上如胎者，以丹田有热，胸上有寒，渴欲得饮而不能饮，则口燥烦也。湿家下之，额上汗出，微喘，小便利一云不利。者，死，若下利不止者，亦死。风湿相搏，一身尽疼痛，法当汗出而解，值天阴雨不止，医云，此可发汗，汗之病不愈者，何也？盖发其汗，汗大出者，但风气去，湿气在，是故不愈也。若治风湿者，发其汗，但微微似欲出汗者，风湿俱去也。

湿家病，身疼发热，面黄而喘，头痛鼻塞而烦，其脉大，自能饮食，腹中和无病，病在头中寒湿，故鼻塞，内药鼻中则愈。

脉经云病人喘，而无湿家病以下至而喘十三字。湿家身烦疼，可与麻黄加术汤发其汗为宜，慎不可以火攻之。

麻黄加术汤方：

麻黄 三两，去节 桂枝二两，去皮 甘草 一两，炙 杏仁 七十介，去皮尖 白术 四两

右五味，以水九升，先煮麻黄，减二升，去上沫，内诸药，煮取二升半，去滓，温服八合，覆取微似汗。玉机微义治湿胜身烦疼。麻黄 六钱 桂枝 四钱 甘草 炙，二钱 杏仁 二十五箇 白术 八钱 右咬咀，水煎，取微汗，减桂术加薏苡 疑作苡。仁，名麻黄杏仁薏苡甘草汤，治湿胜身疼，日晡所剧者。

病者一身尽疼，发热日晡所剧者，名风湿。此病伤于汗出当风，或久伤取冷所致也。可与麻黄杏仁薏苡甘草汤。

麻黄杏仁薏苡甘草汤方：

麻黄 去节，半两，汤泡 甘草 一两，炙 薏苡仁 半两 杏仁 十介，去皮尖，炒

右銼麻豆大，每服四钱匕，水盞半，煮八分，去滓，温服，有微汗避风。

风湿，脉浮身重，汗出恶风者，防己黄耆汤主之。

防己黄耆汤方：

防己 一两， 甘草半两，炒 白术 七钱半 黄耆

① 茯：玉机微义作“五”。

一两一分，去芦

右锉麻豆大，每抄五钱匕，生姜四片，大枣一枚，水盞半，煎八分，去滓，温服，良久再服。喘者加麻黄半两；胃中不和者加芍药三分；气上冲者加桂枝三分；下有陈寒者加细辛三分。服后当如虫行皮中，从腰下如冰，后坐被上，又以一被绕腰以下，温令微汗差。

三因方治伤风湿寒，脉浮紧细，身重，汗出恶风，玉机微义此下有或痛二字。并治风水，脉浮身重不渴。简易方治风湿相搏，客于皮肤，身重节疼，汗出恶风，□风水客搏，上轻下重，腰脚浮肿，不能屈伸。

防己 四两 微义一两 黄芪 五两 得效方四两，微义一两一钱 甘草 炙，二两 微义半两，伤寒方三两 白术 三两 微义七钱半 右为锉散，每服五钱，微义一两。水盞半，姜五片，枣两枚，煎七分，去滓，空腹服。

王氏易简方右粗末，每三钱，水盞半，生姜三片，枣一枚，煎八分，去滓，稍热服，不以时。此药治伤湿致浮致肿，极有神功。古方令服药后，以被绕腰以下，温令微汗。近世明医深造治湿不利小便，非其治也之旨，只从小便去。喘者加麻黄，得效方一两。胃中不和加芍药，得效方二两。气上冲加桂，得效方一两。下有陈寒加细辛。得效方一两。服药后，当如虫行皮中，从腰以下如水，后坐被上，又以一被绕腰以温下令微汗差^①。简易方云：治湿无如术，然白术性缓，不如苍术之烈，芎藭亦能逐水，其说见于左传。若更挟热而小便不利，则须用茯苓防己之类以通之，然亦视其轻重浅深，若所感重而湿已达于脏腑，必不入食为呕，为泄，为喘满，为四肢重痛，为郑声，为眼直视，睛不能转，为脚肿。若脐下坚硬，为虚汗，非若风

寒之易攻，直须以雄、附、姜、桂、橘、术之类作大剂与服，使药气相接，浸渍攻之，积日持久，乃当渐去，要以生附、苍术为主也，不可以数服，未见效，即用别药。

医方大成治风湿相搏，客在皮肤，四肢少力，关节烦疼。水类铃方方见南阳活人书。防己 四两 黄耆 五两 卫生易简方各一钱 甘草 炙，二两 白术 三两 易简方各半钱 右咬咀，每服三钱，水一盞，姜枣同煎七分，热服，不拘时。医方集成、南北经验方、袖珍方同

伤寒八九日，风湿相搏，身体疼烦，不能自转侧，不呕不渴，脉浮虚而涩者，桂枝

附子汤主之。若大便坚，小便自利者，去桂加白术汤主之。

桂枝附子汤方：

桂枝 四两，去皮 生姜 三两，切 附子 三枚，炮，去皮，破八片 甘草 二两，炙 大枣 十二枚，擘

右五味，以水六升，煮取二升，去滓，分温三服。玉机微义桂枝 八钱 生姜 六钱 附子 三钱 甘草 炙，四钱 右咬咀，入大枣，作二次煎。若小便自利者，去桂加白术汤主之。服后其人如冒状勿怪。

白术附子汤方：

白术 二两 附子 一枚半，炮，去皮 甘草 一两，炙 生姜 一两半，切 大枣 六枚

右五味，以水三升，煮取一升，去滓，分温三服，一服觉身痹，半日许再服，三服都尽，其人如冒状勿怪，即是术附并走皮中，逐水气，未得除故耳。

风湿相搏，骨节疼烦掣痛，不得屈伸，近之则痛剧，汗出短气，小便不利，恶风不欲去衣，或身微肿者，甘草附子汤主之。

甘草附子汤方：

甘草 二两，炙，附子 二枚，炮，去皮 白术 二两 桂枝 四两，去皮

右四味，以水六升，煮取三升，去滓，温服一升，日三服。初服得微汗则解，能食，汗出复烦者，服五合，恐一升多者，服六七合为妙。

玉机微义甘草 炙，四钱 附子 三钱 卫生易简方炮，一钱 白术 四钱 易简方六钱 桂枝 八钱 易简方肉桂 右咬咀，水煎。金匱减桂枝加生姜、大枣，名白术附子汤。易简方每服半两，水一盞，姜五片，煎八分，温服。直指方治中湿，小便不利，大便自利。附子 熟，一箇，七钱，净者 白术 得效方无 甘草 炙，各一两 辣桂 二两 得效方去粗皮 右锉，每服三钱，得效方此下有水一盞半。姜七片煎，食前微温服，汗出加防风，悸气加茯苓。得效方各二钱。

^① 又以一被绕腰以温下令微汗差：金匱作“又以一被绕腰以下，温令微汗差”。

三 因 方

中湿治法

白术酒：治中湿，口噤，不知人。

白术 半两 酒煮方妙

右酒三盏，煎一盏，顿服，不能饮酒，以水代之，日三，夜一。得效方同。医方大成治中湿，骨节疼痛。白术一两，酒三盏，煎一盏，顿服，不能饮酒，以水代之。医方集成、南北经验方、袖珍方、寿域神方、卫生易简方同。

四气兼中证论

风寒暑湿，本乎一气，性中相同，用中相背，风寒既能中五藏，暑湿其可不论。方论有肝著，其人常欲蹈其胸上，未苦时，但欲饮热。脾著，四肢浮肿，身重如石，不能自反身。肾著，身重，腰中冷，如坐水中，形如水状，反不渴，小便自利，食饮如故。心肺不见明文，恐文简脱，难以臆补。或云：湿唯中足三阴，故不及心肺，然五藏有本病，并乘克、胜克、相感、相因而得之。假如风中肝为本病，中脾为胜克，中肺为乘克，中心为相因，中肾为相感，则无所不通，谓湿不及心肺，未为确论，故缺以俟明哲。暑病亦然。况六淫均被，四气皆能中人，中风则有汗，脉必浮弦，恶风，走注；中寒则无汗，脉必紧数，恶寒，疼痛；中暑则昏愤，面垢，脉必虚缓，倦怠；中湿则重著，脉必轻缓，四肢历节疼痛，皆能交错互织，所谓风寒、风湿、风温、寒湿、湿温等，当以人迎脉证别之，令无误差。更有七情内忤，亦能涎潮昏塞，手足瞤曳，一如中风，不可例作六淫气治。其至夭枉，及素蓄痰涎，随气上厥，使人眩晕，昏不知人，半身不遂，口眼喎邪，手足瞤曳者，故有中气、中痰之别，犹当详辨，毋^①使混滥，除外所因方，见于此后，内所因，各见本门。

四气兼中治法

附子汤：治五脏中风寒，手足不仁，口面喎斜，昏晕，失音，眼目瞤动，牙车紧急，不能转动。

附子 炮，去皮脐 桂心 各半两 细辛 去苗 防风 去叉 人参 乾姜 炮。各六钱

右为锉散，每服四钱，水一盏半，姜五片，枣一枚，煎七分，去滓，食前服，或为末，酒调二钱服。得效方同。

防风汤：治中风挟暑，卒然晕倒，面青黑，四肢缓弱，喜呻欠，口喎邪，四肢不仁，好笑。

防风 去叉 泽泻 桂心 杏仁 麸炒，去皮尖 干姜 炮 甘草 炙。各等分

右为锉散，每服四钱，水一盏半，煎七分，去滓，食前服。得效方同。

生附白术汤：治中风湿，昏闷恍惚，胀满身重，手足缓纵，紫紫自汗，失音不语，便利不禁。

附子 生，去皮脐 乾姜 各半两 白术 一两 甘草 一分，炙

右为锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，去滓，食前服。得效方同。

附子麻黄汤：治寒湿所中，昏晕缓弱，或腰背强急，口喎，语声混浊，心腹腹胀，气上喘，不能动转。

附子 炮，去皮脐 麻黄 去节，汤 白术 得效方去芦 乾姜 甘草 炙 人参 等分

右为锉散，每服四钱，水盏半，煎七分，去滓，食前服。得效方同。

苓术汤：治冒暑遭雨，暑湿郁发，四肢不仁，半身不遂，骨节离解，缓弱不收，或入浴晕倒，口眼喎邪，手足瞤曳，皆湿温

· ① 母：三因极一病证方论作“毋”。

类也。

附子 炮,去皮脐 茯苓 漉浆方去皮 白术 漉浆方炒
乾姜 炮 泽泻 桂心 等分 永类铃方肉桂

右为锉散,每服四钱,水盏半,医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、铃方一盞。煎至七分,去滓,食前服。得效方同。

伤湿证治

病者身重,脚弱,关节重疼,发热,恶寒,小便秘涩,大便飧泄,自汗,腰脚冷痹,腿膝浮肿,小便或自利,不渴,皆久坐卑湿,或为雨露所袭,或汗出衣里受湿,渐渍得之,名曰湿痹。

肾著汤: 治 诸方此下有肾虚伤湿四字。身重,腰冷痹,如重^①水中,形如水状,反不渴,小便自利,食饮如故,病属下焦,从身劳汗出,衣里冷湿,久而得之,腰以下冷痛,腰重如带五贯钱。

甘草 炙 白术 各二两 卫生易简方各一钱 乾姜 炮 茯苓 各四两 得效方去皮,易简方各一钱半

右为锉散,每服四大钱,水一盞半,医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方、易简方一盞。煎七分,去滓,食前服。 诸方空心温服。 直指方右锉,每二钱半,水煎服,加桂亦得。

渗湿汤: 治坐卧湿地,或为雨露所袭,身重脚弱,关节重疼,发热恶寒,或小便秘涩,大便飧泄,或汗出衣里,湿渍得之,腿膝或肿,小便利,反不渴。

苍术 米泔浸 白术 得效方去芦 甘草 炙。各二两 干姜 炮 茯苓 各四两 陈皮 丁香 各半两

右锉散,每服四钱,水盏半,姜三片,枣二枚,煎七分,去滓温服。 得效方又云:或腹膨腰脚重滞,青木香丸熟水下兼服。

方见诸症门。 简易方治寒湿所伤,身重腰冷如坐水中,小便或涩或利,大便溏泄,皆因坐卧湿处,或因雨露所袭,或因汗出衣里冷湿,久久得之,腰下重疼,两脚疼痛,腿膝或肿或不肿,小便^②反不渴,悉能主之:苍术 泔浸,炒 白术 粉草 各一两 乾姜 炮 茯苓 各

二两 橘红 丁香 各一分 右咀咀,四钱,水盏半,姜二片, 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方水一盞,姜三片。玉机微义不用姜。枣一枚,煎六分,诸方七分。去滓,铃方空心。温服,诸方食前温服。脾胃不和,呕逆恶心,大便溏泄,并得其宜。 是斋用白术一两 干姜 炮 白茯苓 各二分 甘草 炙,半两 咀咀,生姜煎服,治气虚中湿,浑身倦怠,四肢微冷,腹痛自汗,脚膝疼痛,名除湿汤。又法:生附子 二两 苍术 三两,制 白术 厚朴 制。各二两 木瓜 六钱 粉草 炙,二钱 粗末,每六钱重四盞,姜十五片,煎取两盞,分作二服,亦名除湿汤。一方渗湿汤,方中减橘红、丁香、苍术三味,治肾虚伤湿停著为病,身重,腰冷如水洗状,小便自利,食饮如故,腰重冷痛,如带五千钱者,大宜服此,体虚自汗,尤得其宜,名曰肾著汤。

寒湿证治

病者身体烦疼,无汗,恶寒发热,脉浮缓细,皆寒湿相并所致也。

麻黄白术汤: 治寒 诸方作风湿,身体烦疼,无汗,恶寒发热者。

麻黄 去节,汤,三两 桂心 二两 甘草 炙,一两 医方集成、简易方、南北经验方、袖珍方、永类铃方二两 杏仁 二十粒,去皮尖 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方十六个,铃方三十个 白术 四两 得效方去芦

右为锉散,每服四钱,水盏半,煎七分,去滓,食前温服。

风湿证治

病者身疼,日晡发热,不能转侧,短气,汗出恶风,不欲去衣,或身微肿,脉浮弦细,此风湿相搏,或汗出当风所致也。

桂枝附子汤: 治风湿相搏,身体烦疼,掣痛不得屈伸,汗出短气,小便不利,恶风不欲去衣,或身微肿。

桂枝 去皮,四两 直指方辣桂 白术 得效方去芦 附

① 重: 三因极一病证方论作“坐”。

② 便: 三因极一病证方论作此下有“利”字。

。各三两 甘草炙，二①两

锉散，每服四大钱，直指方二钱半。水盞五片，直指方七片。枣两箇，煎七分，直指去滓，空心温服。或大便秘，则去桂；不利、悸气，加茯苓三两；痹加防己四两；腹痛加芍药四两。简易方同。

风湿寒证治

病者汗出，身重，恶风，喘满，腹内不和，下气上冲，脐下连脚冷痹，不能自屈伸，骨节烦疼，近之则痛极，如历节状，此由冒风湿寒三气杂至而为病也。

防己黄芪汤②方见金匱方。

风湿温证治

病者烦渴引饮，心腹冷痛，燥闷，口乾，面垢，恶寒，恶风，饥不能食，眩暈，呕哕，此伏暑中风湿所致也。治之，各有方法。

白术茯苓乾姜汤：治伏暑中风湿，烦渴引饮，心腹疼，躁闷，口乾，面垢，洒洒恶寒，渐渐恶风，微汗，饥不能食。

白术 得效方去芦 乾姜 简易方炮 茯苓 简易方去皮 细辛 桂心 永类铃方肉桂 乾葛 甘草炙 橘皮 乌梅 简易方去核 京豉 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、铃方豆豉

右等分，为细末，每服二钱，白汤点下。

简易方此下云不拘时。

暑湿风温证治

暑者，六经③气之一，能与风湿并合为

病，循经流入诸藏，但与寒不相得，故有暑湿风温之证。暑湿者，恶寒，反热，自汗，关节尽痛，头目昏眩，手足倦怠，不自胜持，此并伤暑湿所致也。风温者，头痛，身热，常汗出，体重，喘息，四肢不收，嘿嘿欲眠，此由先伤风后伤暑所致也。治之各有方法。

茯苓白术汤：治冒暑毒，加以著湿，或汗未乾，即浴，皆成暑湿。直指方治受湿身体痛重：

茯苓 简易方去皮 乾姜 炮 甘草炙 白术 桂心 各一两 直指方兼桂，加苍术炒等方

右为锉末，每服四钱，直指方三钱。水一盞，得效方一盞半。煎七分，去滓，食前服。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。瘧瘵方治冒雨湿，著于肌肤，或因汗出浸渍，或因澡浴得病，觉腰重脚弱，身体烦痛，头眩等证，其脉细弱。白术一两，炒 附子一两，生、熟临时消息 甘草半两 茯苓去皮，半两 官桂去粗皮，半两 右咬咀，每服四钱，水二盞，生姜七片，煎至六分，去滓，食前服。

姜蕤汤：治风温，兼疗冬温，及春月中风，伤寒，发热，头眩痛，咽喉乾，舌强，胸内疼痛，痞满，腰背拘急。

葛根 麻黄 去节，汤，焙乾，秤 甘草炙 白薇 川芎 羌活 杏仁 各半两，去皮尖 石膏一两，碎 姜蕤 三分 青木香 一分 简易方一两

右锉散，服五钱，水盞半，煎七分，去滓，食前服之，木香冬用一两，春用半两。

简易方一两半。得效方此下云：渴加括楼根二片。

助道方

治湿气腿脚酸疼痛

湿气周游腿脚疼，香苏饮煮鹭鸶藤，木香芍药仍增入，功效如神唤得应。

且如湿气之证，腿脚酸疼，足面赤肿，步履不能，用局方香苏饮一贴，加鹭鸶藤、

木香、赤芍药各二钱，用水四盞，入生姜十片，煎至二盞，去滓，分为四服，食前二服，食后二服，其效如神。

① 二：三因极一病证方论作“三”。

② 防己黄芪汤：方见本卷引金匱方。

③ 经：三因极一病证方论无此字。

是斋医方

除湿汤：治一切中湿，自汗，渐渐①恶风，翕翕发热，阳虚自汗，呼吸少气，风湿、风温，表实里虚，表虚里实，腠理开疏，气道壅塞，虚汗盗汗，目黄身肿，小便不利，胸膈溢满，腰疼体痛，呕吐涎沫。葛丞相云：甚有效验。

白术 白茯苓 苍术 米泔浸 藿香叶 去土 甘草 橘红 厚朴 半夏 各一两 附子 六钱，炮 生姜 二两

右厚朴、半夏、生姜一处捣作饼焙乾，同众药为粗末，每服三钱，水二盏，姜钱十片，煎至一盏，不拘时候。

蠲痹汤：葛丞相方。

羌活 去芦 姜黄 当归 去土，酒浸，一宿 黄耆 蜜炙 赤芍药 防风 去芦。已上各一两半 甘草 半两，炙

右咬咀，每服半两，水二盏，姜五片，煎至一盏，去滓，温服。

直指方

中湿证治

加剂除湿汤：治气虚伤湿，身重腰疼，四肢微冷，或呕逆，或溏泄，并主之。

苍术 炒 白术 甘草 炙。各一两 乾姜 炮 茯苓 各二两 橘红 辣桂 厚朴 制。各半两

右锉，每服三钱，姜枣煎服。

黄耆建中汤：治伤湿，鼻塞身痛。

黄耆 蜜炙 辣桂 各三两 得效方各二两 甘草 炙，二两 白芍药 六两

右粗散，每服三钱，姜四片，枣一枚煎，食前服。

不换金正气散：治湿，益脾顺气，加茯苓、生姜。方见诸寒门。得效方加茯苓一两，生姜每服三片，方见伤寒门。

神术圆：治湿消饮，方见咳嗽门 可用正气散送下。

生附除湿汤：治寒湿交攻，身体冷痛。

附子 生，一②□ 苍术 制，一③□半 白术 厚朴 制，半两 宣木瓜 甘草 炙，各三④□半

右锉，每服四钱，水二盏，姜十厚片，煎一盏，食前微温服。

术附汤：治伤湿，大小便皆自利。

白术 二两 甘草 炒，一两 附子 熟，七钱半

右锉细，每服三钱，姜七片，水一盏半，煎一盏，食前微温服。医方大成治风湿相搏，腰膝疼痛，四肢重著，不呕不渴，大便坚硬，小便自利。甘草 炙，二两 卫生易简方一钱 白术 四两 易简方钱半 附子 炮，去皮脐，薄切片，一两半 易简方半钱 右咬咀，每服三钱，水一盏，姜五片，枣一枚，煎七分，空心温服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

五苓散：治湿证，小便不利。经云：治湿之法，不利小便，非其治也。方见水肿门。

茵陈汤：治湿气瘀热发黄，小便秘涩，渴饮水浆。

茵陈蒿 一两半 大黄 半两 小红栀子 十枚

右锉，每服三钱，水煎服。得效方同。五苓散亦治发黄，二药夹煎，尤稳。

湿泻身痛方：五苓散加苍术，煎点随意。永类铃方同。

① 渐渐：按文义应作“渐渐”。

② 一：此下脱字，仁斋直指附遗方论作“两”。

③ 一：此下脱字，仁斋直指附遗方论作“两”。

④ 三：此下脱字，仁斋直指附遗方论作“钱”。

严氏济生方

中 湿

抚芎汤：治湿流关节，臂疼手重，不可俯仰，或自汗头眩，痰逆恶心。

抚芎 白术 潘豪方去油，略炒 橘红 各一两 甘草炙，半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，姜七片，煎至捌分，去滓，温服，不拘时候。

渗湿汤①：治坐卧湿地，或为雨露所袭，身重脚弱，关节重疼，发热恶寒，或多汗恶风，或腿膝浮肿，或小便不利，大腑溏泄。

白术二两 人参半两 乾姜炮 白芍药 附

子炮，去皮脐 桂枝 不见火 永类铃方肉桂 甘草炙 各半两

右咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，大枣一枚，煎至八分，去滓，温服不拘时候。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方同

羌附汤：治风湿相搏，身体疼烦掣痛。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方手足掣痛。不可屈伸，或身微肿不仁。

羌活 去芦 附子炮，去皮脐 白术 潘豪方炒 甘草炙

右等分，咬咀，每服四钱，水一盏半，生姜五片，煎至七分，去滓，温服，不拘时候。卫生易简方同。

三 法 六 门

湿

五苓散：

官桂 去粗皮 玉机微义一两 泽泻 微义二两半 猪苓 去黑皮 茯苓 去皮 白术 各半两 微义各两半

右为细末，每服二钱，微义三、二钱。热汤或新水调下。

葶苈木香散：玉机微义治湿热，内外余热，水肿腹胀，小便赤涩，大便泄。

苦葶苈 茯苓 去皮 猪苓 去皮。已上各一分 微义各一两 木香 半钱 泽泻 木通 甘草 各半两 桂 一分 微义桂枝半两 滑石 三钱 微义三两，加白术一两

右为末，每服三钱，生姜汤微义白汤。调下，食前服。

白术木香散：

白术 猪苓 泽泻 赤茯苓 各半两 木香 槟榔 各三钱 陈皮二两，去白 官桂一钱 滑石 三两

右为细末，每服五钱，水一盏，生姜三片，同煎至六分，温服，食后服。

大橘皮汤：袖珍方治湿热内甚，心腹胀

满，水肿，小便不利，大便滑泄。玉机微义同。

橘皮 一两半 南北经验方半两 木香 一分 微义一钱 滑石 六两 槟榔 三钱 茯苓 一两 猪苓 去黑皮 泽泻 白术 官桂 已上各半两 微义桂枝 甘草 二钱

右为末，每服五钱，微义六七钱。水一盏，生姜五片，煎至六分，去滓，温服，食后。

神助散：

苦葶苈 三②两，炒 黑牵牛 三两半，微炒，取头末用 泽泻 二两 猪苓 二两，去皮 椒目 一两半③

右为细末，每服葱白三茎，浆水一盏，煎至半盏，入酒半盏，调药三钱，绝早面东服之。

桂苓白术丸：

官桂 茯苓 半夏 已上各一两 乾生姜 一分 白术 红④皮 去白 泽泻 黄连 各半两 黄柏 二两

① 渗湿汤：济生方本方中尚有“白茯苓去皮，半两”。

② 三：儒门事亲作“二”。

③ 一两半：儒门事亲作“半两”。

④ 红：儒门事亲作“橘”。

右为末，面糊为丸，如小豆大，每服二十五丸，生姜汤下，食后。

桂苓白术散：

官桂 茯苓 白术 已上各半两 甘草 泽泻 石膏 寒水石 已上各一两 滑石 二两

右为细末，热汤调三钱，新水生姜汤亦可，食后服。

白术调中汤：

白术 茯苓 红①皮 去白 泽泻 已上各半两
甘草 一两 乾姜 炒 官桂 缩砂仁 藿香 已上各一分

右为末，白汤化蜜少许调下二钱，无时，炼蜜每两作十丸，名曰白术调中丸。

得效方

伤 湿

香苏散②加苍术、川芎、白芷、木瓜对合，各用四钱，生姜三片煎服，日近远年伤湿，倦弱如虚损，多服取效。方见伤寒门。

瓜蒂搐鼻法：治伤湿鼻塞头疼。瓜蒂不以多少，咬咀为细末，口含水，搐一字许入鼻中，流出黄水即效。

中 湿

加味术附汤：治中湿脉沉而微缓，湿喜归脾，流于关节，中之多使人腹臌胀，倦

息，四肢关节疼痛而烦，或一身重著，久则浮肿喘满，昏不知人。挟风眩暈呕哕；兼寒则拳拳掣痛。治之不得猛发汗、灼艾、通泄，惟利小便为佳，此方主之，及治大小便皆自利。

白术 去芦 甘草 炒，乙两 附子 炮，乙两半 赤茯苓 乙两

右锉散，每服五钱，姜七片，枣二枚煎，日三服，才见身痹又三服，当如冒状，勿怪，盖术附并行皮中，逐水气故尔，法合加桂一两，大便坚小便利则勿加。

澹 寮 方

中 湿

七味除湿汤：治寒湿所伤，身重体痛，腠开汗去，大便澹泄，小便或涩，或利，腰脚酸疼，腿膝浮肿，及胃寒呕逆，悉主之。

半夏曲 炒 永类铃方半夏制 厚朴 姜制 苍术 米泔制。各二两 藿香叶 去土 陈橘皮 去白 赤茯苓 去皮。各一两 医方大成、集成白茯苓 甘草 炙，七钱 大成

加白术一两，生用。铃方云：易简去白术，用赤茯苓。

右锉，每服四钱，水一盏半，大成一盏。生姜七片，枣一枚，同煎至七分，去滓，食前温服。医方集成、南北经验方、袖珍方、铃方与大成同。

牡蛎散：治破伤湿，口噤强直。

牡蛎

右以末粉，付疮口，仍以甘草汤调服贰钱。

医 方 大 成

湿

和剂方五苓散③：方见诸暑门。治伤湿有热，

① 红：儒门事亲作“橘”。

② 香苏散：方见本书卷五十二伤寒门二十六。

③ 和剂方五苓散：方见本书卷一百二十七水肿门二。

小便赤少。医方集成、南北经验方、袖珍方同，永类铃方云：
本方风湿加葱白煎。

仁斋直指方生附汤：治受湿腰痛。

附子 生，二钱半 苍术 炒 杜仲 姜炒，各半两 乾姜 生 白术 茯苓 牛膝 酒浸，焙 厚朴 制 甘草 炙。各二钱半

右咬咀，每服三钱，姜三片，枣一枚，
永类铃方二个食前煎服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

本事方薏苡仁散：治湿气伤肾，肝气
不调，自然生风，遂成风湿，流注四肢，肌肉疼痛。

薏苡仁一两 当归 小川芎 乾姜 甘草
官桂 川乌 防风 茵芋 人参 羌活 白
术 麻黄 独活 各半两

右为细末，每服二钱，空心临卧酒调下，
日三服。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类铃方同。

御药院方四物附子汤：治风湿相搏，
骨节烦疼，四肢拘急，不得屈伸。

附子 炮，一钱 肉桂 八钱 白术 六钱 甘草
四钱

右咬咀，每服半两，水一盞，姜五片，
煎八分，温服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

仁斋直指方芎术除眩汤：治感寒湿，
头目眩晕。

附子 白术 川芎 各半两 官桂 甘草
炙，各二钱半

右咬咀，每服三钱，袖珍方水一盞半姜七片，
食前煎服。医方集成、南北经验方、永类铃方同。

南北经验方

·湿

拔粹方麒麟竭散：治寒湿传于经络，
疼痛不可忍。

血竭 南乳香 没药 白芍药 当归
袖珍方各六钱 水蛭 杵 碎，炒令烟尽 麝香 各二钱 袖珍
方各三钱 虎脑骨 酥炒黄，五钱

右八味为末，和匀，每服三钱，温酒调
下，食前。

拔粹方赤茯苓丸：治脾湿太过，四肢
肿满，腹胀喘逆，气不宣通，小便赤涩。

葶苈四两 防己二两 赤茯苓二两 木香半两
右为细末，枣肉为丸，梧子大，每服三
十丸，煎桑白汤下，食前。袖珍方同。

袖珍方

·湿

清燥汤①：六七月之间，湿令大行，子
能令母实而热旺，湿热相合而刑庚大肠，故
寒凉以救之。燥金受湿热之邪，绝寒水生化
之源，源绝则肾亏，痿厥之疾大作，腰以下
痿软，瘫痪不能动，行步不正，两足倚侧。

黄耆一钱半 黄连一分 苍术一钱 五味子
九个 白术 橘皮半钱 人参三钱 麦门冬 当
归 生地黄 神曲二钱 茯苓三钱 猪苓二钱
酒黄柏一钱 柴胡一钱 升麻三分 甘草二钱

右咬咀②，用水二盞，煎至一盞，去滓，

通口服，食前。

除湿丹：治诸湿客搏，腰膝重痛，足
胫浮肿，筋脉紧急，津液凝涩，便溺不利，
目赤瘾疹，疽痈发背，疥癣，走注，脚气，
无首尾疮疖，不可尽述。

槟榔 甘遂 葳灵仙 赤芍药 泽泻
葶苈 各二两 乳香 没药 各一两 牵牛五分 玉机微
义半两 大戟 炒，三两 陈皮 去白，四两

右为末，面糊丸，如桐子大，每服五十

① 清燥汤：袖珍方本方中尚有“泽泻五分”。

② 咀：袖珍方此下有“每服半两”四字。

丸，加至七八十丸，温水下，如服药前后，忌酒二日，药后亦忌湿面三、两日，食温淡粥，补胃尤佳。

羌活胜湿汤：如脊痛项强，腰似折，项似拔，上冲头痛，及足经不行。

羌活 独活 一钱 藁本 半钱 防风 半钱 蔓荆子 三分 川芎 二分 甘草 半钱

如身重，腰沉沉然，乃经中有湿热也，加柏一钱，附子半钱，苍术二钱。水二盏，煎至一盏，去渣，温服^①。

二仙散：治^②气下注，因久坐久立阴湿之地，坐卧当风，醉脱靴鞋，皆^③脚气。若暑月久立，湿热郁蒸，策^④滞不^⑤热；冬月寒气冷麻，或疼痛闷乱，晴阴皆发，富贵人亦有此，用验。

蓬莪术 一两半 玄胡索 一两 蛤粉 三两 陈皮 一两

右为末，二钱，炒黑豆五十粒，姜汤调下。

一方：湿入肾经，曾有大学士，夏月浴出，未解裙^⑥忽侵热，遂致湿入肾经，外肾肿，腰背曲，名医以五苓散一贴，入胭脂少许，下青木香丸一贴，如此三服，脏腑^⑦过肿消，腰直痛止。

治背痛：

片姜黄 四两 甘草 炙 羌活 一两 白术 二两

右咬咀，水二盏，煎随意至一盏，去滓，温服，食后。曾若左臂痛，或为风、为湿，针灸诸药不效，如腰已下痛，加陈皮、海桐皮、当归、赤芍药各二两，立效。

木瓜虎骨丸：治寒湿，合而成痹，脚痛不仁，疼痛少力，足下^⑧□痛，不能踏地，腰腿筋挛不能屈伸，及项背拘急，手臂无力，耳内蝉声，头眩目旋诸证，脚气行步艰难，宜服。

木瓜 血竭 没药 虎胫骨 酒炙 木香 自然铜 松香 碎补^⑨ 当归 甜瓜仁 败龟 炙 肉桂 各一两 安息香 一两，酒熬 乳香 五钱 地龙 二两，去土

右为末，糊丸如桐子大，每服三五十丸，木瓜汤下^⑩。

虎骨丸：治经络凝滞，骨节疼痛，筋脉挛急，遇阴愈痛。

乳香 没药 赤芍药 当归 熟地黄 虎骨 酥炙，一两 血竭 二钱半

右为末，用木瓜一枚，切破，去子，入乳香一钱末在内，麻缠定，好酒二升煮，酒浸，取木瓜去皮，研，入蜜丸如桐子大，每服三五十丸，酒下。

独活寄生汤：治肾气虚弱，冷卧湿地，腰背拘急，筋挛骨痛，或当风取凉过度，风邪流入脚膝，为偏枯、冷痹、缓弱、疼痛，或腰痛牵引，脚重行步艰难。

独活 三两 桑寄生 杜仲 牛膝 酒浸 细辛 秦艽 茯苓 桂心 防风 川芎 人参 甘草 当归 芍药 地黄 各二两

右咬咀，每服一两，生姜三片，水二盏煎，去渣，通口食前服。

五皮散：治男子妇人脾气停滞，风湿客搏，脾经受湿，气不流行，及头面虚浮，四肢肿满，心腹胀满，上气促急，腹胁如鼓，绕脐胀闷，有妨饮食，上攻下注，来去不定，举动喘乏，并皆治之。

大腹皮 五加皮 地骨皮 姜皮 茯苓 各等

右件，用水二盏，煎至一盏，去渣，通口服之，忌生冷、油腻、坚硬物。

枳术导滞丸：治伤湿热之物，不得施化而作痞满，闷乱不安。

茯苓 黄芩 白术 黄连 各三钱 泽泻 二钱

① 服：袖珍方此下有“食后”二字。

② 治：袖珍方此下有“湿”字。

③ 皆：袖珍方此下有“成”字。

④ 策：袖珍方作“荣”。

⑤ 不：袖珍方此下有“和发”二字。

⑥ 裙：袖珍方此下有“衫”字。

⑦ 腑：袖珍方此下有“才”字。

⑧ 下：此下脱字袖珍方作“痛”。

⑨ 碎补：袖珍方作“骨碎补去毛”。

⑩ 下：袖珍方此下有“温酒亦得”四字。

枳实 神曲 炒。各五钱 大黄 二两

右件，汤浸，蒸饼为丸，如梧桐子大，每服五七十丸，温水下，食远。

导水丸①：

大黄 茯苓②各二两 滑石 牛末③各四两

去湿热腰痛，泄水湿肿痛，久雨则加甘遂一两；去遍身走注肿痛，加白芥子一两；退热散肿毒止痛，久旱④宜加朴硝一两；散结滞，通关节，润肠胃，行滞气血脉，加郁

李仁一两；去腰腿沉重，加樟柳根一两。

右为末，水丸桐子大，每服五十丸，加至一百丸，临卧温水下。

天麻散： 治风湿疼痛，黄肿。

天麻 全蝎 各四钱 地黄 木瓜 各三钱 没药 乳香 川山甲 各一钱 川芎 乌头 各二钱 牛膝 二钱，酒浸一宿 当归 三钱

右为末，每服三钱，空心温酒调服。

永类铃方

湿气瘀热发黄方： 茵陈汤、五苓散打 和煎。

玉机微义

湿

解表之剂

金匱防己黄芪汤 方见本方。

按：湿胜身重，阳微中风则汗出，恶风，故用黄芪、炙草实表，防己、白术胜湿也，足三阴例药。

桂枝附子汤 甘草附子汤⑤方并见金匱方。

按：此二方，足太阳例药，解肌之剂也。

麻黄加术汤⑥ 方见金匱方。

按此太阳发表例药，已上诸方，治风寒湿之剂。

元戎加味五苓散： 治湿胜身痛，小便不利，体重发渴，本方加羌活。

按此太阳解表渗利之剂，治风湿寒湿药也。

局方五积散⑦： 治外感风⑧，冒寒湿，身体重痛。 方见伤寒门。

按：海藏云：麻黄、桂、芍、甘草，即麻黄桂枝各半汤也。苍术、甘草、陈皮、厚朴，即平胃散也。枳壳、桔梗、陈皮、茯苓、半夏，即桔梗半夏等汤也。又川芎、当归治血，兼乾姜、厚朴散气，此数药相合，为解

表温中泄湿之剂，去痰消痞调经之方，虽为内寒外感表里之分之所制，实非仲景表里麻黄桂枝姜附之的方也。至于积冷呕泄，时疫项背拘急，加葱白、豆豉；痰作，散。厥逆加吴茱萸，寒热咳逆加枣；妇人难产加醋。始知用之非一途也，惟知活法者其择之。

东垣羌活汤⑨： 治湿热自甚身重，或眩晕麻木，小便涩赤，下焦痿弱无力，行步不正。 方见伤寒门。

按：此胜湿升阳之剂也，出太阳茯苓泽泻例。

温散之剂

真武汤： 治寒少，其腹痛下利，四肢沉重。 附子汤⑩方并见伤寒门。

按：此少阴药也。

① 丸：袖珍方此下有“治带暑湿热”五字。

② 茯苓：袖珍方作“黄芩”。

③ 牛末：袖珍方作“黑牵牛头末”。

④ 旱：袖珍方作“早”。

⑤ 桂枝附子汤、甘草附子汤：方并见本卷引金匱方。

⑥ 麻黄加术汤：方见本卷引金匱方。

⑦ 五积散：方见本卷五十二伤寒门二十六。

⑧ 风：玉机微义此下有“寒”字。

⑨ 羌活汤：方见本书卷五十八伤寒门三十二。

⑩ 真武汤、附子汤：方并见本书卷五十四伤寒门二十八。

局方渗湿汤^①：方见三因方。

按：此足阳明太阴药也，温中胜湿之剂。

治热散郁之剂

茵陈五苓散：治湿热胜，发热黄疸。

茵陈蒿 十分 五苓散 五分

右二物和匀，水煎服。

宣明桂苓甘露饮^②：治湿热内甚，烦渴泻^③，小便涩，大便急痛，霍^④乱吐下，头痛口乾。方见诸暑门。

大橘皮汤、葶苈木香散^⑤ 方并见三法六门。

按：已上诸方，出大阳例药也。河间曰：若小便不得通利而反转泄者，乃湿热痞闷极深而攻之不开，是能反为注泄，此正气已衰而多难救，慎不可与此也，然当滋其化源。

东垣清燥汤^⑥：治表里有湿热，痿厥瘫痪，不能行走，或足踝膝上皆踵痛，口乾泻利。方见诸虚门。

按：阴阳两虚，湿热甚者，不可缺此。

当归拈痛汤^⑦：方见诸虚门。

按：此治湿热盛实之剂。

宣剂

瓜蒂散：治中寒湿，头痛，面黄，鼻塞，烦而脉大。

瓜蒂 一味为末

右以些小于鼻内吹之，其水自下。

按：湿盛致痰液留膈上，肩背重痛麻痹者，宜此吐之，出足太阳例药也。

攻下之剂

宣明三花神佑丸^⑧：治一切水湿肿病，大腹实胀，喘满。方见水肿门。

舟车丸：

大黄 二两 甘遂 大戟 芫花 青皮 陈皮 各一两 牵牛 头末四两 木香 半两

右为末，水丸如梧子大，每六七十丸，白汤下，随证临时加减。

浚川散：

大黄 煨，二两 郁李仁 二两 芒硝 半两 甘遂 一两，制 牵牛 头末，四两

右为末，姜汤调下半钱，空心临卧，随

证加减服。

导水丸：治湿热内郁，胸臃痞闷，黧衄，口血^⑨生疮，咽喉不利，牙疳齿蚀，口臭，或遍身生湿疮乾疥，睡语咬牙，惊惕怔忡，大小便滞涩，风热、酒毒、蕴热等证。

大黄 黄芩 各二两 牵牛 头末 滑石 各四两
右为末，水丸如桐子大，每四五十丸，煎^⑩水下，随证临时加减。

按：已上诸方，出阳明例药也，又气血之剂，湿热甚者，非此不能除，但中病即止，虚弱者真^⑪之。政^⑫守真亦云：正气已衰者，不可与葶苈木香散，况已上药乎。

禹功散^⑬：方见诸虚门。除湿丹^⑭：方见袖珍方。

按：此出太阳例药。诸湿郁滞于表里，重痛沉著，非此不除。

东垣海金沙散：治脾湿太过，通身踵^⑮满，喘不得卧，及腹胀如鼓。

牵牛 一两半，微炒 甘遂 半两 白术 一两 海金沙 三钱

右为末，每二钱，煎倒流水调下，得利，止后服。

圣灵丹：治脾肺有湿，喘满踵^⑯盛，小便赤涩。

苦葶苈 四两，炒 茯苓 寒食面包，煨 木香 槟榔 汉防己 木通 人参 各二钱半

右为末，枣肉丸梧子大，每三十丸，桑白皮汤下。

续随子丸：治肺经有湿，通身虚踵^⑰，

① 渗湿汤：方见本卷引三因方。

② 桂苓甘露饮：方见本卷引得效方。

③ 泻：玉机微义此下有“利”字。

④ 霍：玉机微义作“霍”。

⑤ 大橘皮汤、葶苈木香散：方并见本卷引三法六门。

⑥ 东垣清燥汤：方见本书卷一百五十三诸虚门十一。

⑦ 当归拈痛汤：方见本书卷一百九十二诸虚门五。

⑧ 三花神佑丸：方见本书卷一百二十八水肿门三。

⑨ 血：玉机微义作“舌”。

⑩ 煎：玉机微义作“热”。

⑪ 真：玉机微义作“慎”。

⑫ 政：玉机微义作“故”。

⑬ 禹功散：方见本书卷九十诸虚门二。

⑭ 除湿丹：方见本卷引袖珍方。

⑮ 踵：玉机微义作“肿”。

⑯ 踵：玉机微义作“肿”。

⑰ 踵：玉机微义作“肿”。

满闷不快，或咳或喘。

人参 汉防己 赤茯苓 如上煨 槟榔 木香各半两 葶苈四两，炒 续随子一两 海金砂半两

右为末，枣白丸梧子大，每三十丸，桑白皮煎汤下。

按：此三方，并太阳例药，当较其轻重，选使可也。

升散渗利之剂

机要白术芍药汤 白术汤 茯苓汤

东垣升阳除湿汤 升阳除湿防风汤^①

方并见泄泻门。

导滞通经汤：治脾湿有余，气不宣通，面目手足肿，注闷而痛。

五苓内减猪苓、桂，加木香、陈皮。

右咬咀，每服五钱，水煎。

局方五苓散^②方见三法六门。

按：已上诸方，并太阳例药，宜随证选用。

平胃散：

苍术八两 陈皮五两 甘草炒，三两 厚朴五两
右为末，每三钱，姜枣煎，或盐汤点服。

对金饮子：治脾胃受湿，腹胀，米谷不化，饮食不进，身体沉重，肢节酸疼，皮肤微肿。 凝作肿。

平胃散一两 桑白皮炒，一两

右为末，每三二钱，入姜煎服。

按：此二方足太阴、阳明、手太阴药也。

丹溪越鞠丸：治湿郁。

苍术 抚芎 白芷

寿域神方

湿 部

诸湿腰疼，四肢肿满，及酒伤，胸胁刺痛，口乾目黄；用甘遂一两煮，当归、陈皮各半两为末，每服三钱，食前调下。 卫生易简方同。

肠胃受湿，大便闭涩：用槟榔为末，每

服二钱，以蜜汤点服，不拘时。 卫生易简方同。

热湿气，用旱芹菜为末，麴糊丸，如梧子大，每服三四十丸，空心食前温酒盐汤下，大能杀百虫。 卫生易简方同。

一切风湿痹，四肢拘挛疼痛，用苍耳去刺为末三两，水一升半，煮取七合，去滓，呷服，不拘时。 卫生易简方同。

卫生易简方

诸 湿

治脚膝风湿疼痛，及阴汗。烧白矾灰一匙，沸汤投之，淋洗患处。

治寒湿气疼痛。用生姜汁半碗，米醋一盞，水胶四两，熬稠，入肉桂、花椒、皂角末各一两，搅成膏，以绢摊贴患处。

治湿痹风瘙瘾疹痒，并小儿赤游风，至心即死。用接骨草即蒴藿煎汁洗之。

治风湿相搏。用竹边草为末，酒糊丸，如桐子大，每服三十丸，温酒盐汤下，日三

服，效。

治风湿寒热，邪气热结，黄疸，小便不利。用山茵陈煎服。

治风湿相搏，麻痹无力。用五叶金花，晒干为末，每服一二钱，当归酒调下。

治寒湿脚气。用香樟草煎汤洗，去肿。

又方：用蔓陀罗煎汤洗。

治腰脚湿痛。黑牵牛、大黄各二两，白

① 白术芍药汤、白术汤、茯苓汤、东垣升阳除湿汤、升阳除湿防风汤：方并见本书卷一百四十三泄泻门三。

② 局方五苓散：方见本卷引三法六门。

术一两。为末，滴水丸如桐子大，每服三十丸，食前生姜汤下。如要快利，加至百丸^①。

治湿伤肾经，腰重冷痛，小便自利。用附子炮去皮脐、白术各一两，杜仲去皮炒丝去半两^②，每服四钱，水二^③盏，姜七片，煎七分，空心温服。

治脾湿太过，四肢肿满，腹胀喘逆，气不宣通，小便赤涩。用葶苈四两、防己二两、赤茯苓一两、木香半两 为末，枣肉丸如桐子大，每服三十丸，食前桑白皮汤下。

治当风卧湿遇冷所中等病。用黄粱米五升，水一斗，煮三升，澄清，稍稍饮。

治一切风湿，走注疼痛。用生熟地黄、马鞭草各半斤，吴茱萸、白面各三两，骨碎补、乾生姜各四两，鳖甲三斤^④炙，蒲黄二两，为末，米醋调如膏，温热摊贴痛处，以纸裹之，候冷，再温热贴，如此七次，于

避风处^⑤。

治湿气，定疼退肿。用骨碎补去毛、乾生姜、生地黄各一斤，蒲黄半斤，白面二斤，为末，拌匀，用米醋熬滚热调，待温傅痛处，药冷再用热醋调傅，如此七次，用帛裹之，大效。一料分作七分，七日用之。

治风湿。用苍术一斤米泔浸，竹刀刮去皮，晒乾，半斤以童便浸，半斤无灰酒浸，春秋五日，夏三日，冬十日，掘一地坑，以炭火煨红，去炭，将便酒浸术共倾坑内，封固一宿，取术为末，每服一钱，空心盐汤或酒调下，常服除湿、壮筋骨、明目。

治一切湿肿，心腹胀闷，不思饮食。用黑牵牛头末二两，木通五钱，为末，每服三五钱，临卧生姜汤调服。亦治诸积、诸气、诸痛，停食。忌油腻物。

金匱钩玄

湿

本草苍术治湿，上下都可用。

二陈汤加酒黄芩、羌活、苍术，散风行湿^⑥。

① 丸：卫生易简方此下有“虚人忌用”四字。

② 炒丝去半两：卫生易简方作“炒断丝二两”。

③ 二：卫生易简方作“一”。

④ 斤：卫生易简方作“两”。

⑤ 于避风处：卫生易简方作“避风自愈”。

⑥ 散风行湿：金匱钩玄作“散风之药，行湿最妙”。

聚 类 方 医

本 点 校

(第 一 分 册)

浙江省中医研究所
湖州中医院 校

人 民 卫 生 出 版 社

醫方類聚

趙傑初延

卷之十一



出版说明

《医方类聚》原系朝鲜金礼蒙等辑录我国明代以前医籍一百五十多种加以分类汇编而成。由于书内有些资料在我国早已散佚，因此，本书对于整理研究祖国医学很有参考价值。但此书在朝鲜也早已散佚，约于1852年间，日本人丹波元坚将家藏的此书残本（原缺十二卷），倩人参考诸家加以补入，并仿朝鲜原本活字铅印，刊于1861年，即江户学训堂本。

《医方类聚》原书共二百六十六卷（现存二百六十二卷，缺卷一五五、卷一五六、卷二〇九、卷二二〇），分为九十二门，收方五万余，约九百五十余万字。本书有论有方，内容极为丰富，除了博引历代各家方书外，并兼收其他传记杂说及道藏佛书等有关医药的内容，故本书拥有明代以前广大人民的医疗经验。

由于本书内容系引自他书且又经翻印，故错讹脱漏较多，此次排印前，由浙江省中医研究所、湖州中医院两单位组成了《医方类聚》校点小组，以日本江户学训堂本为底本，旁校各书进行了一些校勘并加以标点。因原书卷帙浩大，为便于阅读，故分册陆续出版。

人民卫生出版社

一九七九年十一月

校点说明

《医方类聚》(以下简称《类聚》)原系朝鲜金礼蒙等所编(成书于公元1445年),是辑录我国明代以前医籍一百五十多种加以汇编而成,内容极为丰富广博,堪称集医方之大成。但由于本书国内所存为数极少,且有残缺,而原书错讹脱漏较多,又未加标点,给阅读带来一定困难。因此,对本书进行校注刊印,使之“古为今用”,这对于整理研究祖国医学有重大意义。

这次校点,我们是采用日本江户学训堂活字排印版为底本,全书共二百六十六卷,分九十二门,约有五万余方,九百五十余万字。在保留原书面貌的前提下,根据现有条件,加以校点。具体方法如下:

一、《类聚》本所引用的一百五十多种书籍之中,有些资料在我国早已散佚,因此,只能采取旁校和参校相结合的方法,即有旁校本者,原则上做到逐字逐句进行校讎;若无旁校本可查,则根据文义,尽量参考其他有关书籍,予以参校。为使读者了解校注情况,将所引用书名、版本等,一一列出,附于书末。

二、原书编者在辑录他书时,大多节录原文,但由于引用之书,常因辗转传抄,版本不一,以致某些文句,难免有所出入。因此,在校点过程中,凡《类聚》本与旁校本有差异者,根据情况分别处理。若两者文字虽有不同,而意义基本相同,或以《类聚》本义长者,一般不予校注;若《类聚》本有错漏不通之处,并确有实据而无疑义者,或虽有疑义而无旁校本、参校本可据,但按中医文义可以论证者,均加以校注,说明××书作××,或按文义作××等等。

三、《类聚》本在引用他书时,除节录原文外,有些还经过编者一番化裁,甚至综合数家之说为一,虽和旁校本文句有较大出入,但其实质内容无重要差异者,一般不加校注。

四、对少数有疑义之处,一时找不到书籍进行校讎,又无法用中医理论和文义予以论证的,则存疑待考。

五、凡需校注之处,均在该字、该方或该段之下,加以脚码而不改动原文,并按脚码顺序注于页末。

六、原书卷154劳瘵门一、及卷155、156、209、220原阙。少数篇幅如卷149诸虚门七引卫生十全方、神巧万全方,卷154诸虚门十二引御医撮要等仅有目而无正文,这次校点,实难补全,故未加校注。

七、全书添加标点符号以利阅读。

八、原书中引永类铃方、儒门事亲的表格部分,为便于阅读,按原体例改为文字,并加注说明。

九、原书古体字、异体字不强求统一简化。对于笔划残缺之字,迺予更正。对于错字、漏字则均予补正,并加校注。

十、原书所引用书名,有的用全称,有的用简称,有的甚至将篇名作书名,情况较为复杂,故一律不加书名号。

十一、为了便于查阅,每分册均补加目录。对原散在各卷中目录,重新予以整理,分别

编排在每分册目录之中。

十二、本书采取横排形式，书中所有“右件药”、“右咬咀”等“右”字，按现有形式应改为“上”字，但为了保存古书原字，不予改动，望读者注意。

十三、鉴于原书引用典籍较多，而各书在体例上互有差异，因此本书在层次编排上虽力求格式统一，但殊难强求一律。

十四、原书由于受当时历史条件的限制，在内容上掺杂着某些唯心主义和封建迷信的成分。为保留原书的面貌，除明显之淫秽、符咒等荒诞内容，予以删文存目外，其他一般不作改动。希望读者有分析地加以接受。

本书校点工作，在省卫生局大力支持和所、院领导的直接领导下，成立了《医方类聚》校点小组。参加编写的人员有潘澄濂、朱承汉、凌天翼、陆拯、盛增秀、金泽民、金泽世、李慕期、张烨敏、施仁潮、陈勇毅、王英等同志。

在编写过程中，得到人民卫生出版社赵铤同志具体指导和认真审阅，并提供资料，使校点工作得以如期完成，谨此表示衷心感谢。

由于我们对整理古代文献缺乏经验，加上旁校书不全，难免存在不少问题，请予批评指正。

浙江省中医研究所
湖州中医院

一九七九年十一月

聚珍版医方类聚序

医之为道广矣大矣，盖自非学淹贯古今、融会群言，无以能应万变，奏回天之功，而况能笔之于书，以贻后生，则宜乎难其人也。尝窃求之，其网罗荟萃称集大成者，未有如朝鲜国所辑医方类聚也。其书不详出于何代何人，然所援引书，乃止于明永乐间。而其国许浚东医宝鉴曰：本国祖宗朝命文官医官撰集。金安国慕斋集梁文襄公碑铭叙称校进医方类聚，梁名诚之，正统六年进士，历仕六主，以成化十三年没。然则当时编纂年岁，亦约略可知耳。书凡二百六十六卷，卷为厚册，其所采摭凡一百五十余部，而宋元佚书亦复为不尠，盖篇帙之富，为见存医籍之冠，学者犹铸山为铜，煮海为盐，真方术之大观，济生之宝筏也。但是书世仅传一部，云文禄之役，将帅加藤清正所获。后二百年，先教谕得之一医家，什袭藏弃之，又每拔其粹以供临处之用。而时或有借贷誊录者，亦每苦篇帙浩瀚，往往不能果。同僚喜多村士栗，既博通其学，恨是书之最裨人世，而世绝罕传本，遂鸠精工附之聚珍版。同志闻之扑跃，各醵金以助其费。士栗于是益加勉励，将陆续告竣，可谓盛矣。原本所缺凡十二卷，士栗倩弘前医员涩江道纯参考诸家略补足之，其功亦不可没也。抑夫我大府厚恤民隐，甚重医术，施药剂，济孤贫，设庠舍，诱医生，救艰疗厄之具，靡不毕备。士栗入为侍直兼教谕医庠，今又有此盛举，俾学者得以能应万变奏回天之功，其仰体国家好生之德，而拯黔黎之夭札者，其在于斯乎，其在于斯乎。大日本嘉永五年四月朔江戸侍医尚药兼医学教谕丹波元坚撰。

医方类聚凡例^①

- 一 诸方以世代先后,分门编入,不分细目。如风门,金匱方毕书后继书诸方风门。
- 一 一门内一药重出,而治证、药材、服法无加减,则于初见处,书某方同;大同小异,则其异者分附;小同大异,则全方附录。
- 一 诸方论去其重复,不书某方同或文同,而首尾稍异,则略举首语,而书云云,连书其尾语。
- 一 诸门内论及药毕书后,继书食治、禁忌、导引。
- 一 一药证治兼诸病者,不分书各门,但依本方所载之门书之。
- 一 如金匱方矾石汤本在风门,其证虽曰治脚气冲心,今依本方,书于风门,余仿此。
- 一 凡药再见者,于初见方附之。若得效方、玉机微义等首尾相连之书,则又于本方只书药名,注云方见某方。
- 一 诸方本文加圈者,空一字书之。今附录者,首附方名上加圈别之。药材下今附注亦皆圈之。
- 一 一药内他方附录时,首书者备举方名,继书则略举。如首书巢氏病源,则略书巢源之类。

① 医方类聚凡例:本书校点本的规格体例与本凡例有所出入为保持原书面貌,此凡例仍依其旧。

引用诸书

黄帝内经素问
灵枢
运气
遗篇
明堂灸经
针经
针灸经
难经
难经本义
伤寒论
伤寒论注解
五脏论
金匱方
王叔和脉诀
王氏脉经
龙树菩萨眼论
巢氏病源
千金方
千金翼方
千金月令
海上仙方
福寿论
五脏六腑图
食医心鉴
产宝
小儿药证
圣惠方
四时纂要
铜人经
和剂局方
简要济众方
王岳产书
修真秘诀
小儿药证直诀

宝丹要诀
大全本草
三因方
卫生十全方
神巧万全方
通真子伤寒括要
南阳活人书
无求子活人书
伤寒活人书
伤寒百问歌
伤寒百证歌
助道方
是斋医方
琐碎录
资生经
易简方
玉函经
黎居士简易方
黎居士决脉精要
断病提纲
王氏易简方
仁斋直指方
直指小儿方
直指脉诀
伤寒类书
外科精要
胎产救急方
朱氏集验方
李晞范脉诀
严氏济生方
严氏济生续方
管见大全良方
妇人大全良方
修月鲁般经

伤寒明理论
儒门事亲
治病百法
三法六门
十形三疗
治法杂论
杂记九门
伤寒直格
素问玄机原病式
保童秘要
宣明论
东垣试效方
东垣内外伤辨
兰室秘藏
汤液本草
脾胃论
御药院方
得效方
澹轩方
伤寒指掌图
葛氏肘后方
澹寮方
子午流注
针经指南
玉龙譚
卫生宝鉴
延寿书
圣济总录
居家必用
必用全书
必用之书
拔粹方
瑞竹堂方
小儿痘疹方

王氏集验方
医方大成
医方集成
南北经验方
袖珍方
省翁活幼口议
永类铃方
疮科通玄论
经验秘方
眼科龙木总论
医经涉洄集
川玉集
格致余论
局方发挥
经验良方
医林方
烟霞圣效方

寿亲养老书
十四经发挥
纂图脉诀
施圆端效方
吴氏集验方
神效名方
事林广记
山居四要
新效方
针灸广爱书括
外科集验方
理伤续断方
小儿疮疹方
追劳方
急救仙方
秘传外科方
徐氏胎产方

仙传济阴方
外科精义
疮科精义
玉机微义
劝善书
臞仙活人心
运化玄枢
寿域神方
神隐
金丹大成
卫生易简方
金匱钩玄
御医撮要
备预百要方
简奇方
医经小学
小学医经

医方类聚总目

卷之一	卷之十八	卷之三十四
总论 _一	诸风门 _六	伤寒门 _八
卷之二	卷之十九	卷之三十五
总论 _二	诸风门 _七	伤寒门 _九
卷之三	卷之二十	卷之三十六
总论 _三	诸风门 _八	伤寒门 _十
卷之四	卷之二十一	卷之三十七
五脏门 _一	诸风门 _九	伤寒门 _{十一}
卷之五	卷之二十二	卷之三十八
五脏门 _二	诸风门 _十	伤寒门 _{十二}
卷之六	卷之二十三	卷之三十九
五脏门 _三	诸风门 _{十一}	伤寒门 _{十三}
卷之七	卷之二十四	卷之四十
五脏门 _四	诸风门 _{十二}	伤寒门 _{十四}
卷之八	卷之二十五	卷之四十一
五脏门 _五	诸寒门 _一	伤寒门 _{十五}
卷之九	诸暑门 _一	卷之四十二
五脏门 _六	卷之二十六	伤寒门 _{十六}
卷之十	诸暑门 _二	卷之四十三
五脏门 _七	诸湿门 _{附四气兼中}	伤寒门 _{十七}
卷之十一	卷之二十七	卷之四十四
五脏门 _八	伤寒门 _一 _{附伤寒 冷热病}	伤寒门 _{十八}
卷之十二	卷之二十八	卷之四十五
五脏门 _九	伤寒门 _二	伤寒门 _{十九}
卷之十三	卷之二十九	卷之四十六
诸风门 _一	伤寒门 _三	伤寒门 _{二十}
卷之十四	卷之三十	卷之四十七
诸风门 _二	伤寒门 _四	伤寒门 _{二十一}
卷之十五	卷之三十一	卷之四十八
诸风门 _三	伤寒门 _五	伤寒门 _{二十二}
卷之十六	卷之三十二	卷之四十九
诸风门 _四	伤寒门 _六	伤寒门 _{二十三}
卷之十七	卷之三十三	卷之五十
诸风门 _五	伤寒门 _七	伤寒门 _{二十四}

卷之五十一
 伤寒门二十五
卷之五十二
 伤寒门二十六
卷之五十三
 伤寒门二十七
卷之五十四
 伤寒门二十八
卷之五十五
 伤寒门二十九
卷之五十六
 伤寒门三十
卷之五十七
 伤寒门三十一
卷之五十八
 伤寒门三十二
卷之五十九
 伤寒门三十三
卷之六十
 伤寒门三十四
卷之六十一
 伤寒门三十五
卷之六十二
 伤寒门三十六
卷之六十三
 伤寒门三十七
卷之六十四
 眼门一
卷之六十五
 眼门二
卷之六十六
 眼门三
卷之六十七
 眼门四
卷之六十八
 眼门五
卷之六十九
 眼门六
卷之七十

 眼门七
卷之七十一
 齿门一
卷之七十二
 齿门二
卷之七十三
 齿门三
 咽喉门一 附骨鲠 误吞诸物
卷之七十四
 咽喉门二
卷之七十五
 咽喉门三
卷之七十六
 咽喉门四
 口舌门一 附唇
卷之七十七
 口舌门二
 耳门一
卷之七十八
 耳门二
 鼻门一
卷之七十九
 鼻门二
 头面门一
卷之八十
 头面门二
卷之八十一
 头面门三
卷之八十二
 头面门四
 毛发门一
卷之八十三
 毛发门二
 身体门 附身疼
 四肢门一
卷之八十四
 四肢门二
 血病门一
卷之八十五

 血病门二
卷之八十六
 血病门三
 诸气门一
卷之八十七
 诸气门二
卷之八十八
 诸气门三
卷之八十九
 诸气门四
 诸疝门一
卷之九十
 诸疝门二
卷之九十一
 诸疝门三
 阴癰门
 诸瘰门
卷之九十二
 心腹痛门一 附胸胁痛
卷之九十三
 心腹痛门二
卷之九十四
 心腹痛门三
 腰脚门一 附肋
卷之九十五
 腰脚门二
卷之九十六
 腰脚门三
 脚气门一
卷之九十七
 脚气门二
卷之九十八
 脚气门三
卷之九十九
 脾胃门一
卷之一百
 脾胃门二
卷之一百一
 脾胃门三

卷之一百二
脾胃门_四
三焦门_一
卷之一百三
三焦门_二
翻胃门_一
卷之一百四
翻胃门_二
呕吐门_一
卷之一百五
呕吐门_二
膈噎门_一
卷之一百六
膈噎门_二
卷之一百七
霍乱门_一 附吐泻 转筋
卷之一百八
霍乱门_二
沙证门
卷之一百九
眩晕门
宿食门
积聚门_一
卷之一百一十
积聚门_二
卷之一百一十一
积聚门_三
卷之一百一十二
积聚门_四
卷之一百一十三
积聚门_五
咳逆门
卷之一百十四
咳嗽门_一 附痰饮 喘急
卷之一百十五
咳嗽门_二
卷之一百十六
咳嗽门_三
卷之一百十七

咳嗽门_四
卷之一百十八
咳嗽门_五
卷之一百十九
咳嗽门_六
卷之一百二十
咳嗽门_七
卷之一百二十一
声音门
诸疟门_一
卷之一百二十二
诸疟门_二
卷之一百二十三
诸疟门_三
卷之一百二十四
消渴门_一
卷之一百二十五
消渴门_二
卷之一百二十六
消渴门_三
水肿门_一
卷之一百二十七
水肿门_二
卷之一百二十八
水肿门_三
卷之一百二十九
水肿门_四
卷之一百三十
胀满门_一
卷之一百三十一
胀满门_二
黄疸门_一
卷之一百三十二
黄疸门_二
诸淋门_一
卷之一百三十三
诸淋门_二
赤白浊门_一 附遗精 梦泄
卷之一百三十四

赤白浊门_二
大小便门_一
卷之一百三十五
大小便门_二
卷之一百三十六
大小便门_三
诸痢门_一
卷之一百三十七
诸痢门_二
卷之一百三十八
诸痢门_三
卷之一百三十九
诸痢门_四
卷之一百四十
诸痢门_五
卷之一百四十一
诸痢门_六
泄泻门_一
卷之一百四十二
泄泻门_二
卷之一百四十三
泄泻门_三
诸虚门_一 附补益
卷之一百四十四
诸虚门_二
卷之一百四十五
诸虚门_三
卷之一百四十六
诸虚门_四
卷之一百四十七
诸虚门_五
卷之一百四十八
诸虚门_六
卷之一百四十九
诸虚门_七
卷之一百五十
诸虚门_八
卷之一百五十一
诸虚门_九

卷之一百五十二

诸虚门十

卷之一百五十三

诸虚门十一

卷之一百五十四

诸虚门十二

劳瘵门一 附骨蒸

卷之一百五十五

劳瘵门二

卷之一百五十六

劳瘵门三

痼冷门一

卷之一百五十七

痼冷门二

积热门

卷之一百五十八

火门 附燥

虚烦门

惊悸门 附怔忡 心恙

卷之一百五十九

健忘门 附嗜眠

诸汗门

癰痼门一

卷之一百六十

癰痼门二

中恶门一 附诸疰鬼击 诸尸卒魔

厥卒忤 鬼邪卒死

卷之一百六十一

中恶门二

解毒门一

卷之一百六十二

解毒门二

卷之一百六十三

解毒门三

卷之一百六十四

解毒门四

酒病门一

卷之一百六十五

酒病门二

蛊毒门 附猫鬼射工 沙虱水毒

卷之一百六十六

诸虫门

辟虫门

虫伤门一

卷之一百六十七

虫伤门二

兽伤门一

卷之一百六十八

兽伤门二

癰疹门

疥癣门一

卷之一百六十九

疥癣门二

诸臭门

卷之一百七十

痈疽门一

卷之一百七十一

痈疽门二

卷之一百七十二

痈疽门三

卷之一百七十三

痈疽门四

卷之一百七十四

痈疽门五

卷之一百七十五

痈疽门六

卷之一百七十六

痈疽门七

卷之一百七十七

痈疽门八

卷之一百七十八

痈疽门九

丁疮门一

卷之一百七十九

丁疮门二

丹毒门 附时毒疮瘡大头病

瘰癧门一 附毒核

卷之一百八十

瘰癧门二

卷之一百八十一

诸痿门

瘰癧门

卷之一百八十二

痔漏门一 附肠风 脱肛 诸漏候

卷之一百八十三

痔漏门二

卷之一百八十四

痔漏门三

便毒门

金疮门一

卷之一百八十五

金疮门二

诸刺门

卷之一百八十六

折伤门一

卷之一百八十七

折伤门二

卷之一百八十八

折伤门三

诸疮门一

卷之一百八十九

诸疮门二

卷之一百九十

诸疮门三

卷之一百九十一

诸疮门四

卷之一百九十二

诸疮门五

卷之一百九十三

诸疮门六

膏药门一

卷之一百九十四

膏药门二

汤火伤门

漆疮门

怪疾门

救急门一

卷之一百九十五
救急门二
杂病门一
卷之一百九十六
杂病门二
卷之一百九十七
杂病门三
卷之一百九十八
诸汤门
诸香门
卷之一百九十九
养性门一 附神仙
卷之二百
养性门二
卷之二百一
养性门三
卷之二百二
养性门四
卷之二百三
养性门五
卷之二百四
养性门六
卷之二百五
养性门七
卷之二百六
妇人门
调经一
卷之二百七
调经二
卷之二百八
调经三
卷之二百九
调经四
卷之二百一十
调经五
通治一 附杂病
卷之二百十一
通治二
卷之二百十二

通治三
诸风一
卷之二百十三
诸风二
卷之二百十四
诸风三
诸虚一
卷之二百十五
诸虚二
劳瘵
伤寒
卷之二百十六
咳嗽 附痰饮 喘满
呕吐 附翻胃
霍乱
血病
积聚一 附症瘕 痰癖 诸疝
卷之二百十七
积聚二
头痛
心腹痛一 附胁痛背心痛 腹胀
小腹满痛
卷之二百十八
心腹痛二
腰脚 附臂痛 项筋强痛
脚气
大小便
卷之二百十九
诸淋
诸痢
痔漏 附脱肛
乳痈 附诸疮
卷之二百二十
水肿
阴肿
求嗣
卷之二百二十一
胎教
妊娠一

卷之二百二十二
妊娠二
卷之二百二十三
妊娠三
卷之二百二十四
妊娠四
卷之二百二十五
妊娠五
卷之二百二十六
妊娠六
卷之二百二十七
妊娠七
坐月一
卷之二百二十八
坐月二
难产一 附横逆生 胎死腹中 子
死腹中
卷之二百二十九
难产二
胞衣不下
卷之二百三十
产后一
卷之二百三十一
产后二
卷之二百三十二
产后三
卷之二百三十三
产后四
卷之二百三十四
产后五
卷之二百三十五
产后六
卷之二百三十六
产后七
卷之二百三十七
产后八
卷之二百三十八
产后九
卷之二百三十九

小儿门
总论一
卷之二百四十
总论二
卷之二百四十一
浴儿
脐病
变蒸
口舌 附唇
头面一 附毛发
卷之二百四十二
头面二
眼
耳
卷之二百四十三
鼻
齿
咽喉
龟背 附龟胸
手脚 附鹤节
行迟 附语迟
难乳 附断乳
心腹痛
脾胃一
卷之二百四十四
脾胃二
呕吐 附哕
霍乱一 附吐泻
卷之二百四十五
霍乱二
吐衄
咳嗽 附痰饮 喘急 滞颐
诸疟
卷之二百四十六

黄疸
宿食 附丁奚 哺露
积聚
卷之二百四十七
肿胀
痈疽一 附诸疮 诸肿 瘰气
瘰癧 恶核 疥癣 疣目
卷之二百四十八
痈疽二
汤火伤
卷之二百四十九
丹毒
瘾疹
大小便一
卷之二百五十
大小便二
诸淋
诸痢一 附泄泻 脱肛
卷之二百五十一
诸痢二
卷之二百五十二
诸痢三
诸痔
癰疽 附阴肿
诸虫 附诸兽 诸虫伤 盘肠内吊
卷之二百五十三
诸疳一 附五软
卷之二百五十四
诸疳二
卷之二百五十五
诸疳三
惊痫一 附惊悸
卷之二百五十六
惊痫二

卷之二百五十七
惊痫三
卷之二百五十八
惊痫四
卷之二百五十九
惊痫五
卷之二百六十
惊痫六
啼一
卷之二百六十一
啼二
中恶 附客忤
尸疟 附蛊 疟
魃病
诸风
痉瘕
卷之二百六十二
伤寒一 附寒热 冷热
卷之二百六十三
伤寒二
疹痘一
卷之二百六十四
疹痘二
卷之二百六十五
疹痘三
诸热一 附渴
卷之二百六十六
诸热二
诸汗
落床
误吞物
杂病

2V23/13

医 方 类 聚

校 点 本

(第 一 分 册)

浙江省中医研究所 湖州中医院 校

人 民 卫 生 出 版 社 出 版

(北京市崇文区天坛西里10号)

北 京 印 刷 一 厂 印 刷

新 华 书 店 北 京 发 行 所 发 行

787×1092毫米16开本 49印张 4插页 1101千字

1981年 4 月第1版第1次印刷

印数: 1—10,500

统一书号: 14048·3709 定价: 8.15元